栃木県埋蔵文化財調査報告第313集

小鍋前遺跡

— 経営体育成基盤整備事業荒川南部地区における埋蔵文化財発掘調査 —

2008. 3

栃木県教育委員会
(財)とちぎ生涯学習文化財団

小鍋前（おなべまえ）遺跡

― 経営体育成基盤整備事業荒川南部地区における埋蔵文化財発掘調査 ―

２００８．３

栃 木 県 教 育 委 員 会
㈶とちぎ生涯学習文化財団

序

小鍋前遺跡は、栃木県の東部にある那須烏山市大里に所在します。この地域は、喜連川丘陵を縫うように蛇行する荒川によって河岸段丘が形成されており、縄文時代では曲畑遺跡や新道平遺跡、古墳時代では大和久古墳群や小志鳥横穴墓群、奈良・平安時代では長者ヶ平遺跡など、さまざまな遺跡が所在します。

このたびの経営体育成基盤整備事業荒川南部地区に先立ち、事業地内に所在する小鍋前遺跡の取り扱いについて、関係機関と協議の上、平成16年度から記録保存を目的とした発掘調査を行ってきました。

調査の結果、縄文時代の住居跡や貯蔵穴、古墳時代から平安時代の住居跡が多数確認されました。

本報告書は、この発掘調査の成果をまとめたものです。本書が県民の皆様にとりまして郷土の歴史を理解する一助となるとともに、各方面において広くご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、発掘調査から報告書作成に至るまで、多くのご協力をいただきました荒川南部土地改良区、那須烏山市教育委員会、栃木県農政部をはじめとする関係機関、並びに関係各位に厚くお礼を申し上げます。

平成２０年３月

栃木県教育委員会

教育長　平間　幸男

例　言

1，本書は栃木県那須烏山市大里字小鍋前２１２ほかに所在する小鍋前遺跡の発掘調査報告書である。

2，発掘調査は、経営体育成基盤整備事業荒川南部地区に伴う事前調査である。

3，発掘調査は栃木県農政部の委託事業であり、栃木県教育委員会事務局文化財課の指導により、財団法人とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センターが実施したものである。

4，発掘調査から整理作業、報告書作成までの期間及び担当者は、以下のとおりである。

発掘調査　2004年（平成16年）４月13日～2005年（平成17年）３月30日
調査部長　橋本澄朗、調査第一担当リーダー　中山　晋、主査　塚原孝一、主査　手塚達弥

整理作業　2005年（平成17年）４月12日～2006年（平成18年）３月30日
調査部長　橋本澄朗、調査第二担当リーダー　藤田典夫、主査　塚原孝一
2006年（平成18年）４月13日～2007年（平成19年）３月29日
調査部長　川原由典、資料整理担当リーダー　後藤信祐、主査　塚原孝一

報告書作成　2007年（平成19年）４月11日～2008年（平成20年）３月28日
調査部長　川原由典、資料整理担当リーダー　中山　晋、主査　塚原孝一

5，本書の執筆・編集は塚原が行った。附章「理化学分析」は、株式会社古環境研究所、パリノ・サーヴェイ株式会社の報告を塚原が一部体裁等変更・修正して掲載した。

6，発掘調査及び整理作業・報告書作成にあたり、以下の委託業務を実施した。
表土除去：荒井工業株式会社、基準点測量及び基準杭設定・航空写真撮影及び測量図化：中央航業株式会社、安全対策：永岡建設株式会社、火山灰分析・植物珪酸体分析：株式会社古環境研究所、出土石材の分析調査：パリノ・サーヴェイ株式会社、遺物実測用写真撮影及び遺物図版用写真撮影（鉄製品を除く）：カメラマン小川忠博

7，発掘調査の実施ならびに報告書の作成にあたり、栃木県教育委員会文化財課の指導を受けると共に、当財団職員のほか、以下の方々および関係機関から御指導・御協力を賜った。（敬称略）
海老原郁雄、江守浩史、鏑木理広、木下実、酒寄雅志、高橋静司、塙　静夫、森嶋秀一、
栃木県農政部、南那須農業振興事務所、那須烏山市教育委員会、荒川南部土地改良区、大里自治会

8，発掘調査の参加者は次のとおりである。（五十音順）
青柳和利、荒井キイ、荒井サヨ子、池田節子、磯田慎也、上野　茂、薄根和美、薄根スミ子、太田恵子、岡崎令子、小浜豊子、加藤秀美、加藤レイ子、軽部孝雄、久郷勝子、久郷初枝、久郷好子、小池ミチコ、古口博子、小林　茂、小林春英、斉喜正留、佐伯幸子、五月女昌弘、笹崎礼子、志水悦子、鈴木ヤエ、瀬尾和美、関　元氣、玉造静子、藤平和子、長江永吉、中澤　章、中山　股、長山恵子、橋本　洋、羽石明美、古家　茂、古家ミサ子、馬籠あけみ、横山一義、吉澤ひとみ、渡辺圭子

9，整理作業・報告書作成の参加者は次のとおりである。（五十音順）
石口優子、伊沢典子、鵜澤房子、大越道子、大出径子、奥園幸子、木村正嗣、菅野路子、砂子坂紀余子、高橋侑子、野口昌子、野沢茂子、芳賀美津子、武田容子、丸山優香里、矢島早苗、米野裕子

10，本遺跡の概要については、年報等で報告されているが、本書をもって正式報告とする。

11，本遺跡の出土遺物・資料類は、財団法人とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センターに保管している。

凡　例

遺跡

1，本遺跡の略号は、「MN－ON」（ＭＩＮＡＭＩＮＡＳＵＭＡＴＩ　ＯＮＡＢＥＭＡＥ　遺跡）である。これは、当埋蔵文化財センターの略号方式に基づく。

遺構

1，遺構は発掘調査時、竪穴住居跡：ＳＩ、土坑：ＳＫ、掘立柱建物跡：ＳＢ、溝跡：ＳＤ、性格不明遺構：ＳＸ、の略号で示し、番号は遺構の種類毎に発見された順に１，２，３，・・・・と付した。また、必要に応じ、発番後整理作業時にａ、ｂ、ｃをつけて区別した場合がある。本報告でも原則としてこれを踏襲している。なお、「土坑：ＳＫ」として発番した遺構には、所謂土坑のほか、埋甕、陥穴、井戸、小穴などを含む。掘立柱建物跡の各柱穴にも、同様に発番したものもある。

2，各遺構の位置については、国家座標第Ⅸ系に基づくグリッドにより表記した。方位については、国家座標第Ⅸ系に基づく座標北である。

3，現地での遺構実測は、原則として縮尺１／２０で行った。本報告掲載の遺構実測図は、竪穴住居跡と掘立柱建物跡が１／６０、土坑及びその他の遺構が１／４０を原則とした。

4，遺構実測図中の断面水準は、海抜標高を示す。

5，遺構実測図中に貼付したスクリーントーンは、カマド袖部の粘土を示す。

6，遺構の土層注記中の略号は、次のことを示す。ＳＰ：七本桜パミス、ＩＰ：今市パミス、Ｌ：ローム、Ｂ：ブロック。

7，時期不明の遺構については単独の遺構図面は掲載しなかった。これについては、全体図と一覧表を参照されたい。

8，一覧表中、（　）は推定値、［　］は残存値を示す。本文中も同様に使用した部分もある。

9，遺構実測図中の遺物番号は、遺物実測図の遺物番号と一致する。

10，縄文時代遺構一覧表には、土器は時期を、土製品と石器は種別と数量を記した。なお、遺構の時期を示す土器の時期は太字で示した。

遺物

1，遺物は発掘調査時、器種や材質によらず、概ね出土遺構単位に１，２，３，・・・・と付して取りあげた。本報告においては、遺構単位に土器（縄文土器、土師器、須恵器)、土製品、石器、鉄製品の順に番号を付した。両者の対応は、遺物一覧表を参照されたい。

2，遺物実測図の縮尺は、縄文土器（主に拓影図）：１／３、土師器・須恵器：１／４、土製品・石器・鉄製品：２／３～１／６を原則とした。例外については、その都度示した。

3，遺物実測図中、繊維が含まれる縄文土器断面、灰釉陶器断面、黒色処理された土師器内面にはスクリーントーンを貼付した。また、須恵器断面は黒く塗りつぶした。

4，縄文時代土器・土製品一覧表には、第24表で示した時期区分を示した。

5，一覧表中、（　）は推定値、［　］は残存値を示す。本文中も同様に使用した部分もある。

6，写真図版の遺物番号は、挿図の遺物番号に一致する。

7，遺物写真図版の縮尺は、不統一である。

目　次

序
例言
凡例
第１章　調査の経緯
　第１節　調査に至る経緯 …… 1
　第２節　調査の方法と経過
　　１，発掘調査の方法 …… 3
　　２，発掘調査の経過 …… 5
第２章　遺跡の環境
　第１節　地理的環境 …… 6
　第２節　歴史的環境 …… 10
第３章　発見された遺構と遺物
　第１節　調査の概要 …… 13
　第２節　縄文時代
　　１，竪穴住居跡と出土遺物 …… 15
　　２，土坑と出土遺物 …… 32
　　３，遺構外出土遺物 …… 314
　第３節　古墳時代から平安時代
　　１，竪穴住居跡と出土遺物 …… 330
　　２，掘立柱建物跡と出土遺物 …… 405
　　３，土坑と出土遺物、遺構外出土遺物 …… 412
　第４節　時期不明の遺構 …… 422
第４章　調査の成果
　第１節　縄文時代
　　１，遺物について …… 430
　　２，遺構について …… 444
　第２節　古墳時代から平安時代
　　１，遺物について …… 453
　　２，遺構について …… 459
　第３節　まとめ …… 462
附　章　理化学分析
　第１節　火山灰分析、植物珪酸体分析 …… 464
　第２節　出土石材の分析調査 …… 476

挿図目次

第１図　経営体育成基盤整備事業荒川南部地区の事業地及び事業地内遺跡位置図 ……2
第２図　小鍋前遺跡調査区図 ……3
第３図　調査区及びグリッド配置図 ……4
第４図　栃木県の位置 ……6
第５図　栃木県の地形概念図 ……6
第６図　周辺の地形 ……7
第７図　調査区遺構確認面地質図 ……9
第８図　南那須の主な遺跡 ……11
第９図　遺構配置図 ……14
第10図　SI－2・20・24 ……20
第11図　SI－24・44・49 ……21
第12図　SI－52・56 ……22
第13図　SI－57 ……23
第14図　SI－2・20出土遺物 ……24
第15図　SI－20出土遺物 ……25
第16図　SI－24出土遺物 ……26
第17図　SI－44出土遺物 ……27
第18図　SI－44・49・52出土遺物 ……28
第19図　SI－52出土遺物 ……29
第20図　SI－56出土遺物 ……30
第21図　SI－57出土遺物 ……31
第22図　土坑断面形分類類型図 ……32
第23図　SK－1～9・12・13……57
第24図　SK－14～17・19・24～28……58
第25図　SK－29～32・38～41・43・53……59
第26図　SK－45～50・52・58・59……60
第27図　SK－51a・54・60～63・66a……61
第28図　SK－66b・67a・67b・70・74・77・78a・79・87・88…62
第29図　SK－80・82・84・85・89・98・1072・1073……63
第30図　SK－83・90・91・95・100・101・104・109……64
第31図　SK－92～94・102・103・105・111・138 ……65
第32図　SK－106・108・110・112・113・116・118～121・125・131……66
第33図　SK－122・123・126～128・130・133・135・136・144・145……67
第34図　SK－129・139～141・151～154 ……68
第35図　SK－142・143・155～158・165・170・171 ……69
第36図　SK－146a・146b・148・159・160・173・175 ……70
第37図　SK－161a・162a・162b・163b・166～168・174・177・193～195……71
第38図　SK－172・176・179～185……72
第39図　SK－186・188・190～192・196・198・199・201……73
第40図　SK－202・204・206・209・210・211a・211ｃ・212 …74
第41図　SK－213～219・222・225・236・238・241 ……75
第42図　SK－226～228・230・232～235・237・239・242～245・255 ……76
第43図　SK－247～249・251～253・256・257・274 ……77
第44図　SK－258～260・262・263・265・267～273・287・290 …78
第45図　SK－275・277・280・282・285・286・289・291・293・294・298～300……79
第46図　SK－292・297・301・307・308・319～321・326・334・335……80
第47図　SK－324・328・330・331・333・339・343・344・355・357・361・364……81
第48図　SK－358～360・365～368・370～372・376a・377・378・1396 ……82
第49図　SK－374・375・379～384・386・391・397～399・401・402a・402b・403・404 ……83
第50図　SK－405・406・408～413・415・417～423・425・427・430・454 ……84
第51図　SK－431a・431b・432・439～446・449・457・458……85
第52図　SK－455・456・459～464・466・468～470 ……86
第53図　SK－478～483・486・487・489・493・524 ……87
第54図　SK－492・494・496・497・498a・498b・499・500・517～519・521a……88
第55図　SK－525～527・539・541・544・545・547・550・552・553・555～557……89
第56図　SK－554・559・560・562・566・579b・580a・581～583・584a・584b・585・595……90
第57図　SK－587～594・596・597・601～604・633・634……91
第58図　SK－607～613・615・616・623・624・628・629・637～639・641・721……92
第59図　SK－620～622・627・635・640・643～646・649・650・653～655 ……93
第60図　SK－651・652・656～660・684・685・687・691・692 …94
第61図　SK－693～697・702・703・705・706・718・720……95
第62図　SK－711・713・715・717・790～792・798・800……96
第63図　SK－793・795～797・802～805・807・809・816・818 …97
第64図　SK－817・819・820・821a・821b・822～825・826a・826b・828～830・834 ……98
第65図　SK－832・833・835～838・839a・839b・839c・840・842～846・849・852……99
第66図　SK－847・848・850・851・853～856・858・860a・860b・862・865・885・886 ……100
第67図　SK－868・869・872・874・877～879・882a・889・890・921・927・930・931……101
第68図　SK－881・882b・883・884・888・891～894・900・901・923・1001・1003 ……102
第69図　SK－907～913・922・926・928・932・933……103
第70図　SK－929・934・936・939・940・943・944・947・948・950～953・969・991……104
第71図　SK－949・956～963・965・967・968・970・972・975…105
第72図　SK－977・980・982・983・985・987～989・993～995・998～1000・1016……106
第73図　SK－1004・1007～1009・1017・1021～1023・SX－1 …107
第74図　SK－1024～1028・1030・1031・1033・1036～1038・1054 ……108
第75図　SK－1035・1039～1043・1047・1048・1050・1052・1055 ……109
第76図　SK－1057～1061・1063a・1064・1078b ……110
第77図　SK－1065・1066・1070・1075～1077・1082・1085・1088a・1088b・1115 ……111
第78図　SK－1078a・1079・1101・1114・1118・1155・1259a …112
第79図　SK－1086・1093～1095・1103・1104・1106～1108・1140 ……113
第80図　SK－1109～1111・1113・1116・1117・1120・1310・1311 ……114
第81図　SK－1112・1129～1131・1151～1154・1156 ……115
第82図　SK－1119・1132～1134・1136・1137・1141～1143 …116
第83図　SK－1139・1144・1146・1147・1149・1160～1162・1167b・1172……117
第84図　SK－1163・1164・1259b・1265・1318b ……118
第85図　SK－1165・1166・1175・1251・1252・1254・1255・1266c……119
第86図　SK－1167a・1168・1170・1179・1180・1202・1260b・1268・1302・1307・1315 ……120
第87図　SK－1184～1187・1195・1197 ……121
第88図　SK－1188～1191・1194・1198・1256・1273・1284 …122
第89図　SK－1192・1193・1196・1199～1201・1208・1210・1220 ……123
第90図　SK－1209・1223・1224b・1231～1236……124
第91図　SK－1258・1260a・1263・1264・1274～1276・1334…125
第92図　SK－1277～1280・1282・1283・1296・1300 ……126
第93図　SK－1285・1289・1290・1292～1295・1298・1299 …127
第94図　SK－1286・1287・1291・1297・1306・1308・1309・1318a・1319……128
第95図　SK－1313・1314・1321～1325・1327・1330・1336・1483・1487・1508 ……129
第96図　SK－1182b……130
第97図　SK－1・2・4・5・8・9・12～14出土遺物 ……156
第98図　SK－15～17・19・24・27・29・30出土遺物 ……157
第99図　SK－28・31・32・38・40・41・43出土遺物 ……158
第100図　SK－45～49・51a出土遺物……159
第101図　SK－51a・52・53・58・59出土遺物……160
第102図　SK－58・60・62・63・66ab・67b・78a・88出土遺物 …161
第103図　SK－70・74・80出土遺物 ……162
第104図　SK－80出土遺物 ……163
第105図　SK－82～85・89出土遺物 ……164
第106図　SK－84・87・90出土遺物 ……165
第107図　SK－90出土遺物 ……166
第108図　SK－90出土遺物 ……167
第109図　SK－90～92出土遺物 ……168
第110図　SK－92出土遺物 ……169

第111図　SK－93出土遺物 ……170
第112図　SK－93出土遺物 ……171
第113図　SK－93出土遺物 ……172
第114図　SK－93出土遺物 ……173
第115図　SK－93・94・98・100・104・106出土遺物……174
第116図　SK－102・103・109出土遺物……175
第117図　SK－105・108・110・112・113出土遺物……176
第118図　SK－111・116・118出土遺物……177
第119図　SK－118・120～123・126出土遺物 ……178
第120図　SK－125出土遺物……179
第121図　SK－127～131・133出土遺物……180
第122図　SK－135・136・138・139・143・145出土遺物 ……181
第123図　SK－140・141出土遺物 ……182
第124図　SK－142出土遺物……183
第125図　SK－142・144出土遺物 ……184
第126図　SK－146a出土遺物 ……185
第127図　SK－146a・146b出土遺物 ……186
第128図　SK－146b・148出土遺物……187
第129図　SK－148・152出土遺物 ……188
第130図　SK－151～155出土遺物 ……189
第131図　SK－156～160出土遺物 ……190
第132図　SK－160出土遺物……191
第133図　SK－160・161a・162a出土遺物……192
第134図　SK－162a・162b・163b・166出土遺物 ……193
第135図　SK－166出土遺物……194
第136図　SK－166～168出土遺物 ……195
第137図　SK－168・170・171出土遺物……196
第138図　SK－171・172・174～176出土遺物 ……197
第139図　SK－177・179・180出土遺物……198
第140図　SK－180・182～184出土遺物……199
第141図　SK－184・188・190出土遺物……200
第142図　SK－186・190・191・195・198・202・206出土遺物…201
第143図　SK－192・196・199出土遺物……202
第144図　SK－199・209出土遺物 ……203
第145図　SK－209・210・211a・211c・212出土遺物……204
第146図　SK－211a・211c・213出土遺物……205
第147図　SK－214・216・217・219・222・226出土遺物 ……206
第148図　SK－226・232出土遺物 ……207
第149図　SK－233～235・239・243・244・249・251～253・256・260出土遺物……208
第150図　SK－257出土遺物……209
第151図　SK－257・258・263出土遺物……210
第152図　SK－265・267～273出土遺物……211
第153図　SK－274・275・277・280・282・285・286・289・292・293出土遺物……212
第154図　SK－291・301・308出土遺物……213
第155図　SK－297・300・307・324・326出土遺物……214
第156図　SK－307・328出土遺物 ……215
第157図　SK－328・331・333～335・358出土遺物……216
第158図　SK－359・360・364～366・368・370～372出土遺物…217
第159図　SK－367・372・374・377・378出土遺物……218
第160図　SK－376a・380・381・383・384・386・391・397～399出土遺物……219
第161図　SK－401・402ab・404～406・408・410出土遺物 ……220
第162図　SK－415・417・419～423・425・431ab出土遺物 ……221
第163図　SK－427・432・439・440・443・444・449・454・457出土遺物……222
第164図　SK－445・458～461・464・466出土遺物……223
第165図　SK－455・468出土遺物 ……224
第166図　SK－468出土遺物……225
第167図　SK－468出土遺物……226
第168図　SK－468出土遺物……227
第169図　SK－468～470・478・479・481出土遺物……228
第170図　SK－480・486・487・492出土遺物 ……229
第171図　SK－489・494・496・497・498ab・500・518・519出土遺物……230
第172図　SK－521a・524～526・539・541・544・545・547・550・553・554出土遺物 ……231
第173図　SK－552・556・557・562・580a・582・584a出土遺物…232
第174図　SK－584a・585・587・590・591出土遺物 ……233
第175図　SK－588・592・593出土遺物……234
第176図　SK－595・596・601～603出土遺物 ……235
第177図　SK－604・607～609・615・616・620・621出土遺物…236
第178図　SK－623・624・627・629・633・635出土遺物 ……237
第179図　SK－634・638～641・643・644・650出土遺物 ……238
第180図　SK－645・651～655・658・659出土遺物……239
第181図　SK－660・684・685・687・691・693・695～697・702・706・711出土遺物 ……240
第182図　SK－702・703・715・717・720・790出土遺物 ……241
第183図　SK－713出土遺物……242
第184図　SK－721・791～793・802出土遺物 ……243
第185図　SK－795・803・804・807・816・818出土遺物 ……244
第186図　SK－818～820・821ab・823出土遺物 ……245
第187図　SK－823・825・829・830出土遺物 ……246
第188図　SK－830・832～838出土遺物……247
第189図　SK－838・839abc・842～845出土遺物……248
第190図　SK－847～849・851・852・855・856出土遺物 ……249
第191図　SK－853・858・860ab・862出土遺物 ……250
第192図　SK－862・865・869・872・874・877・881・884・888・889出土遺物……251
第193図　SK－885・888・893・894・900・910出土遺物 ……252
第194図　SK－890・892・907出土遺物……253
第195図　SK－909・911～913・923・927出土遺物……254
第196図　SK－928・931・933・934・936・939・940・944・950出土遺物……255
第197図　SK－951・956～959出土遺物……256
第198図　SK－961・965・967・968・975・977・982出土遺物…257
第199図　SK－983・987・988・998・999・1001・1003・1004・1008・1009・1017・1022・1023・1026・1028・1033出土遺物 ……258
第200図　SK－1035・1037・1038・1042・1052・1054・1057出土遺物 ……259
第201図　SK－1058出土遺物 ……260
第202図　SK－1059・1061・1063a・1064・1066出土遺物……261
第203図　SK－1065・1070・1072出土遺物 ……262
第204図　SK－1072・1073・1078ab・1079出土遺物 ……263
第205図　SK－1079・1082・1085・1086・1094・1103出土遺物 …264
第206図　SK－1101出土遺物 ……265
第207図　SK－1101出土遺物 ……266
第208図　SK－1101・1104出土遺物 ……267
第209図　SK－1104・1107～1110・1113出土遺物 ……268
第210図　SK－1111・1114～1117出土遺物 ……269
第211図　SK－1118出土遺物 ……270
第212図　SK－1118・1119出土遺物 ……271
第213図　SK－1119・1130・1132・1136・1139・1141～1144・1147出土遺物 ……272
第214図　SK－1146出土遺物 ……273
第215図　SK－1149・1151・1153・1154・1160・1162出土遺物 …274
第216図　SK－1155・1163・1164出土遺物 ……275
第217図　SK－1164～1166出土遺物 ……276
第218図　SK－1167a・1167b・1168・1180出土遺物 ……277
第219図　SK－1170・1179・1182b・1184・1185・1187・1188出土遺物 ……278
第220図　SK－1188・1190～1193出土遺物 ……279
第221図　SK－1194・1196・1200・1208・1209・1220・1223出土遺物 ……280
第222図　SK－1210・1220・1223・1224b・1231・1232・1234出土遺物 ……281
第223図　SK－1235・1252・1254～1256・1258出土遺物 ……282
第224図　SK－1259ab・1260a・1263出土遺物……283
第225図　SK－1263出土遺物 ……284
第226図　SK－1263・1264出土遺物 ……285
第227図　SK－1264・1273出土遺物 ……286
第228図　SK－1273・1277・1279出土遺物 ……287
第229図　SK－1280・1282・1283・1285出土遺物 ……288
第230図　SK－1284・1286・1289～1292出土遺物 ……289
第231図　SK－1292・1293・1295・1297・1298・1300・1302・1306出土遺物 ……290
第232図　SK－1307・1308・1310出土遺物 ……291
第233図　SK－1310・1311・1313出土遺物 ……292
第234図　SK－1313・1314・1318ab・1319・1324出土遺物 ……293
第235図　SK－1325・1327・1336・SX－1出土遺物 ……294
第236図　SX－1出土遺物……295
第237図　遺構外出土土器 ……314
第238図　遺構外出土土製品（土製円盤・土錘・土偶）……314

第239図　遺構外出土石器（石鏃・石錐・掻削器・石核・
石匙・石錘・磨製石斧）……315
第240図　遺構外出土石器（打製石斧）……316
第241図　遺構外出土石器（打製石斧）……317
第242図　遺構外出土石器（打製石斧）……318
第243図　遺構外出土石器（磨石）……319
第244図　遺構外出土石器（磨石）……320
第245図　遺構外出土石器（磨石・石皿）……321
第246図　遺構外出土石器（石皿）……322
第247図　遺構外出土石器（石皿）……323
第248図　遺構外出土石器（石皿）……324
第249図　遺構外出土石器（台石）……325
第250図　遺構外出土石器（台石・石棒・石剣）……326
第251図　SI－1・3・4・10 ……346
第252図　SI－5a・5b ……347
第253図　SI－6・7・9 ……348
第254図　SI－8・11・12 ……349
第255図　SI－13・15・16・19 ……350
第256図　SI－16・18・19 ……351
第257図　SI－14 ……352
第258図　SI－21～23 ……353
第259図　SI－25 ……354
第260図　SI－26・28 ……355
第261図　SI－29・30 ……356
第262図　SI－31・32 ……357
第263図　SI－33・34 ……358
第264図　SI－35・36 ……359
第265図　SI－37・43 ……360
第266図　SI－37・38・43 ……361
第267図　SI－39・41 ……362
第268図　SI－40・42・45 ……363
第269図　SI－46・48・51 ……364
第270図　SI－50・53 ……365
第271図　SI－54・55 ……366
第272図　SI－1・3・4・5ab出土遺物 ……374
第273図　SI－5ab・6・7出土遺物 ……375
第274図　SI－7・8・10～14出土遺物 ……376
第275図　SI－14～16・19出土遺物 ……377
第276図　SI－16・18・19・21～23・25出土遺物 ……378
第277図　SI－25・26・28出土遺物 ……379
第278図　SI－28～30出土遺物 ……380
第279図　SI－31・32出土遺物 ……381
第280図　SI－33・34出土遺物 ……382
第281図　SI－35・36出土遺物 ……383
第282図　SI－37・43出土遺物 ……384
第283図　SI－37・43出土遺物 ……385
第284図　SI－38～41出土遺物 ……386
第285図　SI－41・42・45・46・48・50出土遺物 ……387
第286図　SI－51・53～55出土遺物 ……388
第287図　SB－1・4a・4b……408
第288図　SB－2・3 ……409
第289図　SB－5……410
第290図　SB－6・7 ……411
第291図　SB－2・3・4a・7出土遺物……412
第292図　SK－34・36・37・72・73・81・99・200・205・220・
240・246・261・266・276……413
第293図　SK－279・283・284・295・296・310～313・318・323・
325・332・340……414
第294図　SK－314・606・618・709・799・815・876・880・946・
997・1019・1029……415
第295図　SK－1067・1068・1096・1105・1211 ……416
第296図　SK－1135・1257・1261・1288・1317 ……417
第297図　SK－34・36・37・205・220・246・261・279・284・
295・310～313・323・325・332・799・
876出土遺物……419
第298図　SK－880・1019・1317・遺構外出土遺物……420
第299図　縄文土器（3～5期）……431
第300図　縄文土器（5・6期）……432
第301図　縄文土器（6・7期）……433
第302図　縄文土器（7～9期）……435
第303図　縄文土器（10・11期）……436
第304図　縄文土器（12期）……437
第305図　縄文時代土坑変遷図（１）……446
第306図　縄文時代土坑変遷図（２）……448
第307図　縄文時代遺構分布図（１）……450
第308図　縄文時代遺構分布図（２）……451
第309図　古墳時代から平安時代の土器変遷図（１）……455
第310図　古墳時代から平安時代の土器変遷図（２）……456
第311図　古墳時代から平安時代の竪穴住居跡変遷図 ……460
第312図　古墳時代から平安時代の遺構分布図 ……461

表目次

第 1 表　経営体育成基盤整備事業荒川南部地区内遺跡一覧表……2
第 2 表　南那須の主な遺跡 ……12
第 3 表　縄文時代竪穴住居跡一覧表 ……18
第 4 表　縄文時代竪穴住居跡出土土器・土製品一覧表 ……18
第 5 表　縄文時代竪穴住居跡出土石器一覧表 ……19
第 6 表　縄文時代竪穴住居跡土層観察表 ……23
第 7 表　縄文時代土坑土層観察表 ……130
第 8 表　縄文時代土坑一覧表 ……143
第 9 表　縄文時代土坑出土土器・土製品一覧表 ……296
第10表　縄文時代土坑出土石器一覧表 ……309
第11表　遺構外出土縄文時代土器・土製品一覧表 ……327
第12表　遺構外出土縄文時代石器一覧表 ……327
第13表　古墳時代から平安時代竪穴住居跡土層観察表 ……367
第14表　古墳時代から平安時代竪穴住居跡一覧表 ……370
第15表　古墳時代から平安時代竪穴住居跡出土遺物一覧表 …389
第16表　古墳時代から平安時代掘立柱建物跡一覧表 ……407
第17表　古墳時代から平安時代掘立柱建物跡土層観察表 ……410
第18表　古墳時代から平安時代掘立柱建物跡出土遺物一覧表…411
第19表　古墳時代から平安時代土坑土層観察表 ……417
第20表　古墳時代から平安時代土坑一覧表 ……418
第21表　古墳時代から平安時代土坑出土遺物一覧表 ……420
第22表　時期不明土坑一覧表 ……422
第23表　時期不明溝一覧表 ……429
第24表　小鍋前遺跡縄文土器時期区分と編年対比 ……430
第25表　遺跡別石器組成 ……441
第26表　縄文時代時期別遺構一覧表 ……452
第27表　古墳時代から平安時代の時期別遺物一覧表 ……458
第28表　古墳時代から平安時代の時期別遺構一覧表 ……459

写真図版目次

図版１　航空写真
遺跡遠景（南東上空より）
遺跡及び調査区（北東上空より）
図版２　出土遺物
SK－93出土土器
SI－37（・43）出土土器
図版３　縄文時代（遺構）
SI－2、SK－45（南西より）
SI－20（北西より）
SI－24（東より）
SI－24（北より）
SI－24炉（東より）
SI－24P7遺物（9）出土状態（南より）
SI－44（南西より）
SI－44炉（南西より）
図版４　縄文時代（遺構）
SI－44遺物（1）出土状態（南西より）
SI－49（東より）
SI－49炉（北より）
SI－52（南西より）
SI－56（南東より）
SI－56炉（南東より）
SI－57炉（東より）
調査区中央から東部（北西より）
図版５　縄文時代（遺構）
SK－1・9（西より）
SK－2（東より）
SK－3（東より）
SK－4（北より）
SK－5セクションA－A′（南より）
SK－5調査状況（南より）
SK－6（東より）

SK－7（南より）
図版６　縄文時代（遺構）
SK－8（西より）
SK－12・13（南西より）
SK－14・15（南より）
SK－14遺物（1）出土状態（南より）
SK－14遺物（2）出土状態（西より）
SK－16（北より）
SK－17（北東より）
SK－19調査状況（南東より）
図版７　縄文時代（遺構）
SK－19（南東より）
SK－19遺物（1）出土状態（南東より）
SK－24調査状況（南より）
SK－25調査状況（南東より）
SK－25（南東より）
SK－26～28（南より）
SK－29・30（南より）
SK－29・30調査状況（東より）
図版８　縄文時代（遺構）
SK－31（南より）
SK－32（東より）
SK－38（南より）
SK－39（南より）
SK－40（南より）
SK－41（南より）
SK－43・53（北東より）
SK－46（南より）
図版９　縄文時代（遺構）
G－20グリッド周辺調査状況（北より）
SK－47（西より）
SK－48（東より）
SK－49（東より）
SK－50（南より）
SK－51a（北より）
SK－51a遺物（1）出土状態（北より）
SK－51a遺物（2・4・6）出土状態（北より）
図版１０　縄文時代（遺構）
SK－52・58・59（北東より）
SK－60（東より）
SK－61（東より）
SK－62（北より）
SK－63（南より）
SK－66a（北東より）
SK－67a（南より）
SK－66b・67b・88（北より）
図版１１　縄文時代（遺構）
SK－70（南より）
SK－70遺物（1・2）出土状態（北より）
SK－74（南より）
SK－77（南東より）
SK－78a（南より）
C－21グリッド周辺調査状況（南西より）
SK－79（南より）
SK－80（北西より）
図版１２　縄文時代（遺構）
SK－80調査状況（東より）
SK－80セクションA－A′（南より）
SK－80（北西より）
SK－82（北東より）
SK－82遺物（1）出土状態（北東より）
SK－83（南より）
SK－83セクションA－A′（南より）
SK－83調査状況（東より）
図版１３　縄文時代（遺構）
SK－84（南東より）
SK－85・98（南より）
SK－87（南より）
SK－89（東より）
SK－90遺物（11）出土状態（東より）
SK－90（南東より）
SK－90遺物（1・5）出土状態（南東より）
SK－90調査状況（南より）
図版１４　縄文時代（遺構）
SK－92～94・138（東より）
SK－92～94調査状況（南より）
SK－92・93（南より）
SK－93（南東より）
SK－93（北東より）
SK－93遺物（1・2・6・16）出土状態（南より）
SK－93遺物（1・2・5・6・12）出土状態（西より）
SK－93調査状況（南より）
図版１５　縄文時代（遺構）
SK－100（南西より）
SK－101（南より）
SK－102・103セクションA－A′（南東より）
SK－102・103（南西より）
SK－102・103調査状況（南より）
SK－105（南より）
SK－106セクションA－A′（南より）
SK－106（北東より）
図版１６　縄文時代（遺構）
SK－108（北より）
SK－110（東より）
SK－112・113・119（北東より）
SK－116（南東より）
SK－118（南より）
SK－120（北より）
SK－121（南より）
SK－122（北東より）
図版１７　縄文時代（遺構）
SK－123・135・136（南より）
SK－123遺物（1）出土状態（北より）
SK－125（南西より）
SK－125遺物（1～5）出土状態（北より）
SK－126・127・128（南より）
SK－129（東より）
SK－130（西より）
SK－133（北より）
図版１８　縄文時代（遺構）
SK－138（南より）
SK－139（南より）
SK－140（西より）
SK－142（南東より）
E－19グリッド東部調査状況（南より）
SK－143（東より）
SK－144・145（北西より）
SK－144遺物（1）出土状態（南より）
図版１９　縄文時代（遺構）
SK－144遺物（1～4・8）出土状態（西より）
SK－146ab（南より）
SK－146a遺物（1～9）出土状態（南より）
SK－148（西より）
SK－148（北東より）
SK－148遺物（1）出土状態（西より）
SK－151・152（北西より）
SK－153（南東より）
図版２０　縄文時代（遺構）
SK－154（南より）
SK－155（南より）
SK－156（南より）
SK－157（南より）
SK－158（南より）
SK－159（東より）
SK－160（東より）
SK－160（南東より）
図版２１　縄文時代（遺構）
SK－161a・162a（南東より）
SK－162a遺物（1）出土状態（南東より）
SK－162b・163b（西より）
SK－166（南東より）
SK－167（南より）
SK－170（南東より）
E－19グリッド周辺調査状況（北東より）
SK－171（南より）

図版２２　縄文時代（遺構）
SK－172・176（南東より）
SK－175（南より）
SK－177（南より）
SK－179～181（東より）
SK－180遺物（1・8）出土状態（北東より）
SK－182～185（西より）
SK－184遺物（6・7）出土状態（南より）
SK－186・188（西より）
図版２３　縄文時代（遺構）
SK－190（西より）
SK－191・192（南より）
調査区東部（西より）
SK－194（南より）
SK－195（東より）
SK－196（南より）
SK－198（南より）
SK－199（南より）
図版２４　縄文時代（遺構）
SK－201（西より）
SK－202（南より）
SK－204（南東より）
SK－206（西より）
SK－209（南より）
SK－210・211c（南より）
SK－211a（南より）
SK－212（南より）
図版２５　縄文時代（遺構）
D－16グリッド周辺（北西より）
SK－213～215・241（南東より）
SK－216（東より）
SK－216遺物（1）出土状態（北東より）
SK－217・238（南より）
SK－218（西より）
SK－219（南より）
SK－222（東より）
図版２６　縄文時代（遺構）
SK－226（南より）
SK－226遺物（5・9）出土状態（東より）
SK－227（南西より）
SK－228（南より）
SK－230（南より）
SK－232（東より）
SK－233（南より）
SK－234（南東より）
図版２７　縄文時代（遺構）
SK－235（南より）
SK－236（東より）
SK－237（東より）
SK－239（東より）
SK－242（東より）
SK－243（南より）
SK－244（東より）
SK－245（東より）
図版２８　縄文時代（遺構）
SK－248（南より）
SK－249（西より）
SK－251（東より）
SK－252（東より）
SK－253（東より）
SK－255（東より）
SK－256（南東より）
SK－257・274（西より）
図版２９　縄文時代（遺構）
SK－257遺物（1・7）出土状態（西より）
SK－257遺物（9）出土状態（西より）
SK－258（南より）
SK－259（南より）
SK－260（南より）
SK－260調査状況（東より）
SK－262・263（南より）
SK－265（東より）
図版３０　縄文時代（遺構）
SK－267（南より）
SK－268・269（東より）
SK－270（南より）
SK－271（南より）
SK－272（西より）
SK－273・287・290（西より）
SK－275（南より）
SK－280（東より）
図版３１　縄文時代（遺構）
SK－282（南より）
SK－285（東より）
SK－286（南より）
SK－291（南より）
SK－292（東より）
SK－293（南東より）
SK－294（南より）
SK－297（西より）
図版３２　縄文時代（遺構）
SK－298（西より）
SK－299（東より）
SK－300（東より）
調査区中央部調査状況（北西より）
SK－301（南より）
SK－307・319（南西より）
SK－308（南より）
SK－320・326（南東より）
図版３３　縄文時代（遺構）
SK－324（西より）
SK－324調査状況（南西より）
SK－328（南より）
SK－328調査状況（南より）
SK－330（南東より）
SK－331（東より）
SK－333（南東より）
SK－334・335（北より）
図版３４　縄文時代（遺構）
SK－334・335調査状況（北より）
SK－339（北より）
SK－343・344・355（西より）
SK－357（東より）
SK－358・368（南より）
SK－359（東より）
SK－360（東より）
SK－364（西より）
図版３５　縄文時代（遺構）
SK－365（東より）
SK－366（南西より）
SK－367（南西より）
SK－370～372（東より）
SK－377（南より）
SK－378（東より）
SK－379（東より）
SK－380～382（南東より）
図版３６　縄文時代（遺構）
SK－384（東より）
SK－391（南より）
SK－399（東より）
SK－401（東より）
SK－402ab（南東より）
SK－412（南より）
SK－422（南より）
SK－423（南より）
図版３７　縄文時代（遺構）
SK－425（西より）
SK－427（西より）
SK－443（東より）
SK－445（南より）
SK－446（南より）
SK－468（北東より）
SK－469（東より）
SK－470（東より）

図版３８　縄文時代（遺構）
調査区東部調査状況（西より）
調査区中央部窪地（北西より）
SK－478（北より）
SK－479・480（北より）
SK－481・487（南東より）
SK－492（東より）
SK－497（東より）
SK－500（北東より）
図版３９　縄文時代（遺構）
調査区中央部窪地（南東より）
SK－518・519（西より）
SK－525（東より）
SK－526・527（東より）
SK－541（北西より）
SK－550（南より）
SK－582・583（北東より）
SK－584b・585・597（南西より）
図版４０　縄文時代（遺構）
SK－584a・587～589・595（西より）
SK－590～592（北より）
調査区中央から西部（北東より）
SK－601（南より）
SK－602・603（南より）
SK－604（南より）
SK－607（南より）
SK－608・609（南西より）
図版４１　縄文時代（遺構）
SK－610・615・616・624（南西より）
SK－611・613（南西より）
SK－612・721（東より）
SK－620～622・649（北より）
SK－620遺物（1）出土状態（北より）
SK－620・621・649・653～655（北東より）
SK－623・637～639（東より）
SK－627（南より）
図版４２　縄文時代（遺構）
SK－628（東より）
SK－629（南東より）
SK－634（東より）
SK－637～639（南西より）
SK－640（南より）
調査区西部（東より）
SK－641・685（北より）
SK－643～645（北西より）
図版４３　縄文時代（遺構）
SK－646（南より）
SK－650（南東より）
SK－651（西より）
SK－684・706・855・856・865（北より）
SK－656～658（南西より）
SK－659（北西より）
SK－684（西より）
SK－687（西より）
図版４４　縄文時代（遺構）
SK－691・692（南より）
SK－693（南より）
SK－694（北東より）
SK－695・696（南東より）
SK－702・703（北より）
SK－702（東より）
SK－706（北西より）
SK－713（南西より）
図版４５　縄文時代（遺構）
SK－717（北西より）
SK－791（北より）
SK－802・940・1028（南より）
SK－816（北より）
SK－818（北より）
SK－819（南より）
SK－820・823（南より）
SK－819調査状況（北東より）
図版４６　縄文時代（遺構）
SK－825・826b・928・933（北東より）
SK－830（南より）
SK－834（東より）
SK－835・844・854（北より）
SK－836・845・846（北より）
SK－837・838・839abc・840（北東より）
SK－842・843（南東より）
SK－847～849（北より）
図版４７　縄文時代（遺構）
SK－849（東より）
SK－850・853・862（北より）
SK－852（北西より）
SK－853（南より）
SK－868・869（北より）
SK－872（南西より）
SK－877・888・890・921・927・931・1001（南西より）
SK－881（南より）
図版４８　縄文時代（遺構）
SK－883（西より）
SK－884（南西より）
SK－885（東より）
SK－888（南西より）
SK－891・893（北東より）
SK－892（東より）
SK－894（東より）
SK－900（東より）
図版４９　縄文時代（遺構）
SK－901（北東より）
SK－907（北より）
SK－908・909（北より）
SK－909（南より）
SK－910・911・950・967（北東より）
SK－912・913（北東より）
SK－888・923・926・1001・1003（西より）
SK－927（西より）
図版５０　縄文時代（遺構）
SK－928・933（北東より）
SK－932（東より）
SK－934（南より）
SK－939（北より）
SK－943・991（南東より）
SK－944（南西より）
SK－948（東より）
SK－949（東より）
図版５１　縄文時代（遺構）
SK－951～953・969（北東より）
SK－956（東より）
SK－956遺物（1）出土状態（北より）
SK－957（東より）
SK－958（北東より）
SK－959（北東より）
SK－960（北東より）
SK－961（北東より）
図版５２　縄文時代（遺構）
SK－962（東より）
SK－963（東より）
SK－965（東より）
SK－968（東より）
SK－982調査状況（南東より）
SK－982遺物（2）出土状態（南より）
SK－982遺物（1・6）出土状態（東より）
SK－982（南東より）
図版５３　縄文時代（遺構）
SK－983（北東より）
SK－987・988・1000（南より）
SK－993～995（東より）
SK－998・999（南より）
SK－1004（南より）
SK－1016（東より）
SK－1021（南西より）
SK－1022（西より）

図版５４　縄文時代（遺構）
SK－1023（西より）
SK－1024（西より）
SK－1025（東より）
SK－1026（南より）
SK－1027セクションA－A′（南東より）
SK－1031（北より）
SK－1033（北東より）
SK－1035（南より）
図版５５　縄文時代（遺構）
SK－1037（北より）
SK－1038・1054（北より）
SK－1039（北より）
SK－1047（北より）
SK－1048（北より）
SK－1050（北西より）
SK－1055（東より）
SK－1057調査状況（東より）
図版５６　縄文時代（遺構）
SK－1057遺物（1）出土状態（南より）
SK－1057（東より）
SK－1058・1059セクションA－A′（南東より）
SK－1058・1059調査状況（南より）
SK－1058遺物（1）出土状態（西より）
SK－1059遺物（8）出土状態（東より）
SK－1064調査状況（南西より）
SK－1064・1078b（北東より）
図版５７　縄文時代（遺構）
SK－1065（北東より）
SK－1072・1073（西より）
SK－1078a・1079・1101（東より）
SK－1079遺物（1～3・5・9）出土状態（北東より）
SK－1085（北より）
SK－1086・1093（東より）
SK－1094・1140（西より）
SK－1101（北西より）
図版５８　縄文時代（遺構）
SK－1101遺物（1～3・6～9）出土状態（北東より）
SK－1103・1104（西より）
SK－1104調査状況（南より）
SK－1104（南東より）
SK－1111（東より）
SK－1112・1151～1153・1156（北より）
SK－1116・1117（南西より）
SK－1118調査状況（西より）
図版５９　縄文時代（遺構）
SK－1118調査状況（南西より）
SK－1118遺物（1～3）出土状態（南西より）
SK－1119調査状況（北より）
SK－1119（北より）
SK－1119遺物（2）出土状態（北より）
SK－1130（南より）
SK－1133（南東より）
SK－1142・1143（東より）
図版６０　縄文時代（遺構）
SK－1142・1143調査状況（南より）
SK－1144（西より）
SK－1146（南より）
SK－1147（西より）
SK－1149（西より）
SK－1160（南より）
SK－1161・1162（南より）
SK－1163（南東より）
図版６１　縄文時代（遺構）
F－19グリッド周辺調査状況（南より）
SK－1164・1165（北東より）
SK－1164・1265・1318b（南東より）
SK－1165・1166・1251・1252・1254・1255・1266c（南西より）
G－19グリッド周辺（北より）
SK－1167a・1168・1170・1302・1307・1315（南より）
SK－1175（西より）
SK－1179・1180（南より）
図版６２　縄文時代（遺構）
SK－1182b（南より）
SK－1184（南東より）
SK－1185（南東より）
G－17グリッド周辺調査状況（北西より）
SK－1187調査状況（東より）
SK－1187（西より）
SK－1188（7）出土状態（北より）
SK－1189（南より）
図版６３　縄文時代（遺構）
SK－1190（東より）
SK－1192・1193（北西より）
SK－1194（北西より）
SK－1196（南西より）
SK－1199・1200（北東より）
SK－1201（北より）
SK－1208（西より）
SK－1209（西より）
図版６４　縄文時代（遺構）
SK－1210（西より）
SK－1220（北西より）
SK－1223（西より）
SK－1224b（北西より）
SK－1234・1235（北西より）
SK－1236（北より）
SK－1258・1330（南西より）
SK－1259b（南より）
図版６５　縄文時代（遺構）
SK－1260a・1263・1264（北より）
SK－1263（北東より）
SK－1260a・1263（北より）
SK－1263調査状況（北より）
SK－1273（西より）
SK－1273遺物（9・10）出土状態（西より）
SK－1274（北より）
SK－1275・1276（西より）
図版６６　縄文時代（遺構）
SK－1277～1280・1282・1283・1296・1300（南より）
SK－1279・1280・1282・1283・1296（北より）
SK－1278（北より）
SK－1284（北西より）
SK－1285（北西より）
SK－1287（西より）
SK－1291（西より）
SK－1289・1295・1299（南西より）
図版６７　縄文時代（遺構）
SK－1290・1292（北西より）
SK－1297・1298（西より）
SK－1302・1307（東より）
SK－1308・1318a・1319（東より）
SK－1308（東より）
SK－1308調査状況（西より）
SK－1310（北西より）
SK－1310遺物（1・2・6）出土状態（北西より）
図版６８　縄文時代（遺構）
SK－1311・1313・1314（南東より）
SK－1322・1323（南東より）
SK－1324・1327（南東より）
SK－1325（南より）
SX－1遺物（9・11・18・19）出土状態（西より）
南那須町大里自治会・大里子供育成会見学
南那須町教職員研修会視察
南那須町教育委員会現地見学会
図版６９　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版７０　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版７１　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版７２　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版７３　縄文時代（遺物）
縄文土器

図版７４　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版７５　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版７６　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版７７　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版７８　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版７９　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版８０　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版８１　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版８２　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版８３　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版８４　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版８５　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版８６　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版８７　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版８８　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版８９　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版９０　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版９１　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版９２　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版９３　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版９４　縄文時代（遺物）
縄文土器
図版９５　縄文時代（遺物）
縄文土器展開写真
図版９６　縄文時代（遺物）
縄文土器展開写真
図版９７　縄文時代（遺物）
縄文土器展開写真
図版９８　縄文時代（遺物）
縄文土器展開写真
図版９９　縄文時代（遺物）
縄文土器展開写真
図版１００　縄文時代（遺物）
縄文土器展開写真
図版１０１　縄文時代（遺物）
縄文土器展開写真
図版１０２　縄文時代（遺物）
縄文土器展開写真
図版１０３　縄文時代（遺物）
縄文土器展開写真
図版１０４　縄文時代（遺物）
縄文土器展開写真
図版１０５　縄文時代（遺物）
動物意匠把手
蓋
図版１０６　縄文時代（遺物）
土製円盤
図版１０７　縄文時代（遺物）
土製円盤
図版１０８　縄文時代（遺物）
土錘・土製品
土偶
図版１０９　縄文時代（遺物）
石鏃・石錐
掻削器
図版１１０　縄文時代（遺物）
掻削器
石匙・石錘・石核
図版１１１　縄文時代（遺物）
磨製石斧
図版１１２　縄文時代（遺物）
打製石斧
図版１１３　縄文時代（遺物）
打製石斧
図版１１４　縄文時代（遺物）
打製石斧
図版１１５　縄文時代（遺物）
打製石斧
図版１１６　縄文時代（遺物）
打製石斧・礫器
磨石
図版１１７　縄文時代（遺物）
磨石
図版１１８　縄文時代（遺物）
磨石
図版１１９　縄文時代（遺物）
磨石
図版１２０　縄文時代（遺物）
磨石
図版１２１　縄文時代（遺物）
磨石
石皿
図版１２２　縄文時代（遺物）
石皿
図版１２３　縄文時代（遺物）
石皿
石皿・台石
図版１２４　縄文時代（遺物）
台石
石棒
図版１２５（上）　縄文時代（遺物）
石棒・石剣・石製品
図版１２５（下）　圃場整備事業前後の状況
圃場整備事業前の状況（東より）
圃場整備事業前の状況（南西より）
圃場整備事業後の状況（東より）
圃場整備事業後の状況（南より）
図版１２６　古墳時代から平安時代（遺構）
SI－1（南より）
SI－1カマド（南より）
SI－1掘り方（南西より）
SI－1調査状況（北西より）
SI－3（南より）
SI－3カマド（南より）
SI－3掘り方（南より）
SI－4（南東より）
図版１２７　古墳時代から平安時代（遺構）
調査区中央から東部（北西より）
SI－5ab（南より）
SI－5aカマド（南より）
SI－5b遺物（24）出土状態（北より）
SI－5ab調査状況（南西より）
SI－6（南より）
SI－6カマド（南より）
SI－6遺物（2・3・6）出土状態（南西より）
図版１２８　古墳時代から平安時代（遺構）
SI－7・9（南より）
SI－8（南より）
SI－8カマド（南より）
SI－10（北東より）
SI－11（北より）
SI－12（南より）
SI－12遺物（1）出土状態（南西より）
SI－13（南より）

図版１２９　古墳時代から平安時代（遺構）
SI－14（南より）
SI－14床下（南東より）
SI－15（南より）
D－9グリッド周辺調査状況（東より）
SI－16・19（南より）
SI－16・19カマド（南より）
SI－18（南より）
SI－18カマド（南より）
図版１３０　古墳時代から平安時代（遺構）
SI－23（南より）
SI－25（南より）
SI－25カマド（南より）
SI－25掘り方（南東より）
SI－26（南より）
SI－28（南より）
SI－28カマド（西より）
SI－28遺物（4）出土状態（南西より）
図版１３１　古墳時代から平安時代（遺構）
SI－29（南西より）
SI－29カマド遺物（1・2・6）出土状態（南西より）
SI－29P1遺物（5・7）出土状態（南より）
SI－29P1調査状況（西より）
SI－29遺物（3・4）出土状態（北西より）
SI－30（南西より）
SI－30カマド（南西より）
SI－31（南より）
図版１３２　古墳時代から平安時代（遺構）
SI－31カマド（南より）
SI－31遺物（16・20）出土状態（東より）
SI－31掘り方（南東より）
SI－31・32調査状況（東より）
SI－32（北西より）
SI－32掘り方（南より）
SI－33（南より）
SI－33カマド（南より）
図版１３３　古墳時代から平安時代（遺構）
SI－33床下（南東より）
SI－34（南より）
SI－34カマド（南より）
SI－34P1・2・9（南より）
SI－35（南より）
SI－35カマド（南より）
SI－35掘り方（南東より）
SI－36（南より）
図版１３４　古墳時代から平安時代（遺構）
SI－36カマド（南より）
SI－36遺物（4）出土状態（北西より）
SI－37・（43）（南より）
SI－37カマド（南より）
SI－37・43掘り方（南東より）
SI－38（南西より）
SI－38カマド（南より）
SI－38遺物（4）出土状態（南東より）
図版１３５　古墳時代から平安時代（遺構）
SI－39（南より）
SI－39カマド（南西より）
SI－40（北西より）
SI－40カマド（西より）
SI－41（西より）
SI－41カマド（西より）
SI－41P3（東より）
SI－42（南より）
図版１３６　古墳時代から平安時代（遺構）
SI－42カマド（南より）
SI－42P7（南より）
SI－45調査状況（北より）
SI－45（南西より）
SI－46、SK－311～313・318・325（南西より）
SI－48セクションA－A′（南より）
SI－50（北より）
SI－50カマド（西より）
図版１３７　古墳時代から平安時代（遺構）
SI－50掘り方（北西より）
SI－51（南西より）
SI－51P5（南西より）
SI－53（西より）
SI－53カマド（西より）
SI－54（西より）
SI－54カマド（西より）
SB－１（南東より）
図版１３８　古墳時代から平安時代（遺構）
SB－2・3（南西より）
SB－2（南西より）
SB－3（南西より）
SB－2・3P1（南より）
SB－2P6（南より）
SB－2P7・8、SB－3P13（南より）
SB－2P10（東より）
SB－2・3P11（南より）
図版１３９　古墳時代から平安時代（遺構）
SB－4ab（北西より）
SB－4aP3、SB－4bP12（西より）
SB－7P1（西より）
SB－7P4（西より）
SK－34（南より）
SK－36（南より）
SK－37（南より）
SK－81（南より）
図版１４０　古墳時代から平安時代（遺構）
SK－99（北東より）
SK－200（南より）
SK－205（南より）
SK－220（南より）
SK－240（南より）
SK－246（南より）
SK－261（東より）
SK－276（南より）
図版１４１　古墳時代から平安時代（遺構）
SK－279（南より）
SK－283（南より）
SK－284（南東より）
SK－295（南西より）
SK－296（東より）
SK－310（南東より）
SK－314（南東より）
SK－323（東より）
図版１４２　古墳時代から平安時代（遺構）
SK－606（南より）
SK－618（北より）
SK－799（東より）
SK－946・997（東より）
SK－1067・1068（南東より）
SK－1135（北東より）
SK－1317遺物（1）出土状態（東より）
発掘作業員一同
図版１４３　古墳時代から平安時代（遺物）
図版１４４　古墳時代から平安時代（遺物）
図版１４５　古墳時代から平安時代（遺物）
図版１４６　古墳時代から平安時代（遺物）
図版１４７　古墳時代から平安時代（遺物）
図版１４８　古墳時代から平安時代（遺物）
図版１４９（上）　古墳時代から平安時代（遺物）
図版１４９（下）　理化学分析（植物珪酸体の顕微鏡写真）

付図

1　小鍋前遺跡　縄文時代全体図
2　小鍋前遺跡　古墳時代から平安時代全体図
3　小鍋前遺跡　時期不明遺構全体図

第１章　調査の経緯

第１節　調査に至る経緯

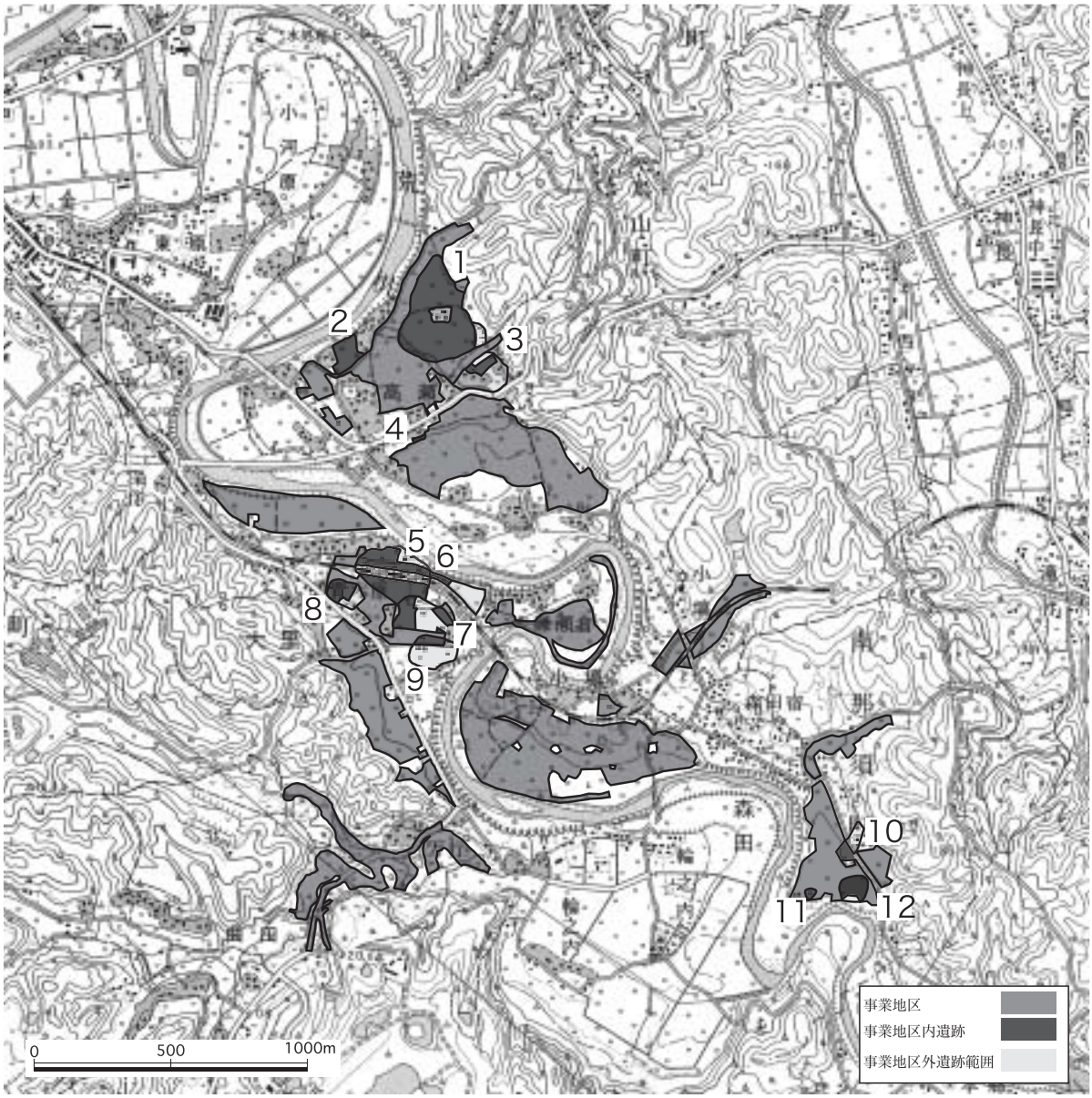
栃木県農政部が実施する経営体育成基盤整備事業は、農業生産を効率的に行うための基盤づくり、農村社会の生活環境の改善、土地利用の整序化などを図るための水田や畑の区画整理事業である。具体的には、各圃場の区画や形質の改良と用排水路や農道の整備などにより、稲作を中心とする農業経営を合理化し、食料の安定供給と農業の持続的発展を図るものである。また、農地、水路、道路の整備などを一体的に実施し、換地制度により土地を移動して農地の規模拡大と集団化を行うものである。併せて、農村社会の生活面での利便性向上、優良農地の確保、及び、無秩序な開発を防ぎ美しい環境の維持・調和に寄与するものでもある。こうした事業の一つである経営体育成基盤整備事業荒川南部地区は、那須烏山市西部、荒川流域の84haを対象として、平成13年度に着手された。

さて、本事業地内には、「南那須町の遺跡」や「南那須町史」に示されているように、複数の遺跡が確認されている。これらの取り扱いについては、県農務部と県文化財課との間で協議が行われてきた。県文化財課は、県農務部の事業照会を受け、平成11、12年度に遺跡の所在調査を実施した。調査の結果、事業地内には、取り扱いについて協議を要すべき12遺跡が改めて確認された。それらは、高瀬の北原遺跡、宮脇遺跡、岡ノ内遺跡、戸崎前遺跡、大里の小鍋前遺跡、久保Ａ遺跡、青木原Ａ遺跡、青木原Ｂ遺跡、烏帽子山遺跡、森田の中塚原Ａ遺跡、中塚原Ｂ遺跡、中塚原Ｃ遺跡である。これら12遺跡全てについて内容を把握するために確認調査を実施することとなった。

確認調査は、平成14年度に（財）とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センターが栃木県教育委員会の委託を受けて実施した。各遺跡とも２ｍ×５ｍの大きさを基本とするトレンチを設定し、原則として地山である粘質ローム層まで掘削し、遺構・遺物の有無とその出土地点や層位を把握した。小鍋前遺跡は、遺跡推定範囲（確認調査対象面積）が30,300㎡である。トレンチは21カ所設定した。確認調査の結果、縄文、古墳から奈良時代の竪穴住居11軒と土坑11基等を発見し、縄文土器、石器、土師器、須恵器等が遺物収納コンテナで２箱分出土した。

県文化財課は、県農務部農地整備課及び南那須農業振興事務所と、本事業地内に所在する小鍋前遺跡をはじめとする12遺跡の取り扱いについて、事業の工法と確認調査の所見を「栃木県埋蔵文化財発掘調査等取扱い基準」に照らし合わせ、協議・調整を行った。その結果、事業地内12遺跡のうち、小鍋前遺跡と北原遺跡については、記録保存のための発掘調査を実施することとなった。なお、両遺跡は同一事業地内に所在することから、同一契約で業務を実施することとなった。

小鍋前遺跡の発掘調査は、平成16年４月２日付け農整第50号「県営圃場整備事業荒川南部地区の文化財発掘調査について」により、県教育長が県農務部長から依頼を受けた。これに基づき、平成16年４月13日付け文財第188号「県営圃場整備事業荒川南部地区における埋蔵文化財発掘調査（北原遺跡・小鍋前遺跡）の委託契約の締結について」により、栃木県は（財）とちぎ生涯学習文化財団と委託契約を締結し、発掘調査を埋蔵文化財センターが実施することとなった。小鍋前遺跡の調査対象面積は10,000㎡である。同様にして、平成17、18年度は整理作業、平成19年度は報告書作成を栃木県から（財）とちぎ生涯学習文化財団が委託を受け、埋蔵文化財センターが実施することとなった。



第１図　経営体育成基盤整備事業荒川南部地区の事業地及び事業地内遺跡位置図

第１表　経営体育成基盤整備事業荒川南部地区内遺跡一覧表

№	遺跡名	所在地	時代	確認面積	発掘面積	備考
1	北原遺跡	高瀬字北原	縄文・古墳・奈良・平安・中近世	65,300㎡	15,800㎡	H16・17発掘
2	宮脇遺跡	高瀬字宮脇	奈良・平安・中世	9,350㎡		
3	岡ノ内遺跡	高瀬字岡ノ内	奈良・平安・中世	6,200㎡		
4	戸崎前遺跡	高瀬字戸崎前	縄文・古墳・奈良・平安	1,000㎡		
5	**小鍋前遺跡**	**大里字小鍋前**	**縄文・古墳・奈良・平安**	**30,300㎡**	**10,000㎡**	**H16発掘**
6	久保Ａ遺跡	大里字久保	縄文・奈良・平安	5,000㎡		
7	青木原Ａ遺跡	大里字青木原	縄文・奈良・平安	4,600㎡		
8	青木原Ｂ遺跡	大里字青木原	縄文・奈良・平安	1,000㎡		
9	烏帽子山遺跡	大里字烏帽子山	縄文・古墳・奈良・平安	10,600㎡		
10	中塚原Ａ遺跡	森田字中塚原	古墳・奈良・平安・中世	4,200㎡		
11	中塚原Ｂ遺跡	森田字中塚原	奈良・平安・中世	3,000㎡		
12	中塚原Ｃ遺跡	森田字中塚原	縄文・奈良・平安・中世	8,600㎡		

第２節　調査の方法と経過

１，発掘調査の方法

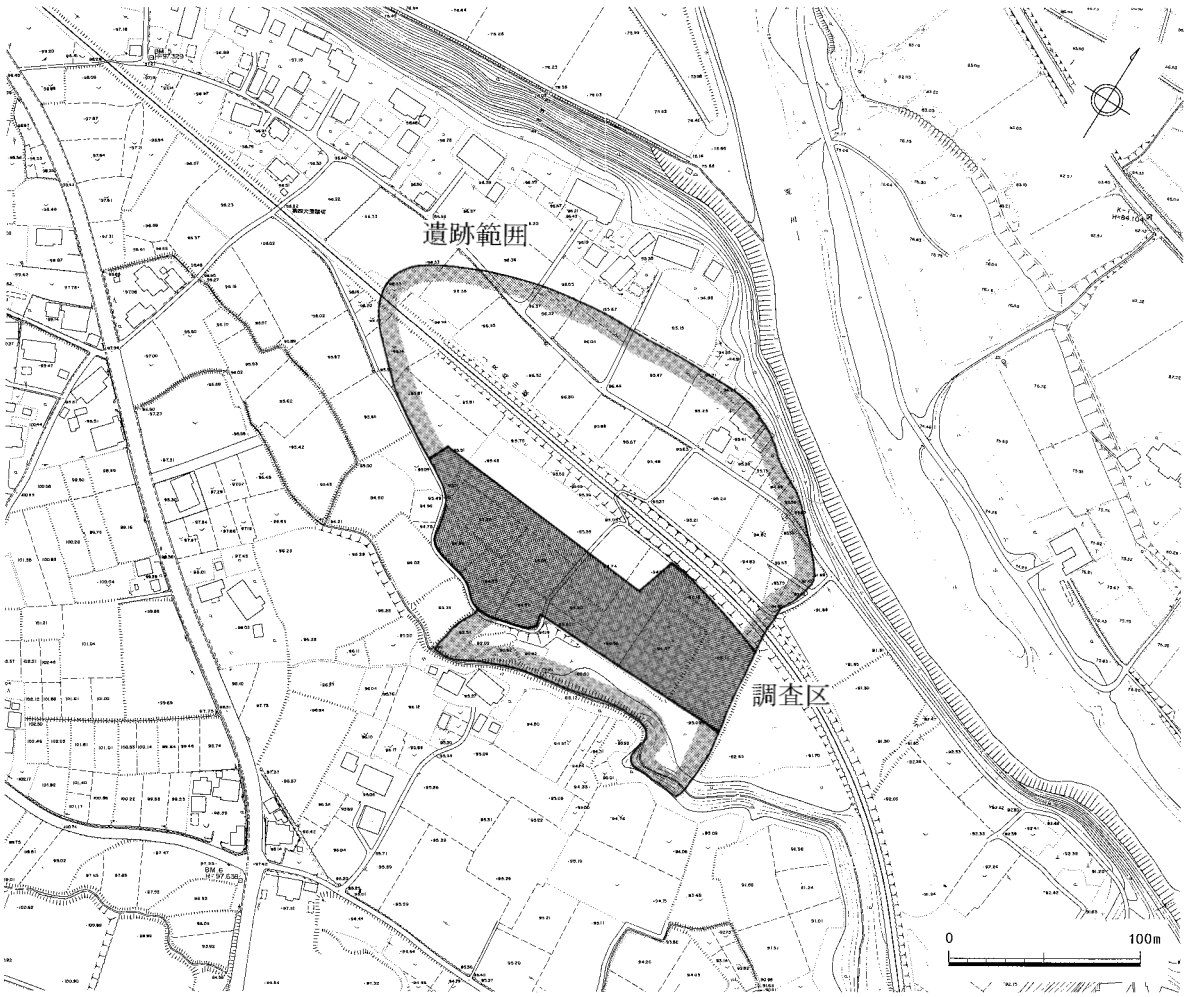
（１）平成16年度発掘調査

調査区は遺跡を東西に貫くJR烏山線の南側の部分で、東西約200m、南北約50m、面積は10,000㎡である。これは、遺跡全体からするとその南部にあたる。

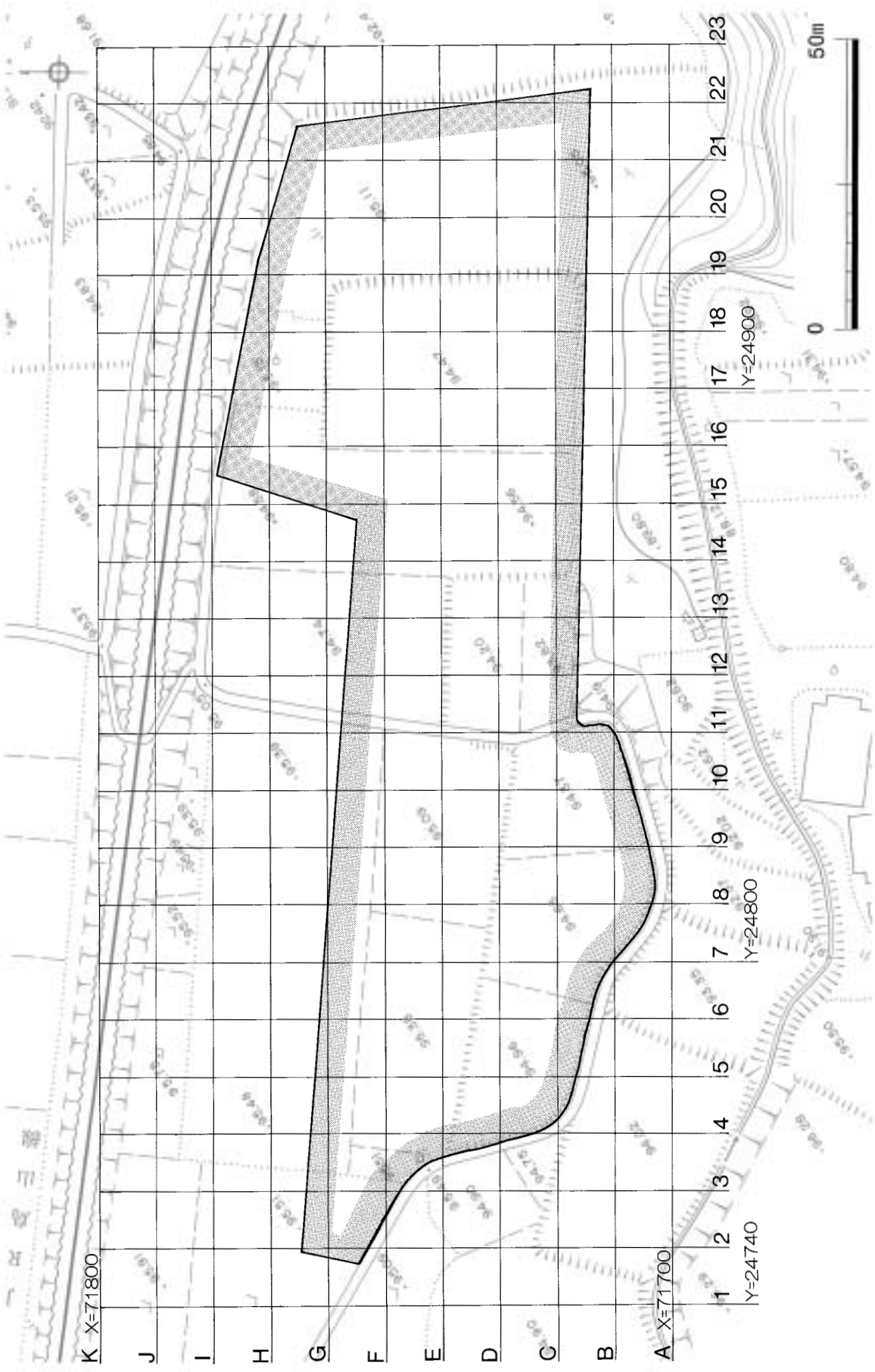
重機による表土除去は、調査区北東端部と一部窪地を除き一気に実施した。これは、調査区が分割されなかったことと、土地所有者をはじめ関係者の御好意により廃土置き場を調査区外に確保できたことによる。調査区北東端部と一部窪地については、周辺の調査終了後重機による表土除去を実施した。

グリッドは、国家座標第Ⅸ系Ｘ＝71,700m、Ｙ＝24,740mを起点（Ａ１）とし、10m単位で南北はアルファベット、東西は算用数字で示した。10m×10mの範囲を示す場合は、その南西コーナーの座標名で呼称することとした。方位は、国家座標の座標北を「北」として採用した。

表土除去及びグリッド設定後、遺構確認作業を行った。遺構配置状況写真を撮影し、１／100の遺構配置図を作成した後、遺構の種別ごと（竪穴住居跡：ＳＩ、土坑：ＳＫ、ＳＢ：掘立柱建物跡、ＳＤ：溝跡、ＳＸ：性格不明遺構）に、概ね東から西に向かって番号を付した。



第２図　小鍋前遺跡調査区図



第３図　調査区及びグリッド配置図

各遺構の調査は、「１，平面形状の再確認、２，セクションベルトの設定、３，覆土掘り下げ、４，土層堆積状況観察と写真・図面による記録、５，セクションベルト除去、６，遺物出土状態・遺構完掘状態の写真・図面による記録、７，遺物取り上げ、８，遺構完掘状態の標高測量」を基本的な手順として行った。写真撮影は、モノクロとカラーリバーサル撮影を平行して行った。図面作成は、原則として縮小率１／20で行い、必要に応じて１／10を併用した。遺構平面図は、平板測量と１ｍ単位の簡易遣り方測量を併用して作図した。

遺構調査終了後、航空写真撮影及び地形測量図化を実施した。次いで、写真・図面による記録類の確認と補足、袋状土坑のオーバーハング部の調査などを実施した。また、遺跡の基本層序把握や理化学分析も行った。なお、最後に深い穴の埋め戻し等行い、現地での調査を終了した。

（２）平成17～19年度整理作業・報告書作成

発掘調査によって、遺物は収納ケースで230箱、遺構図面350枚、モノクロ・カラーリバーサル写真各80本などの資料を得ることができた。整理作業・報告書作成は、これらの資料を対象として行った。手順は、遺物の水洗、注記、接合、実測・拓本、遺構図面整理、そして、トレース、版組。遺物復元と写真撮影、及び遺構・遺物写真図版の作成。原稿作成後、全体割付を行い入校。そして、数度の校正を経て報告書を刊行した。遺構と出土遺物については、縄文時代と古墳時代から平安時代に分け、文章、遺構図、土層注記、遺構一覧表、出土遺物図、遺物一覧表等により説明した。

２，発掘調査の経過

（１）平成16年度発掘調査

年度当初より、諸協議、諸契約など発掘調査実施のための準備を行い、現地での発掘調査は６月から開始した。

６月１日～６月24日　重機による表土除去。

６月８日～７月９日　遺構確認作業、グリッド及びベンチマークの設定、遺構配置状況写真、遺構配置図作成、遺構番号の発番など。

６月28日～12月27日　遺構の発掘、写真撮影、遺構図面作成、遺物取り上げ。

11月１日～11月11日　航空写真撮影の準備と実施。

１月６日～１月14日　調査区北東端部重機による表土除去。

１月17日～３月16日　調査区北東端部遺構確認作業、グリッド及びベンチマークの設定、遺構配置状況写真、遺構配置図作成、遺構番号の発番など。
遺構の発掘、写真撮影、遺構図面作成、遺物取り上げ。基本層序の把握や理化学分析。

２月25日～３月３日　航空写真撮影の準備と実施。

３月17日～３月30日　現地の撤収準備及び撤収。発掘調査収束業務。

（２）平成17～19年度整理作業・報告書作成

平成17年度　遺物の水洗、注記、接合、実測・拓本、遺物復元。遺物写真撮影、遺構写真整理。遺構図面整理。

平成18年度　遺物実測・拓本、トレース。遺物写真撮影。理化学分析。原稿作成。

平成19年度　版組、全体割付、原稿及び図版の校正。本報告書刊行。

第２章　遺跡の環境

第１節　地理的環境

小鍋前遺跡は、栃木県東部の那須烏山市にある。那須烏山市は県都宇都宮市の東方約23㎞に位置する。北は那珂川町、西はさくら市と高根沢町、南は市貝町と茂木町、東は茨城県と接している。市域は、その東部を南北に国道294号が貫き、主要地方道宇都宮烏山線や烏山矢板線などがある。また、JR烏山線が宇都宮、烏山間を走っており、本市域内には鴻野山から烏山まで５つの駅がある。遺跡最寄りの小塙駅から宇都宮駅へは約40分の距離にある。こうした環境にもより、歴史と伝統に彩られ自然豊かな本市は、農業は勿論、近年の企業進出や宇都宮テクノポリスの支援地域として、多方面に渡る調和のある発展がみられる。

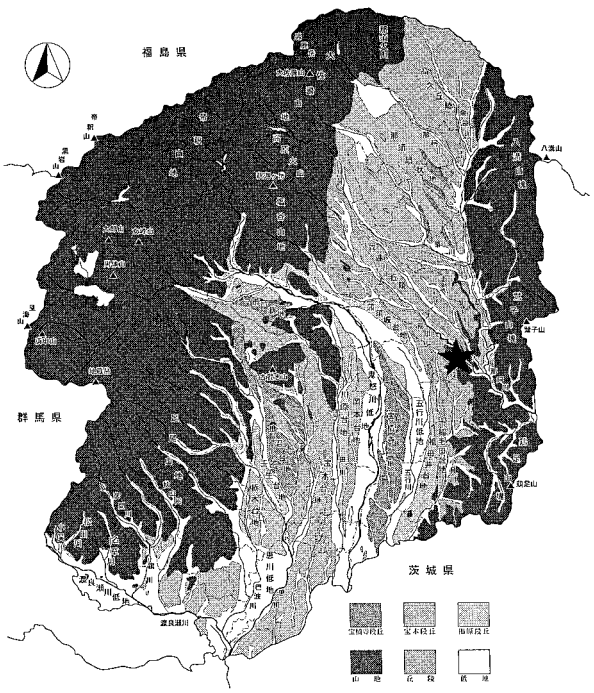
遺跡の所在地は、那須烏山市大里字小鍋前212ほかである（第１図）。南那須の市街地を通る主要地方道宇都宮烏山線を大金駅から東進し旧荒川中学校前交差点を南に折れて約700m、ＪＲ烏山線の踏切を渡り更に線路に沿って800m程行くとその北側一帯が遺跡である。また、JR烏山線では、宇都宮方面から烏山へ向かう途中、大金駅を過ぎて1,600m程行ったところ、切り通しが始まるあたり一帯が遺跡である。

さて、栃木県は関東平野の北部に位置し、地形は大きく八溝山地（東部山地）、関東平野北縁部（中央部低地）、下野山地・足尾山地（西部山地）からなる。遺跡は、八溝山地と関東平野北縁部の喜連川丘陵の境界付近にある。そして、両地形の境を南流するのが那珂川で、最終的には鹿島灘で太平洋へ注ぐ。那珂川に合流する八溝山地の各河川は、北東から南西へ流れる。喜連川丘陵を数条の丘陵列に分けながら流れる江川や荒川などは、北西から南東へ流れて那珂川に合流する。

遺跡は、本県東部を南流する那珂川の支流である荒川の右岸に所在する。当地は、喜連川丘陵の一部である南那須丘陵の範囲である。そして、下刻作用が著しい荒川により、幅１～1.5㎞の台地下位面及び氾濫平野や河原よりなる低地が、大きく蛇行する荒川に沿って北西から南東に延びる。遺跡は、こうした丘陵裾部か



第４図　栃木県の位置



第５図　栃木県の地形概念図


大滑谷浅見台地
鹿子畑丘陵
下川井藤田台地
南那須丘陵
根本丘陵
荒川低地
那珂川低地
鷲子山山地
仁井田台地
五行川低地
稲毛田台地
南那須町
鎌倉山山地
0
2
4km

第６図　周辺の地形

ら三角形状に突出した台地下位面に立地している。その平坦面の範囲は、丘陵裾部の長さ約800m、裾部から河川までの距離約500mである。

遺跡は、東西270m、南北180mの不整形な範囲が想定されており、調査区はその南部に当たる（第２図）。地形的には、遺跡の北東側は荒川、東側は３m弱の段差、南側は荒川に合流する小河川に制約される。荒川と遺跡の比高は約20mで崖となっている。遺跡東側の３m程の段差は、後生の人工的な改変によるものと考えられ、本来は台地下位面内のやや急な傾斜面であったろう。南側の小河川は、遺跡西部では用水路と水田の形状により僅かに認識できる程度であるが、遺跡東端部では幅15m程、遺跡との比高は約５mと小谷を形成する。また、遺跡の北側は、50m程で荒川の旧河道に伴う崖がある。崖下の水田面と遺跡の比高は約20mである。西側には地形的な制約は認められない。

遺跡範囲内の現況地形は、西から東に向かってはほぼ平坦、ないし若干東が下がる緩斜面である。南北方向は中央部、具体的にはJR烏山線近辺が高まる緩やかな馬の背状である。但し、調査区中央部南より（D12グリッド付近）は、周囲に比べてやや窪んでいる。また、この付近は南側小谷が若干北西へ張り出していることも確認できる。調査区西端部（Ｅ３グリッド）周辺は高低差はないものの、南側小谷が南西から入り込む可能性を推定させる畦道がある。遺跡の標高は95～96m、調査区中央部南より付近が94m前後である。なお、本遺跡の現況は水田及び畑地等である。

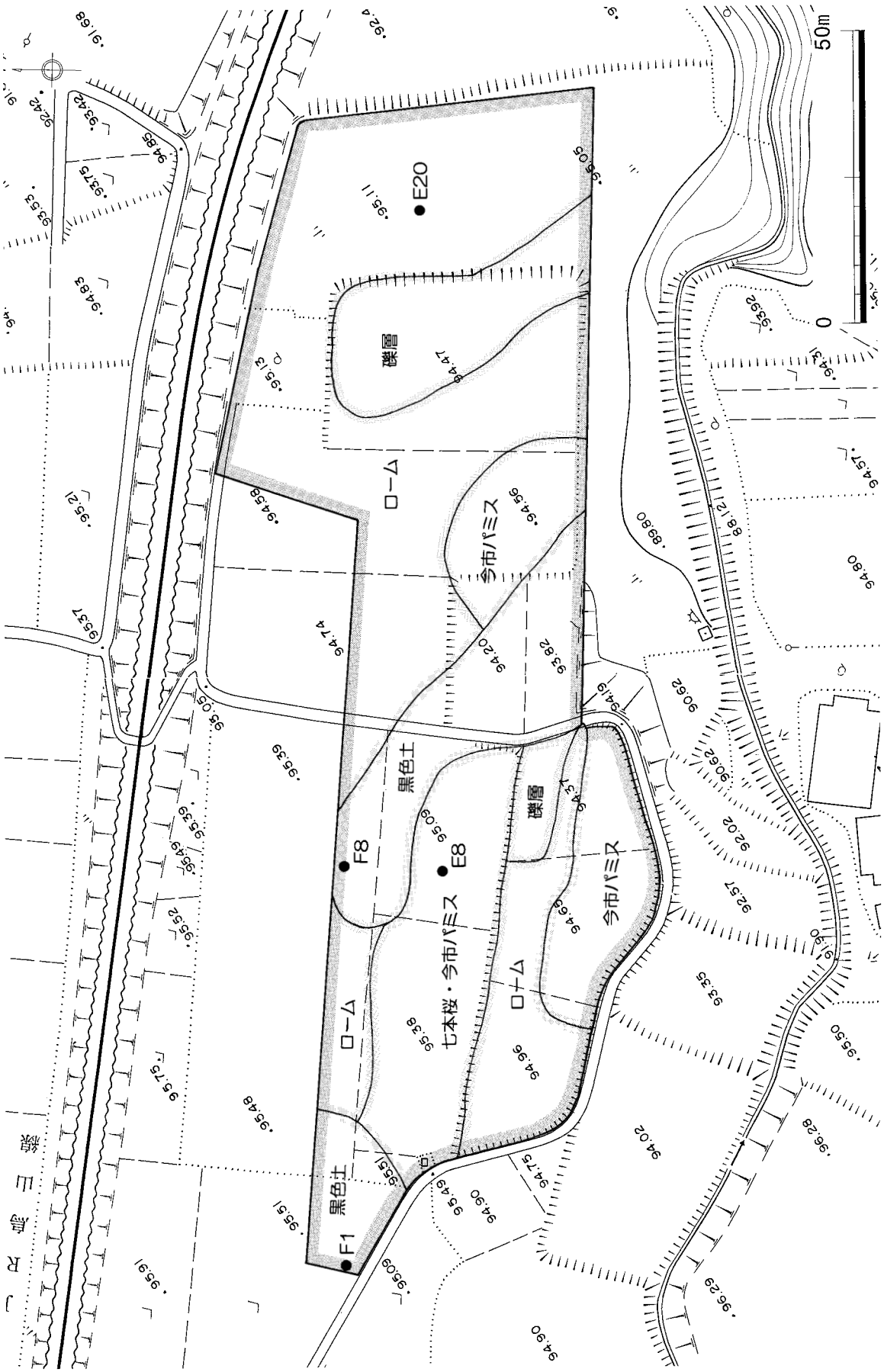
今回の調査区は遺跡範囲の南部である。表土除去・遺構精査後の調査区内地形は概ね先の現況地形に一致する。ここでは遺構確認面の状況を含めて概観する。調査区は東西に長く、全体としては北から南に向かって緩やかに傾斜する。比高は１～1.5m程である。但し、一様ではなく、調査区西部には東西方向（Ｅ３～D11）に50㎝程の段差、調査区東部中央には東西から南北方向に直角に折れ曲がる（G16～G19～C19）50～70㎝程の段差が見られる。前者の段差の南側にはロームや礫層、後者の段差の南西側には礫層が見られる。両地区の南及び南西側には今市パミスが見られることから、段差際のロームや礫層範囲は、なだらかな傾斜面が本来続いていたと考えられる。その範囲については遺構も散在的である。

一方、調査区西端部（Ｆ３グリッド周辺）と調査区中央部の北西から南東にかけて（Ｆ８～E10～C12グリッド周辺）は、周辺地区と同レベルでは地山は見られず、黒色土が確認された。黒色土下は周辺よりなだらかに窪み、七本桜・今市パミスまたはロームないしその相当層（調査区中央部では乳白色粘質土）が存在する。よって、現況地形で想定されたように、上記２カ所の黒色土範囲は遺跡南側の小谷に続く窪地である。窪地の埋没時期は、調査区中央部が縄文時代後期以降古墳時代後期以前と考えられる。それは、火山灰分析により黒色土範囲内の遺構確認面付近に６世紀初頭に噴火したと考えられる榛名二ツ岳渋川テフラ、または６世紀中葉に噴火したと考えられる榛名二ツ岳伊香保テフラが含まれること、黒色土を掘り込んで古墳時代後期以降の竪穴住居が作られていること、窪地の底面近くで縄文時代中後期の土坑が確認されたことなどによる。言い換えれば、縄文時代は窪地が明瞭であったが、古墳時代後期以降はかなり埋まってしまったと考えられる。調査区西端部の窪地埋没経過は、遺構も少なく、調査区中央部程明確ではない。

本遺跡の基本土層はＦ１、Ｅ８、Ｆ８、E20グリッドで確認した。また、縄文時代中期末葉から後期前葉の遺跡環境については、土坑覆土の植物珪酸体分析を行った。結果は附章に示す。

（参考文献）

株式会社古環境研究所　2005　『自然科学分析調査報告書　小鍋前遺跡』
鈴木陽雄・阿久津純ほか　1989　『日曜の地学９　栃木の地質をめぐって』　築地書館株式会社
栃木県企画部資源対策課　1991　『土地分類基本調査　烏山・常陸大宮』
栃木県企画部資源対策課　1991　『土地分類基本調査　喜連川・大子』
南那須町史編纂委員会　2000　『南那須町史　通史編』



第７図　調査区遺構確認面地質図

第２節　歴史的環境

今回の発掘調査と南那須町史等の成果によれば、小鍋前遺跡は縄文時代と古墳時代から平安時代の集落及び遺物散布地である。本遺跡が所在する南那須には262の遺跡がある。この内、旧石器が出土している遺跡が５、縄文時代の遺跡が90、弥生時代の遺跡が７、古墳時代の遺跡が103（古墳・古墳群・横穴が44、集落が59）、奈良・平安時代の遺跡が175、中近世の遺跡が74である。また、縄文時代の遺跡の内、67遺跡は古墳時代や奈良・平安時代の遺跡でもあり、2/3以上が複合遺跡である。こうしたことから、本遺跡の有り様は周辺地域の遺跡の状況と同様である。また、殆どの遺跡は、丘陵縁辺部や丘陵を流れる河川によって形成された台地下位面や低地に立地する。本遺跡は荒川右岸に形成されたその典型的な遺跡と言える。

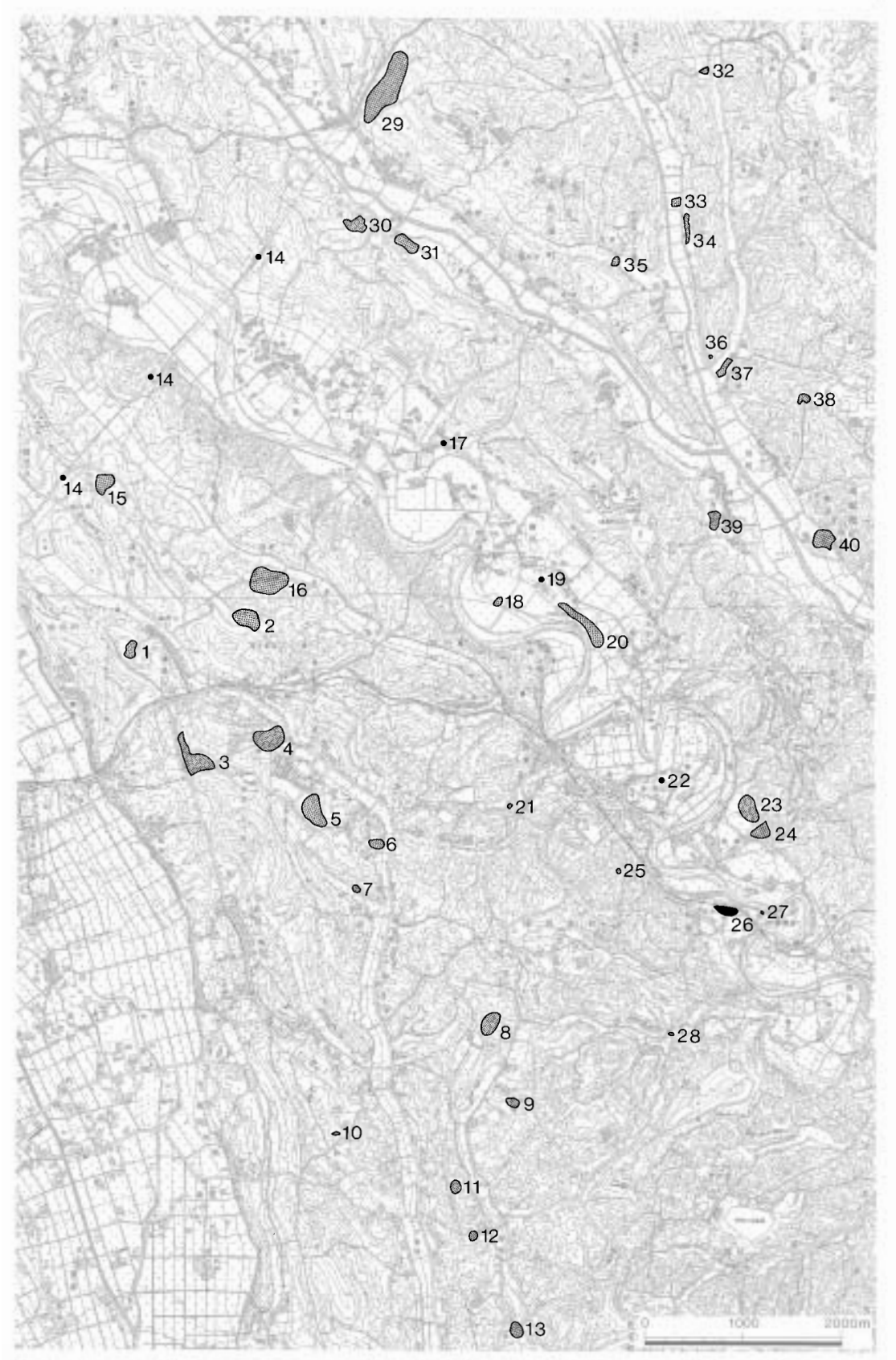
南那須の遺跡を時代別に概観する。旧石器時代は曲畑遺跡、弥五郎遺跡、馬屋久保遺跡、後久保Ｂ遺跡などがあり、エンドスクレイパー、尖頭器、彫刻刀形石器、台形様石器などが発見された。

縄文時代は、草創期の遺跡がない。早期は北の内遺跡、塩谷入遺跡、横道遺跡、大用地前遺跡、細内遺跡、櫻内Ｃ遺跡などがある。前期は遺跡数が増加し、大用地前遺跡、塩谷入遺跡、後久保Ｂ遺跡は拠点的な集落と推定されている。中期は新道平遺跡、曲畑遺跡、小鍋前遺跡、荻ノ平遺跡など大規模な拠点的な集落が各地に見られる。いずれも発掘調査が実施されており、竪穴住居や袋状土坑などの遺構や、縄文土器や石器などの遺物が多量に発見されている。所在地は、新道平遺跡が南那須北部、江川左岸の喜連川丘陵平坦面、曲畑遺跡が南那須南部、大川と小貝川に挟まれた丘陵上、小鍋前遺跡が南那須南東部、荒川右岸の台地下位面、荻ノ平遺跡が南那須西部、大川と五行川の支流である井沼川に挟まれた丘陵上である。いずれも喜連川丘陵を開析する中小河川と関連した占地である。また、相互に５～７，８㎞の距離がある。後期も前葉はこの傾向は続く。晩期は少なく小鍋前遺跡や西山遺跡で見られる程度である。

弥生時代は少ない。新道平遺跡、大和久遺跡、丸山Ａ遺跡、桜窪遺跡、塩谷入遺跡、斧窪遺跡で見られる程度である。

古墳時代は、６世紀前半までの古墳や集落はあまり確認されていない。しかし、発掘調査が行われた黒尾原Ａ遺跡では５世紀前後の溝と土師器高坏や坩形土器が発見された。また、北原遺跡では古墳時代前期の方墳や竪穴住居が発見された。古墳時代の本地域に本格的な遺跡の形成が見られるのは、６世紀からである。６世紀前半の東原古墳群は小型の円墳群だが、横穴式石室普及以前の先行的な古墳群と考えられる。６世紀後半になると全長30m前後の戸田古墳群１号墳、大和久古墳群林先支群１号墳・同５号墳、金堀塚古墳群１号墳などの前方後円墳も作られる。これらは、複数の円墳の中心として存在し円筒埴輪が伴い、河岸段丘上に作られるなどの共通要素がある。また、この時期、各地に横穴式石室を持つ古墳の築造が見られる。大和久古墳群はその代表で、曲畑遺跡１号墳や久保前古墳などもある。更に、本地域は県内でも屈指の横穴墓密集地域で、現在８群77基が確認されている。小志鳥横穴墓群や岩穴横穴墓群はその代表で、築造は７世紀初めにはじまり、７世紀前半をピークとし８世紀初めまで続く。こうした古墳の築造は本地域の中小河川流域への水田開発などの進展を示す。従って、集落もその多くは６世紀以降に形成された。鳥の子沢遺跡、金草遺跡、宮前遺跡、後俵遺跡、三百目遺跡、北原遺跡、岡ノ内遺跡、小鍋前遺跡、久保Ｂ遺跡、西道地遺跡、大赤根遺跡などがある。

奈良・平安時代は、本地域の開発が本格化したことが遺跡数の急増から解る。また、東山道駅路や芳賀郡から塩屋郡まで延びる伝路の可能性が指摘されるタツ街道、そして、両者の交差点にある芳賀郡衙別院や新日（田）駅家などの可能性が考えられる長者ヶ平遺跡など、古代の重要遺跡が近隣に所在することも注目さ



第８図　南那須の主な遺跡

れる。更に、９世紀前半の須恵器窯跡である銭神窯跡群の存在も見逃せない。集落は、古沢遺跡、宮田遺跡、北原遺跡、岡ノ内遺跡、小鍋前遺跡、小舘山遺跡をはじめ極めて多い。今回の圃場整備対象地区内の遺跡も全て古代の集落、または遺物散布地である。また、南那須全体の遺跡の動態、特に荒川流域では、古代の遺跡が顕著に増加していることが解る。図示していないが、小鍋前遺跡を中心とした荒川流域の幅1.7㎞、長さ５㎞の範囲の時代別遺跡数は、縄文時代８遺跡、古墳時代12遺跡、奈良・平安時代34遺跡、計49遺跡である。南那須全体に比べ、荒川流域は奈良・平安時代の遺跡数の極端な増加傾向が認められる。

以上の状況から、小鍋前遺跡の縄文時代中期中葉から後期前葉については、新道平遺跡、荻ノ平遺跡、曲畑遺跡などと同様、各河川流域あるいは丘陵または台地縁辺に形成された規模の大きな集落と考えられる。古墳時代後期から平安時代については、荒川流域の周辺同時代集落と同様、古墳時代後期以降、やや急速に形成された集落と見ることができる。

第２表　南那須の主な遺跡

No	遺　跡　名	所　在　地	立地	種　　別	時　　期
1	細内遺跡	鴻野山字細内	丘陵	散布地	縄文（前・中）・奈良・平安
2	後久保B遺跡	鴻野山字後久保	丘陵	集落跡	縄文（前・中）
3	荻ノ平遺跡	鴻野山字荻ノ平	丘陵	散布地	縄文（中）・奈良・平安
4	大用地前遺跡	鴻野山字大用地前	丘陵	散布地	縄文（前）
5	弥五郎遺跡	福岡字弥五郎	丘陵	散布地	縄文（前・中）
6	丸山A遺跡	福岡字丸山	丘陵	散布地	縄文（前・中）・弥生（中）・古墳
7	西道地遺跡	福岡字西道地	丘陵	散布地	古墳（後）
8	金堀塚古墳群	曲畑字金堀	丘陵	古墳	古墳
9	大赤根遺跡	曲畑字大赤根	丘陵	散布地	縄文（中）・古墳
10	西山B遺跡	八ケ代字西山	丘陵	散布地	縄文（晩）・古墳・奈良・平安
11	斧窪遺跡	曲畑字斧窪	丘陵	散布地	弥生（後）・古墳
12	櫻内C遺跡	曲畑字櫻内	丘陵	散布地	縄文（早・前）・平安
13	曲畑遺跡	曲畑字兄弟久保	丘陵	集落跡・古墳	縄文（中）・古墳（後）
14	馬屋久保遺跡・東山道	鴻野山字馬屋久保・鍛冶ケ沢	丘陵・低地	古道	奈良・平安
15	長者ケ平遺跡	鴻野山字長者ケ平	丘陵	散布地	縄文・奈良・平安
16	塩谷入遺跡	三箇字塩谷	丘陵	散布地	縄文（早・前・中）・弥生（中・後）
17	戸田古墳群1号墳	三箇字戸田	段丘	古墳	古墳
18	三百目遺跡	藤田字三百目	低地	集落跡	古墳・奈良・平安
19	久保前古墳	藤田字久保前	段丘	古墳	古墳
20	大和久古墳群・遺跡	南大和久字林先・寺田	段丘	古墳	古墳
21	横道遺跡	田野倉字横道	丘陵	散布地	縄文・奈良・平安
22	東原古墳群	東原字中原前	台地	古墳	古墳
23	北原遺跡	高瀬字北原	丘陵	散布地	奈良・平安・中世・江戸
24	岡ノ内遺跡	高瀬字岡ノ内	丘陵	散布地	奈良・平安・中世
25	小館山遺跡	高瀬字小館山	丘陵	散布地	奈良・平安
26	**小鍋前遺跡**	**大里字小鍋前**	**丘陵**	**散布地**	**縄文（中・後）・古墳・奈良・平安**
27	久保B遺跡	大里字久保	丘陵	散布地	古墳
28	岩穴横穴墓群	曲田字岩穴	丘陵	横穴	古墳
29	新道平遺跡	上川井字新道平	丘陵	散布地	縄文（前・中）・弥生（中）
30	桜窪遺跡	上川井字桜窪	丘陵	散布地	縄文（中）
31	黒尾原A遺跡	上川井字黒尾原	丘陵	散布地	奈良・平安
32	鳥の子沢遺跡	志鳥字鳥の子沢	丘陵	散布地	縄文・弥生（中）・古墳
33	宮田遺跡	志鳥字宮田	低地	散布地	奈良・平安
34	古沢遺跡	志鳥字古沢	丘陵	散布地	奈良・平安・中世
35	金草遺跡	志鳥字金草	丘陵	散布地	縄文・古墳
36	小志鳥横穴墓群	志鳥字小志鳥	丘陵	横穴	古墳
37	北の内遺跡	熊田字北の内	丘陵	散布地	縄文（早）
38	銭神窯跡群	熊田字銭神	丘陵	窯跡	平安
39	宮前遺跡	熊田字宮前	丘陵	散布地	古墳・奈良・平安
40	後俵遺跡	熊田字後俵	丘陵	散布地	古墳・奈良・平安・中世

※1997「栃木県埋蔵文化財地図」に基づき作成。一部改変。

（主要参考文献）
安藤美保ほか　2006・2007　「北原遺跡」『栃木県埋蔵文化財保護行政年報』28・29　栃木県教育委員会
板橋正幸　2007　『長者ヶ平遺跡』　栃木県教育委員会・（財）とちぎ生涯学習文化財団
木下実　1999　『南那須町の遺跡』　南那須町教育委員会
木下実　1999　『曲畑遺跡（写真図版編）』　南那須町教育委員会
後藤信祐　2007　『岡ノ内遺跡』　栃木県教育委員会・（財）とちぎ生涯学習文化財団
津野仁・塚田浩久　2003　『荻ノ平遺跡』　栃木県教育委員会・（財）とちぎ生涯学習文化財団
栃木県教育委員会事務局文化課　1997　『栃木県埋蔵文化財地図』　栃木県教育委員会
南那須町史編纂委員会　1993　『南那須町史・資料編』　南那須町
南那須町史編纂委員会　2000　『南那須町史・通史編』　南那須町

第３章　発見された遺構と遺物

第１節　調査の概要

小鍋前遺跡推定範囲は東西270m、南北180mの不整な楕円形で30,300㎡程である。今回の発掘調査対象面積は10,000㎡で遺跡の南部、全体の約１／３を調査したことになる。調査の結果、縄文時代と古墳時代後期から奈良・平安時代の遺構や遺物が発見された。

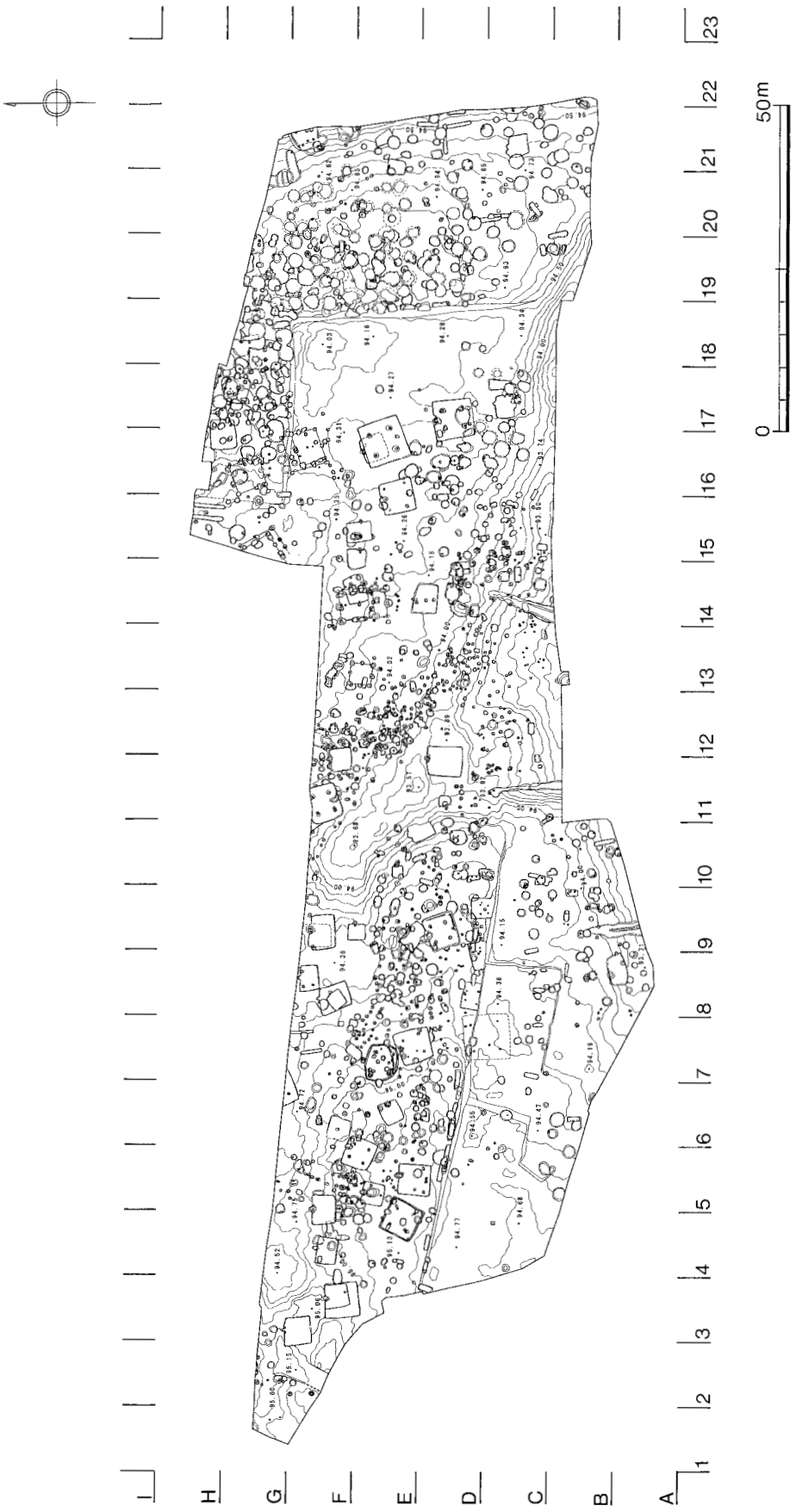
縄文時代　中期中葉から後期前葉を中心とする竪穴住居跡８軒、土坑857基、埋甕９基、陥穴３基、配石遺構１基、集石遺構１基がある。遺物は、中期中葉から後期前半を中心とし前期から後期までの縄文土器、土製品、石器・石製品がある。縄文土器は深鉢を主体とし、浅鉢、鉢、有孔土器、注口土器、台付土器、蓋、器台、ミニチュア等がある。土製品は土錘、土製円盤、土偶がある。石器・石製品は、石鏃、石錐、掻削器、石匙、石錘、磨製石斧、打製石斧、磨石、石皿、台石、石棒などがある。

調査区西部の南半分と調査区東部中央は後世の地形改変が想定され、本来この地区は北側あるいは北東側から地形や遺構が連続していた可能性が高い。一方、調査区中央部の窪地は、もともと窪地であったと考えられる。こうしたことから、本調査区は、遺構の少ない中央部窪地とその周辺と、遺構が多く密集する調査区西部と調査区東部とに分けて考える事ができる。全体的な傾向としては、調査区東部は中期中葉と中期後葉でも古い時期の遺構や遺物が目立ち、それ以降中期後葉から後期前葉は遺構が調査区西部に拡大していくようである。竪穴住居跡は調査区西部を中心に散在的に存在する。この内、SI-24は周溝、柱穴、炉が明確で、作り替えが認められる。SI-57は唯一の複式炉である。土坑は調査区全体に多数認められる。調査区東部のものは袋状土坑を中心とし、SK-90・92・93・125・1101・1263など良好な土器一括資料がある。また、SK-1187は子ピット５基と中央小ピットを有する。調査区西部は円筒形土坑が多い。袋状土坑に比べやや小型で、出土遺物も少ない。また、配石遺構、集石遺構、埋甕も存在する。

古墳時代から平安時代　竪穴住居跡47軒、掘立柱建物跡８棟、土坑49基、井戸２基がある。遺物は、灰釉陶器の埦、長径瓶、須恵器の蓋、坏、高台付坏、短頸壺、甕、土師器の坏、高台付坏、高坏、皿、鉢、甕、台付甕、甑、製塩土器、鉄製品として釘、刀子、手鎌、鎌、石製品として紡錘車、砥石、土製品として土錘、その他支脚等がある。

遺構はほぼ調査区全体に分布する。後世の地形改変の影響が調査区西部南半分と東部中央に見られる。調査区中央部の窪地は縄文時代より埋まり、よりなだらかになっていたと考えられる。古墳時代後期と考えられる竪穴住居跡は調査区西部にある。奈良・平安時代の竪穴住居跡は調査区全体に広がる。規模はSI-３、11等一辺が３mに及ばないものから、SI-5b・34・51等一辺が６mを超えるものまである。また、南北壁に突出部のあるSI-28や東西が極端に長い長方形のSI-50もある。遺物出土状態はまちまちだが、SI-37・43が灰釉陶器をはじめ出土量が多い。SI-33の土錘の多さも目に付く。掘立柱建物跡は中央部やや東寄りに纏まる。井戸と考えられるSK-618・946は調査区西部にある。

時期不明　遺構は土坑597基と溝跡６条である。土坑は、現在の地堺に沿って設けられた長方形のものや規模の小さい小穴状のものが多い。いずれも遺物が出土しなかったか、出土しても混入したものと判断された。また、時期の判明している遺構と重複するがより新しく時期が限定できなかったり、重複関係が明確でなかったりして、時期が決定できなかったものもある。中には縄文時代や古墳時代から平安時代に所属する可能性があるものもあるが、全体としては新しく中近世ないしそれ以降に所属する可能性が高い。


I
H
G
F
E
D
C
B
A
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
0
50m

第９図　遺構配置図

第２節　縄文時代

縄文時代は中期中葉から後期前葉を中心とする竪穴住居跡８軒、土坑857基、埋甕９基、陥穴３基、配石遺構１基、集石遺構１基と遺物がある。遺構や遺物については、図と一覧表により説明し、必要に応じ文章を付した。

土器は、完形品及び完形に近いもの、あるいは特徴的なものについて説明した。全体については、１～13期に分けて一覧表中にその所属時期を示した。１期は中期中葉阿玉台Ⅰａ式期以前、13期は後期中葉加曽利Ｂ式期以降である。少量であり遺構に伴うものも少なく、本報告の主体となる時期の前後の時期ということから各々一括した。２～12期は中期中葉阿玉台Ⅰｂ式期から後期前葉堀之内式期である。土器は質・量共に充実し、多くの土器が遺構に伴う。これらの具体的な時期については、第４章の第24表に示した。

１，竪穴住居跡と出土遺物

竪穴住居は８軒ある。時期は４期阿玉台Ⅲ式期が１軒で、他は９期加曽利ＥⅢ式期以降である。以下、項目に従って説明する。

ＳＩ－２（第10・14図、図版３）

位置　C-21グリッドにある。　重複関係　SK-45より新しい。　形状・規模　直径4.24m以上の円形と推定されるが、大部分が調査区外で判然としない。床面までの深さは38㎝である。　覆土　２・３層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　若干凹凸があるローム地山を床面とする。　ピット　Ｐ１は柱穴の可能性がある。　炉　不明。　遺物　９～11期の土器と小型石皿・器１点があるが遺物量は少ない。土器は深鉢口縁部及び胴部小片である。８は内面が滑らかで反転復元すると器となることから、小型石皿・器とした。

ＳＩ－２０（第10・14・15図、図版３・69・95・105・109・116）

位置　E-９グリッドにある。　重複関係　SK-582・596・633・634より新しく、SI-14より古い。SK-566・589とは新旧関係不明である。　形状・規模　長辺4.13m、短辺2.75mのやや不整な長方形で、床面までの深さは８㎝である。　覆土　１・２層が相当し、１層は自然堆積と考えられる。　床面　凹凸のあるローム地山を直接床面とし、全体的にそれ程堅くない。　ピット・炉　なし。　遺物　12期の土器と蓋、石錐、磨石、台石各１点がある。住居南東部床面直上に人頭大から拳大の礫と共に出土し、完形品を含め出土量は比較的多い。１はほぼ完形の深鉢で、口径10.8㎝、器高17.6㎝である。横位沈線で区画された口縁部は無文化するが、一部胴部と同様の地文が残る。また、左右非対称の緩い山形の突起が一カ所つく。内面には浅い凹線が巡る。胴上部は地文に２段LR横位回転の単節縄文を施し、平行する２本のやや鋭い沈線で弧状、菱形などの文様を描く。沈線間は磨り消された部分も一部認められる。胴上下は横位沈線で明確に区分され、下部は無文化する。底部は平坦でやや外方へ張る。２は口径推定14.5㎝、器高20.2㎝の深鉢である。横位沈線で区画された口縁部には数条の沈線が巡り、内面には一部浅い凹線が巡る。胴上部には平行する２本の沈線で三角形モチーフが描かれる。胴下部は無文化し、底部は張り、若干上げ底気味である。器面は粗れ、文様の詳細は不明である。４は口径推定14.8㎝の深鉢である。細身の横位隆帯で区画された無文の口縁部には「８」の字状貼付文や孔を有する緩やかな山形の突起などがつく。突起間上端面には連続するキザミが施され、内面には凹線が巡る。胴部は、「８」の字状貼付文下に細身の隆帯で渦巻きが施され、平行する沈線で幾何学的モチーフが描かれる。縄文も認められる。５、６は同一個体と考えられる深鉢口縁部である。他の土器に比べ胎土が緻密で焼も良い。内面には口縁部が横位、胴部が縦位にミガキ状の丁寧な調整が施される。横位沈線で区画され

た無文の口縁部には、左右非対称の緩やかな山形の突起とその下部に「８」の字状貼付文が付く。内面には浅い凹線が巡る。口縁直下には平行沈線とその間の矢羽根状の短い集合沈線が横位に施される。また、胴部には、口縁部「８」の字状貼付文から縦位に平行沈線と斜位の短い集合沈線が施され、器面を分割する。方形の区画内には斜位の集合沈線が充填される。胴下部には横位の集合沈線が施される。７は深鉢の口縁部から胴部片である。無文の口縁部は緩やかな波状を呈する。波頂部からは複数の沈線が垂下する。胴部は口縁波頂部下の一対の円孔を中心に集合沈線で半円形が描かれ、そこを起点に沈線群が垂下する。地文は２段LR横位回転の単節縄文である。12は蓋である。把手、中央部、縁辺部に赤彩の痕跡がある。

ＳＩ－２４（第10・11・16図、図版３・106・116・123）

位置　E-７グリッドにある。　重複関係　SK-646・790とは新旧関係不明である。なお、本遺構は付属施設のあり方から一度建て替えが行われている。　形状・規模　長軸推定5.83m、短軸5.05m、建て替え前短軸4.55mの隅丸長方形で、床面までの深さは11㎝である。新旧住居の形状は周溝により確認できた。なお、建て替えの状況は、周溝のあり方から南部へ拡張したものである。　覆土　１・２層は新住居覆土で、自然堆積と考えられる。　床面　ほぼ平坦で比較的堅いIP・SPを床面とする。新旧住居に床面の高低差はない。また、壁際には新旧住居とも幅25～40㎝、深さ10～15㎝の周溝が全周する。　ピット　Ｐ１～15がある。この内、Ｐ１～４は新住居の主柱穴である。Ｐ３に顕著に見られるように、４つのピット全て柱が中央に若干傾くように掘り込まれている。Ｐ５～９は深さがばらつくものの配置から旧住居の主柱穴と考えられる。　炉　新住居に伴う石囲炉が、中央東寄りで確認された。拳大から人頭大の川原石を隅丸方形に配して形成される。西側短辺は大型の台石を一石用いて押さえており、西側短辺より東側短辺が若干扇形に開く。覆土は１層が対応し、２・３層で掘方を埋め戻している。なお、Ｐ10は旧住居の炉掘方の可能性がある。　遺物　９・10期の土器と、土製円盤１点、磨石１点、石皿２点、台石１点がある。土器の出土量は少なく、遺存状態も悪い。８の磨石と10の台石は石囲炉の炉石に転用されている。

ＳＩ－４４（第11・17・18図、図版３・４・69・95・112）

位置　E-５グリッドにある。　重複関係　SI-33より古く、SK-832・890・931・1008・1009より新しい。SK-882a・930、SX-１とは新旧関係不明である。　形状・規模　長軸5.00m、短軸3.90mの楕円形と推定される。壁は確認できなかった。　覆土　確認できなかった。　床面　ほぼ平坦なローム地山を床面とする。　ピット　遺構推定範囲内にＰ１～９があるが、主柱穴は明確ではない。　炉　住居中央やや東寄りに楕円形の石囲炉が確認された。炉石には石皿や台石が転用されている。覆土は１層が対応し、２層で掘方を埋め戻している。　遺物　12期の土器と打製石斧２点、石皿、台石各１点がある。１は東部壁より、床面直上の高さから倒立状態で出土した。口縁部と胴上端部が遺存する深鉢で、口径28.6㎝、残存高13.2㎝である。口縁上端部には沈線が巡り、３単位の連続円形刺突を伴う突起が施される。地文には１段Ｌ横位回転の無節縄文を、間隔を開けて３段施す。突起下には、接点に円形浮文の付く連続キザミのある隆帯と集合沈線のモチーフを施す。口縁部と胴部は沈線の沿う連続キザミのある隆帯で区画される。胴部にも集合沈線でモチーフが施される。胎土は緻密で内面調整も丁寧である。２は浅く細い集合沈線でモチーフが描かれる。内外面とも調整痕が目立つ。３は深鉢の波状口縁部である。無文の口縁部には波頂部から短い鎖状隆帯が垂下する。向かって左側には楕円形の孔とその上部に連続したキザミがある。胴部は、両側に沈線を伴う２段LRの単節縄文で三角形等の幾何学文を表出し、内部を無文化、あるいは集合沈線で充填する。９は同種の胴部と考えられる。この他、無文地に蛇行沈線と列点を間に施した沈線が垂下する樽型の４、沈線を伴う縄文帯と磨消部でモチーフを示す６と10、全面に地文を施した後、集合沈線でモチーフを描く５、７、８等がある。13の石皿と14

の台石は炉石に転用されていた。

ＳＩ－４９（第11・18図、図版４・123）

位置　F-６グリッドにある。　重複関係　なし。　形状・規模　一辺3.6m程の不整な方形を呈し、床面までの深さは11cmである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　ほぼ平坦なIP面を床面とする。　ピット　なし。　炉　住居中央部に石囲炉の痕跡が確認された。南東部以外炉石は失われており、詳細は不明である。　遺物　８・９期の土器と台石１点がある。土器の出土量は少なく、遺存状態も悪い。２は曽利系深鉢の口縁部である。

ＳＩ－５２（第12・18・19図、図版４）

位置　F-21グリッドにある。　重複関係　SK-1069・1071より古いが、SK-1070とは新旧関係不明である。形状・規模　南北方向に長軸を持つ楕円形と推定され、調査区外へ1/2程広がる。長軸は4.42m、床面までの深さは60cmである。調査時にSK-1074とした部分は本遺構の範囲内と判断した。なお、西部は方形の攪乱が入る。　覆土　上層、下層、壁際土と分けられたが、自然堆積と考えられる。　床面　ほぼ平坦なローム地山を床面とする。　ピット　Ｐ１～６があるが主柱穴等判然としない。　炉　不明。　遺物　３・４期の土器が比較的多く出土した。完形はないが大型破片が多い。阿玉台式は５～12、14、15である。15は複列の結節沈線が施される。６、８、９、14は連続爪形文またはキャタピラ文が施される。５は隆帯とキャタピラ文でモチーフを描出するが、地文に条線を用い沈線も多用される。１～４、16～23は地文に縄文を施す土器である。この内、３、４、18～21には結節沈線がある。１、16、17は結節沈線がないが、細い隆帯で渦巻き等のモチーフを描く。13は中峠系土器で、無文の口縁部に上下の交互刺突が巡る。

ＳＩ－５６（第12・20図、図版４・69・112・116・121）

位置　G-18グリッドにある。　重複関係　SK-1280・1285・1297・1300・1322～1324より新しいが、SK-1286・1327とは新旧関係不明である。　形状・規模　直径５m程のやや不整な円形を呈する。床面までの深さは15cmである。　覆土　２層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　緩やかな凹凸のあるローム地山を直接床面とする。全体的に締まりはよい。　ピット　Ｐ１～７が確認されたが、主柱穴などは判然としない。　炉　住居中央やや西よりに楕円形の石囲炉が確認された。炉石は拳大から人頭大の川原石を使用する。覆土には焼土が少量混じる。　遺物　９～12期の土器と打製石斧、磨石、石皿各１点がある。１の深鉢口縁部は住居北東部床面直上より、倒立状態で出土した。口径31.0cmである。口縁部は非対称な緩やかな山形の突起を３単位配する。高い方の山形部分に直径１cm強の円形凹部がある。胴部は縄文のみ施される。２は注口土器の口縁から胴部の大型破片である。注口は失われているが、外反する口縁部から続く把手が付く。胴部は細い隆帯でモチーフが描かれる。口縁部内外面の一部に赤彩が残る。３、４は中期後半、５～７は後期前葉と考えられる土器片である。

ＳＩ－５７（第13・21図、図版４・69・112・116）

位置　F-７グリッドにある。　重複関係　SK-612・721より新しい。　形状・規模　不明。炉跡が確認されたのみである。但し、周囲の土坑が柱穴の場合、６×５m程の規模となる。　覆土　不明。　床面　炉と遺構確認面の関係からローム地山を床面としていたと考えられるが、詳細は不明である。　ピット　不明。但し、周囲にあるSK-611・640・790・821abは柱穴かもしれない。平面規模は比較的そろい、深さはSK-640・790が80cm前後、SK-611・821abが20～40cm前後、出土土器の時期は相前後する。　炉　長軸75cm、短軸50cmの複式炉が確認された。遺存していたのは、埋設土器と北から北西部、及び火床面の一部の炉石である。炉石には磨石、石皿、台石が転用されていた。北側の埋設土器は若干南に傾く。　遺物　炉埋設土器１点と、

打製石斧１点、磨石５点、石皿、台石各１点がある。１の深鉢口縁から胴部は炉埋設土器で、胴下半部は埋設時に打ち欠いたものである。口径18.4㎝、残存高16.4㎝である。無文の口縁部は下端に沈線を巡らせる。胴上部は沈線で連続する深い波状モチーフが描かれ、２段LR単節縄文を上部は横位に、下部は縦位に施す。胴下部の内遺存する範囲では沈線で紡錘形を描き、内部に２段LR単節縄文を縦位に施す。４、５、６の磨石、８の石皿、９の台石は炉石に転用されていた。

第３表　縄文時代竪穴住居跡一覧表

単位：㎝、(推定値)、[残存値]

遺構№	グリッド	重複関係	規模(長軸×短軸×深さ)	平面形	付属施設	出土遺物	備考	挿図№	図版№
SI-2	C-21	SK-45より新。	[424]×[97]×38	(円形)	P1 50×40×27	9、10、**11**。小型石皿・器1。	外へ広がる。	10	3
SI-20	E-9	SK-582・596・633・634より新。SI-14より古。SK-566・589は不明。	413×275×8	やや不整な長方形		**12**。蓋1。石錐1、磨石1、台石1。		10	3
SI-24	E-7	SK-646・790は不明。	(583)×455×11(旧) (583)×505×11(新)	隅丸長方形	石囲い炉 80×74(新) 周溝あり(全周二重、3/4程度重複) P1 86×74×62(新) P2 85×68×65(新) P3 64×60×73(新) P4 71×58×83(新) P5 68×60×44(旧) P6 50×47×26(旧) P7 77×70×17(旧) P8 62×50×50(旧) P9 67×55×26(旧) P10 68×41×22(旧炉堀方) P11[42]×34×17 P12 40×35×34 P13 44×33×16 P14 34×32×25 P15 25×22×24	**9,10**。土製円盤1。磨石1、石皿2、台石1。	一度建替。	10・11	3
SI-44	E-5	SK-832・890・931・1008・1009より新。SI-33より古。SK-882a・930、SX-1は不明	(500)×(390)	(楕円形)	石囲い炉 70×63 P1 33×31×[17](SK-1469) P2 49×44×[76] P3 37×35×[20] P4 37×31×[11](SK-1479) P5 37×32×[17](SK-1480) P6 62×58×[57] P7 47×35×[52] P8 48×34×[25](SK-1015) P9 38×38×[30](SK-1011)	**12**。打製石斧2、石皿1、台石1。	壁なし。	11	3・4
SI-49	F-6		357×353×11	不整方形	石囲い炉 52×41	8、**9**。台石1。	北西部不明。	11	4
SI-52	F-21	SK-1069・1071より古。SK-1070は不明。	442×[300]×60	(楕円形)	P1 34×31×63 P2 36×32×8 P3 39×28×24 P4 50×[31]×9 P5 42×[28]×22 P6 29×[16]×37	3、**4**、5、6、7。	外へ1/2	12	4
SI-56	G-18	SK-1280・1285・1297・1300・1322～1324より新。SK-1286・1327は不明。	(504)×490×15	不整円形	石囲い炉 67×57 P1 70×60×36 P2(66)×59×49 P3 30×23×29 P4 83×65×43 P5 37×35×37 P6 53×45×29 P7 35×28×35	9～**12**。打製石斧1、磨石1、石皿1。		12	4
SI-57	F-7	SK-612・721より新。	不明	不明	複式炉 75×50 柱穴不明 (SK-611・640・790・821ab?)	**9、10**。打製石斧1、磨石5、石皿1、台石1。	炉のみ	13	4

第４表　縄文時代竪穴住居跡出土土器・土製品一覧表

単位㎝・g、(推定値)、[残存値]

遺構№	№	注記	器種/部位	時期	特徴	挿図№	図版№
SI-2	1	SI-2	深鉢　口縁	9		14	
SI-2	2	SI-2	深鉢　口縁	10		14	
SI-2	3	SI-2	深鉢　口縁	10		14	
SI-2	4	SI-2	深鉢　口縁	10		14	
SI-2	5	SI-2	深鉢　口縁	11		14	
SI-2	6	SI-2	深鉢　胴	10		14	
SI-2	7	SI-2	深鉢　胴	10		14	
SI-20	1	SI-20 No.8.9	深鉢 ほぼ完形	12	口径　10.8 器高　17.6	14	69・95
SI-20	2	SI-20	深鉢　口～底1/3遺存	12	口径(14.5) 器高 20.2	14	
SI-20	3	SI-20 No.10	深鉢　口～胴	12		14	
SI-20	4	SI-20	深鉢　口縁	12	口径(14.8) 器高[10.2]	14	
SI-20	5	SI-20	深鉢　口縁	12		14	
SI-20	6	SI-20	深鉢　口縁	12		14	
SI-20	7	SI-20 No.10	深鉢　口～胴	12		15	69
SI-20	8	SI-20 No.11	深鉢　口～胴	12		15	

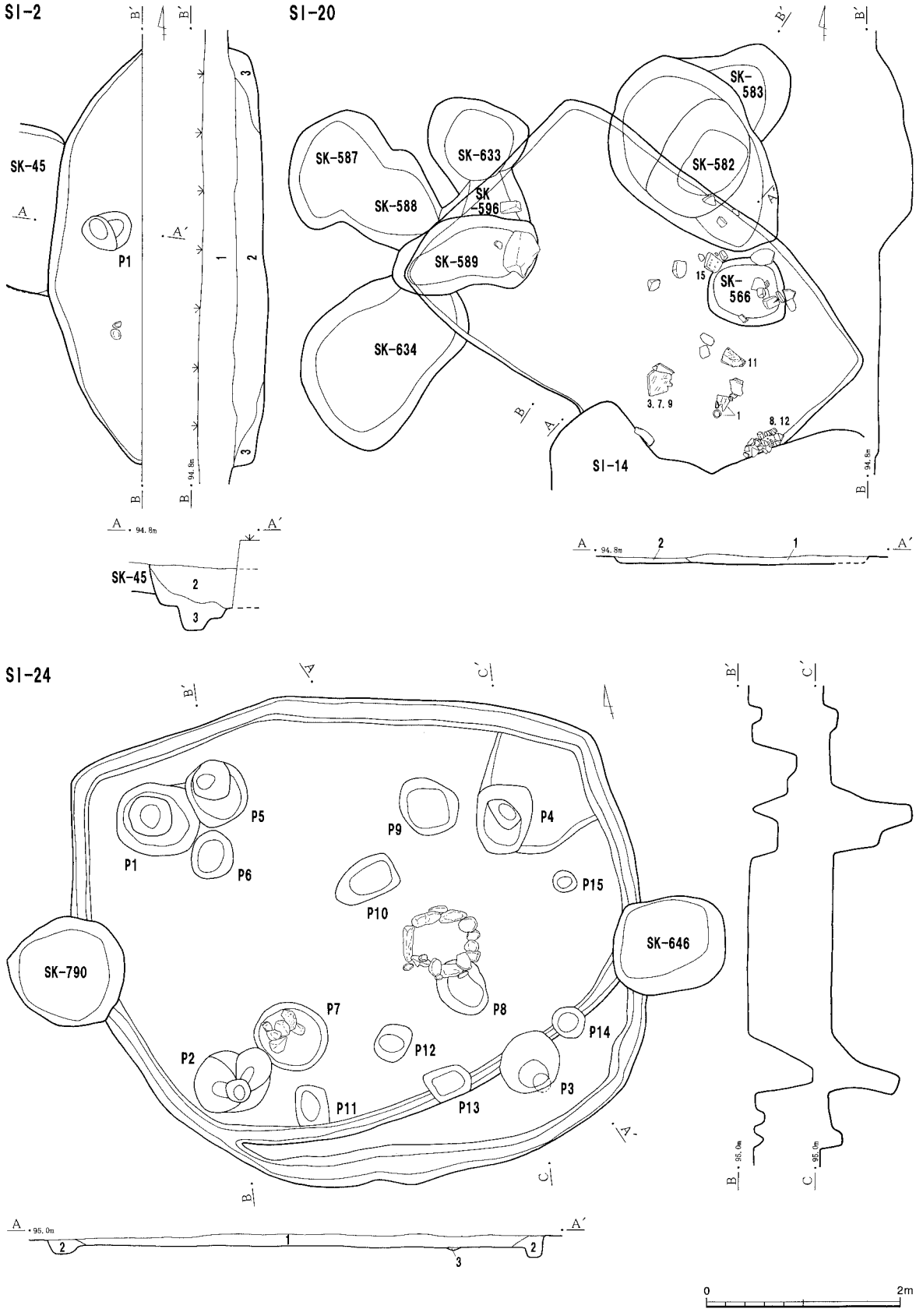
SI-20	9	SI-20 No.10	深鉢　口縁	12		15	
SI-20	10	SI-20	深鉢　口縁	12		15	
SI-20	11	SI-20 No.3	深鉢　口～胴	12	口縁部補修孔あり	15	
SI-20	12	SI-20 No.11	蓋　2/3遺存		口径（11.6） 器高［4.2］ 把手、中央部・ 縁辺部赤彩残存	15	105
SI-24	1	SI-24	深鉢　口縁	9･10		16	
SI-24	2	SI-24	深鉢　口縁	10		16	
SI-24	3	SI-24 P3	深鉢　口縁	10		16	
SI-24	4	SI-24	深鉢　胴	9		16	
SI-24	5	SI-24	深鉢　胴	9		16	
SI-24	6	SI-24	深鉢　胴	9		16	
SI-24	7	SI-24	土製円盤		直径　3.7 厚さ　0.9 重さ　13.2	16	106
SI-44	1	SI-44 No.1	深鉢　口縁	12	口径　28.6 器高［13.2］	17	69･95
SI-44	2	SI-44	深鉢　口縁	12		17	
SI-44	3	SI-44炉	深鉢　口縁	12		17	
SI-44	4	SI-44	樽　口～胴	12		17	
SI-44	5	SI-44	深鉢　口～胴	12		17	
SI-44	6	SI-44	深鉢　口縁	12		17	
SI-44	7	SI-44	深鉢　口縁	12		17	
SI-44	8	SI-44	深鉢　胴	12		17	
SI-44	9	SI-44炉	深鉢　胴	12		17	
SI-44	10	SI-44	深鉢　胴	12		17	
SI-49	1	SI-49	深鉢　口縁	9		18	
SI-49	2	SI-49	深鉢　口縁	9	曽利系	18	
SI-49	3	SI-49	深鉢　胴	8･9		18	
SI-52	1	SI-52	深鉢　口～胴	4		18	
SI-52	2	SI-52	深鉢　口縁	4～6		18	
SI-52	3	SI-52	深鉢　口縁	4		18	
SI-52	4	SI-52	深鉢　口縁	4		18	
SI-52	5	SK-1074	深鉢　口縁	4		18	

SI-52	6	SI-52	深鉢　口～胴	4	口径（11.6） 器高　［9.4］	19	
SI-52	7	SI-52	深鉢　口縁	3		19	
SI-52	8	SK-1074	深鉢　口縁	4		19	
SI-52	9	SI-52	浅鉢　口縁	4		19	
SI-52	10	SI-52 SK-1074	深鉢　口～胴	4?		19	
SI-52	11	SI-52 SK-1074	深鉢　口縁	4?	口径　21.4 器高　［7.0］	19	
SI-52	12	SK-1074	浅鉢　口縁	4?		19	
SI-52	13	SK-1074	深鉢　口縁	5～7	中峠系	19	
SI-52	14	SK-1074	深鉢　胴	4		19	
SI-52	15	SK-1074	深鉢　胴	3		19	
SI-52	16	SI-52 SK-1074	深鉢　胴	4		19	
SI-52	17	SI-52	深鉢　胴	4		19	
SI-52	18	SI-52	深鉢　胴	4		19	
SI-52	19	SI-52	深鉢　胴	4		19	
SI-52	20	SK-1074	深鉢　胴	4		19	
SI-52	21	SK-1074	深鉢　胴	4		19	
SI-52	22	SI-52 SK-1074	深鉢　胴～底	4		19	
SI-52	23	SK-1074	深鉢　底	4		19	
SI-56	1	SI-56 No.1	深鉢　口縁	12	口径　31.0 器高　［11.0］	20	69
SI-56	2	SI-56	注口土器 口～体	9～12	口縁内外面赤彩 残存	20	69
SI-56	3	SI-56	深鉢　口縁	9		20	
SI-56	4	SI-56	深鉢　胴	9		20	
SI-56	5	SI-56	深鉢　胴	12		20	
SI-56	6	SI-56	深鉢　胴	12		20	
SI-56	7	SI-56	深鉢　胴	12		20	
SI-57	1	SK-612 No.1	深鉢　口～胴	9･10	口径　18.4 器高［16.4］ 炉埋設土器、正立	21	69

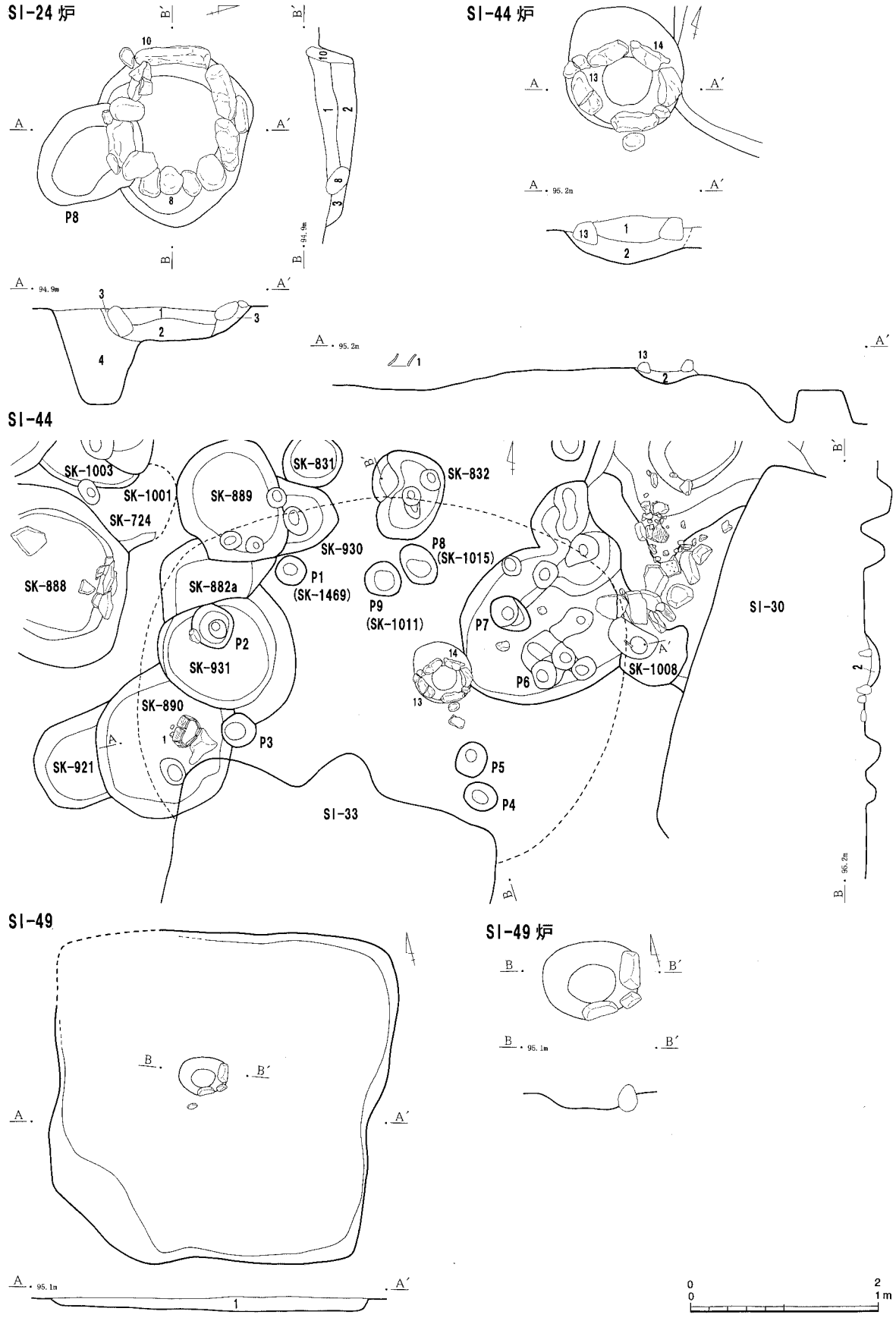
第５表　縄文時代竪穴住居跡出土石器一覧表

単位cm･g、(推定値)、[残存値]

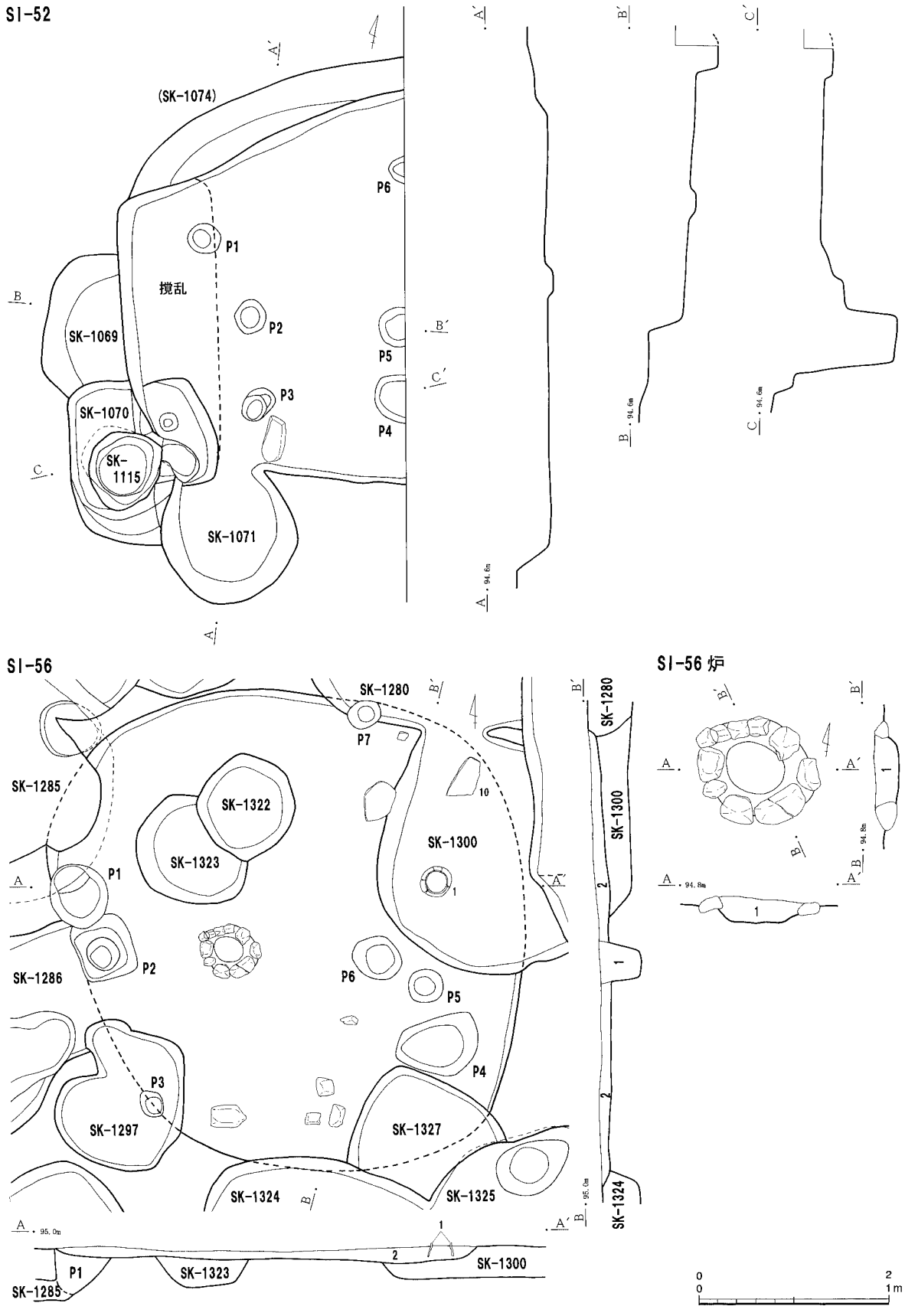
遺構№	№	注記	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石材	特徴	挿図№	図版№
SI-2	8	SI-2	小型石 皿･器	口径 (10.0)	器高 (4.9)		[8.0]	凝灰岩	一部遺存。内面滑らか。	14	
SI-20	13	SI-20	石錐	3.0	2.3	1.1	5.5	チャート	完形。	15	109
SI-20	14	SI-20	磨石	11.0	8.6	3.9	510.0	輝石安山岩	完形。表面中央浅い凹部1ヶ所。上下側縁･裏面中央敲打痕あり。	15	116
SI-20	15	SI-20 No.12	台石	[15.4]	[16.3]	6.7	[1780]	砂質凝灰岩	上下欠損。表裏面凹部多数。	15	
SI-24	8	SI-24 炉No.7	磨石	14.1	11.6	5.8	1314.8	輝石安山岩	完形。左右側縁･上端部･表裏面中央敲打痕あり。被熱赤変。煤付着。	16	116
SI-24	9	SI-24 No.1	石皿	[12.6]	[23.7]	7.1	[2040]	砂質凝灰岩	一部遺存。表裏面凹部多数。	16	
SI-24	10	SI-24 炉No.1	台石	40.0	[30.2]	6.6	[7950]	砂質凝灰岩	石皿としても使用か。ややもろい。一部剥離欠損。	16	123
SI-24	11	SI-24	石皿	[14.7]	[10.2]	[6.4]	[660]	多孔質安山岩	破片。磨面平坦。	16	
SI-44	11	SI-44	打製石斧	17.7	9.3	3.0	542.0	輝石安山岩	完形。分銅形。左右側縁括れ部刃潰しあり。表面大きく、裏面一部に自然面残す。	17	112
SI-44	12	SI-44	打製石斧	10.3	8.5	2.0	228.9	かんらん石輝石安山岩	撥形。完形。左右側縁括れ部刃潰しあり。表裏面に大きく自然面残り、刃部加工は主に縁辺。	17	112
SI-44	13	SI-44 炉No.3	石皿	[17.1]	[11.0]	10.3	[1430]	凝灰岩	破片。磨面平坦。ややもろい。表面凹部多数。	18	
SI-44	14	SI-44 炉No.5	台石	[16.2]	28.1	10.0	[5520]	流紋岩質凝灰岩 (石英斑岩様)	1/2欠損。表面凹部多数。	18	
SI-49	4	SI-49	台石	[22.9]	[19.5]	6.8	[4420]	砂質凝灰岩	一部欠損。表面凹部多数。	18	123
SI-56	8	SI-56	打製石斧	10.2	7.2	2.1	125.9	かんらん石輝石安山岩	完形。分銅形。表裏面自然面残す。	20	112
SI-56	9	SI-56	磨石	10.7	7.4	4.7	442.2	輝石安山岩	完形。表裏面磨面。全側縁敲打痕あり。被熱赤変。	20	116
SI-56	10	SI-56 No.2	石皿	49.8	25.8	11.5	14300.0	砂質凝灰岩 (礫混じり)	完形。磨面平坦。表裏面凹部多数。	20	121
SI-57	2	SK-612 No.3	打製石斧	10.0	7.2	2.1	171.7	緻密質安山岩	分銅形。完形。裏面自然面大きく残す。括れ部刃潰しあり。	21	112
SI-57	3	SK-612 No.4	磨石	19.7	10.0	4.7	1350.8	輝石安山岩	完形。右側縁上部磨面。左側縁･下端部敲打面あり。煤付着。表面一部剥離。	21	116
SI-57	4	SK-612 No.5	磨石	13.0	11.6	6.0	1133.9	輝石安山岩	完形。左右下側縁磨面。表面中央浅い凹部1ヶ所、上～右側縁敲打痕あり。側縁から裏面一部煤付着。	21	116
SI-57	5	SK-612 No.11	磨石	10.5	8.0	4.8	573.9	輝石安山岩	完形。上下端部･表裏面中央敲打痕あり。煤付着。	21	116
SI-57	6	SK-612 No.13	磨石	10.3	8.7	4.7	589.2	輝石安山岩	完形。左右側縁磨面。上下端部敲打痕あり。被熱赤変。煤付着。	21	116
SI-57	7	SK-612 No.12	磨石	14.3	9.6	4.4	888.4	輝石安山岩	完形。表裏面中央･左右側縁磨面（表面特になめらか）。上下側縁敲打痕あり。表面一部被熱赤変。煤付着。	21	116
SI-57	8	SK-612 No.9	石皿	[10.5]	[9.6]	[4.0]	[460]	砂質凝灰岩	一部遺存。磨面平坦。表面凹部あり。	21	
SI-57	9	SK-612 No.8	台石	[21.2]	20.4	[9.7]	[5400]	輝石安山岩	一部欠損。裏面凹面状にくぼむ。表面凹部多数。一部摩滅。	21	



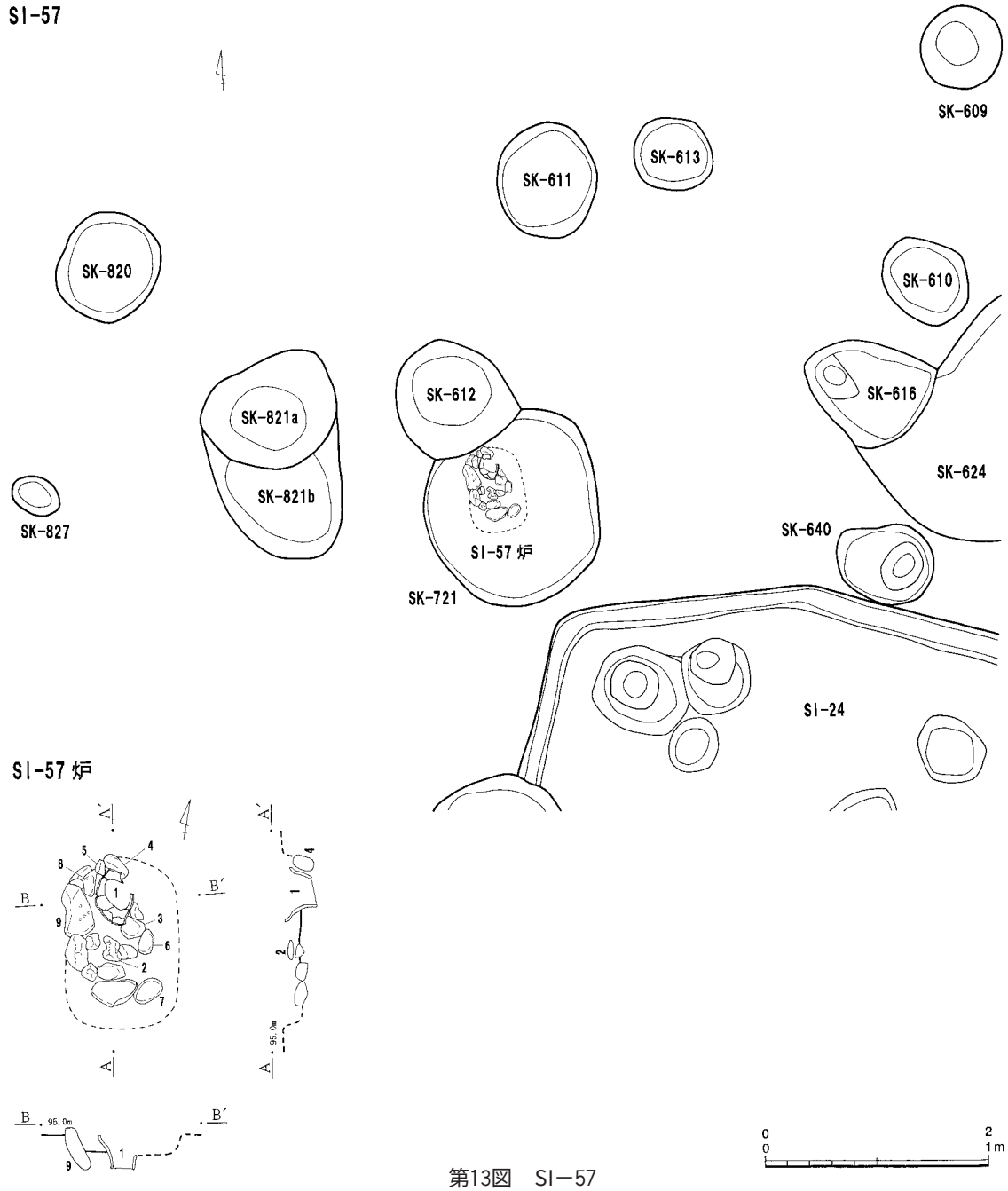
第10図　SI－2・20・24



第11図　SI－24・44・49


SI-52
(SK-1074)
P6
P1
撹乱
SK-1069
P2
P5
P3
SK-1070
P4
SK-1115
SK-1071
SI-56
SK-1280
P7
SK-1285
SK-1322
SK-1323
SK-1300
P1
P2
SK-1286
P6
P5
P4
P3
SK-1297
SK-1327
SK-1324
SK-1325
SK-1280
SK-1300
SK-1324
SK-1285
P1
SK-1323
SK-1300
SI-56 炉
0
2
1m

第12図　SI－52・56



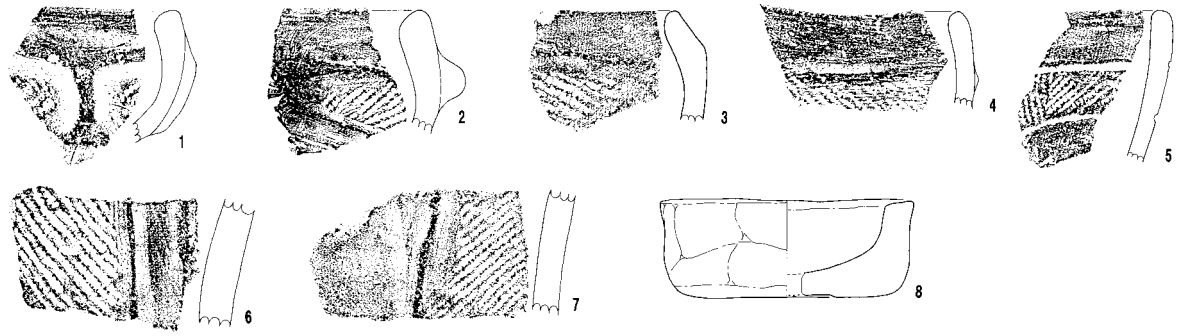
第13図　SI－57

第６表　縄文時代竪穴住居跡土層観察表

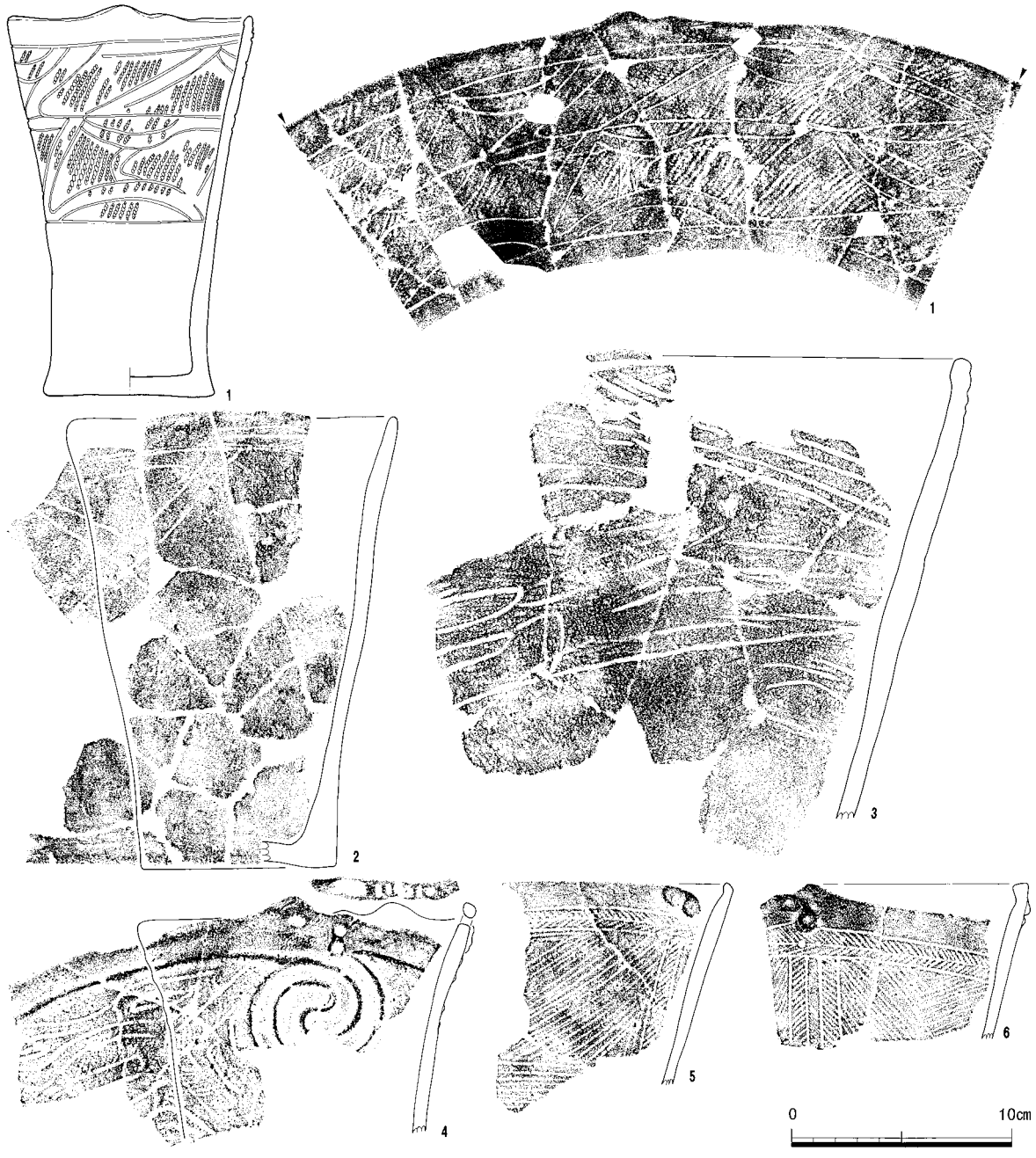
ＳＩ－２
１．暗茶褐色土（しまりややあまい。現耕作土及び盛土。）
２．黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）
３．暗黄褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）
ＳＩ－２０
１．黒褐色土（Ｌ粒・ＬＢ少量混入。しまりなし、粘性あり。）
２．濁黄褐色土（ＬＢ主体。しまりよし、粘性あり。）
ＳＩ－２４
１．黒褐色土（ＩＰ･ＳＰ少量､ＩＰ小Ｂ微量混入。しまりよし､粘性あり。）
２．黒褐色土（ＩＰ粒･ＩＰＢ多量混入。しまりよし､粘性あり。）
３．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ多量混入。しまりよし。）
ＳＩ－２４炉
１．黒褐色土（ＩＰ粒多量混入。）
２．黒褐色土（ＩＰ粒微量混入。しまりよし。掘方埋め戻し土。）
３．黒色土（ＩＰ粒微量混入。しまりよし。掘方埋め戻し土。）
４．黒色土（ＩＰ粒微量混入。しまりよし。Ｐ８埋め戻し土。）
ＳＩ－４４及び炉
１．暗茶褐色土（焼土粒少量混入。しまりよし､粘性なし。炉覆土。）
２．黒褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。炉掘方埋土。）
ＳＩ－４９
１．黒褐色土（ＩＰ粒微量混入。しまりなし。）
ＳＩ－５２
上層．暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
下層．茶褐色土（Ｌ粒・ＬＢ少量混入。しまりよし。）
北部壁際．黒色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。壁崩落土。）
ＳＩ－５６
１．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）
ＳＩ－５６炉
１．黒褐色土（焼土少量混入。しまりよし。）

凡例　ＳＰ：七本桜パミス、ＩＰ：今市パミス、Ｌ：ローム、
Ｃ：炭化物、Ｂ：ブロック

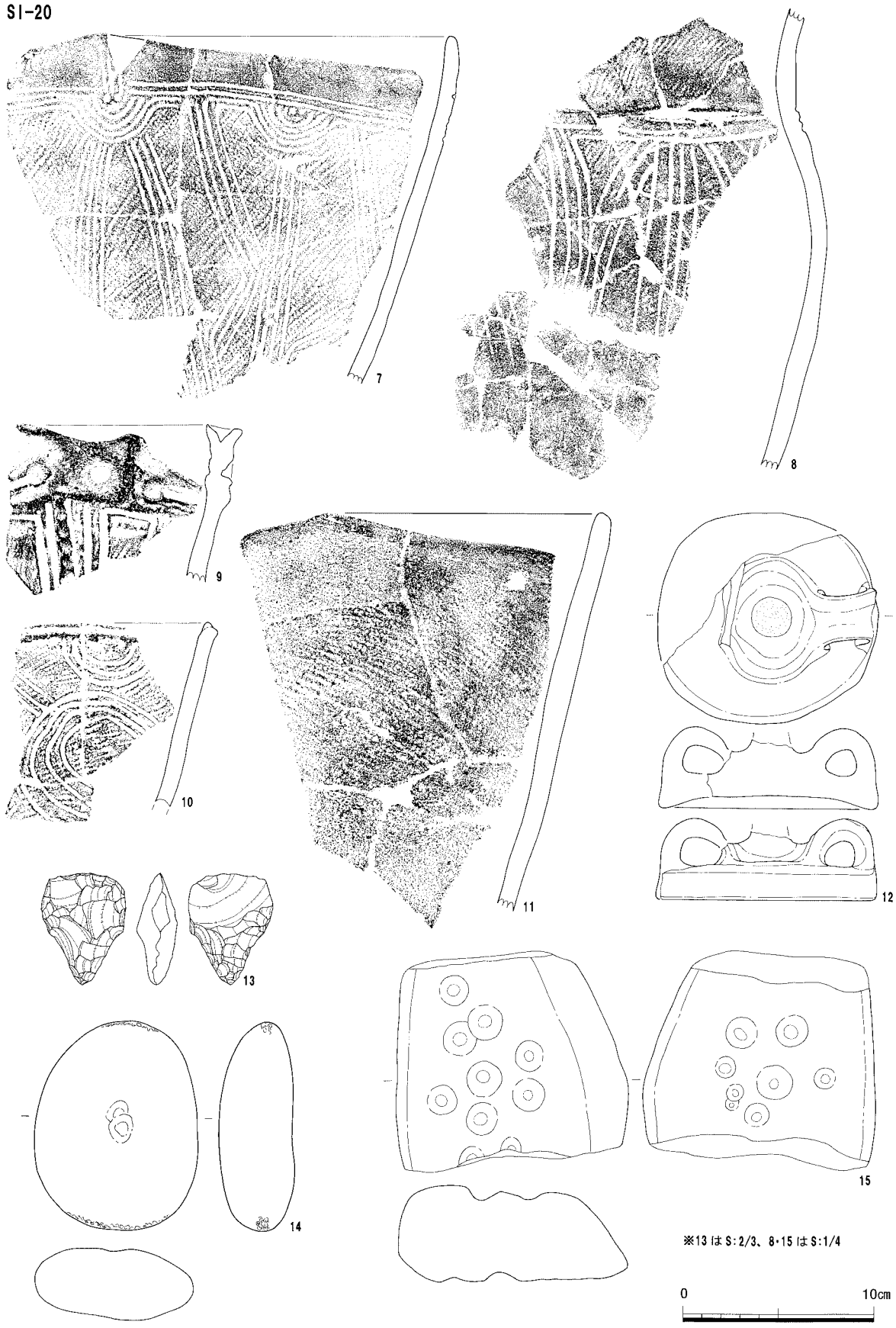
SI-2



SI-20



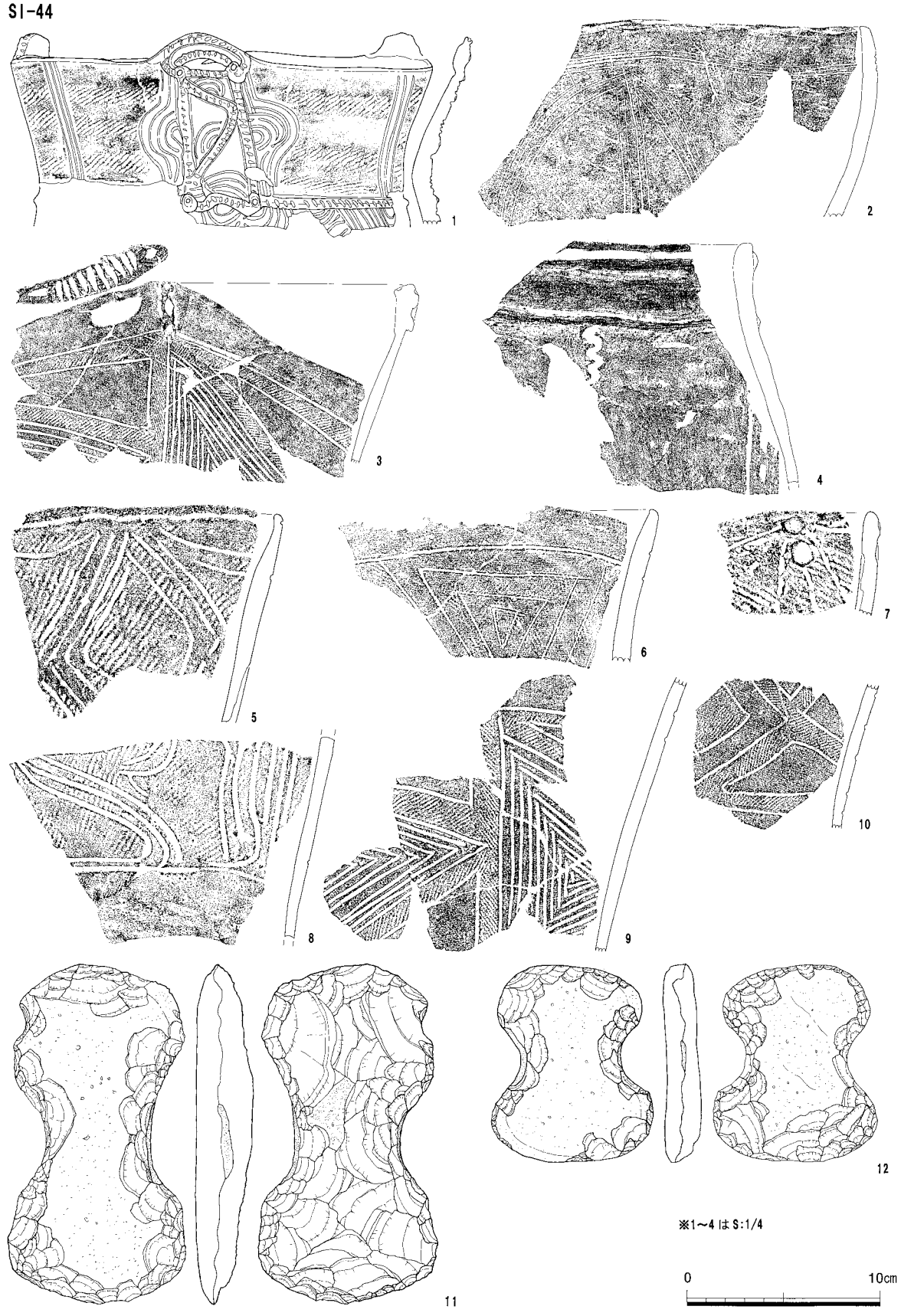
第14図　SI－2・20出土遺物



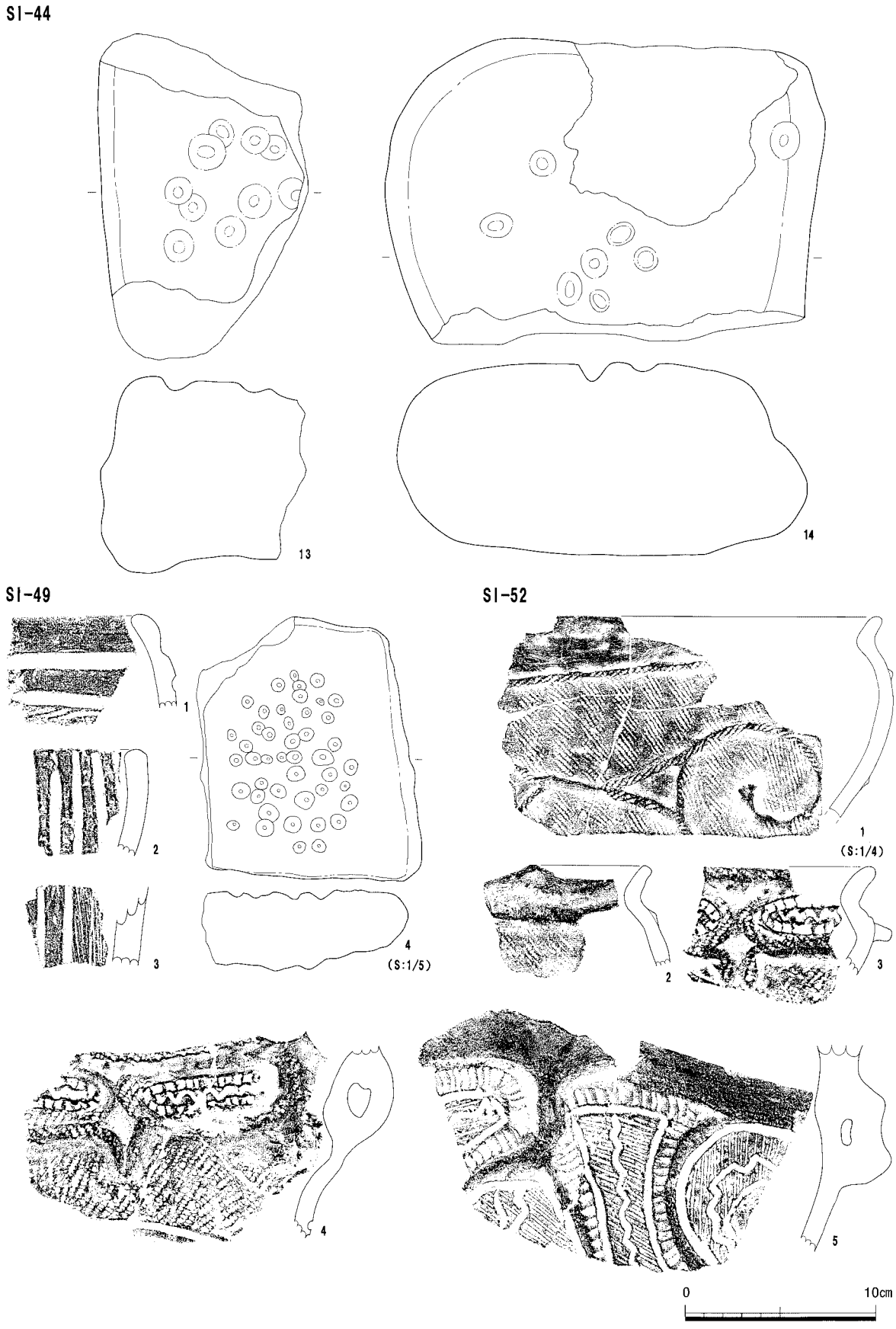
第15図　SI－20出土遺物



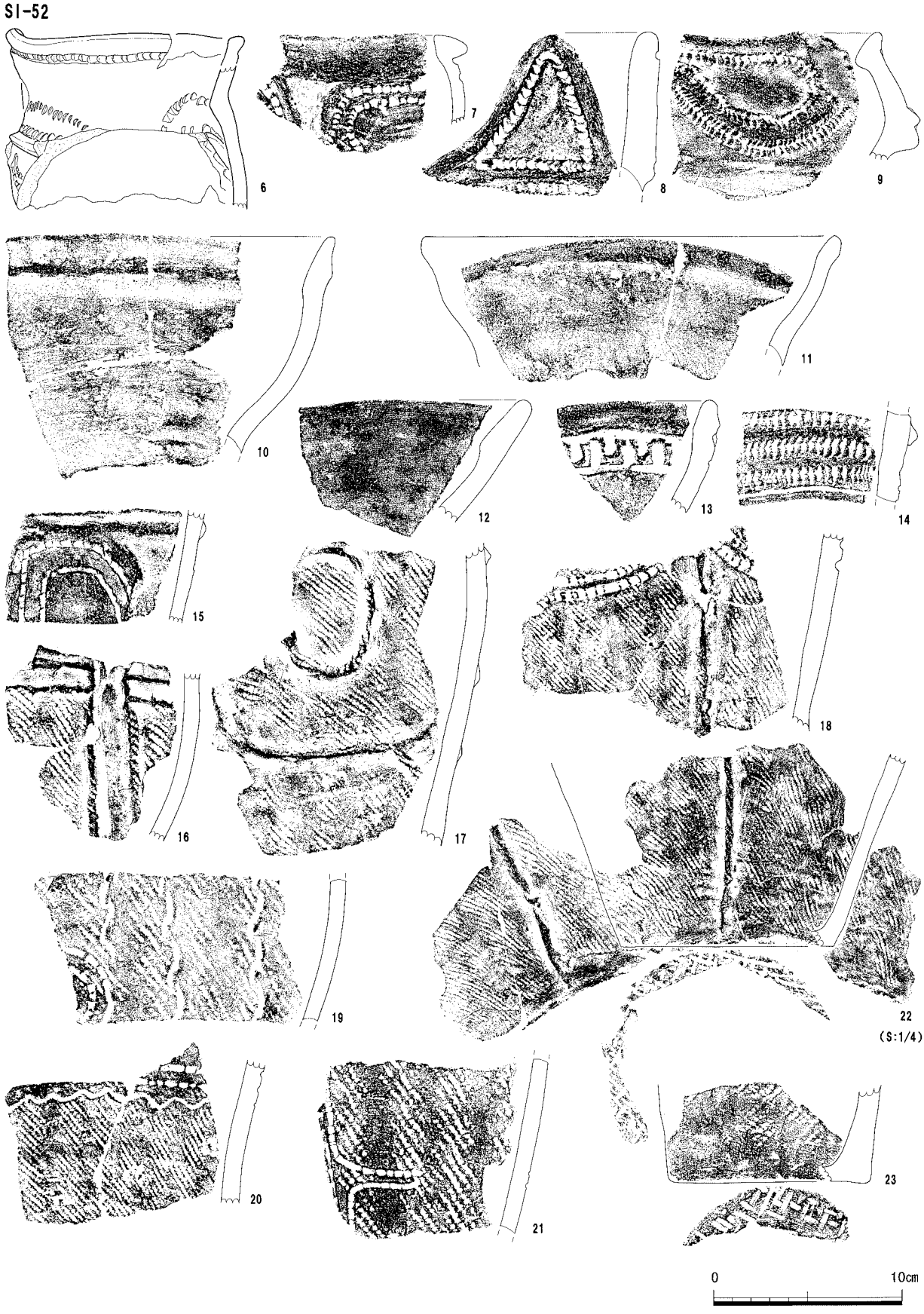
第16図　SI－24出土遺物



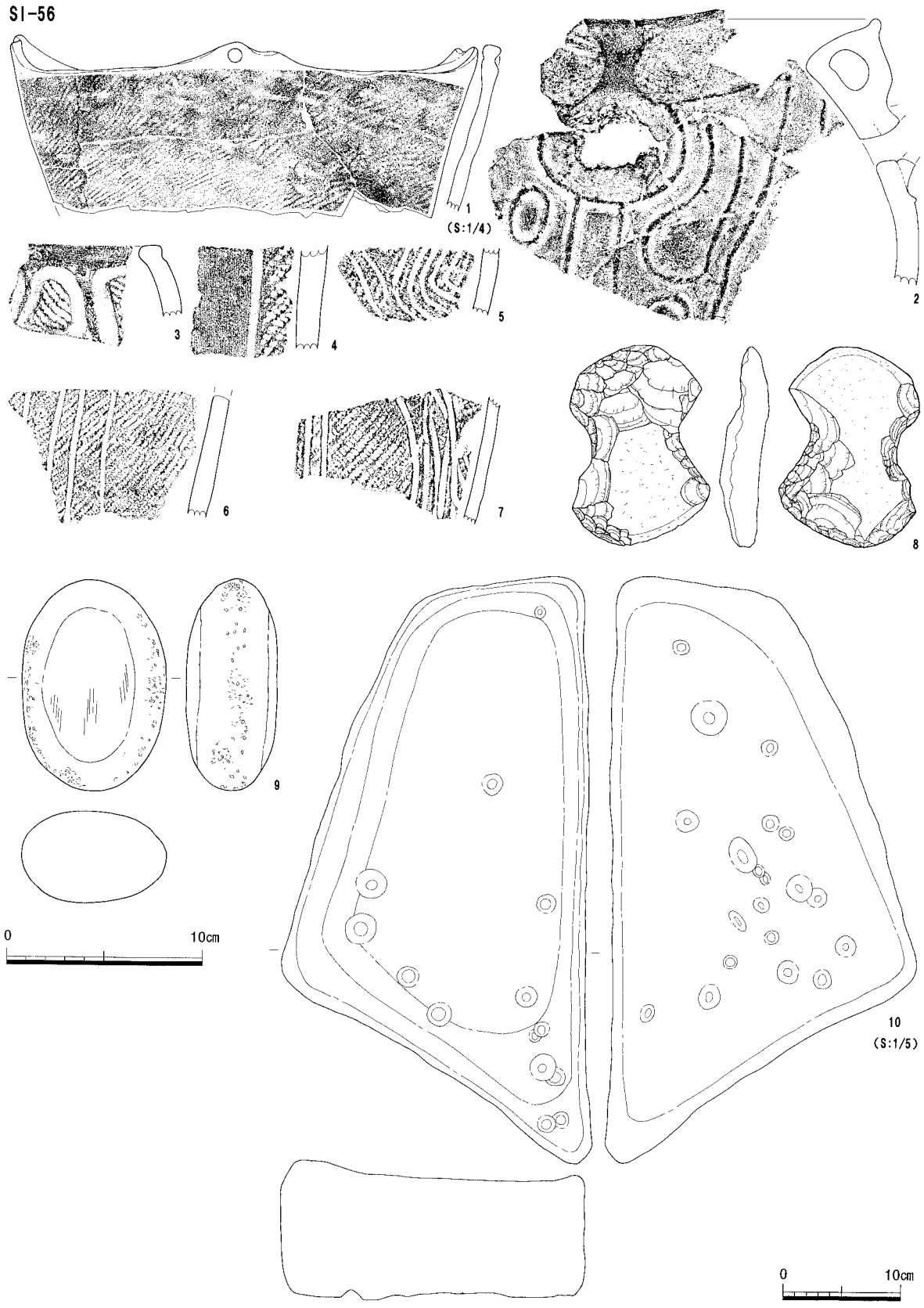
第17図　SI－44出土遺物



第18図　SI－44・49・52出土遺物



第19図　SI－52出土遺物



第20図　SI－56出土遺物



第21図　SI－57出土遺物

２，土坑と出土遺物

土坑は857基で、円筒形土坑か袋状土坑、ないしその壁が崩落したものが多い。土坑の形態については、計測値を示し、平面形と断面形を類型化して示した。平面形は、円形、楕円形、隅丸三角形、隅丸方形と分け、形が整っていないものについて「不整」を付した。断面形は、Ａ～Ｆ類に分けた。

Ａ類：底面から壁がほぼ垂直に立ち上がる。

Ｂ類：底面から壁が外傾して斜めに立ち上がる。

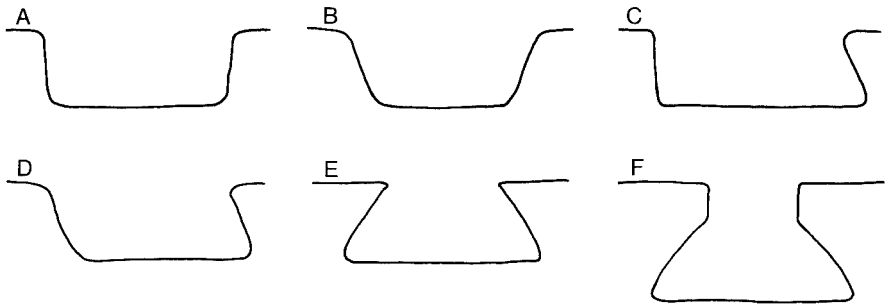
Ｃ類：底面から壁がオーバーハングして立ち上がる部分とほぼ垂直に立ち上がる部分がある。

Ｄ類：底面から壁がオーバーハングして立ち上がる部分と外傾して斜めに立ち上がる部分がある。

Ｅ類：底面から壁が全体的にオーバーハングして立ち上がり、開口部へ至る。

Ｆ類：底面から壁がオーバーハングして立ち上がり、上部で屈曲し頸部を持つ。

以下、全体は一覧表で示し、代表的な土坑と出土遺物について記述する。その他、ここで、埋甕９基（SK-38・297・469・470・492・852・885・934・944）、陥穴３基（SK-260・324・328）、配石遺構１基（SX-１）、集石遺構１基（SK-819）についても最後に纏めて記載する。



第22図　土坑断面形分類類型図

（１）土坑

ＳＫ－１４（第24・97図、図版６・70・96・116）

B-20グリッドにある。長径2.53mの不整円形で、深さ0.20m、壁は外傾する。遺存状態の良好な土器が数点出土した。１は口径11.2㎝、残存高15.5㎝の台付深鉢である。台部と口縁部の一部は欠損している。口縁部には隆帯で眼鏡状と横Ｓ字状の突起が一対ずつ対置され、間は連結される。胴部は半截竹管による２～４条の平行沈線により渦巻き、弧状、垂下、蛇行などのモチーフが描かれる。台部が存在したことは間違いないが、形状は不明である。

２は口径9.4㎝、器高19.7㎝の小型深鉢で、完形である。口縁部は正面に隆帯による円環状の把手が一カ所付く。口縁部と胴部の境には、交互刺突ないし摘みまたは捻りが加えられた蛇行隆帯が一条巡る。胴部は無文で、中程で一度屈曲する。底部は中央が若干突出しやや座りが悪い。

３は口径15.0㎝、残存高11.5㎝の深鉢の破片である。口縁部は隆帯による楕円形状の把手が正面に一カ所付くものであろう。口縁部下には半截竹管で蛇行する平行沈線が描かれ、以下渦巻きやクランクモチーフが施される。

ＳＫ－１７（第24・98図、図版６）

B-20グリッドにある。長径1.55mの不整楕円形と推定され、深さ0.22m、壁は外傾する。前期前半の土坑と考えられる。出土遺物は微量で、図化した土器は１点である。１は深鉢の胴部小片である。縄文原体圧痕、円形モチーフ、刺突による矢羽根状モチーフがみられる。胎土に繊維を含む。

ＳＫ－１９（第24・98図、図版６・７・117）

C-20グリッドにある。直径2.40mの円形で、深さ0.24m、壁は外傾する。遺物は多くない。１は深鉢口縁部の中空把手である。上部が欠損している。外面は連続爪形文を施し沈線が沿う隆帯でモチーフが形成される。胴部へ縄文が続く。内面は沈線で縁取られた円孔が並び眼鏡状を呈する。

ＳＫ－４６（第26・100図、図版８）

C-21グリッドにある。直径0.95mの円形で、深さ0.29m、壁は外傾する。遺物は多くない。大きな礫が見られる。２は器台の脚部小片である。小破片のため大きさの復元はできない。遺存している部分では、孔が２カ所認められる。孔の形状は異なることが予想され、向かって右側は円形に近く、左側は楕円形になる。

ＳＫ－４８（第26・100図、図版９）

C-19グリッドにある。直径2.00mの円形で、深さ0.18m、壁は外傾する。遺物は多くない。１は浅鉢の口縁部から体部の大型破片である。口径推定35.2㎝、残存高17.2㎝である。口縁部は体部から「く」の字状に屈曲し外反する。境には浅い凹線が巡る。体部全面に縄文が施される。口縁部内外面及び体部内面は丁寧な調整が施され、器面は滑らかである。２の台石は脆く、多くの孔や表面は摩滅している。

ＳＫ－５１ａ（第27・100・101図、図版９・70・117）

C-20グリッドにある。直径2.09mの不整円形で、深さ0.26m、壁は外傾する。

遺物は比較的多く出土した。１はほぼ完形で、南西部壁際より正立状態で出土した。算盤玉状の体部から口縁部が「く」の字状に外反して立ち上がる有孔土器である。口径10.8㎝、体部最大径18.5㎝、器高12.2㎝である。口縁部は無文で、体部との境に直径４㎜弱の孔が全部で15カ所穿たれる。体部は最大径部に幅広の隆帯が巡り、器面を上下に分ける。上部には、低い幅広の隆帯による連結された逆向きの渦巻き４単位が配される。文様の起点は向かって左側の渦巻きで、土器を上方から俯瞰するとその部分が外側へ突出し、全体としては各辺が湾曲する隅丸正方形を呈する。体下部は無文である。

２は口縁部が「く」の字状に外反する深鉢である。口径46.0㎝、残存高20.8㎝である。口縁部は無文で若干受け口状になる。胴部との境には、横位３条の沈線と間に２段の連続円形刺突が巡る。胴部は３ないし４本単位の沈線がおそらく12カ所垂下し、器面を縦位に分割する。区画内は単節縄文が施される。口縁部は曽利式的な様相がみられる。

３は深鉢の口縁から胴部の大型破片である。無文の口唇部に沈線が巡り、以下に２本の沈線により連続波状ないし連弧状のモチーフが描かれる。胴部には沈線を伴う幅狭の磨消帯が垂下する。４は深鉢の胴部大型破片である。間を磨り消した３本単位の沈線と蛇行沈線を垂下させる。胴中位には、横位の沈線を伴う磨消帯も設けられる。５は深鉢胴部片で、地文に細い条線を用い、沈線を伴う幅狭の磨消帯を垂下、蛇行させる。

６は浅鉢の大型破片で、外湾する体部から口縁部は緩く「く」の字状に屈曲し外反する。口径推定24.2㎝、残存高7.4㎝である。口縁部と体上部は内外面とも赤彩された痕跡がある。器面が荒れて明瞭ではないが、緩やかな弧状を描いたものかもしれない。

ＳＫ－６６ａ（第27・102図、図版10・111）

D-21グリッドにある。直径1.78mの円形で、深さ0.22m、壁は外傾する。遺物は多くない。壁際に３カ所、直径30～40㎝、深さ30㎝前後のピットがある。

ＳＫ－７０（第28・103図、図版11・71）

D-20グリッドにある。長径1.79mの楕円形で、深さ0.48m、壁はオーバーハングする袋状土坑だが、一部崩れている。ロームブロックを主体とする２層は、そのことを示している。遺物は多くないが東部壁際に纏ま

って出土した。１は深鉢で2/3程遺存している。口径推定21.0㎝、器高28.8㎝である。口縁部は４単位の緩やかな波状を呈し、口唇部には２本の浅い凹線が巡る。折り返しによる２本単位の蛇行沈線と３本単位の沈線を交互に垂下させる。沈線間は狭いが磨り消される。２は鉢の大型破片である。体部から「く」の字状に屈曲して外反する口縁部は無文である。体上部は隆沈線で渦巻きと楕円形区画が形成される。区画内及び体下部は単節縄文が施される。

ＳＫ－７７（第28図、図版11）

E-20グリッドにある。開口部直径1.70m、底面直径2.02mの円形で、深さ0.64m、壁はオーバーハングする袋状土坑である。５層はロームを主体とし、壁が埋没当初に底面にドーナツ状に崩落したことがわかる。図化できる遺物はなかった。

ＳＫ－８０（第29・103・104図、図版11・12・71・72）

E-20グリッドにある。開口部長径1.68m、底面長径2.66mの不整円形で、深さ0.64m、壁はオーバーハングし開口部が垂直に立ち上がる袋状土坑である。２・３・５層にロームが多く、壁が大きく崩落したことがわかる。

遺物は大型破片で壁際底面近くに比較的纏まる。１は深鉢で2/3程遺存している。口径11.0㎝、器高24.0㎝である。口縁部には隆帯で円環状の把手が付く。把手から続く背割れの隆帯は、緩やかな波状を呈しながら鍔状に口縁部下を巡る。頸部には半截竹管による平行沈線が巡る。胴部は同様の工具で平行沈線群を垂下、あるいは渦巻きモチーフを描く。

２は深鉢口縁部の把手である。隆帯により把手を作出する。また、結節沈線や連続するキザミを施した隆帯により区画を形成し、内部に沈線で方形等のモチーフを描く。３は深鉢の胴下部から底部である。半截竹管による垂下する沈線、隆帯上の連続押し引き、屈曲するモチーフが描かれる。

４～６は馬高系深鉢の大型破片である。４と５は同一個体と考えられる。口径推定25.0㎝、残存高23.0㎝程である。口縁部には４単位の背の高い山形の突起を有し、隆帯と半截竹管による平行沈線群で渦巻き等のモチーフを描く。胴部は半截竹管による平行沈線群で渦巻き等のモチーフを描く。なお、器面全体に地文として２段LR縦位回転の単節縄文が施される。６は口径推定24.0㎝、残存高21.5㎝である。口縁部上端部には、隆帯による緩やかな連続する鋸歯状モチーフが付く。口縁部には隆帯や半截竹管による平行沈線群で円、渦巻き、弧状、蛇行などのモチーフが描かれる。胴部は、上端部がステッキ状に屈曲する２本一単位の隆帯により、縦位におそらく４分割される。隆帯間は半截竹管による垂下する平行沈線群で充填され、蛇行沈線や、円形モチーフが付される。

７は深鉢で口径推定22.0㎝、残存高24.0㎝である。把手は、隆帯による渦巻き等で加飾された三角形で中空となる。口縁部は隆帯で区画され、上下２段の枠状、「U」字状モチーフが施される。頸部は半截竹管の平行沈線で波状モチーフが描かれる。胴部は半截竹管の沈線群で垂下、弧状、渦巻き等のモチーフが描かれる。

８は深鉢で、口径推定25.4㎝、残存高31.0㎝である。口縁部や底部は欠損し、口縁部文様も剥離している可能性が高い。地文には櫛羽状工具の平行する縦位の蛇行沈線群を用いる。口縁部には鍔状に隆帯が巡り、隆帯で渦巻きやクランク状モチーフを描く。他の土器に比べ器壁が厚く、重量感がある。

９は浅鉢で、口径推定29.5㎝、器高推定17.2㎝である。赤彩の痕跡はないが、器面全体が橙色を呈する。体部から「く」の字状に屈曲して立ち上がる口縁部には、沈線で平行線や渦巻き等の間チーフが描かれる。

ＳＫ－８２（第29・105図、図版12・72・111）

E-20グリッドにある。開口部直径1.27m、底面長径1.76mの円形で、深さ0.46m、壁はオーバーハングし開

口部が垂直に立ち上がる袋状土坑である。遺物は少ないが大型破片が壁にある。１は深鉢の胴部で、残存高29.0㎝である。頸部とは複列の結節沈線の沿う隆帯で区画され、そこから中央に円形突起を付けた同様の複列の結節沈線の沿う隆帯で、縦位クランクモチーフを３単位設ける。隆帯に沿う複列の結節沈線は、例外的に幅広の押し引き文、あるいは爪形文となる部分がある。小破片で図化できなかったが、浅鉢がある。緩やかな山形の突起を有し、直下に円孔が穿たれる。口唇部内面は肥厚し、口縁部と体部の境も内面に段がある。内外面に赤彩の痕跡がある。

ＳＫ－８３（第30・105図、図版12・117）

E-20グリッドにある。開口部直径1.32m、底面直径1.79mの円形で、深さ0.48m、壁はオーバーハングし開口部が垂直に立ち上がる袋状土坑である。２・３層には壁の崩落が窺える。遺物は少なく小片である。３は勝坂系の深鉢口縁部の把手である。形状は三角形で、連続するキザミを施した隆帯、複列の結節沈線、沈線等でモチーフを描く。内面は眼鏡状、外面は円環状を基調とし、内部は空洞化する。

ＳＫ－８７（第28・106図、図版13・72）

E-21グリッドにある。開口部直径0.86mの不整円形で、深さ0.17m、壁は外傾して立ち上がる小型の土坑である。前期前半の土坑と考えられる。出土遺物は少ない。１は深鉢の口縁から胴部大型破片で、器形が窺える。口径推定27.6㎝、残存高16.0㎝である。胎土に繊維を含む。器面全体に横位の羽状縄文が施される。２は深鉢胴部の小破片で横位の羽状縄文が施され、連続短沈線もみられる。胎土に繊維を含む。

ＳＫ－９０（第30・106・107～109図、図版13・72・73・96・123）

E-20グリッドにある。開口部直径1.20m、底面直径2.85mの円形で、深さ1.03m、壁はオーバーハングし開口部が外傾して立ち上がる袋状土坑である。規模が大きい典型的な袋状土坑と言える。２～４層には壁崩落土と開口部からの流入土が互層になっていることから、壁の崩落と開口部からの流入による埋没が交互に行われたことがわかる。

遺物は土器を中心に多く、大型破片の状態である。土坑埋没経過に従って、周辺部の土器は底面近くに、中央部の土器は括れ部で多く見られた。１は大型深鉢の口縁部から胴部で、口径49.0㎝、残存高30.2㎝である。口縁部には、前後に正面観のある突起群一対と、左右に小突起部が付く。突起下には、小渦巻きモチーフを配しながら３条の隆帯を横走させる。頸部は無文化する。胴上端部は隆帯及び蛇行隆帯を横走させる。以下、２・３本単位の隆帯で方形やクランク、渦巻き等のモチーフを描く。３は１と同一個体と判断した。

２は深鉢の口縁から頸部で、口径29.8㎝、残存高14.6㎝である。口縁部には把手が付くが形状や単位数は判然としない。正面の把手は橋状となり円孔が穿たれる。口縁部でこうした形状がみられるのはこの部分のみで、他は隆帯で５単位の枠状区画が形成され、接点が「X」字状となる。枠内は半截竹管の縦位平行沈線で充填され、下端部にも枠状隆帯に沿った内側に平行沈線が施される。頸部は半截竹管の平行沈線でモチーフが描かれる。口縁部枠内を除き、２段RL縦位回転の単節縄文が間隔施文される。

５は深鉢口縁から頸部で、口径24.0㎝、残存高25.4㎝である。口縁部は２本の隆帯とその間の蛇行隆帯で形成される。把手は隆帯による眼鏡状円形把手と、背の高い山形の中空把手が各々一対、計４カ所設けられる。頸部は半截竹管の平行する蛇行沈線を概ね把手下に垂下させ、間に同種工具による複弧状の文様を描く。頸部下には平行沈線を３条巡らせ、胴部にも平行沈線でモチーフを描く。

６と７は深鉢口縁部から胴部の破片で、同一個体と考えられる。口縁部は隆帯が上下端部を巡り、枠状に大小の把手を連結する。胴部は半截竹管による平行沈線で渦巻きや枠状モチーフを描く。

８はほぼ完形の小型深鉢で、口径10.5㎝、器高19.4㎝である。口唇部に蛇行隆帯が巡り、半截竹管の平行沈

線による弧状文が４カ所半描かれる。図裏面の弧状モチーフは1/3程描かれて途切れている。胴部は半截竹管の平行する蛇行沈線群を垂下させる。一部蛇行させない平行沈線もある。

９は深鉢口縁部から胴部片である。口縁部には隆帯及び連続したキザミを施した隆帯が貼付され、接点が「X」字状、「Y」字状の突起となる。10は、口縁部内面に段を持つ浅鉢の大型破片で、口径推定44.0㎝、残存高7.8㎝である。体外面に赤彩の痕跡がある。

11は深鉢口縁部で、口径21.6㎝、残存高21.0㎝である。口縁部には眼鏡状大型把手と「X」字状突起が各一対、計４カ所付けられる。突起は隆帯による横「S」字モチーフの起点となり、連結される。

12は深鉢で、口径推定24.5㎝、残存高32.0㎝である。口縁部には隆帯と蛇行隆帯が巡るが、他は剥離していて不明である。頸部から胴部にかけては櫛歯状工具の細沈線群が垂下する。頸部と胴部の境には、細沈線群が横位に巡る。胴下端部は無文化する。

13は深鉢の口縁から胴部片である。口縁部には背に沈線を施した隆帯を鍔状に巡らせ、小渦巻きモチーフを施した突起を付す。頸部と胴部の境に横位３条の沈線を巡らせ、沈線と蛇行沈線を施す。14は浅鉢口縁部である。体部から屈曲して「く」の字状に立ち上がる。沈線により枠状、楕円形等のモチーフが描かれる。

15は深鉢胴部片で、櫛歯状工具による蛇行沈線が垂下する。16は深鉢胴下半部から底部で、２段LR縦位回転の単節縄文が施される。17は深鉢胴部大型破片である。頸部には沈線と蛇行沈線を巡らせ、胴部には３本単位の平行沈線でクランク、方形等のモチーフを描く。沈線は一部押し引きによる結節沈線となる。

ＳＫ－９２（第31・109・110図、図版14・73・74・97）

E-20グリッドにある。開口部直径1.30m、底面直径1.81mの円形で、深さ0.85m、壁はオーバーハングし開口部が垂直に立ち上がる袋状土坑と推定される。SK-93と大きく重複し、両土坑とも出土遺物が多く、形状や範囲の把握に難しい部分があった。また、本土坑は、ある程度埋没してから土器が投棄されたことが、出土状態からわかる。

１は大型の甕の胴から底部で、最大径46.0㎝、残存高55.5㎝である。口縁部も若干遺存する。胴部は縦位の細条線を地文とし、２、３本単位の平行沈線で文様が描かれる。胴上部は連結された大小の渦巻き、下部は小渦巻きとそこから垂下する沈線がモチーフであり、上部大渦巻きは４単位、下部小渦巻きと沈線は８単位と考えられる。

２は甕の胴から底部で、最大径22.3㎝、残存高22.8㎝である。文様は３本単位の平行沈線で4単位の大渦巻きを描き、小渦巻き等を挟みながら相互に連結する。下部は大渦巻きから沈線を垂下させる。地文は複節縄文である。

３はほぼ完形の深鉢で、口径26.5㎝、器高37.0㎝である。土器文様は４単位で形成される。口縁部は横位隆帯と渦巻きを貼付し、胴部は２、３本単位の平行沈線で円ないし渦巻きを持つ「Y」字状モチーフを描く。但し、胴部は例外的な文様が一カ所入る。地文は撚糸文である。

ＳＫ－９３（第31・111～115図、図版14・74～76・97・98・109・112）

E-20グリッドにある。開口部直径0.90m、底面直径2.41mの円形で、深さ0.92m、壁はオーバーハングし開口部が外傾して立ち上がる袋状土坑である。開口部は、中央より南によった部分に設けられている。土器を中心に遺物は多く、土層との関係は明確にはできなかった。しかし、底面に近い土器は壁に近く、中央部の土器は開口部に近いことから、土坑がある程度埋没してから土器が投棄されたことがわかる。

１はほぼ完形の深鉢で、口径40.0㎝、器高52.2㎝である。口唇部は肥厚させ、口縁部に連結した隆帯の緩やかな横「S」字モチーフを６単位設ける。この間は、半截竹管の平行沈線でやや不整な長楕円形区画を形成

し、内部に同種工具による横位の平行蛇行沈線を一条描く。頸部と胴部は半截竹管の平行沈線の沿う隆帯で区画する。胴部は半截竹管の平行沈線の沿う隆帯で接点に円環状等の突起を付す上下対弧状モチーフを描く。内部には縦位蛇行沈線、モチーフ間には渦巻き、横位蛇行沈線等のモチーフが描かれる。地文は２段RLの単節縄文を、口縁部は横位に、頸部以下は縦位に施す。

２は深鉢の口縁部から胴部で、口径19.6㎝、残存高24.5㎝である。口縁部には円孔を有する大型把手一対が付く。口縁部は半截竹管の平行沈線の沿う隆帯で４単位の枠状区画が設けられる。区画内は無文で、区画接点は「X」字状となる。地文は単節縄文である。

３は深鉢の口縁部から胴部で、口径推定29.2㎝、残存高34.0㎝である。口縁部には４単位の山形把手を付し、中央に隆帯を蛇行・垂下させ口縁下端部の鍔状隆帯に結ぶ。隆帯で枠状に区画された口縁部は、縦位沈線で充填される。地文は撚糸文である。

４は深鉢の口縁部から胴部で、口径推定26.5㎝、残存高31.5㎝である。口縁部は緩やかな４単位の波状を呈し、波頂部から縦長の突起を垂下させる。胴部は断面三角形の隆帯で、４単位の菱形及び三角形のパネル状モチーフが描出される。

５はほぼ完形の深鉢で、口径36.5㎝、器高60.0㎝である。口縁部には鍔状に隆帯を巡らせ、隆帯を用い環状、橋状、渦巻きモチーフを組み合わせた複雑な把手を４カ所設ける。上部に環状、下部に渦巻きを伴う橋状部は共通するが、上部環状は２つと３つのものが一対づつある。間には口唇部と鍔状隆帯に跨る逆「U」字モチーフの隆帯も付く。把手及び口唇部内面にも形状に沿って隆帯が巡る。胴部は単節縄文を地文とし、２、３本単位の平行する隆帯で横「S」字、渦巻き、楕円、弧状等のモチーフが描かれる。

６はほぼ完形の深鉢で、口径21.0㎝、器高40.5㎝である。口縁部には、隆帯による渦巻き等で加飾された眼鏡状把手が４箇所付く。把手間はキザミを施した隆帯で細長い枠状区画が形成され、横位の結節沈線が施される。頸部には、蛇行隆帯と結節沈線が巡る。胴部は単節縄文を間隔施文し、縦位に結節縄文も見られる。肩部には、沈線や結節沈線で、円、弧状、蛇行等のモチーフが描かれる。底面周辺部に網代痕が残る。

７は甕で口縁部から胴上部である。口縁部には緩い小渦巻きを連結した突起を４箇所配するが、裏面１カ所は形態の異なる小突起が付く。口縁部は蛇行、横位隆帯が貼付される。胴上部は下部と隆帯で区画され、口縁部と同様の隆帯で渦巻きやクランクモチーフを描く。地文に単節縄文が認められる。

８は把手の付く口縁部である。把手は隆帯の渦巻き等で加飾された中空把手で、隆帯や蛇行隆帯で区画された口縁部は、クランク等のモチーフもみられる。胴部は縄文を用い、隆帯でモチーフを描く。

９は深鉢口縁から胴部である。口縁部は、鍔状に隆帯を巡らせ、渦巻で加飾された突起を付す。胴部は縦立回転の単節縄文を間融施文する。枠状の区画等も形成する。10は甕口縁から胴部である。口縁部には背に沈線を施した隆帯を鍔状に巡らせ、接点が突起状に突出する。頸部には半截竹管による平行沈線、蛇行沈線を巡らせ、胴部には垂下させる。10と11は同一個体の可能性が高い。12は深鉢口縁から胴上部である。口縁部には、背に沈線を施した隆帯の環状把手を付し、隆帯で渦巻き、弧状等のモチーフを描く。13は深鉢胴部大型破片で、縄文を間隔施文し、蛇行沈線や沈線による「U」字状モチーフ等を描く。14は甕胴部大型破片で、７と同様のモチーフである。15は深鉢胴部大型破片で、縄文を施し、２、３本単位の隆帯で渦巻き等のモチーフを描く。16は甕胴から底部で、胴部最大径推定42.2㎝、残存高36.2㎝である。地文に単節縄文を間隔施文し、２、３本単位の平行沈線で曲折連続するモチーフを描く。底部に網代痕もみられる。17、18、21は底部に網代痕が明瞭にみられる。19は小型深鉢の完形品で、底部に網代痕がある。口径9.2㎝、器高8.4㎝である。20は深鉢胴下部から底部である。地文に縄文を用い、２本単位の平行沈線で渦巻きや湾曲するモチーフ

を描く。

ＳＫ－１０３（第31・116図、図版15・76）

E-19グリッドにある。開口部直径1.05m、底面直径2.53mの円形で、深さ0.98m、壁はオーバーハングし開口部が外傾して立ち上がる袋状土坑である。開口部は、南側が他の土坑との重複で失われている。覆土は２・３層がローム主体で、壁崩落か埋め戻し土の可能性もある。遺物は土器大型破片や直方体状のやや軟質の大石があるが、多くない。

ＳＫ－１０５（第31・117図、図版15・76）

E-19グリッドにある。開口部長径1.60m、短径1.15mの不整楕円形で、深さ0.36m、壁は外傾して立ち上がる。遺物は大型土器片がある。１は４単位の波状口縁の深鉢である。口縁部は微隆帯で緩やかな弧状区画が形成され、円環状列点を２段施す。波頂部には、扁平幅広の隆帯の「の」の字状突起を有し、以下に小橋状把手を付したようだ。頸部は口縁部区画に対応して沈線で弧状の区画が形成され、下部が磨り消される。胴部は沈線と磨消帯で円形等のモチーフが４単位表される。２は深鉢口縁部から胴部で、口径34.6㎝、残存高25.1㎝である。口縁部は無文で、断面三角形の微隆帯を巡らし、突起をおそらく４単位付す。胴部は単節縄文のみ施す。

ＳＫ－１１１（第31・118図、図版121）

E-19グリッドにある。開口部長径1.28m、短径1.13mの楕円形と推定され、深さ0.12m、壁は外傾して立ち上がる。１の石皿大型破片が、壁際に立った状態で確認された。

ＳＫ－１２３（第33・119図、図版17・76・99）

D-19グリッドにある。開口部直径2.19m、底面直径2.28mの不整円形で、深さ0.45m、壁はオーバーハングして立ち上がる袋状土坑である。開口部は、南東部以外かなり崩落している。１のほぼ完形の深鉢が土坑中央部やや浮いた状態で出土した。１は口径15.0㎝、器高24.0㎝である。口縁部は隆帯で連結された小渦巻きと垂下する隆帯５単位を付す。隆帯間は平行する沈線や充填する沈線群が施され、一部複孤状モチーフをイメージさせる。胴部は縄文のみ施される。

ＳＫ－１２５（第32・120図、図版17・76・77・99）

D-19グリッドにある。開口部直径1.80m、底面直径2.20mの円形と推定され、深さ0.48m、壁はオーバーハングし開口部が垂直に立ち上がる袋状土坑である。

土器の出土は多く、礫と共に、東部に形を保った状態で投棄されている。１は底部が欠損する以外ほぼ完形の深鉢で、口径17.2㎝、残存高30.2㎝である。口縁部は鍔状に隆帯を巡らせ、隆帯による横「Ｓ」字モチーフ５単位と橋状把手が付く。各モチーフは細い隆帯や沈線、結節沈線で加飾される。胴部は単節縄文が間隔施文される。２は底部が欠損する甕で、口径38.0㎝、残存高46.0㎝である。口縁部は渦巻き等で加飾された隆帯による把手を４単位付し、間を連続したキザミを施した鍔状隆帯で連結する。頸部には３本の横位隆帯を巡らせる。胴部は２、３本単位の隆帯で連結された大小渦巻きモチーフ等を描く。３は底部を欠損する深鉢で、口径25.8㎝、残存高26.2㎝である。口縁部は肥厚し隆帯による５単位の「Ｖ」字状モチーフが付され、若干長く押し引かれた連続爪形文が沿う。胴部は単節縄文が間隔施文される。４はほぼ完形の深鉢で、口径推定16.4㎝、器高24.0㎝である。口縁部には連続したキザミを施した鍔状隆帯を巡らせ、４単位の橋状把手を付す。胴部は縄文が間隔施文される。５は波状口縁の深鉢口縁部である。口唇部は肥厚し、口縁下部も鍔状に隆帯が巡り、沈線が沿う。口縁区画内には鋸歯状沈線が施される。地文に縄文が施される。６は地文に網目状撚糸文を用い、２本の沈線で渦巻きが描かれる。沈線間は磨り消される。

ＳＫ－１２６（第33・119図、図版17・109）

D-19グリッドにある。開口部長軸1.41m、短軸1.03mの隅丸長方形で、深さ0.16m、壁は外傾して立ち上がる。形状が隅丸方形で、北辺と南辺の一部に沿って礫が並ぶ。礫が底面下まで達し、立った状態であった可能性がある。遺物は少ない。

ＳＫ－１２８（第33・121図、図版17・124）

D-19グリッドにある。開口部長軸1.37m、短軸0.74mの隅丸長方形と推定され、深さ0.14m、壁は外傾して立ち上がる。土器は少ないが、東端部と推定される部分に、１の台石の大型破片がある。下端は土坑底面下までおよぶ。

ＳＫ－１３８（第31・122図、図版14・18）

E-20グリッドにある。開口部長軸0.73m、短軸0.60mの楕円形と推定され、深さ0.22m、壁は外傾して立ち上がる。長辺に扁平でほぼ同じ大きさの石がある。遺物は東壁際の石皿破片のみである。石囲い炉の可能性もあるが焼土は確認できず、断定できなかった。

ＳＫ－１３９（第34・122図、図版18・77・117）

D-19グリッドにある。開口部直径2.09m、底面直径1.70mの円形と推定され、深さ0.25m、壁は外傾して立ち上がる。遺物は土器大型破片と石器がある。１は深鉢口縁から胴部で、口径26.5㎝、残存高24.6㎝である。口唇部は肥厚し、４単位の「Ｖ」字状突起を付す。胴部と頸部の境は隆帯が巡り、口縁突起と45度ずれた場所に隆帯が垂下する。地文に単節縄文を施す。２は深鉢口縁部から胴部で、口径21.3㎝、残存高24.2㎝である。無文の口縁部は外方に屈曲し、頸部には押し引きされた沈線が一条巡る。胴部は無節縄文が間隔施文される。３は深鉢口縁部から胴部で、縄文が間隔施文される。

ＳＫ－１４０（第34・123図、図版18・78・117・125）

D-19グリッドにある。開口部直径1.72m、底面直径1.66mの円形と推定され、深さ0.50m、壁はオーバーハングして立ち上がる袋状土坑である。南北壁際に直径50㎝、深さ25㎝程のピットがある。遺物は土器の他、磨石と石棒がある。１は深鉢口縁から胴部で、口径26.5㎝、残存高17.2㎝である。口縁部には隆帯で加飾された中空の眼鏡状把手がおそらく４カ所付く。把手間は縦横の隆帯で充填される。以下、縄文を間隔施文し、半截竹管の平行沈線で複孤文様のモチーフを描き蛇行沈線を垂下させる。２は深鉢口縁部で、隆帯により渦巻きと枠状区画が形成される。区画内は縦位の細条線群が施される。胴部は地文に縄文を施し、縦位の沈線群を施す。５は甕胴部で、縦位の細条線群を施し、２・３本単位でクランク、渦巻き等のモチーフを描く。

ＳＫ－１４２（第35・124・125図、図版18・78・100・122）

E-19グリッドにある。開口部直径1.62m、底面直径1.94mの円形と推定され、深さ0.34m、壁は本来オーバーハングして立ち上がる袋状土坑である。遺物は土器や石皿がある。１はほぼ完形の深鉢で、口径20.0㎝、器高32.0㎝である。胴部は筒状、口縁部は湾曲し、文様は隆帯と結節沈線で描かれる。地文は２段RL、LRを交互に縦位回転させた単節縄文で、矢羽根状となる。口縁部の前後は緩やかな突起と小橋状把手を付す。左右は欠損するため不明である。前後の把手下の渦巻きと左右の「Ｙ」字モチーフは波状モチーフで連結される。胴部は口縁渦巻き下に直線とクランク、「Ｙ」字モチーフ下に蛇行モチーフを垂下させる。直線とクランクの左には対孤モチーフ、右には中央で左に突出するモチーフが描かれる。２は深鉢口縁から胴部である。口縁部は隆帯が巡り加飾され、頸部以下は半截竹管の平行沈線で渦巻き等のモチーフを描く。地文は単節縄文が間隔施文される。３は胴部で、隆帯と円環状突起、連続爪形文が施される。４は口縁部で、平行沈線間に上下交互刺突を施す。５は横位爪形文がみられる。

ＳＫ－１４４（第33・125図、図版18・19・78・117）

E-19グリッドにある。開口部直径2.10mの円形で、深さ0.42m、壁はオーバーハングして立ち上がる袋状土坑である。東部壁際にピットがある。遺物はある程度形を保った土器などがある。１は深鉢口縁から胴部で、口径推定19.2㎝、残存高20.8㎝である。口縁部には隆沈線で円、渦巻きと枠状区画が形成される。胴部は３本単位の垂下する沈線、２本単位の蛇行沈線が交互に施される。３は甕口縁から胴部で、口径推定32.0㎝、残存高21.5㎝である。外反する口縁部は渦巻きの突起が付き、隆帯で連結される。無文の頸部下には円形連続刺突が巡る。胴部は複節縄文を地文とし、２、３本単位の平行沈線で相互に連結させた大小渦巻き、円、棘状モチーフ等が描かれる。沈線間は磨り消される。

ＳＫ－１４６ａ（第36・126・127図、図版19・109・124）

E-19グリッドにある。開口部長径1.73m、短径1.34mの楕円形と推定され、深さ0.23m、壁は外傾して立ち上がる。SK-146bとの区別が明瞭でなく、形状は判然としない部分がある。遺物は土器大型破片が多く、11の台石等と共に纏まって出土した。１～３は、微隆帯で胴部と区画した無文の口縁部が４単位の緩やかな波状を呈し、胴部には単節縄文のみ施される。いずれも口径40㎝前後と大型の深鉢である。６と９も同様の土器と考えられる。７は無文の口唇部に一条の凹線を巡らせる。５は口径推定57.2㎝、残存高52.0㎝で、４単位の波状口縁の大型深鉢である。口縁波頂部にはおそらく円、波頂部間には三日月形の口縁部文様を微隆帯で描く。胴部は沈線を伴う幅広の縦位磨消帯を垂下させる。８も５と同種モチーフと考える。

ＳＫ－１４６ｂ（第36・127・128図、図版19・78）

E-19グリッドにある。開口部直径1.89m、底面直径2.62mの円形で、深さ0.56m、壁はオーバーハングし開口部が垂直に立ち上がる袋状土坑である。遺物は土器大型破片などがあり、底面壁際からの出土がみられる。１は深鉢口縁から胴部で、口径20.2㎝、残存高26.0㎝である。口縁部には隆帯で加飾された眼鏡状モチーフの把手を４単位付す。頸部には半截竹管の平行沈線を縦位に施し、間に同沈線で弧状モチーフを描く。胴上端部には同工具による平行、蛇行沈線を数条巡らせ、以下、縦位パネル状に器面を分割し、弧状、小渦巻き、クランク等のモチーフを描く。２は馬高系土器の把手、３は１に近い土器であろう。５は波状口縁で、縄文原体圧痕が数条巡る。

ＳＫ－１４８（第36・128・129図、図版19・78・100・112）

E-19グリッドにある。開口部直径1.84m、底面直径2.16mの不整円形で、深さ0.74m、壁はオーバーハングし開口部が垂直に立ち上がる袋状土坑である。底面壁際にピット２基がある。これらは、壁崩落土や流入土により、自然埋没したものと考えられる。遺物は大型土器片などが壁際底面近くから出土した。１は甕口縁から胴部で、口径38.0㎝、残存高38.0㎝である。口縁部には隆帯による渦巻きで加飾された山形・眼鏡モチーフの大把手と渦巻き小突起を各４単位付す。大把手間は縦位太沈線群で充填される。胴部は、間を一部磨り消した幅の狭い平行沈線で連結された大小渦巻きを描く。４は外反する深鉢口縁部片である。口唇部は折り返され、短条線群と交互刺突が施される。口縁部は斜位の条線群が施され、頸部に蛇行沈線が巡る。

ＳＫ－１５２（第34・129・130図、図版19・79）

D-19グリッドにある。開口部直径1.80mの円形と推定され、深さ0.28m、壁は外傾して立ち上がる。遺物は完形の土器などがある。１はほぼ完形の深鉢で、口径推定18.7㎝、器高21.5㎝である。口縁部は４単位の波状を呈し、口唇部は無文、波頂部はキザミを有し幅のある帯状の隆帯を前方へ突起状に突出させる。口縁部には蛇行沈線を巡らせる。胴部は口縁部波底下に隆帯を垂下させ、器面を縦位に分割する。隆帯間は沈線で「U」字状、逆「U」字状、その他屈曲するモチーフを描く。底部には網代痕がみられる。２は深鉢口縁部で、

推定口径15.8㎝、残存高11.5㎝である。口縁部には押捺を伴う山形の突起と橋状把手が付く。突起内面には結節沈線を伴う隆帯が付される。把手間は隆帯で狭い枠状区画が形成され、隆帯接点は「Ｘ」字状となる。把手下頸部には結節沈線を伴う隆帯で渦巻きを描く。頸下端部には沈線と蛇行沈線が巡る。地文は単節縄文を間隔施文する。

ＳＫ－１５４（第34・130図、図版20・79・101）

D-19グリッドにある。開口部直径1.35m、底面直径1.44mの円形と推定され、深さ0.24m、壁はオーバーハングして立ち上がる袋状土坑である。大小の礫と共に土器が出土した。１は深鉢口縁から胴部で、口径26㎝、残存高30.8㎝である。口唇部は肥厚され、口縁部は連続爪形文や押捺の施された隆帯で４分割される。内部には連続爪形文を施した隆帯で「Ｖ」字状、円、楕円モチーフを描き組み合わせる。口縁部を区画する隆帯に沿って半截竹管の連続角押文が施され、おそらく同種工具の背腹を交互に用いた結節沈線、角押文ないし連続爪形文で充填する。胴部は、口縁部区画と45度ずらして連続押捺を施した隆帯を垂下させ、器面を４分割する。胴上半部には、半截竹管による複列の結節沈線が横位３段巡り、間は口縁部区画内充填手法と同様の手法が用いられる。胴下部は無文化する。なお、２の底部が同一個体と考えられる。３は深鉢口縁部で、波状を呈する。連続爪形文が沿う隆帯が貼付される。

ＳＫ－１６０（第36・131～133図、図版20・111・118・122）

F-19グリッドにある。開口部直径1.98m、底面直径2.36mの不整円形で、深さ0.63m、壁はオーバーハングして立ち上がる袋状土坑である。壁が垂直に近い南部は、２・４層など壁崩落土が覆土の大部分を占める。遺物は、土器が少ないものの、磨製石斧、磨石、石皿などの石器が多く出土した。これらは、ある程度土坑が埋没してから投棄されたと考えられる。

ＳＫ－１６２ａ（第37・133・134図、図版21・79）

E-19グリッドにある。開口部長径2.73m、短径1.96mの楕円形と推定され、深さ0.45m、壁はオーバーハングして立ち上がる袋状土坑である。壁際底面直上で、ほぼ完形の深鉢１が出土した。口径20.2㎝、器高34.6㎝である。口縁部には鍔状に隆帯が巡り、更に背に結節沈線を施した蛇行隆帯を貼付する。胴部には縄文が施される。２は深鉢口縁から胴部の大型破片である。口縁部は波状で、波頂部から隆帯を垂下させ器面を分割し、沈線の渦巻きや曲折するモチーフで充填する。胴部は隆沈線で区画され、更に縦位に分割される。区画内は単節縄文が施される。３は深鉢口縁から胴部で、口径13.0㎝、残存高13.6㎝である。口縁上端部には角押文が施され、器面は単節縄文を間隔施文する。７は深鉢口縁部で、波状を呈する。口縁部は平行沈線の沿う隆帯で枠状文が形成され、地文に単節縄文を施す。頸部は無文化する。４、６、８も同系統の土器である。

ＳＫ－１６６（第37・134～136図、図版21・79・80・111・118・122）

E-19グリッドにある。開口部直径1.88m、底面直径2.38mの不整円形で、深さ0.52m、壁はオーバーハングし開口部が垂直に立ち上がる袋状土坑である。比較的多くの土器片と磨製石斧、磨石、石皿が出土した。

１は深鉢口縁から胴部で、口径23.0㎝、残存高16.0㎝である。口縁部は４単位の大波状で、波頂部にキザミを施す。器面全体に単節縄文を施す。２は深鉢口縁から胴部で、口径推定15.4㎝、残存高17.5㎝である。口縁部には鍔状の隆帯を巡らせ、更に背に結節沈線を施した隆帯で眼鏡状モチーフを表出する。胴部は単節縄文を間隔施文する。３は深鉢の口縁から胴部で、口径推定27.8㎝、残存高32.2㎝である。口縁部は４単位の波状で、波頂部から背に連続爪形文を施した隆帯を蛇行垂下させる。口唇部や頸部との境にも隆帯が巡り、連続爪形文が沿う。区画内には蛇行沈線が横走する。胴部は連続爪形文の沿う隆帯で区画された上部に文様を集約する。隆帯と連続爪形文により３単位の「Ｕ」字状モチーフを描き、蛇行沈線や短沈線群で空間を充填す

る。４は３と同じモチーフで同一個体であろう。５と６は同一個体で、連続爪形文の沿う隆帯でモチーフを描く。７は、５と６のモチーフにペン先状連続刺突も加わる。８と９は単節縄文を間隔施文し、複列の結節沈線でモチーフを描く。

ＳＫ－１７１（第35・137・138図、図版21・122）

E-19グリッドにある。開口部直軸1.82m、短軸1.58mの隅丸長方形と推定され、深さ0.30m、壁は外傾して立ち上がる。遺物は多くないが、６の石皿が、北壁に立て掛けられたように出土した。

ＳＫ－１７２（第38・138図、図版22・80・110）

E-19グリッドにある。開口部直径2.15m、底面直径2.31mの円形と推定され、深さ0.52m、壁はオーバーハングし開口部が垂直に立ち上がる袋状土坑である。遺物はそれ程多くない。１は深鉢口縁から胴部で、口径推定23.5㎝、残存高26.0㎝である。口縁部には４単位の鰭状突起を有し、突起間が複列の結節沈線の沿う枠状区画となる。区画内は複列の結節沈線で楕円、「M」字状モチーフあるいは蛇行沈線が描かれる。胴部は２本単位の蛇行沈線や連続爪形文が横位に施される。

ＳＫ－１７７（第37・139図、図版22・80）

F-19グリッドにある。開口部直径0.75mの円形で、深さ0.17m、壁はほぼ垂直に立ち上がる。土器２固体分の大型破片が、開口部付近に出土した。１は深鉢胴部で、最大径推定24.2㎝、残存高20.5㎝である。沈線を伴う充填縄文や磨消帯により、縦位の「Ｓ」字状モチーフを描出する。２は樽形の口縁から胴部大型破片である。口縁部は無文化し下端に微隆帯を巡らせる。把手は左右に一対付き、周囲は微隆帯で楕円形を描き内部を磨り消す。正面と裏面には、小突起から左右対称に微隆帯による弧状モチーフを描き、内部を磨り消す。

ＳＫ－１８０（第38・139・140図、図版22・81）

E-19グリッドにある。開口部直径1.75m、底面直径2.10mの円形と推定され、深さ0.52m、壁はオーバーハングし開口部が垂直に立ち上がる袋状土坑である。土器が南部壁際底面直上周辺から多く出土した。

１はほぼ完形の深鉢で、口径14.8㎝、器高19.0㎝である。口唇部は肥厚し単節縄文を施す。胴部は単節縄文を間隔施文する。底部には木葉痕がある。３は深鉢口縁部で、大波状を呈する。単節縄文が施された沈線の沿う隆帯で枠状区画や波底部の小把手が形成される。区画内は縦位沈線を充填する。４は深鉢口縁部片である。口唇部に上下交互刺突を施した隆帯を巡らせ、背に沈線を施した隆沈線で渦巻き等のモチーフを描く。空白部は縦位沈線で充填される。頸部は縄文が施される。７は大型深鉢の口縁部である。円、楕円形の孔を有し隆帯で加飾された直方体状の中空把手は口縁部を巡る鍔状隆帯に連結する。頸部にも渦巻きや蛇行モチーフを一部取り入れた横位隆帯が巡る。８は底部が欠損した深鉢で、口径28.9㎝、残存高39.8㎝である。口唇部内面は段を有し、口縁部には丸く肥厚し上面がやや窪む突起が一カ所付く。器面は全て２段RLの単節縄文が間隔施文される。口縁部は横位２段、頸部は口縁突起を境に向かって右半分が縦位回転、左半分が横位３段、括れ部以下の胴部は例外的に短い縦位を交えながら横位８段施文する。

ＳＫ－１８４（第38・140・141図、図版22・81・122）

E-18グリッドにある。開口部直径1.80m、底面直径2.20mの円形で、深さ0.58m、壁はオーバーハングし開口部が垂直に立ち上がる袋状土坑である。比較的大型の土器片と石皿１点が出土した。

１と２は口縁部片である。１は隆帯と複列の結節沈線で楕円形区画が形成される。２は鰭状突起を有し、複列の結節沈線でモチーフが描かれる。４は沈線で渦巻きや三角形等の幾何学的な文様が描かれ、地文に単節縄文を施す。６は深鉢で、口径推定22.5㎝、器高32.2㎝である。口縁部は平縁で、隆帯による楕円形区画がおそらく４単位形成される。胴部は横位隆帯で３段に分かれ、楕円形区画が形成される。最下段は「Ｙ」字

状隆帯が垂下する。７は深鉢口縁から胴部で、口径29.2㎝、残存高25.5㎝である。器面全体に単節縄文が施される。

ＳＫ－２０９（第40・144・145図、図版24・81・82）

C-16グリッドにある。開口部直径2.06mの円形で、深さ0.69m、壁は外傾して立ち上がる。比較的多くの土器が出土した。

１は深鉢で3/4程遺存する。口縁部には蛇行隆帯が巡り、隆帯で加飾された把手が付く。頸部と胴部の境には沈線及び蛇行沈線が横位に巡る。底部には木葉痕が認められる。２は甕の口縁から胴部大型破片で、口径推定30.5㎝、残存高35.5㎝である。口縁部には隆帯及び蛇行隆帯が鍔状に巡り、渦巻き等の加飾が施された把手が付く。胴部は半截竹管による平行沈線で蛇行、渦巻き、クランク等のモチーフが描かれる。３は台付土器で、口径推定11.2㎝、器高14.0㎝である。口縁部には蛇行隆帯が鍔状に巡り、渦巻きや蛇行隆帯で加飾された橋状把手が４カ所付く。胴部は無文で、屈曲部に隆帯及び蛇行隆帯が巡る。台部は低く1㎝程である。４は小型深鉢である。上半部に鋸歯状の沈線が巡り、地文に撚糸文を施す。６は深鉢の波状口縁部片である。隆帯に沿って連続爪形文が施され、枠状の区画内には沈線で鋸歯状等のモチーフが描かれる。隆帯上には単節縄文が施される。

ＳＫ－２１３（第41・146図、図版25・82）

C-16グリッドにある。開口部直径0.96mの円形で、深さ0.34m、壁は外傾して立ち上がる。比較的小型の土坑から２固体分の土器大型破片が出土した。

１は深鉢口縁から胴部大型破片で、口径推定35.8㎝、残存高34.2㎝である。口縁部は、円孔と凹部を設けた突起を付す以外無文である。頸部には沈線が巡る。胴部は沈線で蕨手状モチーフを描き斜位沈線で連結する。２は口縁から胴部大型破片で口径推定19.8㎝、残存高16.0㎝である。口縁部は凹線が巡り、頸部と胴部の境には沈線が巡る。胴部には沈線で鋸歯状のモチーフが描かれ、頂部に凹部と蕨手状モチーフが付く。

ＳＫ－２１６（第41・147図、図版25・82）

D-16グリッドにある。開口部直径1.91mの不整円形で、深さ0.30m、壁は外傾して立ち上がる。土器片が少量出土した。１は深鉢口縁から胴部で、口径15.2㎝、残存高15.8㎝である。口唇部には円形連続刺突と結節沈線を巡らせ、口縁部には上下交互刺突を施した隆帯を鍔状に貼付する。結節沈線を施した隆帯による突起は４カ所付く。胴部は単節縄文を間隔施文し、沈線、蛇行沈線、結節沈線でモチーフを描く。２は波状口縁の波頂部で、端部にキザミを施し、隆帯に沿って連続爪形文を付す。３は胴部片で、地文に単節縄文を施し、隆帯を垂下させる。４と５は同一個体と考えられる深鉢である。口縁部には複列の幅の広い結節沈線が巡り、「Ｖ」字状モチーフも形成する。胴部には櫛歯状工具の蛇行沈線が垂下する。

ＳＫ－２１９（第41・147図、図版25）

C-17グリッドにある。開口部直径1.77m、底面直径1.90mの不整円形で、深さ0.40m、壁が底面から外傾して立ち上がった後オーバーハングし開口部へ至る袋状土坑である。２・４層がロームを主体とすることから、壁の崩落と開口部からの流入土があったことが分かる。出土土器は少ない。１は浅鉢口縁から体部の大型破片で、口径推定28.4㎝、残存高12.5㎝である。「く」の字状に屈曲する口縁部には、幅の広い結節沈線が沿う隆帯で楕円形区画が形成される。

ＳＫ－２２６（第42・147・148図、図版26・82・112）

D-17グリッドにある。開口部直径1.54m、底面直径2.25mの不整円形で、深さ0.49m、壁はオーバーハングし開口部が垂直に立ち上がる袋状土坑である。遺物は土坑周辺部の出土が多い。

４は深鉢口縁から胴部で、口径推定19.6㎝、残存高26.3㎝である。口縁部には連続爪形文ないし幅の広い結節沈線が沿う隆帯で楕円形区画が形成される。胴部は、口縁部区画接点から蛇行隆帯が垂下するようである。５、６、７はモチーフが同様で、同一個体の可能性がある。口縁部には背に複列の結節沈線を施した横「Ｓ」字状隆帯を貼付し、隆帯や結節沈線でモチーフを描く。胴部は隆帯で縦位に４分割し、複列の沈線で対弧状モチーフを描く。

ＳＫ－２５７（第43・150・151図、図版28・29・82・83）

D-16グリッドにある。開口部直軸3.07m、短軸2.10mの不整楕円形で、深さ0.44m、壁はオーバーハングして立ち上がる。本来は袋状土坑と考えられる。底面中央と壁中にピットがある。土器の出土が比較的多い。

１は深鉢口縁から胴部大型破片で、口径推定29.0㎝、残存高22.5㎝である。口縁部には隆帯による環状等のモチーフを合わせた大型の把手を有し、背に連続押捺を施した隆帯で連結される。胴部には１、２本の隆帯で弧状、枠状のモチーフが描かれる。２は深鉢口縁から胴部の大型破片である。口唇上端部には連続した押捺が施され、口縁部には結節沈線の沿う隆帯で渦巻き等のモチーフが描かれる。３は深鉢口縁から胴部大型破片で、口径推定23.2㎝、残存高17.0㎝である。把手は結節沈線や沈線で加飾された隆帯で形成され、その間は幅の狭い枠状区画が形成され円環状連続刺突が施される。胴部は結節沈線の伴う隆帯で枠状等のモチーフが施される。４は小型の深鉢で、口径推定13.4㎝、残存高17.2㎝である。口縁部には、連続した押捺を施した隆帯が巡る。９は深鉢で、口径推定19.2㎝、残存高22.5㎝である。口縁部は４単位の大型波状を呈するが、完存するのは図正面にした一カ所のみで、左右は失われ、裏側は上半分が失われ形状が異なる。裏側の把手は図正面にした部分より大きく中央に直径２㎝以上の円孔があることから、本来の正面であるかもしれない。器面には単節縄文を施し、胴部には小渦巻きを施した「Ｙ」字状隆帯を３カ所付す。

ＳＫ－２６５（第44・152図、図版29・83）

E-16グリッドにある。開口部直径2.39mの円形で、深さ0.23m、壁は外傾して立ち上がる。西部壁際にピットが２基ある。土器大型破片が北部壁際より出土した。１は深鉢で、口径推定19.8㎝、器高28.2㎝である。無文の口唇部には沈線が巡り、２本単位の平行する沈線で弧状モチーフを描く。胴部には２本単位の沈線が垂下する。地文は撚糸文である。

ＳＫ－２９２（第46・153図、図版31・108）

E-16グリッドにある。開口部直径1.98mの円形と推定され、深さ0.40m、壁はほぼ垂直に立ち上がる。覆土下部２層はロームが多く、埋め戻された可能性もある。底面西寄りにピットが１基ある。

遺物は土器小片が多い。１～10、12は深鉢の破片である。集合沈線や平行沈線の幾何学的モチーフが施される。11は注口土器の体部であろう。13は土偶の腰部と考えられ、集合沈線の渦巻きモチーフと連続した刺突が施される。

ＳＫ－３００（第45・155図、図版32・83）

F-15グリッドにある。開口部直径1.60mの円形と推定され、深さ0.11m、壁は外傾して立ち上がる。東半分はSI-40構築に伴い失われている。

遺物は土器大型破片が出土した。１は深鉢口縁から胴部破片で、口径推定35.8㎝、残存高28.0㎝である。無文の口縁部は４単位の波状と推定され、頸部には沈線が巡る。波頂部には上下に円形浮文を伴う隆沈線が垂下する。胴部は、口縁波頂部下に４本の垂下する沈線、波底部下に「８」の字状浮文と垂下する蛇行沈線が施される。２は無文の口唇部に沈線を巡らせ、胴部に蕨手状沈線を施す深鉢である。

ＳＫ－３０７（第46・155・156図、図版32・83・84）

C-14グリッドにある。開口部直軸1.68m、短軸1.02mの不整形で、深さ0.24m、壁は外傾して立ち上がる。ピットが２基ある。

遺物は土器大型破片が多い。１は深鉢波状口縁波頂部である。口縁部は微隆帯で区画され無文化し、波頂部先端が割れる。胴部にも微隆帯で区画された磨り消し部が垂下しモチーフを描く。２も深鉢波状口縁波頂部である。口縁部には微隆帯が巡り無文化し、下段には円形列点が施される。波頂部には扁平な隆帯で「の」字状突起が施され円孔が穿たれる。胴部には波頂部突起から微隆帯で縁取られた磨消帯が垂下する。４は深鉢口縁から胴部で、口径推定35.6㎝、残存高24.5㎝である。無文の口縁部下に微隆帯が巡り、突起がおそらく４カ所付く。胴部は単節縄文が施される。３と５は４と同様な土器である。７は深鉢胴部である。微隆帯で上下２段の連続する渦巻き等のモチーフを描き、単節縄文を充填する。６は７と同様の土器、８はモチーフや手法が異なる文様が描かれる。９は胴上部は微隆帯で、下部は沈線でモチーフが描かれ、内部に縄文が施される。

ＳＫ－３３１（第47・157図、図版33・84）

C-13グリッドにある。開口部直径1.20mの円形で、深さ0.12m、壁は外傾して立ち上がる。１は深鉢口縁から胴部大型破片である。口縁部は波状で微隆帯で区画され上段が無文化、下段には連続円形刺突が施される。波頂部は扁平な隆帯による円環状モチーフが付く。胴部は微隆帯で上部は弧状、下部は連続する渦巻きが描かれ、単節縄文が充填される。最下部は微隆帯が波状に巡り、以下無文化する。

ＳＫ－３６７（第48・159図、図版35・84）

D-13グリッドにある。開口部長径1.84m、短径1.16mの楕円形で、深さ0.42m、壁は外傾して立ち上がる。底面には中程に段があり、南側がやや深い。遺物は土器がやや多く出土した。

１は注口付き浅鉢の口縁から体部で、口径推定24.4㎝、残存高19.0㎝である。口縁部正面には「８」の字状隆帯、円環状刺突、円形浮文等で加飾された大型の把手、側面には「８」の字状隆帯の突起が付く。口唇部は無文化し、口縁部は横位隆帯で上下が縁取られ内部は連続円環状刺突が施される。正面の大型把手の右側に直径1.5㎝の注口部があるが、外方に突出しない。体部は無文化する。５は深鉢胴部大型破片である。沈線でモチーフが描かれる。一部沈線間には縄文もみられる。７は深鉢口縁から胴部大型破片で、口径推定28.2㎝、残存高16.5㎝である。口縁部は無文で、下部に微隆帯が巡る。突起はおそらく４単位付く。胴部は櫛歯状工具の平行沈線が施される。

ＳＫ－３７６ａ（第48・160図、図版84）

D-12グリッドにある。開口部直径0.84mの円形で、深さ0.06m、壁はほぼ垂直に立ち上がる。壁際にピットが１基ある。１は深鉢口縁から胴部大型破片である。無文の口縁部には円形浮文を小突起状に一対設ける。胴部は突起下に沈線による縦位の楕円形、その左右に屈曲するモチーフを描き、更に蛇行沈線を垂下させる。

ＳＫ－４２７（第50・163図、図版37・85）

E-11グリッドにある。開口部直径1.17mの円形で、深さ0.30m、壁は外傾して立ち上がる。１は深鉢口縁から胴部大型破片である。微隆帯が巡り無文化した口縁部は大型の波状を呈する。波頂部には、口縁下部を縁取る微隆帯に続く「ノ」の字状の隆帯が付く。胴部は地文に無節縄文を施し、沈線で区画した磨消帯でモチーフを描く。２は深鉢口縁から胴部大型破片である。無文の口縁部下に微隆帯を巡らせ、やや上向きの三角形の突起を付す。胴部は単節縄文を施す。

ＳＫ－４４５（第51・164図、図版37・85）

F-12グリッドにある。開口部直径1.70m、短径1.40mの不整楕円形で、深さ0.16m、壁は外傾して立ち上がる。北部壁際にピットがある。１は深鉢口縁から胴部の大型破片で、口径推定30.0㎝、残存高33.0㎝である。口唇部には沈線が巡り、文様の起点は一対の小突起状となり「８」の字状浮文が付く。胴部には３本単位の集合沈線が緩やかに湾曲しながら垂下する。

ＳＫ－４５５（第52・165図、図版85・101）

F-12グリッドにある。開口部長軸1.20m、短軸1.03mの不整形で、深さ0.20m、壁は外傾して立ち上がる。南部壁際にピットが２基ある。１は深鉢口縁から胴部で、口径46.5㎝、残存高39.0㎝である。口縁部は４単位の波状を呈し、波頂部に上面が皿状で正面が円環状の突起が付く。口唇部には２条の沈線が巡る。前後の把手は「８」の字状浮文で加飾され２本の鎖状隆帯が垂下する。側面の把手からは１本の鎖状隆帯が垂下する。胴部は鎖状隆帯で縦位パネル状に４分割され、集合沈線のモチーフで充填される。

ＳＫ－４６８（第52・165～169図、図版37・85・86・105・106）

B-13グリッドにある。開口部長軸方向2.0m、短軸方向1.0mの落ち込みが確認された。深さ0.92m、底面は段を有し壁は外傾して立ち上がる。北部壁際にピットがある。本遺構は調査区際にあり、南側が極端に傾斜することから、台地傾斜地に設けられた抉り込みの可能性もある。覆土は３層が相当し一様である。底面は常に湿った状態で、季節にもよるが若干湧水しているようである。遺物は土器大型破片を中心に極めて多く、土製円盤や石皿もある。

１～12は無文の口縁部が微隆帯で区画され、胴部は両側に微隆帯を伴う磨消帯でモチーフが描かれる。７は波頂部に円孔を有し、９は波頂部が双頭状に分かれる。13～18は無文の口縁部が微隆帯で区画され、胴部に沈線を伴う磨消帯でモチーフを描く。13は口径推定27.2㎝、残存高26.8㎝で、胴部には沈線を伴う磨消帯の「Ｙ」字状モチーフが見られる。16は口径推定23.2㎝、残存高20.4㎝である。口縁部が波状を呈し、胴部には渦巻きモチーフを描く。17の口縁波頂部は双頭状に分かれ、微隆帯下に円形の連続刺突が施される。18は無文の口縁を沈線で画する。19～29は胴部に単節縄文など地文のみ施される土器である。19は口径推定24.0㎝、残存高18.5㎝である。口縁部は４単位の小突起を起点に微隆帯で弧状区画を形成し、内部を無文化する。20は口径推定25.6㎝、残存高28.4㎝である。３単位の小突起を有し、無文の口縁部は小突起部で山形に接する微隆帯で区画される。

30～33は把手や突起部である。30は円環状の把手を付し、沈線を伴う磨消帯が垂下する。31は「の」の字状扁平隆帯で加飾される。33は動物意匠把手で、両側に渦巻き、先端部には刻まれた口の表現が見られる。

ＳＫ－４９７（第54・171図、図版38・86）

D-10グリッドにある。開口部直径1.75mの不整円形で、深さ0.34m、壁は緩やかに外傾して立ち上がる。西部にピットが２基ある。出土遺物は少ない。１は体部が湾曲する鉢の口縁部から体部大型破片である。口縁部は沈線が巡り、縄文帯と磨消帯が各２段巡る。体部には縄文のみ施される。２は注口土器口縁の把手のかもしれない。５は小型石皿ないし器と考えられる。

ＳＫ－５２１ａ（第54・172図、図版108）

D-10グリッドにある。開口部長径2.32m、短径1.05mの楕円形で、深さ0.20m、壁は外傾して立ち上がる。南東部にピットが１基ある。出土遺物は少ないが、土偶脚部が１点ある。本来、本土坑所属したかどうかは判然としない。

ＳＫ－５８４ａ（第56・173・174図、図版40）

E-９グリッドにある。開口部長径2.40m、短径1.63mの不整楕円形で、深さ0.36m、壁は緩やかに外傾して立ち上がる。南部壁にピットが１基ある。出土遺物は土器と台石がある。６は深鉢口縁から胴部破片で、口径推定14.1㎝、残存高19.1㎝である。突起は円形刺突や円形浮文で加飾され、口唇部には沈線が巡る。胴部は地文に単節縄文を施し、３本単位の沈線で縦位パネル状に器面を分割する。間には三角形モチーフを描く。

ＳＫ－５８８（第57・175図、図版40・113）

E-８グリッドにある。開口部直径1.18mの不整円形と推定され、深さ0.14m、壁は外傾して立ち上がる。出土遺物は土器片と打製石斧がある。１～４は注口土器の口縁部から胴部破片で、同一個体と推定される。口縁部は「く」の字状に屈曲し端部が更に内屈する。また、隆帯の渦巻きで加飾された横位橋状の把手が付され、微隆帯の長蛇円形区画が形成される。胴部は並行する微隆帯で渦巻きモチーフ等が描かれる。外面は口縁部等、一部赤彩が残る。

ＳＫ－５８９（第57図、図版40）

E-９グリッドにある。開口部長径1.47m、短径0.72の楕円形で、深さ0.24m、壁は外傾して立ち上がる。図化できた遺物はない。東西方向に長軸を持ち、西壁短辺に付随して礫がある。

ＳＫ－６０１（第57・176図、図版40・86）

F-８グリッドにある。開口部長径1.21m、短径1.03mの楕円形と推定され、深さ0.11m、壁は外傾して立ち上がる。土器大型破片が中央部に纏まって出土した。１は深鉢口縁から胴部で、口径32.6㎝、残存高29.0㎝である。口縁部は緩やかな３単位の波状を呈する。波頂下には円孔を設け沈線を垂下させ、胴部文様の基点である円形浮文に至る。無文の口縁部は沈線で胴部と区画される。胴部には円形浮文より、口縁部波頂下に縦長の渦巻き、波底部下に蕨手状モチーフを描く。２は深鉢口縁から胴部で、口径24.2㎝、残存高20.2㎝である。無文の口縁部下には沈線が巡る。胴部は沈線による蕨手状モチーフをおそらく５単位配する。

ＳＫ－６２０（第59・177図、図版41・86）

E-８グリッドにある。開口部直径1.00mの円形で、深さ0.33m、壁は外傾して立ち上がる。１は深鉢口縁から胴部大型破片で、口径推定30.8㎝、残存高24.0㎝である。口縁部は幅2.5㎝程が無文化し、突起がおそらく４単位付される。胴部は全面に複節縄文が施される。４は器台の破片である。円孔が２カ所ある。

ＳＫ－６２９（第58・178図、図版42・87・105・118）

E-８グリッドにある。開口部直径0.99の円形で、深さ0.74m、壁は外傾して立ち上がる。周辺に分布する土坑に比べれば例外的に深い。１の土器は底部を欠損するものの、形を保ったまま正立状態で覆土中より出土した。また、土器内部の土には炭化物小片や炭粒が多く認められた。

出土遺物は、土器の他、蓋や磨石がある。１は深鉢口縁から胴部で、口径33.0㎝、残存高33.0㎝である。口縁部は緩やかな波状を呈し、幅３㎝程の無文部が巡る。口縁上端部は平坦で、断面は長方形となる。胴上部は１段Ｒ横位回転による無節縄文、胴中部は縦位回転による無節縄文、胴下部は無文化する。

ＳＫ－６５２（第60・180図、図版87）

E-８グリッドにある。開口部直径0.44mの円形で、深さ0.26m、壁は外傾して立ち上がる。図化した遺物は１のみだが、SK-721の１と遺構間接合したものである。これは、深鉢口縁から胴部の破片で、口径推定16.0㎝、残存高13.6㎝である。口縁部は４単位の波状を呈し、波頂部は前面が大きく側面が小さい。口唇部には一条の沈線が巡り、前面の大きな波頂部には沈線で円形モチーフが描かれる。胴部は単節縄文が施され、上下に沈線による大きな連続波状文を描き、括れ部を中心に丁寧な磨り消しが施される。

ＳＫ－７０２（第61・181・182図、図版44・87・102・113・118）

E-８グリッドにある。開口部長軸2.21m、短軸1.24mの不整形で、深さ0.40m、壁は外傾して立ち上がる。底面の北部と南東部には段がある。大型の土器片や打製石斧、磨石が纏まって出土した。１は深鉢口縁から胴上部で、口径37.2㎝、残存高16.0㎝である。口縁部は無文で、下端に６単位の突起を付した微隆帯が巡る。胴部は地文に単節縄文を施し、突起を基点とした沈線で画した弧状の磨消帯が設けられる。２は底部を欠損した樽形で、口径22.5㎝、残存高32.5㎝である。胴部最大径に一対の把手を付す。口縁部は無文化し、緩やかな山形を描く微隆帯で胴部と画する。把手接合部は二重沈線の円形モチーフで加飾される。胴部は無節縄文が施される。

ＳＫ－７９５（第63・185図、図版87）

F-８グリッドにある。開口部直径1.65mの円形で、深さ0.56m、壁は外傾して立ち上がる。１は深鉢口縁から胴部で、口径31.0㎝、残存高37.5㎝である。無文の口縁部は緩やかな波状を呈し、波頂部は５カ所と考えられる。口縁波頂部には上下端部に円形刺突を持つ「ノ」の字状沈線が垂下する。口縁部と胴部は沈線で区画される。胴部は地文に縄文が施され、沈線による蕨手状モチーフが口縁波頂下・波底下に描かれる。波頂下のモチーフはより加飾され、波底下のモチーフは一カ所省略される。

ＳＫ－８３４（第64・188図、図版46・87）

E-６グリッドにある。開口部直径1.30mの円形で、深さ0.43m、壁は外傾して立ち上がる。１は深鉢口縁から胴部で、口径19.0㎝、残存高17.0㎝である。口縁部には上端面が窪む４単位の突起を付す。突起以外文様はないが、外面は縦位、内面は横位の丁寧な調整痕が見られる。

ＳＫ－８４９（第65・190図、図版46・47・88）

E-６グリッドにある。開口部直径0.94mの円形で、深さ0.34m、壁は外傾して立ち上がる。１の深鉢口縁部から胴部が開口部付近で出土した。口径20.6㎝、残存高15.2㎝である。無文の口縁部下端には微隆帯が巡り、やや上向きの突起を４単位付す。胴部は単節縄文を若干間隔をあけて施す。

ＳＫ－８５３（第66・191図、図版47・124）

D-６グリッドにある。開口部直径1.07mの不整円形で、深さ0.50m、壁は外傾して立ち上がる。１は口縁から胴部の大型破片で、口径推定23.8㎝、残存高23.5㎝である。口縁部は無文で下端部に微隆帯が巡る。胴部には左右に大型の橋状把手が付き、把手下は微隆帯で縁取られた卵形の無文部となる。地文には単節縄文が施され、おそらく前後に突起から続く微隆帯で縁取られた釣り針状のモチーフが付く。

ＳＫ－８８４（第68・192図、図版48・88）

D-６グリッドにある。開口部直径1.32mの不整円形で、深さ0.62m、壁は外傾して立ち上がる。出土土器は少ない。１は深鉢口縁から胴部の大型破片である。口径推定24.8㎝、残存高22.0㎝である。無文の口縁部は緩やかな４単位の波状を呈し、頂部は左右一対の小山形となる。波頂部中央には胴部からの縄文が上端部まで及ぶ。胴部は単節縄文が施されるが、下部は無文化する。

ＳＫ－８８８（第68・192・193図、図版47～49）

F-５グリッドにある。開口部長径2.06m、短径1.60mの楕円形で、深さ0.55m、壁は外傾して立ち上がる。土器小片が出土した。板状の石が南東部壁際に立った状態で出土した。北西部壁際にも板状の石が底面付近で出土した。

ＳＫ－９０７（第69・194図、図版49・88）

A-10グリッドにある。開口部長径1.38m、短径1,00mの不整楕円形と推定され、深さ0.22m、壁は外傾して

立ち上がる。東西にピットが２基ある。Ｐ１の上には土器１と２、Ｐ２の上には土器３があり、それぞれその場に置かれていた可能性があるが、明確にすることができなかった。

１と２は注口土器で、同一個体と考えられる。器形は球形で、地文に縄文を施し、集合沈線でモチーフを描く。３は小型深鉢の口縁から胴部で、口径推定13.8㎝、残存高11.2㎝である。口唇部には一条の沈線が巡り、胴部は集合沈線による曲折するモチーフで充填される。

ＳＫ－９０９（第69・195図、図版49・88）

B-10グリッドにある。開口部長径1.39m、短径1.06の楕円形と推定され、深さ0.27m、壁は外傾して立ち上がる。出土土器は少ない。１は深鉢胴部で、中程で括れ上方は開く。文様は沈線で縁取られた磨消帯などで描出される。上部はおそらく緩い渦巻き、下部は円と「I」字状のモチーフが見られる。

ＳＫ－９５１（第70・197図、図版51・89）

B-９グリッドにある。開口部長径1.20m、短径1.06の楕円形で、深さ0.23m、壁は外傾して立ち上がる。南北壁際にピットがある。出土土器は少ない。１は深鉢口縁から胴部の大型破片である。無文の口縁部は緩やかな波状を呈し、波頂部には隆帯による釣り針状モチーフ等が付く。胴部との境には両側に沈線を伴う隆帯が巡る。胴部には単節縄文を施し、沈線で蕨手状や釣り針状モチーフを描き斜位沈線で結ぶ。

ＳＫ－９５６（第71・197図、図版51・89）

B-９グリッドにある。開口部直径1.46mの不整円形で、深さ0.36m、壁は外傾して立ち上がる。遺物は１のほぼ完形の注口土器が、潰れた状態で出土した。この注口土器は、口径10.8㎝、胴部最大径24.0㎝、器高27.8㎝である。器形は、胴部が算盤玉型で、口縁部は直に立ち上がる。注口部は胴上端部に急角度で取り付けられる。口縁部は無文で、注口部とその裏面に橋状の把手が付く。胴部は最大径部に低い隆帯が巡り、注口下を基点に２個一対、計４単位の凹みの浅い円形浮文が付く。文様は胴上部に集約され、沈線を伴う磨消帯により釣り針状、斜行、垂下するモチーフ等が描かれる。地文には単節縄文が施され、一部胴下部にも及ぶ。

ＳＫ－９８２（第72・198図、図版52・89・90）

B-８グリッドにある。開口部直径1.37m、底面直径1.55mの円形で、深さ0.69m、壁はオーバーハングし開口部は外傾する。袋状土坑は、この周辺では例外的な形態である。出土遺物にはほぼ完形の土器がある。

１はやや縦長の算盤玉型を呈する注口土器である。口縁部は注口を通る長軸21.5㎝、短軸17.5㎝と楕円形で、胴部最大径34.2㎝、残存高35.0㎝である。口縁上部には隆沈線が巡り、注口部と裏面に円形浮文や沈線で加飾された把手が付く。把手間中央には隆帯の「ノ」の字モチーフが付く。胴上端部には鎖状隆帯、胴最大径部には隆帯が巡り、間には沈線を伴う磨消帯により釣り針状や斜行モチーフが描かれる。胴下部は無文である。２はほぼ完形の小型甕で、口径10.2㎝、胴部最大径14.8㎝、器高10.8㎝である。無文である。

ＳＫ－１０５７（第76・200図、図版55・56・90・107）

F-20グリッドにある。開口部直径1.50m、底面直径1.95mの円形で、深さ0.60m、壁はオーバーハングし開口部が外傾して立ち上がる袋状土坑である。遺物は大型土器片や土製円盤がある。１は深鉢、又は甕の口縁から胴部の大型破片である。口縁部には隆帯と橋状把手を付した突起を持ち、以下の文様の基点とする。突起下には隆帯で縦位の枠状区画を形成し器面を分割する。左右には横位方形ないし楕円形区画を３段形成し、その下に幅広扁平な蛇行隆帯を横位に付す。隆帯に沿って結節沈線、区画内あるいは単独で結節沈線のモチーフも描かれる。地文には２段RL縦位回転の単節縄文が間隔施文される。２も同種の土器である。３は深鉢口縁から胴部片である。口縁部は緩やかな波状を呈し、波頂部には縦位隆帯が貼付された可能性がある。胴部との境には沈線が一条巡る。地文は２段LR縦位回転の単節縄文を施す。口縁部には同種原体の圧痕が２段

巡る。４は隆帯による横「８」の字状モチーフの把手である。内面は２列の結節沈線で加飾される。５は浅鉢口縁部である。隆帯で楕円形区画が形成され、２列の結節沈線が施される。

ＳＫ－１０５８（第76・201図、図版56・90・103・109・122）

F-20グリッドにある。開口部直径2.14m、底面直径2.55mの円形で、深さ0.93m、壁はオーバーハングし開口部が垂直に立ち上がる袋状土坑である。規模が大きい典型的な袋状土坑と言える。２～４層には多量のロームが混じり、壁が崩落したことを示す。１は東部開口部付近、かなり上位で出土したことから、埋没がかなり進んだ状態で投棄されたと考えられる。

遺物は土器の他、掻削器、石皿、台石などがある。１はほぼ完形の深鉢で、口径21.0㎝、器高29.2㎝である。隆帯により口縁部、胴上部、胴下部と３分割される。口縁部は縦位の短沈線群で充填され、蛇行隆帯が施される。胴上部は２、３本単位の並行沈線で渦巻き、弧状、縦位方形、蛇行等のモチーフが描かれ、文様間は横位短沈線で充填される。胴下部は無文である。

ＳＫ－１０６４（第76・202図、図版56・90）

F-20グリッドにある。開口部直径1.49m、底面直径1.95mの不整円形で、深さ0.76m、壁はオーバーハングし開口部が垂直に立ち上がる袋状土坑である。北西部壁は大きく崩落したことが予想される。

遺物はそれ程多くない。１は深鉢口縁から胴部で、口径14.0㎝、残存高12.6㎝である。口縁部正面には隆帯で加飾された大型の把手が付く。口唇部と口縁部には連続した刻みを施した２本単位の隆帯が巡る。欠損しているが左右と裏側には３カ所小突起が付くようである。地文には単節縄文が施される。

ＳＫ－１０７９（第78・204・205図、図版57・90・91）

F-20グリッドにある。開口部直径1.60m、底面直径1.85mの円形と推定され、深さ0.63m、壁はオーバーハングし開口部が垂直に立ち上がる袋状土坑である。東部壁以外、崩落している可能性が高い。比較的多くの土器が覆土中から出土した。

１は深鉢口縁から胴部大型破片である。口唇部は肥厚し、欠損しているがおそらく大型の突起を持つ。口唇部や突起の隆帯には連続した刻みが施される。突起の隆帯による区画内は縦位沈線で充填される。胴部は複数沈線による弧状や渦巻き、縦位等のモチーフが描かれる。２はほぼ完形の深鉢で、口径11.5㎝、器高16.4㎝である。口縁部には上下から押捺を施した隆帯が２条巡る。胴部は全面縄文が施される。３は深鉢口縁から胴上部大型破片である。口縁部には鍔状に隆帯が巡り、蛇行隆帯や隆帯による渦巻きが付される。また、隆帯による渦巻き等で加飾された把手も付く。胴上部は無文で、下端に横位隆帯が見られる。４は浅鉢口縁大型破片で、口径推定43.0㎝、残存高7.5㎝である。直立する口縁部から口唇部は外方に屈曲する。複数の沈線で渦巻き、山形等のモチーフが描かれる。

ＳＫ－１１０１（第78・206～208図、図版57・58・91・103・119）

F-20グリッドにある。開口部直径1.80m、底面直径2.05mの不整円形で、深さ0.89m、壁はオーバーハングして立ち上がる袋状土坑である。東部壁際にピットが１基ある。

遺物は土器の他、磨石や石皿などがある。１は大型深鉢で全体の1/2程遺存する。２は同一個体と考えられる。口径推定33.6㎝、胴部最大径55.5㎝、２の把手部を含まない残存高64.2㎝である。口縁部には背に沈線を持つ隆帯が鍔状に巡り、把手に続く。把手は大型の２があるが、その他の状況は不明である。胴上部は、半截竹管による並行沈線、蛇行沈線、クランクモチーフが配される。胴下部は、同種工具による垂下沈線、渦巻き、菱形等のモチーフが描かれる。底部には網代痕が明瞭に見られる。９は大型深鉢胴から底部で、残存高47.5㎝である。２本単位の隆帯で器面全面に渦巻き、垂下、方形等のモチーフが描かれる。

ＳＫ－１１０３（第79・205図、図版58・91・107）

F-20グリッドにある。開口部長径1.55m、短径1.10mの楕円形と推定され、深さ0.36m、壁は外傾して立ち上がる。１は深鉢口縁から胴部大型破片で、口径推定23.5㎝、残存高11.0㎝である。口唇部は無文で、口縁部には２条の並行する沈線とその間に上下連続交互刺突が施される。胴部は単節縄文が施される。

ＳＫ－１１１１（第80・210図、図版58・91）

F-19グリッドにある。開口部長径2.48m、短径1.99mの不整円形で、深さ0.48m、壁は外傾して立ち上がる。しかし、３層にロームが多く含まれることなどから壁は殆ど崩落しており、本来壁はオーバーハングしていた可能性が高い。遺物は南部壁際底面直上に纏まる。５はほぼ完形の浅鉢で、口径45.8㎝、器高17.8㎝である。口縁部は４単位の波状を呈し、波頂部は平坦となる。内面の口縁部と体部の境には段を有する。

ＳＫ－１１１８（第78・211・212図、図版58・59・92・111）

F-20グリッドにある。開口部直径1.83m、底面直径2.17mの円形で、深さ1.00m、壁はオーバーハングして開口部が垂直に立ち上がる袋状土坑である。埋没過程の当初、４層にはロームが多く混る。遺物は土器の他、磨製石斧や石皿があり、北東部壁際底面直上などに纏まる。

１は深鉢口縁から胴部で、口径29.4㎝、残存高17.0㎝である。口唇部に巡る隆沈線は間隔を置いて上下交互刺突が施される。口縁部には隆沈線でクランク及び方形区画が形成される。地文には単節縄文が施される。２はほぼ完形の深鉢で、口径19.2㎝、器高28.8㎝である。口縁は無文化し、上端部は肥厚し平坦になる。胴部との境には浅い沈線と隆帯が巡る。胴部には２段RL縦位回転の単節縄文が施され、底面には網代痕が一部認められる。３は底部が欠損する深鉢である。口径17.4㎝、残存高27.4㎝である。口縁部には、隆帯による渦巻きを持つ突起を基点に、渦巻き、横「Ｓ」字等のモチーフが展開する。左右には隆帯による小突起も付く。胴部には蛇行沈線と直線的に垂下する沈線が交互に施される。４～７は３と同種のモチーフ、８は基準となる弧状隆帯と並行する半截竹管による弧状モチーフの複弧文が描かれる。

ＳＫ－１１１９（第82・212・213図、図版59・92）

F-19グリッドにある。開口部直径2.20m、底面直径2.42mの円形で、深さ0.50m、壁はオーバーハングして立ち上がり開口部が直立する袋状土坑である。

１はほぼ完形の深鉢で、口径13.8㎝、器高20.4㎝である。口縁部には幅広の結節沈線を施した弧状隆帯の突起が４単位付き、間の口縁上端部には連続した刻みが施される。胴部には、突起より連続した刻みを施した２本一単位の隆帯が垂下し、間には結節沈線が施される。地文は単節縄文が間隔施文される。底部は若干上げ底気味である。２はほぼ完形の浅鉢で、南西部壁際底面直上に正立状態で出土した。口径24.0㎝、器高7.0㎝である。体部は極めて緩やかに外反し、口縁部はほぼ垂直に立ち上がる。無文である。３は浅鉢口縁から体部の大型破片で、推定口径35.2㎝、残存高13.5㎝である。口縁部内面には稜が巡り、外面は折り返され肥厚する。無文である。

ＳＫ－１１６０（第83・215図、図版60・114）

G-19グリッドにある。開口部直径2.80mの円形と推定され、深さ0.31m、壁は外傾して立ち上がる。南西部に突出部、底面にピットが４基ある。袋状土坑の壁が崩落してしまった可能性はあるが、土層断面からはその可能性は低い。遺物は少量の土器片と打製石斧がある。

ＳＫ－１１６７ａ（第86・218図、図版61・92）

G-19グリッドにある。開口部直径2.50m、底面直径2.35mの不整円形と推定され、深さ0.50m、壁はオーバーハングして立ち上がる袋状土坑である。現形状から開口部はかなり崩落したと考えられる。

１は深鉢口縁から頸部の大型破片で、口径推定32.2㎝、残存高16.6㎝である。外反する口唇部には有節沈線が巡り、口縁最大径部には横「Ｓ」字状で隆帯により加飾された突起がおそらく４単位付される。突起間は隆帯や有節沈線で結ばれる。口縁下部は、隆帯や有節沈線による渦巻きなどを伴った縦位枠状区画が形成される。枠状区画間は有節沈線でモチーフが描かれる。地文は単節縄文の縦位回転により矢羽状となる。２～４は、隆帯に沿ってあるいは単独で幅広の連続爪形文が施される。５は小型深鉢の胴下部である。垂下する隆帯で器面が４分割され、有節沈線により蛇行や連続弧状モチーフが描かれる。６は隆帯が垂下し、単節縄文が間隔施文される。

ＳＫ－１１８０（第86・218図、図版61・93・119）

H-17グリッドにある。開口部直径2.12m、底面直径2.26mの円形で、深さ0.48m、壁はオーバーハングして立ち上がり開口部が直立する袋状土坑である。覆土が底面中央部から堆積しロームが多いことから、壁は大きく崩落したことがわかる。

１は深鉢口縁から胴部で、口径20.2㎝、残存高27.2㎝である。地文は縦位の細かい条線で、口縁部には３本単位の沈線で弧状モチーフが６単位描かれる。

ＳＫ－１１８７（第87・219図、図版62・108）

G-17グリッドにある。開口部直径2.38m、底面直径2.82mの円形で、深さ0.76m、壁はオーバーハングして立ち上がり開口部が直立する袋状土坑である。覆土は４層に分かれ、最初に堆積した４層にはロームブロックが多量に含まれ、壁の崩落が窺える。底面にはピットが７基あり、Ｐ１～５は比較的規模も大きく、壁際に配される。Ｐ７は底面中央部にあり、平面形は小さいが、深さはＰ１～５に匹敵する。

ＳＫ－１１８８（第88・219・220図、図版62・93・111・119）

G-18グリッドにある。開口部直径2.59m、底面直径3.00mの円形と推定され、深さ0.83m、壁はオーバーハングして立ち上がる。４層のロームが示すように壁は崩落しているが、規模の大きい典型的な袋状土坑である。

遺物は土器の他、磨製石斧、磨石、石皿がある。７は大型の甕で、土坑北西部底面近くから出土した。口径推定44.5㎝、胴最大径推定62.4㎝、残存高58.3㎝である。口縁部には凹線を伴う隆帯が巡り、4単位の大型把手とその間に突起が配される。把手は上部に渦巻きが付され、両側面と裏側には孔が設けられる。突起も上部には渦巻きが付される。胴部上中部は、２・３本単位の沈線により、連結した大小渦巻き、剣先、円形などのモチーフが描かれる。胴下部は各モチーフから３本単位の沈線が底部に向かい垂下する。地文は縦位の細い条線で、胴部沈線間は磨り消される。欠損部が多いが、全体の文様構成は突起下に大渦巻きと円形、更に垂下沈線のモチーフが４単位形成され、把手下には垂下沈線が入るものと考えられる。

ＳＫ－１２２３（第90・221・222図、図版64・119・123）

G-16グリッドにある。開口部直径2.13mの不整円形で、深さ0.22m、壁は外傾して立ち上がる。ピットが３基ある。Ｐ１は中央、Ｐ２・３は壁際に確認された。遺物は土器の他、磨石と石皿がある。１は深鉢大型破片で、口径推定20.2㎝、残存高17.5㎝である。口縁部は沈線の沿う隆帯で渦巻きと楕円形区画を形成する。地文は細い条線である。８の石皿には、磨り面に赤色の付着物がある。

ＳＫ－１２５４（第85・223図、図版61・93）

G-19グリッドにある。開口部直径2.36m、底面直径2.30mの円形と推定され、深さ0.38m、壁はオーバーハングする部分と外傾して立ち上がる部分があるが、本来オーバーハングして立ち上がる袋状土坑であったと考えられる。遺物はそれ程多くない。

１は深鉢口縁から胴部で、口径15.4㎝、残存高18.2㎝である。隆帯で肥厚する口唇部は一カ所山形を呈する。胴上部には半截竹管による並行沈線を伴った蛇行隆帯が巡り、一カ所楕円形モチーフが見られる。地文には単節縄文を施す。

ＳＫ－１２５５（第85・223図、図版61）

G-19グリッドにある。開口部直径2.22m、底面直径1.85mの円形と推定され、深さ0.44m、壁はオーバーハングする部分と外傾して立ち上がる部分がある。なお、南西部壁際のSK-1266cは付属施設であった可能性もある。遺物は土器片が北西部などにいくつか纏まって出土した。

１～３は深鉢口縁から胴部の大型破片である。１は波頂部が比較的鋭い波状を呈し、波頂部右側に更に小波状の突出がある。無文の口唇部には沈線が巡り、胴部には無節縄文が間隔施文される。２、３は無文の口縁部下に微隆帯が巡り、小突起を有する。胴部は単節縄文が施される。

ＳＫ－１２６０ａ（第91・224図、図版65）

F-19グリッドにある。開口部直径1.72m、底面直径1.50mの円形で、深さ0.82m、壁は外傾して立ち上がる。覆土については、１・２層は自然堆積の可能性が高い。３層はロームブロックを多量に含み比較的水平に堆積していることが通常と異なる。遺物は大型土器片が出土した。

１は深鉢口縁から胴部大型破片である。口縁部は上部に楕円、円形モチーフ、円形浮文等が描かれる。下部は無文化し、鎖状隆帯が垂下する。口縁下端部には沈線が巡る。胴部は地文に単節縄文が施され、３本単位の並行沈線でモチーフが描かれる。

ＳＫ－１２６３（第91・224～226図、図版65・93・104・110・111）

F-19グリッドにある。開口部直径1.18m、底面直径2.45mの円形で、深さ0.72m、壁はオーバーハングして立ち上がり開口部は直立する。典型的な袋状土坑である。土層は明確に把握できなかった。遺物は多く形の窺える土器の他、石錘や磨製石斧がある。主に土器出土状態から、ある程度土坑が埋没してから遺物が投棄された可能性が高い。

１は深鉢口縁から胴部で、口径27.4㎝、残存高28.5㎝である。口唇部は肥厚し、４単位の鰭状突起が付く。胴部は無文である。２はほぼ完形の深鉢で、口径36.5㎝、器高46.2㎝である。口唇部は肥厚し、４単位の鰭状突起が付く。胴部は無文である。３は完形に近い深鉢で、口径推定35.5㎝、器高46.2㎝である。口縁部は４単位の波状を呈し、波頂部には刻みが施される。波頂部から口縁部は沈線の伴う蛇行隆帯、胴部は沈線の伴う垂下する隆帯で器面がパネル状に４分割される。口縁上端部と下端部には沈線及び蛇行沈線が横位に巡る。胴部は沈線で上下対弧状モチーフが描かれる。地文には単節縄文が用いられ、底面には網代痕がある。４は浅鉢で、口径推定47.4㎝、器高19.5㎝である。口縁部は４単位の波状を呈する。波頂部は「Ｖ」字状に抉りが入り、隆帯が貼付される。５は深鉢口縁から胴部大型破片で、口径推定33.4㎝、残存高12.2㎝である。口唇部は肥厚し、「Ｖ」字状隆帯が付く。６は扇状把手、７～９、13は複列の結節沈線、14は隆帯と連続爪形文、15は断面三角形の隆帯が付く。10～12、16～18は地文に縄文を施し、有節沈線でモチーフを描く。

ＳＫ－１２７３（第88・227・228図、図版65・107・123・124）

G-17グリッドにある。開口部直径2.63mの不整円形で、深さ0.18m、壁は外傾して立ち上がる。底面壁際にピットが４基ある。Ｐ１は斜めに掘り込まれる、Ｐ２は平面形が大きくやや浅い、Ｐ３はＰ１に対置されるようにあり、Ｐ４は浅いなど各々特徴がある。遺物は、土器は少量だが、土製円盤、石皿、台石、石棒が出土した。

ＳＫ－１２８５（第93・229図、図版66）

G-17グリッドにある。開口部は長軸2.80m、短軸2.10mの不整形、底面は長軸2.48m、短軸2.46mの円形である。深さは0.56mで壁はオーバーハングして立ち上がる部分とほぼ垂直に立ち上がる部分がある。開口部は不整形だが、底面形状より、本来の平面形は円形で、典型的な袋状土坑と考えられる。壁際には、対置されるようにピットが２基ある。遺物は、土器片と台石があるが少ない。

ＳＫ－１２８６（第94・230図、図版94・119）

G-17グリッドにある。開口部長軸2.19m、底面長軸2.06mの範囲が考えられるが形状は不明、深さ0.20m、壁は外傾して立ち上がる。遺物はそれ程多くない。１は深鉢口縁から胴部で、口径推定32.8㎝、残存高28.5㎝である。口縁部は無文化し、下端に沈線が巡る。文様は胴上部に集約され、３、４本単位の並行沈線で弧状や３、４段の菱形及び三角形モチーフが描かれる。胴下部とは横位並行沈線で区画される。地文には単節縄文が用いられ、並行沈線間にその痕跡が残される。

ＳＫ－１３１０（第80・232・233図、図版67・94・104）

F-19グリッドにある。開口部直径2.46mの円形で、深さ0.49m、壁はオーバーハングして立ち上がる部分と外傾して立ち上がる部分がある。３層にはロームブロックが多く含まれ、本来壁は更にオーバーハングしていた可能性が高い。遺物は土器や台石がある。１の土器は南東部壁際に倒立状態で出土したものである。

１は底部及び胴部の一部を欠損した深鉢で、口径32.5㎝、残存高38.2㎝である。口縁部には沈線や連続した刻みで加飾された眼鏡状把手が一対付く。口唇部には交互刺突を加えた蛇行隆帯が巡る。隆帯で胴部と区画された口縁部には、２本の並行隆帯で楕円、蛇行モチーフが描かれ、縦位短沈線を充填する。胴部は地文に撚糸文を用い、横位並行沈線を一定間隔で描く。２と３は口縁部大型破片である。隆帯で渦巻き、楕円形、棘先状などのモチーフが描かれる。地文には単節縄文が施される。４はほぼ完形の鉢で、口径14.5㎝、器高10.6㎝である。口縁部は体部から内傾して立ち上がる。全体に無文である。

ＳＫ－１３２４（第95・234図、図版68・119・123）

G-18グリッドにある。開口部直径2.39mの不整円形と推定され、深さ0.44m、壁は外傾して立ち上がる。遺物は土器片、磨石、石皿があるが少ない。１は深鉢口縁大型破片で、口径推定39.0㎝、残存高10.2㎝である。無文地に口縁部と胴部の境に横位蛇行沈線が巡り、口縁部から胴部にかけて蛇行沈線が垂下する。更に胴部には別のモチーフの沈線も施される。

ＳＫ－１３３６（第95・235図、図版94）

G-19グリッドにある。開口部長軸0.50の円形で、深さ0.32m、壁は外傾して立ち上がる。１は深鉢口縁から胴部で、口径21.2㎝、残存高21.5㎝である。無文の口縁部下に微隆帯が巡り、４単位の突起が付く。胴部には単節縄文が施される。

（２）埋甕　９基ある。掘方や形状を明確にできなかったものもある。

ＳＫ－３８（第25・99図、図版８）

C-20グリッドにある。掘方は直径0.68mの円形で、深さ0.20m、壁は外傾する。土器の遺存状態は悪く、かろうじて状況を留める程度である。底部と口縁部は欠損している。１は使われていた土器で、胴部径37.2㎝、残存高21.0㎝である。2段RLの単節縄文が全面に施される。他に、図示していないが、台石の小片が１点ある。埋甕との構造的な関係は不明である。

ＳＫ－２９７（第46・155図、図版31・83）

E-15グリッドにある。掘方は長径0.92m、短径0.77mの楕円形で、深さ0.15m、壁はほぼ垂直に立ち上がる。土器の遺存状態は良くない。口縁部から底部までの破片は存在し完形に復元できることから、本来完形品を横位で用いていたと考えられる。１が使われていた土器で、深鉢の大型破片である。口径推定31.5㎝、器高52.5㎝である。無文の口縁部は４単位の波状と推定され、頸部に沈線が巡る。胴部は地文に単節縄文を用い、沈線で釣り針状と蕨手状モチーフを交互に施す。

ＳＫ－４６９（第52・169図、図版37・86）

D-12グリッドにある。掘方は確認できなかった。土器は口縁部を下にした倒立状態で設置されていたが、遺存していたのは胴上部までである。１が使われていた土器で、口径33.8㎝、残存高11.8㎝である。無文化した口縁部下に微隆帯が巡り、おそらく４カ所上向きの突起が付く。胴部は無節縄文のみ施される。

ＳＫ－４７０（第52・169図、図版37・86）

D-11グリッドにある。掘方は確認できなかった。土器は口縁部を下にした倒立状態で設置されていたが、遺存していたのは胴上部までである。１が使われていた土器で、口径34.4㎝、残存高24.6㎝である。無文化した口縁部下に微隆帯が巡り、５カ所突起が付く。胴部は単節縄文が施される。

ＳＫ－４９２（第54・170図、図版38・86）

D-10グリッドにある。掘方は直径0.62mの円形で、深さ0.11m、壁は外傾して立ち上がる。土器は底部を欠損した正立状態で設置されていたが、上部が本来どこまであったかは不明である。１が使われていた土器で、地文に２段RL縦位回転の単節縄文を施し、沈線を伴う幅広の磨消帯を６単位垂下させる。２は深鉢胴部片である。地文に２段RLの単節縄文を用い、間を磨り消した２本単位の両側にナデを伴う微隆帯により渦巻きなど曲折するモチーフを描く。

ＳＫ－８５２（第65・190図、図版47）

E-5グリッドにある。掘方は確認できなかった。土器は底部のみ正立状態で、１と２が重なって設置されていた。

ＳＫ－８８５（第66・193図、図版48・88・102）

D-5グリッドにある。掘方は直径0.58mの円形と推定され、深さ0.26m、壁は外傾して立ち上がる。土器は底部を欠損した正立状態で設置されていた。１が使われていた土器である。深鉢口縁から胴部で、口径推定36.2㎝、残存高27.0㎝である。無文の口縁部には半截竹管の並行沈線が１ないし２条巡る。口縁上端部は欠損している部分が多く判然としないが、円孔が設けられる部分もある。胴部は半截竹管の並行沈線群により、６単位の弧状、楕円、垂下するモチーフが描かれる。胴下部には半截竹管の横位並行沈線が一部巡る。地文には単節縄文が施される。

ＳＫ－９３４（第70・196図、図版50・89）

D-9グリッドにある。掘方は長径0.61m、短径0.46mの楕円形で、深さ0.14m、壁は外傾して立ち上がる。土器は胴部のみ遺存し正立状態で設置されていた。底部は欠損させているが、胴上部や口縁部の本来の状況は不明である。１が使われていた土器である。縄文施文部と磨り消し部が交互に見られる。

ＳＫ－９４４（第70・196図、図版50・89）

E-4グリッドにある。掘方は長軸0.46m、短径0.42mの不整形で、深さ0.30m、壁は外傾して立ち上がる。土器は大型破片の状態で入れ子状にまとまって出土した。破片はほぼ全部が接合し、完形品となった。土器出土状態が埋設時の状態をどの程度示しているかは明らかにできなかった。１が使われていた土器である。ほ

ぼ完形の深鉢で、口径32.5㎝、器高58.5㎝である。底部は直径9.0㎝で、中央に５×４㎝程の楕円形の穴が穿たれる。口縁部は無文で下端部に微隆帯が巡り、突起が４単位付く。胴部は全面に単節縄文が施される。

（３）陥穴　３基あり、形状より陥穴と判断した。但し、相互の関連性など不明である。

ＳＫ－２６０（第44・149図、図版29）

D-16グリッドにある。開口部長径1.28m、短径0.84mの隅丸方形で、深さ1.37m、壁は外傾して立ち上がる。底面形は、より長方形に近い。出土遺物は少なく、土器小片のみである。

ＳＫ－３２４（第47・155図、図版33・112）

E-15グリッドにある。開口部長径1.74m、短径1.09mの楕円形で、深さ0.73m、壁は外傾して立ち上がる。底面は南側が一段高く、ピットを持つ。出土遺物は少ないが、打製石斧が１点出土した。

ＳＫ－３２８（第47・156・157図、図版33・106・109）

D-14グリッドにある。開口部長径3.12m、短径2.22mの不整楕円形で、深さ1.04m、壁は外傾して立ち上がる。底面は南に向かって傾斜し、北部壁際にピットがある。出土遺物は土器小片の他、土製円盤や石鏃がある。

（４）配石遺構

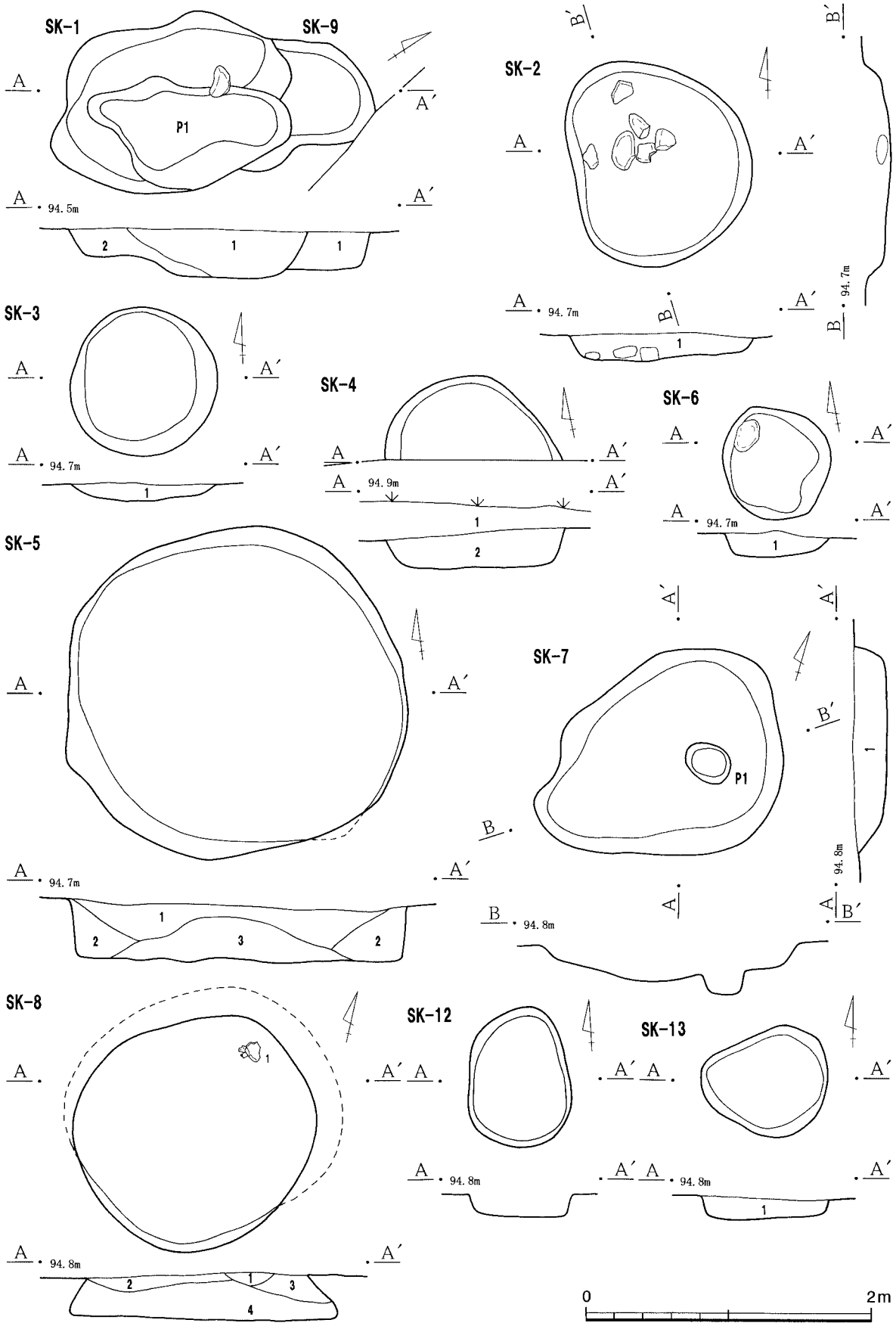
ＳＸ－１（第73・235・236図、図版68・108・114・120・124）

F-5グリッドにある。形状は把握できなかったが、石が見られる長軸2.65m、短軸1.86mを範囲と想定した。この内、中央には扁平な川原石のほぼ平坦な並びが見られる。重複するSK-1007～1009が本来関連したものかどうかは判然としなかった。遺物は、土器片の他、土錘、打製石斧、磨石、台石、石棒がある。

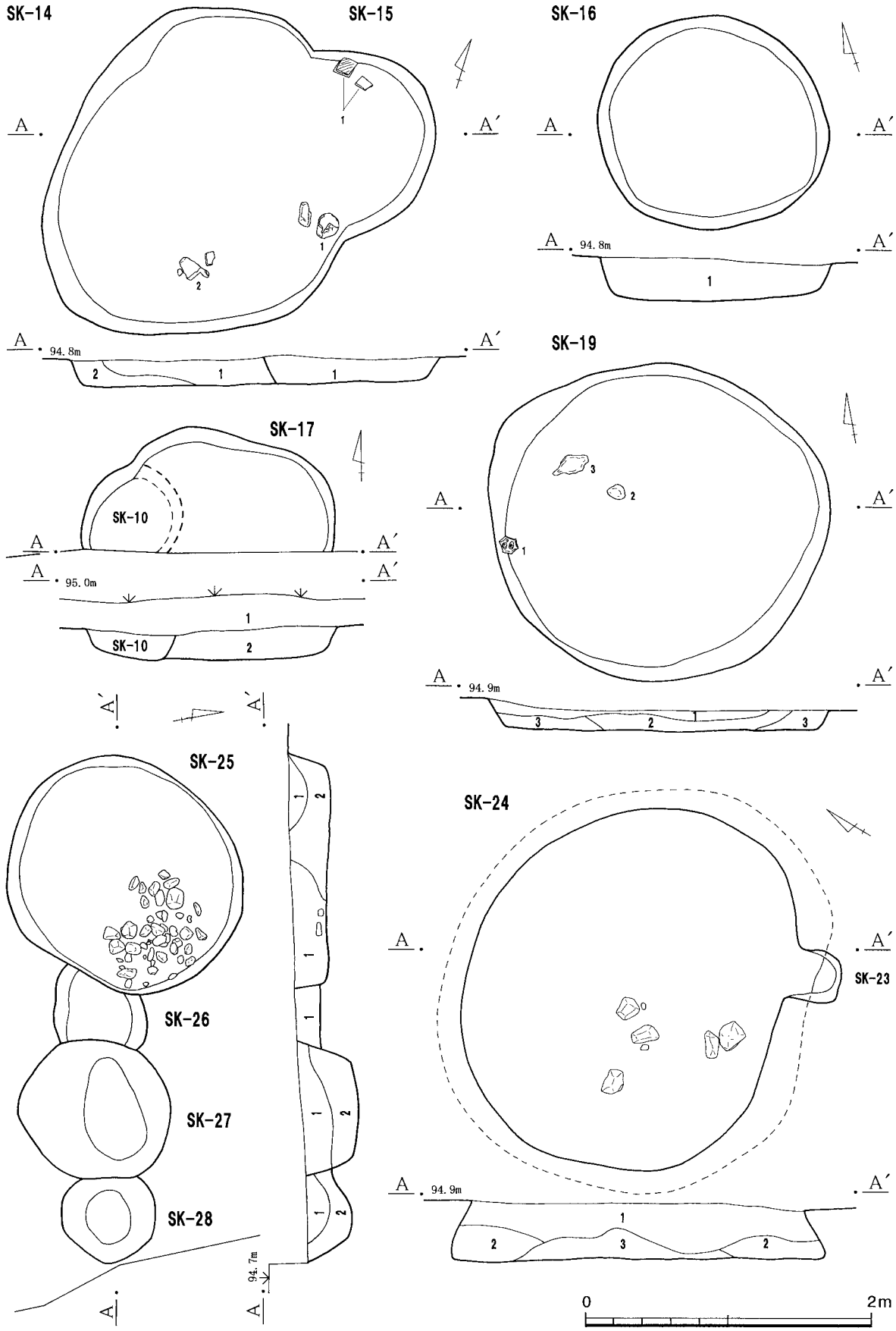
（５）集石遺構

ＳＫ－８１９（第64・186図、図版45・118）

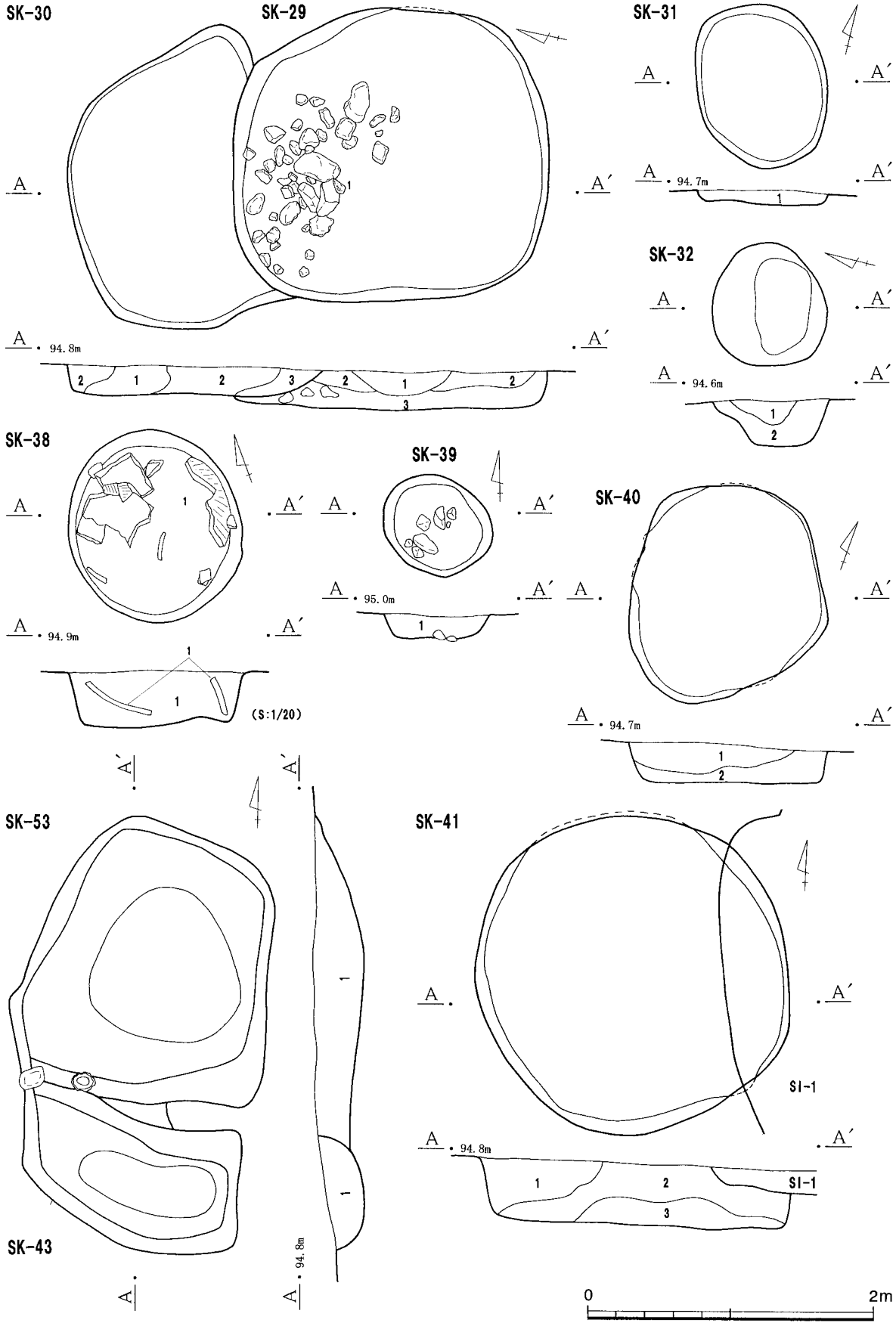
F-6グリッドにある。開口部長径1.90m、短径1.04mの不整楕円形で、深さ0.20㎝、壁は外傾して立ち上がる。南辺際にピットが２基ある。土坑中央部には集石がある。人頭大から拳大の川原石が使われているが、石器も混じる。



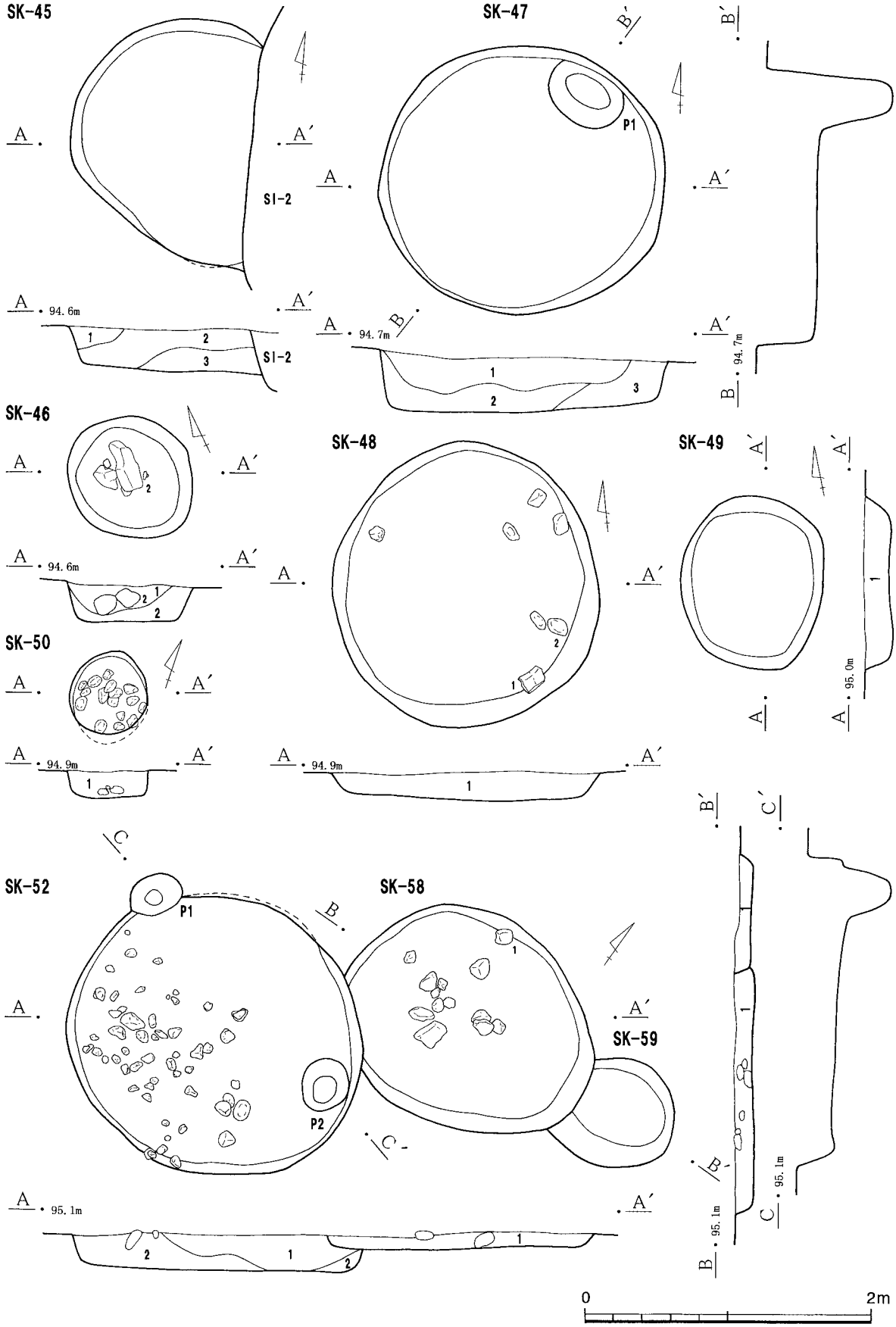
第23図　SK－1～9・12・13



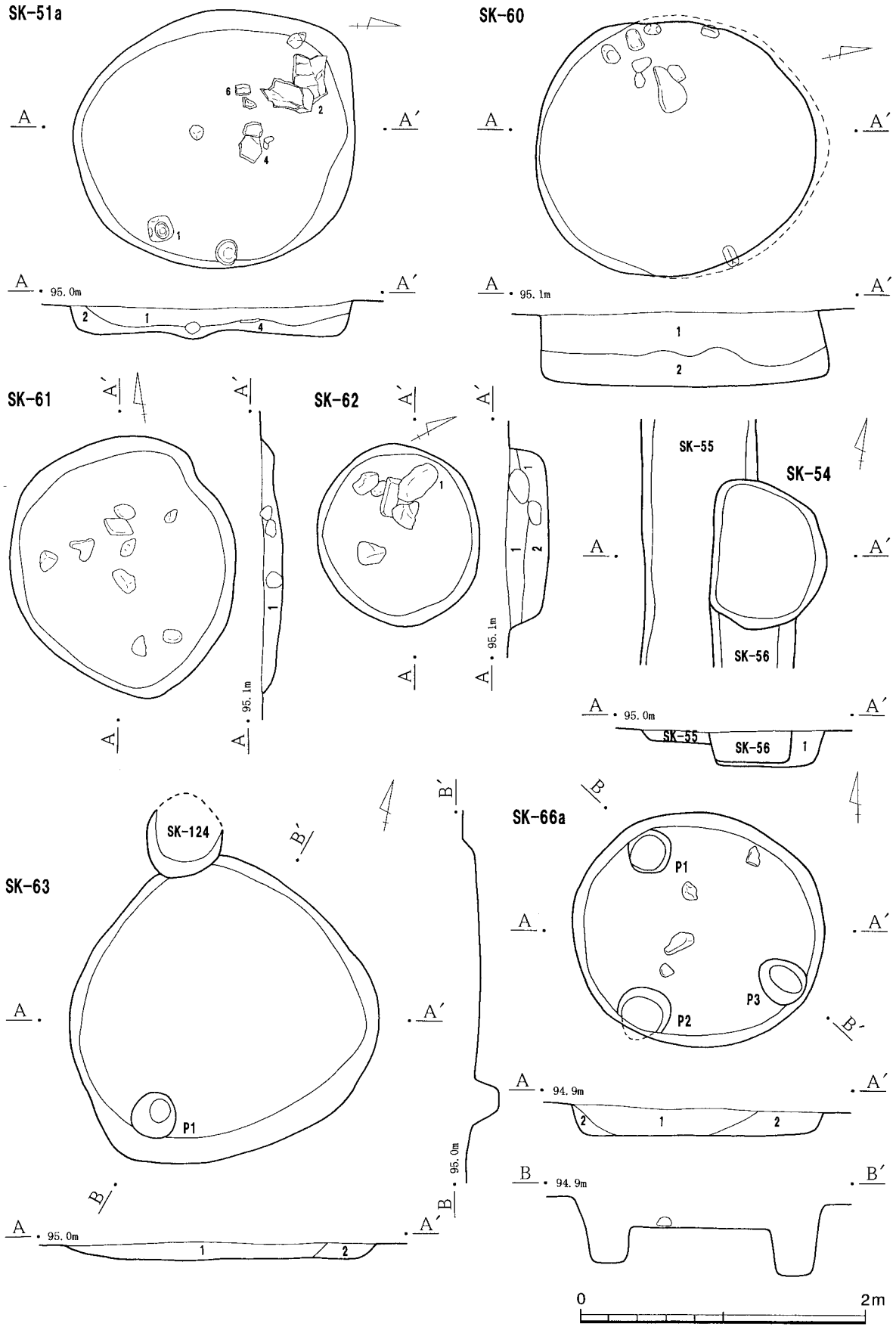
第24図　SK－14～17・19・24～28



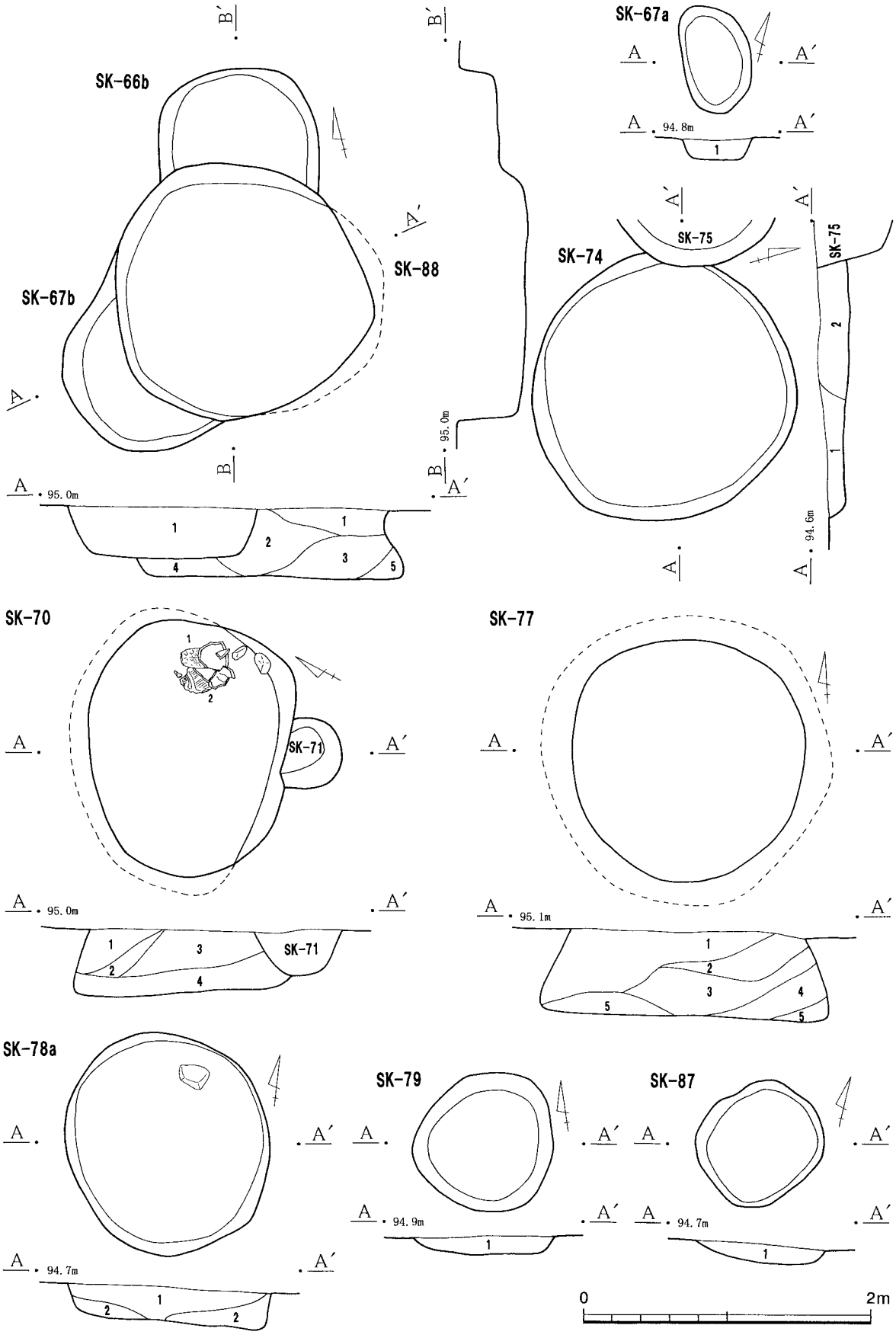
第25図　SK－29～32・38～41・43・53



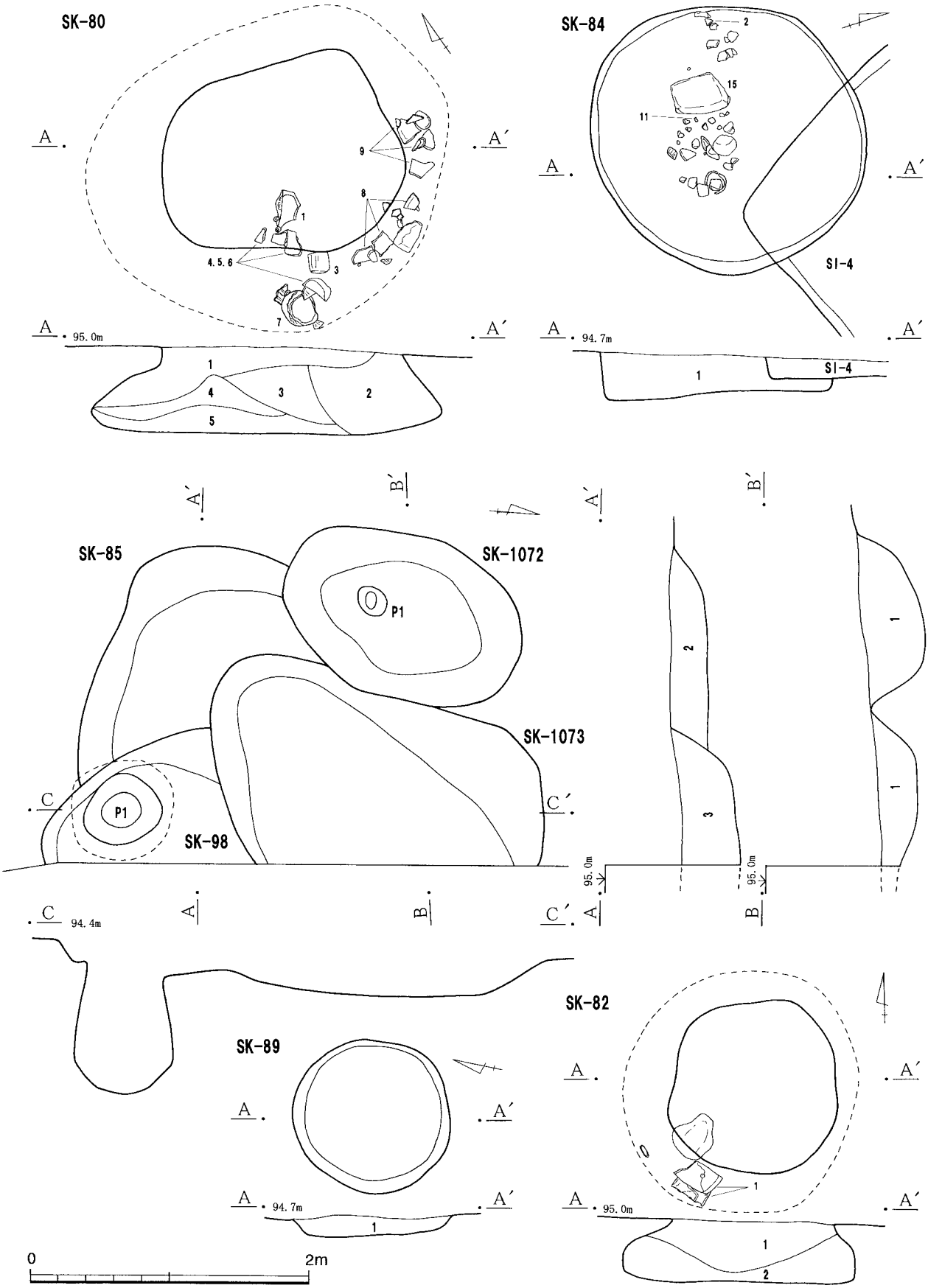
第26図　SK－45～50・52・58・59



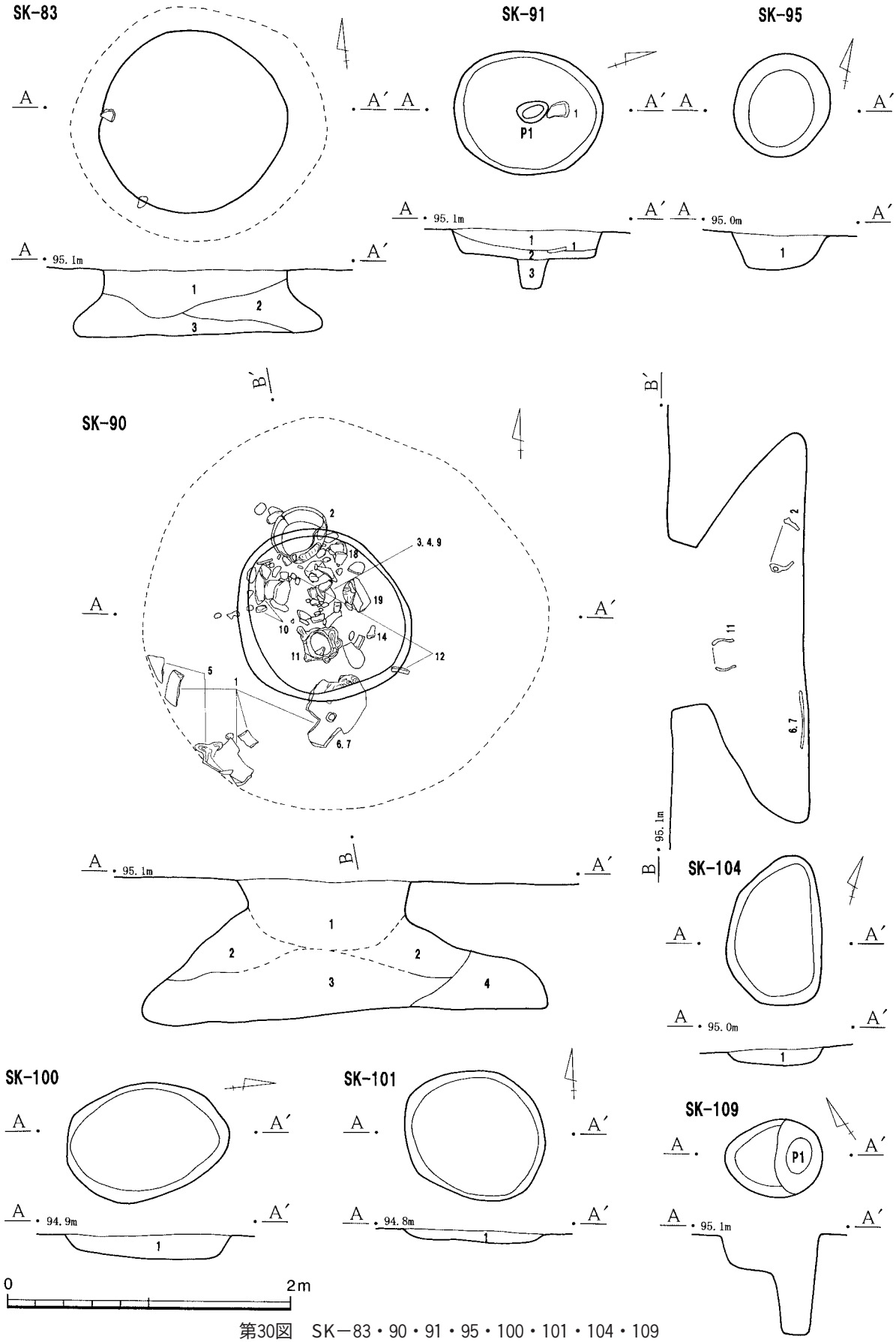
第27図　SK－51a・54・60～63・66a



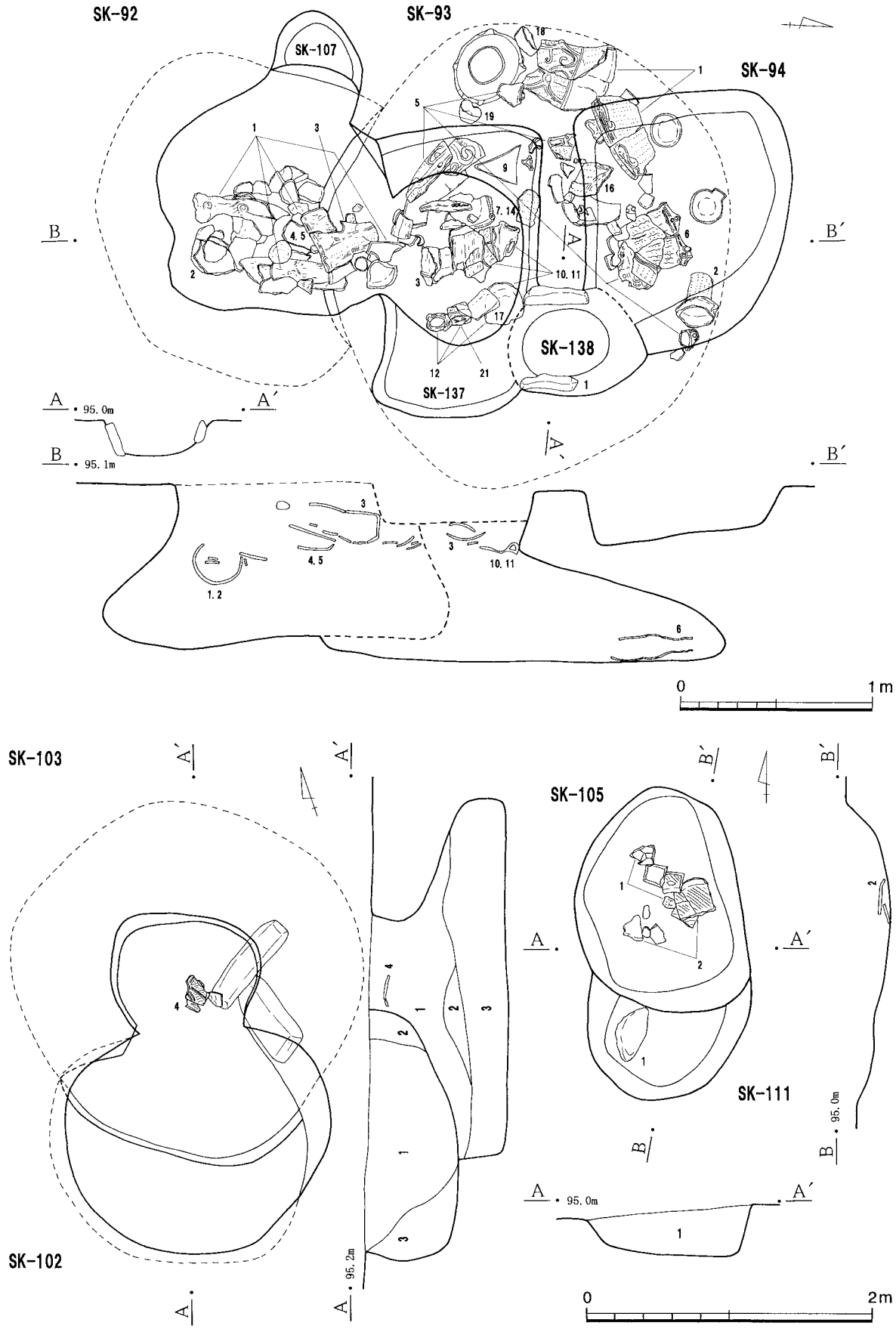
第28図　SK－66b・67a・67b・70・74・77・78a・79・87・88



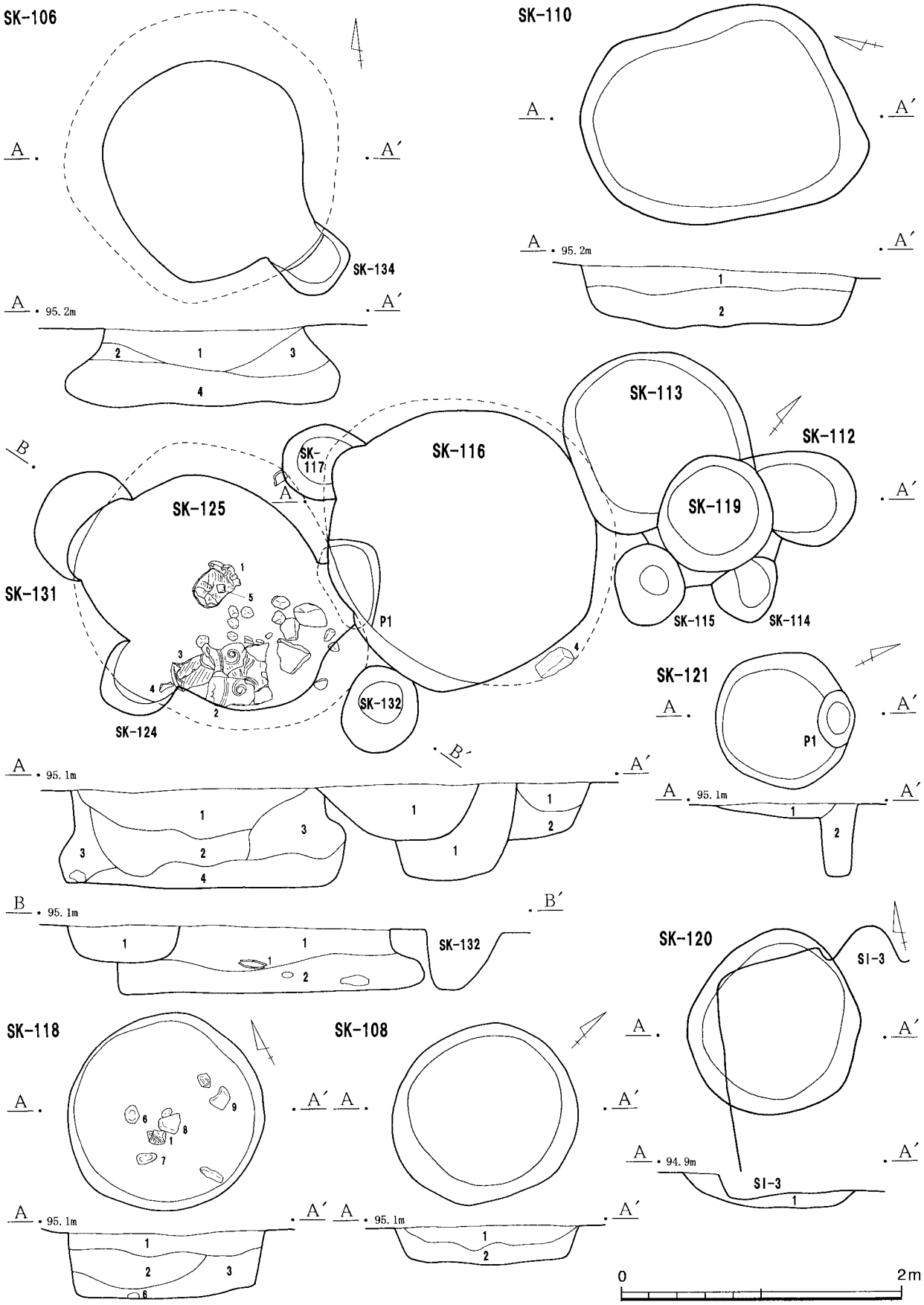
第29図　SK－80・82・84・85・89・98・1072・1073



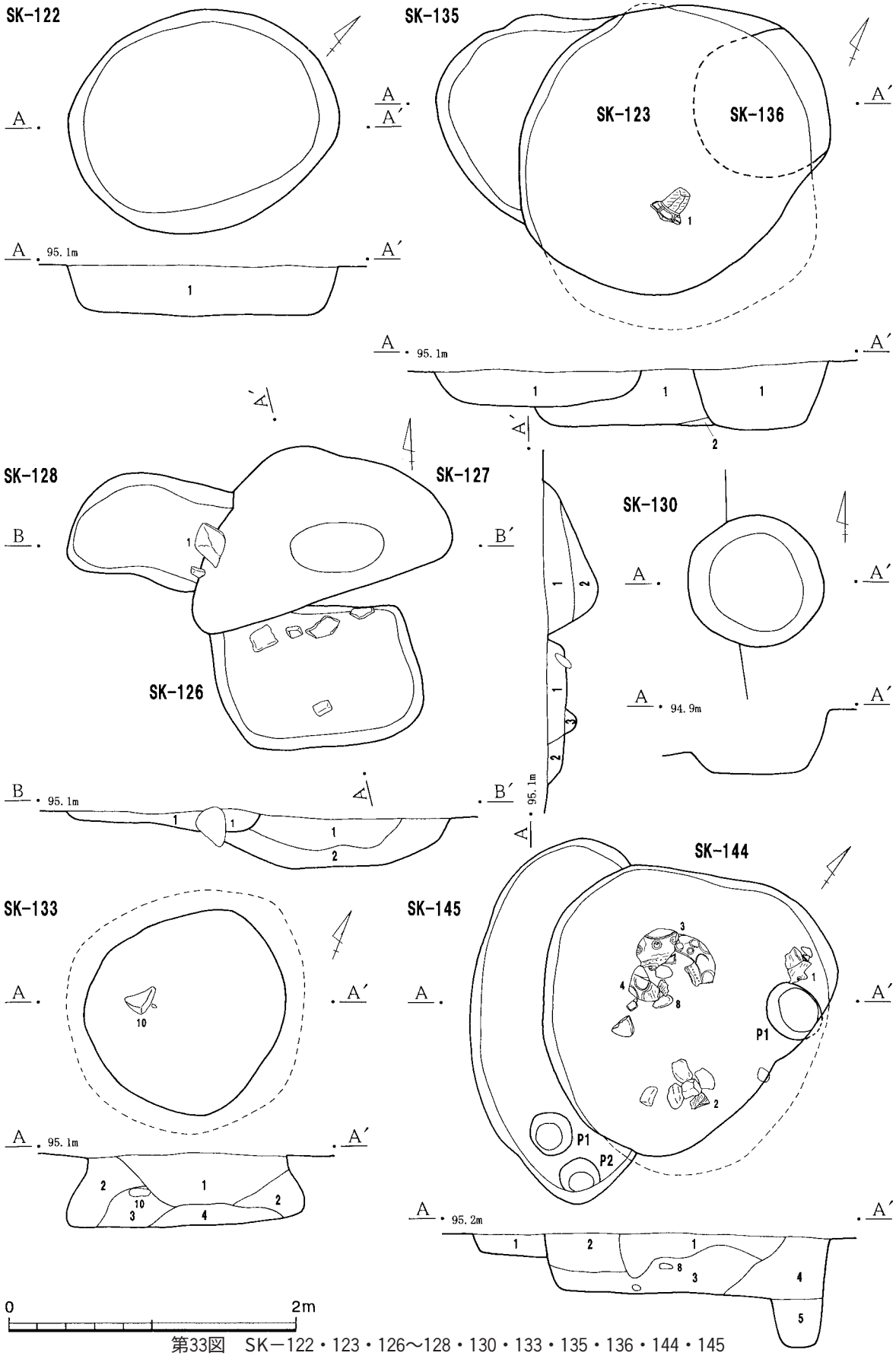
第30図　SK－83・90・91・95・100・101・104・109



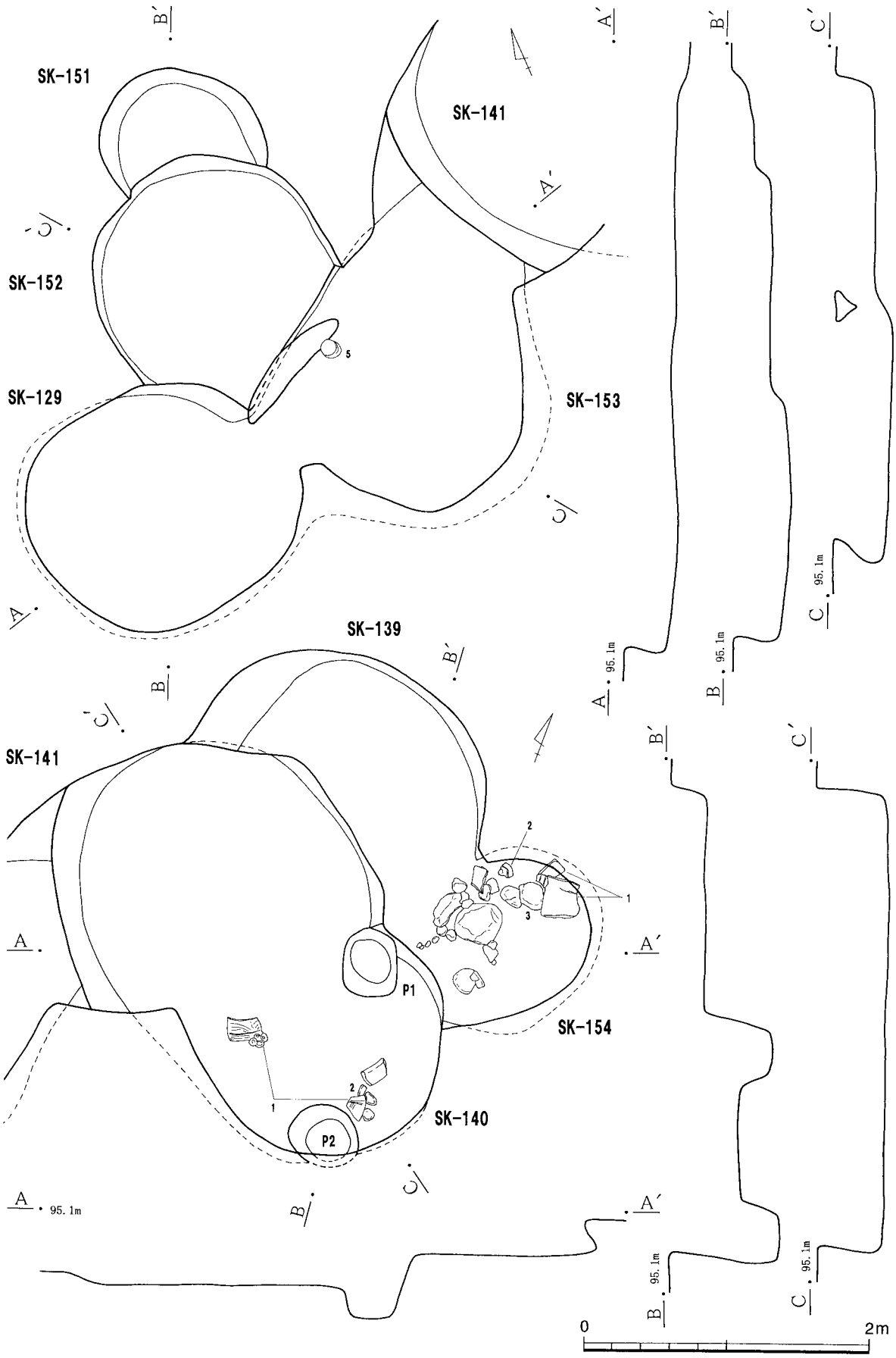
第31図　SK－92～94・102・103・105・111・138



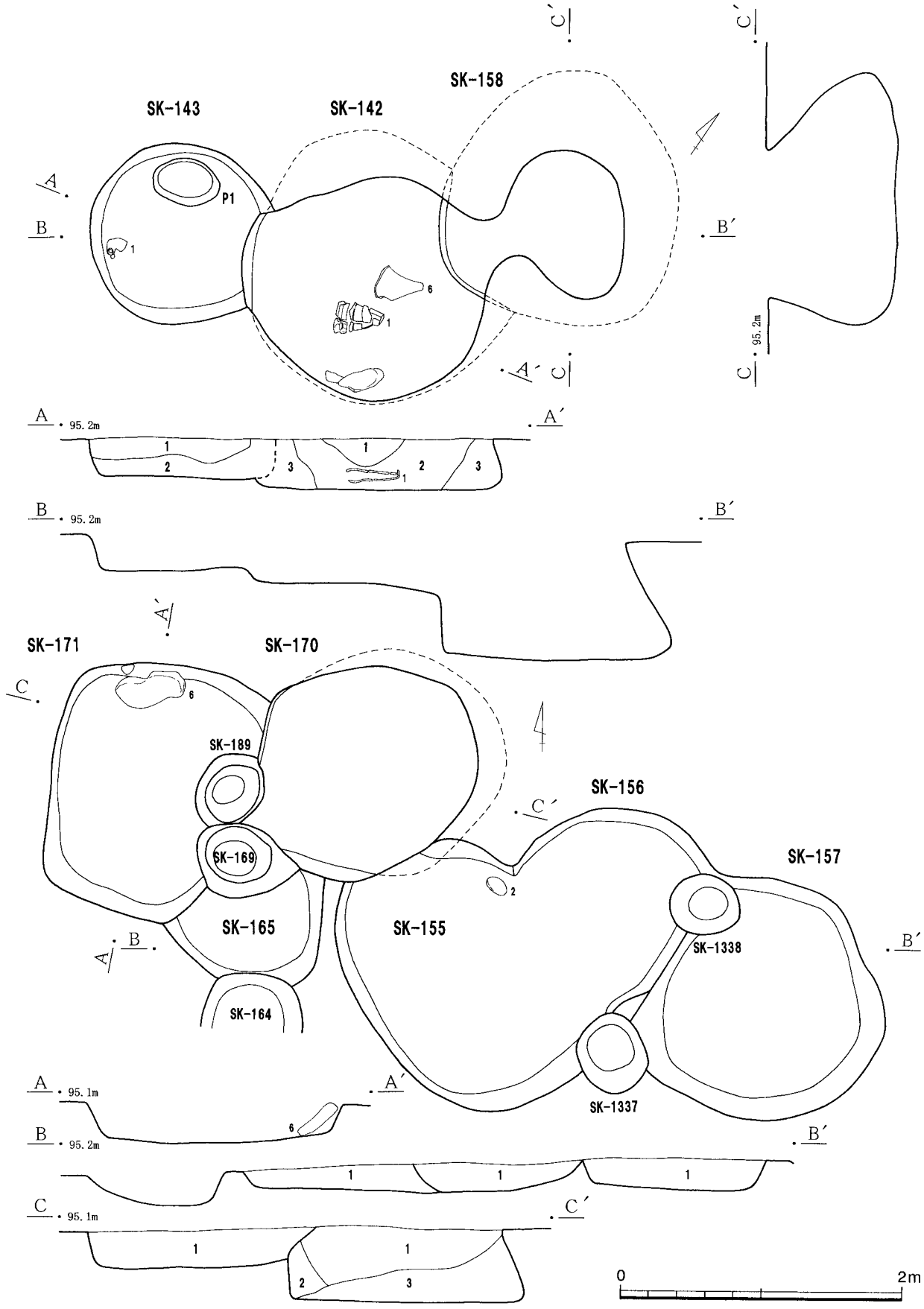
第32図　SK－106・108・110・112・113・116・118～121・125・131



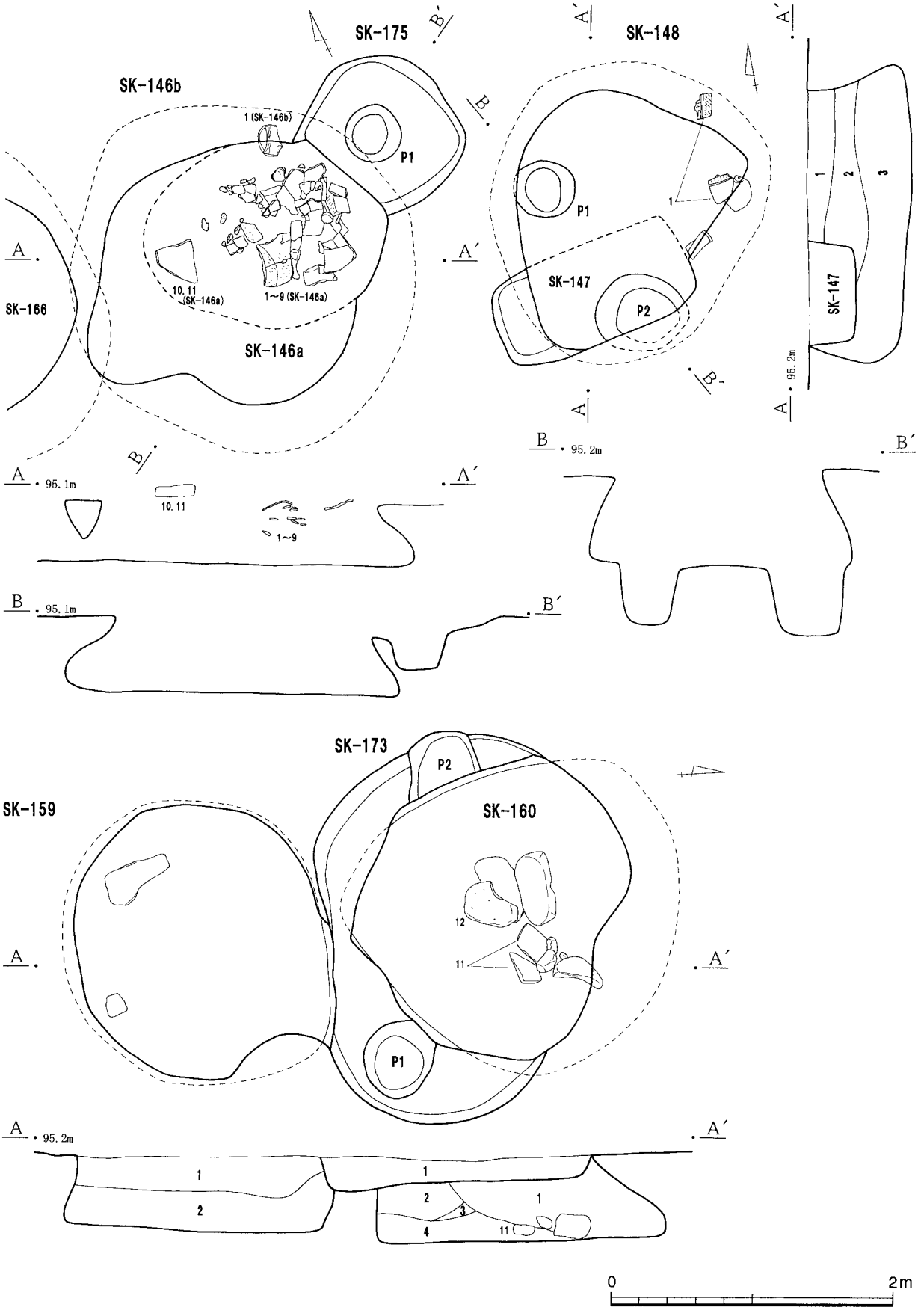
第33図　SK－122・123・126～128・130・133・135・136・144・145



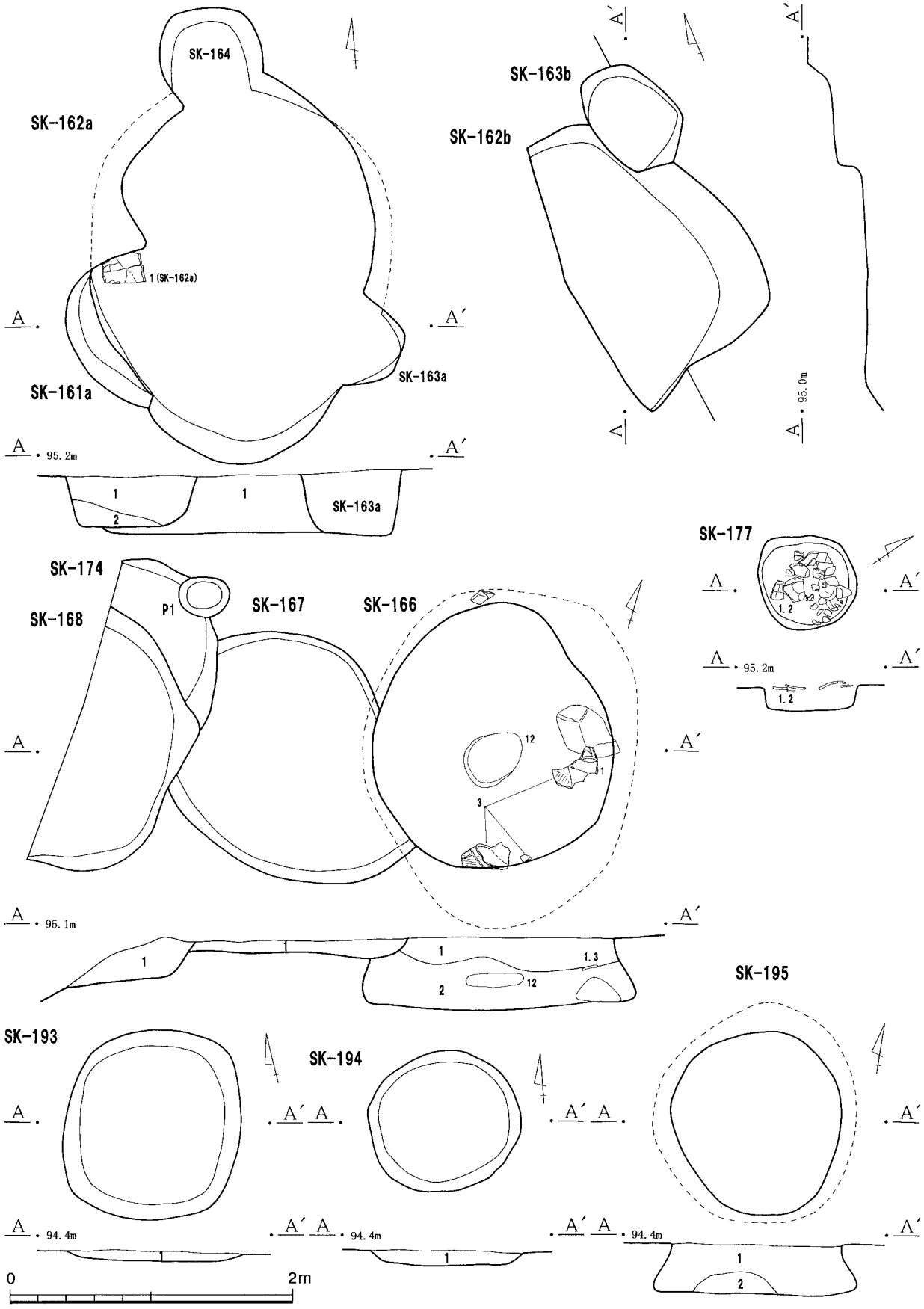
第34図　SK－129・139～141・151～154



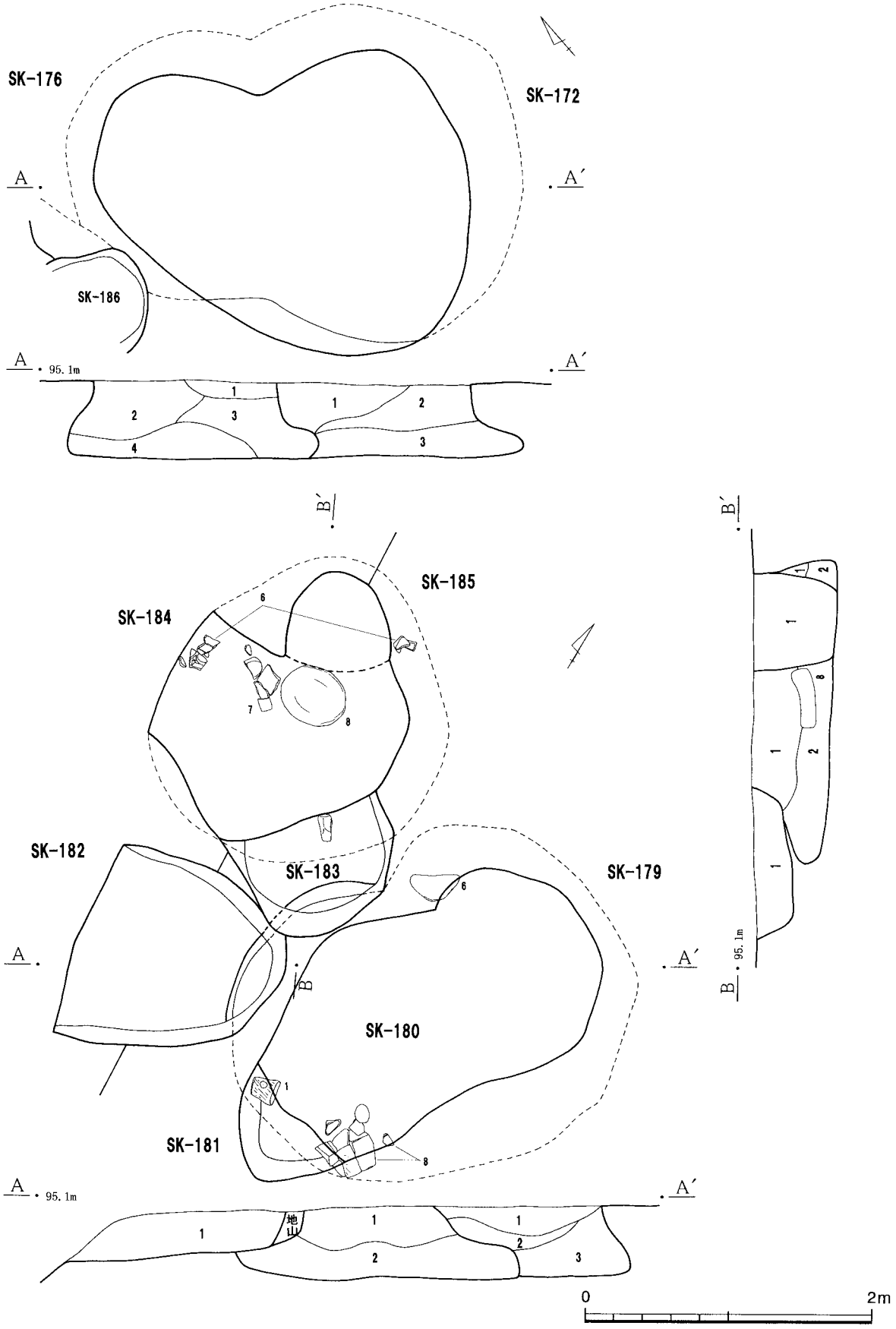
第35図　SK－142・143・155～158・165・170・171



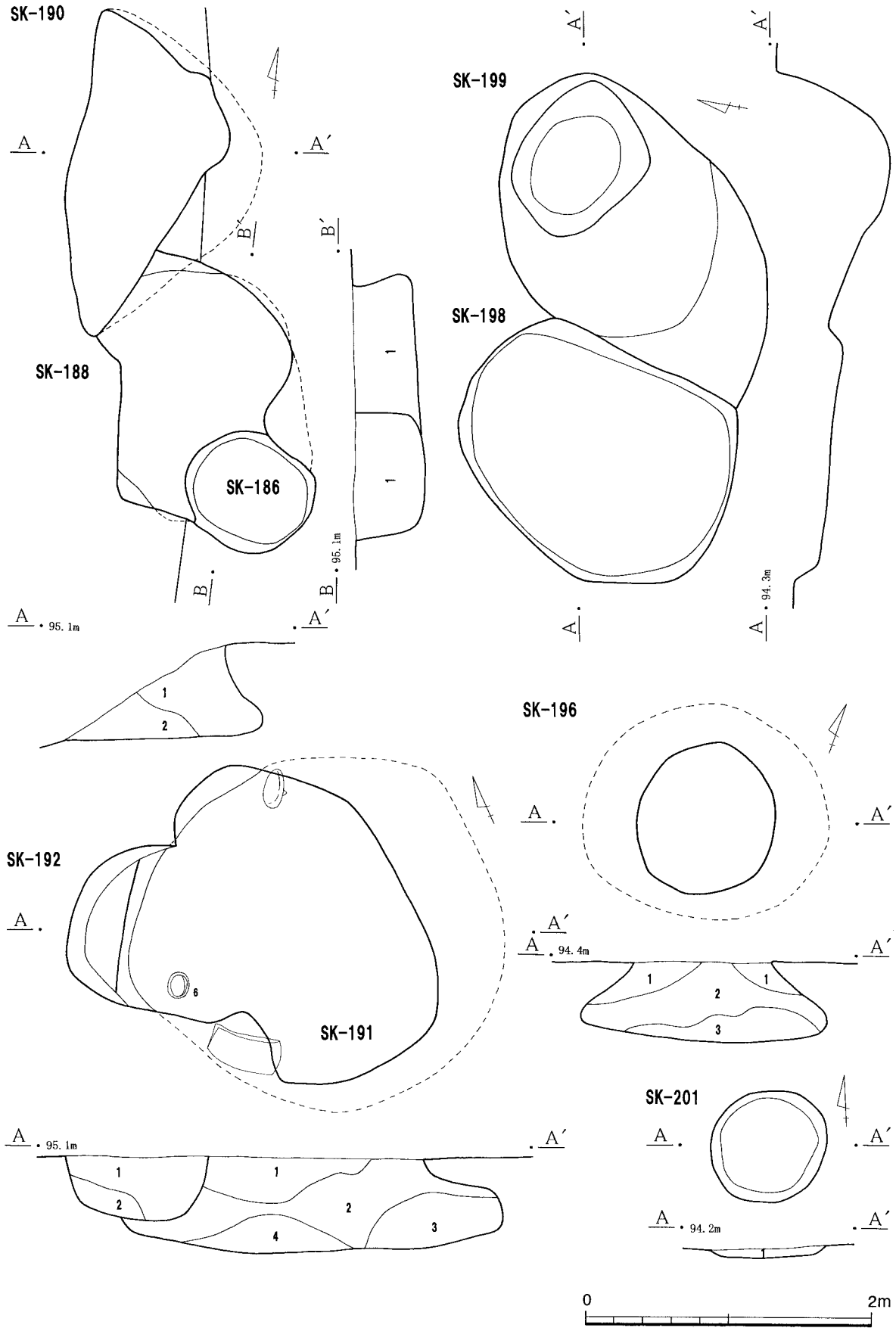
第36図　SK－146a・146b・148・159・160・173・175



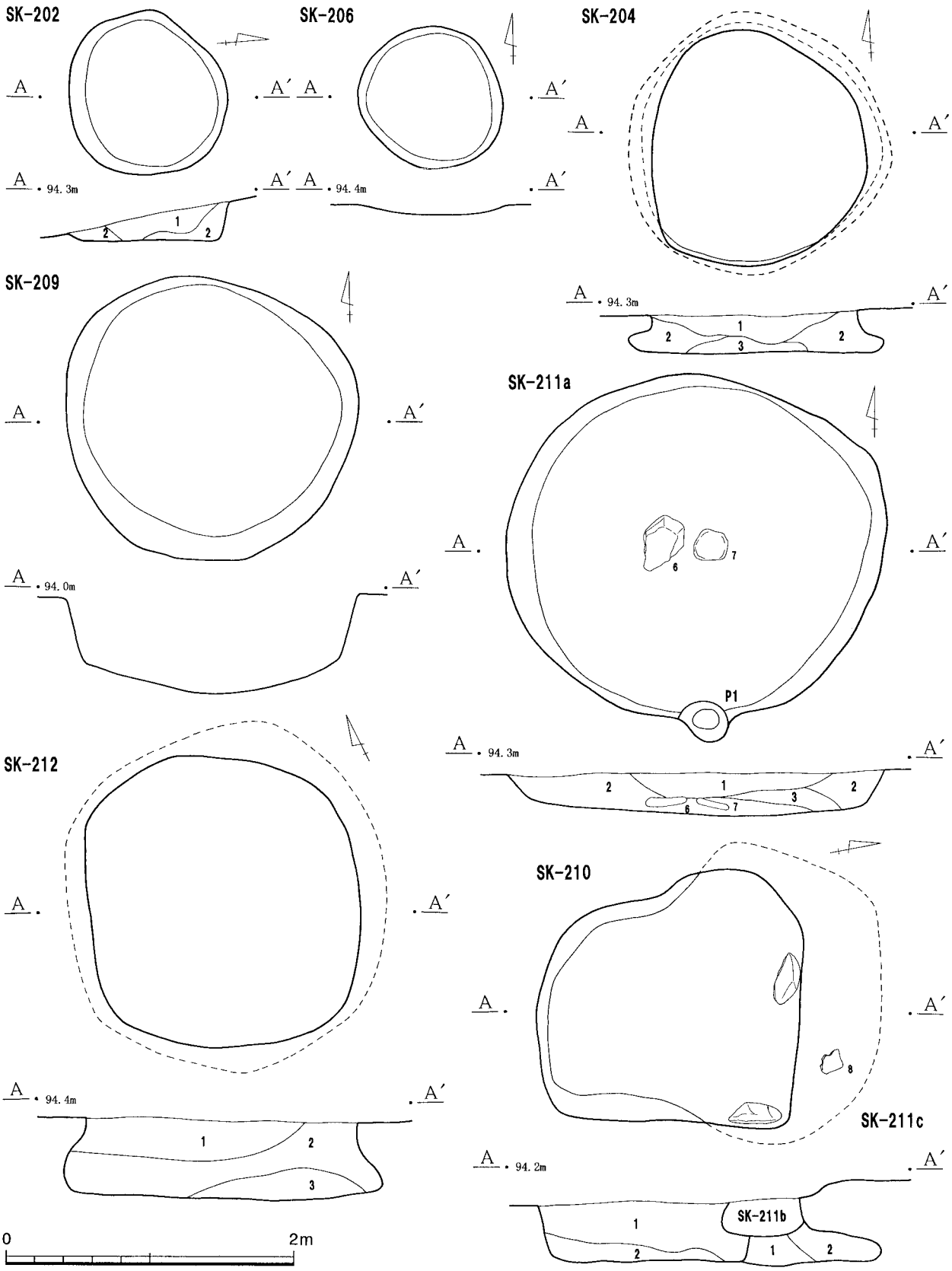
第37図　SK－161a・162a・162b・163b・166～168・174・177・193～195



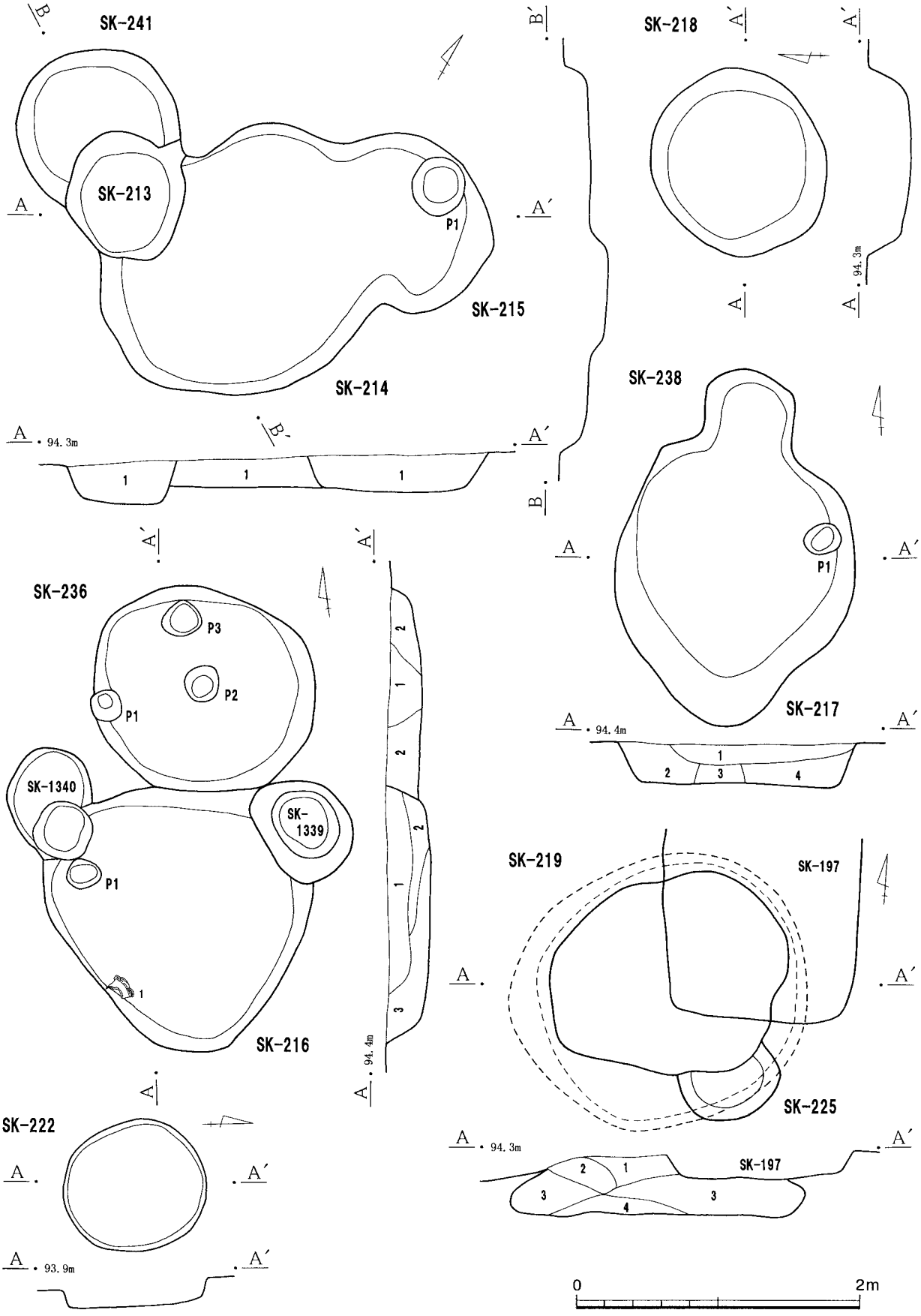
第38図　SK－172・176・179～185



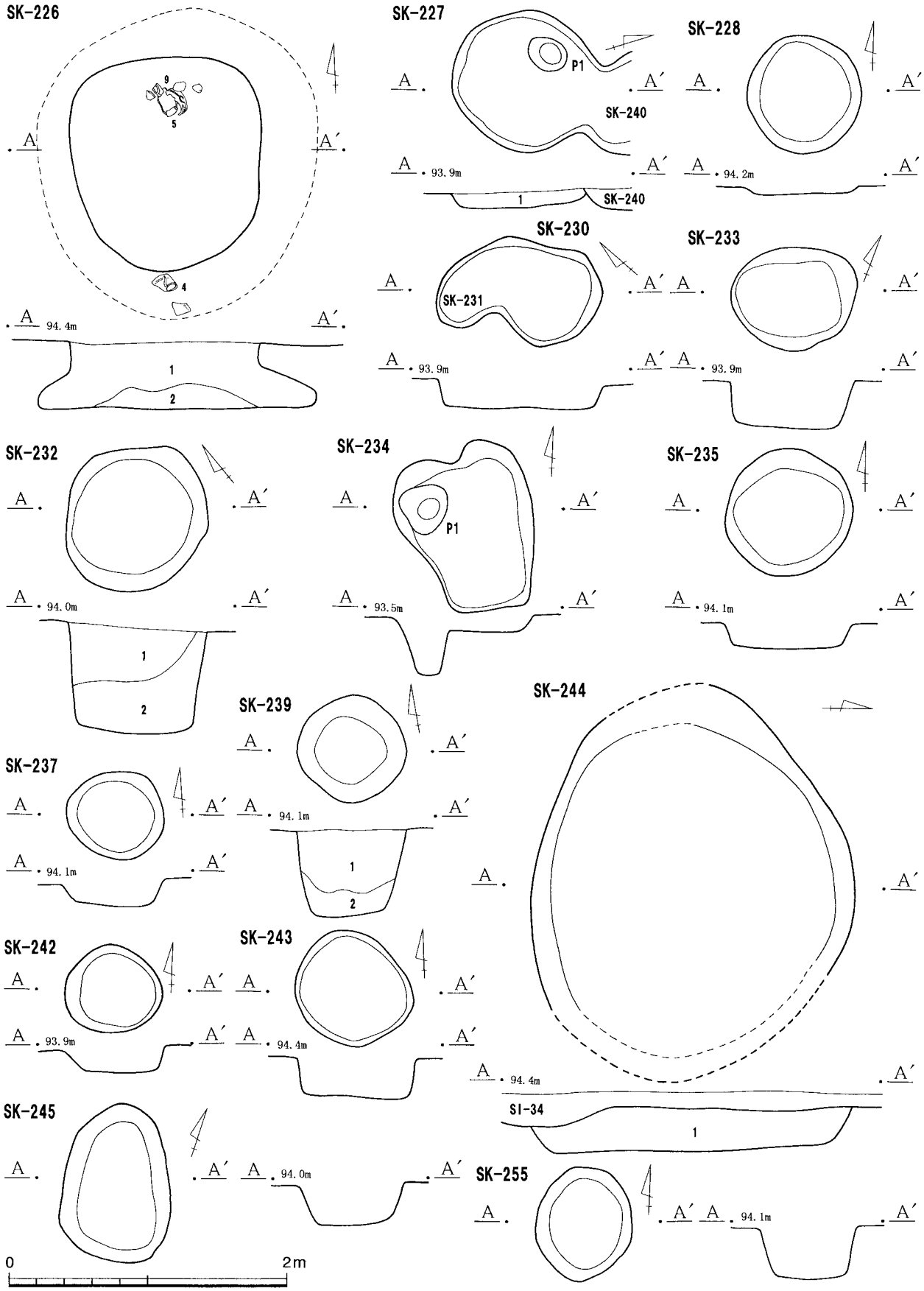
第39図　SK－186・188・190～192・196・198・199・201



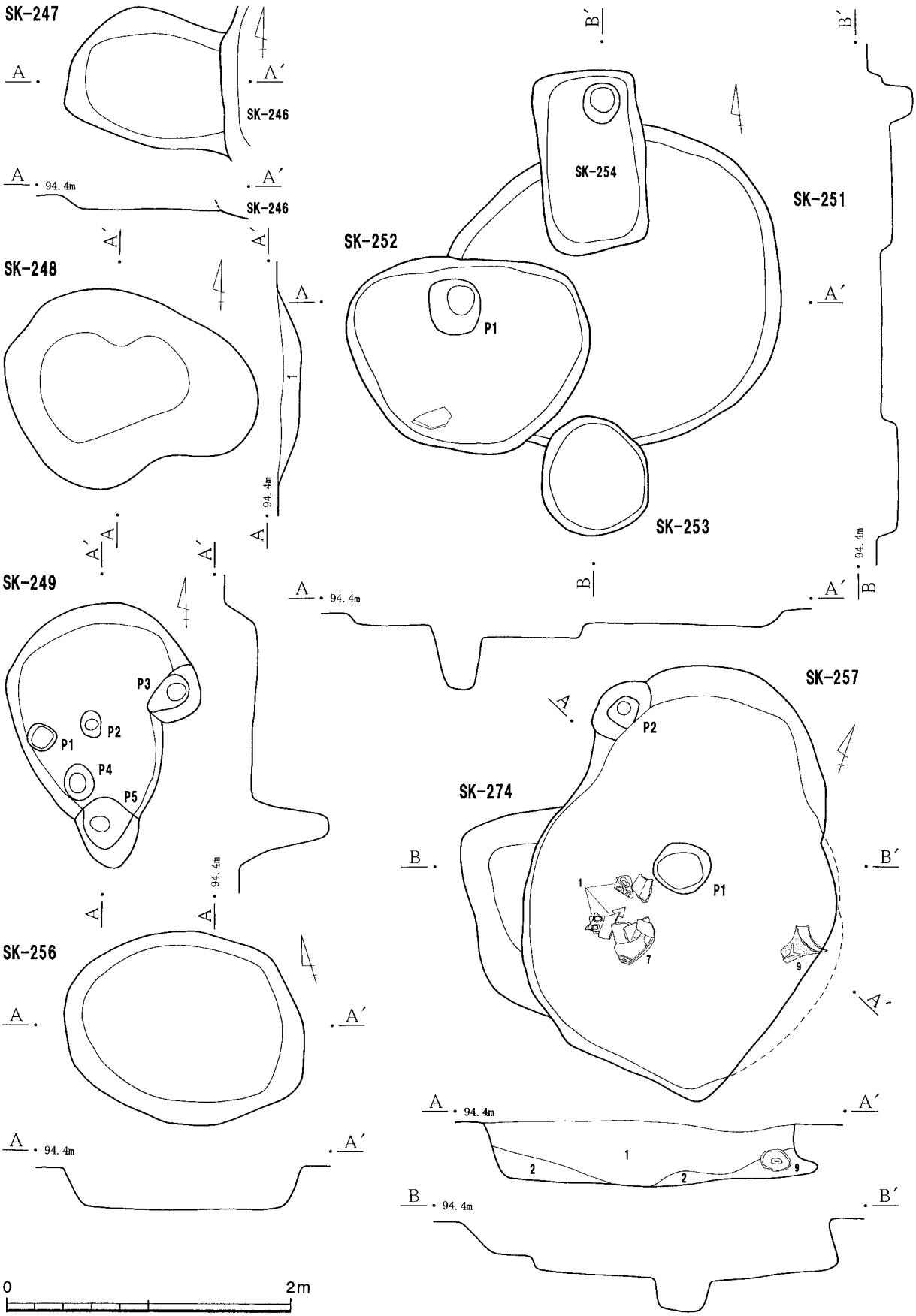
第40図　SK－202・204・206・209・210・211a・211ｃ・212



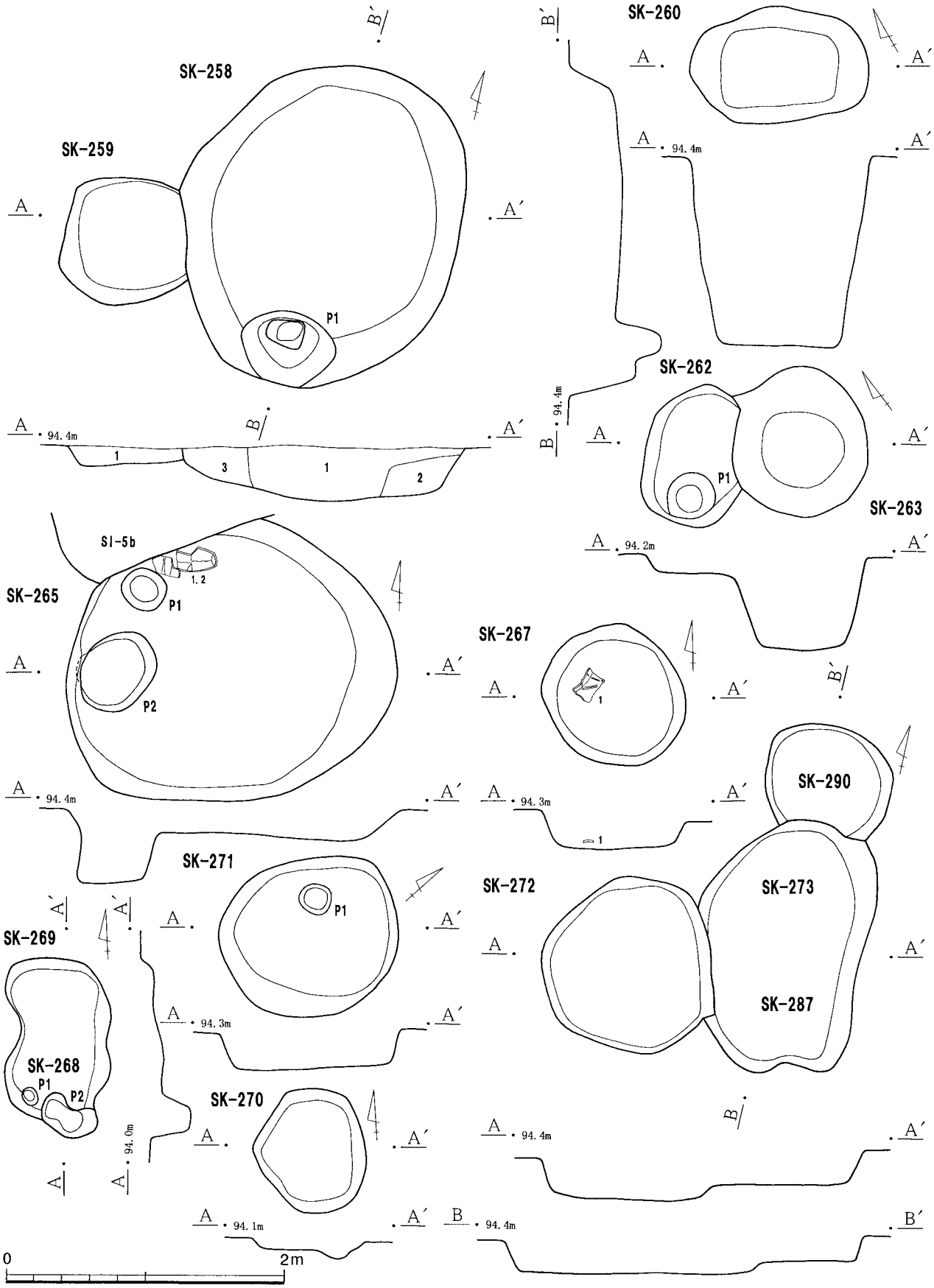
第41図　SK－213～219・222・225・236・238・241



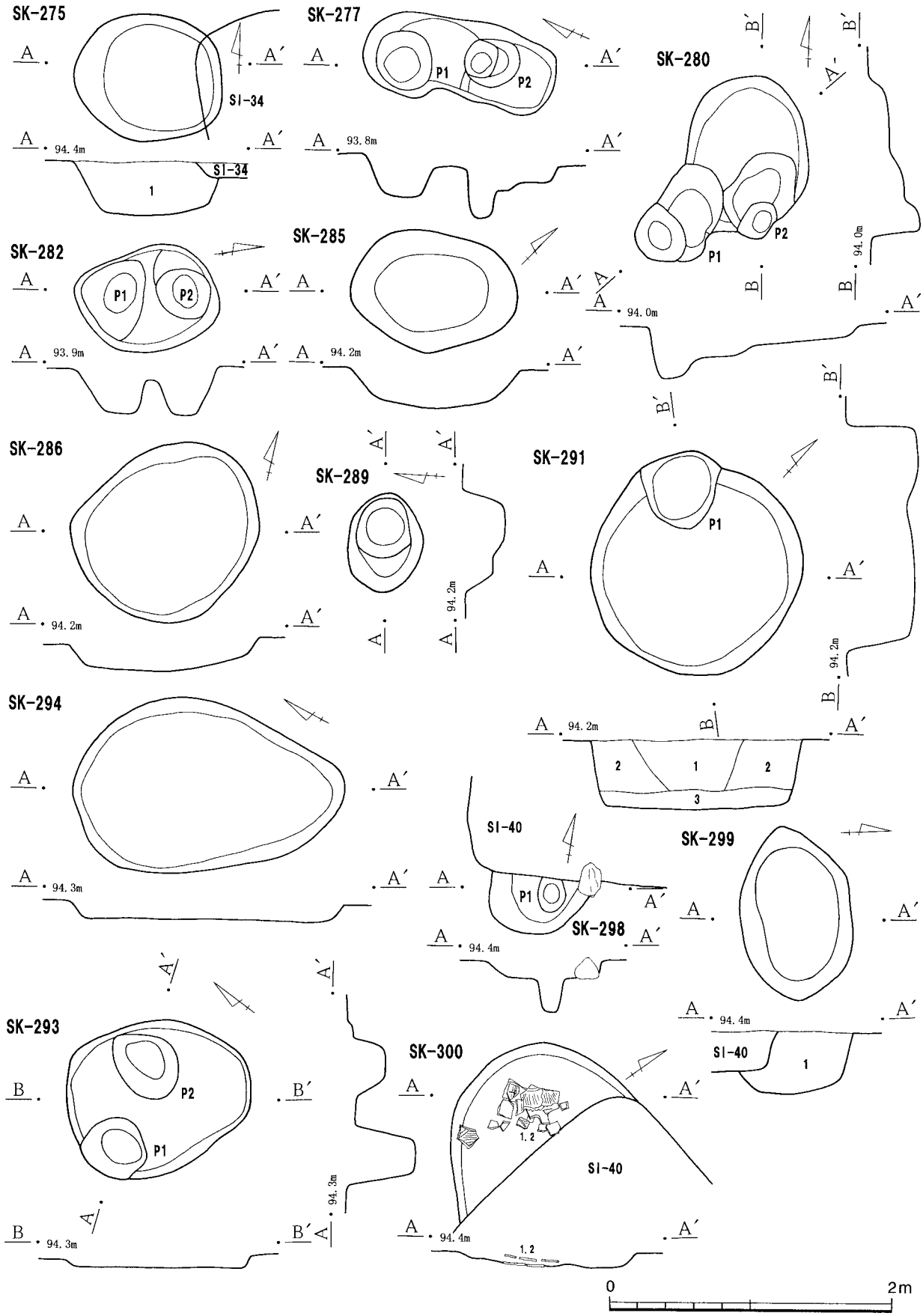
第42図　SK－226～228・230・232～235・237・239・242～245・255



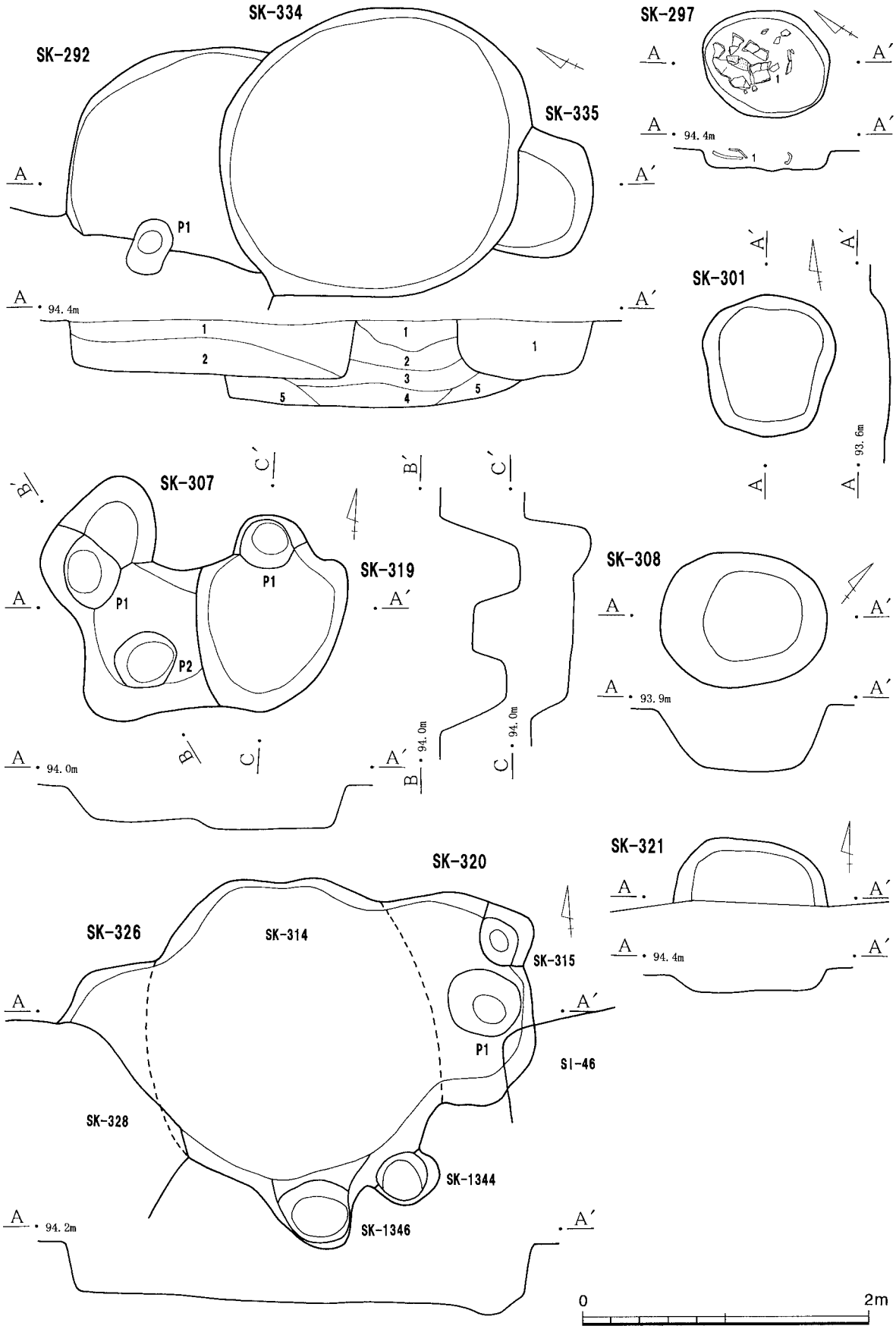
第43図　SK－247～249・251～253・256・257・274



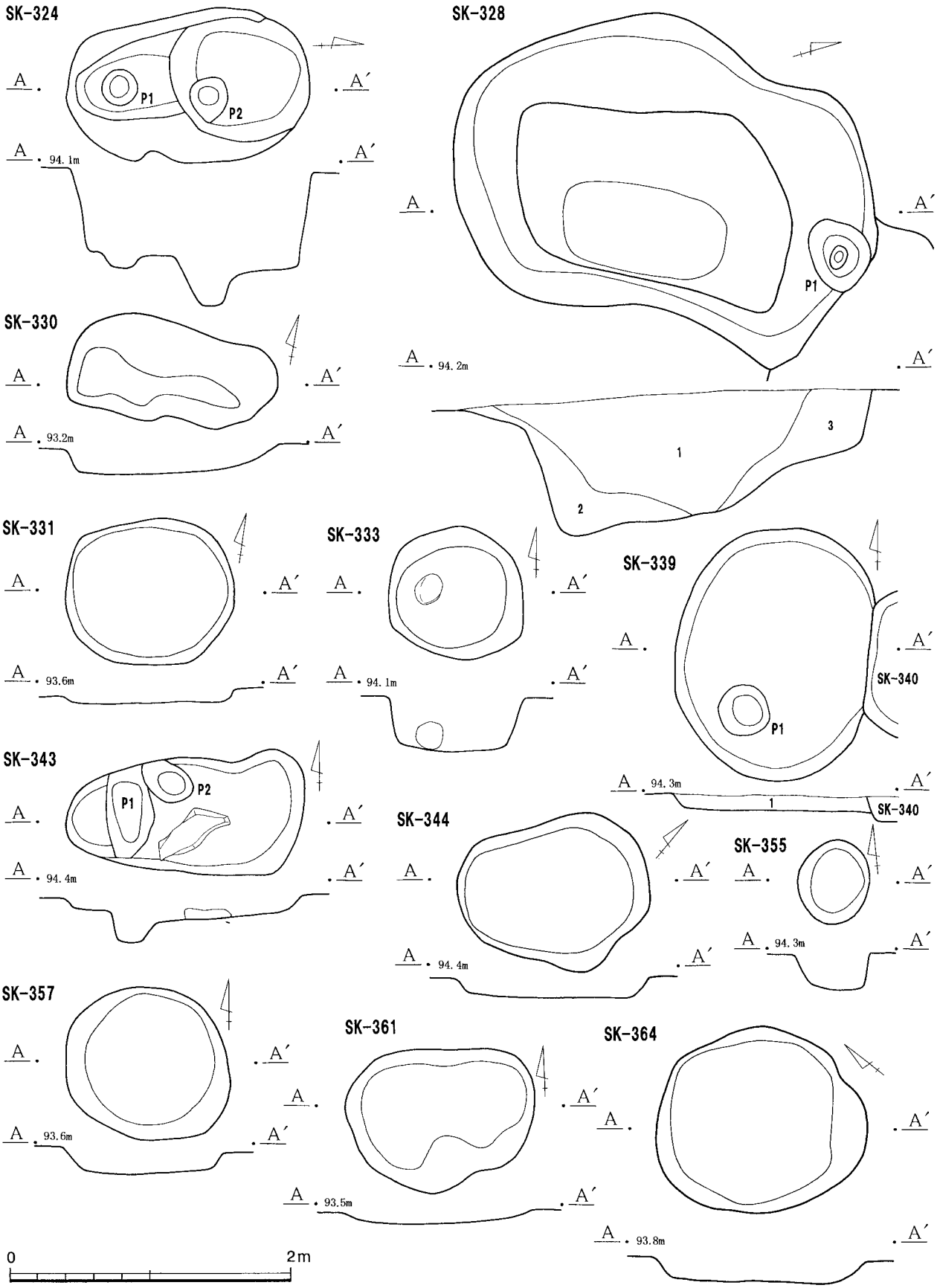
第44図　SK－258～260・262・263・265・267～273・287・290



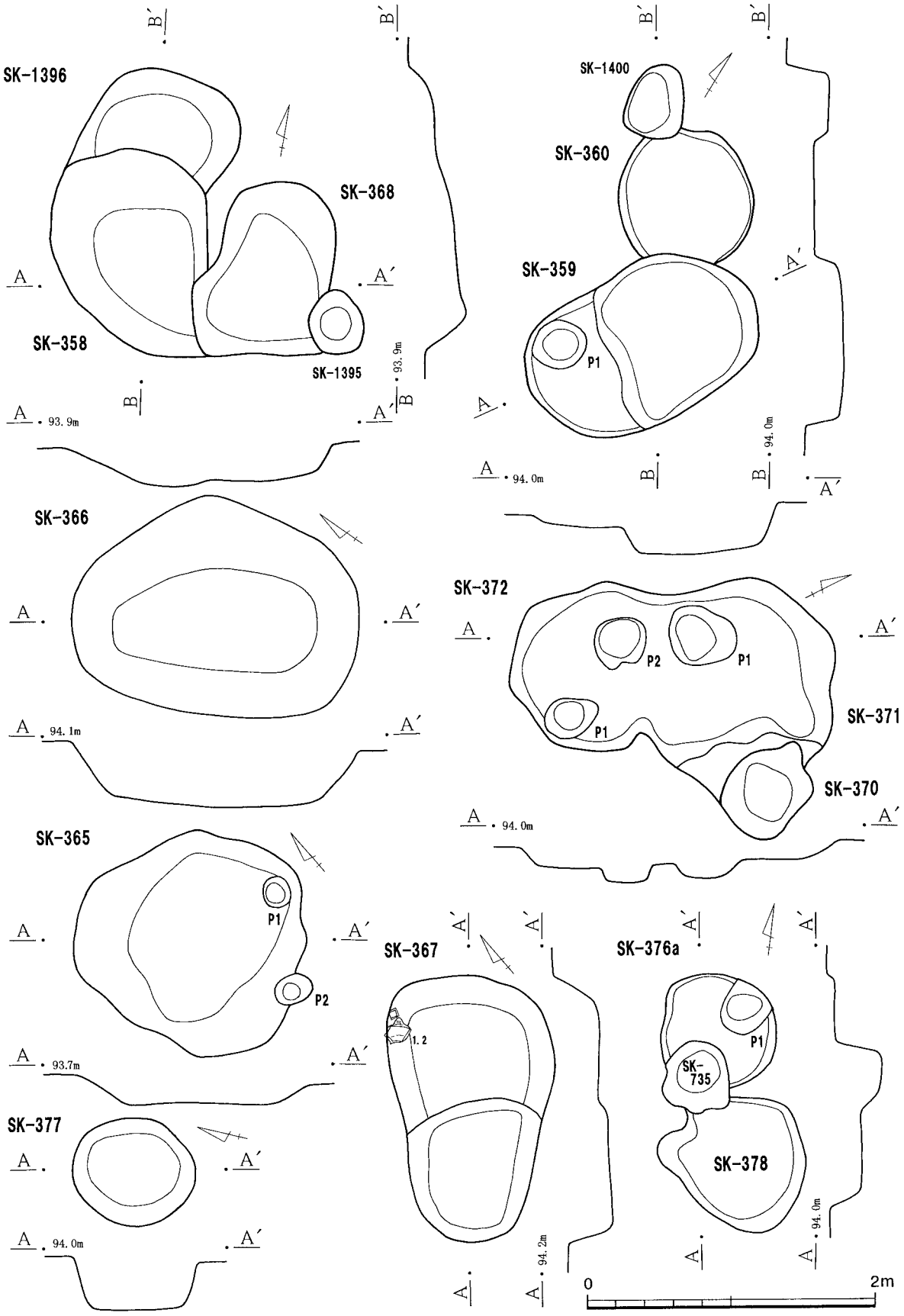
第45図　SK－275・277・280・282・285・286・289・291・293・294・298～300



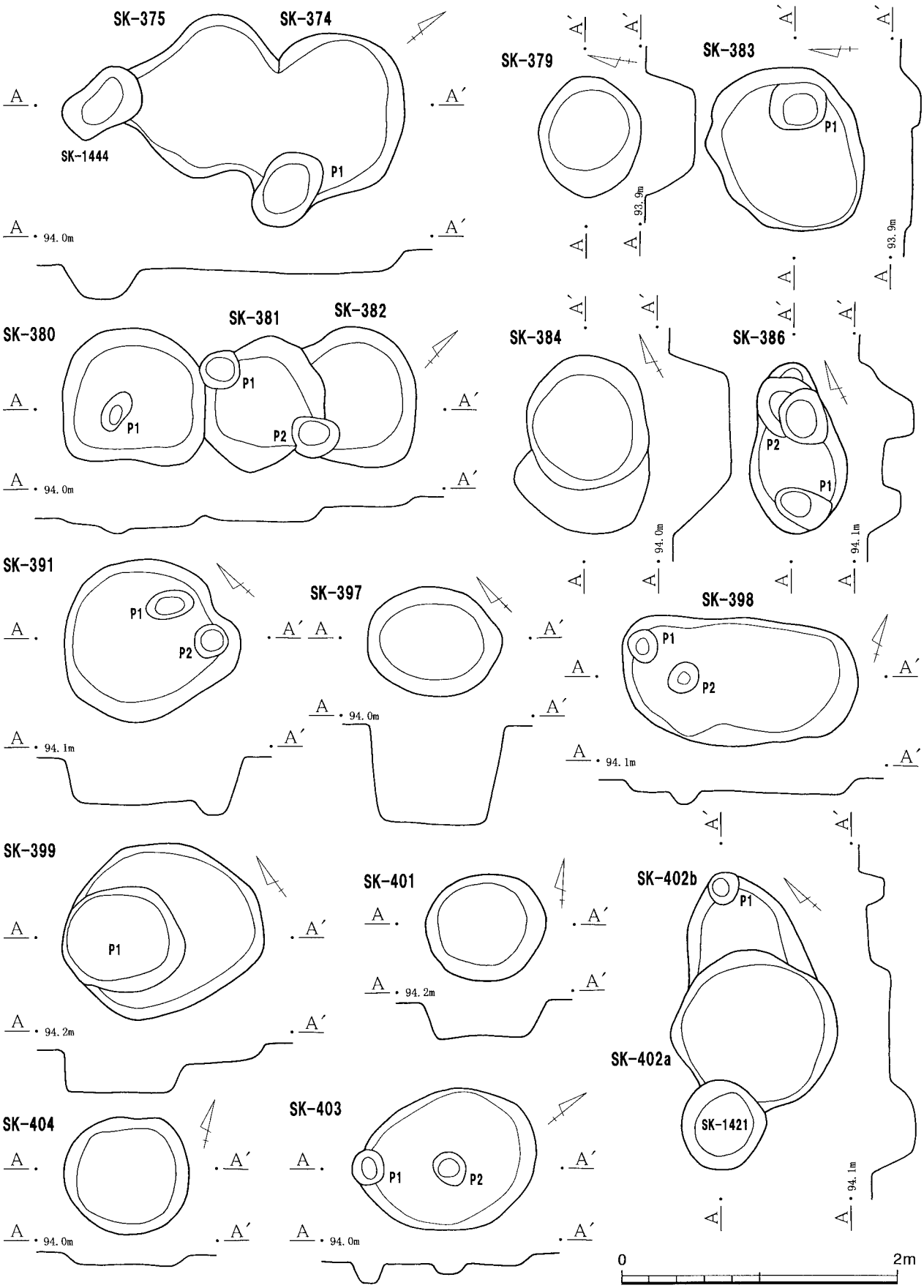
第46図　SK－292・297・301・307・308・319～321・326・334・335



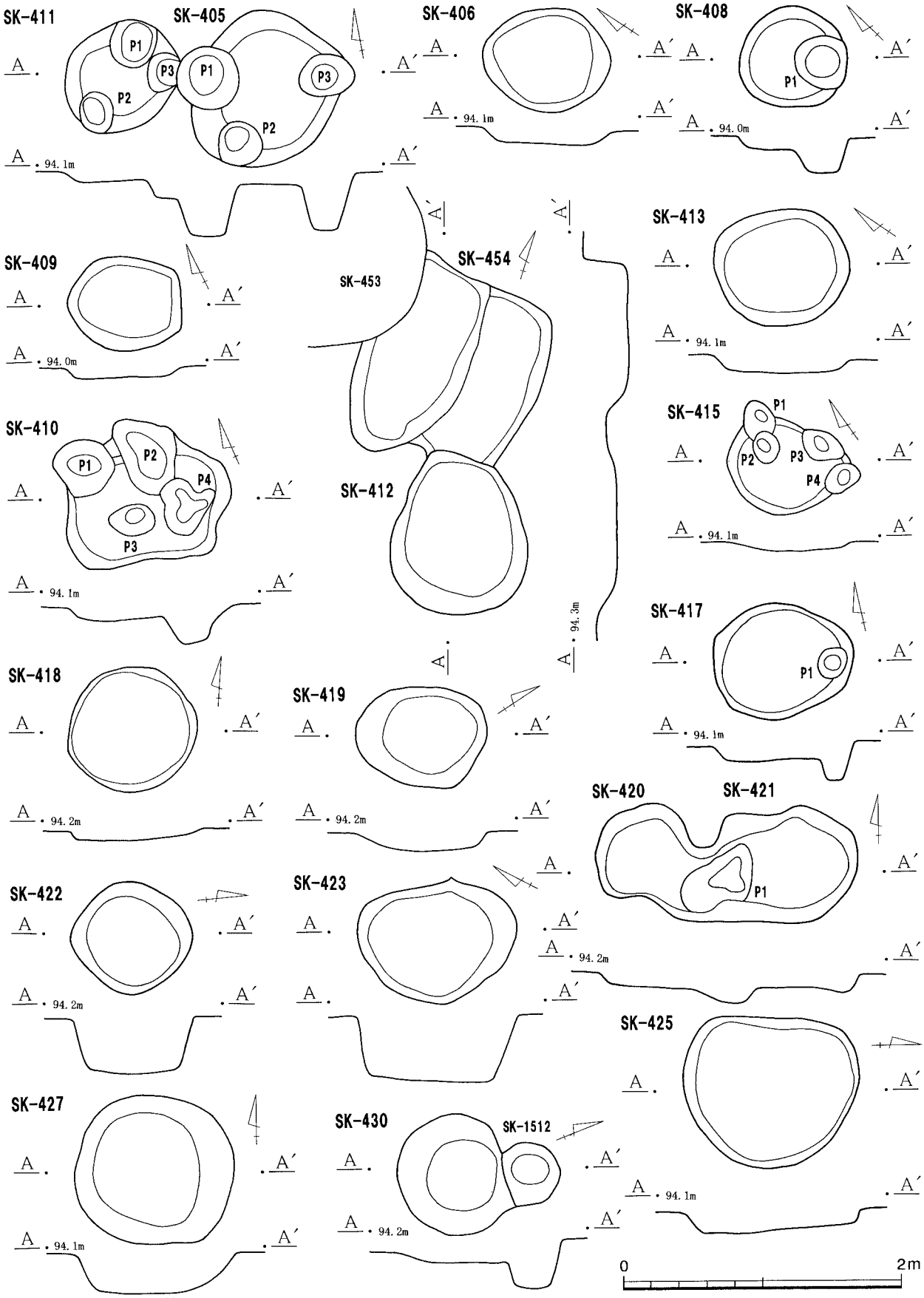
第47図　SK－324・328・330・331・333・339・343・344・355・357・361・364



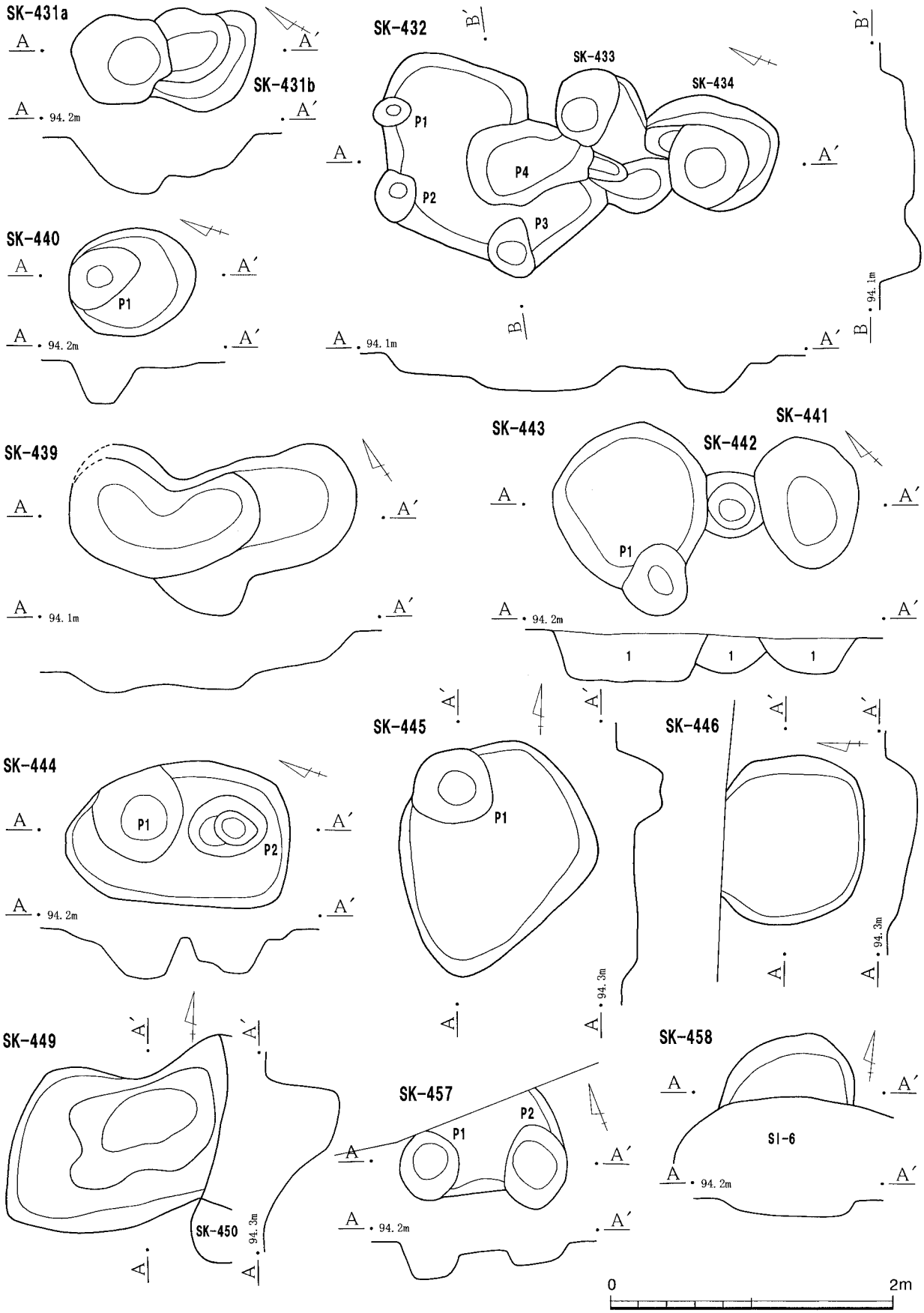
第48図　SK－358～360・365～368・370～372・376a・377・378・1396



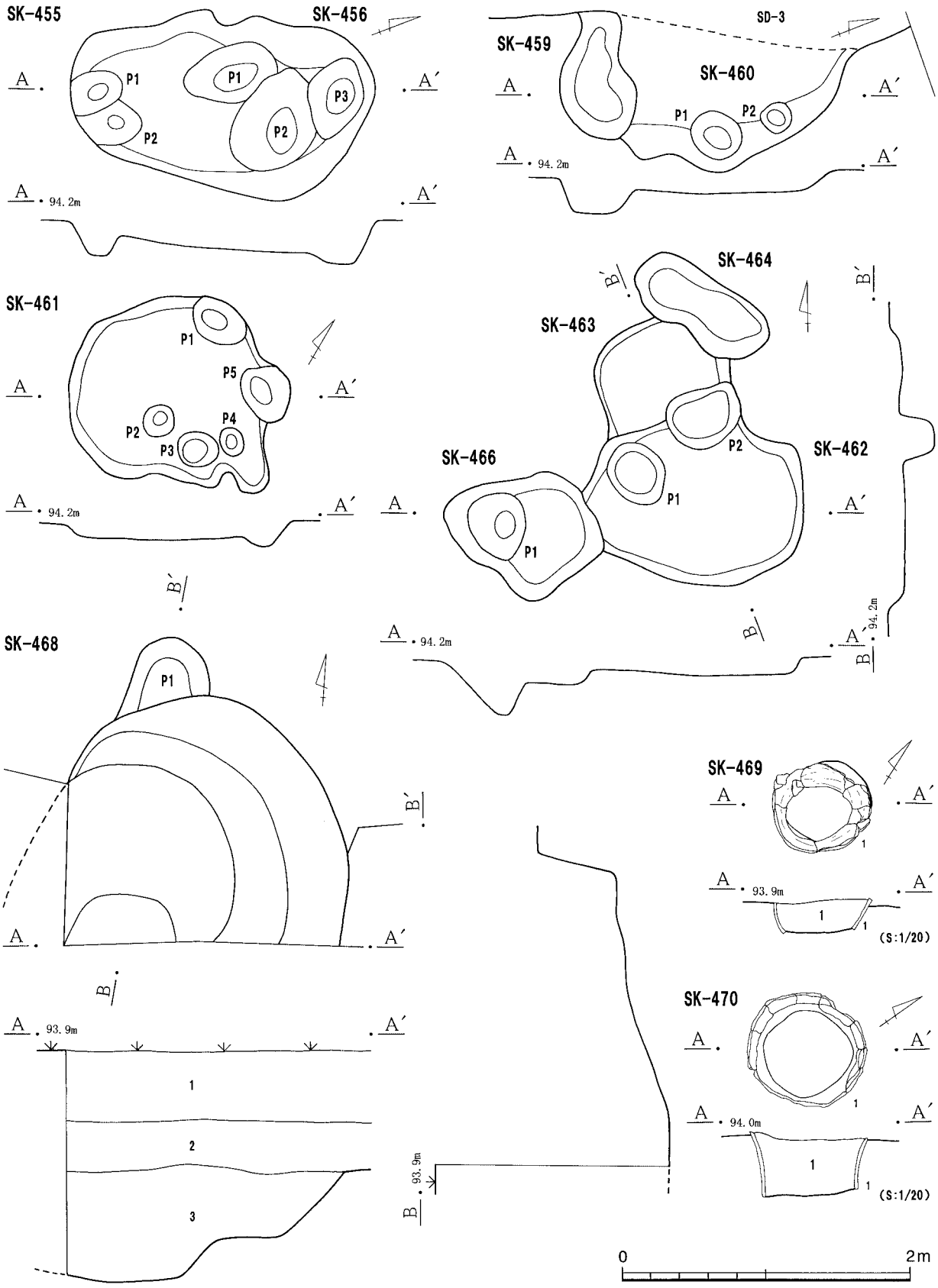
第49図　SK－374・375・379～384・386・391・397～399・401・402a・402b・403・404



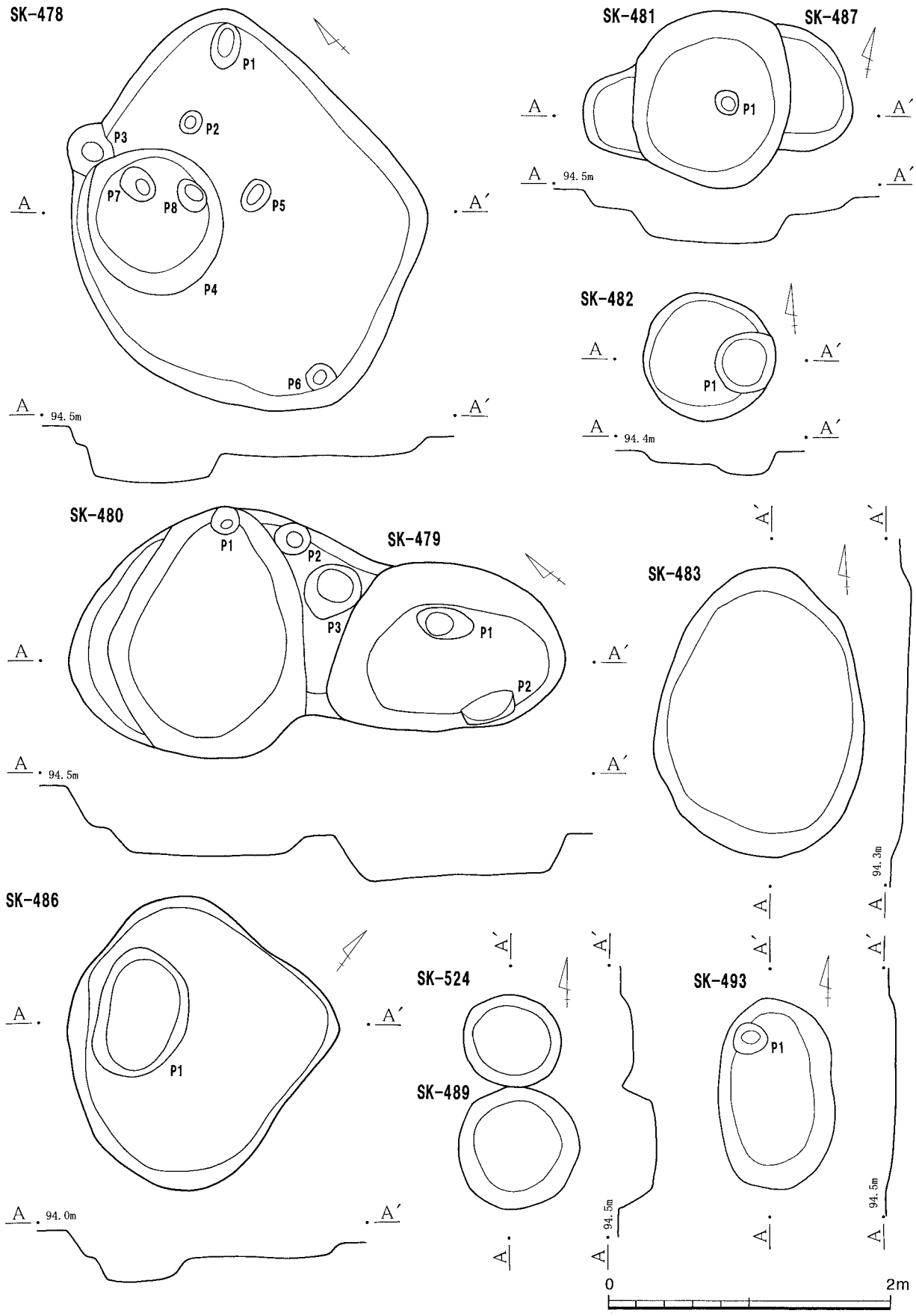
第50図　SK－405・406・408～413・415・417～423・425・427・430・454



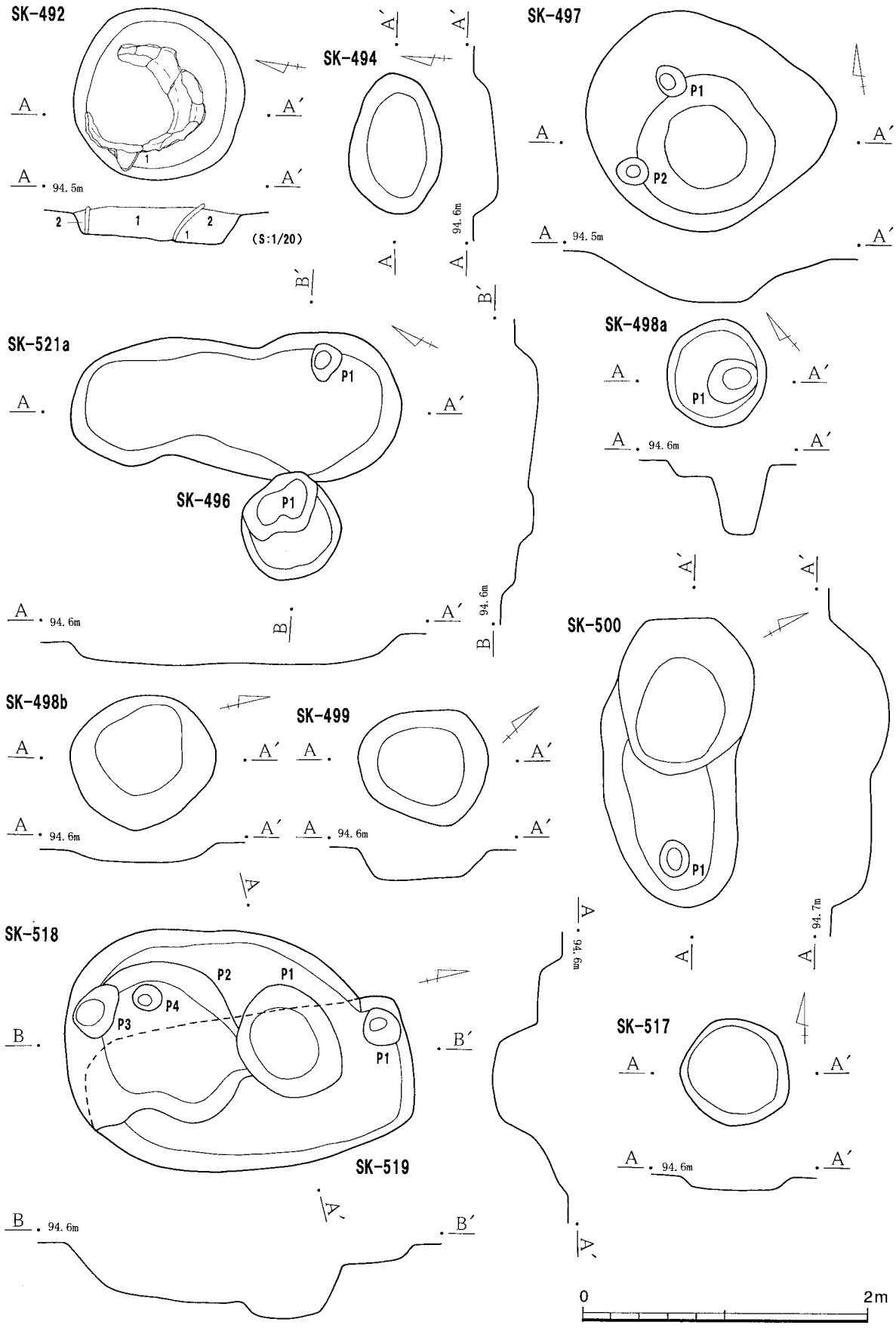
第51図　SK－431a・431b・432・439～446・449・457・458



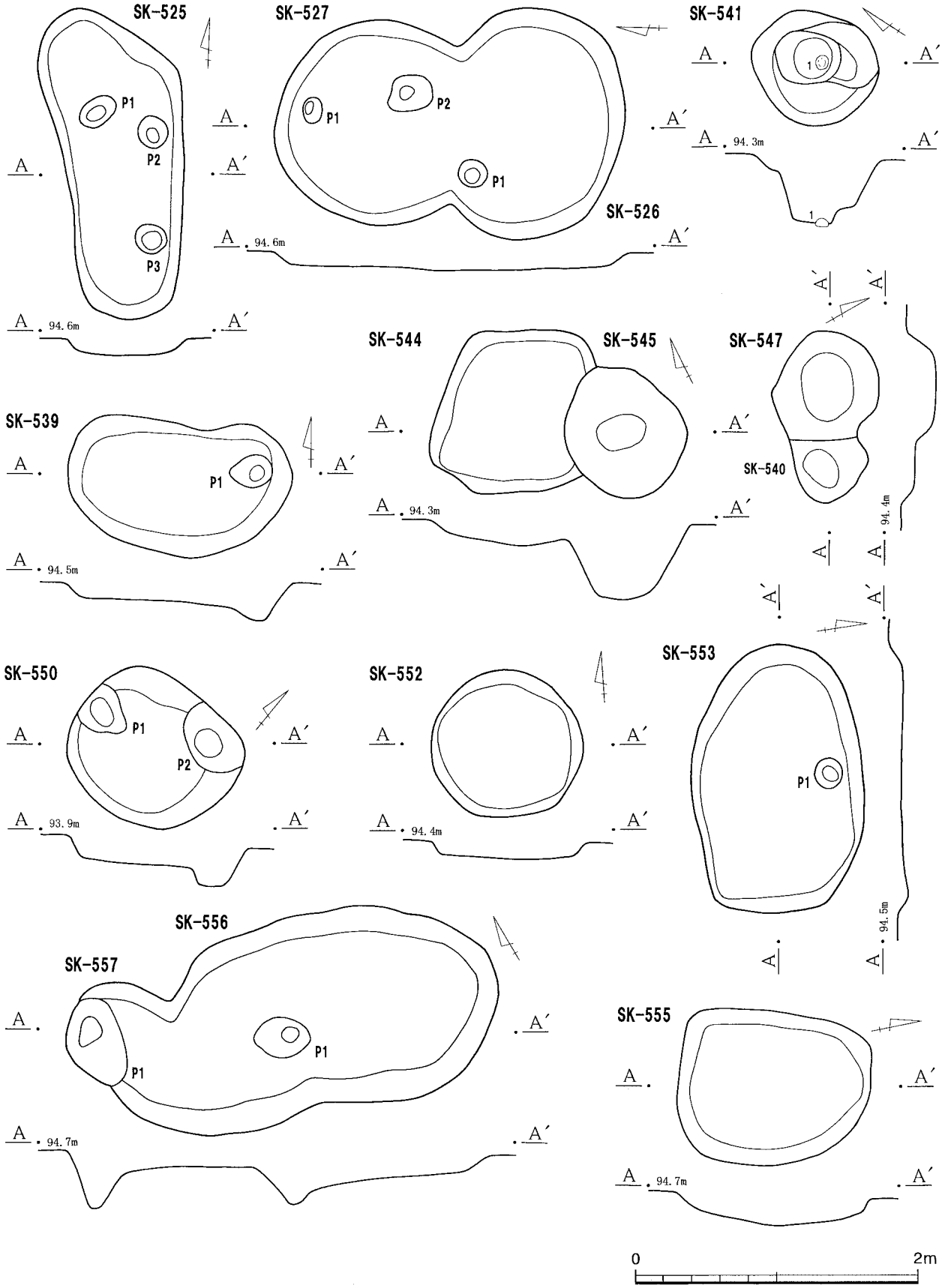
第52図　SK－455・456・459～464・466・468～470



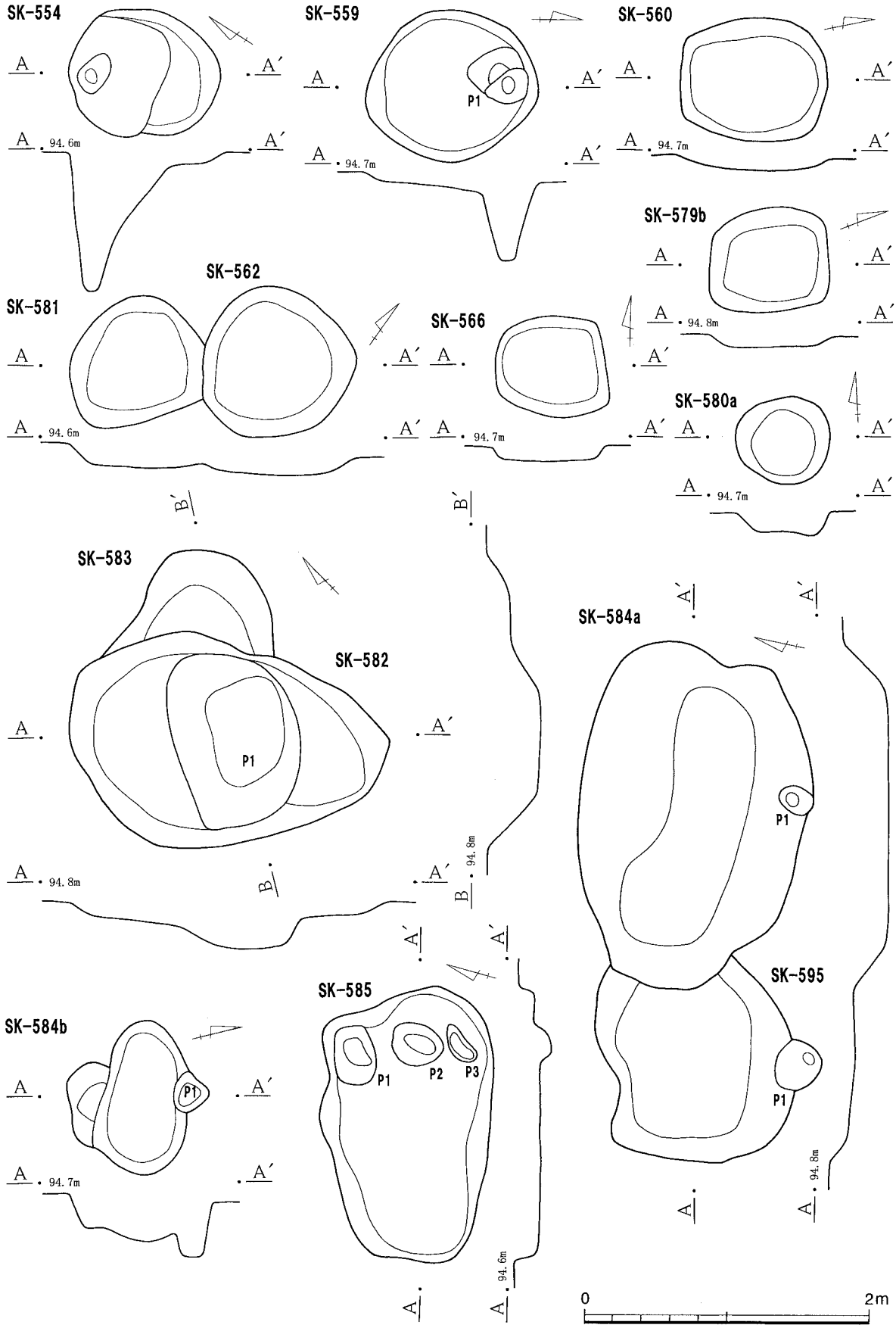
第53図　SK－478～483・486・487・489・493・524



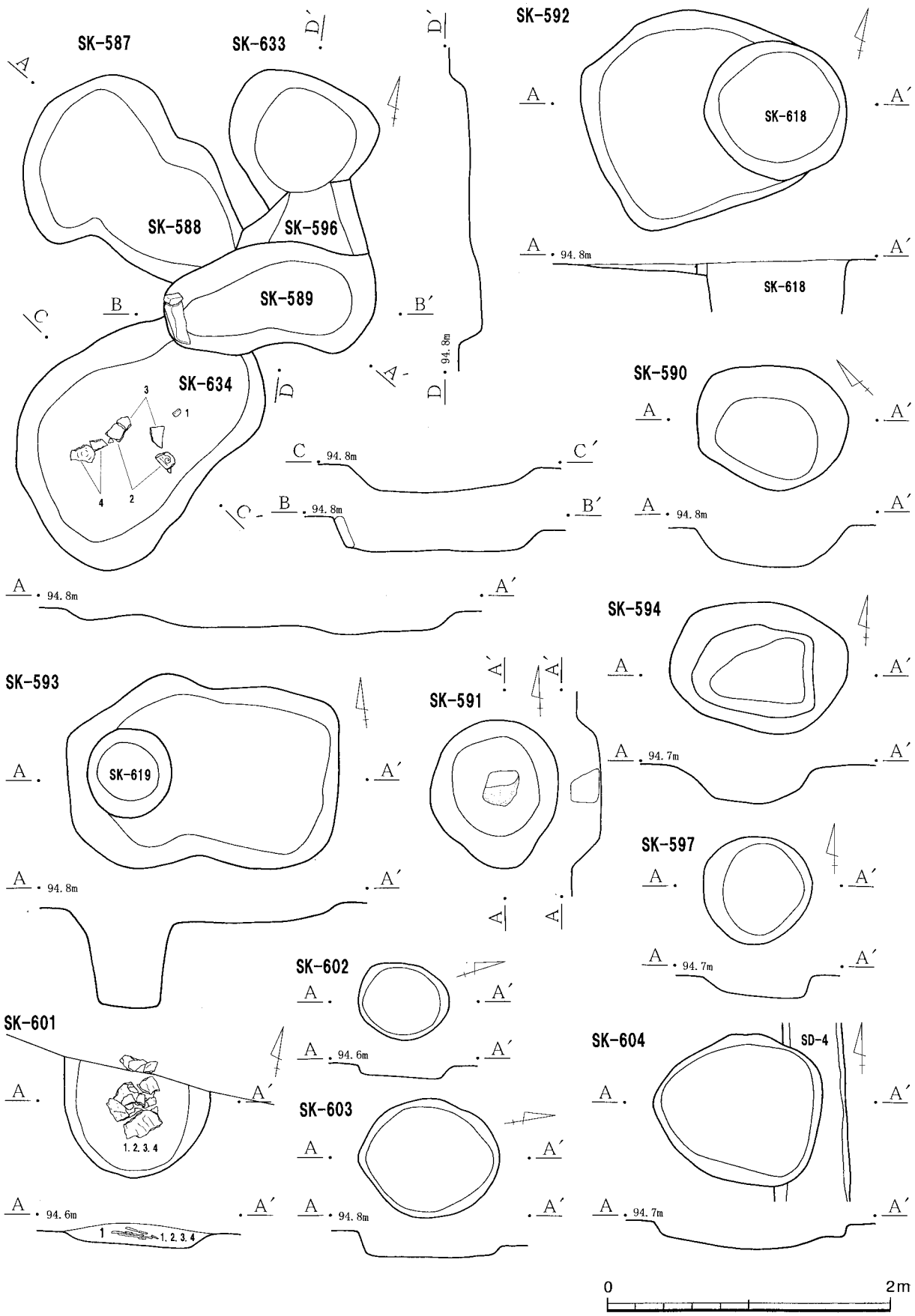
第54図　SK－492・494・496・497・498a・498b・499・500・517～519・521a



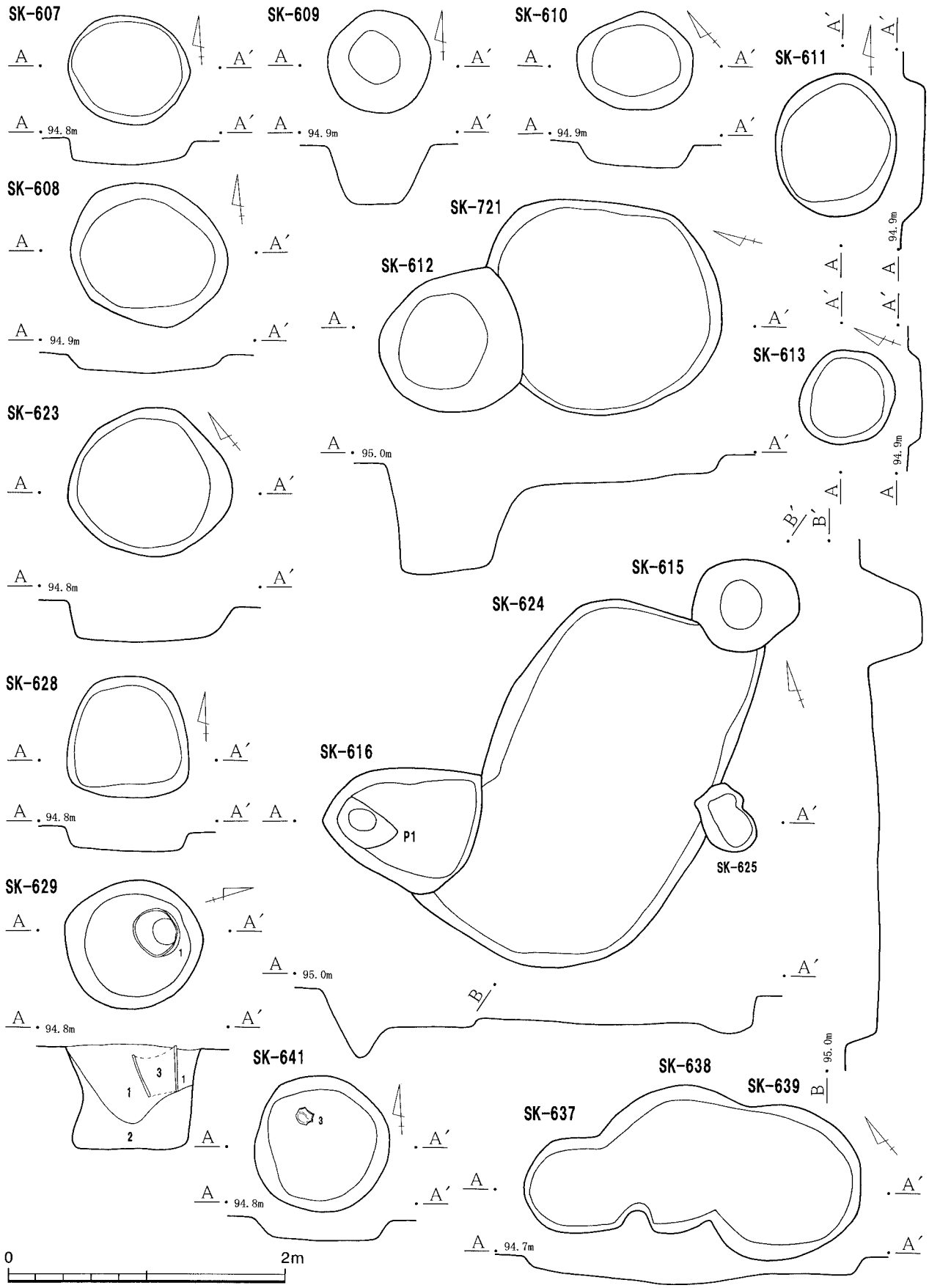
第55図　SK－525～527・539・541・544・545・547・550・552・553・555～557



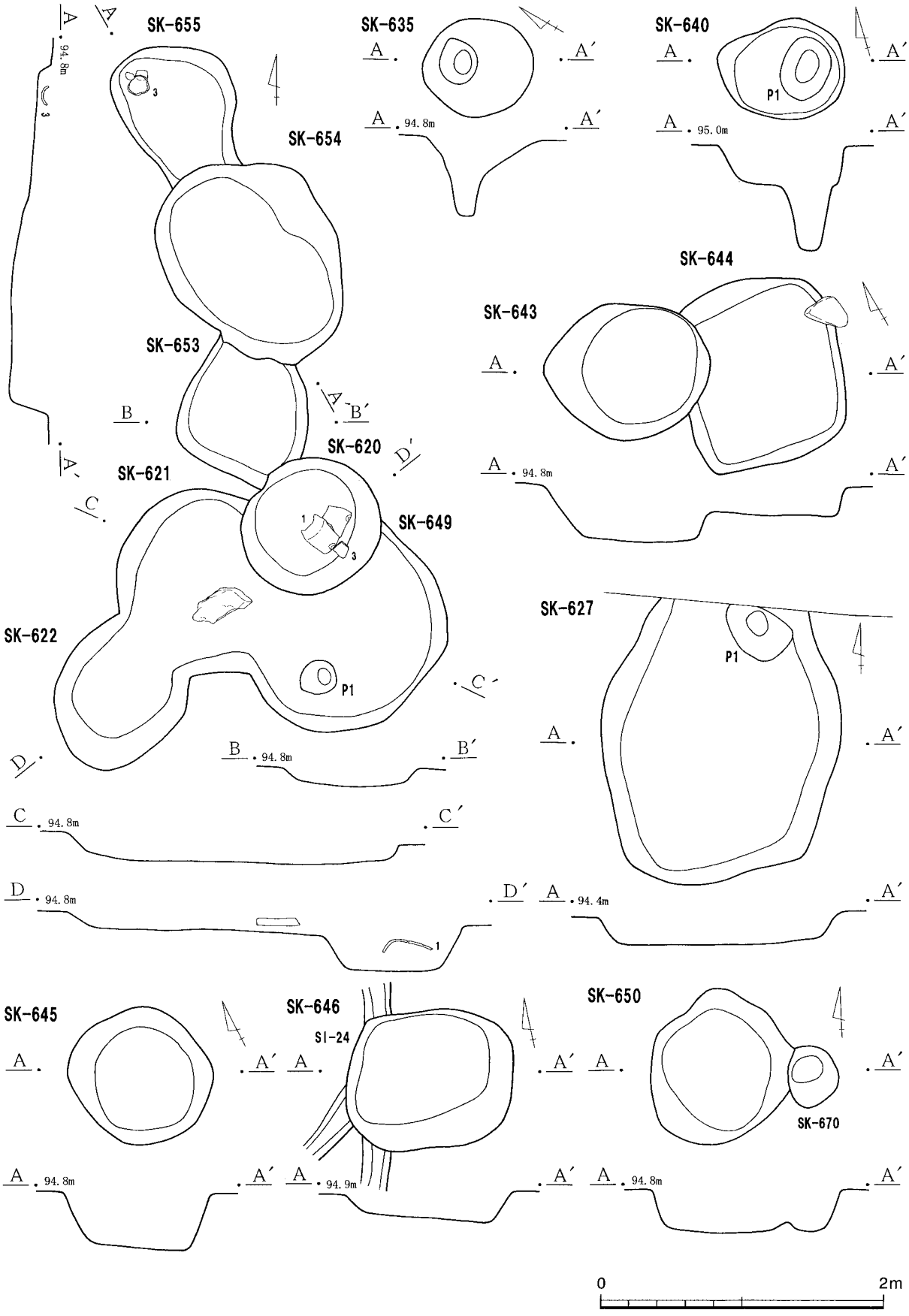
第56図　SK－554・559・560・562・566・579b・580a・581～583・584a・584b・585・595



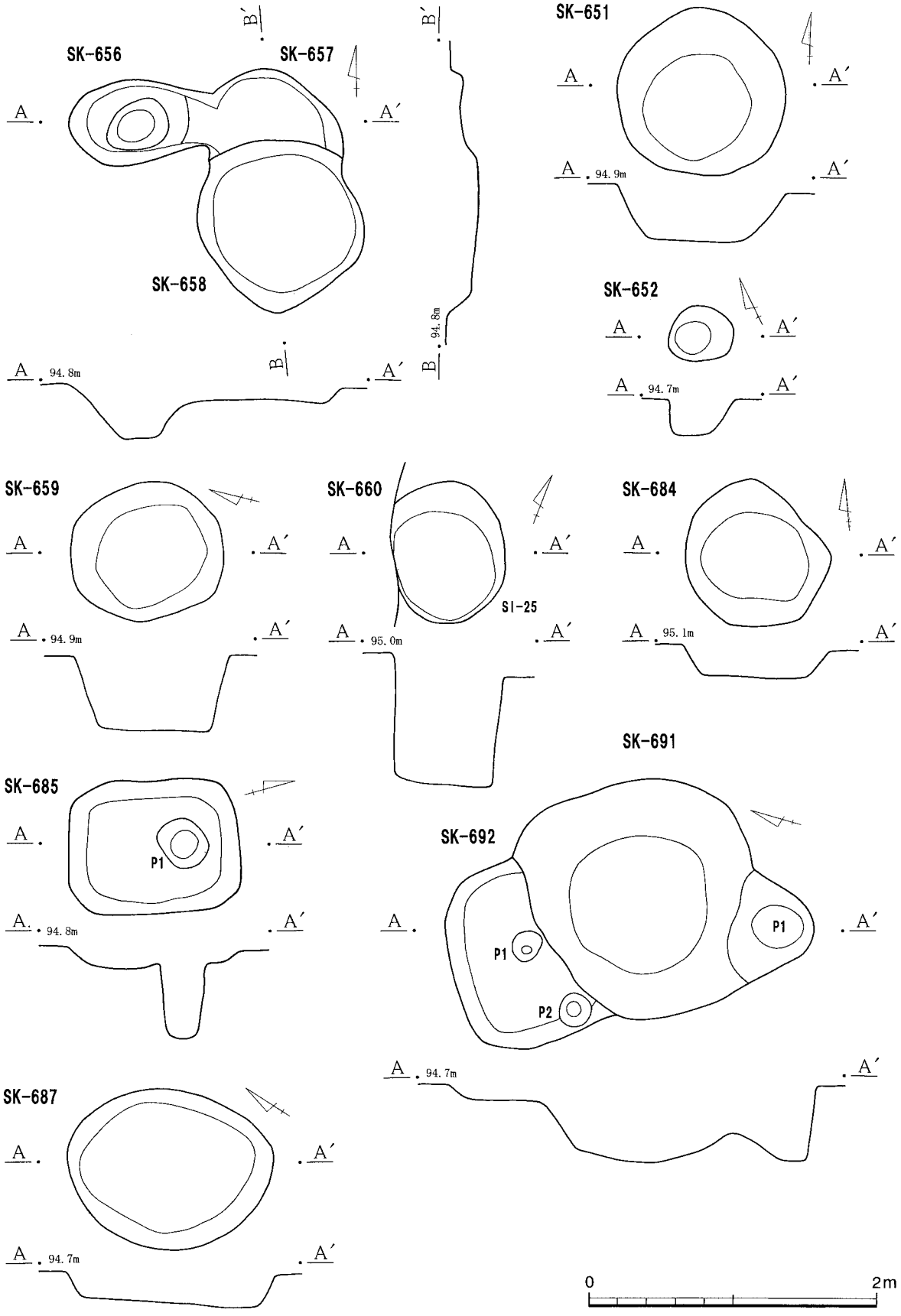
第57図　SK－587～594・596・597・601～604・633・634



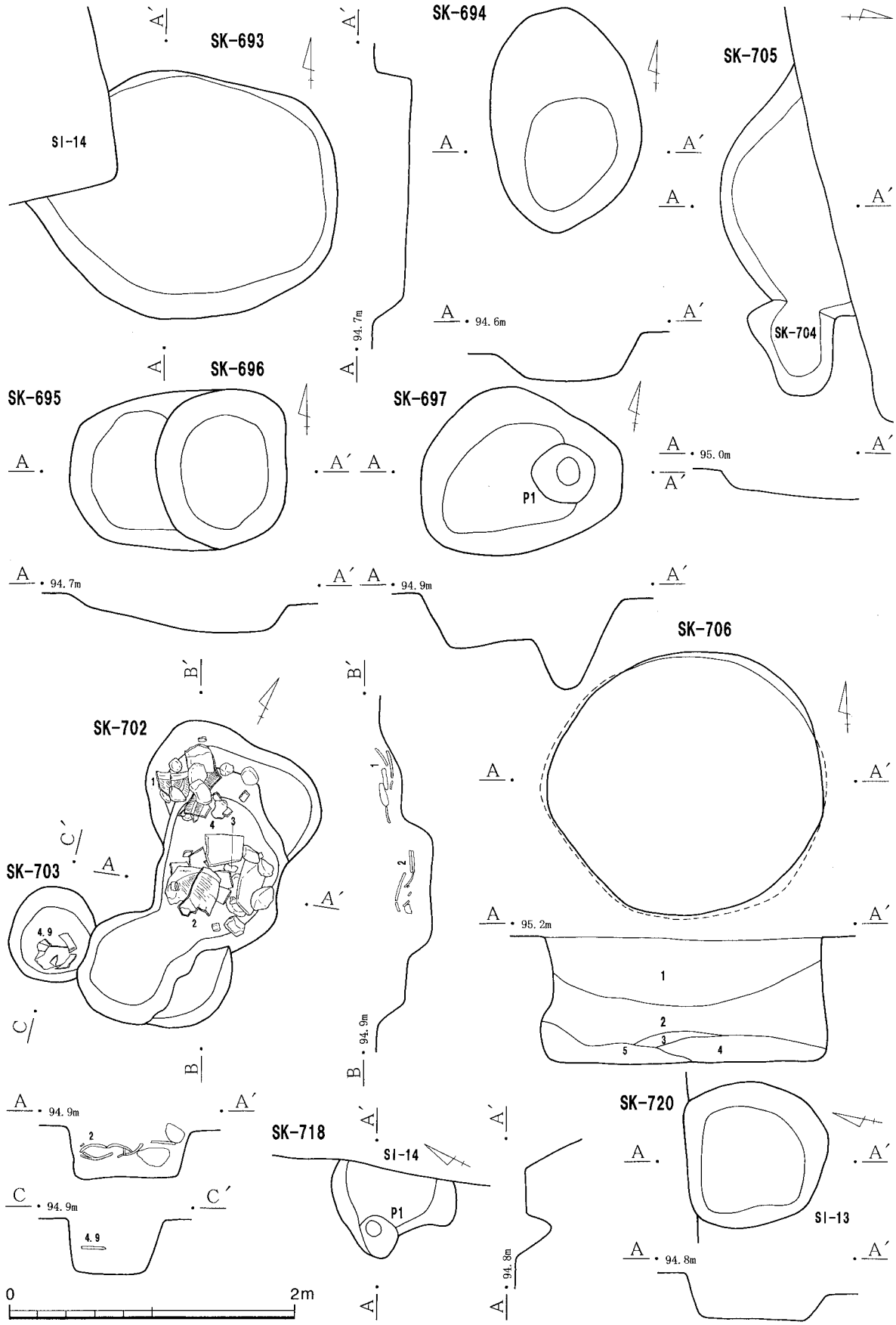
第58図　SK－607～613・615・616・623・624・628・629・637～639・641・721



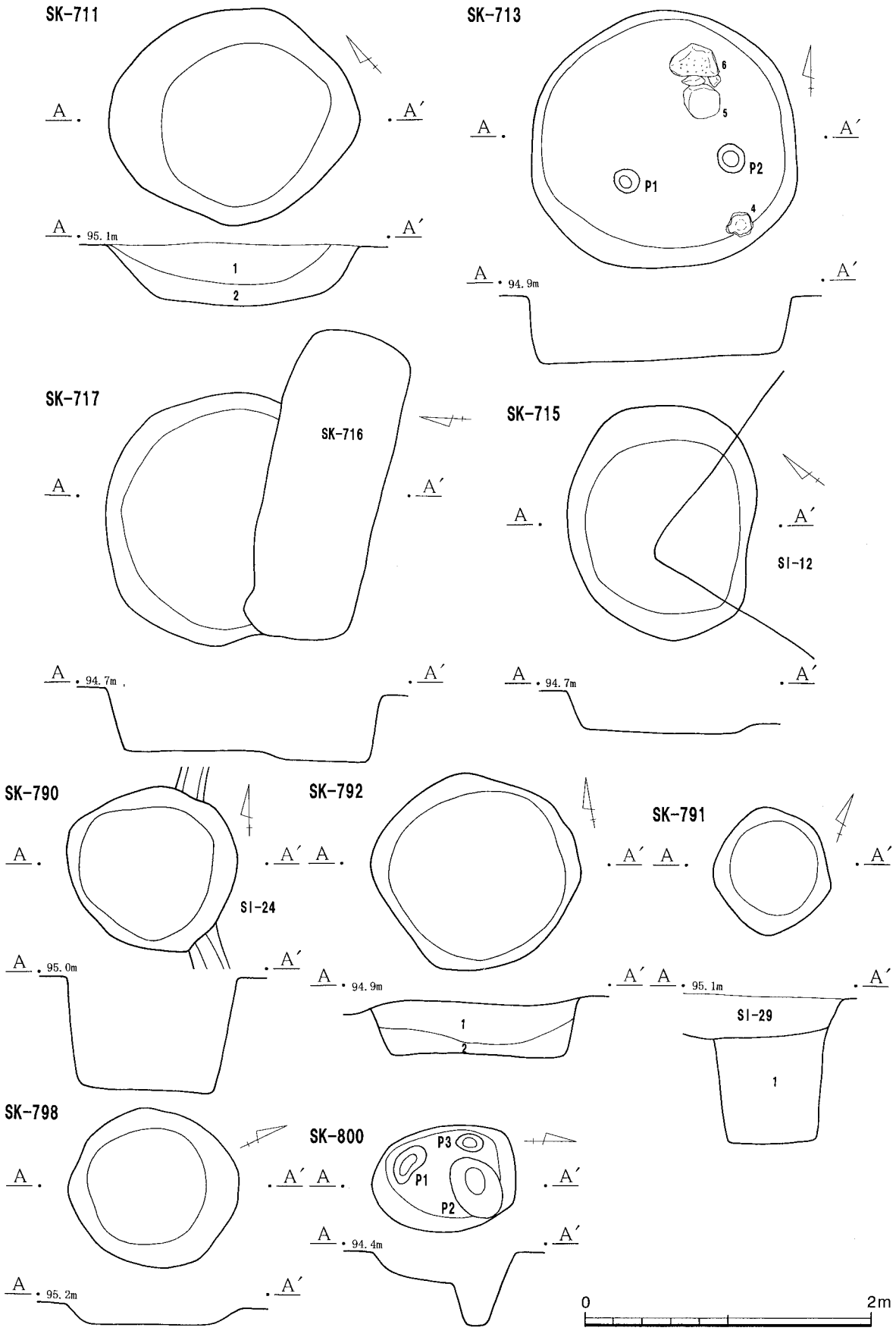
第59図　SK－620～622・627・635・640・643～646・649・650・653～655



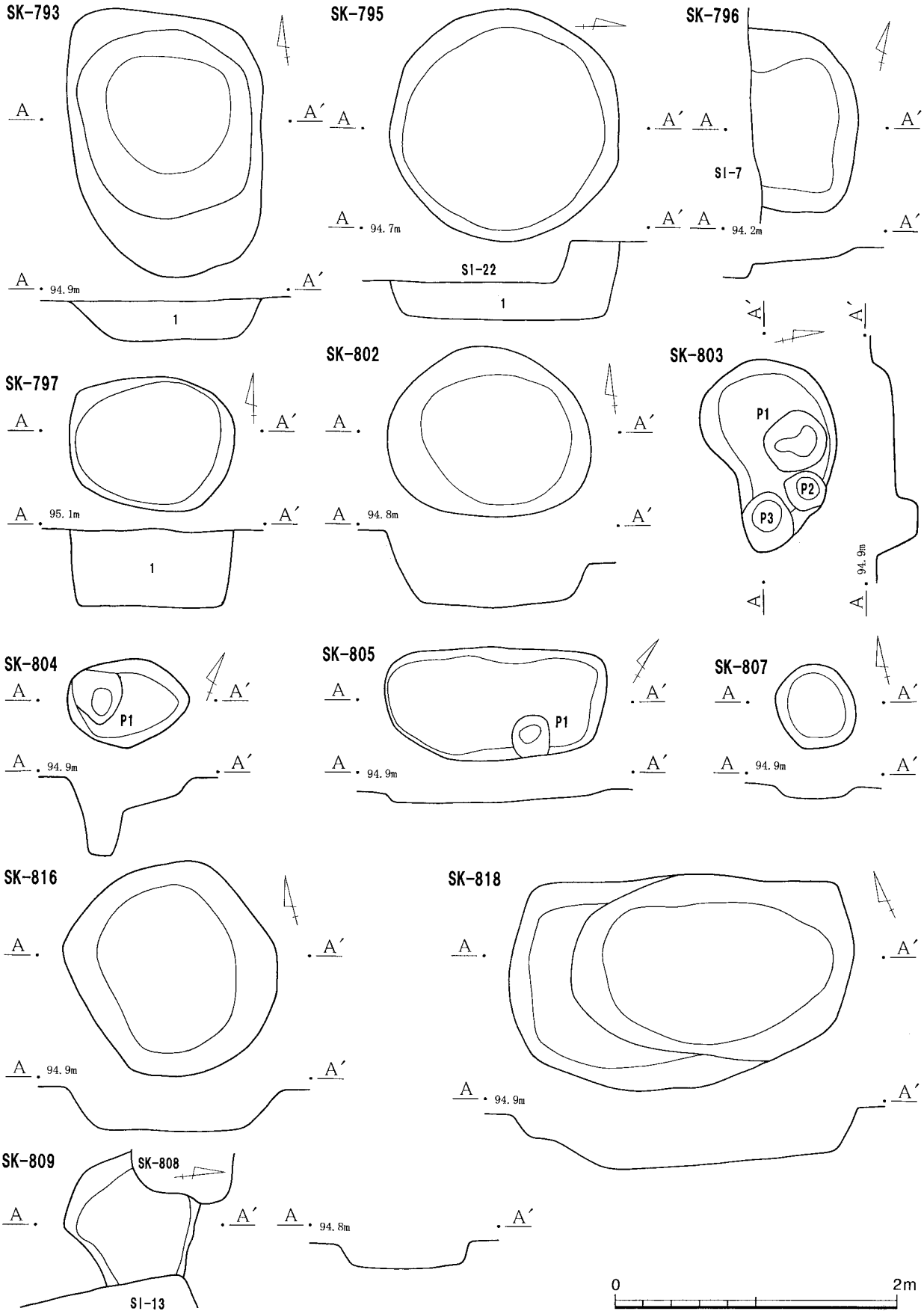
第60図　SK－651・652・656～660・684・685・687・691・692



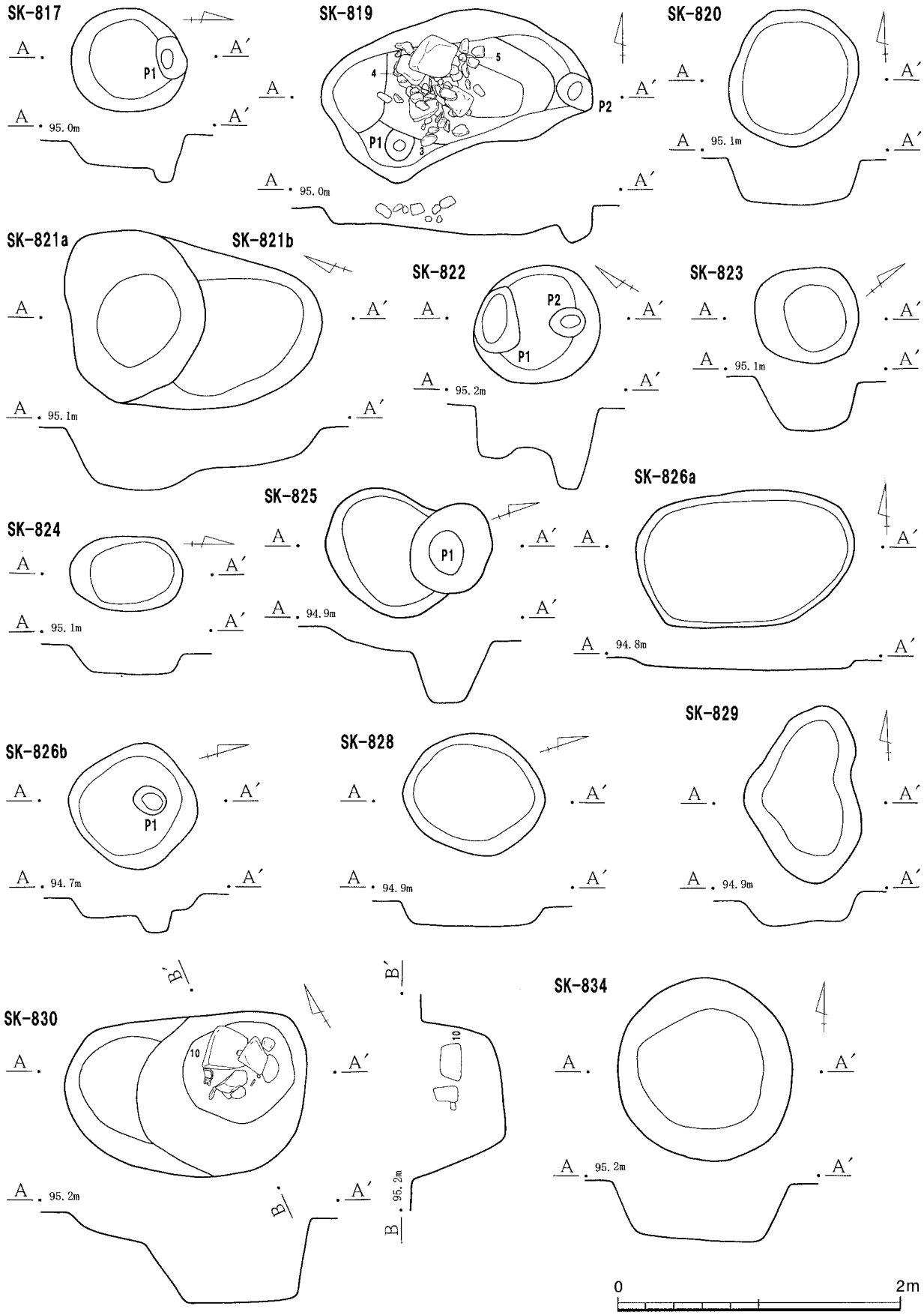
第61図　SK－693～697・702・703・705・706・718・720



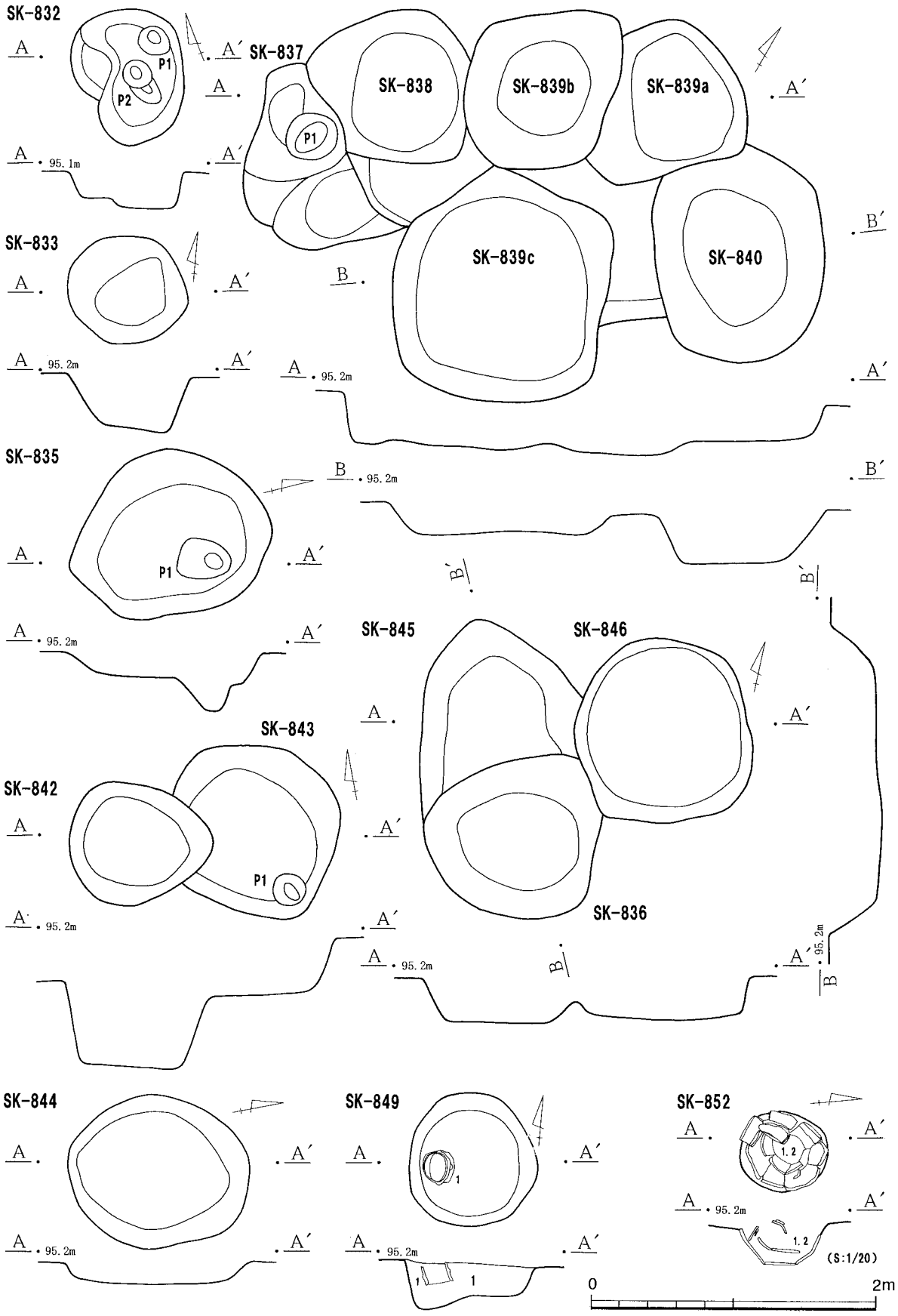
第62図　SK－711・713・715・717・790～792・798・800



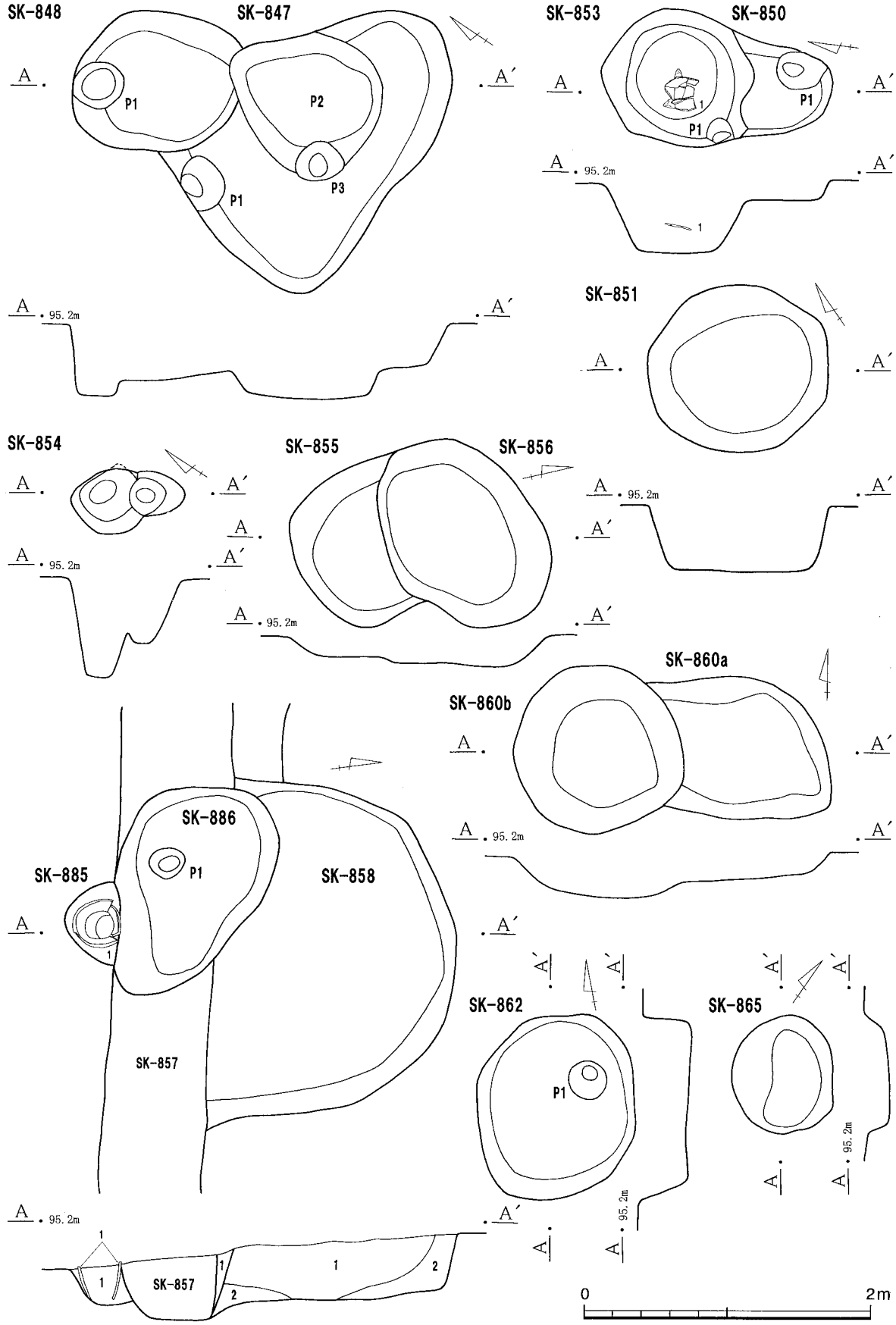
第63図　SK－793・795～797・802～805・807・809・816・818



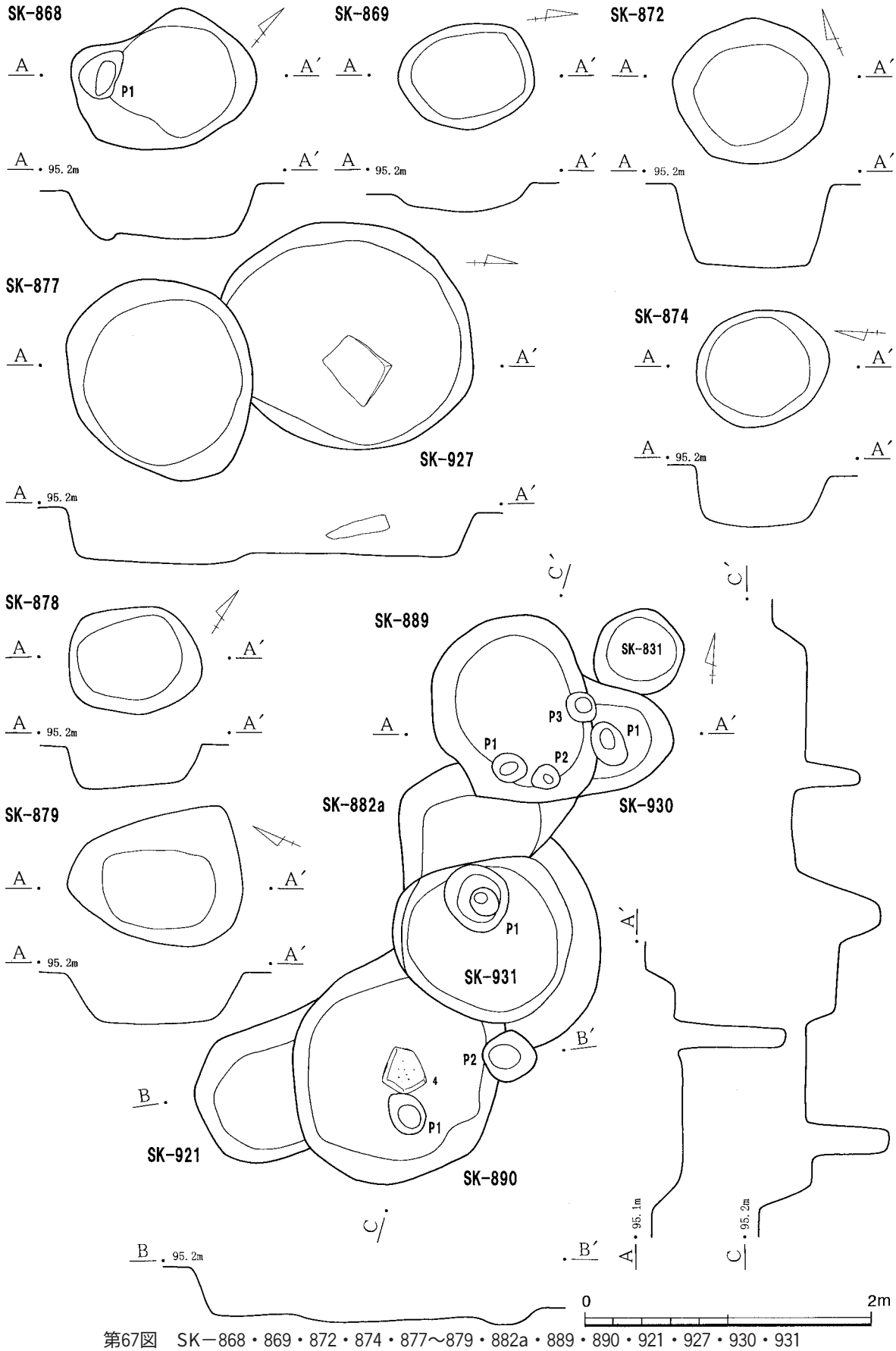
第64図　SK－817・819・820・821a・821b・822～825・826a・826b・828～830・834



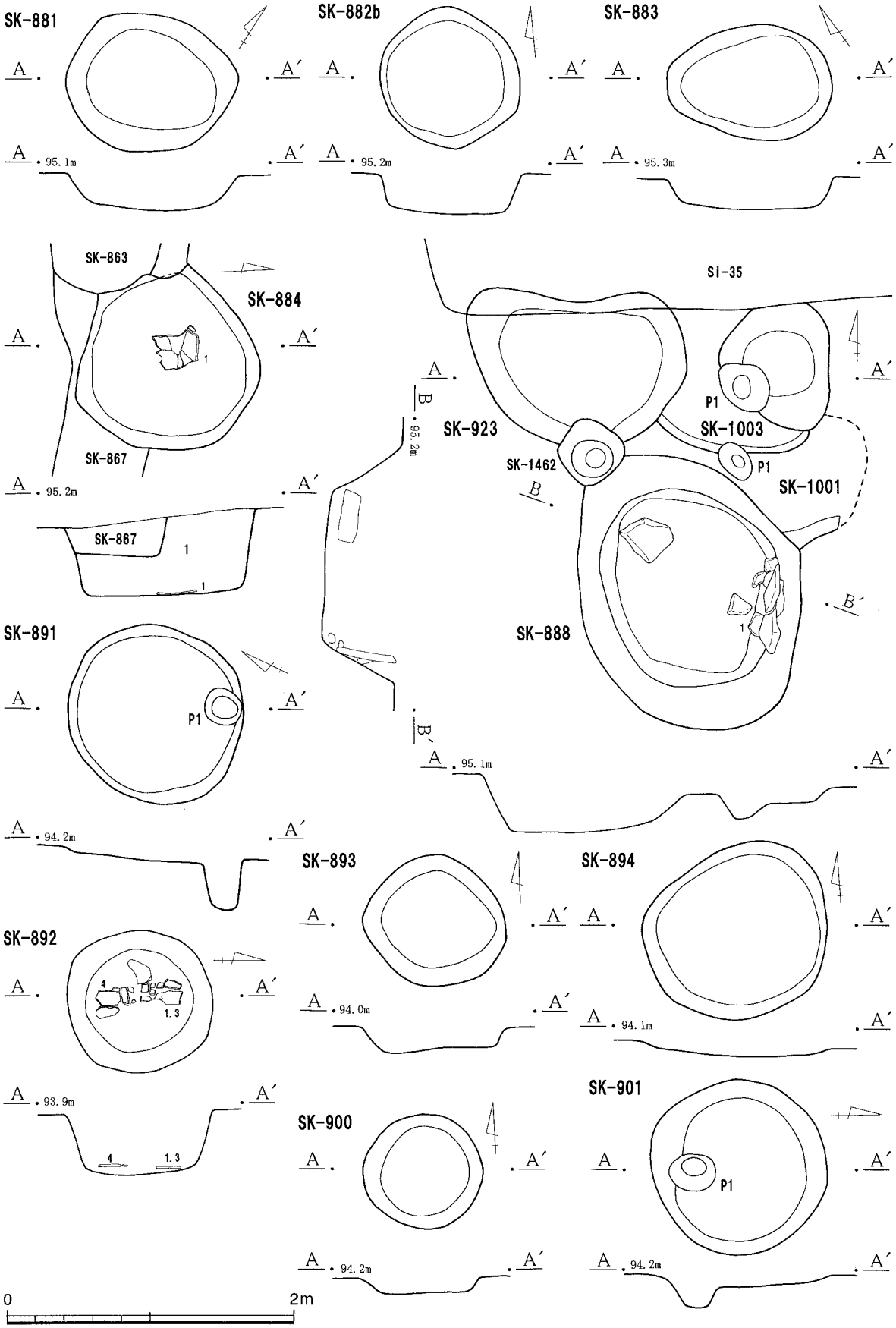
第65図　SK－832・833・835～838・839a・839b・839c・840・842～846・849・852



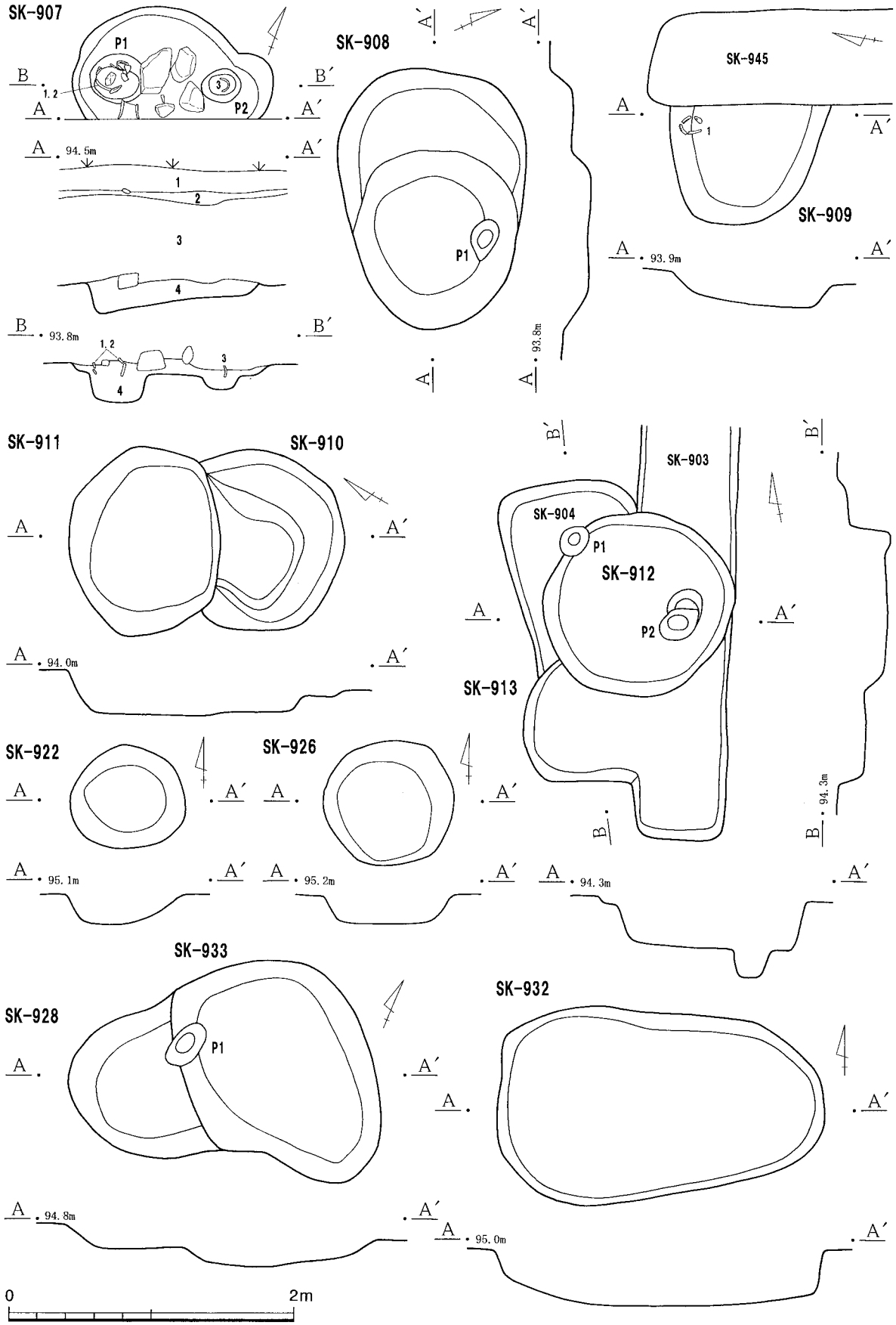
第66図　SK－847・848・850・851・853～856・858・860a・860b・862・865・885・886



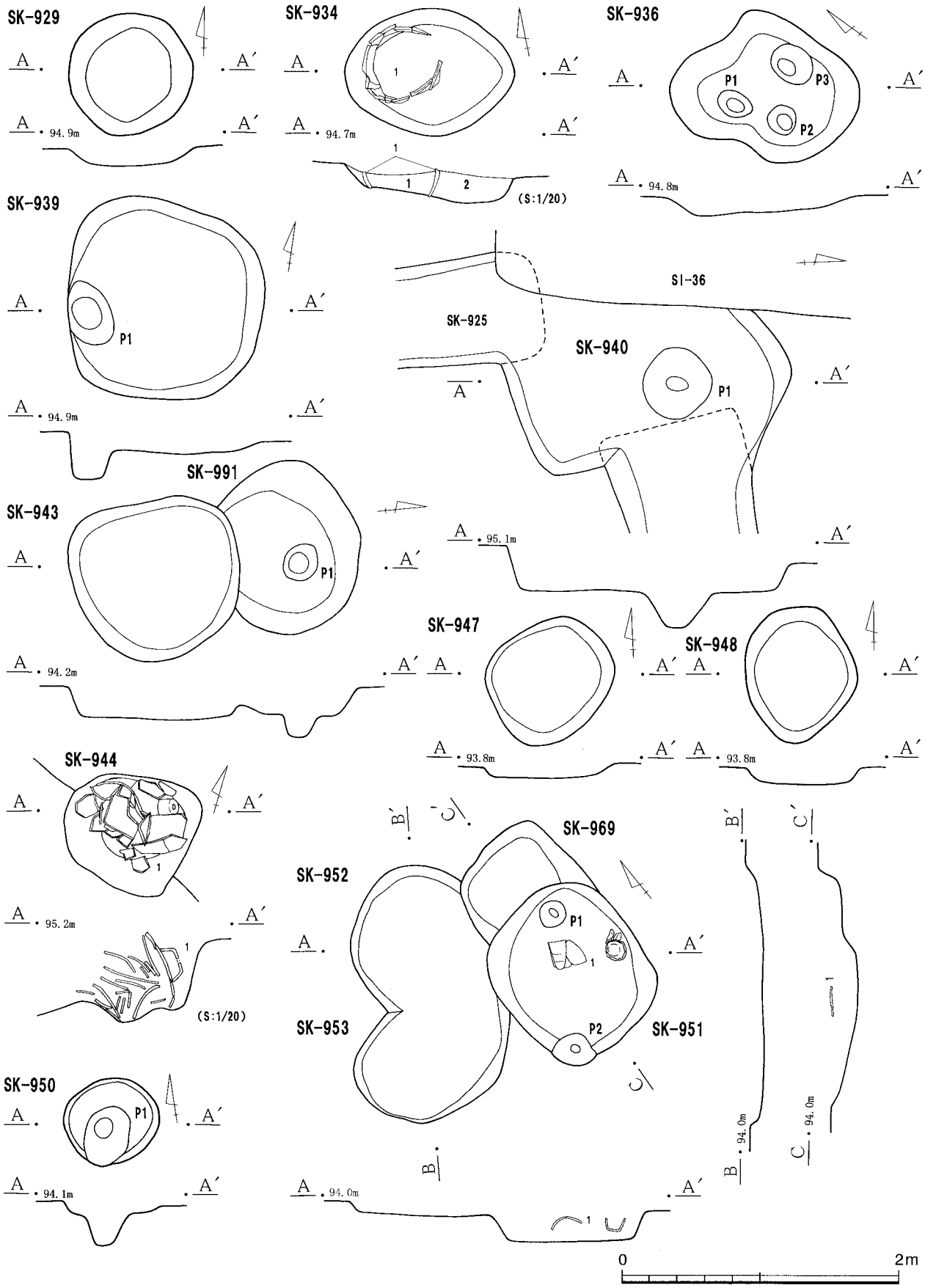
第67図　SK－868・869・872・874・877～879・882a・889・890・921・927・930・931



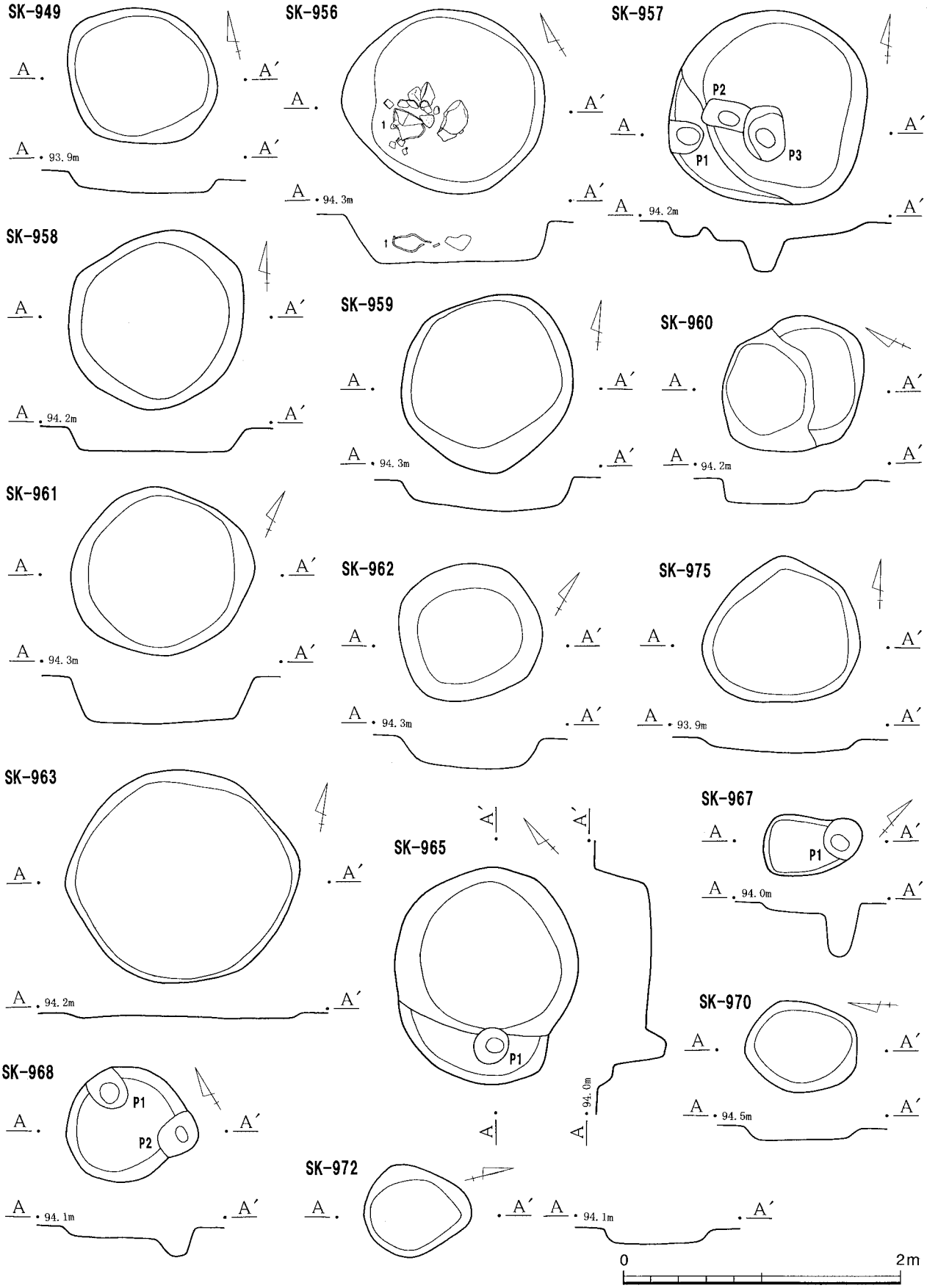
第68図　SK－881・882b・883・884・888・891～894・900・901・923・1001・1003



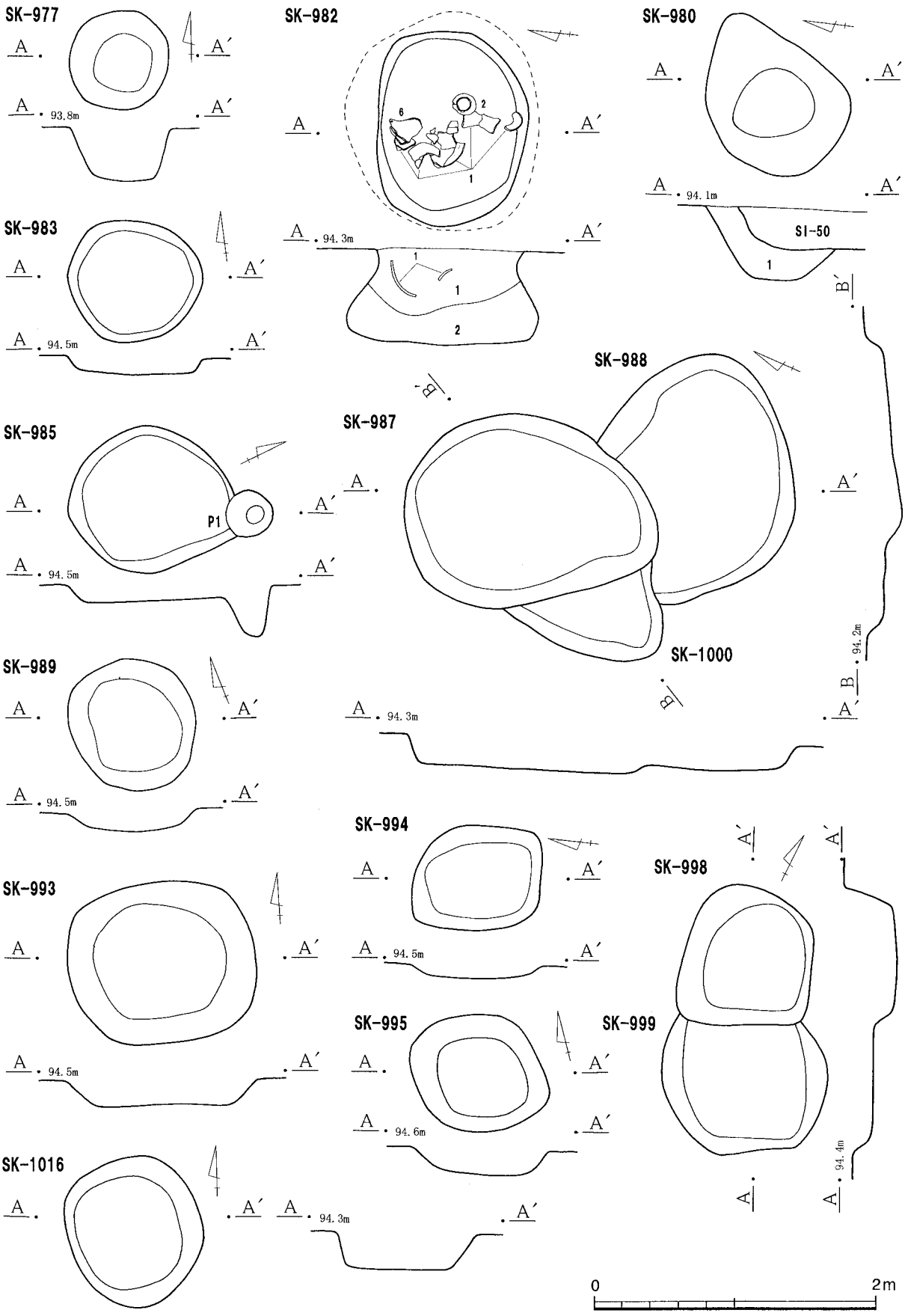
第69図　SK－907～913・922・926・928・932・933



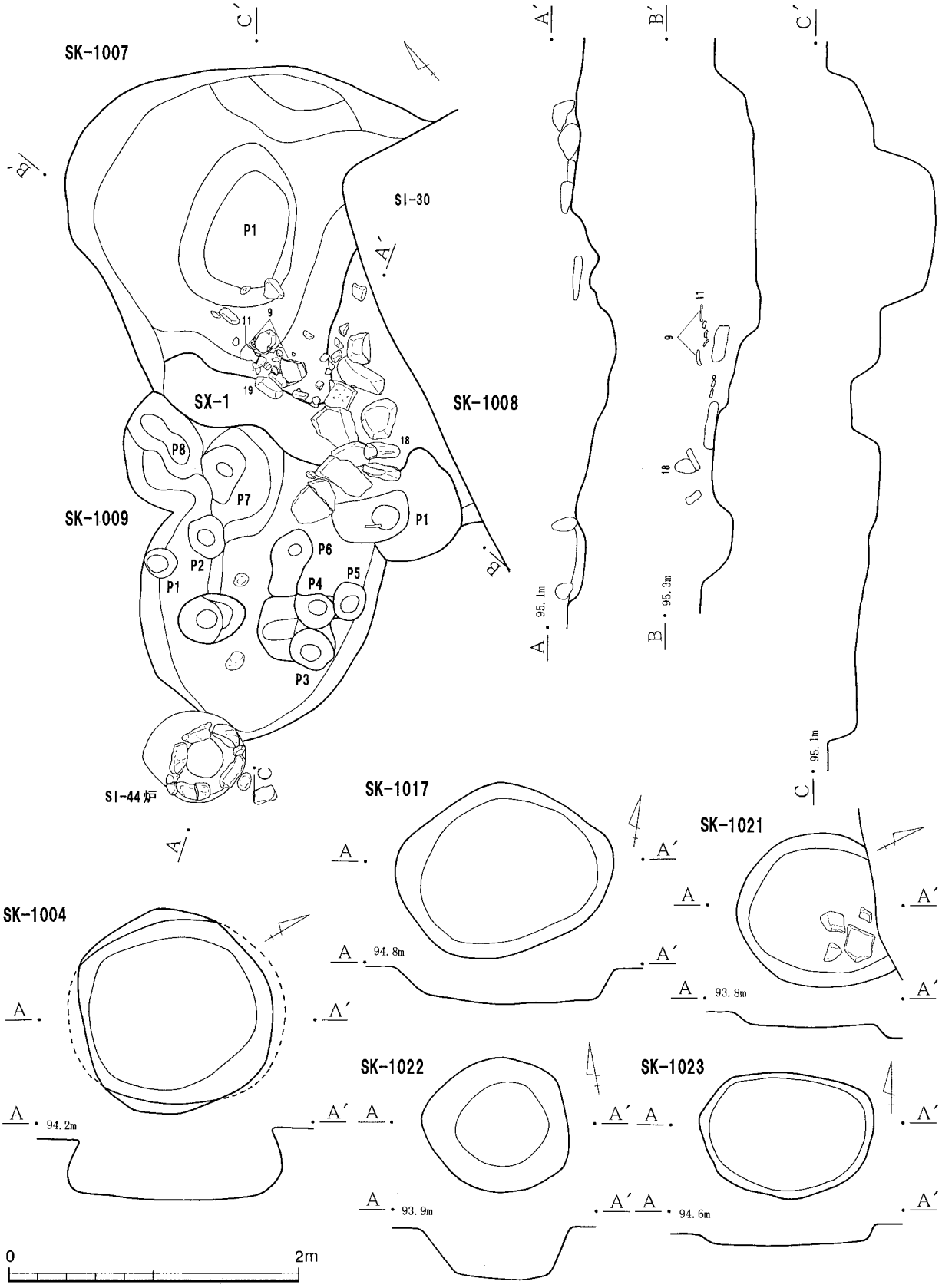
第70図　SK－929・934・936・939・940・943・944・947・948・950～953・969・991



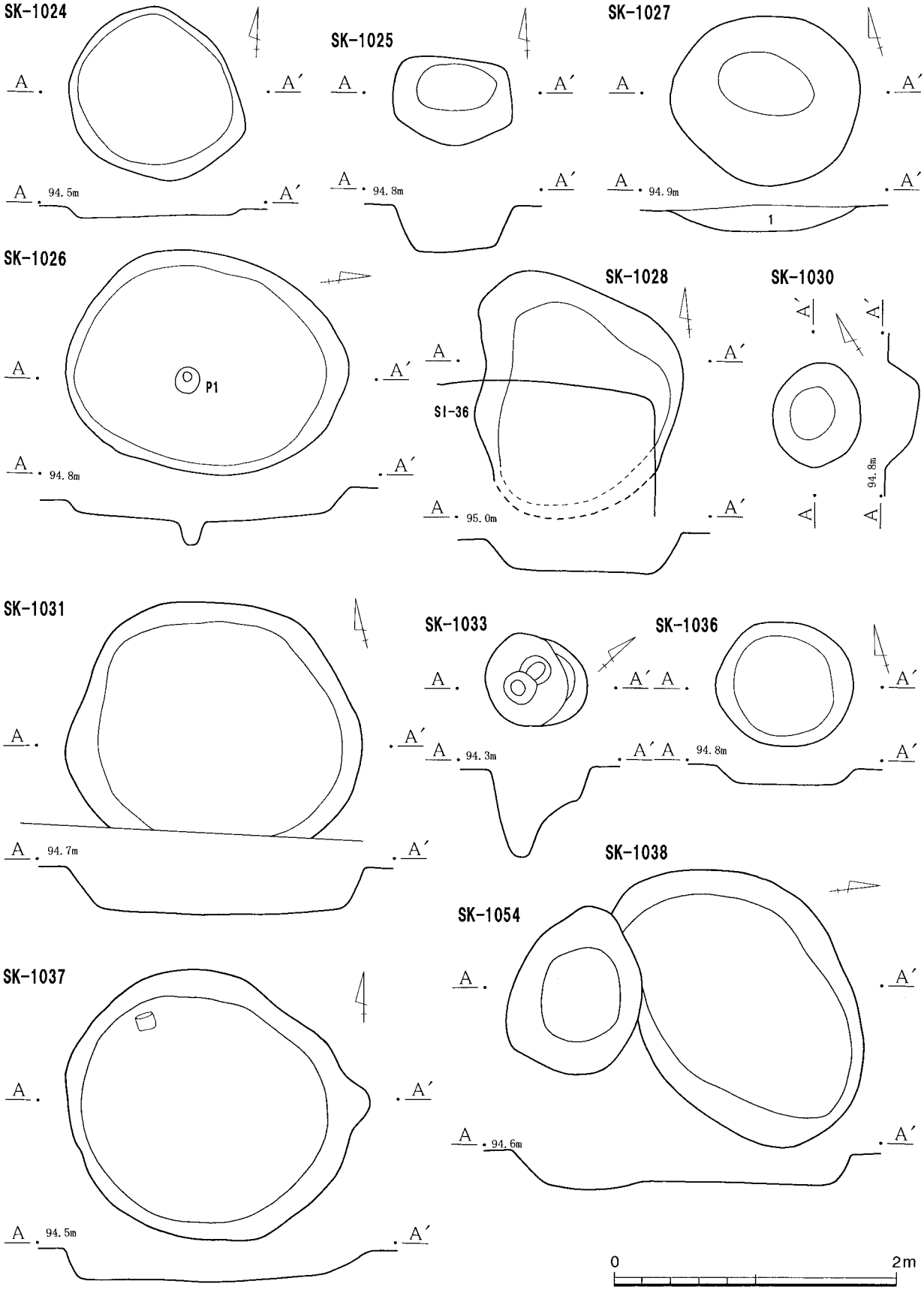
第71図　SK－949・956～963・965・967・968・970・972・975



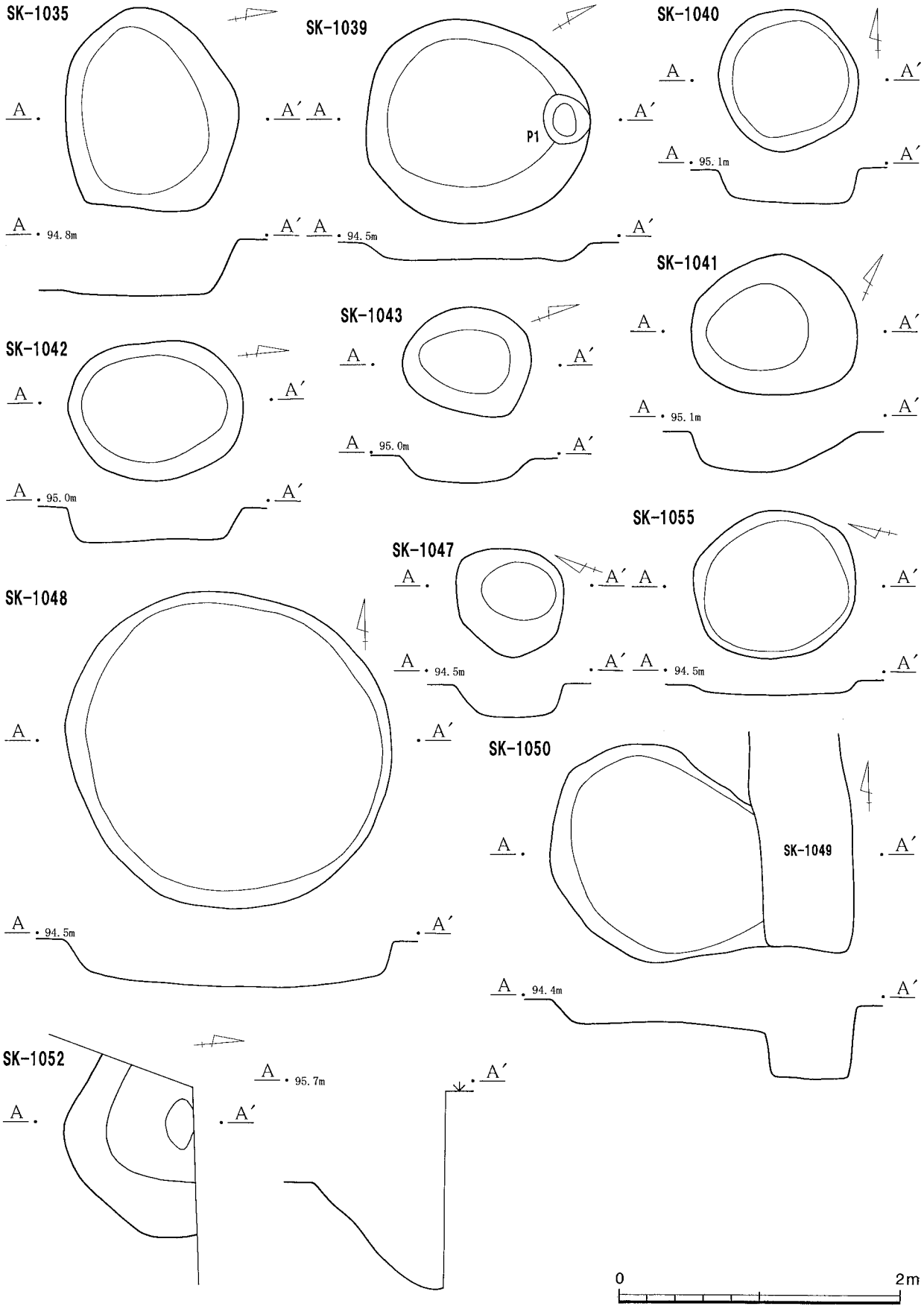
第72図　SK－977・980・982・983・985・987～989・993～995・998～1000・1016



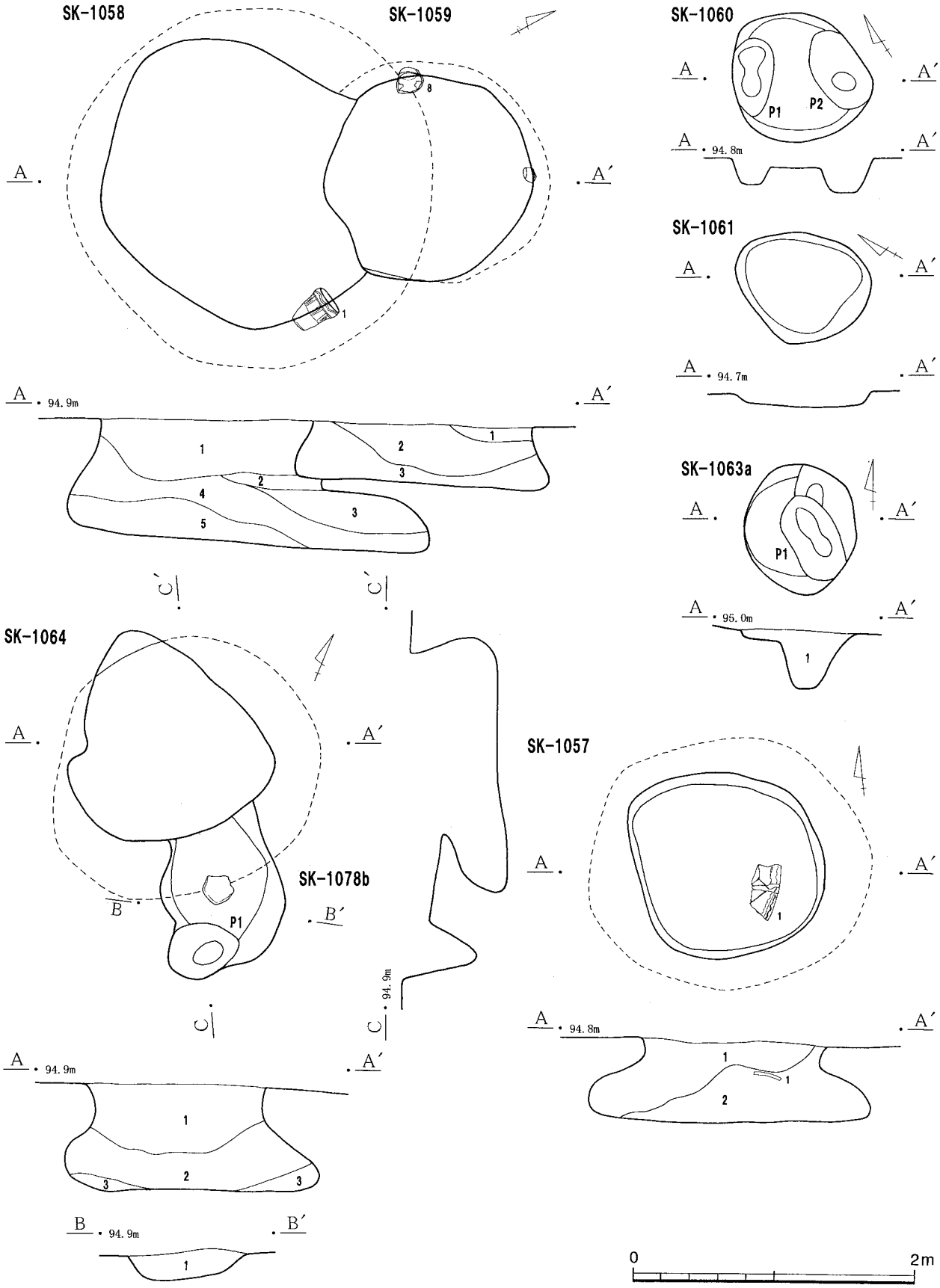
第73図　SK－1004・1007～1009・1017・1021～1023・SX－1



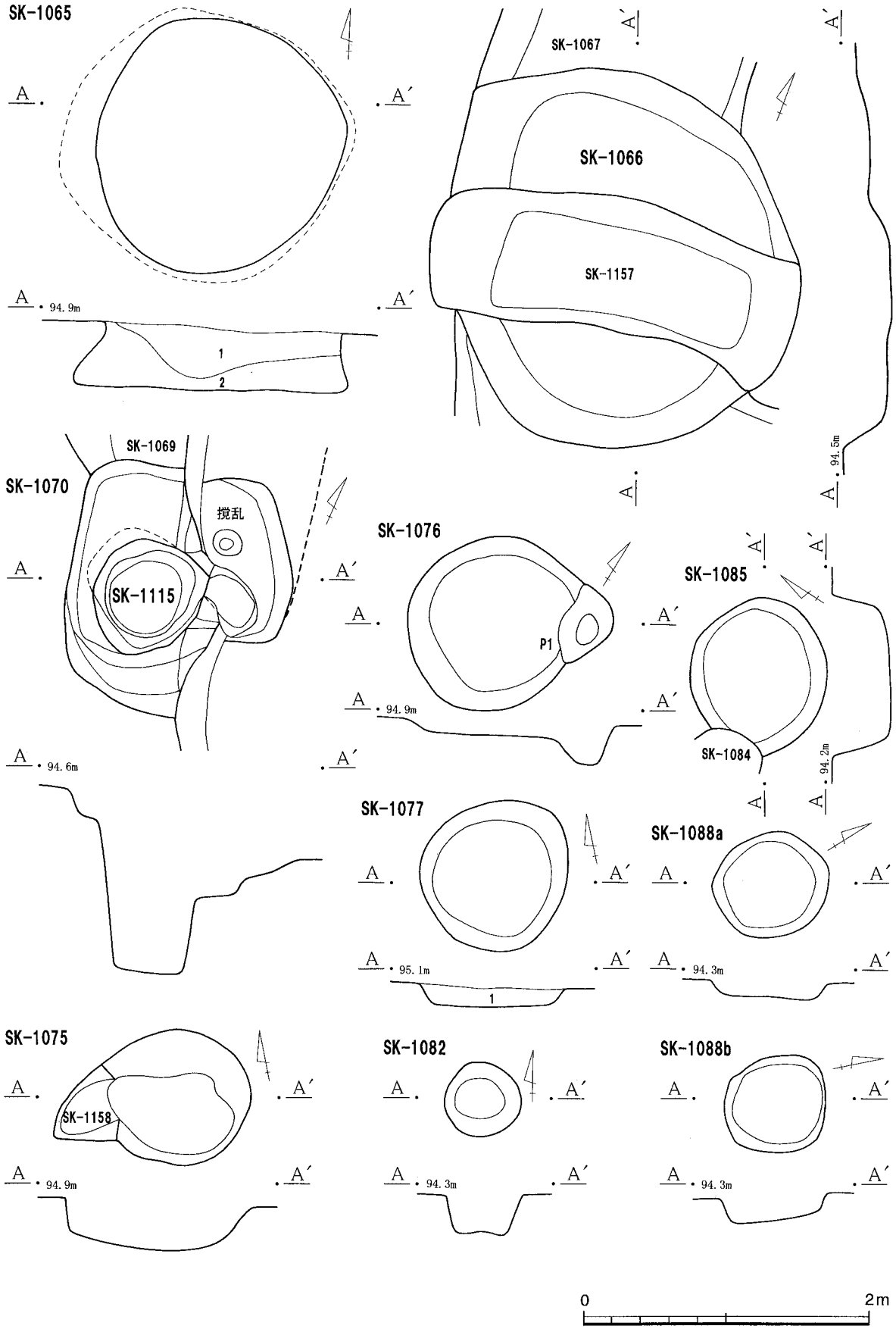
第74図　SK－1024～1028・1030・1031・1033・1036～1038・1054



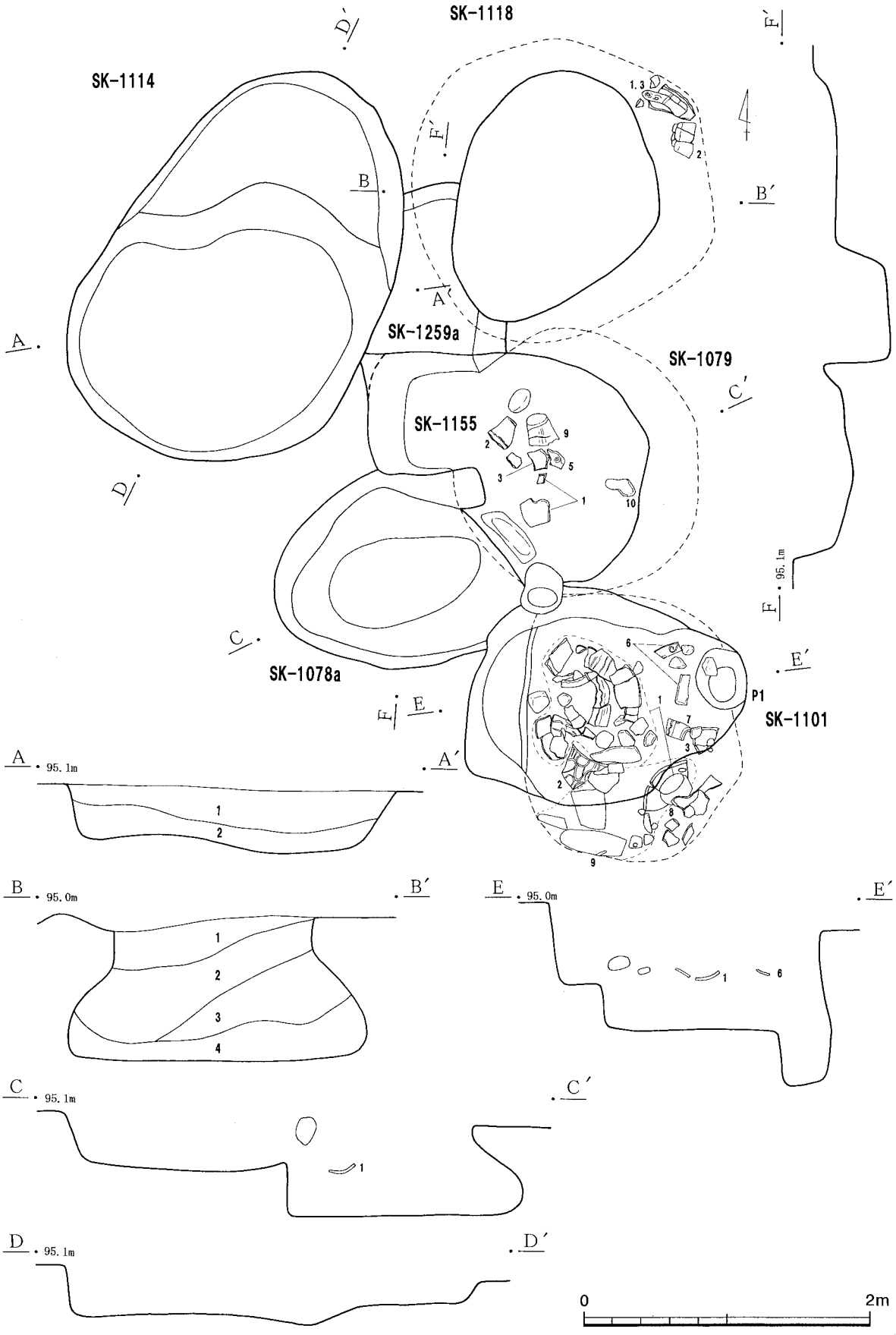
第75図　SK－1035・1039～1043・1047・1048・1050・1052・1055



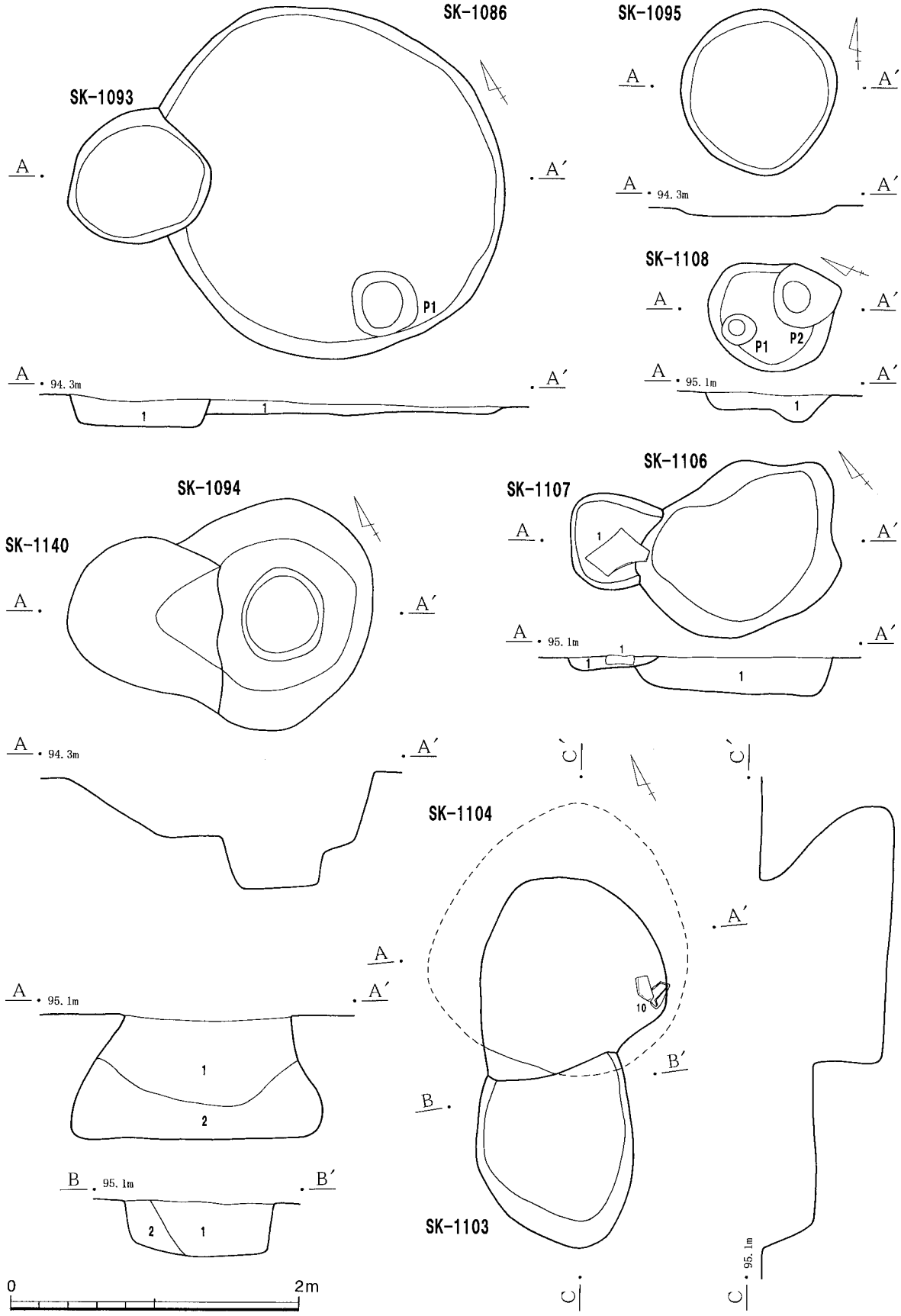
第76図　SK－1057～1061・1063a・1064・1078b



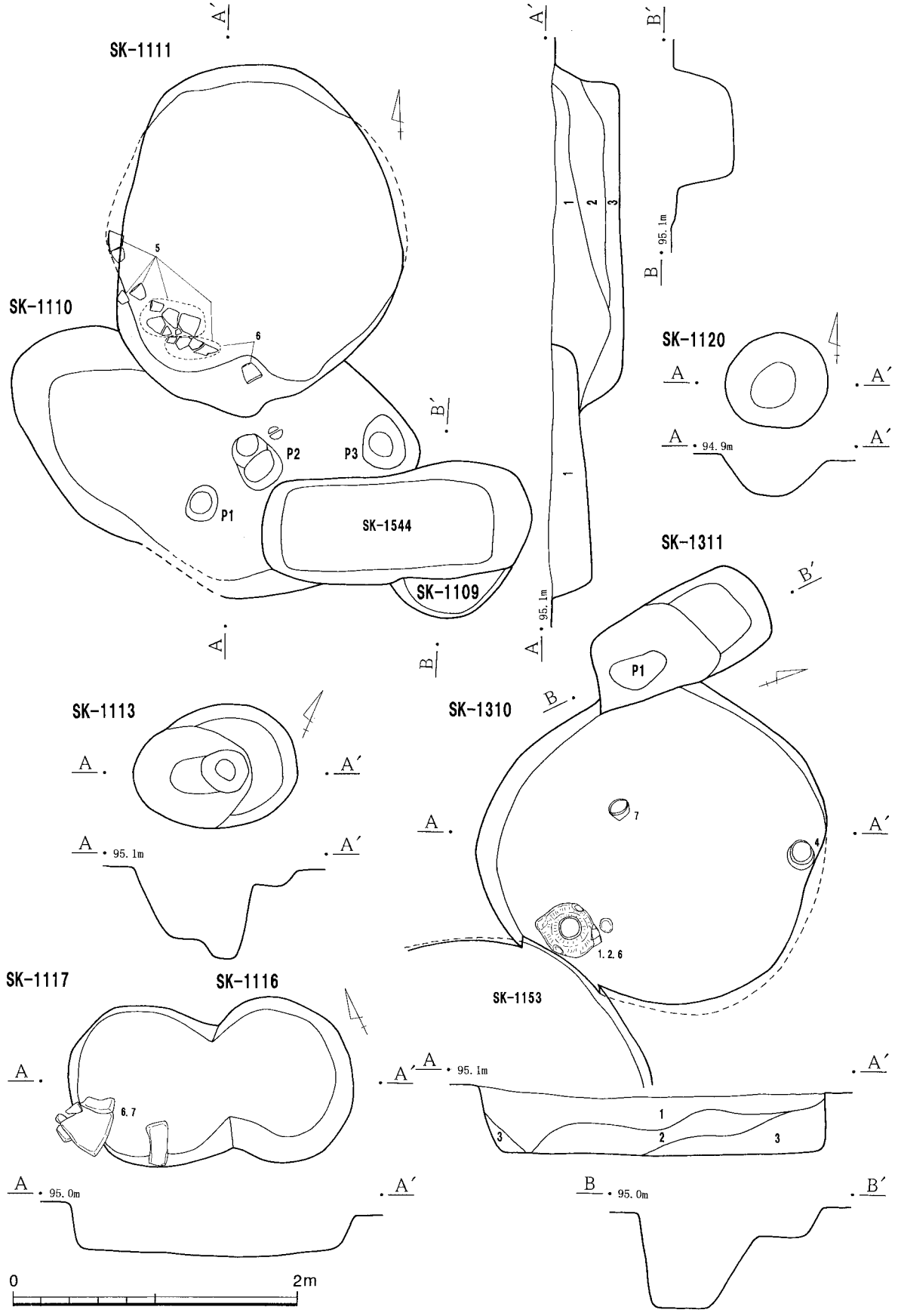
第77図　SK－1065・1066・1070・1075～1077・1082・1085・1088a・1088b・1115



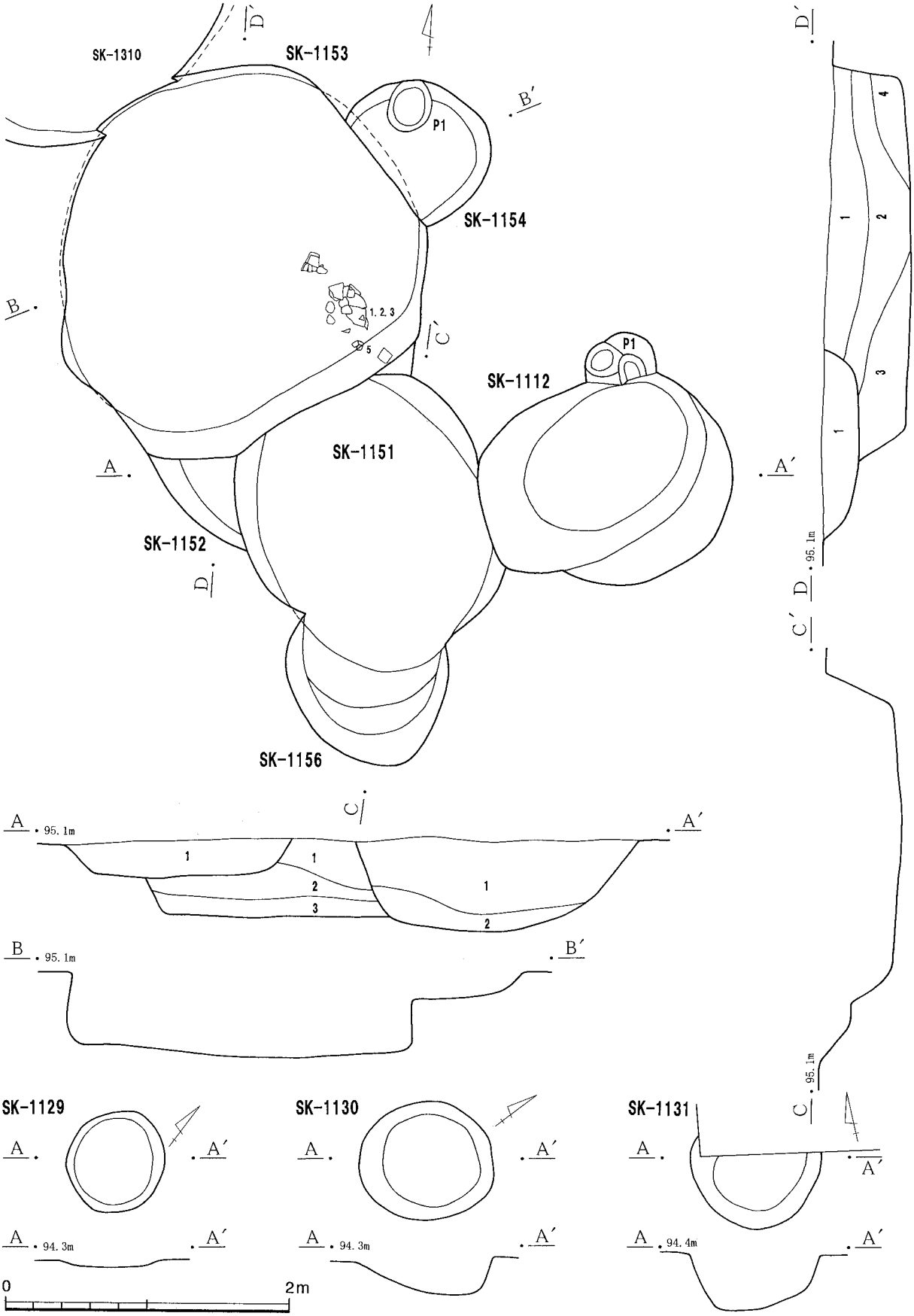
第78図　SK－1078a・1079・1101・1114・1118・1155・1259a



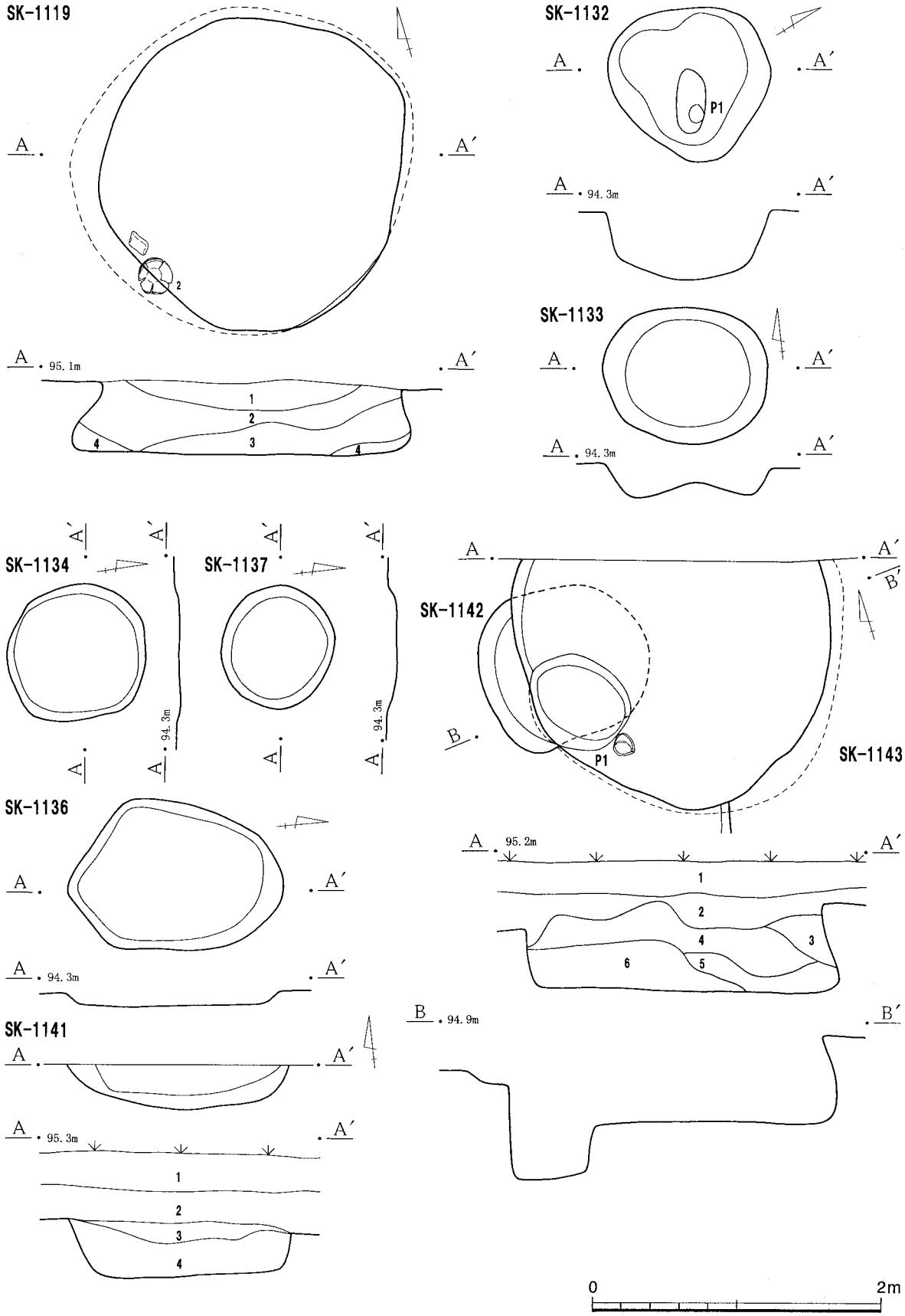
第79図　SK－1086・1093～1095・1103・1104・1106～1108・1140



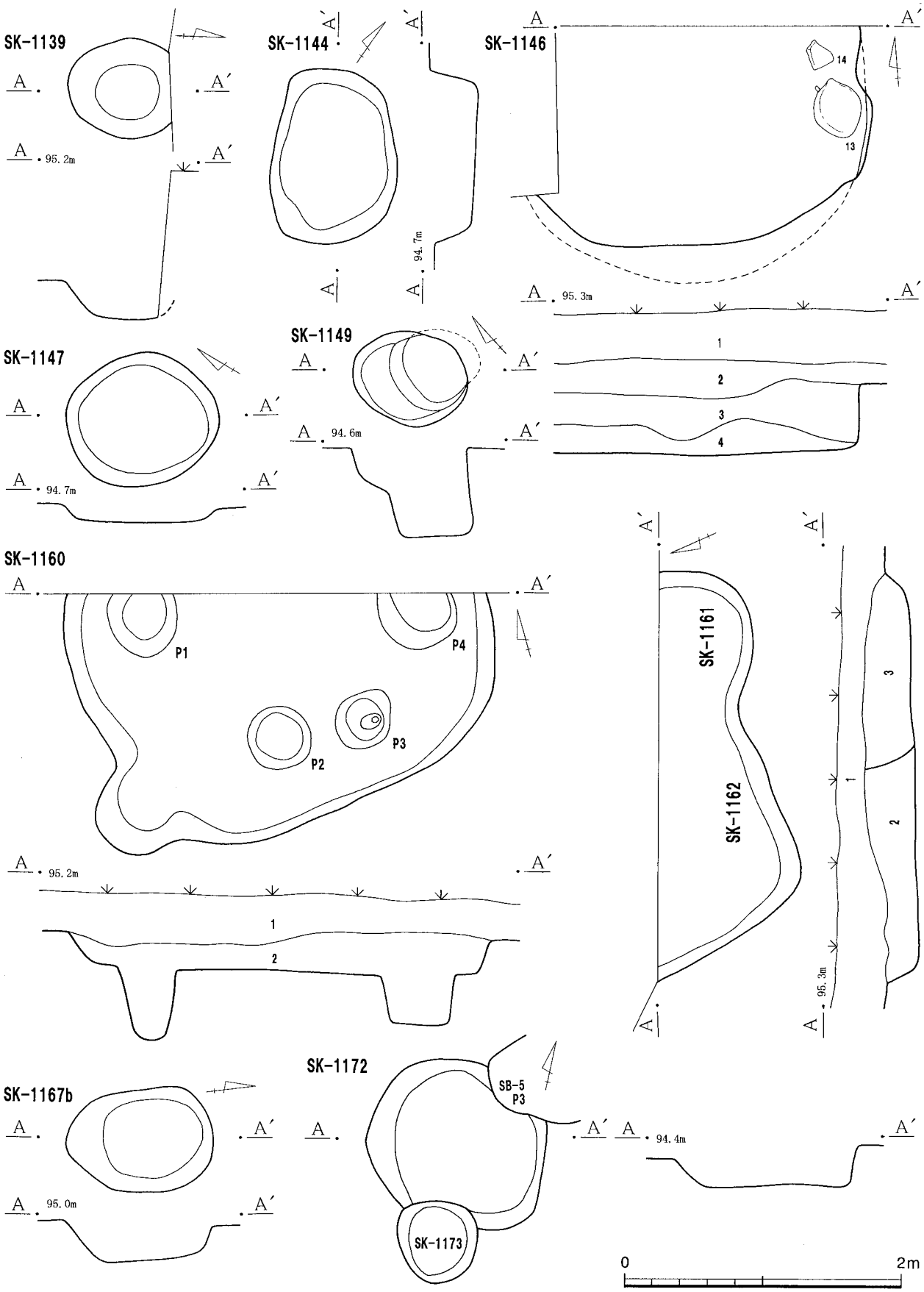
第80図　SK－1109～1111・1113・1116・1117・1120・1310・1311



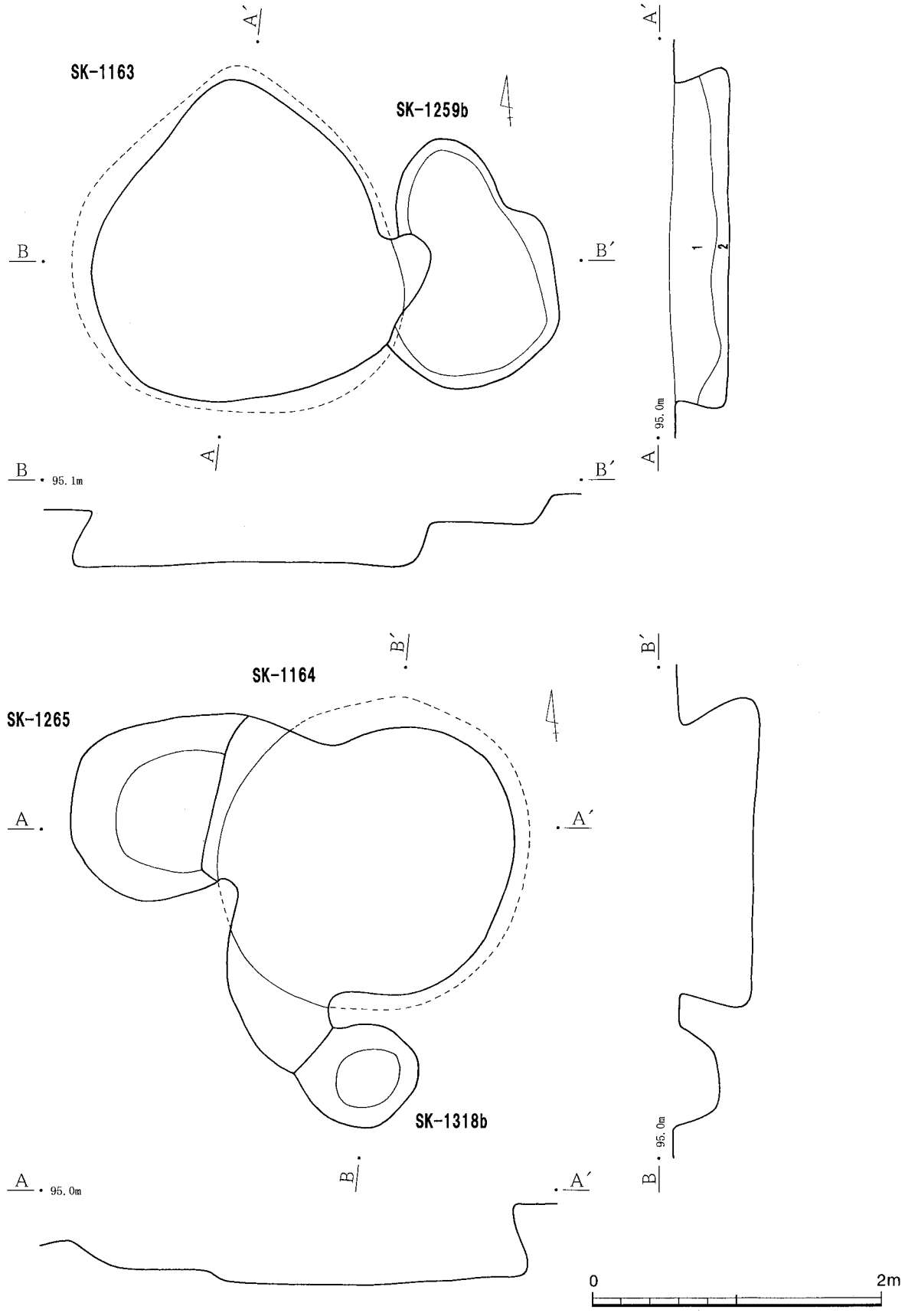
第81図　SK－1112・1129～1131・1151～1154・1156



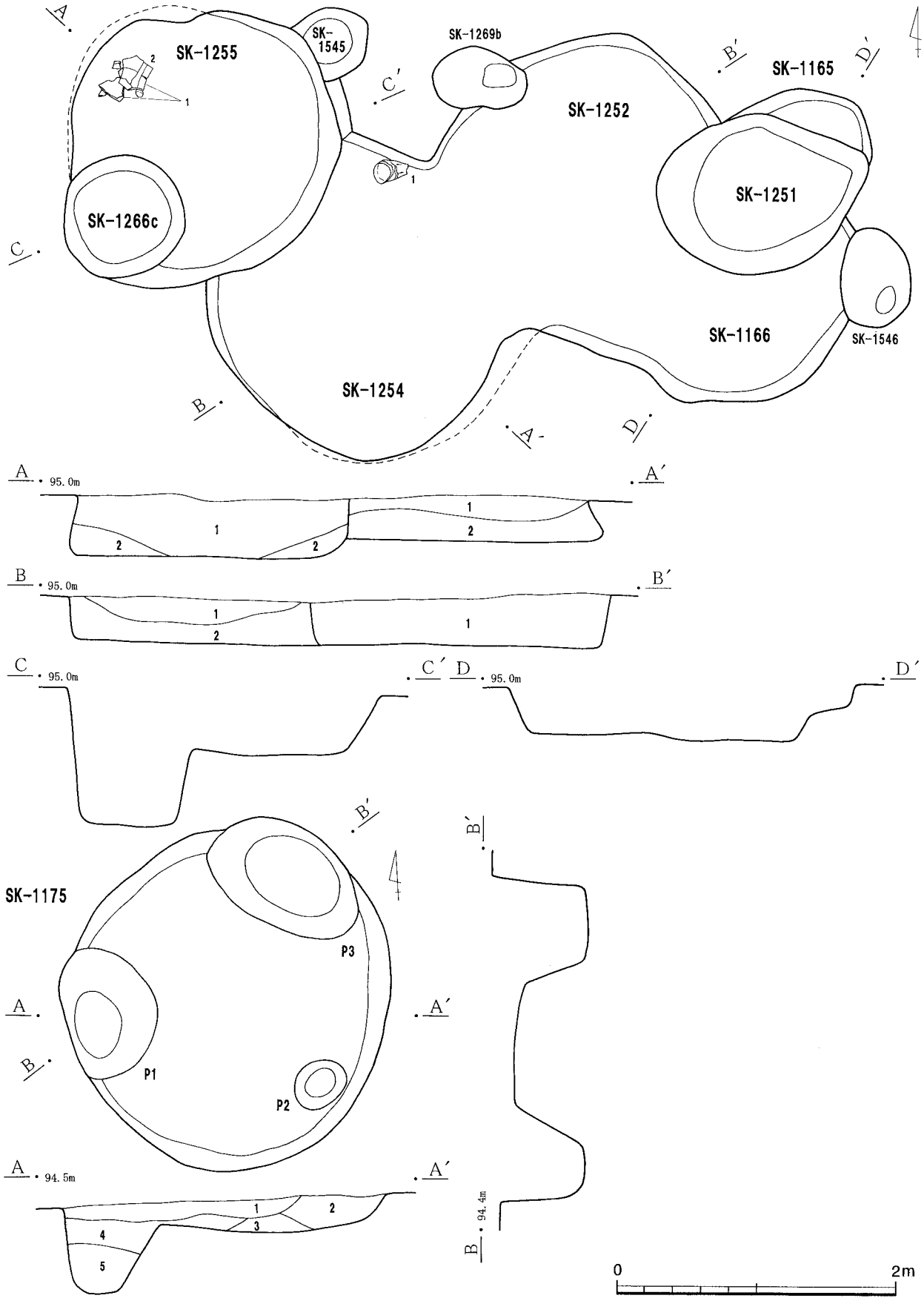
第82図　SK－1119・1132～1134・1136・1137・1141～1143



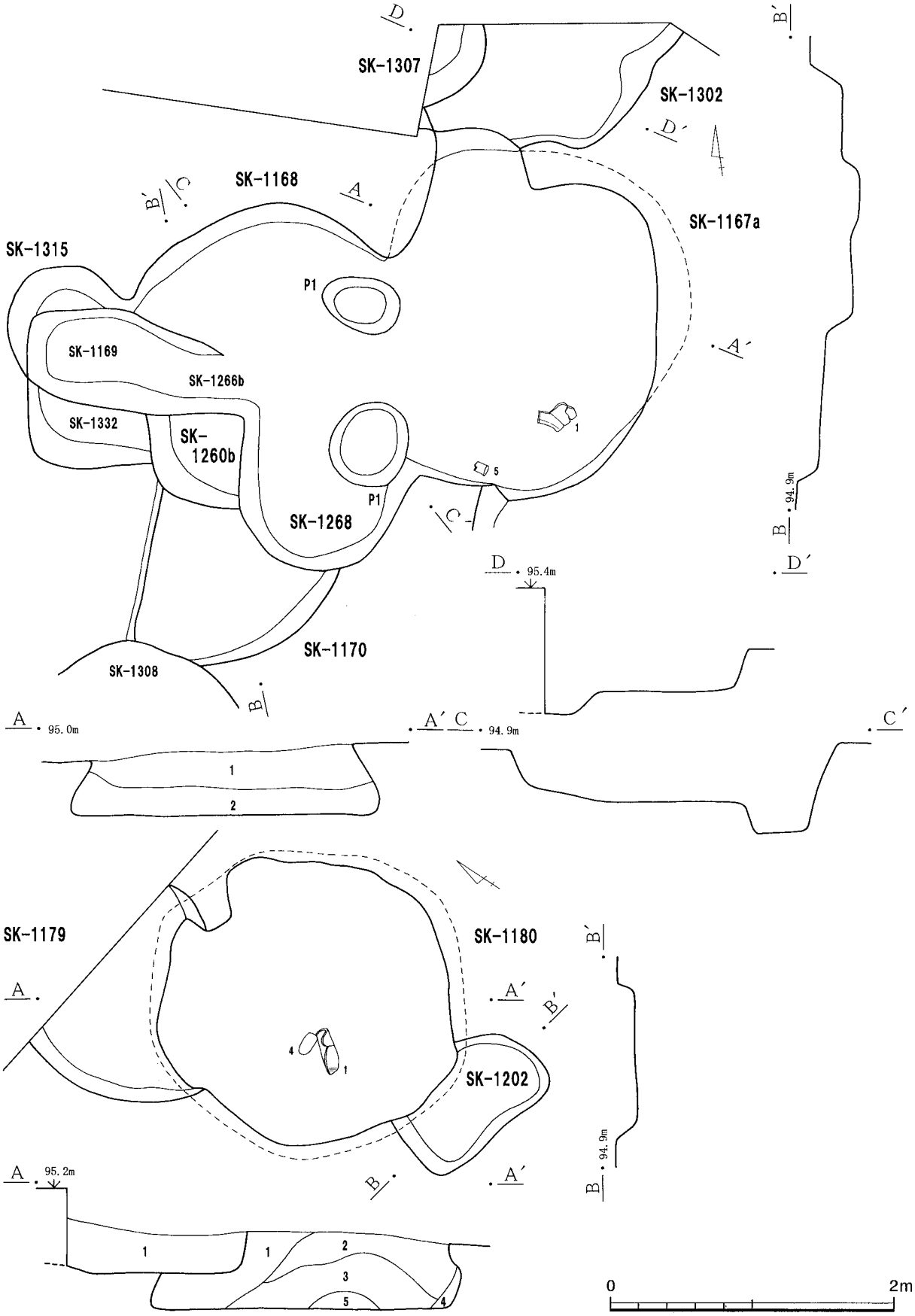
第83図　SK－1139・1144・1146・1147・1149・1160～1162・1167b・1172



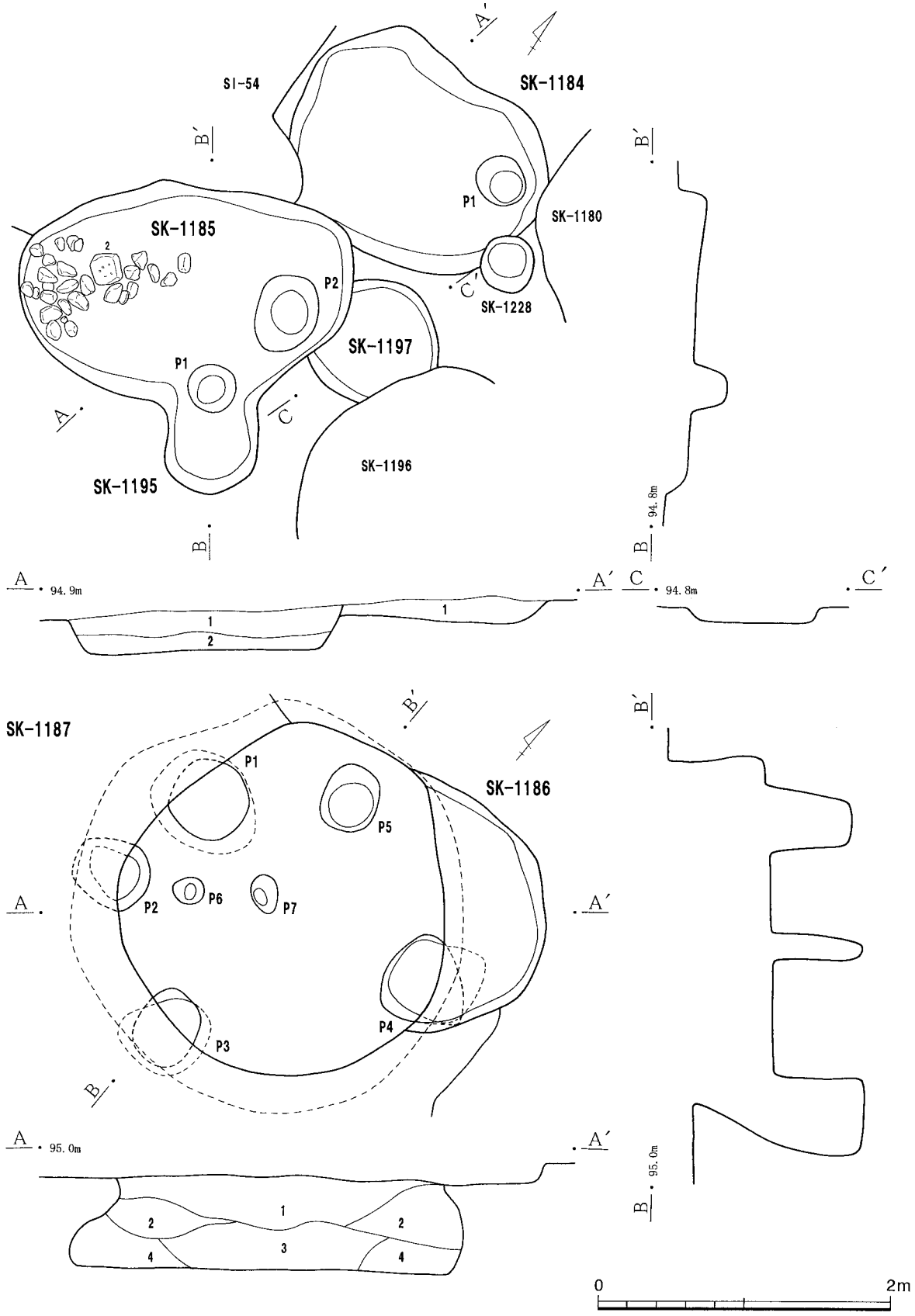
第84図　SK－1163・1164・1259b・1265・1318b



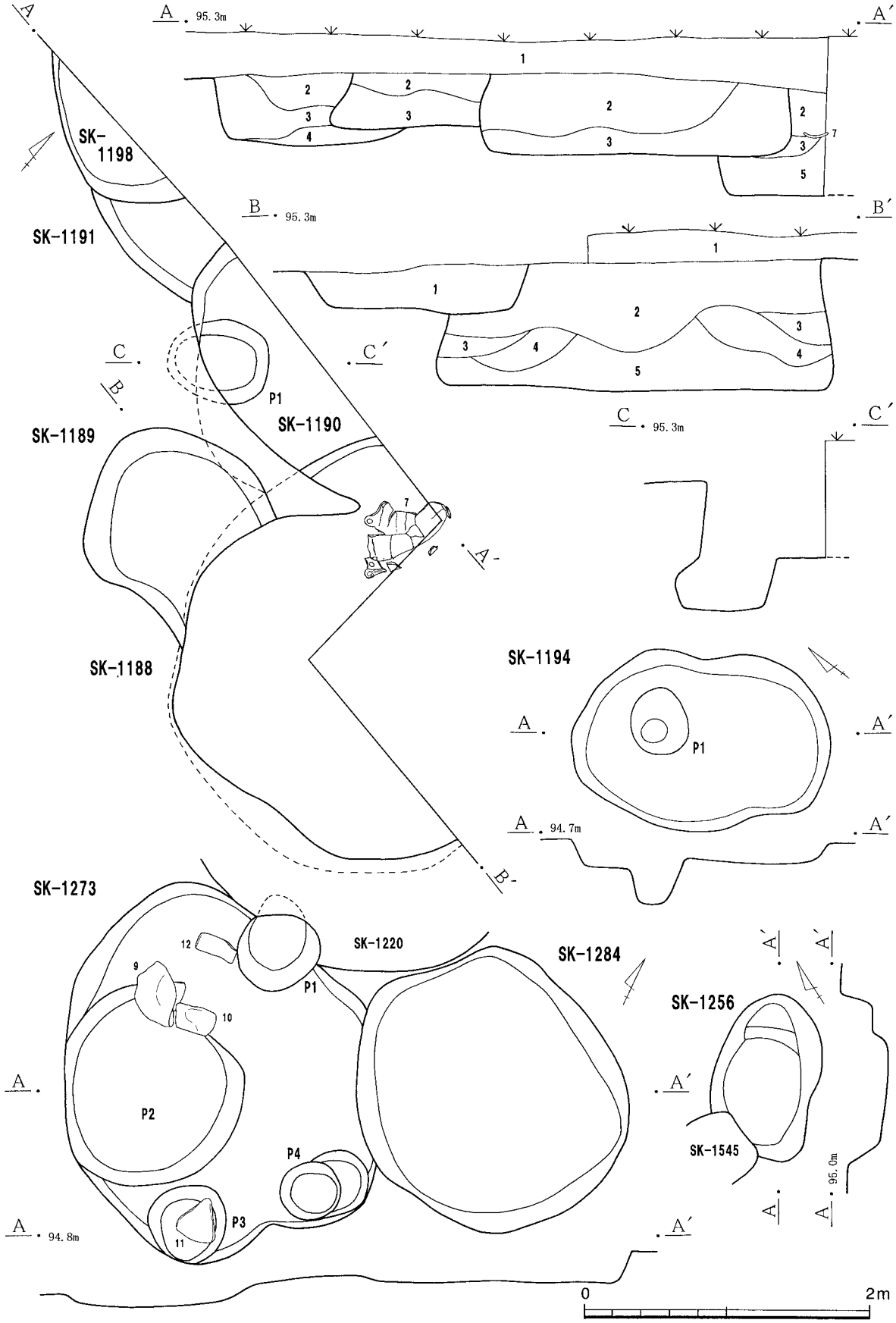
第85図　SK－1165・1166・1175・1251・1252・1254・1255・1266c



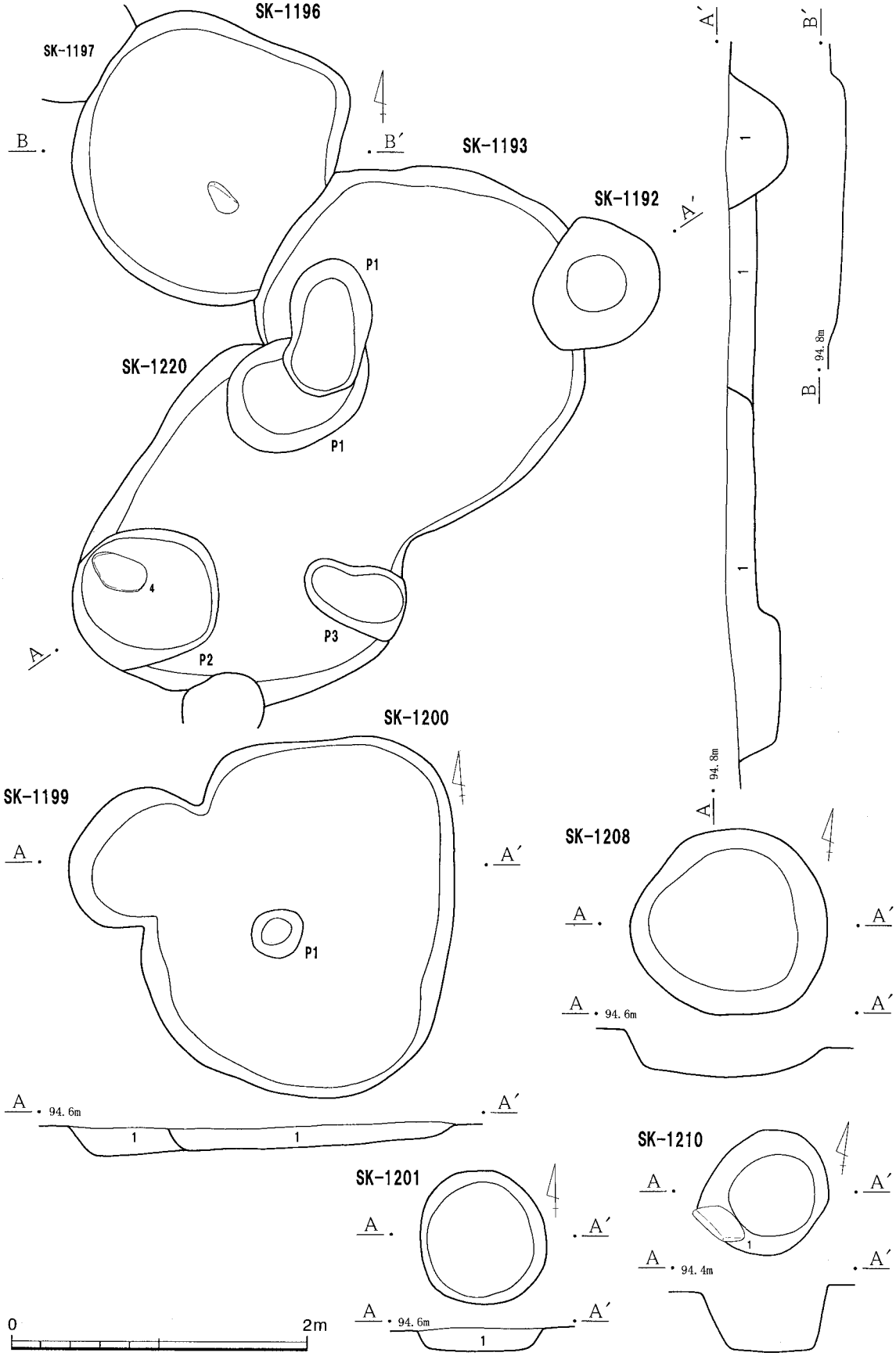
第86図　SK－1167a・1168・1170・1179・1180・1202・1260b・1268・1302・1307・1315



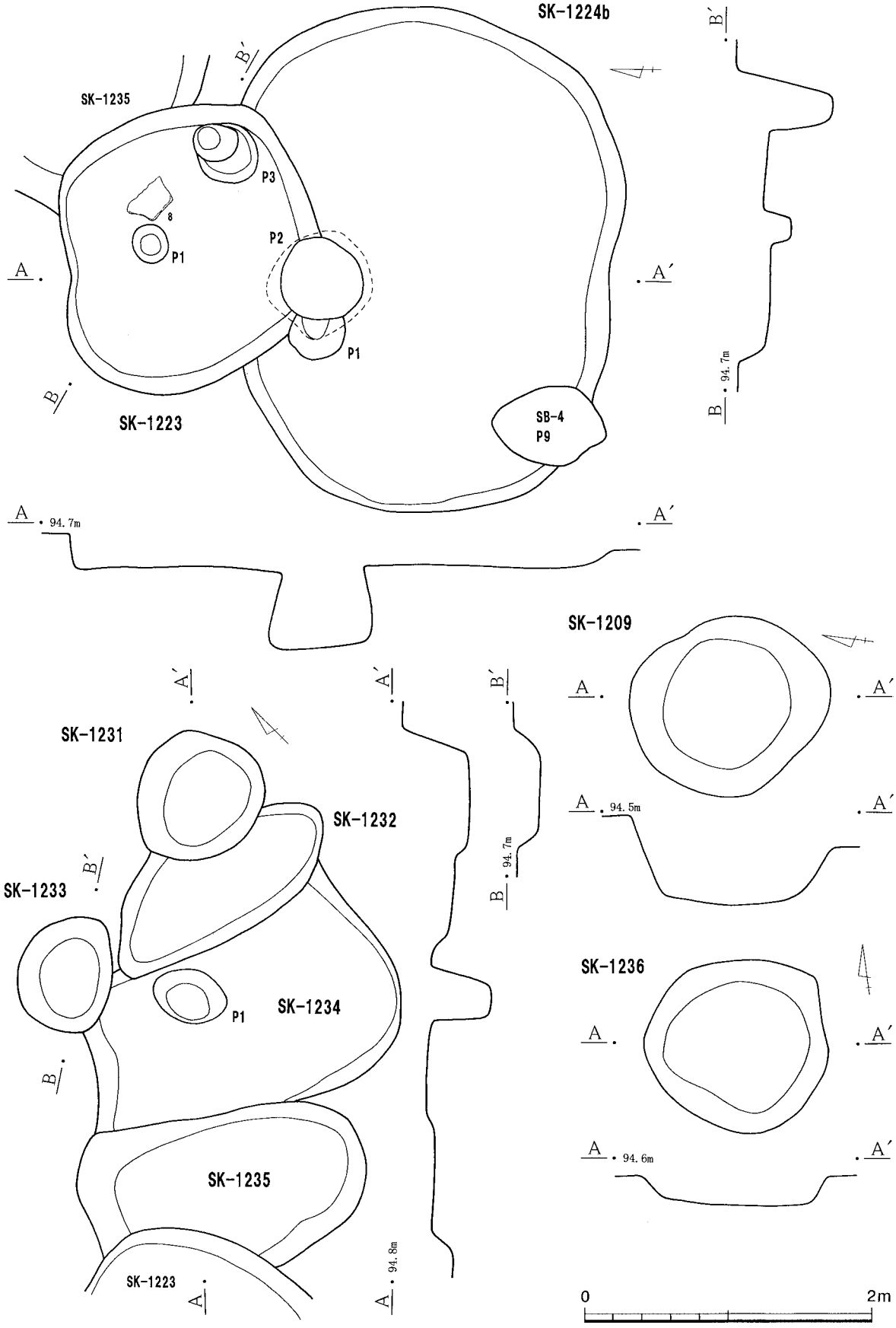
第87図　SK－1184～1187・1195・1197



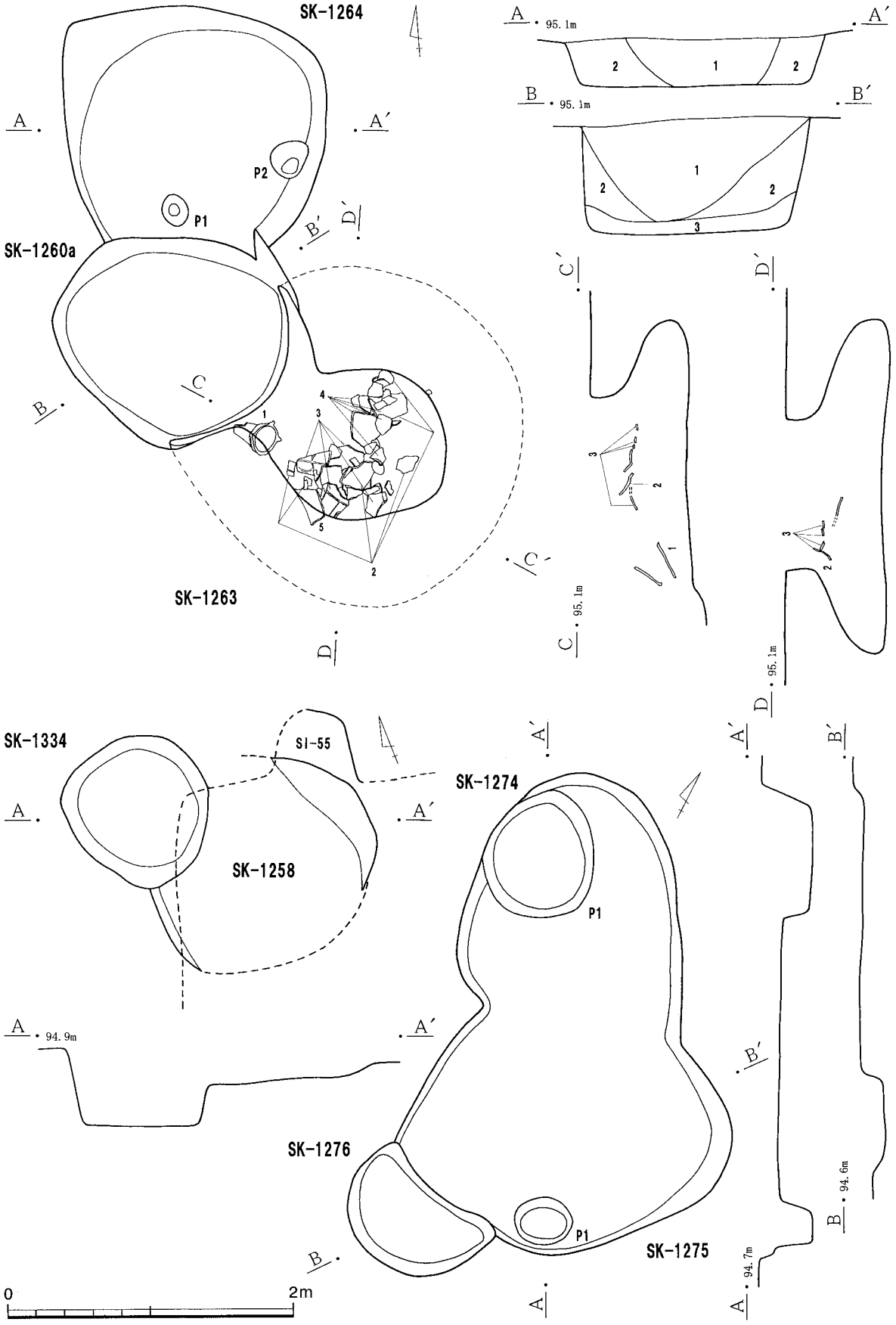
第88図　SK－1188～1191・1194・1198・1256・1273・1284



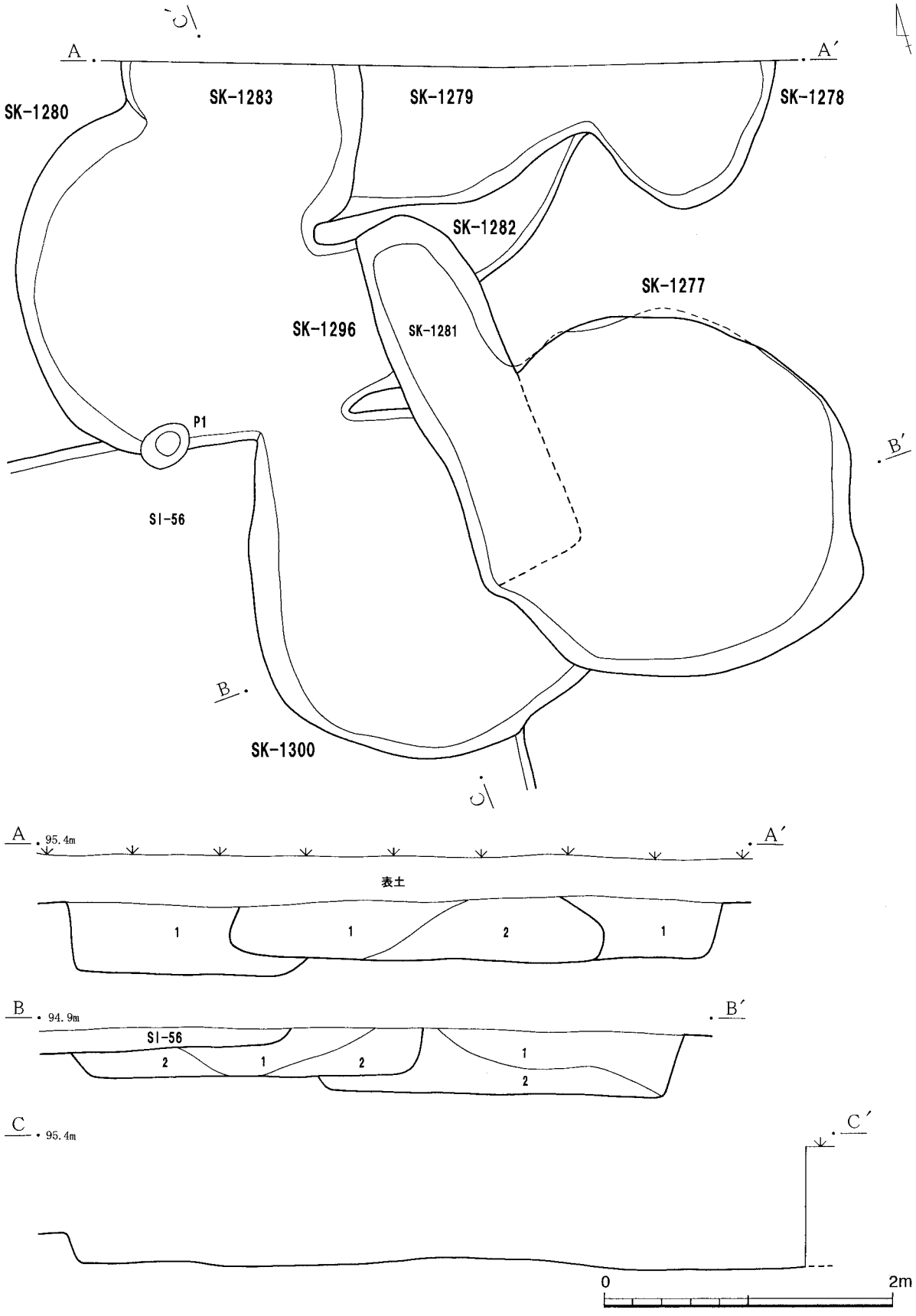
第89図　SK－1192・1193・1196・1199～1201・1208・1210・1220



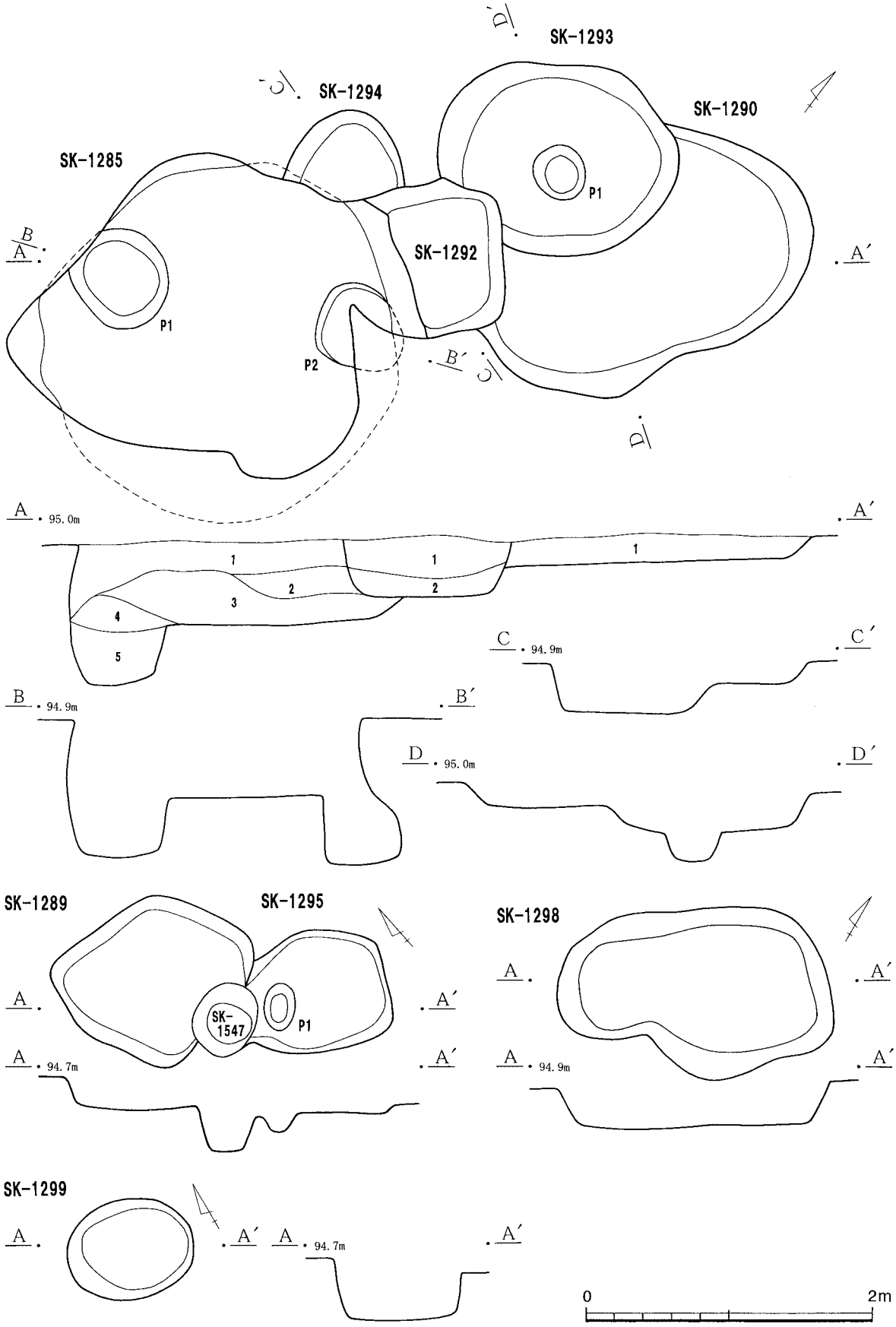
第90図　SK－1209・1223・1224b・1231～1236



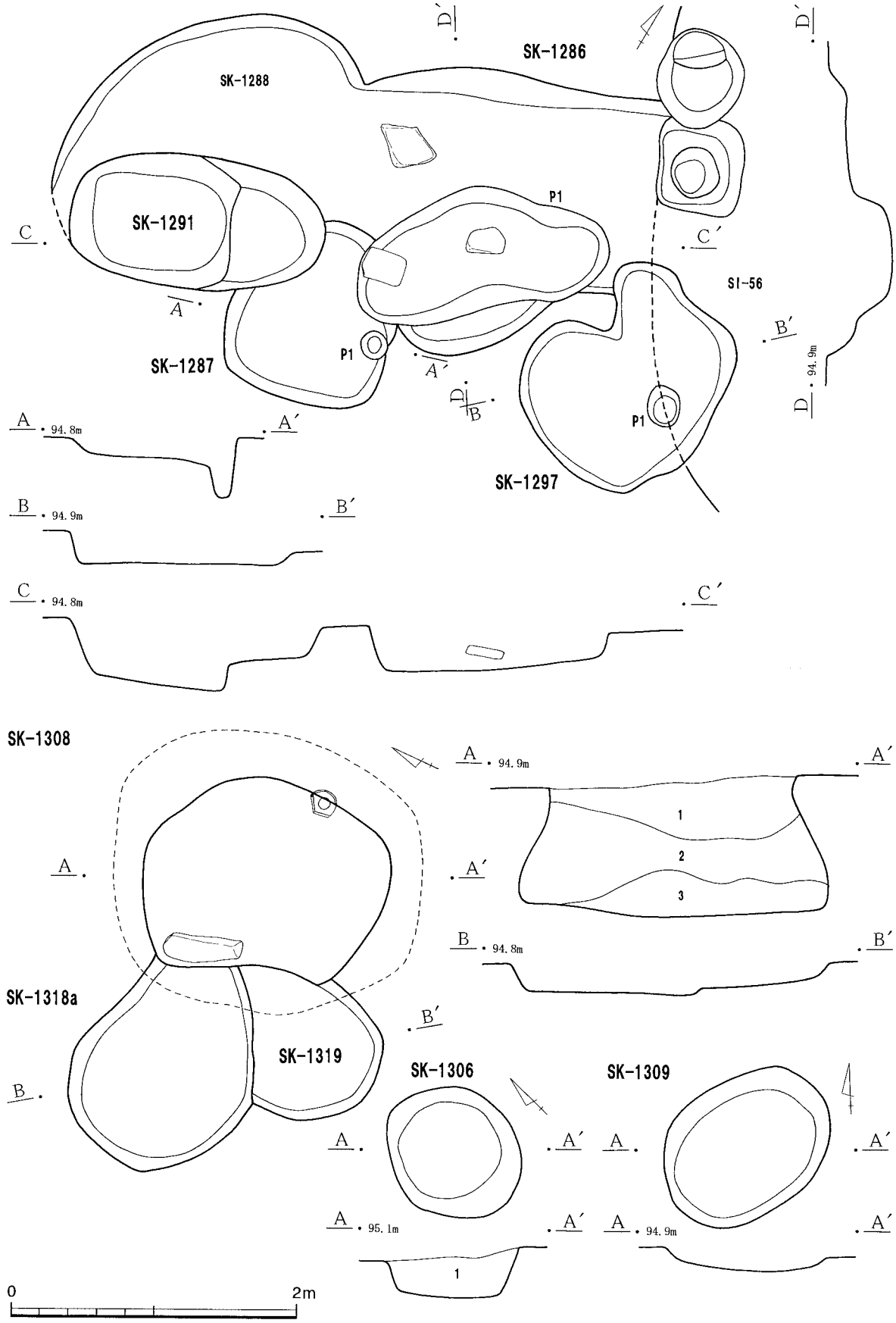
第91図　SK－1258・1260a・1263・1264・1274～1276・1334



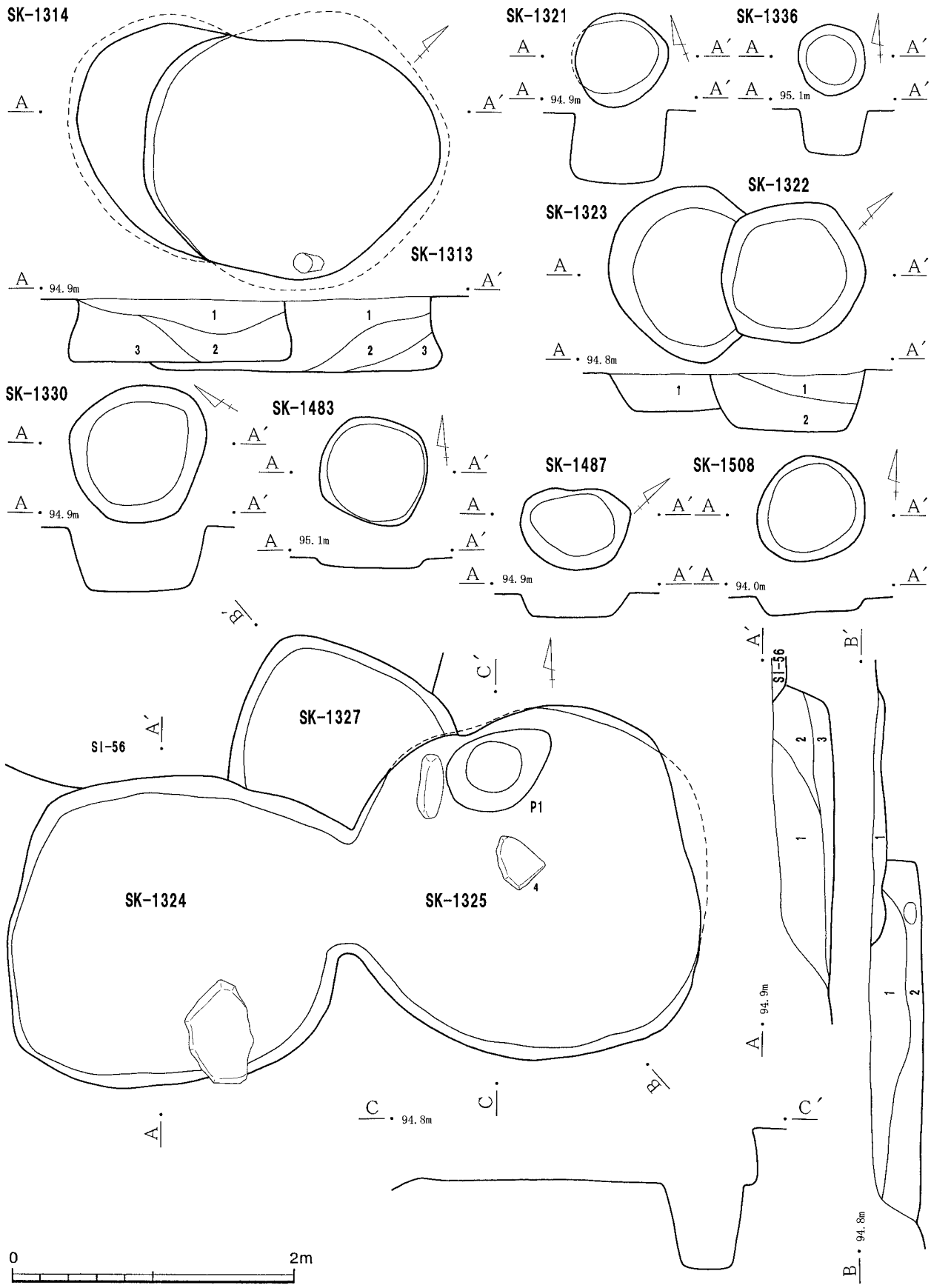
第92図　SK－1277～1280・1282・1283・1296・1300



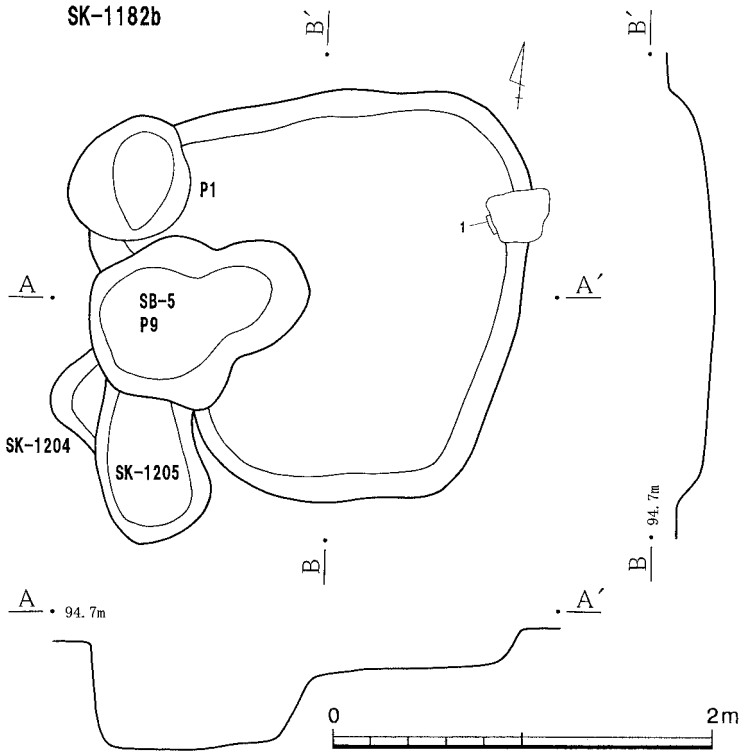
第93図　SK－1285・1289・1290・1292～1295・1298・1299



第94図　SK－1286・1287・1291・1297・1306・1308・1309・1318a・1319



第95図　SK－1313・1314・1321～1325・1327・1330・1336・1483・1487・1508



第96図　SK－1182b

第７表　縄文時代土坑土層観察表

ＳＫ－１
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
２．暗黄褐色土（Ｌ粒多量、小礫少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２
１．暗黄褐色土（Ｌ粒多量､Ｃ粒少量､直径5cm大の礫混入。しまりよし。）
ＳＫ－３
１．暗黄褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－４
１．茶褐色土（しまりなし。現耕作土。）
２．暗茶褐色土（Ｌ粒・ＩＰ・Ｃ粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－５
１．茶褐色土（Ｌ粒少量､ＩＰ微量混入。しまりよし､粘性あり。）
２．暗黄褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし、粘性あり。）
３．黄褐色土（礫少量混入。しまりよし、粘性あり。）
ＳＫ－６
１．暗黄褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし、粘性あり。）
ＳＫ－７
１．暗黄褐色土（Ｌ粒主体､Ｌ大Ｂ少量混入。しまりよし。埋め戻し土。）
ＳＫ－８
１．暗黄褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし、粘性あり。）
２．暗褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし、粘性あり。）
３．黄褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし、粘性あり。）
４．暗褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし、粘性あり。）
ＳＫ－９
１．暗茶褐色土（Ｌ小Ｂ・小礫少量混入。しまりややあまい。）
ＳＫ－１３
１．暗茶褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１４
１．黒褐色土（ＬＢやや多く、ＩＰ少量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１５
１．暗茶褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１６
１．黒褐色土（ＩＰ･Ｌ粒･Ｃ粒微量混入。しまりよし､粘性やや欠く。）
ＳＫ－１７
１．茶褐色土（しまりなし。現耕作土。）
２．暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１９
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．暗黄褐色土（Ｌ粒やや多く､Ｌ中Ｂ･ＩＰ少量混入。しまりよし。）
３．暗黄褐色土（Ｌ粒多量､ＩＰ･ＳＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２４
１．暗茶褐色土（ＩＰ･ＳＰ･Ｌ粒･Ｃ粒やや多く混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）
３．暗黄褐色土（Ｌ主体、しまりよし。）
ＳＫ－２５
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりややあまい。）
２．暗茶褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。埋め戻し土か。）
ＳＫ－２６
１．暗黄褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２７
１．黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。埋め戻し土か。）
２．黒褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。埋め戻し土。）
ＳＫ－２８
１．暗黄褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。埋め戻し土か。）
２．暗黄褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。埋め戻し土。）
ＳＫ－２９
１．暗黄褐色土（ＩＰ微量、Ｌ主体。しまりよし。）
２．暗黄褐色土（ＩＰ少量、Ｌ粒多量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（拳大～人頭大の礫多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－３０
１．黒褐色土（しまりややあまい。撹乱。）
２．黄褐色土（しまりよし。埋め戻し土か。）
３．黒褐色土（しまりよし。）
ＳＫ－３１
１．暗黄褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－３２
１．黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりややあまい。）

２．暗黄褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－３８
１．黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－３９
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－４０
１．黒褐色土（Ｌ粒少量、礫やや多く混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－４１
１．黄褐色土（ＩＰ･ＳＰ少量混入。しまりややあまい。壁崩落土。）
２．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・Ｌ粒やや多く混入。しまりよし。）
３．暗黄褐色土（ＬＢやや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－４３
１．黒褐色土（小石やや多く混入。しまりりややあまい。）
ＳＫ－４５
１．暗黄褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。壁崩落土。）
２．暗黄褐色土（Ｌ粒主体。しまりよし。）
３．暗茶褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－４６
１．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりややあまい。）
２．黒褐色土（ＬＢやや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－４７
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．暗黄褐色土（Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）
３．黄褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。）しまりよし。）
Ｐ１．黄褐色土（しまりあまい。）※
ＳＫ－４８
１．茶褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－４９
１．暗茶褐色土（ＩＰ少量、小礫多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－５０
１．暗黄褐色土（ＩＰ･ＳＰ･Ｌ粒多量混入。しまりよし。埋め戻し土。）
ＳＫ－５１a
１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）
２．茶褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－５２
１．暗茶褐色土（ＩＰ・黒色土小Ｂ多量混入。しまりよし。）
２．茶褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－５３
１．黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－５４
１．茶褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－５８
１．茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－５９
１．暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりあまい。）
ＳＫ－６０
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒子・Ｌ大Ｂ少量混入。しまりよし。）
２．暗黄褐色土（Ｌ粒多量、ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－６１
１．黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－６２
１．黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（少量のＩＰ少量、Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－６３
１．暗茶褐色土（ＩＰ・ＬＢ少量混入。しまりよし。）
２．茶褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
Ｐ１．黒褐色土（ＩＰ・Ｃ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６６a
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒やや多く混入。しまりよし。）
２．暗黄褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）
Ｐ１・２・３．暗黄褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６７a
１．明黄褐色土（ＩＰ・ＳＰ多量混入。しまりあまい。）
ＳＫ－６７b
１．暗黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－７０
１．黒褐色土（ＩＰ多量、Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
２．濁黄褐色土（ＬＢ主体。崩落土。）
３．暗茶褐色土（Ｌ粒少量、ＩＰ微量混入。しまりよし。）
４．暗茶褐色土（Ｌ粒多量、ＩＰＢ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－７４
１．暗茶褐色土（Ｌ小Ｂ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ粒・Ｃ片・焼土粒微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－７７
１．暗茶褐色土（ＩＰ･ＳＰ多量、ＬＢ少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
３．暗茶褐色土（ＩＰ･ＳＰ多量、Ｌ大Ｂ少量混入。しまりよし。）
４．茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
５．暗黄褐色土（ＬＢ・Ｌ粒主体。しまりよし。壁崩落土。）
ＳＫ－７８a
１．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－７９
１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｃ粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－８０
１．暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。）
２．濁黄褐色土（ＬＢ主体、しまりよし。壁崩落土。）
３．暗褐色土（Ｌ大Ｂやや多く混入。しまりよし。）
４．茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
５．茶褐色土（Ｌ大Ｂやや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－８２
１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒多量混入。しまりあまい。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ多量、ＬＢ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－８３
１．黒褐色土（Ｌ小Ｂやや多く、ＩＰ少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ小Ｂ・ＩＰ多量混入。しまりよし。）
３．暗茶褐色土（Ｌ小Ｂ・Ｌ粒多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－８４
１．黒褐色土（Ｌ粒・Ｃ粒やや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－８５
１．暗茶褐色土（ＬＢ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－８７
１．黒褐色土（Ｌ粒・ＬＢ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－８８
１．暗黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．暗黄褐色土（Ｌ粒多量、ＩＰ微量混入。しまりよし。）
３．暗茶褐色土（ＬＢ多量、ＩＰ少量混入。しまりよし。）
４．黒褐色土（ＬＢ少量、ＩＰ微量混入。しまりよし。）
５．濁黒褐色土（ＬＢ主体、しまりよし。）
ＳＫ－８９
１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｃ粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－９０
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ･Ｌ小Ｂ･ＳＰやや多く混入。しまりよし。流入･壁崩落土。）
３．黒褐色土（ＩＰ･Ｌ小Ｂ･ＳＰやや多く混入。しまりよし。流入･壁崩落土。）
４．暗黄褐色土（ＬＢ多量、ＩＰ･Ｃ片少量混入。しまりよし。壁崩落土。）
※２～４層は、各々、壁崩落土と自然流入土が互層となる。
ＳＫ－９１
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりあまい。）
ＳＫ－９４
黒褐色土（ＬＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９５
１．褐色土（しまりあまい。）
ＳＫ－９８
１．黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１００
１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１０１
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１０２
１．茶褐色土（ＩＰ多量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）
３．濁黄褐色土（ＬＢ主体。しまりよし。壁崩落土。）

ＳＫ－１０３
１．黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）
２．濁黄褐色土（ＬＢ主体､黒色土微量混入。しまりよし。壁崩落土。）
３．濁黄褐色土（ＬＢ主体。しまりよし。壁崩落土。）
ＳＫ－１０４
１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１０５
１．暗茶褐色土（ＬＢ・礫やや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－１０６
１．黒褐色土（ＩＰやや多く､Ｌ大Ｂ少量混入。しまりややあまい。）
２．濁黄褐色土（ＬＢ主体。しまりよし。壁崩落土。）
３．暗茶褐色土（ＩＰ･Ｌ粒多量､ＬＢ微量混入。しまりよし。）
４．茶褐色土（ＩＰ少量混入。しまりややあまい。）
ＳＫ－１０８
１．暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（ＬＢ多量､ＩＰ･ＳＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１０
１．茶褐色土（ＩＰ多量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ・ＬＢ微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１２
１．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１３
１．暗黄褐色土（Ｌ粒･Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。埋め戻し土。）
ＳＫ－１１６
１．暗黄褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）
３．暗茶褐色土（ＩＰ･ＳＰ少量､ＬＢ多量混入。しまりよし。）
４．暗黄褐色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）
Ｐ１．暗黄褐色土（Ｌ主体､黒色土Ｂ少量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－１１８
１．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）
２．濁黄褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。）
３．暗茶褐色土（Ｌ多量、ＩＰ微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１９
１．暗黄褐色土（Ｌ大Ｂ多量混入。しまりややあまい。埋め戻し土。）
ＳＫ－１２０
１．暗茶褐色土（ＬＢ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２１
１．黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
２．暗黄褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２２
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒・Ｃ粒微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２３
１．黒褐色土（ＩＰ粒・ＩＰＢやや多く混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＩＰ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２５
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｃ粒少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２６
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒・Ｃ粒少量混入。しまりよし。）
２．暗黄褐色土（Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）
３．濁黄褐色土（ＬＢ主体。）
ＳＫ－１２７
１．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＬＢやや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２８
１．暗茶褐色土（しまりよし。）
ＳＫ－１２９
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・Ｃ粒やや多く混入。しまりよし。）、濁黄褐色土（ＬＢ主体、ＳＰ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）、暗茶褐色土（ＩＰやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１３０
黒褐色土（礫少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１３１
１．濁黄褐色土（ＬＢ主体､ＩＰ少量混入。しまりよし。埋め戻し土。）
ＳＫ－１３３
１．黒褐色土（ＩＰ少量、Ｃ粒微量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ・ＬＢ少量混入。しまりよし。）
３．暗茶褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
４．黄褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。壁崩落土。）
ＳＫ－１３５
１．黒褐色土（ＳＰ・ＩＰ微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１３６
１．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰやや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－１３９
暗茶褐色土（ＩＰ・ＬＢ多量混入。しまりよし。）、暗黄褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１４０
黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１４１
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒多量混入。しまりよし。）、暗黄褐色土（ＩＰ・ＬＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１４２
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＩＰ少量､Ｌ粒･Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（ＩＰ・ＬＢ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１４３
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｃ粒少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１４４
１．黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。）
４．黒褐色土（ＬＢ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
５．暗黄褐色土（しまりよし。Ｐ１覆土。）
ＳＫ－１４５
１．暗茶褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１４８
１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒多量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
Ｐ１・２．暗黄褐色土（黒色土Ｂ少量混入。しまりややあまい。壁崩落土主体。）※
ＳＫ－１５１
茶褐色土（ＩＰ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１５２
黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１５３
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・ＬＢやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１５４
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１５５
１．茶褐色土（ＩＰ・ＬＢ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１５６
１．暗茶褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１５７
１．黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１５９
１．暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量・Ｌ大Ｂ多量混入。）
ＳＫ－１６０
１．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・Ｌ粒多量混入。しまりよし。）
２．濁茶褐色土（ＬＢ主体、しまりよし。壁崩落土。）
３．黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
４．濁黄褐色土（ＬＢ主体､ＩＰ少量混入。しまりよし。壁崩落土。）
ＳＫ－１６１a
１．暗黄褐色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）
２．暗黄褐色土（Ｌ粒主体。）
ＳＫ－１６２a
１．黒褐色土（ＩＰ･ＳＰ少量､ＬＢやや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－１６３a
１．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１６６
１．黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）

２．黒褐色土（ＩＰ少量、Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－１６７
１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１６８
１．暗黄褐色土（ＩＰ・ＳＰやや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－１７０
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＬＢ多量・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１７１
１．暗茶褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１７２
１．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒やや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－１７３
１．暗茶褐色土（ＩＰやや多く・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１７６
１．黒褐色土（ＩＰ・焼土粒やや多く混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＩＰ･ＳＰ･Ｌ粒･Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（ＩＰ少量、Ｌ粒･Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）
４．黄褐色土（Ｌ粒主体、ＩＰやや多く混入。しまりよし。壁崩落土。）
ＳＫ－１７９
１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（小石・Ｌやや多く混入。しまりよし。）
３．暗黄褐色土（ＩＰ･ＬＢ･小礫やや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－１８０
１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｃ片・小石粒少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ大Ｂ・Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１８２
１．暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ・Ｃ粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１８３
１．暗茶褐色土（Ｌ粒・ＬＢやや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－１８４
１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒・Ｃ粒少量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒やや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－１８５
１．黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりややあまい。）
ＳＫ－１８６
１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１８８
１．暗茶褐色土（ＩＰ少量、Ｌ粒･Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－１９０
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒やや多く混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１９１
１．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ少量、Ｌ粒･Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）
３．濁黄褐色土（Ｌ主体。しまりよし。壁崩落土。）
４．濁黄褐色土（ＬＢ・ＩＰ・黒色土の混合土。しまりよし。）
ＳＫ－１９２
１．茶褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
２．茶褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１９３
１．暗茶褐色土（小礫多量混入。しまりなし。）
ＳＫ－１９４
１．暗茶褐色土（小礫少量混入。しまりなし。）
ＳＫ－１９５
１．黒褐色土（ＩＰ少量、Ｃ片微量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１９６
１．暗茶褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
３．暗黄褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２０１
１．黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２０２
１．黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ小Ｂ・Ｌ粒やや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－２０４
１．黒褐色土（ＩＰ少量、Ｌ粒やや多く混入。しまりよし。）
２．暗黄褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
３．黄褐色土（Ｌ主体。壁崩落土。）
ＳＫ－２０６
暗茶褐色土（ＬＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２１０
１．暗茶褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）
２．暗黄褐色土（しまりよし。壁崩落土。）
ＳＫ－２１１a
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｃ粒少量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（Ｌ小Ｂ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
３．濁黄褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２１１c
１．黄褐色土（ＩＰやや多く混入。しまりよし。壁崩落土。）
２．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２１２
１．暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ･ＳＰ･Ｌ粒･ＬＢやや多く混入。しまりよし。）
３．茶褐色土（ＩＰ混入。しまりよし。壁崩落土。）
ＳＫ－２１３
１．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２１４
１．暗黄褐色土（ＬＢやや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－２１５
１．黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２１６
１．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
３．暗茶褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２１７
１．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．暗黄褐色土（しまりよし。）
３．黄褐色Ｌ（壁崩落土。）
４．黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２１８
暗茶褐色土（小礫・ＬＢ少量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－２１９
１．黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）
２．濁黄褐色土（Ｌ主体、壁崩落土。）
３．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
４．暗黄褐色土（Ｌ主体。しまりよし。）
ＳＫ－２２２
暗茶褐色土（Ｌ小Ｂ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２２６
１．黒褐色土（ＩＰ･Ｌ粒･Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）
２．暗黄褐色土（Ｌ主体。しまりよし。壁崩落土。）
ＳＫ－２２７
１．暗茶褐色土（Ｌ小Ｂ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２３０
黒褐色土（Ｌ小Ｂ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２３２
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｃ片多量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＩＰ・Ｃ片少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２３３
黒褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２３４
黒褐色土（ＬＢ・粘土Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２３５
黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２３６
１．黒褐色土（ＬＢ少量混入。しまりよし。）
２．暗黄褐色土
ＳＫ－２３７
黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２３９
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒やや多く混入。しまりよし。）

２．黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２４３
暗黄褐色土（Ｌ粒、Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２４４
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－２４５
黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２４７
暗黄褐色土（ＬＢやや多く混入。）※
ＳＫ－２４８
１．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２４９
暗茶褐色土（しまりよし。）※
ＳＫ－２５１
暗茶褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２５２
暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒やや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２５３
暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２５５
黒褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２５６
暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２５７
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２５８
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．黄色Ｌ（壁崩落土。）
３．暗黄褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２５９
１．暗黄褐色土（ＬＢ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２６０
暗茶褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２６２
黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２６３
下部．乳白色粘土Ｂ主体。埋め戻し土。※
ＳＫ－２６５
黒褐色土（ＩＰやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２６７
黒褐色土（ＩＰ・ＬＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２６８
黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２６９
黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２７０
黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２７１
暗茶褐色土（Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２７２
暗黄褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２７３
黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２７５
１．黒褐色土（Ｌ小Ｂ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２８０
黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２８２
黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２８５
黒褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２８６
黒褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２８９
黒褐色土（Ｌ小Ｂ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２９０
黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２９１
１．黒褐色土（小礫・白色粘土小Ｂ少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＩＰ・白色粘土粒少量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（ＬＢ・白色粘土Ｂやや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－２９２
１．黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
２．濁黄褐色土（ＬＢ多量混入。）
ＳＫ－２９３
黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２９４
黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２９７
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２９８
暗茶褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２９９
１．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－３００
黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３０１
黒褐色土（Ｌ粒・小礫微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３０７
暗茶褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。）※
Ｐ１・２．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３０８
黒褐色土（Ｌ粒少量、小礫微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３１９
黒褐色土（ＩＰ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３２０
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３２１
黒色土（小礫少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３２８
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒・人頭大礫少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ小Ｂ・Ｌ粒やや多く混入。しまりよし。）
３．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒やや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－３３０
黒色土（白色粘土Ｂ少量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－３３１
黒色土（白色粘土粒・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３３３
黒褐色土（ＩＰ・Ｃ粒・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３３４
１．暗黄褐色土（焼土粒やや多く混入。しまりよし。）
２．黄褐色土（Ｌ主体、ＩＰ・焼土粒少量混入。しまりよし。）
３．暗黄褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）
４．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
５．濁黄褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－３３５
１．黒褐色土（Ｃ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－３３９
１．茶褐色土（小礫多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－３４３
暗茶褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３４４
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３５５
暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３５７
黒褐色土（Ｌ粒・白色粘土小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３５８
黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３５９
黒褐色土（粘土粒・粘土小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３６０
黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３６１
黒褐色土（粘土Ｂ少量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－３６４
　黒褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３６５
　黒色土（Ｌ粒・粘土Ｂ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３６６
　暗茶褐色土（Ｌ小Ｂ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３６７
　暗茶褐色土（Ｌ小Ｂ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３７１
　黒色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３７２
　黒色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３７４
　黒色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３７５
　黒色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３７６a
　黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－３７８
　黒褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３８３
　黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－３８４
　黒色土（Ｌ粒・ＩＰ微量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－３８６
　黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりなし。）※
ＳＫ－３９１
　黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ・Ｃ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３９７
　黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３９８
　黒褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３９９
　黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
　Ｐ１．暗茶褐色土（ＩＰやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４０２a
　黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４０２b
　黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４０３
　黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４０４
　黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４０５
　黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４０６
　黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４０８
　黒褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４０９
　黒褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４１０
　黒褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４１２
　暗茶褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４１７
　濁黄褐色土（Ｌ主体。）※
ＳＫ－４１８
　暗茶褐色土（小礫・Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４１９
　暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－４２０
　暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４２１
　暗茶褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４２２
　黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４２３
　黒色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４２５
　黒色土（ＬＢ少量混入。）※
ＳＫ－４２７
　暗茶褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４３０
　暗茶褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４３１a
　黒色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４３１b
　黒色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４３２
　黒色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４４１
　１．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－４４２
　１．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりなし。）
ＳＫ－４４３
　１．暗茶褐色土（Ｌ粒多量、ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－４４４
　暗茶褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４４５
　黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４４６
　暗茶褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりあまい。）※
ＳＫ－４４９
　暗茶褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４５４
　暗茶褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４５５
　暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４５６
　茶褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりあまい。）※
ＳＫ－４５８
　黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４５９
　暗茶褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４６０
　黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４６１
　暗茶褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－４６２
　茶褐色土（ＬＢ少量混入。しまりあまい。）※
ＳＫ－４６３
　暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりあまい。）※
ＳＫ－４６６
　黒褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－４６８
　１．黒褐色土（しまりややあまい。現代の盛り土。）
　２．暗茶灰色土（Ｃ粒・小礫少量混入。）
　３．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・小礫少量、大型土器片多量混入。
　　しまりよし。底面より湧水あり。）
ＳＫ－４６９
　１．黒色土（ＩＰ微量混入。しまりあまい。）
ＳＫ－４７０
　１．黒褐色土（ＬＢ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－４７８
　黒褐色土（Ｌ粒少量、ＬＢ微量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ４７９
　黒色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４８０
　黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４８１
　黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４８２
　黒灰色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４８６
　黒褐色土（Ｌ粒多量、ＬＢ少量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－４８９
　黒褐色土（ＬＢ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４９２
　１．黒褐色土（ＬＢ少量混入。しまりよし。）
　２．黒褐色土（ＬＢやや多く、Ｃ片少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－４９３
　暗茶褐色土（Ｌ粒多量、焼土粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４９４
　暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりあまい。）※
ＳＫ－４９６
　黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－４９７
　暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５００
　暗茶褐色土（ＩＰ微量混入。しまりなし。）※
ＳＫ－５１７
　黒褐色土（ＬＢ少量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－５１８
　暗茶褐色土（Ｌ粒・ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５１９
　黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－５２４
　黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりあまい。）※
ＳＫ－５２５
　黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－５２６
　暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５２７
　黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５３９
　黒褐色土（ＬＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５４４
　黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５４５
　暗茶褐色土（ＬＢ・Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５４７
　暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりあまい。）※
ＳＫ－５５０
　黒色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５５２
　黒褐色土（Ｌ粒・ＬＢ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５５３
　黒色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５５４
　暗茶褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５５５
　茶褐色土（ＬＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５５６
　黒褐色土（ＬＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５５７
　黒褐色土（ＬＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５５９
　暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－５６０
　黒灰色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５６２
　黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５６６
　暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５７９b
　暗茶褐色土（Ｌ粒多量、ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５８０a
　黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりあまい。）※
ＳＫ－５８１
　黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりあまい。）※
ＳＫ－５８２
　黒褐色土（Ｌ粒多量、ＬＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５８３
　黒色土（Ｌ粒・ＩＰ少量、しまりよし。）※
ＳＫ－５８５
　黒色土（ＬＢ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５８７
　黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５８８
　黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５８９
　暗茶褐色土（Ｌ粒・ＬＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５９０
　茶褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５９１
　黒色土（Ｌ粒・ＬＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５９２
　１．黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりあまい。）
ＳＫ－５９３
　黒色土（ＬＢ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５９４
　黒褐色土（Ｌ粒・ＬＢ多量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－５９５
　黒褐色土（ＬＢ多量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－５９６
　黒褐色土（ＩＰ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－５９７
　黒色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６０１
　１．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－６０２
　黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６０３
　黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６０４
　黒褐色土（Ｌ粒やや多く混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－６０７
　黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６０８
　黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６０９
　黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６１０
　黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６１１
　黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６１２
　黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６１３
　黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６１５
　黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６１６
　黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６２０
　黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６２１
　黒色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６２２
　黒褐色土（ＬＢ・ＩＰ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６２３
　黒色土（Ｌ粒・ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６２４
　黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６２７
　黒褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６２８
　黒褐色土（ＩＰＢ・Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６２９
　１．黒色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）
　２．黒色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）

３．黒色土（C片多量、L粒微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－６３３
暗茶褐色土（L粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６３４
黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６３５
黒褐色土（ＳＰ・ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６３７
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６３８
茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６３９
暗茶褐色土（ＬＢ・ＩＰ・C粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６４０
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・L粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６４１
茶褐色土（L粒・ＬＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６４３
黒褐色土（L小Ｂ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６４４
黒褐色土（L小Ｂ・ＩＰ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６４５
黒褐色土（L粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６４６
黒褐色土（ＩＰ小Ｂ・L小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６４９
暗茶褐色土（ＩＰＢ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６５０
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・L小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６５１
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・L小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６５３
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６５４
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６５５
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６５６
暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６５７
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６５９
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・L小Ｂやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６６０
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・L小Ｂやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６８４
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６８５
濁黄褐色土（ＬＢ・ＩＰ混合土。しまりよし。）※
ＳＫ－６８７
暗茶褐色土（L粒多量、ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６９１
黒褐色土（L粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６９３
暗茶褐色土（L粒少量、ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６９４
茶褐色土（L粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６９５
黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６９６
暗茶褐色土（L粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６９７
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・ＬＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－７０２
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－７０３
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－７０５
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－７０６
１．黒色土（ＳＰ・ＩＰ微量混入。しまりよし。）
２．茶褐色土（ＳＰ多量、ＩＰ少量混入。しまりよし。）
３．黒色土（ＳＰ微量混入。しまりよし。）
４．黒褐色土（ＳＰ粒・ＳＰＢ少量混入。しまりよし。）
５．暗茶褐色土（ＳＰ微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－７１１
１．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・L小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－７１３
黒色土（L粒多量、ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－７１５
暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－７１７
暗茶褐色土（ＩＰ・L粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－７１８
暗茶褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－７９１
１．黒色土（ＩＰ・ＳＰ・L粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－７９２
１．暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
２．灰褐色土（L粒多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－７９３
１．暗茶褐色土（ＩＰ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－７９５
１．黒色土（L粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－７９６
暗茶褐色土（L粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－７９７
１．暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ小Ｂ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－８００
黒褐色土（L粒少量、ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８０２
黒褐色土（ＬＢ・L粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８０３
黒色土（L粒・ＩＰ・ＳＰ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８０４
黒色土（L粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８０７
茶褐色土（L粒少量混入。しまりあまい。）※
ＳＫ－８１６
黒褐色土（L粒少量、ＬＢ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８１７
暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８２０
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８２１a
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８２１b
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８２２
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８２３
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８２４
暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８２５
茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８２６b
黒褐色土（ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８２８
黒色土（L粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８２９
黒色土（L粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８３０
黒色土（L粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８３２

黒色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８３３
黒色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８３４
黒色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８３５
黒色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８３６
黒色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８３７
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８３８
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８４０
黒色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８４２
黒褐色土（ＳＰ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８４３
暗茶褐色土（ＳＰ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８４４
黒色土（ＳＰ少量、ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８４５
黒色土（ＩＰＢ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８４６
黒色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８４９
１．黒褐色土（Ｌ粒少量、ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－８５０
黒色土（ＩＰＢ・ＳＰ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８５１
黒色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８５２
黒色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８５４
黒褐色土（ＩＰ少量混入。）※
ＳＫ－８５５
黒褐色土（ＳＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８５６
黒色土（ＩＰＢ・ＳＰ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８５８
１．黒色土（Ｌ粒少量、ＩＰ微量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－８６０a
暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８６０b
暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８６５
黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８６８
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰＢ多量混入。しまりあまい。）※
ＳＫ－８６９
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８７２
黒色土（ＳＰ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８７４
黒色土（ＳＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８７８
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８７９
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８８１
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８８２b
黒色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８８３
黒色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８８４
１．黒色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－８８５
１．濁黄褐色土（Ｌと黒褐色土の混合土。しまりよし。）
ＳＫ－８８６
１．黒色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－８８８
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８８９
黒褐色土（ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８９０
黒褐色土（ＳＰ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８９１
暗茶褐色土（Ｌ粒・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８９２
黒褐色土（Ｃ粒・ＩＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８９３
暗茶褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８９４
黒褐色土（ＩＰＢ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９００
黒褐色土（小礫少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９０１
暗茶褐色土（Ｌ粒少量混入。）※
ＳＫ－９０７
１．黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりあまい。現耕作土。）
２．黒褐色土（Ｌ多量混入。しまりよし。現水田基盤層。）
３．黒色土（小礫少量混入。しまりよし。）
４．暗茶褐色土（灰褐色粘土多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－９０８
黒褐色土（乳白色粘土小Ｂ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９０９
黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９１０
黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９１１
黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９１２
暗茶褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９２１
黒褐色土（ＳＰＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９２２
黒褐色土（ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９２３
黒色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９２６
黒褐色土（ＳＰ少量、ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９２７
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９２８
黒色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９３０
黒褐色土（ＳＰ少量混入。しまりあまい。）※
ＳＫ－９３１
黒褐色土（ＳＰ少量混入。しまりあまい。）※
ＳＫ－９３２
黒色土（ＩＰ・Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９３３
黒色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９３４
１．黒褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－９３６
暗茶褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９３９
黒色土（Ｌ粒微量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－９４０
暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９４３
黒褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－９４７
黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９４８
黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９４９
黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９５０
黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９５１
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９５２
黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９５３
暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９５６
暗茶褐色土（Ｃ粒・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９５７
黒褐色土（ＩＰ・Ｃ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９５８
暗茶褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９５９
暗茶褐色土（Ｃ粒･ＩＰ･Ｌ粒･Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９６０
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９６１
暗茶褐色土（Ｃ粒・ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９６２
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９６３
黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９６５
暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒・Ｃ粒やや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９６８
黒褐色土（ＩＰＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９６９
黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９７０
黒褐色土（ＩＰＢ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９７２
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９７５
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９７７
黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９８０
１．暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－９８２
１．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（しまりよし。）
ＳＫ－９８３
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９８５
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９８７
黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９８８
黒褐色土（ＩＰ・ＬＢ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９８９
黒褐色土（Ｌ小Ｂ・ＩＰ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９９３
濁黄褐色土（ＩＰＢ・ＬＢ多量混入。埋め戻し土。）※
ＳＫ－９９４
茶褐色土（ＩＰ･Ｌ小Ｂ多量混入。しまりややあまい。埋め戻し土。）※
ＳＫ－９９５
黒褐色土（ＬＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９９８
黒褐色土（ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９９９
黒褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１００３
黒色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１００４
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ・Ｃ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１００８
暗茶褐色土（ＳＰ多量、ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１００９
黒褐色土（Ｌ粒多量、ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０１６
暗黄褐色土（Ｌ小Ｂ主体。埋め戻し土。）※
ＳＫ－１０１７
黒褐色土（ＬＢ多量、ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０２１
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。）※
ＳＫ－１０２２
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０２３
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０２４
暗黄褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０２５
黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０２６
暗茶褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０２７
１．濁橙色土（ＩＰ・乳白色粘質土Ｂ混合。しまりよし。）
ＳＫ－１０３０
灰褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－１０３１
黒褐色土（茶色ＬＢ・Ｌ粒少量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－１０３３
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０３５
黒褐色土（Ｌ小Ｂ多量、ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０３６
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０３７
暗黄褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０３８
黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０３９
暗黄褐色土※
ＳＫ－１０４０
暗黒褐色土（ＳＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０４１
黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０４２
黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０４３
黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０４８
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒やや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０５０
暗茶褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０５２
黒色土（ＳＰ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０５４
黒褐色土（しまりややあまい。）※
ＳＫ－１０５５
暗黄褐色土（ＩＰ・Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０５７
１．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（Ｌ粒・ＬＢ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１０５８
１．暗茶褐色土（ＩＰ少量、ＬＢ微量混入。しまりよし。）
２．濁黄褐色土（ＬＢ主体。しまりよし。）
３．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒多量混入。しまりややあまい。）

４．黒褐色土（ＬＢ多量、ＩＰ少量混入。しまりよし。）
５．暗黒褐色土（ＩＰ・ＬＢ少量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１０５９
１．暗茶褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
３．暗茶褐色土（ＬＢ少量、ＩＰ微量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１０６０
茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１０６１
暗茶褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりあまい。）※

ＳＫ－１０６３a
暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりややあまい。）※

ＳＫ－１０６４
１．暗茶褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（Ｌ粒・ＬＢ多量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１０６５
１．暗茶褐色土（ＬＢ・ＩＰ微量混入。しまりよし。）
２．茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒多量混入。）

ＳＫ－１０６６
黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１０７０
暗茶褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１０７２
１．黒褐色土（Ｌ粒・ＬＢ多量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１０７３
１．暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１０７５
暗茶褐色土（ＬＢ少量混入。しまりややあまい。）※

ＳＫ－１０７６
暗茶褐色土（ＬＢ少量混入。しまりややあまい。）※

ＳＫ－１０７７
１．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりややあまい。）

ＳＫ－１０７８a
茶褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１０７８b
１．茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１０７９
黒褐色土（ＬＢ少量、ＩＰ微量混入。しまりややあまい。）※

ＳＫ－１０８５
暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１０８６
１．暗黄褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１０９３
１．暗黄褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）

ＳＫ－１０９４
暗黄褐色土（ＩＰ・Ｌ粒・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１０９５
暗茶褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１１０１
暗茶褐色土（ＩＰ少量・Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１１０３
１．暗茶褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
２．茶褐色土（ＩＰ多量混入。しまりややあまい。）

ＳＫ－１１０４
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。）
２．茶褐色土（Ｌ粒多量、ＬＢ少量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１１０６
１．茶褐色土（ＬＢ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１１０７
１．暗茶褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１１０８
１．暗茶褐色土（Ｌ粒・ＩＰ微量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１１０９
茶褐色土（Ｌ粒・ＬＢ少量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１１１０
１．明茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒微量混入。しまりややあまい。）

ＳＫ－１１１１
１．黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（ＳＰ・ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
３．茶褐色土（Ｌ粒・ＬＢ多量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１１１２
１．明黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりややあまい。）
２．明茶褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりややあまい。）

ＳＫ－１１１３
暗茶褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりややあまい。）※

ＳＫ－１１１４
１．黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ微量混入。しまりややあまい。）
２．茶褐色土（Ｌ粒多量、ＬＢ少量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１１１５
明黒褐色土（Ｌ粒・ＬＢ微量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１１１６
暗黒褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１１１７
黒褐色土（Ｌ粒少量、ＩＰ微量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１１１８
１．暗黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
２．茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）
４．茶褐色土（ＬＢ・Ｌ粒多量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１１１９
１．暗黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
３．暗茶褐色土（Ｌ粒多量、ＩＰ微量混入。しまりよし。）
４．濁黄褐色土（Ｌ主体。しまりよし。）

ＳＫ－１１２９
黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１１３０
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１１３１
黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりあまい。）※

ＳＫ－１１３３
黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１１３４
黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１１３６
黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１１３７
黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１１３９
黒褐色土（しまりあまい。）※

ＳＫ－１１４１
１．黒褐色土（根多数。表土。）
２．黒褐色土（ＩＰ･ＳＰ･Ｌ粒微量混入。しまりややあまい。）
３．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
４．暗黄褐色土（茶色土Ｂやや多く、ＩＰ少量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１１４２
黒褐色土（Ｃ小Ｂやや多く、Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１１４３
１．黒色土（根多い。しまりあまい。表土。）
２．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
３．暗黄褐色土（Ｌ主体、ＩＰ多量混入。壁崩落土。）
４．暗黄褐色土（ＬＢ・ＩＰ多量混入。しまりよし。）
５．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
６．暗黄褐色土（ＩＰ・ＳＰ多量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１１４４
暗黄褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１１４６
１．黒色土（根多い。しまりあまい。表土。）
２．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（ＩＰ・Ｃ粒・Ｌ粒やや多く混入。しまりよし。）
４．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１１４７
暗黄褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※

ＳＫ－１１４９
暗黄褐色土（ＩＰ･ＳＰ少量混入。下部小礫混じり。しまりよし。）※

ＳＫ－１１５１
１．明茶褐色土（ＬＢ少量、ＩＰ微量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（ＬＢ多量、黒色土少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１５２
１．暗茶褐色土（ＩＰ・ＬＢ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１５３
１．黒褐色土（ＩＰ少量、ＬＢ微量混入。しまりよし。）
２．明茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒・ＬＢ多量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（ＩＰ・黒色土Ｂ少量混入。しまりややあまい。）
４．濁黄褐色土（Ｌ粒･ＬＢ主体、ＩＰ微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１５４
茶褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１１５５
黒褐色土（ＬＢ少量、ＩＰ微量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－１１５６
暗茶褐色土（ＩＰ微量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－１１６０
１．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。表土。）
２．暗茶褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１６１・１１６２
１．耕作土
２．茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。ＳＫ－１１６２覆土。）
３．暗茶褐色土（ＩＰ･Ｃ片微量混入。しまりあまい。ＳＫ－１１６１覆土。）
ＳＫ－１１６３
１．暗茶褐色土（ＩＰ多量、Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
２．茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１６４
黒褐色土（Ｌ粒・ＬＢ・ＩＰ少量混入。）※
ＳＫ－１１６５
黒褐色土（ＬＢ少量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－１１６７a
１．黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（Ｌ粒多量、ＬＢ少量、ＩＰ微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１６７b
茶褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１１７２
暗黄褐色土（Ｃ粒･ＩＰ･ＳＰ･Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１１７５
１．暗黄褐色土（ＩＰ・ＳＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．黄褐色土（ＩＰ・Ｃ片少量混入。しまりよし。壁崩落土。）
３．暗黄褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
４．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
５．黒褐色土（ＩＰ･ＳＰ･Ｌ粒･Ｃ粒やや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１７９
１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１８０
１．暗黒褐色土（Ｌ小Ｂ・ＩＰやや多く混入。しまりよし。）
２．暗黒褐色土（Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）
３．暗黄褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）
４．暗黄褐色土（ＬＢ多量混入。）
５．黒色土（ＩＰ・ＳＰ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１８２b
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１１８４
１．暗黄褐色土
ＳＫ－１１８５
１．暗黄褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
２．暗黄褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１８６
黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１１８７
１．暗黄褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
４．濁黄褐色土（ＬＢ多量混入。壁崩落土。）
ＳＫ－１１８８
１．黒褐色土（根多い。表土。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ･Ｌ粒･拳大の礫少量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
４．黄褐色土（Ｌ。壁崩落土。）
５．暗茶褐色土（Ｃ粒・ＬＢ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１８９
１．暗茶褐色土（Ｌ粒多量、Ｃ粒微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１９０
１．黒褐色土（根多い。表土。）
２．暗黄褐色土（ＳＰ･Ｌ粒多量、Ｃ粒少量混入。しまりよし。）
３．暗黄褐色土（Ｌ大Ｂ･黒色土Ｂ･ＩＰやや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１９１
１．黒褐色土（根多い。表土。）
２．暗黄褐色土（ＩＰ少量、Ｌ粒やや多く混入。しまりよし。）
３．暗黄褐色土（ＩＰ少量、Ｌ粒･ＬＢやや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１９２
１．黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１９３
１．暗黄褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１１９４
暗黄褐色土（ＩＰ・Ｃ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１１９５
暗黄褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１１９６
暗黄褐色土（ＩＰやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１１９７
暗黄褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１１９８
１．黒褐色土（根多い。表土。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ・茶色土Ｂ少量混入。しまりよし。）
３．暗茶褐色土（黒色土･ＩＰ･ＳＰやや多く混入。しまりよし。）
４．暗黄褐色土（しまりよし。）
ＳＫ－１１９９
１．暗黄褐色土（礫多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２００
１．黒褐色土（Ｌ小Ｂ・ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２０１
１．黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２０２
暗黄褐色土（しまりよし。）※
ＳＫ－１２０８
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・小礫少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２０９
黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ・Ｃ粒やや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２１０
黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ・Ｌ粒やや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２２０
１．暗黄褐色土（ＩＰ・Ｌ粒やや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２２３
黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２２４b
暗黄褐色土（Ｌ小Ｂ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２３１
暗黄褐色土（ＩＰやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２３２
暗茶褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２３４
暗黄褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２３５
暗茶褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２３６
黒褐色土（Ｌ粒やや多く、ＩＰ･Ｃ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２５１
暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒小量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２５２
１．茶褐色土（Ｌ粒・ＩＰ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２５４
１．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
２．茶褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）

ＳＫ－１２５５
　１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒小量混入。しまりよし。）
　２．黒褐色土（ＬＢ多量、ＩＰ微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２５６
　茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－１２５８
　黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２６０a
　１．黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ微量混入。しまりよし。）
　２．暗茶褐色土（Ｌ粒多量、ＩＰ小量混入。しまりよし。）
　３．黒褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２６０b
　茶褐色土（ＬＢ微量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－１２６３
　黒褐色土（ＩＰ小量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２６４
　１．黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）
　２．暗茶褐色土（ＬＢ小量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２６８
　暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２７３
　暗黄褐色土（ＩＰ・Ｃ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２７４
　暗黄褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２７５
　暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒やや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２７６
　暗黄褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２７７
　１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒やや多く混入。しまりよし。）
　２．濁黄褐色土（ＬＢ･ＩＰ･黒色土の混合土。しまりあまい。）
ＳＫ－１２７８
　表土．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
　１．暗茶褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２７９
　表土．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
　１．黒褐色土（ＩＰやや多く混入。しまりよし。）
　２．黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２８０
　茶褐色土（Ｌ粒小量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２８３
　表土．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
　１．黒褐色土（ＬＢ・ＩＰ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２８４
　上部．黒褐色土（Ｌ小Ｂ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
　下部．暗茶褐色土（Ｌ小Ｂ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２８５
　１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒多量混入。しまりよし。）
　２．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
　３．暗黄褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
　４．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
　５．黒褐色土（礫少量混入。しまりややあまい。）
ＳＫ－１２８６
　黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２８９
　黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２９０
　１．暗黄褐色土（ＩＰ・ＬＢ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２９１
　黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２９２
　１．黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。）
　２．黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２９５
　黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１２９７
　暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２９８
　暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１３００
　１．濁黄褐色土（Ｌ粒主体。しまりよし。）
　２．濁黄褐色土（Ｌ小Ｂ主体。しまりよし。）
ＳＫ－１３０６
　１．黒褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１３０８
　１．暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
　２．濁黄褐色土（Ｌ粒主体､黒色土･ＩＰ小量混入｡しまりよし。）
　３．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒小量混入。）
ＳＫ－１３０９
　黒褐色土（ＬＢ小量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１３１０
　１．黒色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
　２．暗茶褐色土（ＬＢ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
　３．茶褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１３１１
　黒褐色土（Ｌ粒多量混入。）※
ＳＫ－１３１３
　１．黒褐色土（Ｌ粒多量、ＩＰ・Ｃ片微量混入。しまりよし。）
　２．暗茶褐色土（ＩＰ少量、ＬＢ微量混入。しまりよし。）
　３．茶褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１３１４
　１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
　２．黒褐色土（Ｃ片・Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
　３．濁黄褐色土（Ｌ粒・ＬＢ主体。しまりよし。）
ＳＫ－１３１８a
　黒褐色土（ＬＢ・Ｌ粒多量混入。しまりあまい。）※
ＳＫ－１３１９
　黒褐色土（Ｌ粒小量混入。しまりあまい。）※
ＳＫ－１３２２
　１．黒褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）
　２．黒褐色土（ＩＰ・Ｃ粒・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１３２３
　１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１３２４
　１．黒褐色土（Ｃ片多量、Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
　２．暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
　３．茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１３２５
　１．黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
　２．暗茶褐色土（Ｌ粒・ＩＰ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１３２７
　１．黒褐色土（Ｌ粒小量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１３３４
　暗黒褐色土（Ｌ粒小量混入。しまりややあまい。）※
ＳＸ－１
　黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）※

凡例　ＳＰ：七本桜パミス、ＩＰ：今市パミス、Ｌ：ローム、
　　Ｃ：炭化物、Ｂ：ブロック、
　　※：覆土の内、主たる土層を記した。調査の都合上、土層
　　断面として完全に確認することができなかった。

第８表　縄文時代土坑一覧表

単位：cm、(推定値)、[残存値]

遺構№	グリッド	重複関係	上場長径	上場短径	下場長径	下場短径	最深長	断面	平面形	付属施設	出土遺物	備考	挿図№	図版№
SK-1	B-22	SK-9より新。	176	116	150	(93)	35	B	不整楕円形	P1 143×74×17	**12。**		23	5
SK-2	B-21		150	124	131	108	24	B	不整円形		**10。**		23	5
SK-3	B-21		105	104	89	79	12	B	円形				23	5
SK-4	B-21		124	(104)	107	(92)	30	B	(円形)		**9。**		23	5
SK-5	C-21		247	237	242	207	52	C	円形		**3。**		23	5
SK-6	B-21		88	76	71	64	17	B	不整円形				23	5
SK-7	B-21		190	141	163	114	22	B	隅丸三角形	P1 35×24×13			23	5
SK-8	B-20		168	159	182	166	33	E	円形		**6、7。**		23	6
SK-9	B-22	SK-1より古。	(139)	(93)	(120)	(63)	29	B	(不整楕円形)		**10。**		23	5
SK-12	B-20		109	72	87	65	17	B	楕円形		**4。**		23	6
SK-13	B-20		89	79	82	65	18	B	不整円形		**4。**		23	6
SK-14	B-20	SK-15より古。	253	210	232	190	20	B	不整円形		5、**6。**磨石1。		24	6
SK-15	C-20	SK-14より新。	130	(122)	113	(103)	18	B	円形		**8。**		24	6
SK-16	C-20		162	149	143	131	30	B	円形		**11。**磨石1。		24	6
SK-17	B-20	SK-10より古。	(155)	(116)	(140)	(100)	22	B	(不整楕円形)		**1。**		24	6
SK-19	C-20		240	222	207	204	24	B	円形		**5。**磨石1、石皿1。		24	6･7
SK-24	C-20	SK-51bより古。SK-23は不明。	264	224	294	262	43	E	不整円形		1、**9、10。**		24	7
SK-25	C-21	SK-26より新。	172	155	158	139	29	B	不整円形				24	7
SK-26	C-21	SK-25･27より古。	(72)	64	(61)	45	28	B	(不整楕円形)				24	7
SK-27	C-21	SK-26･28より新。	108	97	72	41	49	B	不整円形		**10。**		24	7
SK-28	C-21	SK-27より古。	67	(67)	37	32	45	B	円形		**7。**磨石1。		24	7
SK-29	B-21	SK-30より古。	222	203	210	205	30	C	円形		**4。**		25	7
SK-30	B-21	SK-29より新。	192	(168)	178	(146)	22	B	(隅丸方形)		**8、9。**		25	7
SK-31	C-21		117	95	106	87	11	A	楕円形		**12。**		25	8
SK-32	C-21		87	80	68	51	32	B	不整円形		**10。**		25	8
SK-38	C-20		68	61	58	53	20	B	円形		**10。**台石1。	埋甕	25	8
SK-39	C-20		80	65	76	62	18	B	不整円形				25	8
SK-40	C-21		158	145	152	133	29	C	不整円形		**3。**		25	8
SK-41	C-21	SI-1より古。	225	224	218	212	51	D	円形		2、**3**、4。掻削器2、石皿1。		25	8
SK-43	B-19	SK-53より新。	153	88	96	35	35	B	隅丸方形		2、**7～9**。		25	8
SK-45	C-21	SI-2より古。	(178)	155	(170)	143	33	C	(円形)		**4。**		26	
SK-46	C-21		95	84	76	67	29	B	円形		**8、9。**器台1。		26	8
SK-47	C-21		200	188	186	176	45	A	円形	P1 56×39×52	**4、5。**打製石斧1、磨石1。		26	9
SK-48	C-19		200	188	180	163	18	B	円形		**8、9。**台石1。		26	9
SK-49	C-19		120	100	100	86	20	B	楕円形		**7。**磨製石斧1。		26	9
SK-50	C-20		59	55	61	52	19	C	円形				26	9
SK-51a	C-20		209	182	183	165	26	B	不整円形		**8。**磨石1。		27	9
SK-52	D-20	SK-55･58より古。	210	192	202	193	34	C	円形	P1 38×27×4 P2 38×34×30	磨石1。		26	10
SK-53	B-19	SK-43より古。	200	182	108	108	34	B	隅丸方形		3、**4**、5。		25	8
SK-54	C-20	SK-55･56より古。	103	82	92	67	26	B	不整楕円形				27	
SK-58	D-20	SK-52より新。SK-59より古。	183	153	161	135	12	B	不整楕円形		**7。**磨石1。		26	10
SK-59	D-20	SK-58より新。	(85)	80	(76)	50	11	B	(円形)		**7。**		26	10
SK-60	D-20		197	178	203	183	50	C	円形		5、**7**、8。		27	10
SK-61	D-20		184	158	167	150	16	B	不整円形				27	10
SK-62	D-19		130	113	113	104	27	B	円形		石皿1。		27	10
SK-63	D-19	SK-124は不明。	221	205	194	179	13	B	楕円形	P1 33×32×18	**12。**		27	10
SK-66a	D-21		178	164	164	150	22	B	円形	P1 32×31×25 P2 37×[30]×28 P3 36×30×33	**5～7。**(磨製石斧1?。)		27	10
SK-66b	D-20	SK-88は不明。	(120)	113	(107)	94	28	B	(不整円形)		**5～9。**(土製円盤1?。)(磨製石斧1?。)		28	10
SK-67a	D-21		78	50	63	37	16	B	楕円形				28	10
SK-67b	D-20	SK-88より新。	140	(132)	(104)	(104)	36	B	(不整円形)		**4**、5。		28	10
SK-70	D-20	SK-71より古。	179	146	201	147	48	D	楕円形		**8。**		28	11
SK-74	D-21	SK-65･75より古。	191	182	177	169	22	B	円形		**10。**		28	11
SK-77	E-20		170	167	202	197	64	E	円形				28	11
SK-78a	E-21		156	140	139	130	32	B	円形		1、**10**。		28	11
SK-79	D-21		99	93	78	76	12	B	不整円形				28	11
SK-80	E-20		168	140	266	223	64	F	不整円形		5、**6**。		29	11･12
SK-82	E-20		127	127	176	171	46	F	円形		**4**、5。磨製石斧1。		29	12
SK-83	E-20		132	129	179	165	48	F	円形		2～**5**。磨石2。		30	12
SK-84	E-21	SI-4より古。	206	192	198	183	35	A	円形		**8～11。**土製円盤4。打製石斧1、石皿1。		29	13
SK-85	E-21	SK-98より古。SK-1072･1073は不明。	(278)	(236)	(220)	(195)	26	B	(円形)		1、**4**。		29	13
SK-87	E-21		86	79	80	66	17	B	不整円形		**1。**		28	13
SK-88	D-20	SK-67bより古。SK-66bは不明。	182	178	180	164	48	F	円形		**4～**9。(土製円盤1?。)		28	10
SK-89	E-21		115	110	99	96	12	B	円形		**10。**		29	13
SK-90	E-20		120	120	285	276	103	F	円形		5、**6**。石皿1、台石1。		30	13
SK-91	E-20		105	87	93	78	20	B	円形	P1 22×16×20	**9。**		30	
SK-92	E-20	SK-93より新。SK-137より古。SK-107は不明。	130	125	181	(166)	85	F	(円形)		**7。**		31	14
SK-93	E-20	SK-92･137より古。	90	(74)	241	210	92	F	(円形)		4、**5**、6。掻削器1、打製石斧1。		31	14

SK-94	E-20	SK-138より新。	134	111	119	90	27	B	隅丸方形		**10**、11。土製円盤1。		31	14
SK-95	E-20		74	67	55	43	26	B	円形				30	
SK-98	E-21	SK-85より新。SK-1073は不明。	(237)	(218)	(215)	(165)	49	B	(円形)	P1 57×50×95	**4～6。**		29	13
SK-100	E-21		114	84	102	70	18	B	楕円形		**9。**		30	15
SK-101	E-20		105	90	90	80	12	B	円形				30	15
SK-102	E-19	SK-103より新。	186	(165)	177	(164)	64	D	(円形)		**7、8。**		31	15
SK-103	E-19	SK-102より古。	105	(90)	253	242	98	F	円形		**6。**		31	15
SK-104	D-19		106	70	94	50	12	B	不整楕円形		**7、8。**		30	
SK-105	D-19	SK-111は不明。	160	115	132	92	36	B	不整楕円形		**11。**		31	15
SK-106	E-20	SK-110・134は不明。	158	149	210	194	56	F	円形		**4、5。**		32	15
SK-108	D-20		132	122	108	105	27	B	円形		2、**3**。打製石斧1、台石2。		32	16
SK-109	D-20		70	55	55	40	26	B	円形	P1 50×33×42	**3～6、8、9。**掻削器1。		30	
SK-110	E-19	SK-106は不明。	206	154	177	131	46	B	楕円形		4、**5**、6。		32	16
SK-111	D-19	SK-105は不明。	(128)	113	(98)	(87)	12	B	(円形)		石皿1。		31	
SK-112	D-19	SK-119より古。	(86)	65	(62)	50	40	B	(楕円形)		**4**～6。		32	16
SK-113	D-19	SK-116・119より新。	126	(124)	104	(110)	40	B	円形		**4～6、9～12。**		32	16
SK-116	D-19	SK-113より古。SK-117・125・132は不明。	194	189	229	194	74	F	円形	P1 62×45×14	**2～5。**ミニチュア1。石皿1。		32	16
SK-118	D-19		143	138	130	124	47	A	円形		8～**10**。磨製石斧1、磨石2、石皿1、台石1。		32	16
SK-119	D-19	SK-112より新。SK-113より古。SK-114・115は不明。	85	80	62	60	69	B	円形				32	16
SK-120	E-20	SI-3より古。	134	121	111	96	25	B	円形		**9。**		32	16
SK-121	D-19		100	96	84	76	10	B	円形	P1 40×27×42	**8、9。**		32	16
SK-122	D-19		188	154	165	126	35	B	円形		**4～7。**磨石1。		33	16
SK-123	D-19	SK-135・136より古。	219	197	228	200	45	C	円形		6、**7**。		33	17
SK-125	D-19	SK-131より古。SK-116・124は不明。	(180)	(140)	220	191	48	F	円形		**4**、5。		32	17
SK-126	D-19	SK-127より新。	141	(103)	127	(88)	16	B	隅丸長方形		**10、11。**掻削器1。		33	17
SK-127	D-19	SK-126・128より古。	190	108	66	35	39	B	不整楕円形		8、9、**10、11**。		33	17
SK-128	D-19	SK-127より新。	(137)	74	(120)	57	14	B	隅丸長方形		**12。**台石1。		33	17
SK-129	D-19	SK-152・153より新。	188	177	198	170	42	E	円形		1、4、5、**7**。台石1。		34	17
SK-130	D-18		93	93	70	63	45	B	円形		7、**8**。		33	17
SK-131	D-19	SK-125より新。	(80)	77	66	(62)	27	B	(円形)		7、**8**。		32	
SK-133	E-19		144	138	169	164	50	F	円形		2、**3**。石皿1。		33	17
SK-135	D-19	SK-123より新。	(143)	(143)	(123)	(120)	32	B	(円形)		8、**9**。		33	17
SK-136	D-19	SK-123より新。	(106)	(96)	(90)	(78)	49	B	(円形)		8～**10**。		33	17
SK-138	E-20	SK-94・137より古。	(73)	(60)	45	36	22	B	(楕円形)		石皿1。		31	14・18
SK-139	D-19	SK-154より新。SK-140・141より古。	(209)	(204)	(170)	(168)	25	B	(円形)		**5。**磨石1。		34	18
SK-140	D-19	SK-139・154より新。SK-141より古。	(172)	170	166	(160)	50	D	(円形)	P1 47×39×23 P2 50×(43)×27	5～**7**。磨石1、石棒1。		34	18
SK-141	D-19	SK-139・140・153・154より新。	(244)	(201)	(230)	(207)	50	D	(円形)		**7、8。**		34	
SK-142	E-19	SK-143より古。SK-158は不明。	(162)	156	194	(176)	34	E	円形		**4**～7。石皿1。		35	18
SK-143	E-19	SK-142より新。	(134)	130	(118)	117	26	B	円形	P1 49×33×17	**5、6。**		35	18
SK-144	E-19	SK-145より新。	210	200	214	194	42	C	円形	P1 (43)×35×34	6、**7**。磨石1。		33	18・19
SK-145	E-19	SK-144より古。	254	(136)	239	(120)	16	B	楕円形	P1 31×30×43 P2 29×28×41	**6。**		33	18
SK-146a	E-19	SK-146b・175より新。	(173)	(134)	不明	不明	23	(B)	(楕円形)		9、**10**。掻削器1、台石1。		36	19
SK-146b	E-19	SK-166より新。SK-146aより古。	189	(160)	262	230	56	E	円形		4～**6**。台石1。		36	19
SK-148	E-19	SK-147より古。	184	145	216	193	74	F	不整円形	P1 45×41×43 P2 68×54×48	**7。**打製石斧1。		36	19
SK-151	D-19	SK-152より新。	(118)	106	(98)	87	16	B	(円形)		**8、9。**		34	19
SK-152	D-19	SK-129・151より古。SK-153は不明。	(180)	168	(176)	160	28	D	(円形)		**4**～6。		34	19
SK-153	D-19	SK-129・141より古。SK-152は不明。	(175)	150	(215)	190	40	E	(円形)		3、**4**。		34	19
SK-154	D-19	SK-139・140・141より古。	(135)	(105)	(144)	(105)	24	E	(円形)		**4。**		34	20
SK-155	E-19	SK-170より新。SK-156より古。SK-1337は不明。	(215)	(147)	(190)	153	22	B	(楕円形)		**7、8。**磨石1。		35	20
SK-156	E-19	SK-155より新。SK-157より古。SK-1338は不明。	(158)	134	(133)	109	22	B	(円形)		8、**9**。		35	20
SK-157	E-19	SK-156より新。SK-1337・1338は不明。	(172)	172	145	141	21	B	(不整円形)		**10。**磨石1。		35	20
SK-158	E-19	SK-142は不明。	110	(76)	182	175	90	E	(不整円形)		**4。**石核1、磨石4。		35	20
SK-159	E-19	SK-173より古。	180	170	213	190	56	E	円形		2、**4～6**。		36	20
SK-160	F-19	SK-173より古。	198	187	236	226	63	E	不整円形		4～**6**、10、11。磨製石斧1、磨石4、石皿3。		36	20
SK-161a	E-19	SK-162aより新。	(107)	(90)	(100)	(68)	40	B	(円形)		4～6、**10**。		37	21
SK-162a	E-19	SK-161a・163aより古。SK-164は不明。	(273)	(196)	(249)	213	45	C	楕円形		**5**、7。		37	21
SK-162b	D-18	SK-163bより新。	(220)	(220)	(200)	(186)	43	B	(不整円形)		8、9、**11。**		37	21
SK-163b	E-18	SK-162bより古。	83	56	64	53	21	B	不整楕円形		**7。**		37	21
SK-165	E-19	SK-164・169・170・171は不明。	(138)	(125)	(112)	(93)	24	B	(円形)				35	
SK-166	E-19	SK-146b・167より古。	188	170	238	194	52	F	不整円形		**4。**磨製石斧1、磨石1、石皿1。		37	21
SK-167	E-19	SK-166より新。SK-168より古。SK-174は不明。	(200)	164	(188)	151	15	B	(楕円形)		3、4、7、**9**。		37	21

SK-168	E-18	SK-167・174より新。	(202)	(194)	(173)	(170)	36	B	(円形)		11、**12**。		37	
SK-170	E-19	SK-155・171より古。SK-165・169・189は不明。	142	(137)	(179)	160	51	E	(不整円形)		4、**5**、7、10、11。掻削器1、磨石1。		35	21
SK-171	E-19	SK-170より新。SK-165・169・189は不明。	182	(158)	162	(143)	30	B	(隅丸長方形)		6、**7**、**8**。石皿1、台石1。		35	21
SK-172	E-19	SK-176より古。	215	(162)	231	(208)	52	F	(円形)		**3**、4。石匙1、石皿1。		38	22
SK-173	F-19	SK-159・160より新。	278	(209)	268	(190)	26	B	(楕円形)	P1 55×50×47 P2 54×37×43	**10**、**11**?。		36	
SK-174	E-18	SK-168より古。SK-167は不明。	(130)	(130)	(113)	(109)	17	B	(円形)	P1 35×28×5	5～7、**9**。		37	
SK-175	E-19	SK-146aより古。	110	(107)	97	(89)	17	B	(円形)	P1 50×50×20	7、**8**。		36	22
SK-176	E-19	SK-172・188より新。SK-186は不明。	(130)	(130)	189	(180)	53	F	(円形)		**5**、**6**、11。		38	22
SK-177	F-19		75	70	64	60	17	A	円形		**11**。		37	22
SK-179	E-19	SK-180より古。	140	(118)	224	(190)	49	F	(不整円形)		**4**、**5**。石皿1。		38	22
SK-180	E-19	SK-179より新。SK-182・183より古。SK-181は不明。	(175)	140	210	(206)	52	F	(円形)		**5**～7。		38	22
SK-181	E-18	SK-180は不明。	(113)	(90)	(84)	(61)	21	B	(円形)				38	22
SK-182	E-18	SK-180・183より新。	[185]	139	[136]	123	39	B	(楕円形)		8～**10**。		38	22
SK-183	E-18	SK-180・184より新。SK-182より古。	(108)	(107)	(96)	(80)	26	B	(円形)		**6**、**7**、8～10。台石1。		38	22
SK-184	E-18	SK-183・185より古。	180	110	220	197	58	F	円形		**3**～5。石皿1。		38	22
SK-185	E-18	SK-184より新。	(75)	(70)	(60)	(54)	58	B	(不整円形)				38	22
SK-186	E-18	SK-188より新。SK-176は不明。	90	79	81	66	51	B	円形		**10**。		39	22
SK-188	E-18	SK-176・186より古。SK-190は不明。	不明	不明	(183)	(154)	48	C	(楕円形)		**3**、**4**。		39	22
SK-190	F-18	SK-188は不明。	(219)	(200)	(225)	(225)	68	F	(円形)		**2～7**。		39	23
SK-191	F-19	SK-192より古。	230	210	257	244	68	F	円形		2、**3**、**4**。磨製石斧1、磨石2。		39	23
SK-192	F-18	SK-191より新。	(117)	97	(95)	(72)	45	B	(楕円形)		10、**11**。		39	23
SK-193	D-18		134	124	113	102	7	B	円形				37	
SK-194	D-18		107	100	90	86	10	B	円形				37	23
SK-195	D-17		130	120	156	142	38	E	円形		**3**。		37	23
SK-196	C-17		106	97	172	150	57	E	円形		2、**3**。		39	23
SK-198	C-17	SK-199より古。	202	163	193	147	46	B	楕円形		**8～10**。		39	23
SK-199	C-17	SK-198より新。	(263)	161	75	58	79	B	(楕円形)		9、10、**11**、12、13。打製石斧1。		39	23
SK-201	C-17		84	78	70	65	10	B	円形				39	24
SK-202	C-17		118	110	102	90	28	B	不整円形		**11**、**12**。		40	24
SK-204	C-17		163	148	167	163	30	F	円形				40	24
SK-206	C-17		102	99	88	88	8	B	円形		**9**、**10**。		40	24
SK-209	C-16		206	198	177	164	69	B	円形		**4**。		40	24
SK-210	C-16	SK-211cより新。SK-211bより古。	153	148	123	(118)	40	B	(不整円形)		9、10、**12**。打製石斧1。		40	24
SK-211a	C-16		268	242	236	235	34	B	円形	P1 35×28×19	4～7、**10**。石皿1、台石1、(台石1?。)		40	24
SK-211c	C-16	SK-210・211bより古。	不明	不明	204	(166)	41	F	(楕円形)		**4～7**、10。台石1、(台石1?。)		40	24
SK-212	C-16		210	210	240	236	56	F	円形		**9**、10。磨石1。		40	24
SK-213	C-16	SK-214より新。SK-241は不明。	96	95	76	68	34	B	円形		**12**。		41	25
SK-214	C-16	SK-213・215より古。SK-241は不明。	(215)	177	(190)	(159)	25	B	(円形)		**5**。		41	25
SK-215	C-16	SK-214より新。	133	(120)	(98)	(98)	28	B	(円形)	P1 42×37×20			41	25
SK-216	D-16	SK-236より新。SK-1339・1340は不明。	191	190	179	169	30	B	不整円形	P1 24×22×7	**4**。		41	25
SK-217	D-16	SK-238は不明。	(203)	170	(194)	150	32	B	不整楕円形	P1 25×22×11	11、**12**。		41	25
SK-218	E-17		132	120	100	101	30	B	円形				41	25
SK-219	C-17	SK-197より古。SK-225は不明。	177	150	190	175	40	E	不整円形		3、**4**。		41	25
SK-222	C-16		102	93	96	85	22	A	円形		**10**。		41	25
SK-225	C-17	SK-219は不明。	71	(62)	50	(45)	9	B	円形				41	
SK-226	D-17		154	139	225	202	49	F	円形		3、**4**。打製石斧2、石皿1。		42	26
SK-227	C-15	SK-240より古。	(105)	102	(95)	91	10	B	円形	P1 30×23×32			42	26
SK-228	C-16		85	82	72	65	6	B	円形				42	26
SK-230	C-15	SK-231は不明。	74	(69)	62	(55)	17	B	(円形)				42	26
SK-232	C-15		113	101	86	82	80	A	円形		10、**11**。		42	26
SK-233	C-15		91	75	72	55	35	B	不整円形		**11**。		42	26
SK-234	C-15		119	99	104	94	12	B	隅丸長方形	P1 35×34×32	**4**。		42	26
SK-235	C-16		93	88	83	67	19	B	円形		**10～12**。		42	27
SK-236	D-16	SK-216より古。	163	144	142	133	23	B	不整円形	P1 24×23×27 P2 26×26×40 P3 29×25×41			41	27
SK-237	C-15		70	65	55	50	20	B	円形				42	27
SK-238	D-16	SK-217は不明。	(69)	62	(57)	44	28	B	(不整円形)				41	25
SK-239	C-15		79	77	52	48	64	B	円形		**11**、**12**。土製円盤1。		42	27
SK-241	C-16	SK-213・214は不明。	(116)	116	(92)	87	20	B	円形				41	25
SK-242	C-15		71	63	54	50	19	B	円形				42	27
SK-243	D-17		85	85	75	75	29	A	円形		**12**。		42	27
SK-244	D-17	SI-34より古。	(288)	231	(238)	205	[36]	B	(楕円形)		**5**。磨製石斧1、台石1。		42	27
SK-245	C-15		113	80	92	57	31	B	楕円形				42	27
SK-247	F-16	SK-246より古。	(136)	88	(111)	72	10	B	(楕円形)				43	
SK-248	F-16		182	140	105	75	17	B	不整円形				43	28

SK-249	D-16		187	137	(138)	(107)	23	B	不整楕円形	P1 20×20×21 P2 20×15×14 P3 45×31×6 P4 26×23×10 P5 50×44×54	5、6、**12**。		43	28
SK-251	D-16	SK-252より新。SK-253・254より古。	245	225	231	207	13	B	円形		**11。**		43	28
SK-252	D-16	SK-251より古。	162	157	150	143	20	B	不整円形	P1 43×40×45	**4。**		43	28
SK-253	D-16	SK-251より新。	85	76	73	65	15	B	円形		**12。**		43	28
SK-255	D-15		83	70	64	51	38	B	円形				42	28
SK-256	E-15		175	136	140	111	30	B	楕円形		**6。**		43	28
SK-257	D-16	SK-274は不明。	307	210	274	176	44	D	不整楕円形	P1 41×36×24 P2 48×30×5	3～**5**。		43	28･29
SK-258	D-16	SK-259より新。	236	206	(220)	161	39	B	円形	P1 70×52×33	**12。** 掻削器1。		44	29
SK-259	D-16	SK-258より古。	(96)	92	(78)	75	15	B	(不整円形)				44	29
SK-260	D-16		128	84	83	56	137	B	隅丸方形		7、9、10、**12**。	陥穴	44	29
SK-262	D-15	SK-263は不明。	102	(75)	92	(60)	14	B	楕円形	P1 34×33×21			44	29
SK-263	D-15	SK-262は不明。	108	98	59	57	68	B	円形		**11。**		44	29
SK-265	E-16	SI-5bより古。	239	(205)	201	182	23	B	円形	P1 32×30×40 P2 62×50×35	**8。**		44	29
SK-267	E-15		104	95	85	82	28	B	円形		**12。**		44	30
SK-268	C-15	SK-269は不明。	77	(62)	59	(52)	18	B	(不整円形)	P1 14×12×12 P2 42×25×22	**10、11。**		44	30
SK-269	C-15	SK-268は不明。	84	(60)	66	(46)	10	B	(不整円形)		**10、11。**		44	30
SK-270	C-15		90	81	72	63	16	B	不整円形		**8、9。**		44	30
SK-271	D-15		129	115	110	92	28	B	不整円形	P1 22×22×34	10、**12**。		44	30
SK-272	D-15	SK-273・287は不明。	128	125	115	110	38	B	不整円形		**12。**		44	30
SK-273	D-15	SK-272・287・290は不明。	(130)	123	109	100	28	B	(不整円形)		**12。**		44	30
SK-274	D-16	SK-257は不明。	(160)	(160)	(120)	(120)	22	B	(不整円形)		**4～6。**		43	28
SK-275	D-16	SI-34より古。	107	91	78	73	39	B	円形		**11、12。**		45	30
SK-277	C-15		137	59	(111)	(44)	20	B	楕円形	P1 44×40×22 P2 40×34×36	**11。**		45	
SK-280	C-15		112	98	96	74	15	B	(楕円形)	P1 75×50×24 P2 63×45×22	**11。**		45	30
SK-282	C-15		102	76	89	66	10	B	不整楕円形	P1 56×45×24 P2 54×37×25	**10～12。**		45	31
SK-285	D-15		118	87	81	54	28	B	楕円形		**10。** 掻削器1。		45	31
SK-286	D-15		135	115	122	99	24	B	円形		**10、12。**		45	31
SK-287	D-15	SK-272・273は不明。	(120)	(110)	(95)	(90)	24	B	(円形)				44	30
SK-289	D-15		70	53	54	40	29	B	楕円形		**12。** 土製円盤1。		45	
SK-290	D-15	SK-273は不明。	100	88	82	75	20	A	円形				44	30
SK-291	D-15		151	151	132	125	49	B	円形	P1 56×55×8	**11。** 蓋1。土製円盤6。打製石斧1。		45	31
SK-292	E-16	SK-334より新。SI-38より古。	(198)	(198)	(186)	(186)	40	A	(円形)	P1 40×26×17	**12。** 土偶1。		46	31
SK-293	D-15		130	110	122	97	9	B	不整円形	P1 45×42×43 P2 56×42×21	**8～10、12。**		45	31
SK-294	D-15		192	124	177	108	15	B	楕円形				45	31
SK-297	E-15		92	77	85	64	15	A	楕円形		**12。**	埋甕	46	31
SK-298	E-15	SI-40より古。	(85)	(67)	(71)	(46)	13	B	(楕円形)	P1 24×21×24			45	32
SK-299	F-15	SI-40より古。	123	79	94	54	44	B	楕円形				45	32
SK-300	F-15	SI-40より古。	(160)	155	(150)	141	11	B	(円形)		**12。**		45	32
SK-301	C-14		100	92	78	72	14	B	不整円形		**6、7。**		46	32
SK-307	C-14	SK-319は不明。	168	(102)	149	(83)	24	B	不整形	P1 52×39×33 P2 44×40×24	**11。**		46	32
SK-308	C-14		116	96	69	63	46	B	円形		**10。** 石鏃1。		46	32
SK-319	C-14	SK-307は不明。	137	105	(119)	83	31	B	不整楕円形	P1 37×35×12			46	32
SK-320	D-14	SI-46、SK-314より古。SK-315は不明。	(153)	(150)	(129)	(125)	42	B	(不整円形)	P1 52×45×7			46	32
SK-321	C-14		(110)	(110)	(90)	(90)	16	B	(円形)				46	
SK-324	E-15	SI-40より古。	174	109	153	65	73	B	楕円形	P1 26×26×12 P2 30×30×39	**4～6、12。** 打製石斧1。	陥穴	47	33
SK-326	D-14	SK-314より古。SK-328は不明。	(160)	(160)	(140)	(140)	44	B	(不整円形)		9、**10**。		46	32
SK-328	D-14	SK-314より古。SK-326は不明。	312	222	284	176	104	B	不整楕円形	P1 49×42×18	7、8、**9～12**。土製円盤2。石鏃2。	陥穴	47	33
SK-330	C-13		149	76	115	36	20	B	楕円形				47	33
SK-331	C-13		120	105	110	92	12	B	円形		**11。**		47	33
SK-333	D-14	SI-46より古。	105	92	78	72	39	B	円形		11、**12**。		47	33
SK-334	E-16	SI-38、SK-292・335より古。	228	203	202	190	60	B	円形		2、**3**。		46	33･34
SK-335	D-16	SK-334より新。	(98)	(98)	(70)	(70)	40	B	(円形)		**4～6、10、12。**		46	33･34
SK-339	E-14	SK-340より古。	179	(142)	162	(130)	10	B	円形	P1 36×36×24			47	34
SK-343	F-14		170	84	154	70	20	B	不整楕円形	P1 64×34×23 P2 40×26×21			47	34
SK-344	F-14		136	112	120	88	15	B	不整楕円形				47	34
SK-355	F-14		60	52	45	36	26	B	円形				47	34
SK-357	C-13		120	110	93	90	18	B	円形				47	34
SK-358	D-13	SK-368・1396は不明。	(162)	114	(102)	71	42	B	(不整楕円形)		**9～12。**		48	34
SK-359	D-13	SK-360は不明。	167	102	150	92	40	B	楕円形	P1 38×35×10	10、**11**。		48	34
SK-360	D-13	SK-359・1400は不明。	(99)	94	(92)	84	20	A	円形		**9、10。**		48	34
SK-361	C-11		135	102	117	75	11	B	不整楕円形				47	
SK-364	C-12		150	134	115	114	19	B	不整円形		8、**10**。磨石2。		47	34
SK-365	C-12		162	158	119	96	21	B	不整円形	P1 22×20×21 P2 27×20×20	**12。**		48	35
SK-366	D-13		198	151	141	70	47	B	不整楕円形		11、**12**。		48	35
SK-367	D-13		184	116	154	81	42	B	楕円形		**11。**		48	35
SK-368	D-13	SK-358・1395は不明。	119	(95)	87	(76)	26	B	(不整楕円形)		**10。**		48	34
SK-370	D-12	SK-371は不明。	70	61	43	34	34	B	不整円形		**8～11。**		48	35

SK-371	D-12	SK-372より新。SK-370は不明。	143	135	110	110	13	B	円形	P1 47×41×10	**11。**		48	35
SK-372	D-12	SK-371より古。	117	(114)	98	(92)	19	B	円形	P1 40×30×14 P2 39×35×12	7、**10**。土製円盤1。		48	35
SK-374	D-12	SK-375は不明。	(136)	(111)	(120)	(91)	18	B	(円形)	P1 60×42×9	**3、5～10。**		49	
SK-375	D-12	SK-374・1444は不明。	120	(110)	103	(75)	16	B	(不整円形)				49	
SK-376a	D-12	SK-735・736は不明。	84	82	76	75	6	A	円形	P1 34×31×12	**12。**		48	
SK-377	D-13	SK-730は不明。	86	76	64	51	37	B	円形		**11。**		48	35
SK-378	D-13	SK-735・1404は不明。	98	96	80	77	25	B	不整円形		**11。**		48	35
SK-379	D-13		89	74	60	55	37	B	円形				49	35
SK-380	E-12	SK-381より古。	104	95	86	76	23	B	不整円形	P1 30×18×5	6、7、**8**。		49	35
SK-381	E-12	SK-380より新。SK-382は不明。	100	90	72	63	18	B	円形	P1 30×29×7 P2 35×30×14	**10。**		49	35
SK-382	E-12	SK-381は不明。	106	(89)	75	(72)	8	B	円形				49	35
SK-383	D-12		130	108	111	87	10	B	円形	P1 43×35×7	**8。**		49	
SK-384	D-12		129	85	75	70	44	B	不整円形		**6、8、10。**土製円盤1。		49	36
SK-386	E-12		122	70	110	53	18	B	楕円形	P1 40×27×12 P2 63×46×21	**10。**		49	
SK-391	E-12		122	115	101	96	34	B	円形	P1 34×21×12 P2 25×23×11	2、3、8、**9**。		49	36
SK-397	D-12		98	79	89	55	73	B	楕円形		8、9、11、**12**。打製石斧1。		49	
SK-398	E-13		170	94	150	79	12	B	楕円形	P1 23×22×23 P2 25×20×11	**3、4。**		49	
SK-399	E-13		145	125	(130)	108	14	B	円形	P1 89×77×22	**9。**石皿1。		49	36
SK-401	E-13		87	77	63	59	26	B	円形		9、**10、11**。土製品1。		49	36
SK-402a	E-12	SK-402b・1421は不明。	128	118	103	100	23	B	円形		10、**11、12**。		49	36
SK-402b	E-12	SK-402aは不明。	(112)	(82)	(87)	(61)	7	B	(楕円形)	P1 25×22×12	10、**11、12**。		49	36
SK-403	E-12		132	112	110	86	8	B	楕円形	P1 25×24×15 P2 26×22×9			49	
SK-404	E-12		91	90	72	72	10	B	円形		?		49	
SK-405	E-12	SK-411は不明。	113	100	96	80	11	B	円形	P1 45×45×37 P2 32×32×45 P3 40×30×33	**10。**		50	
SK-406	E-12		91	75	71	64	14	B	不整円形		**10。**		50	
SK-408	E-12		79	75	61	60	10	B	円形	P1 39×40×17	**10。**		50	
SK-409	E-12		81	67	66	51	8	B	不整円形				50	
SK-410	E-12		118	(86)	101	(68)	10	B	不整形	P1 45×42×10 P2 51×45×13 P3 33×24×10 P4 41×38×20	**12。**		50	
SK-411	E-12	SK-405は不明。	85	75	(57)	52	9	B	円形	P1 34×33×9 P2 30×25×40 P3 30×20×13			50	
SK-412	F-13	SK-454は不明。	120	100	98	75	14	B	楕円形				50	36
SK-413	E-13		95	84	80	66	14	B	円形				50	
SK-415	E-12		88	(70)	76	(55)	7	B	不整楕円形	P1 24×22×14 P2 23×20×16 P3 32×21×8 P4 27×18×20	**7、8。**		50	
SK-417	E-12		100	84	81	73	14	B	円形	P1 24×20×15	**12。**		50	
SK-418	E-12		95	90	85	80	9	B	円形				50	
SK-419	F-11		95	72	66	55	15	B	楕円形		**9、10。**		50	
SK-420	F-11	SK-421より新。	76	(61)	61	(45)	11	B	(円形)		**12。**		50	
SK-421	F-11	SK-420より古。	(106)	84	(101)	65	13	B	(不整楕円形)	P1 61×38×11	7、9、**10**。		50	
SK-422	F-11		78	76	64	59	42	B	円形		**8、9、10。**		50	36
SK-423	F-11	SK-1514は不明。	115	85	89	72	48	B	楕円形		**10。**		50	36
SK-425	E-11		127	108	114	96	16	B	不整円形		**11。**		50	37
SK-427	E-11		117	115	85	77	30	B	円形		**11。**		50	37
SK-430	F-11	SK-1512は不明。	86	76	51	50	10	B	円形				50	
SK-431a	E-12	SK-431bは不明。	68	66	39	33	42	B	不整円形		**7。**		51	
SK-431b	E-12	SK-431aは不明。	(90)	76	(60)	46	30	B	不整円形		**7。**		51	
SK-432	E-12	SK-433より古。	174	(130)	152	(67)	18	B	不整形	P1 28×21×9 P2 35×30×2 P3 40×35×11 P4 72×60×21	7、**10**。		51	
SK-439	F-11	SI-7より古。	202	102	160	53	43	B	不整形		6、**7～9、11、12**。		51	
SK-440	E-12		91	75	69	65	4	B	円形	P1 56×36×26	**11。**		51	
SK-441	E-12	SK-442より新。	93	70	48	34	30	B	楕円形				51	
SK-442	E-12	SK-441・443より古。	(50)	50	20	15	30	B	円形				51	
SK-443	E-12	SK-442より新。	117	110	91	90	36	B	円形	P1 48×47×12	8、**9、12**。		51	37
SK-444	E-12		159	102	149	85	10	B	楕円形	P1 64×62×28 P2 55×52×25	**4～6。**		51	
SK-445	F-12		170	140	153	121	16	B	不整楕円形	P1 57×54×20	**12。**		51	37
SK-446	F-12		120	(109)	101	(100)	23	B	(円形)				51	37
SK-449	F-13	SK-452より古。	195	130	72	38	53	B	不整形		**12。**		51	
SK-454	F-13	SK-453より古。SK-412は不明。	142	133	129	(115)	32	B	隅丸方形		土製円盤1。		50	
SK-455	F-12	SK-456は不明。	(120)	(103)	(100)	(98)	20	B	(不整形)	P1 38×27×14 P2 46×31×15	**12。**		52	
SK-456	F-12	SK-455は不明。	(132)	126	(89)	(79)	17	B	(不整円形)	P1 65×40×6 P2 75×57×8 P3 60×47×11			52	
SK-457	F-11		(106)	(84)	(92)	(69)	8	B	不整形	P1 50×42×18 P2 59×44×10	**8、9。**土製品1。		51	

SK-458	F-11	SI-6より古。	(103)	(103)	(94)	(94)	14	B	(円形)		**11。**打製石斧1。		51	
SK-459	F-12	SK-460より新。SD-3は不明。	[88]	53	64	30	31	B	不整楕円形		**12。**		52	
SK-460	F-12	SK-459、SD-3より古。	(210)	(190)	(175)	(170)	17	B	(不整円形)	P1 36×31×21 P2 22×21×9	打製石斧1。		52	
SK-461	F-12		165	140	149	123	15	B	不整形	P1 41×29×9 P2 23×23×13 P3 26×25×25 P4 20×17×11 P5 42×34×6	**8、9。**土製円盤1。		52	
SK-462	E-12	SK-463より古。SK-466は不明。	(156)	(125)	145	(110)	14	B	不整形	P1 45×38×3 P2 54×43×22			52	
SK-463	F-12	SK-462より新。SK-464より古。	(102)	(99)	(93)	(86)	10	B	(円形)				52	
SK-464	F-12	SK-463より新。	102	46	83	27	24	B	楕円形		**11。**石皿1。		52	
SK-466	E-12	SK-462は不明。	112	89	82	67	22	B	不整形	P1 46×40×21	**7。**		52	
SK-468	B-13		[200]	[100]	[50]	[40]	92	B	不明	P1 56×45×54	10、**11。**土製円盤3。石皿2。		52	37
SK-469	D-12		34	32	22	20	11	(B)	楕円形		**11。**	埋甕	52	37
SK-470	D-11		40	40	30	30	22	(B)	円形		**11。**	埋甕	52	37
SK-478	D-10		291	245	268	224	21	B	楕円形	P1 32×21×9 P2 18×15×15 P3 40×31×12 P4 106×95×28 P5 25×18×9 P6 21×17×20 P7 25×25×43 P8 25×19×44	**2、7～10。**磨製石斧1。		53	38
SK-479	D-10	SK-480より古。	170	120	128	76	44	B	楕円形	P1 41×22×20 P2 40×19×22	**8**、9。		53	38
SK-480	D-10	SK-479より新。	(217)	174	(153)	110	50	B	(楕円形)	P1 20×20×15 P2 25×21×15 P3 40×35×39	**9。**ミニチュア1。		53	38
SK-481	C-10	SK-487より古。	131	120	98	90	38	B	円形		**7。**		53	38
SK-482	D-10		94	91	(80)	75	10	B	円形	P1 48×44×8			53	
SK-483	D-10		205	149	171	126	13	B	楕円形				53	
SK-486	D-11		207	191	186	169	18	B	不整形	P1 91×63×16	9、10、**11、12**。		53	
SK-487	C-10	SK-481より新。	191	89	176	68	16	B	楕円形	P1 18×17×15	**8、9。**		53	38
SK-489	D-10		86	85	65	61	26	B	円形		**12。**		53	
SK-492	D-10		62	60	51	51	11	B	円形		**9。**	埋甕	54	38
SK-493	D-10		136	82	109	59	5	B	楕円形	P1 25×21×7			53	
SK-494	D-10		100	65	71	42	17	B	楕円形		**10。**		54	
SK-496	D-10	SK-521aは不明。	74	74	58	58	11	B	円形	P1 56×41×11	9、**10。**		54	
SK-497	D-10		175	152	60	54	34	B	不整円形	P1 25×20×30 P2 23×19×37	12、**13。**小型石皿・器1。		54	38
SK-498a	D-10		76	70	61	58	11	B	円形	P1 36×30×40	**12。**		54	
SK-498b	D-10		97	96	66	61	14	B	円形		**12。**		54	
SK-499	D-10		92	80	59	54	23	B	不整円形				54	
SK-500	D-10	SK-528は不明。	204	104	157	60	42	B	楕円形	P1 25×21×16	10、**12**。土製円盤1。打製石斧1。		54	38
SK-517	D-10		78	74	63	60	11	B	円形				54	
SK-518	C-10	SK-519より古。	(220)	(169)	(200)	(149)	42	B	(楕円形)	P1 82×68×31 P2 120×(106) ×19 P3 39×29×39 P4 21×18×11	9、**11**。		54	39
SK-519	C-10	SK-518より新。	(230)	(110)	(198)	(92)	17	B	隅丸長方形	P1 28×25×20	**12。**		54	39
SK-521a	D-10	SK-496は不明。	232	(105)	208	80	20	B	楕円形	P1 25×21×28	**7。**土偶1。		54	
SK-524	D-10		71	65	55	49	10	B	円形		**8、9。**		53	
SK-525	D-10		222	95	203	75	12	B	不整楕円形	P1 29×19×23 P2 25×21×18 P3 22×22×16	打製石斧1、台石1。		55	39
SK-526	D-10	SK-527は不明。	164	(130)	140	(110)	14	B	(楕円形)	P1 21×20×32	9、**12**。		55	39
SK-527	D-10	SK-526は不明。	(149)	145	(130)	125	11	B	(円形)	P1 19×14×18 P2 34×28×39			55	39
SK-539	E-10		159	92	131	71	15	B	楕円形	P1 30×22×10	8、**9**。		55	
SK-541	E-10		90	78	29	27	48	B	円形		磨石1。		55	39
SK-544	E-10	SK-545より新。	115	(114)	99	(94)	17	B	(隅丸方形)		7～**10**。		55	
SK-545	E-10	SK-544より古。	97	83	35	23	55	B	円形		**8。**		55	
SK-547	E-10	SI-11より古。SK-540は不明。	77	76	48	36	20	B	円形		**12。**		55	
SK-550	E-10		119	104	(88)	75	22	B	円形	P1 35×33×11 P2 53×35×14	**9、10。**		55	39
SK-552	E-9		106	105	97	88	14	B	円形		10、**11**。		55	
SK-553	E-9		190	121	164	106	15	B	楕円形	P1 21×20×16	**4～6。**		55	
SK-554	E-9		106	89	10	8	96	B	円形		**12。**		56	
SK-555	E-9		135	110	121	86	24	B	楕円形				55	
SK-556	E-9	SK-557は不明。	(234)	139	(210)	100	25	B	(楕円形)	P1 40×30×24	**8～12。**打製石斧1。		55	
SK-557	E-9	SK-556は不明。	(143)	(85)	(110)	(52)	16	B	(楕円形)	P1 65×40×24	**12、13。**		55	
SK-559	E-9		120	106	98	92	14	B	円形	P1 54×40×48			56	
SK-560	D-9		103	86	90	67	11	B	隅丸方形				56	
SK-562	E-9	SK-581は不明。	107	105	83	80	20	B	円形		**8～10。**磨石1。		56	
SK-566	E-9	SI-20は不明。	80	70	66	54	[11]	B	隅丸方形				56	
SK-579b	E-9		85	73	65	52	10	B	隅丸方形				56	
SK-580a	E-9		65	60	46	44	16	B	円形		**12。**		56	
SK-581	E-9	SK-562は不明。	100	94	80	71	17	B	不整円形				56	
SK-582	E-9	SK-583より新。SI-20より古。	225	152	194	125	22	B	楕円形	P1 124×87×22	**9。**		56	39
SK-583	E-9	SK-582より古。	(174)	(100)	(134)	(80)	18	B	(楕円形)				56	39
SK-584a	E-9	SK-595より新。	240	163	185	69	36	B	不整楕円形	P1 25×19×10	11、**12**。台石2。		56	40

SK-584b	E-9		108	84	90	47	32	B	不整形	P1 28×25×18			56	39
SK-585	E-9		194	114	180	102	19	B	不整楕円形	P1 41×27×20 P2 37×30×8 P3 30×14×7	9、**11**。		56	39
SK-587	E-8	SK-588より新。	128	(83)	100	(56)	8	B	(楕円形)		**12。**		57	40
SK-588	E-8	SK-587より古。SK-589より古。	(118)	96	(86)	68	14	B	(不整円形)		**11。** 打製石斧1。		57	40
SK-589	E-9	SK-588より新。SK-596より古。SI-20、SK-634は不明。	147	72	120	50	24	B	楕円形				57	40
SK-590	E-8		108	88	72	54	28	B	楕円形		**9。**		57	40
SK-591	E-8	SK-592は不明。	106	90	69	60	21	B	不整円形		**12。**		57	40
SK-592	D-8	SK-618より古。SK-591は不明。	(171)	153	(158)	132	8	B	(不整円形)		**12。** 打製石斧2、石棒1。		57	40
SK-593	E-8	SK-619は不明。	193	137	(155)	104	14	B	不整楕円形		**9**、10。打製石斧1。		57	
SK-594	E-8		127	93	66	45	27	B	楕円形				57	
SK-595	E-8	SK-584aより古。	(150)	132	(120)	95	18	B	(不整円形)	P1 35×30×8	**11。**		56	40
SK-596	E-9	SK-589・633より新。SI-20より古。	(90)	(90)	(65)	(63)	8	B	(円形)		**11。**		57	
SK-597	E-8		76	76	64	56	16	B	円形				57	39
SK-601	F-8		(121)	103	(100)	79	11	B	(楕円形)		**12。**		57	40
SK-602	F-7		65	53	55	47	12	B	円形		10、**11**。		57	40
SK-603	F-7		100	85	90	75	19	A	円形		**12。**		57	40
SK-604	F-7	SD-4は不明。	120	106	107	90	20	B	円形		**10。**		57	40
SK-607	F-7		89	77	81	67	20	A	円形		**11。**		58	40
SK-608	F-7		114	100	97	80	14	B	円形		**8、9。**		58	40
SK-609	F-7		75	72	38	33	43	B	円形		**9。** 土製円盤1。		58	40
SK-610	F-7		84	71	64	51	18	B	円形				58	41
SK-611	F-7		104	86	90	76	18	B	円形				58	41
SK-612	E-6	SI-57より古。SK-721は不明。	103	100	70	62	80	B	円形				58	41
SK-613	F-7		72	68	59	55	10	B	円形				58	41
SK-615	F-7	SK-624より新。	75	67	35	30	45	B	円形		**11。** 土製円盤1。		58	41
SK-616	E-7	SK-624は不明。	112	90	96	64	28	B	不整楕円形	P1 45×28×22	**9。**		58	41
SK-620	E-8	SK-649・653より新。SK-621より古。	100	93	71	68	33	B	円形		**12。**		59	41
SK-621	E-8	SK-620より新。SK-622より古。SK-649は不明。	130	(118)	111	(96)	19	B	(円形)		10～**12**。		59	41
SK-622	E-8	SK-621より新。	(105)	90	(73)	61	18	B	(円形)				59	41
SK-623	E-8		119	108	96	92	30	B	円形		10、**11**。台石1。		58	41
SK-624	E-7	SK-615・625より古。SK-616は不明。	278	(167)	268	147	25	B	隅丸長方形		**9。**		58	41
SK-627	F-9		(220)	168	(196)	137	24	B	(不整楕円形)	P1 50×34×12	7、**8～12**。		59	41
SK-628	F-7		88	88	76	71	20	B	隅丸方形				58	42
SK-629	E-8		99	93	75	74	74	B (D)	円形		11、**12**。蓋1。磨石1。		58	42
SK-633	E-9	SI-20、SK-596より古。	100	(91)	71	68	14	B	不整円形		**9。**		57	
SK-634	D-8	SI-20より古。SK-589は不明。	(193)	136	(168)	105	20	B	不整楕円形		10、**11**。		57	42
SK-635	E-8		79	68	17	12	57	B	円形		**10、11。**		59	
SK-637	E-8	SK-638より古。	(79)	69	(70)	56	17	B	(円形)				58	41･42
SK-638	E-8	SK-637・639より新。	102	(102)	85	(83)	21	B	(不整円形)		**9。** 打製石斧1。		58	41･42
SK-639	E-8	SK-638より古。	(116)	114	(100)	92	13	B	(円形)		**8。**		58	41･42
SK-640	E-7		90	72	74	61	29	B	円形	P1 44×34×45	**8。**		59	42
SK-641	E-8		98	96	81	81	17	B	円形		**10。**		58	42
SK-643	F-7	SK-644は不明。	117	97	86	78	41	B	不整円形		8、**9**、10。		59	42
SK-644	E-7	SK-643は不明。	130	(115)	106	(100)	22	B	隅丸方形		**9。**		59	42
SK-645	E-7		103	97	72	68	41	B	円形		**9～11。**		59	42
SK-646	E-7	SI-24は不明。	118	97	90	73	23	B	隅丸方形				59	43
SK-649	E-8	SK-620より古。SK-621は不明。	(158)	(147)	(135)	(127)	20	B	(円形)	P1 26×25×15			59	41
SK-650	E-8	SK-670は不明。	108	99	86	74	30	B	不整円形		**9～12。**		59	43
SK-651	E-7		116	115	75	71	40	B	円形		10、**11**。		60	43
SK-652	E-8		44	38	25	23	26	B	円形		**9。**		60	
SK-653	E-8	SK-654より新。SK-620より古。	(95)	94	(80)	78	13	B	(不整円形)		**10。**		59	41
SK-654	E-8	SK-653・655より古。	152	122	136	80	28	B	楕円形		8、**9**。		59	41
SK-655	E-8	SK-654より新。	(109)	81	(95)	65	15	B	(不整楕円形)		9、**10**。		59	41
SK-656	E-8	SK-657より新。	(110)	60	27	21	38	B	(楕円形)				60	43
SK-657	E-8	SK-656より古。SK-658は不明。	(101)	(93)	(83)	(75)	11	B	(円形)				60	43
SK-658	D-8	SK-657は不明。	119	116	97	95	23	B	不整円形		10、**12**。		60	43
SK-659	D-7		108	93	77	64	52	B	円形		9、**10**。打製石斧1。		60	43
SK-660	E-7	SI-25より古。	97	76	75	66	92	B	楕円形		**9**、10。		60	
SK-684	D-7		101	100	75	61	23	B	不整円形		**9。**		60	43
SK-685	D-8		119	91	93	82	16	B	隅丸方形	P1 36×30×52	**9。**		60	42
SK-687	D-9		143	111	121	90	24	B	楕円形		**12。**		60	43
SK-691	D-9	SK-692は不明。	187	161	100	97	54	B	不整円形	P1 73×59×20	**10。**		60	44
SK-692	D-9	SK-691は不明。	130	(105)	107	(79)	11	B	(隅丸方形)	P1 22×19×14 P2 23×22×15			60	44
SK-693	D-9	SI-14より古。	(217)	173	(195)	153	27	B	(楕円形)		**12。**		61	44
SK-694	D-9	SI-12より古。	157	106	83	63	35	B	楕円形				61	44
SK-695	D-9	SK-696より古。	103	(98)	83	(78)	19	B	(円形)		**7、8。**		61	44
SK-696	D-9	SK-695より新。	113	93	79	61	28	B	楕円形		10、**11**。		61	44
SK-697	E-7		144	117	(96)	72	38	B	不整円形	P1 45×42×35	**9。**		61	
SK-702	E-8	SK-703は不明。	221	124	200	100	40	B	不整形		**11。** 打製石斧2、磨石1。		61	44

SK-703	D-7	SK-702は不明。	66	(59)	47	47	39	B	(円形)		**8～10**、11。		61	44
SK-705	D-7	SI-25より古。SK-704は不明。	[180]	[74]	[138]	[64]	21	B	不明				61	
SK-706	D-7		193	183	200	184	88	E	円形		**4～6**？。		61	43･44
SK-711	D-7		175	152	123	108	43	B	円形		9、**12**。		62	
SK-713	D-8		184	177	169	160	48	B	円形	P1 19×16×14 P2 21×19×9	**11。** 石皿2。		62	44
SK-715	D-9	SI-12より古。	164	131	120	106	30	B	楕円形		**11。**		62	
SK-717	D-9	SK-716・719より古。	178	(166)	152	(137)	45	B	円形		**12。**		62	45
SK-718	D-9	SI-14より古。	89	(83)	(66)	64	8	B	(不整形)	P1 30×23×18			61	
SK-720	D-8	SI-13より古。	101	100	74	70	33	B	不整円形		**7～9。**		61	
SK-721	E-7	SI-57より古。SK-612は不明。	177	163	158	155	20	B	円形		**9、10。** ミニチュア1。土製円盤2。		58	41
SK-790	E-6	SI-24は不明。	120	105	92	91	82	B	円形		**9。** 打製石斧1。		62	
SK-791	E-6	SI-29より古。	90	82	66	62	102	B	円形		**4**～6、**11**。		62	45
SK-792	D-5	SI-31より古。	147	136	124	116	[42]	B	円形		**12。** 土製円盤1。打製石斧1。		62	
SK-793	E-5	SI-33より古。	183	139	88	83	[31]	B	不整楕円形		**12。**		63	
SK-795	F-8	SI-21・22より古。	165	163	143	142	56	B	円形		**12。**		63	
SK-796	F-11	SI-7より古。	[128]	[75]	[93]	[60]	13	B	不明				63	
SK-797	E-4	SI-32より古。	116	95	103	85	[54]	B	円形				63	
SK-798	D-4	SI-32より古。	120	112	83	80	[15]	B	円形				62	
SK-800	D-8		101	74	79	61	21	B	楕円形	P1 30×15×9 P2 46×33×30 P3 19×13×12			62	
SK-802	F-4	SI-36より古。	145	120	108	93	[54]	B	楕円形		**4～7、11、12。**		63	45
SK-803	D-8		128	90	100	70	18	B	不整楕円形	P1 45×42×30 P2 30×28×18 P3 43×36×17	**10。**		63	
SK-804	D-8		87	62	71	45	23	B	楕円形	P1 37×36×33	**9、10。**		63	
SK-805	D-8		158	78	149	68	10	B	隅丸長方形	P1 30×28×22			63	
SK-807	D-9		60	55	45	40	10	B	円形		**10～12。** 打製石斧1。		63	
SK-809	D-8	SI-13、SK-808より古。	(105)	(97)	(86)	(82)	20	B	不整形				63	
SK-816	F-6		150	140	116	91	32	B	円形		9～**12**。		63	45
SK-817	F-6		81	75	60	53	23	B	円形	P1 30×21×10			64	
SK-818	F-6		242	151	161	100	43	B	隅丸長方形		9、**12**。磨製石斧1、台石1。		63	45
SK-819	F-6		190	104	(118)	80	20	B	不整楕円形	P1 22×21×15 P2 30×23×12	**10。** 磨石2、台石1。	集石	64	45
SK-820	F-6		95	80	81	73	33	B	円形		**9。**		64	45
SK-821a	E-6	SK-821bは不明。	122	100	68	56	44	B	不整円形		10、**11**。(土製円盤1、打製石斧1?)		64	
SK-821b	E-6	SK-821aは不明。	(130)	(105)	(106)	79	28	B	(楕円形)		10、**11**。(土製円盤1、打製石斧1?)		64	
SK-822	E-6		89	82	70	(59)	30	B	円形	P1 47×33×7 P2 25×20×26			64	
SK-823	F-6		75	74	47	40	38	B	円形		**10。** 石皿2。		64	45
SK-824	F-6		80	53	58	43	21	B	楕円形				64	
SK-825	F-5		98	(82)	83	(65)	17	B	(楕円形)	P1 65×55×37	**10。**		64	46
SK-826a	D-8	SI-23より古。	154	96	145	84	8	B	楕円形				64	
SK-826b	F-5		84	84	72	62	15	B	円形	P1 24×19×16			64	46
SK-828	F-5		100	84	85	66	18	B	円形				64	
SK-829	F-5	SI-35より古。	124	81	94	57	23	B	不整形		**9、10。**		64	
SK-830	E-5		172	115	78	72	65	B	楕円形		10、**11**、12。土製円盤1。磨石2、石皿1、台石1。		64	46
SK-832	F-5	SI-44より古。	95	79	70	65	26	B	不整形	P1 24×20×59 P2 35×20×72	**8。**		65	
SK-833	E-5		86	78	57	40	42	B	円形		**12。**		65	
SK-834	E-6		130	123	89	84	43	B	円形		**12。**		64	46
SK-835	D-6		143	116	105	77	22	B	不整円形	P1 36×27×24	台石2。		65	46
SK-836	D-6	SK-845・846は不明。	121	117	87	67	38	B	不整円形		**10。**		65	46
SK-837	E-6	SK-838より古。	不明	不明	不明	不明	36	B	(不整形)	P1 37×33×47	**8、9。**		65	46
SK-838	E-6	SK-837より新。SK-839bは不明。	(120)	108	82	74	40	B	(不整円形)		10、**11**。		65	46
SK-839a	E-6	SK-839b・840は不明。	(119)	103	89	70	26	B	(不整円形)		**8～12。**(打製石斧1、磨石1?。)		65	46
SK-839b	E-6	SK-838・839a・839cは不明。	132	112	68	66	44	B	(不整円形)		**8～12。**(打製石斧1、磨石1?。)		65	46
SK-839c	E-6	SK-839bは不明。	174	161	137	130	24	B	不整円形		**8～12。**(打製石斧1、磨石1?。)		65	46
SK-840	E-6	SK-839aは不明。	(153)	120	97	70	38	B	楕円形				65	46
SK-842	E-6	SI-30より古。SK-843は不明。	102	87	73	60	92	B	楕円形		**10。**		65	46
SK-843	E-6	SK-842は不明。	135	(124)	(98)	(88)	41	B	不整円形	P1 24×24×9	**9～11。**		65	46
SK-844	D-5		128	107	106	82	16	B	楕円形		**12。**		65	46
SK-845	E-6	SK-836・846は不明。	(187)	(118)	(141)	(89)	33	B	(楕円形)		**9～12。**		65	46
SK-846	E-6	SK-836・845は不明。	127	124	111	107	30	B	円形				65	46
SK-847	D-6	SK-848は不明。	210	(174)	(178)	(148)	32	B	隅丸三角形	P1 39×30×20 P2 109×98×20 P3 34×27×13	10、**11**。		66	46
SK-848	D-6	SK-847は不明。	125	103	96	72	39	B	楕円形	P1 37×30×12	9、**11**。		66	46
SK-849	E-6		94	90	75	70	34	B	円形		**11。**		65	46･47

SK-850	D-6	SK-853は不明。	(85)	(64)	(70)	52	14	B	(楕円形)	P1 36×25×21			66	47
SK-851	D-6		128	119	97	80	46	B	円形		**8～10。**		66	
SK-852	E-5		31	28	12	10	15	B	円形		？	埋甕	65	47
SK-853	D-6	SK-850は不明。	107	94	62	56	50	B	不整円形	P1 20×17×17	9、**11。**台石1。		66	47
SK-854	E-6		80	45	20	15	69	B	不整楕円形				66	46
SK-855	D-6	SK-856より古。	(110)	108	(86)	84	16	B	(円形)		4、**10。**		66	43
SK-856	D-6	SK-855より新。	147	107	111	78	22	B	楕円形		**11。**		66	43
SK-858	D-5	SK-857a・859・886より古。	232	(231)	207	(205)	40	B	(円形)		**10。**台石1。		66	
SK-860a	D-6	SK-860bは不明。	(136)	99	(107)	75	20	B	楕円形		**9～11。**		66	
SK-860b	D-6	SK-860aは不明。	120	118	78	74	30	B	円形		**9～11。**		66	
SK-862	E-6	SK-861より古。	137	116	111	100	36	B	楕円形	P1 26×25×29	**9、10。**土製品1。		66	47
SK-865	D-6		83	74	66	35	18	B	不整円形		**10。**		66	43
SK-868	D-5		128	99	90	79	38	B	楕円形	P1 37×26×5			67	47
SK-869	D-4		94	74	78	58	21	B	楕円形		**11。**		67	47
SK-872	E-5		108	102	79	66	58	B	円形		**9。**		67	47
SK-874	E-4	SK-873より古。	94	80	72	68	43	B	円形		**11。**		67	
SK-877	E-4	SK-927は不明。	147	130	112	112	38	B	円形		**12。**		67	47
SK-878	E-4		94	75	73	60	31	B	不整円形				67	
SK-879	E-4		119	105	80	56	36	B	不整形				67	
SK-881	E-3		121	96	91	69	26	B	楕円形		**9。**		68	47
SK-882a	F-5	SI-44、SK-889・931は不明。	(110)	(103)	81	(65)	24	B	(不整形)				67	
SK-882b	E-3		100	97	81	80	28	B	円形				68	
SK-883	E-4		115	81	96	64	22	B	楕円形				68	48
SK-884	D-6	SK-863・867より古。	(132)	131	111	108	62	B	不整円形		10、**11。**		68	48
SK-885	D-5	SK-857a・886より古。	58	(50)	(18)	(15)	26	B	(円形)		**12。**	埋甕	66	48
SK-886	D-5	SK-858・885より新。 SK-857a・859より古。	164	106	131	86	48	B	不整楕円形	P1 25×21×17			66	
SK-888	F-5	SK-1001より新。SK-1462は不明。	(206)	160	134	104	55	B	楕円形		**11。**		68	47･48 49
SK-889	F-5	SK-882a・930は不明。	134	111	(105)	79	26	B	楕円形	P1 24×20×38 P2 19×18×6 P3 24×21×51	**9、12。**		67	
SK-890	E-5	SI-33・44、SK-921より古。 SK-931は不明。	(160)	(145)	127	124	38	B	(円形)	P1 32×24×57 P1 37×36×5	**9～11。**石皿1。		67	47
SK-891	B-10		130	121	114	108	11	B	円形	P1 25×24×32			68	48
SK-892	B-10		101	100	75	72	45	B	円形		**10。**		68	48
SK-893	B-10		100	92	80	67	18	B	円形		**10。**		68	48
SK-894	B-10		130	126	111	110	10	B	不整円形		**9、10。**		68	48
SK-900	C-10		84	80	62	61	12	B	円形		**10、11。**		68	48
SK-901	C-10		121	119	98	97	8	B	円形	P1 32×25×14			68	49
SK-907	A-10		138	(100)	126	(85)	22	B	(不整楕円形)	P1 37×34×20 P2 28×24×10	**12。**		69	49
SK-908	B-10		184	133	143	109	29	B	楕円形	P1 30×19×15			69	49
SK-909	B-10	SK-945より古。	(139)	(106)	(109)	79	27	B	(楕円形)		**11。**		69	49
SK-910	B-9	SK-911より古。	126	(117)	111	(101)	17	B	(不整円形)		**10。**		69	49
SK-911	B-9	SK-910より新。	132	109	101	85	32	B	楕円形		**12。**		69	49
SK-912	C-10	SK-913より新。SK-903・904より古。	133	129	114	110	37	B	円形	P1 23×18×3 P2 50×25×19	11、**12。**		69	49
SK-913	C-10	SK-903・904・912より古。	(98)	(93)	(93)	(77)	20	B	(円形)		**9、10。**		69	49
SK-921	E-5	SK-890より新。	(103)	93	(77)	69	34	B	(円形)				67	47
SK-922	F-4		80	72	57	47	22	B	円形				69	
SK-923	F-4	SI-35より古。SK-1003・1462は不明。	157	(114)	(113)	85	42	B	不整形		7、**9～12。**		68	49
SK-926	F-4		93	91	72	62	22	B	円形				69	49
SK-927	E-4	SK-877は不明。	184	160	166	135	30	B	円形		10～**12。**打製石斧1。		67	47･49
SK-928	F-5	SK-933は不明。	(125)	(109)	(95)	77	18	B	(楕円形)		**12。**		69	46･50
SK-929	F-5		90	89	68	61	15	B	円形				70	
SK-930	F-5	SI-44、SK-831・889は不明。	(82)	(72)	55	51	21	B	(円形)	P1 32×22×67			67	
SK-931	E-5	SI-44より古。SK-882a・890は不明。	(162)	(155)	108	98	56	B	(円形)	P1 49×44×28	**11。**土製円盤1。		67	47
SK-932	F-4	SI-37より古。	231	140	216	127	40	B	楕円形				69	50
SK-933	F-5	SK-928は不明。	181	135	146	96	20	B	不整楕円形	P1 35×20×20	**12。**蓋1。		69	46･50
SK-934	D-9		61	46	49	36	14	B	楕円形		**9。**	埋甕	70	50
SK-936	F-5		138	106	100	77	16	B	不整形	P1 26×18×13 P2 20×20×10 P3 31×26×16	**9、10。**土製円盤1。		70	
SK-939	G-5		145	140	128	128	16	B	円形	P1 49×32×22	10、**11。**磨製石斧1。		70	50
SK-940	F-4	SI-36、SK-925より古。	196	(135)	171	108	34	B	(不整形)	P1 52×50×25	打製石斧1。		70	45
SK-943	B-9	SD-6より古。SK-991は不明。	122	114	109	100	25	B	不整円形				70	50
SK-944	E-4	SI-32より古。	46	42	23	23	30	B	不整形		**11。**	埋甕	70	50
SK-947	A-8		91	83	77	69	10	B	不整円形				70	
SK-948	A-8		97	81	79	66	12	B	楕円形				70	50
SK-949	A-8		115	100	100	88	16	B	楕円形				71	50
SK-950	B-9		69	61	60	(52)	12	B	円形	P1 44×32×24	**11。**		70	49
SK-951	B-9	SK-952・953・969は不明。	120	106	100	91	23	B	楕円形	P1 20×19×16 P2 32×22×22	**12。**		70	51
SK-952	B-9	SK-951・953・969は不明。	(112)	(102)	(98)	(90)	11	B	(円形)				70	51
SK-953	B-9	SK-951・952は不明。	(122)	(85)	(108)	(76)	13	B	(楕円形)				70	51
SK-956	B-9	SK-1532は不明。	146	133	122	121	36	B	不整円形		11、**12。**		71	51
SK-957	C-10		140	139	125	124	14	B	不整円形	P1 24×23×7 P2 31×20×10 P3 40×30×24	**11、12。**		71	51
SK-958	C-9		134	118	109	105	18	B	円形		**10。**石皿2。		71	51
SK-959	C-9		130	120	109	105	24	B	不整円形		**11。**		71	51
SK-960	C-9		115	95	93	75	18	B	不整円形				71	51
SK-961	C-9	SK-1518は不明。	132	120	109	104	34	B	円形		**12。**		71	51
SK-962	B-9		101	97	75	66	23	B	円形				71	52

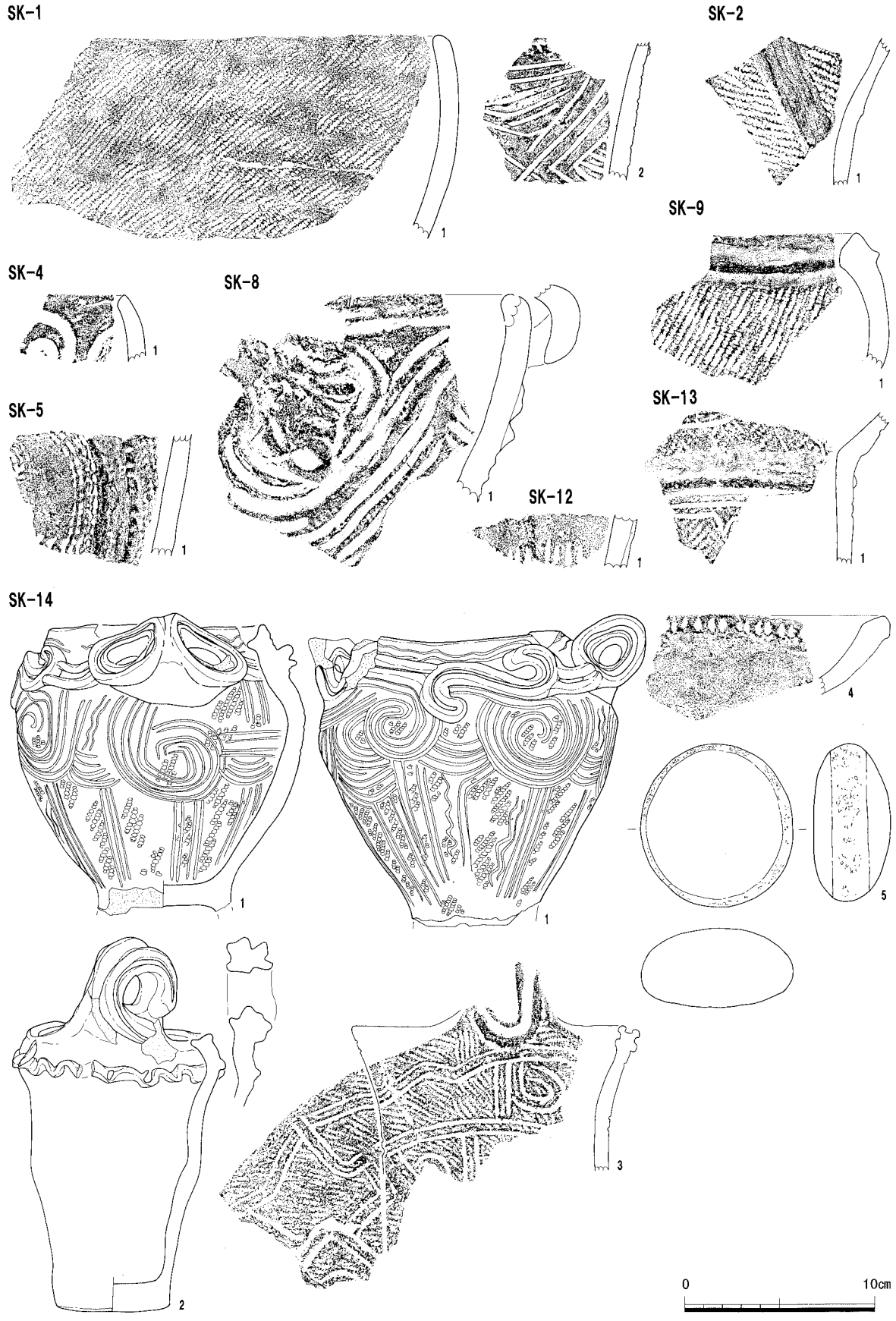
SK-963	C-9		170	153	155	141	3	B	円形				71	52
SK-965	B-10		156	131	138	101	41	B	不整楕円形	P1 26×24×14	**11、12。**		71	52
SK-967	B-9		(65)	43	(57)	37	8	B	不整楕円形	P1 30×26×30	**4～6。**		71	49
SK-968	B-10		86	79	71	64	10	B	円形	P1 29×25×48 P2 30×26×12	**12。**		71	52
SK-969	B-9	SK-951・952は不明。	94	(82)	68	(62)	18	B	(不整円形)				70	51
SK-970	C-8		81	65	70	52	12	B	楕円形				71	
SK-972	B-9		76	67	65	50	12	B	不整楕円形				71	
SK-975	A-9		114	105	97	89	10	B	不整円形		**10、11。**		71	
SK-977	A-8	SI-50より古。	72	68	40	40	38	B	円形		**9。**		72	
SK-980	B-8	SI-50より古。	122	95	58	48	52	B	不整楕円形				72	
SK-982	B-8		137	106	155	138	69	F	円形		**12。**		72	52
SK-983	C-8		95	86	81	72	13	B	円形		10、**11**。		72	53
SK-985	C-8		119	104	105	92	12	B	円形	P1 33×32×27			72	
SK-987	B-8	SK-988・1000は不明。	181	140	152	113	26	B	楕円形		**10。** 蓋1。		72	53
SK-988	B-8	SK-987・1000は不明。	(184)	(148)	(164)	(120)	17	B	(楕円形)		**9、10、11。**		72	53
SK-989	C-7		97	91	74	65	16	B	円形				72	
SK-991	B-9	SK-943は不明。	126	(108)	95	(76)	22	B	(楕円形)	P1 29×24×17			70	50
SK-993	C-7		134	113	93	82	19	B	不整円形				72	53
SK-994	C-7		90	75	74	52	10	B	隅丸方形				72	53
SK-995	C-7		103	85	69	60	20	B	不整円形				72	53
SK-998	B-8	SK-999より古。	100	93	75	71	38	B	不整円形		**8。**		72	53
SK-999	B-8	SK-998より新。	116	(113)	(94)	86	14	B	不整円形		**10。**		72	53
SK-1000	B-8	SK-987・988は不明。	(145)	(104)	(125)	(85)	14	B	(楕円形)				72	53
SK-1001	F-5	SK-888より古。SK-1003は不明。	(117)	(89)	(91)	(68)	7	B	(不整形)	P1 28×20×21	**8。**		68	47･49
SK-1003	F-5	SI-35より古。SK-923・1001は不明。	(128)	(116)	(118)	(102)	11	B	(不整形)	P1 40×31×11	**8、12。**		68	49
SK-1004	B-8		131	127	115	102	49	E	不整円形		**11、12。**		73	53
SK-1007	F-5	SI-30より古。SX-1は不明。	(282)	(259)	不明	不明	39	B	不明				73	
SK-1008	E-5	SI-30・44、SK-1009、SX-1より古。	(121)	(118)	不明	不明	23	不明	不明	P1 53×31×34	9、**10**。		73	
SK-1009	E-5	SK-1008より新。SI-44､SX-1より古。	(202)	(192)	不明	不明	28	B	不明	P1 23×20×19 P2 30×25×23 P3 45×30×21 P4 30×25×43 P5 26×23×40 P6 50×27×26 P7 40×30×36 P8 62×36×24	**11。**		73	
SK-1016	C-9	SK-1518は不明。	105	95	79	73	26	B	円形				72	53
SK-1017	D-5		150	118	123	98	25	B	楕円形		**12。**		73	
SK-1021	A-8	SI-50より古。	(121)	105	(103)	85	11	B	(円形)				73	53
SK-1022	A-8		105	93	60	55	37	B	不整円形		10、**11**。		73	53
SK-1023	C-6		120	87	107	77	14	B	楕円形		**11。**		73	54
SK-1024	C-7		130	116	110	103	10	B	不整円形				74	54
SK-1025	C-6		85	62	57	33	33	B	不整形				74	54
SK-1026	C-6		200	156	176	139	25	B	楕円形	P1 19×18×16	4、**6、7**。		74	54
SK-1027	C-5		133	119	69	43	18	B	不整円形				74	54
SK-1028	F-4	SI-36より古。	(168)	142	144	114	29	B	不整形		**10～12。**		74	45
SK-1030	C-4		75	62	39	31	24	B	楕円形				74	
SK-1031	B-5		209	(181)	170	(159)	33	B	円形				74	54
SK-1033	B-7		71	65	10	9	64	B	不整円形		**8。** 打製石斧1。		74	54
SK-1035	C-7	SI-51より古。	145	123	120	88	41	B	不整楕円形		**10。**		75	54
SK-1036	C-5		93	91	75	70	14	B	円形				74	
SK-1037	B-5		205	187	175	157	23	B	不整円形		**7。**		74	55
SK-1038	C-5	SK-1054は不明。	220	152	191	120	22	B	楕円形		**10。** 磨製石斧1。		74	55
SK-1039	B-6		158	144	(121)	105	22	B	円形	P1 35×33×2			75	55
SK-1040	G-2		102	101	86	83	26	B	円形				75	
SK-1041	G-3		116	100	72	61	30	B	不整円形				75	
SK-1042	G-3		124	100	104	76	25	B	楕円形		**10。** 土製円盤1。		75	
SK-1043	G-3		91	76	65	45	20	B	不整円形				75	
SK-1047	C-6		78	76	51	40	24	B	不整円形				75	55
SK-1048	B-6		232	225	214	206	33	B	円形				75	55
SK-1050	B-6	SK-1049より古。	(182)	138	(160)	122	21	B	不整楕円形				75	55
SK-1052	G-1		(150)	(146)	50	45	74	B	(円形)		**10、12。**		75	
SK-1054	B-5	SK-1038は不明。	119	91	67	55	27	B	楕円形		**4～6、12。**		74	55
SK-1055	C-7		115	104	102	92	11	B	円形				75	55
SK-1057	F-20		150	136	195	181	60	F	円形		**3**～6。土製円盤1。		76	55･56
SK-1058	F-20	SK-1059より古。	214	170	255	253	93	F	円形		3～**6**。掻削器1、石皿1、台石1。		76	56
SK-1059	F-20	SK-1058より新。	152	144	175	156	50	E	円形		7、**8**。掻削器1。		76	56
SK-1060	F-20		98	91	81	(76)	8	B	不整円形	P1 56×29×12 P2 59×35×18			76	
SK-1061	F-21		95	79	83	64	10	B	不整楕円形		**6、7、9、10。**		76	
SK-1063a	F-20		93	78	70	(68)	8	B	不整円形	P1 64×35×33	**3、4。**		76	
SK-1064	F-20	SK-1078bより古。	149	146	195	175	76	F	不整円形		**4、5。**		76	56
SK-1065	F-20		178	175	207	194	49	E	円形		**8。** 磨石3。		77	57
SK-1066	G-20	SK-1067・1157より古。	262	(250)	218	(190)	31	B	不整円形		10、**11**。		77	
SK-1070	F-21	SK-1115より新。SK-1071より古。SI-52は不明。	(171)	[101]	149	[94]	20	B	不明		**2、3**、4。		77	
SK-1072	F-21	SK-85・1073は不明。	176	122	119	82	50	B	楕円形	P1 25×20×20	4～**9**、10、11。(磨石1？)		29	57
SK-1073	F-21	SK-85・98・1072は不明。	(264)	(187)	(242)	(131)	47	B	(不整楕円形)		**4～7、9～11。**(磨石1？)		29	57
SK-1075	G-20	SK-1158は不明。	103	98	90	57	38	B	不整円形				77	
SK-1076	F-20		129	118	98	94	14	B	円形	P1 56×35×16			77	

SK-1077	F-20		110	99	81	81	16	B	円形				77	
SK-1078a	F-20	SK-1079・1101・1155より新。	(177)	(137)	110	58	40	B	(楕円形)		**7～9、11。**		78	57
SK-1078b	F-20	SK-1064より新。	(117)	86	(91)	77	20	B	(楕円形)	P1 51×39×33	**7～9、11。**		76	56
SK-1079	F-20	SK-1155より新。SK-1078a・1259aより古。SK-1101は不明。	160	118	185	173	63	E	(円形)		**6。**		78	57
SK-1082	H-15		52	51	34	29	28	B	円形		？		77	
SK-1085	H-15	SK-1084より古。	111	96	90	73	42	B	円形		**11。**		77	57
SK-1086	G-15	SK-1093より古。	253	235	240	218	8	B	円形	P1 45×45×20	**7。**		79	57
SK-1088a	G-15		81	72	63	59	14	B	円形				77	
SK-1088b	G-15		71	68	62	55	20	B	円形				77	
SK-1093	G-15	SK-1086より新。	101	89	90	74	22	B	円形				79	57
SK-1094	G-15	SK-1140は不明。	162	(136)	(160)	49	82	B	(円形)		**7、8、10。** 打製石斧1。		79	57
SK-1095	G-15		116	109	101	96	8	B	円形				79	
SK-1101	F-20	SK-1078aより古。SK-1079は不明。	180	155	205	157	89	C	不整円形	P1 45×35×38	4、**6**。磨石1、石皿2、台石1。		78	57･58
SK-1103	F-20	SK-1104より新。	(155)	110	(127)	97	36	B	(楕円形)		**6、7。** 土製円盤1。		79	58
SK-1104	F-20	SK-1103より古。	145	130	189	179	92	E	不整円形		2、**3、4**。		79	58
SK-1106	F-19	SK-1107より古。	147	119	118	97	17	B	不整楕円形				79	
SK-1107	F-19	SK-1106より新。	(66)	66	(57)	56	9	B	(不整円形)		石皿1。		79	
SK-1108	F-19		89	78	69	57	12	B	不整円形	P1 24×21×11 P2 49×45×38	**8。**		79	
SK-1109	F-19	SK-1544より古。	(118)	(92)	(100)	(76)	5	B	(楕円形)		**7、9、10。**		80	
SK-1110	F-19	SK-1111より新。SK-1544より古。	290	(184)	253	(156)	27	B	不整楕円形	P1 25×22×26 P2 40×31×38 P3 37×31×14	**4～6。**		80	
SK-1111	F-19	SK-1110より古。	248	199	215	206	48	D	不整円形		**2～5**、6。		80	58
SK-1112	F-19	SK-1151より新。	177	146	125	86	64	B	不整楕円形	P1 50×[38]×38			81	58
SK-1113	F-19		115	87	55	27	63	B	楕円形		**5、7～9。**		80	
SK-1114	F-19	SK-1259aは不明。	290	196	268	172	48	B	楕円形		**2～6、10。** 磨石1。		78	
SK-1115	F-21	SK-1070より古。	83	74	53	49	129	B	不整円形		**2、3。**		77	
SK-1116	G-19	SK-1117より新。	117	(96)	92	(78)	36	B	円形		**12。**		80	58
SK-1117	G-19	SK-1116より古。	121	110	105	100	34	B	円形		**8～11。** 土製円盤1。		80	58
SK-1118	F-20	SK-1259aより古。	183	141	217	213	100	F	円形		**7。** 磨製石斧1、石皿1。		78	58･59
SK-1119	F-19		220	216	242	223	50	F	円形		3、**4**～6、12。		82	59
SK-1120	F-20		73	68	35	28	29	B	円形				80	
SK-1129	F-15		75	66	61	55	7	B	円形				81	
SK-1130	G-15		95	85	70	64	26	B	円形		1、**7**。		81	59
SK-1131	H-16		(90)	(81)	(69)	(55)	42	B	(不整円形)				81	
SK-1132	F-15		112	107	91	88	48	B	不整円形	P1 43×20×43	**12。** 磨石1。		82	
SK-1133	F-15		113	94	85	74	23	B	楕円形				82	59
SK-1134	F-15		95	93	85	81	5	B	円形				82	
SK-1136	F-15		149	104	126	90	11	B	不整楕円形		**10。**		82	
SK-1137	F-15		83	76	70	62	7	B	円形				82	
SK-1139	H-16		(81)	73	46	40	27	B	円形		**3。**		83	
SK-1140	G-15	SK-1094は不明。	[105]	[105]	[60]	[45]	40	B	不整形				79	57
SK-1141	H-16		(158)	(102)	不明	不明	22	B	(楕円形)		**7。** 磨石1。		82	
SK-1142	H-17	SK-1143より新。SI-54より古。	(120)	(119)	(95)	(94)	[10]	B	(円形)		**12。**		82	59･60
SK-1143	H-17	SI-54、SK-1142より古。	(242)	217	(240)	223	60	D	(円形)	P1 72×63×38	**7～9**、12。		82	59･60
SK-1144	H-17	SI-54より古。	126	90	106	77	[34]	B	楕円形		**12。**		83	60
SK-1146	H-16	SI-54より古。	(257)	(257)	(274)	(263)	51	C	(円形)		2、**3**。打製石斧1、磨石2、石皿1。不明1。		83	60
SK-1147	H-16	SI-54より古。	110	97	94	76	[12]	B	円形		**8、9。**		83	60
SK-1149	G-16	SI-54より古。	84	62	52	51	[65]	D	楕円形		**7。**		83	60
SK-1151	F-19	SK-1112・1152・1153・1156より古。	(223)	170	206	155	54	D	(楕円形)		**4。**		81	58
SK-1152	F-19	SK-1151・1153より新。	(167)	(155)	(127)	(124)	24	B	(円形)				81	58
SK-1153	F-19	SK-1151より新。SK-1152より古。SK-1154・1310は不明。	287	245	265	249	60	D	不整円形		3、**11、12**。土製円盤1。		81	58
SK-1154	F-19	SK-1153は不明。	(105)	(105)	(88)	(88)	18	B	(円形)	P1 38×30×27	**9。**		81	
SK-1155	F-20	SK-1078a・1079・1259aより古。	(108)	88	(70)	69	66	B	(隅丸方形)		**5。**		78	
SK-1156	F-19	SK-1151より新。	(140)	(114)	109	98	23	B	(楕円形)				81	58
SK-1160	G-19		(280)	(270)	(265)	(247)	31	B	(円形) (突出部あり)	P1 51×[45]×52 P2 46×46×22 P3 47×40×32 P4 57×[40]×36	**7。** 打製石斧1。		83	60
SK-1161	G-19	SK-1162より新。	(150)	(140)	(120)	(110)	20	B	(円形)				83	60
SK-1162	G-19	SK-1161より古。	[160]	[110]	[150]	[100]	23	B	(不整形)		**8。**		83	60
SK-1163	F-18	SK-1259bより古。	220	200	240	223	38	E	不整円形		2、**3、4**。土製円盤1。磨石2、台石1。		84	60
SK-1164	F-18	SK-1265は不明。	200	185	228	210	56	E	不整円形		**2**、11。		84	61
SK-1165	G-19	SK-1251は不明。	(126)	(95)	(100)	(72)	22	B	(楕円形)		**3、4、9。**		85	61
SK-1166	G-19	SK-1251・1252より古。SK-1546は不明。	(180)	(170)	(160)	(150)	33	B	(円形)		**3、5**、10。打製石斧1、石皿1。		85	61
SK-1167a	G-19	SK-1168・1267・1269aより古。SK-1268・1302は不明。	250	(198)	235	(213)	50	E	(不整円形)		**4。**		86	61
SK-1167b	G-19		105	75	71	57	30	B	楕円形		**7、8、10。**		83	
SK-1168	G-19	SK-1167aより新。SK-1169・1260b・1266b・1268・1315は不明。	(210)	(190)	(195)	(162)	23	B	(円形)	P1 55×39×18	**9。**		86	61

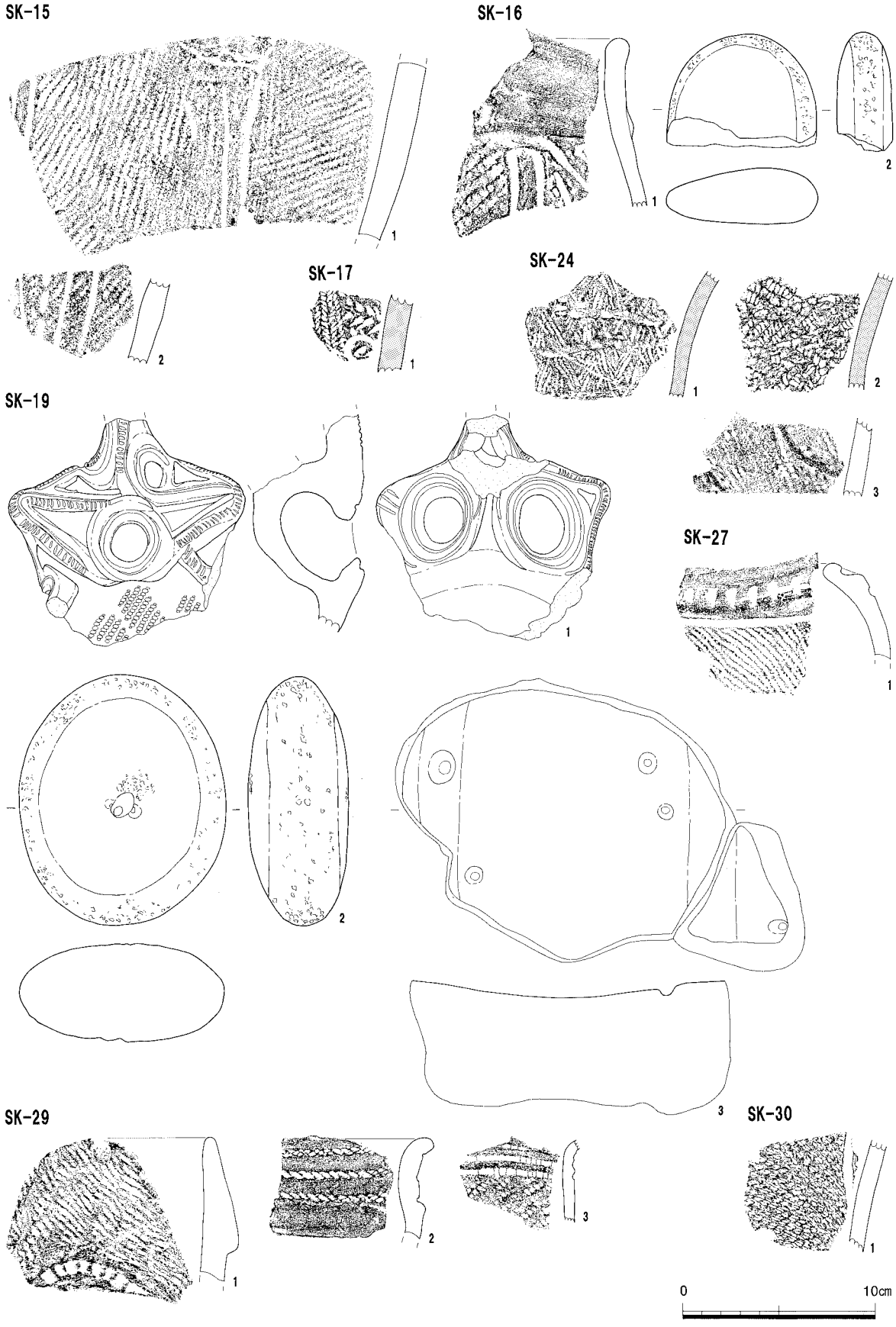
SK-1170	G-19	SI-55より古。SK-1260b・1268・1308・1332は不明。	［132］	［109］	［121］	［109］	20	（B）	不明		**7～9。**		86	61
SK-1172	G-16	SB-5より古。SK-1173は不明。	140	（126）	112	（100）	30	B	円形				83	
SK-1175	G-16	SB-5より古。	238	231	217	208	29	B	円形	P1 95×65×49 P2 40×31×13 P3 116×74×47			85	61
SK-1179	H-17	SK-1180より新。	（180）	150	（170）	130	35	B	（楕円形）		**10。**		86	61
SK-1180	H-17	SI-53、SK-1179より古。SK-1184・1202は不明。	212	207	226	220	48	F	円形		7、**8。**磨石1。		86	61
SK-1182b	G-16	SB-5より古。	235	218	205	190	25	B	不整形	P1 65×63×12	**12。**		96	62
SK-1184	G-17	SI-54、SK-1185より古。SK-1180・1228は不明。	（180）	149	162	124	16	B	（楕円形）	P1 35×32×52	**9。**		87	62
SK-1185	G-17	SK-1184より新。SI-54より古。SK-1195・1197は不明。	227	150	215	130	23	B	楕円形	P1 33×32×27 P2 55×44×38	**9。**石皿1。		87	62
SK-1186	G-17	SI-53より古。SK-1187は不明。	（180）	（180）	（170）	（170）	16	B	（円形）				87	
SK-1187	G-17	SI-53より古。SK-1186は不明。	238	229	282	268	76	F	円形	P1 52×51×53 P2 55×47×55 P3 52×41×50 P4 60×59×66 P5 46×39×56 P6 21×20×14 P7 26×20×60	**7**、12。土製品1。		87	62
SK-1188	G-18	SK-1189・1190より古。	（259）	（242）	（300）	（300）	83	E	（円形）		**7。**磨製石斧1、磨石1、石皿2。		88	62
SK-1189	G-17	SK-1188より新。	（164）	130	（128）	102	28	B	（楕円形）				88	62
SK-1190	H-17	SK-1188・1191より新。	（210）	（210）	（230）	（230）	52	E	（円形）	P1 71×60×36	**10、11。**		88	63
SK-1191	H-17	SK-1198より新。SK-1190より古。	［104］	［56］	［85］	［46］	32	D	円形?		**10。**		88	
SK-1192	G-17	SK-1193より新。SI-53より古。	89	87	40	40	［40］	B	不整円形		**12。**		89	63
SK-1193	G-17	SI-53、SK-1192・1220より古。SK-1196は不明。	229	（228）	208	（206）	19	B	（円形）	P1 95×55×44	**7、8。**		89	63
SK-1194	G-16		180	127	161	109	20	B	不整楕円形	P1 47×40×32	**9、12。**磨石1。		88	63
SK-1195	G-17	SK-1185は不明。	（71）	62	（55）	52	17	B	円形				87	
SK-1196	G-17	SI-53より古。SK-1193・1197は不明。	202	196	183	182	11	B	不整円形		**7。**		89	63
SK-1197	G-17	SK-1185・1196は不明。	89	（86）	77	（74）	11	B	円形				87	
SK-1198	H-17	SK-1191より古。	［137］	［44］	［110］	［35］	47	（B）	不明				88	
SK-1199	G-16	SK-1200より古。	104	（80）	85	（56）	22	B	（楕円形）				89	63
SK-1200	G-16	SK-1199より新。	250	206	236	185	18	B	楕円形	P1 37×34×17	1、**7。**磨石1。		89	63
SK-1201	G-16		91	85	77	70	15	B	円形				89	63
SK-1202	G-17	SI-53より古。SK-1180は不明。	110	（70）	93	（53）	16	B	（楕円形）				86	
SK-1208	G-16		133	128	101	96	32	B	円形		**9、10。**		89	63
SK-1209	G-16		140	123	91	90	62	B	不整円形		**9。**		90	63
SK-1210	F-16		87	77	59	54	45	B	円形		石皿1。		89	64
SK-1220	G-17	SK-1193より新。SK-1273は不明。	（237）	210	（215）	190	20	B	不整円形	P1 105×74×35 P2 100×92×16 P3 73×45×22	**8、9。**台石1。		89	64
SK-1223	G-16	SK-1224bより新。SK-1235は不明。	213	（190）	189	（175）	22	B	不整円形	P1 26×25×19 P2 57×57×54 P3 50×42×44	**7。**磨石2、石皿1。		90	64
SK-1224b	G-16	SK-1223より古。	350	（260）	335	（247）	13	B	楕円形	P1 39×［27］×23	**2、3。**礫器1。		90	64
SK-1231	G-17	SK-1232より新。	96	86	68	55	46	B	円形		**12。**		90	
SK-1232	G-17	SK-1231より古。SK-1234は不明。	176	（82）	155	（72）	36	B	（楕円形）		**7**、12。		90	
SK-1233	G-17	SK-1234は不明。	81	65	55	41	19	B	楕円形				90	
SK-1234	G-17	SK-1232・1233・1235は不明。	220	［115］	200	［112］	20	B	不整形	P1 51×38×41	?石皿1。		90	64
SK-1235	G-17	SK-1223・1234は不明。	201	（113）	163	（94）	22	B	（楕円形）		**7～9。**		90	64
SK-1236	G-16		129	125	95	86	20	B	不整円形				90	64
SK-1251	G-19	SK-1166より新。SK-1165・1252は不明。	153	113	112	85	40	B	不整形				85	61
SK-1252	G-19	SK-1166・1251・1254より新。SK-1269bは不明。	（214）	（210）	（202）	196	38	B	（円形）		**8。**		85	61
SK-1254	G-19	SK-1252・1255より古。	（236）	（209）	（230）	（207）	38	D	（円形）		**5。**		85	61
SK-1255	G-19	SK-1254より新。SK-1266c・1269a・1545は不明。	222	192	185	180	44	D	円形	SK-1266cは付属施設か。	**11。**		85	61
SK-1256	G-19	SK-1269b・1545は不明。	115	72	96	54	32	B	楕円形		**11。**		88	
SK-1258	G-18	SI-55より古。SK-1266a・1334は不明。	160	（151）	138	（133）	24	B	（円形）		**6、7。**土製円盤1。		91	64
SK-1259a	F-20	SK-1079・1118・1155より新。SK-1114は不明。	［115］	［92］	［102］	［70］	18	B	不明		**7、8、11、12。**		78	
SK-1259b	F-19	SK-1163より新。	174	120	155	101	20	B	不整楕円形		**7、8、11、12。**		84	64
SK-1260a	F-19	SK-1263・1264より新。	162	148	150	125	82	B	円形		**12。**		91	65
SK-1260b	G-19	SK-1168・1169・1170・1266b・1268・1332は不明。	［67］	［67］	［55］	［51］	38	（B）	不明				86	
SK-1263	F-19	SK-1260aより古。	（118）	111	245	240	72	F	円形		2、**3。**石錘1、磨製石斧1。		91	65
SK-1264	F-19	SK-1260aより古。	209	196	178	150	38	B	不整円形	P1 22×18×20 P2 28×25×35	**2**、4～6、10。石製品1。		91	65
SK-1265	F-18	SK-1164は不明。	（145）	122	（96）	（84）	21	B	（楕円形）				84	61
SK-1266c	G-19	SK-1255は不明。	90	86	70	67	98	B	円形	SK-1255の子ピットか。			85	61
SK-1268	G-19	SK-1167a・1168・1170・1260b・1266bは不明。	（150）	115	（126）	105	37	B	楕円形	P1 60×54×32			86	

SK-1273	G-17	SK-1220・1284は不明。	263	227	250	210	18	B	不整円形	P1 57×53×51 P2 140×125×14 P3 55×55×56 P4 63×44×25	**2、7、12。**土製円盤4。石皿2、台石1、石棒1。		88	65
SK-1274	G-17	SK-1275は不明。	(200)	157	(181)	142	22	B	(楕円形)	P1 90×77×22			91	65
SK-1275	G-17	SK-1274・1276は不明。	235	(180)	216	(165)	16	B	楕円形	P1 40×33×22			91	65
SK-1276	F-17	SK-1275は不明。	102	64	94	49	23	B	不整楕円形				91	65
SK-1277	G-18	SK-1281・1300より古。	276	252	255	237	44	D	円形		**4～6。**		92	66
SK-1278	G-18	SK-1279より古。SK-1282は不明。	(154)	(130)	(127)	(113)	40	B	(楕円形)				92	66
SK-1279	G-18	SK-1278・1283より新。SK-1282は不明。	不明	不明	(260)	[90]	42	D	(楕円形)		**12。**蓋1。		92	66
SK-1280	G-18	SI-56より古。SK-1283・1296・1300は不明。	241	(212)	209	(191)	25	B	(円形)	P1 35×27×13	**6、7。**		92	66
SK-1282	G-18	SK-1283より新。SK-1281より古。SK-1278・1279・1296は不明。	[190]	[52]	[180]	[46]	13	B	不明		**12。**		92	66
SK-1283	G-18	SK-1279・1282より古。SK-1280は不明。	(222)	(161)	(187)	(46)	52	B	不明		**6～9。**		92	66
SK-1284	G-17	SK-1273は不明。	210	180	175	157	22	B	不整円形		**7。**		88	66
SK-1285	G-17	SI-53・56、SK-1292より古。SK-1294は不明。	280	210	248	246	56	C	円形	P1 70×63×41 P2 61×57×48	**7。**台石1。		93	66
SK-1286	G-17	SK-1297より新。SK-1288より古。SI-56、SK-1287・1291は不明。	[219]	不明	[206]	172	20	(B)	不明	P1 179×84×26	**12。**磨石1。		94	
SK-1287	G-17	SK-1288より古。SK-1286・1291は不明。	130	115	111	99	15	B	不整円形	P1 20×19×25			94	66
SK-1289	G-17	SK-1295は不明。	142	120	122	100	24	B	不整形		**12。**		93	66
SK-1290	G-18	SK-1292・1293より古。	(245)	(172)	(212)	(146)	22	B	(楕円形)		**7、8。**		93	67
SK-1291	G-17	SK-1288より古。SK-1286・1287は不明。	178	93	150	66	51	B	楕円形		**12。**		94	66
SK-1292	G-17	SK-1285・1290より新。SK-1293・1294は不明。	(119)	106	(90)	88	37	B	(円形)		**10**～12。打製石斧2。		93	67
SK-1293	G-17	SK-1290より新。SI-53より古。SK-1292は不明。	168	133	137	110	27	B	楕円形	P1 39×35×20	**8、9、12。**		93	
SK-1294	G-17	SI-53より古。SK-1285・1292は不明。	102	84	83	66	16	B	楕円形				93	
SK-1295	F-17	SK-1289・1547は不明。	100	84	89	74	7	B	隅丸方形	P1 33×23×13	?		93	66
SK-1296	G-18	SK-1281より古。SK-1280・1282・1300は不明。	105	不明	95	不明	28	B	(円形)				92	66
SK-1297	G-17	SI-56、SK-1286より古。	144	135	133	115	23	B	不整形	P1 30×23×20	**7、10。**台石1。		94	67
SK-1298	G-17		187	118	158	89	34	B	不整楕円形		**10、12。**		93	67
SK-1299	F-17		88	78	73	55	44	B	楕円形				93	66
SK-1300	G-18	SK-1277より新。SI-56、SK-1281より古。SK-1280・1296は不明。	250	(242)	228	(221)	30	B	円形		磨石1。		92	66
SK-1302	G-19	SK-1307より古。SK-1167aは不明。	[175]	[88]	[159]	[80]	30	(B)	不明		**4、7。**		86	61・67
SK-1306	F-19		103	87	68	68	36	B	円形		**10。**		94	
SK-1307	G-19	SK-1302より新。	[59]	[35]	[35]	[18]	45	(B)	不明		**9。**		86	61・67
SK-1308	G-18	SI-55より古。SK-1170・1318a・1319は不明。	173	160	232	200	99	F	不整円形		6、**7**、11。器台1。		94	67
SK-1309	G-18	SI-55より古。	128	93	105	75	16	B	楕円形				94	
SK-1310	F-19	SK-1311より古。SK-1153は不明。	246	(224)	231	217	49	D	円形		**7。**台石1。		80	67
SK-1311	F-19	SK-1310より新。	122	67	(102)	(50)	23	B	(隅丸長方形)	P1 82×61×60	**12。**		80	68
SK-1313	F-18	SK-1314より古。	212	171	210	200	52	E	円形		**3、4。**石皿2。		95	68
SK-1314	F-18	SK-1313より新。	(166)	(144)	(178)	(159)	44	E	(円形)		**8。**		95	68
SK-1315	G-18	SK-1168・1169・1332は不明。	(94)	85	(57)	(55)	33	B	(円形)				86	61
SK-1318a	G-18	SI-55より古。SK-1308・1319・1328は不明。	(164)	128	(140)	110	24	B	楕円形		(**2～4。**)(磨石1?)		94	67
SK-1318b	F-18		80	72	48	40	32	B	円形		(**2～4。**)(磨石1?)		84	61
SK-1319	G-18	SK-1308・1318a・1328は不明。	(133)	(101)	(118)	86	18	B	(楕円形)		**7。**		94	67
SK-1321	G-17		66	63	60	52	52	A	円形				95	
SK-1322	G-18	SK-1323より新。SI-56より古。	113	103	86	78	[44]	B	不整円形				95	68
SK-1323	G-18	SI-56、SK-1322より古。	126	(107)	99	(83)	[28]	B	楕円形				95	68
SK-1324	G-18	SI-56より古。SK-1325・1327は不明。	(239)	218	(224)	200	44	B	不整円形		7、**9**、**12**。磨石1、石皿1。		95	68
SK-1325	G-18	SK-1327より古。SK-1324は不明。	251	(245)	(250)	242	39	D	円形	P1 80×55×62	6、**7**。台石1。		95	68
SK-1327	G-18	SK-1325より新。SK-1324、SI-56は不明。	(210)	(167)	(180)	(147)	8	B	(楕円形)		土製品1。		95	68
SK-1330	G-18	SK-1257より古。	105	97	84	73	47	B	不整円形				95	64
SK-1334	G-18	SI-55、SK-1257より古。SK-1258は不明。	105	103	85	77	54	B	不整円形				91	
SK-1336	F-19		50	47	36	34	32	B	円形		**11。**		95	
SK-1396	D-13	SK-358は不明。	100	(100)	78	(78)	20	B	(円形)				48	
SK-1483	E-6		83	80	73	70	8	B	円形				95	
SK-1487	D-7		79	58	61	46	18	B	不整楕円形				95	
SK-1508	D-11		80	74	65	58	13	B	円形				95	
SX-1	F-5	SK-1008・1009より新。SI-30より古。SI-44、SK-1007は不明。	(265)	(186)	不明	不明	24	不明	不明		10、**12**。土錘1。打製石斧1、磨石2、台石1、石棒1。	配石	73	68

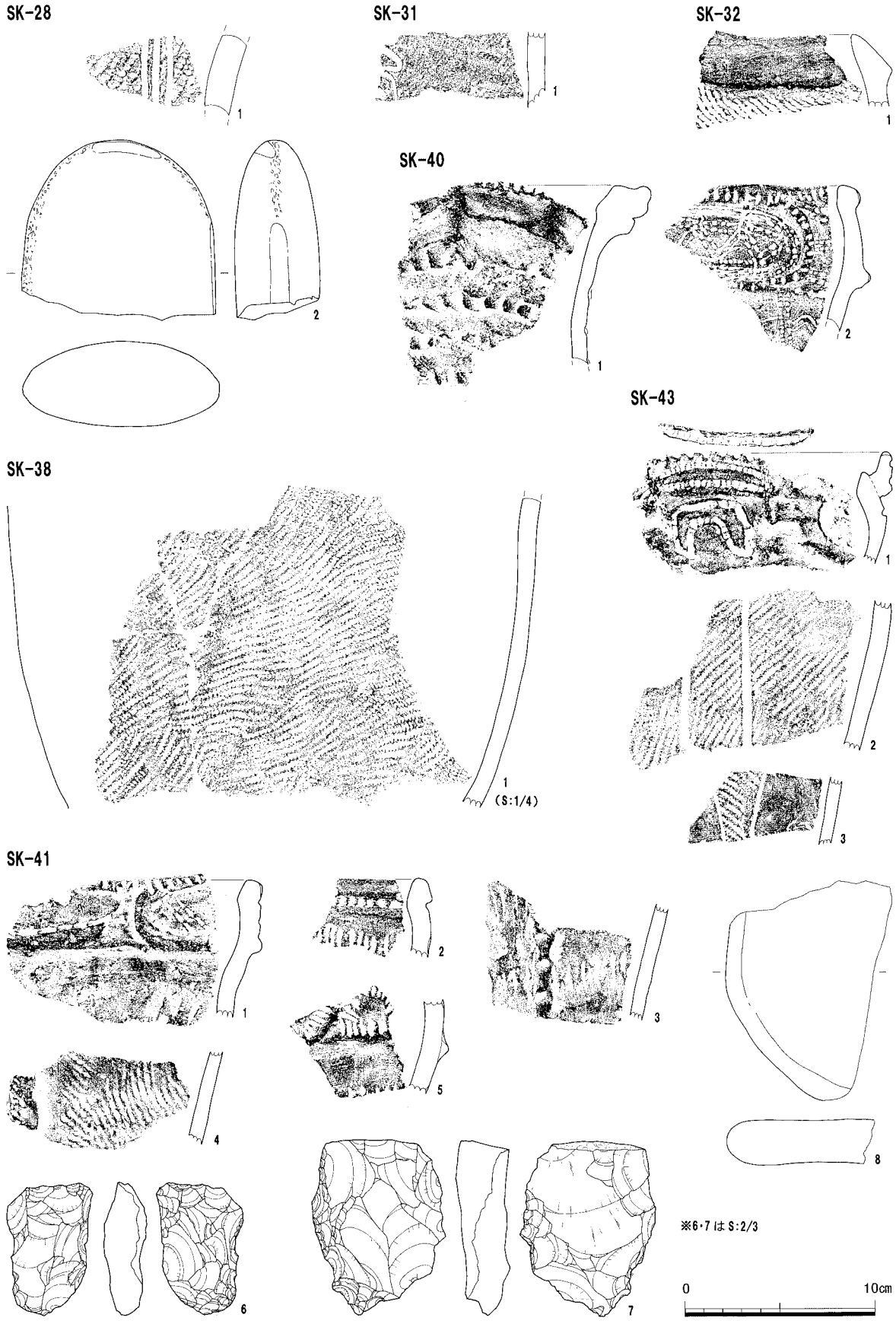
※遺物が混じって所属が不明なものは、各々の遺構に(　)で記述した。具体的には、SK-66abの磨製石斧1。SK-66b・88の土製円盤1。SK-211acの台石1。SK-821abの土製円盤1、打製石斧1。SK-839abcの打製石斧1、磨石1。SK-1072・1073の磨石1。SK-1318abの磨石1。



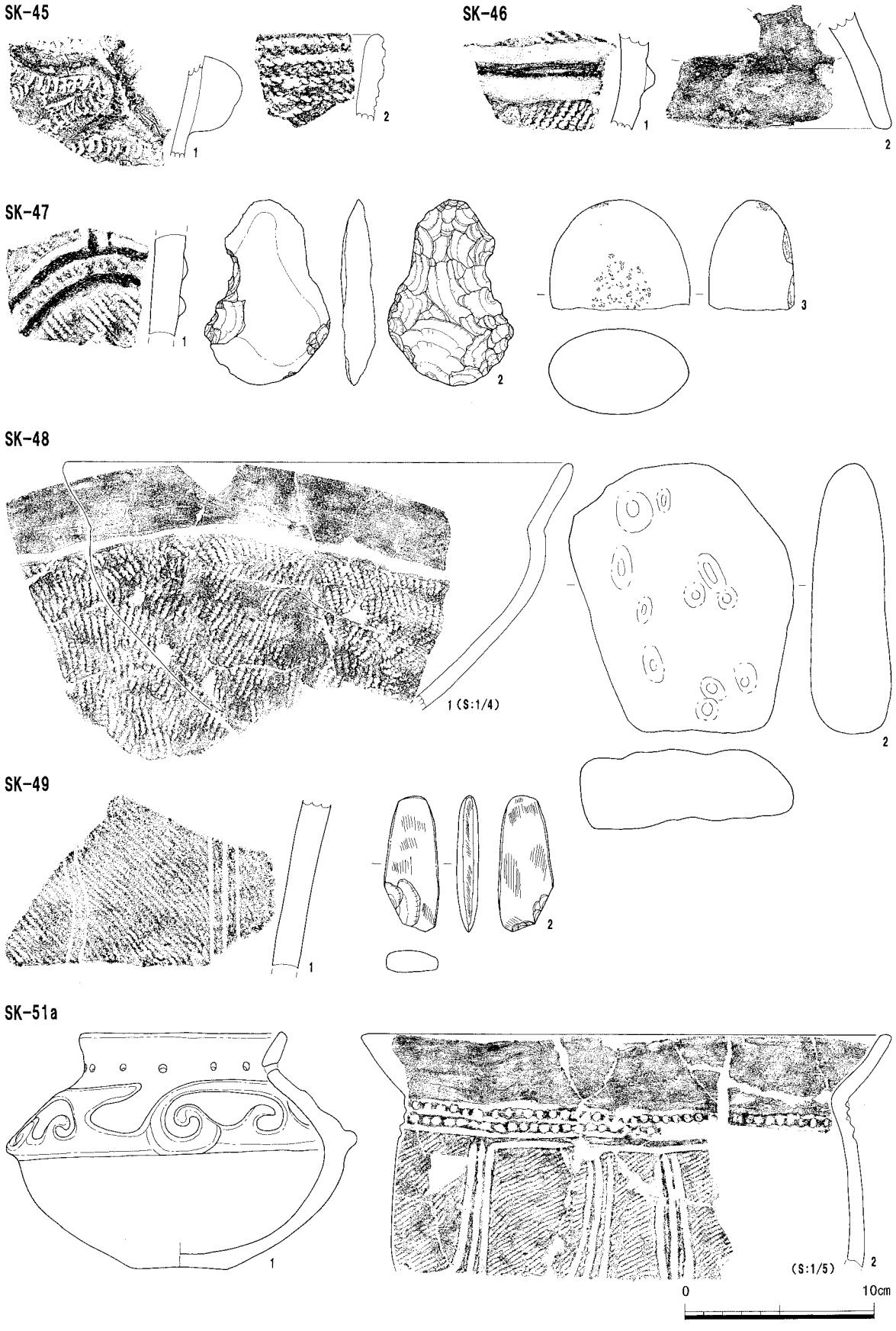
第97図　SK－1・2・4・5・8・9・12～14出土遺物



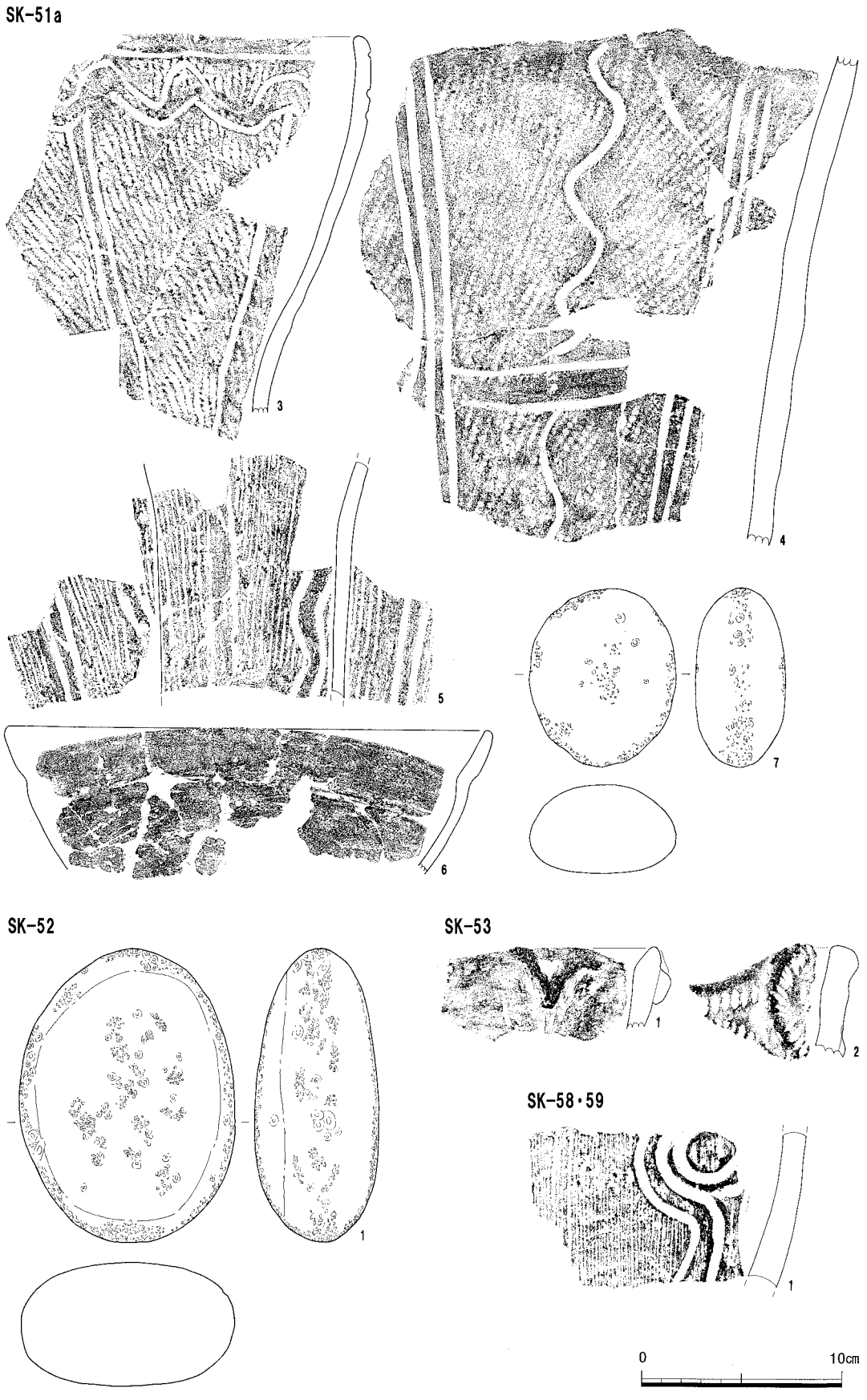
第98図　SK－15～17・19・24・27・29・30出土遺物



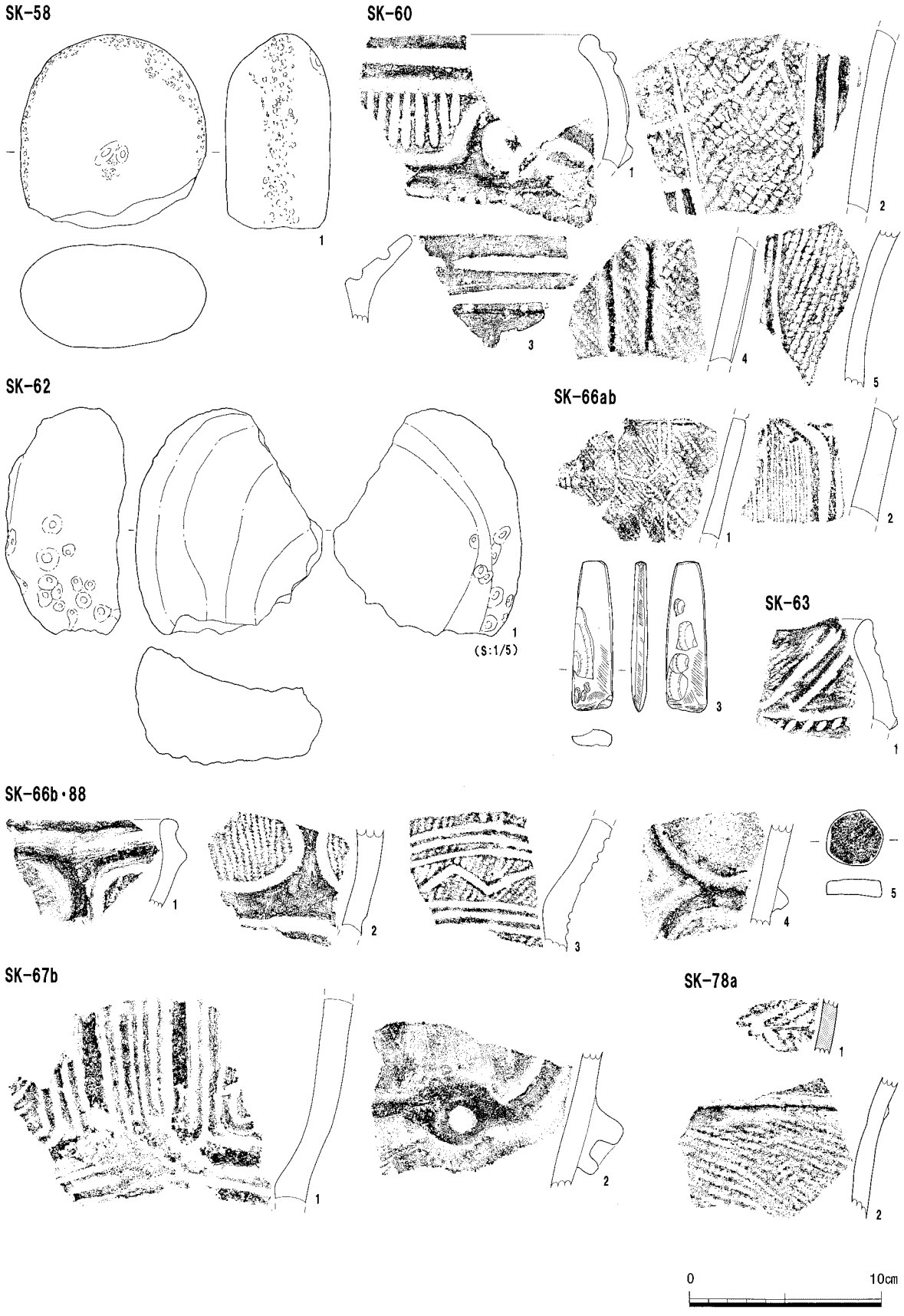
第99図　SK－28・31・32・38・40・41・43出土遺物



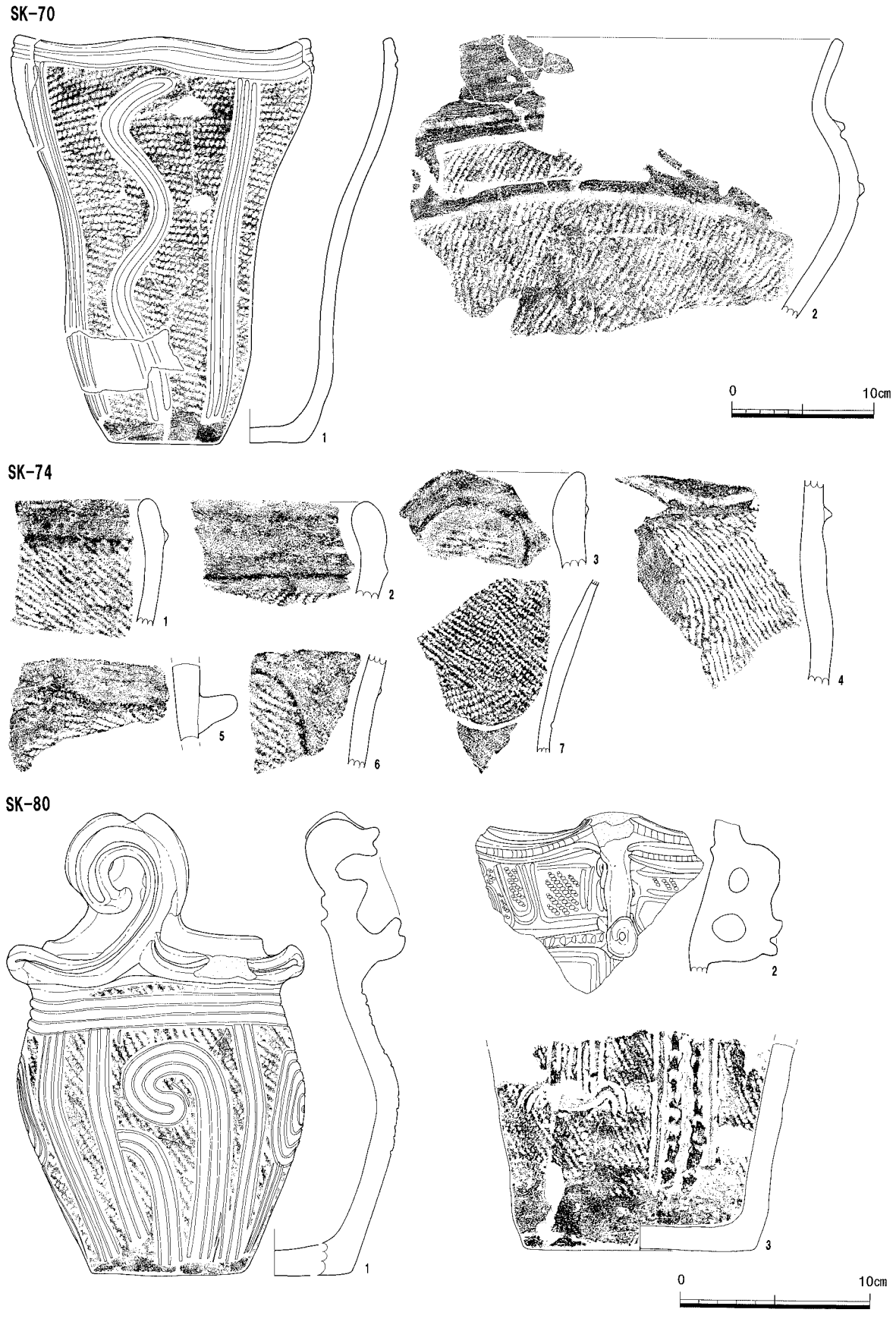
第100図　SK－45～49・51a出土遺物



第101図　SK－51a・52・53・58・59出土遺物

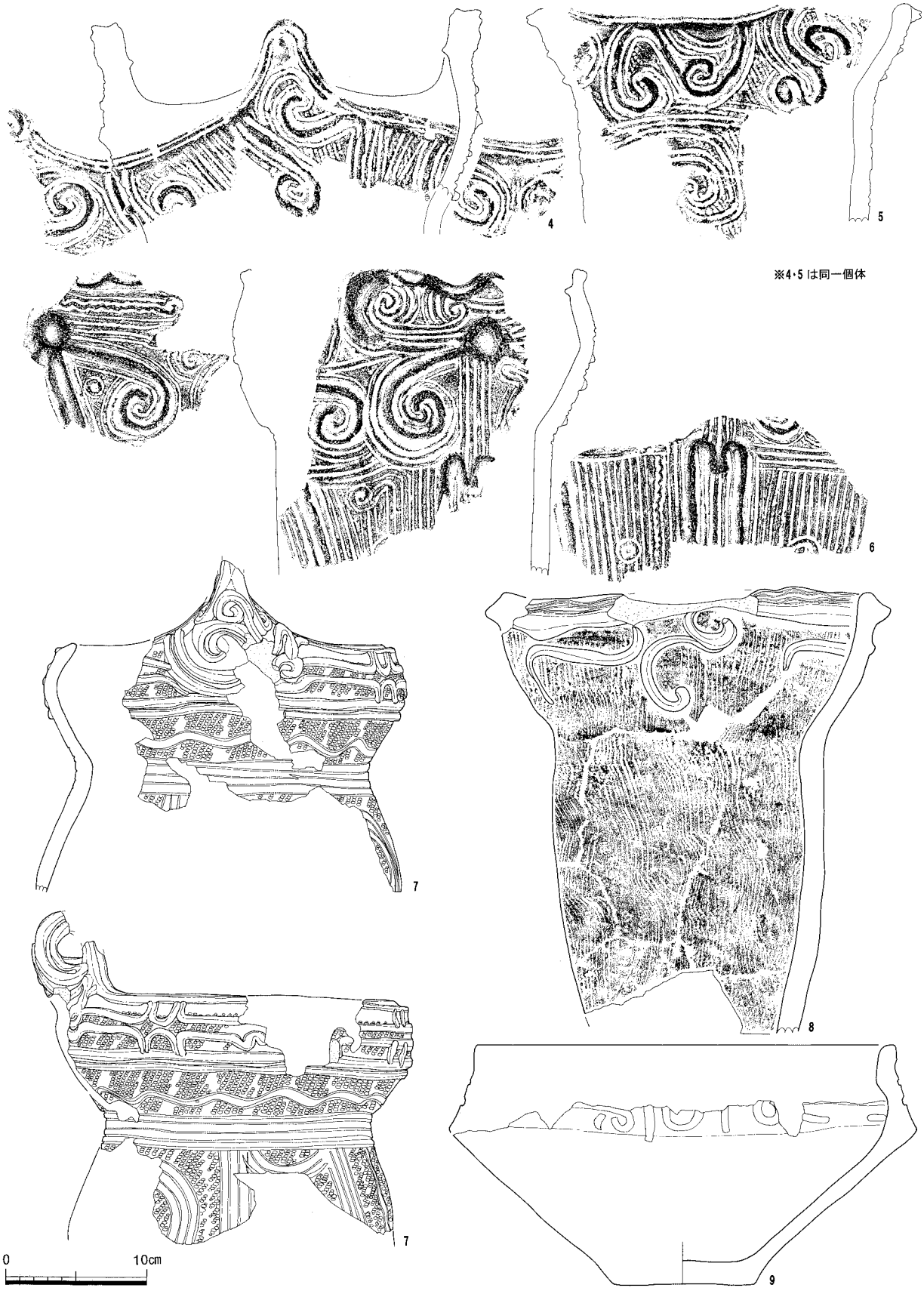


第102図　SK－58・60・62・63・66ab・67b・78a・88出土遺物

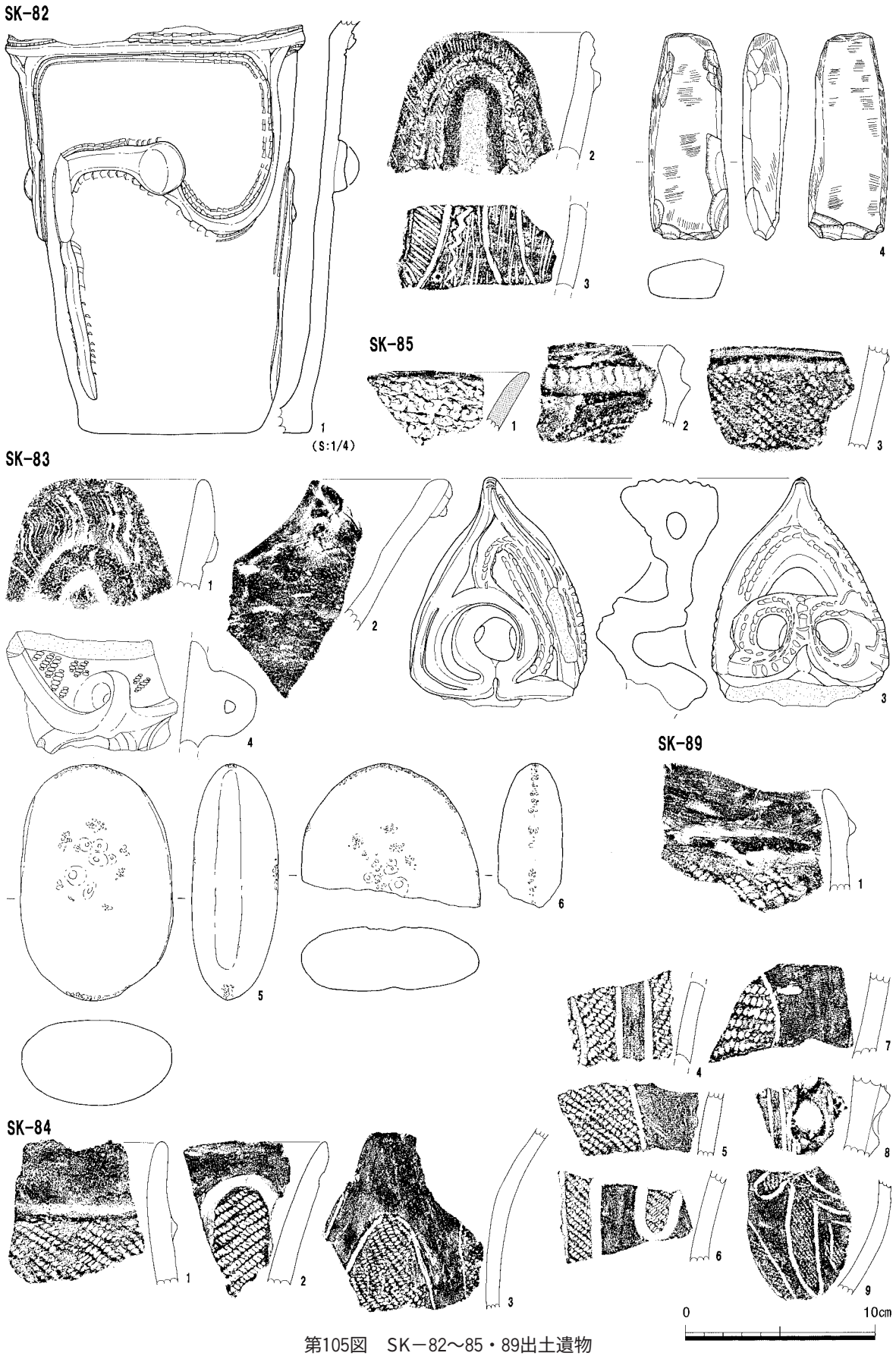


第103図　SK－70・74・80出土遺物

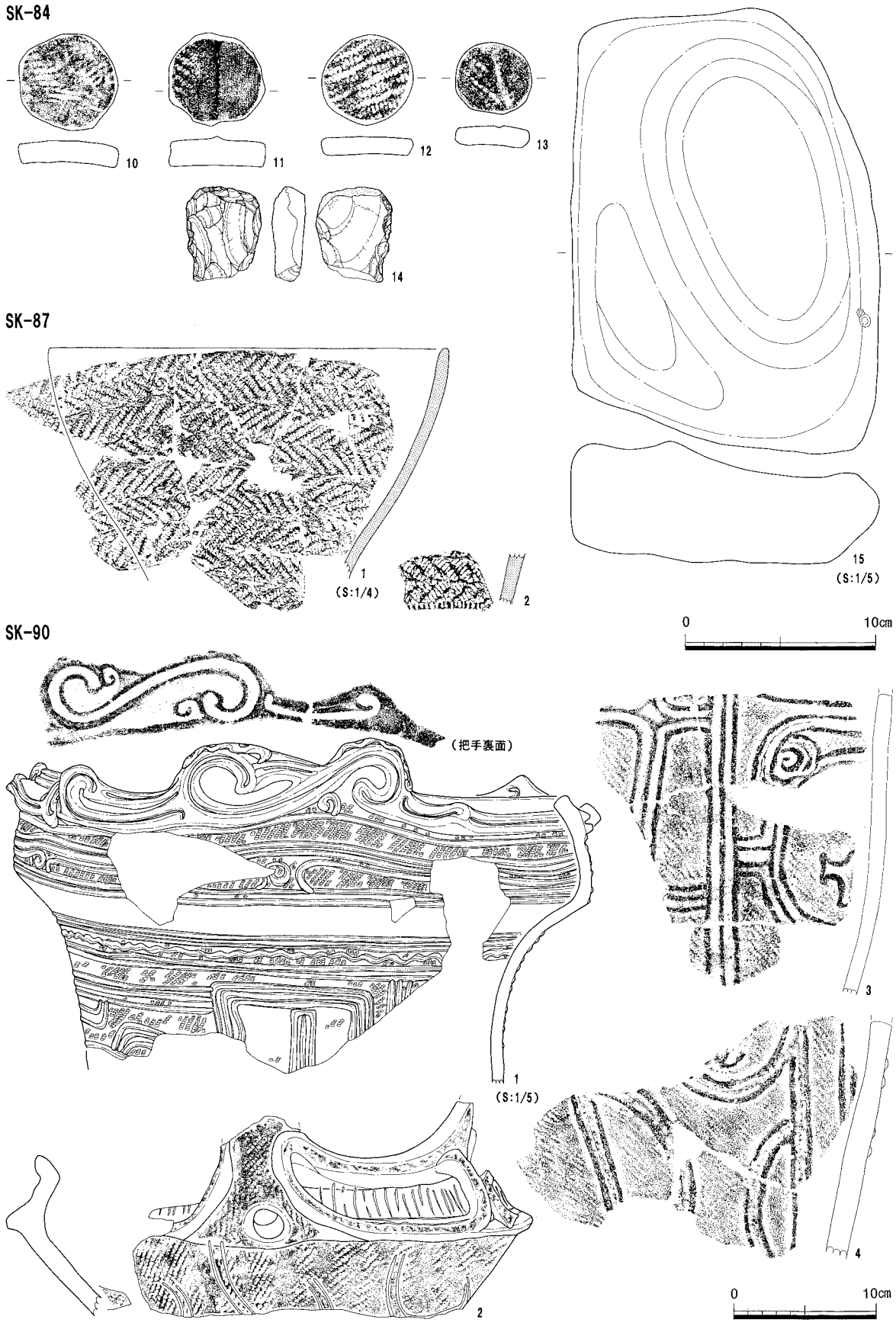
SK-80



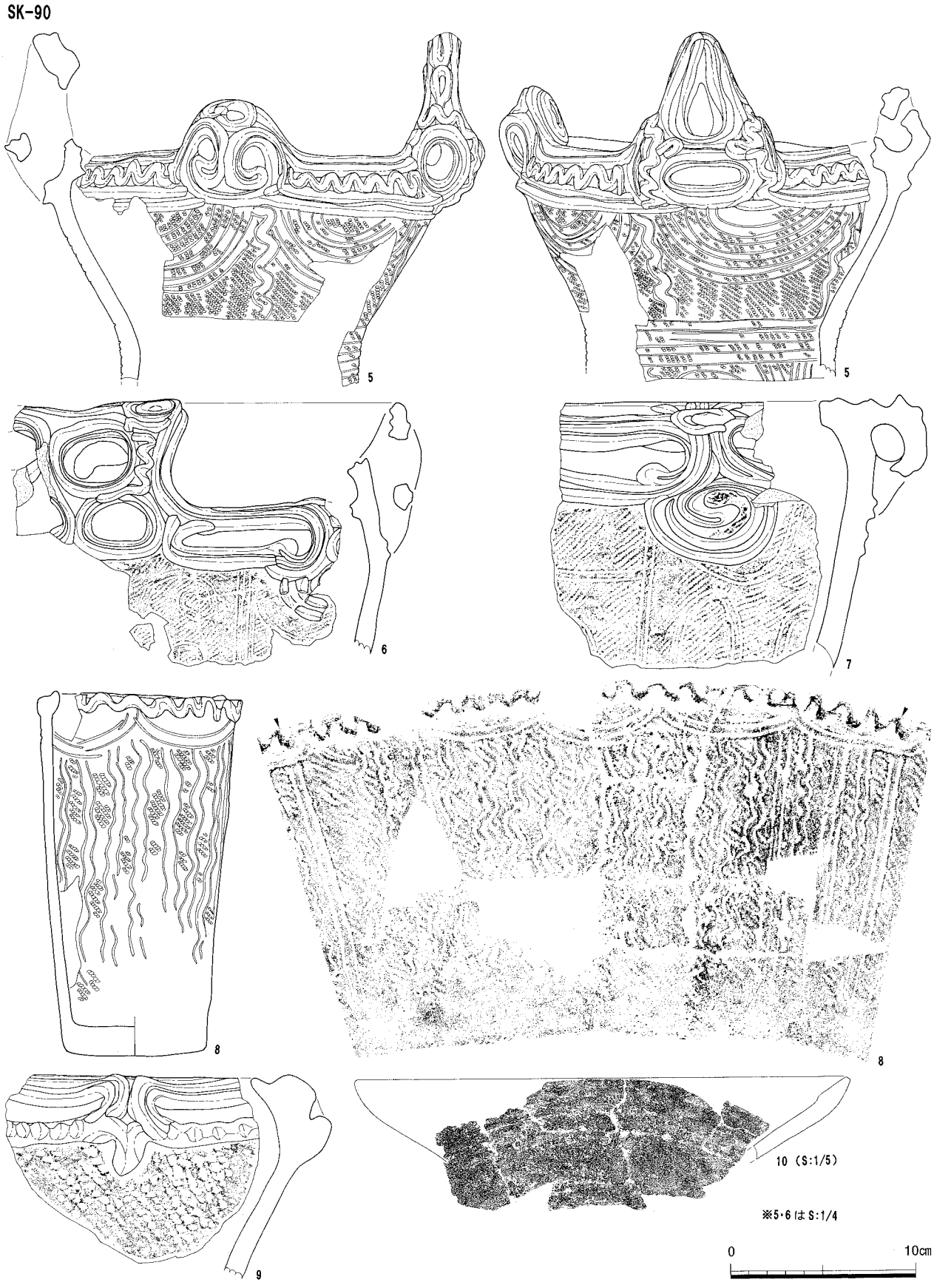
第104図　SK－80出土遺物



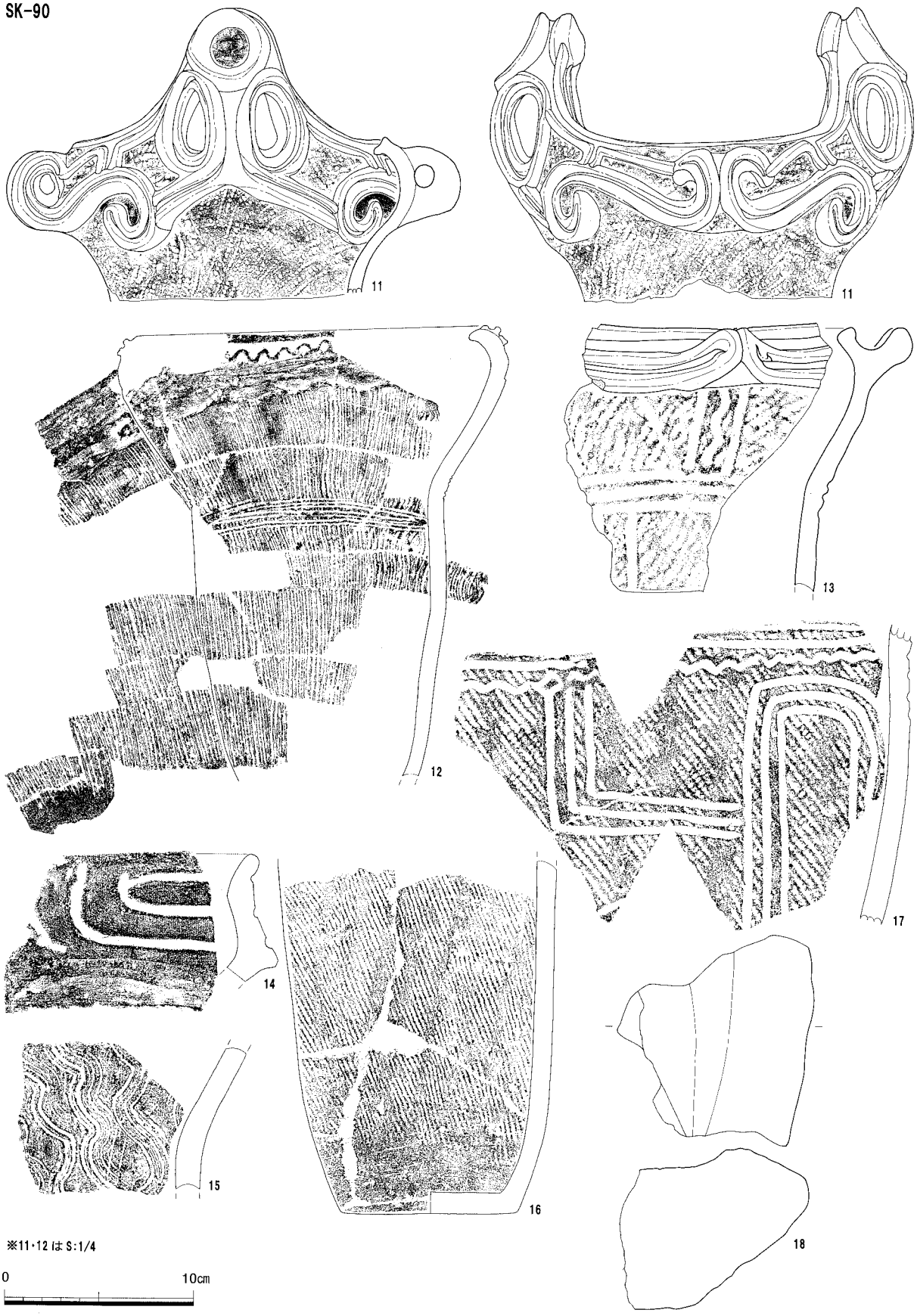
第105図　SK－82～85・89出土遺物



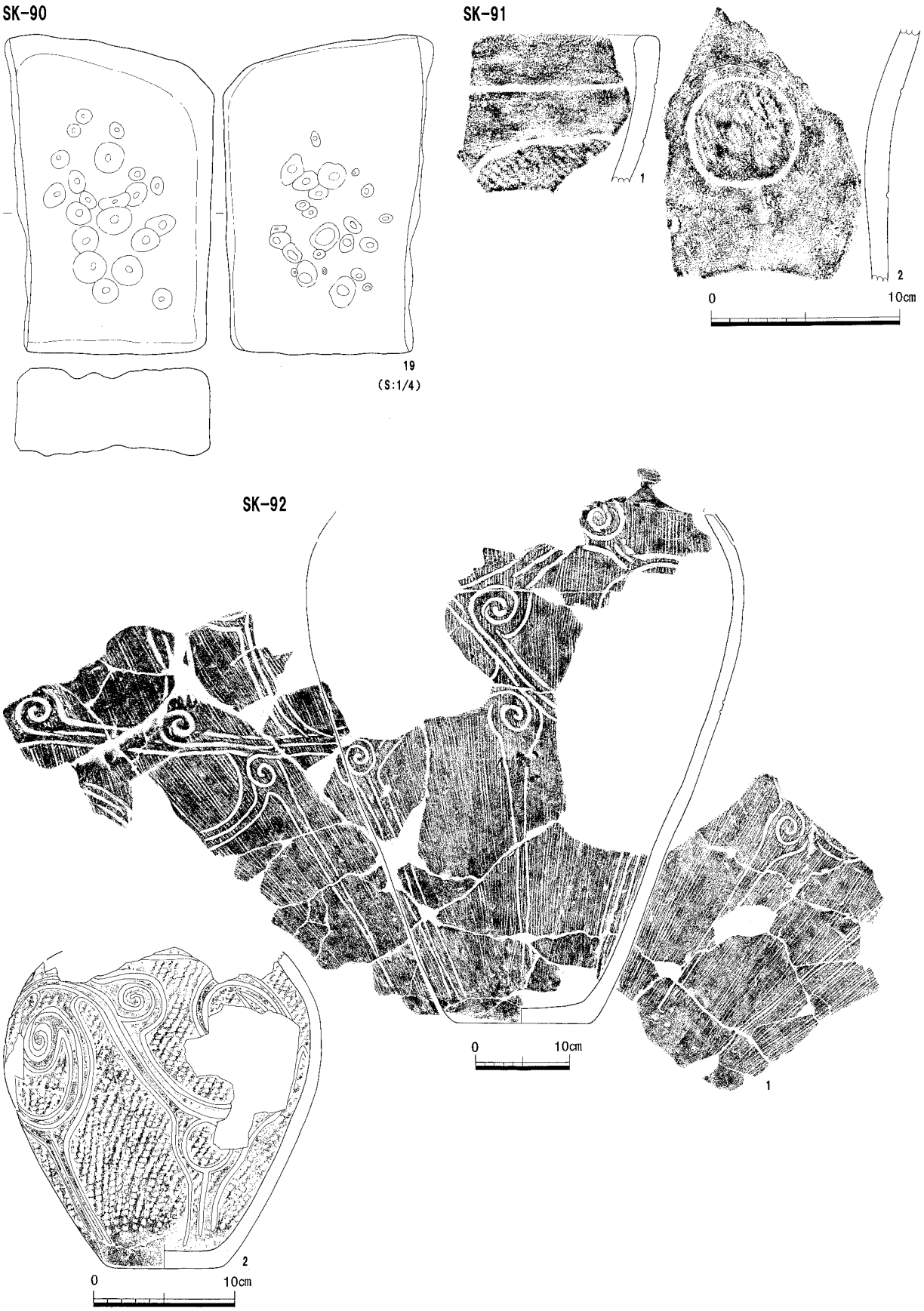
第106図　SK－84・87・90出土遺物



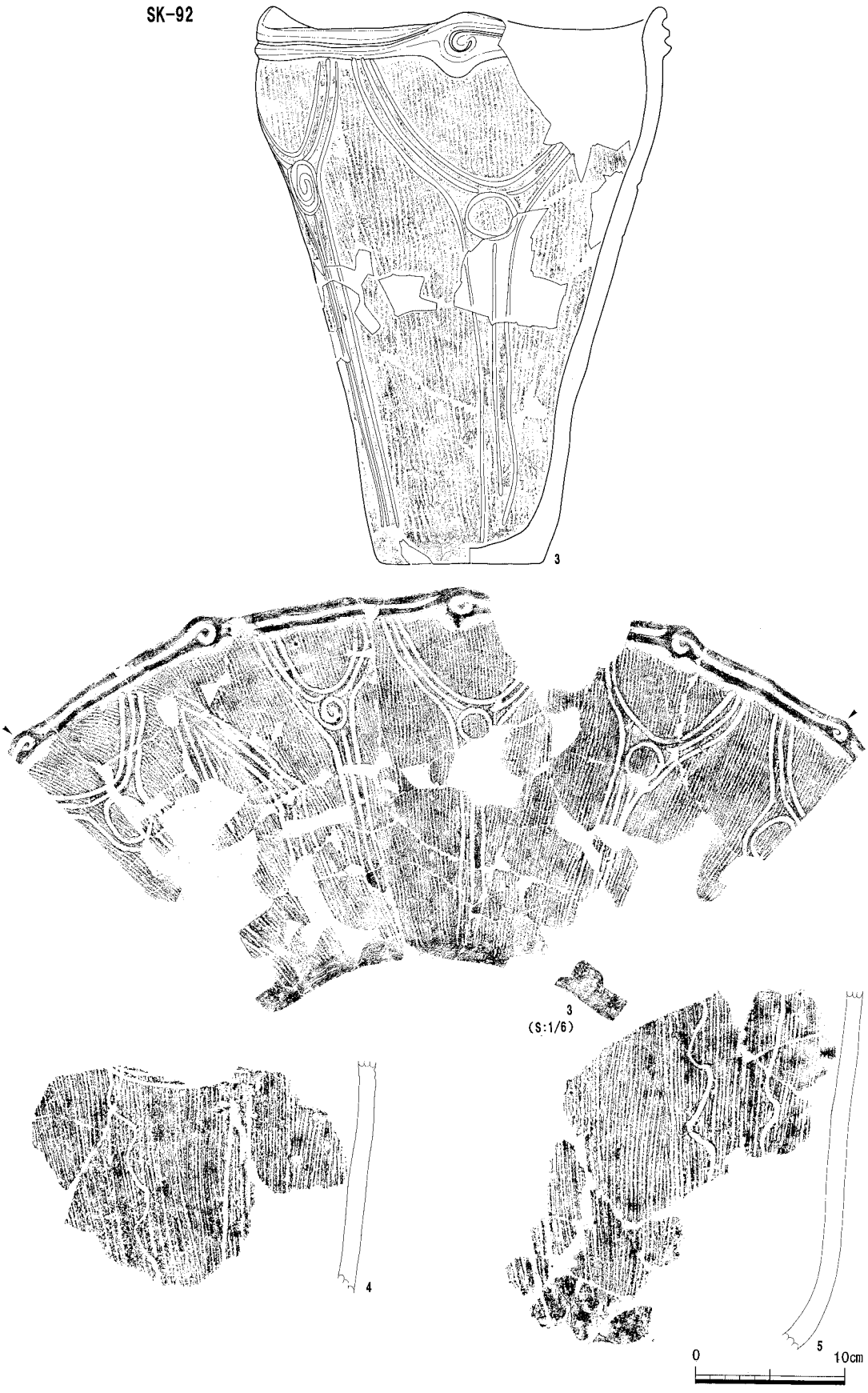
第107図　SK－90出土遺物



第108図　SK－90出土遺物

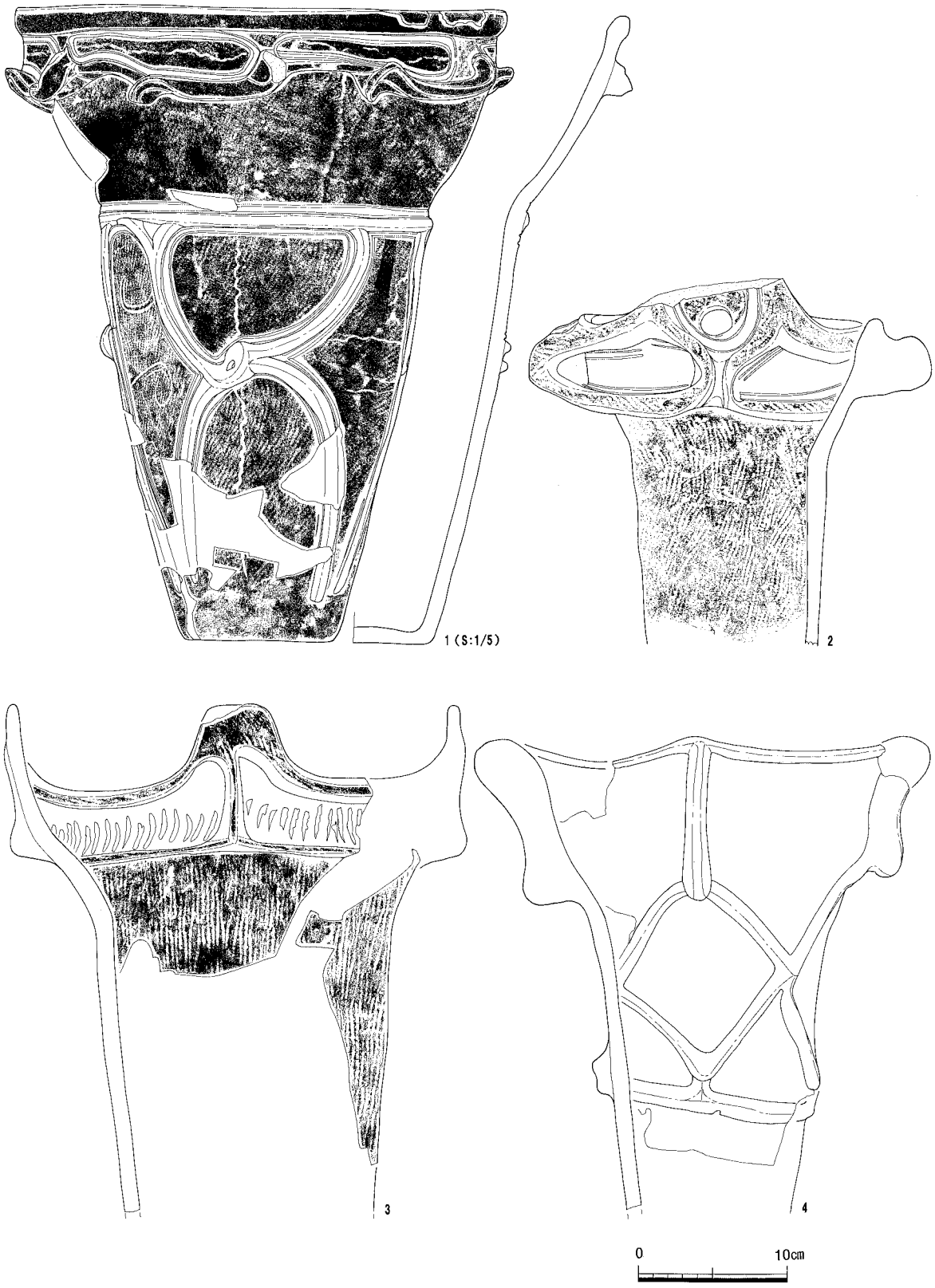


第109図　SK－90～92出土遺物

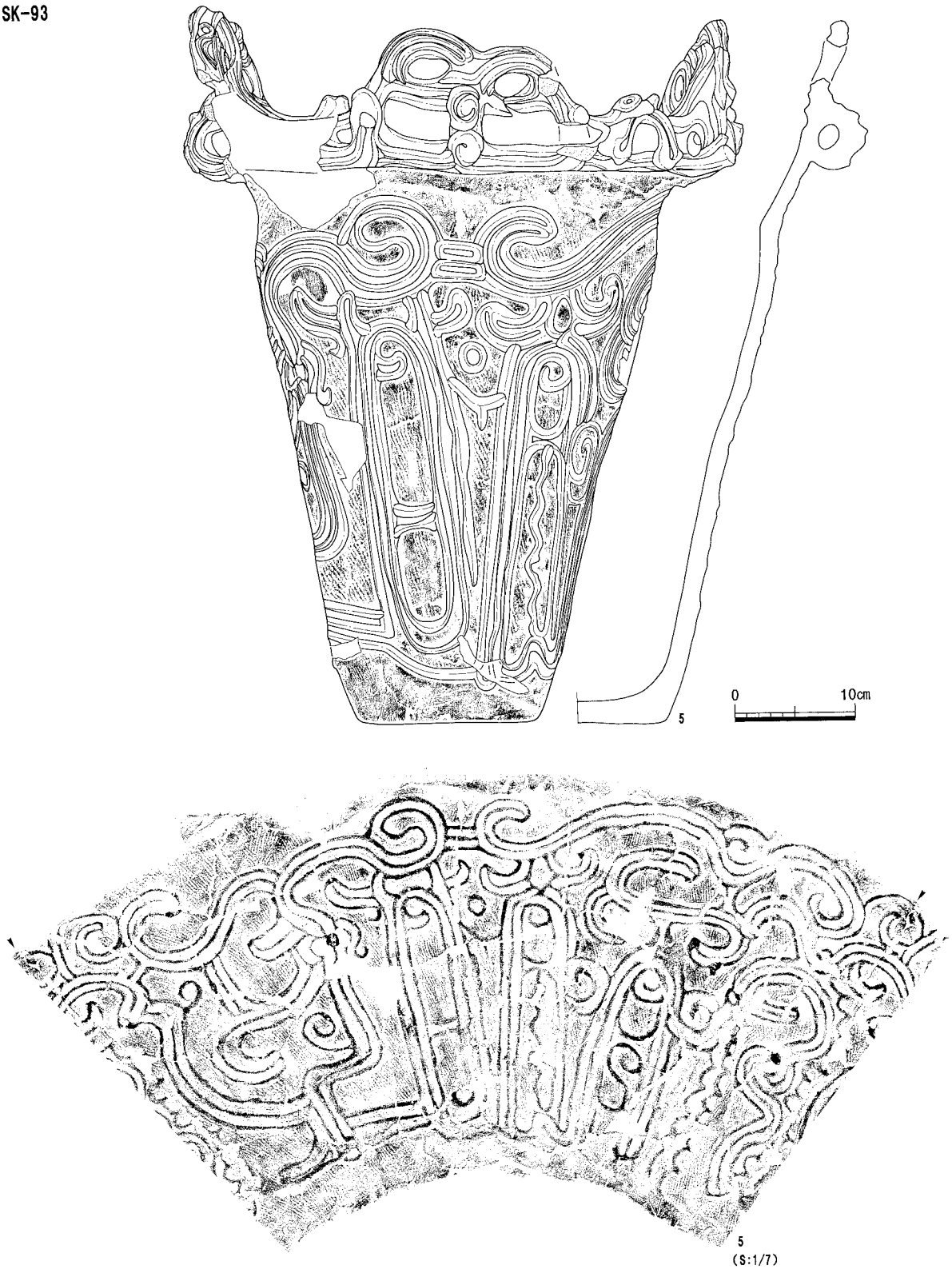


第110図　SK－92出土遺物

SK-93

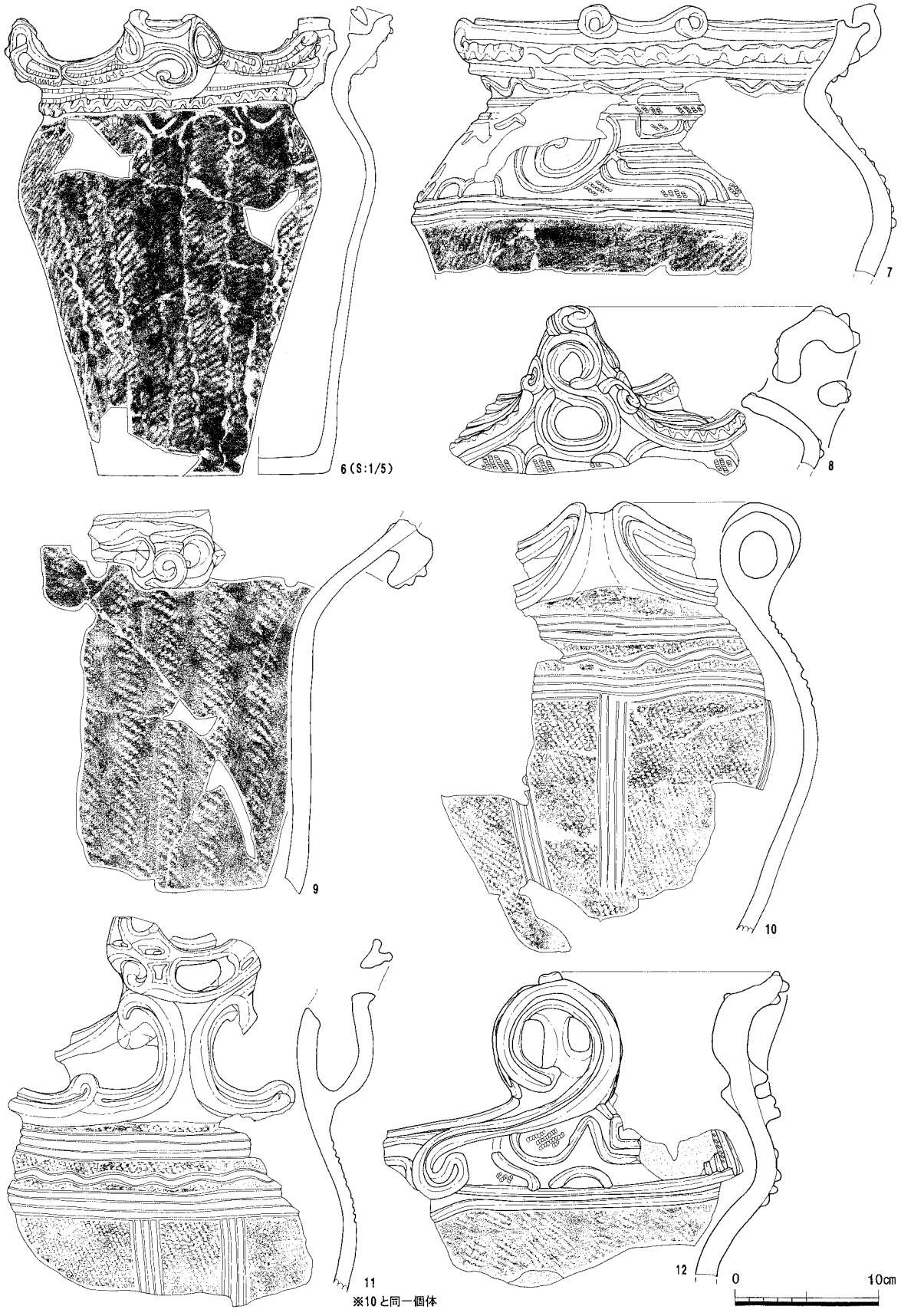


第111図　SK－93出土遺物

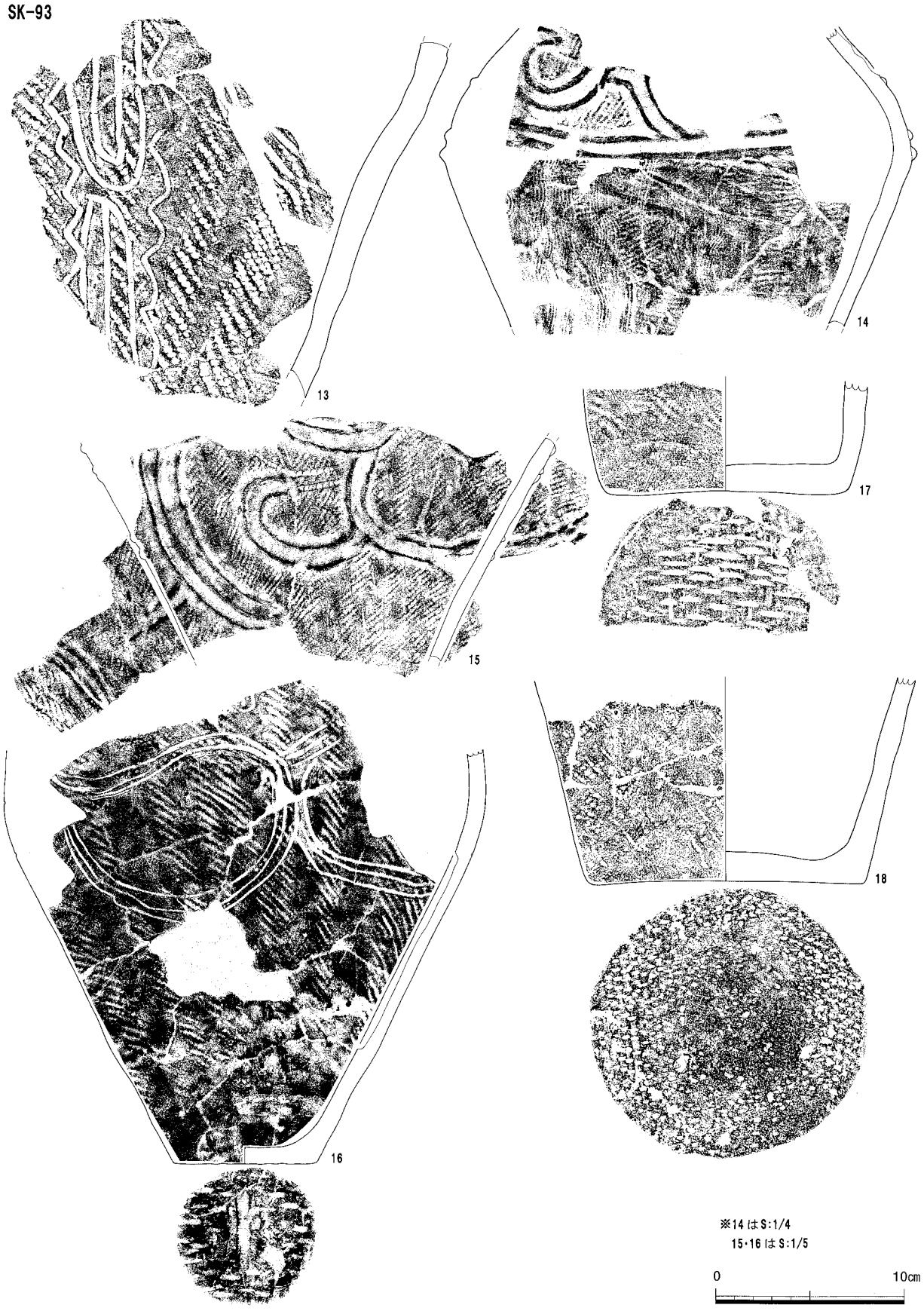


第112図　SK－93出土遺物

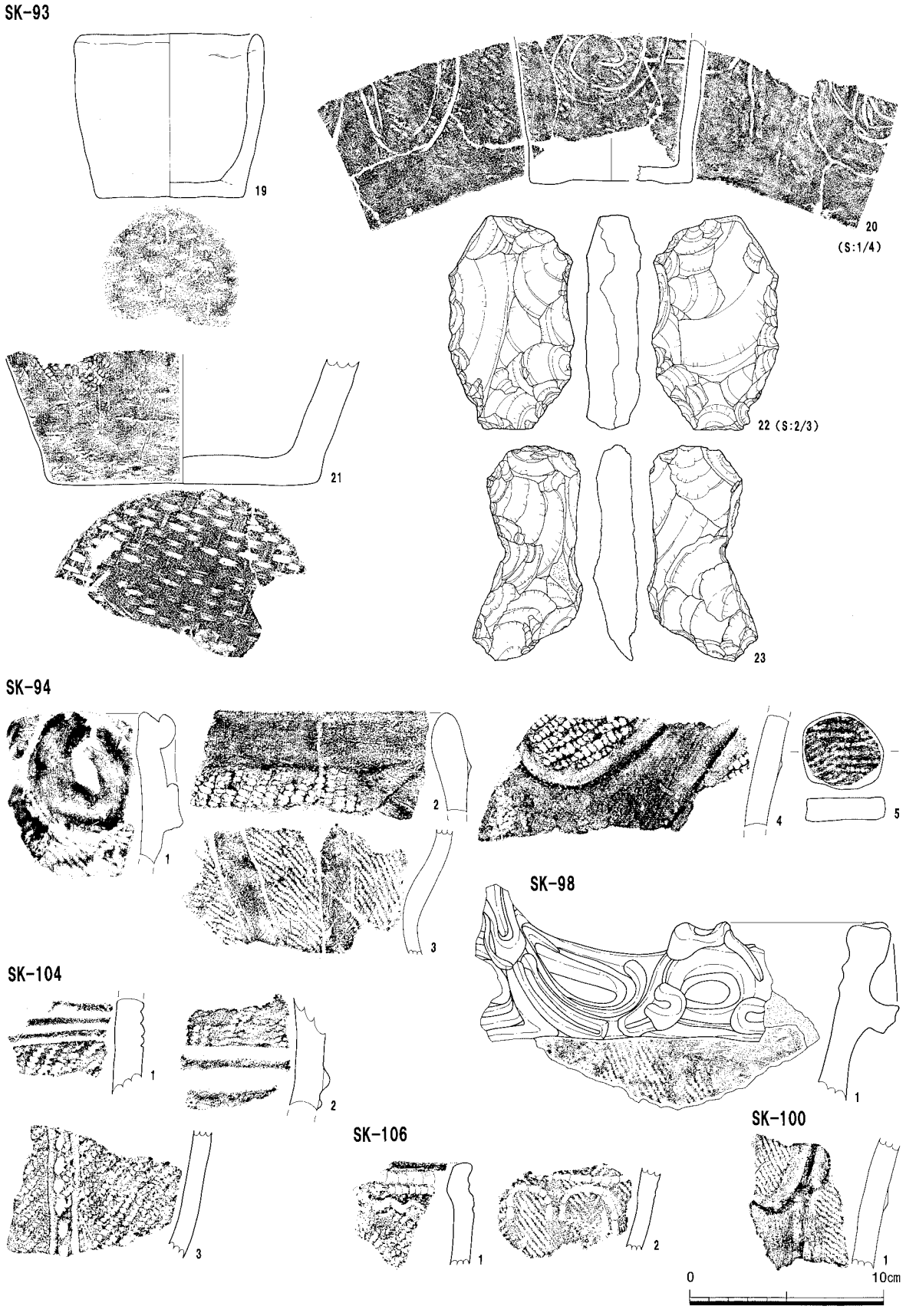
SK-93



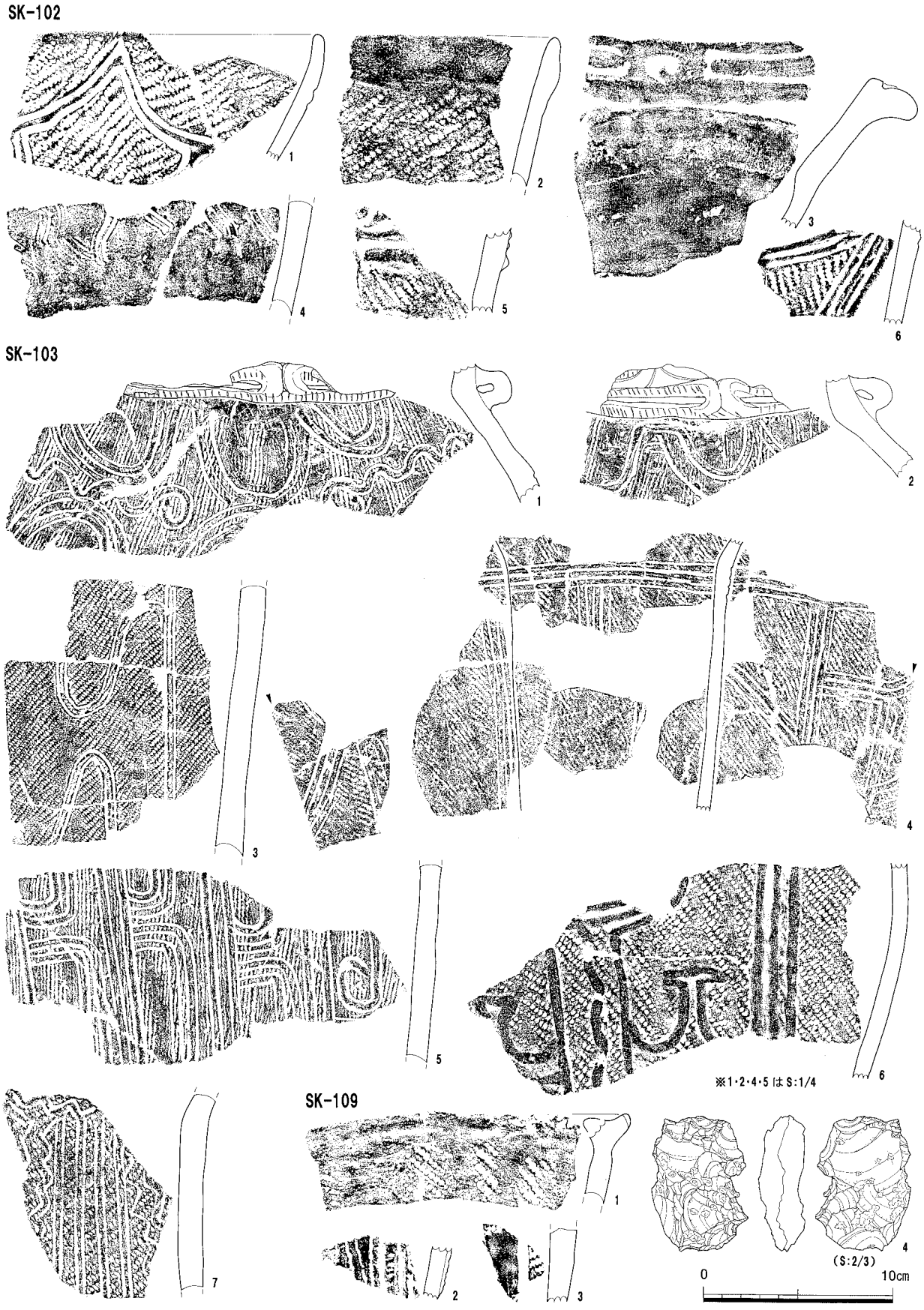
第113図　SK－93出土遺物



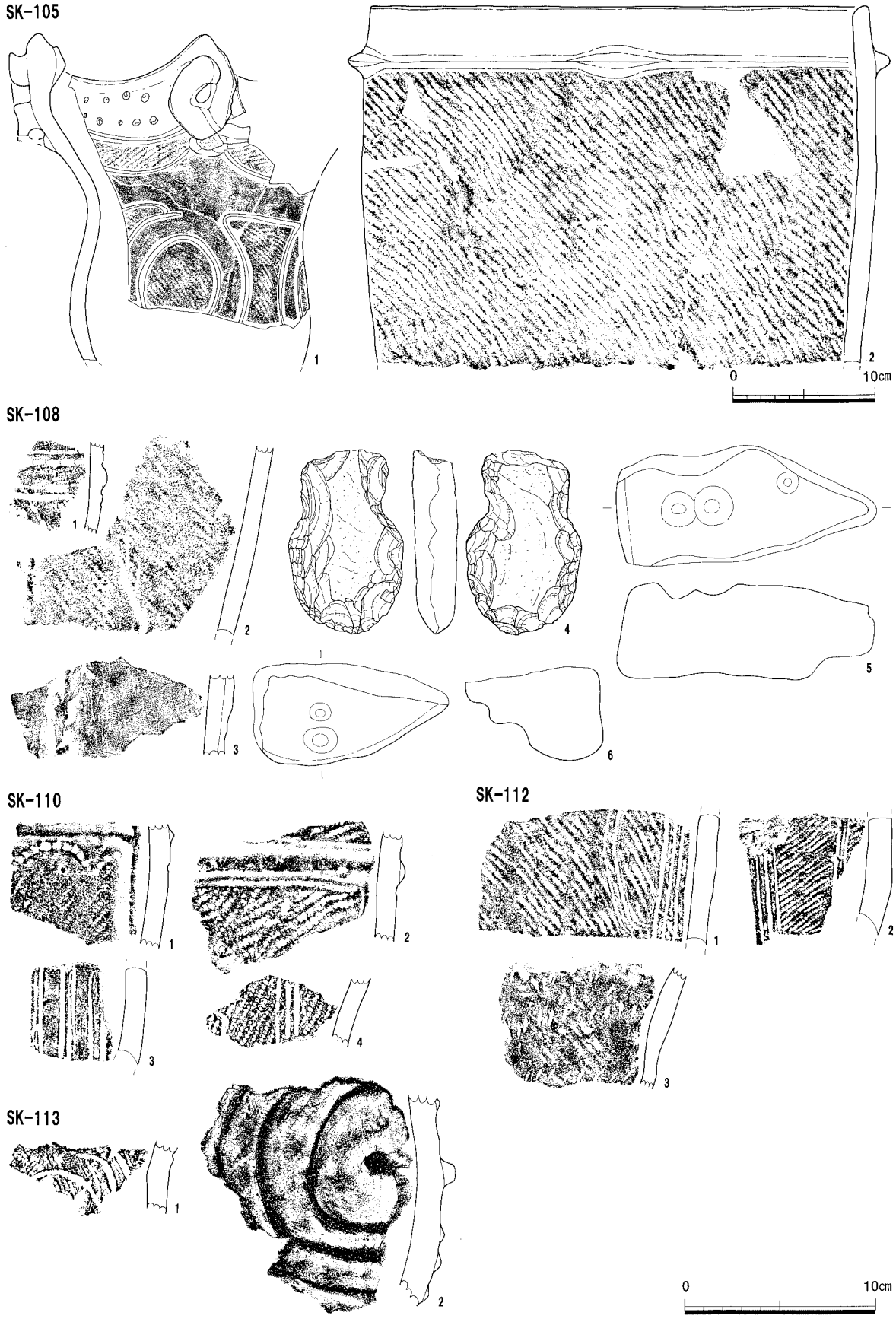
第114図　SK－93出土遺物



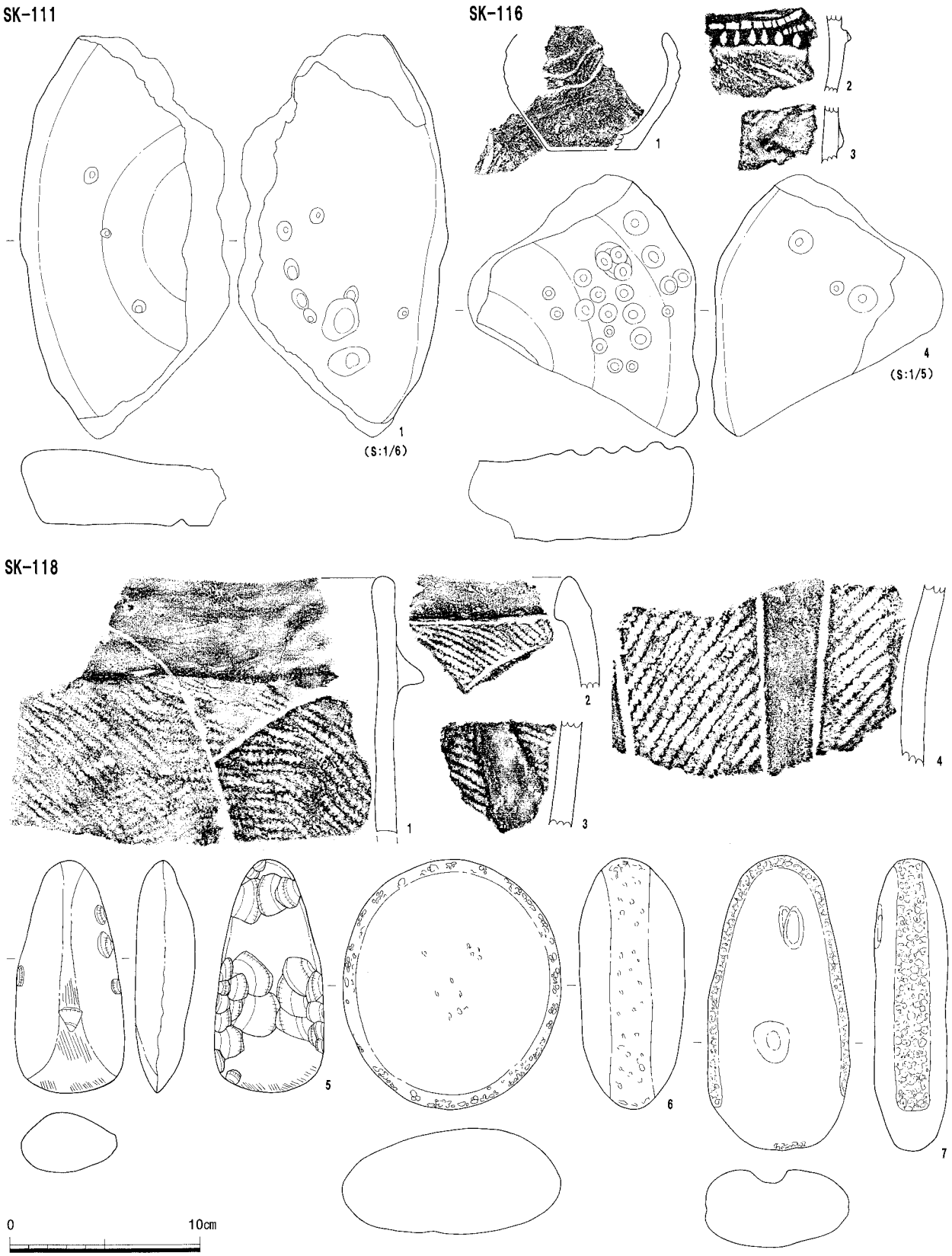
第115図　SK－93・94・98・100・104・106出土遺物



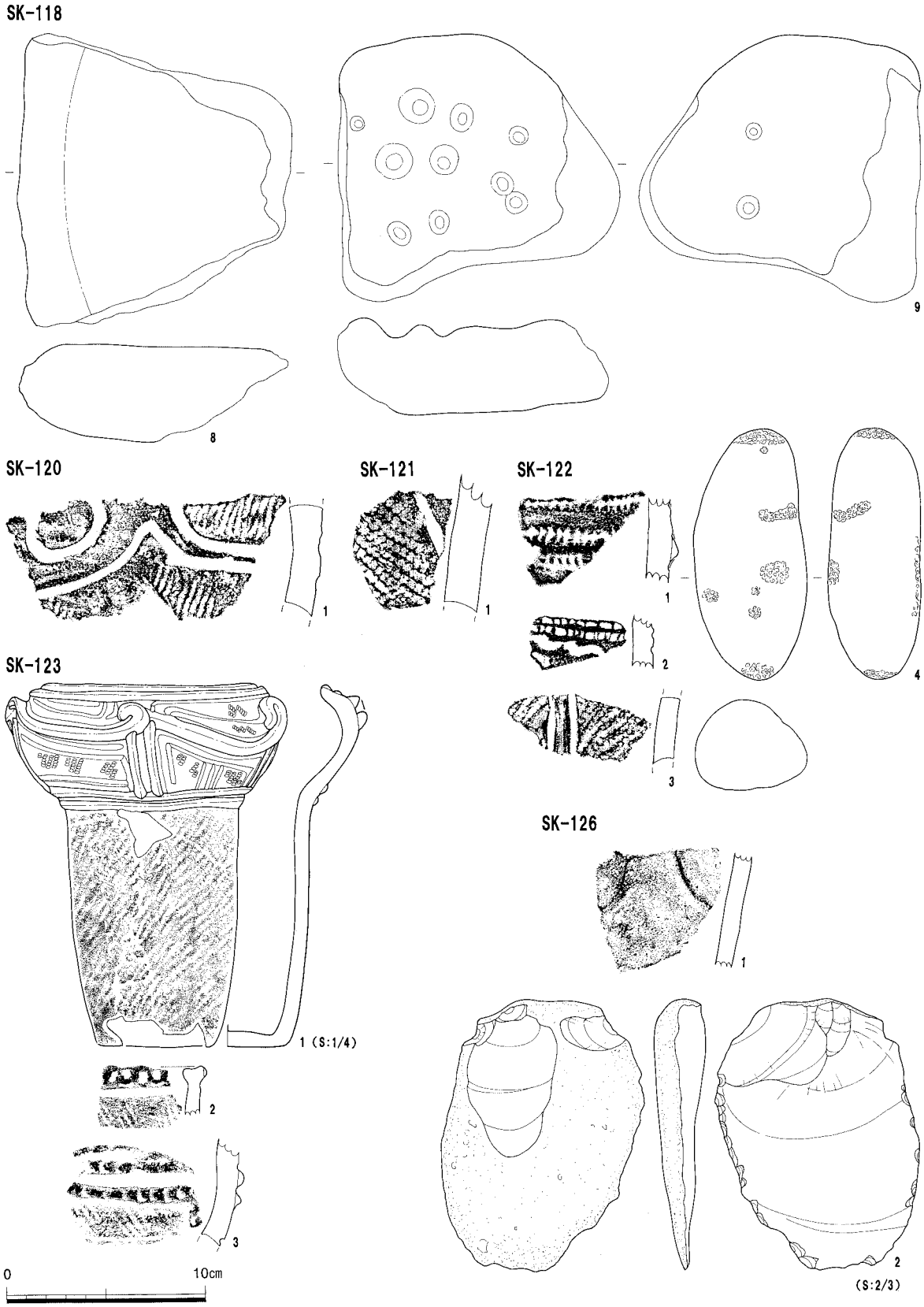
第116図　SK－102・103・109出土遺物



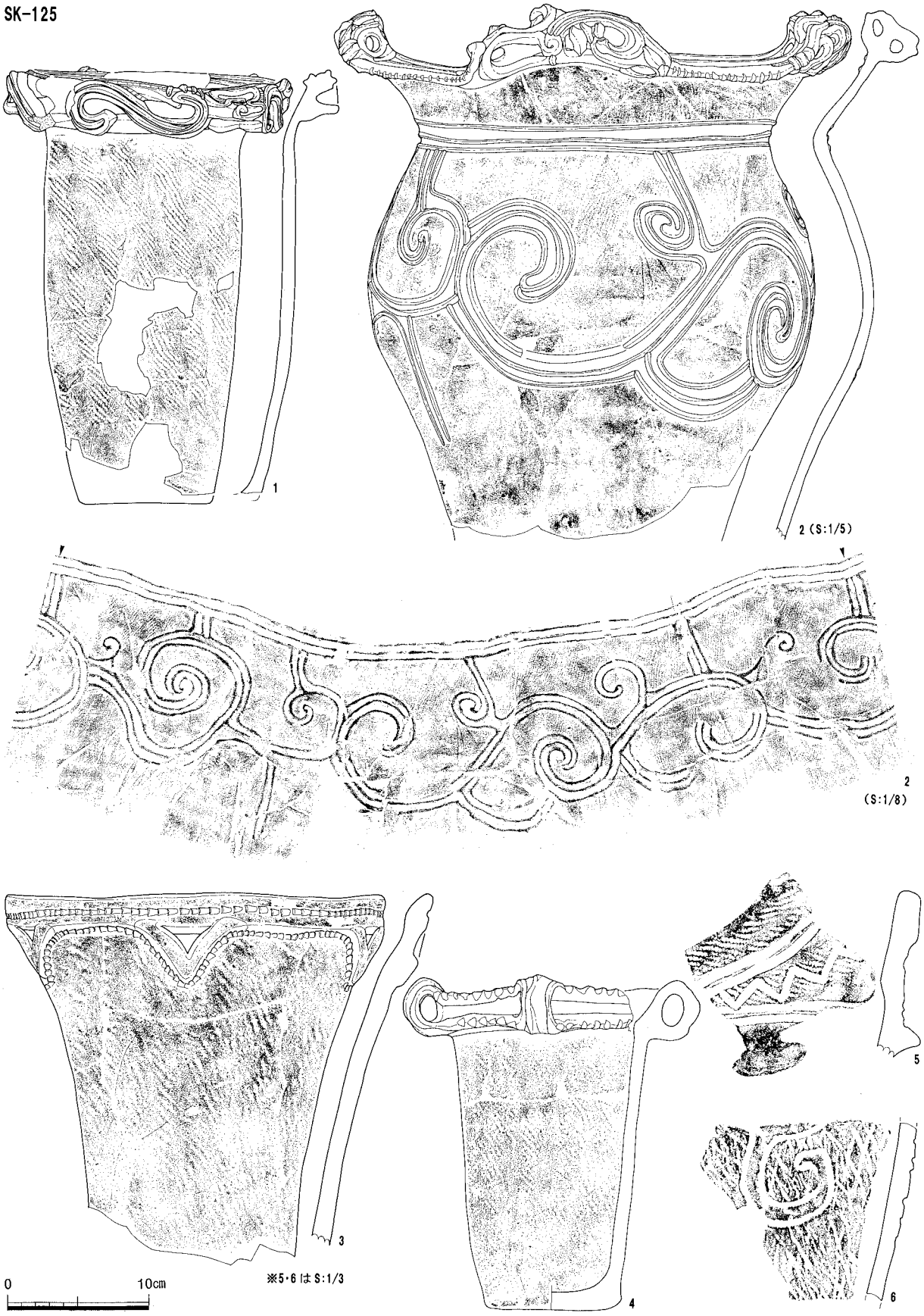
第117図　SK－105・108・110・112・113出土遺物



第118図　SK－111・116・118出土遺物



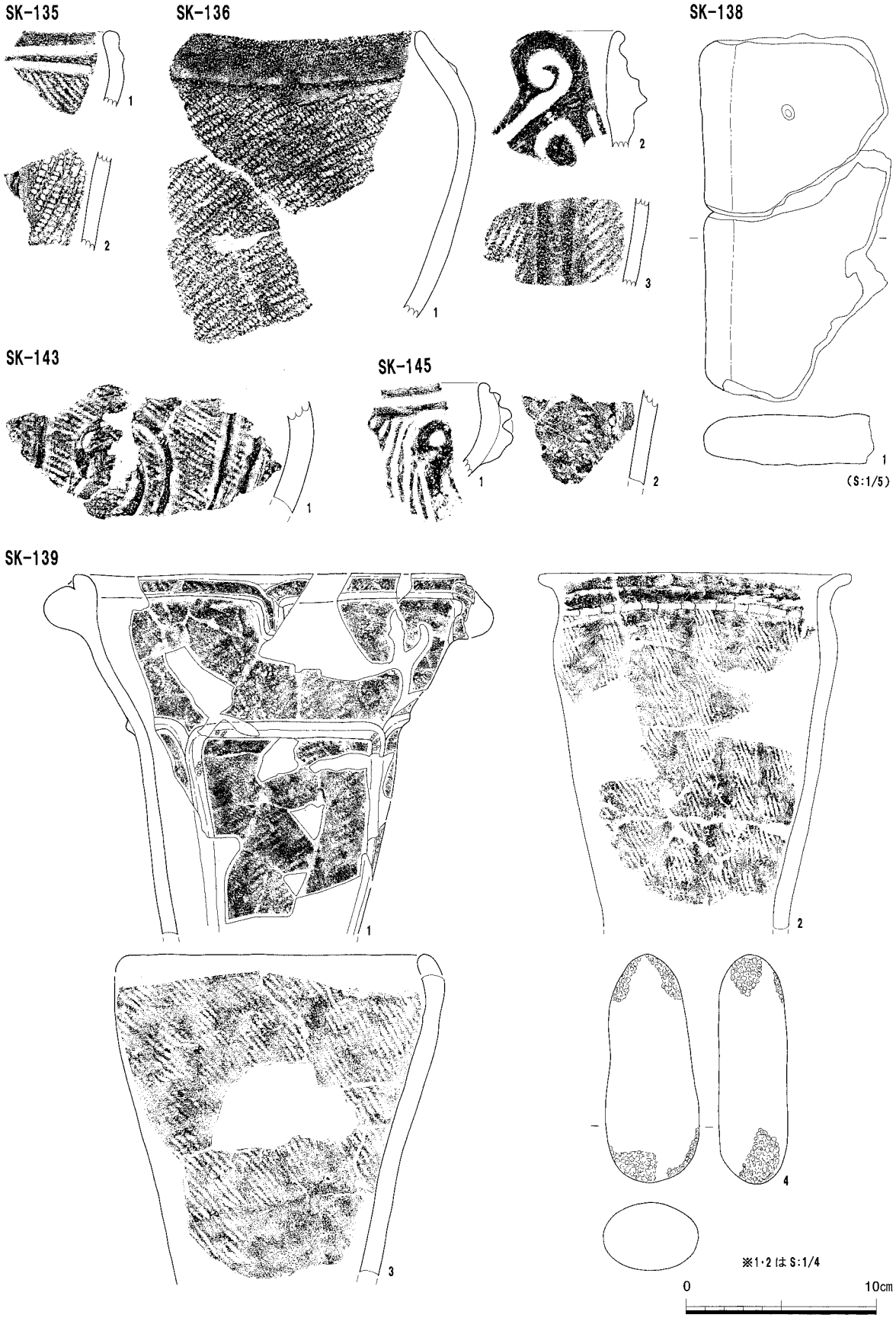
第119図　SK－118・120～123・126出土遺物



第120図　SK－125出土遺物



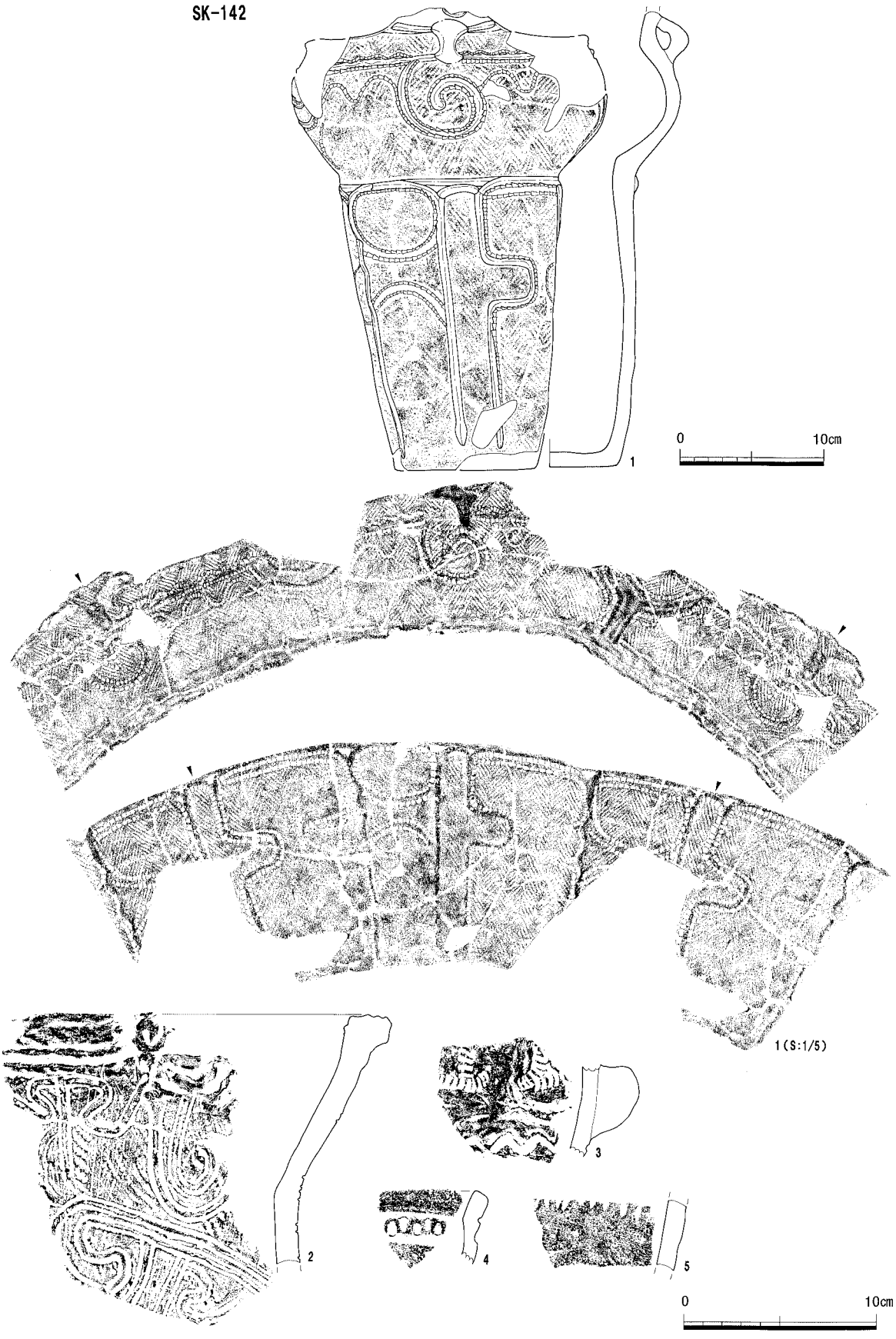
第121図　SK－127～131・133出土遺物



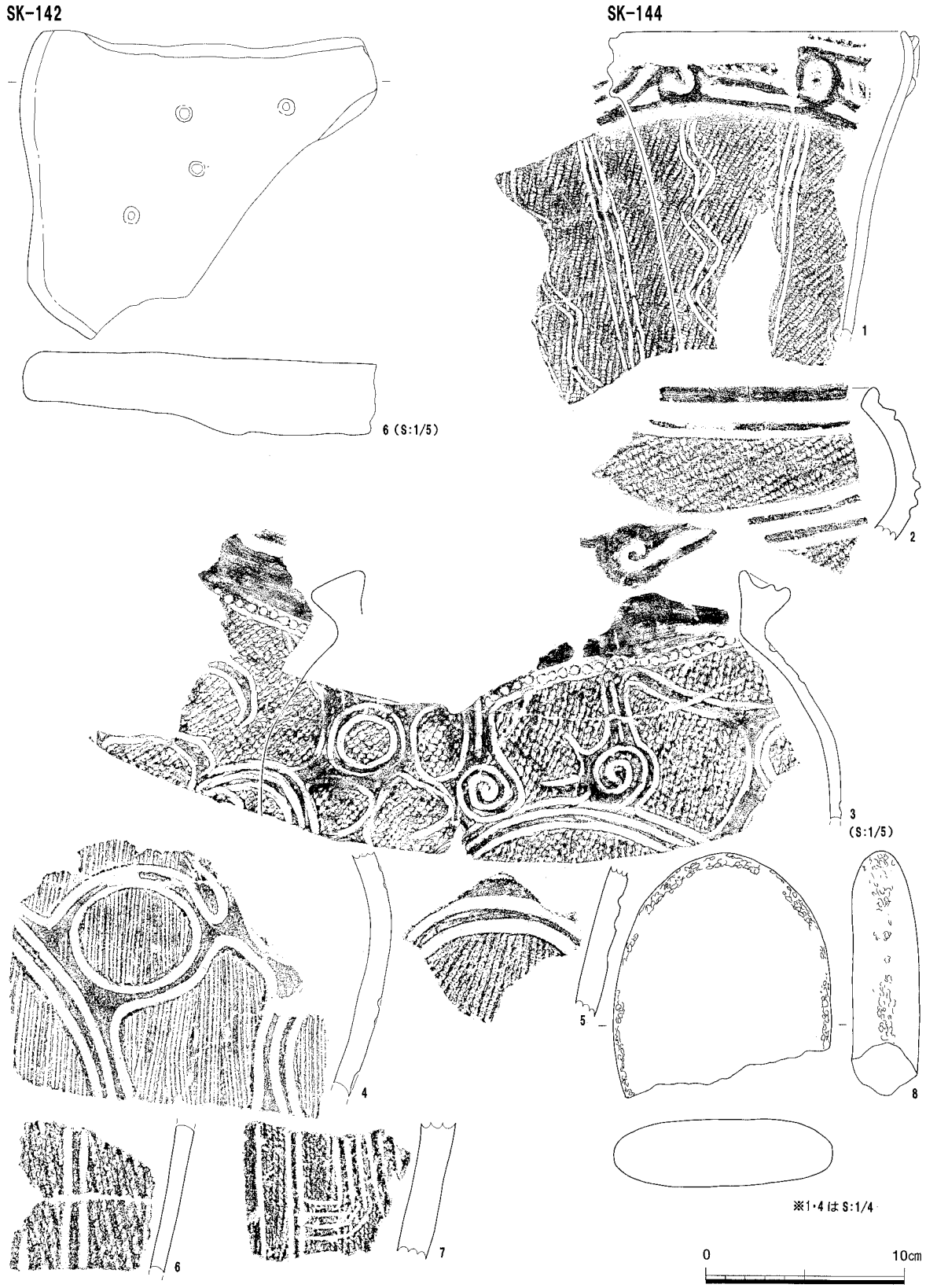
第122図　SK－135・136・138・139・143・145出土遺物



第123図　SK－140・141出土遺物



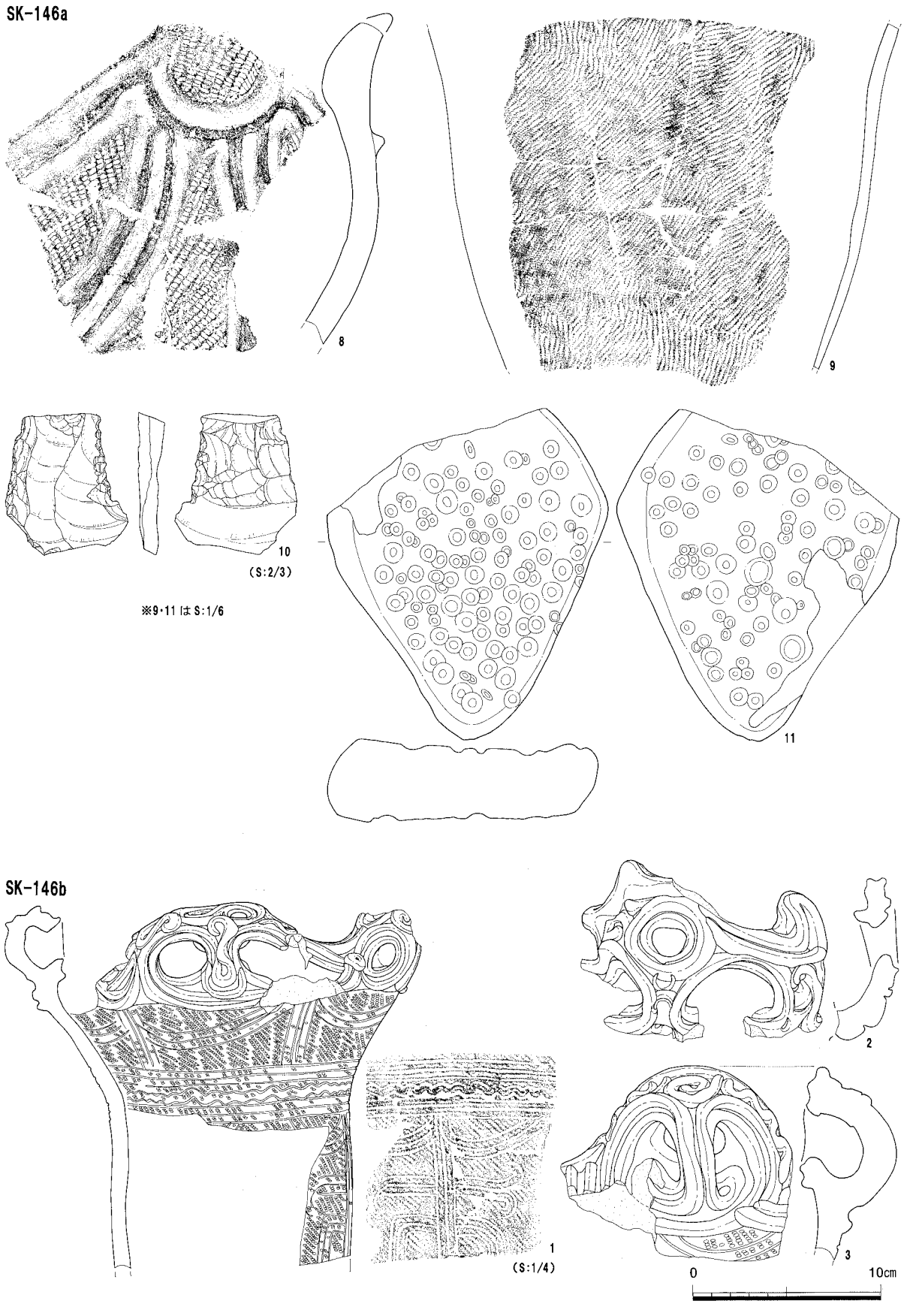
第124図　SK－142出土遺物



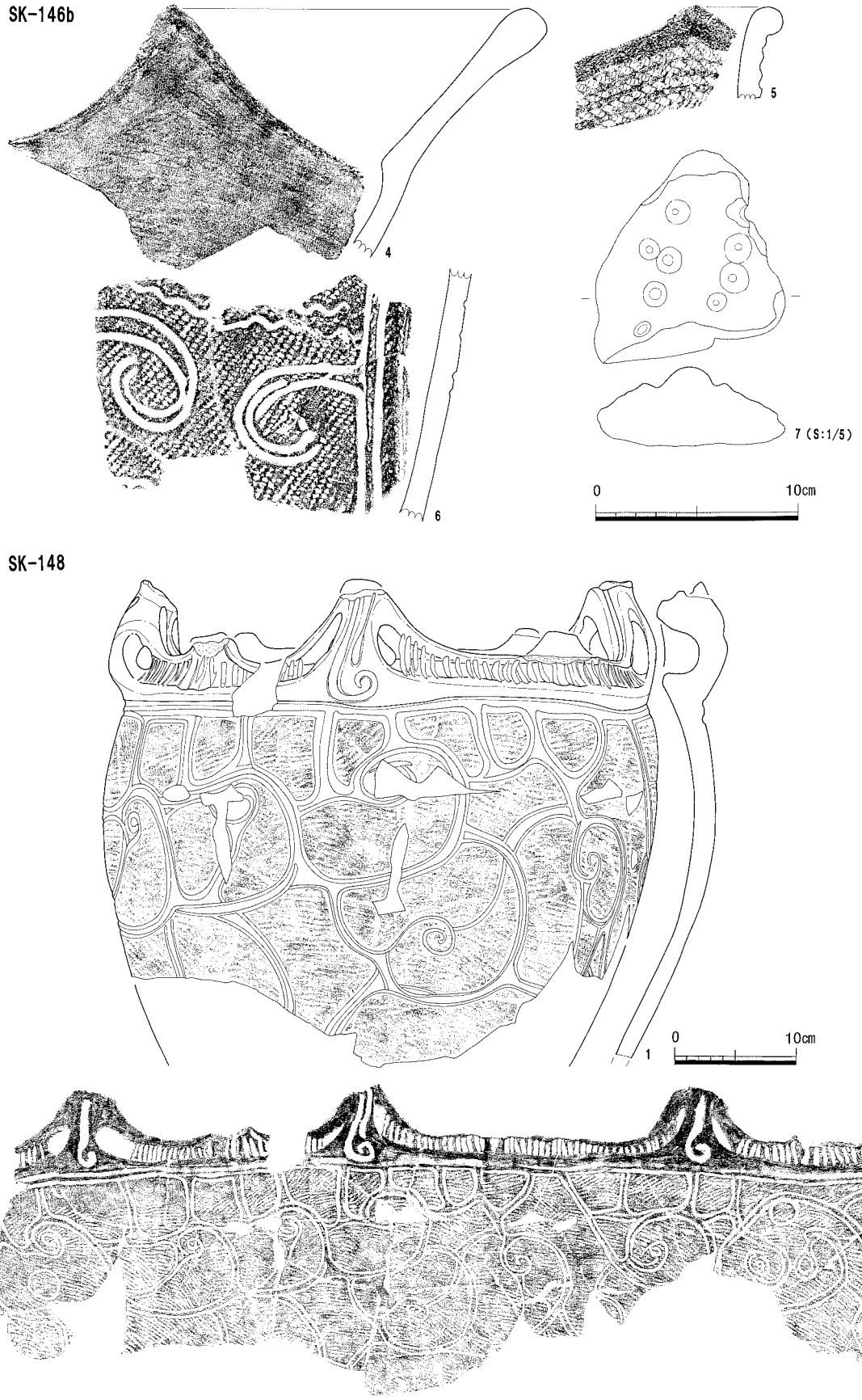
第125図　SK－142・144出土遺物



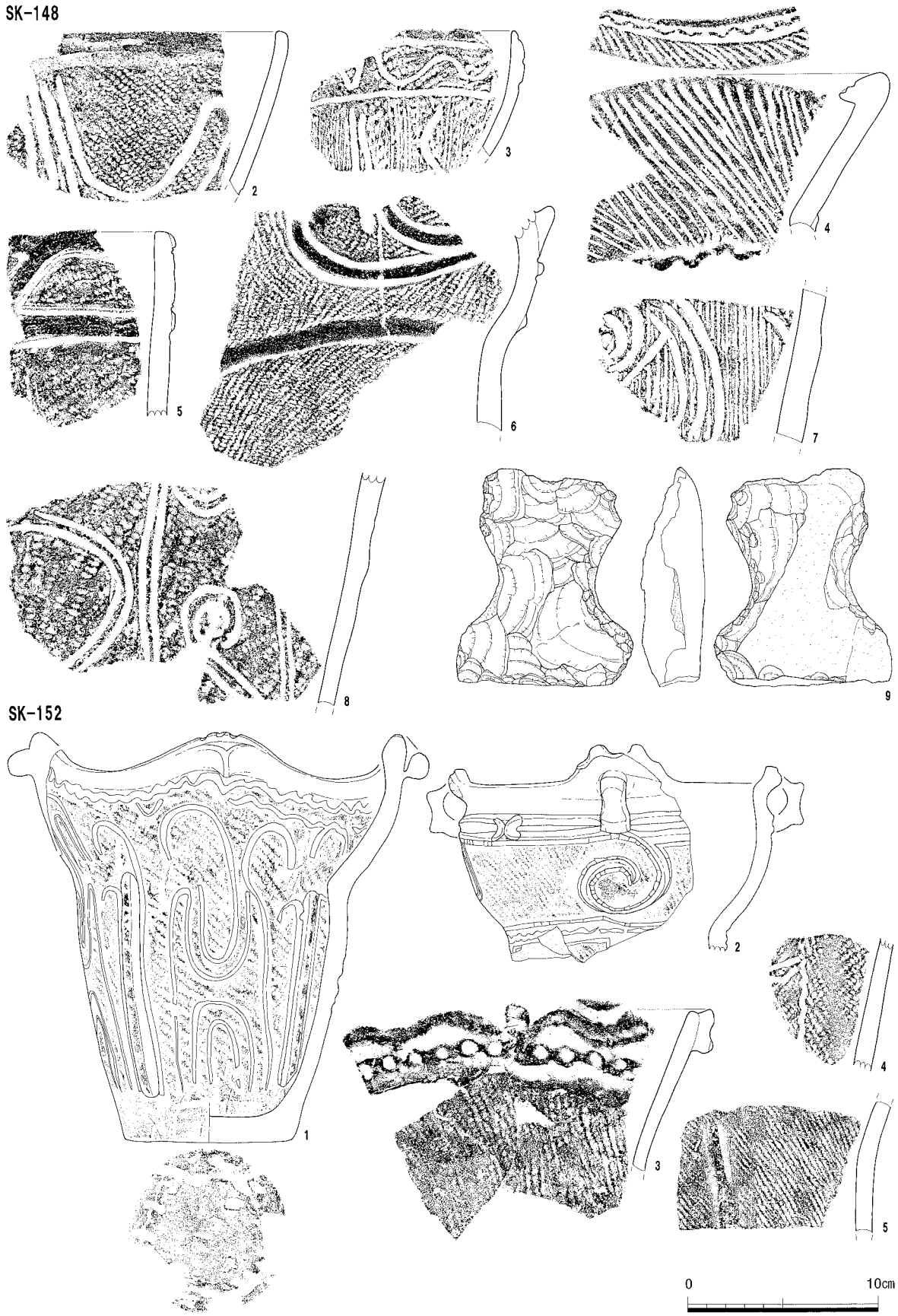
第126図　SK－146a出土遺物



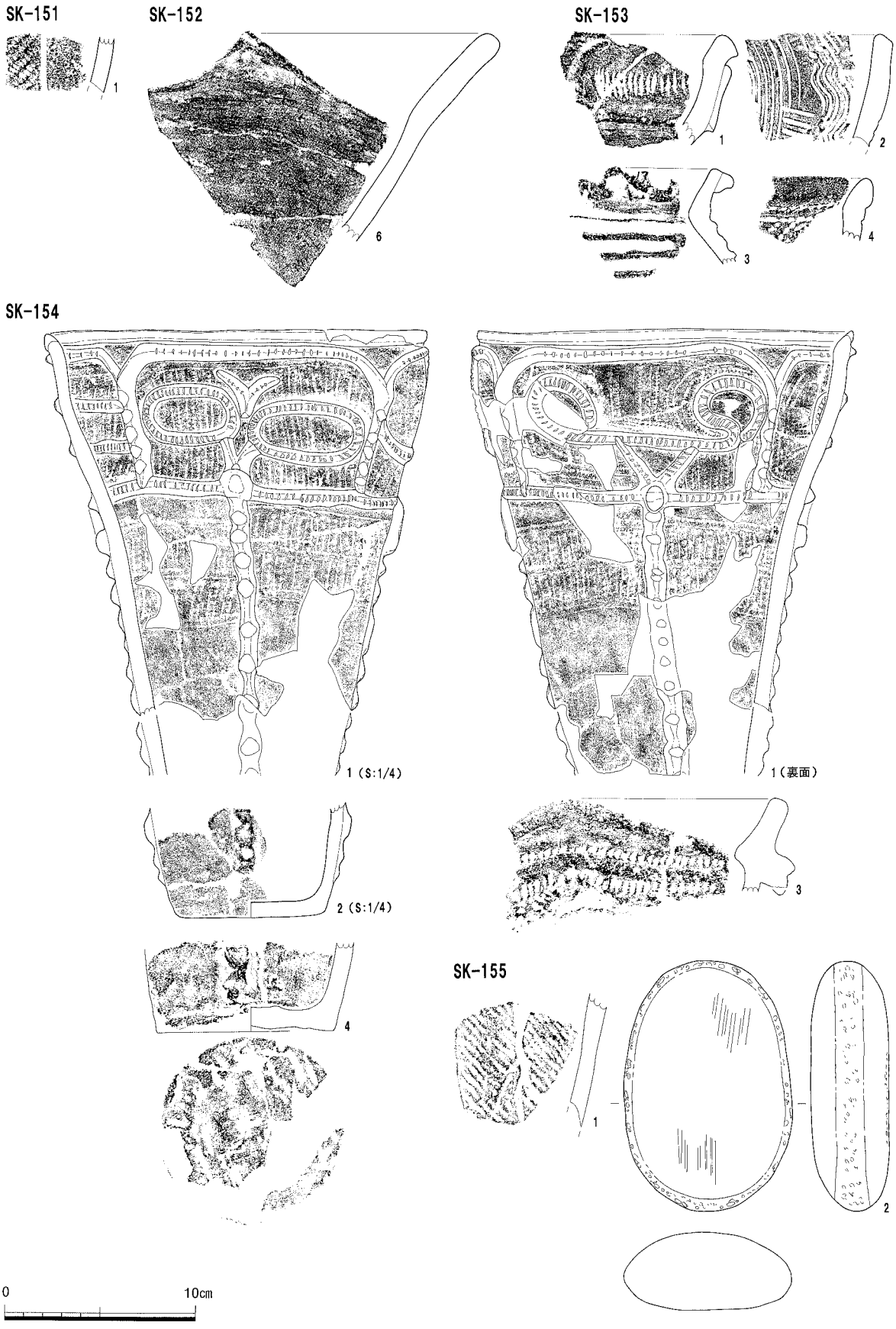
第127図　SK－146a・146b出土遺物



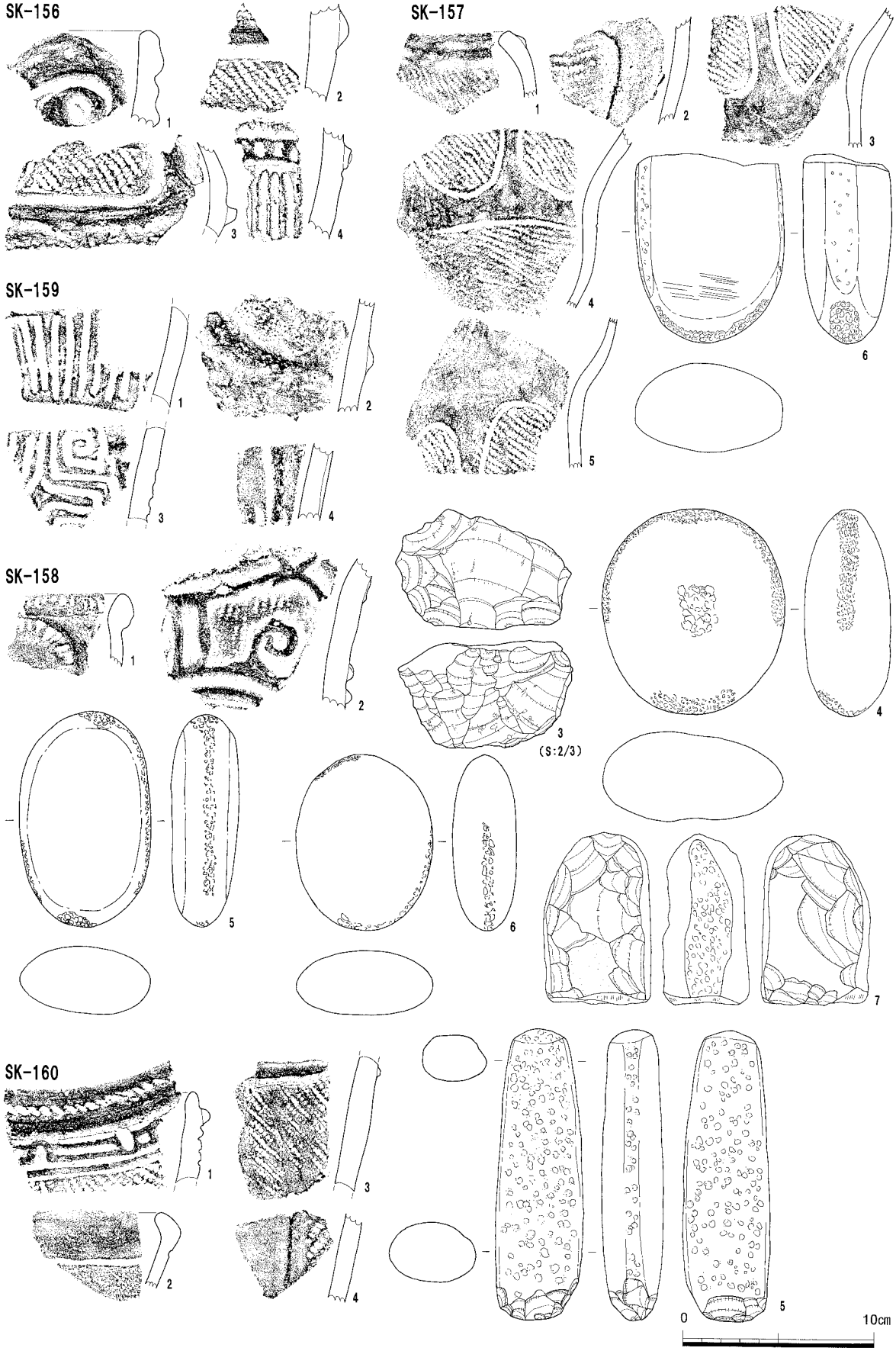
第128図　SK－146b・148出土遺物



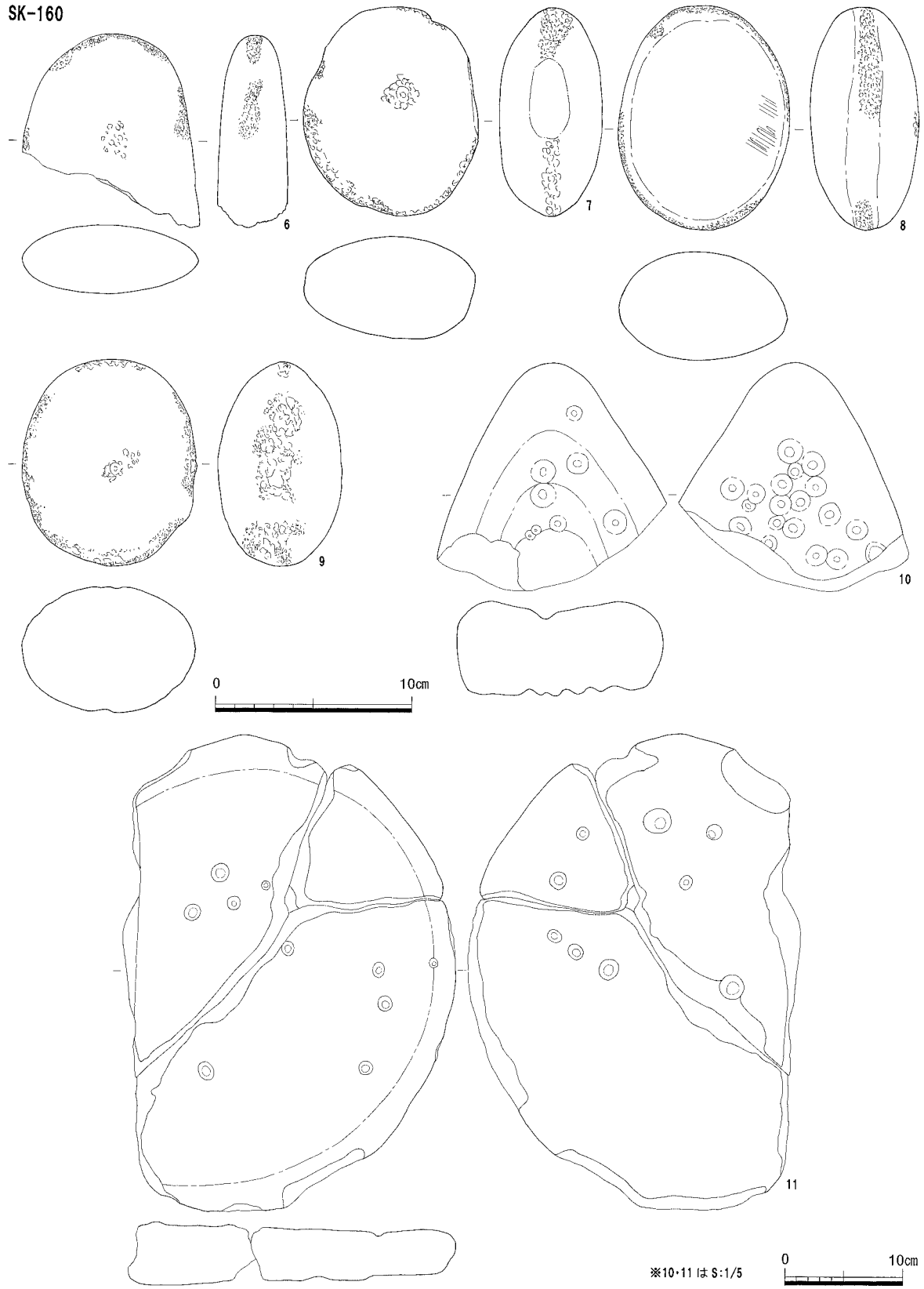
第129図　SK－148・152出土遺物



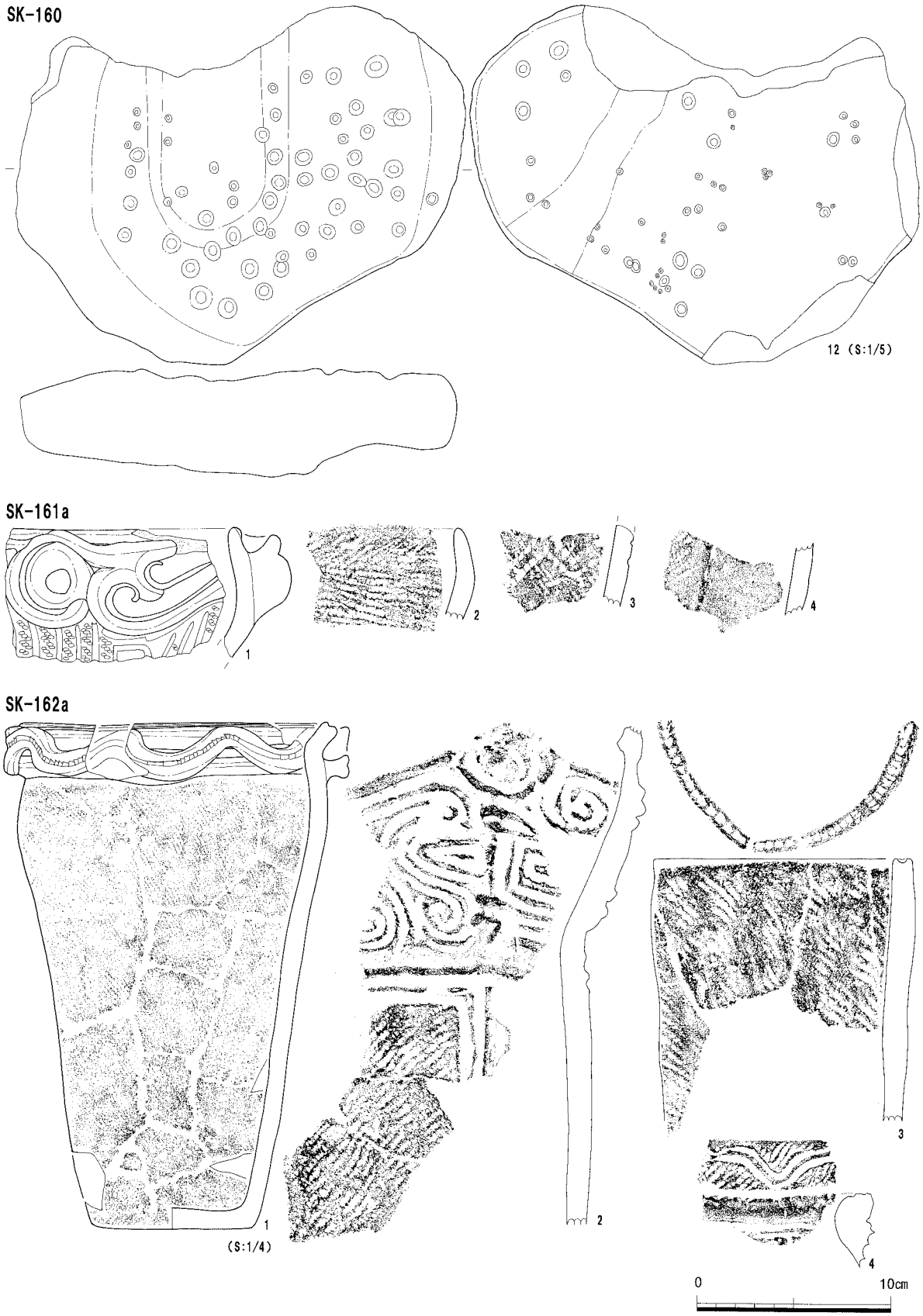
第130図　SK－151～155出土遺物



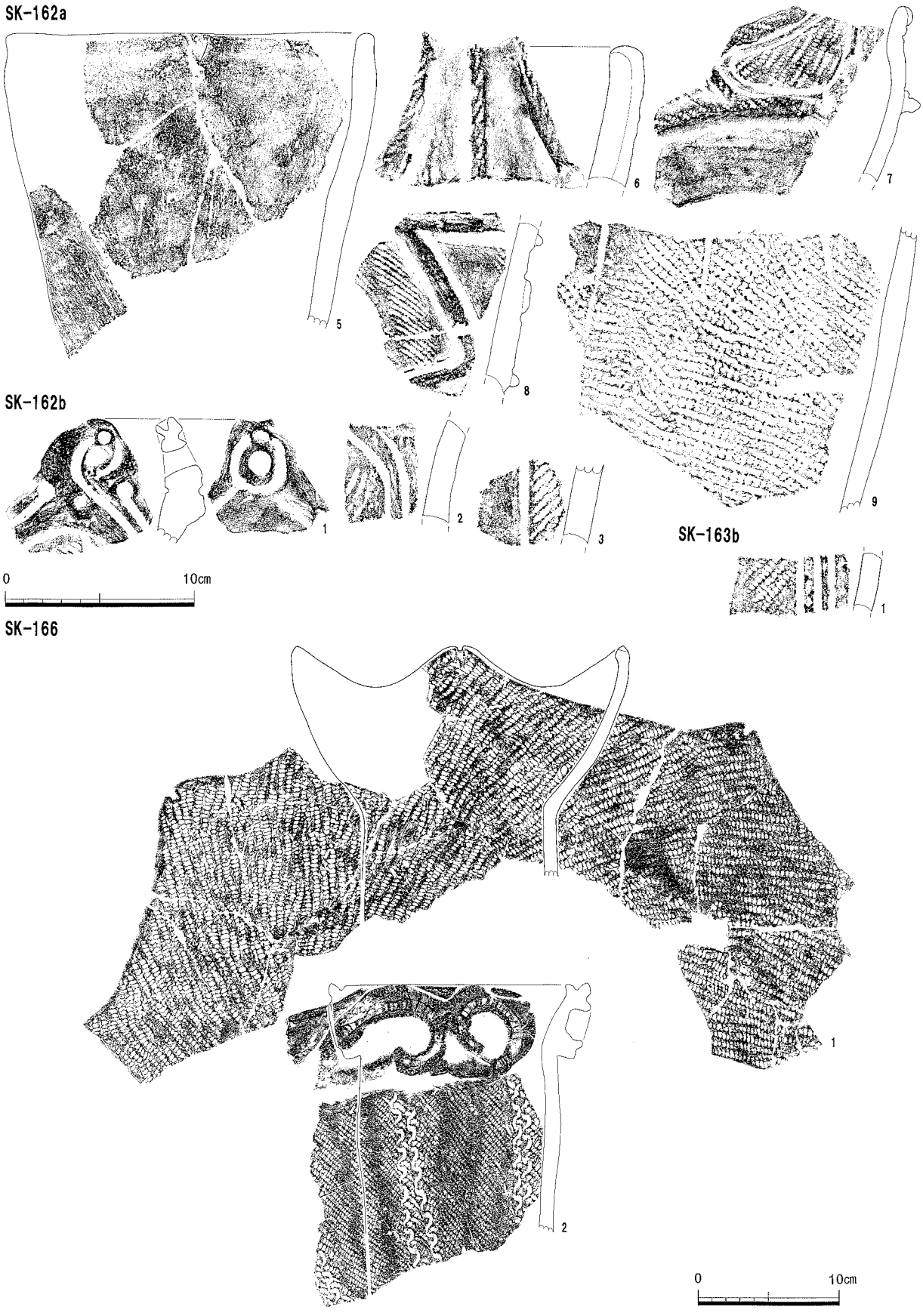
第131図　SK－156～160出土遺物



第132図　SK－160出土遺物

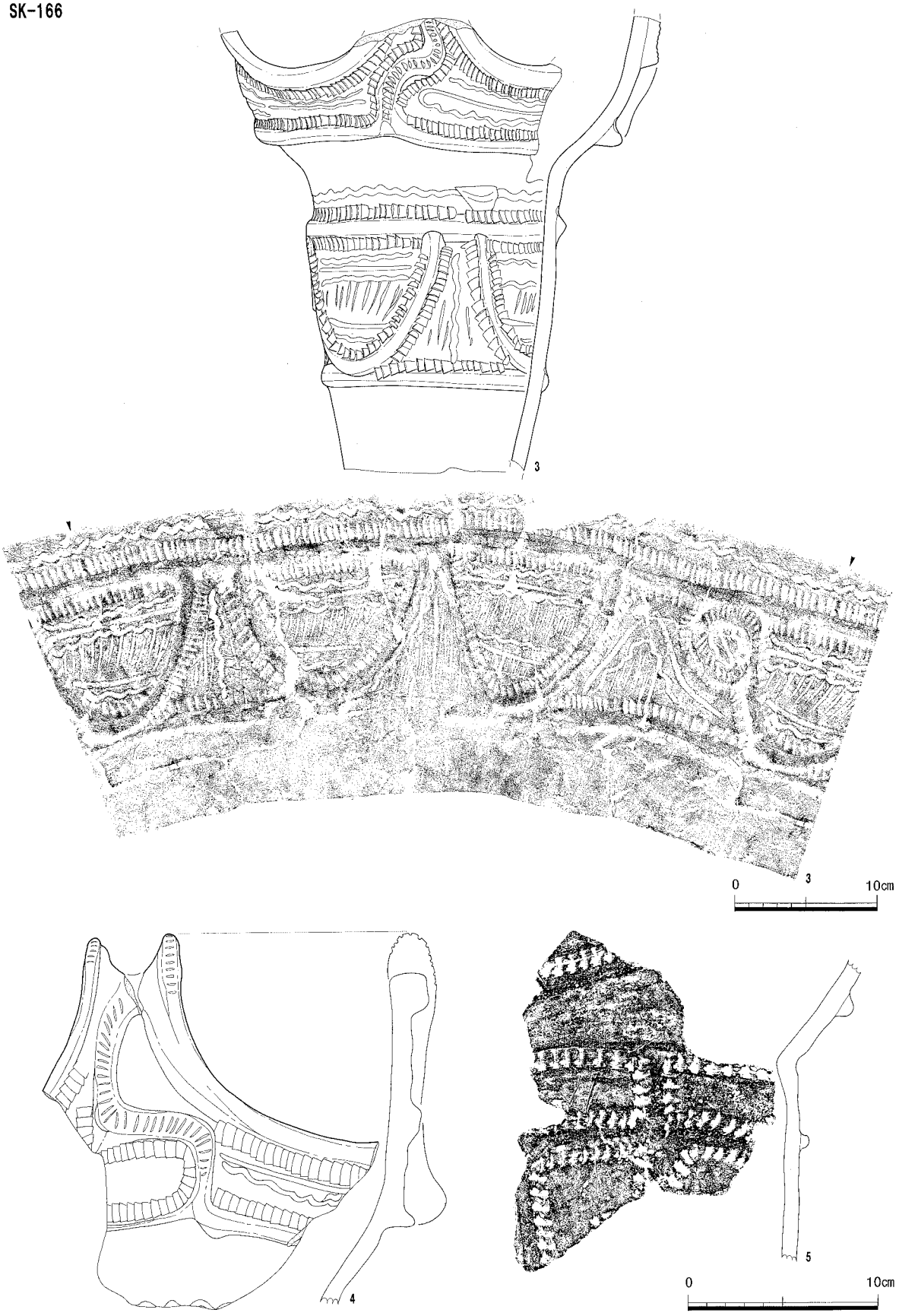


第133図　SK－160・161a・162a出土遺物

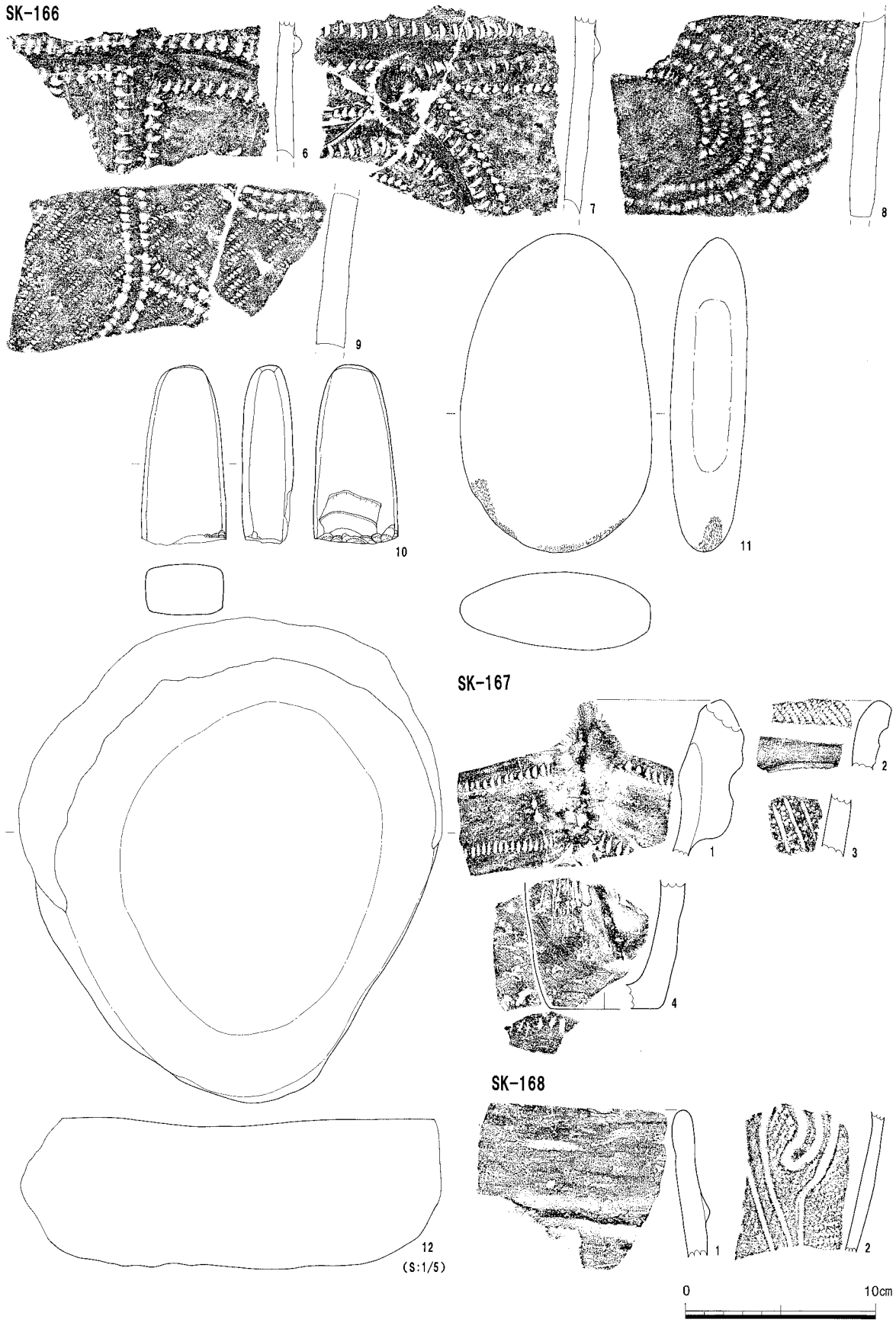


第134図　SK－162a・162b・163b・166出土遺物

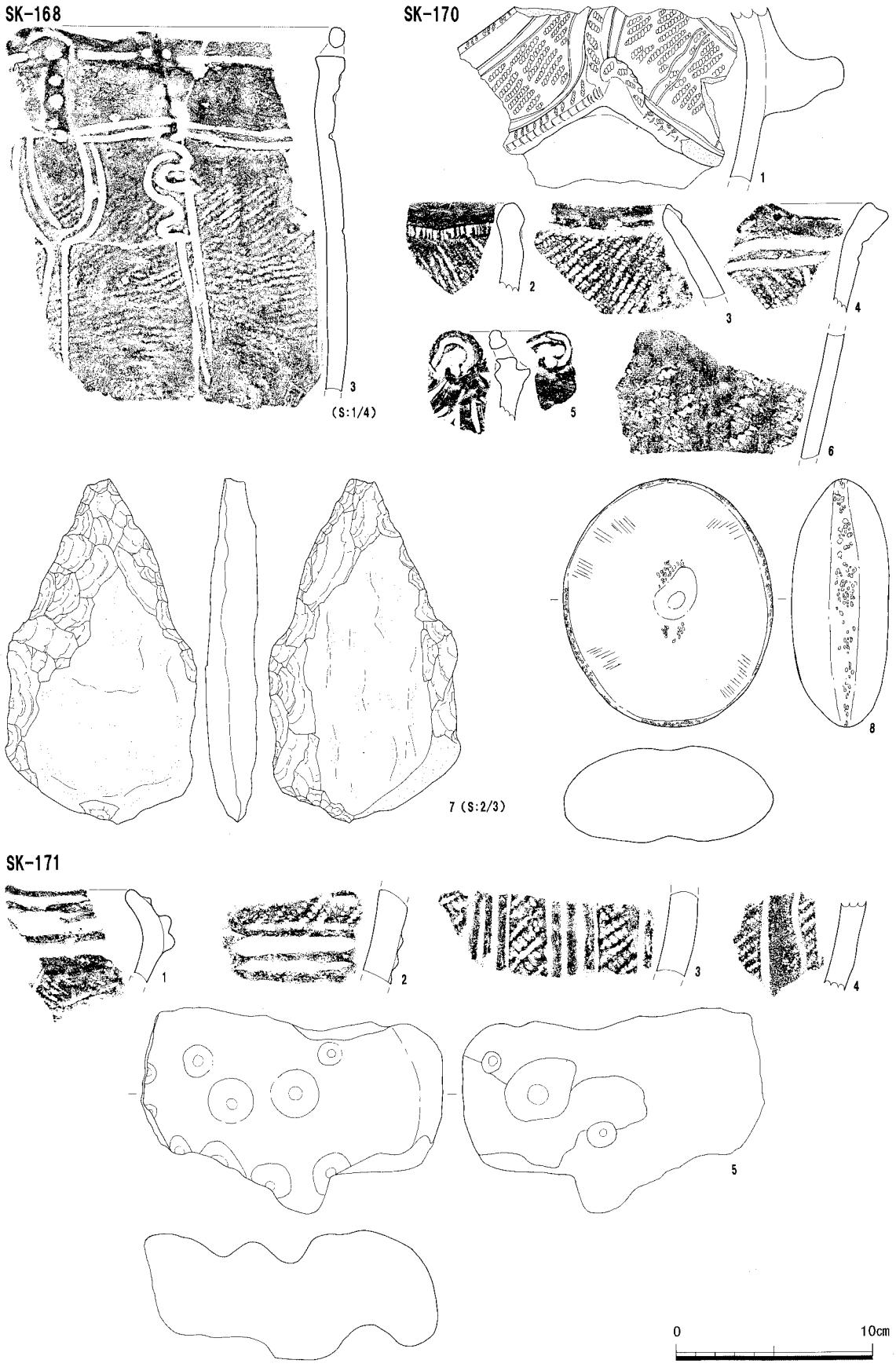
SK-166



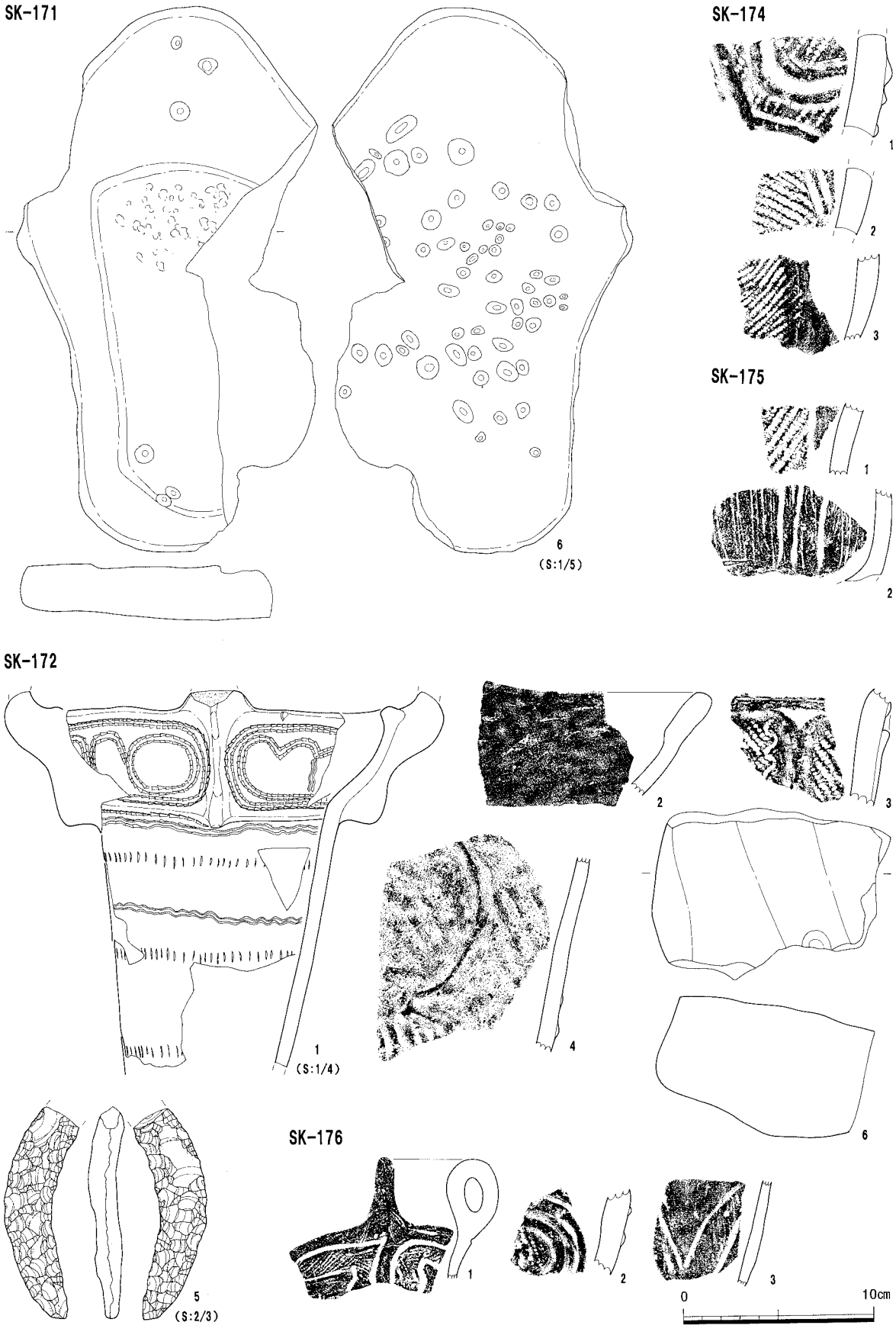
第135図　SK－166出土遺物



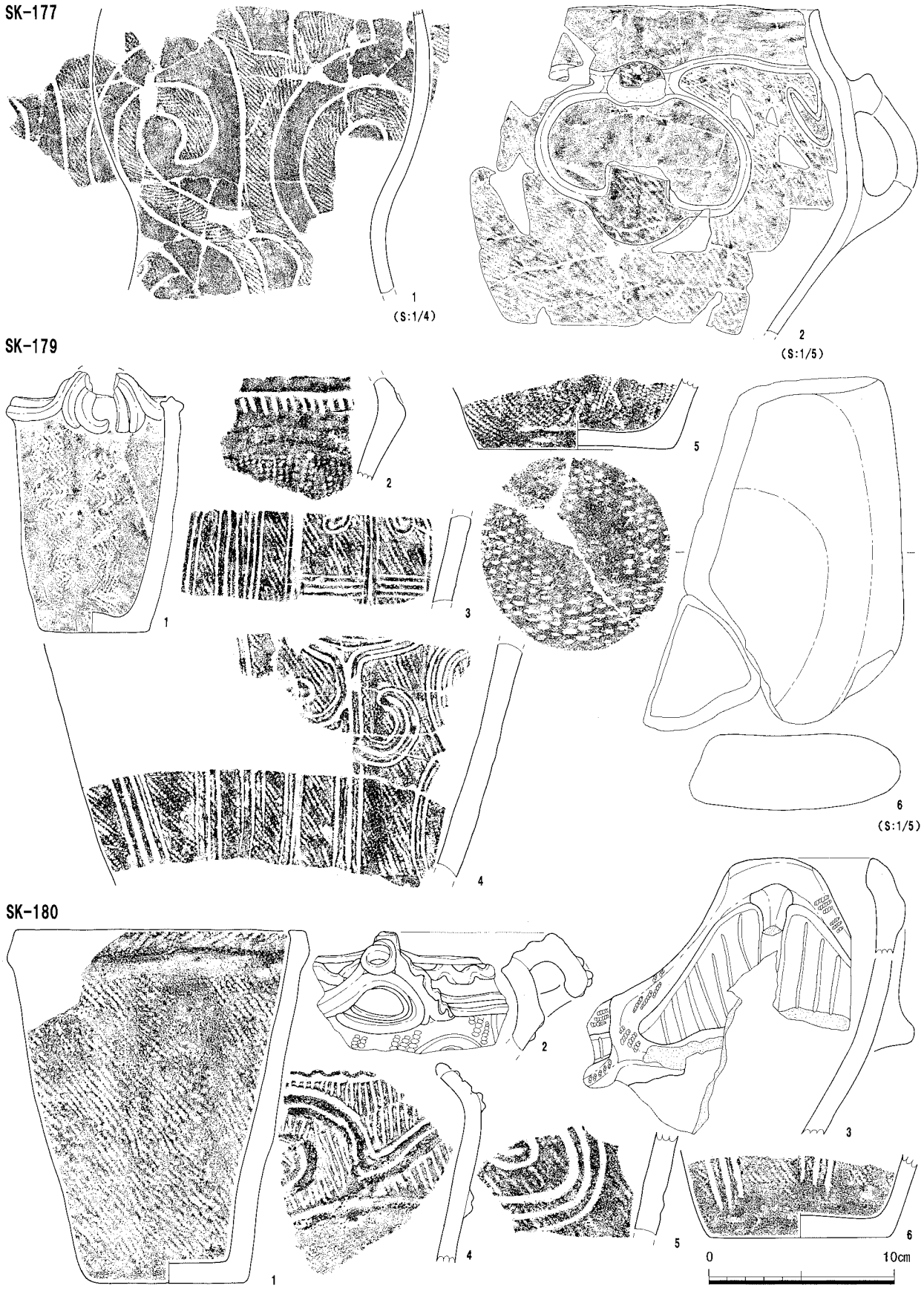
第136図　SK－166～168出土遺物



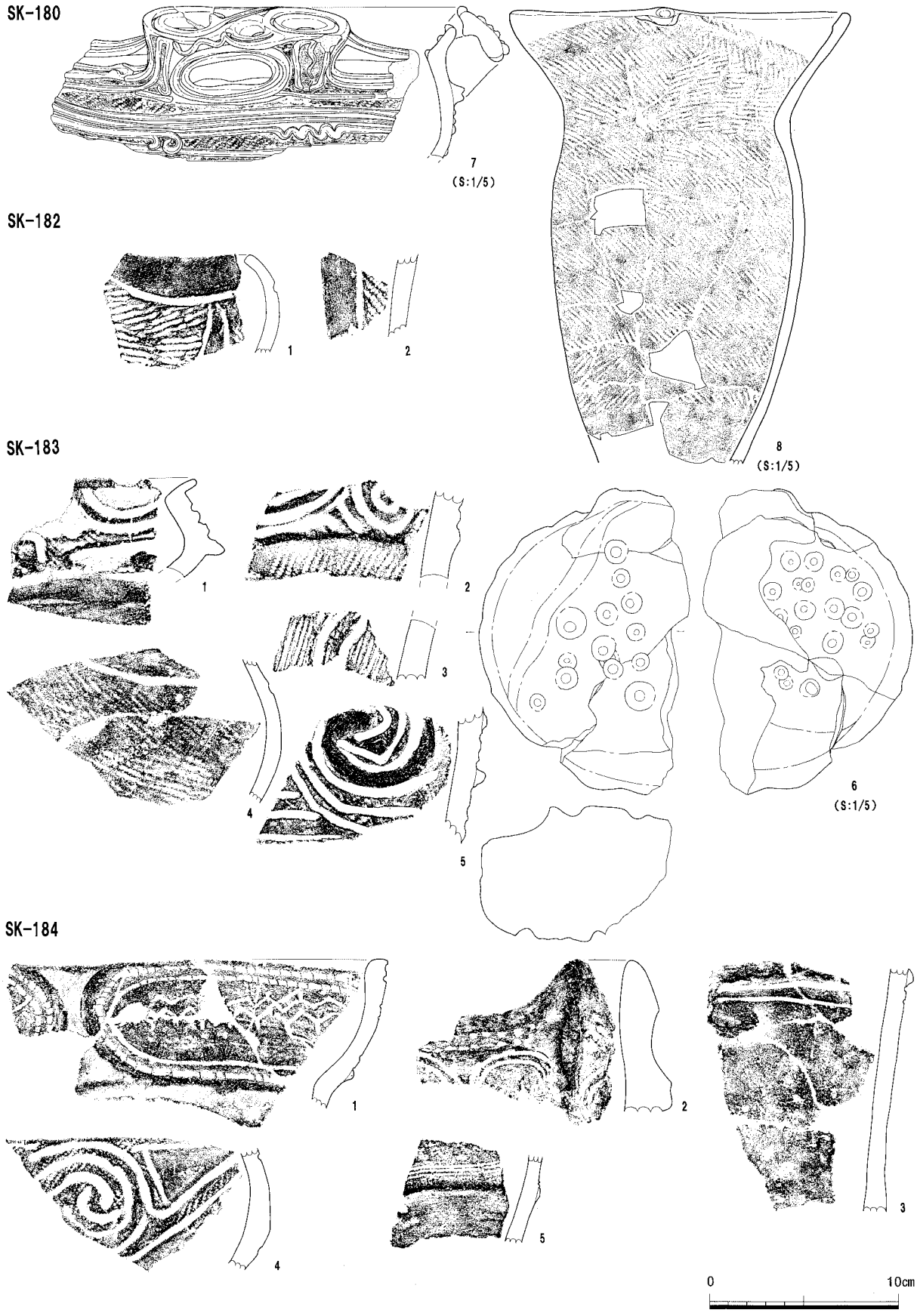
第137図　SK－168・170・171出土遺物



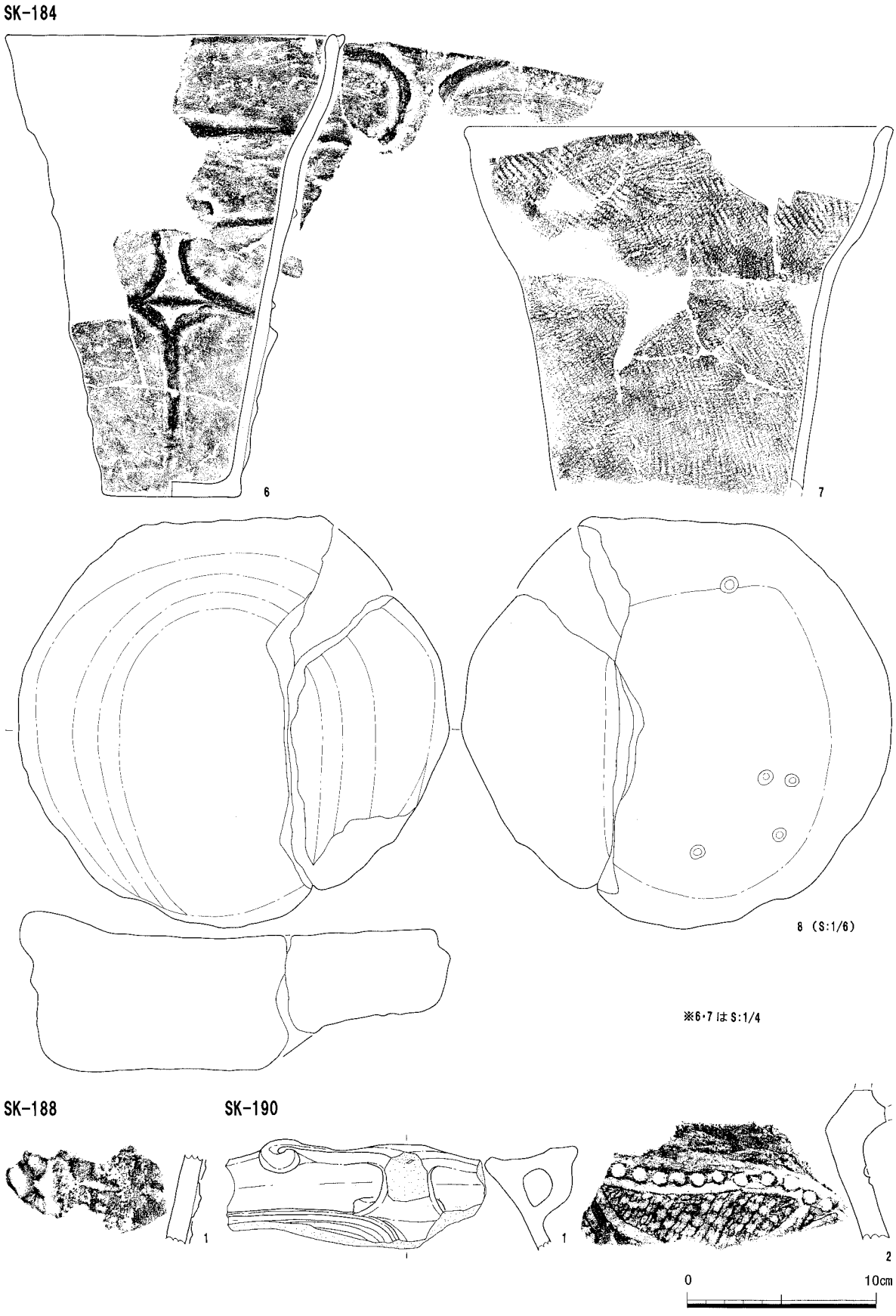
第138図　SK－171・172・174～176出土遺物



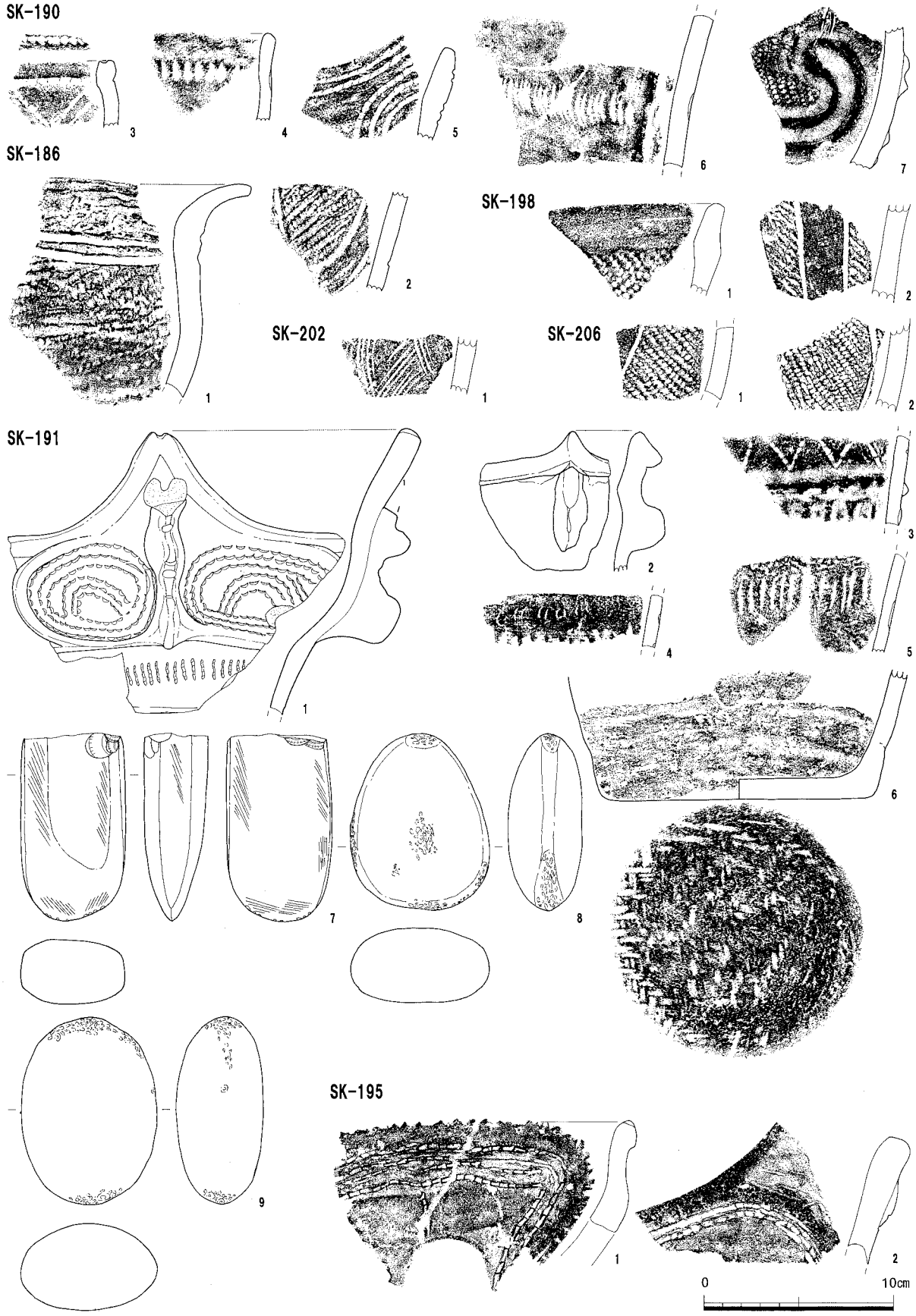
第139図　SK－177・179・180出土遺物



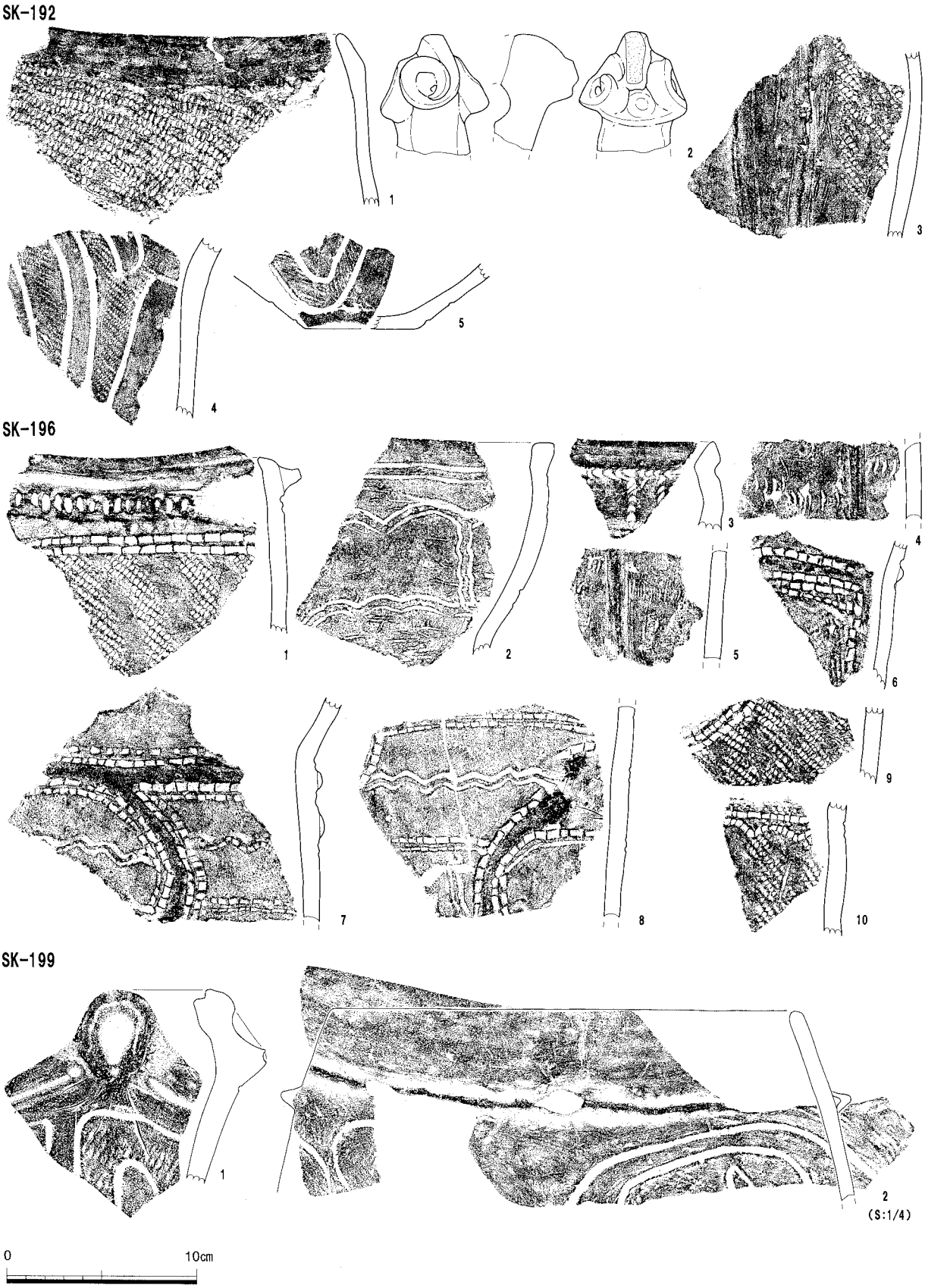
第140図　SK－180・182～184出土遺物



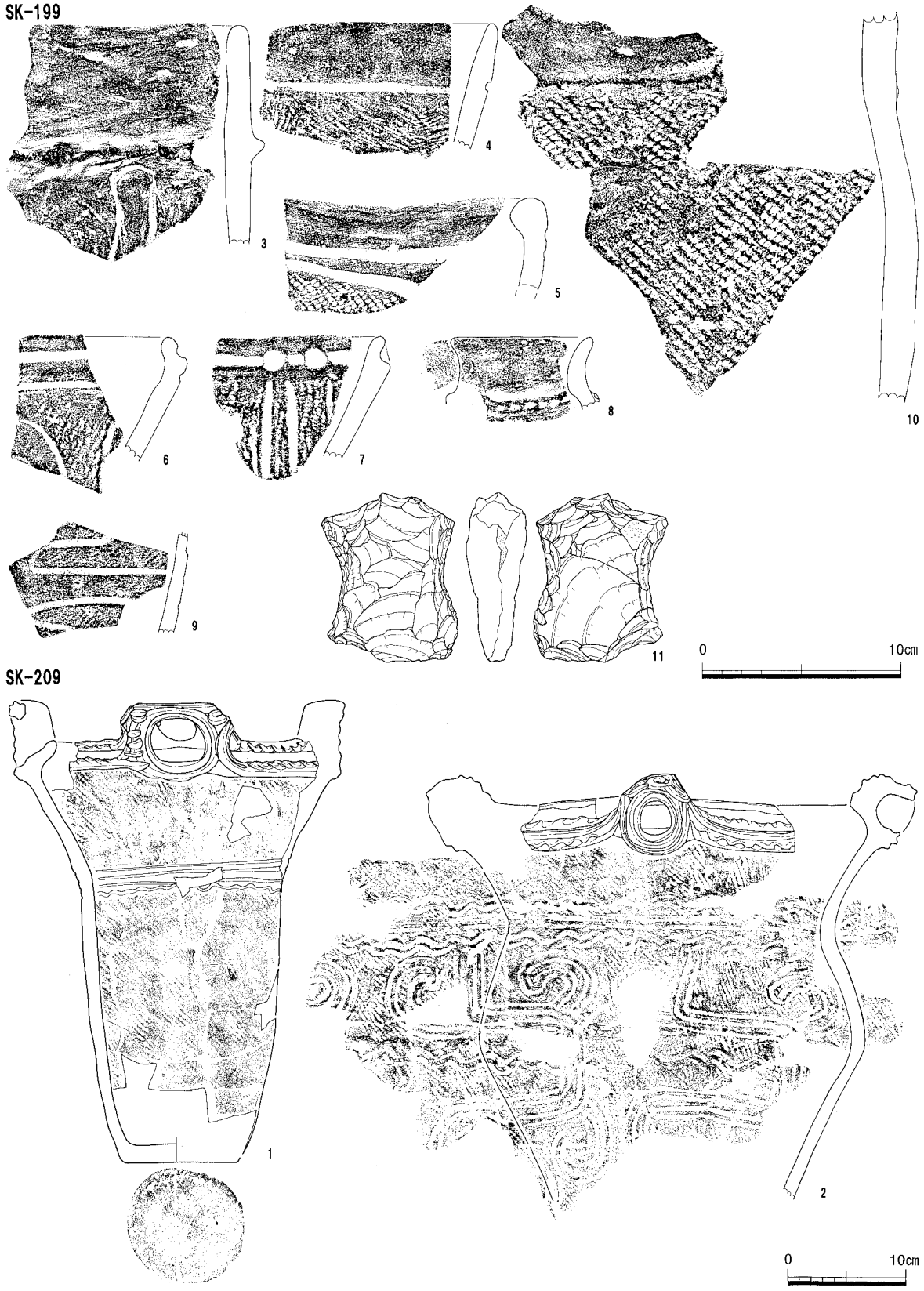
第141図　SK－184・188・190出土遺物



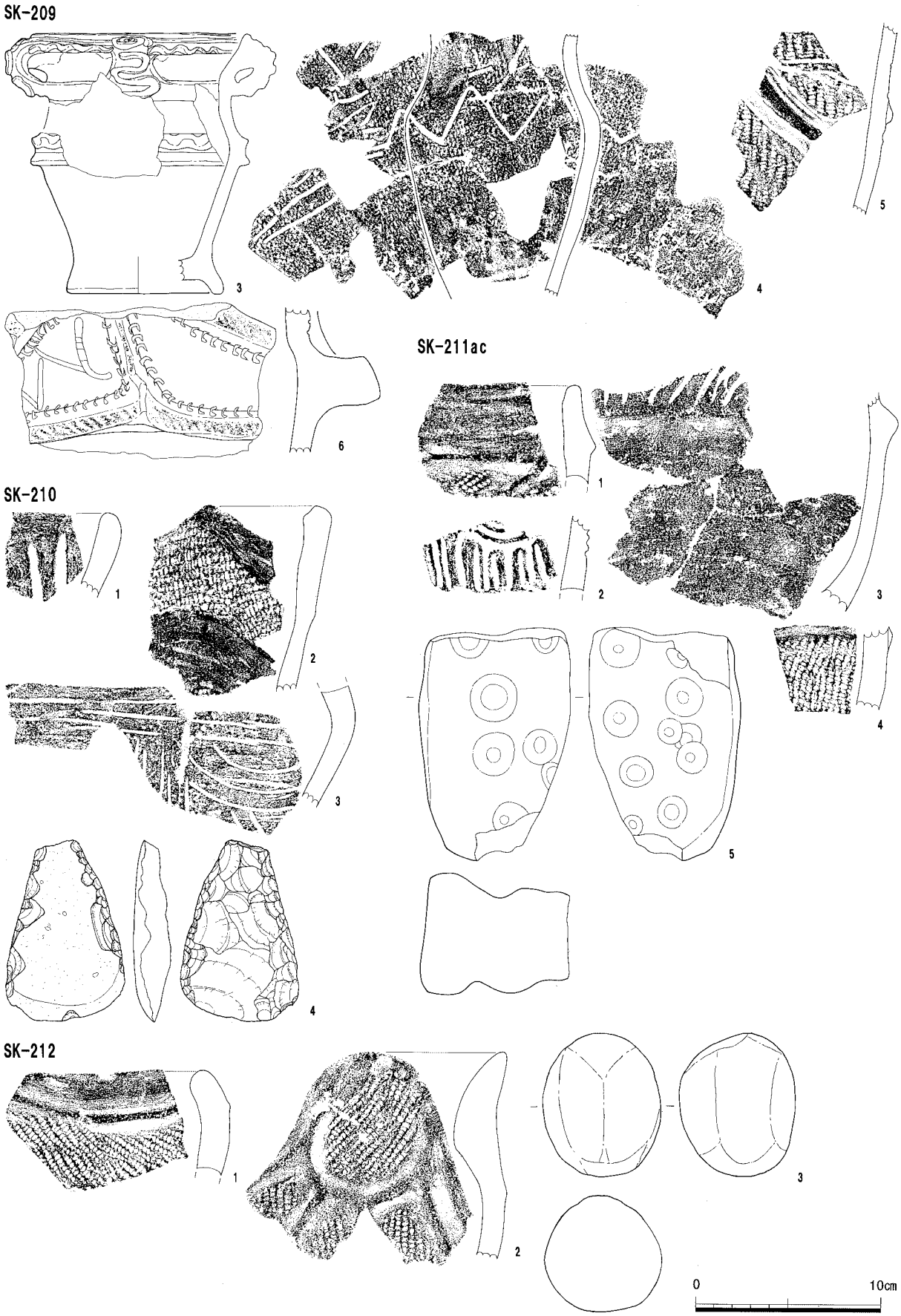
第142図　SK－186・190・191・195・198・202・206出土遺物



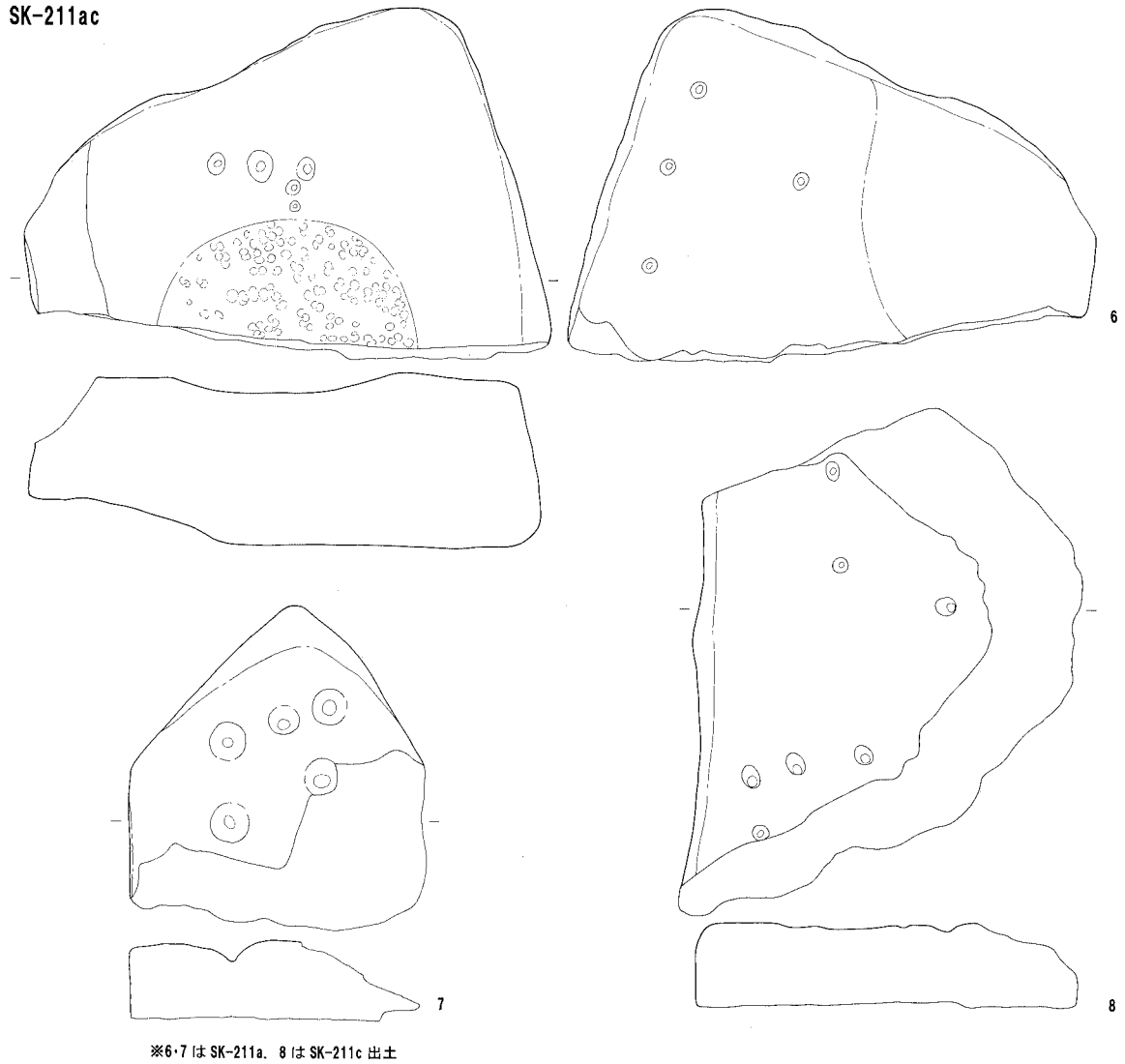
第143図　SK－192・196・199出土遺物



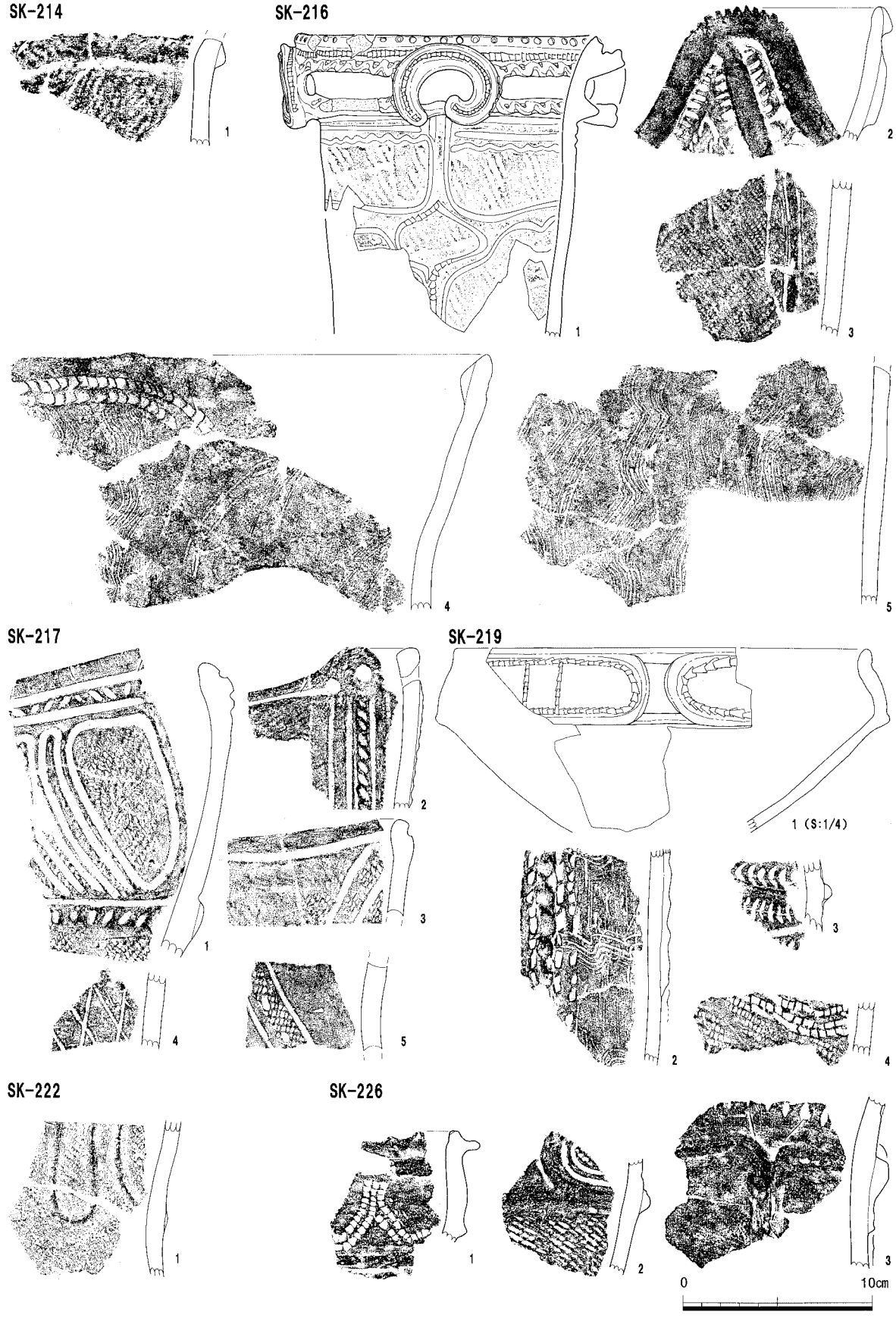
第144図　SK－199・209出土遺物



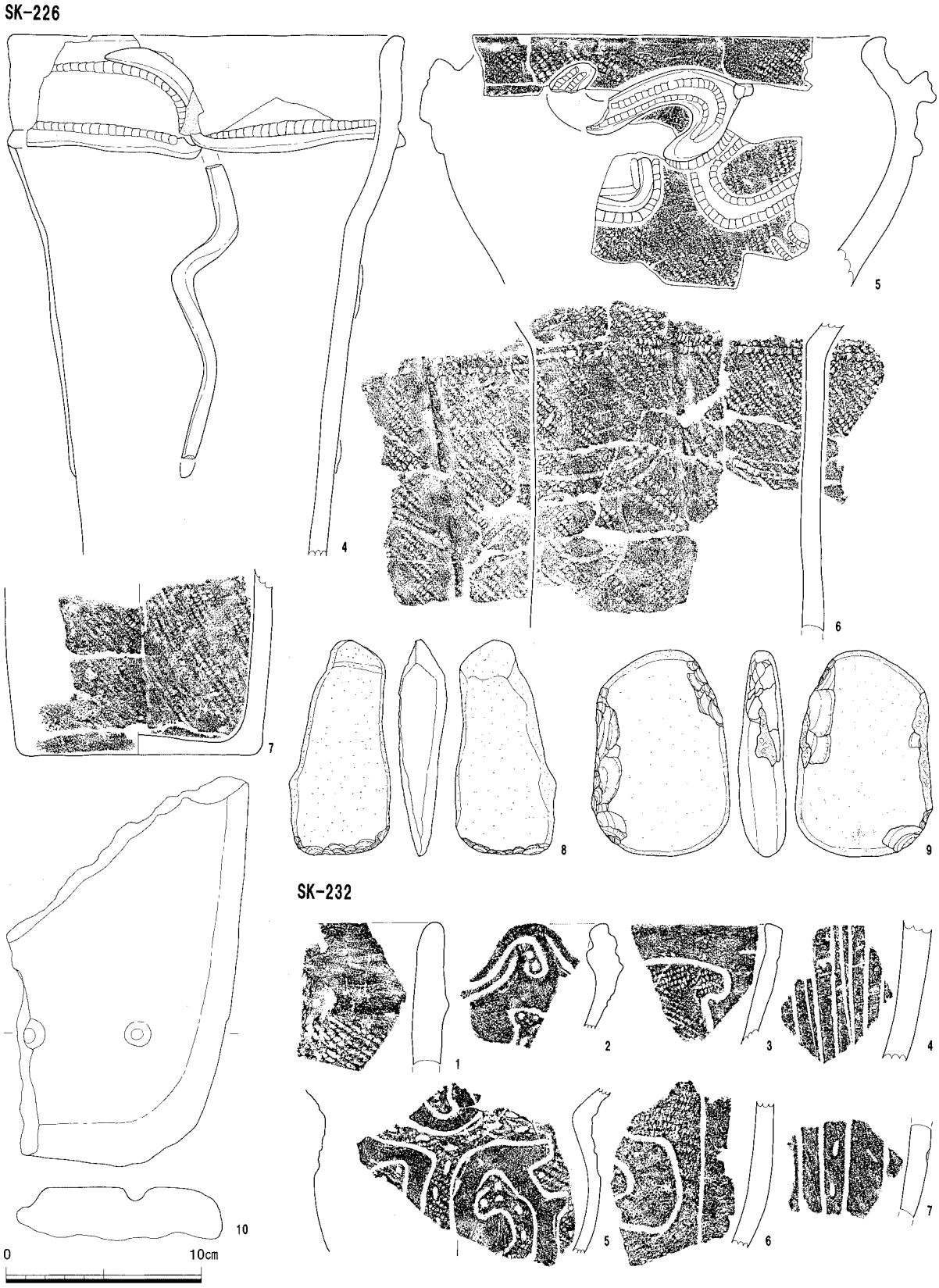
第145図　SK－209・210・211a・211c・212出土遺物



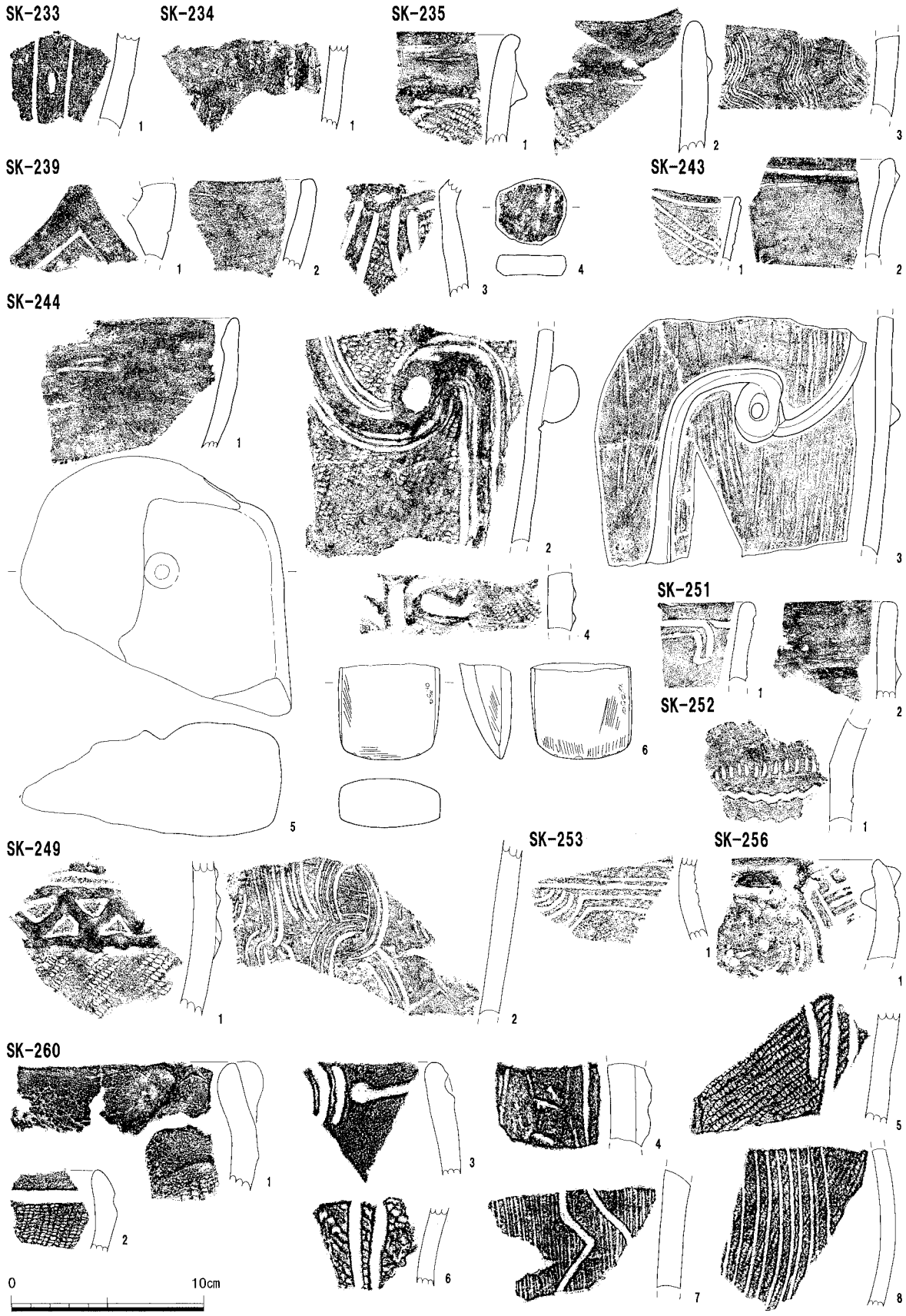
第146図　SK－211a・211c・213出土遺物



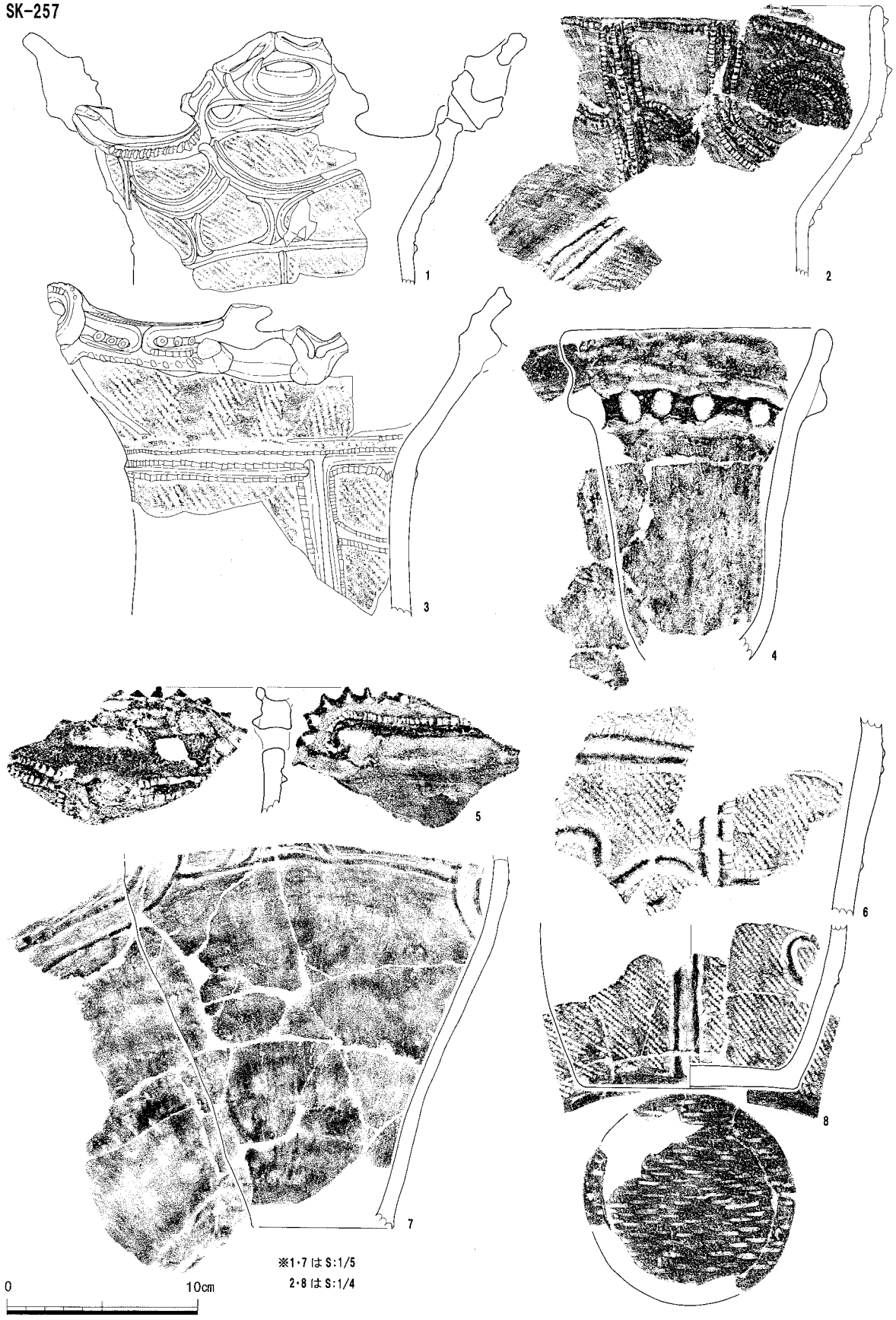
第147図　SK－214・216・217・219・222・226出土遺物



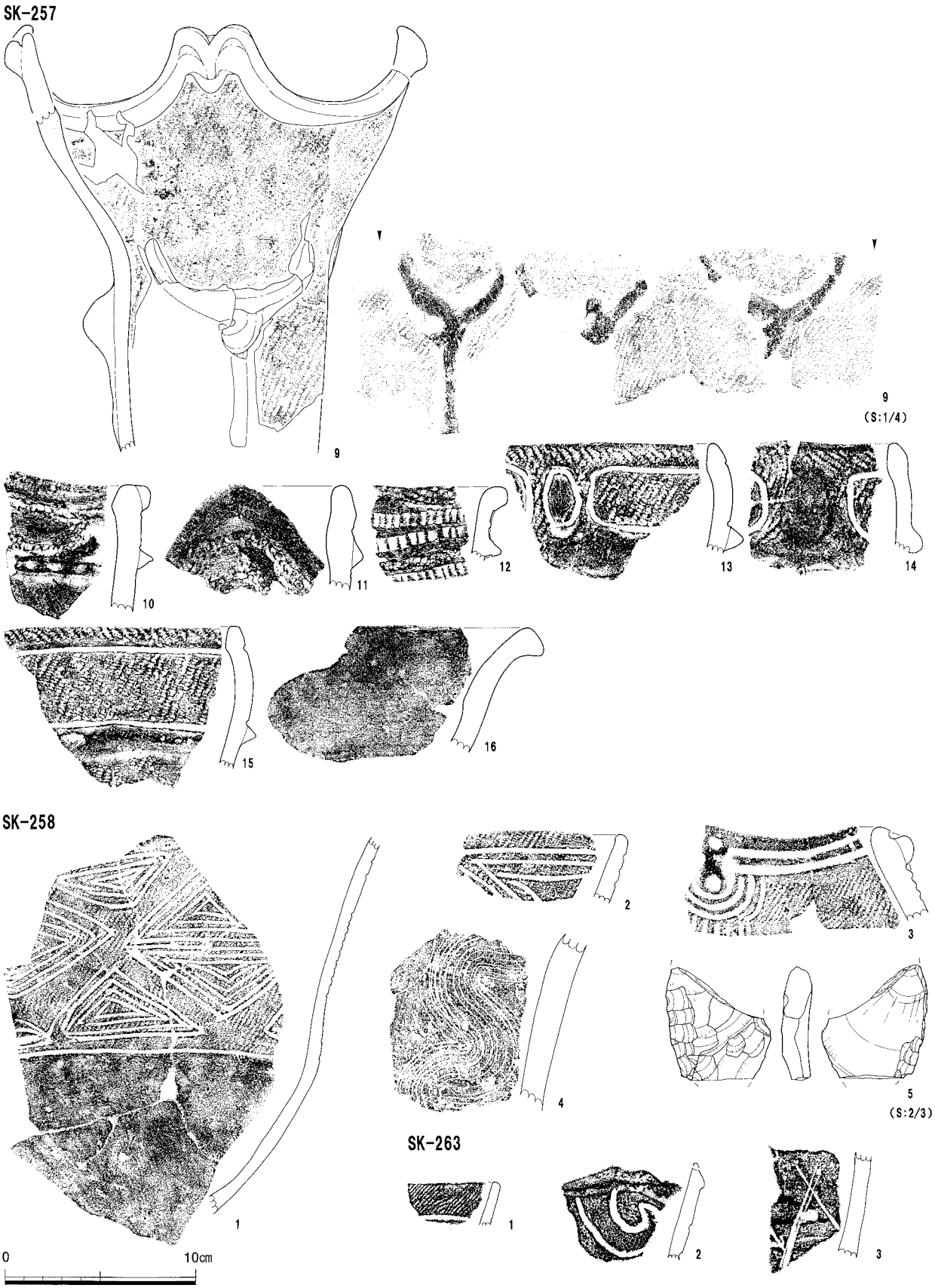
第148図　SK－226・232出土遺物



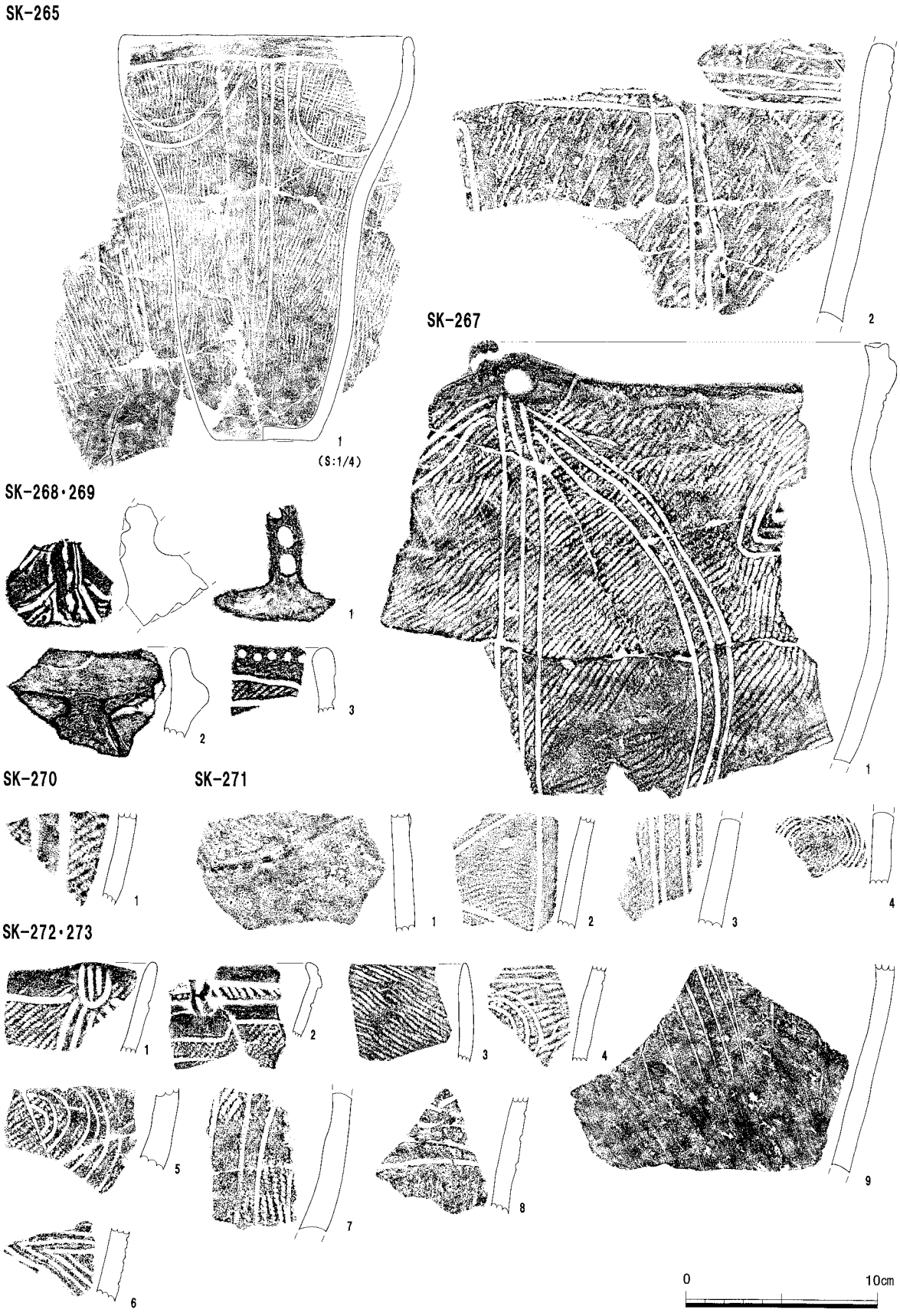
第149図　SK－233～235・239・243・244・249・251～253・256・260出土遺物



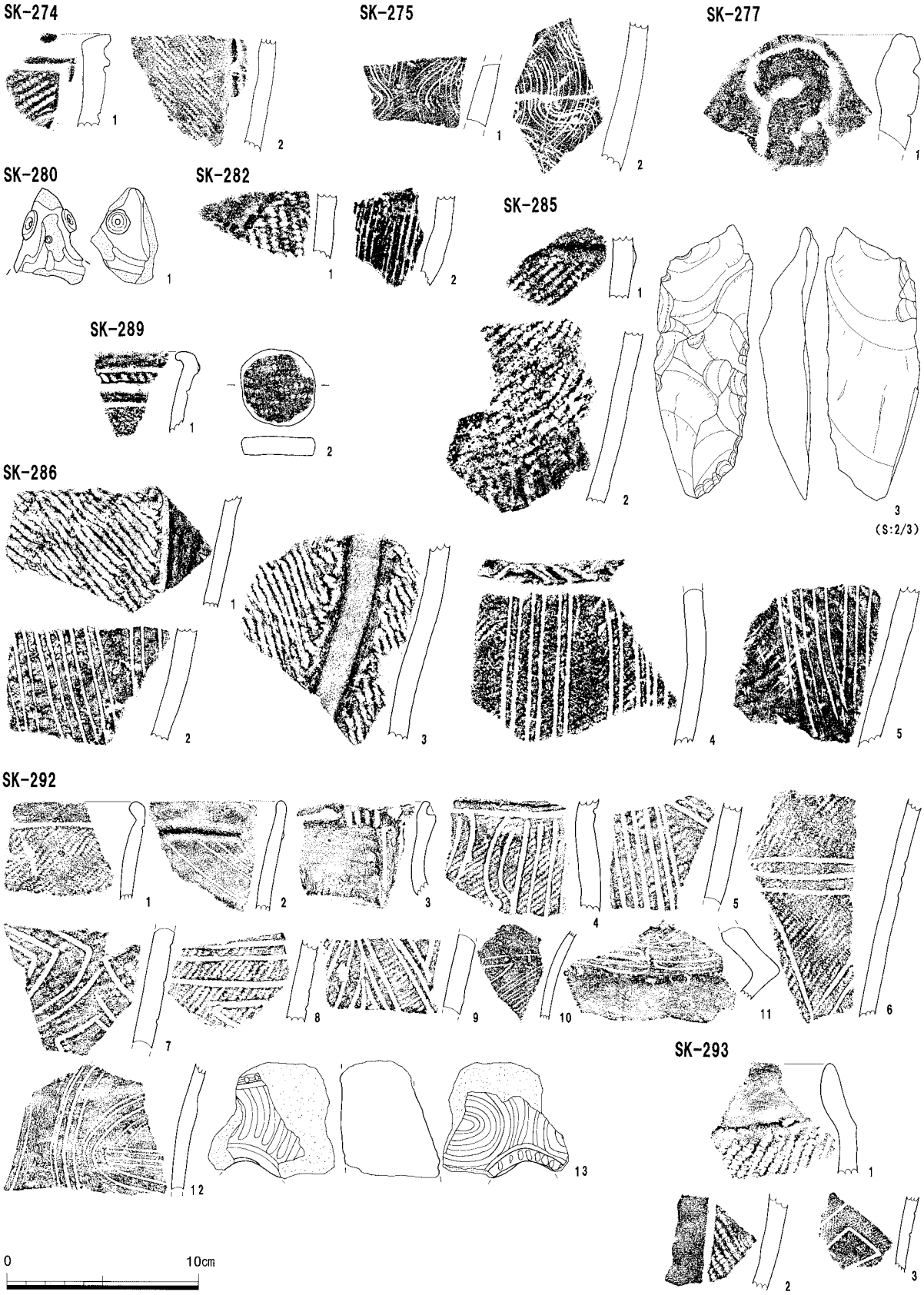
第150図　SK－257出土遺物



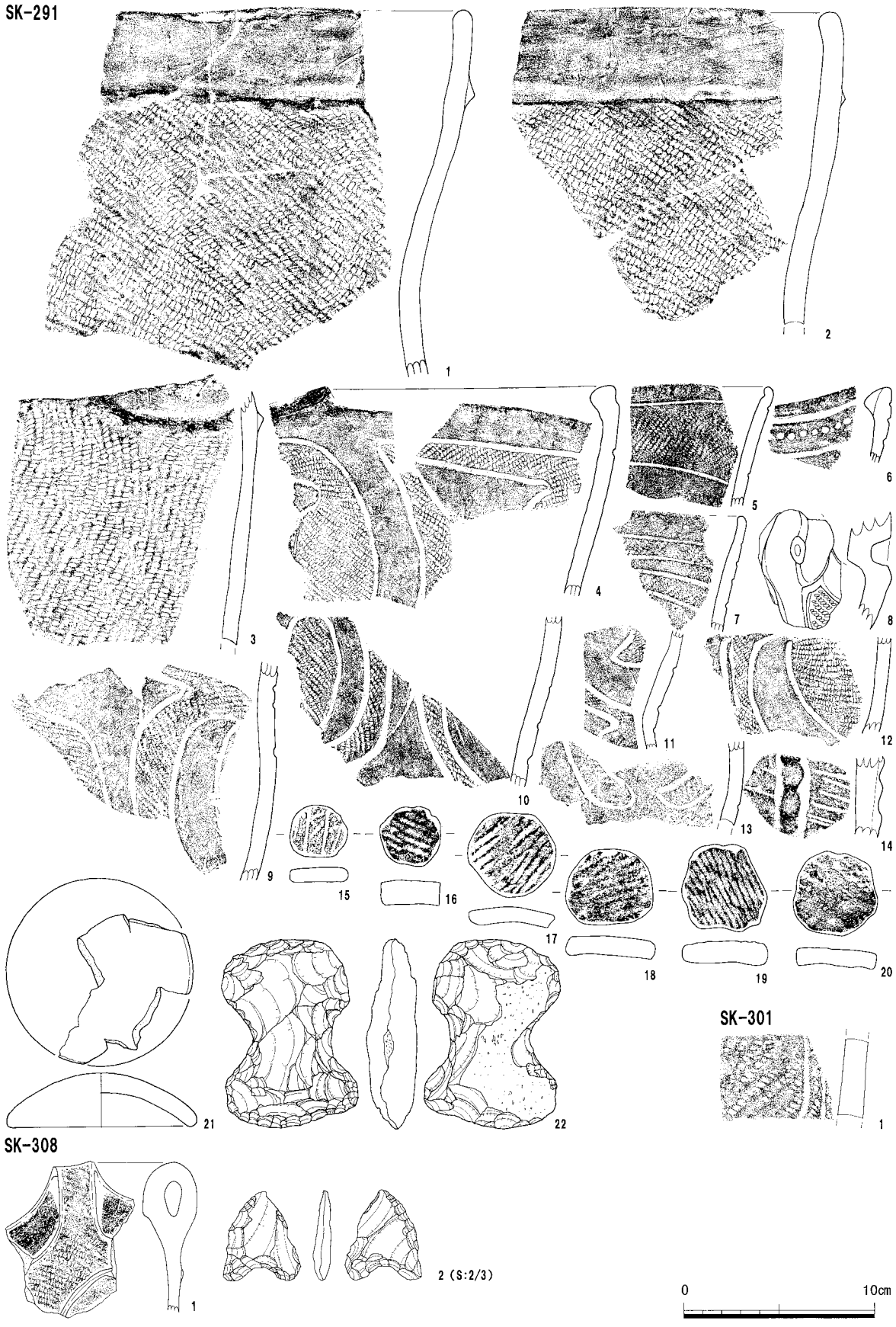
第151図　SK－257・258・263出土遺物



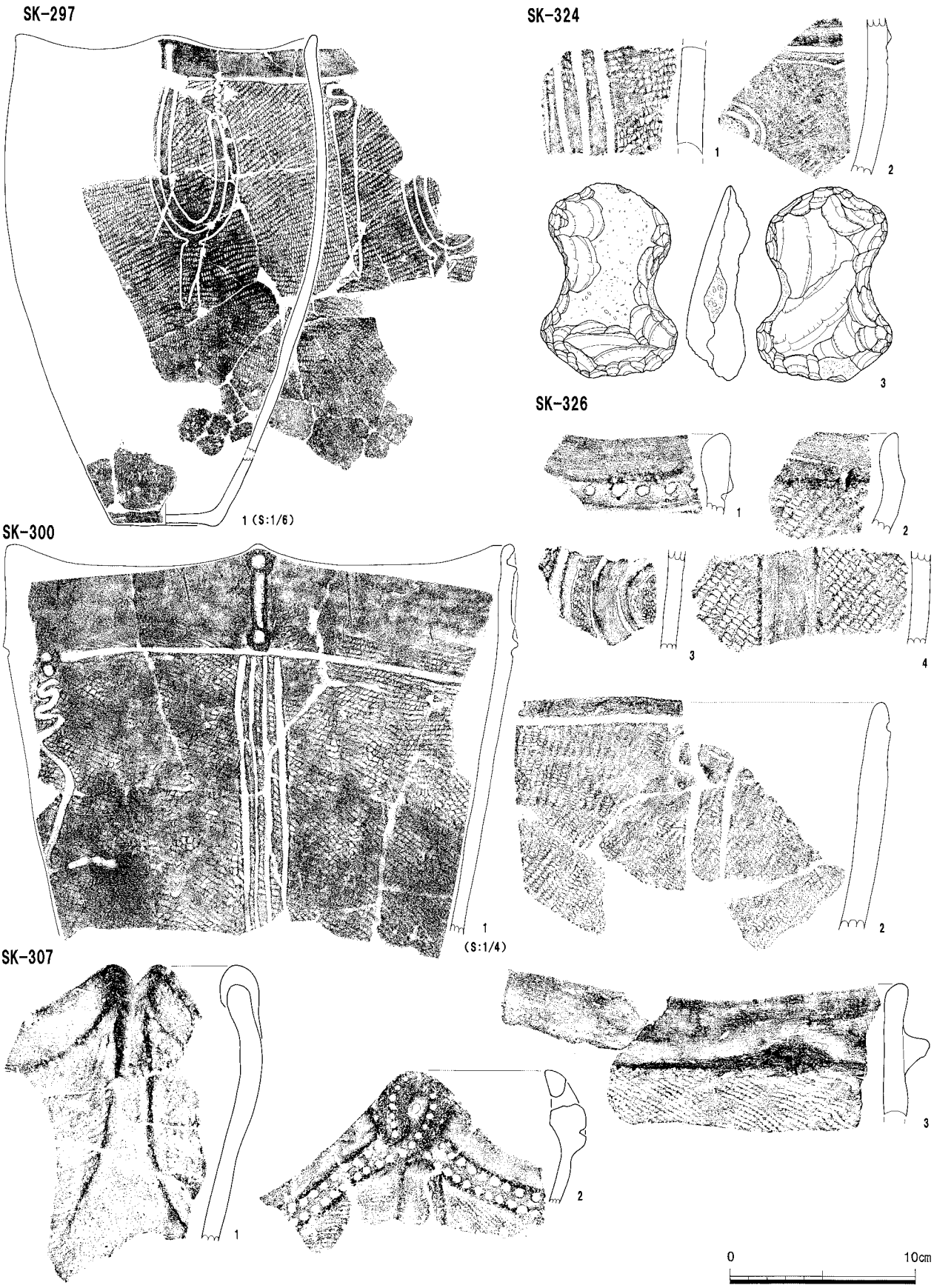
第152図　SK－265・267～273出土遺物



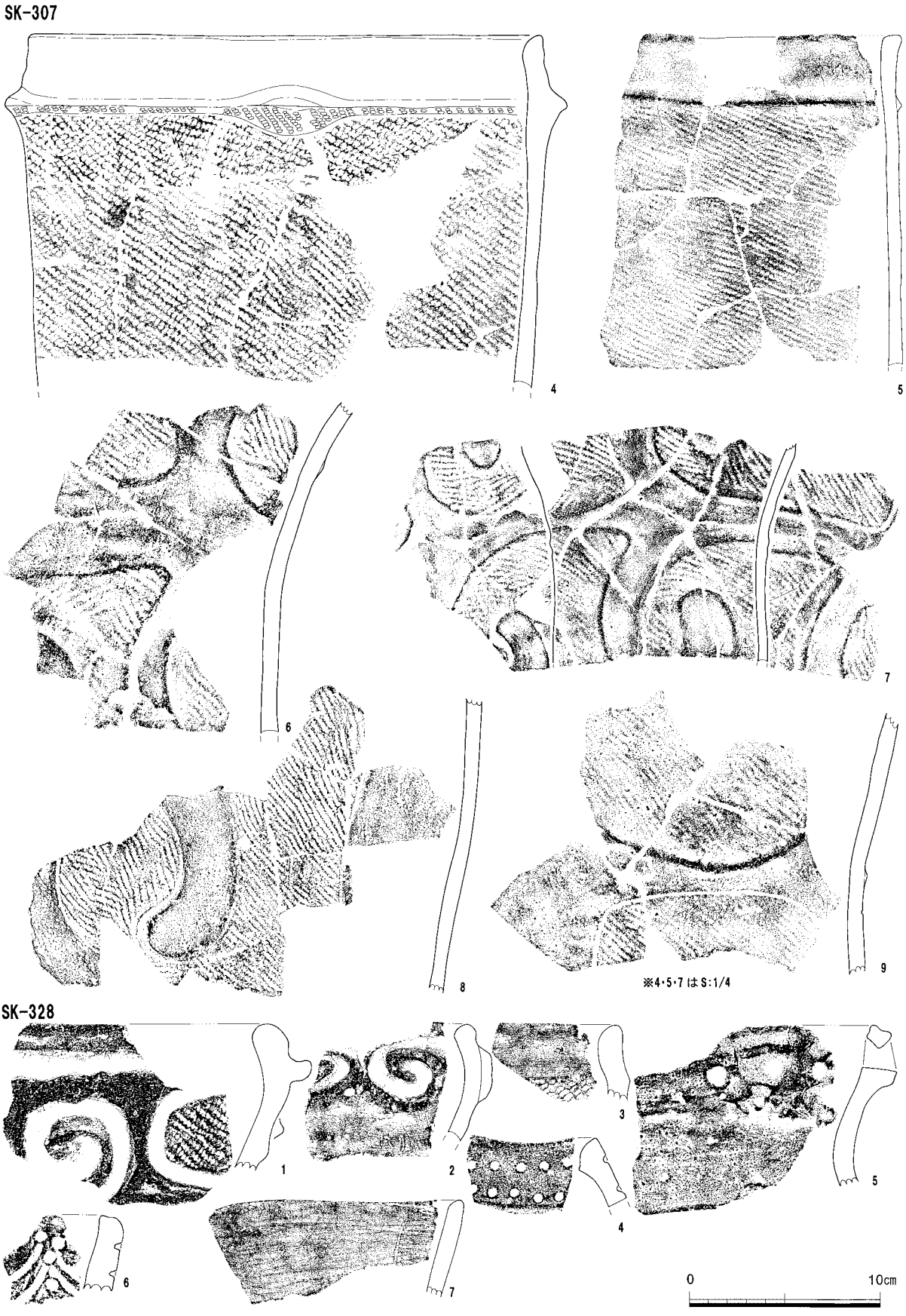
第153図　SK－274・275・277・280・282・285・286・289・292・293出土遺物



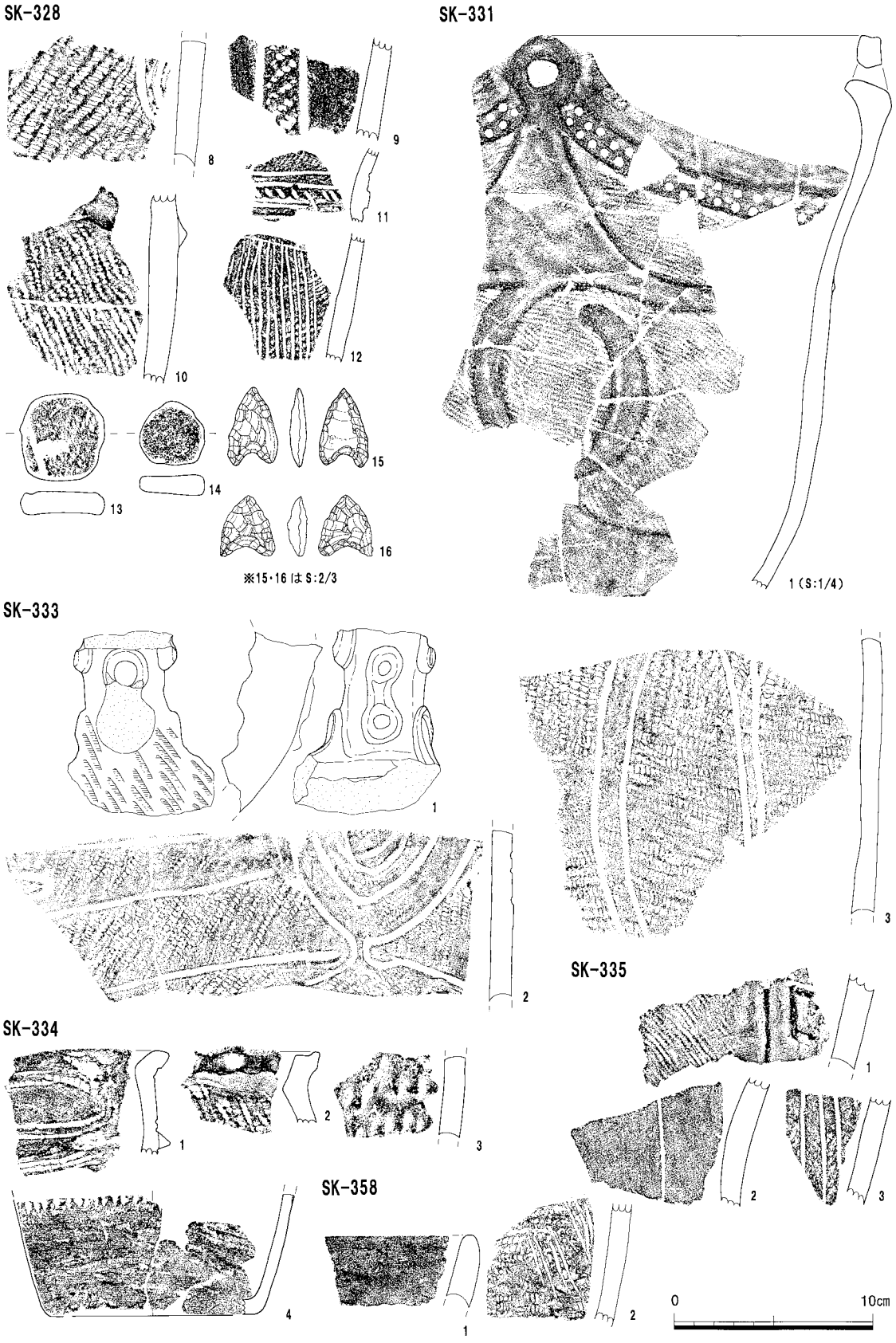
第154図　SK－291・301・308出土遺物



第155図　SK－297・300・307・324・326出土遺物



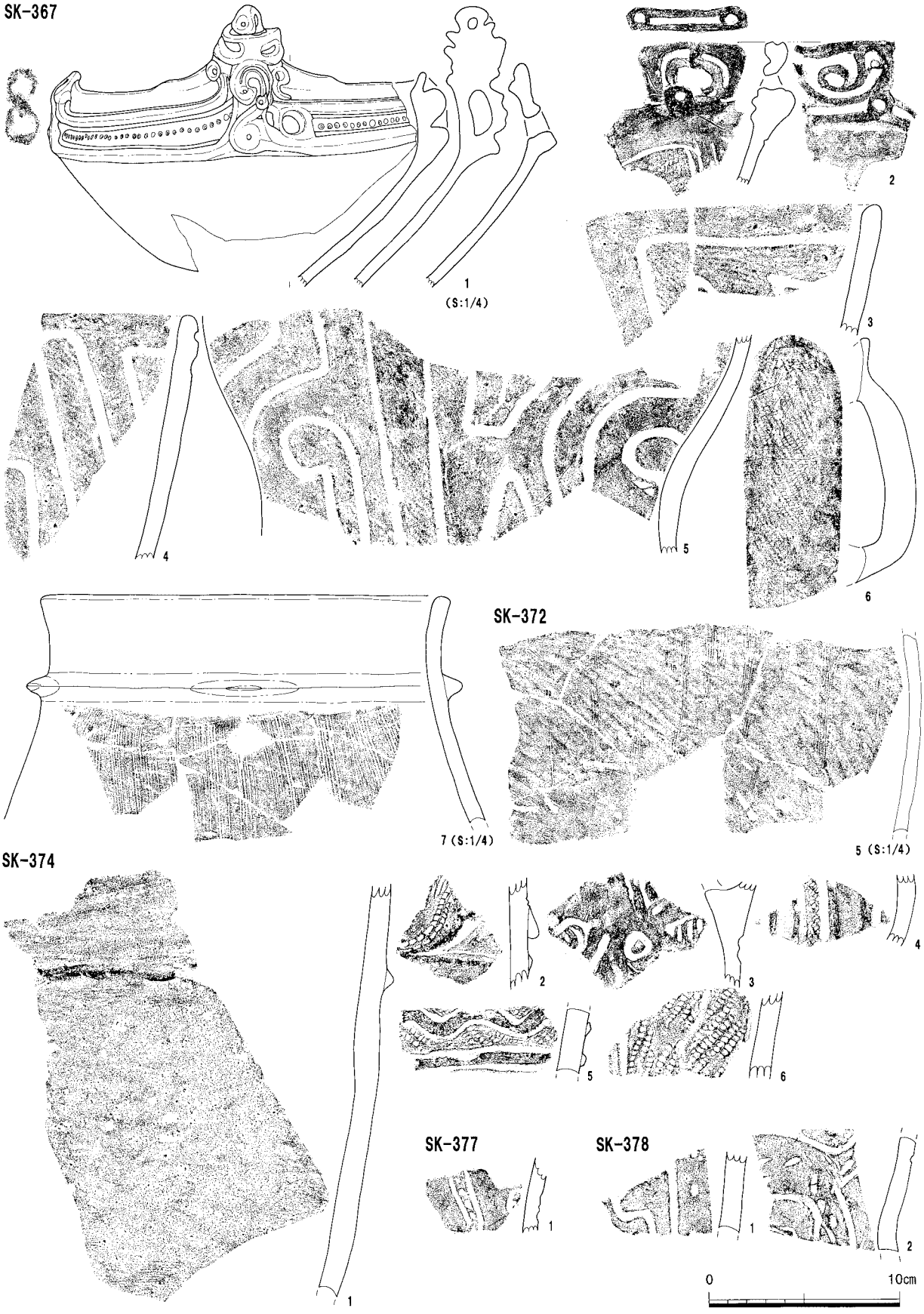
第156図　SK－307・328出土遺物



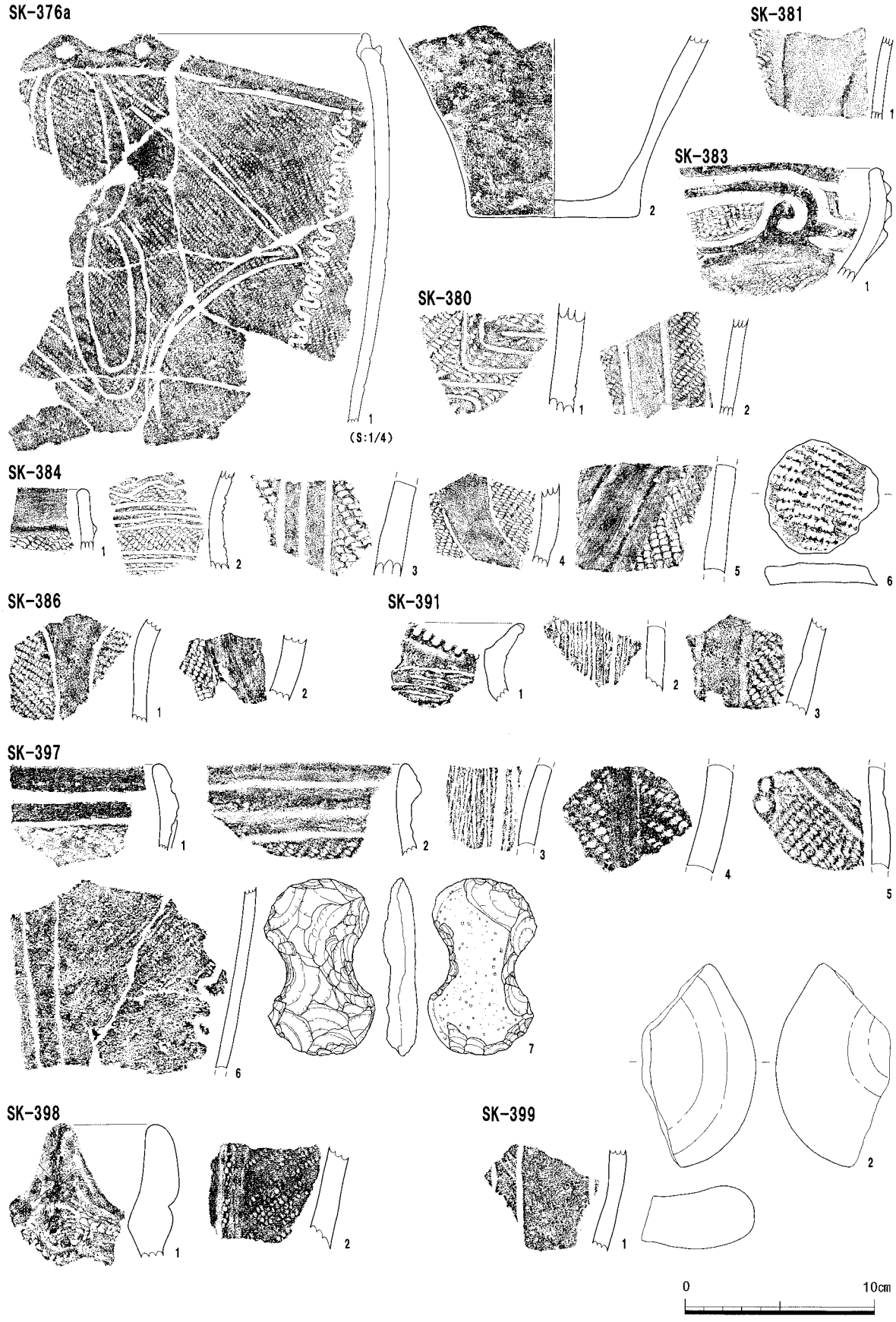
第157図　SK－328・331・333～335・358出土遺物



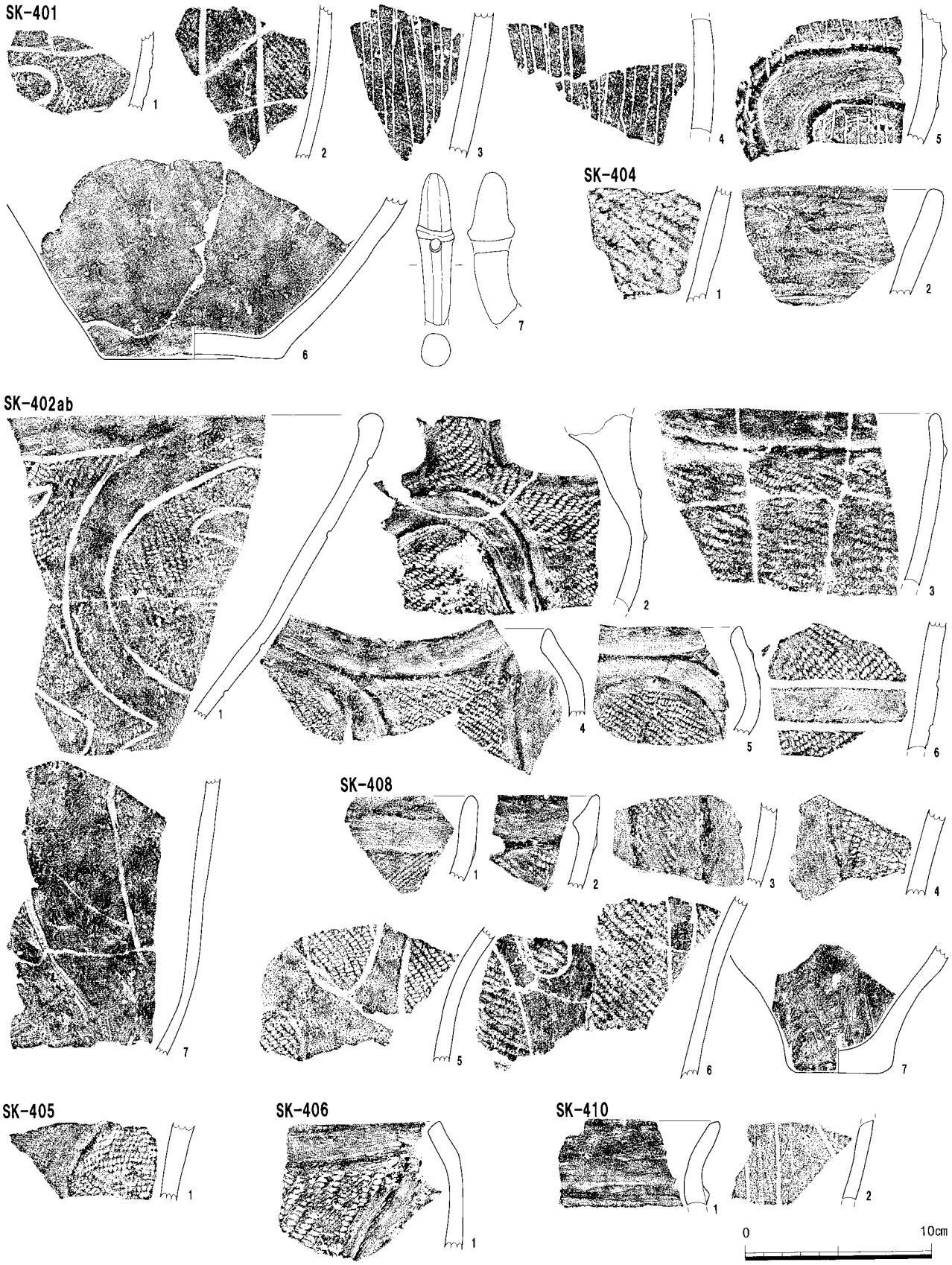
第158図　SK－359・360・364～366・368・370～372出土遺物



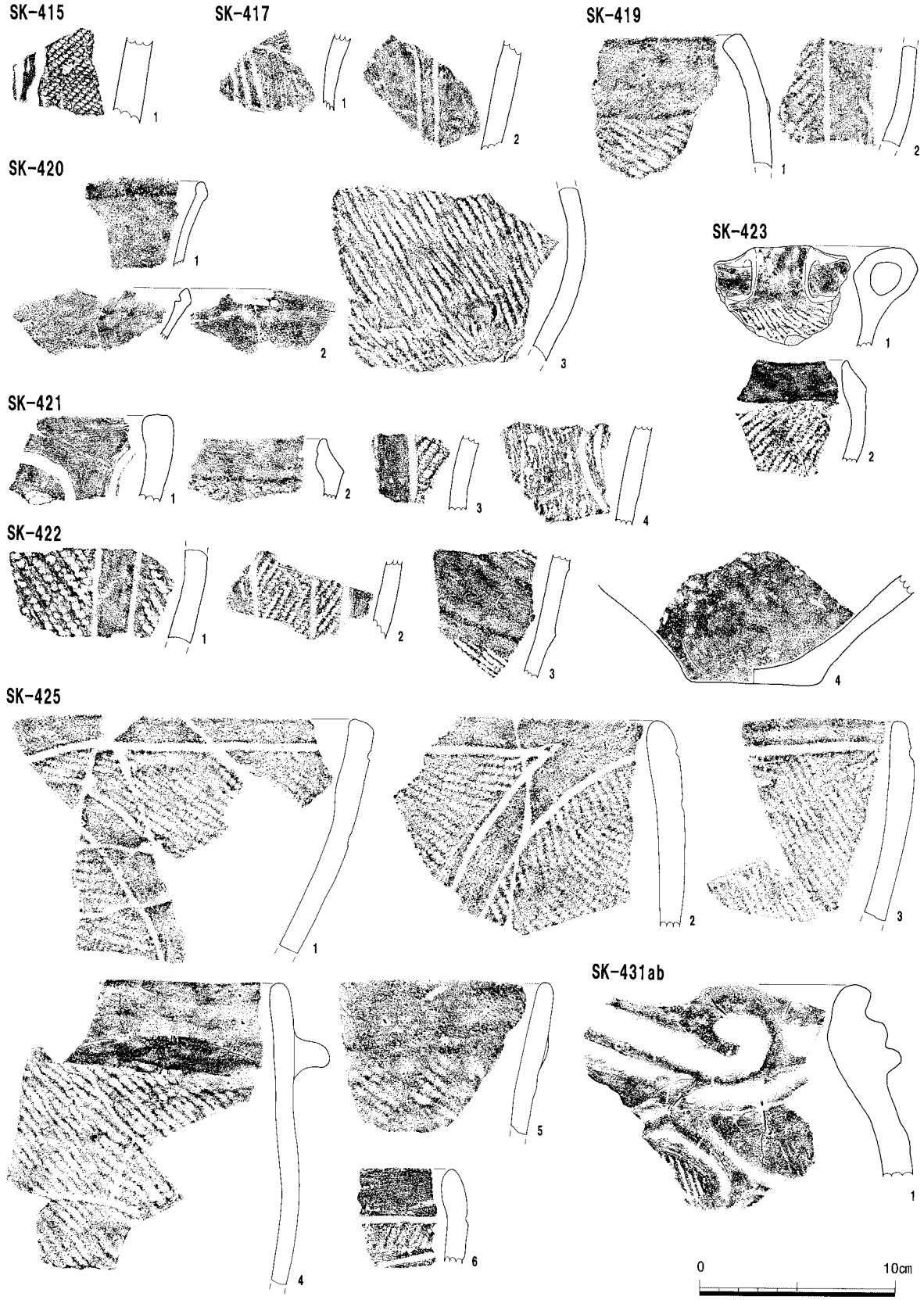
第159図　SK－367・372・374・377・378出土遺物



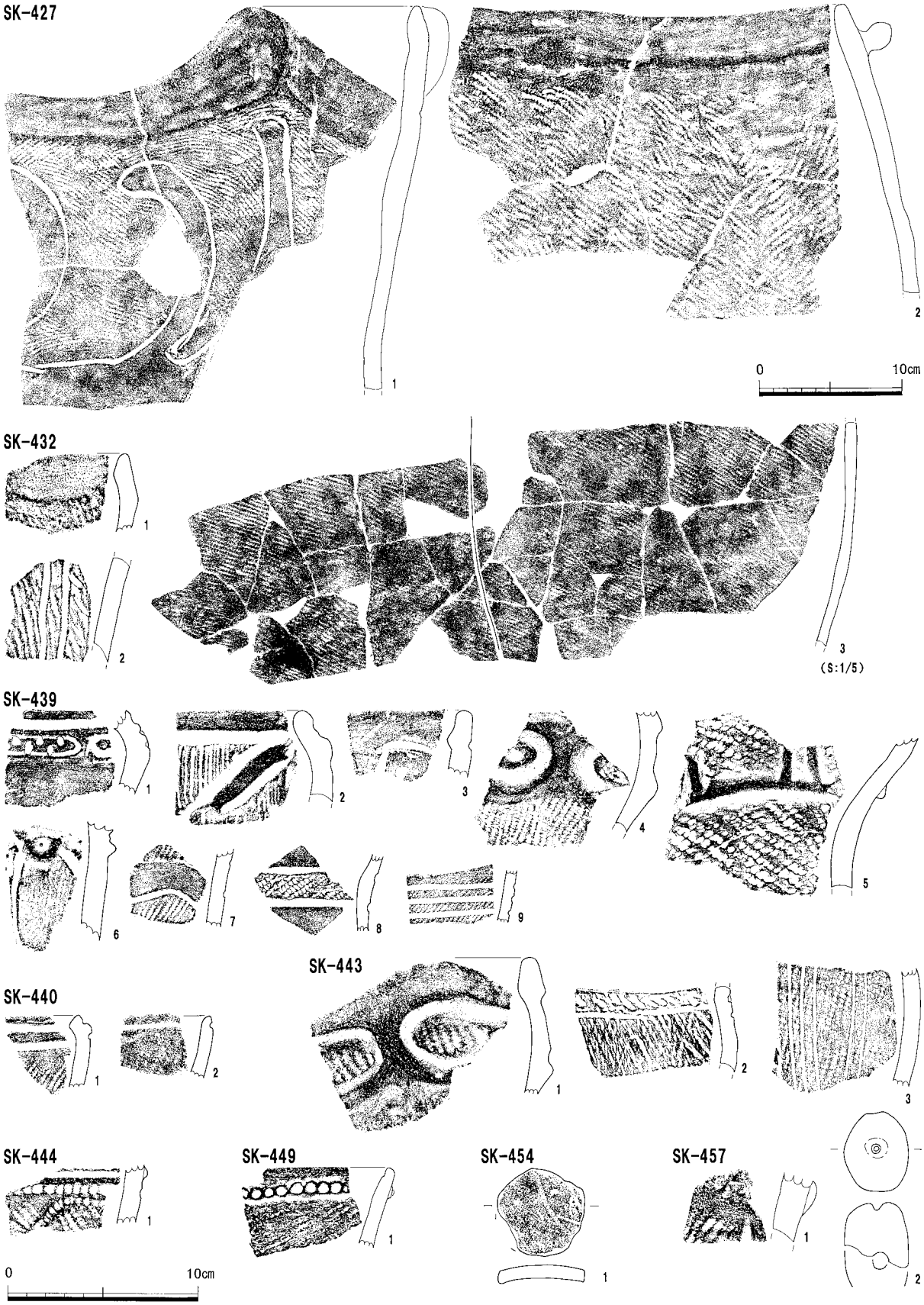
第160図　SK－376a・380・381・383・384・386・391・397～399出土遺物



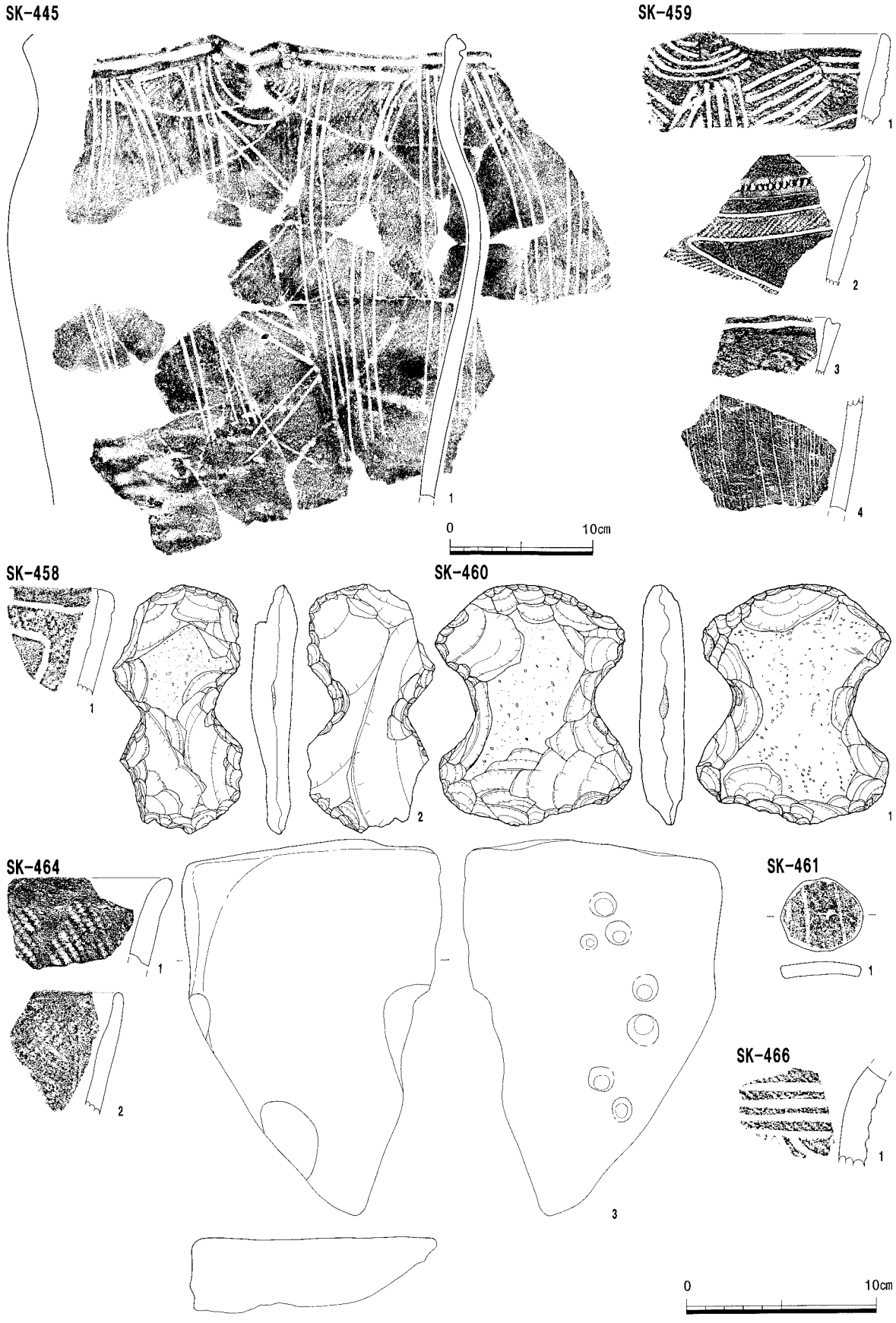
第161図　SK－401・402ab・404～406・408・410出土遺物



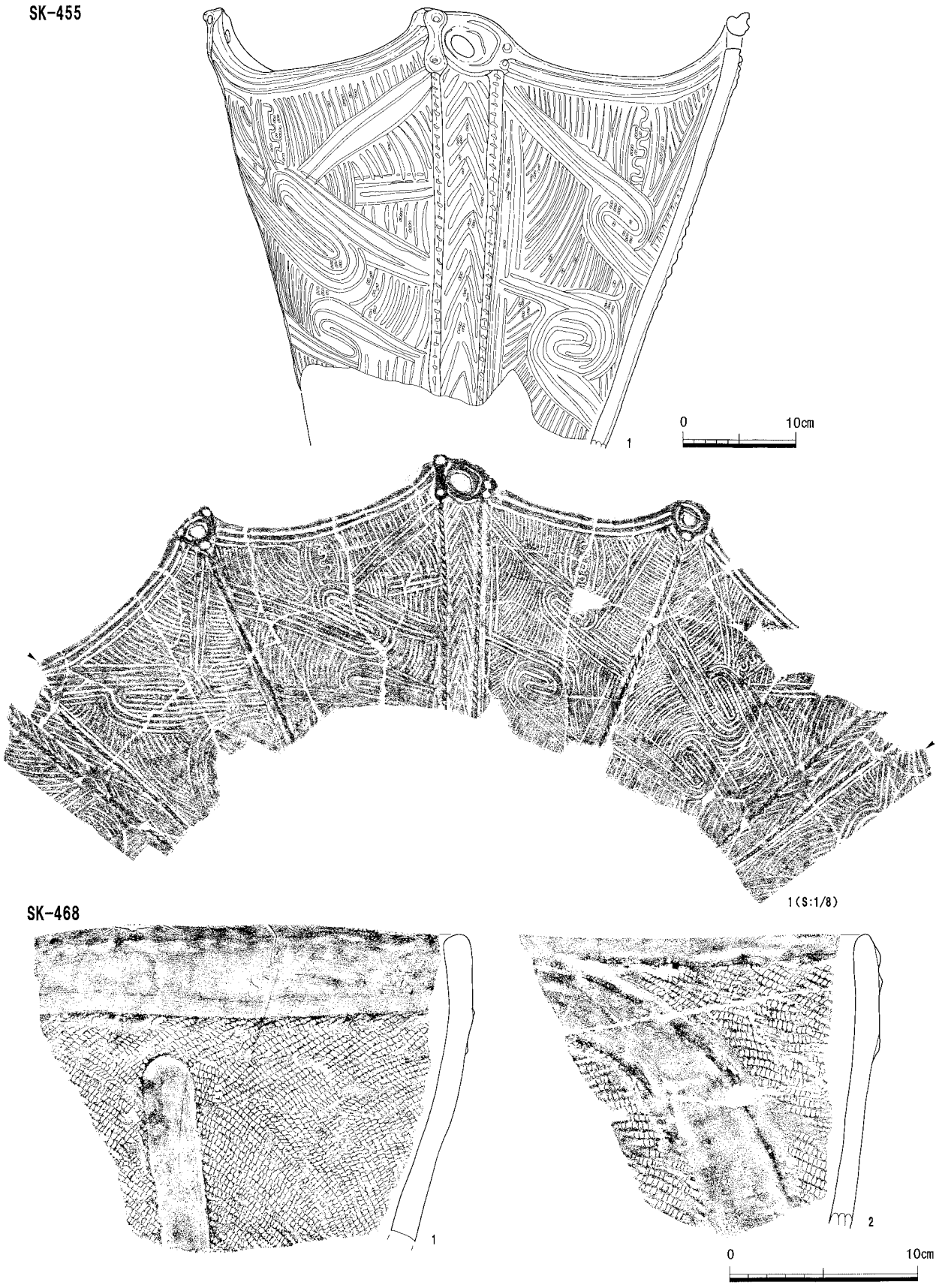
第162図　SK－415・417・419～423・425・431ab出土遺物



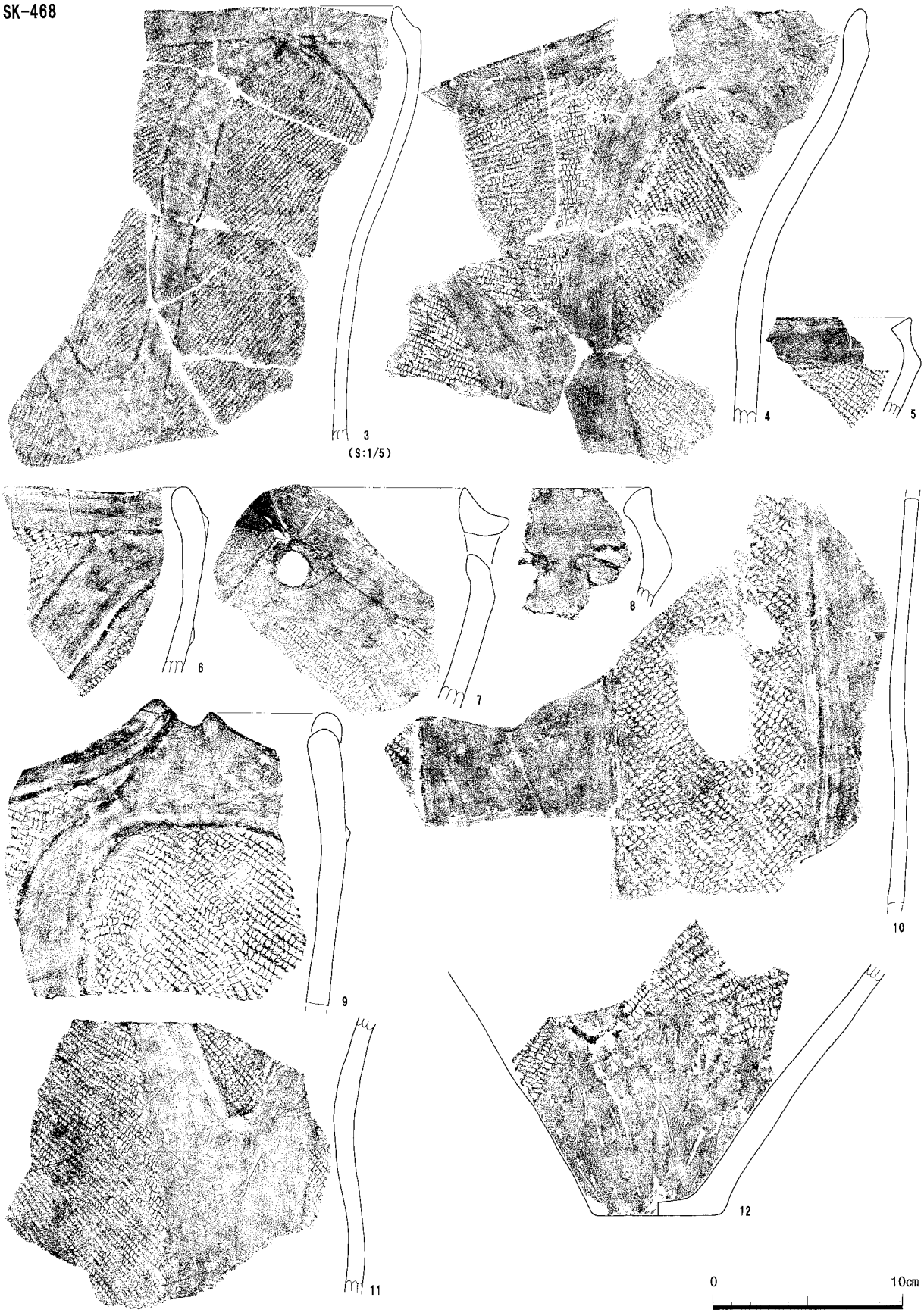
第163図　SK－427・432・439・440・443・444・449・454・457出土遺物



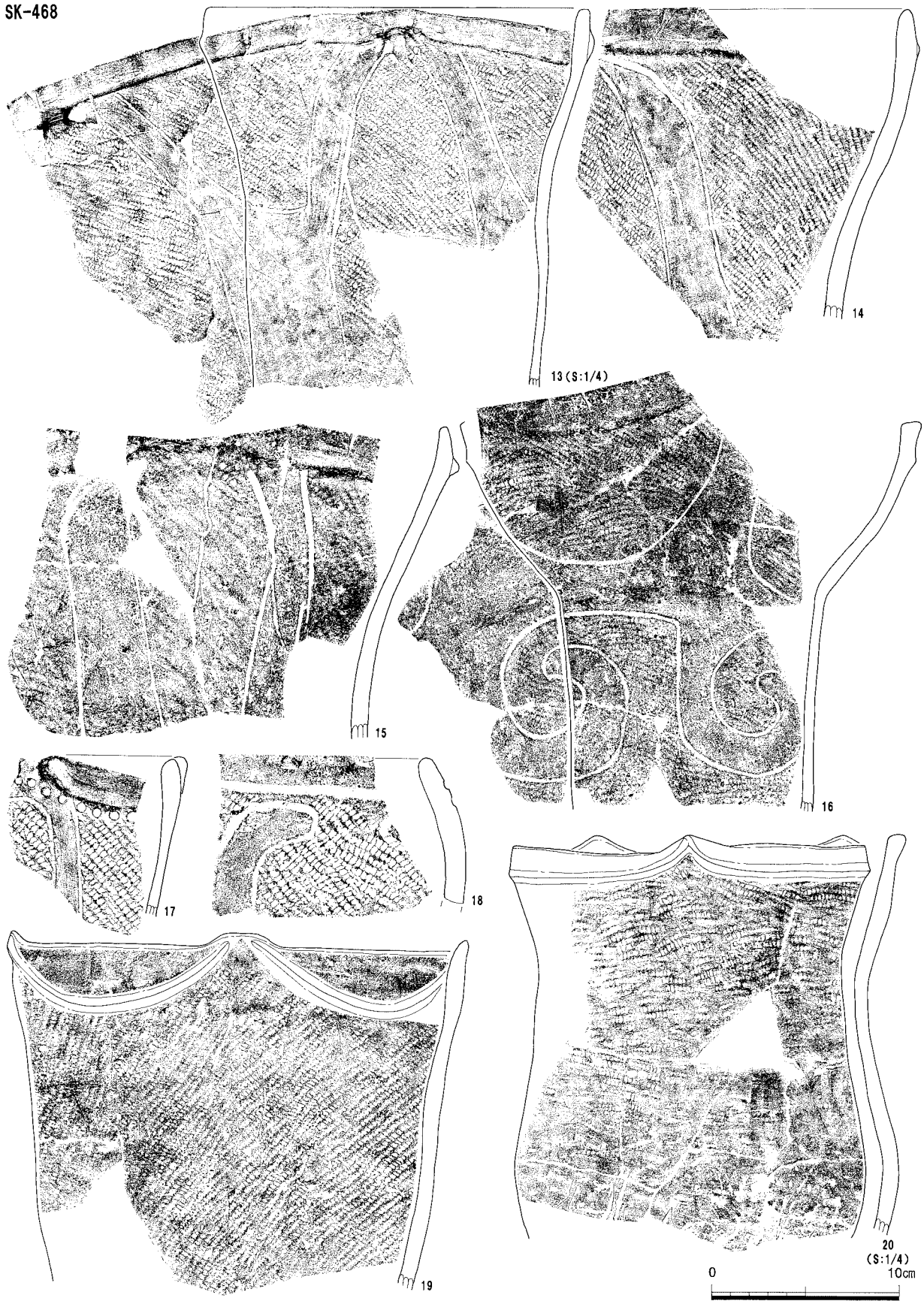
第164図　SK－445・458～461・464・466出土遺物



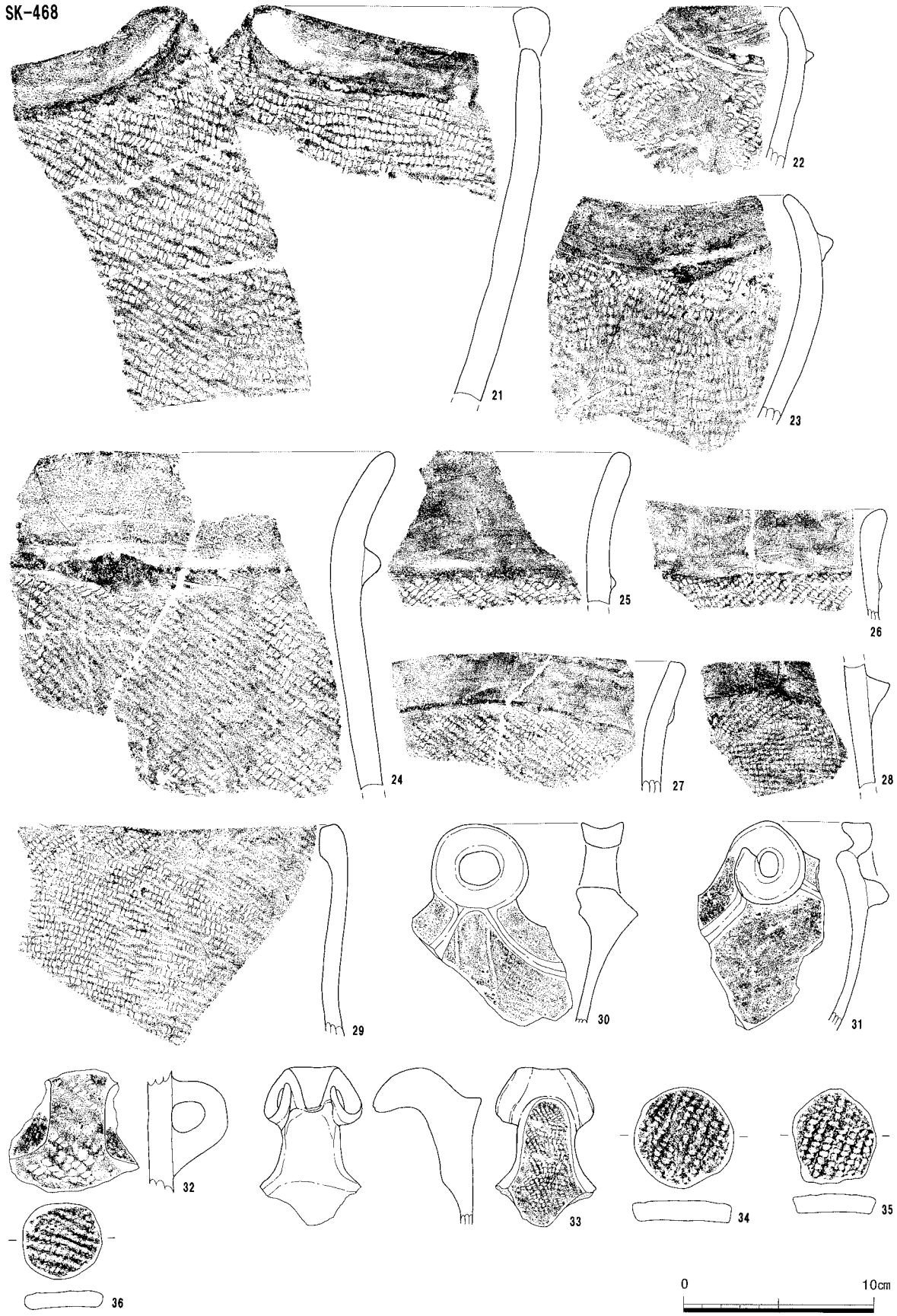
第165図　SK－455・468出土遺物



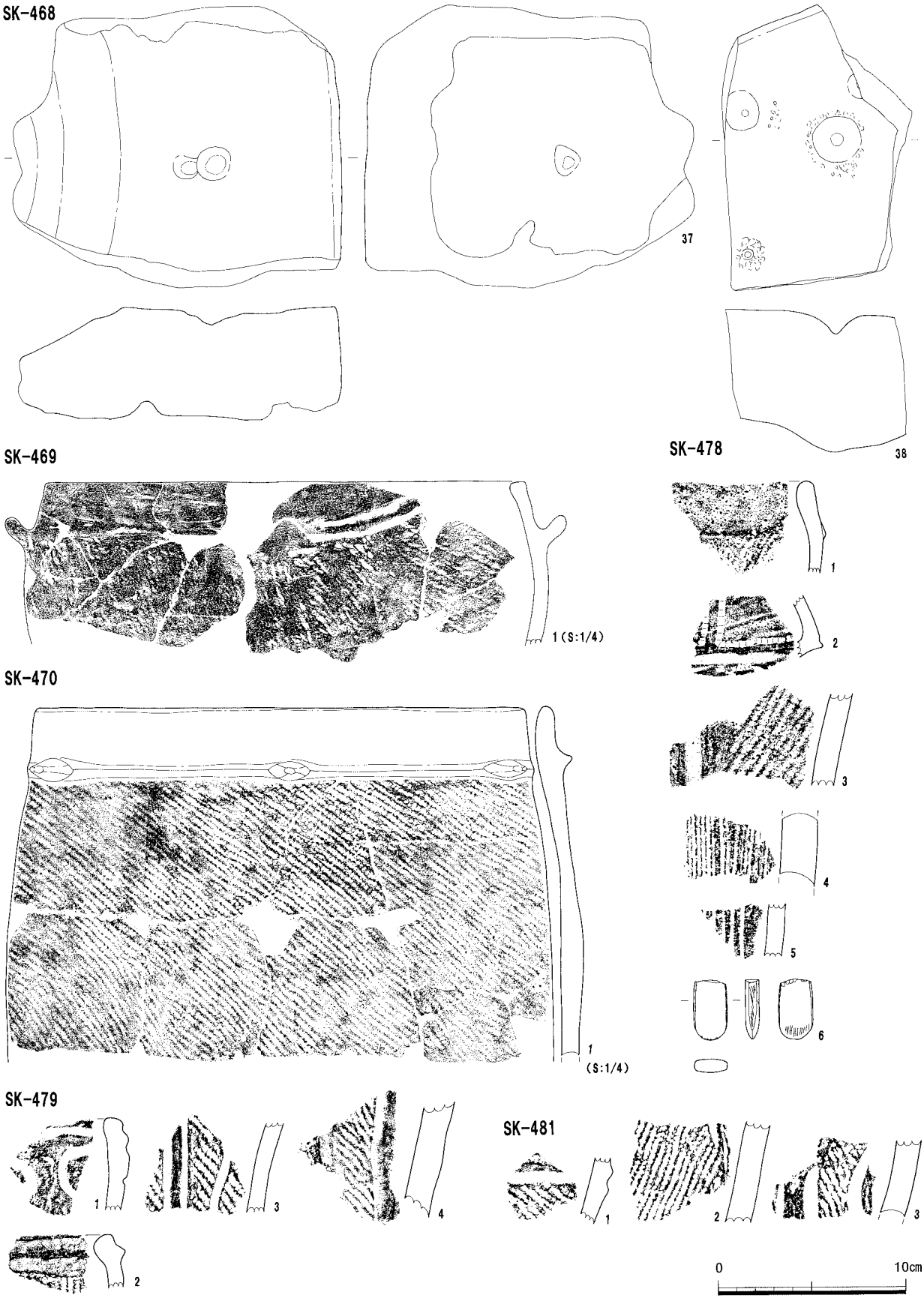
第166図　SK－468出土遺物



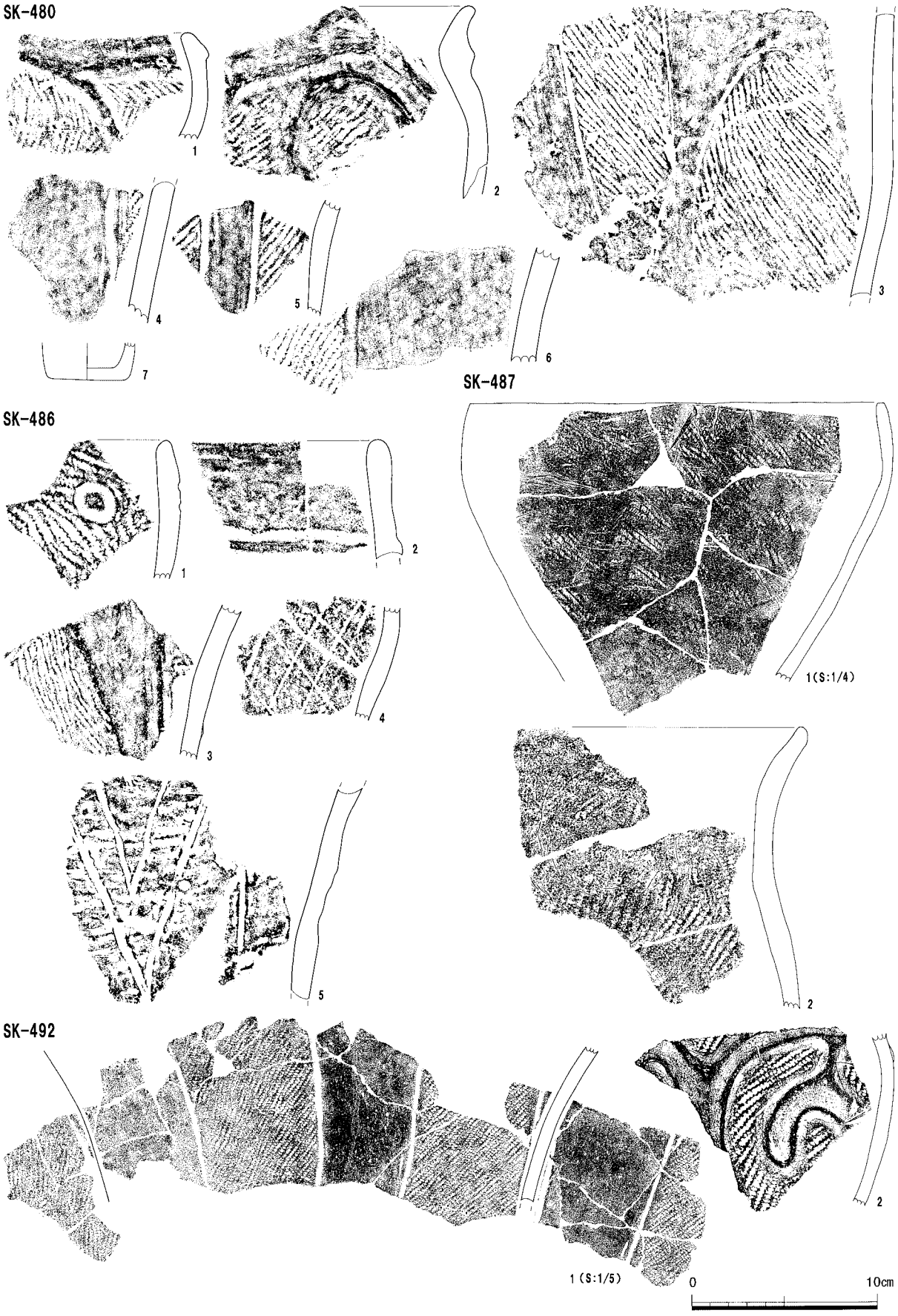
第167図　SK－468出土遺物



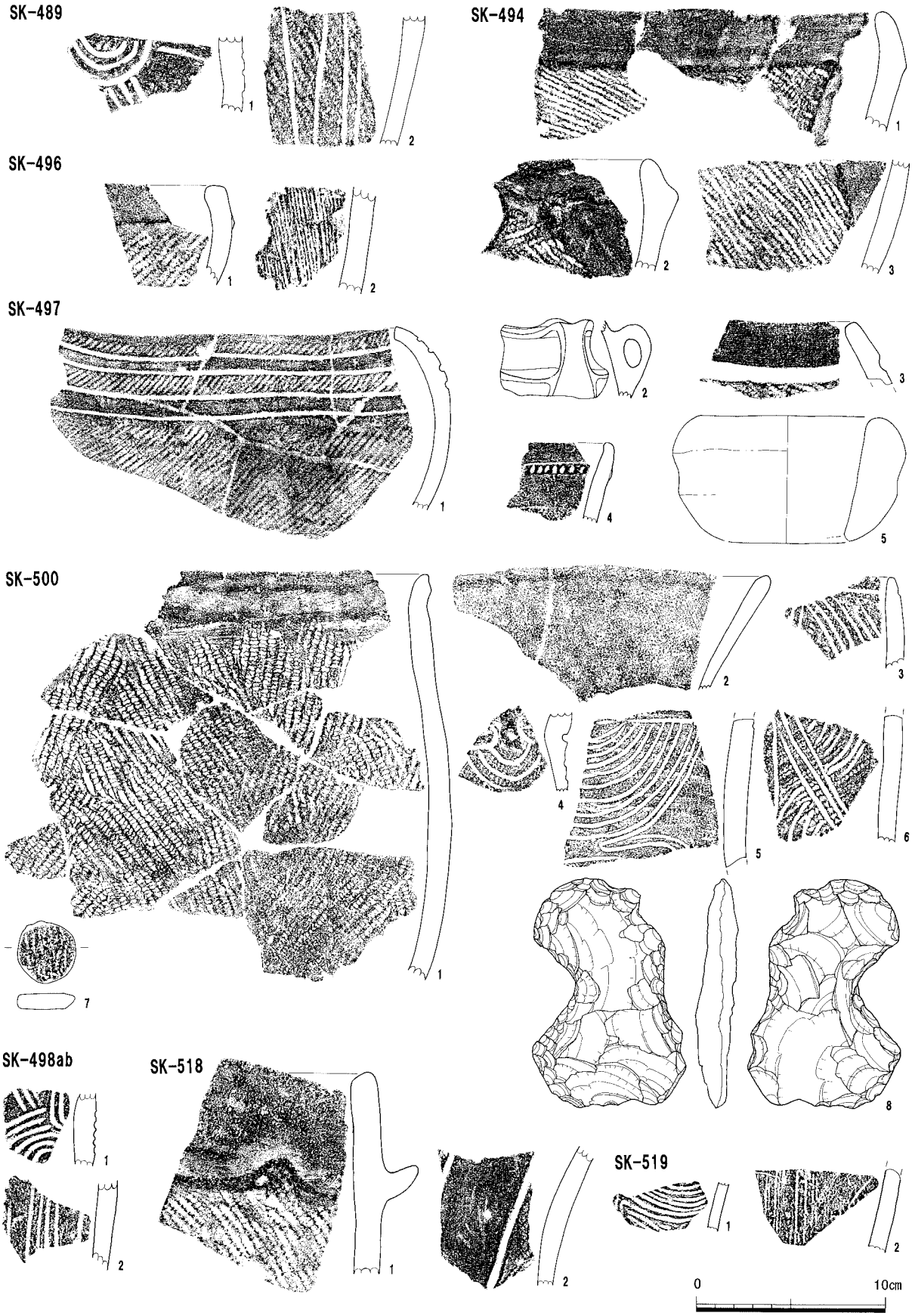
第168図　SK－468出土遺物



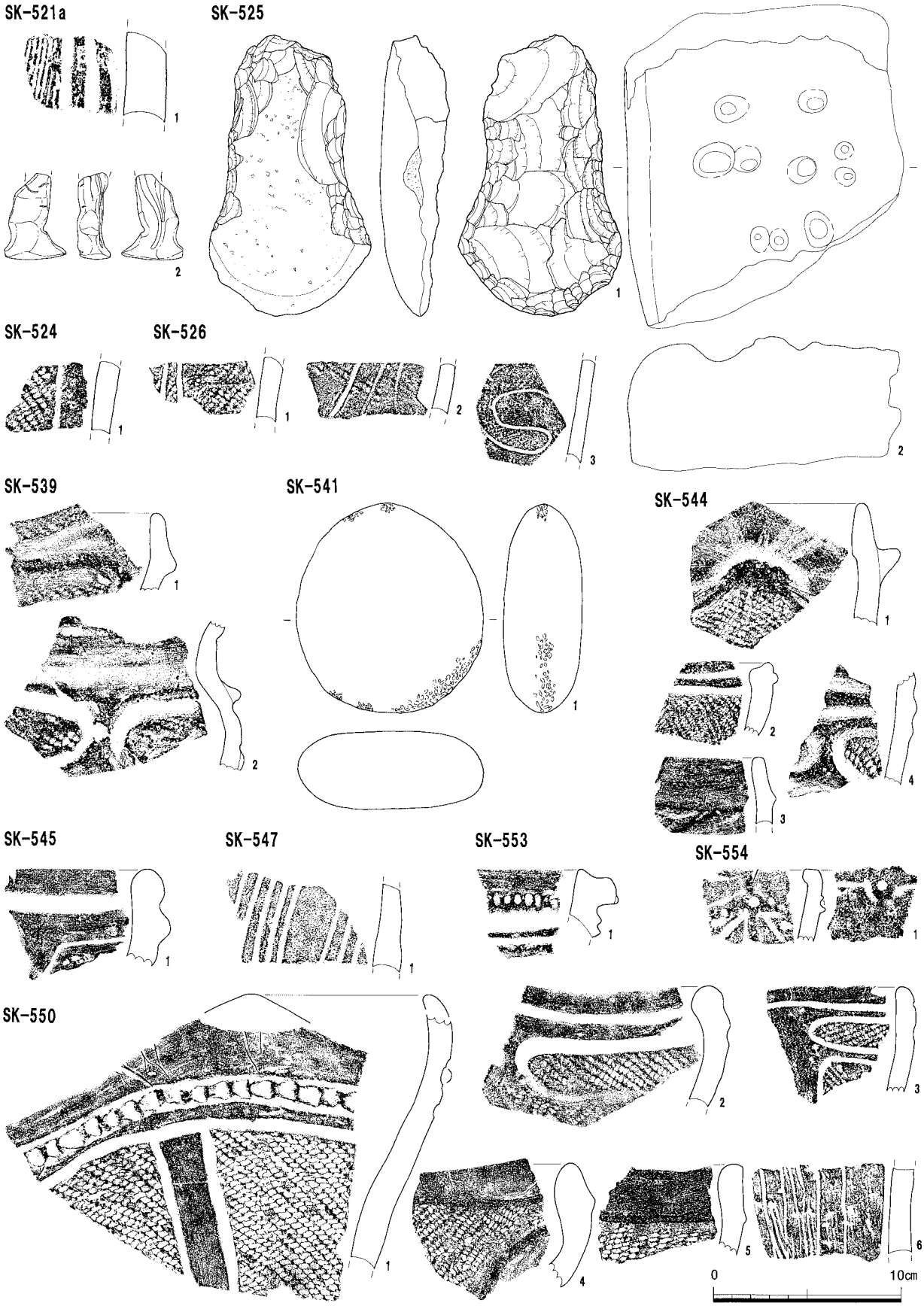
第169図　SK－468～470・478・479・481出土遺物



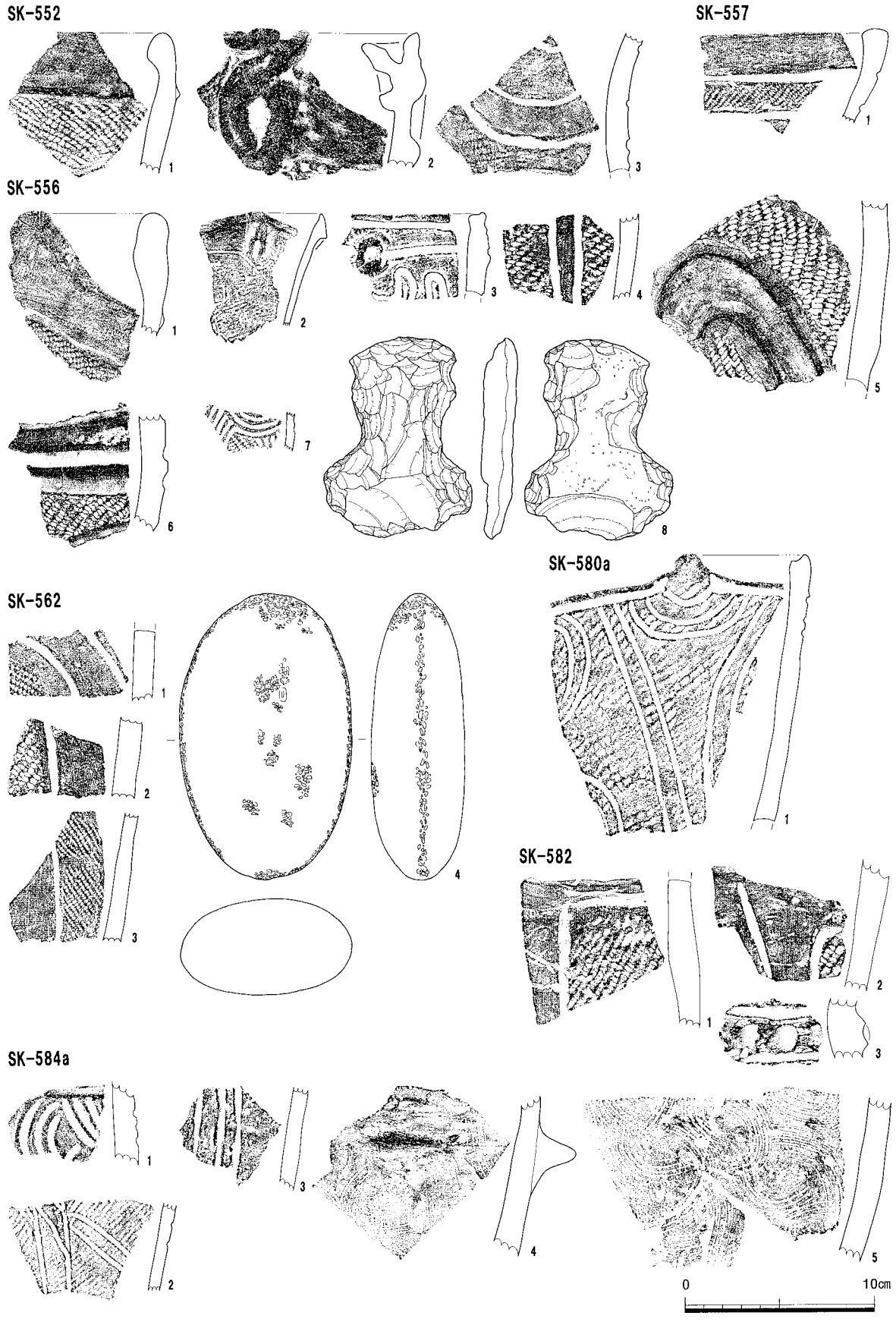
第170図　SK－480・486・487・492出土遺物



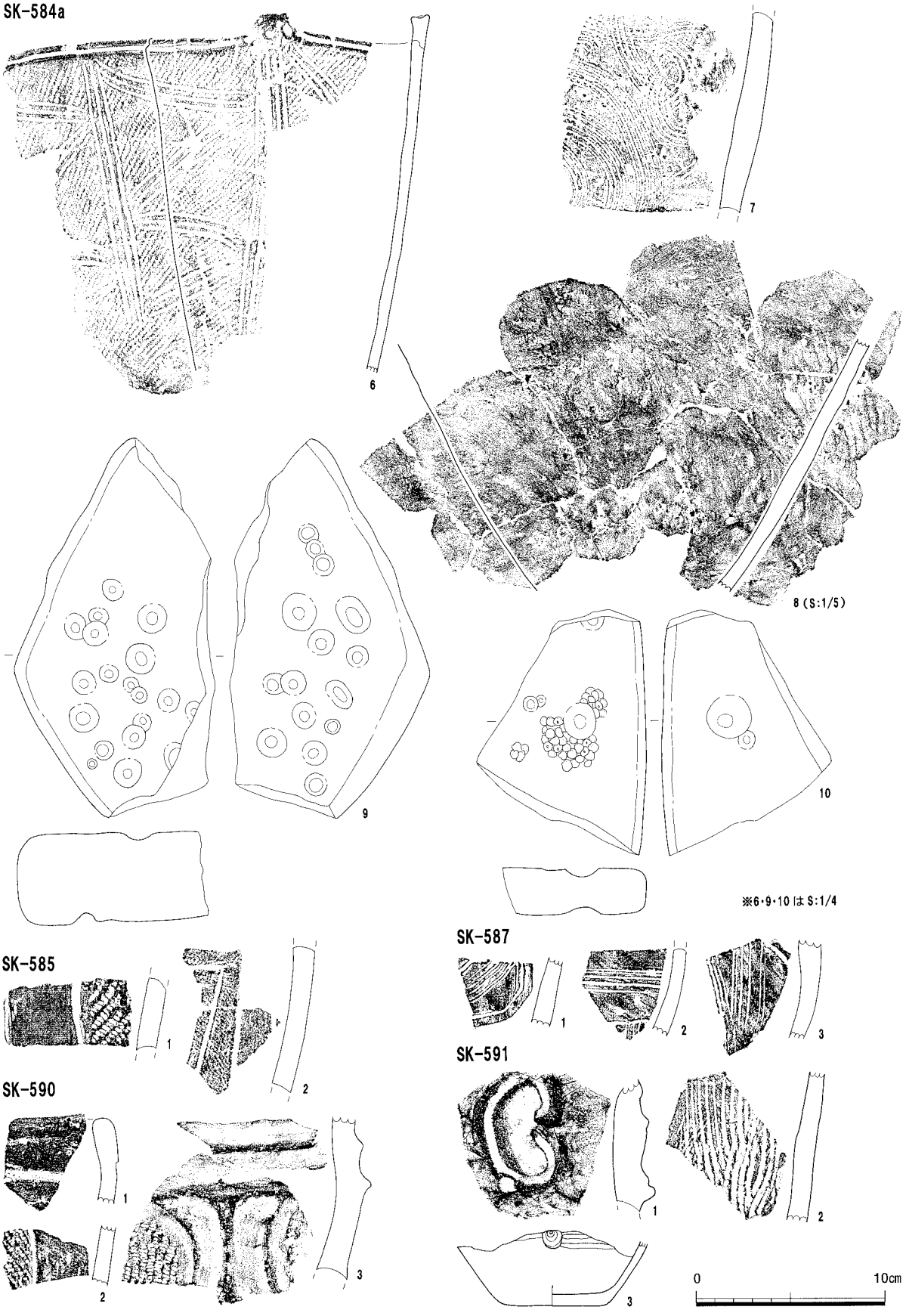
第171図　SK－489・494・496・497・498ab・500・518・519出土遺物



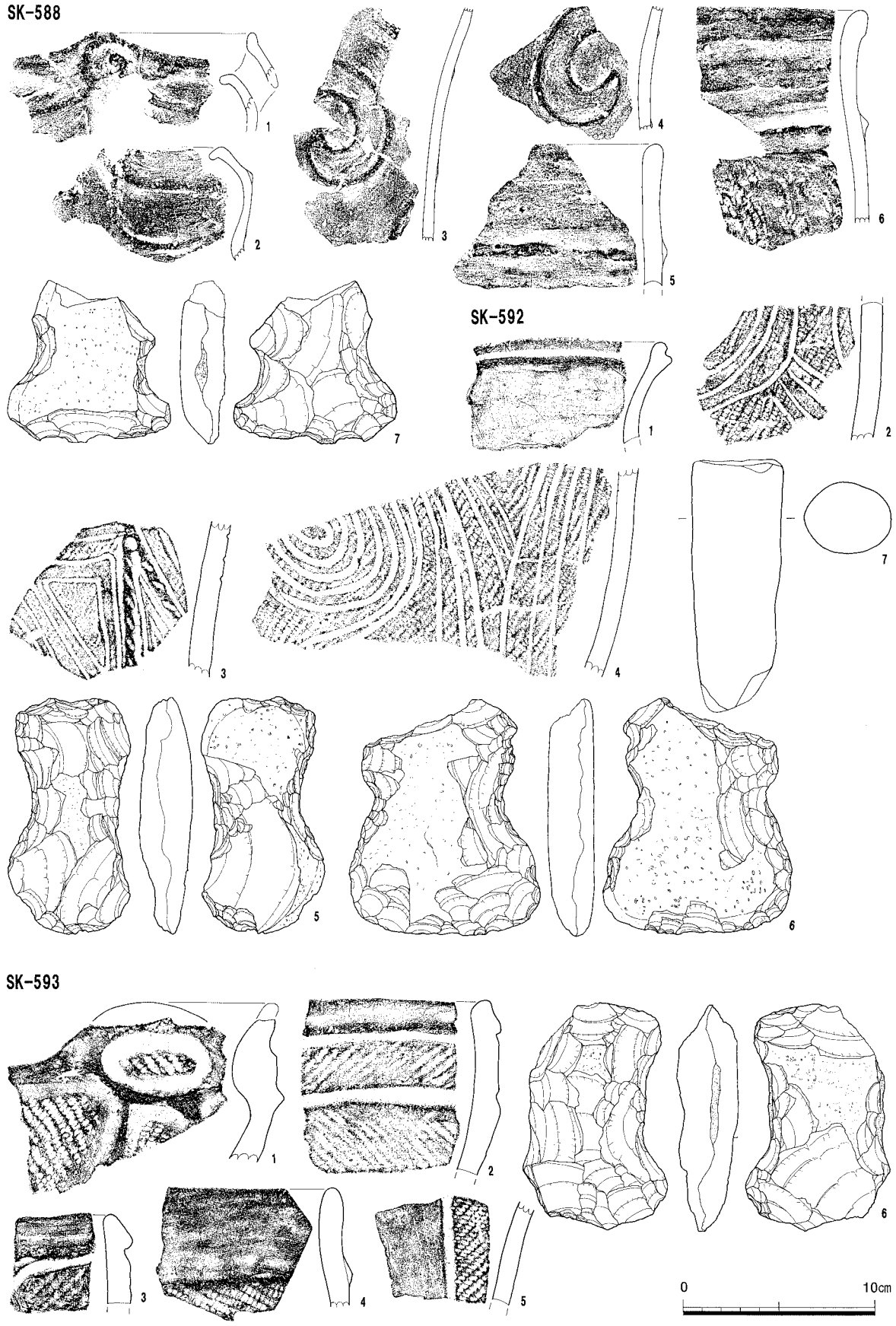
第172図　SK－521a・524～526・539・541・544・545・547・550・553・554出土遺物



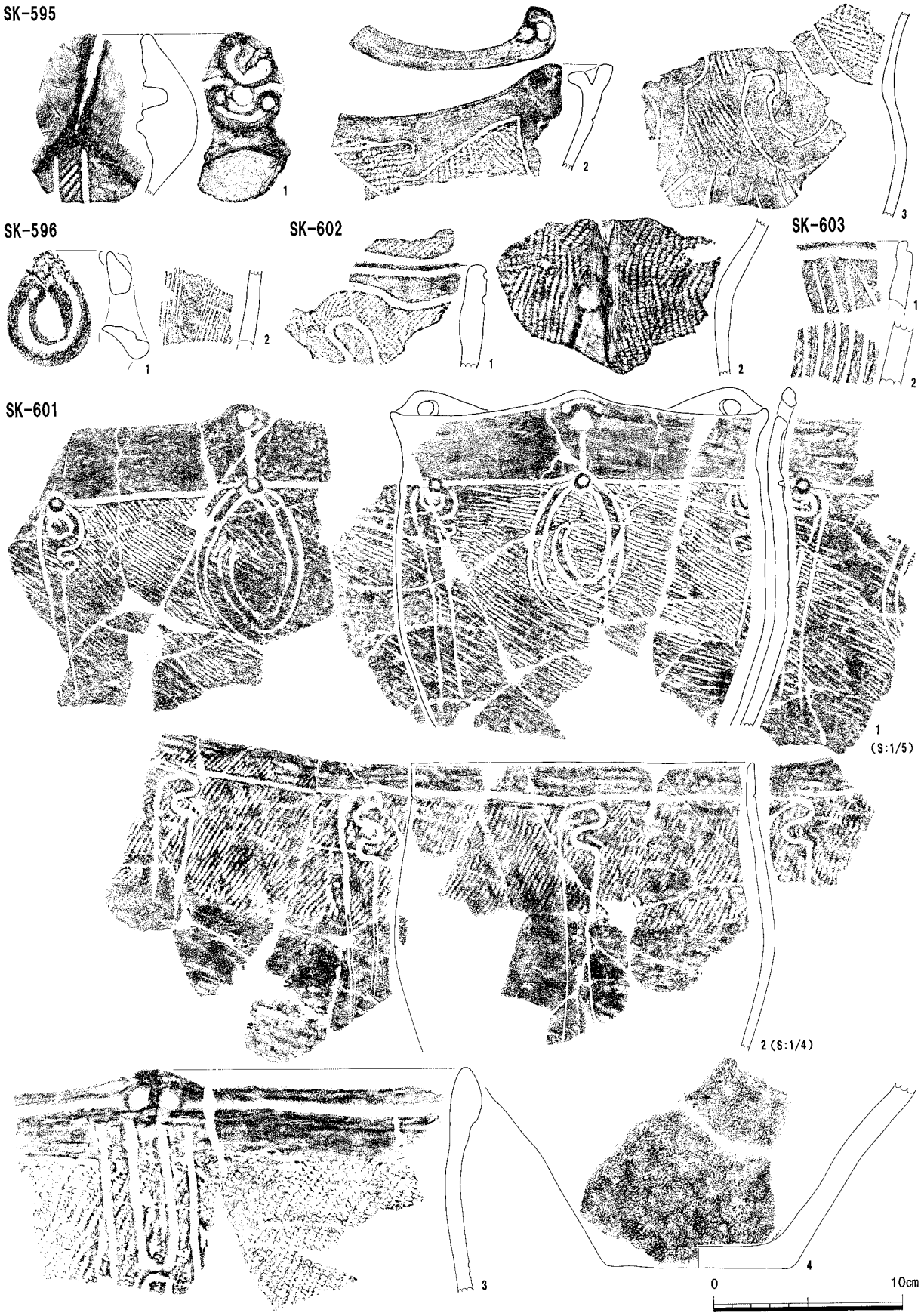
第173図　SK－552・556・557・562・580a・582・584a出土遺物



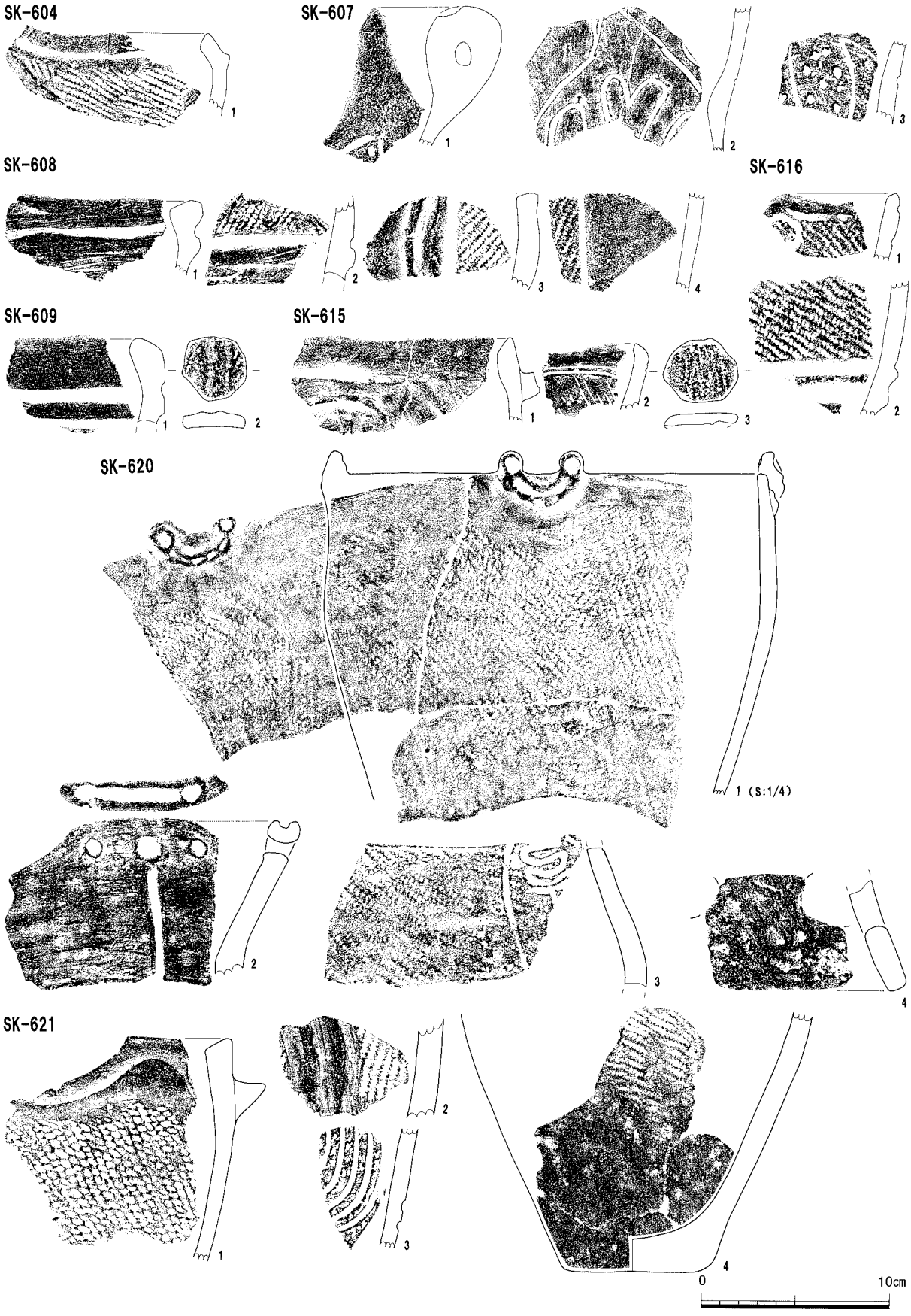
第174図　SK－584a・585・587・590・591出土遺物



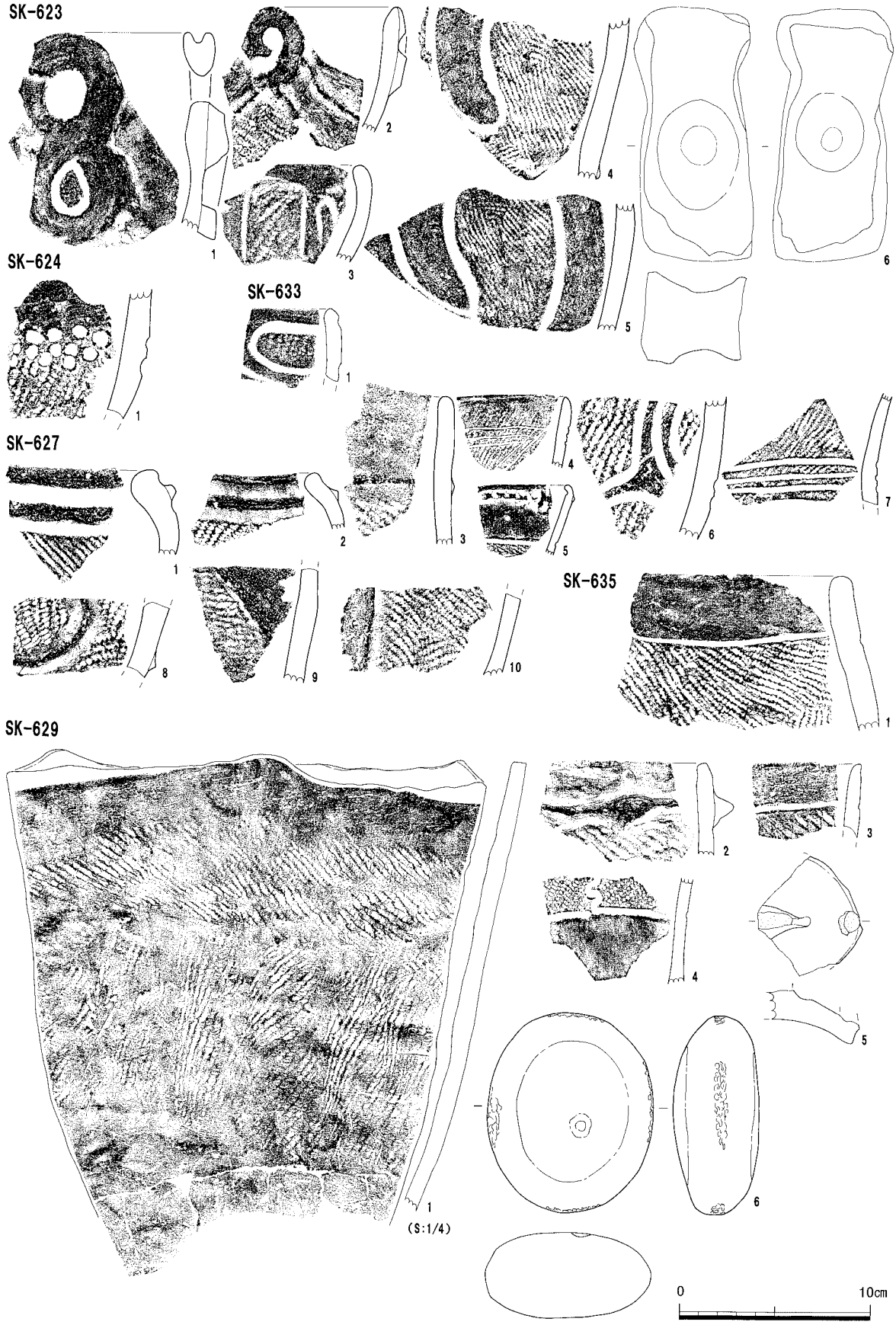
第175図　SK－588・592・593出土遺物



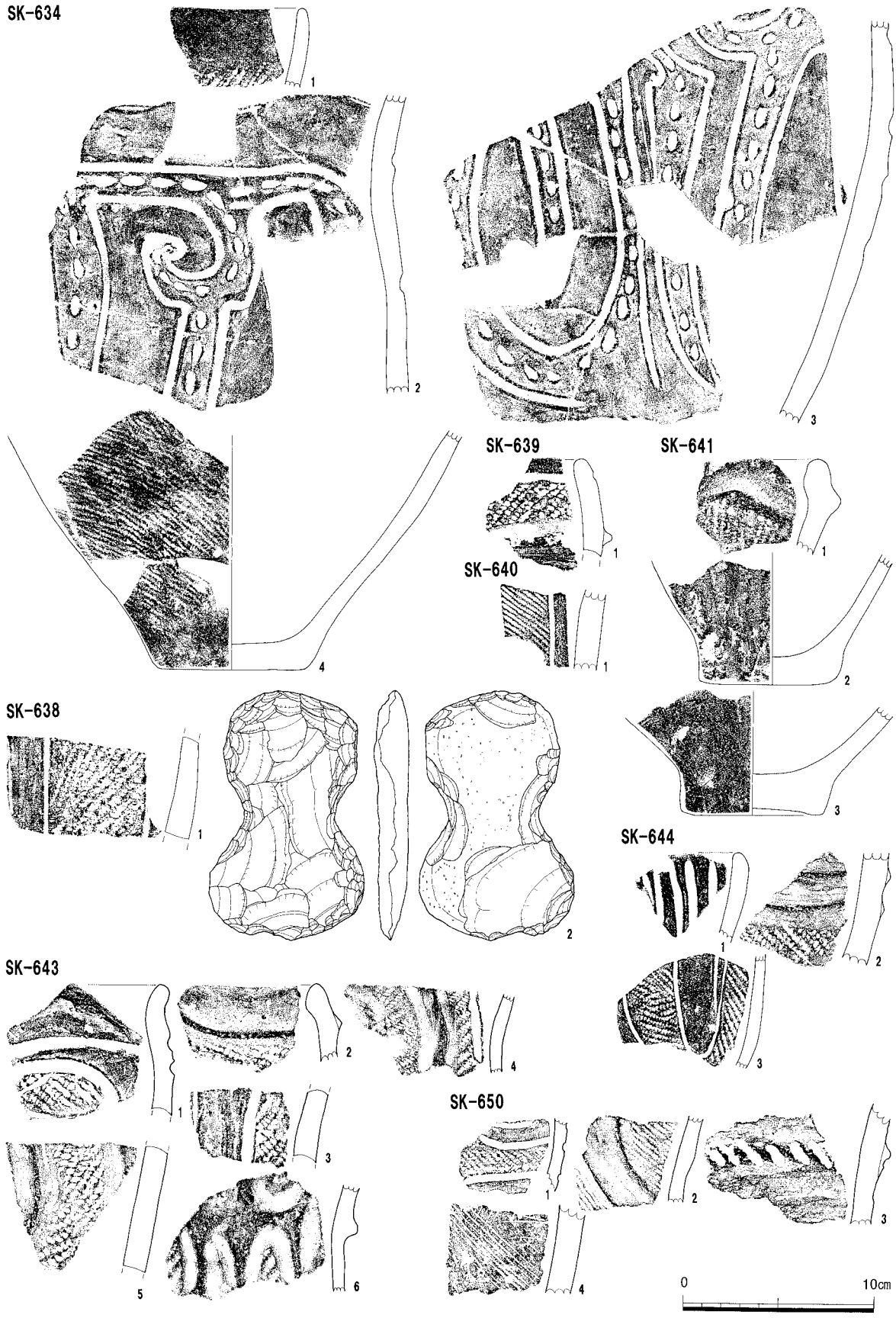
第176図　SK－595・596・601～603出土遺物



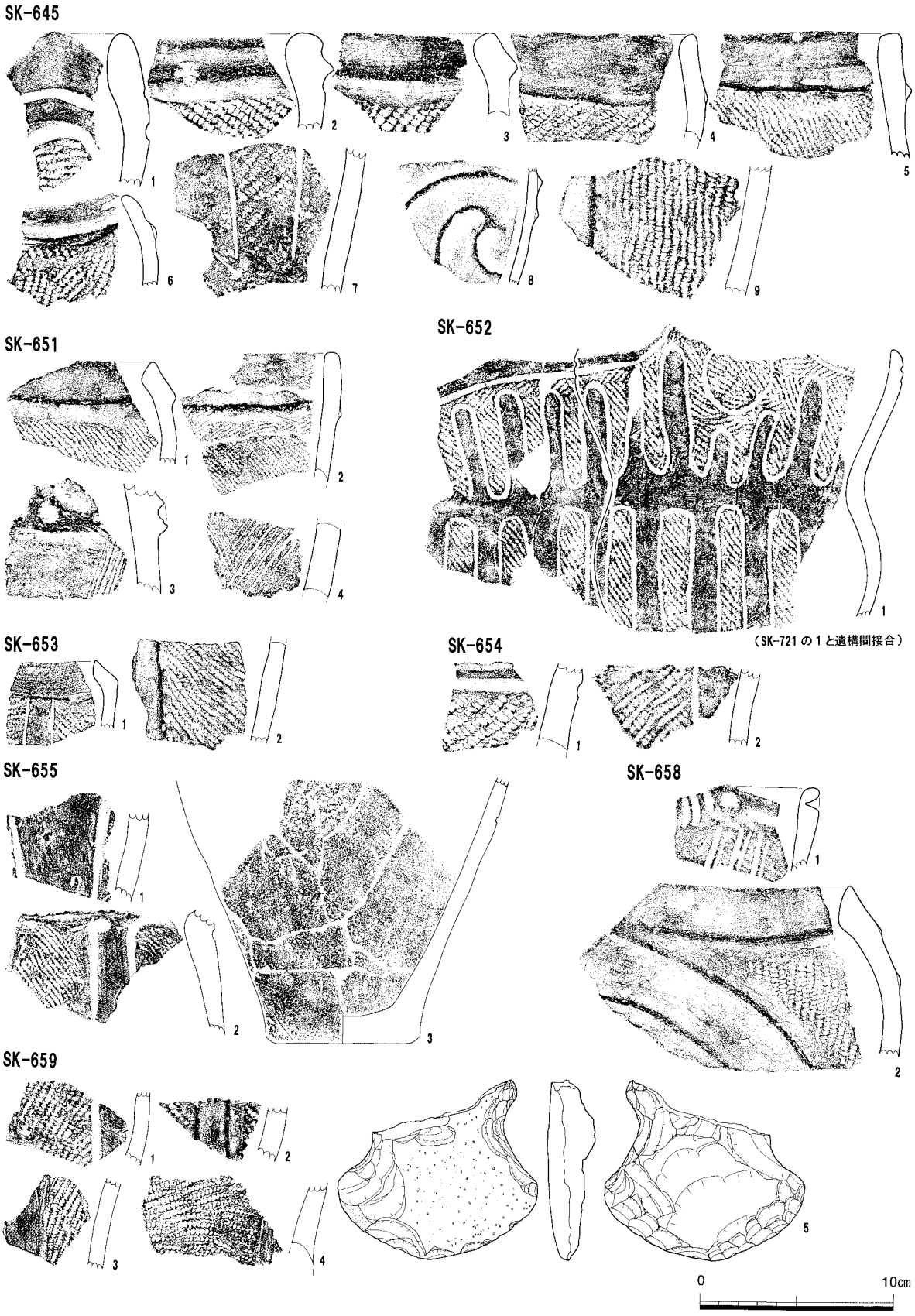
第177図　SK－604・607～609・615・616・620・621出土遺物



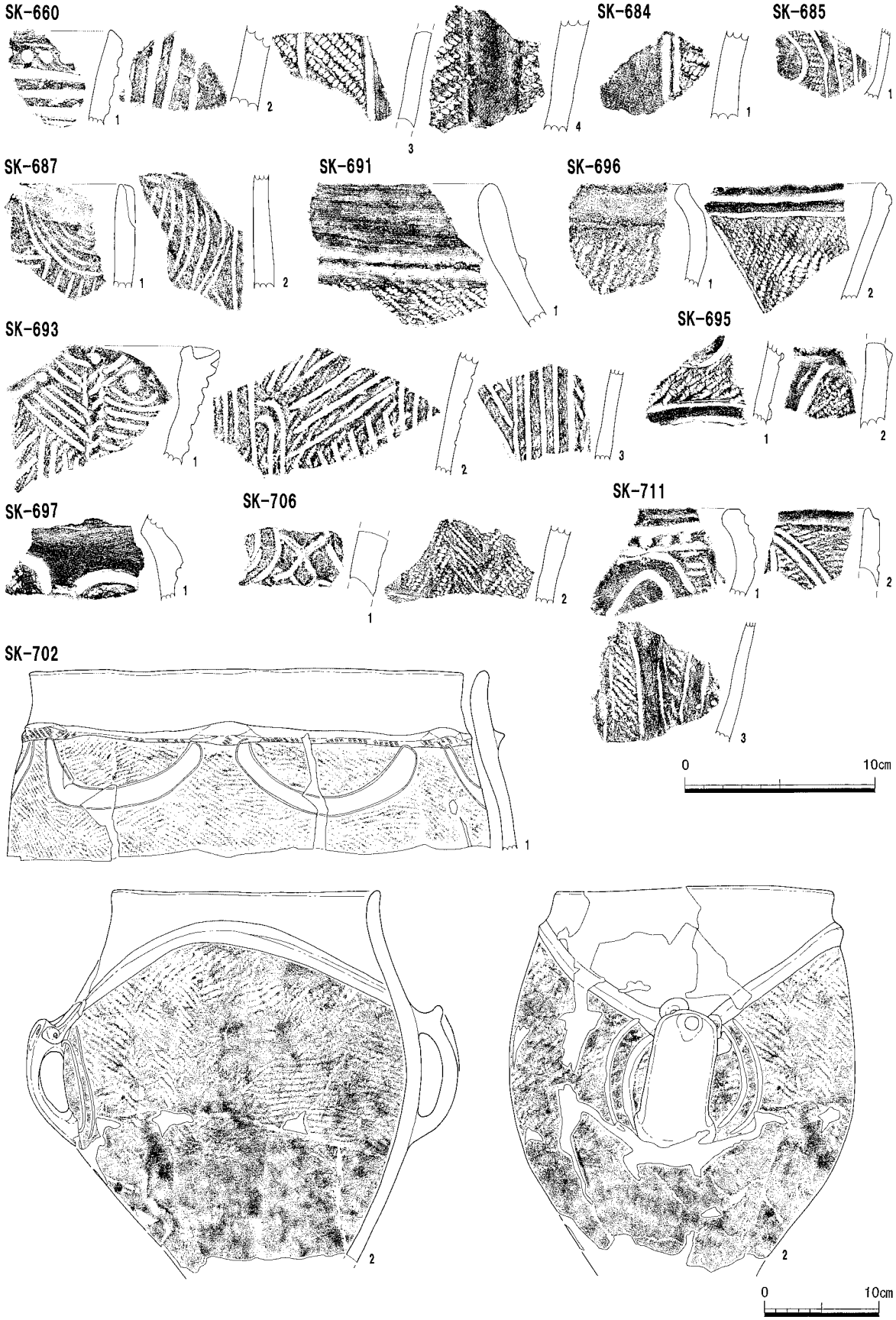
第178図　SK－623・624・627・629・633・635出土遺物



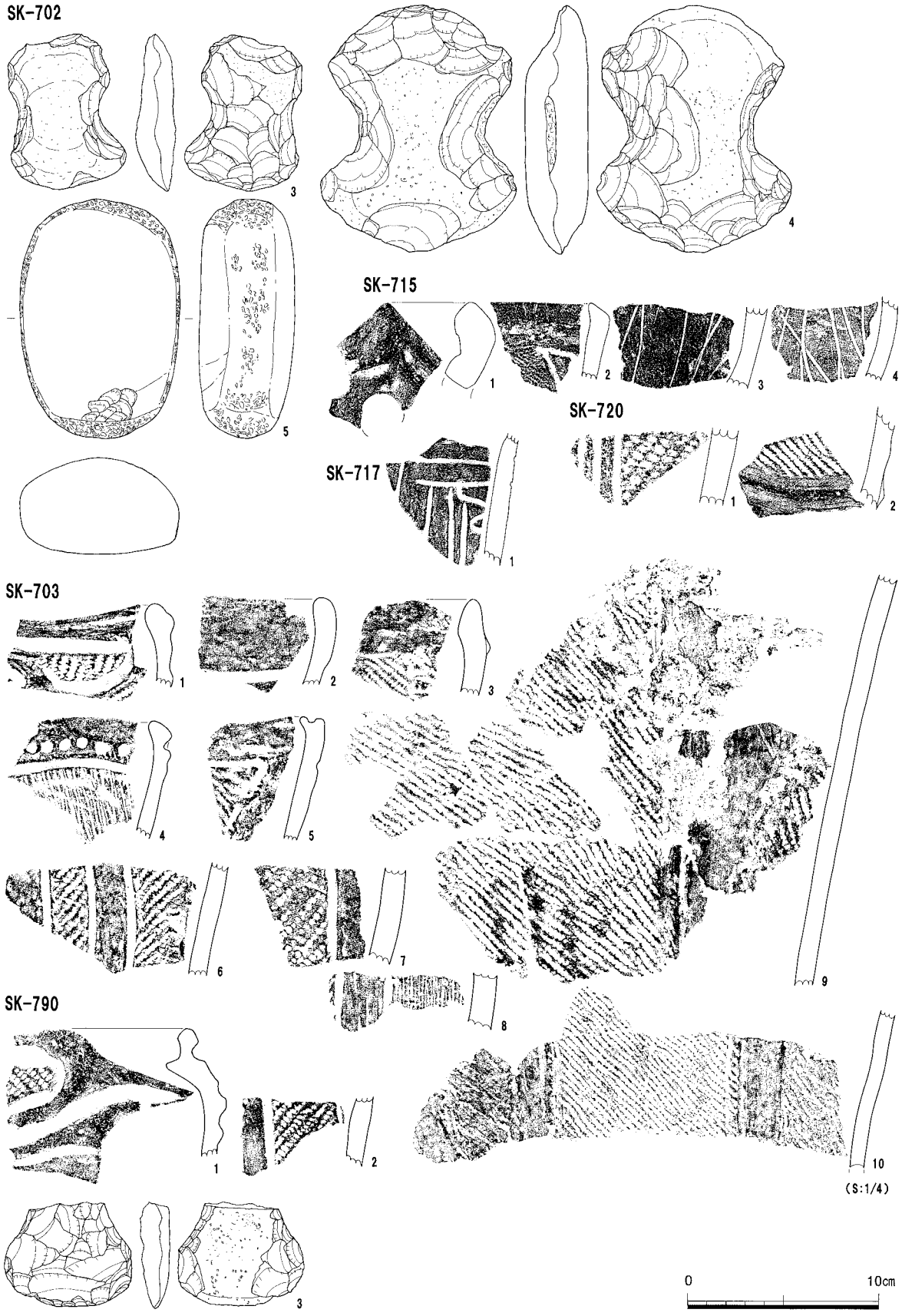
第179図　SK－634・638～641・643・644・650出土遺物



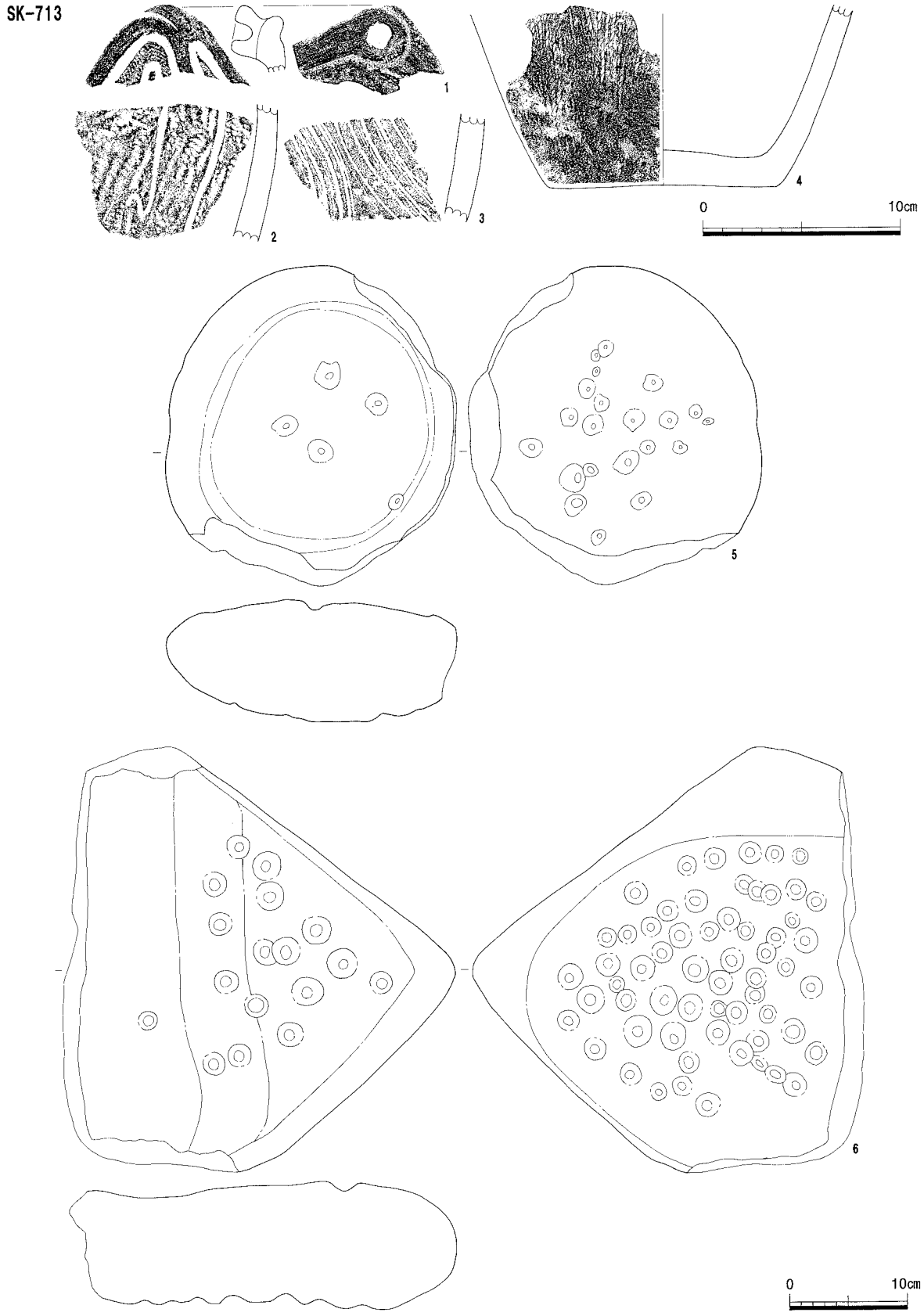
第180図　SK－645・651～655・658・659出土遺物



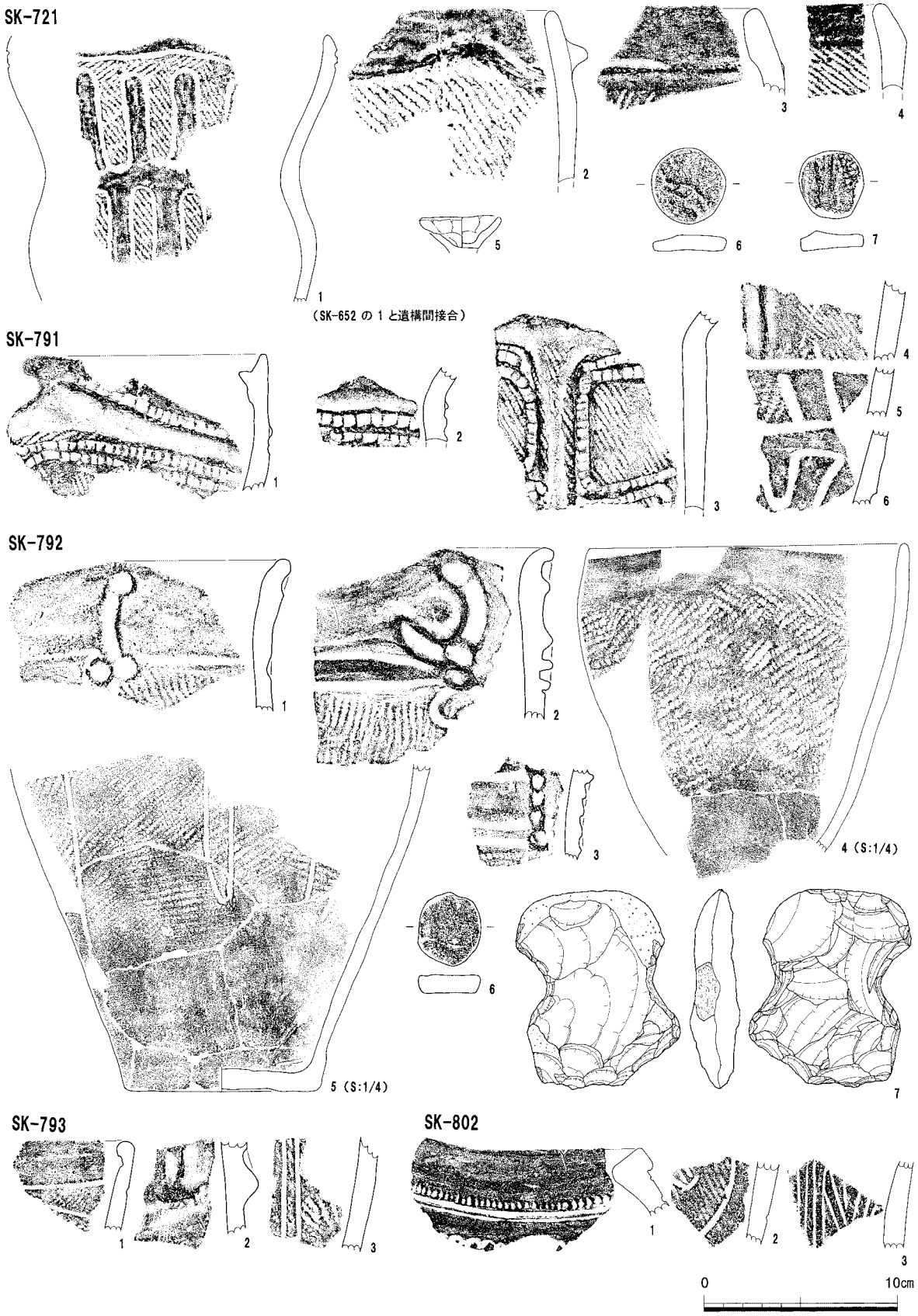
第181図　SK－660・684・685・687・691・693・695～697・702・706・711出土遺物



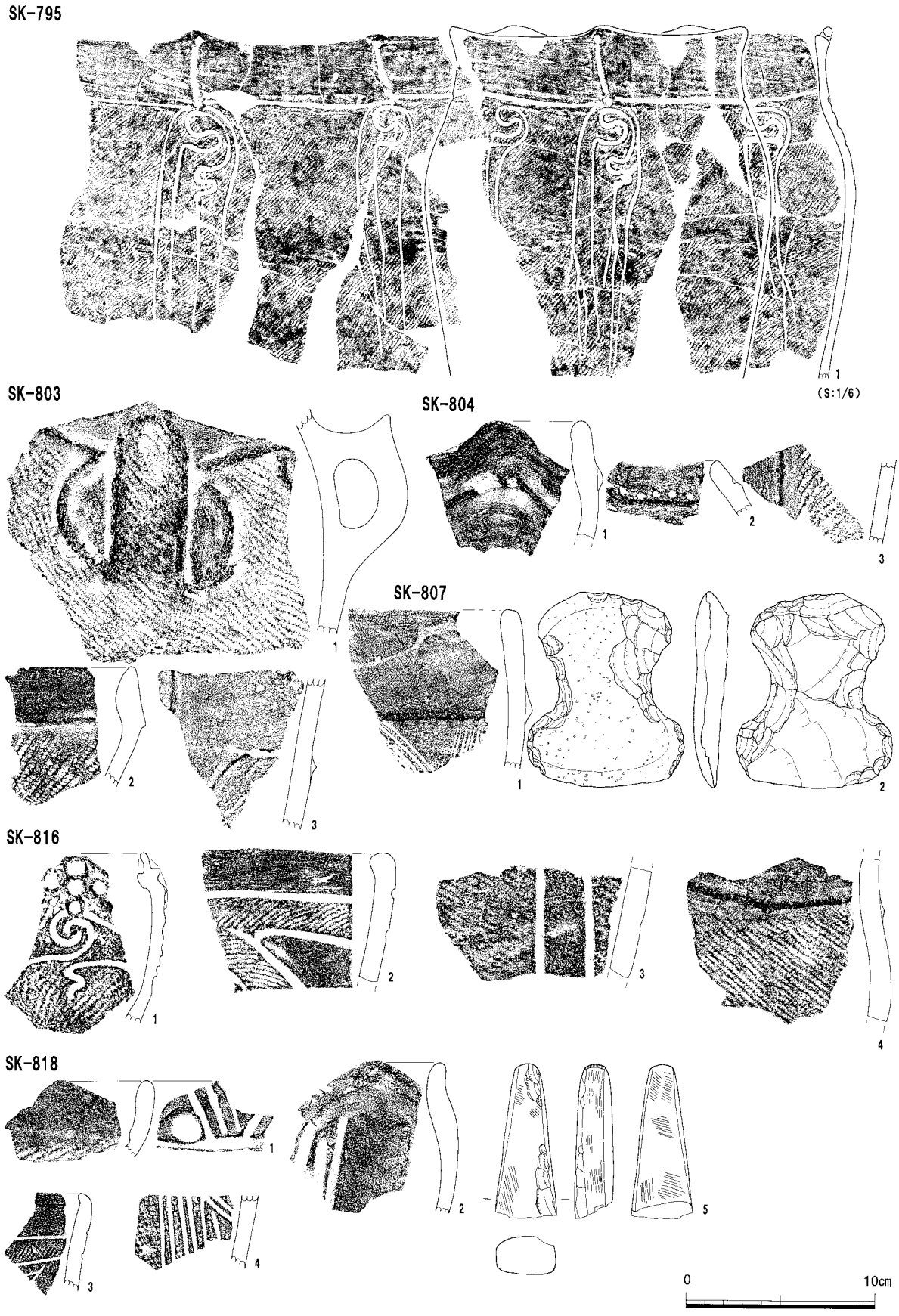
第182図　SK－702・703・715・717・720・790出土遺物



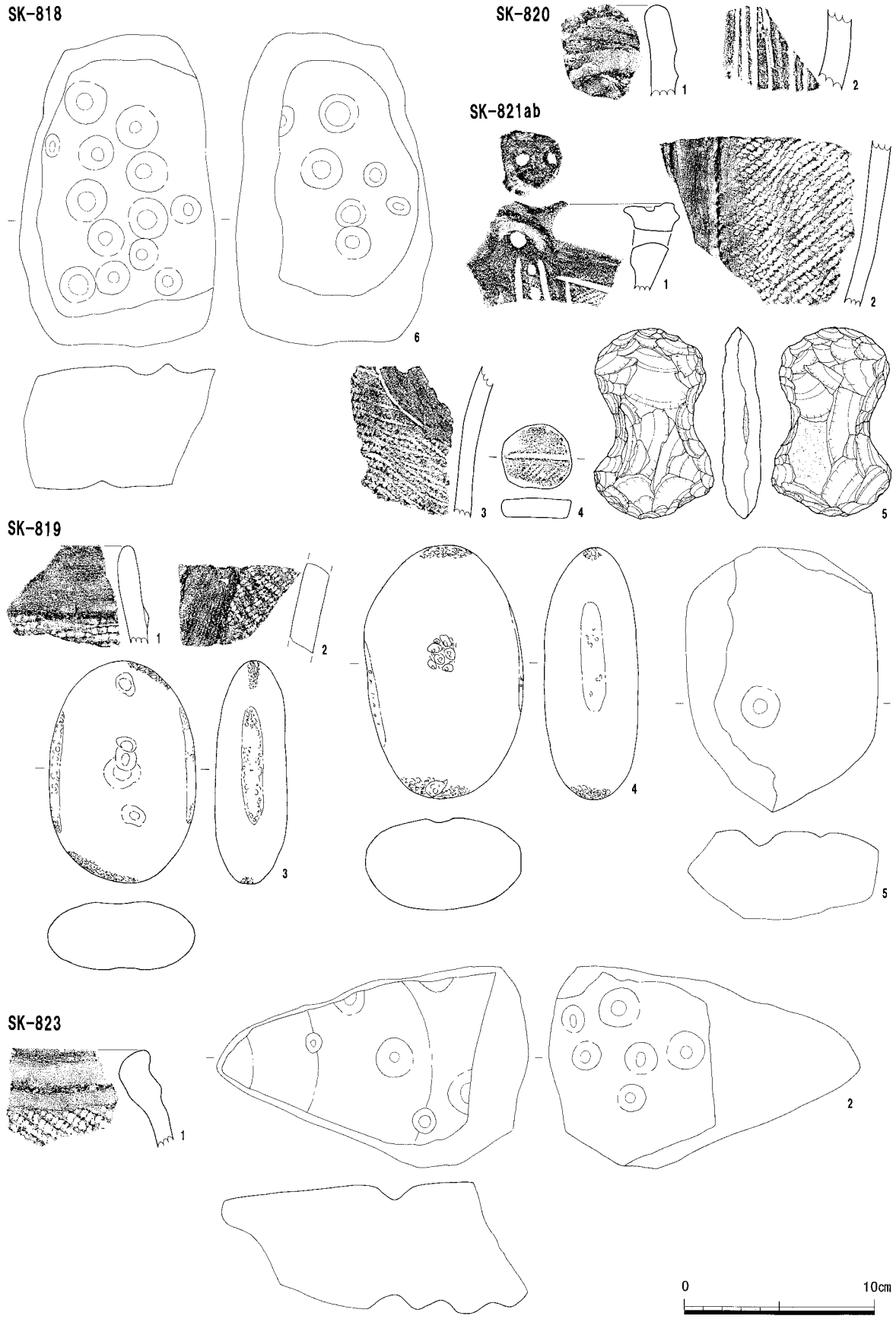
第183図　SK－713出土遺物



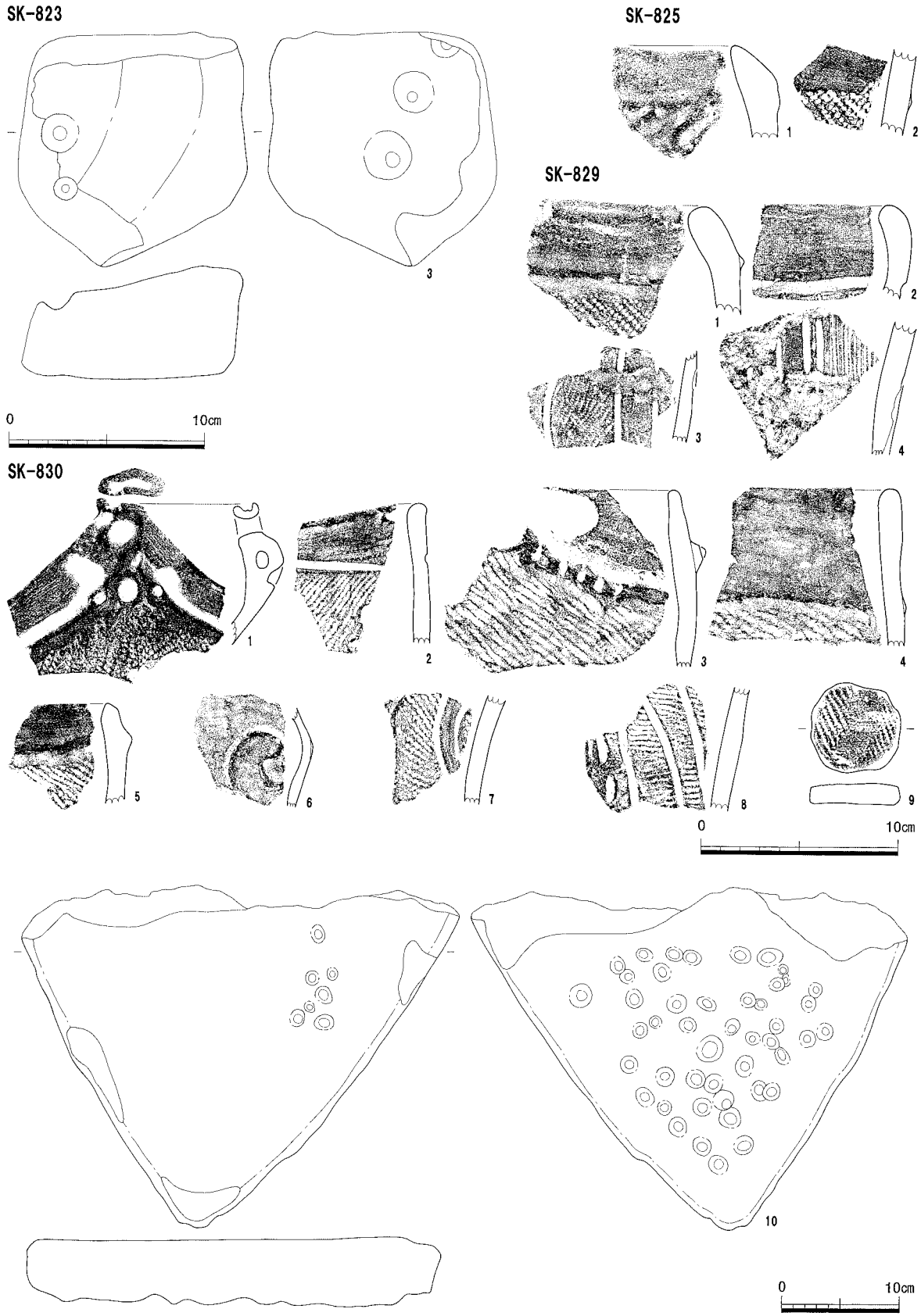
第184図　SK－721・791～793・802出土遺物



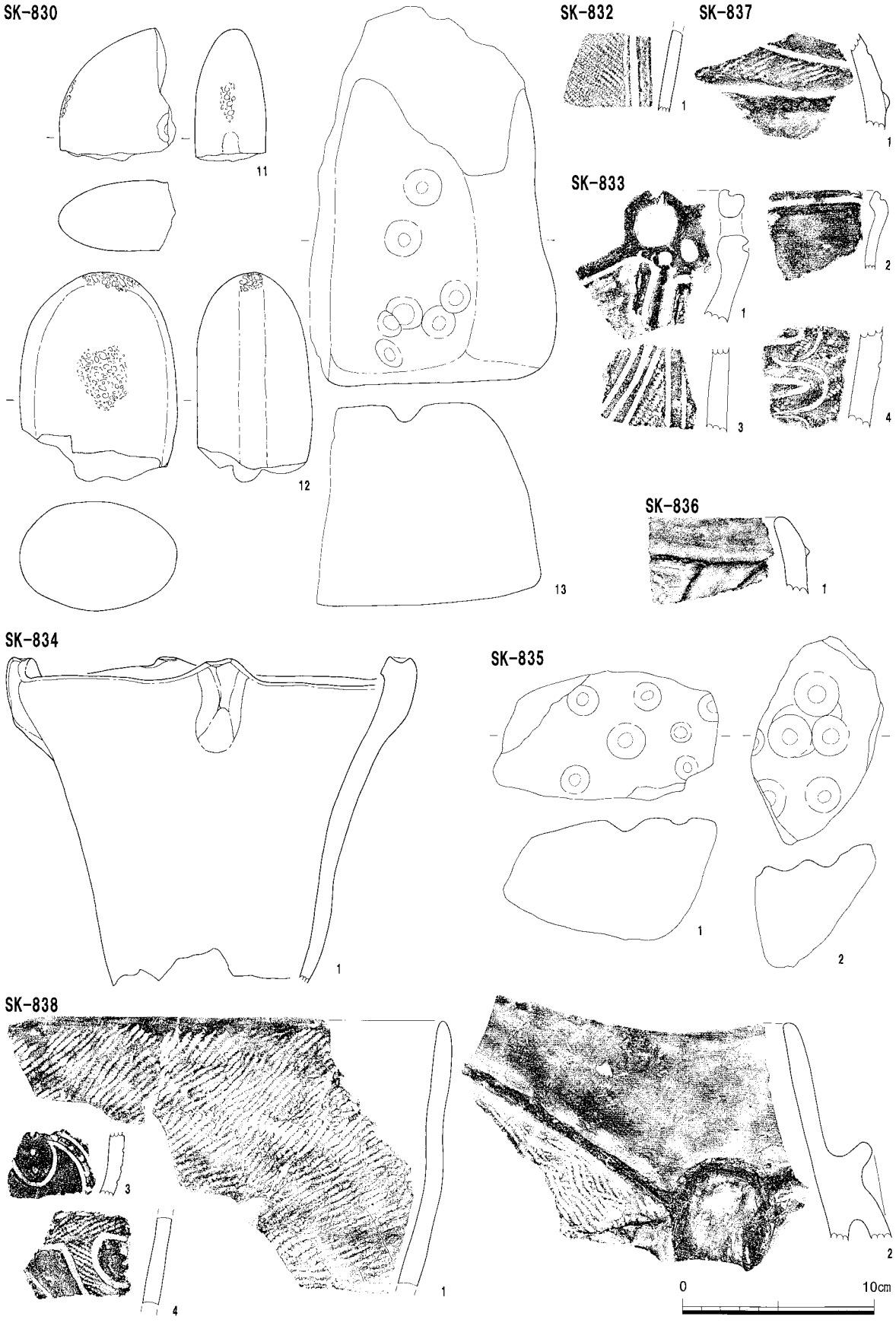
第185図　SK－795・803・804・807・816・818出土遺物



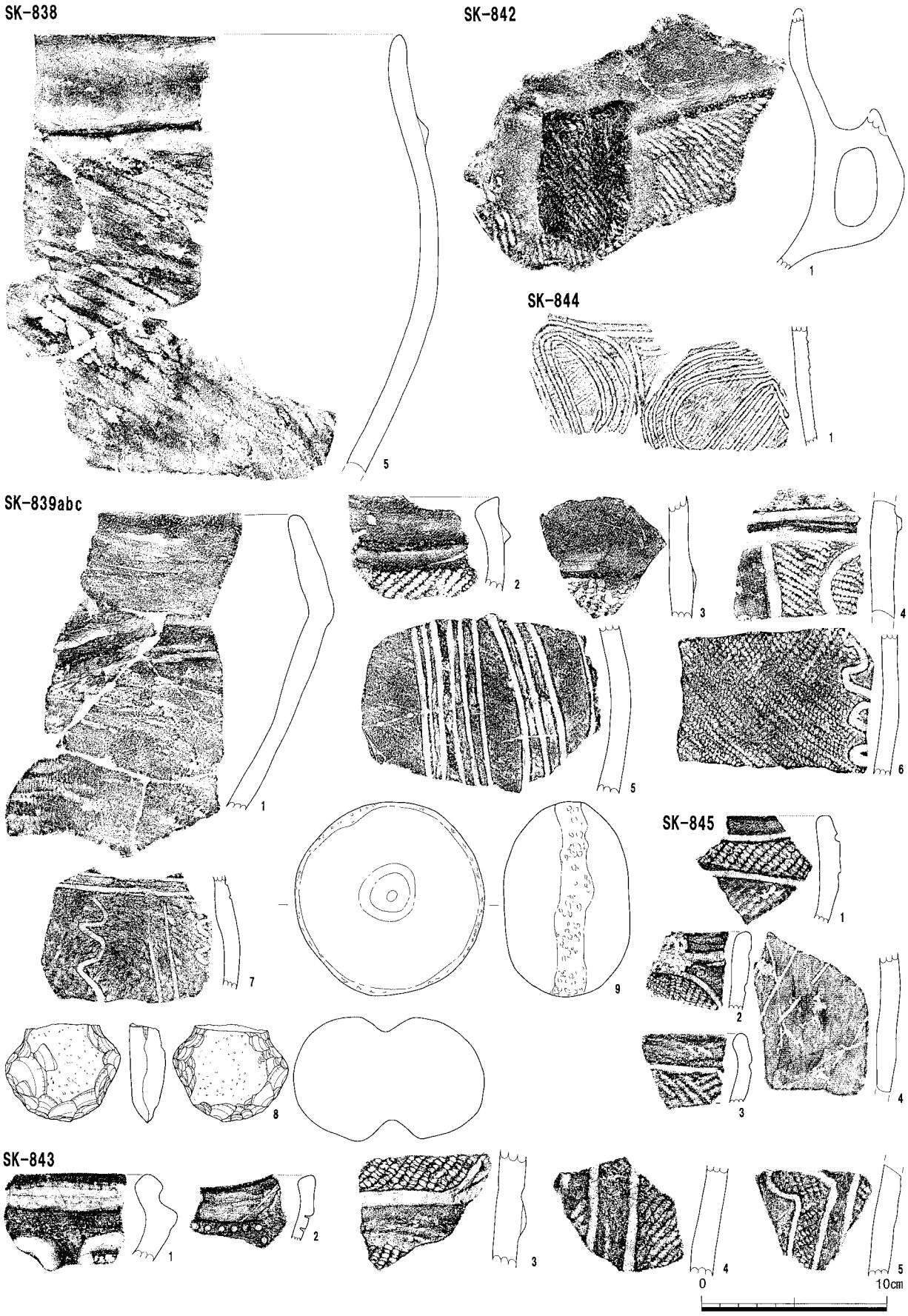
第186図　SK－818～820・821ab・823出土遺物



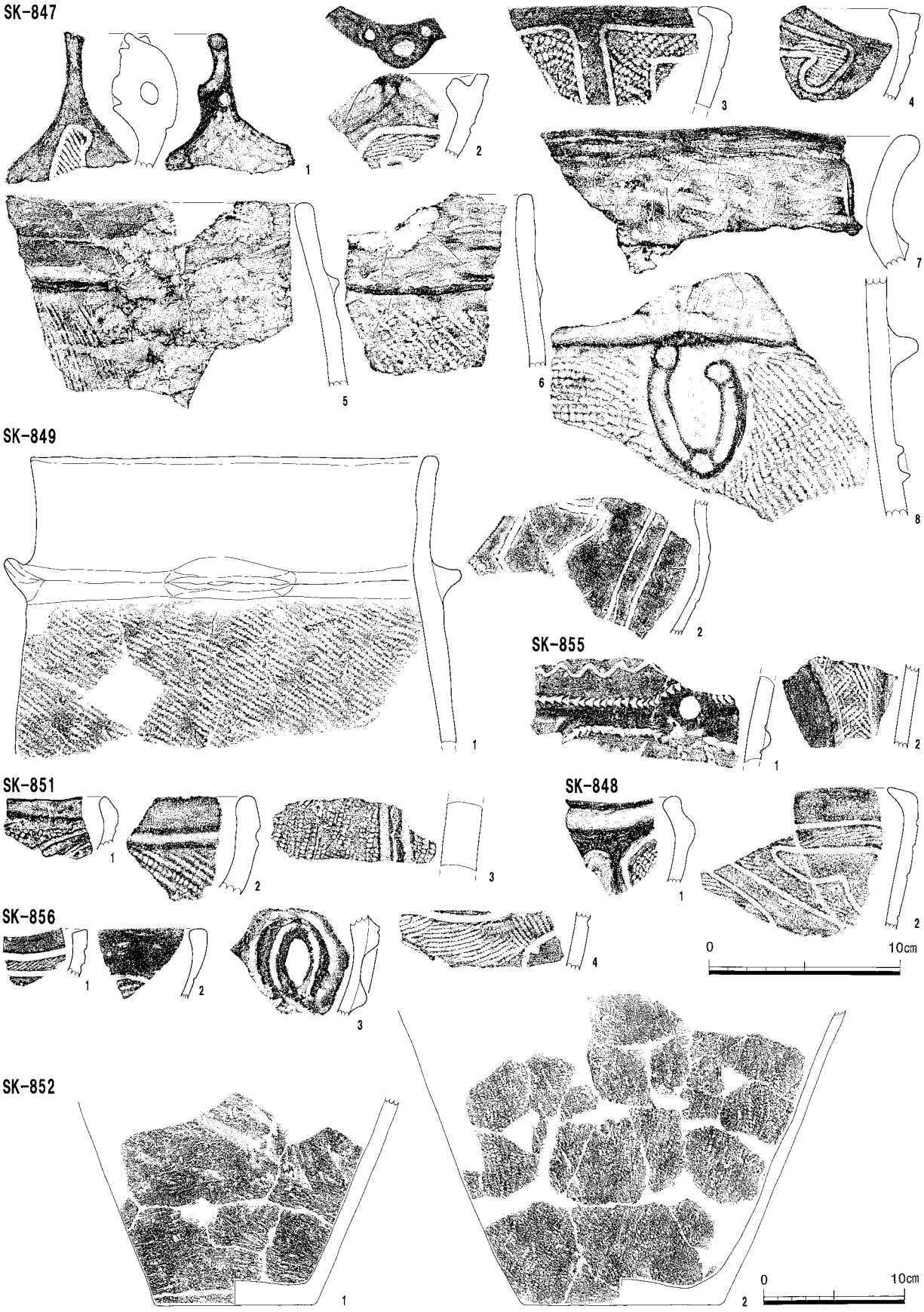
第187図　SK－823・825・829・830出土遺物



第188図　SK－830・832～838出土遺物



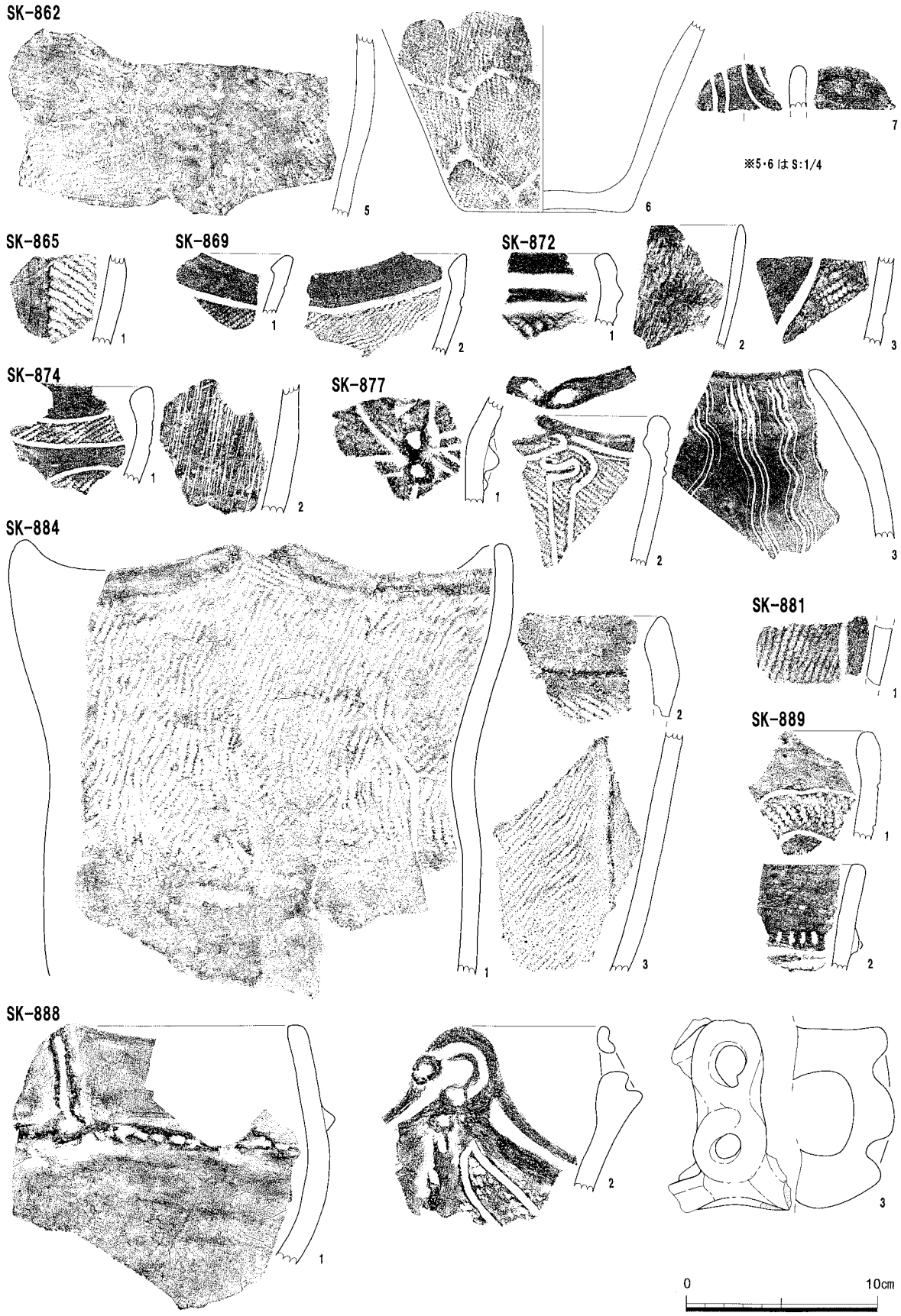
第189図　SK－838・839abc・842～845出土遺物



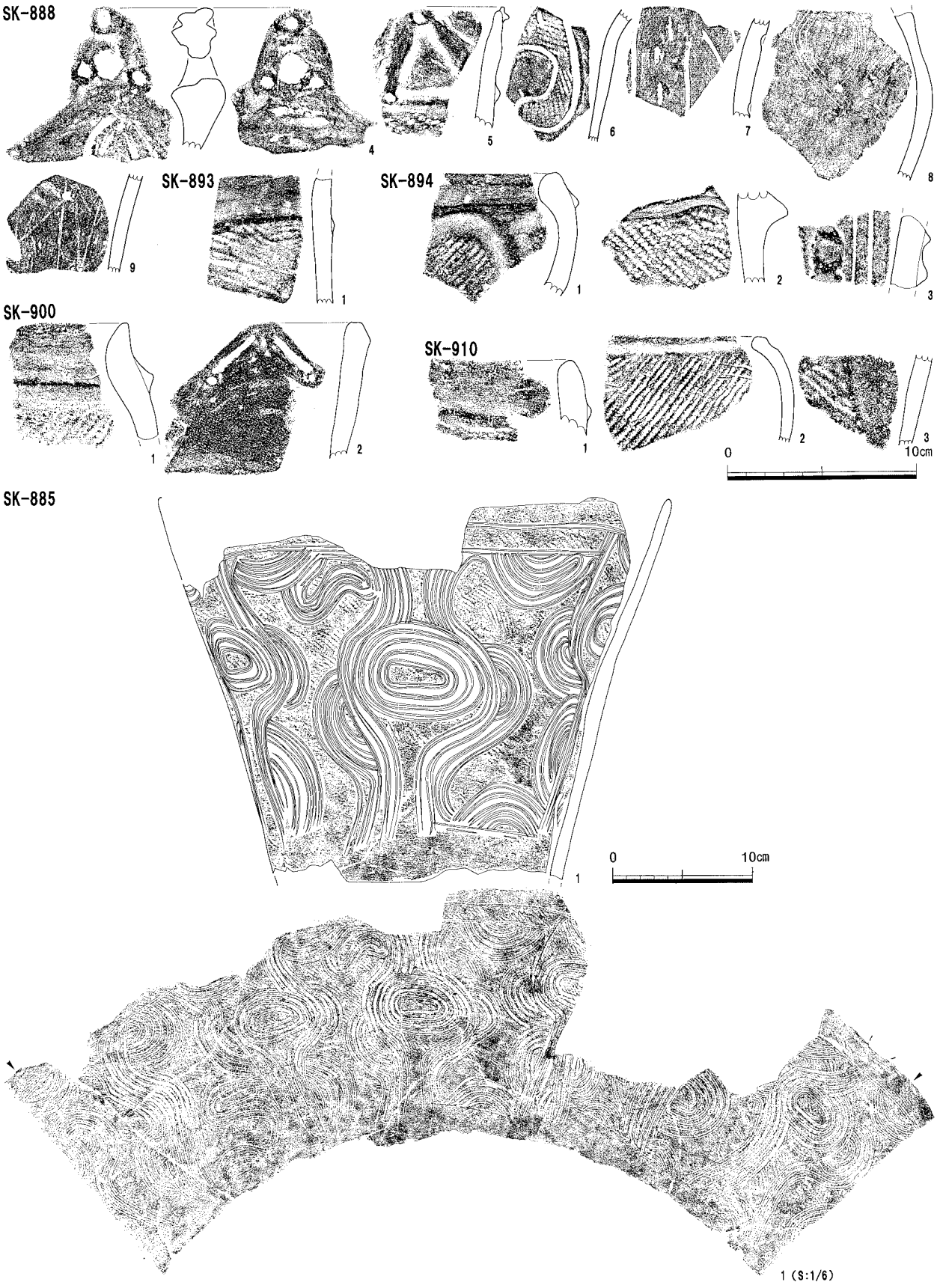
第190図　SK－847～849・851・852・855・856出土遺物



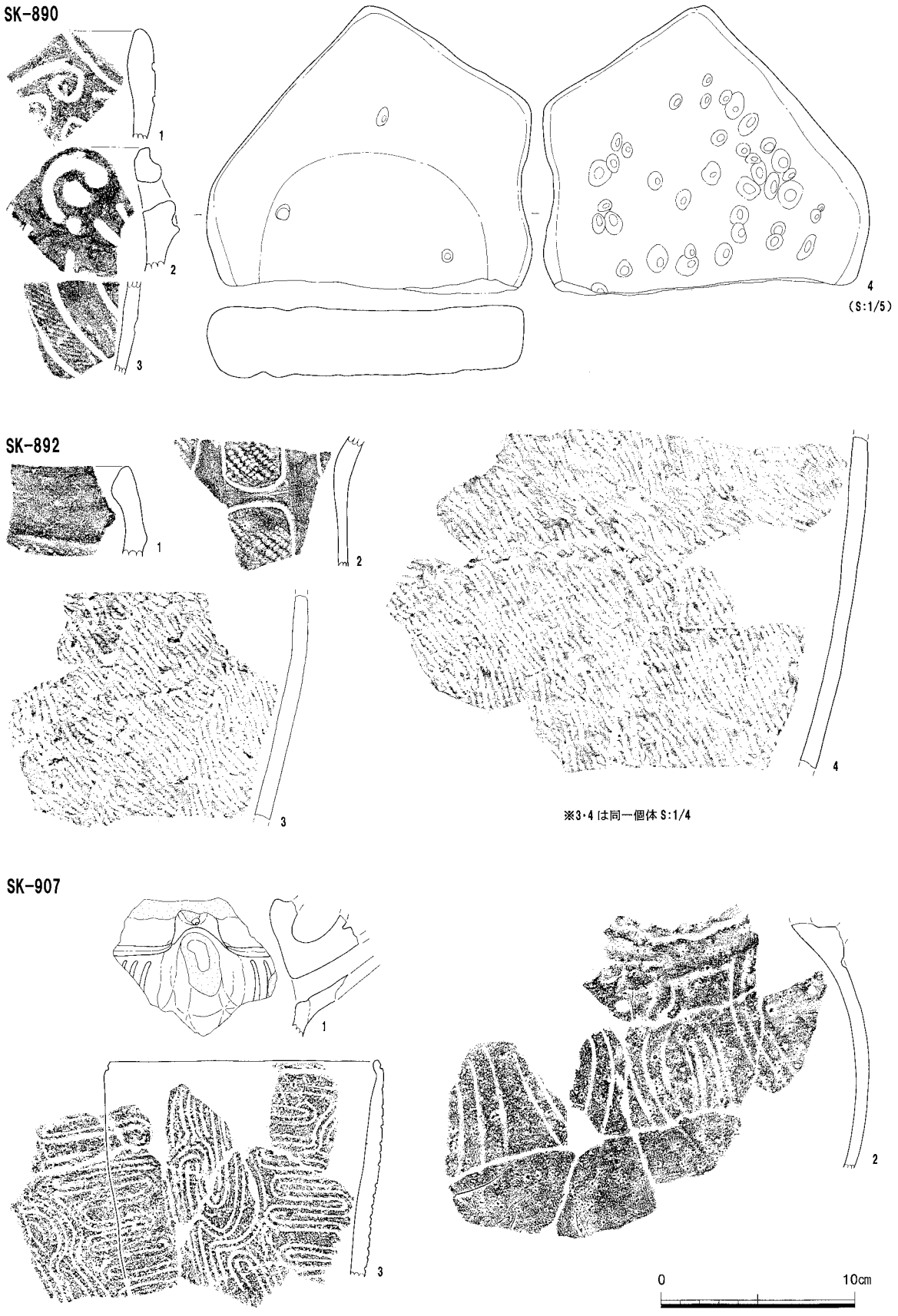
第191図　SK－853・858・860ab・862出土遺物



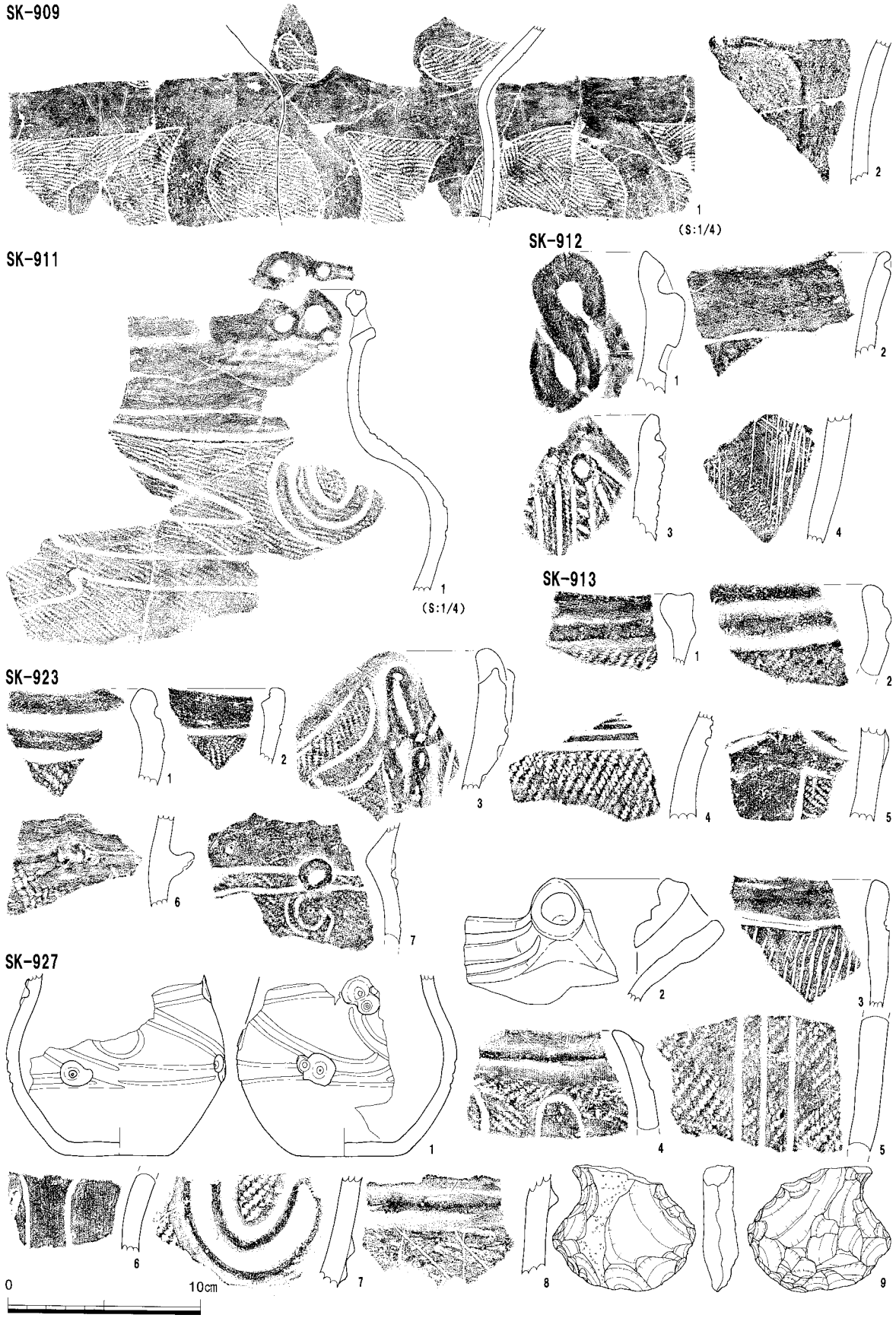
第192図　SK－862・865・869・872・874・877・881・884・888・889出土遺物



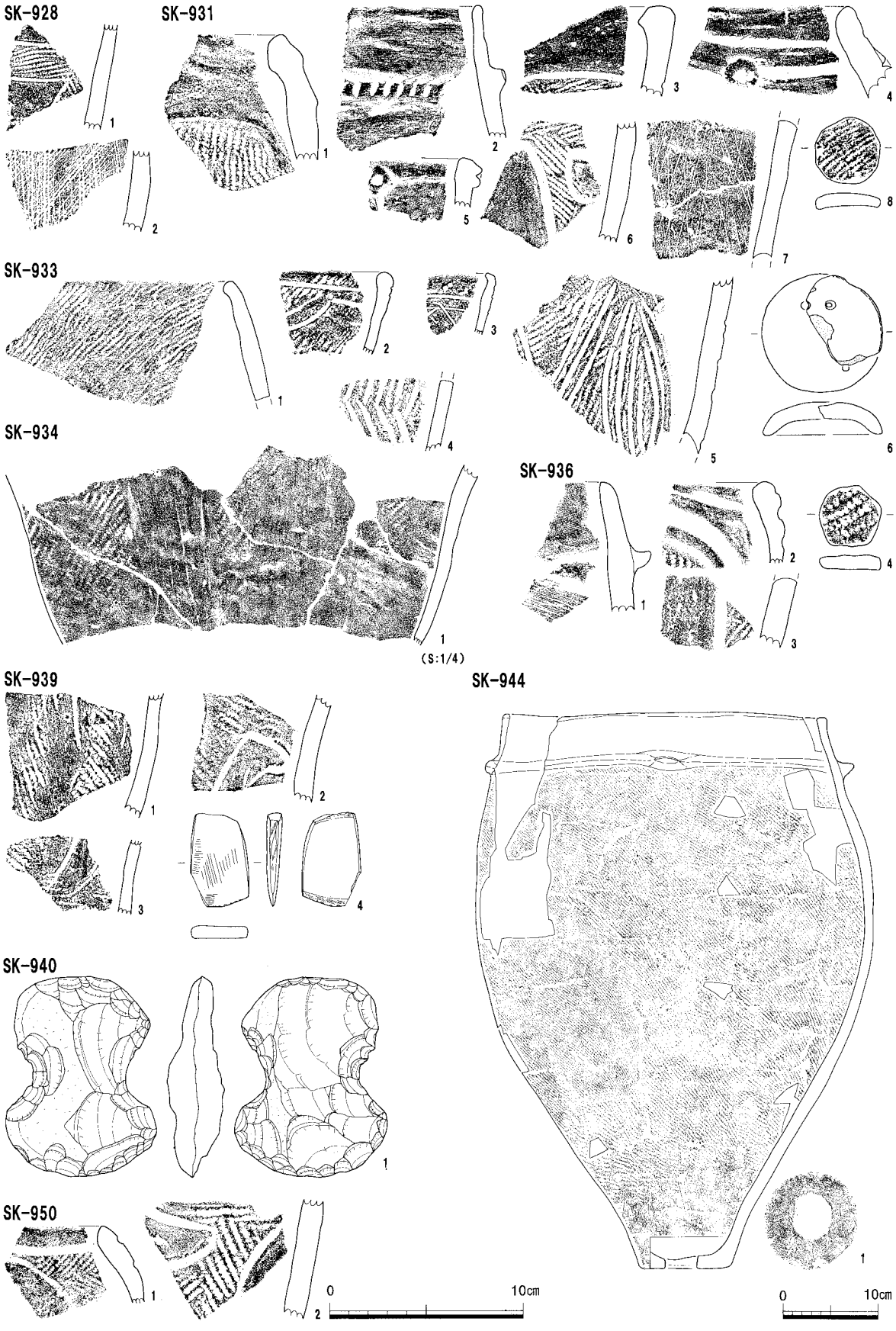
第193図　SK－885・888・893・894・900・910出土遺物



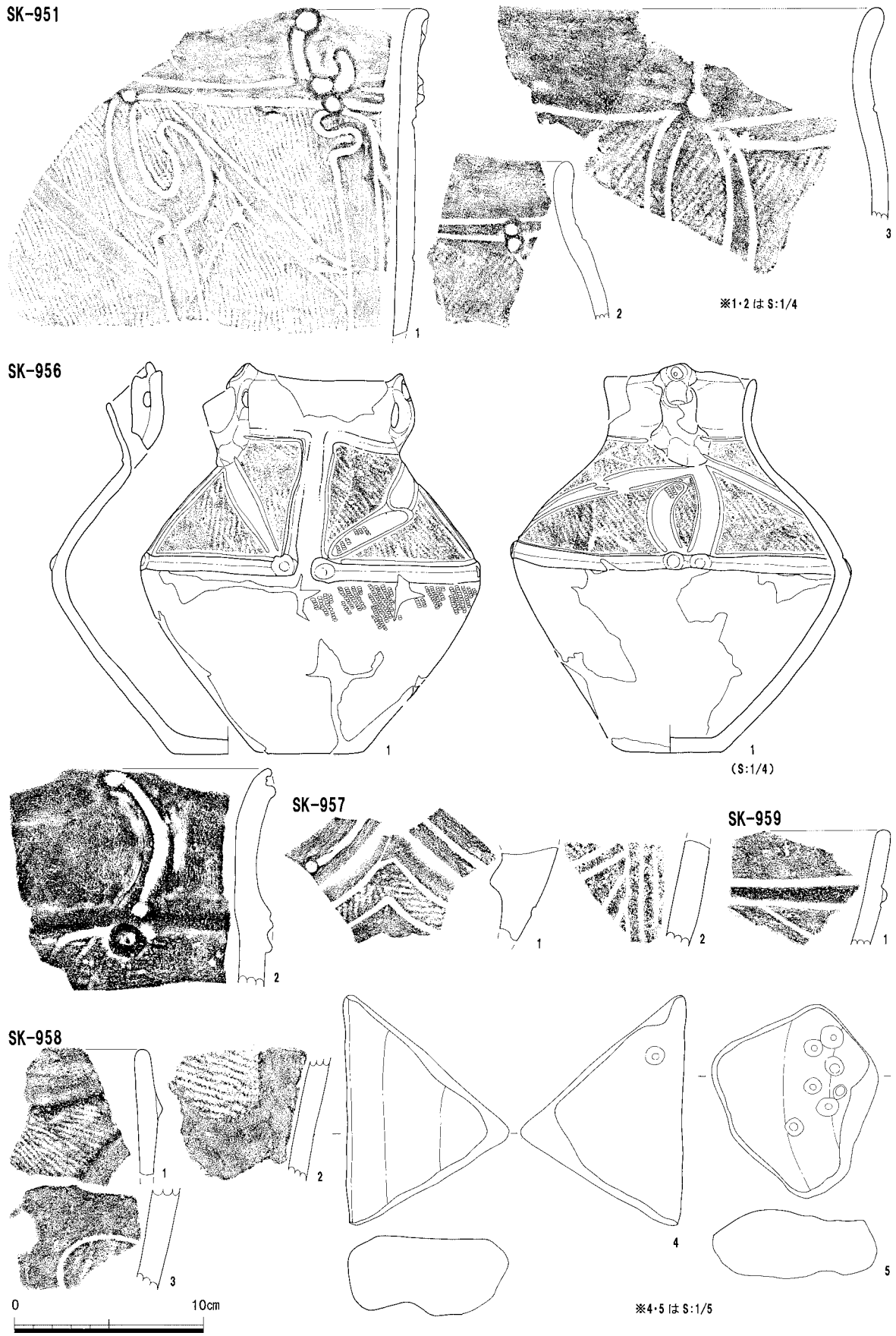
第194図　SK－890・892・907出土遺物



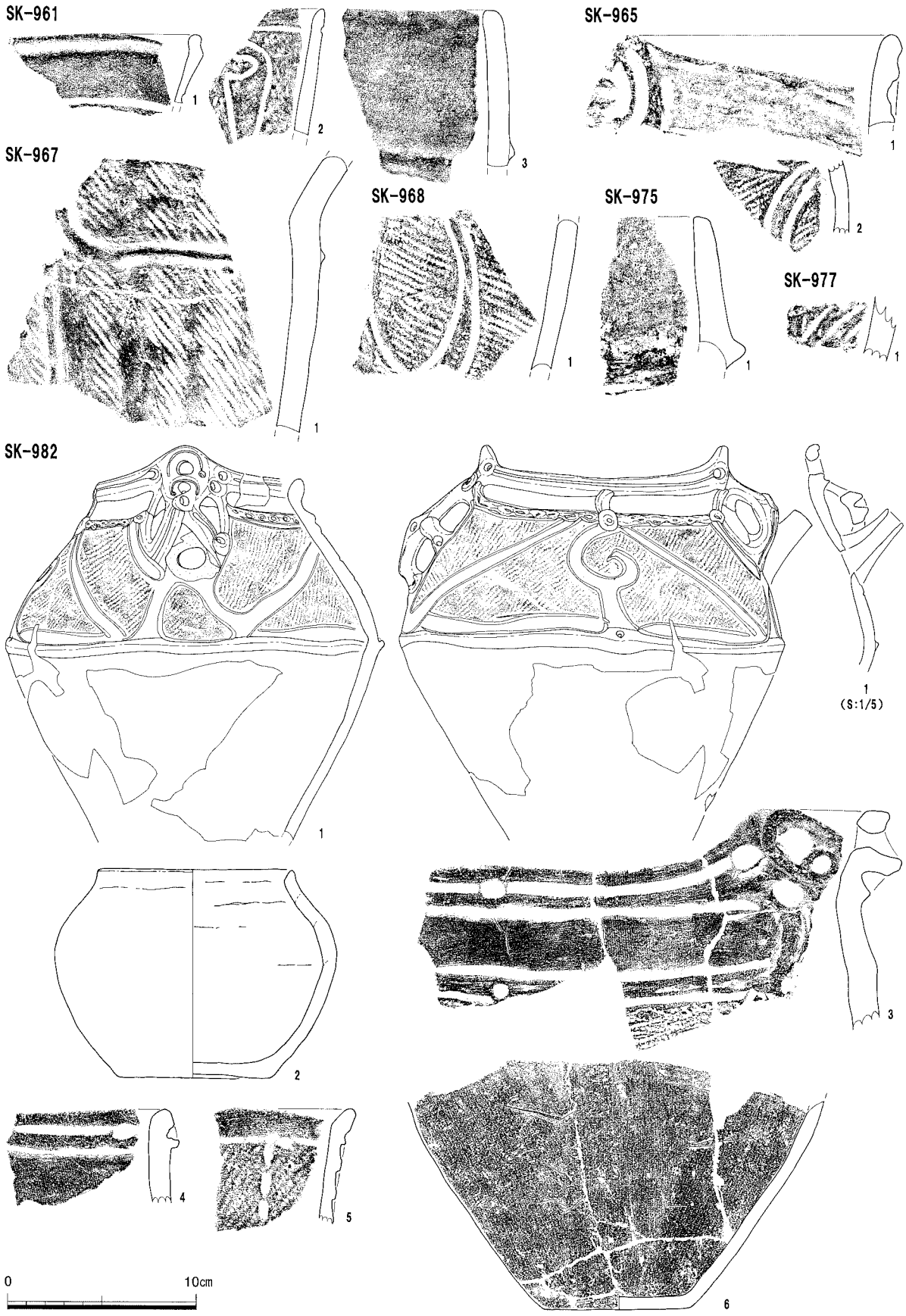
第195図　SK－909・911～913・923・927出土遺物



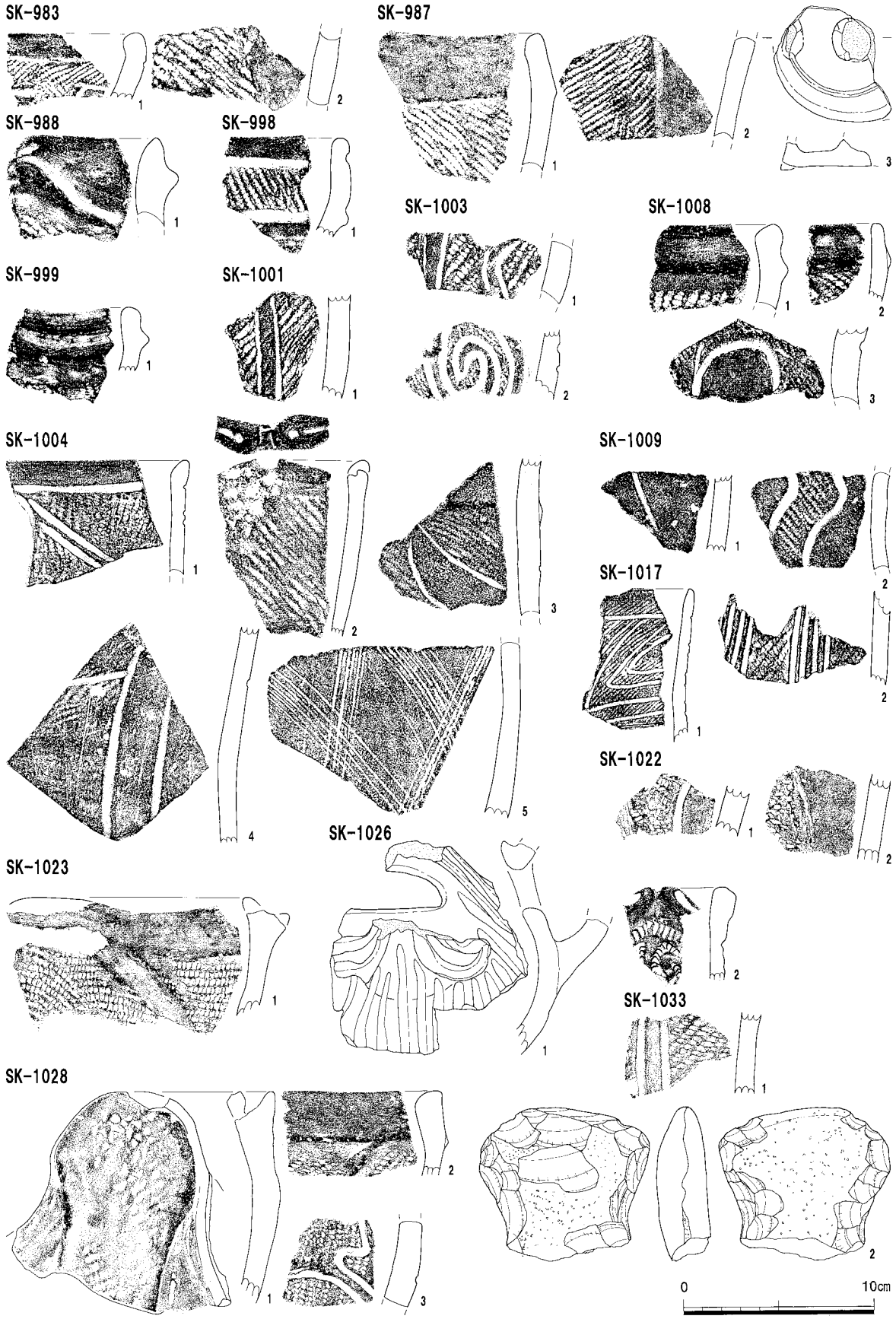
第196図　SK－928・931・933・934・936・939・940・944・950出土遺物



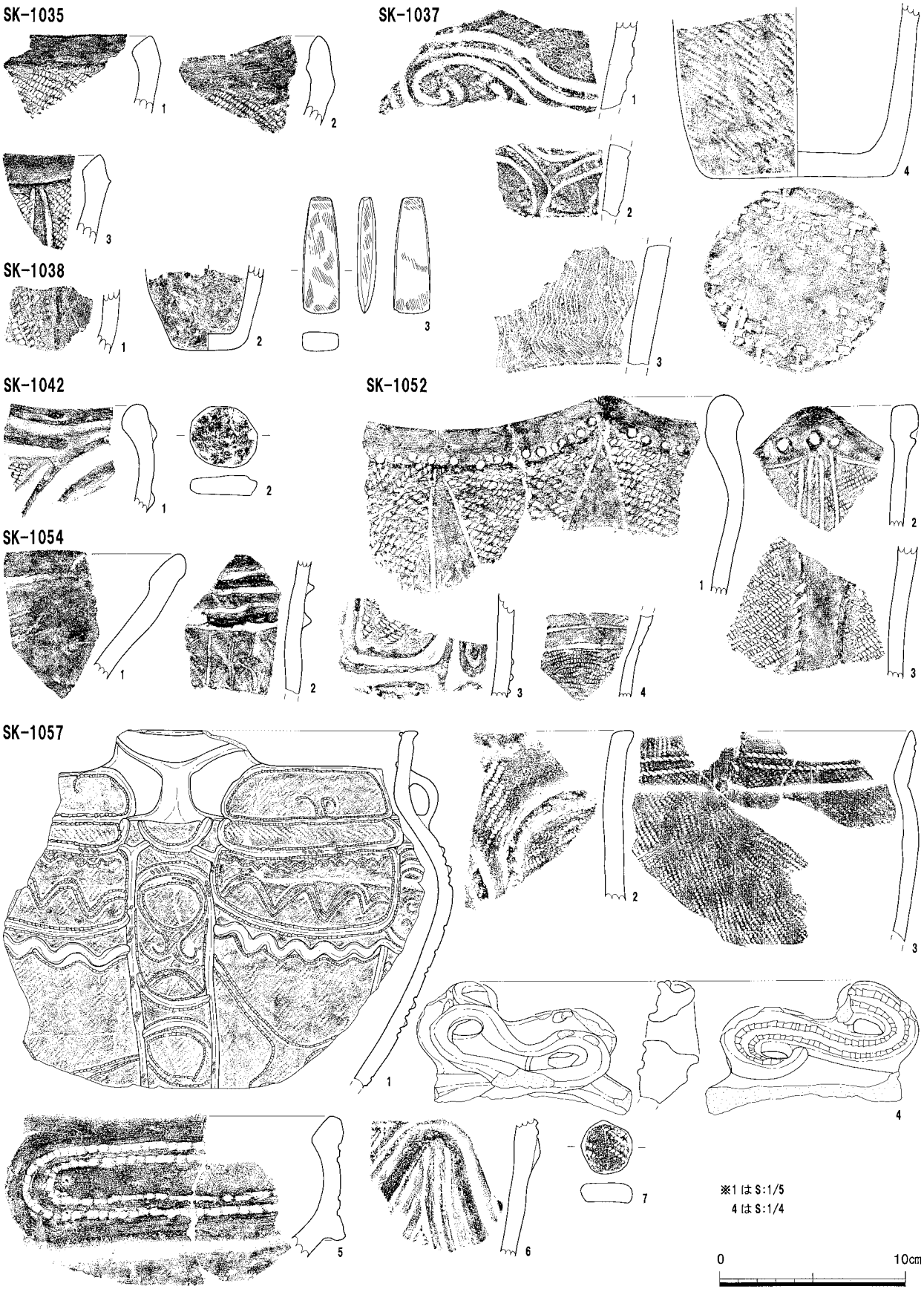
第197図　SK－951・956～959出土遺物



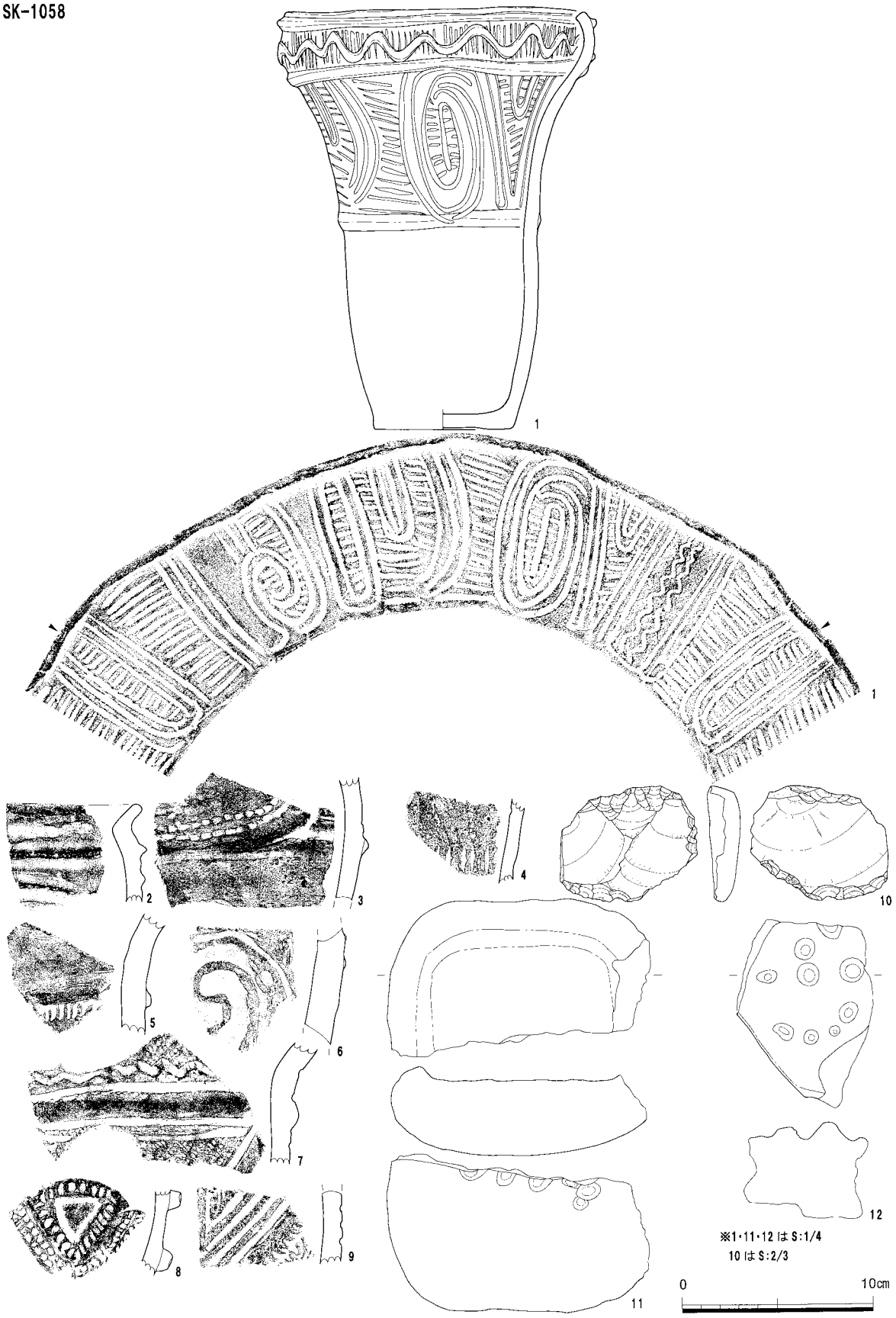
第198図　SK－961・965・967・968・975・977・982出土遺物



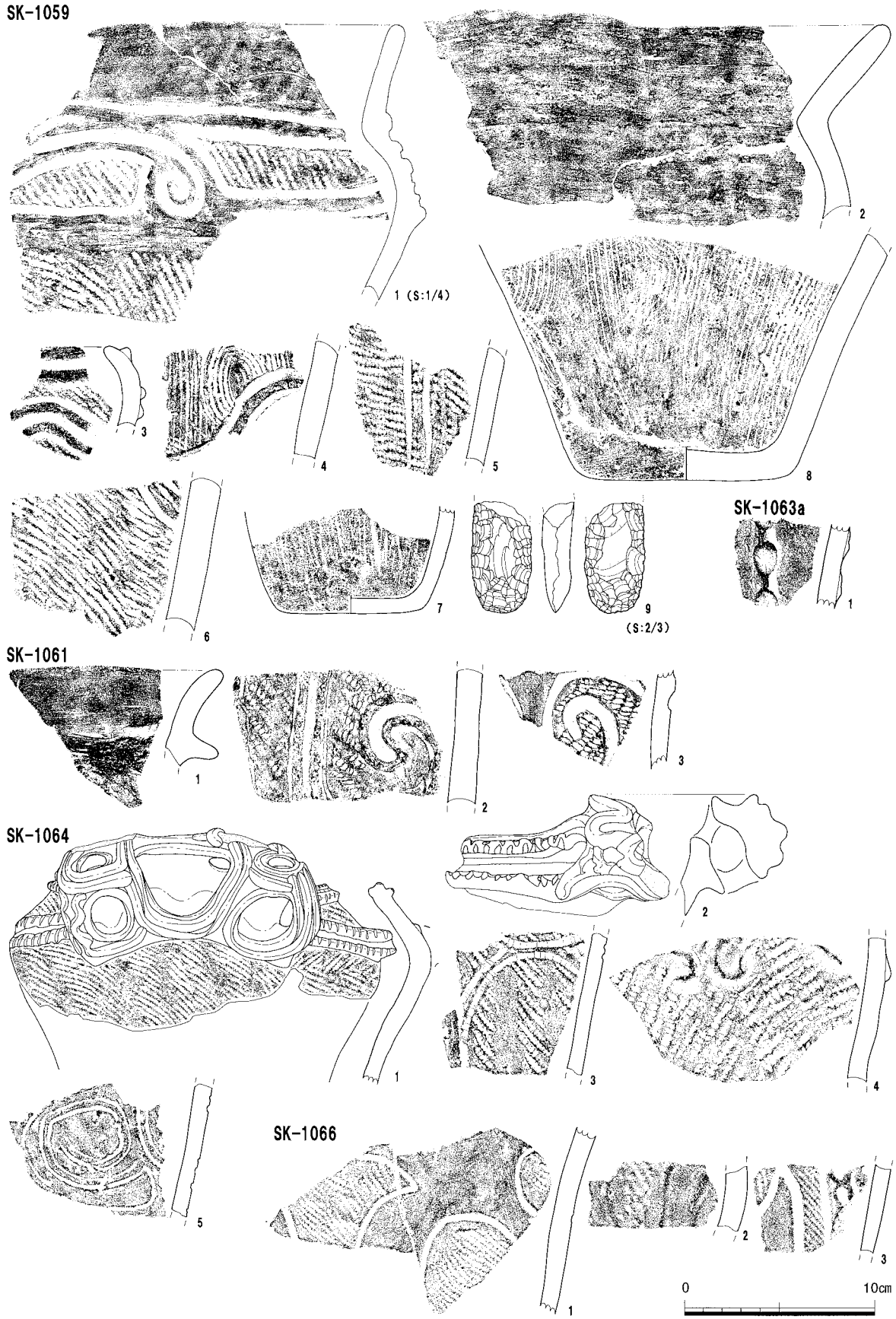
第199図　SK－983・987・988・998・999・1001・1003・1004・1008・1009・1017・1022・1023・1026・1028・1033出土遺物



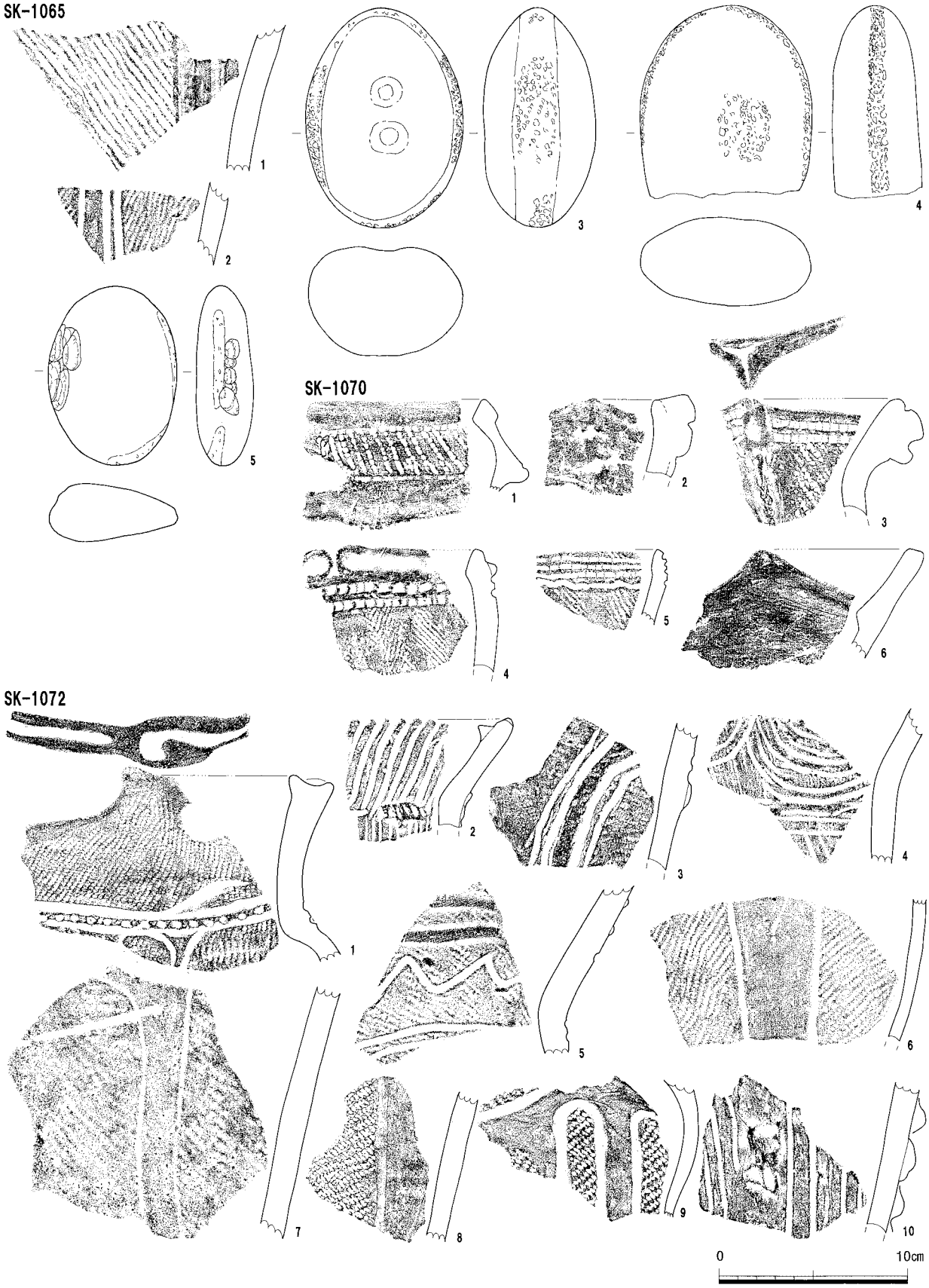
第200図　SK－1035・1037・1038・1042・1052・1054・1057出土遺物



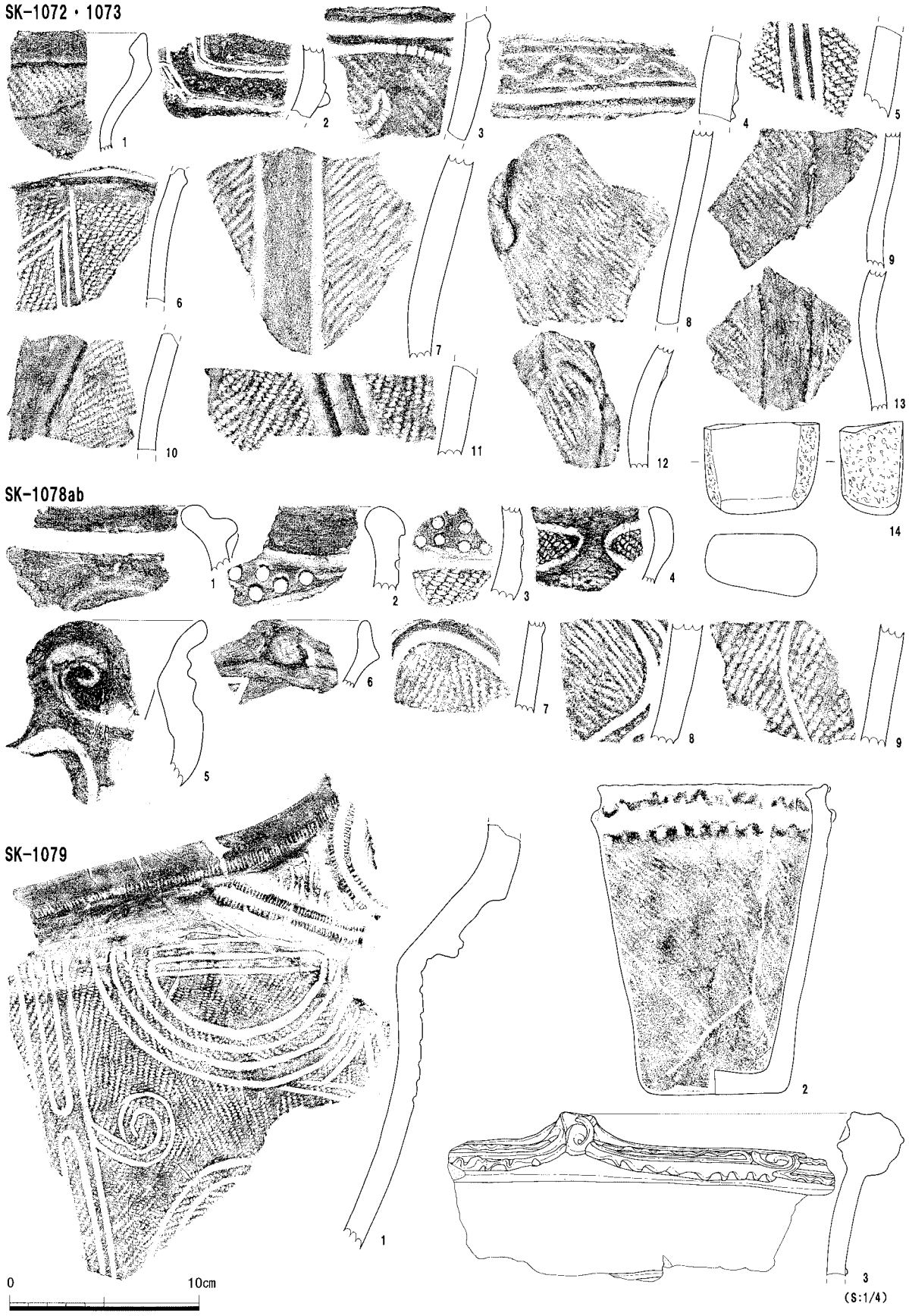
第201図　SK－1058出土遺物



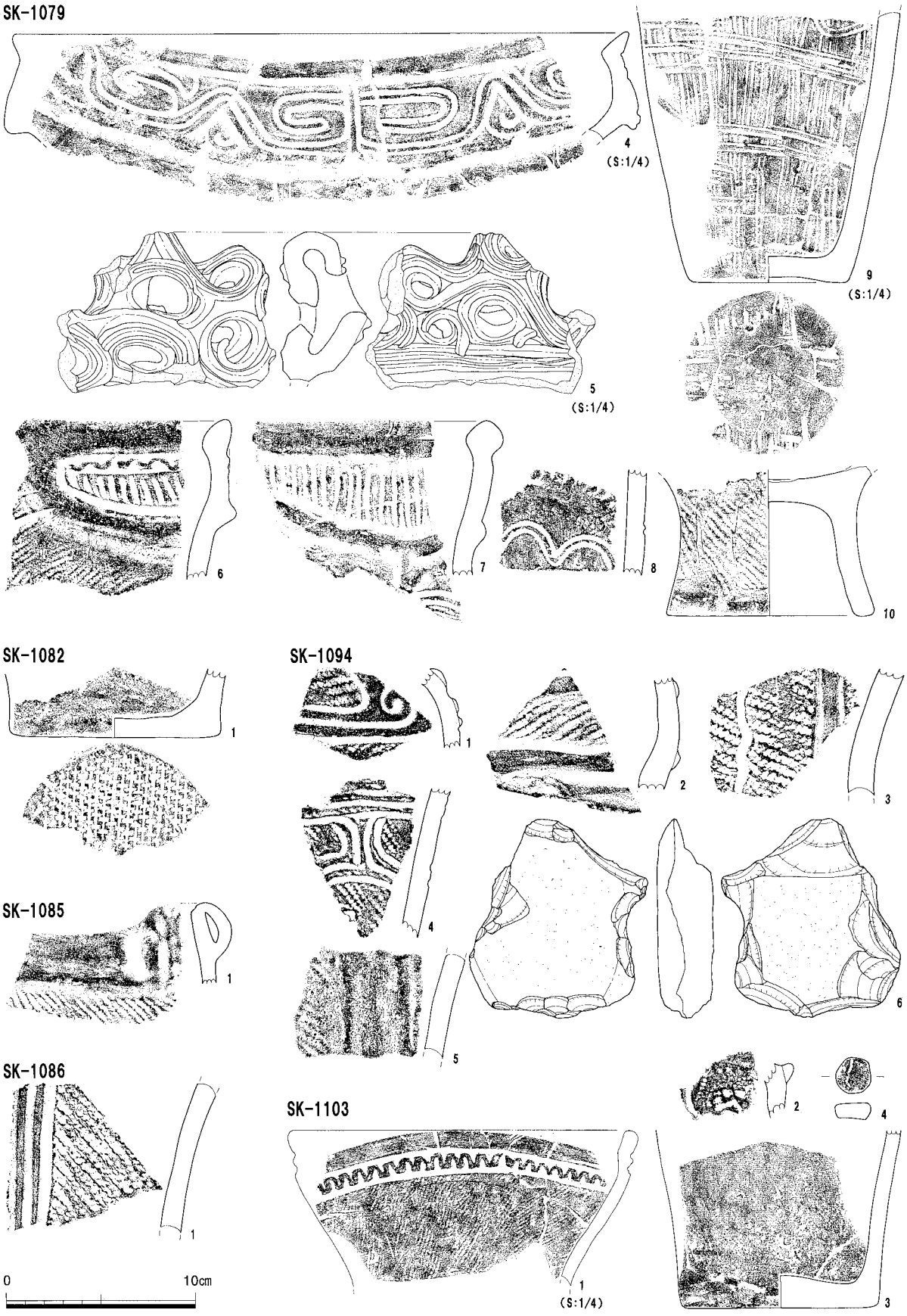
第202図　SK－1059・1061・1063a・1064・1066出土遺物



第203図　SK－1065・1070・1072出土遺物



第204図　SK－1072・1073・1078ab・1079出土遺物

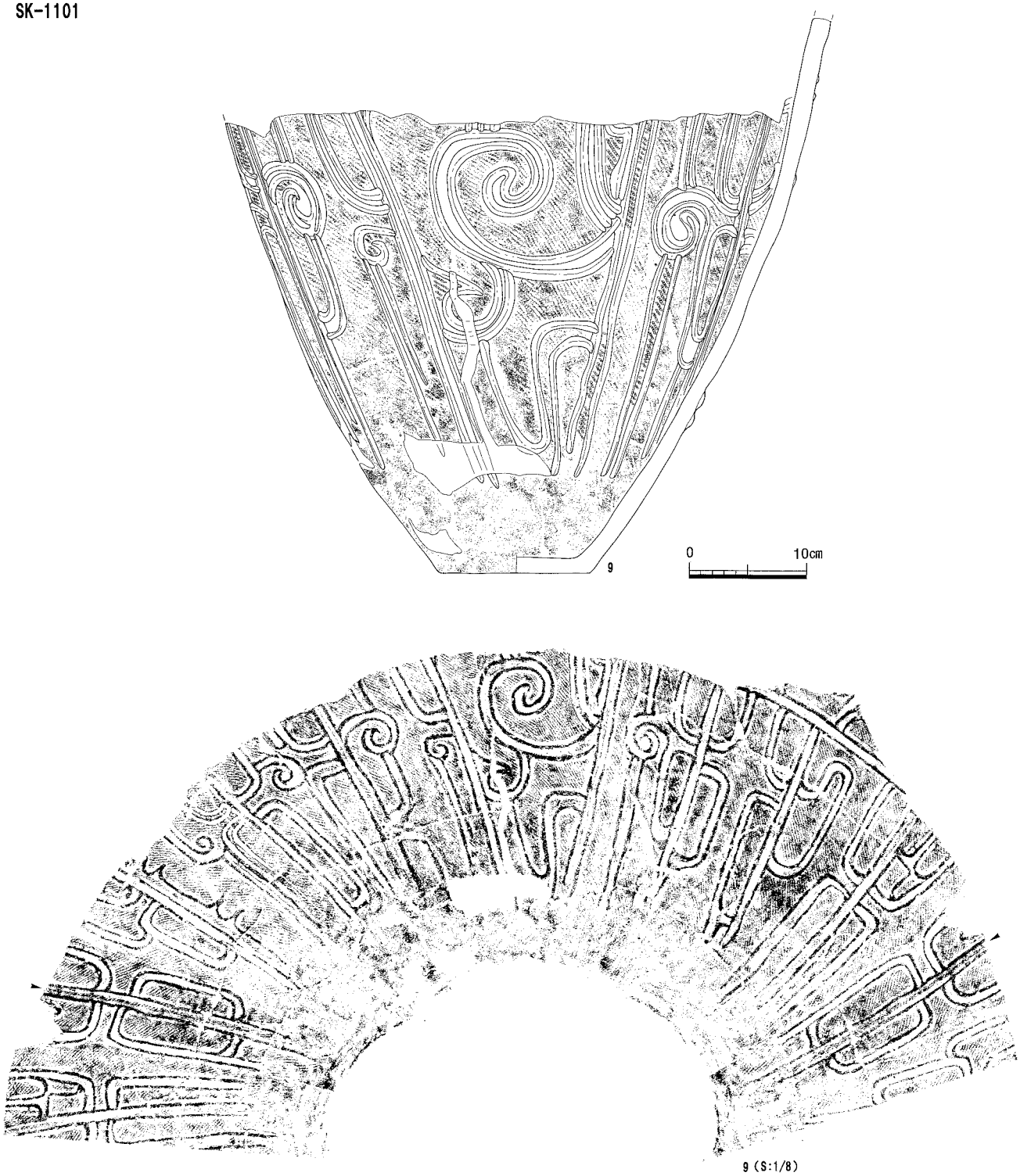


第205図　SK－1079・1082・1085・1086・1094・1103出土遺物

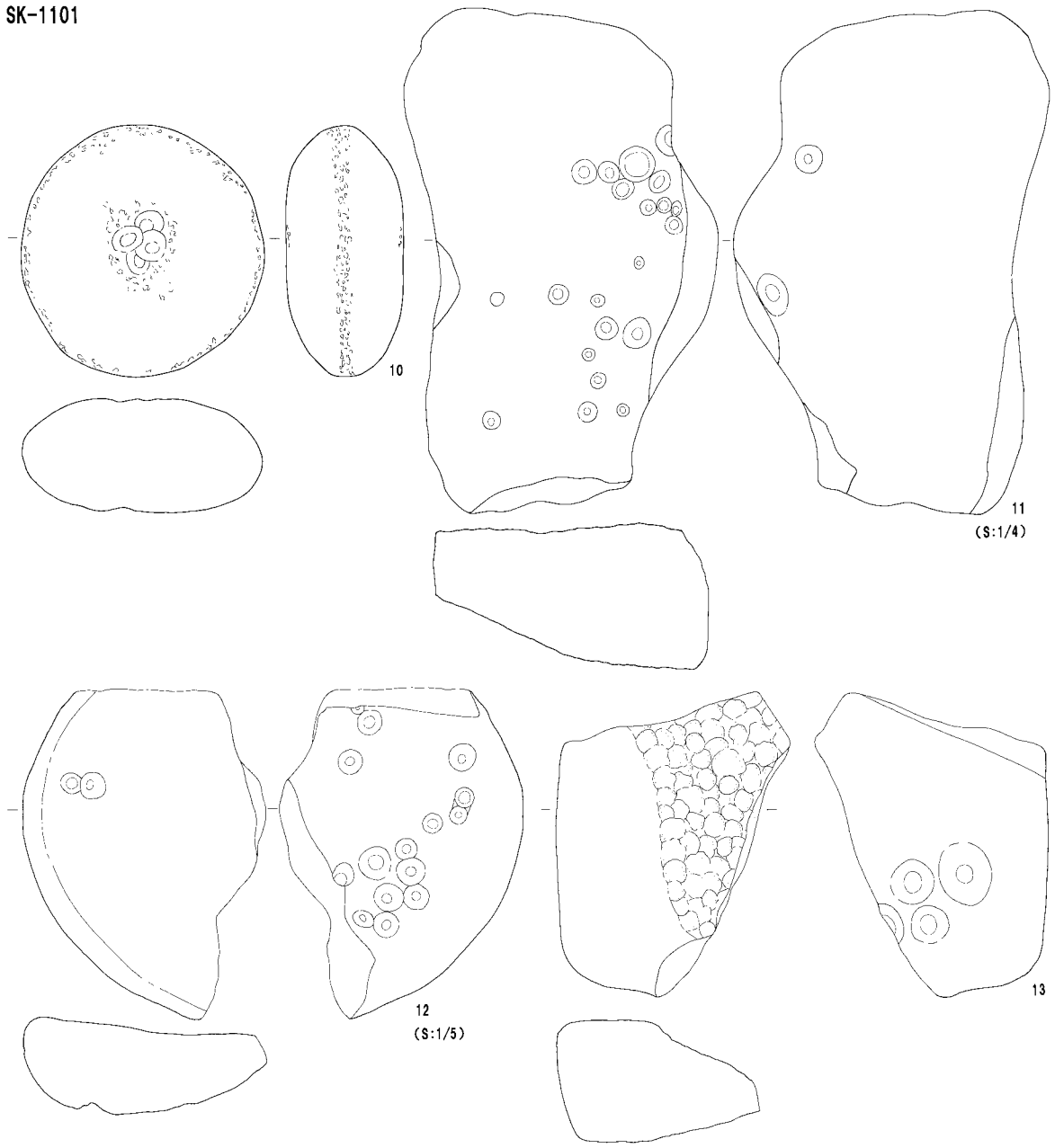


第206図　SK－1101出土遺物

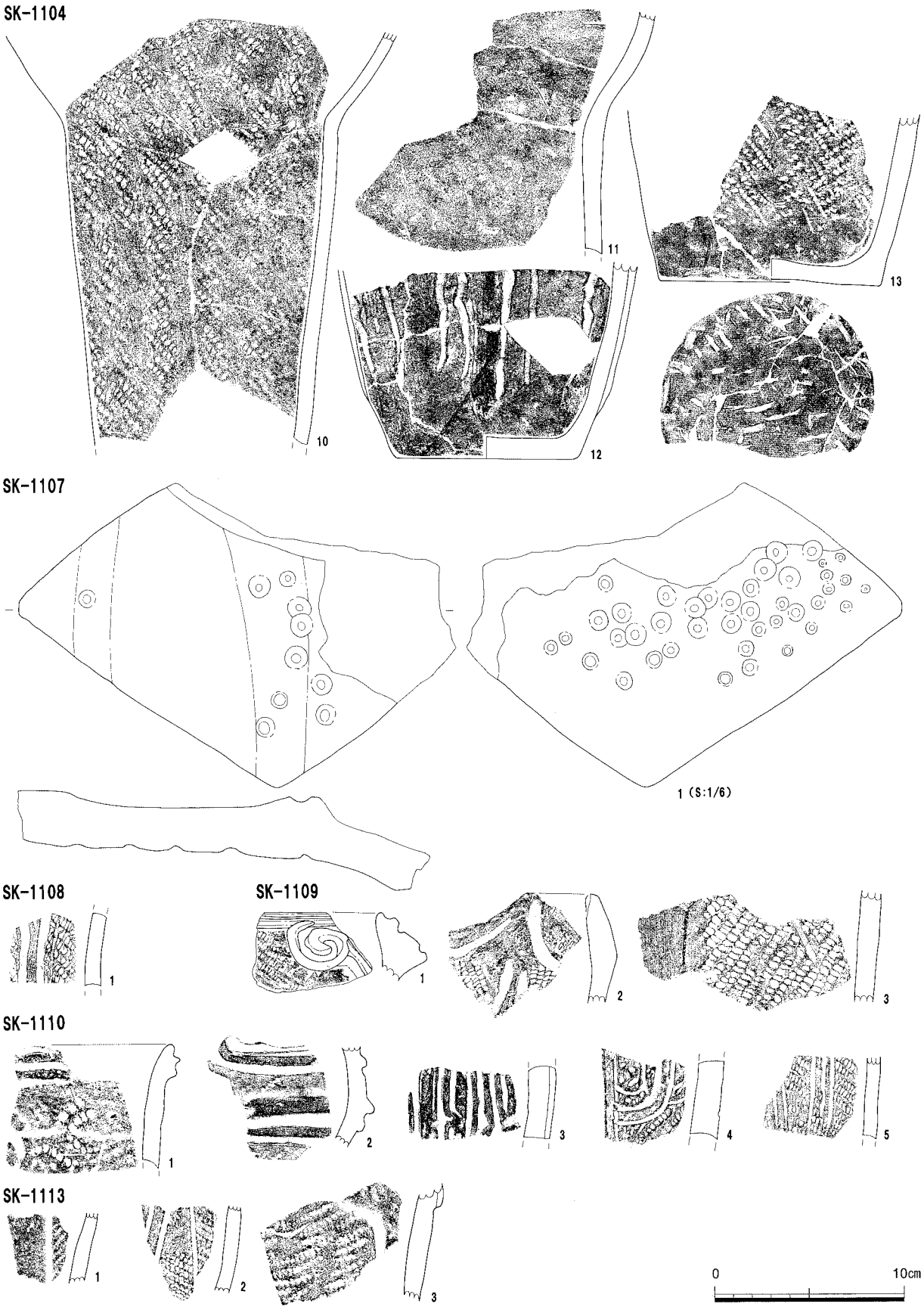
SK-1101



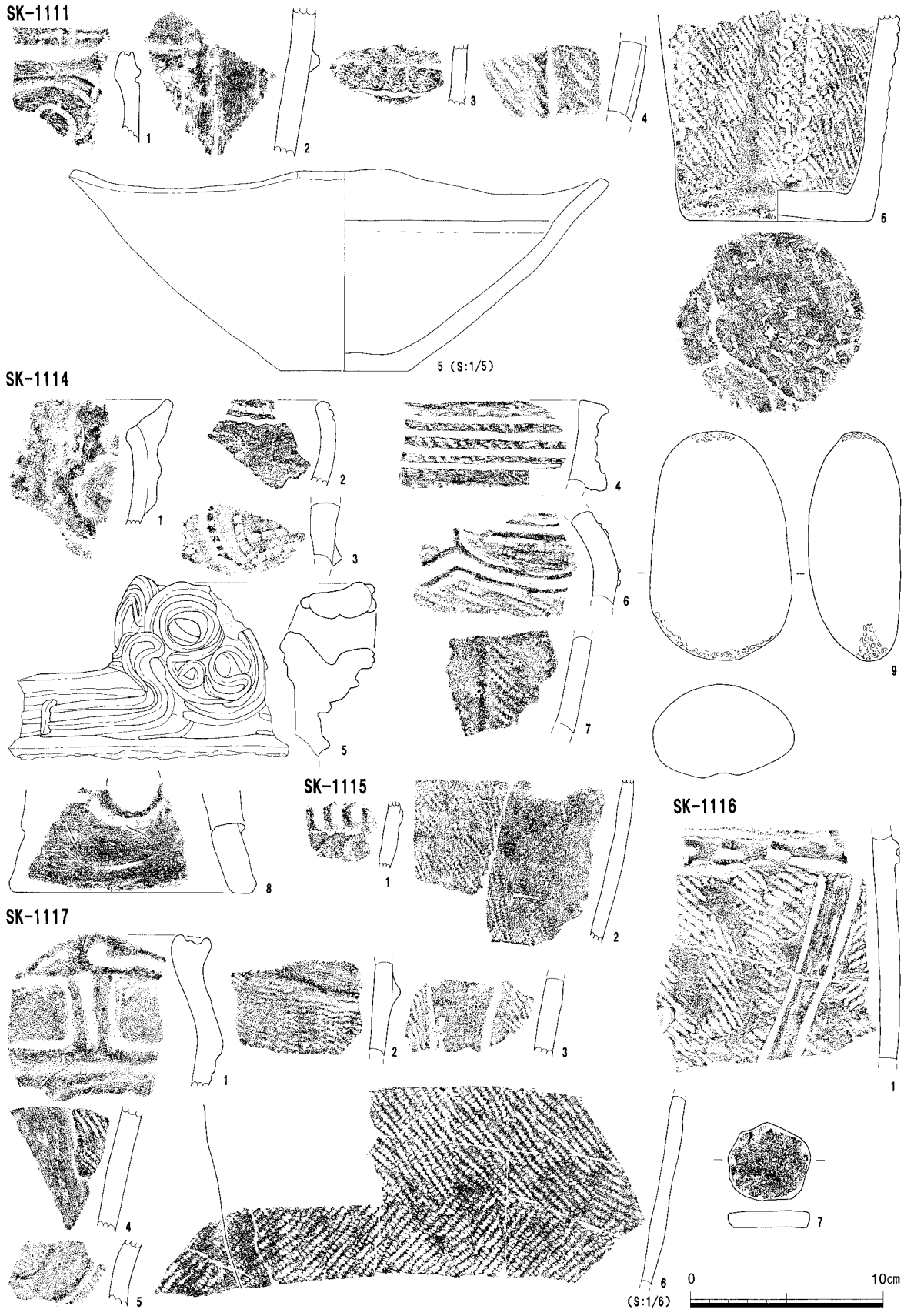
第207図　SK－1101出土遺物



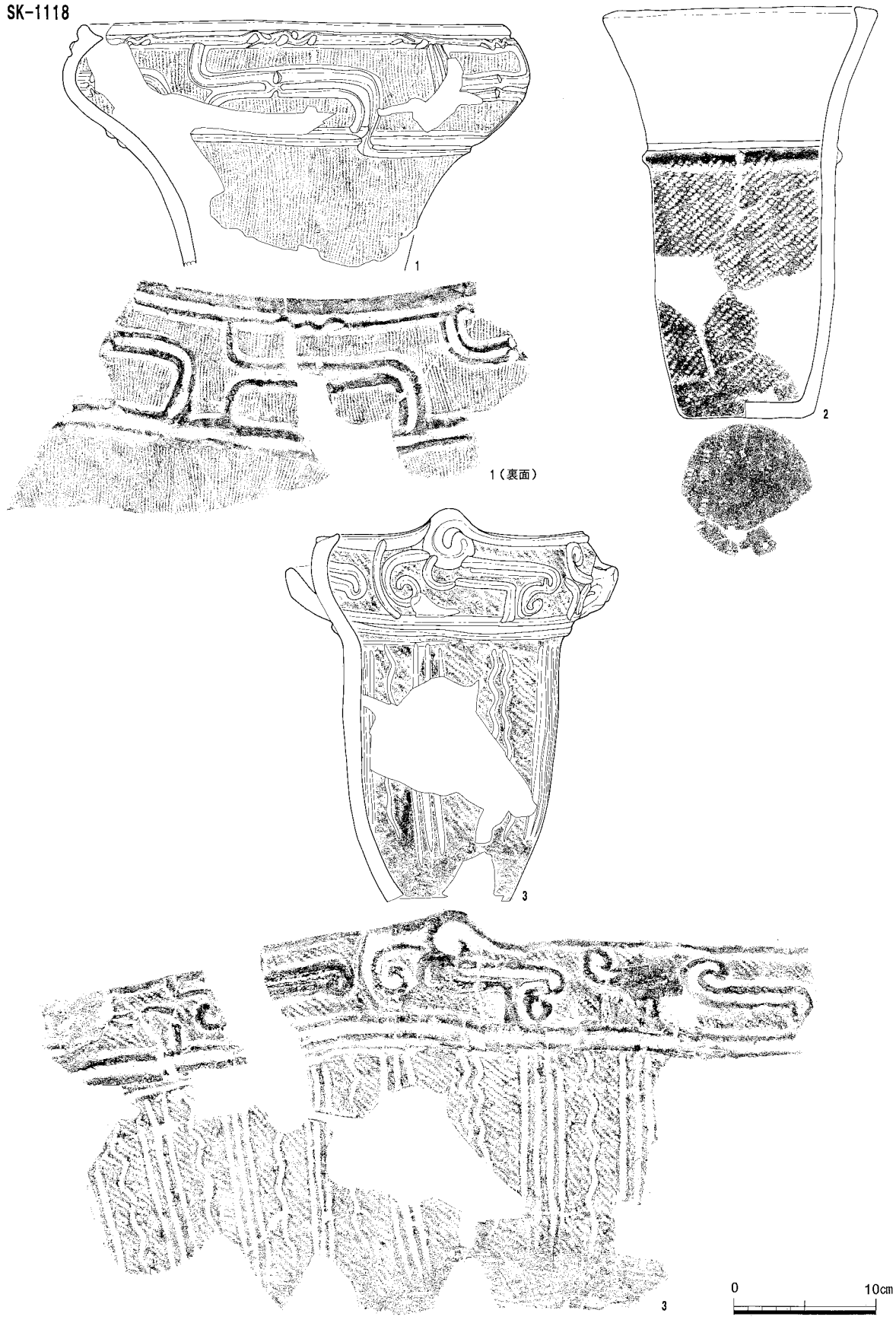
第208図　SK－1101・1104出土遺物



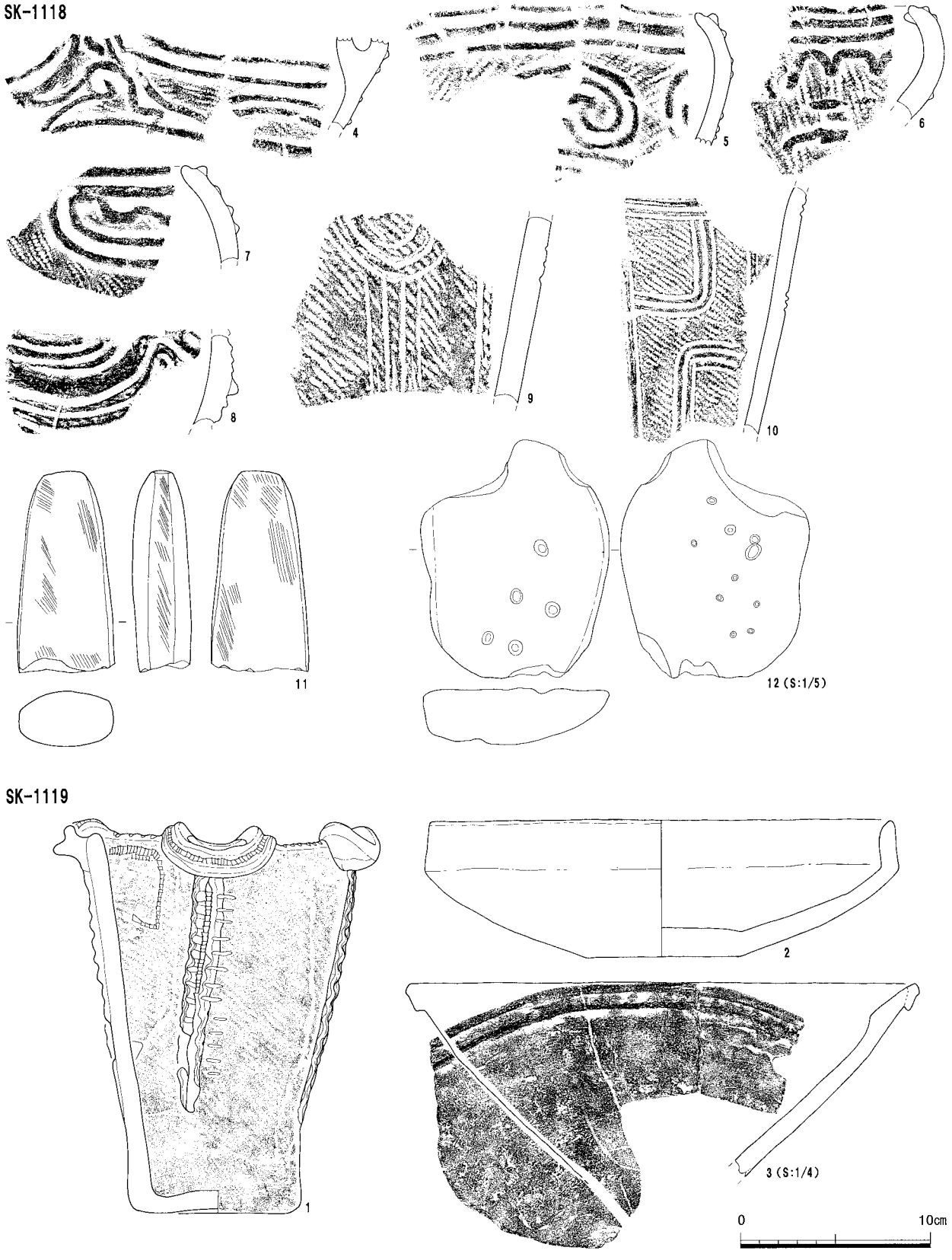
第209図　SK－1104・1107～1110・1113出土遺物



第210図　SK－1111・1114～1117出土遺物



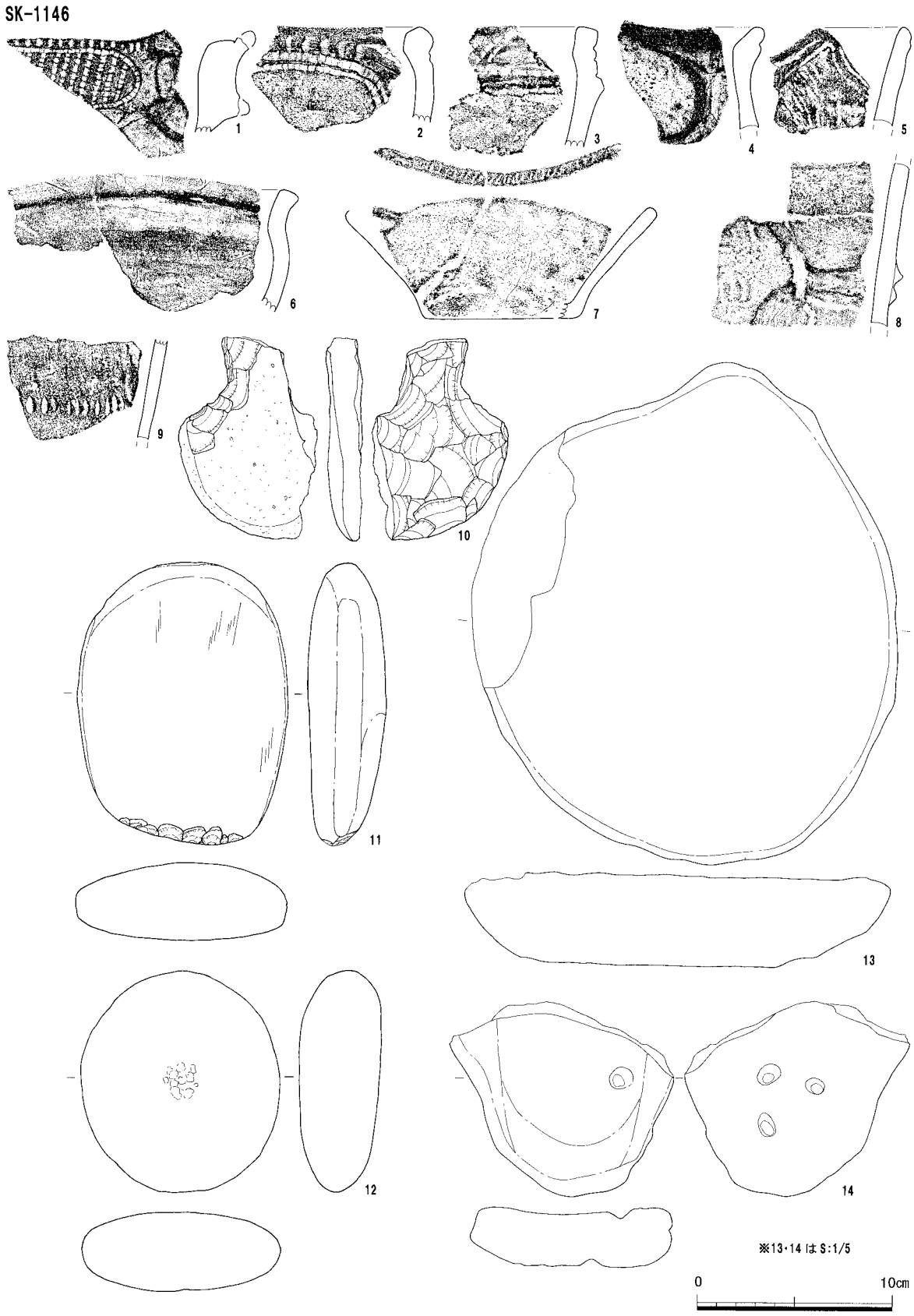
第211図　SK－1118出土遺物



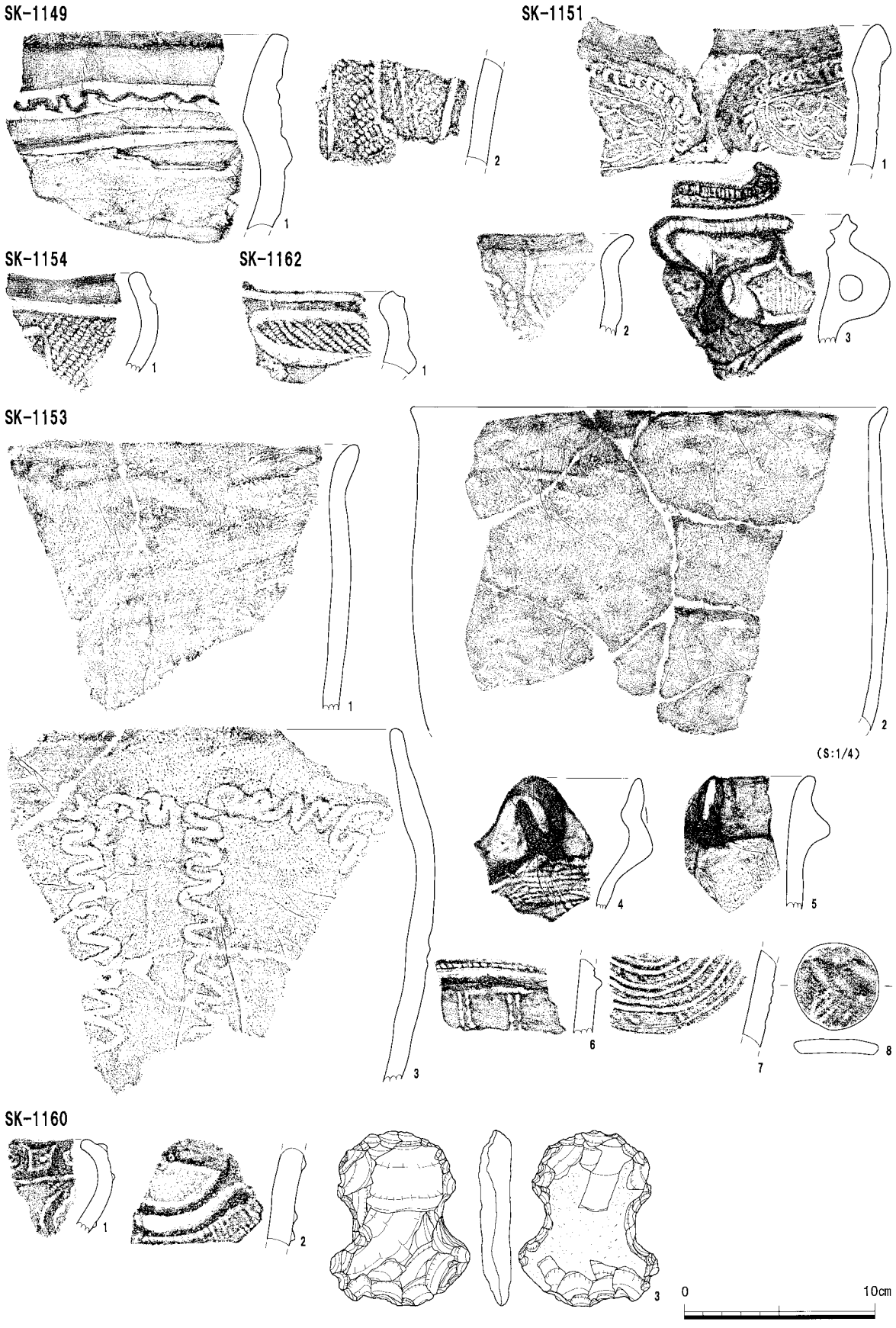
第212図　SK－1118・1119出土遺物



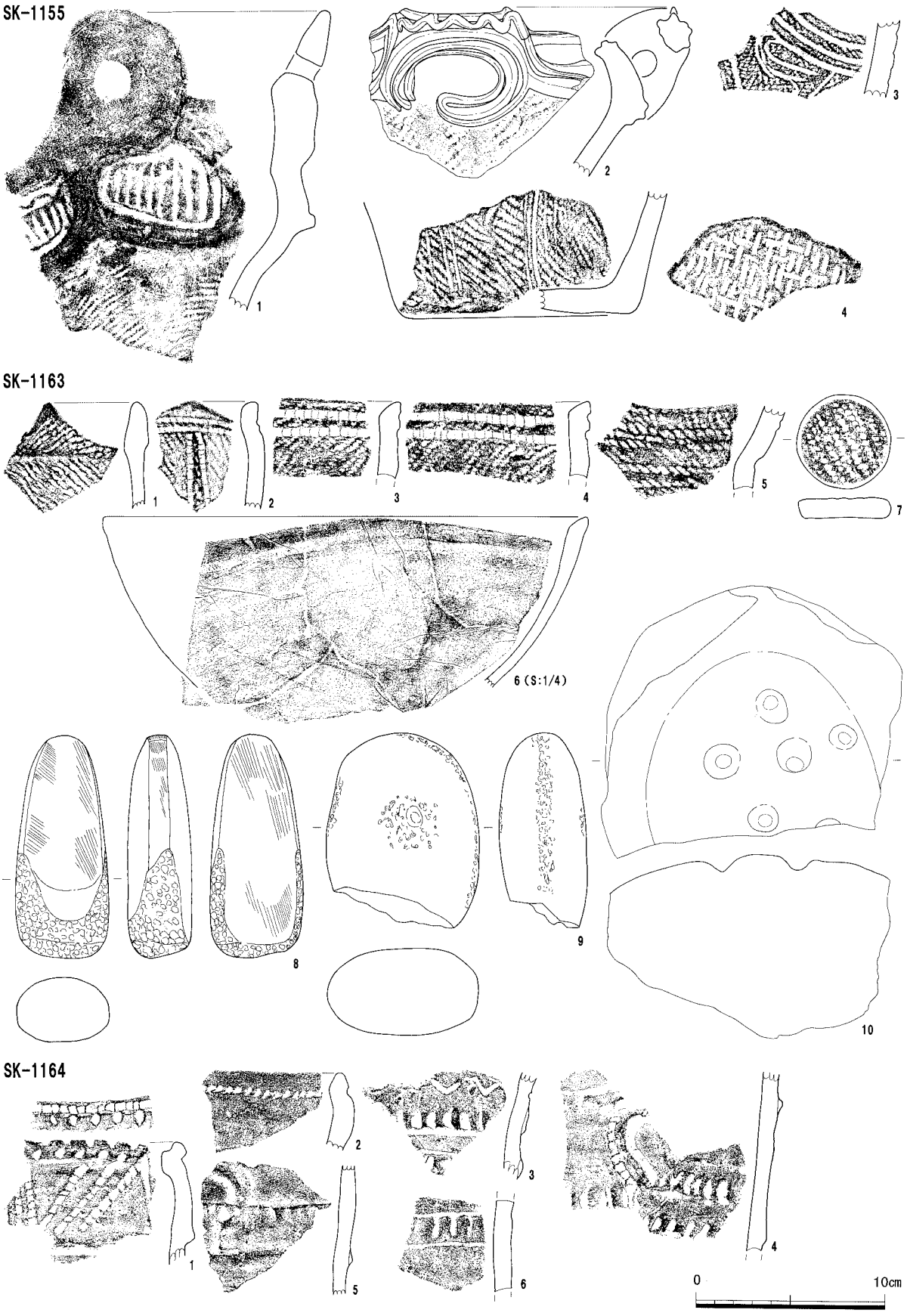
第213図　SK－1119・1130・1132・1136・1139・1141～1144・1147出土遺物



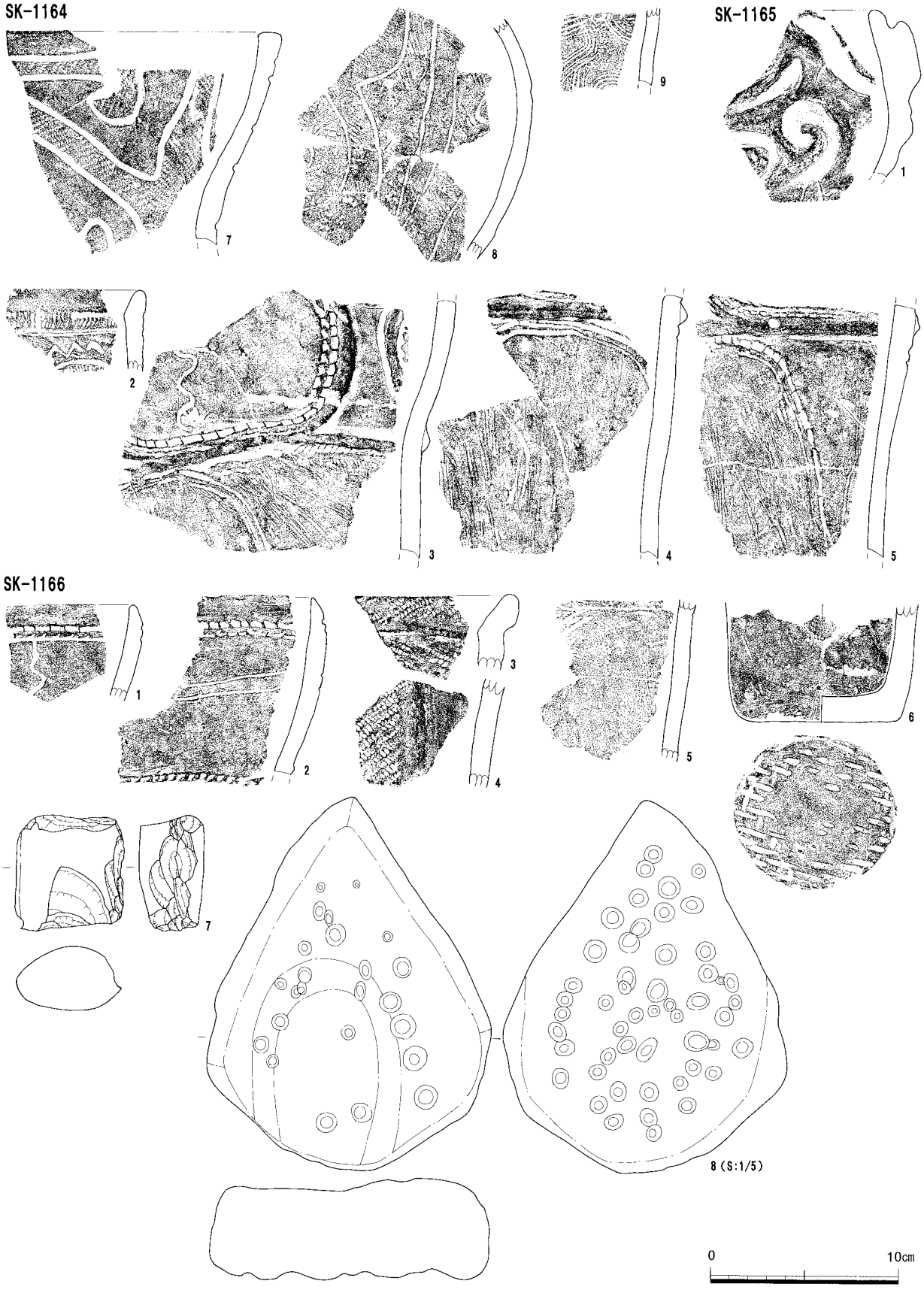
第214図　SK－1146出土遺物



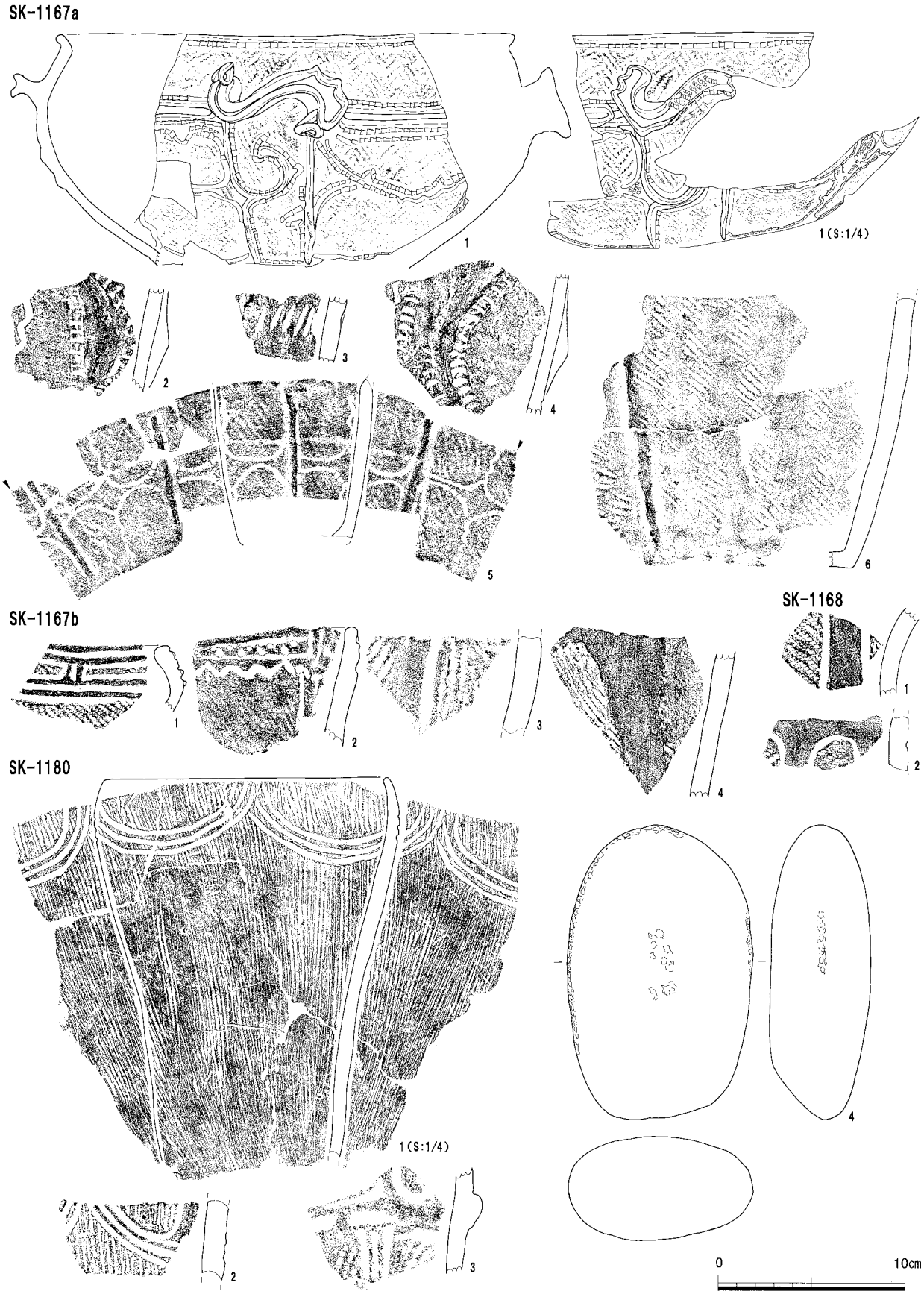
第215図　SK－1149・1151・1153・1154・1160・1162出土遺物



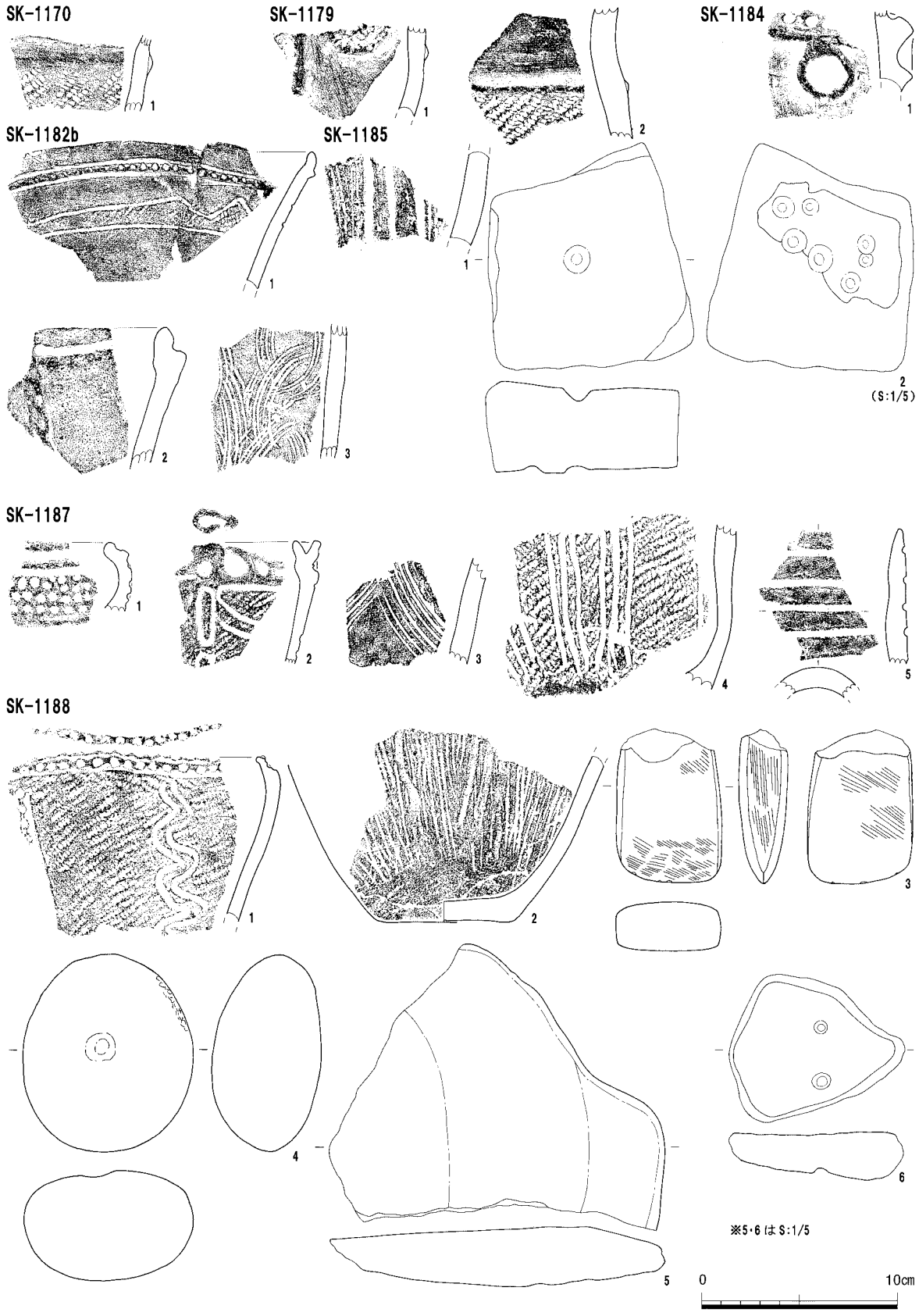
第216図　SK－1155・1163・1164出土遺物



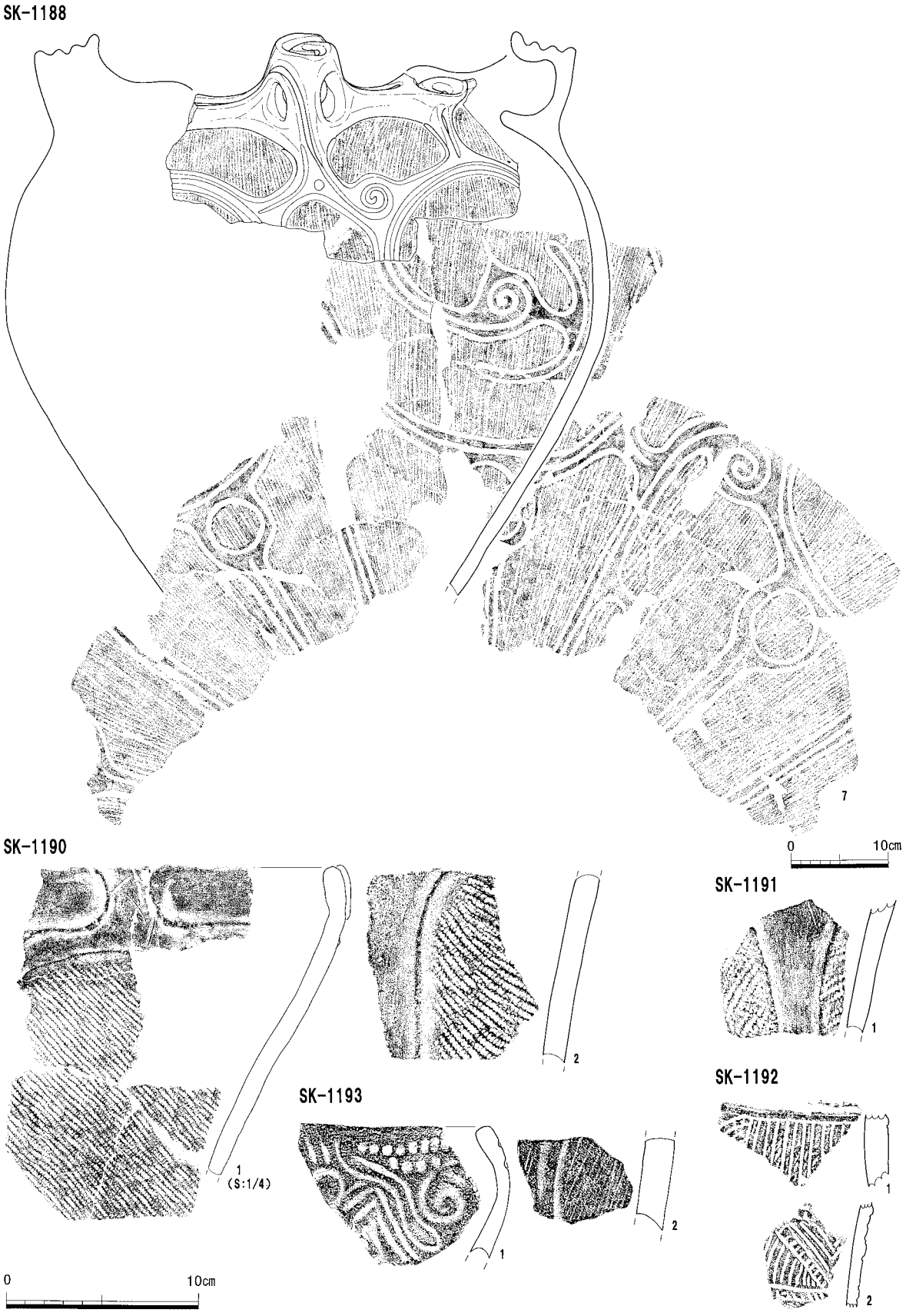
第217図　SK－1164～1166出土遺物



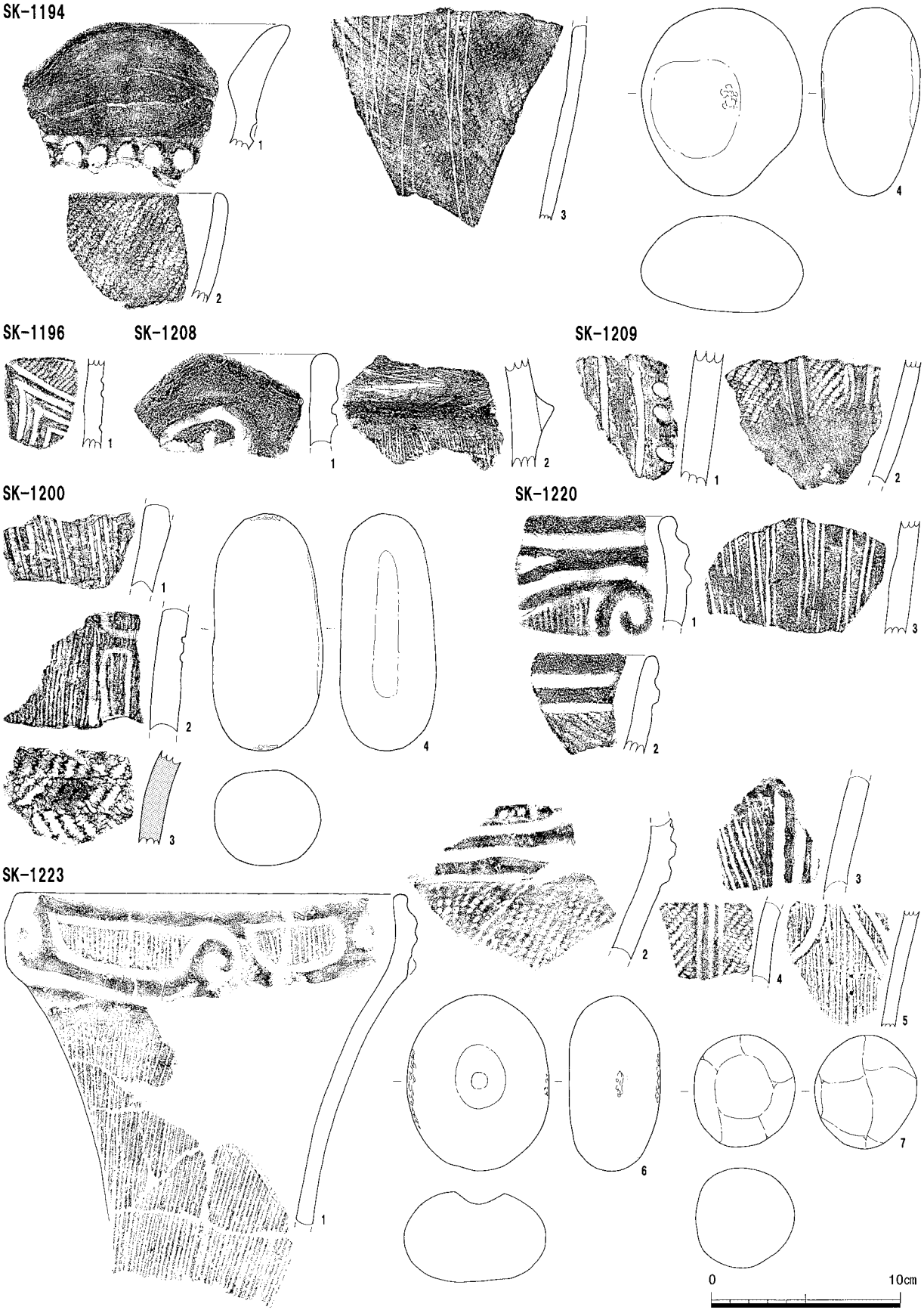
第218図　SK－1167a・1167b・1168・1180出土遺物



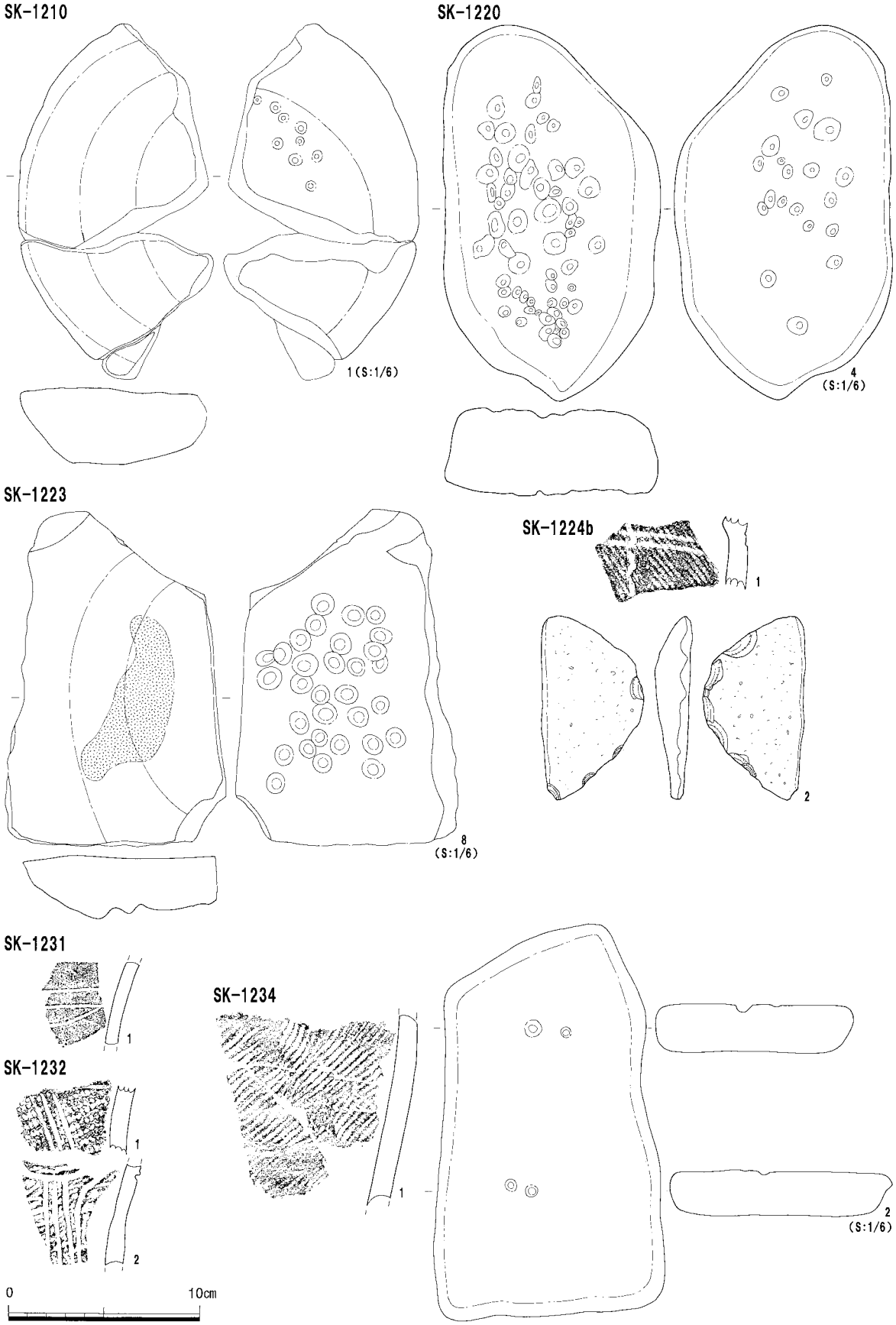
第219図　SK－1170・1179・1182b・1184・1185・1187・1188出土遺物



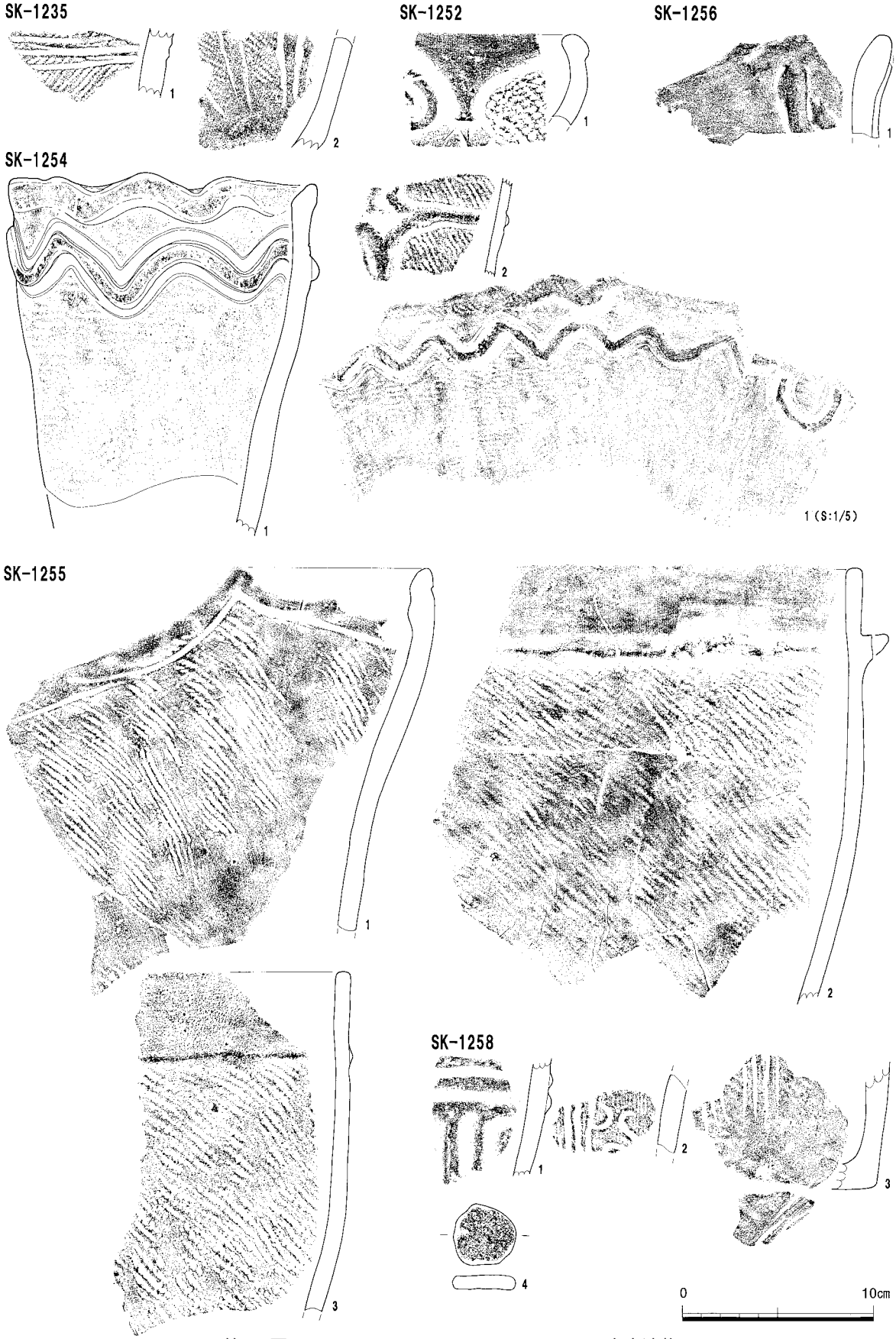
第220図　SK－1188・1190～1193出土遺物



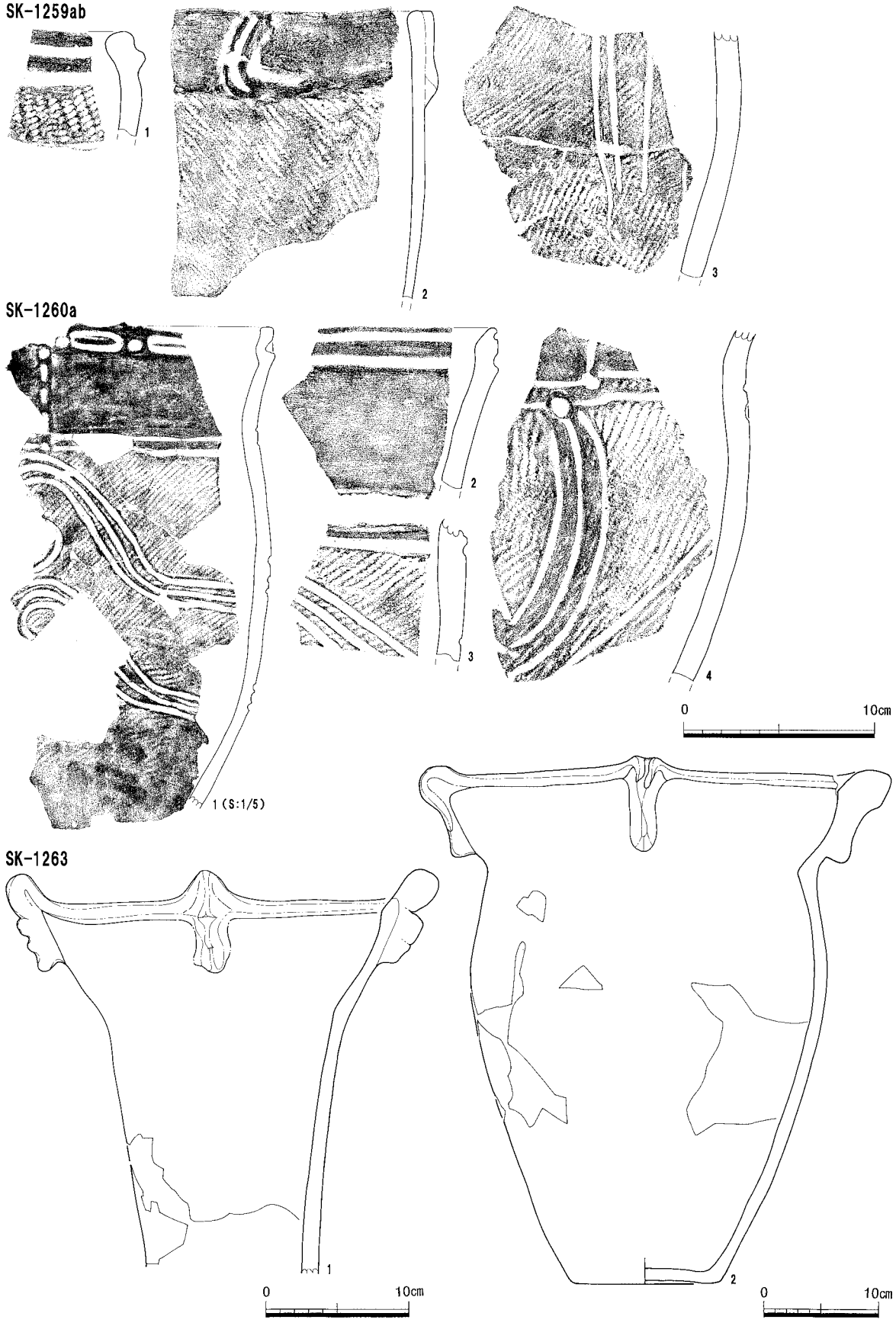
第221図　SK－1194・1196・1200・1208・1209・1220・1223出土遺物



第222図　SK－1210・1220・1223・1224b・1231・1232・1234出土遺物

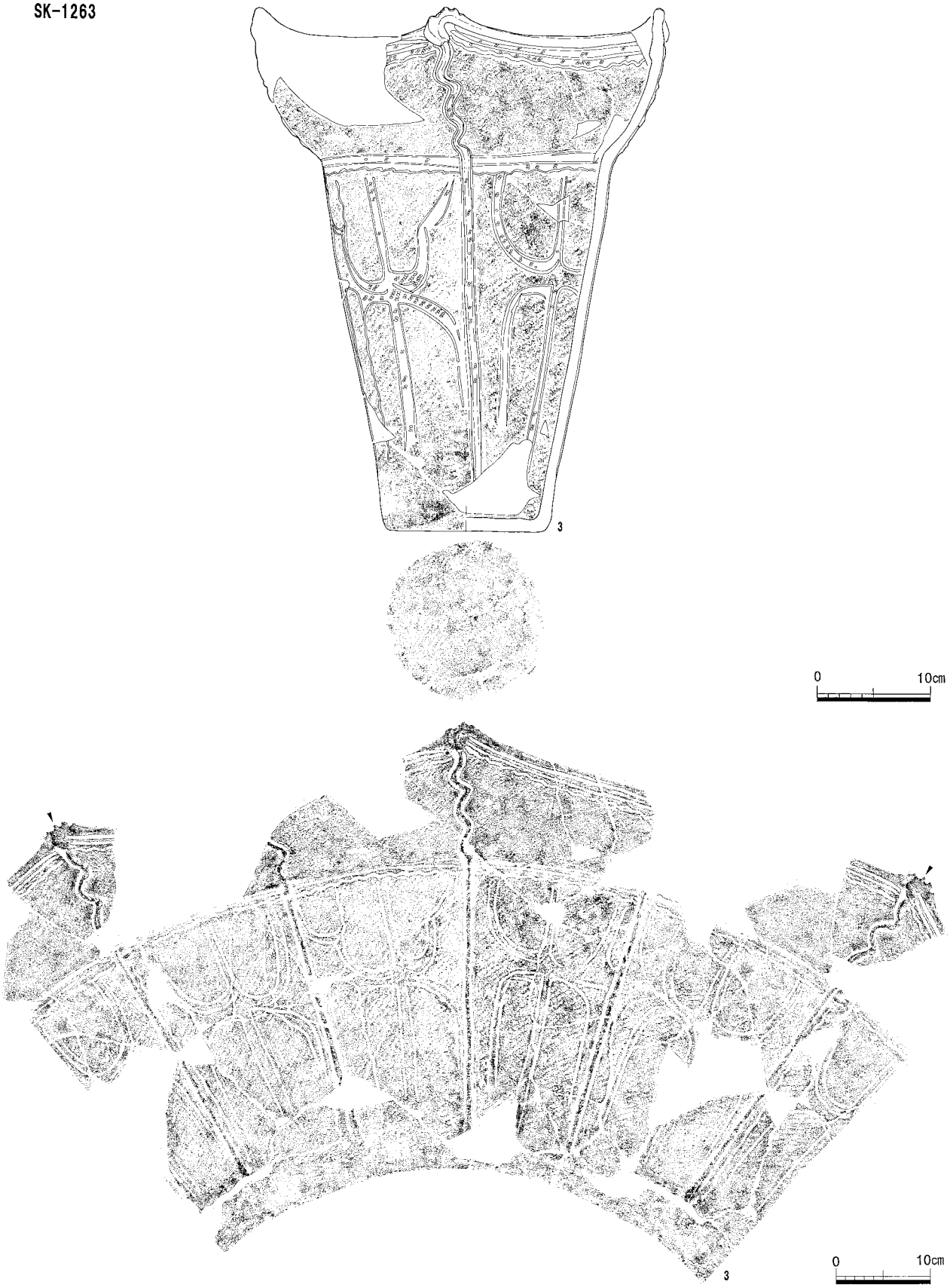


第223図　SK－1235・1252・1254～1256・1258出土遺物

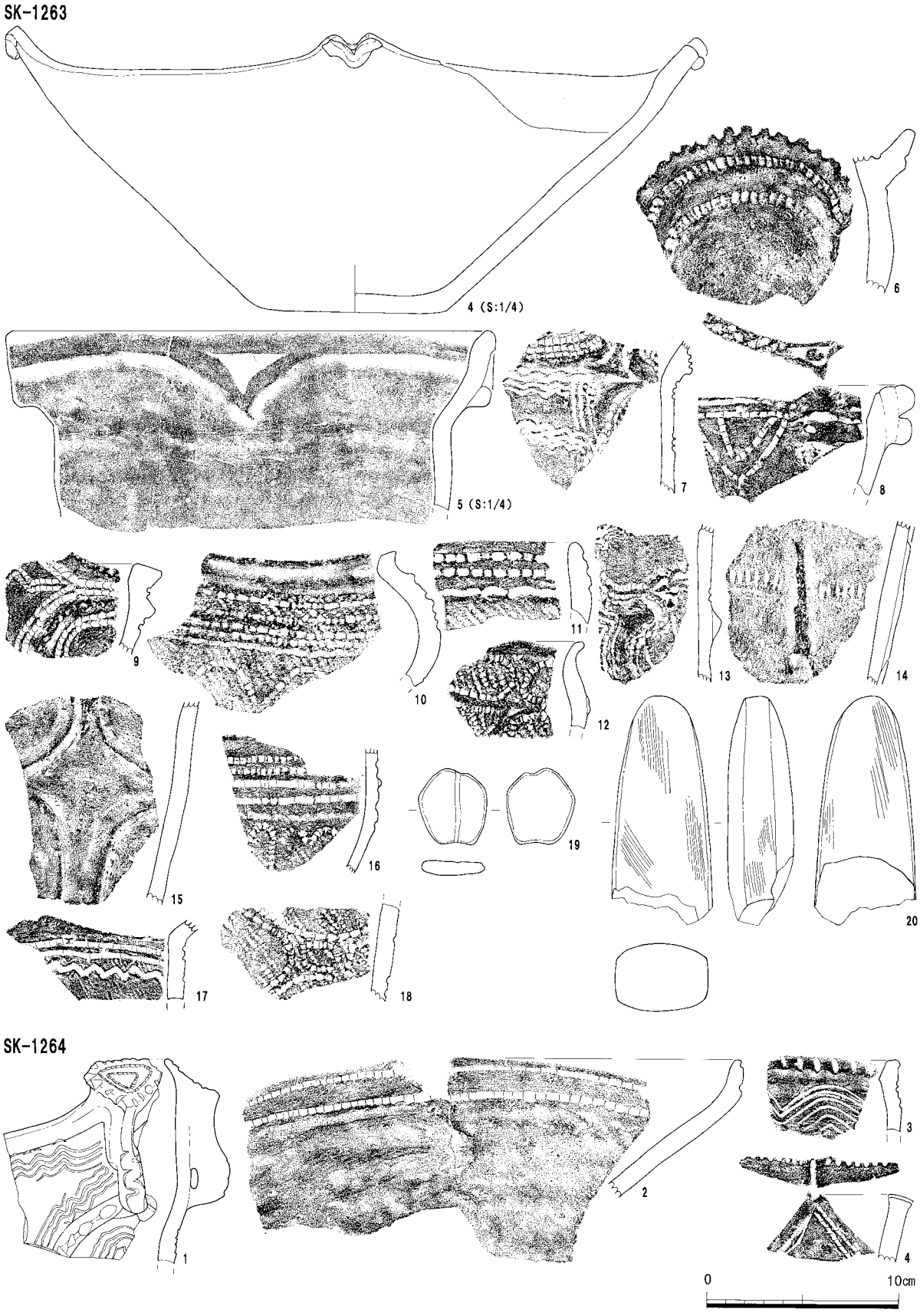


第224図　SK－1259ab・1260a・1263出土遺物

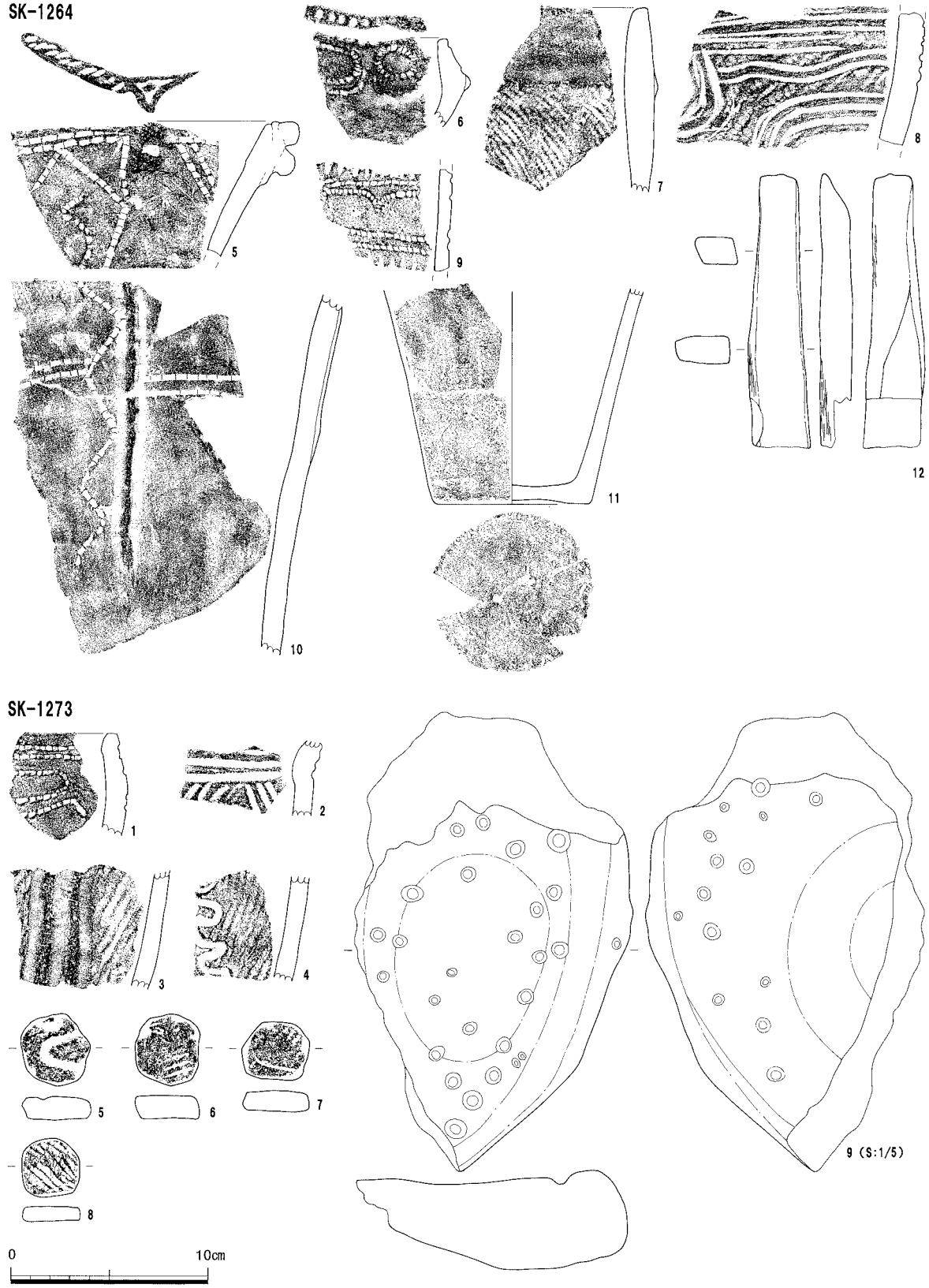
SK-1263



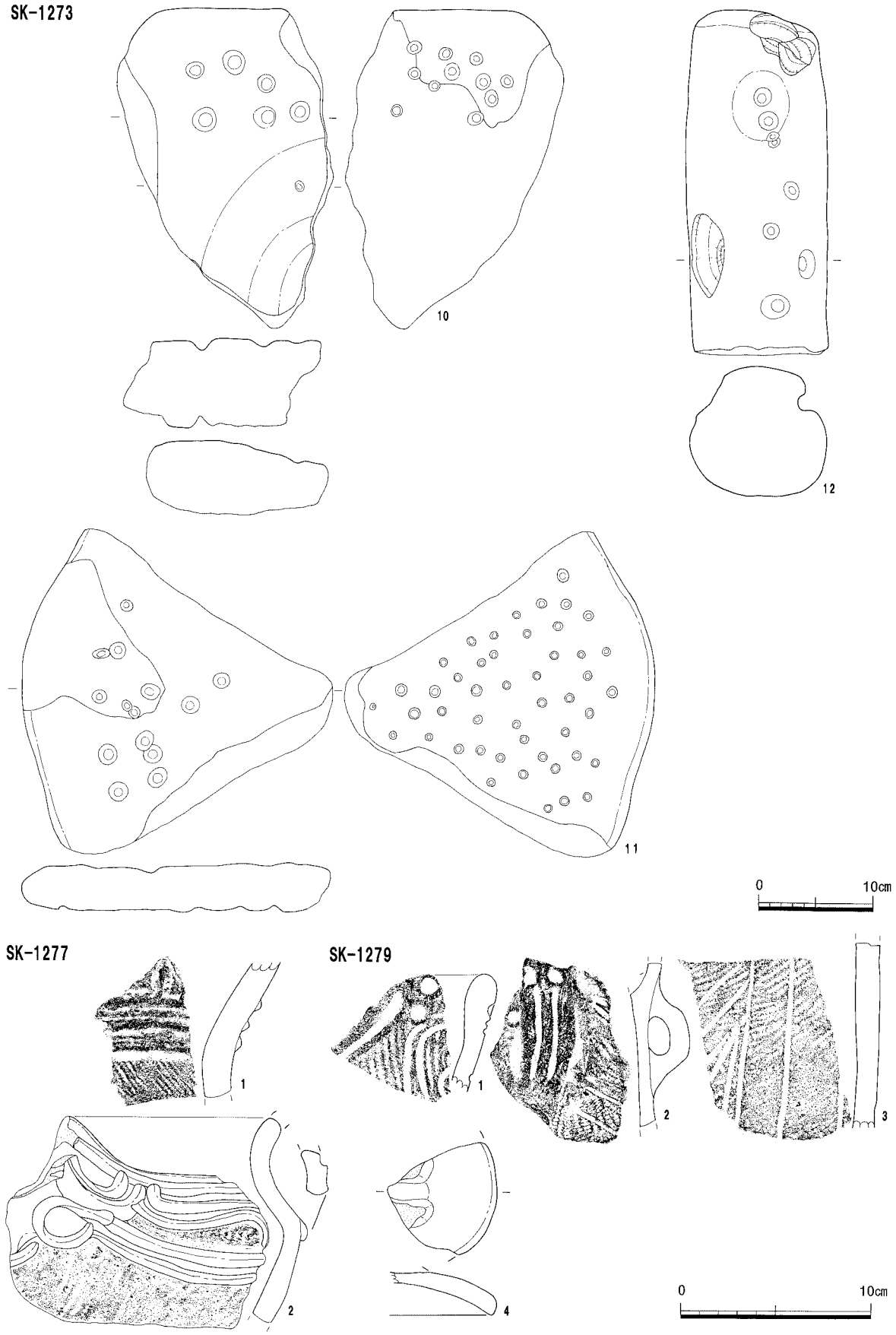
第225図　SK－1263出土遺物



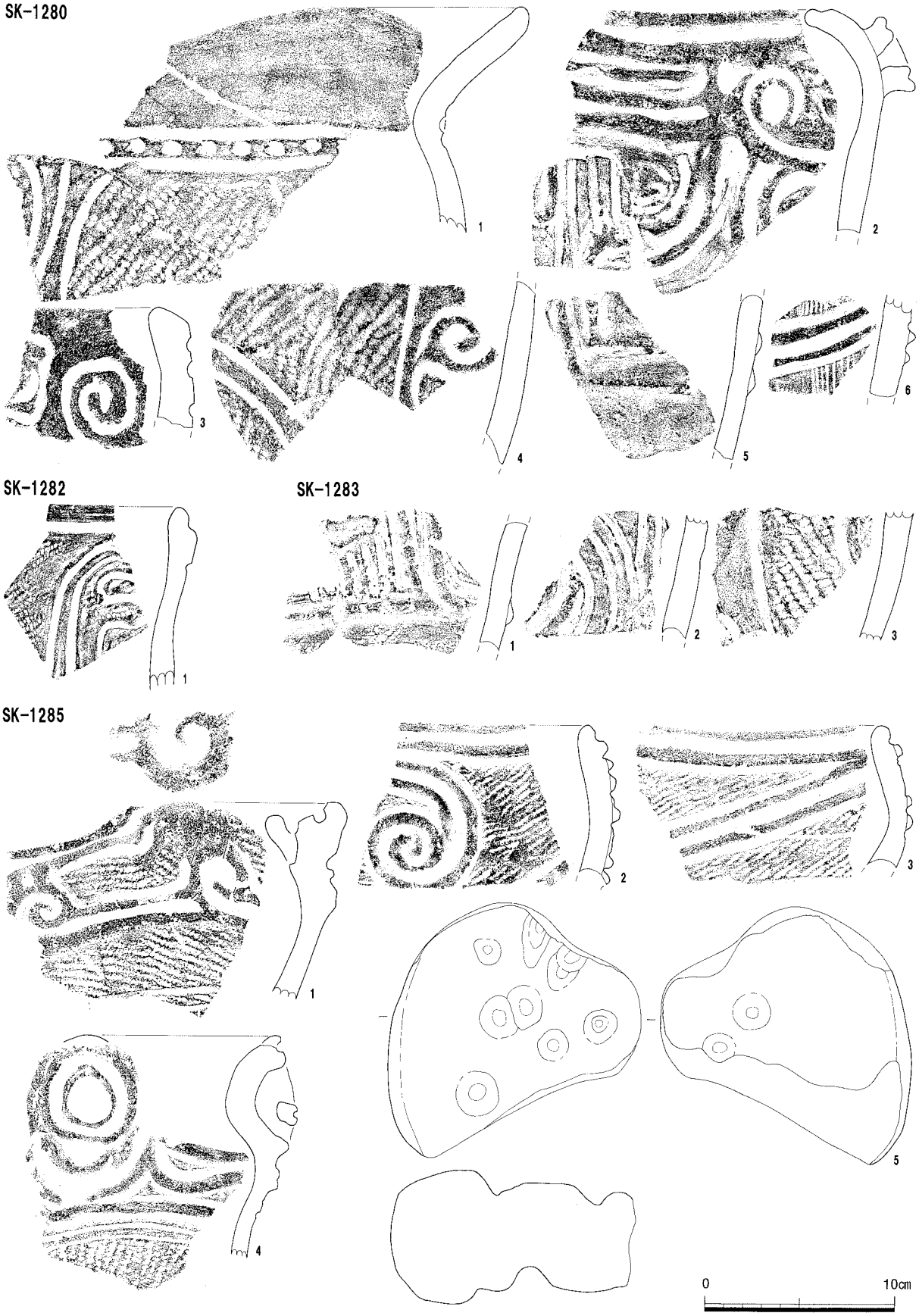
第226図　SK－1263・1264出土遺物



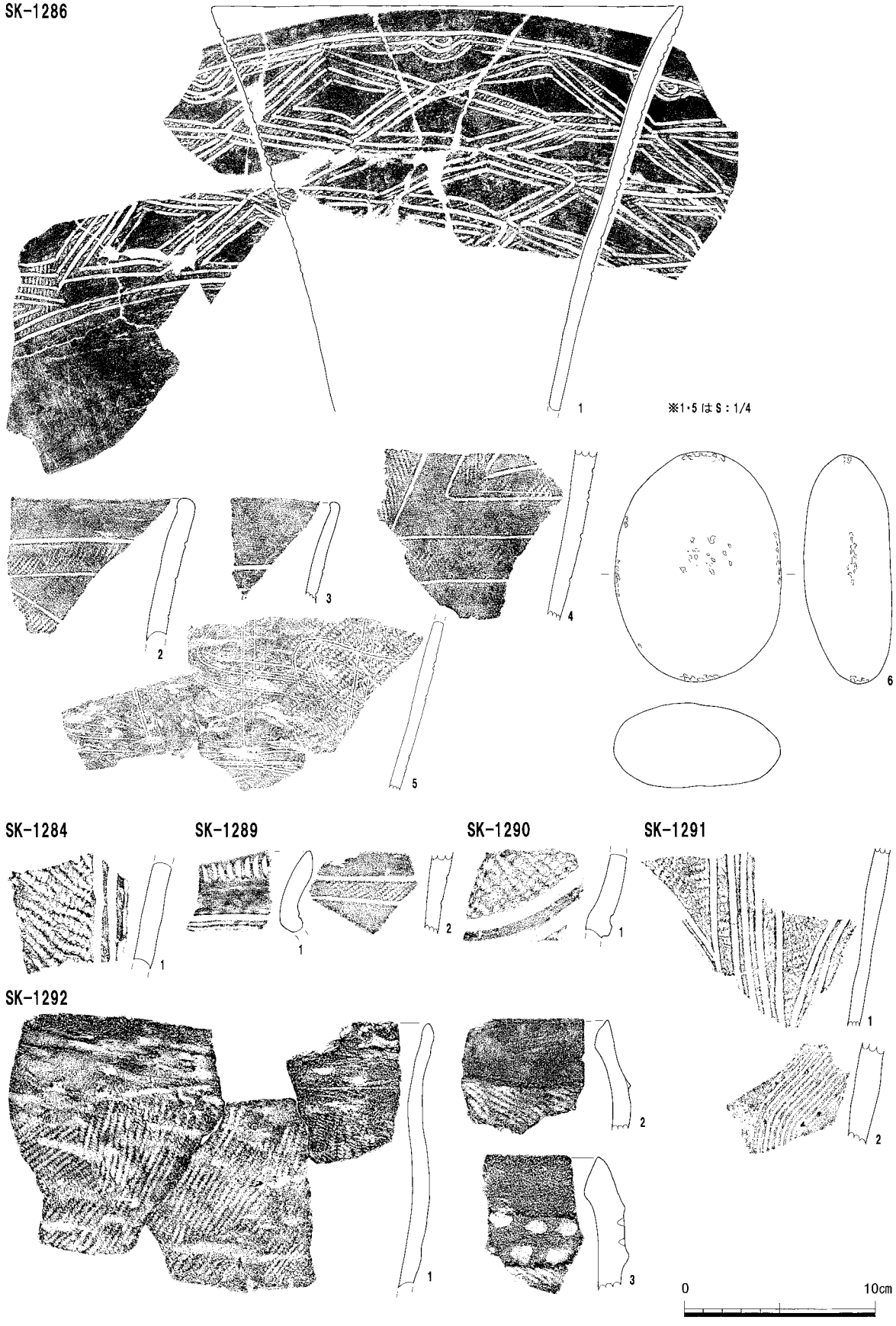
第227図　SK－1264・1273出土遺物



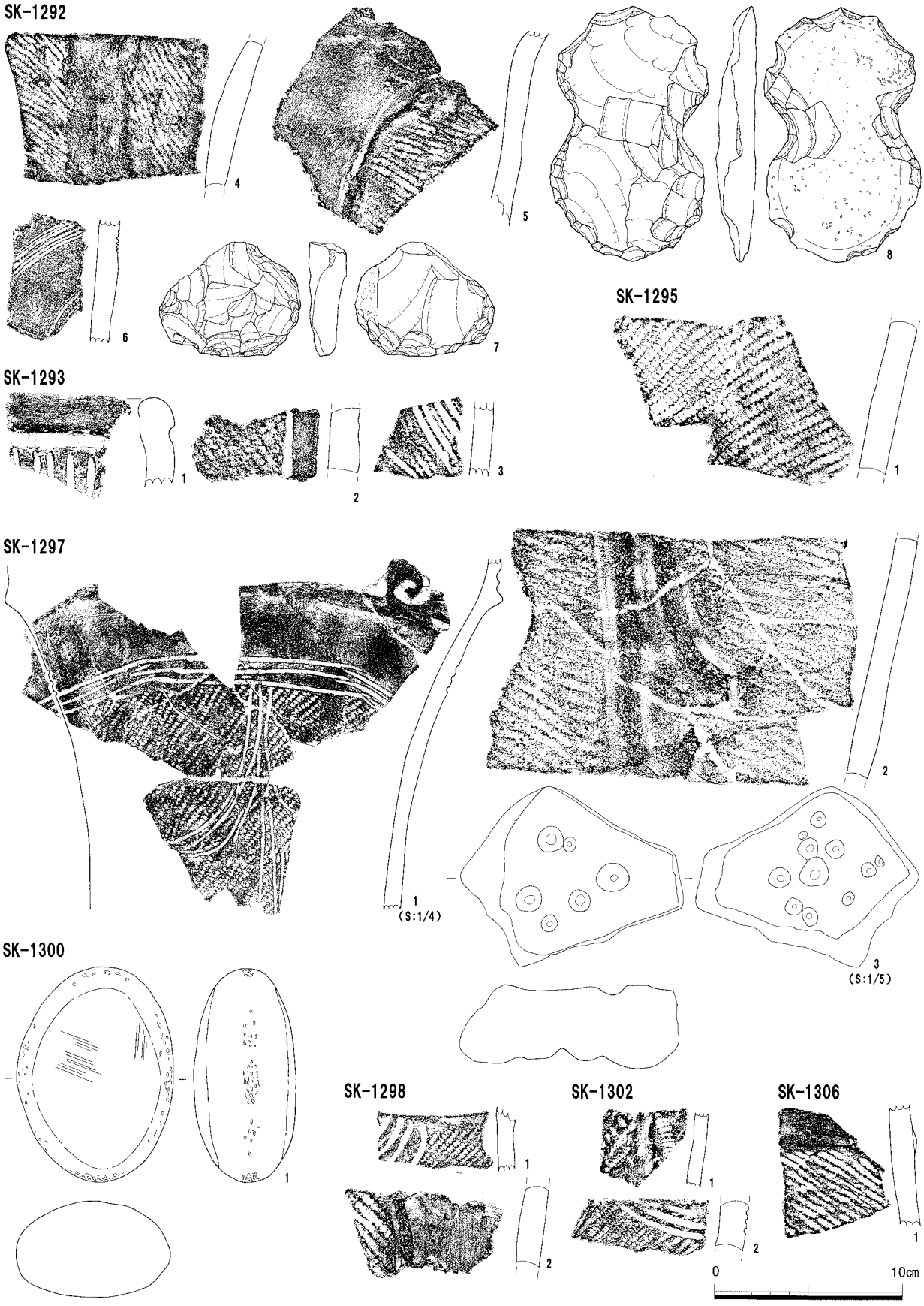
第228図　SK－1273・1277・1279出土遺物



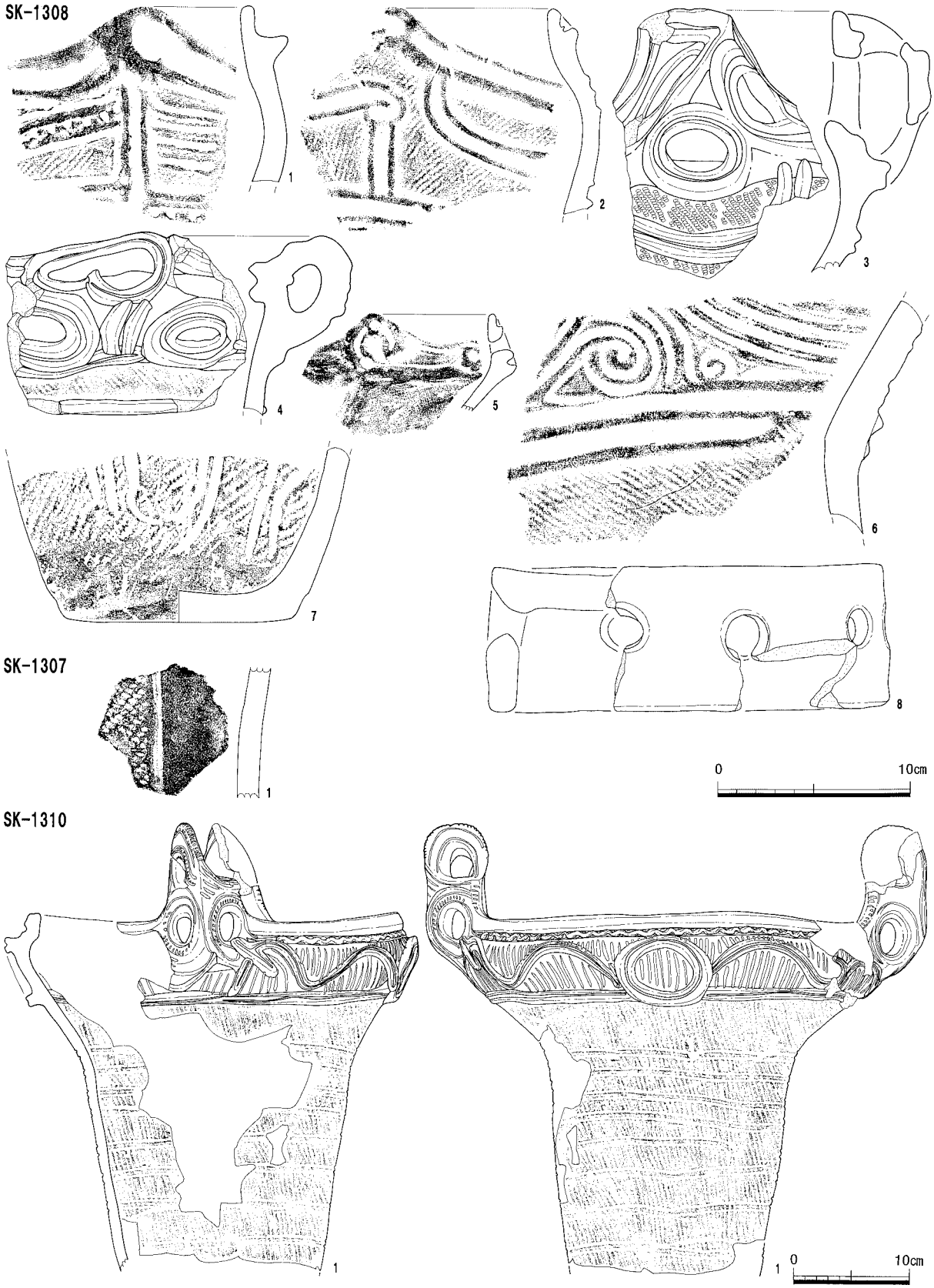
第229図　SK－1280・1282・1283・1285出土遺物



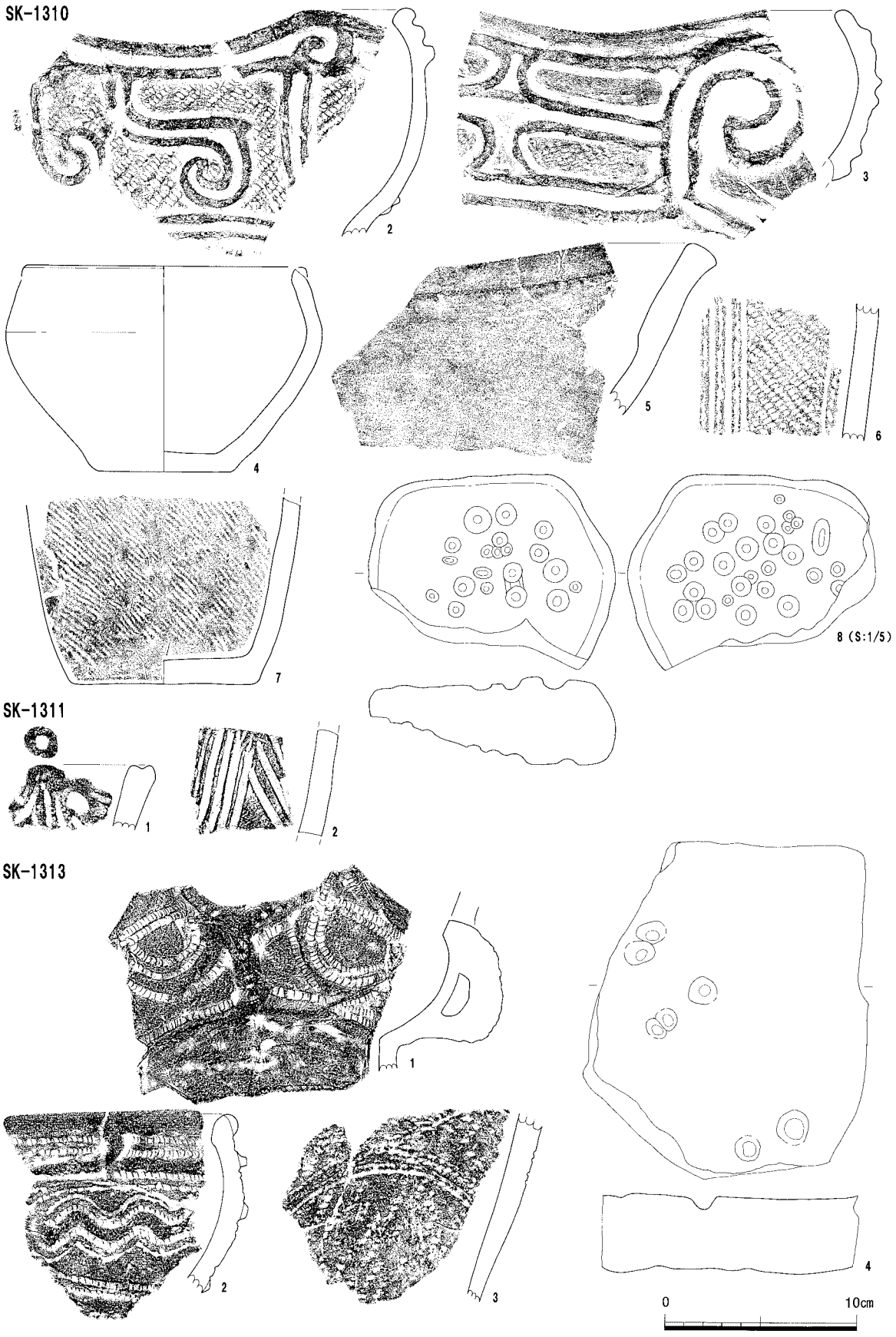
第230図　SK－1284・1286・1289～1292出土遺物



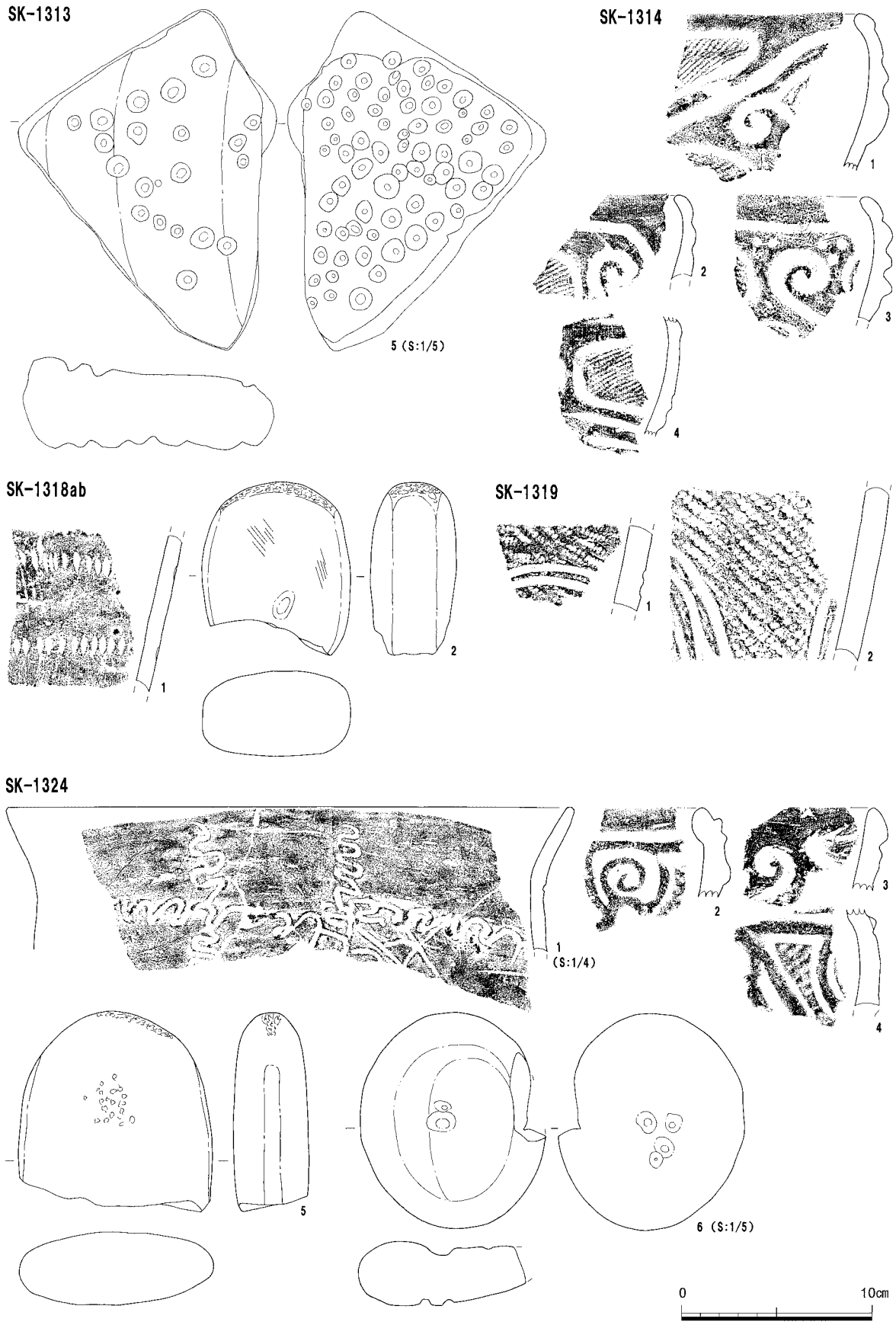
第231図　SK－1292・1293・1295・1297・1298・1300・1302・1306出土遺物



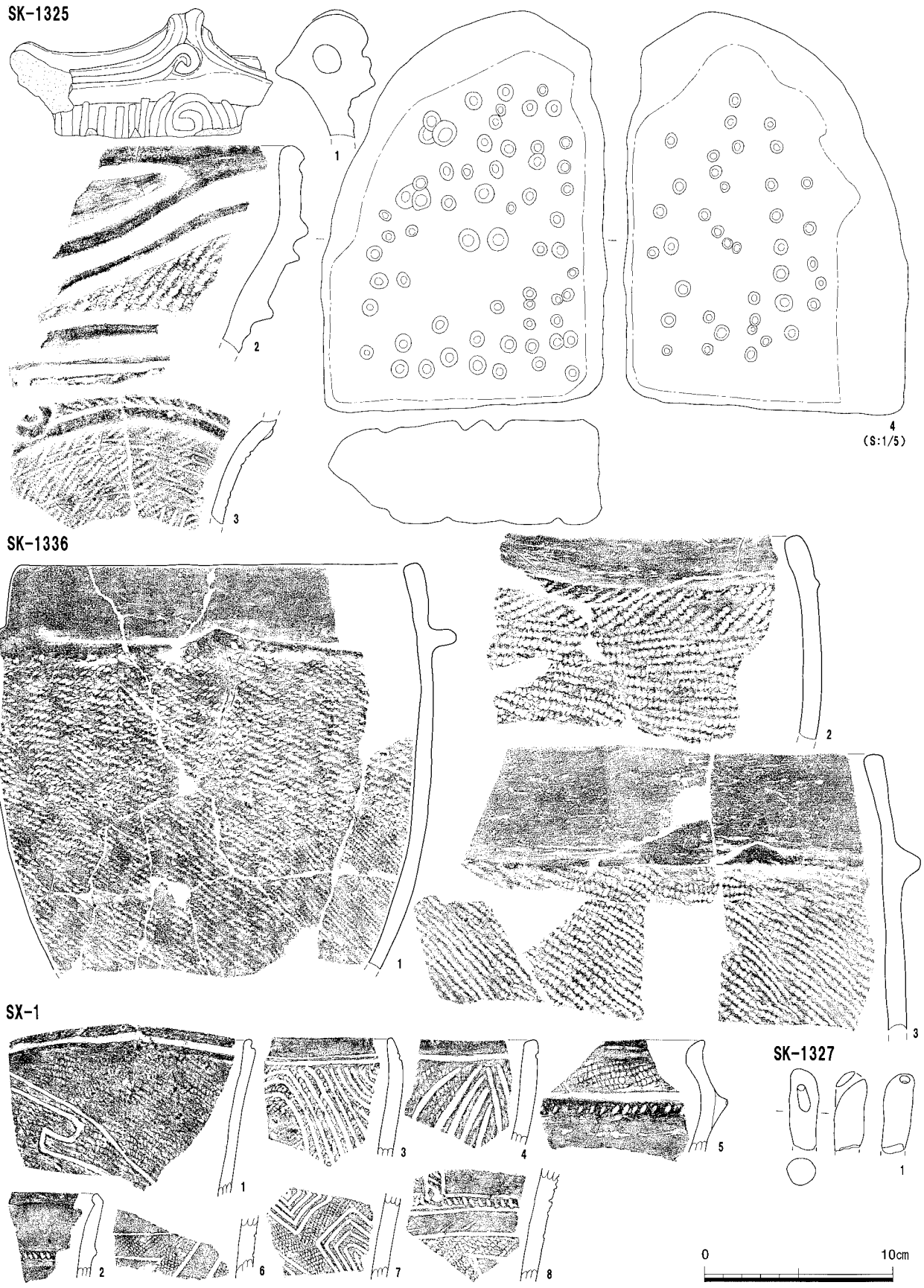
第232図　SK－1307・1308・1310出土遺物



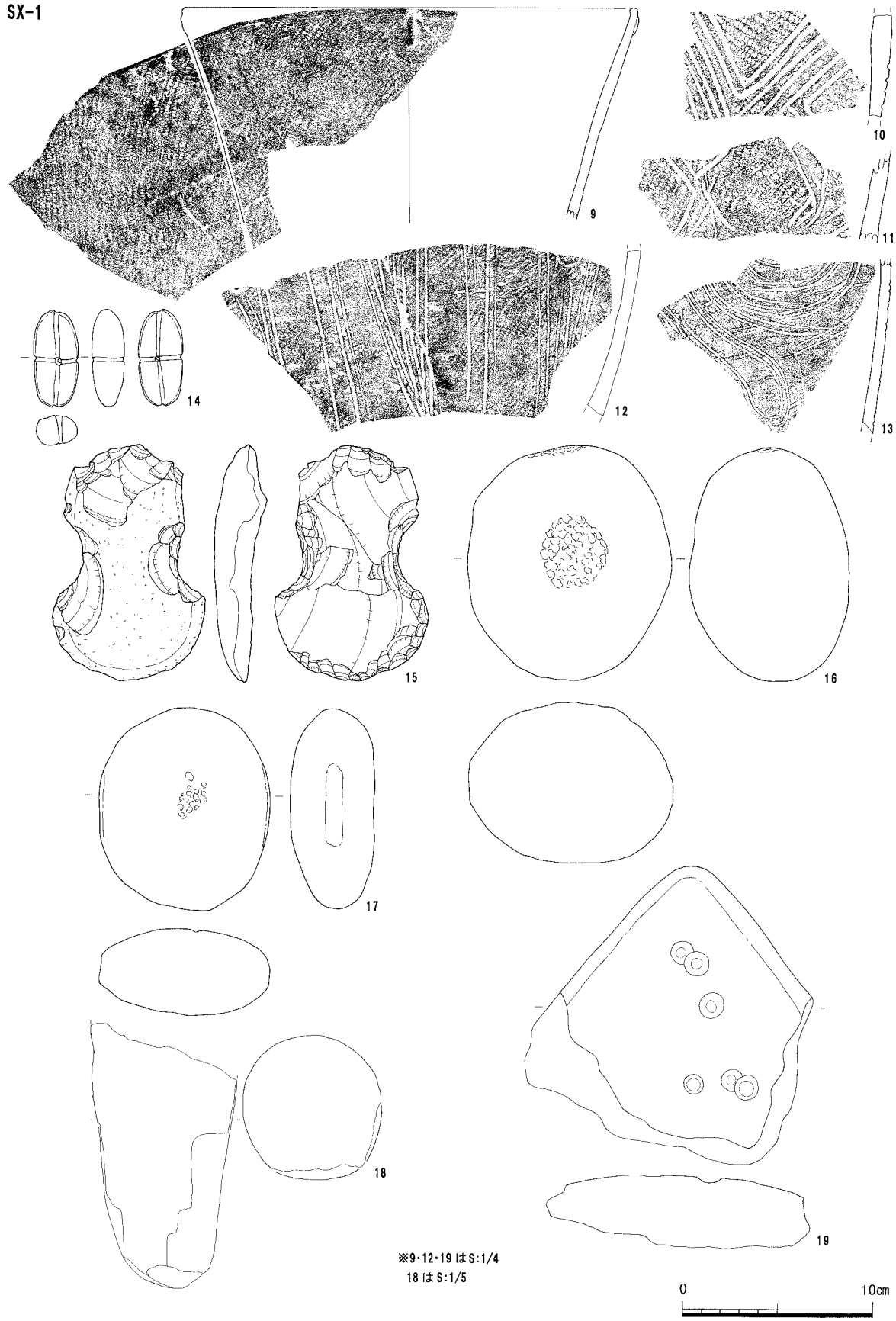
第233図　SK－1310・1311・1313出土遺物



第234図　SK－1313・1314・1318ab・1319・1324出土遺物



第235図　SK－1325・1327・1336・SX－1出土遺物



第236図　SX－1出土遺物

第９表　縄文時代土坑出土土器・土製品一覧表

単位cm・g、(推定値)、[残存値]

遺構№	№	注記	器種/部位	時期	特徴	挿図№	図版№
SK-1	1	SK-1	深鉢　口縁	?		97	
SK-1	2	SK-1	深鉢　胴	12		97	
SK-2	1	SK-2	深鉢　胴	10		97	
SK-4	1	SK-4	深鉢　口縁	9		97	
SK-5	1	SK-5	深鉢　胴	3		97	
SK-8	1	SK-8 No.2	深鉢　口縁	6･7		97	
SK-9	1	SK-9	深鉢　口縁	10		97	
SK-12	1	SK-12	深鉢　胴	4		97	
SK-13	1	SK-13	深鉢　胴	4		97	
SK-14	1	SK-14 No.6	台付深鉢 台部欠損	6	口径　11.2 器高［15.5］	97	70･96
SK-14	2	SK-14 Mo.3	深鉢 ほぼ完形	6	口径　9.4 器高　19.7	97	70
SK-14	3	SK-14	深鉢　口～胴	6	口径　15.0 器高［11.5］	97	70
SK-14	4	SK-14	浅鉢　口縁	5		97	
SK-15	1	SK-15 No.1.2	深鉢　胴	8		98	
SK-15	2	SK-15	深鉢　胴	8		98	
SK-16	1	SK-16	深鉢　口～胴	11		98	
SK-17	1	SK-10･17	深鉢　胴	1	繊維混入	98	
SK-19	1	SK-19 No.1	深鉢　口縁	5	勝坂系	98	
SK-24	1	SK-24	深鉢　胴	1	繊維混入	98	
SK-24	2	SK-24	深鉢　胴	1	繊維混入	98	
SK-24	3	SK-24	深鉢　胴	9･10		98	
SK-27	1	SK-27	深鉢　口縁	10		98	
SK-28	1	SK-28	深鉢　胴	7		99	
SK-29	1	SK-29 No.32	深鉢　口縁	4		98	
SK-29	2	SK-29	深鉢　口縁	4		98	
SK-29	3	SK-29	深鉢　胴	4		98	
SK-30	1	SK-30	深鉢　胴	8･9		98	
SK-31	1	SK-31	深鉢　胴	12		99	
SK-32	1	SK-32	深鉢　口縁	10		99	
SK-38	1	SK-38 No.1	深鉢　胴	10	胴径（37.2） 器高［21.0］	99	
SK-40	1	SK-40	深鉢　口縁	3		99	
SK-40	2	SK-40	深鉢　口縁	3		99	
SK-41	1	SK-41	深鉢　口縁	2		99	
SK-41	2	SK-41	深鉢　口縁	3		99	
SK-41	3	SK-41	深鉢　胴	3		99	
SK-41	4	SK-41	深鉢　胴	2～4		99	
SK-41	5	SK-41	深鉢　胴	4		99	
SK-43	1	SK-43	深鉢　口縁	2		99	
SK-43	2	SK-43	深鉢　胴	7･8		99	
SK-43	3	SK-43	深鉢　胴	8･9		99	
SK-45	1	SI-2	深鉢　胴	4		100	
SK-45	2	SI-2	深鉢　口縁	4		100	
SK-46	1	SK-46	深鉢　胴	8･9		100	
SK-46	2	SK-46 No.6	器台脚部	?	孔2ヶ所あり	100	
SK-47	1	SK-47	深鉢　胴	4･5		100	
SK-48	1	SK-48 No.1	浅鉢　口～体	8･9	口縁（35.2） 器高［17.2］	100	
SK-49	1	SK-49	深鉢　胴	7		100	
SK-51a	1	SK-51a No.7	有孔土器 ほぼ完形	8	口径　10.8 器高　12.2	100	70
SK-51a	2	SK-51a No.4	深鉢　口～胴	8	口径　46.0 器高［20.8］	100	70
SK-51a	3	SK-51a	深鉢　口～胴	8		101	70
SK-51a	4	SK-51a No.1	深鉢　胴	8		101	
SK-51a	5	SK-51a	深鉢　胴	8		101	
SK-51a	6	SK-51a No.3	浅鉢　口～体	8	口径（24.2） 器高　［7.4］ 内外面赤彩あり	101	
SK-53	1	SK-53	深鉢　口縁	3～5		101	
SK-53	2	SK-53	深鉢　口縁	4		101	
SK-58･59	1	SK-58･59	深鉢　胴	7		101	
SK-60	1	SK-60	深鉢　口～胴	7		102	
SK-60	2	SK-60	深鉢　胴	7		102	
SK-60	3	SK-60	浅鉢　口縁	7	内面赤彩あり	102	
SK-60	4	SK-60	深鉢　胴	5		102	
SK-60	5	SK-60	深鉢　胴	8		102	
SK-63	1	SK-63	深鉢　口縁	12		102	
SK-66ab	1	SK-66ab	深鉢　胴	5･6		102	
SK-66ab	2	SK-66ab	深鉢　胴	7		102	
SK-66b･88	1	SK-66b･88	深鉢　口縁	8		102	
SK-66b･88	2	SK-66b･88	深鉢　口縁	9		102	
SK-66b･88	3	SK-66b･88	深鉢　胴	5･6		102	
SK-66b･88	4	SK-66b･88	深鉢　胴	4		102	
SK-66b･88	5	SK-66b･88	土製円盤		直径　2.9 厚さ　0.8 重さ　7.5	102	106
SK-67b	1	SK-67b	深鉢　胴	4･5		102	
SK-67b	2	SK-67b	深鉢　胴	4		102	
SK-70	1	SK-70 No.2	深鉢　2／3遺存	8	口径（21.0） 器高　28.8	103	71
SK-70	2	SK-70 No.3.4	鉢　口～体	8		103	
SK-74	1	SK-74	深鉢　口縁	10		103	
SK-74	2	SK-74	深鉢　口縁	10		103	
SK-74	3	SK-74	深鉢　口縁	10		103	
SK-74	4	SK-74	深鉢　胴	10		103	
SK-74	5	SK-74	深鉢　胴	10		103	
SK-74	6	SK-74	深鉢　胴	10		103	
SK-74	7	SK-74	深鉢　胴	10		103	
SK-78a	1	SK-78a	深鉢　胴	1		102	
SK-78a	2	SK-78a	深鉢　胴	10		102	
SK-80	1	SK-80 No.1	深鉢　2／3遺存	6	口径　11.0 器高　24.0	103	71
SK-80	2	SK-80	深鉢　口縁	5		103	
SK-80	3	SK-80 No.3	深鉢　胴～底	5･6		103	
SK-80	4	SK-80 No.2.4	深鉢　口縁	6	口径（25.0） 器高［16.0］ 馬高系	104	71
SK-80	5	SK-80 No.2.4	深鉢　口～胴	6	口径（25.0） 器高［15.0］ 馬高系	104	71
SK-80	6	SK-80 No.4.5.13.15	深鉢　口～胴	6	口径（24.0） 器高［21.5］ 馬高系	104	71
SK-80	7	SK-80 No.4.12	深鉢　口～胴	6	口径（22.0） 器高［24.0］	104	72
SK-80	8	SK-80 No.7.8.9.10. 17.19	深鉢　口～胴	5･6	口径（25.4） 器高［31.0］	104	72
SK-80	9	SK-80 No.20.21.22. 23	浅鉢 口縁上半部欠損	6	口径（29.5） 器高（17.2）	104	
SK-82	1	SK-82 No.2.3	深鉢　胴	4	器高［29.0］	105	72
SK-82	2	SK-82	深鉢　口縁	4		105	
SK-82	3	SK-82	深鉢　胴	4･5		105	
SK-83	1	SK-83	深鉢　口縁	5		105	
SK-83	2	SK-83	浅鉢　口縁	2･3		105	
SK-83	3	SK-83	深鉢　口縁	3～5	勝坂系	105	
SK-83	4	SK-83	深鉢　胴	5		105	
SK-84	1	SK-84	深鉢　口縁	10		105	
SK-84	2	SK-84 No.35	深鉢　口縁	9		105	
SK-84	3	SK-84	深鉢　胴	10		105	
SK-84	4	SK-84	深鉢　胴	8･9		105	
SK-84	5	SK-84	深鉢　胴	9･10		105	
SK-84	6	SK-84	深鉢　胴	9		105	
SK-84	7	SK-84	深鉢　胴	9･10		105	
SK-84	8	SK-84	深鉢　胴	9	曽利系	105	
SK-84	9	SK-84	深鉢　胴	11		105	
SK-84	10	SK-84	土製円盤		直径　5.2 厚さ　1.1 重さ　33.6	106	106
SK-84	11	SK-84 No.19	土製円盤		直径　5.0 厚さ　1.5 重さ　46.6	106	106
SK-84	12	SK-84	土製円盤		直径　4.8 厚さ　0.9 重さ　26.2	106	106
SK-84	13	SK-84	土製円盤		直径　4.0 厚さ　1.1 重さ　15.0	106	106
SK-85	1	SK-85	深鉢　口縁	1		105	
SK-85	2	SK-85	深鉢　口縁	4		105	
SK-85	3	SK-85	深鉢　胴	4		105	
SK-87	1	SK-87	深鉢　口～胴	1	口径（27.6） 器高［16.0］	106	72
SK-87	2	SK-87	深鉢　胴	1		106	
SK-89	1	SK-89	深鉢　口縁	10		105	
SK-90	1	SK-90 No.1.50	深鉢　口～胴	5･6	口径　49.0 器高［30.2］ 3と同一個体	106	73
SK-90	2	SK-90 No.21	深鉢　口～頸	5･6	口径　29.8 器高［14.6］	106	72
SK-90	3	SK-90 No.7	深鉢　胴	5･6	1と同一個体	106	
SK-90	4	SK-90 No.7	深鉢　胴	5･6		106	
SK-90	5	SK-90 No.28.51	深鉢　口～頸	6	口径　24.0 器高［25.4］	107	73
SK-90	6	SK-90 No.22	深鉢　口～胴	5･6	7と同一個体	107	72
SK-90	7	SK-90 No.22	深鉢　口～胴	5･6	6と同一個体	107	72
SK-90	8	SK-90	深鉢 ほぼ完形	6	口径　10.5 器高　19.4	107	73･96
SK-90	9	SK-90 No.7	深鉢　口～胴	6		107	
SK-90	10	SK-90 No.24.25	浅鉢　口～体	6	口径（44.0） 器高　［7.8］ 体外赤彩痕あり	107	

SK-90	11	SK-90 No.1	深鉢　口縁	6	口径　21.6 器高［21.0］	108	73
SK-90	12	SK-90 No.29.30	深鉢　口～胴	6	口径（24.5） 器高［32.0］	108	
SK-90	13	SK-90	深鉢　口～胴	6		108	
SK-90	14	SK-90 No.5	浅鉢　口縁	6		108	
SK-90	15	SK-90	深鉢　胴	6		108	
SK-90	16	SK-90	深鉢　胴～底	6		108	
SK-90	17	SK-90	深鉢　胴	5･6		108	
SK-91	1	SK-91 No.1	深鉢　口縁	9		109	
SK-91	2	SK-91	深鉢　胴	9		109	
SK-92	1	SK-92 No.3.4.5.8.10. 15.18 SK-93	甕　胴～底	7	胴大　46.0 器高［55.5］	109	
SK-92	2	SK-92 No.18	甕　胴～底	7	胴大　22.3 器高［22.8］	109	73
SK-92	3	SK-92 No.6	深鉢 ほぼ完形	7	口径　26.5 器高　37.0	110	74･ 97
SK-92	4	SK-92 No.9	深鉢　胴	7		110	
SK-92	5	SK-92 No.9	深鉢　胴	7		110	
SK-93	1	SK-93 No.16.22.25. 29.35	深鉢 ほぼ完形	5	口径　40.0 器高　52.2	111	74･ 97
SK-93	2	SK-93 No.30	深鉢　口～胴	5	口径　19.6 器高［24.5］	111	74
SK-93	3	SK-93 No.1	深鉢　口～胴	5	口径（29.2） 器高［34.0］	111	74
SK-93	4	SK-92 No.14 SK-92	深鉢　口～胴	4･5	口径（26.5） 器高［31.5］	111	74
SK-93	5	SK-93 No.12.15.17. 20.21.28.31	深鉢 ほぼ完形	5	口径　36.5 器高　60.0	112	75･ 98
SK-93	6	SK-93 No.29	深鉢 ほぼ完形	5	口径　21.0 器高　40.5	113	74･ 98
SK-93	7	SK-93 No.8.9.11	甕　口～胴上	5	口径　25.8 器高［19.6］	113	75
SK-93	8	SK-93	深鉢　口縁	5		113	
SK-93	9	SK-93 No.12.13.20	深鉢　口～胴	5		113	75
SK-93	10	SK-93 No.2.3.10	甕　口～胴	6	11と同一個体か	113	75
SK-93	11	SK-93 No.2.3.10	甕　口～胴	6	10と同一個体か	113	75
SK-93	12	SK-93 No.4.5.10	深鉢　口～胴	5･6		113	
SK-93	13	SK-93 No.11	深鉢　胴	5･6		114	
SK-93	14	SK-93 No.8.9.11	甕　胴	5		114	
SK-93	15	SK-93 No.11	深鉢　胴	5		114	
SK-93	16	SK-93 No.12.14.21	甕　胴～底	5	胴大（42.2） 器高［36.2］	114	75
SK-93	17	SK-93 No.10	深鉢　底	5		114	
SK-93	18	SK-93 No.18	深鉢　底	5		114	
SK-93	19	SK-93 No.16	鉢　完形 小型	5･6	口径　9.2 器高　8.4	115	76
SK-93	20	SK-93	深鉢　胴～底	5		115	
SK-93	21	SK-93 No.6	深鉢　底	5･6		115	
SK-94	1	SK-94	深鉢　口縁	11		115	
SK-94	2	SK-94	深鉢　口縁	10		115	
SK-94	3	SK-94	深鉢　胴	10		115	
SK-94	4	SK-94	深鉢　胴	10		115	
SK-94	5	SK-94	土製円盤		直径　4.2 厚さ　1.2 重さ　25.4	115	106
SK-98	1	SK-98 No.33	深鉢　口縁	4～6		115	
SK-100	1	SK-100	深鉢　胴	9		115	
SK-102	1	SK-102	深鉢　口縁	7･8		116	
SK-102	2	SK-102	深鉢　口縁	7･8		116	
SK-102	3	SK-102	浅鉢　口～体	7･8		116	
SK-102	4	SK-102	深鉢　胴	7･8		116	
SK-102	5	SK-102	深鉢　胴	7･8		116	
SK-102	6	SK-102	深鉢　胴	7･8		116	
SK-103	1	SK-103	甕　胴	6	2.5と同一個体	116	76
SK-103	2	SK-103	甕　胴	6	1.5と同一個体	116	
SK-103	3	SK-103	深鉢　胴	6		116	
SK-103	4	SK-103 No.1	深鉢　胴	6		116	
SK-103	5	SK-103	甕　胴	6	1.2と同一個体	116	
SK-103	6	SK-103 No.2	深鉢　胴	6		116	
SK-103	7	SK-103	深鉢　胴	6		116	
SK-104	1	SK-104	深鉢　胴	7･8		115	
SK-104	2	SK-104	深鉢　口縁	7･8		115	
SK-104	3	SK-104	深鉢　胴	7･8		115	
SK-105	1	SK-105 No.1.2.3.4	深鉢　口～胴	11	器高［22.5］	117	76
SK-105	2	SK-105 No.3.5	深鉢　口～胴	11	口径　34.6 器高［25.1］	117	76
SK-106	1	SK-106	深鉢　口縁	4･5		115	
SK-106	2	SK-106	深鉢　胴	4･5		115	

SK-108	1	SK-108	深鉢　胴	3		117	
SK-108	2	SK-108	深鉢　胴	2･3		117	
SK-108	3	SK-108	深鉢　胴	3		117	
SK-109	1	SK-109	深鉢　口縁	4～6		116	
SK-109	2	SK-109	深鉢　胴	3		116	
SK-109	3	SK-109	深鉢　胴	8･9		116	
SK-110	1	SK-110	深鉢　胴	4･5		117	
SK-110	2	SK-110	深鉢　胴	5		117	
SK-110	3	SK-110	深鉢　胴	4～6		117	
SK-110	4	SK-110	深鉢　胴	5･6		117	
SK-112	1	SK-112	深鉢　胴	4～6		117	
SK-112	2	SK-112	深鉢　胴	4～6		117	
SK-112	3	SK-112	深鉢　胴	4		117	
SK-113	1	SK-113	深鉢　胴	4～6		117	
SK-113	2	SK-113	深鉢　胴	9～12		117	
SK-116	1	SK-116	ミニチュア	?	器高［6.1］	118	
SK-116	2	SK-116	深鉢　胴	3～5		118	
SK-116	3	SK-116	深鉢　胴	2		118	
SK-118	1	SK-118 No.5	深鉢　口～胴	10		118	
SK-118	2	SK-118	深鉢　口縁	10		118	
SK-118	3	SK-118	深鉢　胴	10		118	
SK-118	4	SK-118	深鉢　胴	8･9		118	
SK-120	1	SK-120	深鉢　口縁	9		119	
SK-121	1	SK-121	深鉢　胴	8･9		119	
SK-122	1	SK-122	深鉢　胴	4		119	
SK-122	2	SK-122	深鉢　胴	4		119	
SK-122	3	SK-122	深鉢　胴	6･7		119	
SK-123	1	SK-123 No.1	深鉢 ほぼ完形	7	口径　15.0 器高　24.0	119	76･ 99
SK-123	2	SK-123 SK-123.135. 136	深鉢　口縁	6		119	
SK-123	3	SK-123 SK-123.135. 136	深鉢　胴	6･7		119	
SK-125	1	SK-125 No.1	深鉢 ほぼ完形	4･5	口径　17.2 器高［30.2］	120	76
SK-125	2	SK-125 No.3	甕　口～胴	4･5	口径　38.0 器高［46.0］	120	77･ 99
SK-125	3	SK-125 No.2	深鉢　口～胴	4	口径　25.8 器高［26.2］	120	77
SK-125	4	SK-125 No.4	深鉢 ほぼ完形	4	口径（16.4） 器高　24.0	120	77
SK-125	5	SK-125 No.1	深鉢　口縁	5		120	
SK-125	6	SK-125	深鉢　胴	?		120	
SK-126	1	SK-126	深鉢　胴	10･11		119	
SK-127	1	SK-127	深鉢　口縁	11		121	
SK-127	2	SK-127	深鉢　口～胴	11		121	
SK-127	3	SK-127	深鉢　口縁	11		121	
SK-127	4	SK-127	深鉢　口縁	10		121	
SK-127	5	SK-127	深鉢　口縁	10		121	
SK-127	6	SK-127	深鉢　胴	10		121	
SK-127	7	SK-127	深鉢　胴	8･9		121	
SK-128	2	SK-128	深鉢　口縁	12		121	
SK-128	3	SK-128	深鉢　胴	12		121	
SK-129	1	SK-129	深鉢　頸	7		121	
SK-129	2	SK-129	深鉢　胴	4･5		121	
SK-129	3	SK-129	深鉢　胴	1		121	
SK-130	1	SK-130	深鉢　胴	7･8		121	
SK-131	1	SK-131	深鉢　胴	7･8		121	
SK-133	1	SK-133	深鉢　口縁	3		121	
SK-133	2	SK-133	深鉢　口縁	3		121	
SK-133	3	SK-133	深鉢　口縁	3		121	
SK-133	4	SK-133	深鉢　口縁	3		121	
SK-133	5	SK-133	深鉢　口縁	3		121	
SK-133	6	SK-133	深鉢　胴	3		121	
SK-133	7	SK-133	深鉢　胴	3		121	
SK-133	8	SK-133	深鉢　胴	3		121	
SK-133	9	SK-133	深鉢　胴	2		121	
SK-135	1	SK-135	深鉢　口縁	9		122	
SK-135	2	SK-135	深鉢　胴	8･9		122	
SK-136	1	SK- 123.135.136	甕　口～胴	10		122	
SK-136	2	SK-136	深鉢　口縁	9		122	
SK-136	3	SK- 123.135.136	深鉢　胴	8･9		122	
SK-139	1	SK-139	深鉢　口～胴	5	口径　26.5 器高［24.6］	122	77
SK-139	2	SK-139	深鉢　口～胴	5	口径　21.3 器高［24.2］	122	77
SK-139	3	SK-139	深鉢　口～胴	?	口径（15.8） 器高［16.0］	122	77
SK-140	1	SK-140 No.1.4 SK-139	深鉢　口縁	7	口径　26.5 器高［17.2］	123	78
SK-140	2	SK-140 No.3	深鉢　口縁	7		123	
SK-140	3	SK-140	浅鉢　口～体	6･7		123	
SK-140	4	SK-140	深鉢　胴	7		123	
SK-140	5	SK-140	甕　胴	7		123	
SK-140	6	SK-140	深鉢　胴	5･6		123	

SK-141	1	SK-141	深鉢　口縁	7		123	
SK-141	2	SK-141	深鉢　口縁	7		123	
SK-141	3	SK-141	深鉢　口縁	7･8		123	
SK-141	4	SK-141	深鉢　口縁	3		123	
SK-141	5	SK-141	深鉢　胴	7		123	
SK-141	6	SK-141	深鉢　胴	3		123	
SK-141	7	SK-141	深鉢　胴	?		123	
SK-142	1	SK-142 No.1	深鉢 ほぼ完形	4	口径　20.0 器高［32.0］	124	78･100
SK-142	2	SK-142	深鉢　口～胴	4		124	
SK-142	3	SK-142	深鉢　胴	4		124	
SK-142	4	SK-142	深鉢　口縁	5～7	中峠系	124	
SK-142	5	SK-142	深鉢　胴	4		124	
SK-143	1	SK-143 No.1	深鉢　胴	5･6		122	
SK-144	1	SK-144 No.1	深鉢　口～胴	7	口径（19.2） 器高［20.8］	125	78
SK-144	2	SK-144 No.2	深鉢　口縁	7		125	
SK-144	3	SK-144 No.3	甕　口～胴	7	口径（32.0） 器高［21.5］	125	78
SK-144	4	SK-144 No.3	甕　胴	7		125	
SK-144	5	SK-144	甕　胴	7		125	
SK-144	6	SK-144	深鉢　胴	7		125	
SK-144	7	SK-144	深鉢　胴	6		125	
SK-145	1	SK-145	深鉢　口縁	6		122	
SK-145	2	SK-145	深鉢　胴	?		122	
SK-146a	1	SK-146a No.2	深鉢　口～胴	10	口径（42.0） 器高［33.5］	126	
SK-146a	2	SK-146a No.2	深鉢　口～胴	10	口径（37.0） 器高［23.5］	126	
SK-146a	3	SK-146a No.2	深鉢　口～胴	10	口径（39.5） 器高［25.0］	126	
SK-146a	4	SK-146a No.2	深鉢　胴	10	器高［31.0］	126	
SK-146a	5	SK-146a No.2	深鉢　口～胴	9･10	口径（57.2） 器高［52.0］	126	
SK-146a	6	SK-146a No.2	深鉢　口～胴	10		126	
SK-146a	7	SK-146a No.2	深鉢　口縁	10		126	
SK-146a	8	SK-146a No.2	深鉢　口縁	9･10		127	
SK-146a	9	SK-146a No.2	深鉢　胴	10	器高［37.0］	127	
SK-146b	1	SK-146b No.6	深鉢　口～胴	6	口径　20.2 器高［26.0］	127	78
SK-146b	2	SK-146b	深鉢　口縁	5･6	馬高系	127	
SK-146b	3	SK-146b	深鉢　口縁	6		127	
SK-146b	4	SK-146b No.2	浅鉢　口縁	5		128	
SK-146b	5	SK-146b	深鉢　口縁	4～6		128	
SK-146b	6	SK-146b	深鉢　胴	5･6		128	
SK-148	1	SK-148 No.1.2	甕　口～胴	7	口径　38.0 器高［38.0］	128	78･100
SK-148	2	SK-148	深鉢　口縁	7		129	
SK-148	3	SK-148	深鉢　口縁	7		129	
SK-148	4	SK-148	深鉢　口縁	7	曽利系	129	
SK-148	5	SK-148	深鉢　口縁	7		129	
SK-148	6	SK-148	深鉢　口～胴	7		129	
SK-148	7	SK-148	深鉢　胴	7		129	
SK-148	8	SK-148	深鉢　胴	7		129	
SK-151	1	SK-151	深鉢　胴	8･9		130	
SK-152	1	SK-152.153	深鉢 ほぼ完形	4	口径（18.7） 器高　21.5	129	79
SK-152	2	SK-152	深鉢　口縁	4	口径（15.8） 器高［11.5］	129	79
SK-152	3	SK-152	深鉢　口縁	4		129	
SK-152	4	SK-152	深鉢　胴	4～6		129	
SK-152	5	SK-152	深鉢　胴	4～6		129	
SK-152	6	SK-129.152	浅鉢　口縁	4･5	口唇部赤彩残存	130	
SK-153	1	SK-153	深鉢　口縁	3･4		130	
SK-153	2	SK-153	深鉢　口縁	?		130	
SK-153	3	SK-153	深鉢　口縁	4		130	
SK-153	4	SK-153	深鉢　口縁	3		130	
SK-154	1	SK-154 No.3.4 SK-140.154	深鉢　口～胴	4	口径　26.0 器高［30.8］ 2と同一個体 勝坂系	130	79･101
SK-154	2	SK-154 No.6 SK-140	深鉢　底	4	1と同一個体 勝坂系	130	
SK-154	3	SK-154 No.2	深鉢　口縁	4		130	
SK-154	4	SK-154 No.4	深鉢　底	?		130	
SK-155	1	SK-155	深鉢　胴	7･8		130	
SK-156	1	SK-156	深鉢　口縁	9		131	
SK-156	2	SK-156	深鉢　胴	9		131	
SK-156	3	SK-156	深鉢　口縁	8		131	
SK-156	4	SK-156	深鉢　胴	9	曽利系	131	
SK-157	1	SK-157	深鉢　口縁	10		131	
SK-157	2	SK-157	深鉢　胴	10		131	
SK-157	3	SK-157	深鉢　胴	10		131	
SK-157	4	SK-157	深鉢　胴	10		131	
SK-157	5	SK-157	深鉢　胴	10		131	
SK-158	1	SK-158	深鉢　口縁	4		131	
SK-158	2	SK-158	深鉢　胴	4		131	
SK-159	1	SK-159	深鉢　胴	4～6		131	
SK-159	2	SK-159	深鉢　胴	4･5		131	
SK-159	3	SK-159	深鉢　胴	4～6		131	
SK-159	4	SK-159	深鉢　胴	2		131	
SK-160	1	SK-160	深鉢　口縁	6		131	
SK-160	2	SK-160	深鉢　口縁	11		131	
SK-160	3	SK-160	深鉢　胴	4～6		131	
SK-160	4	SK-160	深鉢　胴	10		131	
SK-161a	1	SK-161a	深鉢　口縁	6		133	
SK-161a	2	SK-161a	深鉢　口縁	?		133	
SK-161a	3	SK-161a	深鉢　胴	4･5		133	
SK-161a	4	SK-161a	深鉢　胴	10		133	
SK-162a	1	SK-161 No.1 SK-161.162	深鉢 ほぼ完形	5	口径　20.2 器高　34.6	133	79
SK-162a	2	SK-162a	深鉢　口～胴	5		133	
SK-162a	3	SK-162a	深鉢　口～胴	5	口径　13.0 器高［13.6］	133	79
SK-162a	4	SK-162a	深鉢　口縁	5		133	
SK-162a	5	SK-162a	深鉢　口～胴	5?	口径　18.8 器高［15.5］	134	
SK-162a	6	SK-162a	深鉢　口縁	5		134	
SK-162a	7	SK-162a	深鉢　口縁	5		134	
SK-162a	8	SK-162a	深鉢　胴	5		134	
SK-162a	9	SK-162a	深鉢　胴	7		134	
SK-162b	1	SK-162b	深鉢　口縁	11		134	
SK-162b	2	SK-162b	深鉢　胴	8･9		134	
SK-162b	3	SK-162b	深鉢　胴	8･9		134	
SK-163b	1	SK-163b	深鉢　胴	7		134	
SK-166	1	SK-166 No.1	深鉢　口～胴	4	口径　23.0 器高［16.0］	134	79
SK-166	2	SK-166	深鉢　口～胴	4	口径（15.4） 器高［17.5］	134	80
SK-166	3	SK-166 No.1.2.3	深鉢　口～胴	4	口径（27.8） 器高［32.2］ 4と同一個体	135	80
SK-166	4	SK-166 No.1.2.3	深鉢　口縁	4	3と同一個体	135	
SK-166	5	SK-166	深鉢　胴	4	6と同一個体	135	
SK-166	6	SK-166	深鉢　胴	4	5と同一個体	136	
SK-166	7	SK-166	深鉢　胴	4		136	
SK-166	8	SK-166	深鉢　胴	4		136	
SK-166	9	SK-166 No.4	深鉢　胴	4		136	
SK-167	1	SK-167	深鉢　口縁	3･4		136	
SK-167	2	SK-167	深鉢　口縁	9		136	
SK-167	3	SK-167	深鉢　胴	7		136	
SK-167	4	SK-167	深鉢　底	4		136	
SK-168	1	SK-168	深鉢　口縁	11･12		136	
SK-168	2	SK-168	深鉢　胴	12		136	
SK-168	3	SK-168	深鉢　口～胴	12		137	80
SK-170	1	SK-170	深鉢　口縁	5		137	
SK-170	2	SK-170	深鉢　口縁	4		137	
SK-170	3	SK-170	深鉢　口縁	10		137	
SK-170	4	SK-170	深鉢　口縁	7		137	
SK-170	5	SK-170	深鉢　口縁	11		137	
SK-170	6	SK-170	深鉢　胴	?		137	
SK-171	1	SK-171	深鉢　口縁	7		137	
SK-171	2	SK-171	深鉢　胴	6		137	
SK-171	3	SK-171	深鉢　胴	7		137	
SK-171	4	SK-171	深鉢　胴	8		137	
SK-172	1	SK-172.176	深鉢　口～胴	3	口径（23.5） 器高［26.0］	138	80
SK-172	2	SK-172	浅鉢　口縁	3		138	
SK-172	3	SK-172	深鉢　胴	3･4		138	
SK-172	4	SK-172	深鉢　胴	3		138	
SK-174	1	SK-174	深鉢　胴	5･6		138	
SK-174	2	SK-174	深鉢　胴	7		138	
SK-174	3	SK-174	深鉢　胴	9		138	
SK-175	1	SK-175	深鉢　胴	8		138	
SK-175	2	SK-175	深鉢　底	7		138	
SK-176	1	SK-172.176	深鉢　口縁	11		138	
SK-176	2	SK-176	深鉢　胴	5･6		138	
SK-176	3	SK-172.176	深鉢　胴	11		138	
SK-177	1	SK-177 No.1	深鉢　胴	11	胴大（24.2） 器高［20.5］	139	80
SK-177	2	SK-177 No.1	樽　口～胴	11		139	80
SK-179	1	SK-179.180	深鉢 ほぼ完形	4･5	口径　8.3 器高［13.7］	139	81
SK-179	2	SK-179	深鉢　口縁	4･5		139	
SK-179	3	SK-179	深鉢　胴	4･5		139	
SK-179	4	SK-179.180	深鉢　胴	4･5		139	
SK-179	5	SK-179.180	深鉢　底	?		139	
SK-180	1	SK-180 No.3	深鉢 ほぼ完形	?	口径　14.8 器高　19.0 底部木葉痕あり	139	81
SK-180	2	SK-180	深鉢　口縁	5		139	
SK-180	3	SK-180	深鉢　口縁	5		139	
SK-180	4	SK-180	深鉢　口縁	5	中峠系	139	

SK-180	5	SK-180	深鉢　胴	5		139	
SK-180	6	SK-180	深鉢　底	6･7		139	
SK-180	7	SK-180	深鉢　口縁	5		140	81
SK-180	8	SK-180 No.1.2 SK-179	深鉢　口～胴	5	口径　28.9 器高［39.8］	140	81
SK-182	1	SK-182	深鉢　口縁	10		140	
SK-182	2	SK-182	深鉢　胴	8･9		140	
SK-183	1	SK-183	浅鉢　口縁	6･7	内外面赤彩残存	140	
SK-183	2	SK-183	深鉢　口～胴	6･7		140	
SK-183	3	SK-183	深鉢　胴	8		140	
SK-183	4	SK-183	深鉢　胴	9･10		140	
SK-183	5	SK-183	深鉢　口縁	6･7		140	
SK-184	1	SK-184	深鉢　口縁	3		140	
SK-184	2	SK-184	深鉢　口縁	3		140	
SK-184	3	SK-184	深鉢　胴	3		140	
SK-184	4	SK-184	深鉢　胴	3～5	勝坂系	140	
SK-184	5	SK-184	深鉢　胴	3		140	
SK-184	6	SK-184 No.3 SK-185 N0.1 SK-183	深鉢 1/3遺存	3	口径（22.5） 器高　32.2	141	81
SK-184	7	SK-184 No.2	深鉢　口～胴	?	口径　29.2 器高［25.5］	141	
SK-186	1	SK-186	深鉢　口～胴	?		142	
SK-186	2	SK-186	深鉢　胴	10		142	
SK-188	1	SK-188	深鉢　胴	3･4		141	
SK-190	1	SK-190	甕　口縁	6		141	
SK-190	2	SK-190	甕　口縁	7		141	
SK-190	3	SK-190	深鉢　口縁	2		142	
SK-190	4	SK-190	深鉢　口縁	3･4		142	
SK-190	5	SK-190	深鉢　口縁	3		142	
SK-190	6	SK-190	深鉢　胴	3･4		142	
SK-190	7	SK-190	深鉢　胴	4～6		142	
SK-191	1	SK-191	深鉢　口縁	3		142	
SK-191	2	SK-191	深鉢　口縁	2･3		142	
SK-191	3	SK-191	深鉢　胴	2		142	
SK-191	4	SK-191	深鉢　胴	3･4		142	
SK-191	5	SK-191	深鉢　胴	3･4		142	
SK-191	6	SK-190 No.3	深鉢　底	?		142	
SK-192	1	SK-191.192	深鉢　口～胴	10		143	
SK-192	2	SK-192	深鉢　口縁	10･11	動物意匠把手	143	105
SK-192	3	SK-192	深鉢　胴	10		143	
SK-192	4	SK-192	深鉢　胴	11		143	
SK-192	5	SK-192	浅鉢　底	10･11		143	
SK-195	1	SK-195	深鉢　口縁	3		142	
SK-195	2	SK-195	深鉢　口縁	3		142	
SK-196	1	SK-196	深鉢　口～胴	2･3		143	
SK-196	2	SK-196	深鉢　口～胴	3		143	
SK-196	3	SK-196	深鉢　口縁	3		143	
SK-196	4	SK-19	深鉢　胴	3		143	
SK-196	5	SK-196	深鉢　胴	3		143	
SK-196	6	SK-196	深鉢　胴	2･3		143	
SK-196	7	SK-196	深鉢　胴	3		143	
SK-196	8	SK-196	深鉢　胴	3		143	
SK-196	9	SK-196	深鉢　胴	2･3		143	
SK-196	10	SK-196	深鉢　胴	2･3		143	
SK-198	1	SK-198	深鉢　口縁	10		142	
SK-198	2	SK-198	深鉢　胴	8･9		142	
SK-199	1	SK-199	深鉢　口縁	11		143	
SK-199	2	SK-199	深鉢　口縁	11	口径（32.3） 器高［13.2］	143	
SK-199	3	SK-199	深鉢　口～胴	11		144	
SK-199	4	SK-199	深鉢　口縁	10･11		144	
SK-199	5	SK-199	深鉢　口縁	9		144	
SK-199	6	SK-199	深鉢　口縁	11		144	
SK-199	7	SK-199	深鉢　口縁	11		144	
SK-199	8	SK-199	深鉢　口縁	?	口径　7.0 器高　[3.8]	144	
SK-199	9	SK-199	深鉢　胴	12･13		144	
SK-199	10	SK-199	深鉢　胴	10		144	
SK-202	1	SK-202	深鉢　胴	11･12		142	
SK-206	1	SK-206	深鉢　胴	9･10		142	
SK-206	2	SK-206	深鉢　胴	9･10		142	
SK-209	1	SK-209	深鉢 3/4遺存	4	口径（20.5） 器高　38.8	144	81
SK-209	2	SK-209	甕　口～胴	4	口径（30.5） 器高［35.5］	144	82
SK-209	3	SK-209	台付土器 1/2遺存	4	口径（11.2） 器高　14.0	145	
SK-209	4	SK-209	深鉢　胴	4	器高［14.0］ 胴大（10.5）	145	
SK-209	5	SK-209	深鉢　胴	4		145	
SK-209	6	SK-209	深鉢　口縁	4		145	
SK-210	1	SK-210	深鉢　口縁	9	曽利系	145	
SK-210	2	SK-210	深鉢　口～胴	10		145	
SK-210	3	SK-210	深鉢　胴	12		145	
SK-211ac	1	SK-211ac	深鉢　口縁	10		145	
SK-211ac	2	SK-211ac	深鉢　胴	4～7	馬高系	145	
SK-211ac	3	SK-211ac	深鉢　胴	?		145	
SK-211ac	4	SK-211ac	深鉢　胴	6･7		145	

SK-212	1	SK-212	深鉢　口縁	9･10		145	
SK-212	2	SK-212	深鉢　口縁	9		145	
SK-213	1	SK-213	深鉢　口～胴	12	口径（35.8） 器高［34.2］	146	82
SK-213	2	SK-213	深鉢　口～胴	12	口径（19.8） 器高［16.0］	146	82
SK-214	1	SK-214	深鉢　胴	5		147	
SK-216	1	SK-216 No.1	深鉢　口～胴	4	口径　15.2 器高［15.8］	147	82
SK-216	2	SK-216	深鉢　口縁	4		147	
SK-216	3	SK-216	深鉢　胴	4		147	
SK-216	4	SK-216	深鉢　口～胴	4	5と同一個体	147	
SK-216	5	SK-216	深鉢　胴	4	4と同一個体	147	
SK-217	1	SK-217	深鉢　口～胴	12		147	
SK-217	2	SK-217	深鉢　口縁	12		147	
SK-217	3	SK-217	深鉢　口縁	11･12		147	
SK-217	4	SK-217	深鉢　胴	11･12		147	
SK-217	5	SK-217	深鉢　胴	11		147	
SK-219	1	SK-219	浅鉢　口～体	4	口径（28.4） 器高［12.5］	147	
SK-219	2	SK-219	深鉢　胴	3･4		147	
SK-219	3	SK-219	深鉢　胴	4		147	
SK-219	4	SK-219	深鉢　胴	4		147	
SK-222	1	SK-222	深鉢　胴	10		147	
SK-226	1	SK-226	深鉢　口縁	4		147	
SK-226	2	SK-226	深鉢　口縁	4		147	
SK-226	3	SK-226	深鉢　胴	3･4		147	
SK-226	4	SK-226 No.4	深鉢　口～胴	4	口径（19.6） 器高［26.3］	148	82
SK-226	5	SK-226 No.1	深鉢　口縁	4	口径（20.8） 器高［12.8］	148	
SK-226	6	SK-226 No.1	深鉢　胴	4		148	
SK-226	7	SK-226 No.1	深鉢　底	4		148	
SK-232	1	SK-232	深鉢　口縁	10		148	
SK-232	2	SK-232	深鉢　口縁	11		148	
SK-232	3	SK-232	深鉢　口縁	11		148	
SK-232	4	SK-232	深鉢　胴	11		148	
SK-232	5	SK-232	深鉢　胴	11		148	
SK-232	6	SK-232	深鉢　胴	11		148	
SK-232	7	SK-232	深鉢　胴	11		148	
SK-233	1	SK-233	深鉢　胴	11		149	
SK-234	1	SK-234	深鉢　胴	4		149	
SK-235	1	SK-235	深鉢　口縁	10		149	
SK-235	2	SK-235	深鉢　口縁	10		149	
SK-235	3	SK-235	深鉢　胴	10～12		149	
SK-239	1	SK-239	深鉢　口縁	11		149	
SK-239	2	SK-239	深鉢　口縁	11		149	
SK-239	3	SK-239	深鉢　胴	12		149	
SK-239	4	SK-239	土製円盤		直径　3.6 厚さ　1.1 重さ　16.5	149	106
SK-243	1	SK-243	深鉢　口縁	12		149	
SK-243	2	SK-243	深鉢　口縁	12		149	
SK-244	1	SK-244	深鉢　口縁	5		149	
SK-244	2	SK-244	深鉢　胴	5		149	
SK-244	3	SK-244	深鉢　胴	5		149	
SK-244	4	SK-244	深鉢　胴	5		149	
SK-249	1	SK-249	深鉢　胴	5･6		149	
SK-249	2	SK-249	深鉢　胴	12		149	
SK-251	1	SK-251	深鉢　口縁	?		149	
SK-251	2	SK-251	深鉢　口縁	11		149	
SK-252	1	SK-252	深鉢　胴	4		149	
SK-253	1	SK-253	深鉢　胴	12		149	
SK-256	1	SK-256	深鉢　口縁	6		149	
SK-257	1	SK-257 No.6.8.10 SK-257.274	深鉢　口縁	5	口径（29.0） 器高［22.5］	150	
SK-257	2	SK-257	深鉢　口～胴	5		150	
SK-257	3	SK-257	深鉢　口～胴	5	口径（23.2） 器高［17.0］	150	
SK-257	4	SK-257	深鉢　口～胴	5	口径（13.4） 器高［17.2］	150	82
SK-257	5	SK-257	深鉢　口縁	5		150	
SK-257	6	SK-257	深鉢　胴	5		150	
SK-257	7	SK-257 No.2.3.4.5.6.7	深鉢　胴	5		150	
SK-257	8	SK-257	深鉢　胴～底	5		150	
SK-257	9	SK-257 No.1	深鉢　口～胴	5	口径　19.2 器高［22.5］	151	83
SK-257	10	SK-257	深鉢　口縁	3･4		151	
SK-257	11	SK-257	深鉢　口縁	3･4		151	
SK-257	12	SK-257	深鉢　口縁	4		151	
SK-257	13	SK-257	深鉢　口縁	?		151	
SK-257	14	SK-257	深鉢　口縁	?		151	
SK-257	15	SK-257	深鉢　口縁	?		151	
SK-257	16	SK-257	深鉢　口縁	5		151	
SK-258	1	SK-258	深鉢　胴	12		151	83
SK-258	2	SK-258	深鉢　口縁	12		151	

SK-258	3	SK-258	深鉢　口縁	12		151	
SK-258	4	SK-258	深鉢　胴	12		151	
SK-260	1	SK-260	深鉢　口縁	10		149	
SK-260	2	SK-260	深鉢　口縁	9･10		149	
SK-260	3	SK-260	深鉢　口縁	12		149	
SK-260	4	SK-260	深鉢　胴	9	曽利系	149	
SK-260	5	SK-260	深鉢　胴	7		149	
SK-260	6	SK-260	深鉢　胴	7		149	
SK-260	7	SK-260	深鉢　胴	7		149	
SK-260	8	SK-260	深鉢　胴	12		149	
SK-263	1	SK-263	深鉢　口縁	11		151	
SK-263	2	SK-263	深鉢　口縁	11		151	
SK-263	3	SK-263	深鉢　胴	11		151	
SK-265	1	SK-265 No.1	深鉢　1/3遺存	8	口径（19.8） 器高　28.2	152	83
SK-265	2	SK-265 No.1	深鉢　胴	8		152	
SK-267	1	SK-267 No.1	深鉢　口～胴	12		152	
SK-268･269	1	SK-268･269	深鉢　口縁	11		152	
SK-268･269	2	SK-268･269	深鉢　口縁	10･11		152	
SK-268･269	3	SK-268･269	深鉢　口縁	11		152	
SK-270	1	SK-270	深鉢　胴	8･9		152	
SK-271	1	SK-271	深鉢　胴	10		152	
SK-271	2	SK-271	深鉢　胴	12		152	
SK-271	3	SK-271	深鉢　胴	12		152	
SK-271	4	SK-271	深鉢　胴	12		152	
SK-272･273	1	SK-272･273	深鉢　口縁	12		152	
SK-272･273	2	SK-273	深鉢　口縁	12		152	
SK-272･273	3	SK-273	深鉢　口縁	12		152	
SK-272･273	4	SK-273	深鉢　胴	12		152	
SK-272･273	5	SK-273	深鉢　胴	12		152	
SK-272･273	6	SK-273	深鉢　胴	12		152	
SK-272･273	7	SK-273	深鉢　胴	12		152	
SK-272･273	8	SK-272	深鉢　胴	12		152	
SK-272･273	9	SK-272･273	深鉢　胴	12		152	
SK-274	1	SK-274	深鉢　口縁	4～6		153	
SK-274	2	SK-274	深鉢　胴	4～6		153	
SK-275	1	SK-275	深鉢　胴	11･12		153	
SK-275	2	SK-275	深鉢　胴	11･12		153	
SK-277	1	SK-277	深鉢　口縁	11		153	
SK-280	1	SK-280	深鉢　口縁	11	動物意匠把手	153	105
SK-282	1	SK-282	深鉢　胴	10		153	
SK-282	2	SK-282	深鉢　胴	11･12		153	
SK-285	1	SK-285	深鉢　胴	10		153	
SK-285	2	SK-285	深鉢　胴	10		153	
SK-286	1	SK-286	深鉢　胴	10		153	
SK-286	2	SK-286	深鉢　胴	12		153	
SK-286	3	SK-286	深鉢　胴	10		153	
SK-286	4	SK-286	深鉢　胴	12		153	
SK-286	5	SK-286	深鉢　胴	12		153	
SK-289	1	SK-289	深鉢　口縁	12		153	
SK-289	2	SK-289	土製円盤		直径　4.0 厚さ　0.9 重さ　18.8	153	106
SK-291	1	SK-291	深鉢　口～胴	11		154	
SK-291	2	SK-291	深鉢　口～胴	11		154	
SK-291	3	SK-291	深鉢　胴	11		154	
SK-291	4	SK-291	深鉢　口～胴	11		154	
SK-291	5	SK-291	深鉢　口縁	11		154	
SK-291	6	SK-291	深鉢　口縁	11		154	
SK-291	7	SK-291	深鉢　口縁	11		154	
SK-291	8	SK-291	深鉢　口縁	11		154	
SK-291	9	SK-291	深鉢　胴	11		154	
SK-291	10	SK-291	深鉢　胴	11		154	
SK-291	11	SK-291	深鉢　胴	11		154	
SK-291	12	SK-291	深鉢　胴	11		154	
SK-291	13	SK-291	深鉢　胴	11		154	
SK-291	14	SK-291	深鉢　胴	11		154	
SK-291	15	SK-291	土製円盤		直径　3.0 厚さ　0.8 重さ　9.2	154	106
SK-291	16	SK-291	土製円盤		直径　3.2 厚さ　1.2 重さ　13.3	154	106
SK-291	17	SK-291	土製円盤		直径　4.6 厚さ　0.8 重さ　17.8	154	106
SK-291	18	SK-291	土製円盤		直径　4.6 厚さ　1.0 重さ　22.8	154	106
SK-291	19	SK-291	土製円盤		直径　4.6 厚さ　1.2 重さ　24.4	154	106
SK-291	20	SK-291	土製円盤		直径　4.4 厚さ　0.9 重さ　19.5	154	106
SK-291	21	SK-291	蓋		直径　(9.8) 器高　2.8	154	105
SK-292	1	SK-292	深鉢　口縁	12		153	
SK-292	2	SK-292	深鉢　口縁	12		153	
SK-292	3	SK-292	深鉢　口縁	12		153	
SK-292	4	SK-292	深鉢　胴	12		153	
SK-292	5	SK-292	深鉢　胴	12		153	
SK-292	6	SK-292	深鉢　胴	12		153	
SK-292	7	SK-292	深鉢　胴	12		153	
SK-292	8	SK-292	深鉢　胴	12		153	
SK-292	9	SK-292	深鉢　胴	12		153	
SK-292	10	SK-292	深鉢　胴	12		153	
SK-292	11	SK-292	注口土器? 胴	12		153	
SK-292	12	SK-292	深鉢　胴	12		153	
SK-292	13	SK-292	土偶　腰部	12	長さ　[6.0] 幅　[6.6] 厚さ　5.0 重さ[143.9]	153	108
SK-293	1	SK-293	深鉢　口縁	10		153	
SK-293	2	SK-293	深鉢　胴	8･9		153	
SK-293	3	SK-293	深鉢　胴	12		153	
SK-297	1	SK-297 No.1	深鉢　口～底	12	口径（31.5） 器高　52.5	155	83
SK-300	1	SK-300 N0.1	深鉢　口～胴	12	口径（35.8） 器高［28.0］	155	83
SK-300	2	SK-300 N0.1	深鉢　口～胴	12		155	
SK-301	1	SK-301	深鉢　胴	6･7		154	
SK-307	1	SK-307	深鉢　口～胴	11		155	
SK-307	2	SK-307	深鉢　口縁	11		155	
SK-307	3	SK-307	深鉢　口縁	11		155	
SK-307	4	SK-307	深鉢　口～胴	11	口径（35.6） 器高［24.5］	156	83
SK-307	5	SK-307	深鉢　口～胴	11		156	
SK-307	6	SK-307	深鉢　胴	11		156	
SK-307	7	SK-307	深鉢　胴	11		156	84
SK-307	8	SK-307	深鉢　胴	11		156	
SK-307	9	SK-307	深鉢　胴	11		156	
SK-308	1	SK-308	深鉢　口縁	10		154	
SK-324	1	SK-324	深鉢　胴	12		155	
SK-324	2	SK-324	深鉢　胴	4～6		155	
SK-326	1	SK-326	深鉢　口縁	10		155	
SK-326	2	SK-326	深鉢　口縁	10		155	
SK-326	3	SK-326	深鉢　胴	9		155	
SK-326	4	SK-326	深鉢　胴	10		155	
SK-328	1	SK-328	深鉢　口縁	8･9		156	
SK-328	2	SK-327	深鉢　口縁	9		156	
SK-328	3	SK-327	深鉢　口縁	10		156	
SK-328	4	SK-328	深鉢　口縁	11		156	
SK-328	5	SK-328	深鉢　口縁	12		156	
SK-328	6	SK-328	深鉢　口縁	11		156	
SK-328	7	SK-327	深鉢　口縁	?		156	
SK-328	8	SK-327	深鉢　胴	7		157	
SK-328	9	SK-328	深鉢　胴	8･9		157	
SK-328	10	SK-328	深鉢　胴	10		157	
SK-328	11	SK-328	深鉢　胴	12		157	
SK-328	12	SK-328	深鉢　胴	12		157	
SK-328	13	SK-328	土製円盤		直径　4.4 厚さ　1.1 重さ　24.6	157	106
SK-328	14	SK-328	土製円盤		直径　3.2 厚さ　1.0 重さ　11.2	157	106
SK-331	1	SK-331	深鉢　口～胴	11		157	84
SK-333	1	SK-333	深鉢　口縁	11		157	
SK-333	2	SK-333	深鉢　胴	12		157	
SK-333	3	SK-333	深鉢　胴	12		157	
SK-334	1	SK-334	深鉢　口縁	3		157	
SK-334	2	SK-334	深鉢　口縁	2･3		157	
SK-334	3	SK-334	深鉢　胴	3		157	
SK-334	4	SK-334.392	深鉢　底	3		157	
SK-335	1	SK-335	深鉢　胴	4～6		157	
SK-335	2	SK-335	深鉢　胴	10		157	
SK-335	3	SK-335	深鉢　胴	12		157	
SK-358	1	SK-358	深鉢　口縁	9		157	
SK-358	2	SK-358	深鉢　胴	10～12		157	
SK-359	1	SK-359	深鉢　口～胴	11		158	
SK-359	2	SK-359	深鉢　口縁	10		158	
SK-359	3	SK-359	深鉢　口縁	10		158	
SK-360	1	SK-360	深鉢　胴	9･10		158	

SK-364	1	SK-364	深鉢　口縁	10		158	
SK-364	2	SK-364	深鉢　胴	8		158	
SK-364	3	SK-364	深鉢　胴	10		158	
SK-364	4	SK-364	深鉢　胴	10		158	
SK-365	1	SK-365	深鉢　胴	12		158	
SK-366	1	SK-366	深鉢　胴	11		158	
SK-366	2	SK-366	深鉢　胴	12		158	
SK-367	1	SK-367 No.1	注口付浅鉢 口～体	11	口径（24.4） 器高［19.0］	159	84
SK-367	2	SK-367 No.1	深鉢　口縁	11		159	
SK-367	3	SK-367	深鉢　口縁	11		159	
SK-367	4	SK-367	深鉢　口縁	11		159	
SK-367	5	SK-367	深鉢　胴	11		159	84
SK-367	6	SK-367	樽　胴　把手	11		159	
SK-367	7	SK-367	深鉢　口～胴	11	口径（28.2） 器高［16.5］	159	84
SK-368	1	SK-368	深鉢　胴	10		158	
SK-370	1	SK-370	深鉢　口～胴	10･11		158	
SK-370	2	SK-370	深鉢　胴	8･9		158	
SK-370	3	SK-370	深鉢　胴	10		158	
SK-370	4	SK-370	深鉢　口縁	10		158	
SK-371	1	SK-371	深鉢　口縁	11		158	
SK-371	2	SK-371	深鉢　口縁	11		158	
SK-372	1	SK-372	深鉢　口縁	10		158	
SK-372	2	SK-372	深鉢　胴	10		158	
SK-372	3	SK-372	深鉢　胴	7		158	
SK-372	4	SK-372	土製円盤		直径　4.5 厚さ　0.7 重さ［11.6］	158	106
SK-372	5	SK-372	深鉢　胴	10		159	
SK-374	1	SK-374	深鉢　胴	10		159	
SK-374	2	SK-374	深鉢　口縁	3		159	
SK-374	3	SK-374	深鉢　胴	8･9		159	
SK-374	4	SK-374	深鉢　胴	9		159	
SK-374	5	SK-374	深鉢　胴	5～7		159	
SK-374	6	SK-374	深鉢　胴	8		159	
SK-376a	1	SK-376a	深鉢　口～胴	12		160	84
SK-376a	2	SK-376a	深鉢　底	12		160	
SK-377	1	SK-377	深鉢　胴	11		159	
SK-378	1	SK-378	深鉢　胴	11		159	
SK-378	2	SK-378	深鉢　胴	11		159	
SK-380	1	SK-380	深鉢　胴	6･7		160	
SK-380	2	SK-380	深鉢　胴	8		160	
SK-381	1	SK-381	深鉢　胴	10		160	
SK-383	1	SK-383	深鉢　口縁	8		160	
SK-384	1	SK-384	深鉢　口縁	10		160	
SK-384	2	SK-384	深鉢　胴	6		160	
SK-384	3	SK-384	深鉢　胴	8		160	
SK-384	4	SK-384	深鉢　胴	10		160	
SK-384	5	SK-384	深鉢　胴	10		160	
SK-384	6	SK-384	土製円盤		直径　6.0 厚さ　1.1 重さ　39.0	160	106
SK-386	1	SK-386	深鉢　胴	10		160	
SK-386	2	SK-386	深鉢　胴	10		160	
SK-391	1	SK-391	深鉢　口縁	2･3		160	
SK-391	2	SK-391	深鉢　胴	8･9		160	
SK-391	3	SK-391	深鉢　胴	9		160	
SK-397	1	SK-397	深鉢　口縁	12		160	
SK-397	2	SK-397	深鉢　口縁	11		160	
SK-397	3	SK-397	深鉢　胴	8		160	
SK-397	4	SK-397	深鉢　胴	8･9		160	
SK-397	5	SK-397	深鉢　胴	12		160	
SK-397	6	SK-397	深鉢　胴	12		160	
SK-398	1	SK-398	深鉢　口縁	3		160	
SK-398	2	SK-398	深鉢　胴	4		160	
SK-399	1	SK-399	深鉢　胴	9		160	
SK-401	1	SK-401	深鉢　胴	10		161	
SK-401	2	SK-401	深鉢　胴	9･10		161	
SK-401	3	SK-401	深鉢　胴	10･11		161	
SK-401	4	SK-401	深鉢　胴	10･11		161	
SK-401	5	SK-401	深鉢　胴	10･11		161	
SK-401	6	SK-401	深鉢　底	?		161	
SK-401	7	SK-401	土製品		長さ［8.1］ 幅　2.5 厚さ　1.8 重さ［30.9］	161	108
SK-402ab	1	SK-402	深鉢　口～胴	11		161	
SK-402ab	2	SK-402	深鉢　口～胴	10		161	
SK-402ab	3	SK-402	深鉢　口～胴	10		161	
SK-402ab	4	SK-402	深鉢　口縁	10		161	
SK-402ab	5	SK-402	深鉢　口縁	10		161	
SK-402ab	6	SK-402	深鉢　胴	12		161	
SK-402ab	7	SK-402	深鉢　胴	10		161	
SK-404	1	SK-404	深鉢　胴	?		161	
SK-404	2	SK-404	深鉢　口縁	?		161	
SK-405	1	SK-405	深鉢　胴	10		161	
SK-406	1	SK-406	深鉢　口縁	10		161	

SK-408	1	SK-408	深鉢　口縁	10		161	
SK-408	2	SK-408	深鉢　口縁	10		161	
SK-408	3	SK-408	深鉢　胴	10		161	
SK-408	4	SK-408	深鉢　胴	10		161	
SK-408	5	SK-408	深鉢　胴	10		161	
SK-408	6	SK-408	深鉢　胴	10		161	
SK-408	7	SK-408	深鉢　底	10		161	
SK-410	1	SK-410	深鉢　口縁	12		161	
SK-410	2	SK-410	深鉢　胴	12		161	
SK-415	1	SK-415	深鉢　胴	7･8		162	
SK-417	1	SK-417	深鉢　胴	12		162	
SK-417	2	SK-417	深鉢　胴	12?		162	
SK-419	1	SK-419	深鉢　口縁	10		162	
SK-419	2	SK-419	深鉢　胴	9		162	
SK-420	1	SK-420	深鉢　口縁	12		162	
SK-420	2	SK-420	深鉢　口縁	12		162	
SK-420	3	SK-420	深鉢　胴	?		162	
SK-421	1	SK-421	深鉢　口縁	9		162	
SK-421	2	SK-421	深鉢　口縁	10		162	
SK-421	3	SK-421	深鉢　胴	9		162	
SK-421	4	SK-421	深鉢　胴	7		162	
SK-422	1	SK-422	深鉢　胴	8･9		162	
SK-422	2	SK-422	深鉢　胴	8･9		162	
SK-422	3	SK-422	深鉢　胴	10		162	
SK-422	4	SK-422	浅鉢　底	10		162	
SK-423	1	SK-423	深鉢　口縁	10		162	
SK-423	2	SK-423	深鉢　口縁	10		162	
SK-425	1	SK-425	深鉢　口縁	11		162	
SK-425	2	SK-425	深鉢　口縁	11		162	
SK-425	3	SK-425	深鉢　口縁	11		162	
SK-425	4	SK-425	深鉢　口縁	11		162	
SK-425	5	SK-425	深鉢　口縁	11		162	
SK-425	6	SK-425	深鉢　口縁	11		162	
SK-427	1	SK-427	深鉢　口～胴	11		163	85
SK-427	2	SK-427	深鉢　口～胴	11		163	
SK-431ab	1	SK-431ab	深鉢　口縁	7		162	
SK-432	1	SK-433	深鉢　口縁	10		163	
SK-432	2	SK-433	深鉢　胴	7		163	
SK-432	3	SK-432	深鉢　胴	10	胴大（34.0） 器高［20.4］	163	
SK-439	1	SK-439	深鉢　口縁	6･7		163	
SK-439	2	SK-439	深鉢　口縁	7		163	
SK-439	3	SK-439	深鉢　口縁	11		163	
SK-439	4	SK-439	深鉢　口縁	8･9		163	
SK-439	5	SK-439	深鉢　胴	7		163	
SK-439	6	SK-439	深鉢　胴	12		163	
SK-439	7	SK-439	深鉢　胴	12		163	
SK-439	8	SK-439	深鉢　胴	12		163	
SK-439	9	SK-439	深鉢　胴	12		163	
SK-440	1	SK-440	深鉢　口縁	11		163	
SK-440	2	SK-440	深鉢　口縁	11		163	
SK-443	1	SK-443	深鉢　口縁	9		163	
SK-443	2	SK-443	深鉢　胴	8･9		163	
SK-443	3	SK-443	深鉢　胴	12		163	
SK-444	1	SK-444	深鉢　胴	4～6		163	
SK-445	1	SK-445	深鉢　口～胴	12	口径（30.0） 器高［33.0］	164	85
SK-449	1	SK-449	深鉢　口縁	12		163	
SK-454	1	SK-454	土製円盤		直径　4.6 厚さ　0.7 重さ［19.5］	163	106
SK-455	1	SK-455	深鉢　口～胴	12	口径　46.5 器高［39.0］	165	85･101
SK-457	1	SK-457	深鉢　胴	8･9		163	
SK-457	2	SK-457	土製品		長さ　［3.4］ 幅　3.3 厚さ　4.2 重さ［40.1］	163	108
SK-458	1	SK-458	深鉢　口縁	11		164	
SK-459	1	SK-459	深鉢　口縁	12		164	
SK-459	2	SK-459	深鉢　口～胴	12		164	
SK-459	3	SK-459	深鉢　口縁	12		164	
SK-459	4	SK-459	深鉢　胴	12		164	
SK-461	1	SK-461	土製円盤	8･9	直径　4.3 厚さ　0.7 重さ　15.7	164	106
SK-464	1	SK-464	深鉢　口縁	?		164	
SK-464	2	SK-464	深鉢　口縁	11		164	
SK-466	1	SK-466	深鉢　胴	7		164	
SK-468	1	SK-468	深鉢　口～胴	11		165	
SK-468	2	SK-468	深鉢　口～胴	11		165	
SK-468	3	SK-468	深鉢　口～胴	11		166	
SK-468	4	SK-468	深鉢　口～胴	11		166	
SK-468	5	SK-468	深鉢　口縁	10		166	
SK-468	6	SK-468	深鉢　口縁	10		166	
SK-468	7	SK-468	深鉢　口縁	11		166	
SK-468	8	SK-468	深鉢　口縁	11		166	
SK-468	9	SK-468	深鉢　口～胴	11		166	
SK-468	10	SK-468	深鉢　胴	10		166	

SK-468	11	SK-468	深鉢　胴	10		166	
SK-468	12	SK-468	深鉢　胴～底	10		166	
SK-468	13	SK-468	深鉢　口～胴	11	口径（27.2） 器高［26.8］	167	85
SK-468	14	SK-468	深鉢　口～胴	11		167	
SK-468	15	SK-468	深鉢　口～胴	11		167	
SK-468	16	SK-468	深鉢　口～胴	11	口径（23.2） 器高［20.4］	167	85
SK-468	17	SK-468	深鉢　口縁	11		167	
SK-468	18	SK-468	深鉢　口縁	11		167	
SK-468	19	SK-468	深鉢　口～胴	11	口径（24.0） 器高［18.5］	167	85
SK-468	20	SK-468	深鉢　口～胴	11	口径（25.6） 器高［28.4］	167	86
SK-468	21	SK-468	深鉢　口～胴	11		168	
SK-468	22	SK-468	深鉢　口縁	11		168	
SK-468	23	SK-468	深鉢　口～胴	11		168	
SK-468	24	SK-468	深鉢　口～胴	11		168	
SK-468	25	SK-468	深鉢　口縁	11		168	
SK-468	26	SK-468	深鉢　口縁	11		168	
SK-468	27	SK-468	深鉢　口縁	11		168	
SK-468	28	SK-468	深鉢　胴	11		168	
SK-468	29	SK-468	深鉢　口縁	11		168	
SK-468	30	SK-468	深鉢　口縁	11		168	
SK-468	31	SK-468	深鉢　口縁	11		168	
SK-468	32	SK-468	深鉢　口縁	11		168	
SK-468	33	SK-468	深鉢　口縁 把手	11		168	105
SK-468	34	SK-468	土製円盤		直径　5.3 厚さ　1.0 重さ　39.2	168	106
SK-468	35	SK-468	土製円盤		直径　5.0 厚さ　0.9 重さ　27.4	168	106
SK-468	36	SK-468	土製円盤		直径　4.1 厚さ　0.8 重さ　20.3	168	106
SK-469	1	SK-469	深鉢　口～胴	11	口径（33.8） 器高［11.8］	169	86
SK-470	1	SK-470	深鉢　口～胴	11	口径　34.4 器高［24.6］	169	86
SK-478	1	SK-478	深鉢　口縁	10		169	
SK-478	2	SK-478	浅鉢　口縁	2		169	
SK-478	3	SK-478	深鉢　胴	7･8		169	
SK-478	4	SK-478	深鉢　胴	8･9		169	
SK-478	5	SK-478	深鉢　胴	8･9		169	
SK-479	1	SK-479	深鉢　口縁	9		169	
SK-479	2	SK-479	深鉢　口縁	8		169	
SK-479	3	SK-479	深鉢　胴	8		169	
SK-479	4	SK-479	深鉢　胴	9		169	
SK-480	1	SK-480	深鉢　口縁	9		170	
SK-480	2	SK-480	深鉢　口縁	9		170	
SK-480	3	SK-480	深鉢　胴	9		170	
SK-480	4	SK-480	深鉢　胴	9		170	
SK-480	5	SK-480	深鉢　胴	9		170	
SK-480	6	SK-480	深鉢　胴	9		170	
SK-480	7	SK-480	ミニチュア 底	?	器高　［2.0］ 重さ［20.3］	170	
SK-481	1	SK-481	深鉢　胴	7		169	
SK-481	2	SK-481	深鉢　胴	7		169	
SK-481	3	SK-481	深鉢　胴	7		169	
SK-486	1	SK-486	深鉢　口縁	9		170	
SK-486	2	SK-486	深鉢　口縁	11･12		170	
SK-486	3	SK-486	深鉢　胴	10		170	
SK-486	4	SK-486	深鉢　胴	11･12		170	
SK-486	5	SK-486	深鉢　胴	11･12		170	
SK-487	1	SK-487	鉢　口～胴	8･9	口径（29.8） 器高［19.5］	170	
SK-487	2	SK-487	深鉢　口～胴	8･9		170	
SK-489	1	SK-489	深鉢　胴	12		171	
SK-489	2	SK-489	深鉢　胴	12		171	
SK-492	1	SK-492	深鉢　胴	9		170	86
SK-492	2	SK-492	深鉢　胴	9		170	
SK-494	1	SK-494	深鉢　口縁	10		171	
SK-494	2	SK-494	深鉢　口縁	10		171	
SK-494	3	SK-494	深鉢　胴	10		171	
SK-496	1	SK-496	深鉢　口縁	10		171	
SK-496	2	SK-496	深鉢　胴	9･10		171	
SK-497	1	SK-497	鉢　口～胴	13		171	86
SK-497	2	SK-497	注口土器? 口縁	12･13		171	
SK-497	3	SK-497	鉢　口縁	?		171	
SK-497	4	SK-497	深鉢　口縁	12		171	
SK-498ab	1	SK-498	深鉢　胴	12		171	
SK-498ab	2	SK-498	深鉢　胴	12		171	
SK-500	1	SK-500	深鉢　口～胴	10		171	
SK-500	2	SK-500	深鉢　口縁	12		171	
SK-500	3	SK-500	深鉢　口縁	12		171	
SK-500	4	SK-500	深鉢　胴	12		171	
SK-500	5	SK-500	深鉢　胴	12		171	
SK-500	6	SK-500	深鉢　胴	12		171	
SK-500	7	SK-500	土製円盤		直径　3.3 厚さ　0.8 重さ　10.7	171	106
SK-518	1	SK-518	深鉢　口～胴	11		171	
SK-518	2	SK-518	深鉢　胴	9		171	
SK-519	1	SK-519	深鉢　胴	12		171	
SK-519	2	SK-519	深鉢　胴	12		171	
SK-521a	1	SK-521a	深鉢　胴	7		172	
SK-521a	2	SK-521a	土偶　脚		長さ　［4.6］ 幅　1.6 厚さ　3.2 重さ［18.9］	172	108
SK-524	1	SK-524	深鉢　胴	8･9		172	
SK-526	1	SK-526	深鉢　胴	12		172	
SK-526	2	SK-526	深鉢　胴	12		172	
SK-526	3	SK-526	深鉢　胴	9		172	
SK-539	1	SK-539	深鉢　口縁	9		172	
SK-539	2	SK-539	深鉢　体	8･9		172	
SK-544	1	SK-544	深鉢　口縁	10		172	
SK-544	2	SK-544	深鉢　口縁	7･8		172	
SK-544	3	SK-544	深鉢　口縁	10		172	
SK-544	4	SK-544	深鉢　胴	8･9		172	
SK-545	1	SK-545	深鉢　口縁	8		172	
SK-547	1	SK-547	深鉢　胴	12		172	
SK-550	1	SK-550	深鉢　口～胴	9		172	
SK-550	2	SK-550	深鉢　口縁	9		172	
SK-550	3	SK-550	深鉢　口縁	9		172	
SK-550	4	SK-550	深鉢　口縁	10		172	
SK-550	5	SK-550	深鉢　口縁	10		172	
SK-550	6	SK-550	深鉢　胴	9		172	
SK-552	1	SK-552	深鉢　口縁	10		173	
SK-552	2	SK-552	深鉢　口縁	11		173	
SK-552	3	SK-552	深鉢　胴	11		173	
SK-553	1	SK-553	深鉢　口縁	4～6		172	
SK-554	1	SK-554	深鉢　口縁	12		172	
SK-556	1	SK-556	深鉢　口縁	10		173	
SK-556	2	SK-556	深鉢　口縁	12		173	
SK-556	3	SK-556	深鉢　口縁	12		173	
SK-556	4	SK-556	深鉢　胴	8･9		173	
SK-556	5	SK-556	深鉢　胴	10･11		173	
SK-556	6	SK-556	深鉢　胴	9		173	
SK-556	7	SK-556	深鉢　胴	12		173	
SK-557	1	SK-557	深鉢　口縁	12･13		173	
SK-562	1	SK-562	深鉢　胴	10		173	
SK-562	2	SK-562	深鉢　胴	9		173	
SK-562	3	SK-562	深鉢　胴	8･9		173	
SK-580a	1	SK-580a	深鉢　口～胴	12		173	
SK-582	1	SK-582	深鉢　胴	9		173	
SK-582	2	SK-582	深鉢　胴	9		173	
SK-582	3	SK-582	深鉢　胴	9	曽利系	173	
SK-584a	1	SK-584	深鉢　胴	12		173	
SK-584a	2	SI-17	深鉢　胴	12		173	
SK-584a	3	SK-584	深鉢　胴	12		173	
SK-584a	4	SI-17	深鉢　胴	11･12		173	
SK-584a	5	SI-17	深鉢　胴	12		173	
SK-584a	6	SI-17 No.1	深鉢　口～胴	12	口径（14.1） 器高［19.1］	174	
SK-584a	7	SI-17 No.7	深鉢　胴	11･12		174	
SK-584a	8	SI-17 No.2 SI-17	深鉢　胴	?		174	
SK-585	1	SK-585	深鉢　胴	9		174	
SK-585	2	SK-585	深鉢　胴	11		174	
SK-587	1	SK-587	深鉢　胴	12		174	
SK-587	2	SK-587	深鉢　胴	12		174	
SK-587	3	SK-587	深鉢　胴	12		174	
SK-588	1	SK-588	注口土器? 口縁	11	1～4は同一個体	175	
SK-588	2	SK-588	注口土器? 口縁	11	外面一部赤彩残存	175	
SK-588	3	SK-588	注口土器? 胴	11		175	
SK-588	4	SK-588	注口土器? 胴	11		175	
SK-588	5	SK-588	深鉢　口縁	11		175	
SK-588	6	SK-588	深鉢　口～胴	11		175	
SK-590	1	SK-590	鉢?　口縁	9	内外赤彩残存	174	
SK-590	2	SK-590	深鉢　胴	9		174	
SK-590	3	SK-590	深鉢　胴	9		174	
SK-591	1	SK-591	深鉢　口縁	12		174	
SK-591	2	SK-591	深鉢　胴	12		174	
SK-591	3	SK-591	注口土器?	12	器高　［4.0］	174	
SK-592	1	SK-592	深鉢　口縁	12		175	
SK-592	2	SK-592	深鉢　胴	12		175	
SK-592	3	SK-592	深鉢　胴	12		175	
SK-592	4	SK-592	深鉢　胴	12		175	
SK-593	1	SK-593	深鉢　口縁	9		175	

SK-593	2	SK-593	深鉢　口縁	9	3と同一個体	175	
SK-593	3	SK-593	深鉢　口縁	9	2と同一個体	175	
SK-593	4	SK-593	深鉢　口縁	10		175	
SK-593	5	SK-593	深鉢　胴	9		175	
SK-595	1	SK-595	深鉢　口縁	11		176	
SK-595	2	SK-595	深鉢　口縁	11		176	
SK-595	3	SK-595	深鉢　胴	11		176	
SK-596	1	SK-596	深鉢　口縁	11		176	
SK-596	2	SK-596	深鉢　胴	11		176	
SK-601	1	SK-601 No.1	深鉢　口～胴	12	口径　32.6 器高［29.0］	176	86
SK-601	2	SK-601 No.1	深鉢　口～胴	12	口径　24.2 器高［20.2］	176	86
SK-601	3	SK-601 No.1	深鉢　口～胴	12		176	
SK-601	4	SK-601 No.1	深鉢　胴～底	12		176	
SK-602	1	SK-602	深鉢　口縁	11		176	
SK-602	2	SK-602	深鉢　胴	10		176	
SK-603	1	SK-603	深鉢　口縁	12		176	
SK-603	2	SK-603	深鉢　胴	12		176	
SK-604	1	SK-604	深鉢　口縁	10		177	
SK-607	1	SK-607	深鉢　口縁	11		177	
SK-607	2	SK-607	深鉢　胴	11		177	
SK-607	3	SK-607	深鉢　胴	11		177	
SK-608	1	SK-608	深鉢　口縁	8･9		177	
SK-608	2	SK-608	深鉢　胴	8		177	
SK-608	3	SK-608	深鉢　胴	8･9		177	
SK-608	4	SK-608	深鉢　胴	9		177	
SK-609	1	SK-609	深鉢　口縁	9		177	
SK-609	2	SK-609	土製円盤		直径　3.4 厚さ　0.8 重さ　10.5	177	106
SK-615	1	SK-615	深鉢　口縁	11		177	
SK-615	2	SK-615	深鉢　口縁	11		177	
SK-615	3	SK-615	土製円盤		直径　4.0 厚さ　［0.6］ 重さ　［9.9］	177	106
SK-616	1	SK-616	深鉢　口縁	9		177	
SK-616	2	SK-616	深鉢　胴	9		177	
SK-620	1	SK-620 No.1	深鉢　口～胴	12	口径（30.8） 器高［24.0］	177	86
SK-620	2	SK-620	深鉢　胴	12		177	
SK-620	3	SK-620 No.1	深鉢　胴	12		177	
SK-620	4	SK-620	器台	?		177	
SK-621	1	SK-621	深鉢　口～胴	11		177	
SK-621	2	SK-621	深鉢　胴	10		177	
SK-621	3	SK-621	深鉢　胴	12		177	
SK-621	4	SK-621	深鉢　胴～底	10･11		177	
SK-623	1	SK-623	深鉢　口縁	11		178	
SK-623	2	SK-623	深鉢　口縁	11		178	
SK-623	3	SK-623	深鉢　口縁	10		178	
SK-623	4	SK-623	深鉢　胴	11		178	
SK-623	5	SK-623	深鉢　胴	11		178	
SK-624	1	SK-624	深鉢　胴	9		178	
SK-627	1	SK-627	深鉢　口縁	8･9		178	
SK-627	2	SK-627	深鉢　口縁	9		178	
SK-627	3	SK-627	深鉢　口縁	11		178	
SK-627	4	SK-627	深鉢　口縁	12		178	
SK-627	5	SK-627	深鉢　口縁	12		178	
SK-627	6	SK-627	深鉢　胴	7		178	
SK-627	7	SK-627	深鉢　胴	7		178	
SK-627	8	SK-627	深鉢　胴	9		178	
SK-627	9	SK-627	深鉢　胴	10		178	
SK-627	10	SK-627	深鉢　胴	10		178	
SK-629	1	SK-629	深鉢　口～胴	12	口径　33.0 器高［33.0］	178	87
SK-629	2	SK-629	深鉢　口縁	11		178	
SK-629	3	SK-629	深鉢　口縁	12		178	
SK-629	4	SK-629	深鉢　胴	12		178	
SK-629	5	SK-629	蓋		直径　［5.4］ 器高　［2.8］	178	105
SK-633	1	SK-633	深鉢　口縁	9		178	
SK-634	1	SK-634 No.5	深鉢　口縁	10		179	
SK-634	2	SK-634 No.3.6	深鉢　胴	11		179	
SK-634	3	SK-634 No.3.4	深鉢　胴	11		179	
SK-634	4	SK-634 No.1.2	深鉢　胴～底	10･11		179	
SK-635	1	SK-635	深鉢　口縁	10･11		178	
SK-638	1	SK-638	深鉢　胴	9		179	
SK-639	1	SK-639	深鉢　口縁	8		179	
SK-640	1	SK-640	深鉢　胴	8		179	
SK-641	1	SK-641	深鉢　口縁	10		179	
SK-641	2	SK-641	深鉢　底	10		179	
SK-641	3	SK-641 No.1	深鉢　底	10		179	
SK-643	1	SK-643	深鉢　口縁	9		179	
SK-643	2	SK-643	深鉢　口縁	10		179	
SK-643	3	SK-643	深鉢　胴	9		179	
SK-643	4	SK-643	深鉢　胴	9		179	
SK-643	5	SK-643	深鉢　胴	9		179	
SK-643	6	SK-643	深鉢　胴	8		179	
SK-644	1	SK-644	深鉢　口縁	9	曽利系	179	
SK-644	2	SK-644	深鉢　胴	9		179	
SK-644	3	SK-644	深鉢　胴	9		179	
SK-645	1	SK-645	深鉢　口縁	9		180	
SK-645	2	SK-645	深鉢　口縁	10		180	
SK-645	3	SK-645	深鉢　口縁	10		180	
SK-645	4	SK-645	深鉢　口縁	10		180	
SK-645	5	SK-645	深鉢　口縁	10		180	
SK-645	6	SK-645	深鉢　口縁	10		180	
SK-645	7	SK-645	深鉢　胴	9		180	
SK-645	8	SK-645	深鉢　胴	10･11		180	
SK-645	9	SK-645	深鉢　胴	10		180	
SK-650	1	SK-650	深鉢　胴	9		179	
SK-650	2	SK-650	深鉢　胴	10		179	
SK-650	3	SK-650	深鉢　胴	9	曽利系	179	
SK-650	4	SK-650	深鉢　胴	10～12		179	
SK-651	1	SK-651	深鉢　口縁	10		180	
SK-651	2	SK-651	深鉢　口縁	10		180	
SK-651	3	SK-651	深鉢　胴	11		180	
SK-651	4	SK-651	深鉢　胴	11		180	
SK-652	1	SK-612･652	深鉢　口～胴	9	口径（16.0） 器高［13.6］ SK-721の1と遺構間接合	180	87
SK-653	1	SK-653	深鉢　口縁	10		180	
SK-653	2	SK-653	深鉢　胴	10		180	
SK-654	1	SK-654	深鉢　胴	8･9		180	
SK-654	2	SK-654	深鉢　胴	9		180	
SK-655	1	SK-655	深鉢　胴	9		180	
SK-655	2	SK-655	深鉢　胴	9		180	
SK-655	3	SK-655 No.1	深鉢　胴～底	10		180	
SK-658	1	SK-658	深鉢　口縁	12		180	
SK-658	2	SK-658	深鉢　口縁	10		180	
SK-659	1	SK-659	深鉢　胴	9		180	
SK-659	2	SK-659	深鉢　胴	10		180	
SK-659	3	SK-659	深鉢　胴	10		180	
SK-659	4	SK-659	深鉢　胴	10		180	
SK-660	1	SK-660	深鉢　口縁	9	曽利系	181	
SK-660	2	SK-660	深鉢　胴	9	曽利系	181	
SK-660	3	SK-660	深鉢　胴	9		181	
SK-660	4	SK-660	深鉢　胴	10		181	
SK-684	1	SK-684	深鉢　胴	9		181	
SK-685	1	SK-685	深鉢　胴	9		181	
SK-687	1	SK-687	深鉢　口縁	12		181	
SK-687	2	SK-687	深鉢　胴	12		181	
SK-691	1	SK-691	深鉢　口縁	10		181	
SK-693	1	SK-693	深鉢　口縁	12		181	
SK-693	2	SK-693	深鉢　胴	12		181	
SK-693	3	SK-693	深鉢　胴	12		181	
SK-695	1	SK-695	深鉢　胴	7		181	
SK-695	2	SK-695	深鉢　胴	8		181	
SK-696	1	SK-696	深鉢　口縁	10		181	
SK-696	2	SK-696	深鉢　口縁	11		181	
SK-697	1	SK-697	深鉢　口縁	9		181	
SK-702	1	SK-702 No.1.2.3.4.5.6.7	深鉢　口～胴	11	口径　37.2 器高［16.0］	181	87･102
SK-702	2	SK-702 No.20	樽　口～胴	11	口径　22.5 器高［32.5］	181	87
SK-703	1	SK-703	深鉢　口縁	8･9		182	
SK-703	2	SK-703	鉢　口縁	9		182	
SK-703	3	SK-703	深鉢　口縁	10		182	
SK-703	4	SK-703 No.1	深鉢　口縁	9		182	
SK-703	5	SK-703	深鉢　口縁	11		182	
SK-703	6	SK-703	深鉢　胴	8･9		182	
SK-703	7	SK-703	深鉢　胴	8･9		182	
SK-703	8	SK-703	深鉢　胴	8･9		182	
SK-703	9	SK-703 No.1	深鉢　胴	10		182	
SK-703	10	SK-703 No.1	深鉢　胴	10		182	
SK-706	1	SK-706	深鉢　胴	?		181	
SK-706	2	SK-706	深鉢　胴	4～6		181	
SK-711	1	SK-711	深鉢　口縁	9		181	
SK-711	2	SK-711	深鉢　口縁	12		181	
SK-711	3	SK-711	深鉢　胴	9		181	
SK-713	1	SK-713	深鉢　口縁	11		183	
SK-713	2	SK-713	深鉢　胴	11		183	
SK-713	3	SK-713	深鉢　胴	11		183	
SK-713	4	SK-713 No.1	深鉢　底	?		183	
SK-715	1	SK-715	深鉢　口縁	11		182	
SK-715	2	SK-715	深鉢　口縁	11		182	
SK-715	3	SK-715	深鉢　胴	11		182	
SK-715	4	SK-715	深鉢　胴	11		182	
SK-717	1	SK-717	深鉢　胴	12		182	
SK-720	1	SK-720	深鉢　胴	7･8		182	
SK-720	2	SK-720	深鉢　胴	9		182	
SK-721	1	SK-612　SK-652	深鉢　口～胴	9	口径（16.0） 器高［13.6］ SK-652の1と遺構間接合	184	

SK-721	2	SK-612	深鉢　口縁	10		184	
SK-721	3	SK-612	深鉢　口縁	10		184	
SK-721	4	SK-612	深鉢　口縁	10		184	
SK-721	5	SK-612	ミニチュア		口径　4.0 器高　[1.5] 重さ　[9.9]	184	
SK-721	6	SK-612	土製円盤		直径　3.9 厚さ　0.7 重さ　[15.2]	184	106
SK-721	7	SK-612	土製円盤		直径　3.5 厚さ　1.0 重さ　13.2	184	106
SK-790	1	SK-790	深鉢　口縁	9		182	
SK-790	2	SK-790	深鉢　胴	9		182	
SK-791	1	SK-791	深鉢　口縁	4		184	
SK-791	2	SK-791	深鉢　胴	4		184	
SK-791	3	SK-791	深鉢　胴	4		184	
SK-791	4	SK-791	深鉢　胴	4〜6		184	
SK-791	5	SK-791	深鉢　胴	11		184	
SK-791	6	SK-791	深鉢　胴	11		184	
SK-792	1	SK-792	深鉢　口縁	12		184	
SK-792	2	SK-792	深鉢　口縁	12		184	
SK-792	3	SK-792	深鉢　胴	12		184	
SK-792	4	SK-792	深鉢　口〜胴	?	口径　21.5 器高　[21.0]	184	
SK-792	5	SK-792	深鉢　胴〜底	12		184	
SK-792	6	SK-792	土製円盤		直径　3.8 厚さ　0.9 重さ　15.1	184	106
SK-793	1	SK-793	深鉢　口縁	12		184	
SK-793	2	SK-793	深鉢　口縁	12		184	
SK-793	3	SK-793	深鉢　胴	12		184	
SK-795	1	SK-795	深鉢　口〜胴	12	口径　31.0 器高　[37.5]	185	87
SK-802	1	SK-802	甕　口縁	4〜7		184	
SK-802	2	SK-802	深鉢　胴	11		184	
SK-802	3	SK-802	深鉢　胴	12		184	
SK-803	1	SK-803	樽　胴	10		185	
SK-803	2	SK-803	深鉢　口縁	10		185	
SK-803	3	SK-803	深鉢　胴	10		185	
SK-804	1	SK-804	深鉢　口縁	9		185	
SK-804	2	SK-804	深鉢　口縁	10		185	
SK-804	3	SK-804	深鉢　胴	10		185	
SK-807	1	SK-807	深鉢　口縁	10〜12		185	
SK-816	1	SK-816	深鉢　口縁	12		185	
SK-816	2	SK-816	深鉢　口縁	10･11		185	
SK-816	3	SK-816	深鉢　胴	9		185	
SK-816	4	SK-816	深鉢　胴	10		185	
SK-818	1	SK-818	深鉢　口縁	12		185	
SK-818	2	SK-818	深鉢　口縁	9		185	
SK-818	3	SK-818	深鉢　口縁	12		185	
SK-818	4	SK-818	深鉢　胴	12		185	
SK-819	1	SK-819	深鉢　口縁	10		186	
SK-819	2	SK-819	深鉢　胴	10		186	
SK-820	1	SK-820	深鉢　口縁	9		186	
SK-820	2	SK-820	深鉢　胴	9	曽利系	186	
SK-821ab	1	SK-821ab	深鉢　口縁	11		186	
SK-821ab	2	SK-821ab	深鉢　胴	10		186	
SK-821ab	3	SK-821ab	深鉢　胴	11		186	
SK-821ab	4	SK-821ab	土製円盤		直径　3.7 厚さ　1.0 重さ　15.9	186	107
SK-823	1	SK-823	深鉢　口縁	10		186	
SK-825	1	SK-825	深鉢　口縁	10		187	
SK-825	2	SK-825	深鉢　口縁	10		187	
SK-829	1	SK-829	深鉢　口縁	10		187	
SK-829	2	SK-829	深鉢　口縁	9		187	
SK-829	3	SK-829	深鉢　胴	9		187	
SK-829	4	SK-829	深鉢　胴	9		187	
SK-830	1	SK-830	深鉢　口縁	11		187	
SK-830	2	SK-830	深鉢　口縁	12		187	
SK-830	3	SK-830	深鉢　口縁	11		187	
SK-830	4	SK-830	深鉢　口縁	11		187	
SK-830	5	SK-830	深鉢　口縁	10		187	
SK-830	6	SK-830	深鉢　胴	11		187	
SK-830	7	SK-830	深鉢　胴	11		187	
SK-830	8	SK-830	深鉢　胴	11		187	
SK-830	9	SK-830	土製円盤		直径　4.6 厚さ　1.0 重さ　28.3	187	107
SK-832	1	SK-832	深鉢　胴	8		188	
SK-833	1	SK-833	深鉢　口縁	12		188	
SK-833	2	SK-833	深鉢　口縁	12		188	
SK-833	3	SK-833	深鉢　胴	12		188	
SK-833	4	SK-833	深鉢　胴	12		188	
SK-834	1	SK-834	深鉢　口〜胴	12	口径　19.0 器高　[17.0]	188	87
SK-836	1	SK-836	深鉢　口縁	10		188	
SK-837	1	SK-837	深鉢　口縁	8･9		188	

SK-838	1	SK-837･838	深鉢　口〜胴	11		188	
SK-838	2	SK-838	樽　口〜胴	10･11		188	
SK-838	3	SK-838	深鉢　胴	11		188	
SK-838	4	SK-838	深鉢　胴	11		188	
SK-838	5	SK-838	深鉢　口〜胴	10		189	
SK-839abc	1	SK-839abc	鉢　口〜体	9		189	
SK-839abc	2	SK-839abc	深鉢　口縁	10		189	
SK-839abc	3	SK-839abc	深鉢　口縁	10		189	
SK-839abc	4	SK-839abc	深鉢　胴	8･9		189	
SK-839abc	5	SK-839abc	深鉢　胴	12		189	
SK-839abc	6	SK-839abc	深鉢　胴	12		189	
SK-839abc	7	SK-839abc	深鉢　胴	12		189	
SK-842	1	SK-842	樽　胴	10		189	
SK-843	1	SK-843	深鉢　口縁	9		189	
SK-843	2	SK-843	深鉢　口縁	10		189	
SK-843	3	SK-843	深鉢　胴	9		189	
SK-843	4	SK-843	深鉢　胴	9		189	
SK-843	5	SK-843	深鉢　胴	11		189	
SK-844	1	SK-844	深鉢　胴	12		189	
SK-845	1	SK-845	深鉢　口縁	9〜11		189	
SK-845	2	SK-845	深鉢　口縁	9〜11		189	
SK-845	3	SK-845	鉢　口縁	9		189	
SK-845	4	SK-845	深鉢　胴	11･12		189	
SK-847	1	SK-847	深鉢　口縁	11		190	
SK-847	2	SK-847	深鉢　口縁	11		190	
SK-847	3	SK-847	深鉢　口縁	11		190	
SK-847	4	SK-847	深鉢　口縁	11		190	
SK-847	5	SK-847	深鉢　口縁	10		190	
SK-847	6	SK-847	深鉢　口縁	10		190	
SK-847	7	SK-847	深鉢　口縁	10		190	
SK-847	8	SK-847	深鉢　口〜胴	11		190	
SK-848	1	SK-848	深鉢　口縁	9		190	
SK-848	2	SK-848	深鉢　口縁	11		190	
SK-849	1	SK-849	深鉢　口〜胴	11	口径　20.6 器高　[15.2]	190	88
SK-849	2	SK-849	深鉢　胴	11		190	
SK-851	1	SK-851	深鉢　口縁	10		190	
SK-851	2	SK-851	深鉢　口縁	9･10		190	
SK-851	3	SK-851	深鉢　胴	8		190	
SK-852	1	SK-852	深鉢　胴〜底	?		190	
SK-852	2	SK-852	深鉢　胴〜底	?		190	
SK-853	1	SK-853 No.1	樽　口〜胴	11	口径（23.8） 器高　[23.5]	191	
SK-853	2	SK-853	深鉢　口縁	11		191	
SK-853	3	SK-853	深鉢　胴	9		191	
SK-853	4	SK-853	深鉢　胴	11		191	
SK-855	1	SK-855	深鉢　胴	4		190	
SK-855	2	SK-855	深鉢　胴	10		190	
SK-856	1	SK-856	深鉢　口縁	11		190	
SK-856	2	SK-856	深鉢　口縁	11		190	
SK-856	3	SK-856	深鉢　口縁	11		190	
SK-856	4	SK-856	深鉢　胴	11		190	
SK-858	1	SK-858	深鉢　胴	10		191	
SK-858	2	SK-858	深鉢　胴	10		191	
SK-858	3	SK-858	深鉢　胴	10		191	
SK-860ab	1	SK-860ab	深鉢　口〜胴	10･11		191	
SK-860ab	2	SK-860ab	深鉢　口縁	10･11		191	
SK-860ab	3	SK-860ab	深鉢　口縁	9		191	
SK-860ab	4	SK-860ab	深鉢　胴	?		191	
SK-862	1	SK-862	深鉢　口縁	9		191	
SK-862	2	SK-862	深鉢　口縁	10		191	
SK-862	3	SK-862	深鉢　口縁	9		191	
SK-862	4	SK-862	深鉢　胴	10		191	
SK-862	5	SK-862	深鉢　胴	?		192	
SK-862	6	SK-861.862	深鉢　胴〜底	?		192	
SK-862	7	SK-862	土製品	?		192	108
SK-865	1	SK-865	深鉢　胴	10		192	
SK-869	1	SK-869	深鉢　口縁	11		192	
SK-869	2	SK-869	深鉢　口縁	11		192	
SK-872	1	SK-872	深鉢　口縁	9		192	
SK-872	2	SK-872	深鉢　口縁	?		192	
SK-872	3	SK-872	深鉢　胴	9		192	
SK-874	1	SK-874	深鉢　口縁	11		192	
SK-874	2	SK-874	深鉢　胴	?		192	
SK-877	1	SK-877	深鉢　胴	12		192	
SK-877	2	SK-877	深鉢　口縁	12		192	
SK-877	3	SK-877	深鉢　口縁	12		192	
SK-881	1	SK-881	深鉢　胴	9		192	
SK-884	1	SK-884 No.1	深鉢　口〜胴	11	口径（24.8） 器高　[22.0]	192	88
SK-884	2	SK-884	深鉢　口縁	10･11		192	
SK-884	3	SK-884	深鉢　胴	10･11		192	
SK-885	1	SK-885	深鉢　口〜胴	12	口径（36.2） 器高　[27.0]	193	88･102
SK-888	1	SK-888 No.3	深鉢　口〜胴	11		192	
SK-888	2	SK-888	深鉢　口縁	11		192	
SK-888	3	SK-888	深鉢　口縁	11		192	
SK-888	4	SK-888	深鉢　口縁	11		193	
SK-888	5	SK-888	深鉢　口縁	11		193	

SK-888	6	SK-888	深鉢　胴	11		193	
SK-888	7	SK-888	深鉢　胴	11		193	
SK-888	8	SK-888	深鉢　胴	11		193	
SK-888	9	SK-888	深鉢　胴	11		193	
SK-889	1	SK-889	深鉢　口縁	9		192	
SK-889	2	SK-889	深鉢　口縁	12		192	
SK-890	1	SK-890	深鉢　口縁	9		194	
SK-890	2	SK-890	深鉢　口縁	11		194	
SK-890	3	SK-890	深鉢　胴	10･11		194	
SK-892	1	SK-892 No.1	深鉢　口縁	10		194	
SK-892	2	SK-892	深鉢　胴	10		194	
SK-892	3	SK-892 No.1	深鉢　胴	?		194	
SK-892	4	SK-892 No.2	深鉢　胴	?		194	
SK-893	1	SK-893	深鉢　口縁	10		193	
SK-894	1	SK-894	深鉢　口縁	10		193	
SK-894	2	SK-894	深鉢　胴	10		193	
SK-894	3	SK-894	深鉢　胴	9	曽利系	193	
SK-900	1	SK-900	深鉢　口縁	10		193	
SK-900	2	SK-900	深鉢　口縁	11		193	
SK-907	1	SK-907 No.2	注口土器 口縁	12	2と同一個体か	194	
SK-907	2	SK-907 No.2	注口土器　胴	12	1と同一個体か	194	
SK-907	3	SK-907 No.1	深鉢　口～胴	12	口径（13.8） 器高［11.2］	194	88
SK-909	1	SK-907 No.1	深鉢　胴	11		195	88
SK-909	2	SK-909	深鉢　胴	11		195	
SK-910	1	SK-910	深鉢　口縁	10		193	
SK-910	2	SK-910	深鉢　口縁	10		193	
SK-910	3	SK-910	深鉢　胴	10		193	
SK-911	1	SK-911	甕　口～胴	12		195	88
SK-912	1	SK-912	深鉢　口縁	11		195	
SK-912	2	SK-912	深鉢　口縁	11		195	
SK-912	3	SK-912	深鉢　口縁	12		195	
SK-912	4	SK-912	深鉢　胴	11･12		195	
SK-913	1	SK-913	深鉢　口縁	10		195	
SK-913	2	SK-913	深鉢　口縁	9		195	
SK-923	1	SK-923	深鉢　口縁	9		195	
SK-923	2	SK-923	深鉢　口縁	11		195	
SK-923	3	SK-923	深鉢　口縁	11		195	
SK-923	4	SK-923	深鉢　胴	7		195	
SK-923	5	SK-923	深鉢　胴	9		195	
SK-923	6	SK-923	深鉢　胴	10		195	
SK-923	7	SK-923	深鉢　胴	12		195	
SK-927	1	SK-927	注口土器? 体～底	12		195	89
SK-927	2	SK-927	注口土器 口縁	?		195	
SK-927	3	SK-927	深鉢　口縁	?		195	
SK-927	4	SK-927	深鉢　口縁	10･11		195	
SK-927	5	SK-927	深鉢　胴	12		195	
SK-927	6	SK-927	深鉢　胴	11		195	
SK-927	7	SK-927	深鉢　胴	10･11		195	
SK-927	8	SK-927	深鉢　胴	11･12		195	
SK-928	1	SK-928	深鉢　胴	12		196	
SK-928	2	SK-928	深鉢　胴	12		196	
SK-931	1	SK-931	深鉢　口縁	11		196	
SK-931	2	SK-931	深鉢　口縁	11		196	
SK-931	3	SK-931	深鉢　口縁	11		196	
SK-931	4	SK-931	深鉢　口縁	11		196	
SK-931	5	SK-931	深鉢　口縁	11		196	
SK-931	6	SK-931	深鉢　胴	11		196	
SK-931	7	SK-931	深鉢　胴	11		196	
SK-931	8	SK-931	土製円盤		直径　3.4 厚さ　0.7 重さ　9.4	196	107
SK-933	1	SK-933	深鉢　口縁	?		196	
SK-933	2	SK-933	深鉢　口縁	12		196	
SK-933	3	SK-933	深鉢　口縁	12		196	
SK-933	4	SK-933	深鉢　胴	12		196	
SK-933	5	SK-933	深鉢　胴	12		196	
SK-933	6	SK-933	蓋		直径　(6.3) 器高　(1.8)	196	105
SK-934	1	SK-934	深鉢　胴	9		196	89
SK-936	1	SK-936	深鉢　口縁	10		196	
SK-936	2	SK-936	深鉢　口縁	9		196	
SK-936	3	SK-936	深鉢　胴	9		196	
SK-936	4	SK-936	土製円盤		直径　3.2 厚さ　0.8 重さ　9.5	196	107
SK-939	1	SK-939	深鉢　胴	10		196	
SK-939	2	SK-939	深鉢　胴	11		196	
SK-939	3	SK-939	深鉢　胴	11		196	
SK-944	1	SK-944 No.1.2.3.4. 5.6 SI-32床下	深鉢 ほぼ完形	11	口径　32.5 器高　58.5	196	89
SK-950	1	SK-950	深鉢　口縁	11		196	
SK-950	2	SK-950	深鉢　胴	11		196	
SK-951	1	SK-951 No.2	深鉢　口～胴	12		197	89
SK-951	2	SK-951	深鉢　口縁	12		197	
SK-951	3	SK-951	深鉢　口～胴	12		197	

SK-956	1	SK-956 No.1	注口土器 ほぼ完形	12	口径　10.8 胴大　24.0 器高　27.8	197	89
SK-956	2	SK-956	深鉢　口縁	11		197	
SK-957	1	SK-957	深鉢　口縁	11		197	
SK-957	2	SK-957	深鉢　胴	12		197	
SK-958	1	SK-958	深鉢　口縁	10		197	
SK-958	2	SK-958	深鉢　胴	10		197	
SK-958	3	SK-958	深鉢　胴	10		197	
SK-959	1	SK-959	深鉢　口縁	11		197	
SK-961	1	SK-961	深鉢　口縁	12		198	
SK-961	2	SK-961	深鉢　口縁	12		198	
SK-961	3	SK-961	深鉢　口縁	12		198	
SK-965	1	SK-965	深鉢　口縁	11		198	
SK-965	2	SK-965	深鉢　胴	12		198	
SK-967	1	SK-967	深鉢　胴	4～6		198	
SK-968	1	SK-968	深鉢　胴	12		198	
SK-975	1	SK-975	深鉢　口縁	10･11		198	
SK-977	1	SK-977	深鉢　胴	9	曽利系	198	
SK-982	1	SK-982 No.2.4.5.6.8	注口土器 口～体	12	口径　21.5 胴大　34.2 器高［35.0］	198	89
SK-982	2	SK-982 No.1	甕　ほぼ完形	12	口径　10.2 胴大　14.8 器高　10.8	198	90
SK-982	3	SK-982	深鉢　口縁	12		198	
SK-982	4	SK-892	深鉢　口縁	12		198	
SK-982	5	SK-892	深鉢　口縁	12		198	
SK-982	6	SK-892 No.5	深鉢　底	?		198	
SK-983	1	SK-983	深鉢　口縁	11		199	
SK-983	2	SK-983	深鉢　胴	10		199	
SK-987	1	SK-987	深鉢　口縁	10		199	
SK-987	2	SK-987	深鉢　胴	10		199	
SK-987	3	SK-987	蓋		直径　(8.8) 器高　［1.5］	199	105
SK-988	1	SK-988	深鉢　口縁	9～11		199	
SK-998	1	SK-998	深鉢　口縁	8		199	
SK-999	1	SK-999	深鉢　口縁	10		199	
SK-1001	1	SK-1001	深鉢　胴	8		199	
SK-1003	1	SK-924	深鉢　胴	8		199	
SK-1003	2	SK-924	深鉢　胴	12		199	
SK-1004	1	SK-1004	深鉢　口縁	12		199	
SK-1004	2	SK-1004	深鉢　口縁	11		199	
SK-1004	3	SK-1004	深鉢　胴	11		199	
SK-1004	4	SK-1004	深鉢　胴	11		199	
SK-1004	5	SK-1004	深鉢　胴	11		199	
SK-1008	1	SK-1008	深鉢　口縁	10		199	
SK-1008	2	SK-1008	深鉢　口縁	10		199	
SK-1008	3	SK-1008	深鉢　胴	9		199	
SK-1009	1	SK-1009	深鉢　胴	11		199	
SK-1009	2	SK-1009	深鉢　胴	11		199	
SK-1017	1	SK-1017	深鉢　口縁	12		199	
SK-1017	2	SK-1017	深鉢　胴	12		199	
SK-1022	1	SK-1022	深鉢　胴	11		199	
SK-1022	2	SK-1022	深鉢　胴	10		199	
SK-1023	1	SK-1023	深鉢　口縁	11		199	
SK-1026	1	SK-1026	深鉢　口縁	7		199	
SK-1026	2	SK-1026	深鉢　口縁	4		199	
SK-1028	1	SK-1028	深鉢　口縁	10･11		199	
SK-1028	2	SK-1028	深鉢　口縁	10		199	
SK-1028	3	SK-1028	深鉢　胴	12		199	
SK-1033	1	SK-1033	深鉢　胴	8		199	
SK-1035	1	SK-1035	深鉢　口縁	10		200	
SK-1035	2	SK-1035	深鉢　口縁	10		200	
SK-1035	3	SK-1035	深鉢　口縁	10		200	
SK-1037	1	SK-1037	深鉢　胴	7		200	
SK-1037	2	SK-1037	深鉢　胴	7		200	
SK-1037	3	SK-1037	深鉢　胴	7		200	
SK-1037	4	SK-1037	深鉢　底	?		200	
SK-1038	1	SK-1038	深鉢　胴	10		200	
SK-1038	2	SK-1038	深鉢　底	?		200	
SK-1042	1	SK-1042	深鉢　口縁	10		200	
SK-1042	2	SK-1042	土製円盤		直径　3.6 厚さ　1.0 重さ　12.9	200	107
SK-1052	1	SK-1052	深鉢　口縁	10		200	
SK-1052	2	SK-1052	深鉢　口縁	12		200	
SK-1052	3	SK-1052	深鉢　胴	10		200	
SK-1054	1	SK-1054	浅鉢　口縁	4･5		200	
SK-1054	2	SK-1054	深鉢　胴	?		200	
SK-1054	3	SK-1054	深鉢　胴	4～6		200	
SK-1054	4	SK-1054	深鉢　胴	12		200	
SK-1057	1	SK-1057 No.1	深鉢または甕 口～胴	3･4		200	90
SK-1057	2	SK-1057	深鉢　口縁	3･4		200	
SK-1057	3	SK-1057	深鉢　口～胴	3		200	
SK-1057	4	SK-1057	深鉢　口縁	3･4		200	
SK-1057	5	SK-1057	浅鉢　口縁	3		200	
SK-1057	6	SK-1057	深鉢　胴	4～6		200	

SK-1057	7	SK-1057	土製円盤		直径　2.9 厚さ　1.0 重さ　10.1	200	107
SK-1058	1	SK-1058 No.1	深鉢 ほぼ完形	6	口径　21.0 器高　29.2	201	90・103
SK-1058	2	SK-1058	深鉢　口縁	4〜6		201	
SK-1058	3	SK-1058	深鉢　胴	3		201	
SK-1058	4	SK-1058	深鉢　胴	3		201	
SK-1058	5	SK-1058	深鉢　胴	4		201	
SK-1058	6	SK-1058	深鉢　胴	4〜6		201	
SK-1058	7	SK-1058	深鉢　胴	5		201	
SK-1058	8	SK-1058	深鉢　胴	4		201	
SK-1058	9	SK-1058	深鉢　胴	4・5	勝坂系？	201	
SK-1059	1	SK-1059	鉢　口〜胴	7		202	
SK-1059	2	SK-1059	鉢　口〜胴	?	外面赤彩残存	202	
SK-1059	3	SK-1059	深鉢　口縁	7		202	
SK-1059	4	SK-1059	深鉢　胴	8		202	
SK-1059	5	SK-1059	深鉢　胴	7		202	
SK-1059	6	SK-1059	深鉢　胴	7		202	
SK-1059	7	SK-1059	深鉢　底	7		202	
SK-1059	8	SK-1059 No.1	深鉢　底	8		202	
SK-1061	1	SK-1061	深鉢　口縁	10		202	
SK-1061	2	SK-1061	深鉢　胴	6・7		202	
SK-1061	3	SK-1061	深鉢　胴	9		202	
SK-1063a	1	SK-1063a	深鉢　胴	3・4		202	
SK-1064	1	SK-1064	深鉢　口〜胴	4・5	口径　14.0 器高［12.6］	202	90
SK-1064	2	SK-1064	深鉢　口縁	4・5		202	
SK-1064	3	SK-1064	深鉢　胴	4・5		202	
SK-1064	4	SK-1064	深鉢　胴	4・5		202	
SK-1064	5	SK-1064	深鉢　胴	?		202	
SK-1065	1	SK-1065	深鉢　胴	8		203	
SK-1065	2	SK-1065	深鉢　胴	8		203	
SK-1066	1	SK-1066	深鉢　胴	11		202	
SK-1066	2	SK-1066	深鉢　胴	10		202	
SK-1066	3	SK-1066	深鉢　胴	11		202	
SK-1070	1	SK-1070	深鉢　口縁	2・3		203	
SK-1070	2	SK-1070	深鉢　口縁	2・3		203	
SK-1070	3	SK-1070	深鉢　口縁	2〜4		203	
SK-1070	4	SK-1070	深鉢　口縁	2〜4		203	
SK-1070	5	SK-1070	深鉢　口縁	2〜4		203	
SK-1070	6	SK-1070	浅鉢　口縁	3・4	内外面赤彩残存	203	
SK-1072	1	SK-1072	甕　口〜胴	8		203	
SK-1072	2	SK-1072	深鉢　口縁	9	曽利系	203	
SK-1072	3	SK-1072	深鉢　胴	5		203	
SK-1072	4	SK-1072	深鉢　胴	7		203	
SK-1072	5	SK-1072	深鉢　胴	7		203	
SK-1072	6	SK-1072	深鉢　胴	9		203	
SK-1072	7	SK-1072	深鉢　胴	9		203	
SK-1072	8	SK-1072	深鉢　胴	9		203	
SK-1072	9	SK-1072	深鉢　胴	9		203	
SK-1072	10	SK-1072	深鉢　胴	9	曽利系	203	
SK-1072・1073	1	SK-1072・1073	深鉢　口縁	11		204	
SK-1072・1073	2	SK-1072・1073	深鉢　胴	5		204	
SK-1072・1073	3	SK-1072・1073	深鉢　胴	4・5		204	
SK-1072・1073	4	SK-1072・1073	深鉢　胴	5・6		204	
SK-1072・1073	5	SK-1072・1073	深鉢　胴	7		204	
SK-1072・1073	6	SK-1072・1073	深鉢　胴	7		204	
SK-1072・1073	7	SK-1072・1073	深鉢　胴	9		204	
SK-1072・1073	8	SK-1072・1073	深鉢　胴	4〜6		204	
SK-1072・1073	9	SK-1072・1073	深鉢　胴	10		204	
SK-1072・1073	10	SK-1072・1073	深鉢　胴	10		204	
SK-1072・1073	11	SK-1072・1073	深鉢　胴	10		204	
SK-1072・1073	12	SK-1072・1073	深鉢　胴	10		204	
SK-1072・1073	13	SK-1072・1073	深鉢　胴	10		204	
SK-1078ab	1	SK-1078	深鉢　口縁	8・9		204	
SK-1078ab	2	SK-1078	深鉢　口縁	8・9		204	
SK-1078ab	3	SK-1078	深鉢　口縁	8・9		204	
SK-1078ab	4	SK-1159	深鉢　口縁	9		204	
SK-1078ab	5	SK-1159	深鉢　口〜胴	8・9		204	
SK-1078ab	6	SK-1078	深鉢　口縁	11		204	
SK-1078ab	7	SK-1078	深鉢　胴	7		204	
SK-1078ab	8	SK-1078	深鉢　胴	7		204	
SK-1078ab	9	SK-1078	深鉢　胴	7		204	

SK-1079	1	SK-1079 No.2.3	深鉢　口〜胴	6		204	90
SK-1079	2	SK-1079 No.8	深鉢 ほぼ完形	6	口径　11.5 器高　16.4	204	90
SK-1079	3	SK-1079 No.5	深鉢　口〜胴	6		204	
SK-1079	4	SK-1079	浅鉢　口縁	6	口径（43.0） 器高　［7.5］	205	91
SK-1079	5	SK-1079 No.4	深鉢　口縁	6		205	
SK-1079	6	SK-1079	深鉢　口縁	6		205	
SK-1079	7	SK-1079	深鉢　口縁	6		205	
SK-1079	8	SK-1079	深鉢　胴	6		205	
SK-1079	9	SK-1079 No.7	深鉢　胴〜底	6		205	
SK-1079	10	SK-1079 No.1	深鉢　台部	6		205	
SK-1082	1	SK-1082	深鉢　底	?		205	
SK-1085	1	SK-1085	深鉢　口縁	11		205	
SK-1086	1	SK-1086	深鉢　胴	7		205	
SK-1094	1	SK-1094	深鉢　口縁	7・8		205	
SK-1094	2	SK-1094	深鉢　口縁	8		205	
SK-1094	3	SK-1094	深鉢　胴	8		205	
SK-1094	4	SK-1094	深鉢　胴	7		205	
SK-1094	5	SK-1094	深鉢　胴	10		205	
SK-1101	1	SK-1101 No.4.6.8.9.10.11.14.15.17.18.19.20.35.37.41.43	甕　1/2遺存	6	口径（33.6） 胴大　55.5 器高［64.2］ 2と同一個体	206	91
SK-1101	2	SK-1101 No.4.6.8.9.10.11.14.15.17.18.19.20.35.37.41.43	甕　口縁	6	1と同一個体	206	91
SK-1101	3	SK-1101 No.5.39	深鉢　口縁	6		206	
SK-1101	4	SK-1102	深鉢　口縁	4		206	
SK-1101	5	SK-1101	深鉢　胴	6		206	
SK-1101	6	SK-1101 No.1.2	深鉢　胴	6		206	
SK-1101	7	SK-1101 No.3.22	深鉢　胴	6		206	
SK-1101	8	SK-1101 No.42	深鉢　底	?		206	
SK-1101	9	SK-1101 No.23.24.25.26.27.28.30.34.43.44.45	深鉢　胴〜底	6	器高［47.5］	207	91・103
SK-1103	1	SK-1103	深鉢　口〜胴	6・7	口径（23.5） 器高［11.0］ 中峠系	205	91
SK-1103	2	SK-1103	深鉢　胴	6		205	
SK-1103	3	SK-1103	深鉢　底	?		205	
SK-1103	4	SK-1103	土製円盤		直径　1.9 厚さ　0.9 重さ　3.3	205	107
SK-1104	1	SK-1104	深鉢　口縁	3		208	
SK-1104	2	SK-1104	深鉢　口縁	4		208	
SK-1104	3	SK-1104	深鉢　胴	3		208	
SK-1104	4	SK-1103.1104	深鉢　口縁	?		208	
SK-1104	5	SK-1104	深鉢　口縁	4		208	
SK-1104	6	SK-1104	深鉢　胴	3		208	
SK-1104	7	SK-1104	深鉢　胴	2・3		208	
SK-1104	8	SK-1104	深鉢　胴	4		208	
SK-1104	9	SK-1104	深鉢　胴	4		208	
SK-1104	10	SK-1104 No.1	深鉢　胴	?		209	
SK-1104	11	SK-1103.1104	深鉢　胴	?		209	
SK-1104	12	SK-1103.1104	深鉢　胴〜底	?		209	
SK-1104	13	SK-1104	深鉢　胴〜底	?		209	
SK-1108	1	SK-1108	深鉢　胴	8		209	
SK-1109	1	SK-1109	深鉢　口縁	7		209	
SK-1109	2	SK-1109	深鉢　口縁	9		209	
SK-1109	3	SK-1109	深鉢　胴	10		209	
SK-1110	1	SK-1110	深鉢　口縁	4・5		209	
SK-1110	2	SK-1110	深鉢　口縁	5・6		209	
SK-1110	3	SK-1110	深鉢　胴	4〜6	馬高系	209	
SK-1110	4	SK-1110	深鉢　胴	4〜6		209	
SK-1110	5	SK-1110	深鉢　胴	4〜6		209	
SK-1111	1	SK-1111	深鉢　口縁	2		210	
SK-1111	2	SK-1111	深鉢　胴	2〜5		210	
SK-1111	3	SK-1111	深鉢　胴	2		210	
SK-1111	4	SK-1111	深鉢　胴	2・3		210	
SK-1111	5	SK-1111 No.2.3.4.5.6	浅鉢 ほぼ完形	4・5	口径　45.8 器高　17.8	210	91
SK-1111	6	SK-1111 No.1.2	深鉢　胴〜底	2〜6		210	
SK-1113	1	SK-1113	深鉢　胴	8・9		209	
SK-1113	2	SK-1113	深鉢　胴	7		209	
SK-1113	3	SK-1113	深鉢　胴	5		209	
SK-1114	1	SK-1114	深鉢　口縁	2・3		210	
SK-1114	2	SK-1114	深鉢　口縁	4・5		210	
SK-1114	3	SK-1114	深鉢　口縁	2		210	

SK-1114	4	SK-1114	深鉢　口縁	?		210	
SK-1114	5	SK-1114	深鉢　口縁	4〜6		210	
SK-1114	6	SK-1114	深鉢　口縁	5･6		210	
SK-1114	7	SK-1114	深鉢　胴	10		210	
SK-1114	8	SK-1114	台付土器	?		210	
SK-1115	1	SK-1115	深鉢　胴	2･3		210	
SK-1115	2	SK-1115	深鉢　胴	?		210	
SK-1116	1	SK-1116	深鉢　胴	12		210	
SK-1117	1	SK-1117	深鉢　口縁	8･9		210	
SK-1117	2	SK-1117	深鉢　胴	10		210	
SK-1117	3	SK-1117	深鉢　胴	9		210	
SK-1117	4	SK-1117	深鉢　胴	10		210	
SK-1117	5	SK-1117	深鉢　胴	10･11		210	
SK-1117	6	SK-1117 No.2	深鉢　胴	?		210	
SK-1117	7	SK-1117 No.2	土製円盤		直径　4.3 厚さ　0.8 重さ　21.1	210	107
SK-1118	1	SK-1118 No.2	深鉢　口〜胴	7	口径　29.4 器高［17.0］	211	92
SK-1118	2	SK-1118 No.1	深鉢 ほぼ完形	7	口径　19.2 器高　28.8	211	92
SK-1118	3	SK-1118 No.2	深鉢　口〜胴	7	口径　17.4 器高［27.4］	211	92
SK-1118	4	SK-1118	深鉢　口縁	7		212	
SK-1118	5	SK-1118	深鉢　口縁	7		212	
SK-1118	6	SK-1118	深鉢　口縁	7		212	
SK-1118	7	SK-1118	深鉢　口縁	7		212	
SK-1118	8	SK-1118	深鉢　口縁	7	複孤文系	212	
SK-1118	9	SK-1118	深鉢　胴	7		212	
SK-1118	10	SK-1118	深鉢　胴	7		212	
SK-1119	1	SK-1119	深鉢　ほぼ完形	4	口径　13.8 器高　20.4	212	92
SK-1119	2	SK-1119 No.1	浅鉢 ほぼ完形	?	口径（24.0） 器高　7.0	212	92
SK-1119	3	SK-1119	浅鉢　口〜体	?	口径（35.2） 器高［13.5］	212	
SK-1119	4	SK-1119	深鉢　口縁	4		213	
SK-1119	5	SK-1119	深鉢　口縁	4		213	
SK-1119	6	SK-1119	深鉢　口縁	12		213	
SK-1119	7	SK-1119	深鉢　胴	3		213	
SK-1119	8	SK-1119	深鉢　胴	4〜6		213	
SK-1130	1	SK-1130	深鉢　胴	7		213	
SK-1130	2	SK-1130	深鉢　胴	1		213	
SK-1132	1	SK-1132	深鉢　胴	12		213	
SK-1132	2	SK-1132	深鉢　胴	12		213	
SK-1132	3	SK-1132	深鉢　胴	12		213	
SK-1136	1	SK-1136	深鉢　胴	10		213	
SK-1139	1	SK-1139	深鉢　口縁	3		213	
SK-1139	2	SK-1139	深鉢　口縁	3		213	
SK-1139	3	SK-1139	深鉢　胴	3		213	
SK-1141	1	SK-1141	深鉢　胴	7		213	
SK-1142	1	SK-1142	深鉢　胴	12		213	
SK-1143	1	SK-1143	深鉢　口縁	9		213	
SK-1143	2	SK-1143	深鉢　胴	12		213	
SK-1143	3	SK-1143	深鉢　胴	7･8		213	
SK-1143	4	SK-1143	深鉢　胴	8		213	
SK-1144	1	SK-1144	深鉢　口縁	12		213	
SK-1144	2	SK-1144	深鉢　胴〜底	12		213	
SK-1146	1	SK-1146	深鉢　口縁	2		214	
SK-1146	2	SK-1146	深鉢　口縁	3		214	
SK-1146	3	SK-1146	深鉢　口縁	3		214	
SK-1146	4	SK-1146	深鉢　口縁	3		214	
SK-1146	5	SK-1146	深鉢　口縁	?		214	
SK-1146	6	SK-1146	深鉢　口縁	?		214	
SK-1146	7	SK-1146	小型浅鉢 口〜体	?	口径（15.4） 器高　［5.8］	214	
SK-1146	8	SK-1146	深鉢　胴	2･3		214	
SK-1146	9	SK-1146	深鉢　胴	2･3		214	
SK-1147	1	SK-1147	深鉢　口縁	8･9		213	
SK-1147	2	SK-1147	深鉢　胴	8		213	
SK-1149	1	SK-1149	深鉢　口〜体	7		215	
SK-1149	2	SK-1149	深鉢　胴	7		215	
SK-1151	1	SK-1151	深鉢　口縁	4		215	
SK-1151	2	SK-1151	深鉢　口縁	4		215	
SK-1151	3	SK-1151	深鉢　口縁	4		215	
SK-1153	1	SK-1153 No.3	深鉢　口〜胴	?		215	
SK-1153	2	SK-1153 No.3	深鉢　口〜胴	?	口径（33.0） 器高［22.8］	215	
SK-1153	3	SK-1153 No.3	深鉢　口〜胴	12		215	
SK-1153	4	SK-1153	深鉢　口縁	11		215	
SK-1153	5	SK-1153 No.2	深鉢　口縁	11		215	
SK-1153	6	SK-1153	深鉢　胴	3		215	
SK-1153	7	SK-1153	深鉢　胴	12		215	
SK-1153	8	SK-1153	土製円盤		直径　4.5 厚さ　0.7 重さ　17.6	215	107
SK-1154	1	SK-1154	深鉢　口縁	9		215	
SK-1155	1	SK-1155	深鉢　口〜胴	5		216	
SK-1155	2	SK-1155	深鉢　口縁	5		216	
SK-1155	3	SK-1155	深鉢　胴	5		216	
SK-1155	4	SK-1155	深鉢　底	5		216	
SK-1160	1	SK-1160	深鉢　口縁	7		215	
SK-1160	2	SK-1160	深鉢　口縁	7		215	
SK-1162	1	SK-1162	深鉢　口縁	8		215	
SK-1163	1	SK-1163	深鉢　口縁	2･3		216	
SK-1163	2	SK-1163	深鉢　口縁	4		216	
SK-1163	3	SK-1163	深鉢　口縁	4		216	
SK-1163	4	SK-1163	深鉢　口縁	4		216	
SK-1163	5	SK-1163	深鉢　胴	2･3		216	
SK-1163	6	SK-1163	鉢　口〜体	?	口径（34.0） 器高［12.0］	216	
SK-1163	7	SK-1163	土製円盤		直径　5.0 厚さ　1.1 重さ　33.6	216	107
SK-1164	1	SK-1164	深鉢　口縁	2		216	
SK-1164	2	SK-1262	深鉢　口縁	2		216	
SK-1164	3	SK-1262	深鉢　胴	2		216	
SK-1164	4	SK-1164	深鉢　胴	2		216	
SK-1164	5	SK-1262	深鉢　胴	2		216	
SK-1164	6	SK-1164	深鉢　胴	2		216	
SK-1164	7	SK-1164	深鉢　口〜胴	11		217	
SK-1164	8	SK-1164	深鉢　胴	11		217	
SK-1164	9	SK-1164	深鉢　胴	11		217	
SK-1165	1	SK-1165	深鉢　口縁	9		217	
SK-1165	2	SK-1165	深鉢　口縁	4		217	
SK-1165	3	SK-1165	深鉢　胴	3		217	
SK-1165	4	SK-1165	深鉢　胴	3		217	
SK-1165	5	SK-1165	深鉢　胴	3		217	
SK-1166	1	SK-1166	深鉢　口縁	3		217	
SK-1166	2	SK-1166	深鉢　口〜胴	3		217	
SK-1166	3	SK-1166	深鉢　口縁	5		217	
SK-1166	4	SK-1166	深鉢　胴	10		217	
SK-1166	5	SK-1166	深鉢　胴	3		217	
SK-1166	6	SK-1166	深鉢　底	?		217	
SK-1167a	1	SK-1167 No.1	深鉢　口縁	4	口径（32.2） 器高［16.6］	218	92
SK-1167a	2	SK-1167a	深鉢　胴	4		218	
SK-1167a	3	SK-1167a	深鉢　胴	4		218	
SK-1167a	4	SK-1167a	深鉢　胴	4		218	
SK-1167a	5	SK-1167 No.2	深鉢　胴	4		218	
SK-1167a	6	SK-1167b	深鉢　胴〜底	4		218	
SK-1167b	1	SK-1167b	深鉢　口縁	7		218	
SK-1167b	2	SK-1167b	深鉢　口縁	7		218	
SK-1167b	3	SK-1167b	深鉢　胴	8		218	
SK-1167b	4	SK-1167b	深鉢　胴	10		218	
SK-1168	1	SK-1168	深鉢　胴	9		218	
SK-1168	2	SK-1168	深鉢　胴	9		218	
SK-1170	1	SK-1170	深鉢　胴	7〜9		219	
SK-1179	1	SK-1179	深鉢　胴	10		219	
SK-1179	2	SK-1179	深鉢　口縁	10		219	
SK-1180	1	SK-1180 No.1	深鉢　口〜胴	8	口径　20.2 器高［27.2］	218	93
SK-1180	2	SK-1180	深鉢　胴	7		218	
SK-1180	3	SK-1180	深鉢　胴	8		218	
SK-1182b	1	SK-1182b No.1	深鉢　口〜胴	12		219	
SK-1182b	2	SK-1182b	深鉢　口縁	12		219	
SK-1182b	3	SK-1182	深鉢　胴	12		219	
SK-1184	1	SK-1184	深鉢　口縁	9		219	
SK-1185	1	SK-1185	深鉢　胴	9		219	
SK-1187	1	SK-1187	深鉢　口縁	7		219	
SK-1187	2	SK-1187	深鉢　口縁	12		219	
SK-1187	3	SK-1187	深鉢　胴	12		219	
SK-1187	4	SK-1187	深鉢　胴	7		219	
SK-1187	5	SK-1187	土製品		直径　(6.6) 器高　[6.8]	219	108
SK-1188	1	SK-1188	深鉢　口〜胴	7		219	
SK-1188	2	SK-1188	深鉢　胴〜底	7		219	
SK-1188	7	SK-1188 No.1	甕　口〜胴	7	口径（44.5） 胴大（62.4） 器高［58.3］	220	93
SK-1190	1	SK-1190	深鉢　口〜胴	10･11		220	
SK-1190	2	SK-1190	深鉢　胴	10		220	
SK-1191	1	SK-1191	深鉢　胴	10		220	
SK-1192	1	SK-1192	深鉢　胴	12		220	
SK-1192	2	SK-1192	深鉢　胴	12		220	
SK-1193	1	SK-1193	深鉢　口縁	7･8		220	
SK-1193	2	SK-1193	深鉢　胴	8		220	
SK-1194	1	SK-1194	深鉢　口縁	9		221	
SK-1194	2	SK-1194	深鉢　口縁	?		221	
SK-1194	3	SK-1194	深鉢　胴	12		221	
SK-1196	1	SK-1196	深鉢　胴	7		221	
SK-1200	1	SK-1200	深鉢　胴	7		221	
SK-1200	2	SK-1200	深鉢　胴	7		221	
SK-1200	3	SK-1200	深鉢　胴	1		221	
SK-1208	1	SK-1208	深鉢　口縁	9		221	
SK-1208	2	SK-1208	深鉢　胴	10		221	
SK-1209	1	SK-1209	深鉢　胴	9	曽利系	221	

SK-1209	2	SK-1209	深鉢　胴	9		221	
SK-1220	1	SK-1220	深鉢　口縁	8･9		221	
SK-1220	2	SK-1220	深鉢　口縁	8･9		221	
SK-1220	3	SK-1220	深鉢　胴	8･9		221	
SK-1223	1	SK-1223	深鉢　口～胴	7	口径（20.2） 器高［17.5］	221	
SK-1223	2	SK-1223	深鉢　口縁	7		221	
SK-1223	3	SK-1223	深鉢　胴	7		221	
SK-1223	4	SK-1223	深鉢　胴	7		221	
SK-1223	5	SK-1223	深鉢　胴	7		221	
SK-1224b	1	SK-1224b	深鉢　胴	2･3		222	
SK-1231	1	SK-1231	深鉢　胴	12		222	
SK-1232	1	SK-1232	深鉢　胴	7		222	
SK-1232	2	SK-1232	深鉢　胴	12		222	
SK-1234	1	SK-1234	深鉢　胴	?		222	
SK-1235	1	SK-1235	深鉢　胴	7		223	
SK-1235	2	SK-1235	深鉢　胴	8･9		223	
SK-1252	1	SK-1252	深鉢　口縁	8		223	
SK-1254	1	SK-1254 No.1	深鉢　口～胴	5	口径　15.4 器高［18.2］	223	93
SK-1254	2	SK-1254	深鉢　胴	5		223	
SK-1255	1	SK-1255 No.1.3	深鉢　口～胴	11		223	
SK-1255	2	SK-1255 No.1	深鉢　口～胴	11		223	
SK-1255	3	SK-1255	深鉢　口～胴	11		223	
SK-1256	1	SK-1256	深鉢　口縁	11		223	
SK-1258	1	SK-1258	深鉢　胴	6		223	
SK-1258	2	SK-1258	深鉢　胴	6		223	
SK-1258	3	SK-1258	深鉢　胴～底	7		223	
SK-1258	4	SK-1258	土製円盤		直径　3.2 厚さ　0.7 重さ　10.4	223	107
SK-1259ab	1	SK-1259ab	深鉢　口縁	7･8		224	
SK-1259ab	2	SK-1259ab	深鉢　口～胴	11		224	
SK-1259ab	3	SK-1259ab	深鉢　胴	12		224	
SK-1260a	1	SK-1260a	深鉢　口～胴	12		224	
SK-1260a	2	SK-1260a	深鉢　口縁	12		224	
SK-1260a	3	SK-1260a	深鉢　胴	12		224	
SK-1260a	4	SK-1260a	深鉢　胴	12		224	
SK-1263	1	SK-1263 No.1	深鉢　口～胴	3	口径　27.4 器高［28.5］	224	93
SK-1263	2	SK-1263 No.2.5.7.17.20. 22.23.25.26.28. 29.32.34.39	深鉢 ほぼ完形	3	口縁　36.5 器高　46.2	224	93
SK-1263	3	SK-1263 No.2.4.6.8.9.10. 11.12.13.15.33. 35.39	深鉢 ほぼ完形	2･3	口縁（35.5） 器高　46.2	225	93･ 104
SK-1263	4	SK-1263 No.18.21.24. 29.36	浅鉢　2/3遺存	3	口縁（47.4） 器高　19.5	226	
SK-1263	5	SK-1263 No.40	深鉢　口～胴	3	口径（33.4） 器高［12.2］	226	
SK-1263	6	SK-1263	深鉢　胴	3		226	
SK-1263	7	SK-1263	深鉢　胴	3		226	
SK-1263	8	SK-1263	深鉢　口縁	3		226	
SK-1263	9	SK-1263	深鉢　口縁	3		226	
SK-1263	10	SK-1263	深鉢　口縁	3		226	
SK-1263	11	SK-1263	深鉢　口縁	3		226	
SK-1263	12	SK-1263	深鉢　口縁	3		226	
SK-1263	13	SK-1263	深鉢　胴	3		226	
SK-1263	14	SK-1263	深鉢　胴	3		226	
SK-1263	15	SK-1263	深鉢　胴	3		226	
SK-1263	16	SK-1263	深鉢　胴	2･3		226	
SK-1263	17	SK-1263	深鉢　胴	2･3		226	
SK-1263	18	SK-1263	深鉢　胴	2･3		226	
SK-1264	1	SK-1264	深鉢　口縁	2		226	
SK-1264	2	SK-1264	浅鉢　口縁	2		226	
SK-1264	3	SK-1264	深鉢　口縁	2		226	
SK-1264	4	SK-1264	深鉢　口縁	2		226	
SK-1264	5	SK-1264	深鉢　口縁	2		227	
SK-1264	6	SK-1264	深鉢　口縁	2		227	
SK-1264	7	SK-1264	深鉢　口縁	10		227	
SK-1264	8	SK-1264	深鉢　胴	4～6		227	
SK-1264	9	SK-1264	深鉢　胴	2		227	
SK-1264	10	SK-1264	深鉢　胴	2		227	
SK-1264	11	SK-1264	深鉢　底	?		227	
SK-1273	1	SK-1273	深鉢　口縁	2		227	
SK-1273	2	SK-1273	深鉢　胴	12		227	
SK-1273	3	SK-1273	深鉢　胴	7		227	
SK-1273	4	SK-1273	深鉢　胴	12		227	
SK-1273	5	SK-1273	土製円盤		直径　3.7 厚さ　1.2 重さ　16.4	227	107
SK-1273	6	SK-1273	土製円盤		直径　3.8 厚さ　1.2 重さ　16.8	227	107
SK-1273	7	SK-1273	土製円盤		直径　3.4 厚さ　1.1 重さ　13.2	227	107
SK-1273	8	SK-1273	土製円盤		直径　3.0 厚さ　0.7 重さ　10.3	227	107
SK-1277	1	SK-1277	深鉢　胴	4～6		228	
SK-1277	2	SK-1277	深鉢　口縁	4～6		228	
SK-1279	1	SK-1279	深鉢　口縁	12		228	
SK-1279	2	SK-1279	深鉢　口縁	12		228	
SK-1279	3	SK-1279	深鉢　胴	12		228	
SK-1279	4	SK-1279	蓋		直径（11.4） 器高　［2.4］	228	105
SK-1280	1	SK-1280	甕　口～胴	7		229	
SK-1280	2	SK-1280	深鉢　口～胴	6		229	
SK-1280	3	SK-1280	深鉢　口縁	7		229	
SK-1280	4	SK-1280	深鉢　胴	7		229	
SK-1280	5	SK-1280	深鉢　胴	6		229	
SK-1280	6	SK-1280	深鉢　胴	7		229	
SK-1282	1	SK-1282	深鉢　口縁	12		229	
SK-1283	1	SK-1283	深鉢　胴	6･7		229	
SK-1283	2	SK-1283	深鉢　胴	6･7		229	
SK-1283	3	SK-1283	深鉢　胴	8･9		229	
SK-1284	1	SK-1284	深鉢　胴	7		230	
SK-1285	1	SK-1285	深鉢　口縁	7		229	
SK-1285	2	SK-1285	深鉢　口縁	7		229	
SK-1285	3	SK-1285	深鉢　口縁	7		229	
SK-1285	4	SK-1285	深鉢　口縁	7		229	
SK-1286	1	SK-1286.1287	深鉢　口～胴	12	口径（32.8） 器高［28.5］	230	94
SK-1286	2	SK-1286	深鉢　口縁	12		230	
SK-1286	3	SK-1286	深鉢　口縁	12		230	
SK-1286	4	SK-1286	深鉢　胴	12		230	
SK-1286	5	SK-1286	深鉢　胴	12		230	
SK-1289	1	SK-1289	深鉢　口縁	12		230	
SK-1289	2	SK-1289	深鉢　胴	12		230	
SK-1290	1	SK-1290	深鉢　口縁	7･8		230	
SK-1291	1	SK-1291	深鉢　胴	12		230	
SK-1291	2	SK-1291	深鉢　胴	12		230	
SK-1292	1	SK-1292	深鉢　口～胴	10		230	
SK-1292	2	SK-1292	深鉢　口縁	10		230	
SK-1292	3	SK-1292	深鉢　口縁	10		230	
SK-1292	4	SK-1292	深鉢　胴	10		231	
SK-1292	5	SK-1292	深鉢　胴	10		231	
SK-1292	6	SK-1292	深鉢　胴	10～12		231	
SK-1293	1	SK-1293	深鉢　口縁	8･9		231	
SK-1293	2	SK-1293	深鉢　胴	8･9		231	
SK-1293	3	SK-1293	深鉢　胴	12		231	
SK-1295	1	SK-1295	深鉢　胴	?		231	
SK-1297	1	SK-1297	深鉢　胴	7		231	
SK-1297	2	SK-1297	深鉢　胴	10		231	
SK-1298	1	SK-1298	深鉢　胴	12		231	
SK-1298	2	SK-1298	深鉢　胴	10		231	
SK-1302	1	SK-1302	深鉢　胴	4		231	
SK-1302	2	SK-1302	深鉢　胴	7		231	
SK-1306	1	SK-1306	深鉢　胴	10		231	
SK-1307	1	SK-1307	深鉢　胴	9		232	
SK-1308	1	SK-1308	深鉢　口縁	6		232	
SK-1308	2	SK-1308	深鉢　口縁	7		232	
SK-1308	3	SK-1308	深鉢　口縁	7		232	94
SK-1308	4	SK-1308	深鉢　口縁	6		232	
SK-1308	5	SK-1308	深鉢　口縁	11		232	
SK-1308	6	SK-1308	深鉢　胴	7	複弧文系	232	
SK-1308	7	SK-1308	深鉢　胴から	7		232	
SK-1308	8	SK-1308	器台	?		232	
SK-1310	1	SK-1310 No.1	深鉢　口～胴	7	口径　32.5 器高［38.2］ 中峠系	232	94･ 104
SK-1310	2	SK-1310 No.1	深鉢　口縁	7		233	
SK-1310	3	SK-1310	深鉢　口縁	7		233	
SK-1310	4	SK-1310 No.4	鉢 ほぼ完形	?	口縁　14.5 器高　10.6	233	94
SK-1310	5	SK-1310 No.2	深鉢　口縁	?		233	
SK-1310	6	SK-1310 No.1	深鉢　胴	7		233	
SK-1310	7	SK-1310 No.3	深鉢　底	?		233	
SK-1311	1	SK-1311	深鉢　口縁	12		233	
SK-1311	2	SK-1311	深鉢　胴	12		233	
SK-1313	1	SK-1313	深鉢　口縁	3･4		233	
SK-1313	2	SK-1313	深鉢　口縁	3･4		233	
SK-1313	3	SK-1313	深鉢　胴	3･4		233	
SK-1314	1	SK-1314	深鉢　口縁	8		234	
SK-1314	2	SK-1314	深鉢　口縁	8		234	
SK-1314	3	SK-1314	深鉢　口縁	8		234	

SK-1314	4	SK-1314	深鉢　口縁	8		234	
SK-1318ab	1	SK-1318ab	深鉢　胴	2〜4		234	
SK-1319	1	SK-1319	深鉢　胴	7		234	
SK-1319	2	SK-1319	深鉢　胴	7		234	
SK-1324	1	SK-1324	深鉢　口縁	12	口径（39.0） 器高［10.2］	234	
SK-1324	2	SK-1324	深鉢　口縁	7		234	
SK-1324	3	SK-1324	深鉢　口縁	9		234	
SK-1324	4	SK-1324	深鉢　胴	7		234	
SK-1325	1	SK-1325	深鉢　口縁	6･7		235	
SK-1325	2	SK-1325	深鉢　口〜胴	7		235	
SK-1325	3	SK-1325	深鉢　胴	7		235	
SK-1327	1	SK-1327	土製品		長さ　［4.3］ 幅　1.6 厚さ　1.5 重さ［11.3］	235	108
SK-1336	1	SK-1336	深鉢　口〜胴	11	口径　21.2 器高［21.5］	235	94
SK-1336	2	SK-1336	深鉢　口〜胴	11		235	
SK-1336	3	SK-1336	深鉢　口〜胴	11		235	
SX-1	1	SX-1	深鉢　口縁	12		235	
SX-1	2	SX-1	深鉢　口縁	12		235	
SX-1	3	SX-1	深鉢　口縁	12		235	
SX-1	4	SX-1	深鉢　口縁	12		235	
SX-1	5	SX-1	深鉢　口縁	10		235	
SX-1	6	SX-1	深鉢　胴	12		235	
SX-1	7	SX-1	深鉢　胴	12		235	
SX-1	8	SX-1	深鉢　胴	12		235	
SX-1	9	SX-1 No.2.5	深鉢　口〜胴	12	口径（31.6） 器高［14.8］	236	
SX-1	10	SX-1	深鉢　胴	12		236	
SX-1	11	SX-1 No.5	深鉢　胴	12		236	
SX-1	12	SX-1	深鉢　胴	12		236	
SX-1	13	SX-1	深鉢　胴	12		236	
SX-1	14	SX-1	土錘		長さ　5.1 幅　2.3 厚さ　1.7 重さ　21.9	236	108

第10表　縄文時代土坑出土石器一覧表

単位cm・g、（推定値）、［残存値］

遺構№	№	注記	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石材	特徴	挿図№	図版№
SK-14	5	SK-14	磨石	8.6	8.0	4.1	421.3	輝石安山岩	完形。全面磨面。全側縁敲打痕あり。	97	116
SK-16	2	SK-16	磨石	［6.0］	7.8	2.8	［167.8］	輝石安山岩	1/2欠損。全側縁磨面。敲打痕あり。被熱赤変。	98	116
SK-19	2	SK-19 No.2	磨石	13.2	10.8	5.2	1069.6	輝石安山岩	完形。表裏面磨面。全側縁磨面及び敲打痕あり。表裏面中央敲打痕あり。	98	117
SK-19	3	SK-19 No.3	石皿	［15.4］	［21.5］	［6.9］	［2080］	砂質凝灰岩	一部遺存。ややもろい。磨面ゆるやかに湾曲。表面凹部あり。	98	
SK-28	2	SK-28 No.26	磨石	［9.5］	10.2	4.5	［493.8］	凝灰岩	1/2欠損。上端部・右側縁磨面。左側縁・右側縁上部敲打痕あり。	99	117
SK-38			台石	［9.2］	［7.5］	［5.0］	［341.8］	砂質凝灰岩 （礫混じり）	小片。ややもろい。※未実測。		
SK-41	6	SK-41	掻削器	3.5	2.3	1.2	8.7	チャート	完形。長側縁細い剥離。	99	109
SK-41	7	SK-41	掻削器	4.6	3.5	1.4	21.7	チャート	完形。長側縁細い剥離。	99	109
SK-41	8	SK-41	石皿	［11.6］	［8.8］	2.4	［260］	多孔質安山岩	一部遺存。磨面平坦。	99	
SK-47	2	SK-47	打製石斧	9.8	6.6	1.7	89.2	緻密質安山岩	分銅形。完形。表面自然面多く残す。	100	112
SK-47	3	SK-47	磨石	［5.7］	7.5	4.5	［260.7］	輝石安山岩	1/2欠損。上端部・表面中央敲打痕あり。裏面剥離あり。全面滑らか、磨面か。一部煤付着。	100	117
SK-48	2	SK-48 No.2	台石	14.0	11.8	4.2	595.9	砂岩 （新第三紀）	完形。表裏面とも凹部十数カ所あり。もろい。	100	
SK-49	2	SK-49	磨製石斧	［7.0］	3.0	1.1	37.1	頁岩	刃部欠損。小型。擦痕あり。	100	111
SK-51a	7	SK-51a	磨石	9.0	7.2	4.4	401.1	輝石安山岩	完形。表裏面中央・全側縁敲打痕あり。	101	117
SK-52	1	SK-52	磨石	14.2	10.8	6.2	1384.1	輝石安山岩	完形。表面磨面。全面敲打痕あり。	101	117
SK-58	1	SK-58・59 No.1	磨石	［10.0］	9.7	5.4	［733.8］	流紋岩	下部欠損。表裏面中央・全側縁敲打痕あり。被熱一部赤変、煤付着。ややもろくなる。	102	117
SK-62	1	SK-62 No.6	石皿	［19.5］	［16.3］	9.0	［2633.8］	多孔質安山岩	破片。表面は凹面、但し剥離し凹凸あり。側縁に凹部多数あり。被熱赤変。	102	121
SK-66ab	3	SK-66ab	磨製石斧	7.8	2.1	0.8	［20.0］	頁岩	ほぼ完形。一部剥離。擦痕顕著。	102	111
SK-82	4	SK-82	磨製石斧	［10.9］	3.1	2.1	［162.4］	頁岩	刃部欠損。全体に擦痕顕著。	105	111
SK-83	5	SK-83	磨石	12.5	8.0	4.6	687.3	輝石安山岩	完形。左右側縁磨面。表面中央小凹部数カ所、表裏面中央・上下端部敲打痕あり。	105	117
SK-83	6	SK-83	磨石	［7.5］	9.5	3.4	［273.5］	石英含有輝石安山岩	1/2欠損。表裏面中央小凹部数カ所、表裏面中央・全側縁敲打痕あり。被熱赤変。	105	117
SK-84	14	SK-84	打製石斧	5.0	4.0	1.7	［42.3］	チャート	刃部欠損。分銅形。上端部自然面残す。	106	112
SK-84	15	SK-84 No.26	石皿	38.8	27.0	10.2	14600.0	砂岩 （新第三紀）	完形。	106	121
SK-90	18	SK-90 No.31	石皿	［11.2］	［10.5］	7.5	［760］	多孔質安山岩	一部遺存。	108	
SK-90	19	SK-90 No.9	台石	［22.4］	［14.8］	6.2	［3200］	凝灰岩	側縁欠損。ややもろい。表裏面凹部多数。	109	123
SK-93	22	SK-93	掻削器	5.6	3.3	1.4	30.0	珪質頁岩 （チャート質）	完形。縁辺細い剥離あり。	115	109
SK-93	23	SK-93	打製石斧	11.2	5.8	2.4	106.4	緻密質安山岩	分銅形。完形。表面一部自然面あり。左側縁括れ部刃潰しあり。	115	112
SK-108	4	SK-10	打製石斧	［9.6］	6.1	2.3	［153.8］	緻密質安山岩	分銅形。基部欠損。表裏面自然面残す。	117	112
SK-108	5	SK-108	台石	［6.3］	［10.7］	5.0	［380］	砂質凝灰岩	小片。ややもろい。表面凹部あり。	117	
SK-108	6	SK-108	台石	［10.3］	［5.4］	7.1	［400］	砂質凝灰岩	小片。ややもろい。表面凹部あり。	117	
SK-109	4	SK-109	掻削器	3.6	2.6	1.3	9.3	黒曜石	完形。	116	109
SK-111	1	SK-111 No.1	石皿	［42.5］	［21.2］	7.8	［7950］	砂質凝灰岩 （礫混じり）	1/3遺存。表裏面凹部あり。	118	121
SK-116	4	SK-116 No.1	石皿	［22.9］	［20.3］	8.2	［3070］	砂質凝灰岩 （礫混じり）	一部遺存。ややもろい。表面多数、裏面少量の凹部あり。	118	121
SK-118	5	SK-118	磨製石斧	12.2	5.1	3.0	288.7	火山礫凝灰岩 （新第三紀）	裏面剥離痕多くあり。刃部擦痕あり。	118	111
SK-118	6	SK-118 No.7	磨石	13.1	11.5	5.5	1151.5	角閃石安山岩	完形。表裏面中央・全側縁敲打痕あり。被熱赤変。	118	117
SK-118	7	SK-118 No.6	磨石	15.5	7.5	3.9	774.5	石英含有輝石安山岩	完形。左右側縁・上端部磨面。裏面中央・全側縁敲打痕あり。表面中央凹部二ヶ所あり。	118	117

SK-118	8	SK-118 No.4	石皿	[14.9]	[13.8]	4.9	[1040]	砂質凝灰岩	一部遺存。ややもろい。磨面平坦。	119	
SK-118	9	SK-118 No.3	台石	[13.5]	[14.4]	4.4	[1030]	砂質凝灰岩	一部遺存。ややもろい。表裏面凹部あり。	119	
SK-122	4	SK-122	磨石	12.8	5.7	4.6	472.6	輝石安山岩	完形。上下端部・表裏面一部敲打痕あり。被熱赤変。	119	117
SK-126	2	SK-126	掻削器	6.9	5.2	1.4	35.6	頁岩 （チャート質）	完形。縁辺部細い剥離あり。	119	109
SK-128	1	SK-128 No.1	台石	30.2	17.8	12.6	[6950]	砂質凝灰岩	縁辺一部欠損。ややもろい。表裏面凹部多数。	121	124
SK-129	4	SK-129	台石	[14.1]	[8.0]	3.6	[420]	砂質凝灰岩	一部遺存。	121	
SK-133	10	SK-133 No.1	石皿	[14.2]	[23.9]	6.7	[1960]	砂質凝灰岩	一部遺存。ややもろい。凹線による弧状のモチーフあり。	121	121
SK-138	1	SK-138	石皿	[32.2]	[16.8]	4.4	[2600]	砂質凝灰岩 （礫混じり）	1/2以上欠損。ややもろい。磨面平坦。	122	
SK-139	4	SK-139	磨石	12.0	5.0	3.6	349.1	輝石安山岩	完形。上下端部敲打痕あり。	122	117
SK-140	7	SK-140	磨石	8.1	6.2	3.8	260.8	輝石安山岩	完形。表裏面磨面。側縁敲打痕あり。	123	117
SK-140	8	SK-140	石棒	[13.5]	9.1	6.0	1159.8	デイサイト質凝灰岩	一部遺存。裏面なし。全面敲打痕残る。	123	125
SK-142	6	SK-142 No.2	石皿	[26.1]	[30.3]	6.5	[4760]	砂質凝灰岩 （礫混じり）	一部遺存。ややもろい。磨面平坦で凹部あり。	125	122
SK-144	8	SK-144 No.12	磨石	[12.5]	11.0	3.5	[704.4]	輝石安山岩	下部欠損。全側縁敲打痕あり。	125	117
SK-146a	10	SK-146 No.1	掻削器	[3.8]	3.3	0.9	[7.3]	珪質頁岩 （チャート質）	欠損部あり。縁辺細い剥離あり。	127	109
SK-146a	11	SK-146a No.1	台石	[35.1]	29.7	8.7	[8950]	砂質凝灰岩 （礫混じり）	一部欠損。表裏面凹部多数。	127	124
SK-146b	7	SK-146	台石	[17.5]	[15.8]	[6.6]	[790]	凝灰岩	一部遺存。ややもろい。表面凹部あり。	128	
SK-148	9	SK-148	打製石斧	[11.5]	9.4	3.4	[322.5]	輝石安山岩	分銅形。刃部欠損。裏面自然面残す。括れ部両側刃潰しあり。	129	112
SK-155	2	SK-155	磨石	13.2	8.9	4.1	731.0	輝石安山岩	完形。表面磨面。全側縁・裏面敲打痕あり。被熱赤変。	130	117
SK-157	6	SK-157	磨石	[10.0]	8.0	4.7	[552.3]	輝石安山岩	上部欠損。下端部を除き磨面。特に表裏面は滑らか。下端部敲打面、左右側敲打痕あり。	131	117
SK-158	3	SK-158	石核	3.2	4.6	2.9	47.0	黒曜石	全面に剥離痕あり。	131	110
SK-158	4	SK-158	磨石	10.8	9.6	4.7	674.6	輝石安山岩	完形。表裏面中央・全側縁敲打痕あり。被熱赤変。	131	117
SK-158	5	SK-158	磨石	11.3	7.0	3.5	447.7	輝石安山岩	完形。表裏面磨面。全側縁敲打痕あり。	131	117
SK-158	6	SK-158	磨石	9.2	7.2	3.4	332.0	輝石安山岩	完形。全面滑らか、磨面か。上下端部・右側縁敲打痕あり。1/2程煤付着。	131	117
SK-158	7	SK-158	磨石	9.1	5.7	4.6	372.8	輝石安山岩	完形。	131	117
SK-160	5	SK-160	磨製石斧	[15.3]	4.6	3.1	411.1	緑色片岩	未製品。全面成形時?の敲打痕。刃部剥離面のまま。	131	111
SK-160	6	SK-160	磨石	[9.7]	[9.0]	3.5	[367.7]	輝石安山岩	下部1/2欠損。表裏面中央・全側縁敲打痕あり。被熱赤変、一部煤付着。	132	118
SK-160	7	SK-160	磨石	10.7	9.0	5.2	698.3	輝石安山岩	完形。右側縁磨面。表面中央浅い凹部1ヶ所、表面中央・全側縁敲打痕あり。	132	118
SK-160	8	SK-160	磨石	11.4	8.8	5.5	784.1	輝石安山岩	完形。表裏面磨面。全側縁裏面中央敲打痕あり。	132	118
SK-160	9	SK-160	磨石	10.5	8.9	6.4	778.8	安山岩	完形。表裏面中央小凹部1ヶ所、表裏面中央・全側縁敲打痕あり。	132	118
SK-160	10	SK-160	石皿	[19.3]	[19.5]	7.8	[1900]	砂質凝灰岩	1/2強欠損。ややもろい。表裏面凹部多数。	132	122
SK-160	11	SK-160 No.4.5	石皿	[40.5]	[28.2]	5.4	[7000]	砂岩 （新第三紀）	1/2弱欠損。ややもろい。磨面平坦。表裏面凹部あり。	132	122
SK-160	12	SK-160 No.1	石皿	[30.8]	[38.6]	8.9	[9950]	砂質凝灰岩 （礫混じり）	1/2弱欠損。ややもろい。表裏面凹部多数。	133	122
SK-166	10	SK-166	磨製石斧	[9.4]	4.5	2.7	[192.7]	砂岩 （古期）	刃部欠損。	136	111
SK-166	11	SK-166	磨石	16.7	10.0	4.0	1060.3	輝石安山岩	完形。右側縁磨面。下端部敲打痕あり。	136	118
SK-166	12	SK-166 No.5	石皿	[42.5]	[36.8]	13.0	[19950]	砂岩 （新第三紀）	周縁部欠損。ややもろい。磨面比較的平坦。	136	122
SK-170	7	SK-170	掻削器	8.8	4.9	1.3	53.9	粘板岩	完形。縁辺に剥離あり。	137	109
SK-170	8	SK-170	磨石	12.7	10.7	4.8	959.9	輝石安山岩	完形。表裏面磨面。極めて滑らか。表裏面中央凹部1ヶ所、全側縁敲打痕あり。	137	118
SK-171	5	SK-171	台石	[10.5]	[15.1]	6.2	[780]	砂質凝灰岩 （礫混じり）	破片。ややもろい。表裏面凹部あり。	137	
SK-171	6	SK-171 No.1	石皿	47.4	[26.2]	4.8	[5800]	砂質凝灰岩	1/2遺存。ややもろい。磨面上部敲打痕あり。表面少数、裏面多数の凹部あり。	138	122
SK-172	5	SK-172	石匙	[5.5]	1.3	0.8	[5.6]	黒曜石	つまみ部欠損。	138	110
SK-172	6	SK-172	石皿	[9.0]	[12.5]	6.8	[840]	砂質凝灰岩	小片。表面凹部あり。	138	
SK-179	6	SK-179 No.1	石皿	[31.2]	[23.2]	6.6	[4300]	凝灰質砂岩	小片。ややもろい。	139	
SK-183	6	SK-183	台石	26.8	[18.6]	11.7	[6560]	輝石安山岩 （新第三紀）	1/2欠損。表裏面凹部多数。	140	
SK-184	8	SK-184 No.1	石皿	[43.4]	[45.6]	15.6	[28920]	砂岩 （新第三紀）	一部欠損。ややもろい。表面凹部あり。	141	122
SK-191	7	SK-191	磨製石斧	[9.7]	5.5	3.3	294.0	火山礫凝灰岩 （新第三紀）	基部欠損。擦痕あり。	142	111
SK-191	8	SK-191	磨石	9.2	7.3	3.9	381.0	輝石安山岩	完形。全面極めて滑らか、磨面。上下端部・表面中央・左側縁敲打痕あり。一部煤付着。	142	118
SK-191	9	SK-191	磨石	10.0	7.2	4.6	469.7	輝石安山岩	完形。全面滑らか、磨面か。上下端部敲打痕あり。	142	118
SK-199	11	SK-199	打製石斧	8.5	6.9	3.1	185.8	菫青石ホルンフェルス	分銅形。完形。裏面自然面残す。括れ部刃潰しあり。	144	112
SK-210	4	SK-210	打製石斧	9.7	6.5	2.1	129.6	輝石安山岩	撥形。完形。表面自然面大きく残す。煤付着。	145	112
SK-211ac	5	SK-211ac	台石	[12.5]	[8.2]	6.5	[620]	砂質凝灰岩 （礫混じり）	小片。ややもろい。表裏面凹部多数。	145	
SK-211a	6	SK-211a No.2	石皿	[24.3]	36.2	11.8	[11350]	砂質凝灰岩	1/2弱遺存。中央に磨面及び敲打痕あり。表裏面凹部少数。	146	122
SK-211a	7	SK-211a No.1	台石	[22.3]	[20.4]	[5.4]	[2350]	砂質凝灰岩	小片。裏面剥離。ややもろい。表面凹部あり。	146	
SK-211c	8	SK-211c No.2	台石	[35.2]	[27.5]	[5.9]	[4950]	砂質凝灰岩	大型破片。ややもろい。表面凹部あり。	146	

SK-212	3	SK-212	磨石	7.7	6.4	6.3	379.2	多孔質安山岩	完形。全面磨面。	145	118
SK-226	8	SK-226	打製石斧	11.0	5.2	2.5	156.8	菫青石ホルンフェルス	撥形。完形。刃部のみ加工。大きく自然面残す。	148	112
SK-226	9	SK-226 No.3	打製石斧	10.5	7.1	2.5	279.8	安山岩 （新第三紀）	未製品。左右側縁のみ敲打・剥離による加工。大きく自然面残す。	148	112
SK-226	10	SK-226	石皿	[20.0]	[12.4]	[2.7]	[820]	砂質凝灰岩	大型破片。磨面平坦、凹部あり。	148	
SK-244	5	SK-244	台石	[13.5]	[14.1]	5.9	[1040]	砂質凝灰岩	小片。ややもろい。表面凹部あり。	149	
SK-244	6	SK-244	磨製石斧	[5.0]	5.3	2.5	[102.5]	玄武岩 （古期）	刃部遺存。擦痕顕著。	149	111
SK-258	5	SK-258	掻削器	[3.0]	2.8	0.8	[6.0]	緻密質安山岩	上下端部欠損。縁辺細い剥離あり。	151	109
SK-285	3	SK-285	掻削器	7.1	2.5	1.5	20.8	チャート	完形。縁辺部細い剥離あり。	153	109
SK-291	22	SK-291	打製石斧	9.8	7.2	2.7	155.9	緻密質安山岩	完形。分銅形。裏面と側縁の一部に自然面残す。括れ部刃潰しあり。	154	112
SK-308	2	SK-308	石鏃	2.4	2.0	0.6	1.9	チャート	完形。縁辺のみ細い剥離あり。	154	109
SK-324	3	SK-324	打製石斧	10.6	7.5	3.2	199.2	緻密質安山岩	分銅形。完形。表面中央と裏面刃部一部に自然面残す。括れ部刃潰しあり。	155	112
SK-328	15	SK-328	石鏃	2.0	1.3	0.5	0.7	黒曜石	完形。	157	109
SK-328	16	SK-328	石鏃	1.6	1.4	0.5	0.8	黒曜石	完形。	157	109
SK-364	5	SK-364	磨石	10.0	[7.4]	4.5	[468.4]	輝石安山岩	左側縁欠損。表裏面中央・全側縁敲打痕あり。一部煤付着。	158	118
SK-364	6	SK-364	磨石	13.2	8.0	5.4	825.5	輝石安山岩	完形。表面中央凹部2ヶ所、上下端部・左側縁敲打痕あり。一部煤付着。	158	118
SK-397	7	SK-397	打製石斧	9.2	5.9	1.8	84.6	輝石安山岩	分銅形。完形。裏面に大きく自然面残す。	160	112
SK-399	2	SK-399	石皿	[10.7]	[6.1]	3.2	[200]	多孔質安山岩	破片。	160	
SK-458	2	SK-458	打製石斧	13.1	6.7	2.1	162.7	緻密質安山岩	分銅形。完形。表面に自然面残す。大きく剥ぎ、縁辺に細い剥離を入れる。括れ部刃潰しあり。	164	112
SK-460	1	SK-460	打製石斧	12.8	10.2	2.4	354.9	砂岩 （古期）	分銅形。完形。表裏面に自然面残す。括れ部刃潰しあり。	164	112
SK-464	3	SK-464	石皿	[19.8]	[13.7]	[4.0]	[1160]	砂質凝灰岩	破片。磨面平坦。裏面凹部あり。	164	
SK-468	37	SK-468	石皿	[14.2]	[17.6]	5.7	[1540]	凝灰質砂岩	破片。表裏面凹部あり。	169	
SK-468	38	SK-468	石皿	[15.2]	[10.2]	7.0	[1150]	凝灰質砂岩	破片。表面凹部・敲打痕あり。	169	
SK-478	6	SK-478	磨製石斧	[3.2]	1.7	0.7	[7.7]	頁岩	小型。基部欠損。擦痕あり。	169	111
SK-497	5	SK-497	小型石皿・器	口径 (9.2)	器高 (6.8)		[120]	凝灰岩	破片。	171	
SK-500	8	SK-500	打製石斧	12.1	8.2	2.0	[181.9]	緻密質安山岩	分銅形。側縁一部自然面あり。括れ部刃潰し若干。	171	113
SK-525	1	SK-525	打製石斧	14.8	8.6	3.5	464.6	石英含有輝石安山岩	撥形。完形。表面自然面残す。側縁中央刃潰しあり。	172	113
SK-525	2	SK-525	台石	[17.2]	[14.9]	[7.1]	[1980]	砂質凝灰岩 （礫混じり）	破片。表面凹部あり。	172	
SK-541	1	SK-541 No.1	磨石	11.2	10.0	4.2	656.8	砂岩	完形。上下端部敲打痕あり。被熱赤変。	172	118
SK-556	8	SK-556	打製石斧	10.6	7.8	1.8	124.1	緻密質安山岩	分銅形。完形。裏面自然面残す。	173	113
SK-562	4	SK-562	磨石	15.2	9.1	5.1	995.2	輝石安山岩	完形。表裏面一部・全側縁敲打痕あり。	173	118
SK-584a	9	SI-17 No.12	台石	[26.8]	[14.1]	6.5	[2360]	砂岩 （新第三紀）	破片。ややもろい。表裏面凹部多数。	174	
SK-584a	10	SI-17 No.13	台石	[17.3]	[12.0]	3.4	[540]	凝灰岩	破片。表裏面凹部・敲打痕あり。	174	
SK-588	7	SK-588	打製石斧	[8.6]	8.6	2.4	[174.8]	緻密質安山岩	分銅形。基部欠損。表面自然面大きく残す。括れ部刃潰しあり。	175	113
SK-592	5	SK-592	打製石斧	12.4	6.4	2.8	212.5	緻密質安山岩	分銅形。完形。表裏面自然面残す。	175	113
SK-592	6	SK-592	打製石斧	[12.3]	10.0	2.5	[360.4]	緻密質安山岩	分銅形。基部欠損。表裏面自然面残す。	175	113
SK-592	7	SK-592	石棒	[13.0]	4.7	3.7	[487.6]	角閃岩	上部欠損。	175	125
SK-593	6	SK-593	打製石斧	11.9	[7.2]	3.2	[311.6]	輝石安山岩	分銅形。刃部・基部・左側縁欠損。表裏面自然面残す。括れ部刃潰しあり。	175	113
SK-623	6	SK-623	台石	[13.3]	[6.4]	4.7	[370]	軽石凝灰岩	小片。表裏面凹部あり。	178	
SK-629	6	SK-629	磨石	10.5	8.8	4.6	573.7	輝石安山岩	完形。表裏面磨面、表面中央浅い凹部1ヶ所、全側縁敲打痕あり。	178	118
SK-638	2	SK-638	打製石斧	13.1	8.1	1.8	206.8	緻密質安山岩	分銅形。完形。裏面自然面残る。	179	113
SK-659	5	SK-659	打製石斧	[9.3]	10.4	2.5	[187.5]	輝石安山岩	分銅形。1/2欠損。表面自然面残す。	180	113
SK-702	3	SK-702 No.17	打製石斧	8.2	6.0	2.2	99.6	ホルンフェルス	分銅形。完形。表裏面自然面残す。摩滅著しい。	182	113
SK-702	4	SK-702 No.16	打製石斧	12.9	10.3	3.3	475.1	安山岩	分銅形。完形。表裏面自然面大きく残す。括れ部刃潰しあり。	182	113
SK-702	5	SK-702	磨石	12.0	8.3	5.0	811.8	輝石安山岩 （新第三紀）	完形。表裏面極めて滑らか、磨面。全側縁敲打面。左右側縁磨面。	182	118
SK-713	5	SK-713 No.3	石皿	[27.2]	[24.8]	10.2	[9000]	デイサイト	縁辺欠損。磨面は縁を持つ緩やかな凸面となる。表裏面凹部あり。	183	122
SK-713	6	SK-713 No.2	石皿	[36.4]	[33.0]	10.4	[12000]	砂質凝灰岩	片側縁辺欠損。表裏面凹部多数。	183	122
SK-790	3	SK-790	打製石斧	[5.3]	6.6	1.5	[63.7]	輝石安山岩	分銅形。1/2欠損。裏面自然面残す。	182	113
SK-792	7	SK-792	打製石斧	10.2	8.0	2.6	171.8	緻密質安山岩	分銅形。完形。周辺部一部自然面残す。括れ部刃潰しあり。	184	113
SK-807	2	SK-807	打製石斧	10.3	8.4	1.7	144.7	かんらん石輝石安山岩	分銅形。完形。表面自然面多く残す。	185	113
SK-818	5	SK-818	磨製石斧	[8.0]	3.2	2.0	[84.6]	頁岩	刃部欠損。擦痕多く残す。	185	111
SK-818	6	SK-818	台石	[16.4]	[10.4]	6.3	[1260]	砂質凝灰岩	破片。ややもろい。表裏面凹部多数。	186	
SK-819	3	SK-819 No.2	磨石	11.8	7.8	3.7	446.3	輝石安山岩 （ゼノリス多い）	完形。左右側縁磨面兼敲打面。表裏面中央２～３ヶ所浅い凹部あり。上下端部敲打痕あり。	186	118
SK-819	4	SK-819 No.5	磨石	13.3	8.8	4.9	712.1	輝石安山岩	完形。左右側縁磨面。一部敲打痕。表面中央浅い凹部あり。上下端部敲打痕あり。	186	118
SK-819	5	SK-819 No.6	台石	[13.9]	[10.1]	[4.7]	[820]	砂質凝灰岩 （礫混じり）	破片。表面凹部あり。	186	
SK-821ab	5	SK-821ab	打製石斧	10.0	6.2	2.0	142.2	緻密質安山岩	分銅形。完形。裏面自然面残す。括れ部刃潰しあり。	186	113
SK-823	2	SK-823	石皿	[10.6]	[16.4]	6.9	[960]	砂質凝灰岩 （礫混じり）	破片。ややもろい。表裏面凹部あり。	186	
SK-823	3	SK-823	石皿	[12.0]	[11.7]	5.6	[880]	砂質凝灰岩	破片。ややもろい。表裏面凹部あり。	187	

SK-830	10	SK-830 No.5	石皿	[29.2]	[37.2]	5.9	[6150]	砂質凝灰岩	破片。ややもろい。表裏面凹部多数。	187	
SK-830	11	SK-830	磨石	[7.0]	[6.3]	3.8	[193.6]	輝石安山岩	1/4残存。表面中央凹部1ヶ所、左側縁敲打痕あり。	188	118
SK-830	12	SK-830	磨石	[11.0]	8.2	5.8	[760.8]	輝石安山岩	下部欠損。左右側縁磨面。上端部・表裏面中央敲打痕あり。	188	118
SK-830	13	SK-830 No.4	台石	[19.8]	[13.0]	10.5	[3400]	砂質凝灰岩	端部から縁辺欠損。表面凹部多数。	188	
SK-835	1	SK-835	台石	[6.8]	[11.8]	[6.4]	[510]	砂質凝灰岩	小片。表面凹部多数。	188	
SK-835	2	SK-835	台石	[10.9]	[7.0]	[6.5]	[320]	砂質凝灰岩	小片。ややもろい。表面凹部多数。	188	
SK-839abc	8	SK-839abc	打製石斧	[5.3]	6.2	1.8	[64.4]	緻密質安山岩	分銅形。1/2欠損。表裏面自然面多く残す。括れ部刃潰しあり。	189	113
SK-839abc	9	SK-839abc	磨石	10.5	10.2	6.8	726.0	多孔質安山岩	完形。表裏面磨面。表裏面中央凹部1ヶ所あり。全側縁敲打痕あり。	189	118
SK-853	5	SK-853	台石	11.5	7.4	4.7	813.5	輝石安山岩	完形。表面敲打痕・被剥片調整痕あり。	191	124
SK-858	4	SK-858	台石	[5.2]	[9.4]	[1.7]	[90.0]	砂質凝灰岩	小片。ややもろい。表面凹部多数。	191	
SK-890	4	SK-890 No.1	石皿	[25.1]	28.3	6.2	[5700]	砂質凝灰岩	1/2欠損。磨面わずかに凹む。裏面凹部多数。	194	122
SK-927	9	SK-927	打製石斧	[6.6]	7.4	1.9	[94.5]	輝石安山岩	分銅形。1/2欠損。表面自然面あり。	195	114
SK-939	4	SK-939	磨製石斧	[4.9]	[3.0]	[0.8]	[17.0]	頁岩	基部・刃部一部欠損。刃部一部、黒色付着物あり。	196	111
SK-940	1	SK-940	打製石斧	10.4	8.1	3.0	226.2	緻密質安山岩	分銅形。完形。表裏面自然面残す。括れ部刃潰しあり。	196	114
SK-958	4	SK-958	石皿	[20.2]	[14.6]	6.8	[1640]	砂質凝灰岩	破片。ややもろい。磨面わずかに凹む。裏面凹部あり。	197	
SK-958	5	SK-958	石皿	[17.0]	[14.7]	[6.0]	[1320]	砂質凝灰岩	小片。ややもろい。表面凹部多数。	197	
SK-1033	2	SK-1033	打製石斧	[8.0]	9.0	2.6	[253.7]	輝石安山岩	分銅形。1/2刃部欠損。表裏面自然面多く残す。括れ部刃潰しあり。	199	114
SK-1038	3	SK-1038	磨製石斧	6.3	1.9	1.0	22.1	頁岩	完形。小型。擦痕多くあり。	200	111
SK-1058	10	SK-1058	掻削器	3.0	3.6	0.9	9.3	碧玉（チャート）	完形。縁辺細い剥離あり。	201	109
SK-1058	11	SK-1058	石皿	[11.1]	[18.4]	5.3	[1380]	多孔質安山岩	1/4遺存。裏面凹部多数。	201	122
SK-1058	12	SK-1058	台石	[13.0]	[9.6]	[6.7]	[800]	砂質凝灰岩	小片。ややもろい。表面凹部多数。	201	
SK-1059	9	SK-1059	掻削器	[2.9]	1.6	0.9	[4.0]	流紋岩	欠損部あり。縁辺部細い剥離あり。	202	110
SK-1065	3	SK-1065	磨石	11.7	8.4	6.0	782.1	多孔質輝石安山岩	完形。表裏面磨面。表裏面中央浅い凹み2ヶ所あり。全側縁磨面・敲打面。被熱赤変。煤付着。	203	118
SK-1065	4	SK-1065	磨石	[10.2]	9.1	4.6	591.2	輝石安山岩	下部欠損。表裏面中央・全側縁敲打面。被熱赤変。裏面中央煤付着。	203	119
SK-1065	5	SK-1065	磨石	9.5	7.0	3.1	261.7	輝石安山岩	完形。右側縁・下端部磨面。一部敲打痕あり。煤付着。	203	119
SK-1072・1073	14	SK-1072・1073	磨石	[4.8]	[6.1]	[3.3]	[183.1]	ドレライト	上部欠損。表裏下端部磨面。左右側縁敲打面。	204	119
SK-1094	6	SK-1094	打製石斧	10.5	9.5	3.0	314.8	菫青石ホルンフェルス	分銅形？。完形？。表裏面自然面大きく残す。括れ部刃潰しあり。	205	114
SK-1101	10	SK-1102	磨石	11.2	10.8	5.2	847.3	輝石安山岩	完形。表面中央浅い凹部、表裏面中央・全側縁敲打痕あり。被熱赤変。一部煤付着。	208	119
SK-1101	11	SK-1101	台石	[29.8]	[18.8]	8.5	[3150]	砂質凝灰岩	欠損部あり。表面凹部多数。	208	
SK-1101	12	SK-1101	石皿	[24.4]	[18.0]	6.5	[2360]	砂岩（新第三紀）	破片。ややもろい。裏面凹部多数。	208	
SK-1101	13	SK-1101	石皿	[13.5]	[10.5]	5.4	[710]	砂質凝灰岩	破片。被熱赤変。表面敲打痕多数。裏面凹部あり。	208	
SK-1107	1	SK-1107	石皿	[32.2]	[46.3]	6.6	[8350]	砂質凝灰岩	大型破片。表裏面凹部多数。	209	
SK-1114	9	SK-1114	磨石	12.0	7.4	4.8	606.9	輝石安山岩	完形。上下端部敲打痕。裏面中央浅い凹部あり。	210	119
SK-1118	11	SK-1118	磨製石斧	[10.6]	5.0	2.0	281.5	閃緑斑岩	刃部欠損。擦痕あり。	212	111
SK-1118	12	SK-1118	石皿	[20.7]	16.3	4.8	[1580]	砂質凝灰岩（礫混じり）	縁辺欠損。ややもろい。磨面平坦。表裏面凹部あり。	212	
SK-1132	4	SK-1132	磨石	16.0	9.7	5.0	1179.9	輝石安山岩	完形。表裏面・左右側縁磨面。特に表面は滑らか。上下端部敲打痕あり。煤・黒色付着物少々あり。	213	119
SK-1141	2	SK-1141	磨石	10.2	6.8	4.0	381.3	輝石安山岩	完形。表面中央裏面一部磨面。極めて滑らか。上端敲打痕あり。	213	119
SK-1146	10	SK-1146	打製石斧	[10.4]	[7.0]	[1.8]	[117.6]	輝石安山岩	分銅形。基部・右側欠損。表面自然面大きく残す。	214	114
SK-1146	11	SK-1146	磨石	14.5	10.8	4.0	772.8	多孔質安山岩	完形。上端・左右側縁・表裏面磨面。特に表面滑らか。下端敲打痕あり。	214	119
SK-1146	12	SK-1146	磨石	11.3	10.3	4.2	637.6	玄武岩	完形。表裏面中央敲打痕あり。	214	119
SK-1146	13	SK-1146 No.1	不明	43.0	[36.6]	7.8	[11700]	砂岩（新第三紀）	一部欠損。上面平坦、但し、剥離してあれている。石皿として使われていた可能性があるかもしれない。	214	123
SK-1146	14	SK-1146 No.2	石皿	[16.7]	[19.2]	5.0	[1280]	砂質凝灰岩（礫混じり）	破片。表裏面凹部あり。	214	
SK-1160	3	SK-1160	打製石斧	9.2	7.3	1.6	116.3	緻密質安山岩	分銅形。完形。裏面自然面残す。括れ部刃潰しあり。	215	114
SK-1163	8	SK-1163	磨石	11.8	4.8	3.5	335.6	緻密質安山岩	完形。磨製石斧を転用した磨石。下端部敲打痕多数。	216	119
SK-1163	9	SK-1163	磨石	[10.3]	8.1	4.6	[531.9]	輝石安山岩	下部欠損。表裏面中央・左右上端側縁敲打痕あり。表裏面中央小凹部1ヶ所あり。黒色の付着物あり。	216	119
SK-1163	10	SK-1163	台石	[14.4]	[15.9]	[9.7]	[2540]	輝石安山岩（新第三紀）	1/2欠損。表面凹部あり。	216	
SK-1166	7	SK-1166	打製石斧	[6.1]	5.9	3.4	[190.0]	輝石安山岩	未製品？。上下欠損、右側縁粗く剥離が入る。	217	114
SK-1166	8	SK-1166	石皿	33.1	25.2	8.6	7350.0	砂質凝灰岩（礫混じり）	完形。ややもろい。表裏面凹部多数。	217	123
SK-1180	4	SK-1180 No.2	磨石	15.7	10.0	5.5	1129.4	デイサイト	完形。上端・左右側縁・裏面中央敲打痕あり。	218	119
SK-1185	2	SK-1185 No.1	石皿	[19.4]	[17.7]	7.5	[2900]	砂質凝灰岩	破片。ややもろい。表裏面凹部あり。	219	
SK-1188	3	SK-1188	磨製石斧	[7.7]	5.2	2.5	[184.2]	玄武岩（古期）	基部欠損。擦痕あり。	219	111
SK-1188	4	SK-1188	磨石	10.2	8.8	4.5	677.9	輝石安山岩	完形。表面中央浅い凹部1ヶ所、右側縁敲打痕あり。一部煤付着。	219	119
SK-1188	5	SK-1188	石皿	[24.5]	[28.6]	5.0	[3280]	砂岩	破片。	219	

SK-1188	6	SK-1188	石皿	[12.7]	[15.0]	4.1	[780.0]	砂質凝灰岩 （礫混じり）	小片。表面凹部あり。	219	
SK-1194	4	SK-1194	磨石	9.9	8.6	5.2	586.1	輝石安山岩	完形。表裏面磨面あり。表裏面中央敲打痕あり。	221	119
SK-1200	4	SK-1200	磨石	12.5	5.9	5.1	566.7	輝石安山岩	完形。右側縁磨面。上下端部・裏面中央敲打痕あり。上部側縁ヒビ割れあり。裏面一部煤付着。	221	119
SK-1210	1	SK-1210 No.1	石皿	[37.0]	[20.4]	7.9	[5100]	砂岩 （新第三紀）	1/3遺存。ややもろい。裏面凹部あり。	222	
SK-1220	4	SK-1220 No.1	台石	39.2	9.0	22.5	8150.0	砂質凝灰岩 （礫混じり）	完形。ややもろい。表裏面凹部多数。	222	124
SK-1223	6	SK-1223	磨石	9.3	7.5	4.8	369.3	多孔質輝石安山岩	完形。裏面中央凹部1ヶ所、左右側縁・裏面中央敲打痕あり。	221	119
SK-1223	7	SK-1223	磨石	6.0	5.4	5.3	84.3	スコリア	完形。全面磨面。	221	119
SK-1223	8	SK-1223 No.1	石皿	[35.2]	[23.5]	6.4	[5220]	砂質凝灰岩	破片。赤色付着物あり。裏面凹部多数。	222	123
SK-1224b	2	SK-1224b	礫器	9.6	5.4	2.0	104.4	輝石安山岩	完形。縁辺剥離面あり。	222	116
SK-1234	2	SK-1234	石皿	41.7	24.2	5.1	6950.0	砂質凝灰岩	完形。磨面平坦。凹部あり。	222	
SK-1263	19	SK-1263	石錘	3.9	3.4	0.7	12.5	安山岩	完形。	226	110
SK-1263	20	SK-1263	磨製石斧	[11.0]	4.9	3.5	[339.5]	玄武岩 （古期）	刃部欠損。擦痕あり。	226	111
SK-1264	12	SK-1264	石製品	[13.8]	2.8	1.7	[89.3]	粘板岩	一部欠損。赤色付着物あり。擦痕あり。	227	125
SK-1273	9	SK-1273 No.2	石皿	[38.8]	[23.6]	7.7	[7100]	砂質凝灰岩	一部欠損。ややもろい。表裏面凹部多数。	227	123
SK-1273	10	SK-1273 No.3	石皿	[28.0]	[18.3]	[7.7]	[3650]	砂質凝灰岩	破片。ややもろい。表裏面凹部あり。	228	
SK-1273	11	SK-1273 No.4	台石	[28.4]	[27.2]	4.3	[3360]	砂質凝灰岩	石皿としても使用か。裏面全面剥離。表裏面凹部多数。	228	
SK-1273	12	SK-1273 No.1	石棒	[30.2]	12.4	11.4	[5480]	砂質凝灰岩	下部欠損。凹部あり。	228	124
SK-1285	5	SK-1285	台石	[13.6]	[13.3]	7.1	[1050]	凝灰質砂岩	破片。表裏面凹部あり。	229	
SK-1286	6	SK-1286	磨石	12.0	8.8	4.6	624.4	輝石安山岩	完形。表裏面中央・上下左右側縁敲打痕あり。	230	119
SK-1292	7	SK-1292	打製石斧	[6.1]	7.5	2.0	[77.1]	緻密質安山岩	分銅形。2/3欠損。裏面自然面残る。括れ部刃潰しあり。	231	114
SK-1292	8	SK-1292	打製石斧	13.5	8.5	2.0	233.3	流紋岩質凝灰岩 （石英斑岩様）	分銅形。完形。裏面自然面多い。括れ部刃潰しあり。	231	114
SK-1297	3	SK-1297	台石	[16.0]	[19.8]	7.4	[2240]	砂質凝灰岩 （礫混じり）	破片。ややもろい。表裏面凹部あり。	231	
SK-1300	1	SK-1300	磨石	11.5	8.4	5.3	690.6	輝石安山岩	完形。表裏面磨面（両面とも滑らか）。上下左右側縁敲打痕あり。	231	119
SK-1310	8	SK-1310	台石	[17.0]	21.3	7.6	[2540]	砂質凝灰岩	1/3欠損。表裏面凹部多数。	233	
SK-1313	4	SK-1313	石皿	[17.6]	[14.7]	4.0	[1460]	凝灰質砂岩	破片。磨面平坦。表面凹部あり。	233	
SK-1313	5	SK-1313	石皿	[30.0]	[22.4]	8.0	[3750]	砂質凝灰岩	破片。表裏面凹部多数。	234	123
SK-1318ab	2	SK-1318ab	磨石	[9.1]	7.8	4.5	[484.7]	輝石安山岩	下部欠損。表裏面・左右側面磨面。極めて滑らか。表面中央浅い凹部1ヶ所。上端部敲打痕あり。煤付着。	234	119
SK-1324	5	SK-1324	磨石	[10.5]	10.3	3.8	[543.8]	多孔質輝石安山岩	下部欠損。左右側縁磨面、表裏中央・上端部敲打痕あり。	234	119
SK-1324	6	SK-1324	石皿	19.0	16.3	5.7	[1691.2]	多孔質安山岩	右側縁一部欠損。表面磨面は浅い凹面。表裏中央に凹部数カ所あり。	234	123
SK-1325	4	SK-1325 No.1	台石	35.2	25.4	9.4	11600.0	砂質凝灰岩 （礫混じり）	完形。ややもろい。表裏面凹部多数。	235	124
SX-1	15	SX-1	打製石斧	12.4	8.0	2.4	229.2	石英含有輝石安山岩	分銅形。完形。表面自然面残る。	236	114
SX-1	16	SX-1	磨石	12.3	10.7	8.4	1264.7	輝石安山岩	完形。裏面中央凹部1ヶ所、表面中央・上側縁敲打痕あり。全面比較的なめらかで磨面の可能性あり。被熱赤変。	236	120
SX-1	17	SX-1	磨石	10.0	9.0	4.5	589.6	多孔質安山岩	完形。左右側縁磨面。表裏面中央敲打痕あり。	236	120
SX-1	18	SX-1 No.7	石棒	[21.0]	12.5	[11.8]	4.6	緑色片岩	基部遺存。被熱。剥離多い。	236	124
SX-1	19	SX-1 No.3	台石	[20.9]	[20.1]	[5.2]	[1800]	砂質凝灰岩	破片。ややもろい。表面凹部あり。	236	

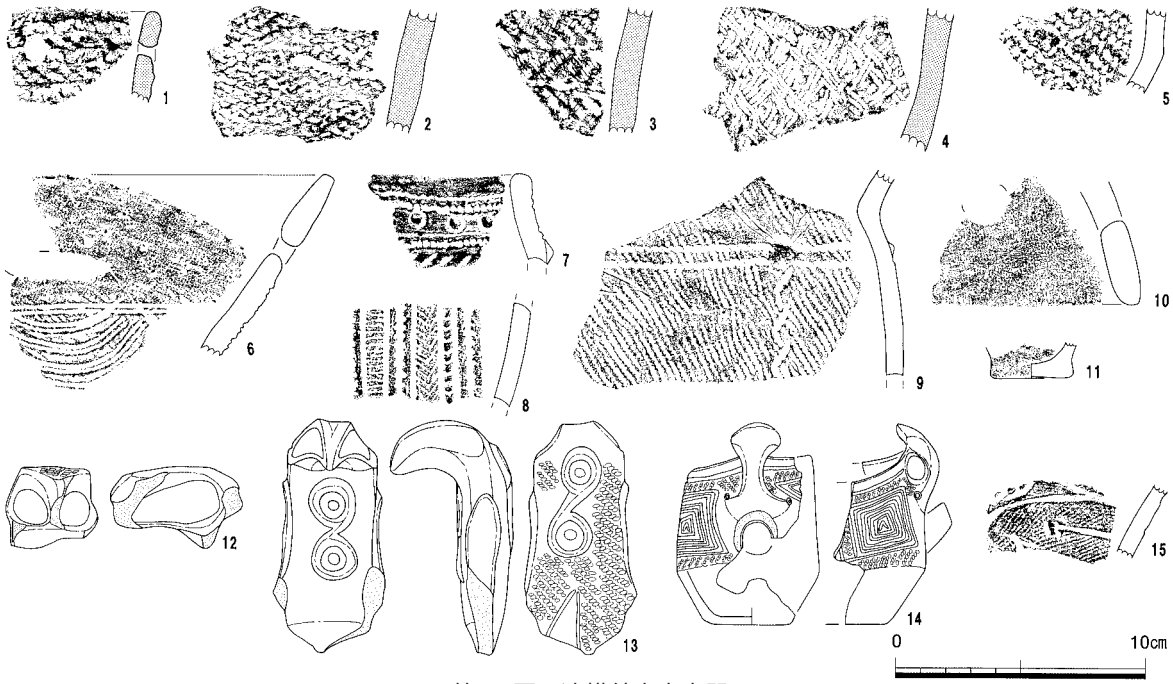
３，遺構外出土遺物

ここでは遺構外出土遺物を実測図と表により提示する。

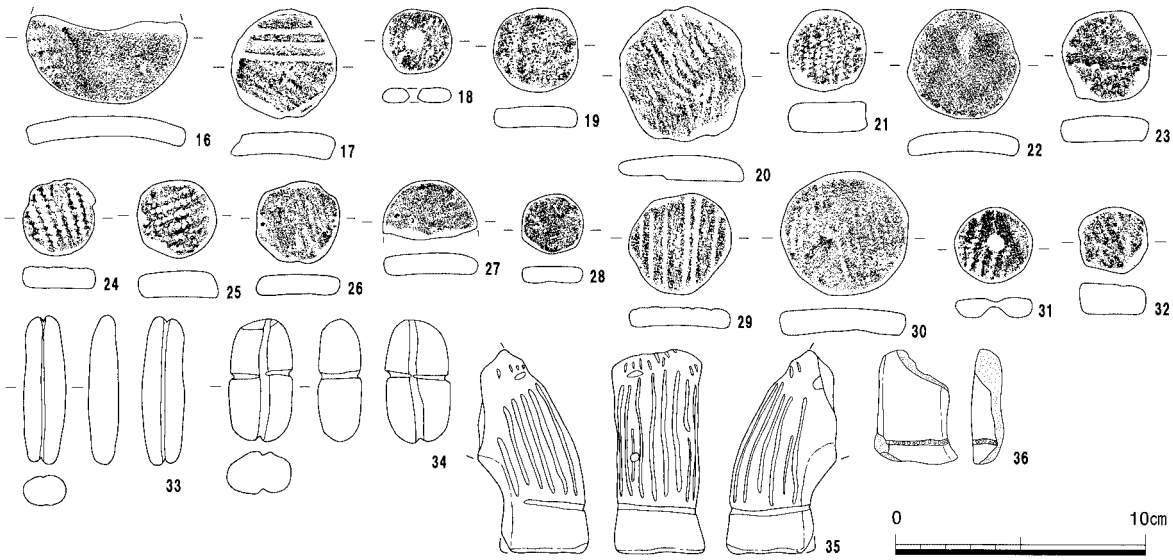
土器は文様などから１～５は関山式、６と７は諸磯式、８と９は前期末から中期初頭、10は中期後半の器台、11はミニチュア底部と考えられる。12と13は中期末から後期初頭の動物意匠の把手、14は集合沈線を用いた堀之内式期の注口土器のミニチュアと考えられる。15は後期後葉の新地式かもしれない。

16～32は土製円盤、33と34は土錘、35は土偶脚部で沈線が多用され、足首部に横位沈線が施される。36は土偶腰部で括れ部に横位列点が施される。

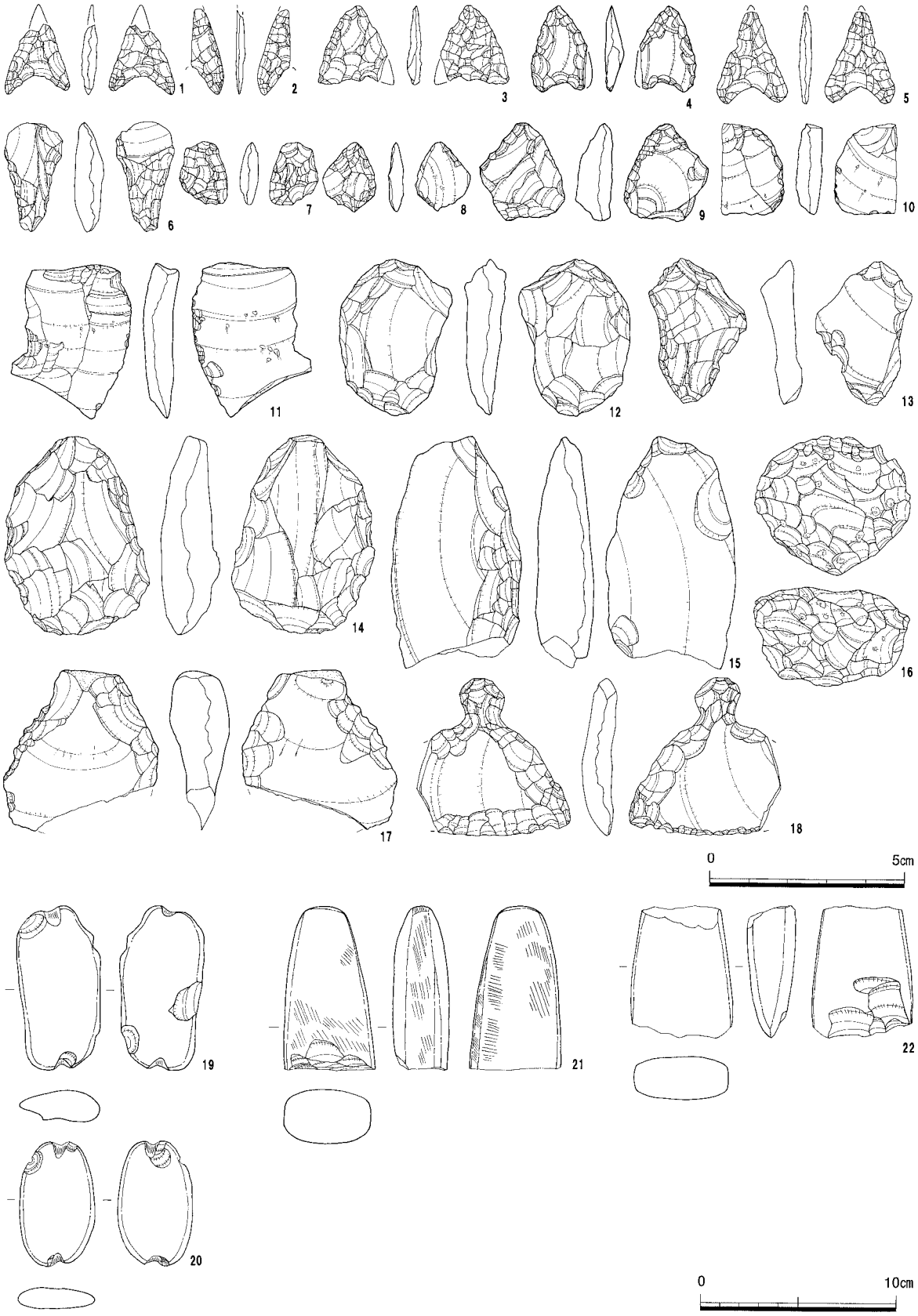
石器は総数117点ある。内訳は、石鏃５点、石錐１点、掻削器９点、石核１点、石匙２点、石錘２点、磨製石斧２点、打製石斧34点、磨石29点、石皿16点、台石14点、石棒１点、石刀１点である。



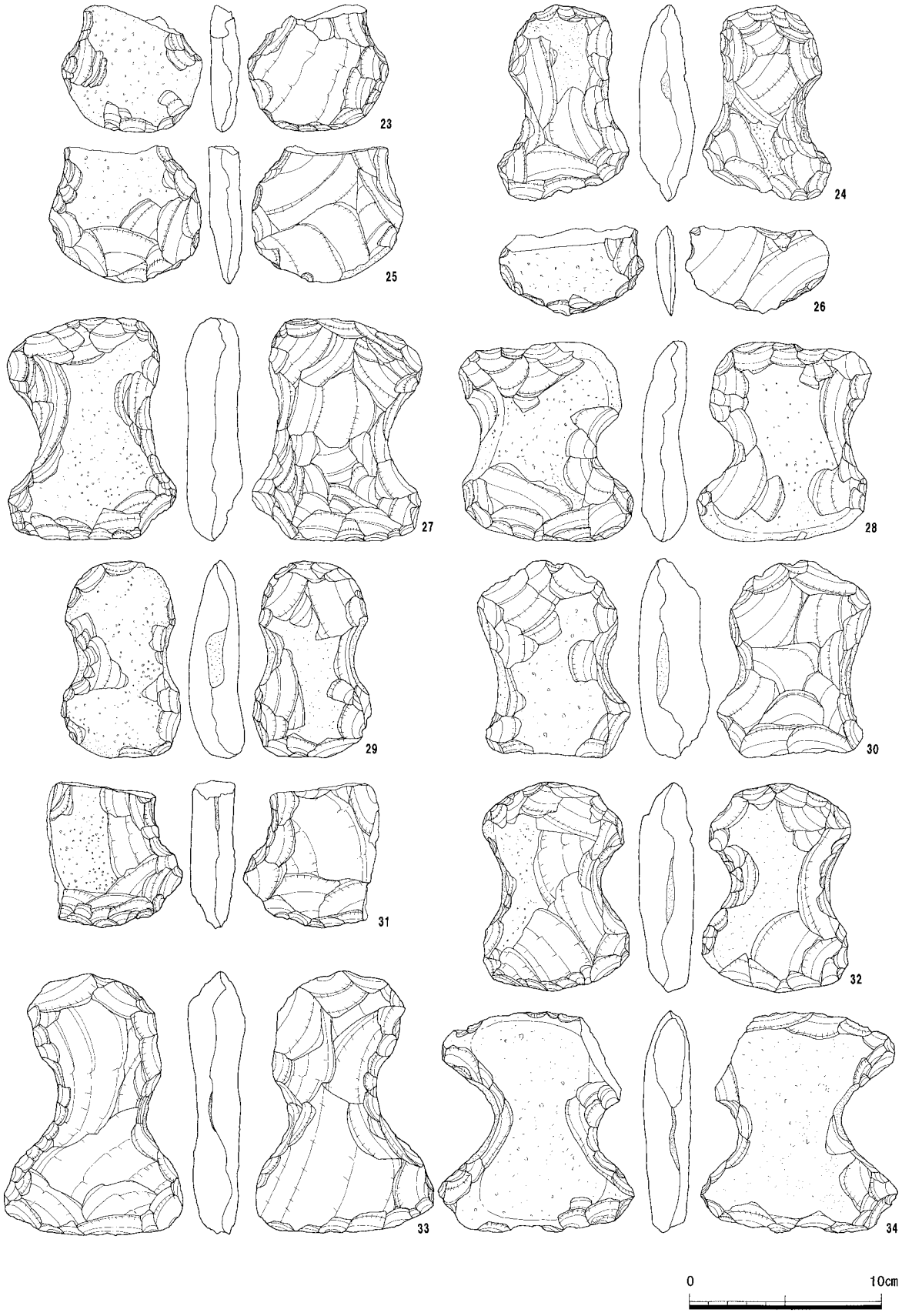
第237図　遺構外出土土器



第238図　遺構外出土土製品（土製円盤・土錘・土偶）



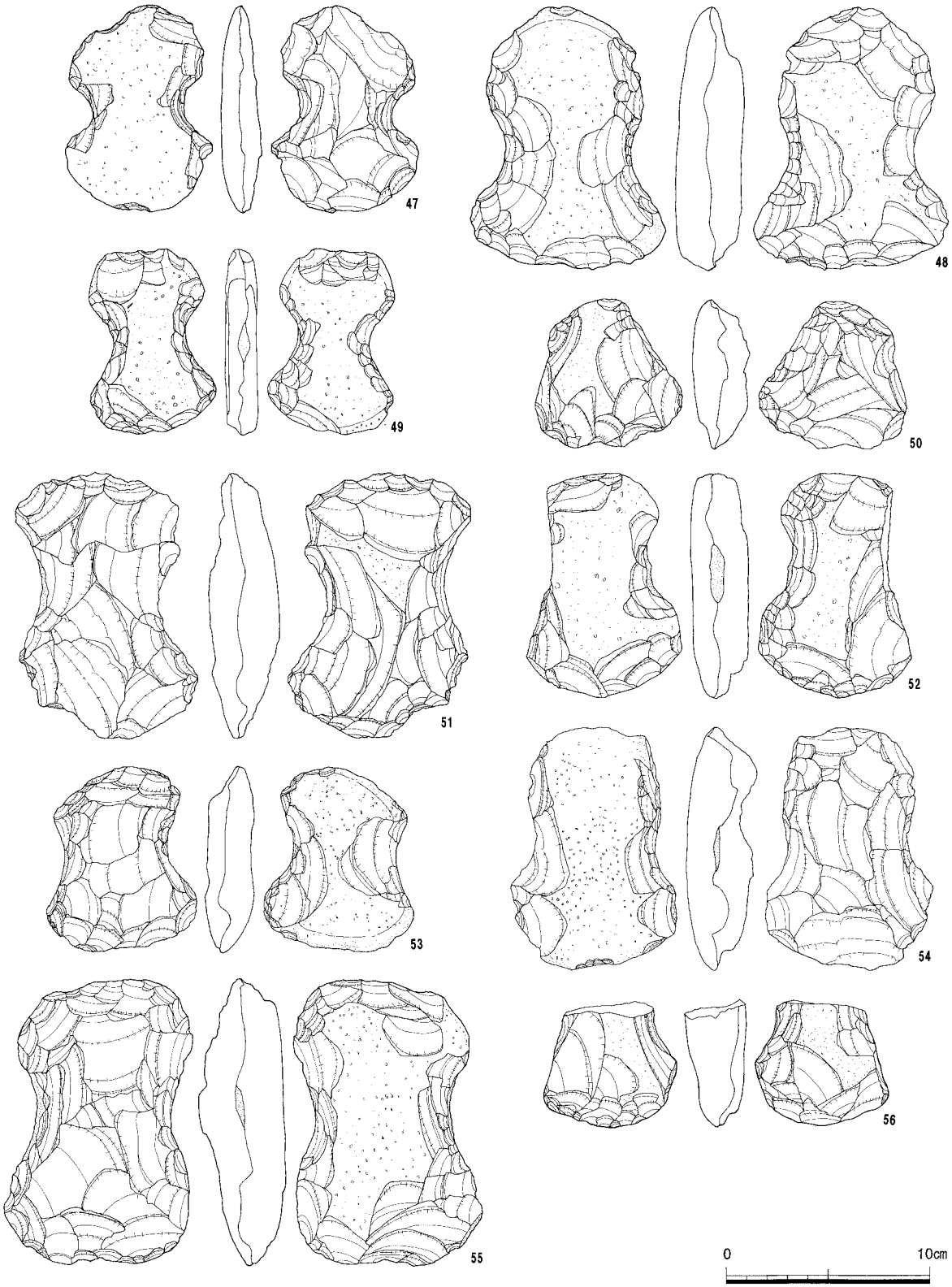
第239図　遺構外出土石器（石鏃・石錐・掻削器・石核・石匙・石錘・磨製石斧）



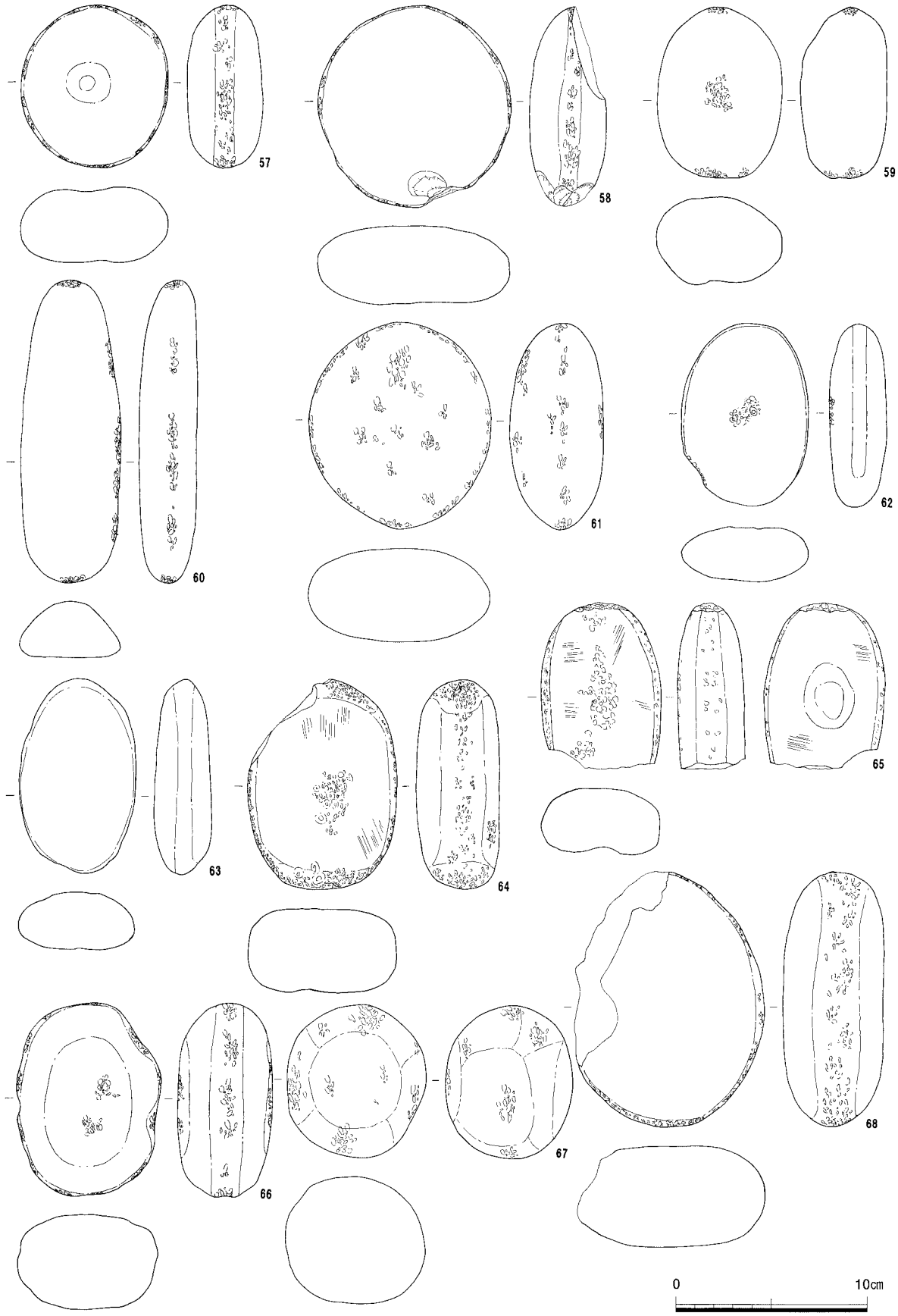
第240図　遺構外出土石器（打製石斧）



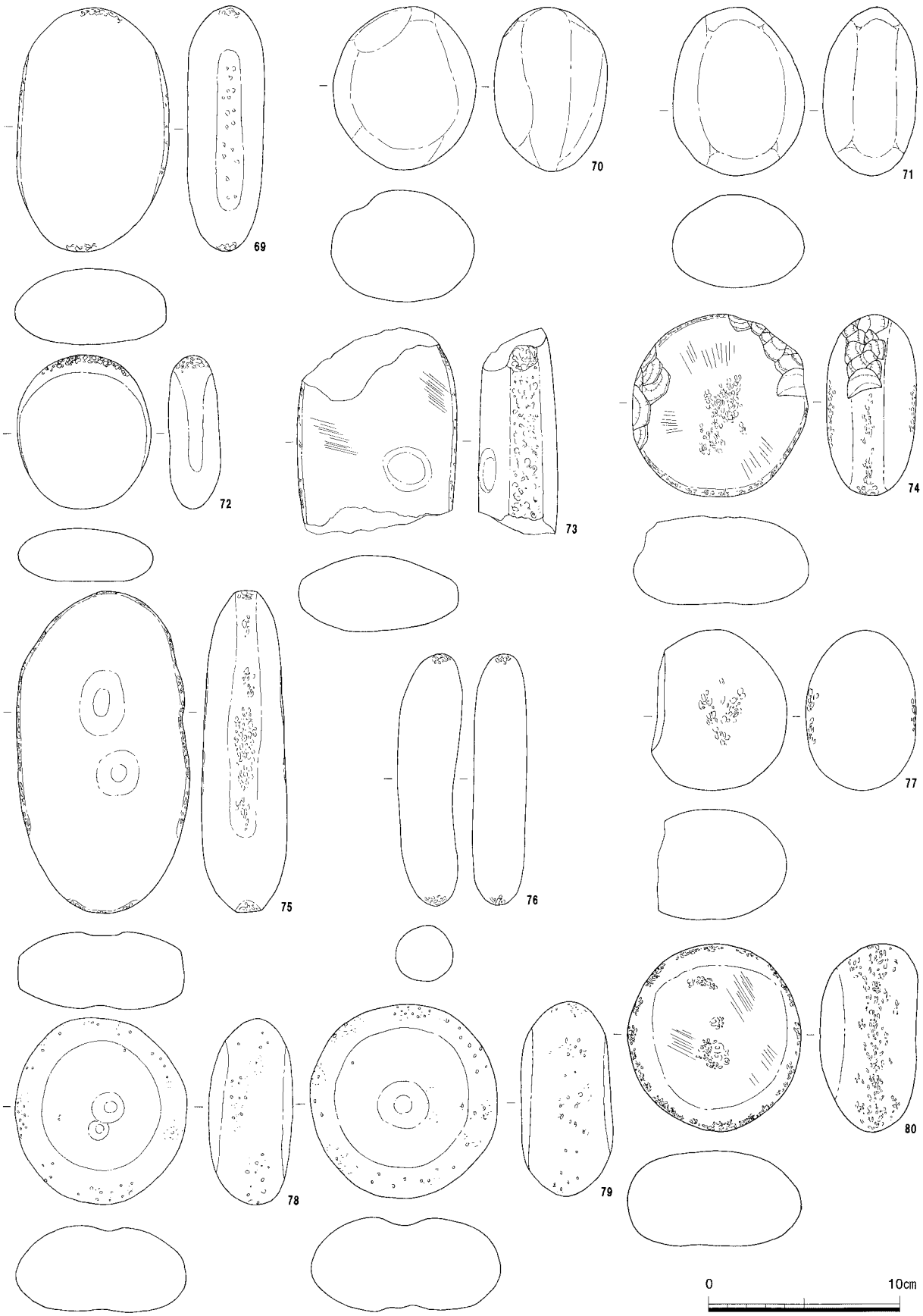
第241図　遺構外出土石器（打製石斧）



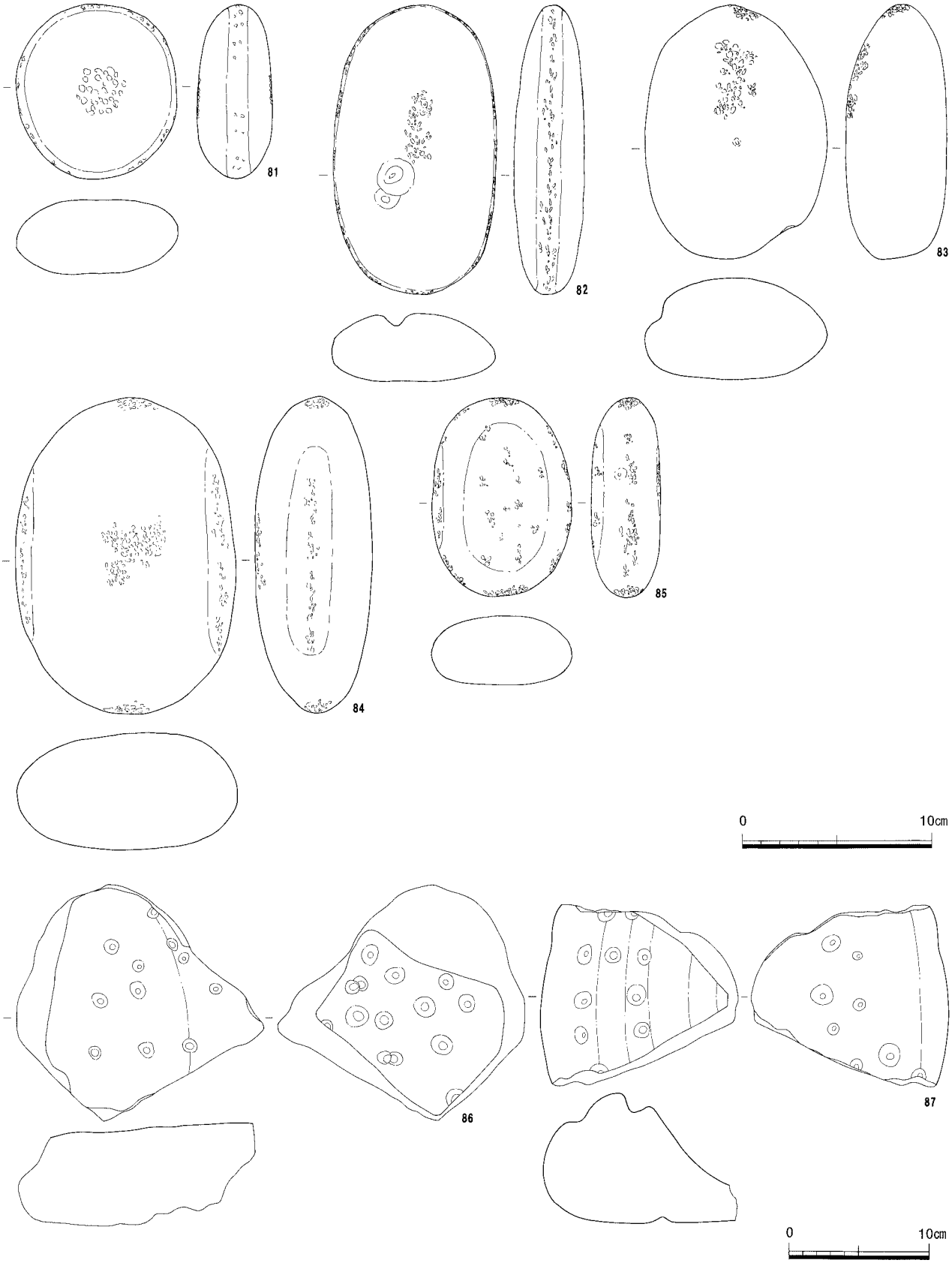
第242図　遺構外出土石器（打製石斧）



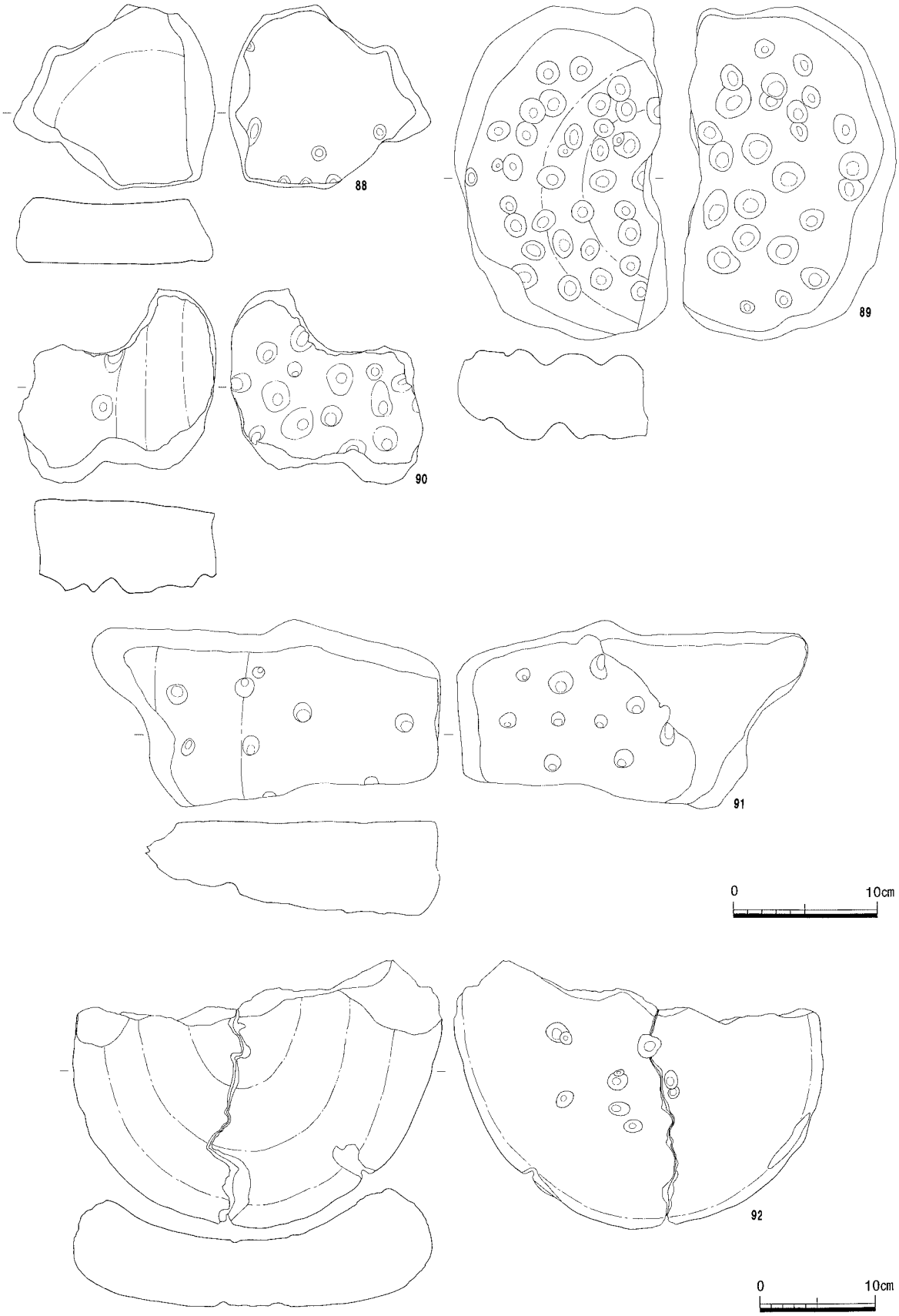
第243図　遺構外出土石器（磨石）



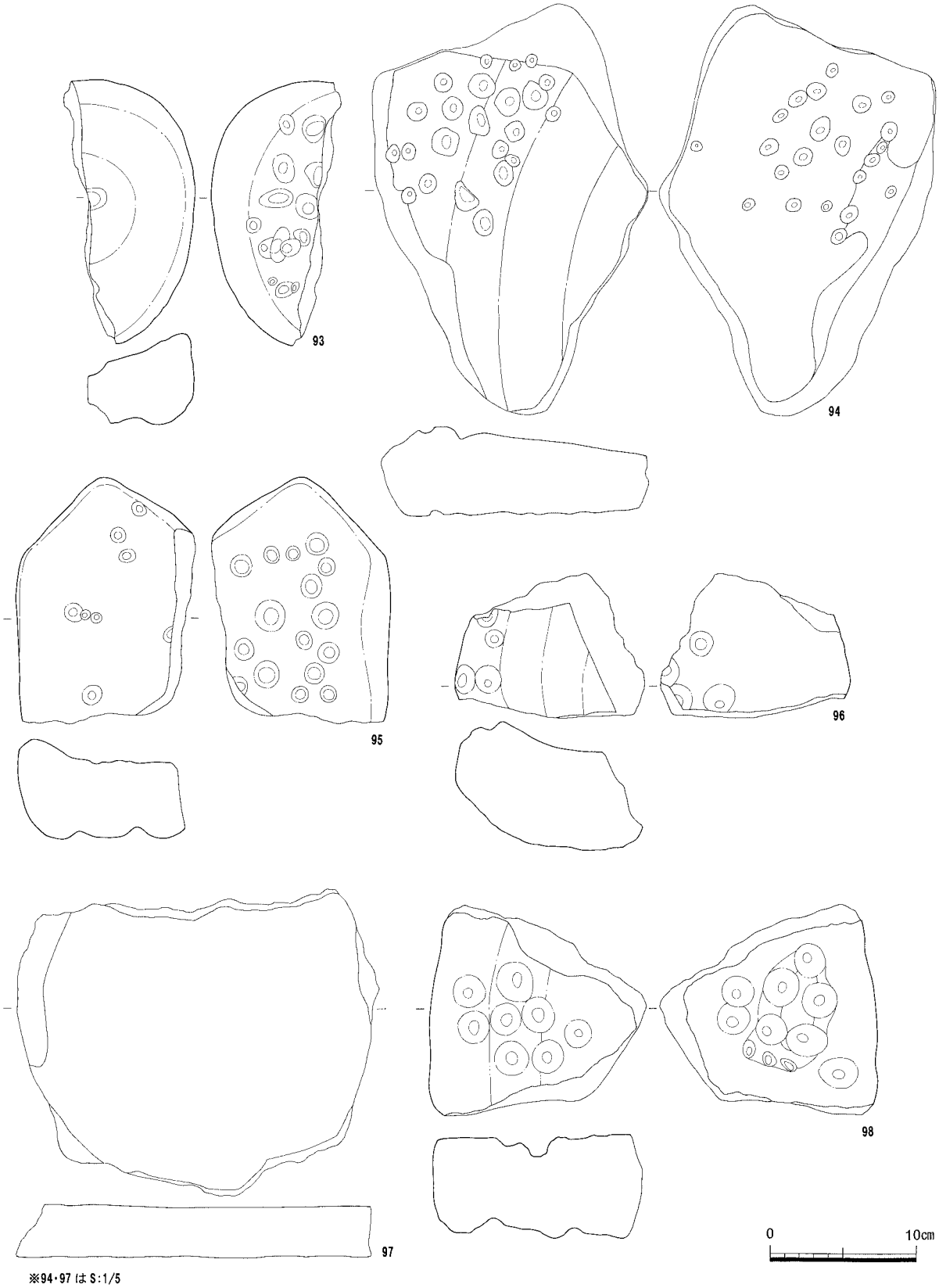
第244図　遺構外出土石器（磨石）



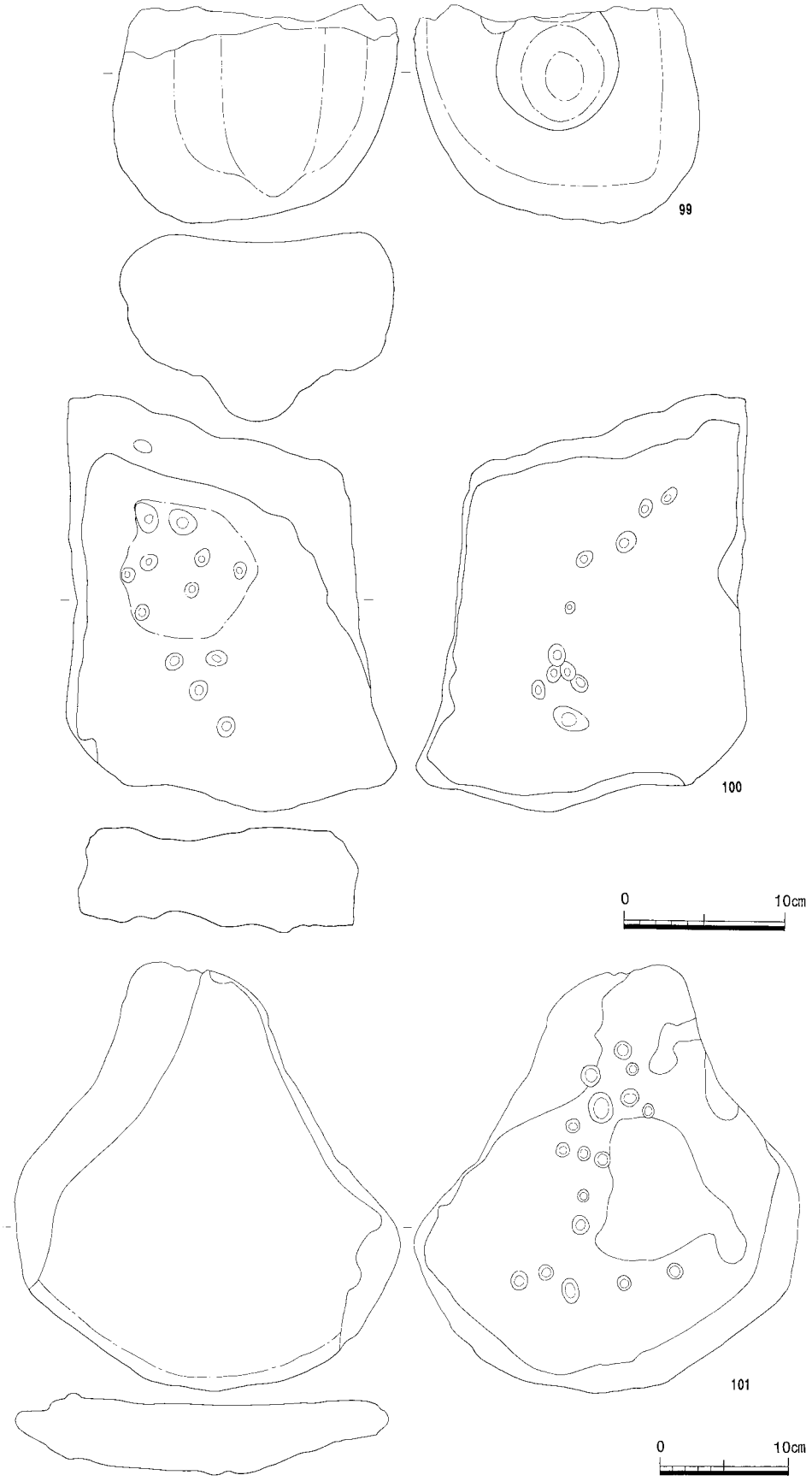
第245図　遺構外出土石器（磨石・石皿）



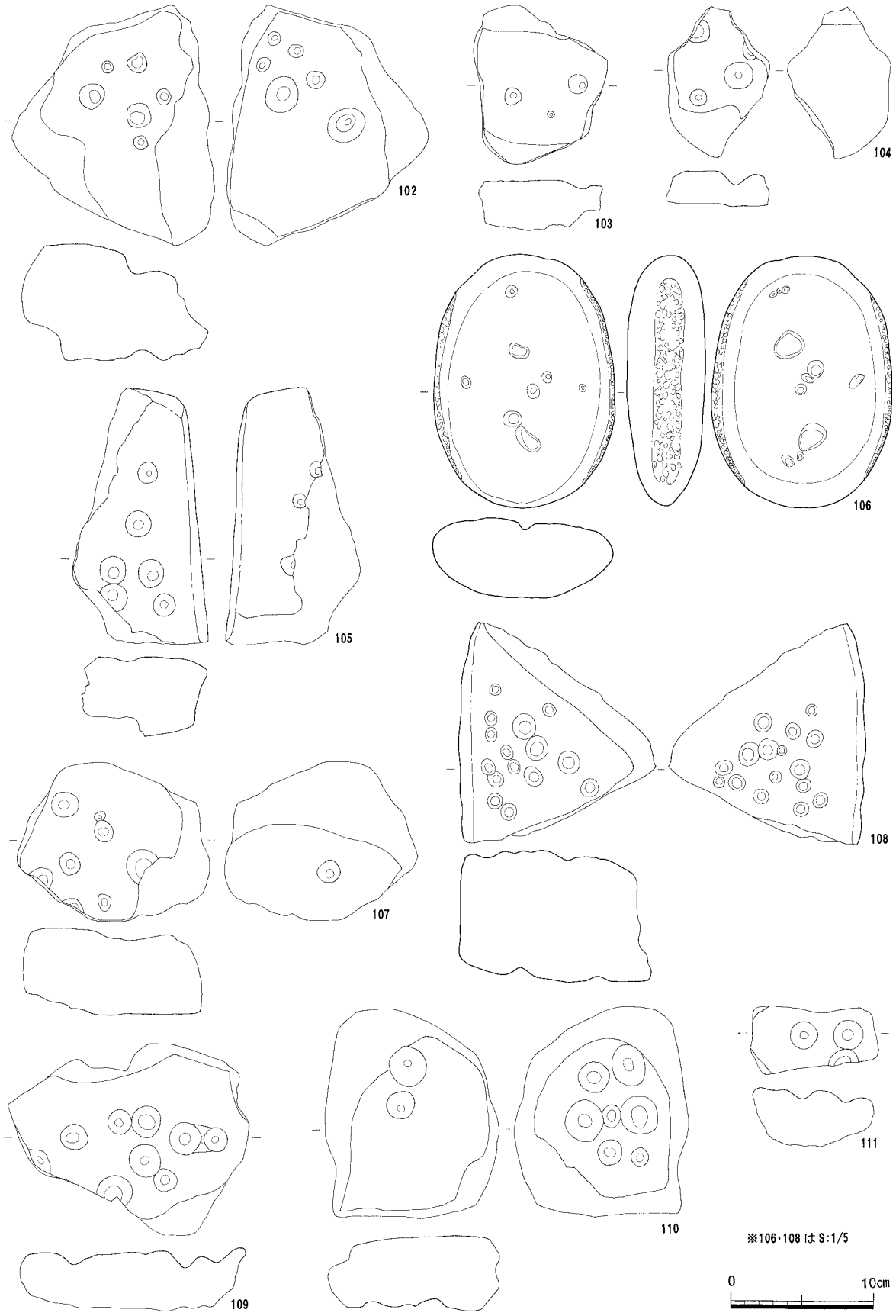
第246図　遺構外出土石器（石皿）



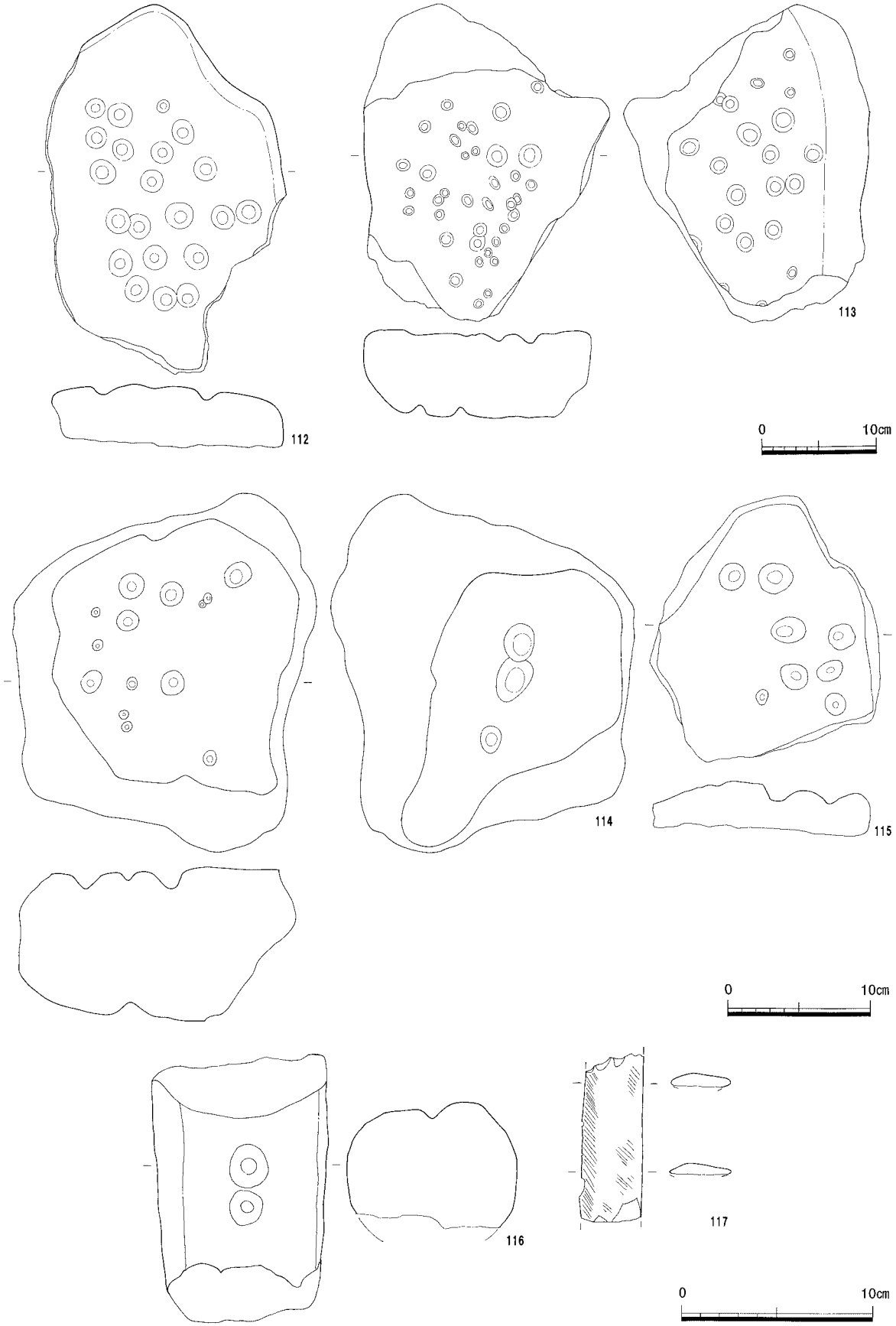
第247図　遺構外出土石器（石皿）



第248図　遺構外出土石器（石皿）



第249図　遺構外出土石器（台石）



第250図　遺構外出土石器（台石・石棒・石剣）

第11表　遺構外出土縄文時代土器・土製品一覧表

単位cm・g、(推定値)、[残存値]

遺構№	№	注記	出土グリッド	器種/部位	時期	特徴	挿図№	図版№
遺構外	1	SK-93	E-20	深鉢　口縁	1		237	
遺構外	2	SK-162a	E-19	深鉢　胴	1		237	
遺構外	3	SK-182	E-18	深鉢　胴	1		237	
遺構外	4	SI-52	F-21	深鉢　胴	1		237	
遺構外	5	SI-39	F-3	深鉢　胴	1		237	
遺構外	6	SK-857	D-5	深鉢　口縁	1		237	
遺構外	7	SI-52	F-21	深鉢　口縁	1		237	
遺構外	8	SI-18	F-8	深鉢　胴	1		237	
遺構外	9	F-20	F-20	深鉢　胴	1		237	
遺構外	10	E-10	E-10	器台	8・9		237	
遺構外	11	SI-46	D-14	ミニチュア	8・9	器高　[1.3]	237	
遺構外	12	SK-284	D-15	深鉢　口縁	10・11		237	105
遺構外	13	C-21	C-21	深鉢　口縁	10・11		237	105
遺構外	14	SI-30	E-5	ミニチュア	12	口径　(4.9) 器高　[8.1]	237	94
遺構外	15	SI-15	E-9	深鉢　胴	13	後期後葉新地系	237	
遺構外	16	SD-6	A-9	土製円盤		直径　6.4 厚さ　0.8 重さ　[24.0]	238	107
遺構外	17	SK-207	D-16	土製円盤		直径　4.4 厚さ　1.0 重さ　21.5	238	107
遺構外	18	SI-14	D-9	土製円盤		直径　2.8 厚さ　0.6 重さ　5.3	238	107
遺構外	19	SI-14	D-9	土製円盤		直径　3.4 厚さ　0.8 重さ　11.9	238	107
遺構外	20	SI-29	E-6	土製円盤		直径　5.4 厚さ　1.0 重さ　31.1	238	107
遺構外	21	SI-29	E-6	土製円盤		直径　3.3 厚さ　1.2 重さ　14.9	238	107
遺構外	22	SI-25	E-7	土製円盤		直径　4.5 厚さ　0.8 重さ　20.8	238	107
遺構外	23	SI-25	E-7	土製円盤		直径　3.5 厚さ　1.0 重さ　14.2	238	107
遺構外	24	SI-25	E-7	土製円盤		直径　3.0 厚さ　0.8 重さ　10.2	238	107
遺構外	25	SI-25	E-7	土製円盤		直径　3.1 厚さ　1.0 重さ　13.0	238	107
遺構外	26	SK-389	E-12	土製円盤		直径　3.3 厚さ　0.8 重さ　11.2	238	107
遺構外	27	SI-37・43	F-3	土製円盤		直径　3.7 厚さ　0.8 重さ　[8.4]	238	107
遺構外	28	SI-37・43	F-3	土製円盤		直径　2.5 厚さ　0.6 重さ　4.9	238	107
遺構外	29	SI-22	F-8	土製円盤		直径　4.1 厚さ　0.7 重さ　16.7	238	107
遺構外	30	表採		土製円盤		直径　5.1 厚さ　1.0 重さ　31.0	238	107
遺構外	31	表採		土製円盤		直径　3.1 厚さ　0.8 重さ　9.0	238	107
遺構外	32	表採		土製円盤		直径　2.8 厚さ　1.2 重さ　10.9	238	107
遺構外	33	SK-841	E-5	土錘		長さ　6.0 幅　1.7 厚さ　1.2 重さ　14.2	238	108
遺構外	34	SK-673	E-8	土錘		長さ　5.0 幅　2.6 厚さ　1.7 重さ　24.0	238	108
遺構外	35	SI-21	F-8	土偶　脚部	12	長さ　[8.2] 幅　[4.5] 厚さ　[3.7] 重さ[116.0]	238	108
遺構外	36	SK-246	F-16	土偶　腰部	13 (後期 中葉)	長さ　[4.5] 幅　[2.8] 厚さ　[1.2] 重さ　[17.2]	238	108

第12表　遺構外出土縄文時代石器一覧表

単位cm・g、(推定値)、[残存値]

№	注記	出土グリッド	器種	長さ	幅	厚さ	重量	石材	特徴	挿図№	図版№
1	SI-14覆土	D-9	石鏃	(2.3)	1.9	0.4	[0.8]	チャート	先端部欠損。	239	109
2	SI-8床下	D-11	石鏃	[2.2]	[1.4]	0.3	[0.4]	チャート	1/2欠損。	239	109
3	SI-5覆土	E-16	石鏃	2.0	(1.9)	0.4	[1.1]	チャート	基部一部欠損。	239	109
4	SI-7覆土	F-11	石鏃	2.2	(1.6)	0.5	[1.4]	チャート	右基部欠損。	239	109
5	表採	—	石鏃	(2.5)	1.8	0.4	[0.9]	珪質頁岩 (新第三紀?)	先端欠損。	239	109
6	SI-18覆土	F-8	石錐	2.8	1.5	0.8	2.3	頁岩	完形。	239	109
7	SI-34覆土	D-17	掻削器	1.6	1.0	0.5	0.9	チャート	完形。	239	110
8	SK-1222覆土	F-16	掻削器	1.8	1.4	0.5	0.8	黒曜石	完形。	239	110
9	SI-29覆土	E-6	掻削器	2.5	2.2	0.9	4.5	チャート	完形。	239	110
10	SI-7覆土	F-11	掻削器	[2.3]	[1.6]	0.7	[2.3]	黒曜石	欠損部あり。	239	110
11	SD-6覆土	A-9	掻削器	4.0	3.1	0.9	6.9	黒曜石	完形か？	239	110
12	SD-6覆土	A-9	掻削器	4.0	2.9	1.1	11.5	チャート	完形。	239	110
13	SI-5覆土	E-16	掻削器	3.7	2.5	1.1	5.5	チャート	完形。	239	110
14	SI-34覆土	D-17	掻削器	5.1	3.7	1.5	23.1	チャート	完形。	239	110
15	SI-38覆土	E-15	掻削器	[5.9]	3.4	1.5	[17.9]	頁岩	下部欠損。	239	110
16	SI-54覆土	H-16	石核	3.6	4.0	2.6	34.4	黒曜石	全面に剥離痕あり。	239	110
17	表採	—	石匙	[4.1]	4.0	1.6	[17.6]	流紋岩	一部欠損。	239	110
18	E-10覆土	E-10	石匙	4	[4.0]	0.9	[9.5]	頁岩 (新第三紀、化石あり)	一部欠損。	239	110
19	SD-6覆土	A-9	石錘	8.1	4.3	1.6	75.9	頁岩	完形。	239	110
20	SI-5覆土	E-16	石錘	6.5	3.8	1.1	38.5	安山岩	完形。	239	110
21	E-19覆土	E-19	磨製石斧	[8.4]	4.6	2.8	[197.4]	玄武岩 (古期)	刃部欠損。擦痕あり。	239	111
22	SI-35覆土	F-5	磨製石斧	[6.6]	[5.2]	2.2	[139.1]	ドレライト	基部欠損。刃部一部剥離。	239	111
23	SI-50覆土	A-8	打製石斧	[6.5]	7.3	1.6	[86.8]	緻密質安山岩	分銅形。1/2欠損。表面自然面残す。	240	114
24	SD-6覆土	A-9	打製石斧	10.2	6.9	2.9	161.6	緻密質安山岩	分銅形。完形。裏面自然面あり。括れ部刃潰しあり。	240	114
25	SD-6覆土	A-9	打製石斧	[7.1]	7.9	1.7	[111.6]	緻密質安山岩	分銅形。1/2基部欠損。表面・刃部一部自然面残る。	240	114
26	SK-281覆土	C-15	打製石斧	[4.5]	7.5	1.0	[33.5]	頁岩	分銅形？。刃部のみ遺存。表面自然面大きく残す。	240	114
27	C-15覆土	C-15	打製石斧	10.5	8.7	2.9	353.1	輝石安山岩	分銅形。完形。表面自然面あり。	240	114
28	SK-279覆土	C-15	打製石斧	10.3	8.8	2.3	252.0	玄武岩	分銅形。完形。表裏面自然面残す。	240	114

29	SI-28覆土	C-17	打製石斧	10.2	6.2	2.6	209.6	緻密質安山岩	分銅形。完形。表裏面自然面残す。括れ部刃潰しあり。	240	114
30	SK-799覆土	D-8	打製石斧	10.3	7.2	3.6	305.5	ガラス質流紋岩（粗悪な黒曜石）	分銅形。完形。表面自然面あり。括れ部刃潰しあり。	240	114
31	SI-14覆土	D-9	打製石斧	[7.6]	[7.1]	2.3	[146.3]	緻密質安山岩	分銅形。左側縁・基部欠損。表面自然面残す。括れ部刃潰しあり。	240	115
32	SI-14覆土	D-9	打製石斧	10.9	7.6	2.8	287.0	菫青石ホルンフェルス	分銅形。完形。表裏面自然面あり。括れ部刃潰しあり。	240	115
33	SI-14覆土	D-9	打製石斧	13.6	9.2	2.9	331.0	菫青石ホルンフェルス	分銅形。完形。括れ部刃潰しあり。	240	115
34	SI-14覆土	D-9	打製石斧	11.5	[10.2]	2.5	[331.1]	菫青石ホルンフェルス	分銅形。基部・右側縁欠損。表裏面自然面残す。括れ部刃潰しあり。	240	115
35	SI-10覆土	D-10	打製石斧	9.3	5.8	2.0	113.4	緻密質安山岩	分銅形。完形。表面自然面残す。	241	115
36	SI-8覆土	D-11	打製石斧	[9.0]	7.3	1.8	[103.4]	緻密質安山岩	分銅形。基部左側欠損。	241	115
37	SI-45覆土	D-14	打製石斧	10.8	6.8	2.1	173.3	輝石安山岩	分銅形。完形。表裏面自然面多い。	241	115
38	SI-34覆土	D-17	打製石斧	10.1	5.9	1.8	135.5	緻密質安山岩	分銅形。完形。表裏面自然面あり。括れ部刃潰しあり。	241	115
39	SK-64覆土	D-21	打製石斧	[6.8]	7.0	2.0	[148.6]	輝石安山岩	分銅形。刃部先端と基部欠損。表面自然面あり。括れ部刃潰しあり。	241	115
40	SI-29覆土	E-6	打製石斧	13.0	8.0	3.1	[294.7]	輝石安山岩	分銅形。刃部右側欠損。括れ部刃潰しあり。表裏面自然面あり。	241	115
41	SI-5覆土	E-16	打製石斧	[7.2]	[4.7]	1.6	[48.7]	緻密質安山岩	分銅形。刃部欠損。	241	115
42	SI-37・43覆土	F-3	打製石斧	[7.0]	7.0	1.6	[64.1]	緻密質安山岩	分銅形。1/2欠損。表面自然面残す。	241	115
43	SI-36覆土	F-4	打製石斧	15.1	8.5	3.1	388.1	石英含有輝石安山岩	分銅形。完形。表裏面自然面あり。	241	115
44	SI-26覆土	F-6	打製石斧	9.5	6.5	2.4	155.9	緻密質安山岩	分銅形。完形。表裏面自然面残す。	241	115
45	SI-16覆土	F-9	打製石斧	15.3	[6.9]	3.5	[355.0]	緻密質安山岩	分銅形。右側縁欠損。表面自然面大きく残す。	241	115
46	SI-18・48覆土	F-8	打製石斧	[6.1]	7.2	[2.8]	[113.7]	砂岩（古期）	分銅形。1/2欠損。表裏面自然面残す。	241	115
47	SI-16覆土	F-9	打製石斧	10.2	7.3	2.0	141.1	緻密質安山岩	分銅形。完形。表面自然面多く残す。括れ部刃潰し若干あり。	242	115
48	SI-16覆土	F-9	打製石斧	13.0	9.6	3.2	444.3	緻密質安山岩	分銅形。完形。表裏面自然面あり。	242	115
49	SK-395覆土	F-11	打製石斧	9.1	6.3	1.5	119.1	石英含有輝石安山岩	分銅形。完形。表裏面自然面大きく残す。括れ部刃潰しあり。	242	115
50	F-14覆土	F-14	打製石斧	[7.0]	7.2	2.8	[125.4]	緻密質安山岩	分銅形。基部欠損。欠損後成形した可能性あり。表面自然面残る。	242	116
51	SK-1148覆土	H-16	打製石斧	13	8.8	3.4	312.4	輝石安山岩	分銅形。完形。裏面自然面あり。括れ部刃潰しあり。	242	116
52	SI-54覆土	H-16	打製石斧	10.5	7.7	2.7	[255.3]	緻密質安山岩	分銅形。基部左側縁欠損。表裏面自然面残す。括れ部刃潰しあり。	242	116
53	SI-54覆土	H-16	打製石斧	9.1	7.6	2.4	165.3	緻密質安山岩	分銅形。完形。裏面自然面あり。括れ部刃潰しあり。	242	116
54	表採	—	打製石斧	11.9	8.3	3.3	353.9	多孔質安山岩	分銅形。完形。表面自然面大きく残す。括れ部刃潰しあり。	242	116
55	表採	—	打製石斧	14.0	9.1	4.2	596.8	輝石安山岩	分銅形。完形。裏面自然面あり。括れ部刃潰しあり。	242	116
56	表採	—	打製石斧	[6.1]	6.5	3.0	[123.3]	多孔質安山岩	分銅形。基部欠損。	242	116
57	SD-6覆土	A-9	磨石	8.6	7.7	4.0	382.4	角閃石安山岩	完形。全側縁磨面及び敲打痕あり。表裏面中央浅い凹部1ヶ所あり。	243	120
58	SD-6覆土	A-9	磨石	10.5	10.1	4.0	[557.6]	角閃石安山岩	裏面上部欠損。全側縁磨面及び敲打痕あり。	243	120
59	SD-6覆土	A-9	磨石	9.0	6.7	4.7	379.7	かんらん石輝石安山岩	完形。表裏面中央・上下端部敲打痕あり。	243	120
60	SK-945覆土	B-10	磨石	16.0	5.3	3.0	390.7	ドレライト	完形。上下端部・右側縁敲打痕あり。	243	120
61	SI-28覆土	C-17	磨石	11.0	9.7	5.0	672.8	輝石安山岩	完形。全面まばらに敲打痕あり。煤付着。	243	120
62	SI-1覆土	C-21	磨石	9.7	6.7	3.0	260.2	多孔質安山岩	完形。左右側縁・上端部磨面。表裏面中央・左側縁下部敲打痕あり。	243	120
63	SK-857覆土	D-5	磨石	10.3	6.2	3.0	245.1	多孔質安山岩	完形。側縁全面磨面。	243	120
64	D-6覆土	D-6	磨石	11.1	8.0	4.4	[611.7]	輝石安山岩	一部欠損。表裏面・左右側面磨面。表裏面中央・上下端部敲打痕あり。裏面浅い凹部1ヶ所あり。	243	120
65	SI-14覆土	D-9	磨石	[8.9]	6.4	3.5	[304.6]	輝石安山岩	下部欠損。左右側縁・表裏面磨面。表裏面特に滑らか。上端部・左右側縁・表面中央部敲打痕あり。裏面中央凹部1ヶ所。	243	120
66	SK-772覆土	D-13	磨石	10.2	7.7	5.0	551	黒雲母花崗岩	完形。表裏面・全側縁磨面及び敲打痕あり。被熱赤変。	243	120
67	SI-30覆土	E-5	磨石	8.1	7.3	6.7	556.0	輝石安山岩	完形。全面磨面。敲打痕もほぼ各面にあり。	243	120
68	D-12覆土	D-12	磨石	13.5	[10.0]	5.3	[878.3]	スコリア質安山岩	左側縁欠損。全側縁磨面及び敲打痕面。煤付着。	243	120
69	SI-8覆土	D-11	磨石	12.8	8.0	4.0	629.1	輝石安山岩	完形。左右側縁磨面。左右側縁・上下端部敲打痕あり。被熱赤変。	244	120
70	SI-30覆土	E-5	磨石	8.6	7.6	6.0	528.0	輝石安山岩	完形。被熱・煤付着。	244	120
71	SB-1 P-5	E-13	磨石	8.8	7.0	5.0	377.2	多孔質安山岩	完形。全面磨面。	244	120
72	SI-5覆土	E-16	磨石	8.1	7.1	2.7	211.1	スコリア質安山岩	完形。上端部敲打痕あり。上端部・左右側縁磨面。被熱赤変。	244	120
73	SI-5覆土	E-16	磨石	[10.8]	8.4	4.1	[601.5]	輝石安山岩	上下端部欠損。表裏面・左右側縁磨面。表裏面特に滑らか。表面凹部1ヶ所あり。左右側縁・裏面中央敲打痕あり。被熱赤変。	244	120
74	SI-39覆土	F-3	磨石	9.6	9.2	4.7	572.4	輝石安山岩	完形。ほぼ全面磨面。表裏面中央・全側縁敲打痕あり。側縁一部敲打による大きな剥離2ヶ所あり。	244	120
75	SI-39覆土	F-3	磨石	17.0	9.0	4.5	774.1	多孔質安山岩	完形。全側縁磨面、及び敲打痕あり。表裏面中央凹部あり。被熱赤変。	244	120
76	SI-36覆土	F-4	磨石	13.2	3.2	3.0	191.2	砂岩（古期）	完形。上下端部敲打痕あり。上端部被熱赤変。	244	121
77	SI-48 No.9	F-8	磨石	8.5	[7.1]	5.8	[478.9]	流紋岩質凝灰岩（石英斑岩様）	左側縁欠損。表裏面中央を中心に敲打痕あり。被熱赤変。	244	121
78	SI-16・19 P4	F-9	磨石	9.8	9.2	4.5	575.9	流紋岩質凝灰岩（石英斑岩様）	完形。表裏面磨面。表面中央凹部2ヶ所。全側縁・裏面中央敲打痕あり。	244	121

79	SI-16・19 P4	F-9	磨石	10.2	9.9	4.9	667.4	角閃石安山岩	完形。表裏面磨面。表裏面中央凹部1ヶ所あり。全側縁敲打痕あり。	244	121
80	F-9覆土	F-9	磨石	10.0	9.2	5.0	671.3	輝石安山岩	完形。表面磨面。表裏面中央・全側縁敲打痕あり。一部煤付着。	244	121
81	SI-6覆土	F-11	磨石	9.3	8.6	4.0	458.1	角閃石安山岩	完形。全面磨面、特に表裏面滑らか。表裏面中央・全側縁敲打痕あり。	245	121
82	F-19覆土	F-19	磨石	15.5	8.7	3.6	683.2	多孔質輝石安山岩	完形。全側縁磨面及び敲打面。表裏面中央敲打痕、表面中央凹部1ヶ所あり。被熱赤変、煤付着。	245	121
83	SK-1173覆土	G-16	磨石	13.5	9.8	5.4	995.4	輝石安山岩	完形。表面上部・上端部敲打痕あり。	245	121
84	SI-54覆土	H-16	磨石	16.8	11.8	6.2	1678.5	輝石安山岩	完形。左右側面磨面。表裏面中央・全側縁中央中心に敲打痕あり。被熱赤変。	245	121
85	表採	—	磨石	10.5	7.5	3.7	450.1	輝石安山岩	完形。全面敲打痕あり。表裏面・左側縁磨面あり。	245	121
86	SD-6覆土	A-9	石皿	[16.8]	[17.6]	6.7	[1740]	凝灰質砂岩	側縁・裏面欠損。ややもろい。表裏面凹部多数。	245	
87	SD-6覆土	A-9	石皿	[12.6]	[14.0]	9.1	[1700]	多孔質安山岩	破片。磨面著しく湾曲。表裏面凹部あり。	245	
88	SD-6覆土	A-9	石皿	[12.7]	[13.9]	4.5	[960]	凝灰質砂岩	破片。裏面凹部あり。	246	
89	SK-799覆土	D-8	石皿	[23.0]	[14.8]	6.2	[2640]	砂質凝灰岩 （礫混じり）	1/2欠損。ややもろい。表裏面凹部多数。	246	123
90	E-7覆土	E-7	石皿	[13.5]	[13.6]	6.4	[800]	多孔質安山岩	破片。裏面凹部多数。	246	
91	D-6覆土	D-6	石皿	[12.9]	[24.0]	6.5	[2010]	砂質凝灰岩	破片。ややもろい。表裏面凹部多数。	246	
92	SI-14覆土	D-9	石皿	[23.1]	31.7	9.1	[6800]	多孔質安山岩	1/2欠損。裏面凹部あり。	246	123
93	SK-772覆土	D-13	石皿	[18.0]	[9.0]	5.8	[780]	多孔質安山岩	破片。裏面凹部多数。	247	
94	SI-25 床下	E-7	石皿	[34.5]	[23.0]	7.5	[5400]	砂質凝灰岩 （礫混じり）	破片。表裏面凹部多数。	247	123
95	E-10覆土	E-10	石皿	[16.9]	[12.3]	6.2	[1620]	砂岩 （新第三紀）	破片。表裏面凹部あり。	247	
96	SI-25覆土	E-7	石皿	[9.8]	[13.0]	7.5	[800]	多孔質安山岩	破片。表裏面凹部あり。	247	
97	E-10覆土	E-10	石皿	[26.2]	[30.9]	4.5	[6920]	輝石安山岩	1/2欠損。磨面平坦。周辺部一部赤色付着物？あり。	247	
98	SI-39覆土	F-3	石皿	[14.3]	[14.8]	7.1	[1640]	砂質凝灰岩	破片。表裏面凹部あり。	247	
99	SI-16 No.16	F-9	石皿	[13.7]	[17.2]	11.1	[2000]	多孔質安山岩	1/3遺存。有脚（おそらく3足か）。	248	
100	SI-16 No.5	F-9	石皿	[25.9]	[19.4]	6.4	[4100]	砂質凝灰岩	1/2遺存。表裏面凹部あり。表面敲打による凹部あり。	248	
101	表採	—	石皿	[33.4]	[30.2]	5.5	[4820]	砂岩 （新第三紀、礫混じり）	1/3遺存。ややもろい。磨面平坦。裏面凹部あり。	248	
102	SD-6覆土	A-9	台石	[16.8]	[14.2]	[8.1]	[1750]	砂質凝灰岩 （礫混じり）	破片。ややもろい。表裏面凹部あり。	249	
103	SI-28覆土	C-17	台石	[11.0]	[8.6]	[3.5]	[400]	砂質凝灰岩	破片。表面凹部あり。	249	
104	D-12覆土	D-12	台石	[10.6]	[7.1]	2.3	[160]	砂質凝灰岩	破片。表面凹部あり。	249	
105	D-13覆土	D-13	台石	[18.0]	[9.1]	5.5	[900]	砂質凝灰岩	破片。ややもろい。表裏面凹部あり。	249	
106	SI-30覆土	E-5	台石	22.2	15.8	6.8	2950	多孔質安山岩	完形。表裏面凹部あり。長側縁敲打痕あり。	249	
107	SK-762覆土	E-13	台石	[10.1]	[13.5]	5.8	[760]	砂質凝灰岩	破片。ややもろい。表裏面凹部あり。	249	
108	E-8覆土	E-8	台石	[19.3]	[17.2]	11.2	[3280]	砂質凝灰岩（礫混じり）	破片。ややもろい。表裏面凹部多数。	249	
109	SI-38覆土	E-15	台石	[13.4]	[16.8]	[4.3]	[580]	砂質凝灰岩	破片。ややもろい。表面凹部あり。	249	
110	SI-26覆土	F-6	台石	[14.7]	[12.2]	5.3	[1100]	砂質凝灰岩	破片。ややもろい。表面凹部あり。	249	
111	SI-36覆土	F-4	台石	[4.7]	[9.0]	[4.1]	[160]	砂質凝灰岩	小片。表面凹部あり。	249	
112	SI-37覆土	F-3	台石	[32.2]	[21.0]	[5.2]	[3780]	砂質凝灰岩（礫混じり）	一部欠損。表面凹部多数。	250	
113	SI-36覆土	F-4	台石	[27.7]	[21.5]	7.2	[3790]	砂質凝灰岩（礫混じり）	一部欠損。表裏面凹部多数。	250	124
114	SI-16 No.4	F-9	台石	[25.0]	[21.1]	10.6	[5550]	砂質凝灰岩	一部欠損。表裏面凹部あり。	250	
115	SK-1317 No.1	G-18	台石	[18.8]	[16.1]	[3.4]	[1000]	砂質凝灰岩	破片。表面凹部あり。	250	
116	SI-33 No.2	E-5	石棒	[13.6]	9.2	[6.6]	[1494.1]	緑色片岩	上下端部欠損。裏面剥離。上面被熱赤変。凹部あり。	250	125
117	SI-5覆土	E-16	石剣	[8.7]	3.2	[0.7]	[33.3]	粘板岩	上下欠損。裏面剥離。擦痕あり。	250	125

第３節　古墳時代から平安時代

１，竪穴住居跡と出土遺物

ＳＩ－１（第251・272図、図版126・143）

位置　C-12グリッドにある。　重複関係　図示していないが西壁北部でSK-41と重複し、本遺構が新しい。形状・規模　東西3.27m、南北3.02mの若干潰れた方形である。床面までの深さは21㎝である。　方位　N-８°-Wである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。焼土粒がカマド前面を中心にやや多く混じる。　床面　壁際はローム地山を直接床面とし、住居中央部はＰ１とした床下の掘方を７・８層で埋め戻して形成する。両層とも多量のロームと焼土粒が混じる。概ね平坦で、よく締まっている。　ピット　床下掘方全体をＰ１としたが、実際は直径0.5～１m程の床下土坑が複数接して掘られたものである。床面形成時に埋め戻されている。　カマド　北壁に２基設けられている。遺存状態は悪い。掘方が大きく北東コーナーに寄ったカマドは、土層断面により袖の残存部と考えられるローム主体の６層を確認することができた。よって、北壁中央のカマドが古く、西よりのやや規模の大きなカマドが新しい可能性が高い。両カマドとも掘方は半円形で北壁より突出し、火床面は平坦である。また、カマドはロームや白色粘土で作られていたと考えられるが、詳細は不明である。　遺物　須恵器は坏１点、甕１点、土師器は坏７点、甕２点、製塩土器と考えられるもの１点、鉄製手鎌１点を図示した。遺存状態が良好なものは少ない。２の土師器坏は西カマド床面直上で出土したが、他は全て覆土中または床下出土の遺物である。特に、５、６、７、10、12は床下出土の遺物である。７の土師器坏は体部外面に「藤」と「井ヵ」の墨書が施される。13は鉄製手鎌の破片で、カマド周辺から出土したものである。

ＳＩ－３（第251・272図、図版126・143）

位置　E-21グリッドにある。　重複関係　図示していないが北西コーナーでSK-120と重複し、本遺構が新しい。　形状・規模　東西2.34m、南北2.70mの南北に長い長方形で、南東コーナーが丸味を帯びる。床面までの深さは８㎝である。　方位　N-12°-Eである。　覆土　炭粒や焼土粒がやや多く含まれる１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　床面下５～25㎝程の深さの不規則な掘方を、ロームを多く含んだ３層で埋め戻して形成する。床下土坑Ｐ１～３の形状や配置にも規則性はない。Ｐ３の南東コーナーよりには、人頭大から拳大の礫も見られる。床面は概ね平坦で、よく締まっている。　ピット　床下土坑Ｐ１～３がある。カマド　北壁中央に設けられるが遺存状態は悪く、袖基底部と火床面の窪みの確認できた。火床面は、直径40㎝程の範囲が床面より10㎝程度浅い皿状に窪む。掘方は北壁よりそれ程外へは突出しない。袖基底部は、ローム地山の掘り残しにより形成されるが、それより上部の構造を想定させるような痕跡はない。覆土は焼土を多量に含む２層が相当する。　遺物　遺物は少なく、住居中央部床直より出土した土師器坏１点を図示した。体部外面に「丈□」の墨書が施される。

ＳＩ－４（第251・272図、図版126・143）

位置　E-21グリッドにある。　重複関係　図示していないが南西コーナーでSK-84と重複し、本遺構が新しい。　形状・規模　東部及び東壁が失われているため判然としないが、東西1.83m以上、南北2.94mの方形と考えられる。床面までの深さは15㎝である。　方位　N-25°-Wである。　覆土　ローム小ブロックを少量含んだ１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　平坦に掘り窪めたローム地山を直接床面とする。SK-84と重複する南西コーナーはロームブロックがやや多く認められ、貼床が形成されている。　ピット　なし。カマド　確認できなかった。北壁あるいは東壁に構築されていた可能性がある。　遺物　遺物は少なく、土

師器高台付坏１点と甕１点を図示した。１の土師器高台付坏は、床面直上から出土したものである。

ＳＩ－５ａ（第252・272・273図、図版127・143）

位置　E-16グリッドにある。　重複関係　遺構範囲がほぼSI-５bと重複し、本遺構が新しい。　形状・規模　東西3.80m、南北3.38mの若干東西に長い長方形と推定される。土層断面より床面までの深さは22㎝と考えられる。　方位　N-21°-Wである。　覆土　炭化材料を多く含む１層が相当する。焼失家屋の可能性が高い。床面　明確に床面を確認できたのは、カマドを含む北壁際のみである。ローム地山及び礫層を平坦に掘り込んで直接床面としている。他の部分はSI-５b覆土中であり、硬化面や貼床は施されていない。炭化材の分布範囲と土層断面により漸く把握できた。　ピット　なし。　カマド　北壁中央部に設けられている。火床面は平坦で、煙道部は壁を25㎝程逆「U」字状掘り窪める。袖部は粗く整形された軟質の石材を芯材とし、乳白色粘土により形成される。覆土は１～３層が相当し、袖材の他炭化物粒や焼土粒などが混じる。天井部は失われているが、軟質の石材を芯として乳白色粘土で形成されていたことが土層断面より推定できる。　遺物　遺物はSI-５ab合わせて、須恵器蓋３点、坏５点、高台付坏１点、甕６点、土師器坏１点、鉢１点、甕７点、台付甕２点を図示した。この内、明らかに本遺構に伴う遺物は１、５、８、18、20、22、25の６点で、いずれもカマド及びその周辺から出土している。また、24は本遺構には所属しない。なお、８の須恵器坏底部外面には、焼成前の浅い直線的な刻みが施される。ヘラ記号か。また、10の土師器坏は底部外面に「□家」の墨書が施される。

ＳＩ－５ｂ（第252・272・273図、図版127・143）

位置　E-16グリッドにある。　重複関係　SI-５aより古い。また、南西コーナーでSK-265と重複し、本遺構が新しい。形状・規模　東西6.72m、南北6.50mのほぼ正方形で、床面までの深さは31㎝である。　方位　N-20°-Wである。　覆土　２層が相当し、自然堆積と考えられる。ローム粒、炭化物粒、小礫をやや多く含み、締まりがよい。また、カマド周辺は砂質で焼土粒が混じるカマド５層が相当する。　床面　ローム地山及び礫層を平坦に掘り込んで直接床面としている。床面の西側1/3がロームの床、東側2/3が礫層の床で、いずれもよく締まり堅い。なお、東半分、特に東壁は礫層で形成されている。　ピット　Ｐ１～５があり、Ｐ１～４は柱穴、Ｐ５は入口ピットと考えられる。柱穴の掘方はいずれも規模が大きく、深さは40㎝を超す。但し、北側のＰ１・４の長軸は80㎝強、南側のＰ２・３は長軸は１m程と、南側の２本がやや大きい。覆土は２層と大差ないが、下部にロームブロックが多くはいる。これは、柱が抜き取られ、その裏込土が入り込んだ可能性が考えられる。入口ピットのＰ５は深さ６㎝と、浅い。覆土は２層と同様である。　カマド　北壁中央部やや東よりに設けられていたが、SI-５a構築時に壊され火床面の焼土範囲のみ確認できた。床面と火床面はほぼ平坦に続く。煙道部の壁外への掘り込みの有無は判然としない。　遺物　SI-５aの遺物と完全に分けることはできず、明らかに本遺構に伴うものは24の土師器台付甕１点のみである。

ＳＩ－６（第253・273図、図版127・143）

位置　F-11グリッドにある。　重複関係　SK-458より新しいが、SK-1513やSD-３との新旧関係は不明である。　形状・規模　東西3.55m、南北3.27mのほぼ正方形で、床面までの深さは22㎝である。但し、北東及び北西コーナーは丸味を帯び、カマドを挟んで北壁の東西がややずれる。　方位　N-３°-Wである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　床は四隅を除きローム地山を平坦に掘り込んで直接床面としている。四隅は床下の掘り込みが認められ、ロームブロックを多量に含む濁黄褐色土で埋め戻されている。ピット　なし。　カマド　北壁中央部やや東よりに設けられている。火床面は床面より若干窪み、煙道部は壁を最大75㎝程逆「U」字状掘り窪める。火焼部中央には、粗く柱状に加工された軟質の石材の支脚が立つ。

高さは10㎝強である。掘方は浅く、ロームブロック主体の土で埋め戻されている。袖部は、取付部分の北壁を煙道に向かい斜めに掘り込んで、乳白色粘土により形成される。覆土は２層が相当し、焼土粒が多く混じる。天井部は失われている。　遺物　須恵器は坏１点、高台付坏１点、土師器は鉢１点、蓋１点、甕２点、石製紡錘車１点を図示した。これらの遺物は住居北東部、カマド南東側にある程度纏まって出土した。３は底部が剥離した土師器鉢と理解した。これは、器形、ロクロ成形と考えられること、内面の放射状のナデなど特徴的である。また、４は直径10㎝の蓋と考えられる。直径0.6㎝の孔が1.1㎝の間隔を置いて２カ所確認できる。内面には煤が付着している。

ＳＩ－７（第253・273・274図、図版128・143）

位置　F-11グリッドにある。　重複関係　SI-９、SK-439・796より新しい。　形状・規模　東西5.68m、南北5.00mの東西がやや長い長方形で、床面までの深さは16㎝である。南壁を除いた３辺は外側に若干湾曲する。但し、北壁と南東コーナーは調査区外で、形状は明確ではない。　方位　N-19°-Wである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　住居範囲を床面より10～30㎝程深く掘り、ロームブロック主体の４層で埋め戻して床面を形成する。床面西部は３層で貼床を施した範囲もある。いずれにしてもよく締まり堅い。床下の掘方は一様ではなく、概して東側が浅く西側が深い。また、中央部には直径１m程の床下土坑的な落ち込みもあるが、明確ではない。　ピット　Ｐ１～５があり、Ｐ１～４は柱穴、Ｐ５は入口ピットと考えられる。柱穴の掘方は東西に長軸を持つ楕円形を基本とする。規模は長軸70～80㎝、深さ50㎝前後でしっかりとしたものである。また、Ｐ１・２は柱穴底面東側がやや深く、Ｐ４は柱穴底面の西側がやや深くなっている。柱穴の作り替え、または、柱痕と柱裏込め土部分などの可能性が考えられるが、判然としない。なお、２層はＰ３覆土である。住居覆土の１層と大きな違いはない。Ｐ５は南側柱穴間の中央にある。　カマド　確認できなかった。北壁あるいは北東コーナーに構築された可能性がある。　遺物　須恵器は坏３点、甕２点、土師器は甕６点、鉄製刀子１点を図示した。土器はいずれも小片で遺存状態は悪い。12の刀子は住居西部床面直上からほぼ完形で出土した。柄に木質も残る。

ＳＩ－８（第254・274図、図版128・143）

位置　D-11グリッドにある。　重複関係　なし。　形状・規模　東西4.70m、南北5.64mのやや南北の長い長方形である。床面までの深さは15㎝である。　方位　N-３°-Eである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。黒色土中で確認された住居跡で、覆土と地山の区別が判然としない部分もあった。しかし、基本的に覆土の方が地山より若干明るく、今市・七本桜パミスを含むことで峻別可能であった。　床面　黒色土を平坦に掘り込み直接床面とする。周囲の地山と変わりないが、カマド前面から住居中央部にかけては特に踏みしめられて堅くなっていた。　ピット　なし。　カマド　北壁中央部やや東よりに設けられている。火床面は床面より若干窪み、焼土が多く認められる。煙道部は、壁を30㎝程半円形に掘り窪めている。袖部は乳白色粘土で形成され、直線的な壁に取り付けられる。また、拳大かやや大きめの礫が数個出土し、袖部芯材としていた可能性もある。天井部は失われており、構造は判然としない。　遺物　須恵器は蓋１点、坏２点、短頸壺１点、土師器は甕４点を図示した。遺存状態は良好でなく、破片が多い。５の土師器甕は、胴下部外面の一部に平行叩きがみられる。

ＳＩ－９（第253図、図版128）

位置　F-10グリッドにある。　重複関係　SI-７より古い。　形状・規模　範囲が調査区外へ及ぶこととSI-７と重複することにより明らかにできなかった。西壁が直線的であることから形状は方形で、規模は一辺2.56m以上である。床面までの深さは10㎝である。　方位　N-32°-Wと推定される。　床面　ローム地山を平坦

に掘り込んで直接床面としている。　ピット　不明。　カマド　不明。　遺物　図化することは出来なかったが、土師器小片が数点出土した。

ＳＩ－１０（第251・274図、図版128・143）

位置　D-10グリッドにある。　重複関係　なし。　形状・規模　東部及び東壁が失われているため判然としないが、東西2.82m以上、南北3.66mの方形と考えられる。床面までの深さは18㎝である。　方位　N-28°-Wである。　覆土　ローム小ブロックを少量含んだ１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　平坦に掘り窪めたローム地山を直接床面とする。　ピット　なし。　カマド　北壁中程の半円形部分がカマドと考えられるが、焼土等あまり認められず断定できない。床面から平坦に続く火床面及び掘方以外、構造は不明である。　遺物　土師器甕１点を図化した。この甕は底部が欠損するもののほぼ完形で、住居北西部床面直上において潰れて横倒しの状態で出土した。口縁部から10㎝程下の胴部外面中程には幅２㎝ほど帯状に煤等が強く付着する部分があり、そこを境に下部はよく焼け赤変している。また、胴部内面も外面と同様、口縁部から10㎝程下の部分が帯状に特に強く黒色に変化している。

ＳＩ－１１（第254・274図、図版128・143）

位置　E-10グリッドにある。　重複関係　カマドがその上部に構築されていることから、本住居跡がSK-547より新しい。　形状・規模　東西2.09m、南北1.85mの南西コーナーがやや突出する方形で、床面までの深さは20㎝である。平面規模は小規模なものである。　方位　N-93°-Eである。　覆土　１～３層が相当する。１・２層は自然堆積と考えられるが、３層は人為的に埋め戻された可能性がある。　床面　地山をほぼ平坦に掘り込んで直接床面としている。地山はほぼロームだが、北壁周辺は黒色土となる。なお、床面はそれ程硬化していなかった。　ピット　Ｐ１が南西コーナーにある。床面からの深さはそれ程ない。付属施設としてのピットではなく、床面の凹凸と解釈すべきかもしれない。　カマド　東壁の北東コーナーよりに設けられていた。火床部は床面から平坦に続き、煙道は壁を50㎝程逆「U」字状に掘り窪める。火床部に焼土はよく残されていたものの、袖や天井部は全て失われており構造は不明である。　遺物　土師器高台付坏１点、坏１点を図示した。この他、拳大から人頭大の礫数点が南壁中央部周辺で出土した。１は高台が完全に失われていたが、貼り付け部の状況から高台が着くと判断した。

ＳＩ－１２（第254・274図、図版128・143）

位置　D-９グリッドにある。　重複関係　北東コーナーがSK-649、北西コーナーがSK-715と重複し、本遺構が新しい。　形状・規模　東西3.10m、南北3.55m以上の方形と考えられ、床面までの深さは16㎝である。南部は後生の撹乱等により失われている。　方位　N-90°-Eである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　平坦に掘り窪めたローム地山を直接床面とする。　ピット　Ｐ１～６がある。Ｐ１・２・４・６は方形に配され、ピットを結ぶラインが各壁にほぼ平行することから柱穴の可能性もある。　カマド　東壁に設けられる。南壁が失われているため東壁中での位置は明らかでないが、かなり南東コーナーに寄った位置である可能性がある。遺存状態は悪く、火床部と掘方以外は失われ、更に後生の撹乱等の影響でカマド南側半分の形状も推定せざるを得ない。床面からほぼ平坦に続く火床部は、逆「U」字状に約60㎝壁を掘り込んだ煙道部へ続く。なお、火床部の北半分には焼土がよく残っていた。　遺物　遺物は少なく、土師器高台付坏１点を図示した。住居南東部、カマド前面床面直上より出土したものである。

ＳＩ－１３（第255・274図、図版128）

位置　D-８グリッドにある。　重複関係　北壁中央でSK-720、北東コーナーでSK-809と重複し本遺構の方が新しい。北東部で重複するSK-719より古い。　形状・規模　東西4.18m、南北2.72m以上の方形と考えられ、

床面までの深さは８㎝である。南部は後生の撹乱等により失われている。　方位　N-79°-Eである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　平坦に掘り窪めたローム地山を直接床面とする。　ピット　Ｐ１～５が住居北東部にある。柱穴の可能性のあるものもあるが、判然としない。　カマド　東壁のほぼ中央に設けられたと考えられる。遺存状態は悪く、袖や天井部は失われている。床面からほぼ平坦に続く火床部は、「Ｖ」字状に約35㎝壁を掘り込んだ煙道部へ続く。火床面の焼土の残りも悪い。　遺物　遺物は少なく、土師器の甕と甑各１点を図示した。

ＳＩ－１４（第257・274・275図、図版129・143・144）

位置　D-９グリッドにある。　重複関係　北壁東部でSI-20、南東コーナーでSK-693、西壁中央でSK-718と重複し、本遺構が新しい。　形状・規模　東西5.37m、南北4.79mの東西がやや長い方形で、床面までの深さは51㎝である。また、南東・南西コーナーに比べ、北東・北西コーナーは隅丸となる。　方位　N-17°-Wである。　覆土　１～３層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　住居四隅を中心に周辺部、及びＰ４からＰ５・６間を、床面より深い所で30㎝弱掘り窪め、ロームブロックを多量に含む６層で埋め戻し、更にロームブロックを主体とした５層で貼床を形成する。一方、住居中央部を中心としてＰ１・２からＰ３間は当初から平坦に掘り窪めて、ローム地山を直接床面とする。床面は締まりがよく堅い。東壁から南壁東部にかけて周溝が確認された。幅15㎝、深さ10㎝程である。　ピット　Ｐ１～９があり、Ｐ１～６は柱穴、Ｐ７は貯蔵穴、Ｐ８・９は入口ピットと考えられる。主柱穴はＰ１・３～５で、いずれも直径50㎝前後、深さ50～60㎝としっかりした掘り込みである。Ｐ２はＰ１に、Ｐ６はＰ５に寄り添うようにあり、深さは20㎝前後である。また、Ｐ３・４についても掘方形状からその西ないし北西側に同様な掘り込みがあった可能性がある。付加的なピットは平面規模は変わらないものの、深さが半分以下で配置がやや乱れることから、柱穴の作り替えとは考えられない。Ｐ７は北西コーナーに設けられた隅丸正方形の貯蔵穴である。深さは60㎝あり、比較的深い。Ｐ８・９は南壁中央部にあり、セットで入口施設と考えられる。　カマド　北壁中央部に設けられている。掘方は、北壁内側の主に火床下の半円形で深さ20㎝程の掘り込みと、火床部から煙道部に相当する壁外へ１m強の逆「Ｕ」字状の掘り込みがある。火床下の掘り込みは主にカマド６層で埋め戻され、床面より若干窪む火床面を形成する。また、カマド７層床下埋め戻し土により床面が構築された後、火床面の両側から煙道部内壁にかけてはカマド５層乳白色粘土により袖部が構築される。天井部は完全に失われているが、カマド１層の黄色粘質土を主体として構築されたと考えられる。カマド２・３層は焼土が多く、天井及び内壁の崩落土と考えられる。カマド４層は黒褐色土主体で焼土も入らないことから、煙道を反映した煙道からの流入土と考えられる。　遺物　須恵器蓋１点、坏３点、高台付坏１点、土師器埦１点、甕２点を図示した。３の須恵器坏の底部外面には、「×」のヘラ記号がある。

ＳＩ－１５（第255・275図、図版129・144）

位置　E-９グリッドにある。　重複関係　なし。　形状・規模　東西2.52m、南北2.75mのほぼ正方形で、床面までの深さは８㎝である。各コーナーは若干丸味を帯びる。また、南壁は殆ど確認できなかった。　方位　N-88°-Eである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。本住居は黒色土中で確認され周辺の黒色土と住居覆土１層とは峻別が難しかったが、僅かに本住居覆土の方が褐色がかっていた。　床面　地山である黒色土をほぼ平坦に掘り窪め、中央部を中心に厚さ４㎝程の貼床２層を施し床面とする。貼床は覆土や地山と比べ、ロームブロックが混入し締まりが良い。　ピット　なし。　カマド　東壁中央部やや北よりに設けられている。床面より若干窪む火床部には焼土がやや多く見られる。火床部から煙道部は壁を60㎝程逆「Ｕ」字状に掘り窪めて形成される。袖部や天井部は完全に失われ、構造は不明である。　遺物　土師器

甕と甑各１点が出土した。２の土師器甑は遺存状態が良好である。把手は胴中央部左右に対置される。底部には厚さ幅とも２㎝程の鍔が巡る。胴下端部、鍔直上には、把手の真下及び90°直行する方向の４カ所に直径１㎝弱の孔が穿たれる。孔の位置は、把手の真下の方が若干高い。

ＳＩ－１６（第255・256・275・276図、図版129・144）

位置　F-９グリッドにある。　重複関係　遺構範囲がほぼSI-19と重複し、本遺構が新しい。　形状・規模　東西3.54m、南北3.41mのほぼ正方形と考えられる。床面までの深さは42㎝である。一部を除き地山が黒色土であることや、遺構範囲が北壁を除きほぼSI-19と重なることから形状の把握は難しかった。しかし、北壁と北東・北西コーナーが把握できたこと、貼床がほぼ把握できたことなどにより間違いないと考える。　方位　N-０°である。　覆土　１～３層が相当し、自然堆積と考えられる。SI-19覆土の５層とは、今市・七本桜パミスあるいはローム粒など混入する粒子に差異が認められる。　床面　地山あるいはSI-19覆土を平坦に掘り込み、ローム粒子を多量に含む厚さ５㎝程の４層でほぼ全面を貼床して形成する。床面は締まりが良く、堅い。　ピット　Ｐ８が確認された。この他、SI-19床下土坑としたものの内、Ｐ２についてはSI-19の北壁の外側までその範囲が及ぶため、本住居に所属する可能性もある。　カマド　北壁の北東コーナー際に設けられている。火床面は掘方を８層で埋め戻すが、床面より若干窪む。火床下埋め戻しの８層はカマド前面では貼床である７層にも覆われる。煙道部は壁を50㎝程逆「U」字状に掘り込み形成される。袖部は乳白色粘土６層で形成される。天井部は失われ構造は判然としない。火床部中央覆土中の礫は、同様なものが本遺構内外に散乱することから直接カマドには関係しないと判断した。　遺物　SI-16・19出土遺物として、須恵器坏２点、高台付坏１点、甕１点、土師器高台付坏１点、坏３点、鉢１点、甕７点、土錘２点、刀子１点を図示した。調査当初、両住居跡を１軒と認識していたため遺物が混在してしまった。明らかに本住居に伴うのは、１と２の須恵器坏、５の土師器坏の３点である。一方SI-9に伴うものは３の須恵器高台付坏、４の土師器高台付坏、13の土師器甕の３点である。その他の遺物については、どちらの住居跡に所属するものか判然としない。

ＳＩ－１８（第256・276図、図版129・144）

位置　F-８グリッドにある。　重複関係　SI-48より新しい。　形状・規模　東西3.94m、南北3.04mの東西に長い長方形で、床面までの深さは23㎝である。黒色土中に構築された住居で、覆土と地山の区別がそれ程明確ではなく、カマドや貼床範囲などで形状や規模を推定した。　方位　N-５°-Wである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　黒色土の地山を平坦に掘り込み、厚さ５㎝前後のローム粒を少量混入した締まりが良く堅い貼床を施して床面を形成する。なお、カマド前面、住居中央部の貼床は、周辺部に比べロームブロックがより多く混じる。　ピット　西壁に沿ってＰ１・２がある。２基しかないが、柱穴の可能性もある。　カマド　北壁中央部に設けられる。火床部は床面から平坦に続き、煙道部は壁を逆「U」字状に40㎝程掘り込み形成される。袖部や天井部は失われ構造は不明である。しかし、カマド２層には白色粘土が含まれ、袖部や天井部は粘土で構築されていたと考えられる。　遺物　須恵器蓋２点、坏１点、甕１点、壺１点、土師器坏４点、高台付坏１点、甕２点、鉄製品として鎌１点、釘１点、刀子１点を図示した。２は一端が欠損するが天井部外面に焼成前の直線的な刻みがある。６は体部外面に「艹」の焼成前の刻みがある。ヘラ記号と考えられる。８は底部外面に墨書がある。なお、カマド西側で、本住居と重複しより古いと考えられるSI-48の３土師器甕の破片の一部が出土した。これは、破片の殆どがSI-48から出土したことや、重複部分の境で出土したことなどから、古い遺物が新しい遺構に混入したものと解釈した。また、同様に１～３は本来SI-48所属遺物であった可能性が高い。

ＳＩ－１９（第255・256・275・276図、図版129・144）

位置　F-９グリッドにある。　重複関係　SI-16と重複し、本遺構が古い。　形状・規模　東西5.48m、南北4.25mの東西に長い長方形で、床面までの深さは52㎝である。北壁及びその周辺はロームが地山となり明確に確認することができた。一方、南壁およびその周辺は黒色土中に構築され、その確認は難しい部分があった。方位　N-５°-Wである。　覆土　５層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　住居中央部を中心にＰ２～６の床下土坑が掘り込まれた後、６層で埋め戻されて平坦な床面が形成される。周辺部は一部ローム地山を平坦に掘り込み床面としている部分もある。　ピット　Ｐ１～７があり、Ｐ２～６は床下土坑、Ｐ７は入口ピットの可能性がある。なお、Ｐ２はSI-16に所属する可能性もある。　カマド　北壁中央部やや東よりにあったと推定される。SI-16構築に伴い完全に失われているが、壁外へ約70㎝の逆「Ｖ」字状の突出部が掘方と考えられる。　遺物　SI-16出土遺物と明確に区別できなかった。明らかに本住居に所属する遺物は、３の須恵器高台付坏、４の土師器高台付坏、13の土師器甕の３点のみである。

ＳＩ－２１（第258・276図）

位置　F-８グリッドにある。　重複関係　SI-22より新しい。また、図示していないがSK-795よりも新しい。形状・規模　東西2.52m、南北2.76mの方形で、床面までの深さは17㎝である。本遺構はほぼSI-22範囲内におさまるが、カマドと南西コーナーの位置関係から形状はほぼ間違いない。　方位　N-49°-Eである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　黒色土の地山をほぼ平坦に掘り窪め、砂粒や白色粘質土ブロックを含む黒色土の３層で貼床し形成する。締まりは良く堅い。　ピット　カマド前面に確認されたＰ１は、床下土坑と考えられる。ローム粒を多く含む４層で埋め戻されていた。　カマド　東壁中央部に設けられる。火床部は床面から平坦に続き、逆「U」字状に50㎝程掘り込まれた煙道部に続く。焼土の残りも良い。袖や天井部などは完全に失われ、構造は不明である。　遺物　本遺構とSI-22はその範囲がほぼ重なり、出土遺物を明瞭に区別できなかった。また、両住居合わせて土師器甕小片３点を図示したが、遺物量も少ない。なお、本遺構に１、２は所属するが、３は判然としない。

ＳＩ－２２（第258・276図）

位置　F-８グリッドにある。　重複関係　SI-21より古い。また、図示していないがSK-795よりも新しい。形状・規模　東西4.21m、南北4.94mでコーナーが丸味を帯びた平行四辺形である。床面までの深さは21㎝である。　方位　N-17°-Wである。　覆土　２が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　黒色土の地山をほぼ平坦に掘り窪め、砂粒や白色粘質土ブロックを少量含む黒褐色土の５層で貼床し形成する。締まりは良く堅い。　ピット　東壁際中央部にあるＰ１は床下土坑と考えられる。　カマド　北壁中央やや東寄りに設けられる。火床部は床面から平坦に続き、煙道部は壁より50㎝程逆「U」字状に掘り込まれる。掘方以外完全に失われているが、焼土は比較的よく残っている。　遺物　出土遺物はSI-21と合わせて３点と少ない。この内、本遺構に所属する可能性があるのは３の土師器甕である。

ＳＩ－２３（第258・276図、図版130）

位置　D-８グリッドにある。　重複関係　SK-826aより新しく、SK-808より古い。　形状・規模　東西4.07m、南北2.70m以上の方形と考えられ、床面までの深さは12㎝である。南部は後生の撹乱等により失われている。　方位　N-９°-Eである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　基本的には地山をほぼ平坦に掘り込んで直接床面としている。但し、一部浅い床下の掘り込みも認められる。　ピット　Ｐ１～５がある。Ｐ１～４は配置から柱穴の可能性もあるが、判然としない。　カマド　確認できなかった。東壁に構築されていた可能性もある。　遺物　遺物は少なく遺存状態も悪い。土師器坏２点を図示したのみで

ある。２の体部外面には「土盛ヵ　□」の墨書が施されている。なお、遺物取り上げ時に住居床面を高く誤認した。図示した遺物は床下出土としたが、床面は更に低く、覆土中出土に改めた。

ＳＩ－２５（第259・276・277図、図版130・144・145）

位置　E-７グリッドにある。　重複関係　図示していないがSK-660・705と重複し、本遺構の方が新しい。なお、本住居南壁中央やや西寄りに焼土の纏まりが認められた。調査当初、この部分にカマドを想定し、SI-27と発番した。しかし、これはカマドではなく、SI-25南壁際にたまたま存在した焼土であった。また、周辺に住居やその付属施設は全く認められなかった。　形状・規模　東西5.27m、南北5.50mで、南東コーナーがやや突出する不正な方形を呈する。床面までの深さは21㎝である。　方位　N-12°-Wである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　主に住居東部にある床下土坑Ｐ６～10を３・４層等で埋め戻し、更に全体をロームブロックや粘土ブロックを主体とした濁黄褐色土２層で埋め戻し、貼床とする。全体的に締まりはよい。　ピット　Ｐ１～10の内、Ｐ１～４は柱穴、Ｐ５は貯蔵穴、Ｐ６～10は床下土坑と考えられる。柱穴は深さにややばらつきがあるが、いずれもしっかりと掘り込まれている。配置は、住居形状に合わせるようにＰ３が南東方向に突出する。貯蔵穴はカマド西脇にあり、不正な円形を呈する。　カマド　北壁中央に設けられる。図示したように、カマドが北壁に取り付き煙道部となるところは北壁に沿って幅20㎝、長さ２m程攪乱されていた。従って、その部分の形は不明である。しかし、北壁外への煙道部の突出はそれ程大きくないものと推定される。さて、火床部は貼床を10㎝程楕円形に掘り窪めて形成される。袖部は乳白色粘土で形成され、北壁に直接取り付けていたと考えられる。袖前端部には、長さ80㎝、幅20㎝、厚さ25㎝程の直方体に成形された軟質な石材があり、焚き口天井部の部材と考えられる。天井部は失われていたが、２層や３層にブロック状に混じる白色粘土で構築されていたと考えられる。４層は焼土が多いものの黒色土であることから、煙道部からの流入土が主体と考えられる。なお、カマド内から13、14の土師器甕が出土した。特に、13はカマドに掛かっていた甕の可能性が高い。　遺物　土師器小皿１点、坏３点、高坏１点、短頸壺１点、甕８点を図示した。この内、１の土師器小皿は新しく、本住居に混入したと考えられる。３、10、12、14は、南壁中央やや西寄りに見られた焼土に関連して破片の一部が出土した。３の坏は、内面が漆仕上げされている。５の高坏は、内外面に赤彩の痕跡が認められる。また、６の短頸壺も赤彩されていた可能性がある。

ＳＩ－２６（第260・277図、図版130・145）

位置　F-６グリッドにある。　重複関係　なし。　形状・規模　東西4.60m以上、南北2.64m以上の各辺が若干外方へ湾曲する方形と考えられ、床面までの深さは26㎝である。調査区内では南西部のみ確認され、それ以外の部分は調査区外に大きく広がる。　方位　N-25°-Wである。　覆土　３層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　ローム地山をほぼ平坦に掘り込み、殆どの範囲をロームを多く含む厚さ５～10㎝の４層で貼床する。締まりが良く堅い。　ピット　南西部にＰ１・２がある。Ｐ１は規模と位置関係から柱穴と考えられる。　カマド　調査区内にはない。　遺物　土師器坏１点、甕２点を図示した。２の底部外面には木葉痕が認められる。

ＳＩ－２８（第260・277・278図、図版130・145）

位置　C-17グリッドにある。　重複関係　なし。　形状・規模　東西3.70m、南北2.86mの東西に長い長方形で、北西コーナーは他に比べ丸味を帯びる。床面までの深さは22㎝である。北壁やや東寄りと南壁中央に、床面から平坦に続く突出部がある。北壁の突出部は南北45㎝、東西60㎝程の逆「U」字状、南壁の突出部は南北50㎝、東西１m程の半円形である。両突出部とも焼土など認められなかったが、住居覆土よりもややロ

ームブロック等が多く、最終的に埋め戻された可能性もある。　方位　N-84°-Eである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　床下及び床下土坑を６層で埋め戻して形成される。　ピット　Ｐ１～15が確認された。全て床下の調査時に確認され、その多くは床下土坑と考えられる。Ｐ２やＰ７は規模と位置から柱穴の可能性もある。　カマド　東壁南寄りに設けられる。住居掘方掘削時に袖部を掘り残し、カマド周辺を６層で埋め戻して床を形成する。次いで、長さ20㎝程の棒状の石製支脚を据え付け、４層乳白色粘土を地山掘り残しの袖部等に被覆してカマドを構築する。煙道部はそれ程壁外へ掘り込まれない。天井部は失われていた。支脚がカマドの中央より大きく南に寄っていることから、南北に二連であった可能性もある。　遺物　須恵器坏１点、土師器皿３点、高台付坏１点、甑１点、砥石１点を図示した。１の須恵器坏底部外面には、「卄」と考えられる焼成前の刻みがある。４の土師器皿は完形品である。なお、南壁突出部の東側に長さ80㎝、幅50㎝、厚さ30㎝程の大石があった。上面は比較的平滑である。表土除去の際、多少移動してしまっており、本来は住居範囲の内側にあった。

ＳＩ－２９（第261・278図、図版131・145）

位置　E-６グリッドにある。　重複関係　図示できなかったがカマド下にSK-791があり、本遺構の方が新しい。　形状・規模　東西3.52m、南北3.20mの隅丸方形で、床面までの深さは22㎝である。　方位　N-65°-Eである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　地山をほぼ平坦に掘り込み、厚さ10～15㎝のロームブロックを主体とした７層濁黄褐色土の貼床で全体を覆う。締まりが良く、堅い。なお、カマド下はSK-791があったためか、最初に黒色土のカマド８層でその部分のみ貼床が施されている。　ピット　北東コーナーで確認されたＰ１は貯蔵穴と考えられる。不正な楕円形で長軸が北壁と平行するように設けられている。深さは47㎝で、しっかりと掘り込まれている。　カマド　東壁中央部若干南よりに設けられる。床面形成後、乳白色粘土で袖部を構築し、軟質の石材を焚口や天井部の芯材としている。火床部は床面とはほぼ平坦で、煙道部は壁を20㎝程逆「Ｖ」字状に掘り窪める。天井部が失われているが遺存状態は比較的良好である。６の土師器甕は燃焼部において、焚口天井部を形成した軟質の石材に乗るように出土しており、カマドに掛けられていた可能性が高い。　遺物　土師器坏２点、甕４点、甑１点、石製支脚１点を図示した。遺物は遺存状態が良好で、カマド、Ｐ１貯蔵穴、住居南東部に比較的形を保った状態で出土した。８の石製支脚は長さ20.6㎝で使用時には既に下部が欠けていたと考えられる。上部11㎝程は被熱赤変している。下部は赤変しておらず、火床下に潜り込んでいた部分と考えられる。カマドに甕が掛かったまま潰れたとすると、この支脚は本来本住居のものでない可能性もある。

ＳＩ－３０（第261・278図、図版131・145）

位置　E-５グリッドにある。　重複関係　図示していないが、SK-842・1007・1008、SX-１より新しい。形状・規模　東西4.76m、南北4.50mで、南東コーナーがやや突出する不正な方形を呈する。床面までの深さは22㎝である。　方位　N-25°-Eである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　所々凹凸のある掘方を、今市パミスを多く含む黒色土の２層で平坦に埋め戻して床面とする。掘方を直接床とした部分も多い。床面は締まりが良く、堅い。　ピット　Ｐ１～８が確認され、Ｐ１～４は柱穴、Ｐ５は貯蔵穴と考えられる。柱穴は深さ40～60㎝で、段を持って掘り込まれたものもある。貯蔵穴Ｐ５はカマドと北東コーナー間に配されている。平面形は長方形を基本としているが、カマド側の壁の立ち上がりが緩やかである。覆土は、少量のローム粒を含む黒褐色土である。　カマド　北壁北東コーナー寄りに設けられる。貯蔵穴Ｐ５と合わせると、コンパクトに住居北東部に纏められている。遺存状況は比較的良好である。火床部は床面から10㎝程度掘り窪められる。煙道部は北壁を20㎝弱逆「Ｕ」字状に掘り込んで形成される。袖部はカマド

５層の灰褐色粘土で形成される。カマド前端部には粗く整形された軟質の石材があり、焚口天井部の芯材であったと考えられる。天井部は失われているが、燃焼部堆積土より白色粘土や灰褐色粘土で構築されていたことがわかる。５の土師器甕は出土状態より、カマドに掛かっていた可能性が高い。　遺物　土師器坏３点、甕２点を図示した。

ＳＩ－３１（第262・279図、図版131・132・146）

位置　E-５グリッドにある。　重複関係　図示していないが、SK-792より新しい。　形状・規模　東西4.79m、南北4.94mで、北壁がカマドで若干屈曲する方形を呈する。床面までの深さは25㎝である。　方位　N-３°-Eである。　覆土　１・２層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　所々掘り込まれた床下土坑を、ロームブロックを多く含む５層灰褐色土等で埋め戻し、更に全体をローム粒・ロームブロック主体の４層濁黄褐色土で厚さ10㎝程埋め戻して形成する。　ピット　Ｐ１～９が確認された。主柱穴は確認できなかったが、南壁際中央にあるＰ３・４は入口ピット、Ｐ６～９は床下土坑である。　カマド　北壁中央部やや東寄りに設けられる。天井部は失われ、西袖部分は完全に攪乱されていた。火床面は床面より若干窪む。火床下は、カマド７層の床下埋め戻し土と６層の焼土・粘土混じりのカマド下埋め戻し土を充填する。煙道部は、おそらく等脚台形状に北壁を70㎝程掘り込み、袖部から続く乳白色粘土で壁を構築する。袖部は５層乳白色粘土で構築され、芯材に軟質の粗く整形した石材を用いる。　遺物　須恵器蓋１点、坏２点、土師器坏10点、甕９点、砥石１点を図示した。16、19、20など土師器甕が、住居北部カマド前に比較的纏まって出土した。また、小破片ながら５、10、11、12、13の土師器坏体部外面には墨書が見られる。この内、12は「万ヵ」と考えられる。

ＳＩ－３２（第262・279図、図版132・146）

位置　E-４グリッドにある。　重複関係　図示していないが、SK-797・798・944と重複し、本遺構の方が新しい。　形状・規模　東西5.35m、南北5.48mのほぼ正方形を呈し、床面までの深さは８㎝である。方位N-27°-Eである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　四隅がやや深く、全体的に凹凸のある掘方に、ロームブロック主体の濁黄褐色土３層で貼床を施す。床面は締まりよく、堅い。壁際には、幅30㎝、深さ15㎝程の周溝が全周する。覆土は２層が対応し、しまりあまい。また、北東部にはＰ１・２から西へ、西壁に直交するように幅30㎝、深さ10㎝、長さ１m程の間仕切溝がある。　ピット　Ｐ１～14が確認された。Ｐ１～８は２基一対で新旧の柱穴であろう。柱穴は、各々の規模や配置範囲がやや大きいＰ１・４・６・８が最終的に本住居に伴うもので、Ｐ２・３・５・７はその前段階のものと推定される。柱穴からは、本住居が一度建て替えられたと考えられる。Ｐ９は貯蔵穴である。平面形状は楕円形で、長軸を住居東西軸に合わせ、北東コーナーに設けられる。　カマド　北壁中央部に設けられる。周辺部に白色粘土や焼土が若干残されていたが、ほぼ完全に壊れていた。構造は、楕円形の掘方がわかるのみである。　遺物　土師器坏２点、甕１点、甑１点を図示した。遺物は少なく、遺存状態も悪い。

ＳＩ－３３（第263・280図、図版132・133・146）

位置　E-５グリッドにある。　重複関係　図示していないが、SI-44、SK-793・890と重複し、本遺構の方が新しい。　形状・規模　東西3.44m、南北3.43mで、北西コーナーが若干突出する正方形を呈する。床面までの深さは24㎝である。　方位　N-９°-Eである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　ほぼ平坦に掘り込んだ掘方に、ロームを主体とした濁黄褐色土２層で厚さ10㎝程度の貼床を施す。床面は締まりよく、堅い。　ピット　Ｐ１・２がある。南壁際中央部のＰ１は入口ピットと考えられる。　カマド　北壁中央部若干西寄りに設けられる。火床部は床面より窪み、煙道部は壁を「Ｖ」字状に40㎝程掘り込んで

形成される。袖部は乳白色粘土５層で構築される。天井部は失われている。　遺物　灰釉陶器長頸瓶２点、須恵器坏１点、甑１点、土師器坏２点、甕１点、土錘29点を図示した。土器類の遺存状態はそれ程良好ではない。

ＳＩ－３４（第263・280図、図版133・146・147）

位置　D-17グリッドにある。　重複関係　図示していないが、SK-244・275より本遺構が新しい。　形状・規模　東西6.10m、南北6.04mのほぼ正方形で、床面までの深さは16㎝である。　方位　N-８°-Wである。覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　本住居のカマドから南東コーナーを結ぶラインの東側地山は砂礫層、西側地山はロームである。このことは床の形成とも関係する。住居東側では砂礫層を平坦に掘り込み直接床面としている。西側では、壁に沿った１～1.5mの範囲を床面より10～15㎝程下げた浅い溝状の掘方が形成される。この掘方は、ロームブロックを多量に含む６層で埋め戻され、床面が形成される。ピット　Ｐ１～16が確認された。Ｐ１～８は柱穴またはそれに関連するものと考えられる。配置や規模の点からは、Ｐ１・３・４・６が主柱穴であろう。Ｐ７・８は柱穴の南北ラインの延長上にあり、規模も柱穴として遜色ないことから、主柱穴に準じるものであろう。北西コーナーにあるＰ９は貯蔵穴である。長方形を呈し底面も平坦で、企画性に富む。南西コーナーのＰ16は床下土坑と考えられる。　カマド　北壁中央部に設けられる。火床部は１m×50㎝の楕円形の範囲が床面より若干窪む。袖部は、壁よりは地山を掘り残し、先端部は黄色粘土に小礫や乳白色粘土を混ぜて構築する。煙道部は壁を逆「Ｖ」字状に掘り込むが、壁外への突出はそれ程ない。天井部は完全に失われているが、焚き口あるいは天井部芯材と考えられる粗く加工された軟質の石材がある。　遺物　須恵器蓋２点、坏４点、高台付坏１点、高台付皿１点、壺１点、甕１点、土師器坏１点、高台付坏１点、土錘１点を図示した。遺存状態はそれ程良好ではないが、器種は比較的豊富である。６の須恵器坏底部外面には、焼成前の「卅」の刻みがある。

ＳＩ－３５（第264・281図、図版133・147）

位置　F-５グリッドにある。　重複関係　図示していないが、SK-829・923・1003より本遺構が新しい。SK-1005とは新旧関係不明である。　形状・規模　東西4.63m、南北3.73mのやや東西に長い方形で、床面までの深さは22㎝である。　方位　N-１°-Wである。　覆土　１～３層が相当する。自然堆積と考えられるが、３層はロームブロックが主体で人為的に投棄されたかもしれない。　床面　掘方は住居範囲の内、北西部Ｐ１、北東部Ｐ３・４、中央部から南壁際Ｐ２を床面より15～30㎝深く掘り込む。こうした床下部分を、ロームを多く含む４層黒褐色土で埋め戻し平坦な床面を形成する。　ピット　Ｐ１～４が確認されたが、全て床下土坑である。床面に開口するものはない。　カマド　北壁中央部に設けられる。火床部は床面よりやや窪む。煙道部は逆「Ｕ」字状に壁を50㎝程掘り込む。袖部は７層黄灰色粘質土で構築される。天井部は失われているが、土層堆積状況より袖部と同様の粘質土で構築されていたと考えられる。袖先端部に東西方向で横倒しになって出土した８の土師器甕は、焚き口部天井の芯材であった可能性が高い。　遺物　須恵器坏２点、甕１点、壺１点、土師器坏２点、高台付坏１点、甕１点、土錘１点、刀子１点を図示した。遺存状態はそれ程良好ではないが、器種は比較的豊富である。

ＳＩ－３６（第264・281図、図版133・134・147）

位置　F-４グリッドにある。　重複関係　図示していないが、SK-802・940・1028より新しく、SK-925より古い。　形状・規模　東西4.16m、南北3.12mの東西に長い方形で、床面までの深さは20㎝である。　方位　N-９°-Eである。　覆土　１～３層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　東西にある南北に延びる床下土坑Ｐ２・３は、ロームを多く含む４層で埋め戻され床面を形成する。中央部は平坦に掘り込んだ掘方を

直接床面とする。　ピット　Ｐ１～３が確認された。Ｐ１は貯蔵穴で、北西コーナーに設けられる。Ｐ２・３は床下土坑である。　カマド　北壁中央部に設けられる。火床部及び煙道部は、逆「U」字状に75㎝程壁を掘り込んで形成される。火床部は床面より僅かに窪む。焚き口部の位置は北壁に近く、天井部芯材と考えられる軟質の石材が落ちた状態で遺存する。燃焼部は北壁の外側であったと推定され、側壁は軟質の石材で補強される。天井部は失われ、構造など不明である。　遺物　須恵器坏１点、甕１点、土師器坏１点、甕２点を図示した。この内、土師器甕４、５は遺存状態良好である。４は胴下半部に特にヘラミガキが集中する部分がある。また、底部には木葉痕がみられる。

ＳＩ－３７（第265・266・282・283図、図版134・147・148）

位置　F-３グリッドにある。　重複関係　本住居の床下で確認されたSI-43より新しい。また、図示していないが、SK-932より新しい。なお、南西部は2.8m×1.2mの長方形の範囲が床下まで攪乱される。　形状・規模　東西5.45m、南北5.23mのやや不正な方形で、床面までの深さは17㎝である。　方位　N-９°-Wである。覆土　１層が相当する。平面図にはそれ程図示できなかったが、炭化材が多く認められた。焼失家屋の可能性がある。　床面　先に構築されやや深いSI-43や床下土坑を、今市・七本桜パミスを多く含む２層で埋め戻して床を構築する。床面は平坦で、締まりが良く堅い。　ピット　SI-43の範囲を除き、本住居範囲からはＰ６～８が確認された。いずれも床下土坑である。但し、SI-43範囲内のＰ３・５も本住居に所属する床下土坑かもしれない。　カマド　北壁中央部やや東寄りに設けられる。カマド10層による貼床後、床面よりやや窪む火床部が形成される。火床部中央奥には、軟質の石材を粗く加工した長さ27.8㎝以上、直径10.7㎝の先端がやや細くなる円柱状の支脚40が据え付けられていた。上端部には土師器甕底部が伏せられた状態で乗せてあった。煙道部は逆「U」字状に壁を60㎝程掘り込む。袖部には軟質の石材を芯材として使用する。また、痕跡から黄白色粘土で袖芯材を被覆したことがわかる。天井部は完全に失われているが、覆土の状況から黄白色粘土で構築したことがわかる。　遺物　調査時に本住居とSI-43の区別ができなかったので、遺物も混在している。しかし、SI-43は本住居に壊されていること、規模もより小さいこと、遺存部も少ないことなどから、出土遺物の多くは本住居に所属する可能性が高い。さて、両住居合わせて、灰釉陶器椀２点、須恵器坏１点、長頸瓶１点、甕８点、甑１点、土師器坏13点、高台付坏４点、甕８点、高台坏甕のミニチュア１点、土錘１点、石製支脚１点、鉄製刀子１点の計42点を図示した。出土遺物は、質・量共に豊富である。この内、明らかに本住居に伴う遺物は、２の灰釉陶器椀、６、７の土師器坏、32、36の土師器甕、38の土師器台付甕のミニチュア、40の石製支脚、41の土錘である。また、おそらく31、33の土師器甕も本住居に伴う可能性が高い。これらはカマド及びその周辺に、比較的纏まって出土した。なお、３の須恵器坏底部外面には、焼成前の直線的な刻みがある。ヘラ記号か。

ＳＩ－３８（第266・284図、図版134・148）

位置　E-15グリッドにある。　重複関係　図示しなかったが、SK-266・292・334より新しい。　形状・規模　東西5.08m、南北5.10mのほぼ正方形で、床面までの深さは20㎝である。　方位　N-12°-Wである。　覆土　１・２層が相当し、１層は自然堆積と考えられる。２層は焼土がやや多く混じる。　床面　住居範囲の内、中央部から東部は地山を平坦に掘り込み、直接床面としている。北部、西部、南部は、逆「コ」の字状に幅1.5m、深さ20㎝前後の床下掘方を、ロームブロックを多量に含む３層で埋め戻し床面を形成する。　ピット　Ｐ１～９が確認された。Ｐ１～４は柱穴と考えられるが、深さがややばらつく。また、Ｐ１は床下掘方と明確には区別できなかった。Ｐ７・８は南部中央に位置し、入口ピットと考えられる。　カマド　北壁中央部に設けられるが、遺存状態は悪い。床下土坑Ｐ５を４層で埋め戻した後、床面よりやや窪む火床部を

形成する。火床部には焼土がやや多く認められる。煙道部は壁を30㎝程逆「U」字状に掘り込む。袖部は東袖のみ遺存し、黄褐色粘質土を多く含む３層で構築される。天井部は完全に失われている。　遺物　須恵器坏３点、甕１点、土師器坏４点、高台付坏１点、甕３点、土錘２点、鉄製鎌１点を図示した。１と３の須恵器坏は底部外面に焼成前の刻みがありヘラ記号である。１は「×」と考えられる。また、４の土師器坏は柱穴Ｐ２の際床面直上より、成立状態ほぼ完形で出土した。

ＳＩ－３９（第267・284図、図版135・148）

位置　F-３グリッドにある。　重複関係　なし。　形状・規模　東西4.32m、南北4.12mの若干潰れた方形で、床面までの深さは47㎝である。　方位　N-５°-Wである。　覆土　１・２層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　コーナーが深くやや凹凸のある掘方を、ロームを多く含む３層で埋め戻して形成する。床面はやや凹凸があるが、しまりがよく堅い。　ピット　Ｐ１～４が確認された。Ｐ１～３は床下土坑である。Ｐ４は３層との関係が把握できず、配置から貯蔵穴の可能性もある。　カマド　北壁中央部やや東寄りに設けられる。火床部は貼床から平坦に続き、煙道部は壁を逆「U」字状に段を持って50㎝程掘り込んで形成する。袖部は乳白色粘土ブロックを主体とした５層で構築される。天井部は失われているが、燃焼部には４・６等の土師器甕が散乱する。　遺物　須恵器坏２点、甕２点、土師器甕２点を図示した。４と６の土師器甕はカマドに掛かっていた可能性もある。

ＳＩ－４０（第268・284図、図版135）

位置　E-15グリッドにある。　重複関係　図示していないが、本遺構はSK-298～300・324より新しい。形状・規模　東西3.10m、南北3.91mの長方形で、床面までの深さは15㎝である。　方位　N-84°-Eである。覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　掘方は、北壁に沿ったＰ３の範囲が最も深く14㎝、他は住居中央部を中心に10㎝弱床面より深い。床面は、掘方をロームブロックと黒色土を混合した４層で埋め戻し構築する。また、カマド前面の１m程の範囲は、焼土とロームブロックを混合した３層赤褐色土で厚さ５㎝弱の締まりが良く堅い貼床を施す。　ピット　Ｐ１～７が確認された。この内、Ｐ２・３・６は床下土坑と考えられる。　カマド　東壁中央部やや南寄りに設けられる。火床部は床面より若干窪み、煙道部は壁を逆「U」字状に40㎝程掘り込んで形成される。掘方以外、カマドは完全に壊れている。　遺物　須恵器坏１点、土師器皿１点、灰釉陶器壺類１点を図示した。いずれも遺存状態は悪い。

ＳＩ－４１（第267・284・285図、図版135）

位置　E-15グリッドにある。　重複関係　なし。　形状・規模　東西3.15m、南北3.00mの不正な方形で、床面までの深さは27㎝である。北西コーナーが湾曲し、やや突出する。　方位　N-88°-Eである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　床下土坑Ｐ３・４を２・３層で埋め戻し、平坦な床面を形成する。床下土坑以外は、平坦に掘り窪めた地山上に厚さ数㎝の２層を埋め戻し床面とする。　ピット　Ｐ１～４が確認された。Ｐ１・２は柱穴の可能性がある。Ｐ３・４は床下土坑と理解した。　カマド　東壁の南東コーナー寄りに設けられる。火床面及びその前面は、楕円形の範囲が床面より５㎝ほど窪み、平坦な煙道部へ続く。壁への掘り込みは逆「U」字状に25㎝程である。煙道部の立ち上がりは、黄色粘質土４層で固められる。袖部は、高さ20～25㎝程の袖石を芯材として、黄褐色粘質土を多く含む６層で構築される。天井部は失われているが、黄褐色粘土で構築されていたことが想定される。　遺物　須恵器甕１点、土師器皿１点、高台付坏１点、甕１点を図示した。いずれも遺存状態は悪い。

ＳＩ－４２（第268・285図、図版135・136・148）

位置　E-14グリッドにある。　重複関係　図示していないが、SB-２・３より本住居が新しい。また、SK-

1364とは新旧関係不明である。　形状・規模　東西4.28m、南北3.14mの東西に長い長方形を呈し、東壁が中程で若干屈曲する。床面までの深さは14㎝である。　方位　N-17°-Wである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　北東、南東コーナーに床下土坑があるものの、基本的には地山を平坦に掘り込み直接床面としている。床下土坑は、ロームブロックを多く含む土で埋め戻す。床下土坑や本住居範囲内のSB-２・３の柱穴は埋め戻されたものと理解できるが、改めて本住居床面形成のための貼り床は施していない。ピット　Ｐ１～11が確認された。Ｐ７は貯蔵穴の可能性がある。覆土はＩＰ・Ｌ小Ｂを少量含む黒褐色土である。Ｐ６・10・11は床下土坑と理解した。　カマド　北壁中央部やや東寄りに設けられる。火床面は床面から平坦に続き、壁は35㎝程逆「U」字状に掘り込み煙道部が形成される。袖部は東袖のみ遺存し、地山掘り残しにより形成される。天井部は失われており、粘土や構築材なども認められない。　遺物　土師器坏２点、高台付坏１点、甕１点を図示した。

ＳＩ－４３（第265・266・282・283図、図版134・147・148）

位置　F-３グリッドにある。　重複関係　SI-37より古い。　形状・規模　東西4.00m、南北3.28mのやや不正な方形で床面までの深さは30㎝である。　方位　N-11°-Wである。　覆土　３層が相当し、自然堆積と考えられる。但し、SI-37構築により覆土は厚さ10㎝も残っていない。　床面　床下土坑や床下の掘り込みを、４・５層で埋め戻して構築する。平坦で締まりが良く、堅い。　ピット　範囲内よりＰ１～６が確認された。Ｐ１は入口ピット、Ｐ２はカマド掘方、Ｐ３～６は床下土坑と考えられる。　カマド　北壁に接しほぼ中央に設けられたＰ２は、本住居カマドの掘方の可能性がある。しかし、焼土、粘土、カマド材などは確認できなかった。　遺物　調査時にSI-37と区別できず、遺物も混在する。しかし、図示した遺物の多くはSI-37に所属し、本住居のものは少ないと考えられる。本住居に所属すると断定できる遺物は皆無である。

ＳＩ－４５（第268・285図、図版136）

位置　D-14グリッドにある。　重複関係　なし。　形状・規模　東西4.68m、南北3.85mの不正な長方形で、床面までの深さは29㎝である。東壁が西壁に比べやや短い。　方位　N-６°-Eである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　平坦に掘り込んだ礫層の地山を直接床面とする。　ピット　Ｐ１～３が確認された。　カマド　北壁中央部若干西寄りに設けられる。火床部は床面から平坦に続き、煙道部は壁を30㎝程逆「Ｖ」字状に掘り込む。袖部から煙道部壁際には、粗く加工したやや軟質の石材を据えている。また、焚口と想定される部分には、同様の長さ30㎝程の石材が出土した。これらの石材はカマド芯材として使用されたものである。天井部は失われている。　遺物　須恵器坏１点を図示した。底部外面に焼成前の刻みがある。ヘラ記号「×」か。

ＳＩ－４６（第269・285図、図版136）

位置　D-14グリッドにある。　重複関係　本住居はSK-320・333より新しい。また、SK-310～313・318・325・332・1350との新旧関係は不明である。　形状・規模　東西3.32m、南北推定3.38mの長方形で、床面までの深さは北壁際で10㎝である。但し、明確に形状が判明したのは北壁から東壁で、西壁から南壁及び南東コーナーは斜面地にあることから確認できなかった。　方位　N-３°-Wである。　覆土　覆土は炭粒、炭化材、焼土粒を少量含む黒褐色土で、自然堆積と考えられる。　床面　床面として把握できたのは北壁とSK-312からSK-313ラインの間の範囲のみである。この範囲では、地山を平坦に掘り込んで直接床面としている。SK-312からSK-313ライン以南の床面は殆ど確認できなかった。　ピット　なし。但し、重複する土坑が床下土坑等、本住居と関係する可能性は否定できない。　カマド　北壁中央部に設けられる。火床部は床面から平坦に続き、煙道部は壁を40～60㎝程逆「U」字状に掘り込む。袖部や天井部は完全に失われていた。なお、

燃焼部覆土は、炭粒や炭化材、焼土粒を多く含んだ締まりの悪い黒褐色土である。　遺物　土師器甕１点を図示した。当初、重複する土坑を明確に把握できず、遺物出土位置に混乱を来した。

ＳＩ－４８（第269・285図、図版136・148）

位置　F-８グリッドにある。　重複関係　SI-18より古い。　形状・規模　東西3.22mで方形を呈すると考えられる。床面までの深さ27㎝である。本遺構は黒色土中に構築されている。また、北壁は調査区外にあり、より新しいSI-18に殆どの部分が壊されているので、全容は判然としない。　方位　N-３°-Wである。　覆土　４～６層が対応し、自然堆積と考えられる。　床面　黒色土ないしローム地山をほぼ平坦に掘り込み、黒褐色土ブロックとロームブロックの混合土10層で厚さ５㎝前後の貼床を形成する。締まりは良く堅い。　ピット　Ｐ１が東壁際にある。カマドとの関係から柱穴の可能性もある。この場合、SI-18に所属するとした２基のピットは、本遺構の付属施設である可能性も否定できない。　カマド　北壁中央やや西寄りにあると推定される。確認できたのは西袖と火床の前端部及び土層断面で、火床部中央と煙道部などは調査区外である。火床部は床面よりやや窪む。袖部は貼床形成後、粘性のある暗茶褐色土の９層により構築される。東側には袖部構築土は見られないが、芯材と考えられる板状の石材がやや内側に傾いた状態で確認された。天井部は失われているが、８層を中心に多量の焼土が見られる。　遺物　土師器坏２点、甕１点を図示した。２の土師器坏と３の甕はSI-18からも接合破片が出土した。また、SI-18の１～３は本来本住居跡に所属した可能性が高い。

ＳＩ－５０（第270・285図、図版136・137・148）

位置　A-８グリッドにある。　重複関係　SK-977・980・1021と重複し、本住居の方が新しい。　形状・規模　東西5.22m、南北2.97mの東西に長い不正な長方形で、床面までの深さは20㎝である。　方位　N-82°-Eである。　覆土　１・２層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　北東部と南西部を中心に床下土坑を主に３層で埋め戻して形成される。中央部と南西部は地山を平坦に掘り込み、直接床面としている。全体的にほぼ平坦だが、北から南に向かってやや傾斜する。　ピット　Ｐ１～14が確認された。基本的には床下土坑と理解した。柱穴が含まれている可能性はあるが、判別できなかった。　カマド　東壁やや南東コーナーよりに設けられる。火床部は床面から平坦に続き、煙道部は壁を逆「U」字状に30㎝程掘り窪めて形成される。袖部は暗黄褐色粘質土ブロックを多く含む１層で形成される。袖部には芯材に石材が使用されていた痕跡がある。燃焼部には焼土が多く残されていた。　遺物　土師器坏１点と甕１点を図示した。２の土師器甕は、カマド前面床面直上、倒立状態で出土したものである。

ＳＩ－５１（第269・286図、図版137・149）

位置　C-７グリッドにある。　重複関係　図示していないがSK-1035と重複し、本住居の方が新しい。　形状・規模　北部と柱穴の配置から、東西6.89m、南北7.08mのほぼ正方形を呈すると考えられる。この内、形状が明らかになった部分は、北壁及び北東・北西コーナーのみである。遺構確認面がほぼ床面で、土質の若干の違いから住居範囲が判明したにとどまる。中央部から南部は、後生の撹乱等により柱穴を除き失われている。　方位　N-３°-Wである。　覆土　不明。　床面　住居北部で確認できた。周辺の地山に比べれば、床範囲は濁黄褐色土で硬化する。但し、貼床層を確認するには至っていない。貼床は失われたか、地山を直接床面としていたと考えられる。　ピット　Ｐ１～７が確認された。住居推定範囲と配置から、Ｐ１～４は柱穴と考えられる。この内、本来の形状を保っているのはＰ４のみで、他は床面を含め20㎝程上部を削平されている。北東コーナーにあるＰ５は貯蔵穴である。東西に長い隅丸長方形で、深さは50㎝程ある。　カマド　確認できなかったが、柱穴や貯蔵穴の配置から北壁中央部に設けられたものと推定できる。詳細は不明

である。　遺物　土師器坏、甕、甑各１点を図示した。１の坏、２の甕は北部床面直上から出土した。３の甑はほぼ完形で、Ｐ５貯蔵穴覆土中より横位で出土した。

ＳＩ－５３（第270・286図、図版137）

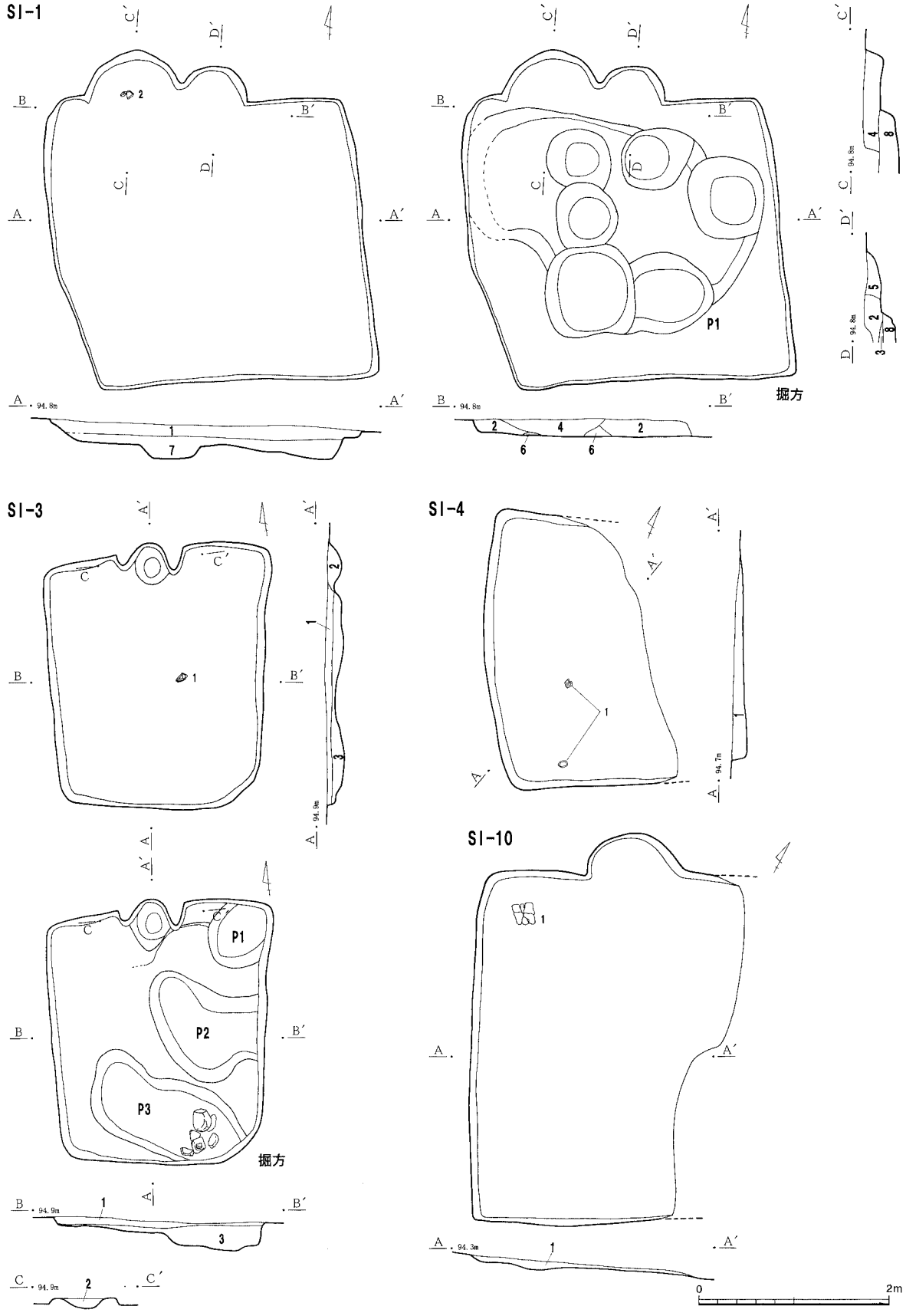
位置　G-17グリッドにある。　重複関係　図示していないが、SK-1180・1186・1187・1192・1193・1196・1202・1285・1293・1294と重複する。本住居の方が新しい。　形状・規模　東西4.19m、南北3.60mの方形を呈する。但し、西壁は湾曲し、南壁は立ち上がりを明確に把握できなかった。床面までの深さは９㎝である。方位　N-104°-Eである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　地山を平坦に掘り窪めて直接床面としている。床下はロームの部分より縄文時代の土坑が多いが、貼床等施されていない。　ピットＰ１が南東コーナーで確認されたが、性格は判然としない。　カマド　東壁北東コーナーよりに設けられる。火床部は床面から僅かに窪み、煙道部は壁を70㎝程逆「U」字状に掘り込む。火床面には焼土が多く残る。袖基底部はロームブロックを多く含む暗黄褐色土で形成される。遺存状態は悪く、天井部は失われている。遺物　土師器坏２点、甕１点を図示した。遺存状態は悪い。

ＳＩ－５４（第271・286図、図版137）

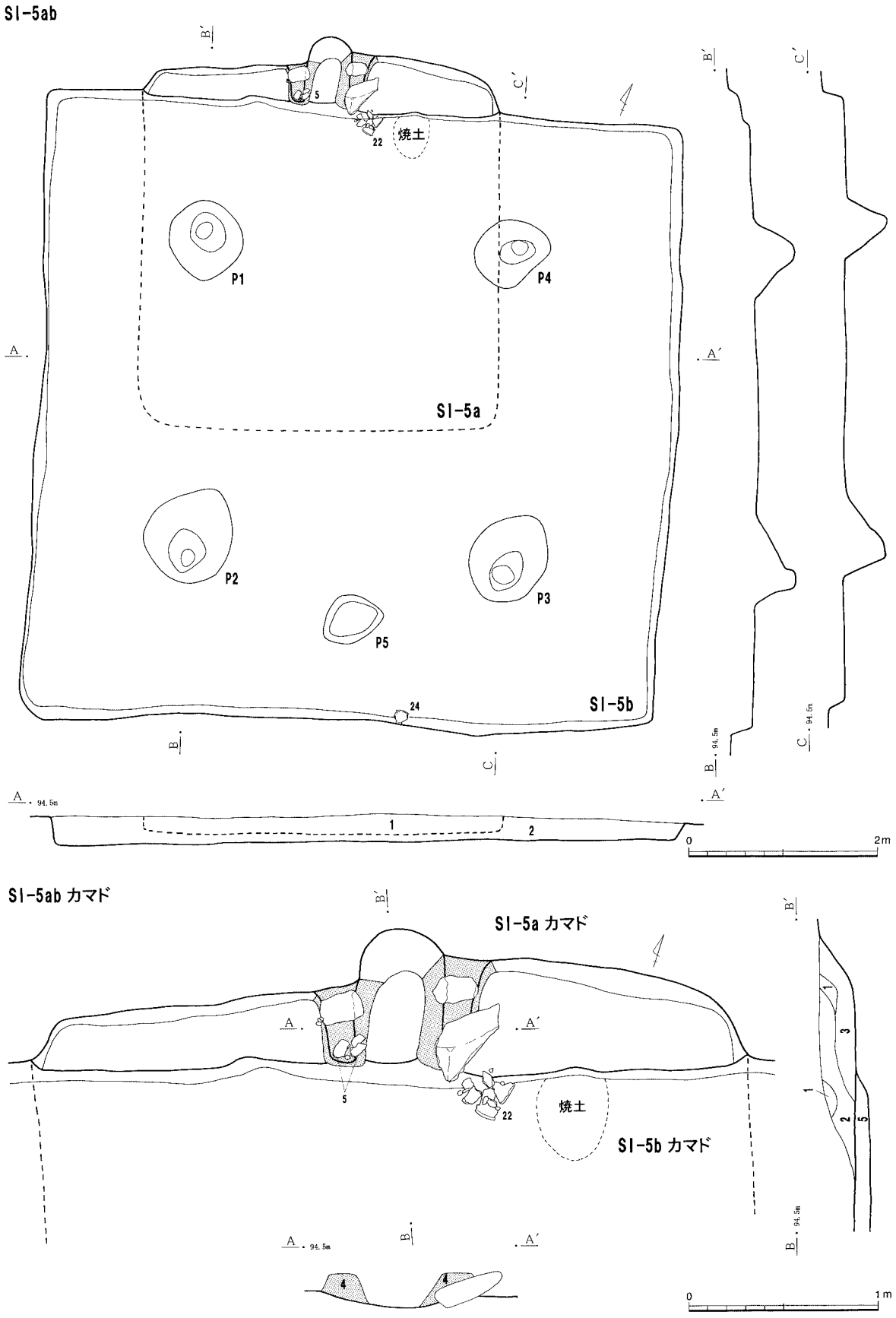
位置　H-16グリッドにある。　重複関係　図示していないが、SK-1142～1144・1146・1147・1149・1184・1185と重複する。本住居の方が新しい。　形状・規模　東西4.57m、南北4.05mのやや不正な長方形で、床面までの深さは21㎝である。　方位　N-87°-Eである。　覆土　１・２層が相当し、自然堆積と考えられる。床面　地山を平坦に掘り窪め直接床面としている。住居中央部は焼土を主体とした４層で、貼床を施した部分もある。　ピット　なし。　カマド　東壁南東コーナーよりに設けられる。遺存状態は悪く、楕円形の掘方と一部芯材のみ残る。火床部は床面よりやや窪み、良く焼けて焼土が残る。煙道部は壁外へ50㎝程逆「U」字状に掘り込まれる。芯材は軟質の石材で、燃焼部内壁を補強したものと考えられる。　遺物　土師器高台付坏１点、甕４点を図示した。遺存状態はあまり良好ではない。

ＳＩ－５５（第271・286図）

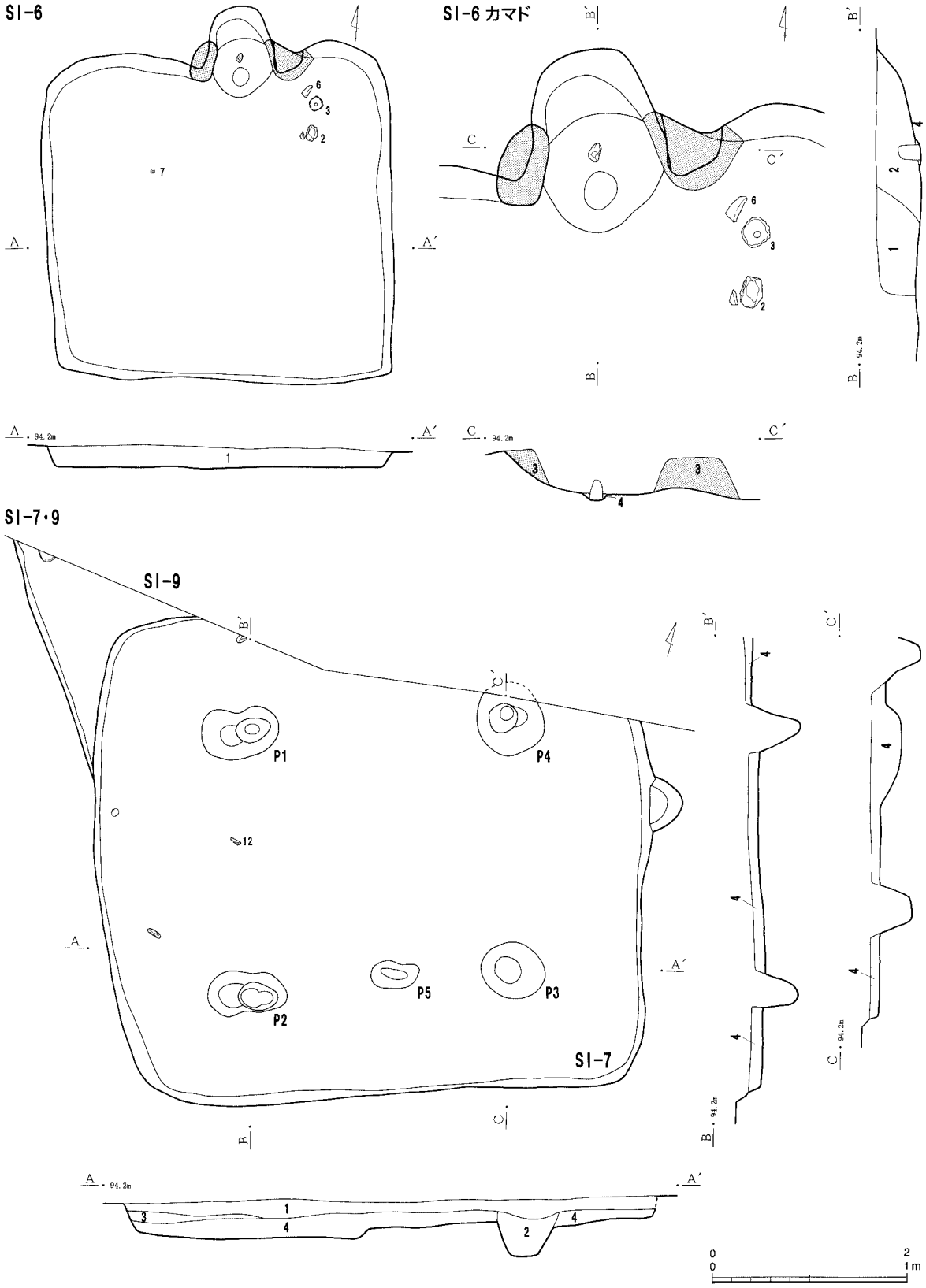
位置　G-18グリッドにある。　重複関係　図示していないが、本住居はSK-1170・1258・1308・1309・1318a・1334より新しい。SK-1266a・1332とは新旧関係不明である。　形状・規模　東西2.80m、南北2.60mの方形で、床面までの深さは12㎝と推定される。他の遺構との重複が著しく本住居が比較的浅いことから、実際はカマド及び各壁の一部を確認できたのみである。　方位　N-18°-Eである。　覆土　１層が相当し、自然堆積と考えられる。　床面　地山を平坦に掘り窪めて直接床面としている。　ピット　なし。　カマド　北壁中央部西よりに設けられる。遺存状態は極めて悪く、掘方の東半分しか残っていない。形状と焼土があることからカマドと認識した。　遺物　土師器坏１点と須恵器甕１点を図示した。遺存状態は悪い。



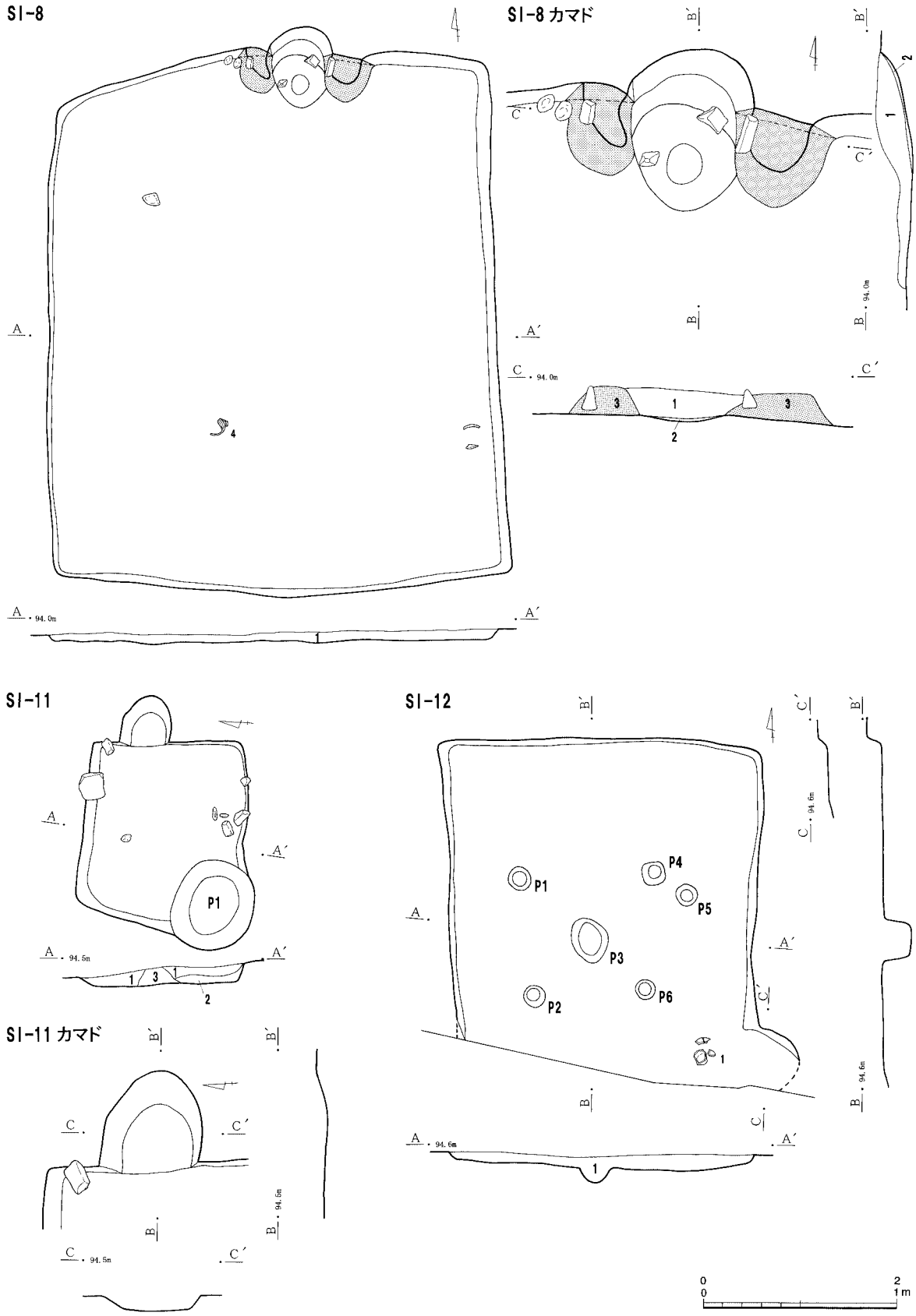
第251図　SI－1・3・4・10



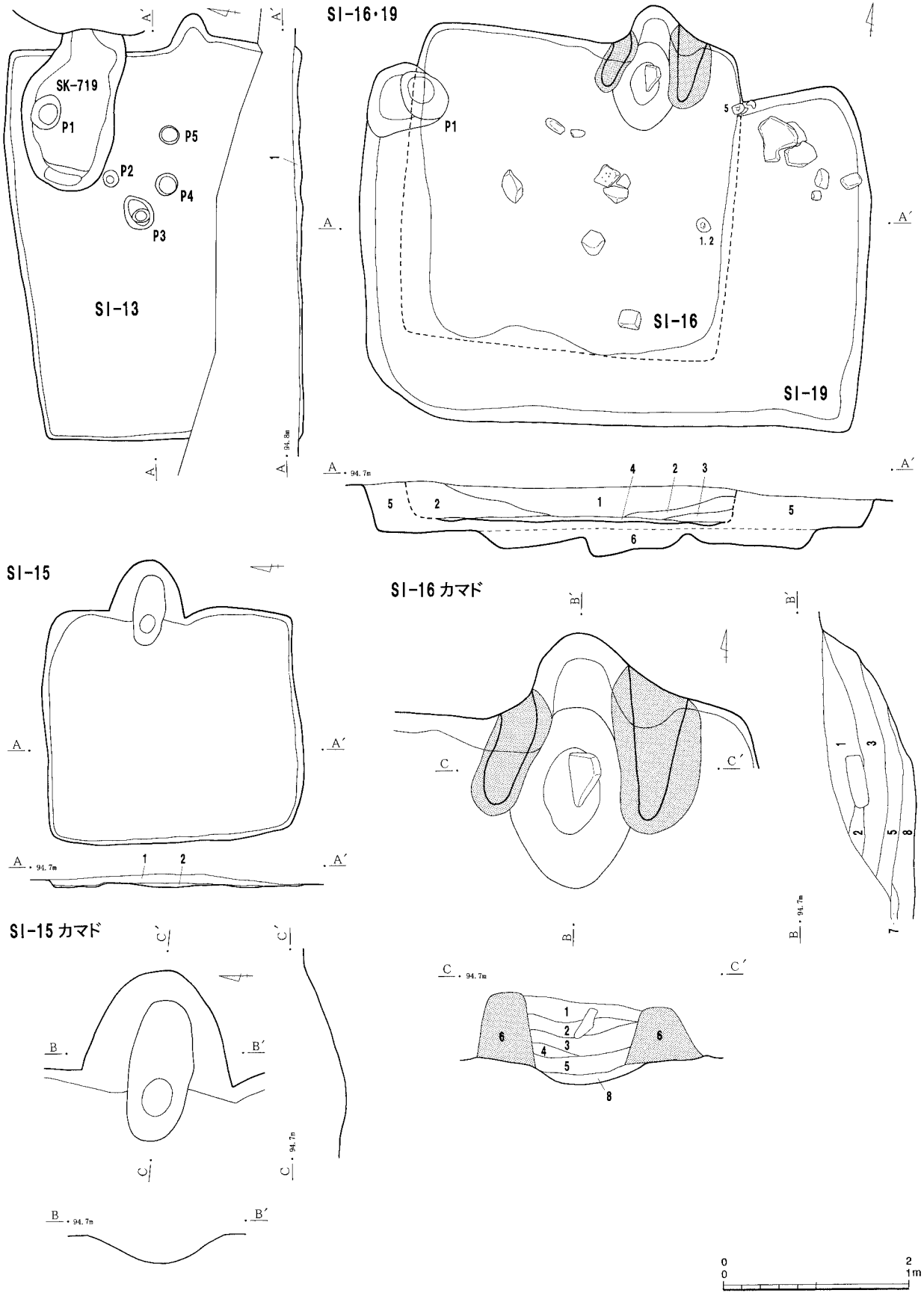
第252図　SI－5a・5b



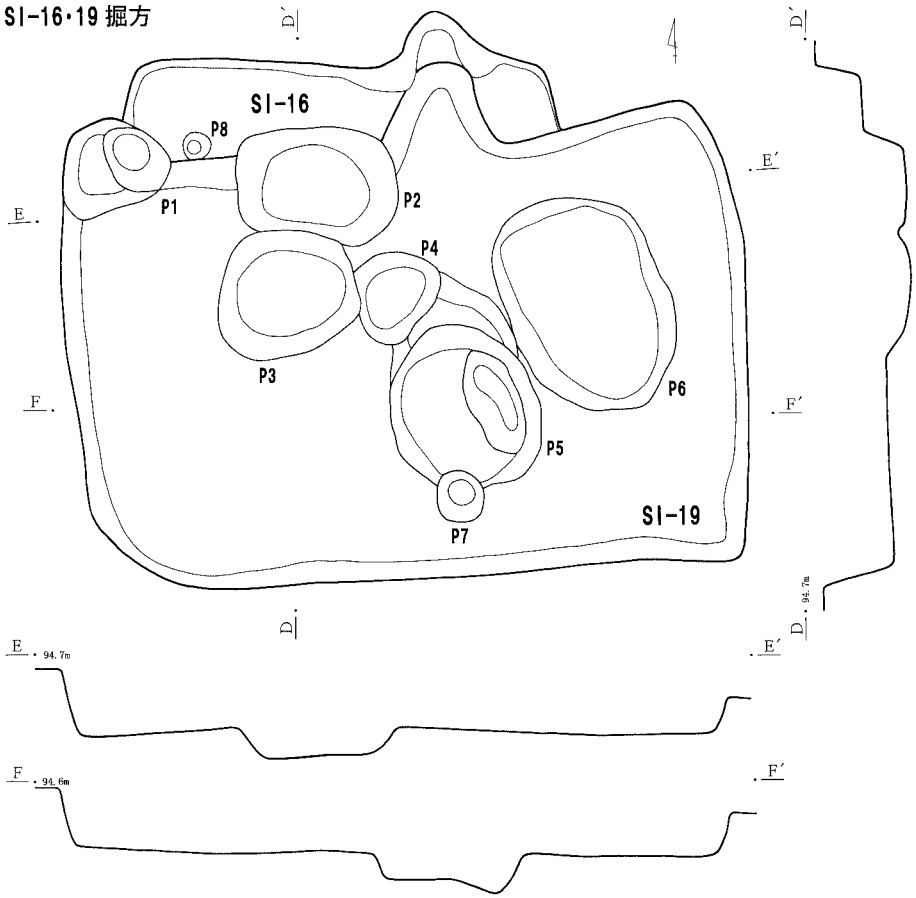
第253図　SI－6・7・9

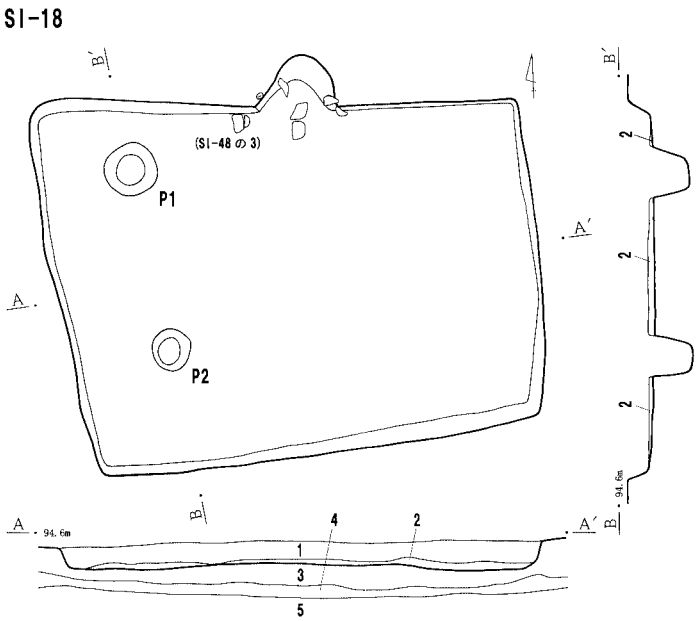


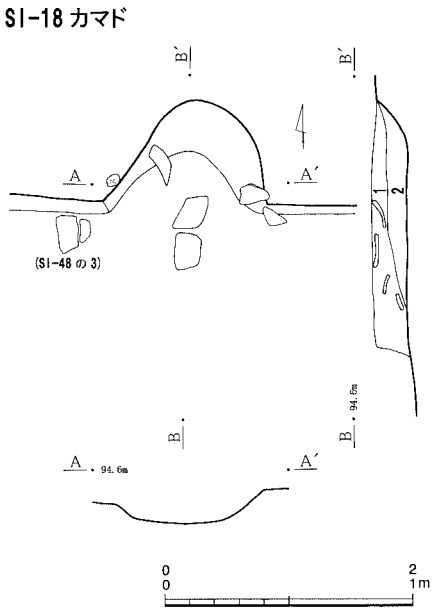
第254図　SI－8・11・12



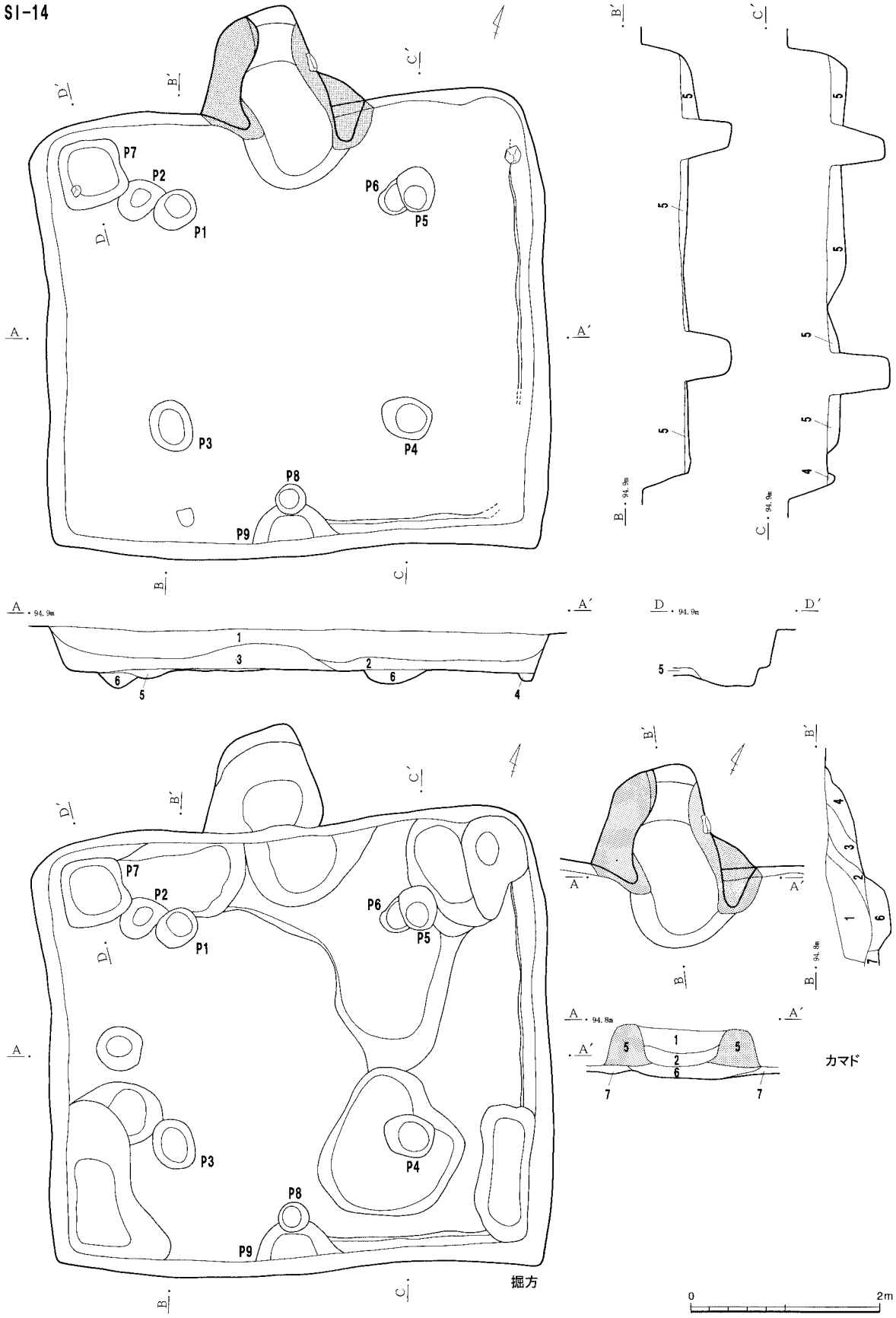
第255図　SI－13・15・16・19



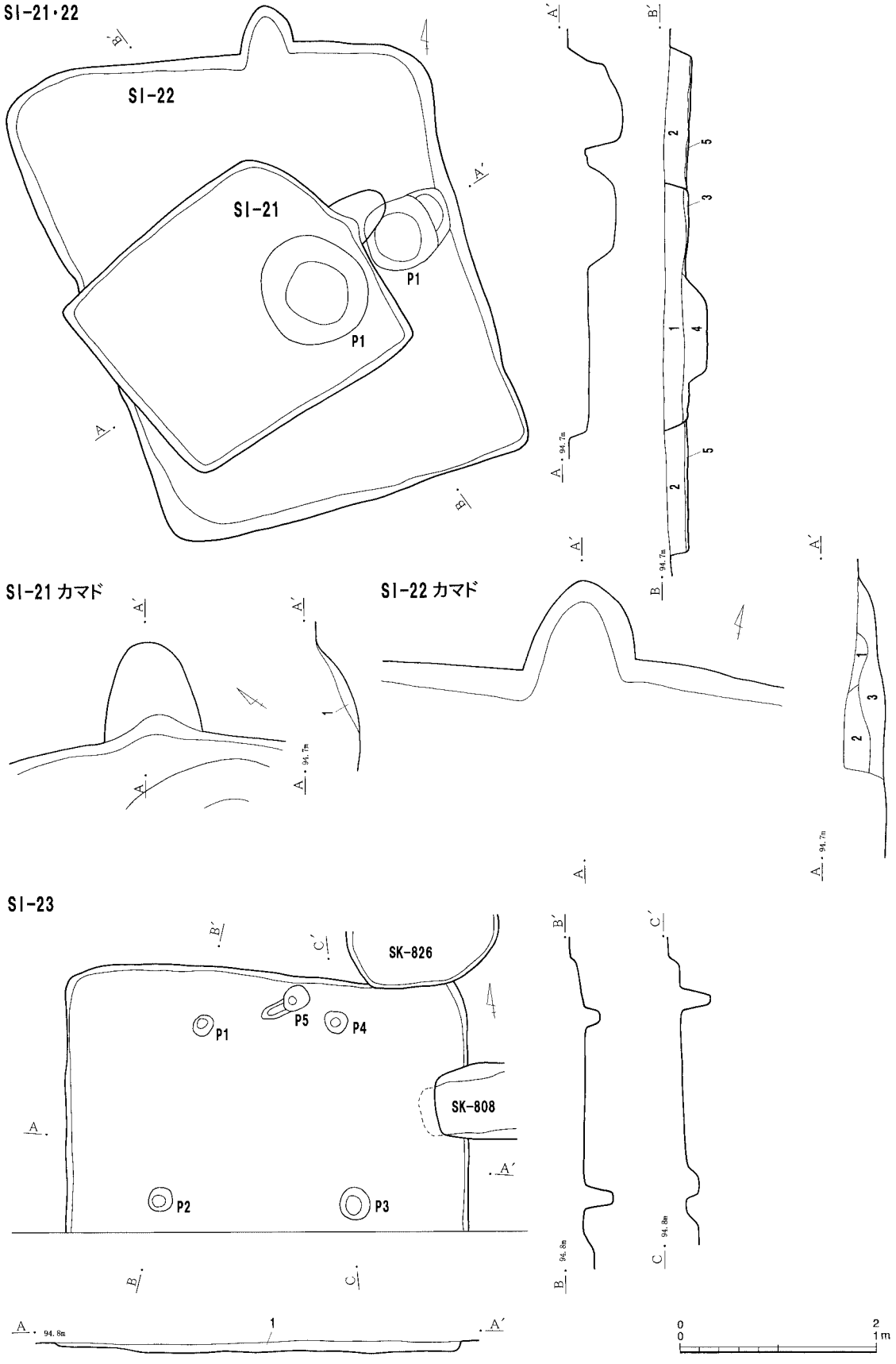




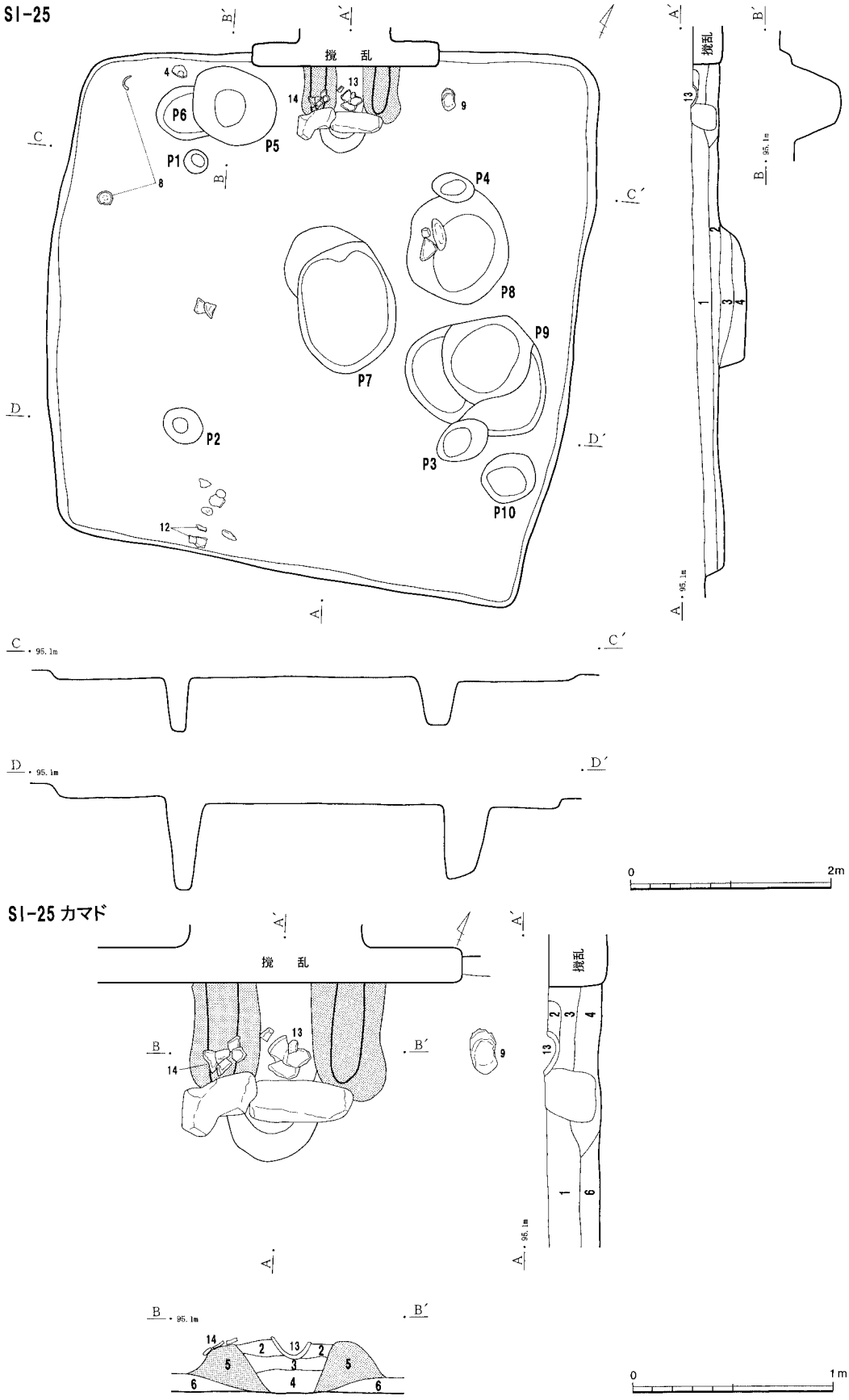
第256図　SI－16・18・19


SI-14
P1
P2
P3
P4
P5
P6
P7
P8
P9
A
A´
B
B´
C
C´
D
D´
94.9m
94.8m
1
2
3
4
5
6
7
掘方
カマド
0
2m

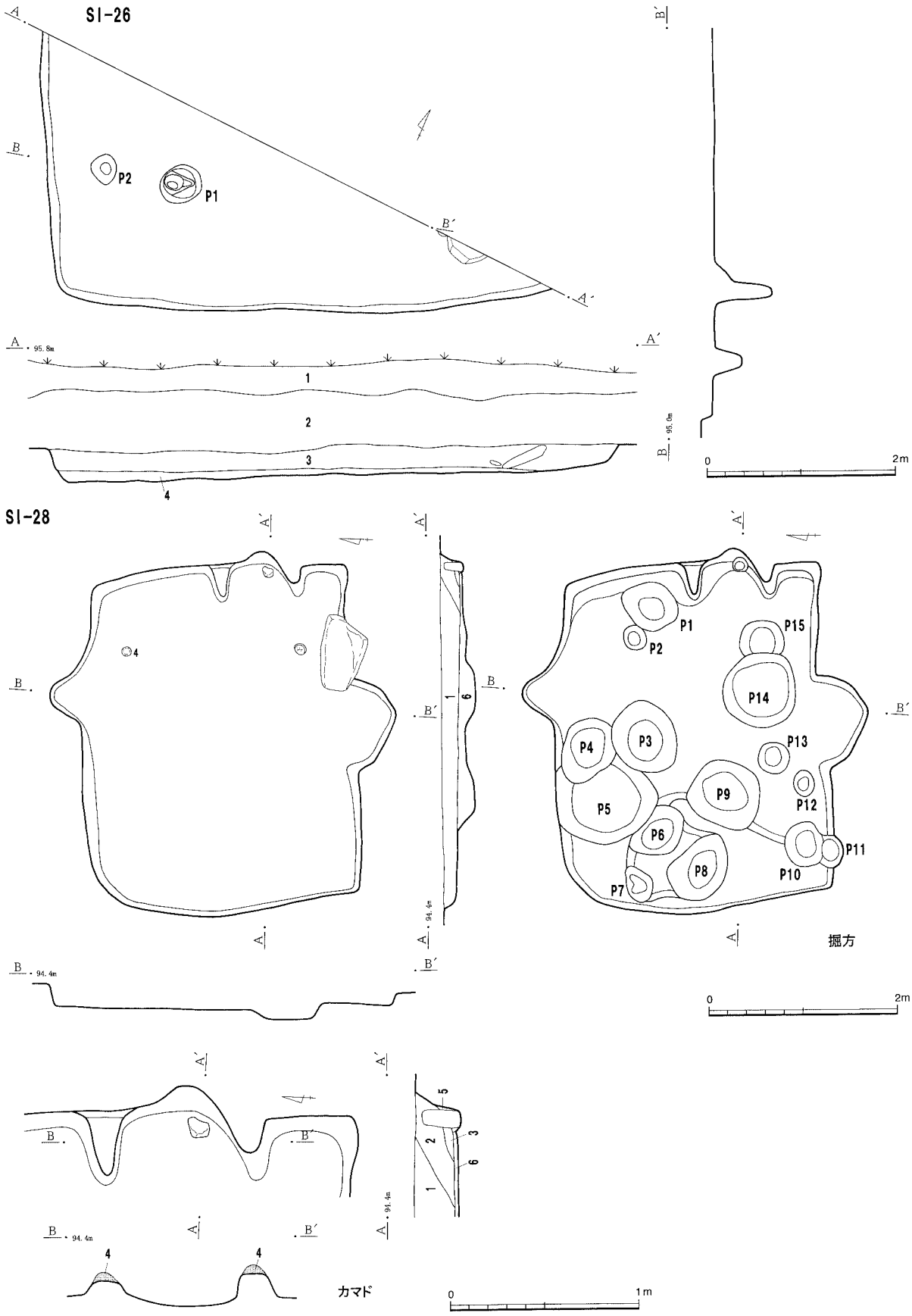
第257図　SI－14



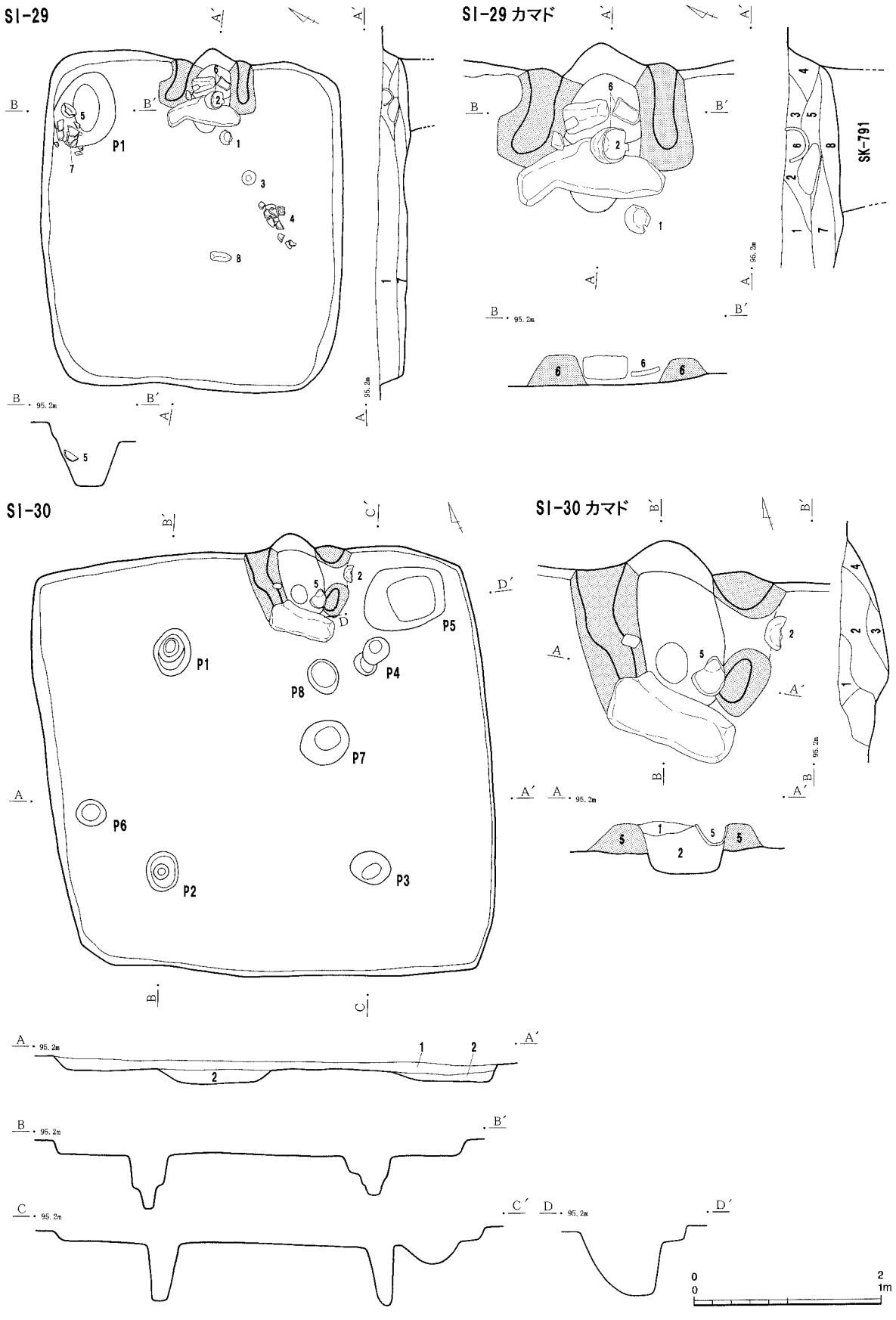
第258図　SI－21～23



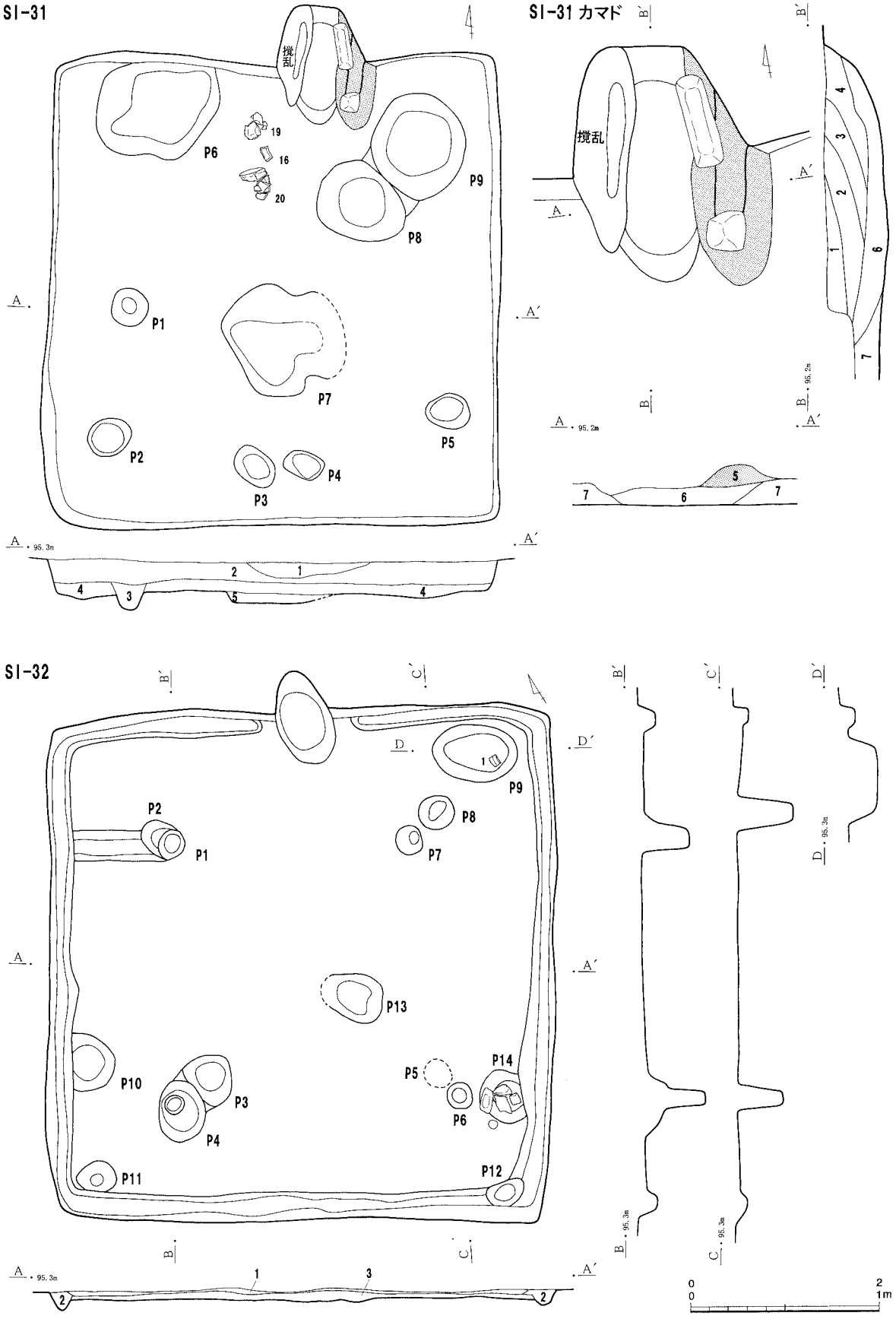
第259図　SI－25



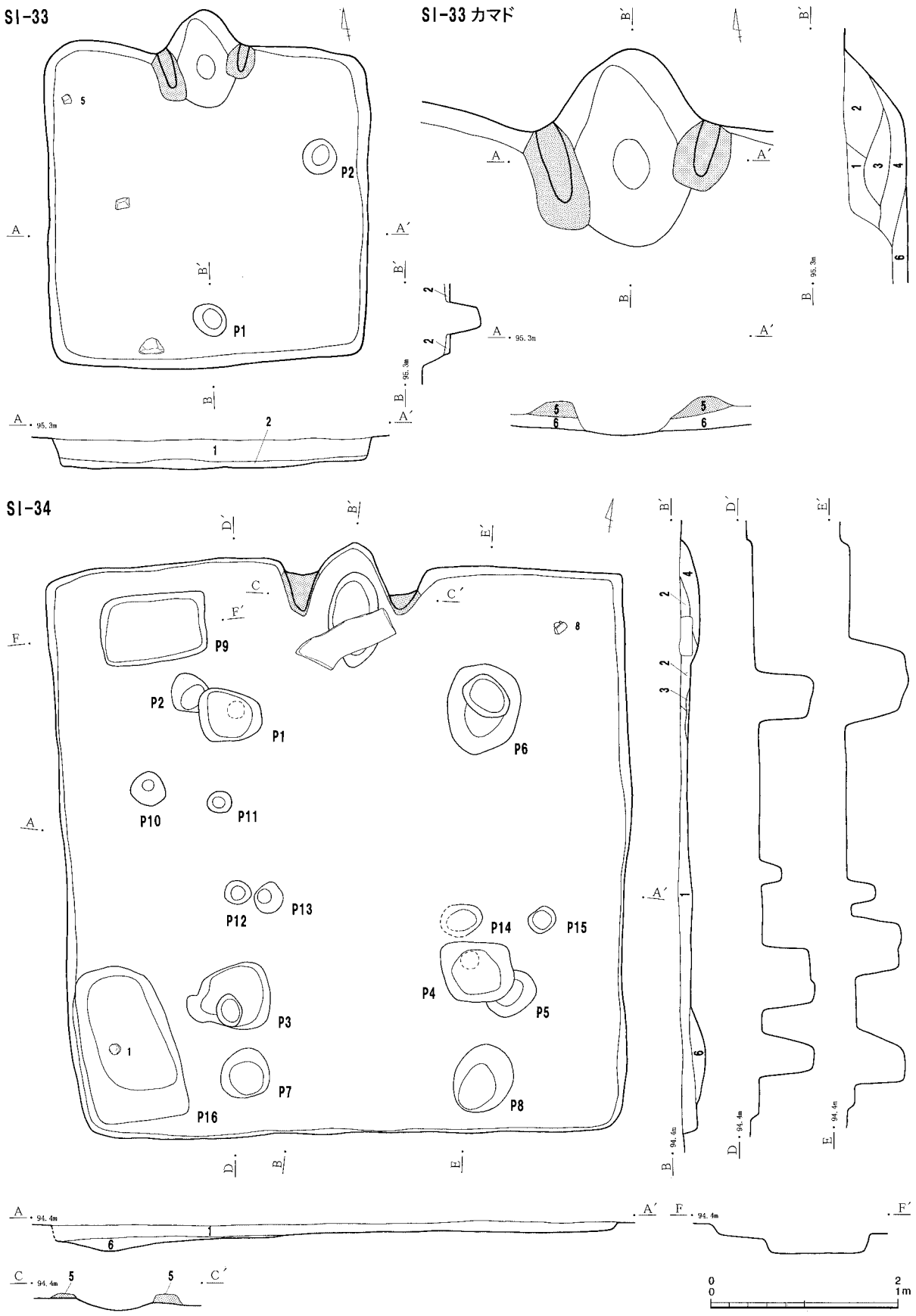
第260図　SI－26・28



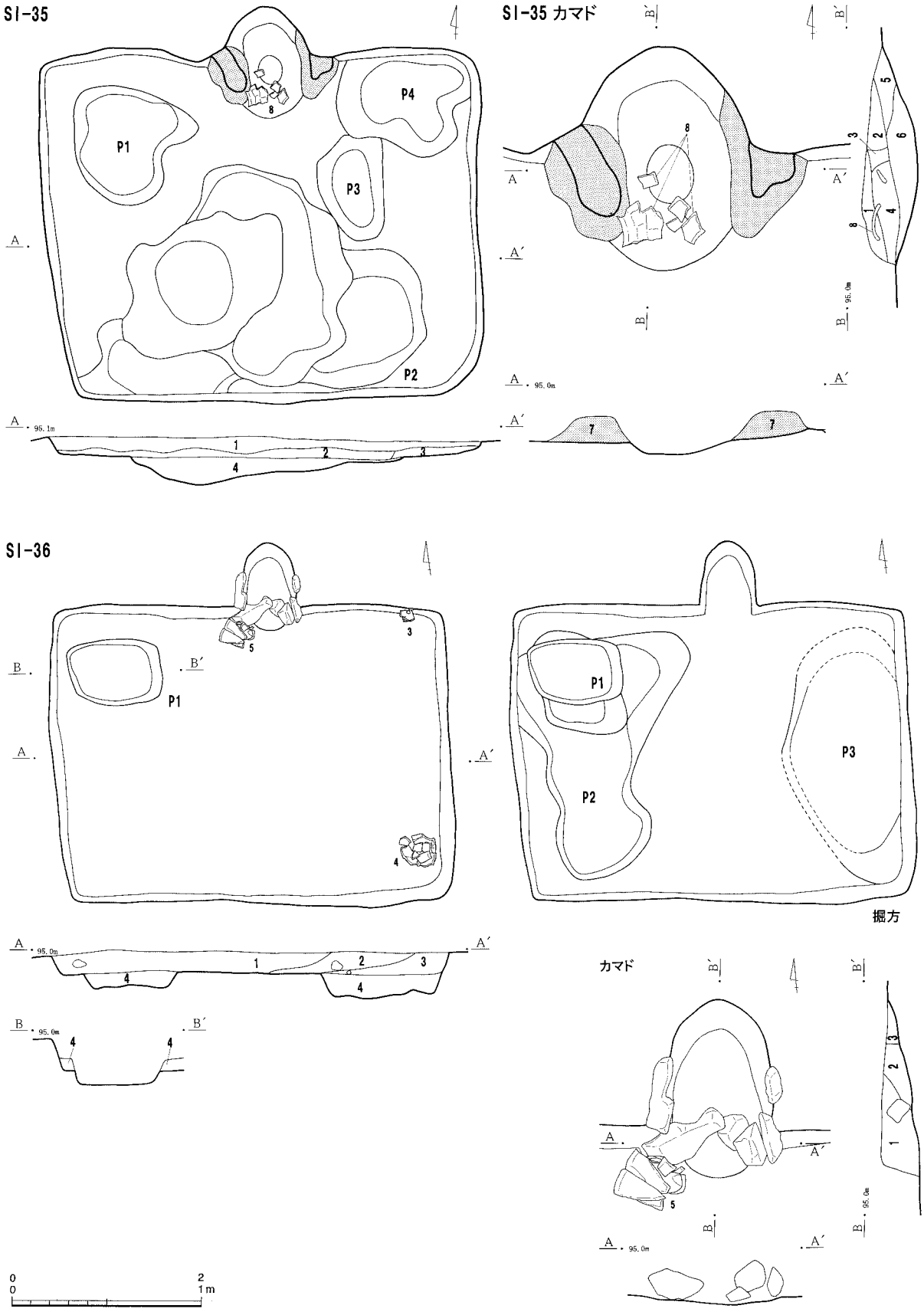
第261図　SI－29・30



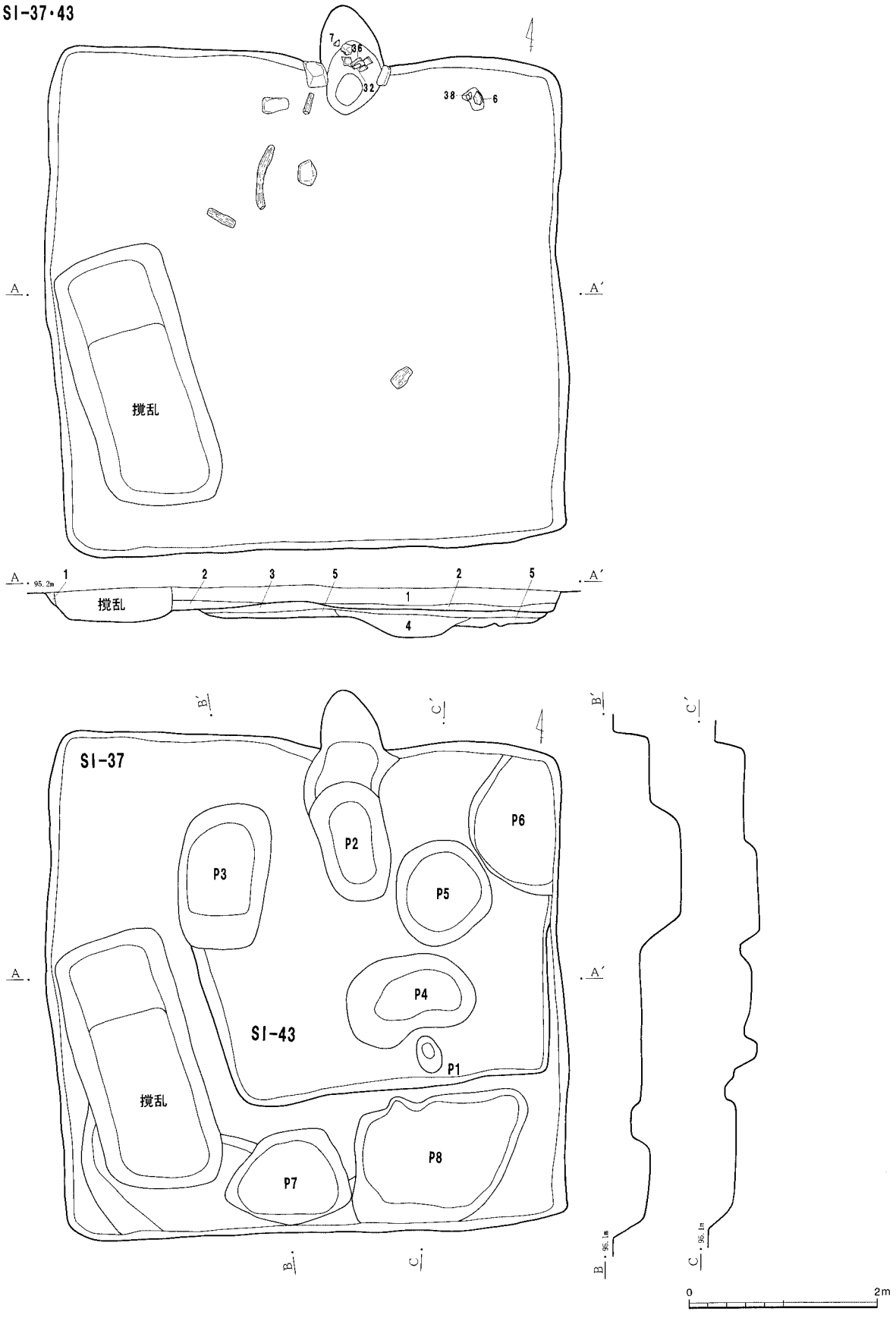
第262図　SI－31・32



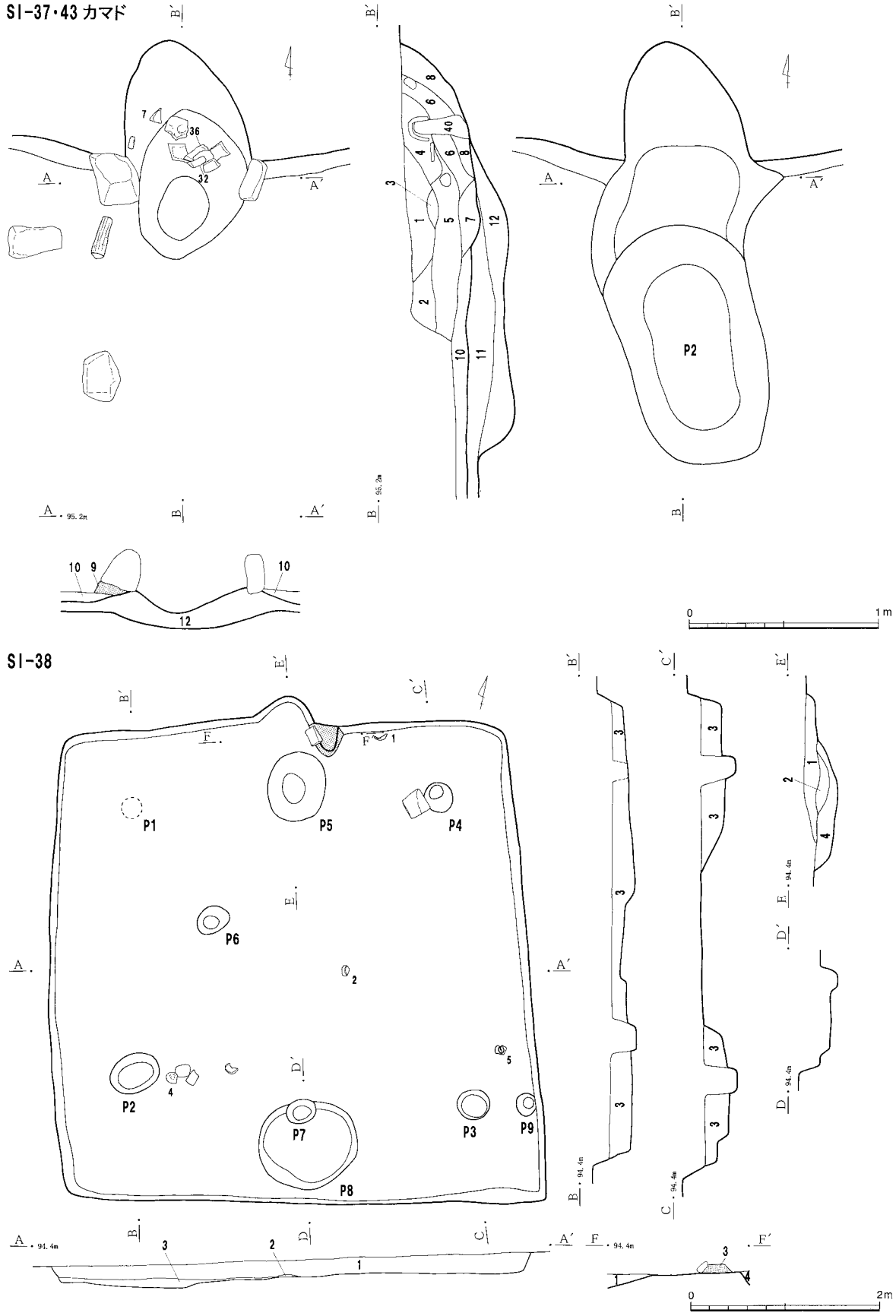
第263図　SI－33・34



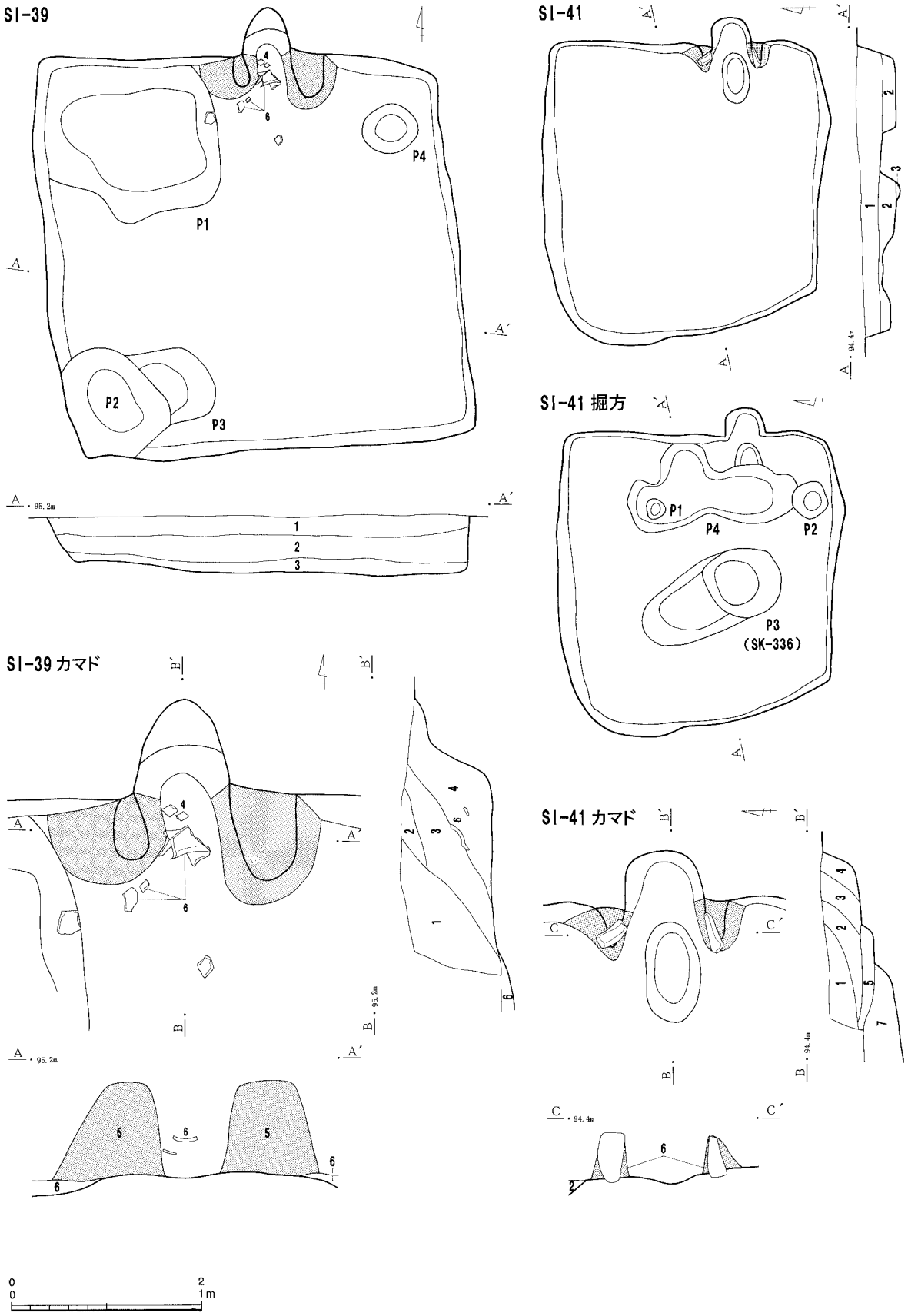
第264図　SI－35・36



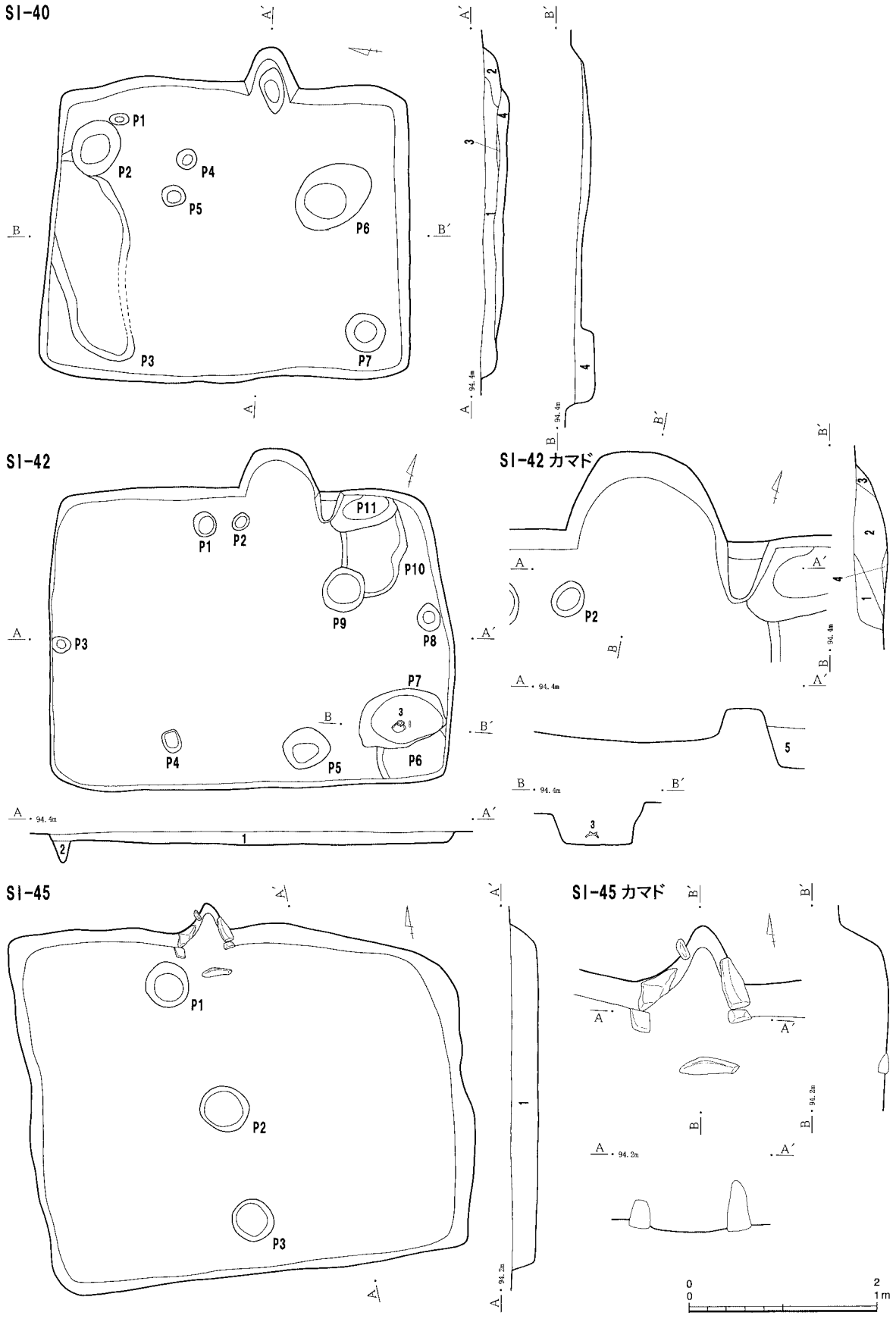
第265図　SI－37・43



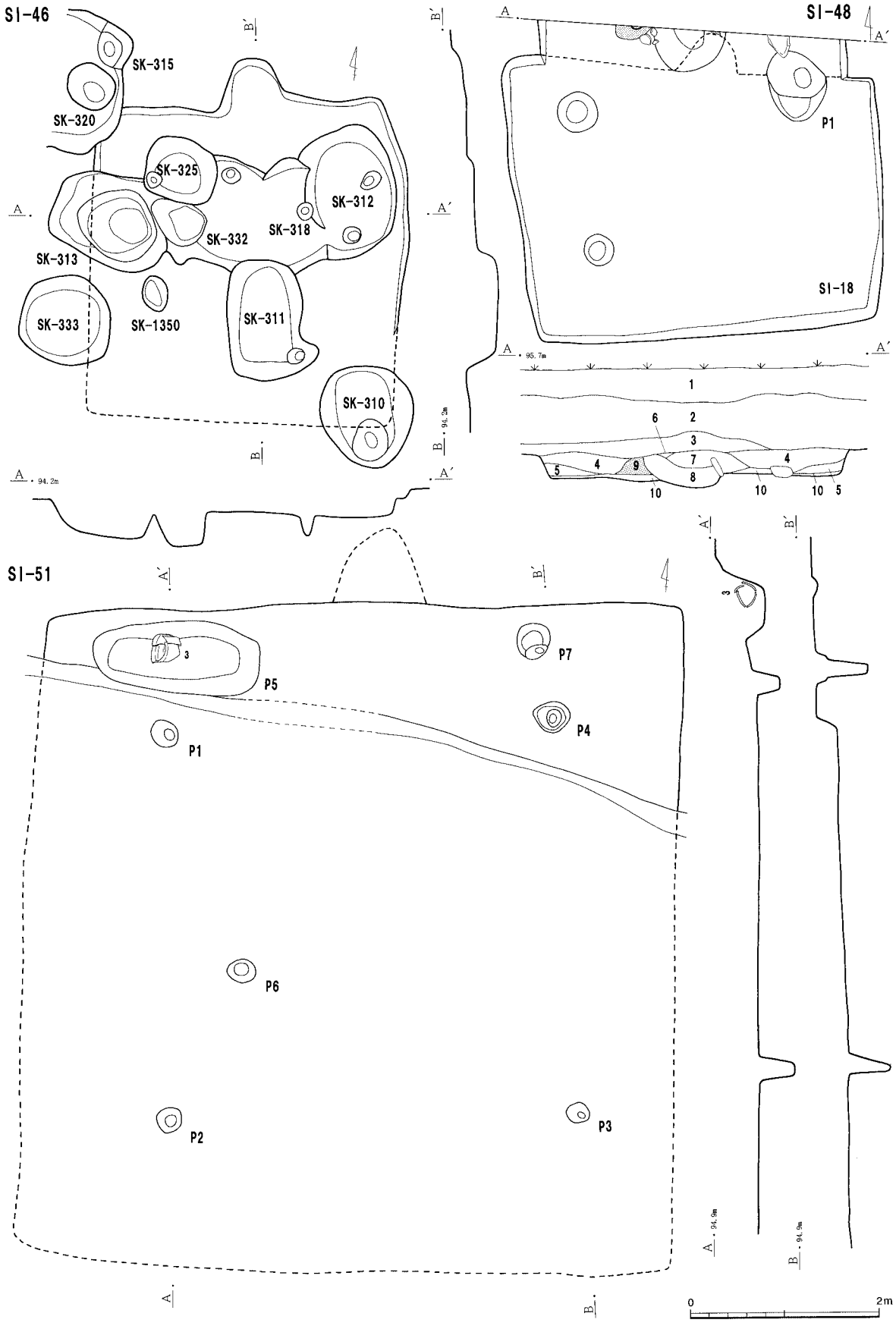
第266図　SI－37・38・43



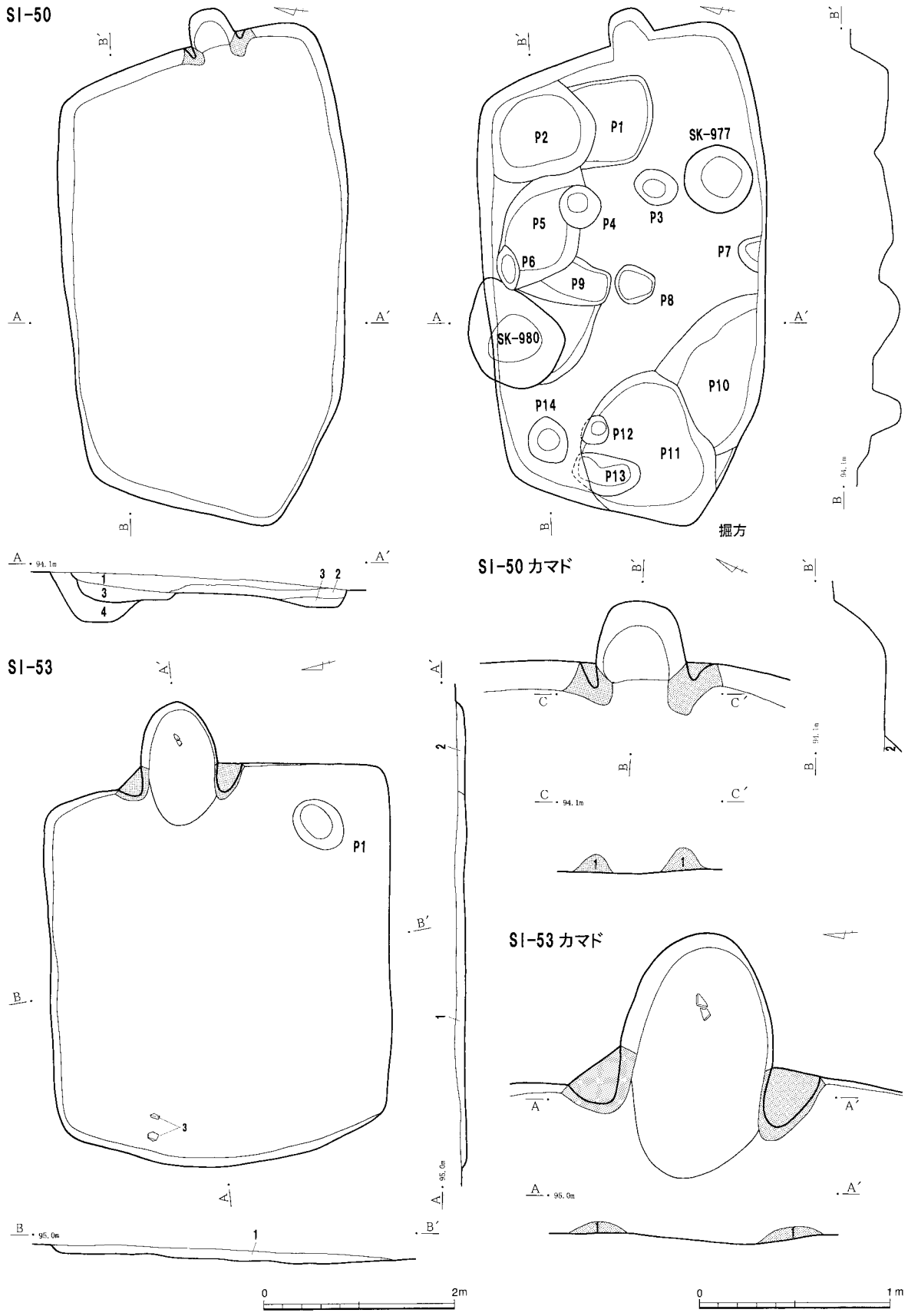
第267図　SI－39・41



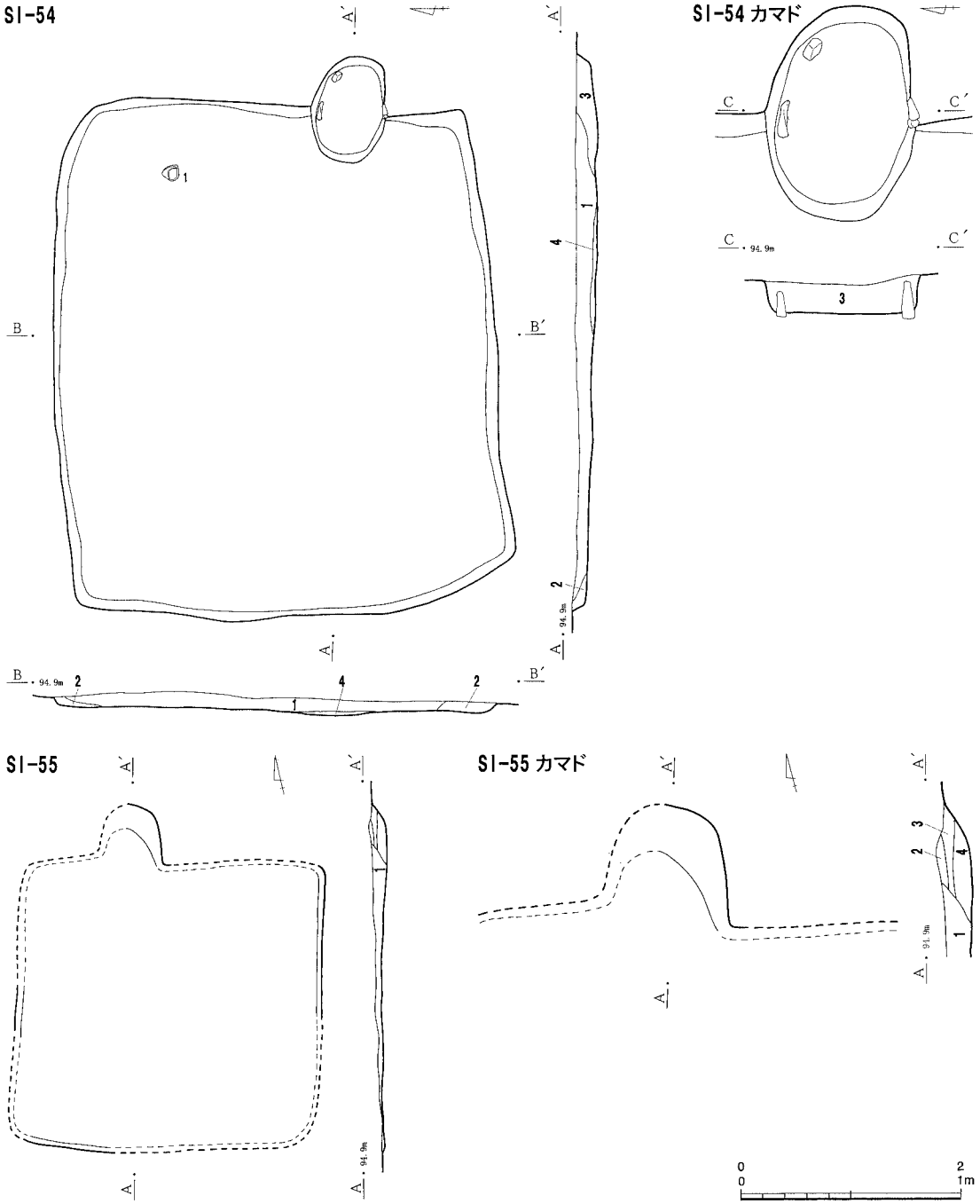
第268図　SI－40・42・45



第269図　SI－46・48・51



第270図　SI－50・53



第271図　SI－54・55

第13表　古墳時代から平安時代竪穴住居跡土層観察表

ＳＩ－１
１．黒褐色土（Ｌ粒・焼土粒やや多く混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（Ｌ粒少量、焼土粒微量混入。しまりよし。）
３．暗黄褐色土（Ｌ粒・焼土粒少量混入。しまりよし。）
４．暗黄褐色土（Ｌ粒・焼土粒多量、白色粘土B少量混入。しまりよし。）
５．暗黄褐色土（Ｌ小B・焼土粒少量混入。しまりよし。）
６．暗黄褐色土（Ｌ主体。しまりよし。カマド袖残部。）
７．暗黄褐色土（Ｌ粒多量、・焼土粒微量混入。しまりよし。床下埋め戻し土。）
８．暗黄褐色土（Ｌ小B・焼土粒やや多く混入。しまりよし。床下埋め戻し土。）
ＳＩ－３
１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｃ粒・焼土粒やや多く混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（焼土粒多量混入。しまりよし。）
３．濁黄褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし、床下埋め戻し土。）
ＳＩ－４
１．暗茶褐色土（Ｌ小B少量混入。しまりよし。）
ＳＩ－５ａｂ
１．黒褐色土（Ｌ粒・小礫少量、Ｃ粒・ＣＢ多量混入。しまりよし。SI－５ａ覆土。）
２．黒褐色土（Ｌ粒・Ｃ粒・小礫やや多く混入。しまりよし。SI－５ｂ覆土。）
ＳＩ－５ａｂカマド
１．乳白色粘土（ＳＩ－５ａカマド崩落土。）
２．暗茶褐色土（Ｃ粒・焼土粒・Ｌ粒少量混入。しまりよし。ＳＩ－５ａ。）
３．暗茶褐色土（Ｃ粒・焼土粒・Ｌ粒少量、乳白色粘土Ｂ多量混入。しまりよし。ＳＩ－５ａ。）
４．乳白色粘土（ＳＩ－５ａカマド袖部。）
５．茶褐色土（焼土少量混入。砂質。ＳＩ－５ｂ覆土。）
ＳＩ－６
１．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（焼土粒多量混入。しまりよし。）
３．乳白色粘土（カマド袖部。）
４．濁黄褐色土（焼土粒少量、ＬＢ多量混入。支脚裏込め土。）
ＳＩ－７・９
１．暗茶褐色土（Ｌ粒・白色粒少量混入。しまりよし。SI－７覆土。）
２．暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。SI－７柱穴覆土。）
３．濁黒褐色土（ＬＢ・Ｌ粒子多量混入。しまりよし。SI－７貼床。）
４．濁黄褐色土（ＬＢ主体、黒褐色土Ｂ・小礫微量混入。しまりよし。SI－７床下埋め戻し土。）
ＳＩ－８
１．暗茶褐色土（白色粒少量、ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）
ＳＩ－８カマド
１．暗茶褐色土（焼土粒多量、焼土Ｂ微量混入。しまりよし。）
２．濁赤褐色土（焼土。火床。）
３．乳白色粘土（カマド袖部。）
ＳＩ－９
覆土．暗茶褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＩ－１０
１．黒褐色土（Ｌ小B少量混入。しまりよし。）
ＳＩ－１１
１．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
３．濁黄褐色土（ＬＢ主体。）
ＳＩ－１２
１．暗茶褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＩ－１３
１．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
ＳＩ－１４
１．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒微量混入。）
２．茶褐色土（Ｌ粒少量、ＬＢ微量混入。しまりよし。）
３．暗茶褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
４．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。周溝埋土。）
５．濁黄褐色土（ＬＢ主体。貼床。）
６．黒褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。床下埋め戻し土。）
ＳＩ－１４カマド
１．茶褐色土（黄色土Ｂ多量、焼土粒・焼土Ｂ微量混入。しまりよし。）
２．濁赤褐色土（焼土Ｂ主体。）
３．暗赤褐色土（焼土粒多量、Ｌ粒少量混入。しまりなし。）
４．黒褐色土（ＩＰ微量、Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
５．乳白色粘土（しまりよし。カマド袖部。）
６．茶褐色土（焼土粒少量、Ｌ粒微量混入。しまりよし。カマド下埋め戻し土。）
７．黒褐色土（Ｌ粒・ＬＢ多量混入。しまりよし。床下埋め戻し土。）
ＳＩ－１５
１．黒褐色土（Ｌ粒・ＬＢ微量混入。しまりよし。）
２．濁黄褐色土（ＬＢやや多く混入。しまりよし。貼床。）
ＳＩ－１６・１９
１．暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。SI－16覆土。）
２．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ多量混入。しまりよし。SI－16覆土。）
３．黒褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。SI－16覆土。）
４．黒褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし、硬い。SI－16貼床。）
５．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。ＳＩ－19覆土。）
６．黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂやや多く混入。しまりよし。ＳＩ－19床下埋め戻し土。）
ＳＩ－１６カマド
１．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．濁赤褐色土（焼土主体。）
３．灰褐色土（焼土粒微量混入。しまりよし。）
４．濁赤褐色土（焼土主体。）
５．茶褐色土（焼土多量混入。しまりよし。）
６．乳白色粘土（カマド袖部。）
７．黒褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし、硬い。ＳＩ－16貼床。）
８．茶褐色土（焼土粒多量、粘土粒少量混入。しまりよし。カマド掘方埋め戻し土。）
ＳＩ－１８
１．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。）
２．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし、硬い。貼床。）
３．黒色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。窪地堆積土。）
４．黒灰色土（ＬＢ・Ｌ粒多量混入。しまりよし、粘性あり。Ｌ漸移層。）
５．黄褐色土（Ｌ。一部粘土化する。）
ＳＩ－１８カマド
１．黒褐色土（Ｌ粒微量混入。）
２．暗茶褐色土（焼土粒少量、白色粘土微量混入。しまりよし。）
ＳＩ－２１・２２
１．黒色土（Ｌ粒微量混入。しまりなし。ＳＩ－21覆土。）
２．黒色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。ＳＩ－22覆土。）
３．黒色土（砂粒・白色粘質土Ｂ多量混入。しまりよし。ＳＩ－21貼床。）
４．黒色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。床下土坑Ｐ１埋め戻し土。）
５．黒褐色土（砂粒・白色粘質土Ｂ少量混入。しまりよし。ＳＩ－22貼床。）
ＳＩ－２１カマド
１．黒褐色土（Ｌ粒少量、焼土粒やや多く混入。）
ＳＩ－２２カマド
１．濁赤褐色土（焼土Ｂ主体。しまりややあまい。）
２．黒色土（Ｌ粒微量混入。しまりややあまい。）
３．黒褐色土（Ｌ粒少量、焼土粒やや多く混入。しまりややあまい。）

ＳＩ－２３
１．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりややあまい。）
ＳＩ－２５
１．黒色土（ＳＰ少量混入。しまりよし。）
２．濁黄褐色土（Ｌ小Ｂ主体、淡青灰色粘土Ｂ多量混入。しまりよし。貼床。）
３．灰褐色土（淡青灰色粘土小Ｂ多量混入。しまりよし。Ｐ７床下土坑埋土。）
４．黒色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。Ｐ７床下土坑埋土。）
ＳＩ－２５カマド
１．黒色土（ＳＰ少量混入。しまりよし。）
２．橙灰色土（白色粘土Ｂが被熱・赤変・硬化。カマド天井部の崩れ。）
３．黒褐色土（白色粘土Ｂ・２層Ｂ多量混入。しまりなし。）
４．黒色土（焼土粒やや多く混入。しまりなし。）
５．乳白色粘土（カマド袖部）
６．濁黄褐色土（Ｌ小Ｂ主体、淡青灰色粘土Ｂ混入。しまりよし。貼床。）
ＳＩ－２６
１．暗黒灰色土（Ｌ粒・ＩＰ微量混入。しまりよし。現耕作土。）
２．黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（Ｌ粒・ＬＢ少量混入。しまりよし。）
４．暗茶褐色土（Ｌ粒・ＬＢ多量混入。しまりよし、硬い。貼床。）
ＳＩ－２８
１．黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりややあまい。）
２．黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ・焼土粒・粘土小Ｂ少量混入。しまりよし。）
３．赤褐色土（被熱・赤化した粘土。天井崩落土。）
４．乳白色粘土（カマド袖部。）
５．濁黄褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし、支脚裏込め土。）
６．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。床下埋め戻し土。）
ＳＩ－２９
１．黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりややあまい。）
２．黒褐色土（焼土粒少量混入。しまりややあまい。）
３．暗茶褐色土（焼土粒・白色粘土Ｂ少量混入。しまりなし。）
４．暗茶褐色土（焼土粒・Ｂ少量混入。しまりよし。）
５．黒褐色土（焼土粒多量、白色粘土粒・白色粘土小Ｂ少量混入。しまりなし。）
６．乳白色粘土（カマド袖部。）
７．濁黄褐色土（ＬＢ主体、淡青灰色粘土小Ｂやや多く混入。しまりよし、硬い。貼床。）
８．黒色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。貼床。）
ＳＩ－３０
１．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ多量混入。しまりなし。）
２．黒色土（ＩＰＢ多量、ＳＰ少量混入。しまりよし、硬い。貼床。）
ＳＩ－３０カマド
１．暗茶褐色土（白色粘土粒微量混入。しまりなし。）
２．暗灰褐色土（灰褐色粘土Ｂと焼土Ｂの混合。しまりなし。）
３．黒褐色土（ＬＢ・灰褐色粘土Ｂ少量混入。しまりなし。）
４．暗灰褐色土（焼土Ｂ・粘土Ｂ微量混入。）
５．灰褐色粘土（カマド袖部。）
ＳＩ－３１
１．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ多量混入。しまりややあまい。）
２．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ多量混入。しまりよし。）
４．濁黄褐色土（Ｌ粒・ＬＢ主体。しまりよし。貼床。）
５．灰褐色土（ＬＢ多量、淡青灰色粘土小Ｂ少量混入。しまりよし、硬い。床下埋め戻し土。）
ＳＩ－３１カマド
１．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＩＰ少量、ＬＢ微量混入。しまりなし。）
３．暗茶褐色土（ＳＰ多量、焼土微量混入。しまりなし。）
４．濁赤褐色土（焼土粒・小Ｂ多量混入。しまりなし。）
５．乳白色粘土（カマド袖部。）
６．暗茶褐色土（焼土粒・青灰色粘土粒少量混入。しまりよし。カマド火床下埋め戻し土。）
７．灰褐色土（ＬＢ多量、淡青灰色粘土小Ｂ少量混入。しまりよし、硬い。床下埋め戻し土。）
ＳＩ－３２
１．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＩＰ多量混入。しまりややあまい。周溝埋土。）
３．濁黄褐色土、（ＬＢ・Ｌ粒主体。しまりよし、硬い。貼床。）
ＳＩ－３３
１．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
２．濁黄褐色土（Ｌ粒子・ＬＢ主体、茶褐色土Ｂ少量混入。しまりよし、硬い。貼床。）
ＳＩ－３３カマド
１．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
２．濁黄褐色土（Ｌ粒・ＬＢ多量、焼土粒・焼土Ｂ少量混入。しまりよし。）
３．濁黄褐色土（Ｌ粒・ＬＢ主体、焼土粒・焼土Ｂ少量混入。しまりよし。）
４．暗茶褐色土（焼土粒・焼土Ｂ・暗赤褐色粘土Ｂ多量混入。しまりややあまい。）
５．乳白色粘土（カマド袖部。）
６．濁黄褐色土（Ｌ粒子・ＬＢ主体、茶褐色土Ｂ少量混入。しまりよし、硬い。貼床。）
ＳＩ－３４
１．暗茶褐色土（Ｃ粒・焼土粒・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（茶色砂質土・焼土粒やや多く混入。しまりよし。）
３．暗茶褐色砂質土（しまりなし。）
４．暗茶褐色土（焼土・小礫多く混入。しまりよし。）
５．黄色粘土（黄色粘土主体、小礫・乳白色粘土Ｂ少量混入。カマド袖部。）
６．黒褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。床下埋め戻し土。）
ＳＩ－３５
１．黒色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）
２．黒色土（ＩＰ・ＳＰ・ＬＢ少量混入。しまりよし。）
３．濁黄褐色土（ＬＢ主体。）
４．黒褐色土（Ｌ粒・ＬＢやや多く混入。しまりよし。床下埋め戻し土。）
ＳＩ－３５カマド
１．黒色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）
２．黄灰色土（砂質粘土主体、焼土粒少量混入。しまりよし。）
３．暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりややあまい。）
４．暗灰褐色土（焼土粒微量混入。しまりややあまい。）
５．濁赤褐色土（焼土Ｂ主体。しまりややあまい。）
６．灰褐色土（灰色粘土Ｂ多量、焼土粒少量混入。しまりややあまい。）
７．黄灰色粘質土（カマド袖部。）
ＳＩ－３６
１．暗茶褐色土（ＩＰ・ＬＢ少量混入。しまりややあまい。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰやや多く混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ・ＳＰ多量混入。しまりよし。）
４．黒色土（Ｌ粒・ＬＢ多量混入。しまりよし。床下埋め戻し土。）
ＳＩ－３６カマド
１．黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ・ＳＰ多量混入。しまりよし。）
２．濁赤褐色土（焼土主体、Ｌ粒少量混入。しまりなし。）
３．茶褐色土（焼土粒少量混入。しまりよし。）
ＳＩ－３７・４３
１．暗茶褐色土（Ｃ粒・ＣＢ（炭化材）多量、ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。ＳＩ－37覆土。）
２．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ小Ｂ多量混入。しまりよし、硬い。ＳＩ－37の貼床）
３．黒色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。ＳＩ－43覆土。）
４．黒色土（Ｌ小Ｂ・ＩＰ多量混入。しまりよし、硬い。ＳＩ－43床下土坑埋土。）
５．濁黄褐色土（ＬＢ主体、黒褐色土少量混入。しまりよし、硬い。ＳＩ－43床下埋め戻し土。）

ＳＩ－３７カマド
１．暗茶褐色土（ＬＢ・焼土Ｂ多量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（Ｃ粒・ＣＢ（炭化材片）多量、ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。ＳＩ－37覆土。）
３．黄白色粘土（カマド天井崩落土。）
４．茶褐色土（焼土粒・焼土B・黄白色粘土B多量混入。しまりよし。）
５．黒褐色土（Ｃ粒・ＣＢ・焼土粒少量混入。しまりよし。）
６．茶褐色土（焼土Ｂ多量、Ｃ粒少量混入。しまりよし。）
７．茶褐色土（焼土粒微量混入。しまりよし。）
８．濁赤褐色土（焼土主体。しまりよし。）
９．黄白色粘土（カマド袖残存部。）
10．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ小Ｂ多量混入。しまりよし、硬い。ＳＩ－37貼床）
11．黒色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。ＳＩ－43覆土。）
12．黒色土（Ｌ小Ｂ・ＩＰ多量混入。しまりよし、硬い。Ｐ２埋土。）
ＳＩ－３８　Ａ－Ａ’～Ｄ－Ｄ’
１．暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ・焼土粒少量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ・焼土粒少量、焼土Ｂやや多く混入。しまりよし。）
３．濁黄褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。床下埋め戻し。）
ＳＩ－３８カマド　Ｅ－Ｅ’、Ｆ－Ｆ’
１．暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ・Ｌ粒・焼土粒少量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ・Ｌ粒少量、Ｌ小Ｂ・焼土粒やや多く混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（黄褐色粘質土Ｂ多量混入。しまりよし。カマド袖部。）
４．濁黄褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。床下埋め戻し土。）
ＳＩ－３９
１．黒色土（ＳＰ微量混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（焼土微量混入。しまりややあまい。）
３．濁黒褐色土（ＬＢ・Ｌ粒多量混入。しまりよし、硬い。床土埋め戻し土。）
ＳＩ－３９カマド
１．暗茶褐色土（焼土微量混入。しまりややあまい。）
２．茶褐色土（焼土粒少量、Ｌ粒微量混入。しまりややあまい。）
３．暗茶褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりよし。）
４．濁赤褐色土（焼土粒・Ｌ粒主体。しまりあまい。）
５．濁乳白色土（乳白色粘土Ｂ主体。しまりよし。カマド袖部。）
６．濁黒褐色土（ＬＢ・Ｌ粒多量混入。しまりよし、硬い。床土埋め戻し土。）
ＳＩ－４０
１．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ粒少量、焼土粒・Ｂ多量混入。しまりよし。）
３．赤褐色土（焼土とＬＢの混合土。しまりよし、硬い。貼床。）
４．濁黄褐色土（ＬＢと黒褐色土の混合土。しまりよし。（床下埋め戻し土。）
ＳＩ－４１
１．黒褐色土（Ｃ粒・ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。床下埋め戻し土。）
３．濁赤褐色土（ＬＢ・白色粘土Ｂ主体。しまりよし。床下埋め戻し土。）
ＳＩ－４１カマド
１．黒褐色土（Ｃ粒・黄色粘質土小Ｂ少量混入。しまりよし。）
２．濁黄褐色土（黄色粘質土小Ｂ多量混入。しまりややあまい。）
３．濁赤褐色土（焼土小Ｂ多量混入。しまりややあまい。）
４．黄色粘質土
５．黒褐色土（黄色粘質土小Ｂやや多く混入。）
６．黒褐色土（黄褐色粘質土Ｂやや多く混入。カマド袖部。）
７．黒褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。床下埋め戻し土。）
ＳＩ－４２
１．暗黄褐色土（Ｌ粒・Ｃ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＬＢやや多く混入。しまりよし。）
ＳＩ－４２カマド
１．暗黄褐色土（Ｌ粒・Ｃ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ粒・焼土粒多量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（焼土粒多量混入。）
４．赤褐色土（焼土。カマド火床。）
５．黒褐色土（Ｌ小Ｂ・焼土小Ｂやや多く混入。しまりよし。床下埋め戻し土。）
ＳＩ－４５
１．暗茶褐色土（小礫・Ｌ粒やや多く混入。白色粘土粒少量混入。しまりよし。）
ＳＩ－４６
覆土．黒褐色土（Ｃ粒・ＣＢ・焼土粒少量混入。）※
カマド周辺覆土．黒褐色土（ＣＢ・焼土粒多量混入。しまりあまい。）※
ＳＩ－４８
１．黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりよし。現耕作土。）
２．黒褐色土（ＩＰ微量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（Ｌ粒・焼土粒少量混入。しまりよし。）
４．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）
５．黒色土（Ｌ粒・ＩＰ微量混入。しまりよし。）
６．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
７．暗茶褐色土（Ｌ粒・ＬＢ・ＩＰ多量混入。しまりよし。）
８．茶褐色土（焼土粒・焼土Ｂ多量混入。しまりよし。）
９．暗茶褐色土（ＬＢ・ＩＰやや多く混入。しまりよし、粘性あり。カマド袖部。）
10．濁黄褐色土（黒褐色土ＢとＬＢの混合土。しまりよし、硬い。貼床。）
11．黒色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。窪地堆積土。）
ＳＩ－５０
１．黒褐色土（ＩＰ・ＳＰ微量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（ＩＰやや多く混入。しまりよし。）
３．暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。床下埋め戻し土。）
４．ＳＫ－980覆土。
ＳＩ－５０カマド
１．暗黄褐色土（暗黄褐色粘質土Ｂ多量混入。しまりよし。カマド袖部。）
２．暗茶褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。床下埋め戻し土。）
ＳＩ－５１
覆土．不明。
Ｐ５覆土．黒褐色土（ＩＰ少量混入。しまりややあまい。）※
ＳＩ－５３
１．黒褐色土（Ｌ粒・Ｃ粒少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（焼土粒・焼土Ｂ多量混入。しまりよし。カマド覆土。）
ＳＩ－５３カマド
１．暗黄褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。カマド袖部。）
ＳＩ－５４
１．黒褐色土（Ｌ粒少量、Ｃ小Ｂやや多く混入。しまりよし。）
２．暗茶褐色土（Ｌ粒多量、ＩＰ少量混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（焼土小Ｂ少量混入。しまりよし。）
４．赤褐色土（焼土主体。しまりよし。貼床。）
ＳＩ－５５
１．黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりあり。）
２．赤褐色土（焼土主体。）
３．茶褐色土（Ｌ粒多量、焼土粒やや多く混入。しまりあり。）
４．暗茶褐色土（Ｌ粒多量、焼土粒やや多く混入。しまりなし。）

凡例　ＳＰ：七本桜パミス、ＩＰ：今市パミス、Ｌ：ローム、
Ｃ：炭化物、Ｂ：ブロック
※：主たる土層を記した。調査の都合上、土層断面として完全に確認することができなかった。

第14表　古墳時代から平安時代竪穴住居跡一覧表

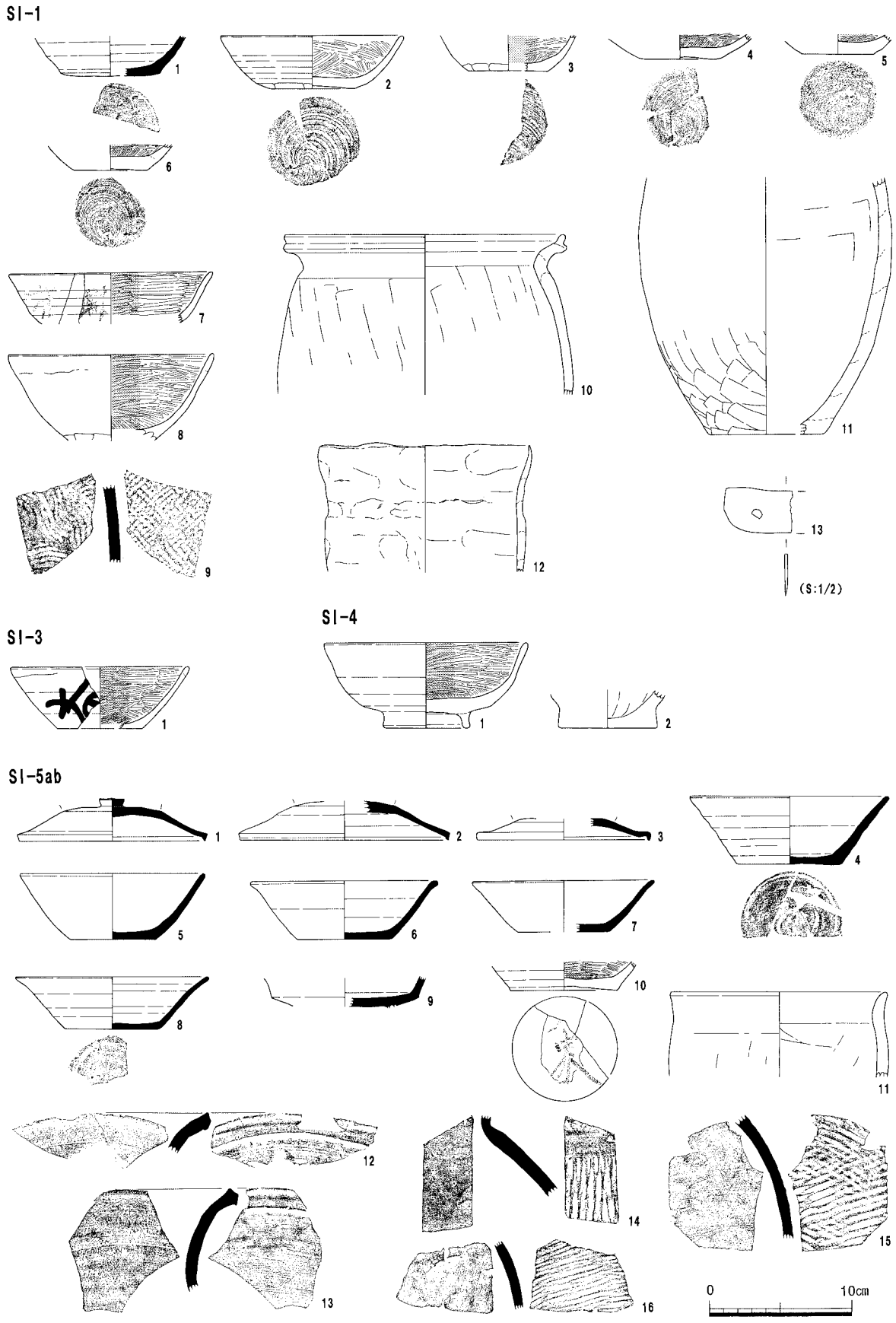
単位：㎝、（推定値）、［残存値］

遺構№	グリッド	重複関係	規模（東西×南北×深さ）	方位	付属施設	出土遺物	備考	挿図№	図版№
SI-1	C-21	SK-41より新。	327×302×21	N-8 °-W	北カマド西［40］×［102］ 北カマド東［28］×［69］ 床下土坑:P1 P1（317）×230×24	須恵器坏1、土師器坏7、須恵器甕1、土師器甕2、製塩土器1、鉄製品手鎌１		251	126
SI-3	E-21	SK-120より新。	234×270×8	N-12 °-E	北カマド54×79 床下土坑:P1～3 P1 76×66×21 P2 130×112×26 P3 175×71×14	土師器坏1		251	126
SI-4	E-21	SK-84より新。	［183］×294×15	N-25 °-W	カマド未確認	土師器高台付坏1、土師器甕１	東部消失	251	126
SI-5a	E-16	SI-5bより新。	380×（338）×（22）	N-21 °-W	北カマド［70］×90	須恵器蓋1、須恵器坏1、土師器甕3、土師器台付甕1（須恵器甕2、須恵器坏4、須恵器高台付坏1、土師器坏1、土師器鉢1、須恵器甕6、土師器甕4についてはSI-5abに峻別できなかった。）		252	127
SI-5b	E-16	SI-5aより古。SK-265より新。	672×650×31	N-20 °-W	北カマド［44］×［38］ 柱穴:P1～4、入口ピット:P5 P1 85×77×43 P2 105×92×42 P3 100×77×42 P4 82×67×42 P5 66×49×6	土師器台付甕1（須恵器甕2、須恵器坏4、須恵器高台付坏1、土師器坏1、土師器鉢1、須恵器甕6、土師器甕4についてはSI-5abに峻別できなかった。）		252	127
SI-6	F-11	SK-458より新。SK-1513、SD-3は不明。	355×327×22	N-3 °-W	北カマド93×122	須恵器坏1、須恵器高台付坏1、土師器鉢？1、土師器蓋？1、土師器甕2、紡錘車1		253	127
SI-7	F-11	SI-9、SK-439・796より新。	568×500×16	N-19 °-W	カマド未確認 柱穴:P1～4、入口ピット:P5 P1 80×54×54 P2 80×47×46 P3 67×57×43 P4（74）×68×50 P5 50×29×29	須恵器坏3、須恵器甕2、土師器甕6、鉄製品刀子1	北部は調査区外へ広がる。	253	128
SI-8	D-11		470×564×15	N-3 °-E	北カマド84×137	須恵器蓋1、須恵器坏2、須恵器短頸壷1、土師器甕4		254	128
SI-9	F-10	SI-7より古。	［156］×［256］×10	N-32 °-W	不明		調査区外へ広がる。西壁と一部床面のみ確認。	253	128
SI-10	D-10		［282］×366×18	N-28 °-W	北カマド［39］×［100］	土師器甕1	東部消失。	251	128
SI-11	E-10	SK-547より新。	209×185×20	N-93 °-W	東カマド［52］×［50］ （P1 96×82×13）	土師器高台付坏1、土師器坏１		254	128
SI-12	D-9	SK-694・715より新。	310×［355］×16	N-90 °-W	東カマド［45］×［60］ P1 25×23×17 P2 24×24×39 P3 48×37×30 P4 27×27×26 P5 24×23×32 P6 21×20×20	土師器高台付坏1	南部消失。	254	128
SI-13	D-8	SK-720・809より新。SK-719より古。	418×［272］×8	N-79 °-E	東カマド［35］×［50］ P1 40×30×46 P2 17×17×7 P3 40×30×28 P4 25×25×30 P5 22×21×11	土師器甕1、土師器甑1	南部消失。	255	128
SI-14	D-9	SI-20、SK-693・718より新。	537×479×51	N-17 °-W	北カマド193×160 東壁際から南壁際東半に周溝あり 柱穴:P1～6、貯蔵穴:P7、入口ピット:P8・9 P1 47×38×54 P2 53×40×22 P3 54×45×49 P4 54×43×64 P5 47×39×57 P6 40×［33］×16 P7 84×81×60 P8 32×32×23 P9 80×40×13	須恵器坏3、須恵器蓋1、須恵器高台付坏1、土師器埦1、土師器甕2		257	129
SI-15	E-9		252×275×8	N-88 °-E	東カマド92×［81］	土師器甕1、土師器甑1		255	129
SI-16	F-9	SI-19より新。	（354）×（341）×42	N-0 °	北カマド135×108 P8 22×21×12	須恵器坏2、土師器坏1、（土師器坏2、土師器鉢1、須恵器甕1、土師器甕6、土錘2、鉄製品刀子1は、SI-16とSI-19を区別できなかった。） ※SI-19出土遺物と混在		255 256	129
SI-18	F-8	SI-48より新。	394×304×23	N-5 °-W	北カマド［41］×［65］ P1 43×43×33 P2 34×31×36	須恵器蓋2、須恵器坏1、土師器坏4、土師器高台付坏1、須恵器甕1、須恵器壷1、土師器甕2、鉄製品鎌1、鉄製品釘1、鉄製品刀子1。 ※本来SI-48に所属する遺物が一部混入している可能性が高い。		256	129

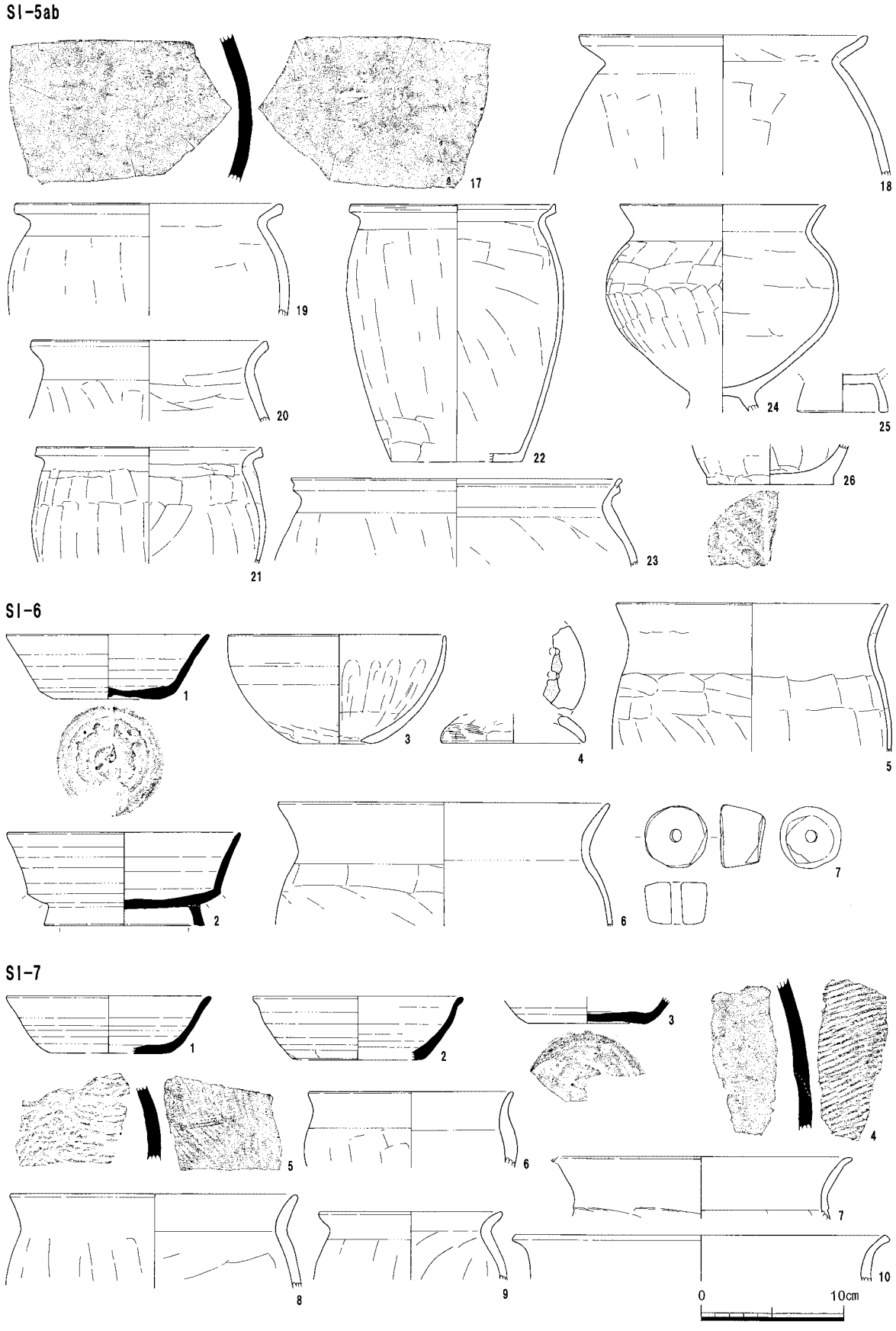
SI-19	F-9	SI-16より古。	548×425×52	N-5 °-W	北カマド［67］×［102］ 床下土坑:P2～6、入口ピット:P7 P1 90×72×24 P2 133×90×22 P3 120×106×24 P4 75×63×26 P5 140×120×32 P6 185×127×24 P7 44×40×37	須恵器高台付坏１、土師器高台付坏１、土師器甕１、（土師器坏2、土師器鉢1、須恵器甕1、土師器甕6、土錘2、鉄製品刀子1は、SI-16とSI-19を区別できなかった。） ※SI-16出土遺物と混在		255 256	129
SI-21	F-8	SI-22、SK-795より新。	252×276×17	N-49 °-E	東カマド［46］×［50］ 床下土坑:P1 P1 112×105×22	土師器甕2 ※SI-22出土遺物と混在		258	
SI-22	F-8	SI-21より古。SK-795より新。	421×494×21	N-17 °-W	北カマド［45］×［55］ 床下土坑:P1 P1 98×73×25	土師器甕１ ※SI-21出土遺物と混在		258	
SI-23	D-8	SK-826aより新。SK-808より古。	407×［270］×12	N-9 °-E	P1 23×19×17 P2 26×25×30 P3 33×31×15 P4 24×24×30 P5 53×25×25	土師器坏2	南部消失。	258	130
SI-25	E-7	SK-660・705より新。	527×550×21	N-12 °-W	北カマド（100）×95 柱穴:P1～4、貯蔵穴:P5、床下土坑:P6～P10 P1 24×22×51 P2 40×35×85 P3 56×37×65 P4 42×28×46 P5 90×74×46 P6 53×［38］×22 P7 147×96×52 P8 115×99×33 P9 146×120×56 P10 55×47×45	土師器皿1、土師器坏3、土師器高坏1、土師器短頸壷1、土師器甕8		259	130
SI-26	F-6		［460］×［264］×26	N-25 °-W	柱穴:P1 P1 43×40×60 P2 32×27×36	土師器坏1、土師器甕2	調査区外へ広がる。南西部のみ確認。	260	130
SI-28	C-17		370×286×22	N-84 °-E	東カマド［55］×108 突出部2ヶ所あり P1 63×50×27 P2 27×24×35 P3 78×67×30 P4 72×55×45 P5 110×［88］×35 P6 65×［42］×19 P7 40×28×25 P8 79×55×27 P9 77×71×21 P10 48×［40］×26 P11 32×［23］×15 P12 27×22×29 P13 34×34×19 P14 82×77×19 P15 48×［33］×13	須恵器坏1、土師器皿3、土師器高台付坏1、土師器甑1、砥石１		260	130
SI-29	E-6	SK-791より新。	352×320×22	N-65 °-E	東カマド89×104 貯蔵穴:P1 P1 80×65×47	土師器坏2、土師器甕4、土師器甑1、石製支脚1		261	131
SI-30	E-5	SK-842・1007・1008、SX-1より新。	476×450×22	N-25 °-E	北カマド102×114 柱穴:P1～4、貯蔵穴:P5 P1 51×40×40 P2 42×34×56 P3 44×35×60 P4 44×26×62 P5 91×71×67 P6 32×29×40 P7 54×46×30 P8 38×32×15	土師器坏3、土師器甕2		261	131
SI-31	E-5	SK-792より新。	479×494×25	N-3 °-E	北カマド131×［100］ 入口ピット:P3・4、床下土坑:P6～9 P1 40×40×29 P2 47×40×5 P3 49×35×35 P4 44×31×34 P5 47×37×6 P6 140×112×19 P7（132）×115×22 P8 99×79×24 P9 113×102×35	須恵器蓋1、須恵器坏2、土師器坏10、土師器甕9、砥石１		262	131 132

SI-32	E-4	SK-797・798・944より新。	535×548×8	N-27 °-E	北カマド［100］×［58］ 周溝・間仕切溝あり 柱穴:P1～8、貯蔵穴:P9 P1 35×27×50 P2 36×［21］×16 P3 56×51×20 P4 65×50×63 P5（31）×（28）×不明 P6 30×28×48 P7 31×29×64 P8 39×36×58 P9 91×60×31 P10 64×［54］×35 P11 42×［32］×25 P12 41×25×26 P13（70）×48×17 P14 59×［45］×28	土師器坏2、土師器甕1、土師器甑1	一度建て替えあり。	262	132
SI-33	E-5	SI-44、SK-793・890より新。	344×343×24	N-9 °-E	北カマド103×110 入口ピット:P1 P1 37×31×37 P2 38×37×9	灰釉陶器長頸瓶2、須恵器坏1、土師器坏2、土師器甕1、須恵器甑1、土錘29		263	132 133
SI-34	D-17	SK-244・275より新。	610×604×16	N-8 °-W	北カマド131×172 柱穴:P1～8、貯蔵穴:P9、床下土坑:P16 P1 71×59×60 P2 45×［40］×46 P3 89×71×55 P4 85×70×51 P5 56×［26］×36 P6 97×76×67 P7 52×51×58 P8 74×60×54 P9 111×74×20 P10 37×36×41 P11 26×22×14 P12 29×25×23 P13 34×30×38 P14（44）×35×31 P15 31×24×35 P16 167×99×37 （SK-250）	須恵器蓋2、須恵器坏4、須恵器高台付坏1、土師器坏1、土師器高台付坏1、須恵器高台付皿1、須恵器壺1、須恵器甕1、土錘1		263	133
SI-35	F-5	SK-829・923・1003より新。SK-1005は不明。	463×373×22	N-1 °-W	北カマド116×136 床下土坑:P1～4 P1 130×121×22 P2 344×240×27 P3 113×70×13 P4 143×113×25	須恵器坏2、土師器坏2、土師器高台付坏1、須恵器甕1、須恵器壺1、土師器甕1、土錘1、鉄製品刀子1		264	133
SI-36	F-4	SK-802・940・1028より新。SK-925より古。	416×312×20	N-9 °-E	北カマド［67］×［60］ 貯蔵穴:P1、床下土坑:P2・3 P1 97×69×29 P2 262×［180］×19 P3（270）×（125）×23	須恵器坏1、土師器坏1、須恵器甕1、土師器甕2		264	133 134
SI-37	F-3	SI-43、SK-932より新。	545×523×17	N-9 °-W	北カマド［96］×［66］ 床下土坑:P6～8 P6 152×［92］×14 P7 129×99×19 P8 212×148×12	灰釉陶器埦1、土師器坏2、土師器甕4、土師器台付甕のミニチュア1、石製支脚1、土錘1、（灰釉陶器埦1、須恵器坏1、土師器坏11、土師器高台付坏4、須恵器長頸瓶1、須恵器甕8、土師器甕4、須恵器甑1、鉄製品刀子1はSI-43出土遺物と区別できなかった。）	南西部撹乱あり。	265 266	134
SI-38	E-15	SK-266・292・334より新。	508×510×20	N-12 °-W	北カマド132×［90］ 柱穴:P1～4、入口ピット:P7・8 P1（22）×（21）×15 P2 54×40×27 P3 35×32×25 P4 33×28×38 P5 74×60×17 P6 36×28×27 P7 32×25×18 P8 103×94×9 P9 23×21×30	須恵器坏3、土師器坏4、土師器高台付坏1、土師器甕3、須恵器甕1、土錘2、鉄製品鎌1		266	134
SI-39	F-3		432×412×47	N-5 °-W	北カマド［108］×142 床下土坑:P1～3、貯蔵穴:P4 P1 180×161×66 P2 120×103×31 P3 76×［56］×23 P4 59×53×43	須恵器坏2、須恵器甕2、土師器甕2		267	135
SI-40	E-15	SK-298～300・324より新。	310×391×15	N-84 °-E	東カマド70×［56］ 床下土坑:P2・3・6 P1 21×12×7 P2 61×50×23 P3 228×［92］×14 P4 22×22×12 P5 26×25×9 P6 88×63×36 P7 44×41×18	土師器皿1、須恵器坏1、灰釉陶器壺類1		268	135

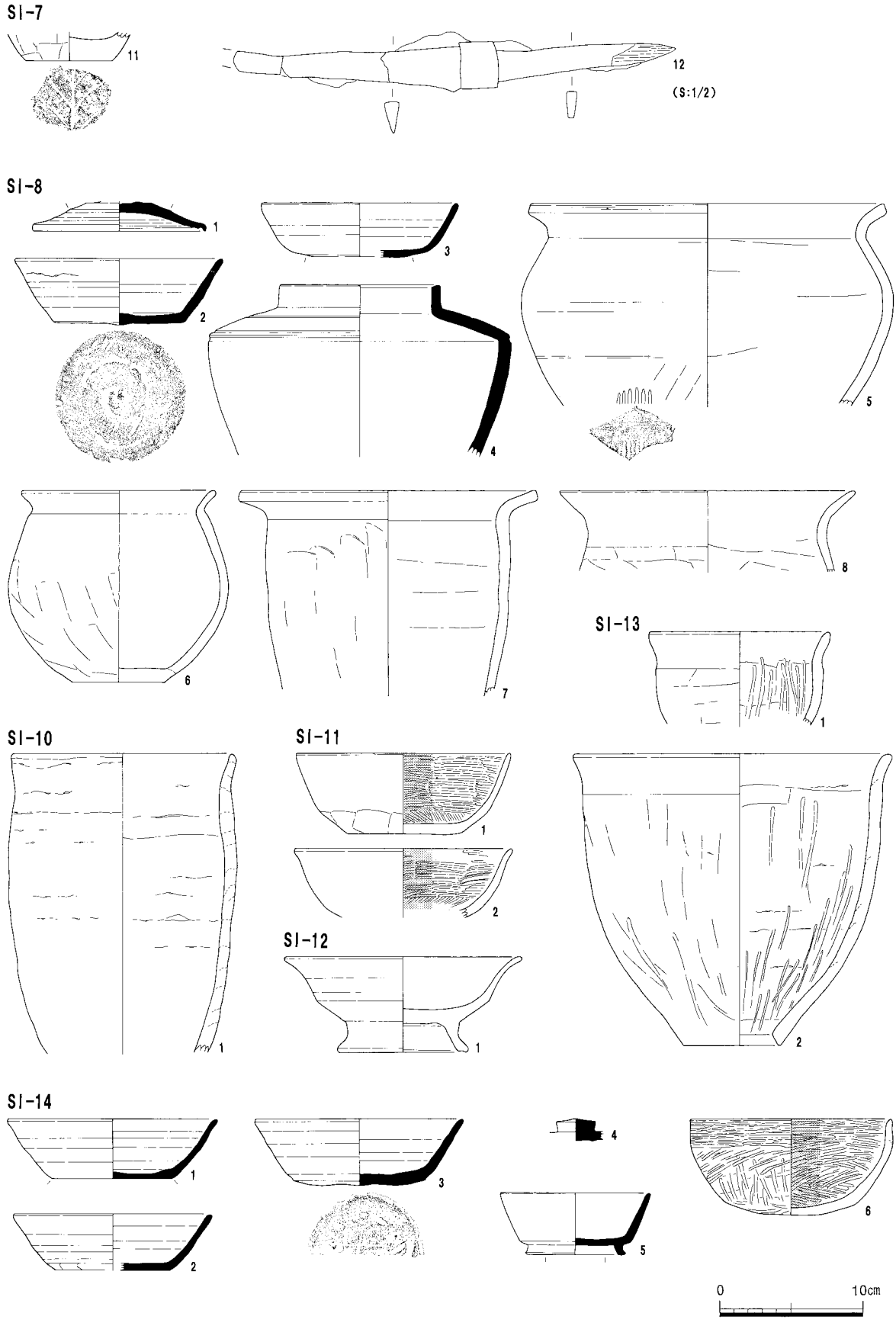
SI-41	E-15		315×300×27	N-88 °-E	東カマド90×95 柱穴:P1・2、床下土坑:P3・4 P1 22×20×27 P2 40×37×20 P3 155×74×37 （SK-336） P4 178×85×18	土師器皿1、土師器高台付坏1、須恵器甕1、土師器甕1		267	135
SI-42	E-14	SB-2・3より新。SK-1364は不明。	428×314×14	N-17 °-W	北カマド［80］×［110］ 貯蔵穴:P7、床下土坑:P6・10・11 P1 26×25×12 P2 19×17×22 P3 20×17×23 P4 25×19×24 P5 50×45×32 P6 ［80］×［48］×13 P7 94×62×32 P8 30×24×8 P9 50×45×36 P10 ［75］×69×15 P11 75×［37］×24	土師器坏2、土師器高台付坏1、土師器甕１		268	135 136
SI-43	F-3	SI-37より古。	400×328×30	N-11 °-W	北カマド［128］×［75］ カマド堀方:P2、入口ピット:P1、床下土坑:P3～6 P1 40×27×25 P2 128×75×20 P3 155×95×43 P4 139×93×18 P5 155×105×20 P6 152×［92］×14	※SI-37参照		265 266	134
SI-45	D-14		468×385×29	N-6 °-E	北カマド［78］×［54］ P1 48×46×18 P2 53×47×12 P3 45×44×9	須恵器坏1		268	136
SI-46	D-14	SK-320・333より新。SK-310～313・318・325・332・1350は不明。	332×（338）×10	N-3 °-W	北カマド［56］×［70］	土師器甕1	南部消失。	269	136
SI-48	F-8	SI-18より古。	322×不明×27	N-3 °-W	北カマド［45］×［113］ P1 75×50×51	土師器坏2、土師器甕1 ※本来、本住居跡の遺物が一部SI-18に混入した可能性が高い。	北壁は調査区外。本遺構の大部分はSI-18構築時に失われる。	269	136
SI-50	A-8	SK-977・980・1021より新。	522×297×20	N-82 °-E	東カマド［59］×85 床下土坑:P1～14 P1 89×［64］×8 P2 ［111］×［93］×17 P3 47×36×51 P4 45×44×36 P5 ［110］×88×17 P6 47×23×32 P7 37×［23］×9 P8 41×41×10 P9 ［58］×52×16 P10 ［149］×［103］×32 P11 166×135×42 P12 30×29×60 P13（70）×41×48 P14 49×42×39	土師器坏1、土師器甕1		270	136 137
SI-51	C-7	SK-1035より新。	（689）×（708）×不明	N-3 °-W	北カマド?規模不明 柱穴:P1～4、貯蔵穴:P5 P1 32×28×67 P2 27×26×81 P3 25×22×77 P4 39×34×55 P5 177×77×51 P6 29×25×60 P7 38×38×25	土師器坏1、土師器甕1、土師器甑1		269	137
SI-53	G-17	SK-1180・1186・1187・1192・1193・1196・1202・1285・1293・1294より新。	419×360×9	N-104 °-E	東カマド128×136 P1 56×45×27	土師器坏2、土師器甕1		270	137
SI-54	H-16	SK-1142～1144・1146・1147・1149・1184・1185より新。	457×405×21	N-87 °-E	東カマド95×［65］	土師器高台付坏1、土師器甕4		271	137
SI-55	G-18	SK-1170・1258・1308・1309・1318a・1334より新。SK-1266a・1332は不明。	（280）×（260）×12	N-18 °-E	北カマド［58］×［60］	土師器坏1、須恵器甕1		271	



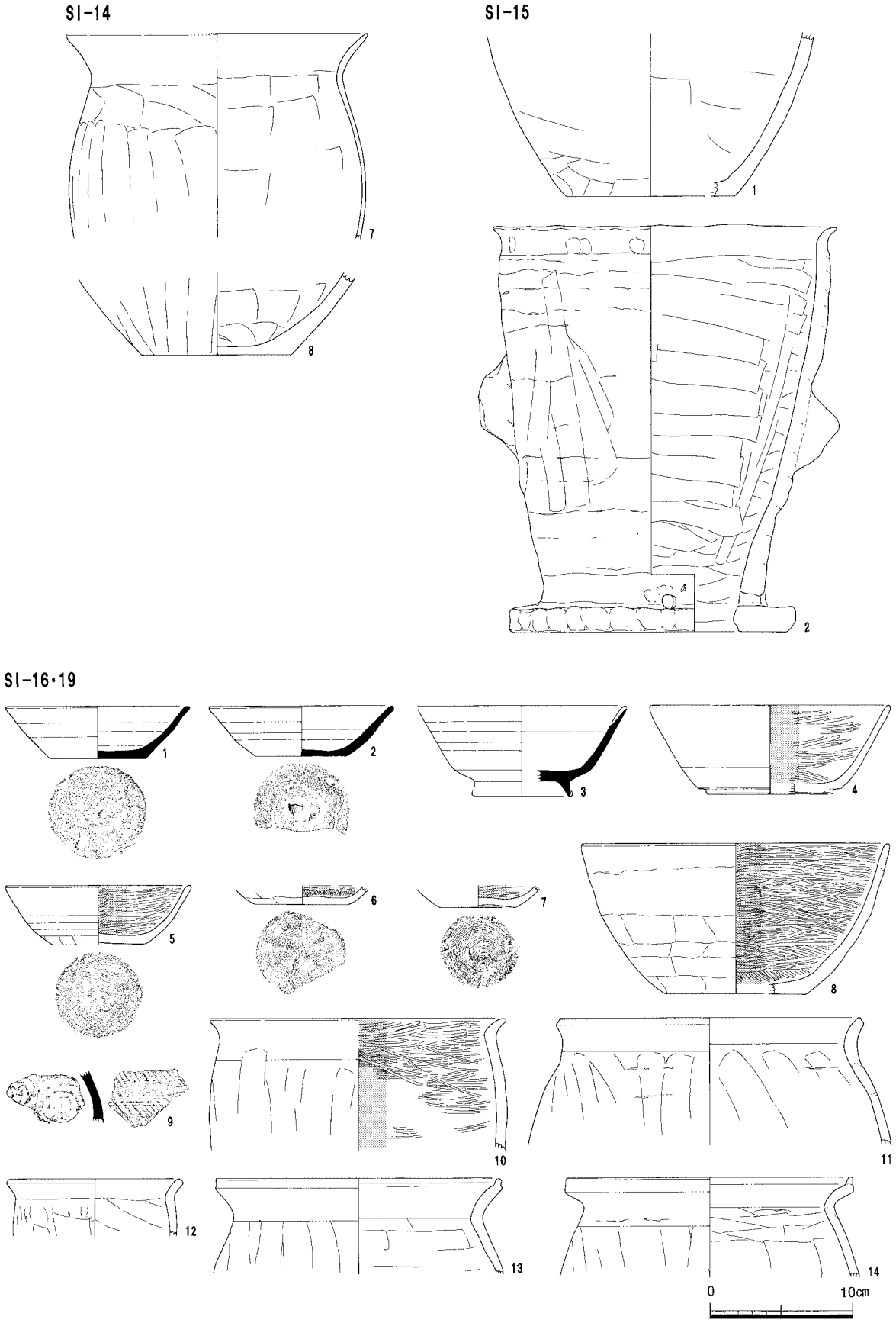
第272図　SI－1・3・4・5ab出土遺物



第273図　SI－5ab・6・7出土遺物

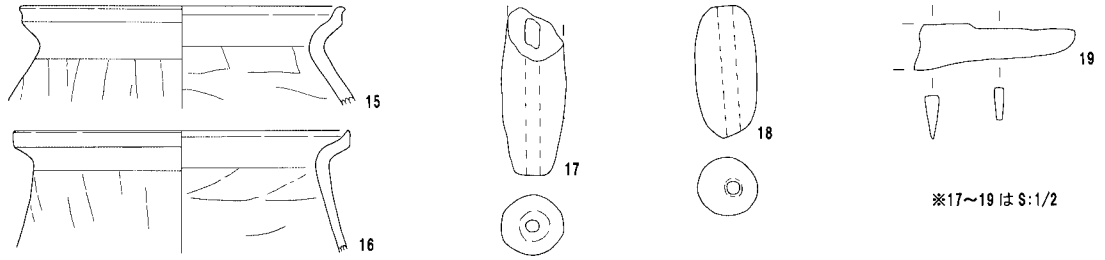


第274図　SI－7・8・10～14出土遺物

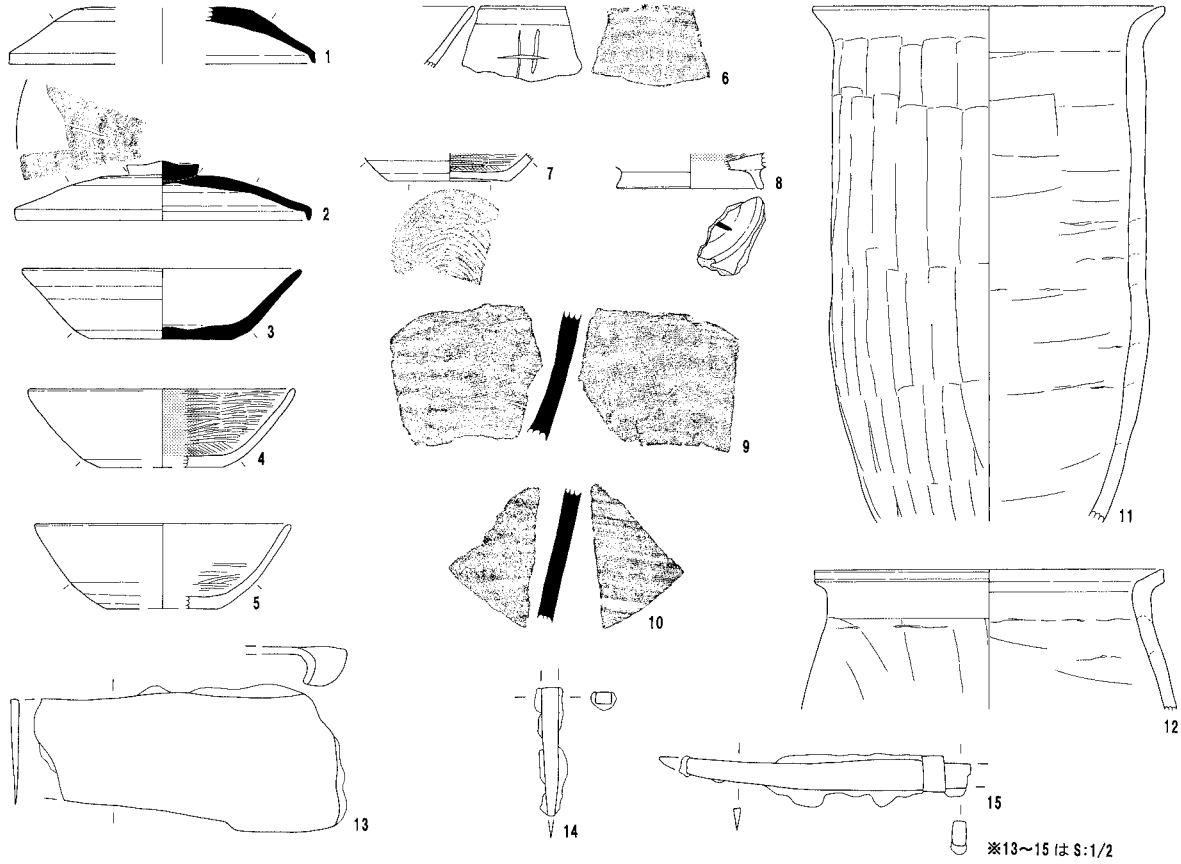


第275図　SI－14～16・19出土遺物

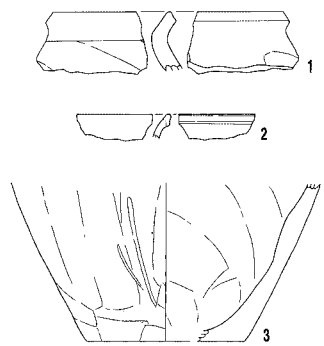
SI-16・19



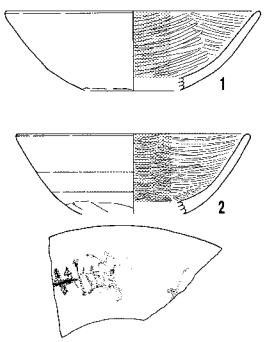
SI-18



SI-21・22



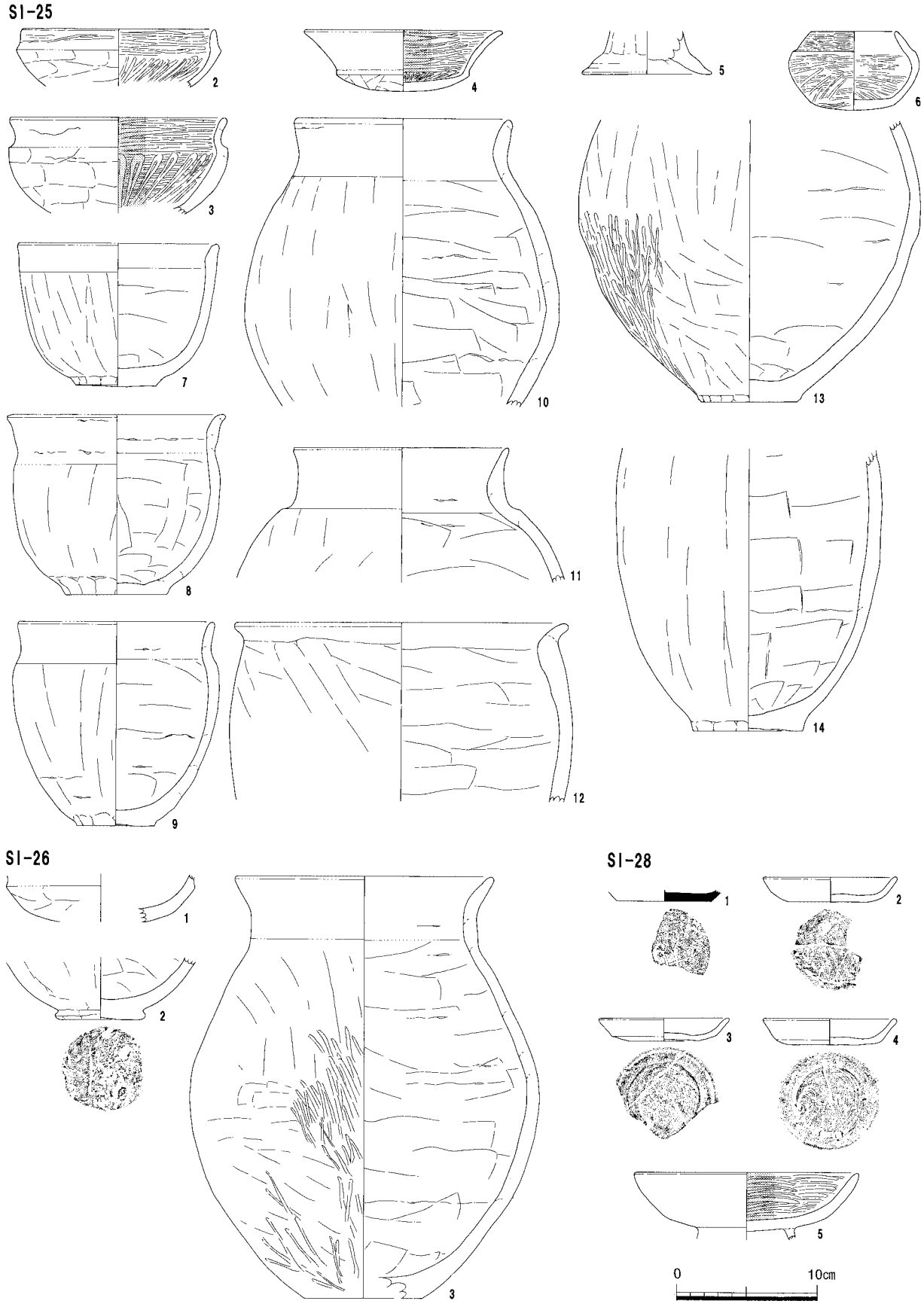
SI-23



SI-25

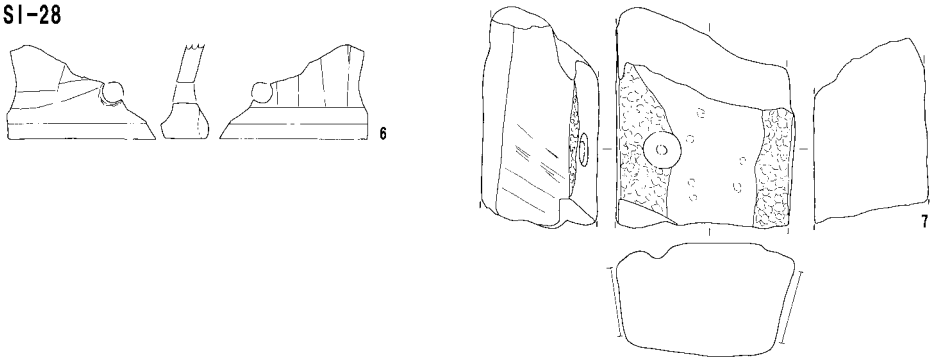


第276図　SI－16・18・19・21～23・25出土遺物

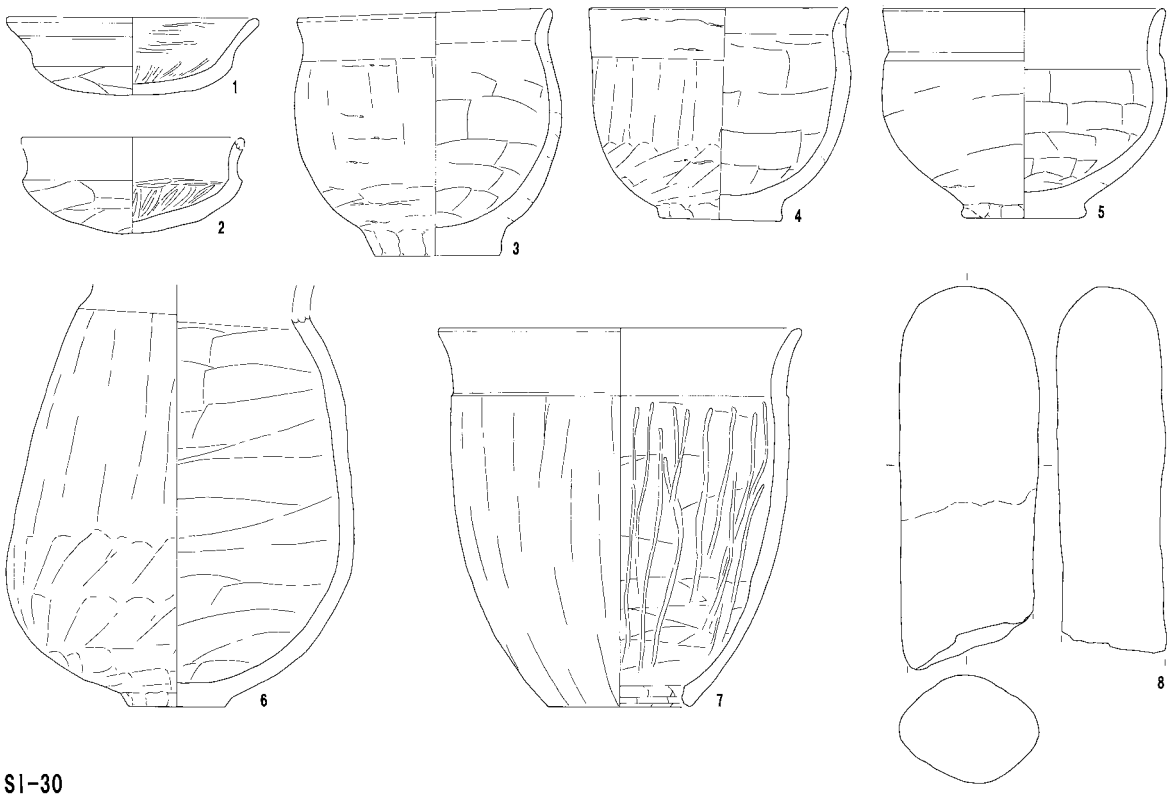


第277図　SI－25・26・28出土遺物

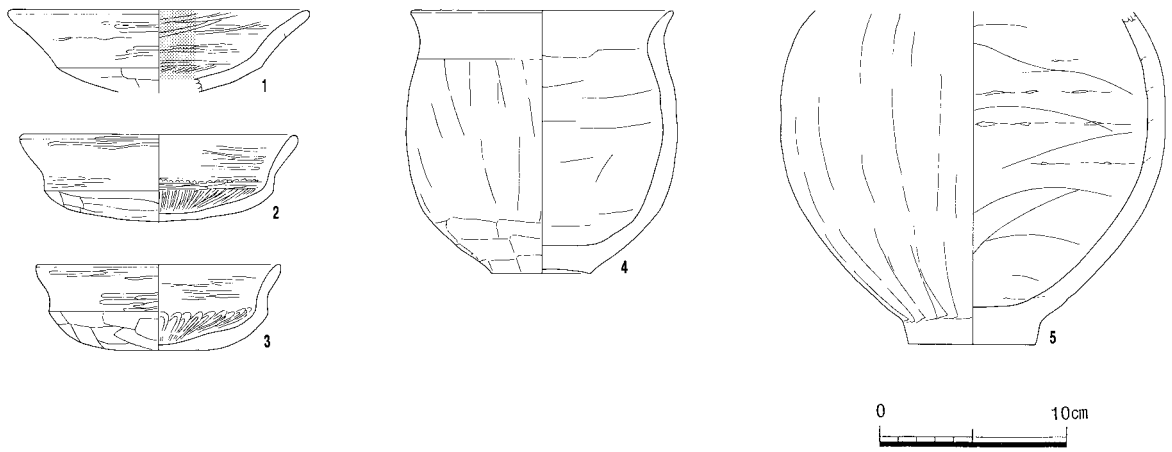
SI-28



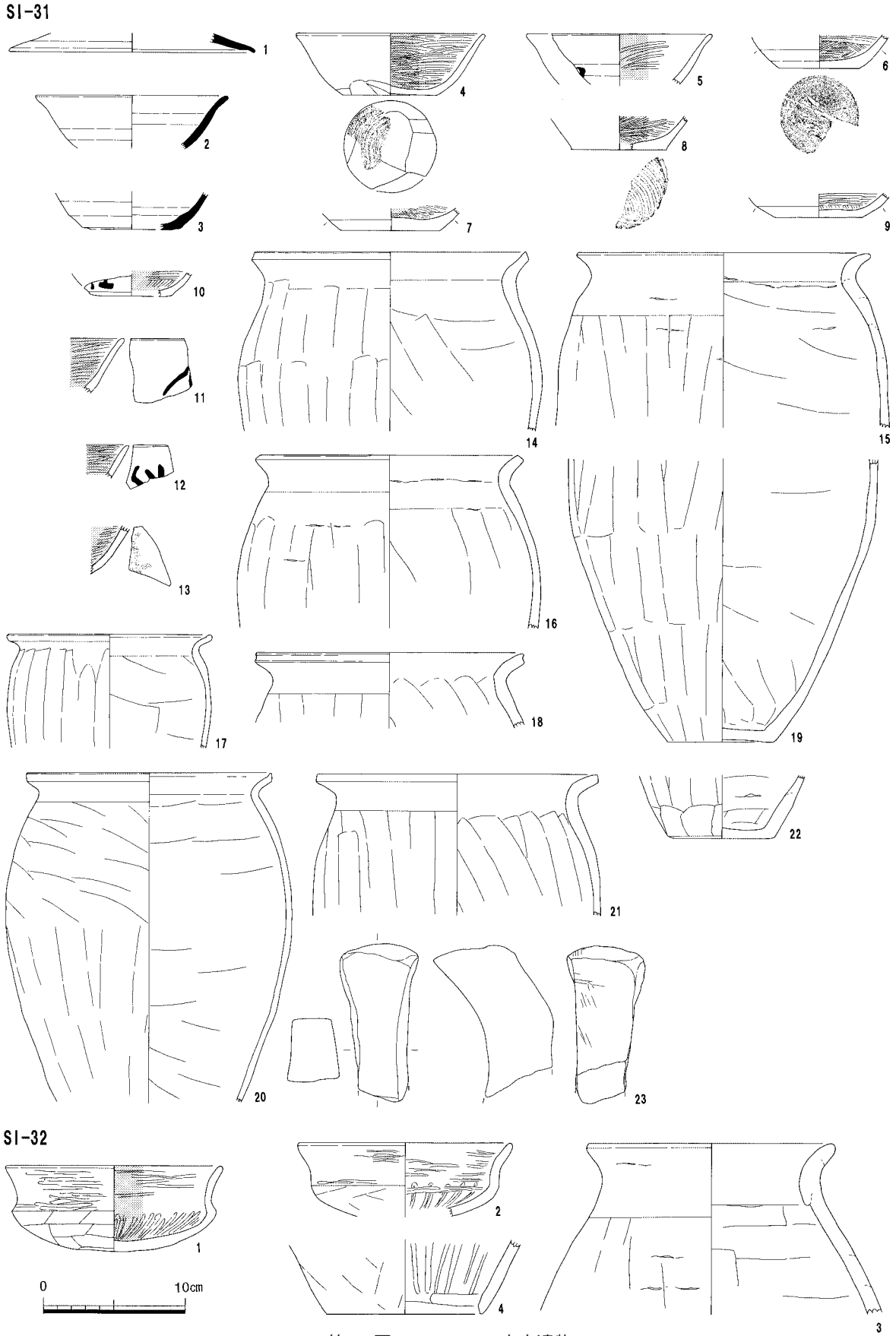
SI-29



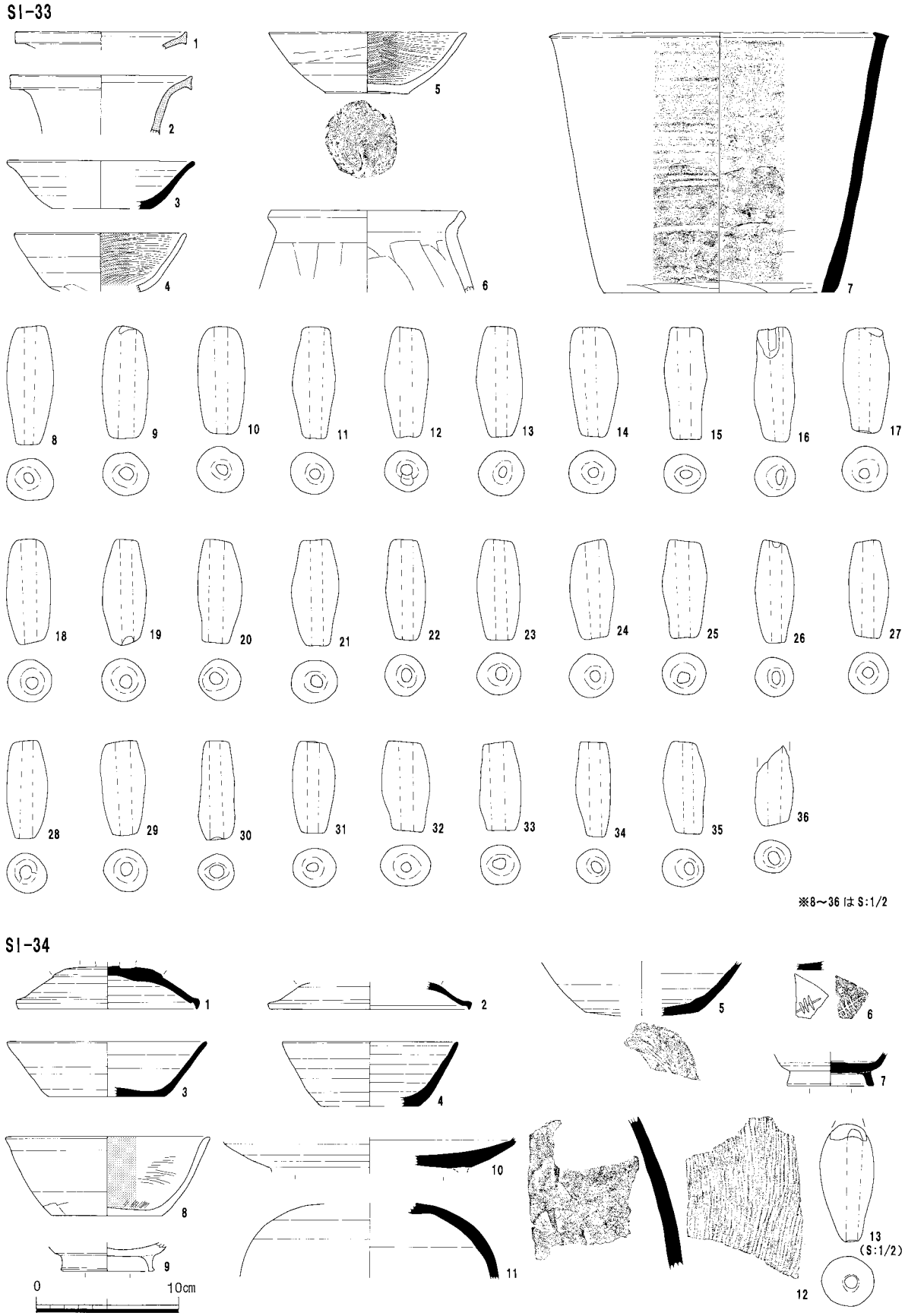
SI-30



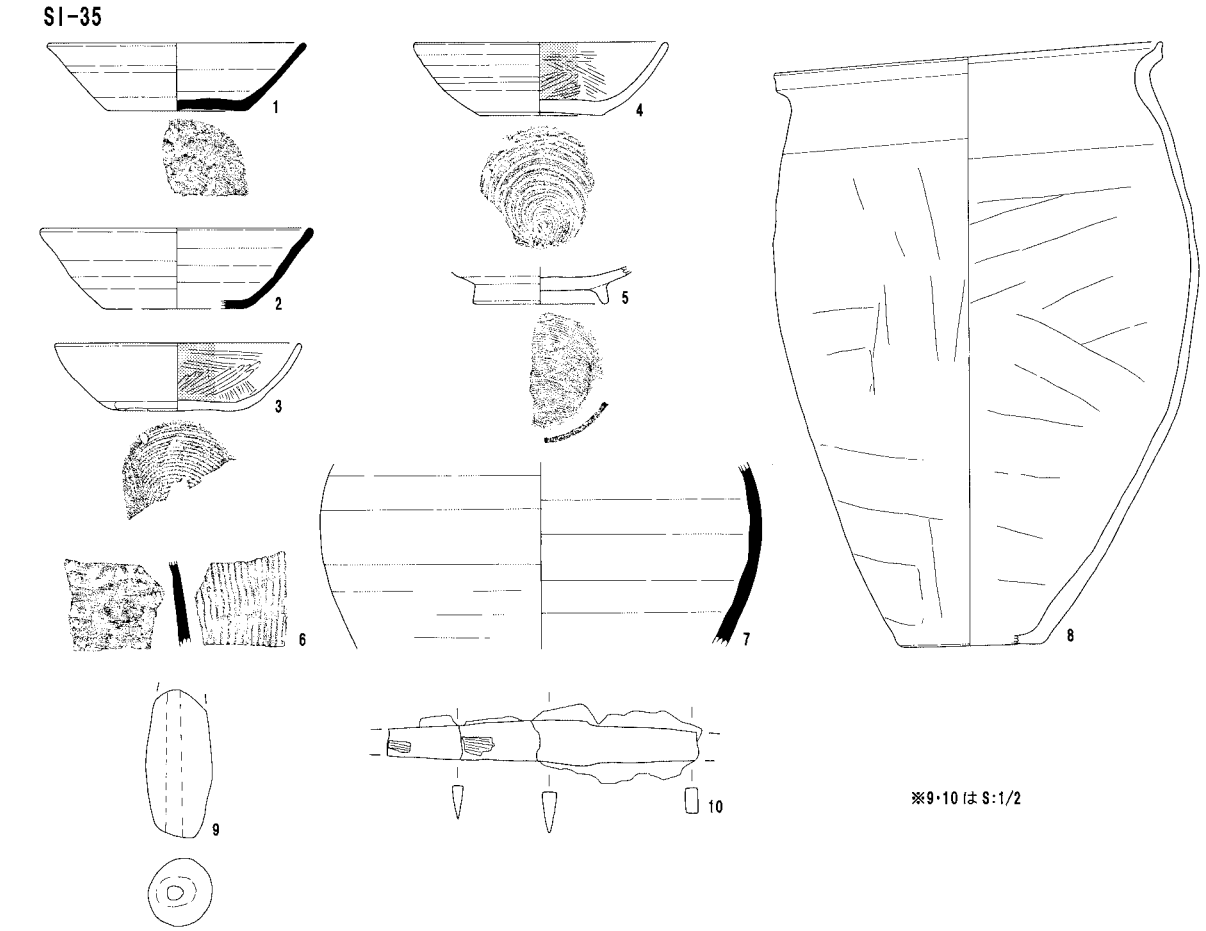
第278図　SI－28～30出土遺物

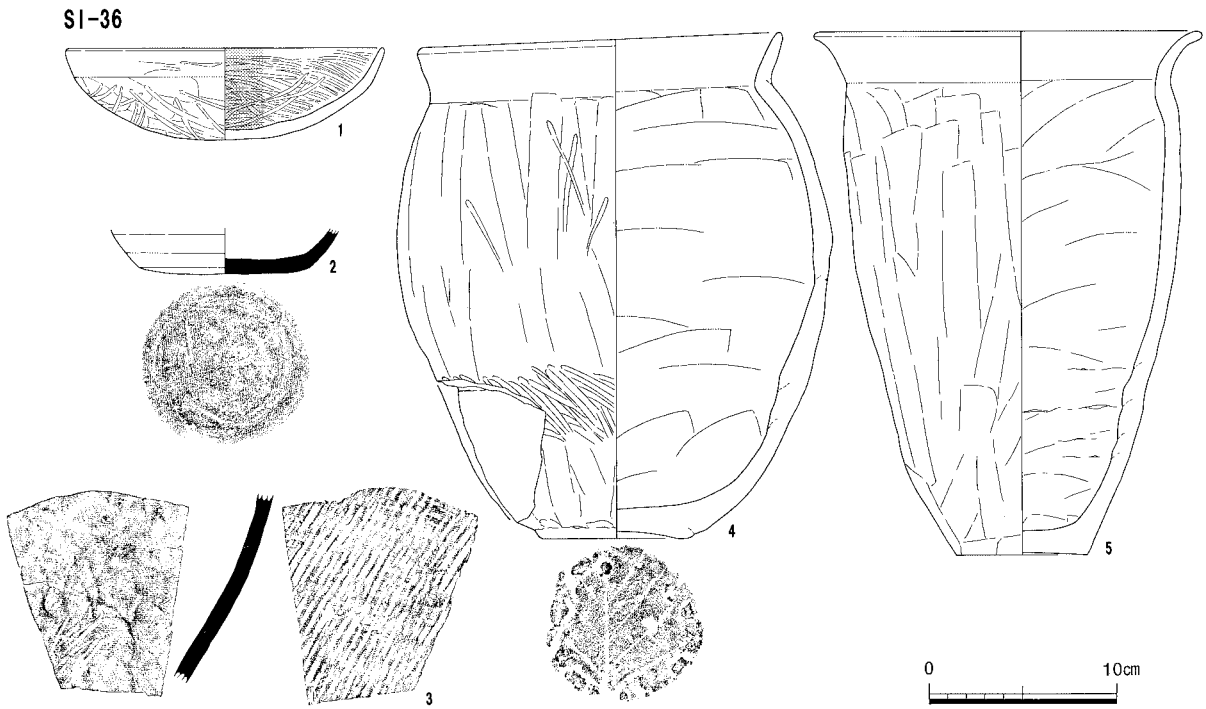


第279図　SI－31・32出土遺物

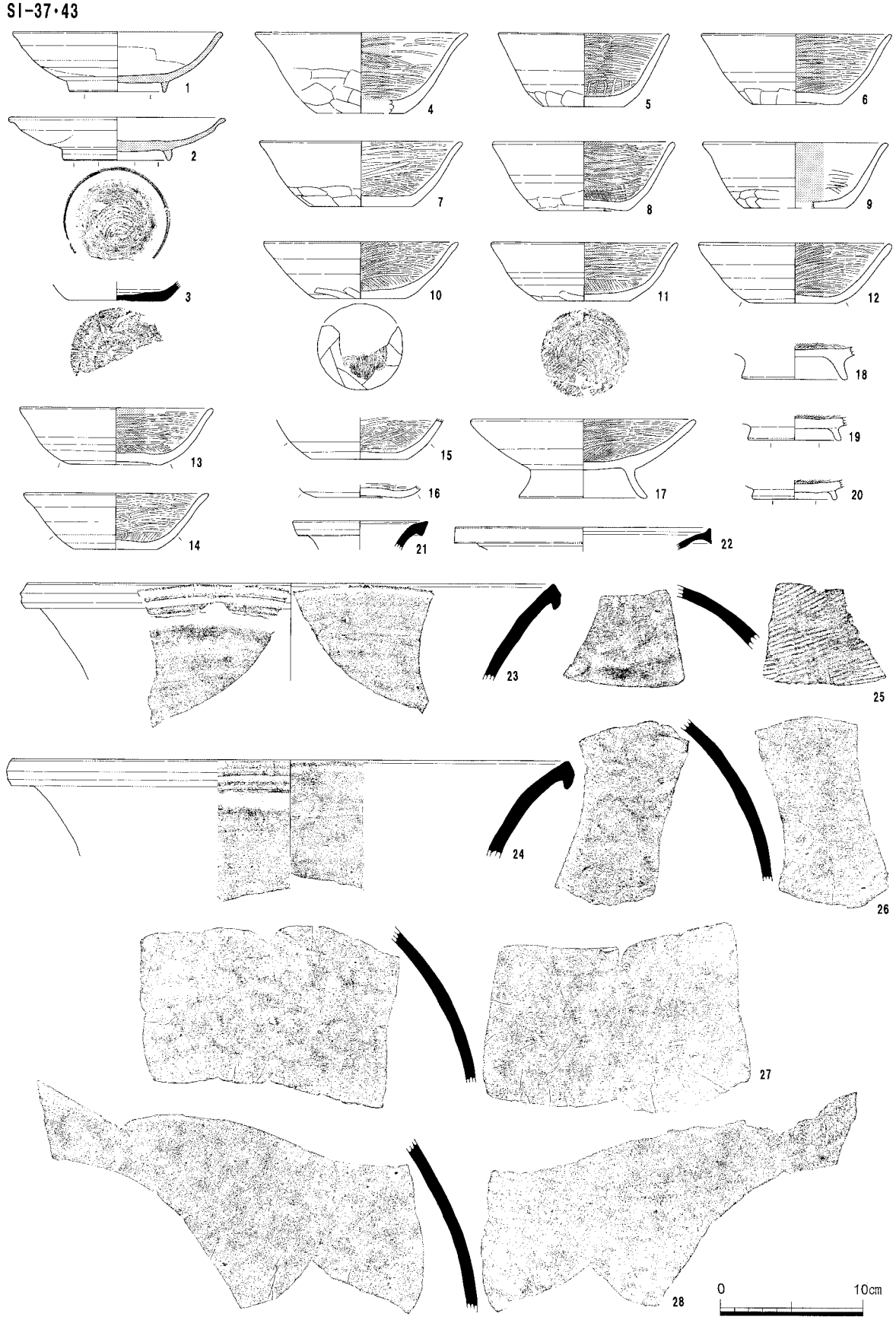


第280図　SI－33・34出土遺物



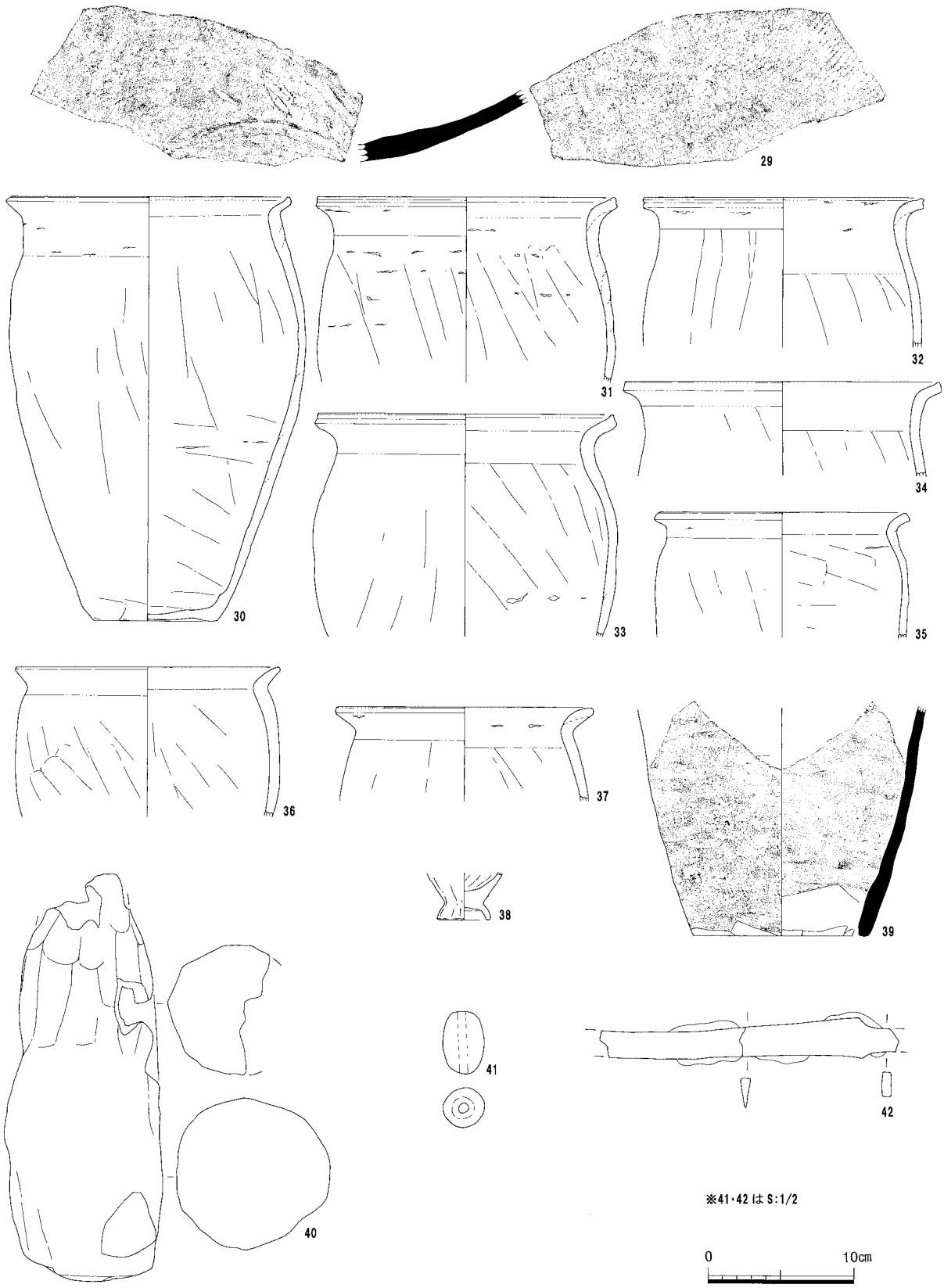


第281図　SI－35・36出土遺物

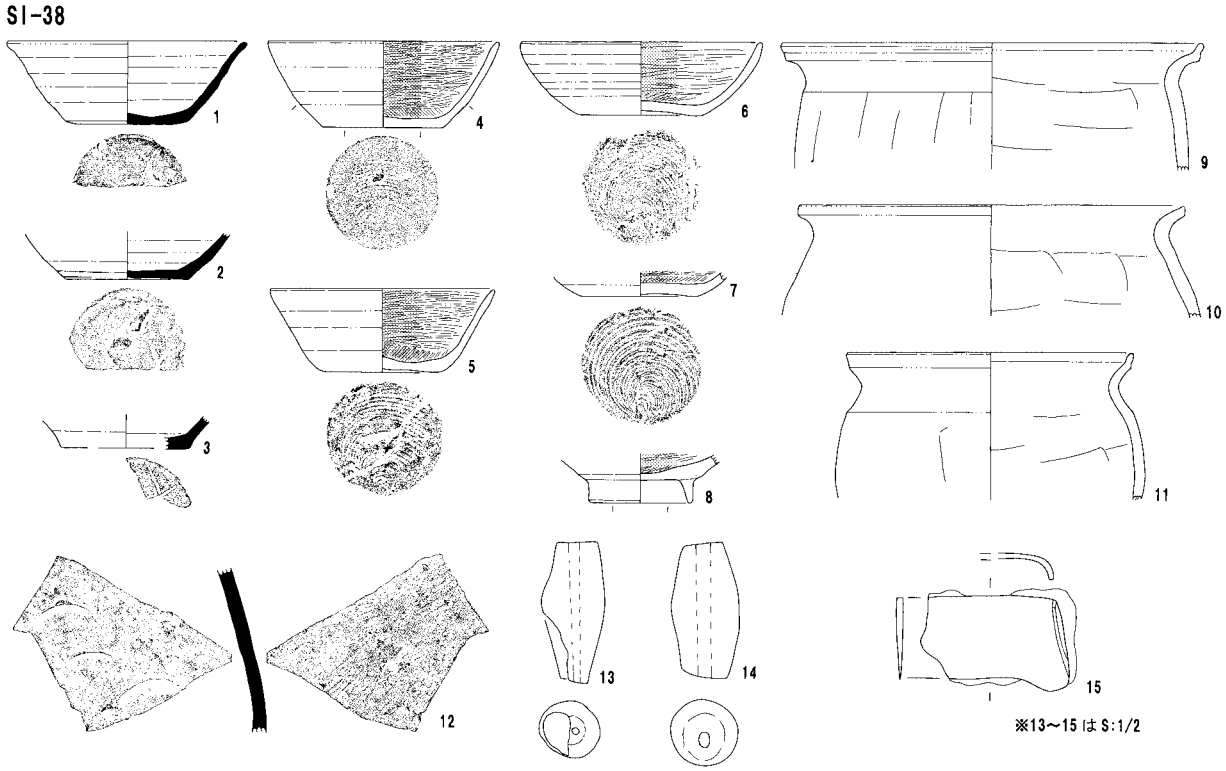


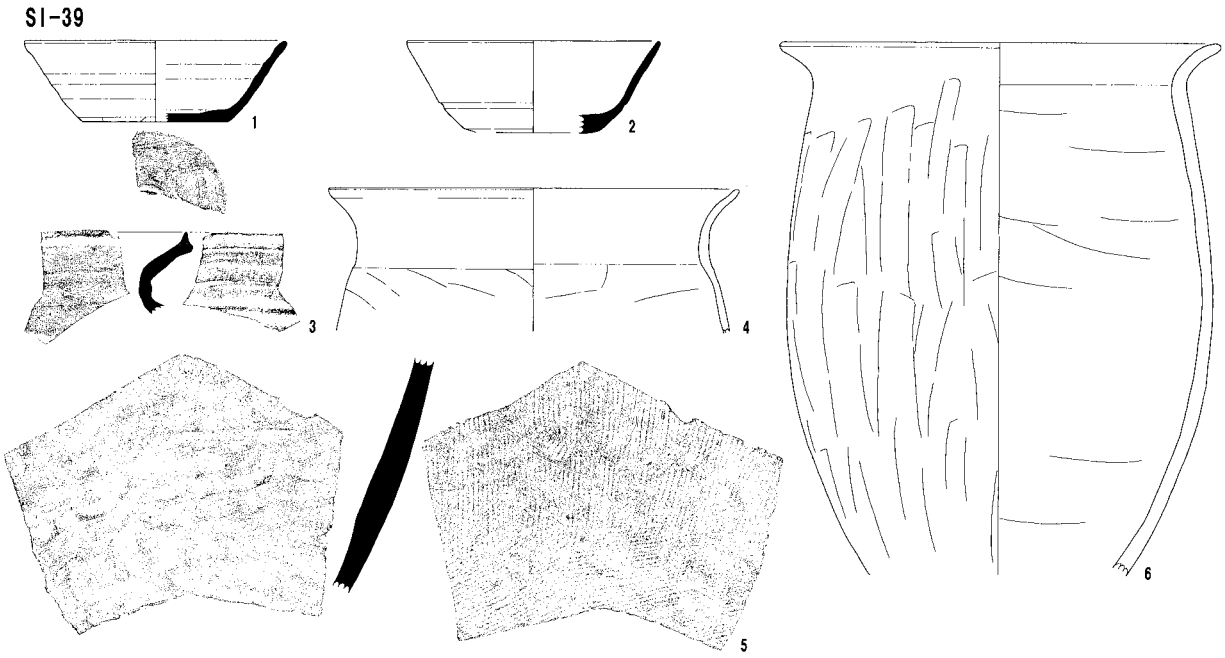
第282図　SI－37・43出土遺物

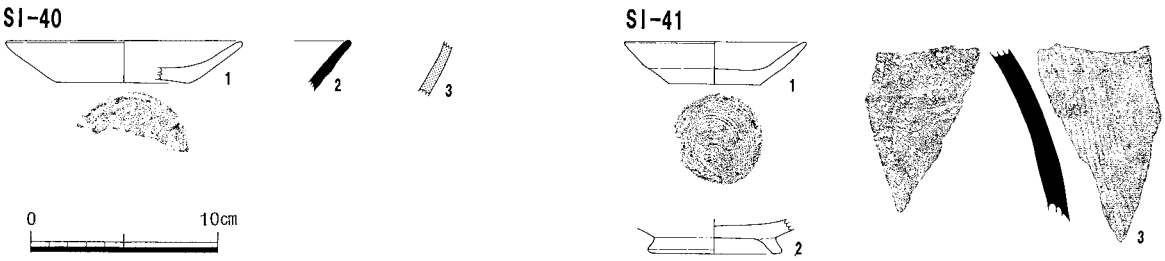
SI-37・43



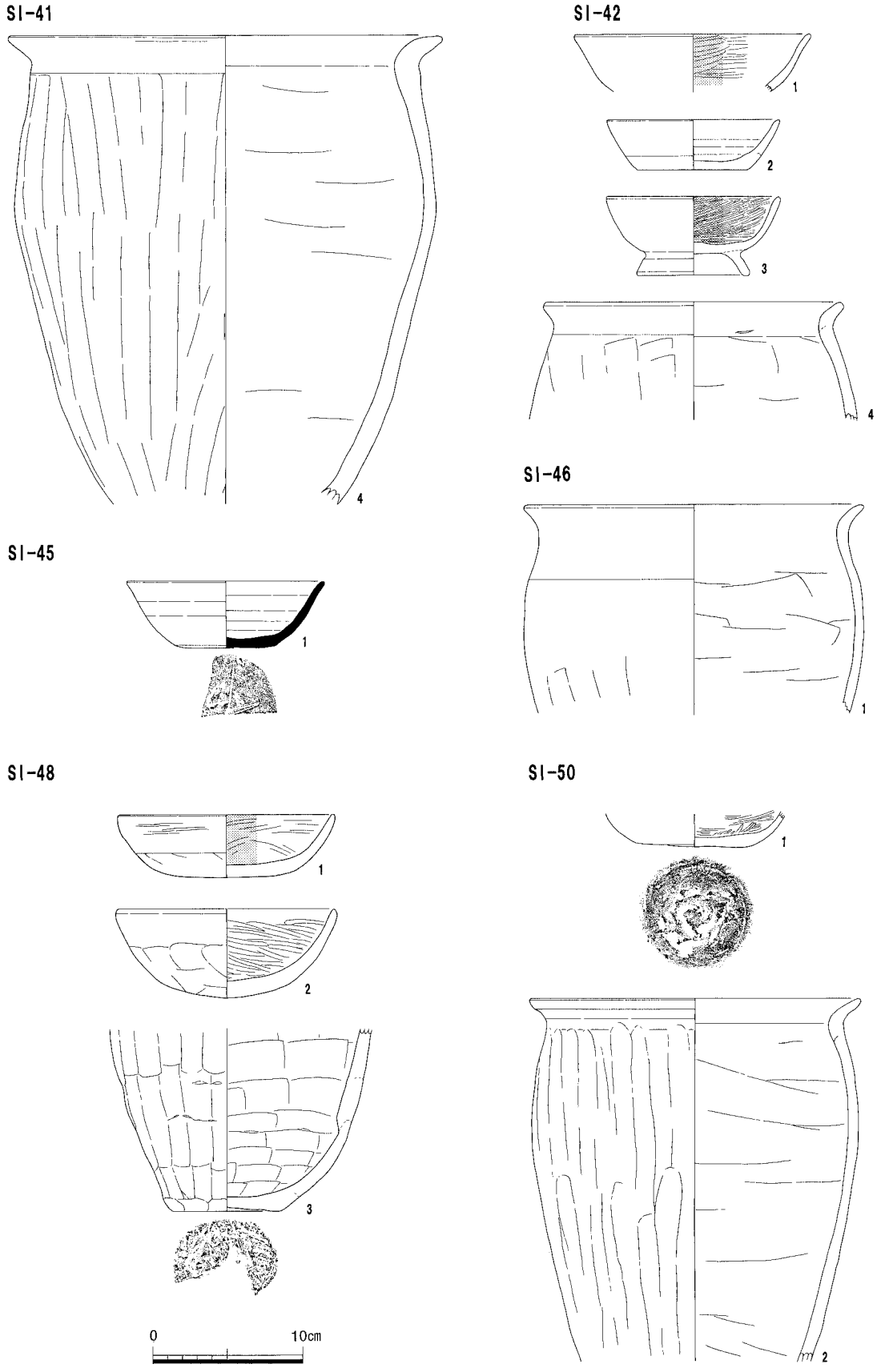
第283図　SI－37・43出土遺物



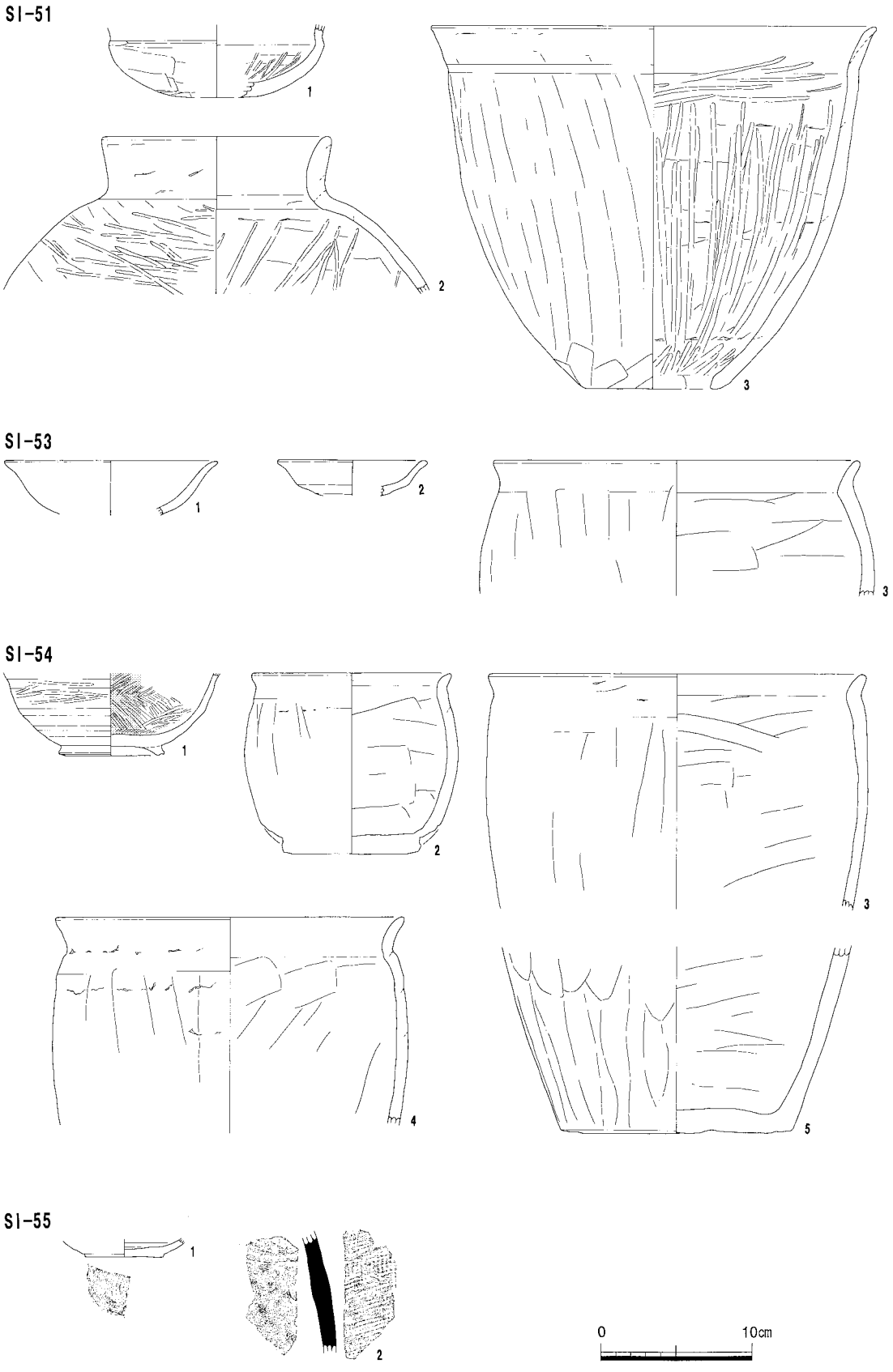




第284図　SI－38～41出土遺物



第285図　SI－41・42・45・46・48・50出土遺物



第286図　SI－51・53～55出土遺物

第15表　古墳時代から平安時代竪穴住居跡出土遺物一覧表

単位：cm・g、(推定値)、[残存値]

遺構№	№	注記	器種	法量(cm・g)	整形などの特徴	焼成/胎土/色調	遺存状態/出土状態	備考	挿図№	図版№
SI-1	1	SI-1覆土	須恵器 坏	器高：［2.8］ 底径：（7.0）	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り後ナデ。	良好 長石少量混入 内外：オリーブ灰	体底部小片 覆土中		272	
SI-1	2	SI-1No.1 SI-1No.2 SI-1西かまど	土師器 坏	口径：(12.7) 器高：　3.7 底径：　6.0	ロクロ成形 (外)体下端:ヘラケズリ、底:回転糸切り。 (内)口縁:ナデ、体:横位ヘラミガキ、	良好 砂粒、雲母、長石少量 内外：にぶい橙	1/2遺存 西カマド内床直上・西カマド内	底部内面一部摩滅。内面一部煤付着。	272	
SI-1	3	SI-1 SI-1床下	土師器 坏	器高：［2.5］ 底径：（5.6）	ロクロ成形 (外)体下端:ヘラケズリ、底:回転糸切り。 (内)黒色処理、体:横位ヘラミガキ、	良好 砂粒微量 内：黒　外：浅黄橙	体底部小片 床下・覆土中	外面一部煤付着。	272	
SI-1	4	SI-1覆土	土師器 坏	器高：［1.7］ 底径：　5.6	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り。 (内)黒色処理、体:横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒、雲母少量 内：黒　外：浅黄橙	体底部小片 覆土中	体部外面は摩滅著しく調整不明。	272	
SI-1	5	SI-1床下	土師器 坏	器高：［1.4］ 底径：　5.0	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り。 (内)黒色処理、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 長石・石英・砂粒少量、小石粒微量 内：黒　外：黄橙	底部遺存 床下	外面摩滅著しい。内面剥離。一部煤付着。	272	
SI-1	6	SI-1床下	土師器 坏	器高：［1.8］ 底径：　5.2	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り。 (内)黒色処理、底:横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 長石・雲母・砂粒少量 内：黒　外：灰白	底部遺存 床下	体部外面摩滅し調整不明。	272	
SI-1	7	SI-1床下	土師器 坏	口径：(14.2) 器高：［3.6］	ロクロ成形 (内)黒色処理、体:横位ヘラミガキ。	良好 砂粒微量 内：黒　外：淡黄	口体部1/3遺存 床下	体部外面墨書あり。「藤」、「井カ」。	272	
SI-1	8	SI-1床下 SI-1覆土	土師器 坏	口径：(14.2) 器高：［6.1］	(外)体:ヨコナデ、体下端:手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理、口体:横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 長石、雲母少量 内：黒　外：褐灰	1/3遺存 床下・覆土中	外面上半部煤付着。	272	
SI-1	9	SI-1覆土	須恵器 甕	不明	(外)胴:格子目叩き。 (内)胴:同心円叩き。	良好 長石少量 内：灰　外：暗灰	胴部小片 覆土中		272	
SI-1	10	SI-1床下	土師器 甕	口径：(19.5) 胴大：　20.8 器高：［11.2］	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ後ナデ。 (内)口:ヨコナデ、胴:縦位ヘラナデ・ナデ。	良好 砂粒、雲母少量 内：橙　外：にぶい橙	口縁部1/2、胴部1/5遺存 床下	口縁部及び胴部外面煤、ふきこぼれ付着。	272	
SI-1	11	SI-1覆土 SI-1床下	土師器 甕	胴大：(17.8) 器高：［18.0］ 底径：　(8.0)	(外)胴上:ナデ、胴下:斜位ヘラケズリ、底:木葉痕?。 (内)胴:横位ヘラナデ・ナデ。	良好 長石、雲母少量、砂粒多量 内：にぶい黄橙　外：橙	胴部から底部1/5遺存 床下・覆土中	胴部内外面煤付着。	272	
SI-1	12	SI-1床下	製塩土器	口径：(14.6) 器高：［8.8］	(外)指頭痕、粘土帯接合痕残る。 (内)丁寧なヨコナデ。	良好 長石、金雲母、白色針状物質、砂粒少量 内外：赤褐	口縁部から胴部1/5遺存 床下	縦のヒビ割れ入る。外面煤付着。	272	
SI-1	13	SI-1カマド	鉄製品 手鎌	長さ：［2.4］ 幅　：　1.5 厚さ：　0.1			1/3遺存		272	143
SI-3	1	SI-3No.1	土師器 坏	口径：(12.4) 器高：　4.3 底径：　(6.0)	ロクロ成形 (外)底:底部切り離し後手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理、体:横位ヘラミガキ。	良好 長石、石英、雲母微量、砂粒少量 内：黒　外：浅黄橙	1/2遺存 住居中央部床直上	体部外面墨書あり。「丈□」。	272	143
SI-4	1	SI-4No.1 SI-4No.3 SI-4覆土	土師器 高台付坏	口径：(14.0) 器高：　6.0 底径：　6.2	ロクロ成形 (内)黒色処理、口体:横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。 高台貼付。	良好 長石、砂粒少量、雲母微量 内：黒　外：灰黄褐	1/2遺存 南部及び中央部床直上・覆土中	外面一部煤付着。底部は切り離し技法不明。	272	143
SI-4	2	SI-4覆土	土師器 甕	器高：［2.7］ 底径：　6.8	(外)胴下端:ナデ、底:不定方向ヘラケズリ後ナデ。 (内)胴底:ヘラナデ・ナデ。	良好 長石、砂粒少量 内：にぶい黄橙　外：にぶい橙	底部遺存 覆土中		272	
SI-5ab	1	SI-5aカマド	須恵器 蓋	口径：(13.0) 器高：　3.0	ロクロ成形 (外)天井:回転ヘラケズリ。	良好 長石、砂粒少量 内外：灰	2/3遺存 SI-5aカマド内	口縁部内面自然釉一部付着。	272	
SI-5ab	2	SI-5覆土	須恵器 蓋	器高：［2.8］ 口径：(14.6)	ロクロ成形 (外)天井:回転ヘラケズリ。	良好 長石、砂粒少量 内：灰　外：灰(口縁部暗灰)	1/3遺存 SI-5ab覆土中		272	
SI-5ab	3	SI-5覆土	須恵器 蓋	口径：(12.0) 器高：［1.5］	ロクロ成形 (外)天井:回転ヘラケズリ。	良好 長石、雲母、砂粒少量 内：灰(口縁部暗灰)　外：褐灰	1/5遺存 SI-5ab覆土中	外面全体に自然釉付着。	272	
SI-5ab	4	SI-5覆土	須恵器 坏	口径：(13.8) 器高：　4.8 底径：　7.3	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り後周辺部ヘラケズリ・ナデ。	良好 砂粒少量、長石、石英微量 内外：灰白	1/3遺存 SI-5ab覆土中		272	
SI-5ab	5	SI-5No.1 SI-5No.2 SI-5覆土	須恵器 坏	口径：　12.8 器高：　4.6 底径：　6.0	ロクロ成形 (外)底:手打ちヘラケズリ。	良好 石英、長石、砂粒少量 内外：灰白	ほぼ完形 SI-5aカマド西袖内・覆土中	底部切り離し技法不明。	272	143
SI-5ab	6	SI-5覆土	須恵器 坏	口径：(12.8) 器高：　4.1 底径：　6.5	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り後ナデ。	良好 砂粒少量 内外：明黄褐	1/2遺存 SI-5ab覆土中		272	143
SI-5ab	7	SI-5覆土	須恵器 坏	口径：(12.6) 器高：　3.6 底径：　(6.4)	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り?後ナデ。	良好 長石、砂粒少量 内外：灰	1/5遺存 SI-5ab覆土中		272	

SI-5ab	8	SI-5カマド	須恵器 坏	口径：(13.5) 器高：　3.7 底径：　(6.5)	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り後ナデ。	良好 長石、砂粒少量 内外：青灰	2/5遺存 SI-5aカマド内	底部外面に焼成前の浅い刻みあり。ヘラ記号か。	272	
SI-5ab	9	SI-5覆土	須恵器 高台付坏	器高：［2.1］	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラケズリ。 高台貼付。	良好 長石、砂粒、黒色粒少量 内外：灰	体下部から底部小片、高台欠損 SI-5ab覆土中		272	
SI-5ab	10	SI-5覆土	土師器 坏	器高：［2.0］ 底径：　7.5	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り後ヘラケズリ、中央部ナデ。 (内)黒色処理、体:横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 長石、雲母、石英、砂粒少量 内：黒　外：灰白	体底部1/2遺存 SI-5ab覆土中	外面一部煤付着。底部外面墨書あり。「□家」。	272	
SI-5ab	11	SI-5覆土	土師器 鉢	口径：(15.0) 器高：［5.9］	(外)口縁:ヨコナデ、体:縦位ヘラケズリ後ナデ。 (内)口縁:ヨコナデ、体:ヘラナデ・ナデ。	良好 砂粒、雲母、長石少量 内外：橙	口縁部から胴部小片 SI-5ab覆土中	口縁部内面煤付着。	272	
SI-5ab	12	SI-5覆土	須恵器 甕	口径：(26.4) 器高：［2.3］	ロクロ成形	良好 長石少量 内：暗赤灰　外：黒（口唇灰）	口縁部小片 SI-5ab覆土中		272	
SI-5ab	13	SI-5覆土	須恵器 甕	器高：［7.3］	ロクロ成形	良好 砂粒少量 内：赤黒　外：灰褐	口縁部小片 SI-5ab覆土中	内面自然釉付着。	272	
SI-5ab	14	SI-5覆土	須恵器 甕	不明	(外)平行叩き。 (内)ヨコナデ。	良好 長石、砂粒微量 内：赤灰　外：灰白	胴部小片 SI-5ab覆土中	外面自然釉付着。	272	
SI-5ab	15	SI-5覆土	須恵器 甕	不明	(外)平行叩き。 (内)横斜位ナデ。	良好 長石少量、砂粒微量 内：灰　外：暗灰	胴部小片 SI-5ab覆土中		272	
SI-5ab	16	SI-5覆土	須恵器 甕	不明	(外)平行叩き。 (内)ナデ、指頭痕あり。	良好 雲母多量、長石少量 内外：灰白	胴部小片 SI-5ab覆土中		272	
SI-5ab	17	SI-5覆土	須恵器 甕	不明	(外)ケズリ後ナデ、指頭圧痕あり。 (内)横位ナデ、指頭圧痕あり。	良好 長石、雲母、砂粒少量 内外：灰	胴部小片 SI-5ab覆土中		273	
SI-5ab	18	SI-5aカマド	土師器 甕	口径：(20.0) 器高：［9.8］	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ後ナデ。 (内)口縁:ヨコナデ・ナデ、胴:横斜位ヘラナデ・ナデ。	良好 砂粒、雲母、赤色粒少量 内外：にぶい橙	口縁部から胴上部小片 SI-5aカマド内	内外面一部煤付着。	273	
SI-5ab	19	SI-5覆土	土師器 甕	口径：(18.4) 器高：［7.8］	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ・ナデ。	良好 砂粒少量 内外：浅黄橙	口縁部から胴上部小片 SI-5ab覆土中		273	
SI-5ab	20	SI-5aカマド	土師器 甕	口径：(16.4) 器高：［5.7］	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ後ナデ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 砂粒、長石、雲母、赤色粒少量 内外：浅黄橙	口縁部から胴上部小片 SI-5aカマド内		273	
SI-5ab	21	SI-5覆土	土師器 甕	口径：　15.7 胴大：(16.5) 器高：［8.1］	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:ヘラナデ。	良好 砂粒少量 内：にぶい橙　外：灰褐	口縁部から胴上部1/2遺存 SI-5ab覆土中		273	
SI-5ab	22	SI-5No.3 SI-5aカマド SI-5a覆土	土師器 甕	口径：　14.2 胴大：　15.2 器高：　18.0 底径：　(9.0)	(外)口縁:ヨコナデ、胴上中:縦位ヘラケズリ、胴下:横位ヘラケズリ、底:ナデ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:ヘラナデ。	良好 長石、砂粒少量 内外：橙	3/4遺存 SI-5a北西壁際床上10cm・SI-5aカマド内・SI-5a覆土中	外面一部煤付着。	273	143
SI-5ab	23	SI-5覆土	土師器 甕	口径：(23.0) 器高：［6.2］	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:ヘラナデ。	良好 砂粒、長石、雲母少量 内：にぶい橙　外：浅黄橙	口縁部から胴上部小片 SI-5ab覆土中		273	
SI-5ab	24	SI-5No.5	土師器 台付甕	口径：(14.4) 胴大：(16.3) 器高：［14.5］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:横位ヘラケズリ、胴下:縦位ヘラケズリ、胴下端:ヨコナデ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ・ナデ、底:ナデ。	良好 砂粒少量 内外：橙	1/4遺存 SI-5b南壁際床直上		273	
SI-5ab	25	SI-5aカマド	土師器 台付甕	台部径:(6.4) 器高：［2.7］	(外内)底:ナデ、台:ヨコナデ。	良好 長石、雲母、砂粒多量 内外：橙	台部1/3遺存 SI-5aカマド内		273	
SI-5ab	26	SI-5覆土	土師器 甕	器高：［2.8］ 底径：　(8.8)	(外)胴下:横位ヘラケズリ、胴下端:指頭圧痕、底:木葉痕。 (内)胴下:横位ヘラナデ。	良好 雲母、長石、砂粒少量 内：灰白　外：黄橙	底部小片 SI-5ab覆土中	内面一部煤付着。	273	
SI-6	1	SI-6覆土	須恵器 坏	口径：　14.0 器高：　4.5 底径：　7.4	ロクロ成形 (外)体下端:ヘラケズリ後ナデ、底:回転ヘラ切り。	良好 長石少量 内外：灰	ほぼ完形 覆土中		273	143
SI-6	2	SI-6覆土 SI-6No.2	須恵器 高台付坏	口径：(16.2) 器高：　6.5 底径：　13.5	ロクロ成形 (外)体下端から底:回転ヘラケズリ後ロクロナデ。 高台貼付。	良好 砂粒、長石、雲母少量 内：浅黄橙　外：浅黄橙～灰白（外口縁）	3/5遺存 住居北東部覆土中・覆土中		273	143
SI-6	3	SI-6No.3	土師器 鉢？	口径：　15.1 器高：［7.6］ 底径：　5.0	ロクロ成形 (外)体下端:手持ちヘラケズリ。 (内)体:放射状ナデ、体下端:ヘラナデ・ナデ。	良好 砂粒、長石少量 内外：浅黄橙	ほぼ完形 住居北東部床直	外面一部煤付着。	273	143
SI-6	4	SI-6覆土	土師器 蓋？	口径：(10.0) 器高：［1.8］	(外)手持ちヘラケズリ後横位ヘラミガキ。 (内)ナデ。	良好 長石、砂粒、赤色粒少量 内外：橙	口縁から体部小片 覆土中	外面剥離著しい。内面煤付着。	273	
SI-6	5	SI-6覆土 SI-6カマド	土師器 甕	口径：　19.0 器高：［7.0］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:横位ヘラケズリ、胴下:斜縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 砂粒、長石、赤色粒、雲母少量 内外：橙	口縁部1/2遺存 カマド内・覆土中	内外面一部煤付着。	273	

SI-6	6	SI-6No.4 SI-6カマド SI-6覆土	土師器 甕	口径：(23.0) 器高：［8.6］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:横位ヘラケズリ、胴下:斜縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:ヘラナデ。	良好 砂粒少量 内外：橙	口縁部から胴上部1/5遺存 北東部床直・カマド内・覆土中		273	
SI-6	7	SI-6No.1	石器 紡錘車 (流紋岩質凝灰岩)	外径：　4.3 高：　3.0 孔径：　0.8 重：　78.7			完形 住居北西部床上 4cm		273	143
SI-7	1	SI-7覆土	須恵器 坏	口径：(14.0) 器高：　4.0 底径：　8.0	ロクロ成形 (外)底:不定方向ヘラケズリ。	良好 雲母、長石、砂粒少量 内外：白灰	2/5遺存 覆土中		273	143
SI-7	2	SI-7覆土	須恵器 坏	口径：(14.6) 器高：　4.4 底径：(9.2)	ロクロ成形 (外)体下端:横位ヘラケズリ、底:一定方向ヘラケズリ。	良好 長石、石英、雲母、砂粒少量 内外：灰白	1/4遺存 覆土中		273	
SI-7	3	SI-7床下	須恵器 坏	器高：［1.8］ 底径：(8.4)	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラケズリ。	良好 長石微量 内外：白灰	底部1/3遺存 床下		273	
SI-7	4	SI-7覆土	須恵器 甕	不明	(外)平行叩き (内)ナデ	良好 長石、砂粒微量 内外：青灰	胴部小片 覆土中		273	
SI-7	5	SI-7覆土	須恵器 甕	不明	(外)平行叩き、木口状工具によるナデ。 (内)同心円叩き押さえ。	良好 長石多量 内外：灰	胴部小片 覆土中		273	
SI-7	6	SI-7覆土	土師器 甕	口径：(14.0) 器高：［5.3］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位ヘラナデ。	良好 砂粒、赤色粒少量 内：にぶい橙　外：赤橙	口縁部から胴部小片 覆土中		273	
SI-7	7	SI-7覆土	土師器 甕	口径：(21.0) 器高：［4.3］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上端:横位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上端:横位ヘラナデ。	良好 雲母、長石微量 内外：明赤褐	口縁部小片 覆土中		273	
SI-7	8	SI-7覆土	土師器 甕	口径：(20.0) 器高：［6.6］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:ヘラナデ。	良好 砂粒、石英、雲母少量 内：にぶい黄橙　外：にぶい橙	口縁から胴上部小片 覆土中		273	
SI-7	9	SI-7床下	土師器 甕	口径：(12.8) 器高：［4.8］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:斜位ヘラナデ。	良好 砂粒、石英多量 内：暗灰黄　外：オリーブ黒	口縁部から胴上部小片 床下		273	
SI-7	10	SI-7覆土	土師器 甕	口径：(26.0) 器高：［3.2］	(外内)ヨコナデ。	良好 砂粒、雲母少量 内：灰　外：にぶい黄橙	口縁部小片 覆土中	内面一部煤付着。	273	
SI-7	11	SI-7覆土	土師器 甕	器高：［2.0］ 底径：　6.0	(外)胴下端:縦斜位ヘラケズリ、底:木葉痕。 (内)ナデ。	良好 雲母、砂粒少量 内：暗灰　外：淡黄	底部破片 覆土中		274	
SI-7	12	SI-7	鉄製品 刀子	長：［15.5］ 幅：　1.6 厚さ：　0.5			刃先欠損 住居西部床直	柄に木質遺存。	274	143
SI-8	1	SI-8覆土	須恵器 蓋	口径：(12.0) 器高：［2.1］	ロクロ成形 (外)天井:回転ヘラケズリ。	良好 長石少量 内外：灰	つまみ剥離、口縁部から天井部小片 覆土中		274	
SI-8	2	SI-8カマド (床下)	須恵器 坏	口径：　14.3 器高：　4.6 底径：　9.2	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り後ナデ。	良好 長石、砂粒少量 内外：灰	口縁部から体部1/3遺存 カマド火床面		274	143
SI-8	3	SI-8覆土	須恵器 坏	口径：(13.5) 器高：　3.8 底径：　7.4	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラケズリ。	良好 長石、砂粒少量 内外：白灰	1/5遺存 覆土中		274	
SI-8	4	SI-8No.5	須恵器 短頸壺	口径：　11.0 体大：(21.2) 器高：［12.0］	ロクロ成形 (外)体上部:沈線巡る。	良好 長石、砂粒少量混入 内：灰白(口縁:暗灰、体:灰) 外：暗赤褐	口縁部1/2、体部1/5遺存 住居南部床直	口縁部外面上端部と体部上部に自然釉付着。	274	143
SI-8	5	SI-8覆土	土師器 甕	口径：(24.6) 胴大：(26.0) 器高：［14.3］	(外)口縁:ヨコナデ、胴:強いヨコナデ、一部平行叩き、ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:ヨコナデ・ヘラナデ。	良好 砂粒、長石少量 内外：浅黄橙	口縁部から胴部1/5遺存 覆土中	外面一部煤付着。	274	
SI-8	6	SI-8覆土	土師器 甕	口径：(13.2) 胴大：　15.4 器高：　13.4 底径：　6.2	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:ナデ、胴下:斜位ヘラケズリ、底:ヘラケズリ後ナデ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:ヨコナデ・ナデ。	良好 長石、砂粒少量混入 内外：浅黄橙	1/2遺存 覆土中	外面一部煤付着。	274	
SI-8	7	SI-8覆土	土師器 甕	口径：(20.6) 器高：［14.0］	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ後ヨコナデ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ・強いナデ。	良好 砂粒少量 内：橙　外：浅黄橙	口縁部から胴部小片 覆土中	内外面一部煤付着。内面一部炭付着。	274	
SI-8	8	SI-8覆土	土師器 甕	口径：(20.6) 器高：［5.7］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上端:横位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上端:横位ヘラナデ・ナデ。	良好 長石、砂粒微量 内外：明赤褐	口縁部小片 覆土中		274	
SI-10	1	SI-10No.1	土師器 甕	口径：　15.3 器高：［21.0］	(外)口縁:ヨコナデ、胴:ナデ。 (内)口胴上端:ヨコナデ、胴:ナデ。	良好 長石、砂粒やや多い 内：浅黄（下部：黒褐） 外：浅黄（下部：橙）	底部欠損 北西部床直	胴部外面中央に帯状の煤付着し、下部被熱により赤変。 胴部内面下部煤付着。	274	143

SI-11	1	SI-11覆土	土師器 高台付坏	口径：　14.8 器高：［5.6］ 底径：　8.2	(外)体:ヨコナデ、体下:手持ちヘラケズリ後ナデ。 (内)黒色処理、体:横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 長石、砂粒少量 内：オリーブ黒　外：黄橙	3/5遺存、高台剥離 覆土中	外面一部煤付着。	274	143
SI-11	2	SI-11覆土	土師器 坏	口径：(15.0) 器高：［4.8］	(外)体:不明 (内)黒色処理、体:横位ヘラミガキ、体下端:一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒、長石少量 内：オリーブ黒　外：にぶい黄	口縁部から体部1/2遺存、外面摩滅 覆土中		274	
SI-12	1	SI-12No.1 SI-12覆土	土師器 高台付坏	口径：　16.6 器高：　6.7 底径：　8.0	ロクロ成形 高台貼付。	良好 砂粒、雲母少量 内外：浅黄橙	ほぼ完形 住居南東部カマド前面床直		274	143
SI-13	1	SI-13覆土	土師器 甕	口径：(12.6) 器高：［6.6］	(外)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ後縦位ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内外：赤褐	口縁部から胴部小片 覆土中		274	
SI-13	2	SI-13覆土	土師器 甑	口径：(22.0) 器高：　20.5 底径：　(6.8)	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ後縦位ヘラミガキ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラミガキ、胴下端:横位ヘラケズリ。	良好 長石多量、砂粒少量 内外：にぶい橙	2/5遺存 覆土中		274	
SI-14	1	SI-14カマド	須恵器 坏	口径：　14.4 器高：　4.2 底径：　8.4	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラケズリ後ナデ。	良好 砂粒少量 内外：灰白	3/5遺存 カマド内		274	143
SI-14	2	SI-14貼床 SI-14P2	須恵器 坏	口径：(13.7) 器高：　4.0 底径：　(8.0)	ロクロ成形 (外)体下端:手持ちヘラケズリ、底:不定方向ヘラケズリ。	良好 長石、雲母、砂粒少量 内外：灰白	2/5遺存 貼床・P2	口縁部外面一部煤付着。	274	143
SI-14	3	SI-14覆土	須恵器 坏	口径：(14.5) 器高：　4.6 底径：　9.3	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り後ヘラケズリ・ナデ。	良好 長石多量 内外：灰	2/5遺存 覆土中	底部外面に「×」のヘラ記号あり。	274	144
SI-14	4	SI-14覆土	須恵器 蓋	器高：［1.6］	ロクロ成形	良好 長石少量 内外：灰白	つまみ部のみ遺存 覆土中		274	
SI-14	5	SI-14覆土	須恵器 高台付坏	口径：(10.4) 器高：　4.4 底径：　7.8	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラケズリ。 高台貼付	良好 長石少量 内外：灰白	1/3遺存 覆土中		274	144
SI-14	6	SI-14覆土	土師器 埦	口径：　14.0 器高：　6.7	(外)口縁:横位ヘラミガキ、体:手持ちヘラケズリ後斜縦位ヘラミガキ、底:ヘラケズリ後ヘラミガキ。 (内)黒色処理、口縁:横位ヘラミガキ、体:斜位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内：黒　外：橙	3/4遺存 覆土中	外面一部煤付着。	274	144
SI-14	7	SI-14カマド SI-14覆土	土師器 甕	口径：(21.0) 器高：［14.4］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上端:横斜位ヘラケズリ、胴:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 砂粒少量 内外：橙	口縁部3/5、胴部1/5遺存 カマド内・覆土中		275	
SI-14	8	SI-14覆土	土師器 甕	器高：［5.8］ 底径：(10.4)	(外)胴下:縦位ヘラケズリ、底:不定方向ヘラケズリ。 (内)横位ヘラナデ。	良好 砂粒少量 内：淡黄　外：にぶい橙	底部1/2遺存 覆土中		275	
SI-15	1	SI-15覆土	土師器 甕	器高：［11.4］ 底径：(11.6)	(外)胴中:ナデ、胴下:横位ヘラケズリ、底:ヘラケズリ後ナデ。 (内)胴:横位ヘラナデ。	良好 砂粒少量 内：浅黄　外：黒褐	胴下部小破片 覆土中		275	
SI-15	2	SI-15覆土	土師器 甑	口径：　23.8 器高：　28.3 底径：　19.0	(外)口縁:ヨコナデ、一部指頭痕、胴:ナデ後一部縦位ヘラナデ、胴下端:粗いヨコナデ・指ナデ、底:指ナデ、指頭痕残す。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ・一部縦位ヘラナデ、胴下端から底:横位ヘラケズリ・ナデ。	良好 砂粒、長石少量 内外：明黄褐	口縁部2/5遺存、胴部から底部ほぼ完形 覆土中	体部粘土紐接合痕残す。 把手貼付、2カ所対置。 底面孔は4カ所（焼成前穿孔）。	275	144
SI-16・19	1	SI-16No.1	須恵器 坏	口径：　12.8 器高：　3.7 底径：　6.8	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り後ナデ。	良好 長石、砂粒少量 内外：灰	ほぼ完形。 SI-16東部床直、倒立状態で2と重なる。		275	144
SI-16・19	2	SI-16No.1	須恵器 坏	口径：　12.8 器高：　3.5 底径：　6.4	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り後ナデ	良好 長石、砂粒少量 内外：灰	口縁部から底部2/3遺存 SI-16東部床直、倒立状態で1と重なる。		275	144
SI-16・19	3	SI-16・19P6	須恵器 高台付坏	口径：(14.4) 器高：　(6.4) 底径：　(9.5)	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラケズリ 高台貼付	良好 砂粒少量 内外：白灰	1/5遺存 SI-19P6覆土中		275	
SI-16・19	4	SI-16・19P1	土師器 高台付坏	口径：(16.6) 器高：　6.2 底径：(10.0)	ロクロ成形 (外)体下:ヘラケズリ、底:ヘラケズリ。 (内)黒色処理、体:横位ヘラミガキ。 高台貼付。	良好 砂粒、長石、雲母微量 内：黒　外：にぶい橙	1/5遺存 SI-19P1覆土中	口縁部外面煤付着。	275	
SI-16・19	5	SI-16No.2	土師器 坏	口径：　13.0 器高：　4.1 底径：　6.5	ロクロ成形 (外)体下端:手持ちヘラケズリ、底:回転糸切り後ヘラケズリ・ナデ。 (内)黒色処理、ロクロナデ後横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内：黒　外：淡黄	3/4遺存 SI-16北東コーナ壁際	外面1/2程煤付着。	275	144
SI-16・19	6	SI-16覆土	土師器 坏	器高：［1.3］ 底径：　6.4	(外)体下:手持ちヘラケズリ、底:回転ヘラケズリ。 (内)黒色処理、横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒微量 内：黒　外：淡黄	底部小片 SI-16・19覆土中		275	
SI-16・19	7	SI-16覆土	土師器 坏	器高：［1.6］ 底径：　5.4	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り。 (内)黒色処理、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒微量 内：黒　外：淡黄	底部遺存 SI-16・19覆土中		275	

SI-16・19	8	SI-16覆土	土師器 鉢	口径：(21.4) 器高：　10.5 底径：　(9.8)	(外)口縁:ヨコナデ、体:横位ヘラケズリ、底:摩滅調整不明。 (内)黒色処理、体:横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒、石英、雲母微量 内：黒　外：灰白	口縁部から底部2/5遺存 SI-16・19覆土中	外面一部煤付着。	275	144
SI-16・19	9	SI-16覆土	須恵器 甕	不明	(外)平行叩き。 (内)同心円叩き押さえ。	良好 長石、砂粒少量 内外：暗青灰	胴部小片 SI-16・19覆土中		275	
SI-16・19	10	SI-16覆土	土師器 甕	口径：(20.8) 器高：［9.2］	(外)口縁:ヨコナデ、胴:ナデ後縦位ヘラケズリ。 (内)黒色処理、横位ヘラミガキ	良好 砂粒少量 内：黒　外：黒褐	口縁部から胴部小片 SI-16・19覆土中	外面一部煤付着。	275	
SI-16・19	11	SI-16覆土	土師器 甕	口径：(21.0) 器高：［8.9］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:斜位強いナデ。	良好 砂粒少量 内：にぶい橙　外：橙	口縁から胴上部小片 SI-16・19覆土中		275	
SI-16・19	12	SI-16覆土	土師器 甕	口径：(12.0) 器高：［4.0］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:ナデ、胴中:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:斜位ナデ。	良好 砂粒微量 内外：淡黄橙	口縁部から胴上部小片 SI-16・19覆土中	胴部外面縦位ひび割れ顕著。 内外面一部煤付着。	275	
SI-16・19	13	SI-16・19P6	土師器 甕	口径：(19.6) 器高：［6.7］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位ヘラナデ。	良好 砂粒多量 内外：橙	口縁部1/3遺存 SI-19P6内		275	
SI-16・19	14	SI-16覆土	土師器 甕	口径：(20.0) 器高：［7.0］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位ヘラナデ。	良好 砂粒微量 内外：橙	口縁部から胴上部小片 SI-16・19覆土中		275	
SI-16・19	15	SI-16覆土 SI-16床下	土師器 甕	口径：(17.0) 器高：［5.3］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位ヘラナデ。	良好 長石、砂粒少量 内：にぶい橙　外：明黄褐	口縁部小片 SI-16・19覆土中・床下		276	
SI-16・19	16	SI-16覆土	土師器 甕	口径：(17.8) 器高：［6.5］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位ヘラナデ。	良好 長石、砂粒少量 内外：淡黄	口縁部小片 SI-16・19覆土中	外面一部煤付着。	276	
SI-16・19	17	SI-16覆土	土錘	長：　［4.5］ 幅：　1.7 厚：　1.6 孔径：　0.3 重：　11.2	ナデ	外：にぶい黄橙	上端欠損 SI-16・19覆土中		276	144
SI-16・19	18	SI-16床下	土錘	長：　3.5 幅：　1.6 厚：　1.6 孔径：　0.3 重：　8.7	ナデ	外：灰黄褐	完形 SI-16床下あるいはSI-19覆土中		276	144
SI-16・19	19	SI-16覆土	鉄製品 刀子	長：　［4.3］ 幅：　［1.2］ 厚：　0.4			基部遺存 SI-16・19覆土中		276	144
SI-18	1	SI-18覆土	須恵器 蓋	口径：(16.4) 器高：［3.0］	ロクロ成形 (外)天井:回転ヘラケズリ。	良好 長石、砂粒少量 内外：灰白	口縁部から天井部1/5遺存 覆土中	SI-48出土遺物の混入か。	276	
SI-18	2	SI-18覆土	須恵器 蓋	口径：　15.6 器高：　3.2	ロクロ成形 (外)天井:回転ヘラケズリ。	良好 砂粒、長石少量 内外：灰	口縁部から天井部2/3遺存 覆土中	天井部外面に焼成前の直線的な線刻あり。ヘラ記号。SI-48出土遺物の混入か。	276	144
SI-18	3	SI-18覆土	須恵器 坏	口径：(14.6) 器高：　3.8 底径：　7.4	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラケズリ。	良好 砂粒、長石少量 内外：灰白	1/5遺存 覆土中	SI-48出土遺物の混入か。	276	
SI-18	4	SI-18貼床	土師器 坏	口径：(14.0) 器高：　4.2 底径：　(6.5)	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラケズリ。 (内)黒色処理、体:横位ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内外：黒	1/5遺存 貼床中		276	
SI-18	5	SI-18貼床	土師器 坏	口径：(13.6) 器高：　4.6 底径：　(6.0)	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラケズリ。 (内)体:横位ヘラミガキ。	良好 長石、砂粒少量 内：橙　外：褐灰	2/5遺存 貼床中		276	144
SI-18	6	SI-18覆土	土師器 坏	不明	ロクロ成形	良好 砂粒少量 内外：浅黄橙	口縁部小片 覆土中	体部外面に焼成前の線刻あり。ヘラ記号「艹」。	276	
SI-18	7	SI-18貼床	土師器 坏	器高：［1.5］ 底径：　(6.4)	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り後周辺部・体下部回転ヘラケズリ。 (内)黒色処理、体:横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 長石、砂粒少量 内：黒　外：灰白	底部1/3遺存 貼床中		276	
SI-18	8	SI-18貼床	土師器 高台付坏	器高：［1.9］	ロクロ成形 (内)黒色処理、底:ヘラミガキ。	良好 砂粒微量 内：黒　外：黄橙	底部小片 貼床中	底部外面墨書あり。不明。	276	
SI-18	9	SI-18貼床	須恵器 甕	不明	(外内)ナデ。	良好 砂粒少量 内外：灰白	胴部小片 貼床中		276	
SI-18	10	SI-18貼床	須恵器 壷？	不明	ロクロ成形	良好 砂粒少量 内外：灰白	小片 貼床中		276	
SI-18	11	SI-18カマド SI-18覆土	土師器 甕	口径：(18.8) 器高：［27.2］	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 砂粒、小石粒多量 内：にぶい橙　外：浅黄橙	口縁部から胴部2/5遺存 カマド内・覆土中	内外面一部煤付着。	276	144

SI-18	12	SI-18貼床	土師器 甕	口径：(18.6) 器高：［7.5］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位ヘラナデ。	良好 砂粒少量 内：にぶい橙　外：褐灰	口縁部から胴上部小片 貼床中		276	
SI-18	13	SI-18覆土	鉄製品 鎌	長：　［8.3］ 幅：　3.7 厚：　20.2			先端部欠損 覆土中		276	144
SI-18	14	SI-18覆土	鉄製品 釘	長：　［3.4］ 幅：　0.4 厚：　0.4			先端部･頭部欠損 覆土中		276	144
SI-18	15	SI-18覆土	鉄製品 刀子	長：　［7.6］ 幅：　0.8 厚：　0.4			先端部･柄部欠損 覆土中		276	144
SI-21･22	1	SI-21覆土	土師器 甕	不明	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:斜位ヘラナデ。 (内)口縁:ヨコナデ一部ヘラケズリ。	良好 砂粒少量 内外：橙	口縁部小片 SI-21覆土中		276	
SI-21･22	2	SI-21覆土	土師器 甕	不明	(外内)ヨコナデ。	良好 砂粒微量 内外：橙	口縁部小片 SI-21覆土中		276	
SI-21･22	3	SI-21･22覆土	土師器 甕	器高：［8.5］ 底径：(8.4)	(外)胴下:縦位ヘラケズリ･一部縦位ヘラミガキ、胴下端:横･斜位ヘラケズリ、底:ナデ。 (内)斜位ヘラナデ。	良好 砂粒少量 内：浅黄　外：黄橙	胴下部から底部1/5遺存 SI-21･22覆土中		276	
SI-23	1	SI-23床下	土師器 坏	口径：(13.4) 器高：(4.3) 底径：(5.0)	ロクロ成形 (内)黒色処理、横位ヘラミガキ。	良好 砂粒微量 内：黒　外：淡黄（口縁近くは黒）	口縁部から体部1/4遺存 覆土中	口縁部外面煤付着。	276	
SI-23	2	SI-23床下	土師器 坏	口径：(12.4) 器高：［4.3］	ロクロ成形 (外)体下端:手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理、横位ヘラミガキ。	良好 砂粒、長石少量 内：黒　外：黄橙	口縁部から体部1/5遺存 覆土中	外面一部煤付着。体部外面墨書あり。「土盛ヵ　□」。	276	
SI-25	1	SI-25覆土	土師器 皿	口径：(9.6) 器高：2.0 底径：4.4	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り	良好 砂粒少量 内外：橙	2/5遺存 覆土中	内外面一部煤付着。	276	
SI-25	2	SI-25床下	土師器 坏	口径：(13.5) 体大：(14.5) 器高：［4.1］	(外)口縁:ヨコナデ後一部横位ヘラミガキ、体:手持ちヘラケズリ。 (内)口縁:横位ヘラミガキ、体:放射状ヘラミガキ。	良好 砂粒微量 内外：浅黄	口縁部から体部小片 SI-25床下	外面一部煤付着。	277	
SI-25	3	SI-25カマド SI-27カマド	土師器 坏	口縁：(15.2) 器高：［6.8］	(外)口縁:ヨコナデ、体:手持ちヘラケズリ。 (内)漆仕上げ、口縁:横位ヘラミガキ、体:横位ヘラミガキ後放射状ヘラミガキ。	良好 雲母、砂粒少量 内：黒褐　外：にぶい褐	1/3遺存 カマド内･住居南西部覆土中		277	
SI-25	4	SI-25No.4 SI-25床下 SI-25覆土	土師器 坏	口径：14.0 器高：4.4	(外)口体:ヨコナデ、底:手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理、口体:横位ヘラミガキ、底:放射状ヘラミガキ。	良好 砂粒微量 内：黒　外：橙	ほぼ完形 住居北西部床直上･床下･覆土内	外面1/2煤付着。	277	144
SI-25	5	SI-25覆土	土師器 高坏	器高：［3.1］ 脚裾径:(9.2)	(外)体下:縦位ヘラケズリ、台部:ヨコナデ。 (内)横位ヘラナデ･ナデ。	良好 砂粒少量 内外：赤	脚部小片 覆土中	一部煤付着。内外赤彩残存。	277	
SI-25	6	SI-25床下	土師器 短頸壷	口径：(6.0) 体大：(9.2) 器高：5.6	(外)横位ヘラミガキ。 (内)口縁:ヨコナデ、体:ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内外：橙	1/2遺存 床下		277	144
SI-25	7	SI-25覆土 SI-25床下	土師器 甕	口径：(14.0) 器高：10.1 底径：5.8	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ、胴下端:指ナデ、底:ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 砂粒少量 内外：にぶい橙	1/3遺存 床下･覆土中	内面上半部煤付着。 外面胴部被熱赤変。	277	144
SI-25	8	SI-25No.5.6 SI-25カマド SI-25覆土	土師器 甕	口径：(15.4) 器高：12.7 底経：7.2	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ、胴下端:指ナデ、底:ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位(一部縦位)ヘラナデ。	良好 砂粒少量 内：明黄褐　外：橙	3/5遺存 住居北西部隅床直･北西部床直･カマド内･覆土中	内面上部煤付着。 外面一部煤付着。 被熱赤変。	277	145
SI-25	9	SI-25No.1 SI-25覆土	土師器 甕	口径：(13.6) 器高：14.4 底径：5.6	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ後ナデ、胴下端:指ナデ、底:ヘラケズリ、ナデ･ミガキ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 長石、砂粒少量 内：黒　外：赤橙	2/3遺存 カマド東側床直･覆土中	外面一部煤付着。	277	145
SI-25	10	SI-25覆土 SI-27カマド	土師器 甕	口径：(15.0) 胴大：(22.2) 器高：[20.3]	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 長石、石英、砂粒少量 内外：橙	口縁部から胴部1/5遺存 住居南西部覆土･覆土中	内外面一部煤付着。	277	
SI-25	11	SI-25床下	土師器 甕	口径：(15.2) 器高：［9.5］	(外)口縁:ヨコナデ、胴:ヘラケズリ後ナデ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 雲母、長石、砂粒少量 内：灰黄褐　外：橙	口縁部から胴小片 床下		277	
SI-25	12	SI-27No.1 SI-27No.2 SI-27カマド	土師器 甕	口径：(23.8) 胴大：(24.2) 器高：[12.7]	(外)口縁:ヨコナデ、胴:横斜位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 長石、砂粒少量 内外：浅黄	口縁部から胴上部1/5遺存 住居南西部覆土中	一部煤付着。	277	
SI-25	13	SI-25No.2 SI-25カマド SI-25床下	土師器 甕	胴大：24.2 器高：[20.0] 底径：6.8	(外)胴:ヘラケズリ、一部縦位ヘラミガキ、胴下端:指ナデ、底:不定方向ヘラケズリ。 (内)胴:横位ヘラナデ。	良好 長石、砂粒少量 内：にぶい黄橙　外：褐	胴部から底部1/3遺存 カマド内火床面上20cm･カマド内･床下	外面一部煤付着。	277	

SI-25	14	SI-25No.3 SI-25カマド SI-25覆土 SI-27カマド	土師器 甕	器高：[20.0] 底径：　7.8	(外)胴:縦位ヘラケズリ、底:ヘラケズリ。 (内)胴:横位ヘラナデ。	良好 砂粒少量 内外：にぶい黄橙	胴部から底部1/3 遺存 カマド西袖上・カマド内・南西部・覆土中	一部煤付着。	277	
SI-26	1	SI-26覆土	土師器 坏	体大：(13.4) 器高：[3.2]	(外)口縁:ヨコナデ、体:手持ちヘラケズリ後ナデ。 (内)ヨコナデ。	良好 雲母、砂粒微量 内外：黒褐	体部小片 覆土中		277	
SI-26	2	SI-26覆土	土師器 甕	器高：[4.4] 底径：　6.4	(外)胴下:ヘラケズリ後ナデ、胴下端:指ナデ、底:木葉痕。 (内)ヘラナデ。	良好 長石、砂粒少量 内：にぶい橙　外：橙	底部破片 覆土中		277	
SI-26	3	SI-26覆土	土師器 甕	口径：18.2 胴大：24.7 器高：30.0 底径：(8.3)	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ後一部ヘラミガキ、底:ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 長石、石英、砂粒少量 内：黄橙　外：淡黄	2/5遺存 覆土中		277	145
SI-28	1	SI-28床下	須恵器 坏	器高：[0.8] 底径：(6.7)	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り後ナデ	良好 長石少量 内外：暗青灰	底部小片 床下	底部外面に焼成前の刻みあり。ヘラ記号「艹カ」。	277	
SI-28	2	SI-28覆土	土師器 皿	口径：(9.4) 器高：1.8 底径：5.4	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り	良好 長石、砂粒少量 内外：浅黄橙	2/5遺存 覆土中		277	145
SI-28	3	SI-28覆土	土師器 皿	口径：(9.0) 器高：1.6 底径：5.0	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り	良好 長石、砂粒少量 内：明赤褐　外：浅黄	1/2遺存 覆土中	内面一部煤付着。	277	145
SI-28	4	SI-28No.2	土師器 皿	口径：9.3 器高：1.8 底径：5.5	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り	良好 長石、砂粒少量 内外：橙	完形 住居北東部覆土中		277	145
SI-28	5	SI-28覆土	土師器 高台付坏	口径：(15.8) 器高：[4.8]	ロクロ成形 (内)黒色処理、体:ロクロナデ後横位ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内：黒　外：にぶい橙	1/5遺存 覆土中		277	
SI-28	6	SI-28覆土	土師器 甑	器高：[5.0] 底径：(21.5)	(外)胴下:縦位ヘラケズリ、底:ヨコナデ。 (内)胴下:横位ヘラナデ、底:ナデ	良好 砂粒少量 内外：灰黄	底部小片 覆土中		278	
SI-28	7	SI-28覆土	石器 砥石 (砂岩)	長：[11.8] 幅：　9.6 厚：　6.1 重：[740.8]	両側面研磨面、表面両側は叩きあり。		覆土中	被熱赤変。一部煤付着。	278	145
SI-29	1	SI-29No.4	土師器 坏	口径：13.2 器高：4.2	(外)口縁下:凹線あり、口体:ヨコナデ、底:手持ちヘラケズリ。 (内)口体:横位ヘラミガキ、底:放射状ヘラミガキ。	良好 長石、砂粒少量 内：赤　外　口：明赤褐、底：暗灰	3/4遺存 カマド前面床直	口縁部外面、内面全体赤彩残存。内面剥離著しい。	278	145
SI-29	2	SI-2No.3 SI-29覆土	土師器 坏	口径：(11.7) 器高：[5.2]	(外)口縁:ヨコナデ、体底:手持ちヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、体底:ヘラナデ後放射状ヘラミガキ。	良好 砂粒、雲母、石英少量 内：にぶい黄橙　外：明黄褐	1/3遺存 カマド内火床直上・覆土中		278	
SI-29	3	SI-29No.5	土師器 甕	口径：13.5 器高：13.2 底径：6.5	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ・ナデ、胴下:横位ヘラケズリ・ナデ、胴下端:指ナデ、底:不定方向ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 砂粒、長石少量 内外：明黄褐	完形 住居南東床直倒立	外面2/3煤付着。	278	145
SI-29	4	SI-29No.6	土師器 甕	口径：13.5 器高：11.5 底径：6.4	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ・ヘラナデ、胴下:斜位ヘラケズリ、胴下端:指ナデ、底:一定方向ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 砂粒、小石少量 内：黒　外：橙	完形 住居南部床直	口縁部から胴上部外面に煤付着。	278	145
SI-29	5	SI-29No.2 SI-29覆土	土師器 甕	口径：15.0 器高：11.2 底径：6.2	(外)口縁:ヨコナデ、胴:横位ナデ・横位軽いケズリ、胴下端:指ナデ、底:未調整。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 長石、砂粒少量 内：にぶい橙、口縁から胴上半は黒褐　外：橙	ほぼ完形 P1開口部壁際・覆土中	外面被熱。内面煤付着。	278	145
SI-29	6	SI-29No.3	土師器 甕	胴大：18.5 器高：[22.5] 底径：5.0	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ、胴中:斜位ヘラケズリ、胴下:横位ヘラケズリ、胴下端:指ナデ、底:一定方向ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 長石、砂粒少量混入 内：黒褐　外：にぶい褐	胴部から底部3/5 遺存 カマド内燃焼部	外面1/2程度煤付着。	278	
SI-29	7	SI-29No.1 SI-29覆土	土師器 甑	口径：19.0 器高：20.2 底径：7.7	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ後縦位ヘラミガキ、胴下:横位ヘラケズリ後縦位ヘラミガキ、胴下端:横位ヘラケズリ。	良好 長石、砂粒少量 内外：黄橙	ほぼ完形 P1開口部・覆土中	胴部外面一部煤付着	278	145
SI-29	8	SI-29No.9	石製 支脚 (流紋岩質凝灰岩(石英斑岩様))	長：20.6 幅：　7.5 厚：　5.7 重：1343.4			完形 住居中央部床面直上	上部被熱赤変。下部はもともと欠損。	278	145

SI-30	1	SI-30床下	土師器 坏	口径：(15.8) 器高：［4.4］	(外)口体:ヨコナデ後一部横位ヘラミガキ、底:手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理、口体:横位ヘラミガキ。	良好 長石、砂粒少量 内：黒　外：にぶい黄褐	口縁から体部小片 床下		278	
SI-30	2	SI-30No.1	土師器 坏	口径：14.6 器高：4.6	(外)口体:ヨコナデ後一部横位ヘラミガキ、底:手持ちヘラケズリ。 (内)口体:横ナデ後横位ヘラミガキ、底:放射状ヘラミガキ。	良好 砂粒、小石粒微量 内:オリーブ黒　外:にぶい黄褐	1/2遺存 カマド東袖際床直上		278	145
SI-30	3	SI-30覆土	土師器 坏	口径：(13.0) 器高：4.6	(外)口体:ヨコナデ後一部横位ヘラミガキ、底:手持ちヘラケズリ。 (内)口体:ヨコナデ後横位ヘラミガキ、底:放射状ヘラミガキ。	良好 砂粒、小石粒少量 内外：にぶい黄褐	1/3遺存 覆土中		278	
SI-30	4	SI-30覆土	土師器 甕	口径：(13.8) 器高：14.0	(外)口縁：ヨコナデ、胴：縦位ヘラケズリ、胴下:横位ヘラケズリ、底：一定方向ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 砂粒、小石粒少量混入 内：にぶい黄褐　外：黄橙	4/5遺存 覆土中	口縁部から胴上部内面、外面の一部煤付着。	278	
SI-30	5	SI-30No.2 SI-30覆土	土師器 甕	胴大：(20.6) 器高：[17.8] 底径：6.8	(外)胴:縦位ヘラケズリ、底:ナデ。 (内)胴：横位ヘラナデ。	良好 長石、砂粒少量 内：にぶい橙　外：橙	胴下部から底部3/5遺存 カマド燃焼部・覆土	外面煤付着。	278	
SI-31	1	SI-31覆土	須恵器 蓋	口径：(17.3) 器高：［1.3］	ロクロ成形	良好 砂粒微量 内外：灰白	口縁部小片 覆土中		279	
SI-31	2	SI-31覆土	須恵器 坏	口径：(13.6) 器高：［3.8］	ロクロ成形	良好 長石、砂粒少量 内外：灰	口縁部から体部1/5遺存 覆土中		279	
SI-31	3	SI-31覆土	須恵器 坏	器高：［2.7］ 底径：(7.0)	ロクロ成形 (外)底：ヘラ切り。	良好 長石、砂粒少量 内外：灰	体下部1/5遺存		279	
SI-31	4	SI-31覆土	土師器 坏	口径：(13.0) 器高：4.4 底径：6.4	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り後手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理、横位ヘラミガキ。	良好 砂粒微量 内：黒　外：浅黄	1/3遺存 覆土中		279	146
SI-31	5	SI-31覆土	土師器 坏	口径：(13.0) 器高：［3.6］	ロクロ成形 (内)黒色処理、横位ヘラミガキ。	良好 砂粒微量 内：黒　外：灰白	口縁部から体部小片 覆土中	体部外面墨書あり。不明。	279	
SI-31	6	SI-31床下 SI-31覆土	土師器 坏	器高：［2.4］ 底径：5.6	ロクロ成形 (外)底:糸切り後回転ヘラケズリ。 (内)黒色処理、ヘラミガキ。	良好 砂粒微量 内：黒　外：浅黄橙	底部遺存 床下・覆土中		279	
SI-31	7	SI-31覆土	土師器 坏	器高：［1.6］ 底径：7.0	ロクロ成形 (外)底：回転ヘラケズリ。 (内)黒色処理、ヘラミガキ。	良好 砂粒微量 内：黒　外：浅黄	底部遺存 覆土中		279	
SI-31	8	SI-31覆土	土師器 坏	器高：［2.4］ 底径：(6.6)	ロクロ成形 (外)底：回転糸切り。 (内)黒色処理、ヘラミガキ。	良好 砂粒微量 内：黒　外：にぶい黄橙	底部1/2遺存 覆土中	外面一部煤付着。	279	
SI-31	9	SI-31カマド	土師器 坏	器高：［1.8］ 底径：(6.0)	ロクロ成形 (外)底：回転ヘラケズリ。 (内)体:横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 長石、砂粒少量 内：浅黄橙　外：灰白	底部1/2遺存 カマド内		279	
SI-31	10	SI-31覆土	土師器 坏	器高：［1.8］ 底径：(6.0)	ロクロ成形 (外)底：回転糸切り。 (内)黒色処理、体下:横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒微量 内：黒　外：浅黄橙	底部小片 覆土中	体部外面墨書あり。不明	279	
SI-31	11	SI-31覆土	土師器 坏	不明	ロクロ成形 (外)体下部:手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理、横位ヘラミガキ。	良好 砂粒微量 内：黒　外：にぶい黄褐	口縁部小片 覆土中	体部外面墨書あり。不明	279	
SI-31	12	SI-31覆土	土師器 坏	不明	ロクロ成形 (内)黒色処理、横位ヘラミガキ。	良好 砂粒微量 内：黒　外：橙	口縁部小片 覆土中	体部外面墨書あり。「万ヵ」。	279	
SI-31	13	SI-31覆土	土師器 坏	不明	ロクロ成形 (外)体下部:手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理、横位ヘラミガキ。	良好 砂粒微量 内：黒　外：黄褐	体部小片 覆土中	体部外面墨書あり。不明	279	
SI-31	14	SI-31覆土	土師器 甕	口径：(19.0) 器高：[12.7]	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横斜位ヘラナデ。	良好 砂粒、小石粒少量 内外：浅黄橙	口縁部から胴上部1/2遺存 覆土中	外面一部煤付着。	279	146
SI-31	15	SI-31覆土	土師器 甕	口径：(20.6) 器高：[12.3]	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位ヘラナデ。	良好 砂粒少量 内外：にぶい黄橙	口縁部から胴上部小片 覆土中		279	
SI-31	16	SI-31No.2 SI-31覆土	土師器 甕	口径：(18.0) 器高：[12.2]	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラナデ。	良好 砂粒微量 内外：にぶい黄橙	口縁部から胴上部1/2遺存 住居北部床直上・覆土中		279	146
SI-31	17	SI-31覆土	土師器 甕	口径：(14.2) 器高：［8.0］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位ヘラナデ。	良好 砂粒微量 内：黄橙　外：にぶい黄褐	口縁部から胴上部1/5遺存 覆土中	内外面煤付着。	279	
SI-31	18	SI-31床下	土師器 甕	口径：(18.6) 器高：［5.3］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:斜位ヘラナデ。	良好 砂粒、小石粒少量 内外：灰白	口縁部小片 床下		279	

SI-31	19	SI-31No.3 SI-31カマド	土師器 甕	器高：[20.0] 底径：（7.4）	(外)胴:縦位ヘラケズリ、底:ナデ。 (内)胴:ヘラナデ	良好 砂粒、小石粒少量 内外：褐灰	胴下から底部1/2 遺存 住居北部床直上・ カマド内		279	
SI-31	20	SI-31No.1	土師器 甕	口径：17.2 胴大：20.2 器高：[23.2]	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:斜位ヘラナデ・ヘラケズリ、胴下:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 長石、砂粒微量 内：褐灰　外：浅黄橙	口縁部完存、胴部 1/2遺存 住居北部床直上		279	146
SI-31	21	SI-31覆土	土師器 甕	口径：(19.6) 器高：[10.0]	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:縦斜位ヘラナデ。	良好 長石、砂粒微量 内外：暗灰黄	口縁部から胴上部 小片 覆土中		279	
SI-31	22	SI-31覆土	土師器 甕	器高：[4.5] 底径：7.4	(外)胴下:縦位ヘラケズリ、胴下端:横位ヘラケズリ、底:ヘラケズリ・ナデ。 (内)胴下:横位ヘラナデ。	良好 砂粒少量 内外：赤橙	底部遺存 覆土中		279	
SI-31	23	SI-31覆土	石器 砥石 （流紋岩）	最大長[11.1] 幅：5.5 厚：4.5 重：[407.7]	長側縁4面、特に表面・右側縁研磨に使用。	灰黄	下部欠損 覆土中	全面黒色タール状の付着物あり。 裏面削痕あり。	279	146
SI-32	1	SI-32No.1 SI-32覆土	土師器 坏	口径：(15.0) 器高：6.1	(外)口縁:ヨコナデ後横位ヘラミガキ、底:手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理、口縁:ヨコナデ後横位ヘラミガキ、底:ヨコナデ後放射状ヘラミガキ。	良好 砂粒、小石粒、長石少量 内：黒　外：橙	1/3遺存 P9覆土中・覆土中		279	146
SI-32	2	SI-32床下	土師器 坏	口径：(14.8) 器高：[5.2]	(外)口縁:ヨコナデ後横位ヘラミガキ、底:手持ちヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ後横位ヘラミガキ、底:ヨコナデ後放射状ヘラミガキ。	良好 長石、砂粒少量 内外：浅黄橙	口縁部から体部 小片 床下		279	
SI-32	3	SI-32覆土	土師器 甕	口径：(17.0) 器高：[12.0]	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 砂粒、小石粒少量 内外：にぶい橙	口縁部から胴上部 小片 覆土中		279	
SI-32	4	SI-32覆土	土師器 甑	器高：[5.2] 底径：(11.0)	(外)胴下:ヘラケズリ。 (内)胴下:縦ヘラミガキ、胴下端:横位ヘラケズリ。	良好 長石、砂粒微量 内外：黄橙	底部小片 覆土中		279	
SI-33	1	SI-33覆土	灰釉陶器 長頸瓶	口径：(12.0) 器高：[1.2]	ロクロ成形 (外内)施釉。	良好 緻密 内：明オリーブ灰　外：灰白	口縁部小片 覆土中		280	
SI-33	2	SI-33覆土	灰釉陶器 長頸瓶	口径：(12.6) 器高：[4.1]	ロクロ成形 (外内)施釉。	良好 緻密 内:明オリーブ灰　外:オリーブ灰	口縁部小片 覆土中		280	
SI-33	3	SI-33覆土	須恵器 坏	口径：(13.0) 器高：3.4 底径：(6.8)	ロクロ成形	良好 長石、砂粒少量 内外：灰	小片 覆土中		280	
SI-33	4	SI-33覆土	土師器 坏	口径：(12.0) 器高：[4.1]	ロクロ成形 (外)体下端:手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理、口縁・体:横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒、長石微量 内：黒　外：にぶい黄橙	口縁部から体部 1/5遺存 覆土中		280	
SI-33	5	SI-33No.1	土師器 坏	口径：(13.8) 器高：4.3 底径：6.0	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り。 (内)黒色処理、体:横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒、雲母少量 内：黒　外：にぶい橙	3/5遺存 住居北西隅床直上		280	146
SI-33	6	SI-33覆土	土師器 甕	口径：(13.4) 器高：[5.8]	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:斜位ヘラナデ。	良好 砂粒、雲母、小石粒少量 内：暗灰　外：浅黄橙	口縁部から胴上部 小片 覆土中		280	
SI-33	7	SI-33覆土	須恵器 甑	口径：(21.5) 器高：(18.3) 底径：(14.4)	ロクロ成形 (外内)下端部:ヘラケズリ。	良好 長石、砂粒少量 内外：黄灰	口縁部から底部 1/10遺存 覆土中		280	
SI-33	8	SI-33覆土	土錘	長：4.2 幅：1.6 厚：1.5 孔径：0.4 重：11.0	ナデ	外：灰黄褐	完形 覆土中		280	146
SI-33	9	SI-33覆土	土錘	長：3.9 幅：1.6 厚：1.5 孔径：0.5 重：[9.9]	ナデ	外：黒	上端一部欠損 覆土中		280	146
SI-33	10	SI-33覆土	土錘	長：3.8 幅：1.7 厚：1.6 孔径：0.4 重：10.6	ナデ	外：黒	完形 覆土中		280	146
SI-33	11	SI-33覆土	土錘	長：4.0 幅：1.5 厚：1.5 孔径：0.4 重：8.0	ナデ	外：灰黄褐	完形 覆土中		280	146

SI-33	12	SI-33覆土	土錘	長：　3.9 幅：　1.5 厚：　1.4 孔径：　0.4 重：　[8.5]	ナデ	外：褐灰	下端一部欠損 覆土中		280	146
SI-33	13	SI-33覆土	土錘	長：　3.9 幅：　1.6 厚：　1.6 孔径：　0.4 重：　9.9	ナデ	外：黄灰	完形 覆土中		280	146
SI-33	14	SI-33覆土	土錘	長：　3.8 幅：　1.7 厚：　1.5 孔径：　0.3 重：　9.9	ナデ	外：暗灰	完形 覆土中		280	146
SI-33	15	SI-33覆土	土錘	長：　3.9 幅：　1.5 厚：　1.4 孔径：　0.4 重：　8.4	ナデ	外：にぶい橙	完形 覆土中		280	146
SI-33	16	SI-33覆土	土錘	長：　4.1 幅：　1.4 厚：　1.4 孔径：　0.4 重：　[7.8]	ナデ	外：黄灰	上端一部欠損 覆土中		280	146
SI-33	17	SI-33覆土	土錘	長：　3.7 幅：　1.6 厚：　1.6 孔径：　0.3 重：　[9.2]	ナデ	外：黒	上端一部欠損 覆土中		280	146
SI-33	18	SI-33覆土	土錘	長：　3.7 幅：　1.6 厚：　1.5 孔径：　0.4 重：　8.7	ナデ	外：褐灰	完形 覆土中		280	146
SI-33	19	SI-33覆土	土錘	長：　3.7 幅：　1.5 厚：　1.5 孔径：　0.4 重：　[8.1]	ナデ	外：黄灰	下端部摩滅 覆土中		280	146
SI-33	20	SI-33覆土	土錘	長：　3.7 幅：　1.5 厚：　1.5 孔径：　0.4 重：　7.9	ナデ	外：にぶい黄橙	完形 覆土中		280	146
SI-33	21	SI-33覆土	土錘	長：　3.7 幅：　1.7 厚：　1.5 孔径：　0.4 重：　9.0	ナデ	外：黒	完形 覆土中		280	146
SI-33	22	SI-33覆土	土錘	長：　3.5 幅：　1.4 厚：　1.5 孔径：　0.4 重：　7.0	ナデ	外：黄灰	完形 覆土中		280	146
SI-33	23	SI-33覆土	土錘	長：　3.5 幅：　1.5 厚：　1.5 孔径：　0.4 重：　8.3	ナデ	外：黒	完形 覆土中		280	146
SI-33	24	SI-33覆土	土錘	長：　3.5 幅：　1.6 厚：　1.5 孔径：　0.4 重：　7.3	ナデ	外：にぶい黄橙	完形 覆土中		280	146
SI-33	25	SI-33覆土	土錘	長：　3.5 幅：　1.5 厚：　1.5 孔径：　0.4 重：　8.0	ナデ	外：黄灰	完形 覆土中		280	146
SI-33	26	SI-33覆土	土錘	長：　3.6 幅：　1.4 厚：　1.4 孔径：　0.4 重：　[6.1]	ナデ	外：灰黄褐	上端一部欠損 覆土中		280	146
SI-33	27	SI-33覆土	土錘	長：　3.5 幅：　1.4 厚：　1.4 孔径：　0.4 重：　7.0	ナデ	外：黒褐	完形 覆土中		280	146
SI-33	28	SI-33覆土	土錘	長：　3.5 幅：　1.5 厚：　1.4 孔径：　0.5 重：　[7.2]	ナデ	外：黒	下端一部欠損 覆土中		280	146

SI-33	29	SI-33覆土	土錘	長：　3.3 幅：　1.5 厚：　1.5 孔径：　0.4 重：　7.3	ナデ	外：灰黄褐	完形 覆土中		280	146
SI-33	30	SI-33覆土	土錘	長：　3.5 幅：　1.3 厚：　1.3 孔径：　0.5 重：　5.5	ナデ	外：黒褐	完形 覆土中	両端一部歪む。	280	146
SI-33	31	SI-33覆土	土錘	長：　3.3 幅：　1.5 厚：　1.4 孔径：　0.4 重：　7.0	ナデ	外：黒褐	完形 覆土中		280	146
SI-33	32	SI-33覆土	土錘	長：　3.3 幅：　1.7 厚：　1.5 孔径：　0.4 重：　8.0	ナデ	外：橙	完形 覆土中		280	146
SI-33	33	SI-33覆土	土錘	長：　3.1 幅：　1.4 厚：　1.4 孔径：　0.5 重：　6.3	ナデ	外：橙	完形 覆土中		280	146
SI-33	34	SI-33覆土	土錘	長：　3.4 幅：　1.2 厚：　1.2 孔径：　0.4 重：　4.7	やや強いナデ	外：黄灰	完形 覆土中		280	146
SI-33	35	SI-33覆土	土錘	長：　3.3 幅：　1.5 厚：　1.3 孔径：　0.4 重：　6.1	ナデ	外：灰黄褐	完形 覆土中		280	146
SI-33	36	SI-33覆土	土錘	長：　[2.9] 幅：　1.3 厚：　1.2 孔径：　0.5 重：　[4.0]	ナデ	外：黄灰	上端欠損 覆土中		280	146
SI-34	1	SI-34No.2	須恵器 蓋	口径：12.5 器高：[3.1]	ロクロ成形 (外)天井：回転ヘラケズリ。	良好　若干ゆがむ 長石少量 内外：灰白	つまみ欠損､4/5 遺存 住居南西隅床直上		280	146
SI-34	2	SI-34床下	須恵器 蓋	口径：(14.0) 器高：[2.4]	ロクロ成形 (外)天井：回転ヘラケズリ。	良好 長石、砂粒少量 内：灰　外：灰赤	口縁部から体部小片 床下	内面一部自然釉付着。	280	
SI-34	3	SI-34覆土	須恵器 坏	口径：(14.0) 器高：　3.9 底径：(8.0)	ロクロ成形 (外)底：回転ヘラ切り後ナデ。	良好 長石、赤色粒、砂粒少量 内外：黄灰	1/3遺存 覆土中		280	146
SI-34	4	SI-34P1	須恵器 坏	口径：(12.0) 器高：　4.6 底径：(7.0)	ロクロ成形 (外)底：手持ちヘラケズリ。	良好 長石少量 内外：青灰	1/5遺存 覆土中		280	
SI-34	5	SI-34床下	須恵器 坏	器高：[3.8] 底径：(7.0)	ロクロ成形 (外)底：手持ちヘラケズリ。	良好 内外：灰	体部から底部1/5 遺存		280	
SI-34	6	SI-34覆土	須恵器 坏	不明	ロクロ成形	良好 長石微量 内外：白灰	底部小片 覆土中	底部外面に焼成前線刻あり。 ヘラ記号「卄」。	280	
SI-34	7	SI-34覆土	須恵器 高台付坏	器高：[2.3] 底径：　7.0	ロクロ成形 (外)底：回転ヘラケズリ。	良好 長石、砂粒少量 内外：灰	底部から高台部遺存 覆土中		280	
SI-34	8	SI-34No.1 SI-34P4 SI-34覆土	土師器 坏	口径：(14.2) 器高：　5.6 底径：　7.7	ロクロ成形 (外)底：手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理、ヘラミガキ。	良好 砂粒、雲母、長石少量 内：黒　外：浅黄橙	2/5遺存 住居北東隅覆土中･P6覆土中	外面煤付着。 全体に器面荒れている。	280	147
SI-34	9	SI-34覆土 SI-34P1	土師器 高台付坏	器高：[2.0] 底径：　6.8	ロクロ成形 (外)底：回転ヘラケズリ。	良好 長石、砂粒少量 内外：橙	底部から高台部遺存 P1覆土中		280	
SI-34	10	SI-34覆土	須恵器 高台付皿	器高：[2.6]	ロクロ成形 (外)底：回転ヘラケズリ。	良好 長石少量 内外：灰	底部小片 覆土中		280	
SI-34	11	SI-34覆土	須恵器 壷	器高：[5.3]	ロクロ成形	良好 長石微量 内：灰白　外：灰	体部小片 覆土中	上部外面自然釉付着。	280	
SI-34	12	SI-34覆土	須恵器 甕	不明	(外)平行叩き。 (内)ナデ押さえ。	良好 長石、砂粒少量 内外：白灰	胴部小片 覆土中		280	
SI-34	13	SI-34覆土	土錘	長：　[4.1] 幅：　1.9 厚：　1.8 孔径：　0.4 重：　[9.5]	ナデ、一部ケズリ。	外：にぶい橙	上端部欠損 覆土中		280	147
SI-35	1	SI-35覆土	須恵器 坏	口径：(13.6) 器高：　3.6 底径：(7.6)	ロクロ成形 (外) 底：回転ヘラ切り	良好 砂粒、小礫少量 内外：灰	1/4遺存 覆土中		281	

SI-35	2	SI-35覆土	須恵器 坏	口径：14.3 器高：4.4 底径：(7.6)	ロクロ成形	良好 砂粒、小礫、長石少量 内外：黄灰	1/2遺存 覆土中		281	
SI-35	3	SI-35床下	土師器 坏	口径：(13.0) 器高：3.4 底径：(6.2)	ロクロ成形 (外)体下端:手持ちヘラケズリ、底:回転糸切り。 (内)黒色処理、ヘラミガキ。	良好 砂粒、石英、雲母少量 内：黒　外：灰黄褐	1/3遺存 覆土中		281	
SI-35	4	SI-35覆土	土師器 坏	口径：(13.4) 器高：3.9 底径：6.6	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り。 (内)黒色処理、体:横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 小礫、雲母、砂粒少量 内：黒　外：にぶい黄橙	2/5遺存 覆土中		281	
SI-35	5	SI-35覆土	土師器 高台付坏	器高：[2.0] 底径：(6.8)	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り。 高台貼付。	良好 雲母、砂粒少量 内外：橙	底部1/3遺存 覆土中		281	
SI-35	6	SI-35覆土	須恵器 甕	不明	(外)平行叩き。 (内)指押さえ後ナデ。	良好 雲母、砂粒少量 内：黄灰　外：暗灰	胴部小片 覆土中		281	
SI-35	7	SI-35覆土	須恵器 壷	体大：(23.4) 器高：[10.0]	ロクロ成形 (外)体:回転ヘラケズリ。	良好 小礫、長石少量 内外：灰	体部小片 覆土中	体上半部自然釉付着。	281	
SI-35	8	SI-35No.1 SI-35カマド SI-35覆土	土師器 甕	口径：20.6 器高：31.4 底径：(7.6)	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦横位ヘラケズリ、底:ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横斜位ヘラナデ。	良好 砂粒、雲母少量 内外：にぶい褐	1/2遺存 焚き口部覆土中・カマド内・覆土中		281	147
SI-35	9	SI-35覆土	土錘	長：[4.0] 幅：1.8 厚：1.8 孔径：0.3 重：[10.1]	ナデ	外：橙	上端部欠損 覆土中		281	147
SI-35	10	SI-35覆土	鉄製品 刀子	長：[8.3] 幅：1.3 厚：0.3			基部・先端部欠損、一部木質残る。 覆土中		281	147
SI-36	1	SI-36覆土	土師器 坏	口径：(16.8) 器高：4.9	(外)口縁:ヨコナデ後一部横位ヘラミガキ、体底:手持ちヘラケズリ後ヘラミガキ。 (内)黒色処理、ヨコナデ・ナデ後ヘラミガキ。	良好 砂粒、長石少量 内：黒　外：浅黄橙	1/3遺存 覆土中		281	147
SI-36	2	SI-36覆土	須恵器 坏	器高：[2.5] 底径：9.0	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り後ヘラケズリ・ナデ。	良好 長石、砂粒微量 内外：灰白	底部遺存 覆土中		281	
SI-36	3	SI-36No.4	須恵器 甕	不明	(外)平行叩き。 (内)同心円叩き押さえ。	良好 長石少量 内外：灰白	胴部小片 住居北東隅床直上		281	
SI-36	4	SI-36覆土 SI-36No.2	土師器 甕	口径：19.0 胴大：23.2 器高：27.1 底径：8.0	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ後一部ヘラミガキ、胴下部:接合部に多くヘラミガキ、底:木葉痕。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 長石、砂粒少量 内外：浅黄橙	ほぼ完形 住居南東隅床直上・覆土中	胴下部外面剥離。内外面一部煤付着。	281	147
SI-36	5	SI-36覆土 SI-36No.1	土師器 甕	口径：20.7 器高：28.0 底径：7.0	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ、底:一定方向ヘラケズリ・ナデ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横斜位ヘラナデ、胴下部:接合痕顕著。	良好 砂粒、長石少量 内：橙　外：にぶい赤褐	ほぼ完形 カマド西側前面床直上	外面一部煤付着。	281	147
SI-37・43	1	SI-37・43覆土	灰釉陶器 埦	口径：14.8 器高：4.2	ロクロ成形 施釉、浸け掛け。 (外)体下部:回転ヘラケズリ。貼付高台。	良好 長石微量 内外:灰黄　口～体内外:灰白	ほぼ完形 口縁部から体部一部欠損 SI-37・43覆土中		282	147
SI-37・43	2	SI-37カマド SI-37床下	灰釉陶器 埦	口径：(15.0) 器高：3.0 底径：7.5	ロクロ成形 施釉、浸け掛け。 (外)底:回転糸切り後周辺回転ヘラケズリ。貼付高台。	良好 長石微量 内：黄灰　外：黄灰、黒褐	口縁部一部、体底部4/5遺存 SI-37カマド内・SI-37床下	底部煤付着。	282	147
SI-37・43	3	SI-37・43覆土	須恵器 坏	器高：[1.4] 底径：6.6	ロクロ成形 (外)底:回転切り後ナデ。	良好 砂粒、長石微量 内外：黄灰	底部1/2遺存 SI-37・43覆土中	底部外面に直線的な焼成前刻みあり。ヘラ記号か。	282	
SI-37・43	4	SI-37・43覆土	土師器 坏	口径：(14.8) 器高：5.7 底径：(6.0)	ロクロ成形 (外)体下底:手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理、横位ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内：黒　外：淡黄	口縁部から体部1/5遺存 覆土中	外面一部煤付着。	282	
SI-37・43	5	SI-37・43覆土	土師器 坏	口径：(11.8) 器高：5.2 底径：5.7	ロクロ成形 (外)体下底:手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理、口体:横位ヘラミガキ、底:一定方向(十字状)ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内：黒　外：浅黄橙	1/2遺存 SI-37・43覆土中		282	147
SI-37・43	6	SI-37・43No.9	土師器 坏	口径：13.2 器高：5.0 底径：6.4	ロクロ成形 (外)体下底:手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理、横位ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内：黒　外：淡黄	ほぼ完形 SI-37北東コーナ床直上		282	147
SI-37・43	7	SI-37・43No.2	土師器 坏	口径：(14.0) 器高：[4.6] 底径：7.2	ロクロ成形 (外)体下底:手持ちヘラケズリ。 (内)体:横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒、長石少量 内外：浅黄橙	3/5遺存 SI-37カマド燃焼部	外面一部煤付着。	282	147
SI-37・43	8	SI-37・43覆土	土師器 坏	口径：12.8 器高：4.8 底径：6.2	ロクロ成形 (外)体下底:手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理、体:横位ヘラミガキ、底:一定方向(十字状)ヘラミガキ。	良好 長石、砂粒少量 内：黒　外：淡黄	ほぼ完形 SI-37・43覆土中		282	147

SI-37・43	9	SI-37・43覆土	土師器 坏	口径：(13.0) 器高：　4.7 底径：　(7.0)	ロクロ成形 (外)体下底:手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理､体:横位ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内：黒　外：灰白	1/3遺存 SI-37・43覆土中		282	147
SI-37・43	10	SI-37・43覆土	土師器 坏	口径：(13.5) 器高：　4.0 底径：　6.0	ロクロ成形 (外)体下底:回転糸切り後手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理､体:横位ヘラミガキ、底：一定方向ヘラミガキ。	良好 長石、砂粒微量 内：黒　外：黄褐	1/3遺存 SI-37・43覆土中		282	147
SI-37・43	11	SI-37・43覆土	土師器 坏	口径：13.0 器高：　4.1 底径：　6.4	ロクロ成形 (外)体下端:手持ちヘラケズリ､底：回転糸切り。 (内):黒色処理､体:横位ヘラミガキ、底:一定方向(十字方向)ヘラミガキ。	良好 長石、砂粒少量 内：黒　外：浅黄	ほぼ完形 SI-37・43覆土中		282	147
SI-37・43	12	SI-37・43覆土	土師器 坏	口径：13.4 器高：　4.2 底径：　6.0	ロクロ成形 (外)体下底：回転ヘラケズリ (内)黒色処理､体:横位ヘラミガキ、底：一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒、小石粒少量 内：黒　外：黄褐	4/5遺存 SI-37・43覆土中		282	147
SI-37・43	13	SI-37・43覆土	土師器 坏	口縁：(13.5) 器高：　4.0 底径：　6.2	ロクロ成形 (外)体下底：回転ヘラケズリ。 (内):黒色処理､体:横位ヘラミガキ、底：一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内：黒　外：黒褐	2/5遺存 SI-37・43覆土中		282	148
SI-37・43	14	SI-37・43覆土	土師器 坏	口径：13.0 器高：　4.0 底径：　6.0	ロクロ成形 (外)体下底:回転ヘラケズリ。 (内)黒色処理､体:横位ヘラミガキ 底：一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内：黒　外：にぶい黄橙	3/5遺存 SI-37・43覆土中		282	148
SI-37・43	15	SI-37・43覆土	土師器 坏	器高：［2.9］ 底径：　6.6	ロクロ成形 (外)体下底:回転ヘラケズリ。 (内)体:横斜位ヘラミガキ､底:一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒、雲母少量 内：橙　外：褐灰	体下部から底部遺存 SI-37・43覆土中	外面一部､内面1/2煤付着。	282	
SI-37・43	16	SI-37・43覆土	土師器 坏	器高：［0.9］ 底径：　6.2	ロクロ成形 (外)体下底:回転ヘラケズリ。 (内)底:一定方向ヘラミガキ。	良好 雲母、長石、砂粒微量 内外：浅黄橙	底部片 SI-37・43覆土中		282	
SI-37・43	17	SI-37・43覆土	土師器 高台付坏	口径：15.5 器高：　5.7	ロクロ成形 (外)坏底:指ナデ､切り離し技法不明。 (内)黒色処理､体:横位ヘラミガキ、底：一定方向ヘラミガキ。 高台貼付。	良好 砂粒、雲母少量 内：黒　外：浅黄橙	2/3遺存 SI-37・43覆土中	外面一部煤付着。	282	148
SI-37・43	18	SI-37・43覆土	土師器 高台付坏	器高：［2.3］ 底径：　(7.4)	ロクロ成形 (内)黒色処理、底：ヘラミガキ。	良好 砂粒微量 内：黒　外：灰	底部から脚部1/2遺存 SI-37・43覆土中	外面煤付着。	282	
SI-37・43	19	SI-37・43覆土	土師器 高台付坏	器高：［1.9］	ロクロ成形 (外)底:一定方向ヘラミガキ､回転ヘラケズリ。 (内)黒色処理。 高台貼付。	良好 砂粒微量 内：黒　外：淡黄	底部4/5遺存 SI-37・43覆土中		282	
SI-37・43	20	SI-37・43床下	土師器 高台付坏	器高：［1.4］ 底径：　5.8	ロクロ成形 (外)底：回転ヘラケズリ。 (内)黒色処理､底:一定方向ヘラミガキ。 高台貼付。	良好 砂粒、雲母少量 内：黒　外：淡黄	底部遺存 SI-37・43床下		282	
SI-37・43	21	SI-37・43覆土	須恵器 長頸瓶	口径：(9.4) 器高：［2.0］	ロクロ成形	良好 砂粒微量 内外：灰	口縁部1/5遺存 SI-37・43覆土中		282	
SI-37・43	22	SI-37・43床下	須恵器 甕	口径：(17.8) 器高：［1.6］	ロクロ成形	良好 砂粒、長石微量 内：暗灰黄　外：灰	口縁部小片 SI-37・43床下		282	
SI-37・43	23	SI-37・43覆土	須恵器 甕	口径：(36.5) 器高：［6.8］	(外内)ナデ	良好 小礫、砂粒少量 内外：黄灰	口縁部小片 SI-37・43覆土中		282	
SI-37・43	24	SI-37・43覆土	須恵器 甕	口径：(38.5) 器高：［6.8］	(外内)ナデ	良好 小礫、砂粒少量 内：暗灰黄　外：黄灰	口縁部1/5遺存 SI-37・43覆土中		282	
SI-37・43	25	SI-37・43覆土	須恵器 甕	不明	(外)平行叩き。 (内)指押さえ後ナデ。	良好 小礫少量 内：灰　外：暗灰	胴部小片 SI-37・43覆土中	外面上部自然釉付着。	282	
SI-37・43	26	SI-37・43覆土	須恵器 甕	不明	(外)ナデ。 (内)指押さえ後ナデ。	良好 小礫、砂粒、長石少量 内外：灰	胴部小片 SI-37・43覆土中		282	
SI-37・43	27	SI-37・43覆土	須恵器 甕	不明	(外)ナデ。 (内)指押さえ後ナデ。	良好 長石微量 内外：灰	胴部小片 SI-37・43覆土中		282	
SI-37・43	28	SI-37・43覆土	須恵器 甕	不明	(外内)ナデ	良好 長石微量 内外：灰	胴部小片 SI-37・43覆土中		282	
SI-37・43	29	SI-37・43覆土	須恵器 甕	不明	(外)平行叩き、ナデ。 (内)指押さえ後ナデ。	良好 長石、小石粒少量 内外：灰	底部小片 SI-37・43覆土中		283	

SI-37・43	30	SI-37・43覆土	土師器 甕	口径：　19.0 器高：　28.9 底径：　8.5	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ、胴下端:横位ヘラケズリ、底:摩滅・不明。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラナデ、胴下:縦位ヘラナデ後横位ヘラナデ、胴下端:指ナデ。	良好 白色粒多量、雲母、石英少量 内外：にぶい褐	3/5遺存 SI-37・43覆土中		283	148
SI-37・43	31	SI-37・43覆土	土師器 甕	口径：(20.2) 器高：[12.7]	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラナデ。	良好 雲母、小礫、白色粒少量 内：灰黄褐・にぶい橙 外：にぶい褐	口縁部から胴上部1/4遺存 SI-37・43覆土中・SI-37カマド内		283	
SI-37・43	32	SI-37・43No.5	土師器 甕	口径：(19.0) 器高：[10.2]	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラナデ。	良好 雲母、小礫少量 内：黒褐、暗褐　外：灰黄褐	口縁部から胴上部1/3遺存 SI-37カマド燃焼部		283	
SI-37・43	33	SI-37・43覆土 SI-37カマド SI-37覆土	土師器 甕	口径：　20.1 器高：[15.2]	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラナデ。	良好 砂粒、白色粒、雲母少量 内外：にぶい橙	口縁部3/4、胴部一部遺存 SI-37・43覆土中・SI-37カマド内		283	
SI-37・43	34	SI-37・43覆土	土師器 甕	口径：(21.4) 器高：[6.4]	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラナデ。	良好 砂粒少量 内：橙　外：にぶい褐	口縁部小片 SI-37・43覆土中		283	
SI-37・43	35	SI-37・43床下	土師器 甕	口径：(16.7) 器高：[8.6]	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横斜位ヘラナデ。	良好 砂粒、小礫、金雲母、黒雲母多量 内：灰褐　外：にぶい橙	口縁部から胴上部1/4遺存 SI-37・43床下		283	
SI-37・43	36	SI-37・43No.6 SI-37カマド	土師器 甕	口径：(17.8) 器高：[10.2]	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦斜位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:縦斜位ヘラナデ。	良好 小礫、雲母少量 内：暗褐　外にぶい黄橙	口縁部から胴上部1/4遺存 SI-37カマド燃焼部		283	
SI-37・43	37	SI-37・43床下	土師器 甕	口径：(17.4) 器高：[6.4]	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラナデ。	良好 石英、金雲母、砂粒少量 内：橙　外：明赤褐	口縁部から胴上半部小片 SI-37・43床下		283	
SI-37・43	38	SI-37・43No.10	土師器 台付甕の ミニチュア	器高：[3.2] 底径：(3.6)	(外)底:縦位ヘラケズリ。 (内)底:斜位ナデ、台部:ナデ。	良好 石英、金雲母、小礫少量 内：褐灰、にぶい黄橙 外：にぶい黄橙	底部小片 SI-37北東コーナ床直		283	
SI-37・43	39	SI-37・43覆土	須恵器 甑	器高：[15.5] 底径：(12.0)	(外)胴:ヨコナデ、胴下端:横位ヘラケズリ。 (内)胴:ヨコナデ、胴下端:横位ヘラケズリ。	良好 雲母、小礫少量 内：灰黄、黒 外：橙、にぶい黄褐、黒	胴部から底部1/4遺存 SI-37・43覆土中	内外面黒斑あり。赤色化している。	283	
SI-37・43	40	SI-37・43覆土	石製 支脚 (流紋岩質凝灰岩)	長：　[27.8] 直径：　10.7 重：[1098.6]	縦位ケズリ		上部一部欠損 SI-37カマド火床面直立	カマドに立っている支脚と断定した。	283	148
SI-37・43	41	SI-37　覆土	土錘	長：　2.1 幅：　1.4 厚：　1.4 孔径：　0.3 重：　4.0	ナデ		完形 SI-37覆土中		283	148
SI-37・43	42	SI-37・43覆土	鉄製品 刀子	長：　[10.2] 幅：　1.3 厚：　0.3			先端部・柄部欠損 SI-37・43覆土中		283	148
SI-38	1	SI-38No.1	須恵器 坏	口径：　12.6 器高：　4.4 底径：　6.4	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り後ナデ。	良好 長石少量 内外：オリーブ灰	口縁部から底部1/2遺存 住居北東部壁際、覆土中	底部外面に焼成前刻みあり。「×」か。ヘラ記号。	284	148
SI-38	2	SI-38No.3	須恵器 坏	器高：　[2.6] 底径：　6.4	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り後ナデ。	良好 長石微量 内外：灰白	体下部から底部1/2遺存 住居中央部床直上		284	
SI-38	3	SI-38床下	須恵器 坏	器高：　[1.8] 底径：　(6.8)	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り後ナデ。	良好 砂粒少量 内外：灰	底部小片 覆土中	底部外面に焼成前刻みあり。ヘラ記号。	284	
SI-38	4	SI-38No.6	土師器 坏	口径：　12.2 器高：　4.6 底径：　6.4	ロクロ成形 (外)体下:回転ヘラケズリ、底:回転糸切り後周辺部回転ヘラケズリ。 (内)黒色処理、口体:横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒、雲母少量 内：黒　外：浅黄	ほぼ完形 住居南西部床直上		284	148
SI-38	5	SI-38No.2	土師器 坏	口径：　12.0 器高：　4.5 底径：　6.2	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り。 (内)黒色処理、口体:横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内：黒　外：浅黄橙	口縁部1/2欠損 住居南東部隅床直上		284	148
SI-38	6	SI-38覆土	土師器 坏	口径：　12.8 器高：　3.9 底径：　6.4	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り。 (内)黒色処理、口体:横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内：黒　外：浅黄橙	ほぼ完形 覆土中		284	148
SI-38	7	SI-38覆土	土師器 坏	器高：　[1.3] 底径：　6.2	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り。 (内)黒色処理、体:横位ヘラミガキ、底:一定方向ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内：黒　外：黒褐	底部のみ遺存 覆土中		284	

SI-38	8	SI-38覆土	土師器 高台付坏	器高：［2.6］	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラケズリ。 (内)黒色処理、坏内:ヘラミガキ 高台貼付	良好 砂粒少量 内：黒　外：浅黄橙	底部から高台部 のみ遺存 覆土中		284	
SI-38	9	SI-38床下	土師器 甕	口径：(22.4) 器高：［6.8］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位 ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位 ヘラナデ。	良好 砂粒多量 内：浅黄橙　外：灰白	口縁から胴上部 2/5遺存 床下		284	
SI-38	10	SI-38覆土	土師器 甕	口径：(20.6) 器高：［5.9］	(外)口縁:ヨコナデ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位 ヘラナデ。	良好 砂粒多量 内外：にぶい橙	口縁部から胴上部 小片 覆土中		284	
SI-38	11	SI-38覆土	土師器 甕	口径：(15.0) 器高：［7.9］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位 ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位 ヘラナデ。	良好 砂粒少量 内外：にぶい橙	口縁部から胴上部 1/3遺存 覆土中		284	
SI-38	12	SI-38覆土	須恵器 甕	不明	(外)平行叩き。 (内)ナデ、叩き押さえ。	良好 長石、砂粒少量 内外：褐灰	胴部小片 覆土中		284	
SI-38	13	SI-38覆土	土錘	長：　3.8 幅：　1.7 厚：　1.5 孔径：　0.2 重：［8.0］	ナデ	にぶい黄橙	下端から側縁欠損 覆土中		284	148
SI-38	14	SI-38覆土	土錘	長：　3.6 幅：　1.8 厚：　1.8 孔径：　0.3 重：　10.8	ナデ 一部指頭痕あり。	にぶい橙	完形 覆土中		284	148
SI-38	15	SI-38覆土	鉄製品 鎌	長：［3.9］ 幅：　2.5 厚：　0.2			基部遺存 覆土中		284	148
SI-39	1	SI-39床下	須恵器 坏	口径：(13.8) 器高：　4.4 底径：(7.6)	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り後手持ち ヘラケズリ。	良好 長石、砂粒少量 内外：灰	口縁部から底部 1/5遺存 床下		284	
SI-39	2	SI-39床下	須恵器 坏	口径：(13.4) 器高：　4.9 底径：(7.4)	ロクロ成形 (外)底:手持ちヘラケズリ	良好 長石、砂粒微量 内外：灰白	口縁部から底部 1/5遺存 床下		284	
SI-39	3	SI-39床下	須恵器 甕	不明	ロクロ成形	良好 長石微量 内：明青灰　外：青灰	口縁部小片 床下	内外面自然釉付 着。	284	
SI-39	4	SI-39カマド SI-39覆土	土師器 甕	口径：(22.0) 器高：［7.6］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:斜位 ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位 ヘラナデ。	良好 砂粒微量 内外：赤	口縁部から胴上部 小片 カマド燃焼部・覆土 中		284	
SI-39	5	SI-39覆土	須恵器 甕	不明	(外)平行叩き。 (内)指ナデ、指押さえ。	良好 長石少量、雲母微量 内：青灰　外：暗青灰	胴部小片 覆土中		284	
SI-39	6	SI-39No.1 SI-39No.4 SI-39カマド SI-39床下	土師器 甕	口径：23.6 器高：28.2	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位 ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位 ヘラナデ。	良好 砂粒、赤色粒少量 内外：浅黄橙	1/3遺存 カマド燃焼部・床下		284	148
SI-40	1	SI-40覆土	土師器 皿	口径：(11.6) 器高：　2.3 底径：(7.0)	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り。	良好 砂粒多量 内外：灰白	口縁部から底部 1/5遺存 覆土中		284	
SI-40	2	SI-40覆土	須恵器 坏	不明	ロクロ成形	良好 砂粒多量 内外：灰白	口縁部小片 覆土中		284	
SI-40	3	SI-40覆土	灰釉陶器 壷類	不明	ロクロ成形 (外)施釉	良好 内：灰白 外：明オリーブ灰	体部小片 覆土中		284	
SI-41	1	SI-41覆土	土師器 皿	口径：(9.8) 器高：　2.3 底径：　6.0	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り。	良好 砂粒多量 内外：黄灰	1/3遺存 覆土中	一部煤付着。	284	
SI-41	2	SI-41覆土	土師器 高台付坏	器高：［1.9］	調整等、摩滅で不明。 高台貼付。	良好 砂粒微量 内外：灰白	底部から高台4/5 遺存 覆土中	一部煤付着。	284	
SI-41	3	SI-41覆土	須恵器 甕	不明	(外)平行叩き。 (内)ナデ。	良好 長石微量 内外：灰	胴部小片 覆土中		284	
SI-41	4	SI-41覆土	土師器 甕	口径：(29.0) 器高：[31.3]	(外)口縁:ヨコナデ、体:縦位 ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、体:横位 ヘラナデ。	良好 砂粒、小石粒多量 内外：にぶい橙	口縁部から胴部 2/5遺存 覆土中	内外面一部煤付 着。	285	
SI-42	1	SI-42覆土	土師器 坏	口径：(15.4) 器高：［3.9］	ロクロ成形 (内)黒色処理、口体:横位ヘラミ ガキ。	良好 砂粒微量 内：黒　外：にぶい黄橙	口縁部から体部 小片 覆土中		285	
SI-42	2	SI-42覆土	土師器 坏	口径：(11.4) 器高：　3.3 底径：(7.2)	ロクロ成形 (外)体下端:ヘラケズリ、底:剥離 等著しく不明。	良好 砂粒、雲母少量 内外：橙	口縁部から底部 1/5遺存 覆土中		285	
SI-42	3	SI-42No.11	土師器 高台付坏	口径：(11.5) 器高：　5.3	ロクロ成形 (内)黒色処理、口体:横斜位 ヘラミガキ、底:切り離し技法不明。 高台貼付。	良好 砂粒、雲母、長石微量 内：黒　外：淡黄	3/5遺存 P7覆土中	外面一部煤付着。	285	148

SI-42	4	SI-42覆土	土師器 甕	口径：(19.6) 器高：［7.9］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位ヘラナデ。	良好 砂粒少量 内外：にぶい褐	口縁部から胴上部小片 覆土中		285	
SI-45	1	SI-45覆土	須恵器 坏	口径：(13.0) 器高：　4.5 底径：　(6.8)	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り後ナデ。	良好 砂粒、長石少量 内外：明オリーブ灰	口縁部から底部小片 覆土中	底部外面に焼成前刻みあり。「×カ」。ヘラ記号。	285	
SI-46	1	SI-46覆土 SK-325覆土 SK-332覆土	土師器 甕	口径：(22.6) 器高：［14.0］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:ナデ、縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位ヘラナデ。	良好 砂粒少量 内外：浅黄橙	口縁部から胴上部2/5遺存 SI-46・SK-325・SK-322覆土中		285	
SI-48	1	SI-48覆土	土師器 坏	口径：(14.2) 器高：　4.2	(外)体:ヨコナデ後横位ヘラミガキ、底:手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理、ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内：黒　外：浅黄橙	口縁部3/5欠損 覆土中		285	148
SI-48	2	SI-18覆土 SI-48覆土	土師器 坏	口径：(14.5) 器高：　6.0	(外)口縁:ヨコナデ、体底:手持ちヘラケズリ。 (内)横位ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内外：橙	1/3遺存 SI-18・SI-48覆土中		285	148
SI-48	3	SI-18No.3 SI-48覆土	土師器 甕	器高：［12.3］ 底径：　7.0	(外)胴中:縦位ヘラケズリ、胴下端:横位ヘラケズリ、底:木葉痕。 (内)胴:横位ヘラナデ。	良好 砂粒少量 内外：淡橙	胴下部から底部遺存 SI-18北壁際床直・SI-48覆土中		285	
SI-50	1	SI-50覆土	土師器 坏	器高：［2.1］ 底径：　7.2	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り。 (内)ヘラミガキ。	良好 雲母、砂粒微量 内：赤褐　外：にぶい黄褐	体部から底部遺存 覆土中		285	
SI-50	2	SI-50覆土	土師器 甕	口径：　21.9 器高：［24.2］	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 雲母、砂粒少量 内：にぶい褐　外：にぶい黄褐	口縁部から胴部2/3遺存 カマド前面床直上		285	148
SI-51	1	SI-51覆土	土師器 坏	器高：［4.8］	(外)口縁:ヨコナデ、体:手持ちヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、体:ヨコナデ後放射状ヘラミガキ。	良好 砂粒、長石少量 内：黒褐　外：黄灰	体部1/5遺存 住居北部床直上		286	
SI-51	2	SI-51覆土	土師器 甕	口径：(14.8) 器高：［10.5］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:ヘラケズリ後横位ヘラミガキ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位ヘラナデ後ヘラミガキ。	良好 砂粒、雲母少量 内：灰黄褐　外：にぶい黄褐	口縁部から胴上半部小片 住居北部床直上		286	
SI-51	3	SI-51No.1	土師器 甑	口径：　29.2 器高：　23.9 底径：　8.9	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ、胴下端:斜位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ後横位ヘラミガキ、胴下端:横位ヘラケズリ。	良好 砂粒、小礫少量 内：にぶい黄褐　外：橙	ほぼ完形 P5覆土中		286	149
SI-53	1	SI-53カマド	土師器 坏	口径：(14.0) 器高：［3.5］	ロクロ成形 (内)体:ヘラミガキ	良好 砂粒少量 内：橙　外：淡橙	口縁部小片 カマド内	器面あれる。	286	
SI-53	2	SI-53カマド	土師器 坏	口径：　(9.8) 器高：［2.3］ 底径：　(4.8)	ロクロ成形 (外)底:ヘラ切り?	良好 砂粒微量 内外：浅黄橙	口縁部から体部1/3遺存 カマド内		286	
SI-53	3	SI-53No.1 SI-53No.2 SI-53覆土	土師器 甕	口径：　23.8 器高：［8.9］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位ヘラナデ。	良好 砂粒少量 内：灰白　外：浅黄橙	口縁部から胴上部1/5遺存 住居北西部床直・覆土中		286	
SI-54	1	SI-54No.1	土師器 高台付坏	器高：［5.5］ 底径：　7.0	ロクロ成形 (外)体上:横位ヘラミガキ、底:ナデ。 (内)黒色処理、斜位ヘラミガキ。	良好 砂粒、小礫少量 内：黒　外：にぶい黄橙	体部から底部3/4遺存 住居北東部覆土中		286	
SI-54	2	SI-54覆土	土師器 甕	口径：(13.0) 器高：　11.9	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ、胴下端:剥離。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 雲母、砂粒、小礫少量 内外：にぶい黄橙	2/5遺存 覆土中	底部剥離。	286	
SI-54	3	SI-54覆土	土師器 甕	口径：(24.4) 器高：［15.5］	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横斜位ヘラナデ。	良好 雲母、砂粒少量 内外：黒褐	口縁部から胴部小片 覆土中		286	
SI-54	4	SI-54覆土	土師器 甕	口径：(22.7) 器高：［14.3］	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位ヘラナデ、胴中:斜位ヘラナデ。	良好 小礫、石英、砂粒少量 内：にぶい橙　外：橙	口縁部から胴上部1/5遺存 覆土中		286	
SI-54	5	SI-54覆土	土師器 甕	器高：［12.4］ 底径：(15.2)	(外)胴:縦位ヘラケズリ、底:ヘラケズリ後ナデ。 (内)胴:横位ヘラナデ。	良好 雲母、砂粒少量 内：灰黄褐　外：にぶい黄褐	底部1/4遺存 覆土中	底部粘土付着。	286	
SI-55	1	SI-55覆土	土師器 坏	器高：［1.2］ 底径：(5.2)	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り。	良好 砂粒、雲母少量 内外：にぶい黄褐	底部1/4遺存 覆土中		286	
SI-55	2	SI-55覆土	須恵器 甕	不明	(外)平行叩き。 (内)指押さえ後ナデ。	良好 雲母、砂粒少量 内外：灰	胴部小片 覆土中		286	

２，掘立柱建物跡と出土遺物

ＳＢ－１（第287図、図版137）

位置　E-13グリッドにある。　重複関係　SK-467より新しいが、SK-416とは新旧関係不明である。　形状・規模　東西、南北とも２間、東西総長3.20m、南北総長3.30mのほぼ正方形を呈する側柱式掘立柱建物跡である。柱間寸法は最短1.55m、最長1.68m、平均1.62mである。柱筋は、ほぼ揃っている。　方位　N-５°-Eである。　ピット　Ｐ１～８がある。掘方は円形を基調としたものが多いが、Ｐ１・４は掘方内に段差が認められる。規模はやや不揃いである。柱は抜き取られた可能性が高い。　遺物　なし。

ＳＢ－２（第288・291図、図版138）

位置　E-14グリッドにある。　重複関係　SI-42より古いが、SB-３とは新旧関係不明である。Ｐ１～４・11はSB-３と共有するものと理解した。なお、図示していないが、SK-1359・1361・1362・1365との新旧関係も不明である。　形状・規模　東西２間、南北３間、東西総長4.06m、南北総長7.04mの長方形を呈する南北棟の側柱式掘立柱建物跡である。但し南西隅のＰ５は実際には確認できず推定である。柱間寸法については、桁行は西側が北から2.57m、0.90m、1.73m、1.84m、東側は北から2.16m、2.50m、2.34mである。東側の在り方が規則的で、西側はＰ３の在り方が変則的である。Ｐ３がSB-２と３、どちらに所属するか不明確でもある。本遺構の場合は変則的な配置であることから、入口施設との関連も想定できる。一方、Ｐ３が本遺構に所属しない場合もそれ程違和感はない。梁行は、いずれも２m強で柱間寸法はほぼ等しい。桁行、梁行きとも柱筋は揃っている。　方位　N-６°-Wである。　ピット　Ｐ１～11がある。この内、Ｐ３は所属が判然としない。掘方は、長軸110～120㎝、短軸55～80㎝の楕円または隅丸方形で深さ40～60㎝のものを基本とするようである。また、一部掘り込みに浅い半月状の掘り込みが付随する形もある。なお、コーナーに配される掘方が相対的に深い。明確な裏込土、埋め戻し、柱痕などは認められなかったことから、柱は抜かれた可能性がある。　遺物　須恵器高台付坏１点を図示したが、Ｐ４はSB-３と共有されるため、所属は判然としない。しかし、出土位置はＰ４の北東部、段の上、浅い方である。本掘立柱建物の柱掘方が本来全てＰ６・７と同様であれば、本遺構に所属する可能性が高い。なお、底部外面に焼成前の刻みがある。ヘラ記号「艹」か。

ＳＢ－３（第288・291図、図版138）

位置　E-14グリッドにある。　重複関係　SI-42より古いが、SB-２とは新旧関係不明である。Ｐ１～４・11はSB-２と共有するものと理解した。なお、図示していないが、SK-1359・1361・1362・1365との新旧関係も不明である。　形状・規模　東西２間、南北３間、東西総長4.58m、南北総長5.02mの長方形を呈する南北棟の側柱式掘立柱建物跡である。柱間寸法については、桁行は東側が北から1.96m、1.53m、1.53mである。西側はＰ２がSB-２Ｐ２と同様であるとすると柱間寸法はばらつく。しかし、Ｐ２柱位置は60㎝程北側に設定可能であり、その場合東側とほぼ同様の柱間寸法となる。梁行は、2.18～2.32mでほぼ等しいと言える。桁行、梁行きとも柱筋は揃っている。　方位　N-７°-Wである。　ピット　Ｐ１～４・11～16がある。掘方、あるいは抜き取り痕まで含めた形状は、SB-２と共有するピットもあることから不揃いである。明確な裏込土、埋め戻し、柱痕などは認められなかったことや、一部抜き取り痕を思わせる形状もあることから、柱は抜かれた可能性が高い。　遺物　須恵器高台付坏１点があるが、本遺構に所属する可能性は低い。

ＳＢ－４ａ（第287・291図、図版139）

位置　F-16グリッドにある。　重複関係　SK-1224bより新しいが、SB-4b、SK-1230・1249・1271・1539・1541とは新旧関係不明である。SB-4bとは、Ｐ５～８・14を共有するものと理解した。　形状・規模　東西２間、南北３間、東西総長5.55m、南北総長5.45mのほぼ正方形を呈する側柱式掘立柱建物跡である。柱間寸法

については、桁行は不揃いで、西側は北から1.97m、1.56m、1.92m、東側は北から1.56m、1.24m、0.71m、1.88mである。中央がやや狭く両側が広い西側を基調とするものと考えられる。東側は柱穴数５、柱間寸法は不規則となる。Ｐ７－14間は入口施設に関連するかもしれない。梁行の柱間寸法は、最短2.65m、最長2.85m、平均2.76mで桁行に比べ揃っている。桁行、梁行きとも柱筋は、比較的揃っている。　方位　N-15°-Wである。　ピット　Ｐ１～10・14がある。掘方は円ないし楕円形を基調としたものが多いが、東側のＰ８・14等は異なる。規模はやや不揃いである。　遺物　須恵器蓋、土師器蓋各１点を図示した。小破片で、遺存状態は悪い。

ＳＢ－４ｂ（第287図、図版139）

位置　F-16グリッドにある。　重複関係　SB-4a、SK-1230・1249・1271・1539・1541と重複するが新旧関係不明である。SB-4aとは、Ｐ５～８・14を共有するものと理解した。　形状・規模　東西２間、南北２間、東西総長5.09m、南北総長3.83mのほぼ長方形を呈する側柱式掘立柱建物跡である。柱間寸法については、桁行が北側は西から2.77m、2.80m、南側は西から2.65m、2.85mである。梁行きは西側が北から1.68m、2.01m、東側が北から1.24m、0.71m、1.88mである。Ｐ13の在り方は東側と同様かもしれない。桁行、梁行きとも柱筋は、比較的揃っている。　方位　N-18°-Wである。　ピット　Ｐ５～８・11～15がある。掘方は、円ないし楕円形を基調としたものと隅丸長方形のものがある。形状、規模とも不揃いである。　遺物　なし。

ＳＢ－５（第289図）

位置　G-16グリッドにある。　重複関係　SK-1172・1175・1182bと重複し、本遺構が新しい。SK-1203～1205・1218との新旧関係は不明である。　形状・規模　東西２間、南北２間、東西総長4.60m、南北総長5.05mで、南辺を除けばほぼ長方形を呈する南北棟の側柱式掘立柱建物跡である。柱穴数、柱間寸法は不揃いだが、桁行、梁行きとも柱筋は、比較的揃っている。　方位　N-19°-Wである。　ピット　Ｐ１～12がある。掘方は円ないし楕円形を基調としているが、規模はあまり画一的ではない。　遺物　なし。

ＳＢ－６（第290図）

位置　G-15グリッドにある。　重複関係　SB-７、SK-1092と重複するが、新旧関係不明である。　形状・規模　東西・南北とも２間以上、東西総長3.36m以上、南北総長5.68m以上の側柱式掘立柱建物跡と考えられる。Ｐ１の北及び西に本遺構のピットと考えられるものは確認できなかった。また、Ｐ６は調査区際で隣り合うピットは確認できなかった。よって、形状と規模は確定できない。柱間寸法は、南側が東から2.02m、1.34m、東側が南から2.75m、2.93mである。南側、東側とも柱筋は揃っている。　方位　N-29°-Wである。ピット　Ｐ１～６がある。掘方形状は円形を基調とし、南東隅のＰ３の規模が他のものを上回る。　遺物なし。

ＳＢ－７（第290・291図、図版139）

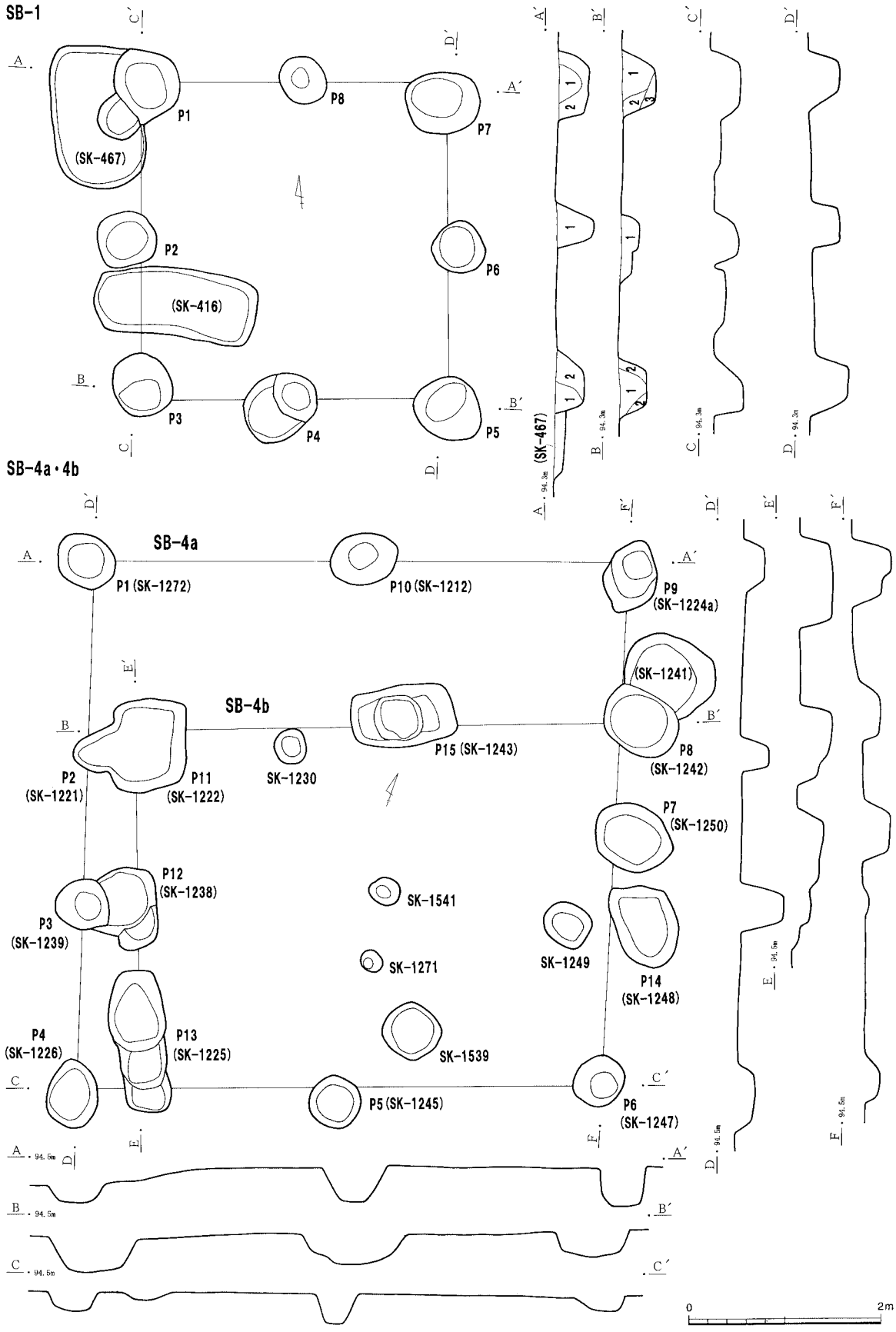
位置　G-15グリッドにある。　重複関係　SB-６とは新旧関係不明だが、SK-1092より古い。　形状・規模　東西・南北とも２間以上、東西総長4.10m以上、南北総長4.28m以上の側柱式掘立柱建物跡と考えられる。Ｐ１・Ｐ５とも調査区際で隣り合うピットは確認できなかった。よって、形状と規模は確定できない。柱間寸法は、南側が東から1.95m、2.15m、東側が南から2.60m、1.68mである。南側、東側とも柱筋は揃っている。方位　N-31°-Wである。　ピット　Ｐ１～５がある。掘方形状は円形と長方形の二者がある。規模はやや不揃いである。長方形の掘方は長軸を柱筋に合わせて掘り込まれている。　遺物　須恵器坏１点、土師器坏１点を図示した。Ｐ３覆土中から出土したもので、いずれも小片である。

第16表　古墳時代から平安時代掘立柱建物跡一覧表

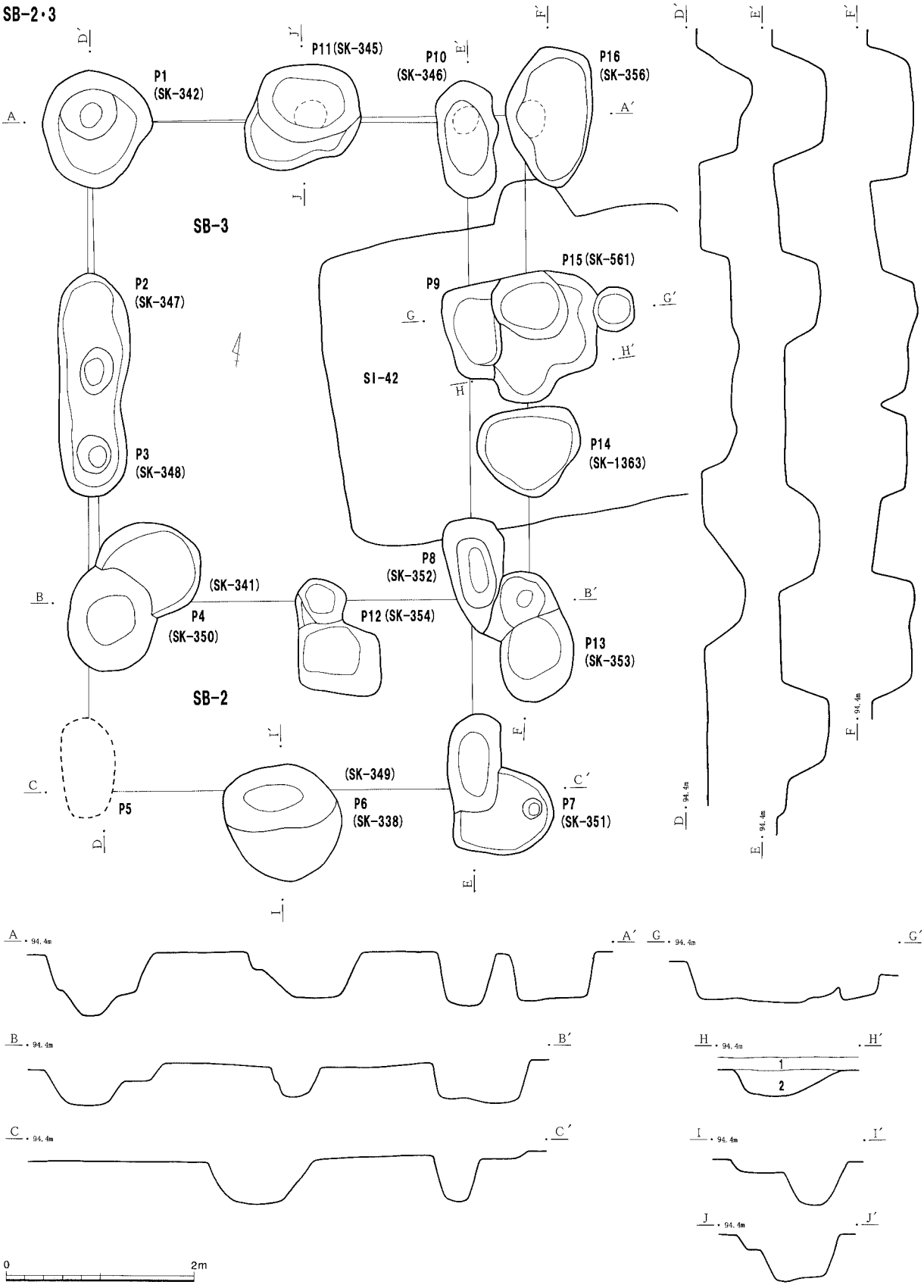
単位：cm、(推定値)、［残存値］

遺構№	グリッド	重複関係	規模(東西×南北)	平面形	方位	付属施設	出土遺物	備考	挿図№	図版№
SB-1	E-13	SK-467より新。SK-416は不明。	320×330 2間×2間	正方形 側柱式	N-5°-E	P1 102×74×32 P2 61×56×26 P3 66×60×30 P4 81×65×21 P5 71×65×40 P6 56×54×30 P7 78×65×34 P8 53×45×40			287	137
SB-2	E-14	SI-42より古。SB-3、SK-1359・1361・1362・1365は不明。	406×704 2間×3間	長方形 側柱式 南北棟	N-6°-W	P1（SK-342）125×120×65 P2（SK-347）(154)×76×40 P3（SK-348）(100)×71×38 P4（SK-341･350)173×110×43 P5（105）×（58）×不明 P6（SK-338･349)123×123×47 P7（SK-351）145×106×55 P8（SK-352）121×65×42 P9 100×55×42 P10（SK-346）123×65×58 P11（SK-345）137×113×49	須恵器高台付坏１ ※SB-3に所属する可能性もあり。		288	138
SB-3	E-14	SI-42より古。SB-2、SK-1359・1361・1362・1365は不明。	458×502 2間×3間	長方形 側柱式 南北棟	N-7°-W	P1（SK-342）125×120×65 P2（SK-347）(154)×76×40 P3（SK-348）(100)×71×38 P4（SK-341･350)173×110×43 P11（SK-345）137×113×49 P12（SK-354）116×89×32 P13（SK-353）139×79×46 P14（SK-1363）110×95×28 P15（SK-561）137×112×38 P16（SK-356）147×93×52			288	138
SB-4a	F-16	SK-1224bより新。SB-4b、SK-1230・1249・1271・1539・1541は不明。	555×545 2間×3間	正方形 側柱式	N-15°W	P1（SK-1272）65×54×22 P2（SK-1221）(60)×42×30 P3（SK-1239）55×51×46 P4（SK-1226）71×54×22 P5（SK-1245）56×55×32 P6（SK-1247）56×50×17 P7（SK-1250）85×68×28 P8（SK-1241･1242)129×97×28 P9（SK-1224a）79×56×42 P10（SK-1212）72×52×38 P14（SK-1248）88×63×23	須恵器蓋1、土師器蓋1		287	139
SB-4b	F-16	SB-4a、SK-1230・1249・1271・1539・1541は不明。	509×383 2間×2間	長方形 側柱式 東西棟	N-18°W	P5（SK-1245）56×55×32 P6（SK-1247）56×50×17 P7（SK-1250）85×68×28 P8（SK-1241･1242)129×97×28 P11（SK-1222)99×(80)×38 P12（SK-1238）86×82×36 P13（SK-1225）148×60×33 P14（SK-1248）88×63×23 P15（SK-1243）108×65×32			287	139
SB-5	G-16	SK-1172・1175・1182bより新。SK-1203・1204・1205・1218は不明。	460×505 2間×2間	正方形 側柱式 南北棟	N-19°W	P1（SK-1089）71×68×11 P2（SK-1150）44×44×17 P3（SK-1171)98×(71)×44 P4（SK-1174）83×62×54 P5（SK-1178）61×56×31 P6（SK-1177）85×67×53 P7（SK-1206）60×56×30 P8（SK-1217）67×66×40 P9（SK-1182a）120×90×55 P10（SK-1183）90×87×44 P11（SK-1176）149×85×29 P12（SK-1145）95×46×19			289	
SB-6	G-15	SB-7、SK-1092は不明。	［336］×［568］	不明 側柱式	N-29°W	P1（SK-1127）62×62×34 P2（SK-1128）58×55×40 P3（SK-1097）80×74×55 P4（SK-1100）67×57×27 P5（SK-1099）40×31×16 P6（SK-1087）49×43×14		遺構範囲は調査区外へ及ぶ。	290	
SB-7	G-15	SK-1092より古。SB-6は不明。	［410］×［428］	不明 側柱式	N-31°W	P1（SK-1138）138×75×66 P2（SK-1126）65×65×48 P3（SK-1125）141×82×40 P4（SK-1091）108×67×43 P5（SK-1090）64×54×32	須恵器坏1、土師器坏1	遺構範囲は調査区外へ及ぶ。	290	139

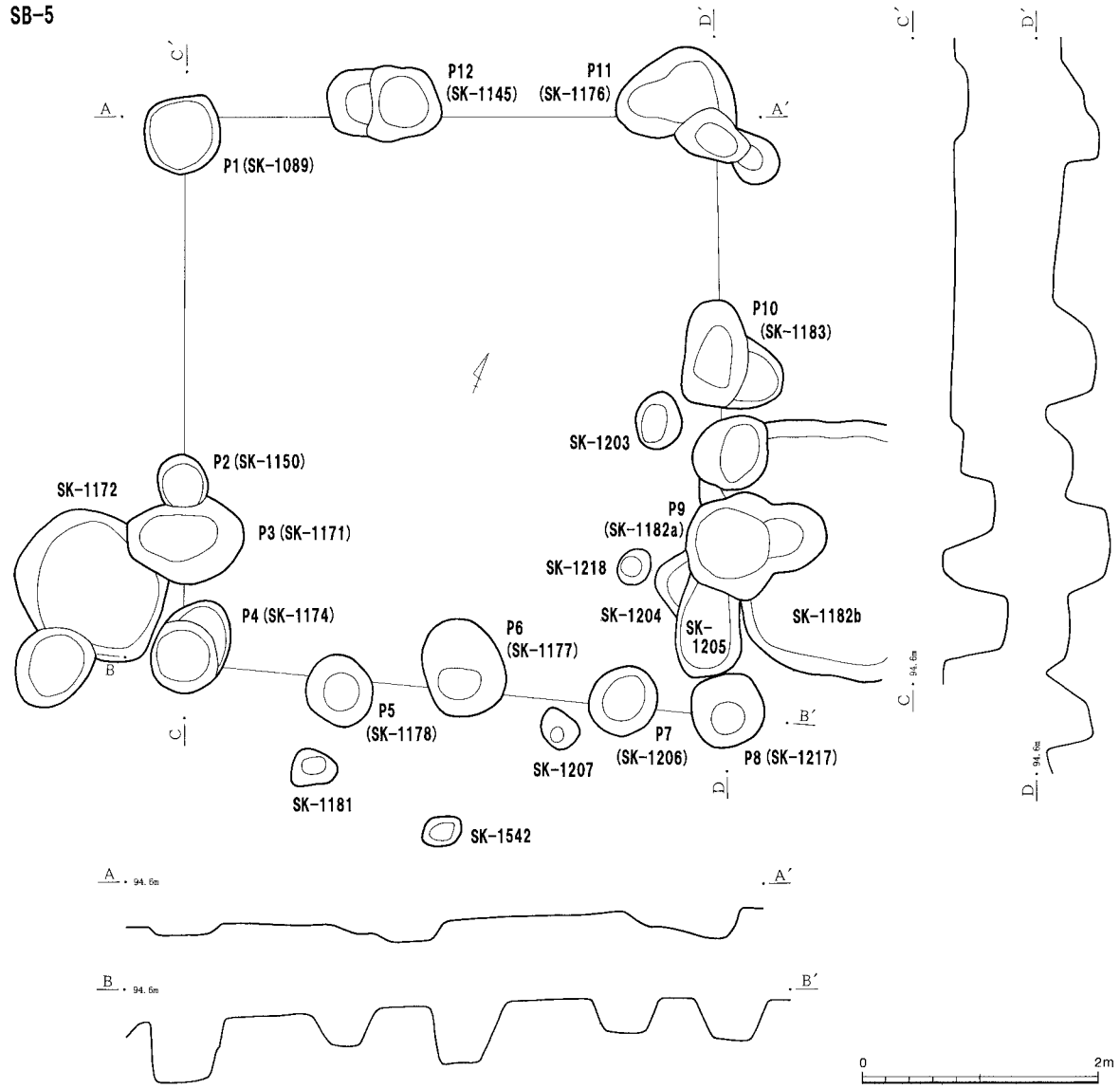
※方位は西側桁行の角度
※付属施設（　　）は現地調査時遺構No.



第287図　SB－1・4a・4b


SB-2・3
P1 (SK-342)
P11 (SK-345)
P10 (SK-346)
P16 (SK-356)
SB-3
P2 (SK-347)
P15 (SK-561)
P9
SI-42
P14 (SK-1363)
P3 (SK-348)
P8 (SK-352)
(SK-341)
P4 (SK-350)
P12 (SK-354)
P13 (SK-353)
SB-2
(SK-349)
P5
P6 (SK-338)
P7 (SK-351)
94.4m
1
2
0
2m

第288図　SB－2・3

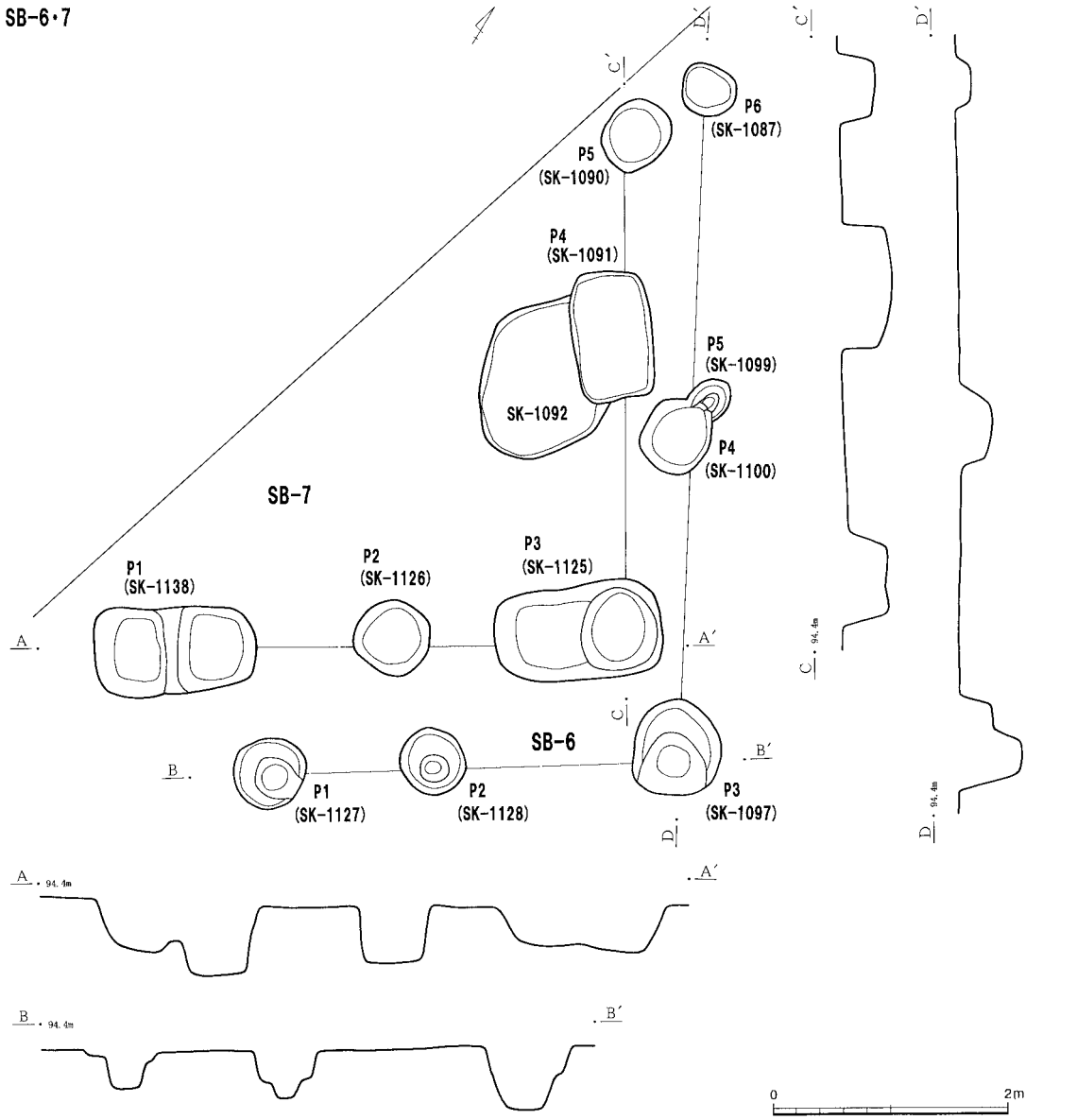


第289図　SB－5

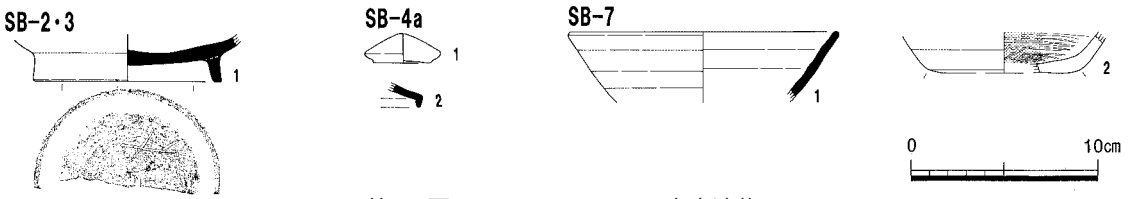
第17表　古墳時代から平安時代掘立柱建物跡土層観察表

ＳＢ－１
１．黒褐色土（Ｌ小Ｂ・Ｃ粒少量混入。しまりよし。）
２．黒褐色土（Ｌ粒・ＬＢやや多く混入。しまりよし。）
３．黒褐色土（しまりよし。）
ＳＢ－２・３（ＳＢ－２：Ｐ１～11、ＳＢ－３：Ｐ１～４、11～16）
Ｐ１（ＳＫ－342）　暗茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
Ｐ２・３（ＳＫ－347・348）　黒褐色土（礫・ＬＢ混入。しまりよし。）※
Ｐ４（ＳＫ－350）　黒褐色土（Ｌ粒・小礫少量混入。しまりよし。）※
Ｐ６（ＳＫ－349）　暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりややあまい。）※
Ｐ７（ＳＫ－351）　黒色土（Ｌ微量混入。しまりよし、粘性あり。）※
Ｐ８（ＳＫ－352）　暗茶褐色土（ＬＢ・小礫多量混入。しまりよし。）※
Ｐ10（ＳＫ－346）　暗茶褐色土（Ｌ粒・Ｃ片微量混入。しまりよし。）※
Ｐ11（ＳＫ－345）　暗茶褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）※
Ｐ12（ＳＫ－354）　暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
Ｐ13（ＳＫ－353）　黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
Ｐ16（ＳＫ－356）　黒褐色土（Ｌ大Ｂ多量混入。しまりよし。）※
Ｈ－Ｈ’
１．暗黄褐色土（Ｌ粒・Ｃ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。ＳＩ－42覆土。）
２．黒褐色土（焼土小Ｂ・Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。埋め戻し土。Ｐ15（ＳＫ－561）覆土。）

ＳＢ－５
Ｐ３（ＳＫ－1171）　暗黄褐色土（Ｃ粒・ＩＰ・ＳＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
Ｐ４（ＳＫ－1174）　暗黄褐色土（Ｃ粒・ＩＰ・ＳＰ・Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
Ｐ５（ＳＫ－1178）　黒色土（Ｌ粒少量混入。しまりややあまい。）※
Ｐ６（ＳＫ－1177）　黒褐色土（小礫・ＬＢ・ＩＰ混入。しまりよし。）※
Ｐ11（ＳＫ－1176）　黒色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
Ｐ12（ＳＫ－1145）　黒褐色土（ＳＰ・茶色土小Ｂ混入。しまりよし。）※
ＳＢ－６
Ｐ１（ＳＫ－1127）　黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
Ｐ２（ＳＫ－1128）　黒褐色土（Ｌ粒、Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
Ｐ３（ＳＫ－1097）　黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
Ｐ４（ＳＫ－1100）　黒褐色土（ＬＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＢ－７
Ｐ１（ＳＫ－1138）　黒褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりややあまい。）※
Ｐ２（ＳＫ－1126）　黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
Ｐ３（ＳＫ－1125）　黒褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりなし。）※
Ｐ４（ＳＫ－1091）　黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
凡例　ＳＰ：七本桜パミス、ＩＰ：今市パミス、Ｌ：ローム、
Ｃ：炭化物、Ｂ：ブロック、※：覆土の内、主たる土層を記した。



第290図　SB－6・7



第291図　SB－2・3・4a・7出土遺物

第18表　古墳時代から平安時代掘建柱建物跡出土遺物一覧表

単位：cm、(推定値)、[残存値]

遺構№	№	注記	器種	法量(cm)	整形の特徴	焼成/胎土/色調	遺存状態/出土状態	備考	挿図№	図版№
SB-2・3	1	SK-341覆土	須恵器 高台付坏	器高：［2.5］ 底径：　10.0	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラケズリ。 高台貼付。	良好 小礫､長石少量 内:黄灰　外:灰	底部から高台1/2遺存 P4覆土中	底部外面に焼成前の刻みあり。ヘラ記号「艹カ」。	291	
SB-4a	1	SK-1212覆土	土師器 蓋	器高：［1.6］ つまみ径： 2.0	ロクロ成形	良好 砂粒少量 内外:にぶい黄橙	つまみ遺存 P10覆土中		291	
SB-4a	2	SK-1212覆土	須恵器 蓋	不明	ロクロ成形	良好 砂粒少量 内外:灰	口縁部小片 P10覆土中		291	
SB-7	1	SK-1125覆土	須恵器 坏	口径：(14.3) 器高：［3.7］	ロクロ成形	良好 小礫微量 内外:灰	口縁部から体部小片 P3覆土中		291	
SB-7	2	SK-1125覆土	土師器 坏	口径　(8.1) 器高：［2.2］	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラケズリ。 (内)黒色処理､体:ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内:黒　外:にぶい黄橙	体部から底部1/4遺存 P3覆土中		291	

３，土坑と出土遺物、遺構外出土遺物

今回の調査により、古墳時代から平安時代の土坑51が発見された。ここでは一覧表と実測図等により全体を報告し、特に必要なものについて説明を加える。

土坑の形態については、計測値を示したほか、断面形と平面形を類型化して示した。断面形は縄文時代の土坑で示した類型と同様だが、殆どの土坑はＢ類「底面から壁が外傾して斜めに立ち上がるもの」である。平面形は、円形、楕円形、隅丸三角形、隅丸（長）方形と分け、形状が整っていないものについて「不整」を付した。

遺構外出土遺物は、鉄製釘１点と土錘１点がある。いずれも縄文時代の遺構の上部から出土したものである。ここでは、実測図と一覧表で報告する。

ＳＫ－３１２（第293・297図）

D-14グリッドに位置する。長径1.44m、短径0.98m、深さ20㎝の楕円形である。付属施設としてＰ１・２がある。本土坑は、遺存状態はそれ程良くないが、土師器坏１点、埦１点、甕３点、合計５点の土器を図化することができた。本遺跡の当該時期の土坑では最も多い。

なお、本遺構SK-312の他、SK-311・313・318・325・332は纏まって存在し、SI-46と範囲がほぼ共通し、床下土坑である可能性もある。しかし、斜面地にあることにより、SI-46と土坑群の覆土相互の関係を把握することができなかった。また、全てではないが、確認できた土坑の覆土は所謂床下の埋め戻しを示すようなローム主体の土層ではない。ここではこうしたことから、これらの土坑は各々単独の土坑と理解した。

ＳＫ－６１８（第294図、図版142）

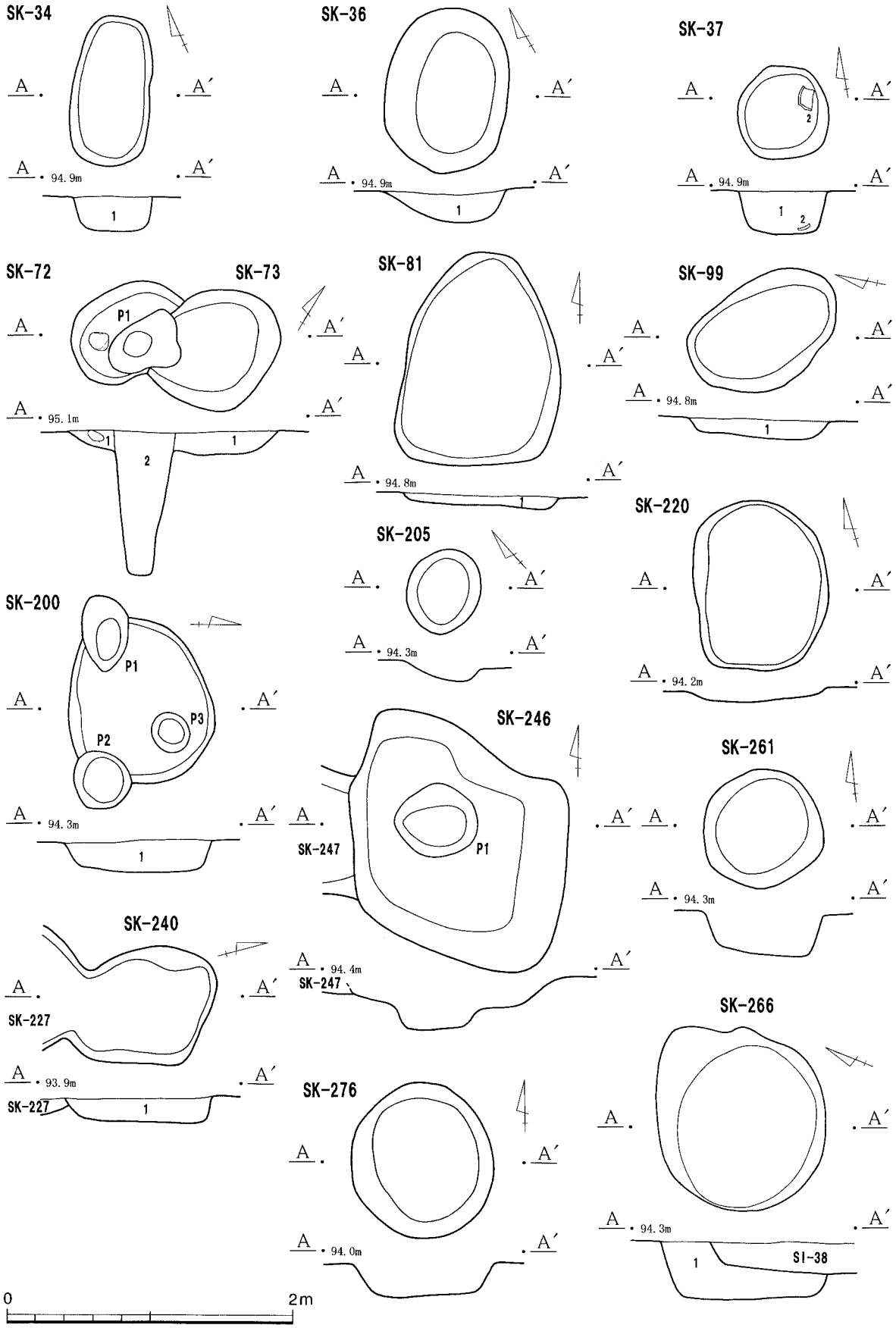
E-８グリッドに位置する。SK-592と重複し、本遺構の方が新しい。形状は円形、直径は約１m、深さは1.90m以上ある。本遺構は井戸と考えられ、底面まで掘りきることはできなかった。覆土は、確認面から１m程がローム粒を少量含む締まりの良くない黒色土（１層）、それ以下が人頭大以上の大きさのものも含む多量の礫を伴う黒色土（２層）である。１層は自然堆積と考えられるが、２層は人為的な埋め戻しである可能性が高い。井戸断面形状は覆土の相違に対応し、２層部分が垂直、１層部分が若干外側に開く。遺物は出土しなかった。

ＳＫ－７９９（第294・297図、図版142）

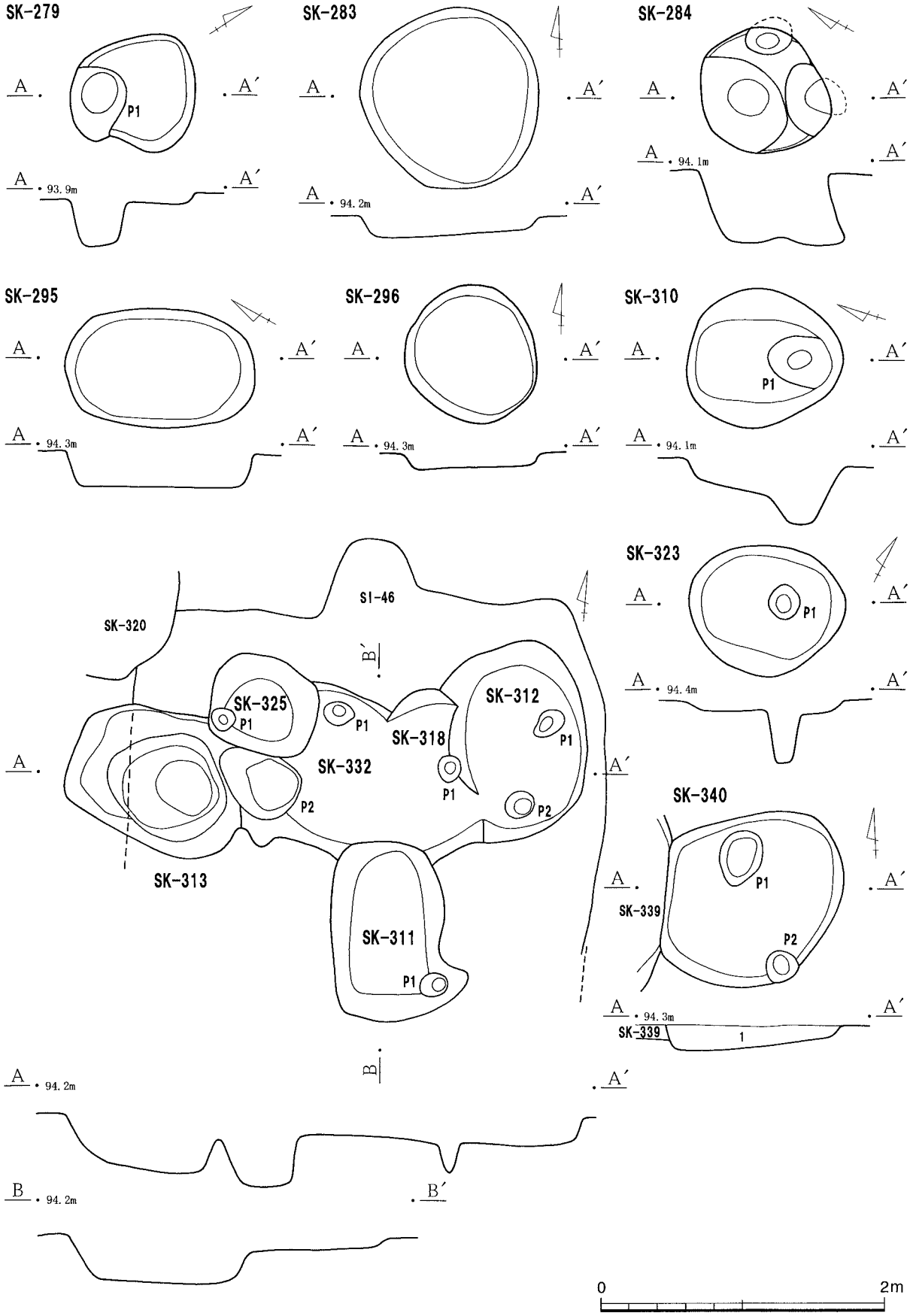
D-８グリッドに位置する。長径1.55m、短径1.04m、深さ24㎝の楕円形である。本土坑は直径１m程のほぼ円形の土坑の南側に段を有していると見ることもできる。覆土はローム粒を少量含む黒褐色土で、しまりはよくない。円形の土坑本体部分には人頭大から拳大の多量の礫が見られる。また、小片ながら覆土中より土師器坏１点が出土した。

ＳＫ－９４６（第294図、図版142）

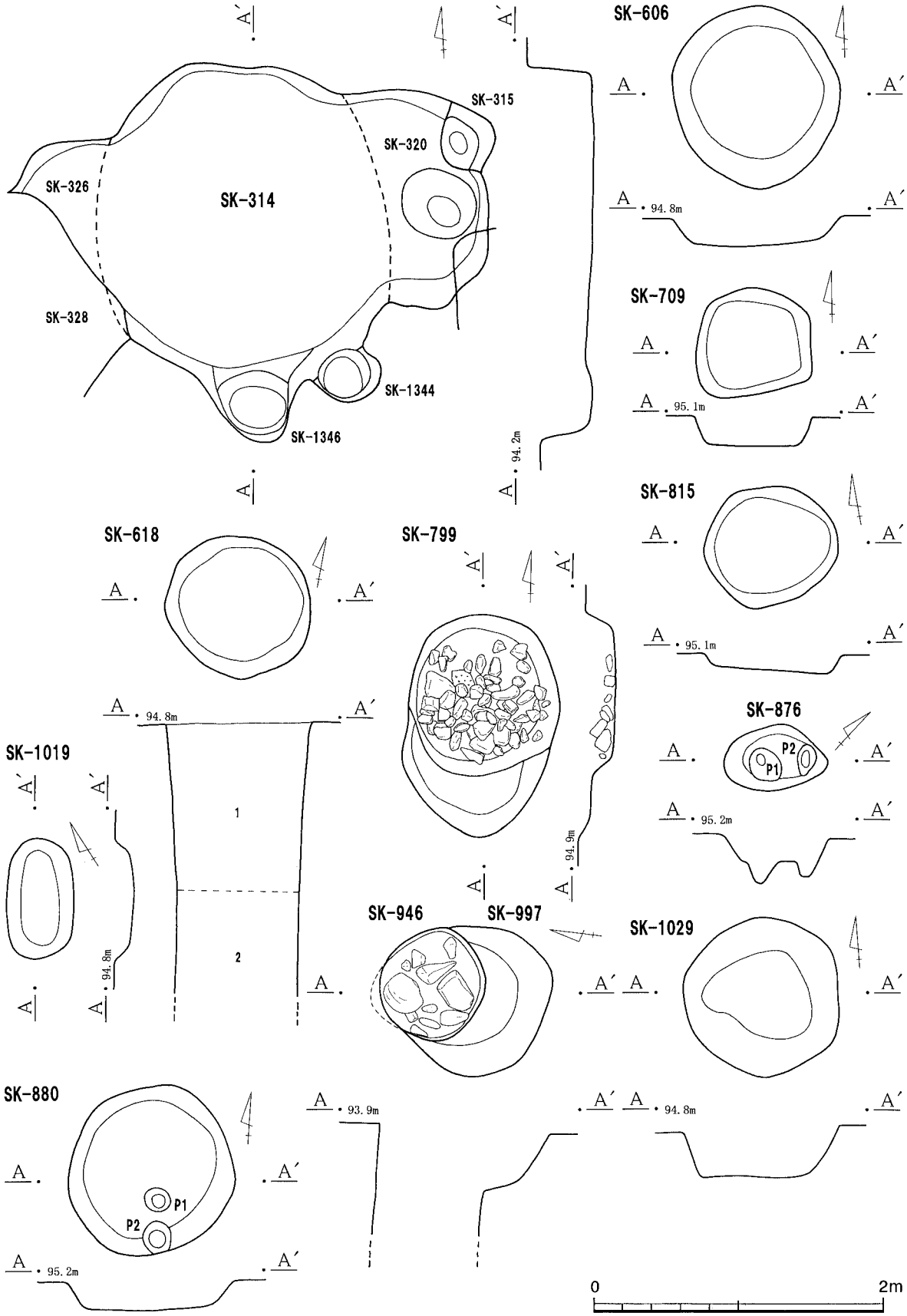
A-８グリッドに位置する。SK-997と重複し、本遺構の方が新しい。形状はほぼ円形、直径は0.76m、深さは0.76m以上である。本遺構は井戸と考えられるが、底面まで掘りきることはできなかった。覆土は、人頭大の礫より上部が白色粘土ブロックを含む埋め戻し土、下部が砂礫土で礫や砂利を多く含む埋め戻し土である。SK-997も合わせて井戸の可能性もあるが、埋め戻しと考えられる上部の土層に混入する白色粘土ブロックがSK-997覆土には全く見られないことから別遺構と理解した。なお、遺物は出土しなかった。



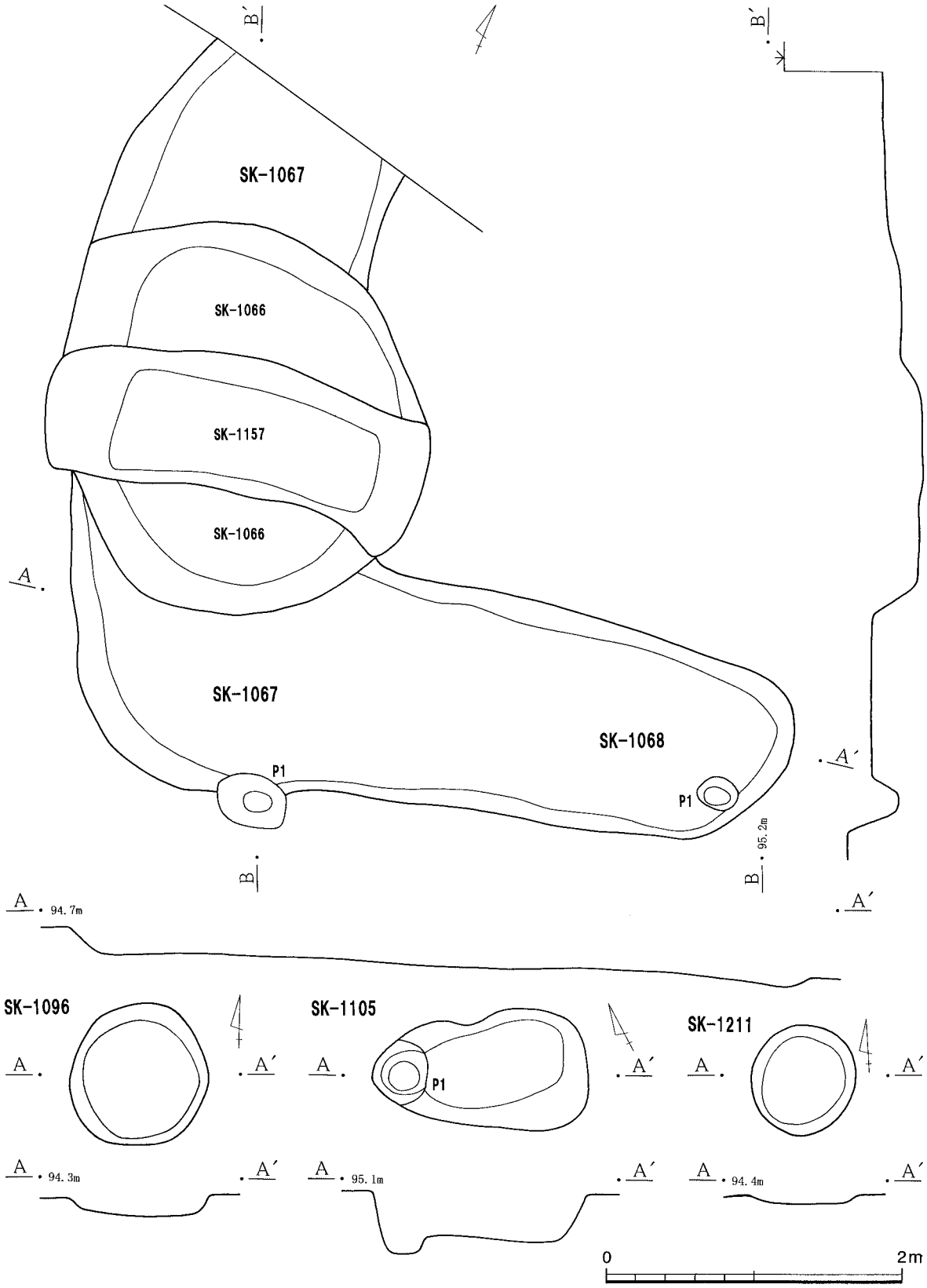
第292図　SK－34・36・37・72・73・81・99・200・205・220・240・246・261・266・276



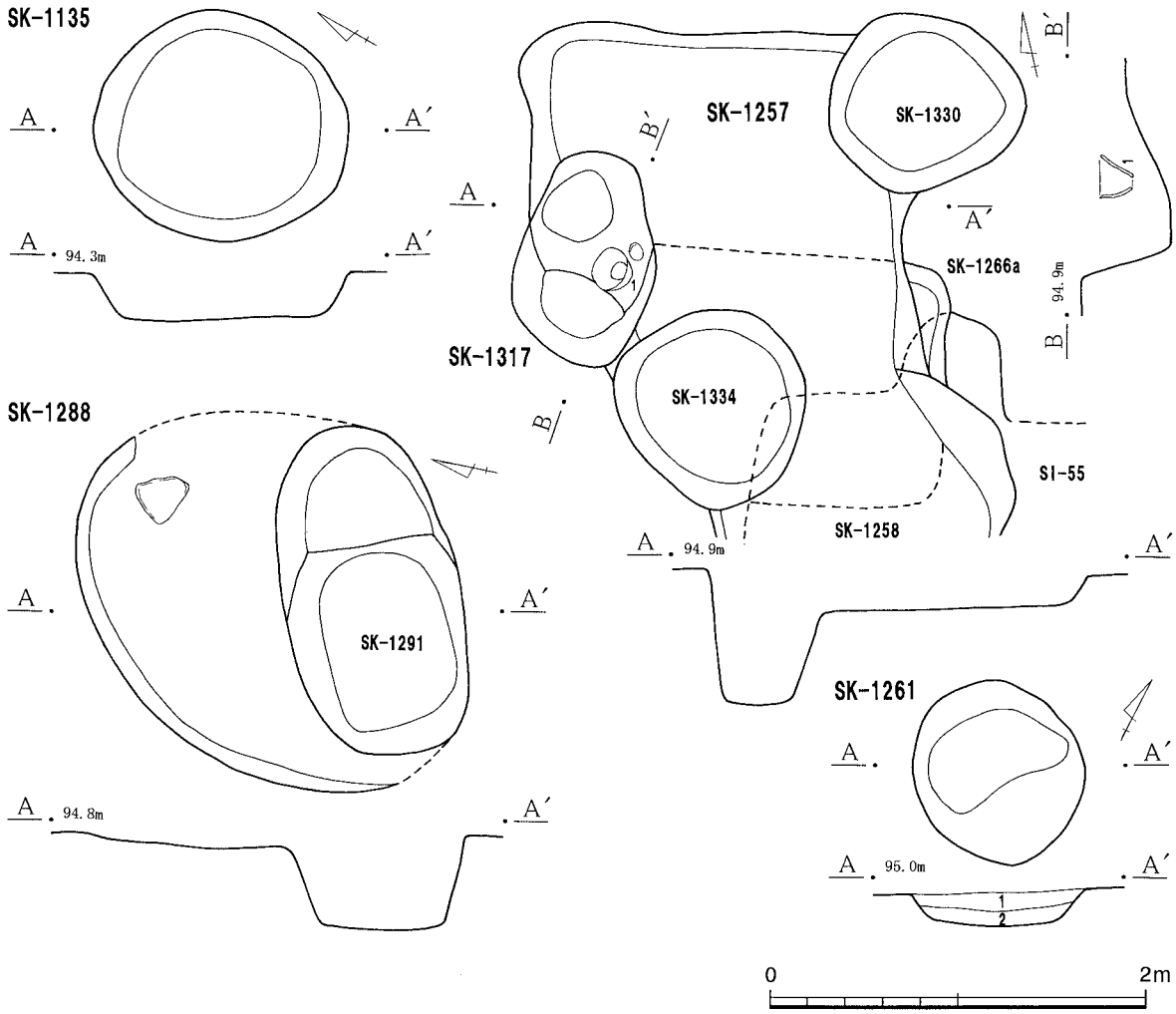
第293図　SK－279・283・284・295・296・310～313・318・323・325・332・340



第294図　SK－314・606・618・709・799・815・876・880・946・997・1019・1029



第295図　SK－1067・1068・1096・1105・1211



第296図　SK－1135・1257・1261・1288・1317

第19表　古墳時代から平安時代の土坑土層観察表

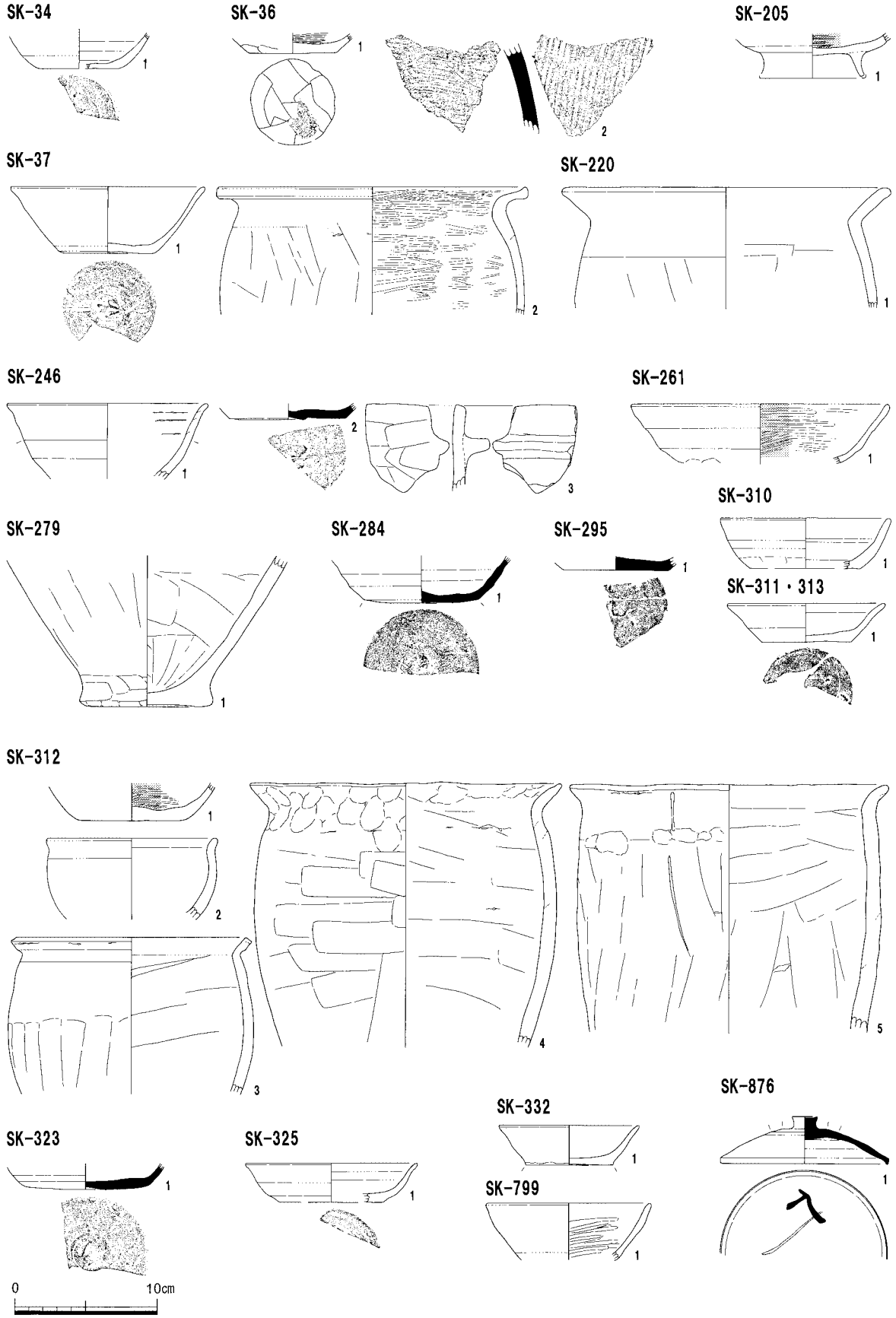
ＳＫ－３４
1．黒褐色土（焼土粒・Ｌ粒・Ｃ粒やや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－３６
1．黒褐色土（焼土粒・Ｌ粒・Ｃ粒やや多く混入。しまりよし。）
ＳＫ－３７
1．黒褐色土（焼土粒・炭粒少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－７２
1．暗茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
2．黒褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりあまい。）
ＳＫ－７３
1．茶褐色土（ＩＰ・Ｌ粒少量混入。しまりあまい。）
ＳＫ－８１
1．暗茶褐色土（ＬＢ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－９９
1．濁黄褐色土（ＬＢ･Ｌ粒･焼土粒多量混入。しまりややあまい。）
ＳＫ－２００
1．暗黄褐色土（ＩＰ・ＳＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２０５
黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２４０
1．黒褐色土（Ｌ粒、Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２４６
黒褐色土（ＬＢ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２６１
暗茶褐色土（Ｌ小Ｂ・ＩＰ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２６６
1．黒褐色土（Ｌ粒・ＩＰ少量混入。しまりよし。）
ＳＫ－２７６
黒褐色土（ＩＰ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２７９
黒褐色土（ＩＰ・Ｌ小Ｂ・小礫少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２８３
黒褐色土（Ｌ粒・小石粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２８４
黒褐色土（Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２９５
黒褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－２９６
黒褐色土（Ｌ粒・Ｃ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３１０
黒褐色土（Ｌ粒・小礫微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３１１
黒褐色土（Ｃ粒・ＩＰやや多く混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３１２
暗茶褐色土（ＬＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３１３
黒褐色土（Ｌ粒・小礫微量混入しまりよし。）※
ＳＫ－３１４
黒褐色土（小礫少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－３３２
暗茶褐色土（焼土粒・Ｃ片多量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－３４０
1．黒褐色土（ＩＰ・Ｌ粒微量混入。しまりよし。）
ＳＫ－６０６
黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－６１８
1．黒色土（Ｌ粒少量混入。しまりあまい。）
2．黒色土（礫多量混入。埋め戻し。）
ＳＫ－７０９
黒褐色土（ＬＢ・ＩＰＢ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－７９９
黒褐色土（礫多量、Ｌ粒少量混入。しまりあまい。）※
ＳＫ－８１５
茶褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－８８０
黒色土（ＳＰ微量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－９４６
上部．黒褐色土（白色粘土Ｂやや多く混入。しまりよし。埋め戻し土。）※
下部．砂礫土（人頭大の礫・砂利多量混入。埋め戻し。）※

ＳＫ－９９７
黒褐色土（Ｌ粒・Ｌ小Ｂ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０１９
黒褐色土（ＬＢ少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１０２９
暗茶褐色土（ＩＰ少量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－１０６７
黒褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－１０６８
暗茶褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりあまい。）※
ＳＫ－１０９６
暗茶褐色土（Ｌ小Ｂ多量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１１０５
茶褐色土（Ｌ粒多量混入。しまりややあまい。）※
ＳＫ－１１３５
黒褐色土（Ｌ小Ｂ多量、Ｃ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２１１
暗黄褐色土（Ｌ粒少量混入。しまりよし。）※
ＳＫ－１２６１
１．黒褐色土（焼土Ｂ少量混入。しまりよし。）
２．茶褐色土（ＬＢ多量混入。しまりよし。）
ＳＫ－１３１７
黒褐色土（Ｌ粒微量混入。しまりややあまい。）※
凡例　ＳＰ：七本桜パミス、ＩＰ：今市パミス、Ｌ：ローム、
Ｃ：炭化物、Ｂ：ブロック、※：覆土の内、主たる土層を記した。

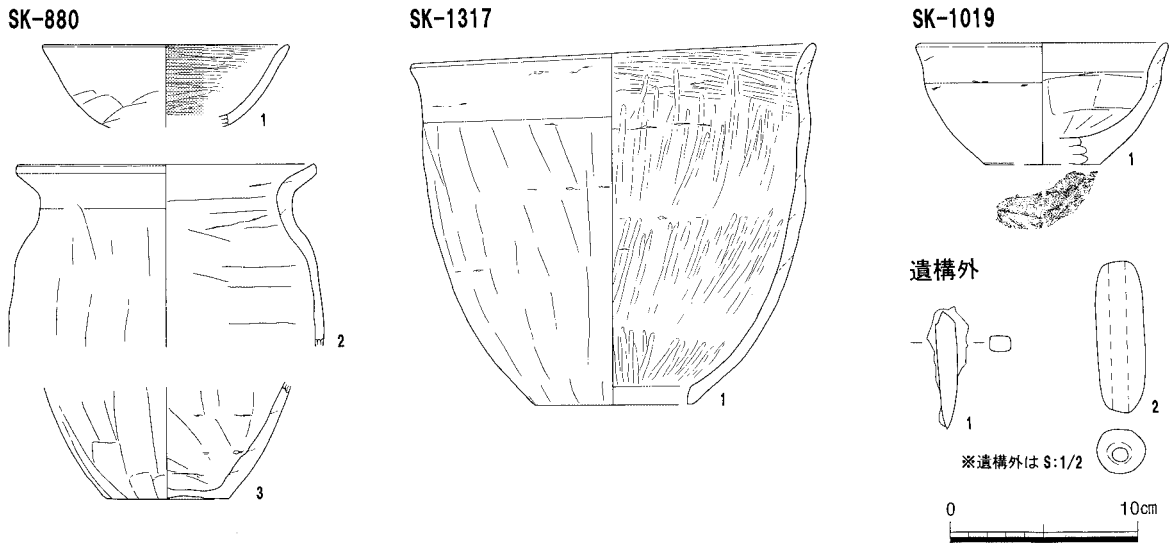
第20表　古墳時代から平安時代土坑一覧表

単位：cm、(推定値)、［残存値］

遺構№	ｸﾞﾘｯﾄﾞ	重複関係	上場長径	上場短径	下場長径	下場短径	最深長	断面	平面形	付属施設	出土遺物	備考	挿図№	図版№
SK-34	C-20		106	55	95	45	25	B	楕円形		土師器坏1		292	139
SK-36	C-20		118	85	85	51	25	B	楕円形		須恵器甕1、土師器坏1		292	139
SK-37	C-20		69	66	59	49	30	B	円形		土師器坏1、土師器甕1		292	139
SK-72	D-20	SK-73より新。	(87)	62	(74)	49	13	B	(楕円形)	P1 53×40×88			292	
SK-73	D-20	SK-72より古。	(97)	85	80	60	16	B	不整円形				292	
SK-81	E-21		148	110	137	100	13	B	隅丸三角形				292	139
SK-99	E-21		112	74	98	55	14	B	楕円形				292	140
SK-200	C-17		(117)	101	(105)	89	23	B	楕円形	P1 53×33×9 P2 42×38×26 P3 28×26×24			292	140
SK-205	C-17		60	50	46	35	14	B	楕円形		土師器高台付坏1		292	140
SK-220	D-16		120	93	112	80	11	B	不整楕円形		土師器甕1		292	140
SK-240	C-15	SK-227より新。	(96)	82	(85)	64	18	B	不整形				292	140
SK-246	F-16	SK-247より新。	207	162	155	115	22	B	不整形	P1 59×50×17	土師器坏1、須恵器坏1、土師器羽釜1		292	140
SK-261	D-16		85	85	69	60	33	B	円形		土師器坏1		292	140
SK-266	E-15	SI-38より古。	141	123	115	96	42	B	不整円形				292	
SK-276	C-15		110	99	86	73	24	B	円形				292	140
SK-279	C-15		(85)	83	(73)	69	9	B	不整円形	P1 52×48×34	土師器甕1		293	141
SK-283	D-15		127	124	116	109	16	B	円形				293	141
SK-284	D-15		98	88	(91)	(81)	53	C	不整円形		須恵器坏1		293	141
SK-295	E-15		135	83	115	70	26	B	楕円形		須恵器坏1		293	141
SK-296	E-15		95	91	86	76	11	B	不整円形				293	141
SK-310	D-14	SI-46は不明。	109	98	95	58	26	B	楕円形	P1 45×35×20	土師器坏1		293	141
SK-311	D-14	SI-46、SK-318・332は不明。	127	93	100	55	34	B	隅丸長方形	P1 20×16×15	土師器皿1		293	
SK-312	D-14	SI-46、SK-318は不明。	144	98	114	81	20	B	楕円形	P1 25×16×8 P2 20×19×21	土師器坏1、土師器埦1、土師器甕3		293	
SK-313	D-14	SI-46、SK-325・332は不明。	130	100	41	35	41	B	不整形				293	
SK-314	D-14	SK-320・326・328より新。1344・1346は不明。	(224)	(201)	205	(180)	46	B	(円形)				294	141
SK-318	D-14	SI-46、SK-311・312・332は不明。	116	(69)	104	(60)	20	(B)	不明	P1 19×16×22			293	
SK-323	F-15		110	93	91	66	11	B	楕円形	P1 23×22×37	須恵器坏1		293	141
SK-325	D-14	SI-46、SK-313・332は不明。	77	67	50	41	[26]	B	不整円形	P1 17×17×9	土師器坏1		293	
SK-332	D-14	SI-46、SK-311・313・318・325は不明。	(127)	(106)	(111)	(88)	12	B	楕円形	P1 21×17×33 P2 61×45×38	土師器皿1		293	
SK-340	E-14	SK-339より新。	145	(122)	130	(110)	17	B	不整楕円形	P1 39×31×12 P2 22×22×19			293	
SK-606	F-7		126	115	91	91	22	B	円形				294	142
SK-618	E-8	SK-592より新。	99	97	85	78	190以上	A	円形		礫多量	井戸	294	142
SK-709	D-7		80	74	64	58	20	B	隅丸方形				294	
SK-799	D-8		155	104	92	85	24	B	楕円形		土師器坏1、礫多量		294	142
SK-815	D-7		94	82	80	66	14	B	不整円形				294	
SK-876	E-6		72	45	50	31	18	B	楕円形	P1 25×21×15 P2 22×13×10	須恵器蓋1		294	
SK-880	E-4		121	112	98	86	21	B	不整円形	P1 18×17×10 P2 22×20×16	土師器坏1、土師器甕2		294	
SK-946	A-8	SK-997より新。	76	72	75	72	76以上	A	円形		礫多量	井戸	294	142
SK-997	A-8	SK-946より古。	(106)	(104)	(74)	(69)	40	B	円形				294	142
SK-1019	D-5		85	46	65	26	14	B	楕円形		土師器埦1		294	
SK-1029	C-4		112	106	76	60	36	B	不整円形				294	
SK-1067	F-20	SK-1066・1068より新。SK-1157は不明。	[468]	(197)	[456]	(157)	18	B	隅丸長方形	P1 46×35×18		調査区外へ広がる。	295	142
SK-1068	F-21	SK-1067より古。	(305)	150	(278)	127	6	B	隅丸長方形	P1 28×21×26			295	142
SK-1096	G-15		98	92	80	79	15	B	円形				295	
SK-1105	F-19		145	84	138	53	34	B	不整楕円形	P1 43×37×12			295	
SK-1135	F-15		136	124	113	104	25	B	円形				296	142
SK-1211	F-16		73	70	60	55	7	B	円形				295	
SK-1257	G-18	SK-1258・1330・1334より新。SK-1266a・1317は不明。	205	[193]	171	[183]	23	B	不明				296	
SK-1261	F-19		99	90	75	44	20	B	不整円形				296	
SK-1288	G-17	SK-1286・1287・1291より新。	(235)	(191)	(220)	(169)	8	B	不整楕円形				296	
SK-1317	G-18	SK-1257は不明。	113	75	88	44	73	B	不整楕円形		土師器甑1		296	142



第297図　SK－34・36・37・205・220・246・261・279・284・295・310～313・323・325・332・799・876出土遺物



第298図　SK－880・1019・1317・遺構外出土遺物

第21表　古墳時代から平安時代土坑出土遺物一覧表

単位：cm・g、(推定値)、[残存値]

遺構№	№	注記	器種	法量(cm･g)	整形の特徴	焼成/胎土/色調	遺存状態/出土状態	備考	挿図№	図版№
SK-34	1	SK-34覆土	土師器 坏	器高：［2.3］ 底径：（5.8）	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り。	良好 砂粒、小礫少量 内外:灰黄褐	体部から底部1/4遺存 覆土中	内面一部煤付着。	297	
SK-36	1	SK-36覆土	土師器 坏	器高：［1.4］ 底径：　6.0	ロクロ成形 (外)体端:手持ちヘラケズリ、底:回転糸切り後手持ちヘラケズリ。 (内)体底:ヘラミガキ。	良好 小礫、砂粒微量 内:黒　にぶい赤褐　外:にぶい黄橙	底部のみ遺存 覆土中		297	
SK-36	2	SK-36覆土	須恵器 甕	不明	(外)平行叩き。 (内)ナデ。	良好 小礫、砂粒少量 内外:灰赤	胴部小片 覆土中		297	
SK-37	1	SK-37覆土	土師器 坏	口縁：(13.5) 器高：　4.7 底経：　6.5	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り。	良好 砂粒、小礫少量 内外:にぶい橙	1/3遺存 覆土中	内外面一部煤付着。	297	
SK-37	2	SK-37No.1	土師器 甕	口径：(21.5) 器高：［9.0］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦斜位ヘラケズリ。 (内)口胴上:ヨコナデ後横位ヘラミガキ。	良好 砂粒、長石少量 内:黒　外:灰褐	口縁部から胴上部1/5遺存 東部底面直上		297	
SK-205	1	SK-205覆土	土師器 高台付坏	器高：［3.1］ 底径：［7.3］	ロクロ成形 (内)黒色処理、底:ヘラミガキ。 高台貼付。	良好 雲母、砂粒微量 内:黒　外:にぶい黄橙	底部4/5遺存 覆土中		297	
SK-220	1	SK-220覆土	土師器 甕	口径：(22.5) 器高：［8.5］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位ヘラナデ。	良好 砂粒、小礫、石英少量 内外:にぶい黄褐	口縁部から胴部小片 覆土中		297	
SK-246	1	SK-246覆土	土師器 坏	口径：(13.9) 器高：［5.3］	ロクロ成形 (外)体下:回転ヘラケズリ	良好 雲母、砂粒少量 内外:にぶい黄橙	口縁部から体部小片 覆土中		297	
SK-246	2	SK-246覆土	須恵器 坏	器高：［1.1］ 底径：（8.2）	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り	良好 砂粒少量 内外:灰	底部小片 覆土中	底部外面に焼成前直線状の刻みあり。ヘラ記号か。	297	
SK-246	3	SK-246覆土	土師器 羽釜	不明	(外)ナデ。 (内)口縁:ヨコナデ、体:横斜位ヘラナデ。	良好 砂粒、雲母少量 内外:灰黄褐	口縁部小片 覆土中		297	
SK-261	1	SK-261覆土	土師器 坏	口径：(17.9) 器高：［4.2］	ロクロ成形 (外)体下端:手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理、口体:横位ヘラミガキ。	良好 砂粒、雲母少量 内:黒　外:にぶい黄橙	口縁部から体部1/5遺存 覆土中		297	
SK-279	1	SK-279覆土	土師器 甕	器高：［10.7］ 底径：（9.3）	(外)胴:縦位ヘラケズリ、胴下端:横位ヘラケズリ、底:ナデ。 (内)胴:ヘラナデ。	良好 砂粒やや多く 内:にぶい橙　外:橙	胴下半から底部遺存 覆土中		297	
SK-284	1	SK-284覆土	須恵器 坏	器高：［3.3］ 底径：　8.1	(外)底:回転ヘラ切り後回転ヘラケズリ。	良好 小礫、砂粒少量 内外:黄灰	体部から底部1/2遺存 覆土中	底部外面に焼成前の刻みあり。ヘラ記号。	297	
SK-295	1	SK-295覆土	須恵器 坏	器高：［1.0］ 底径：　7.4	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り。	良好 小礫、砂粒少量 内外:灰	底部小片 覆土中	底部外面に焼成前の直線状の刻みあり。ヘラ記号か。	297	

SK-310	1	SK-310覆土	土師器 坏	口径：(11.7) 器高：［3.6］ 底径：（7.8）	ロクロ成形 (外)体下端:手持ちヘラケズリ。	良好 砂粒少量 内外:にぶい橙	口縁部から体部1/4 遺存 覆土中		297	
SK-311 SK-313	1	SK-311覆土 SK-313覆土	土師器 坏	口径：(10.9) 器高：　2.7 底径：（6.3）	ロクロ成形 (外)底:回転糸切り後ナデ。	良好 砂粒微量 内外:にぶい黄橙	2/5遺存 SK-311・SK-313覆 土中	遺構間接合。	297	
SK-312	1	SK-312覆土	土師器 坏	器高：［2.7］ 底径：　7.8	ロクロ成形 (外)底:摩滅していて不明。 (内)黒色処理、体下底:横位ヘラミガキ。	良好 砂粒、雲母少量 内:黒　外:灰黄褐	底部2/3遺存 覆土中	底部は摩滅著しい。	297	
SK-312	2	SK-312覆土	土師器 埦	口径：(11.8) 器高：［5.7］	ロクロ成形	良好 砂粒少量 内外:にぶい黄橙	口縁部から体部1/3 遺存 覆土中		297	
SK-312	3	SK-312覆土	土師器 甕	口径：(16.3) 器高：［10.9］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上:ナデ、胴中:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 雲母、砂粒 内外:にぶい黄橙	口縁部から胴部上半 部2/5遺存 覆土中		297	
SK-312	4	SK-312覆土	土師器 甕	口径：(21.7) 器高：［18.6］	(外)口縁:指頭痕あり、胴:横位ヘラケズリ。 (内)口縁:指頭痕あり、胴:横斜位ヘラナデ。	良好 砂粒、雲母少量 内外:にぶい黄橙	口縁部から胴部1/5 遺存 覆土中		297	
SK-312	5	SK-312覆土	土師器 甕	口径：(22.1) 器高：［17.5］	(外)口縁:ヨコナデ、胴上端:指頭痕あり、胴:縦斜位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴上:横位ヘラナデ、胴下:縦位ヘラナデ。	良好 雲母、砂粒多量 内外:黒褐	口縁部から胴部2/5 遺存 覆土中		297	
SK-323	1	SK-323覆土	須恵器 坏	器高：［1.8］ 底径：（7.8）	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り後ナデ。	良好 小礫、長石微量 内外:灰	体底部1/3遺存 覆土中		297	
SK-325	1	SK-325覆土	土師器 坏	口径：(12.0) 器高：　2.7 底径：　7.3	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラ切り後ナデ	良好 砂粒、雲母微量 内外:にぶい黄橙	口縁部から底部小片 覆土中		297	
SK-332	1	SK-332覆土	土師器 坏	口径：　9.7 器高：　2.8 底径：［6.2］	ロクロ成形 (外)底:回転ヘラケズリ。	良好 砂粒少量 内外:にぶい黄橙	1/5遺存 覆土中		297	
SK-799	1	SK-799覆土	土師器 坏	口径：(11.6) 器高：［4.0］	ロクロ成形 (内)口体:横位ヘラミガキ。	良好 砂粒、雲母少量 内外:にぶい橙	口縁部から体部1/5 遺存 覆土中		297	
SK-876	1	SK-876覆土	須恵器 蓋	口径：(11.7) 器高：　3.3	ロクロ成形 (外)天井部:回転ヘラケズリ	良好 砂粒少量 内外:灰	1/2遺存 覆土中	内面墨書「入」と、焼成前の浅い直線的な刻みあり。ヘラ記号か。	297	149
SK-880	1	SK-880覆土	土師器 坏	口径：(13.0) 器高：［4.4］	ロクロ成形 (外)体下:手持ちヘラケズリ。 (内)黒色処理、口体:横位ヘラミガキ。	良好 砂粒少量 内:黒　外:にぶい黄橙	口縁部から体部1/5 遺存 覆土中		298	
SK-880	2	SK-880覆土	土師器 甕	口径：(15.8) 器高：［9.7］	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、胴:横位ヘラナデ。	良好 雲母、砂粒少量 内外:灰黄褐	口縁部から胴部上半 部小片 覆土中		298	
SK-880	3	SK-880覆土	土師器 甕	器高：［6.3］ 底径：　6.6	(外)胴:縦位ヘラケズリ、底:ヘラケズリ。 (内)胴:縦斜位ヘラナデ、底:ナデ。	良好 小礫、石英、砂粒少量 内:灰黄褐　外:にぶい橙	胴下部から底部遺存 覆土中		298	
SK-1019	1	SK-1019覆土	土師器 埦	口径：(13.2) 器高：　6.5 底径：（6.3）	(外)口縁:ヨコナデ、体:ナデ、底:木葉痕後ヘラケズリ。 (内)口縁:ヨコナデ、体:縦横位ヘラナデ。	良好 小礫、雲母、砂粒少量 内外:にぶい橙	1/5遺存 覆土中		298	
SK-1317	1	SK-1317No.2	土師器 甑	口径：21.5 器高：19.3 底径：　8.3	(外)口縁:ヨコナデ、胴:縦位ヘラケズリ。 (内)口縁:横位ヘラミガキ、胴:縦位ヘラミガキ、底:横位ヘラケズリ。	良好 砂粒、小礫、石英少量 内外:橙	ほぼ完形 東部覆土中正立		298	149
遺構外	1	SK-43覆土	鉄製品 釘	長：［3.2］ 幅：　0.5 厚：　0.4			上部欠損 B-19グリッド出土		298	149
遺構外	2	SK-32覆土	土錘	長：　4.0 幅：　1.3 厚：　1.2 孔径：　0.4 重：　6.2	ナデ	にぶい黄	完形 C-21グリッド出土		298	149

第４節　時期不明の遺構

時期が特定できなかった遺構は、土坑597基、溝６条がある。ここで、全体図と一覧表により報告する。一覧表の項目については、縄文時代の土坑などと同様である。

第22表　時期不明土坑一覧表

単位：cm、(推定値)、[残存値]

遺構№	グリッド	重複関係	上場長径	上場短径	下場長径	下場短径	最深長	断面	平面形	付属施設
SK-10	B-20	SK-17より新。	(84)	(68)	(65)	(53)	22	B	楕円形	
SK-11	B-20		66	59	50	43	14	B	不整形	
SK-18	B-20		309	96	282	78	20	B	隅丸長方形	
SK-20	C-20	SK-22より新。	140	76	125	53	19	B	隅丸長方形	
SK-21	C-20	SK-22は不明。	253	97	217	58	27	B	不整形	P1　64×50×8
SK-22	C-20	SK-20より古。SK-21は不明。	256	77	236	62	26	B	隅丸長方形	
SK-23	C-20	SK-24は不明。	(51)	(35)	(41)	30	37	B	不整形	
SK-33	C-21		69	69	58	55	16	B	円形	
SK-35	C-20		51	50	45	39	7	B	円形	
SK-42	D-21		294	[50]	262	[39]	40	(B)	不明	
SK-44	C-19		186	95	116	75	34	B	隅丸長方形	
SK-51b	C-20	SK-24より新。SK-55・56は不明。	[101]	62	[89]	53	17	(B)	不明	
SK-55	C-20	SK-52・54より新。SK-51b・56は不明。	[324]	87	[313]	66	16	(B)	不明	
SK-56	C-20	SK-54より新。SK-51b・55は不明。	[99]	58	[99]	40	23	(B)	不明	
SK-64	D-21		370	60	355	47	28	B	隅丸長方形	
SK-65	D-21	SK-74より新。	462	68	451	56	26	B	隅丸長方形	
SK-68	D-21	SK-69より新。	158	134	135	113	64	B	不整形	
SK-69	D-21	SK-68より古。	336	72	310	56	53	B	隅丸長方形	
SK-71	D-20	SK-70より新。	44	[39]	26	[25]	27	(B)	不明	
SK-75	D-21	SK-74より新。	118	110	94	78	55	B	円形	
SK-76	D-21		167	132	137	111	46	B	隅丸長方形	
SK-78b	D-20		55	40	30	21	75	B	楕円形	
SK-96	E-20		57	48	25	15	34	B	不整円形	
SK-97	E-20		47	40	31	25	43	B	円形	
SK-107	E-20	SK-92は不明。	45	[26]	35	[20]	63	(B)	不明	
SK-114	D-19	SK-119は不明。	46	[41]	[31]	22	42	B	不整形	
SK-115	D-19	SK-119は不明。	57	50	21	20	46	B	不整形	
SK-117	D-19	SK-116は不明。	55	[35]	35	[23]	29	B	(円形)	
SK-124	D-19	SK-63・125は不明。	(60)	52	(42)	40	43	B	(円形)	
SK-132	D-19	SK-116は不明。	60	54	30	30	48	B	楕円形	
SK-134	E-20	SK-106は不明。	(54)	47	(40)	37	44	B	(円形)	
SK-137	E-20	SK-92・93・138より新。	152	[80]	141	[78]	34	B	不整形	
SK-147	E-19	SK-148より新。	144	67	130	53	32	B	(隅丸長方形)	
SK-161b	D-18		280	[65]	(261)	[61]	9	B	不整形	P1　30×23×13 P2　70×58×28
SK-163a	E-19	SK-162aより新。	(67)	63	(62)	(56)	45	B	(円形)	
SK-164	E-19	SK-162a・165は不明。	(70)	70	(55)	50	37	B	(円形)	
SK-169	E-19	SK-165・170・171・189は不明。	75	54	30	25	[55]	B	不整形	
SK-178	E-19		60	59	27	25	67	B	円形	
SK-187	F-19		55	53	45	39	20	B	円形	
SK-189	E-19	SK-169・170・171は不明。	60	45	25	18	[48]	B	楕円形	
SK-197	C-17	SK-219より新。	350	163	320	151	76	B	隅丸長方形	
SK-203	C-17		28	26	16	15	27	B	円形	
SK-211b	C-16	SK-210・211cより新。	(177)	(107)	(165)	(87)	26	(B)	不明	
SK-221	C-16		166	63	155	51	45	B	隅丸長方形	
SK-223	D-17		41	35	30	23	21	B	円形	
SK-224	D-17		55	54	30	25	31	B	円形	
SK-229	C-15		157	100	135	85	37	B	隅丸長方形	
SK-231	C-15	SK-230は不明。	(58)	41	(46)	35	21	B	(楕円形)	
SK-254	D-16	SK-251より新。	128	73	115	63	15	B	隅丸長方形	P1　29×26×22
SK-264	D-16		37	35	28	24	53	B	円形	
SK-278	C-15	SK-288は不明。	181	137	(162)	130	11	B	不整形	
SK-281	C-15		164	85	145	69	52	B	不整形	
SK-288	C-15	SK-278・306は不明。	70	37	60	27	14	B	楕円形	P1　42×23×7
SK-302	C-14		186	184	164	141	28	B	隅丸方形	P1　35×28×5 P2　32×24×15
SK-303a	C-14	SK-303bは不明。	40	32	17	12	25	B	楕円形	
SK-303b	C-14	SK-303aは不明。	58	50	40	29	30	B	不整円形	
SK-304	C-14		60	56	30	29	36	B	円形	
SK-305	C-14	SK-316は不明。	77	65	41	41	33	B	不整円形	
SK-306	C-14	SK-288は不明。	67	67	45	41	24	B	(円形)	
SK-309	D-14		65	45	50	30	29	B	楕円形	P1　30×25×37
SK-315	D-14	SK-320は不明。	52	40	15	11	39	B	不整形	
SK-316	C-14	SK-305は不明。	163	157	142	130	12	B	隅丸方形	P1　55×45×68 P2　32×26×12
SK-317	C-14		230	94	220	80	11	B	隅丸長方形	P1　26×25×25 P2　32×32×41
SK-329	D-14		200	141	172	125	15	B	隅丸方形	P1　81×53×72 P2　42×35×17
SK-337	C-14		120	75	108	52	39	B	不整形	

SK-362	C-11		62	58	42	42	13	B	円形	
SK-363	C-12		180	95	165	85	11	B	隅丸長方形	
SK-369	D-11		147	110	117	90	20	B	不整形	P1　55×27×15 P2　43×35×31 P3　40×35×24
SK-373	E-12	SK-1418は不明。	74	57	42	32	30	B	楕円形	
SK-376b	D-13		50	47	25	24	28	B	円形	
SK-385	E-12		80	64	(60)	(45)	10	B	楕円形	
SK-387	E-12		69	66	46	45	17	B	不整円形	
SK-388	E-12		43	38	30	26	33	B	不整形	
SK-389	E-12		124	80	(66)	(38)	50	B	不整形	
SK-390	E-12		56	54	50	46	7	B	不整形	P1　23×21×19 P2　30×30×33 P3　35×20×24
SK-392	E-12		46	32	28	16	38	B	不整楕円形	
SK-393	E-12		63	41	45	25	25	B	楕円形	P1　25×13×11
SK-395	F-11	SK-424は不明。	63	57	32	30	32	B	円形	
SK-396	E-11		45	45	29	27	17	B	円形	
SK-400	F-11		75	44	50	30	22	B	楕円形	
SK-407	E-12		72	62	31	30	31	B	楕円形	
SK-416	E-13	SB-1は不明。	169	70	156	57	12	B	隅丸長方形	
SK-424	F-11	SK-395は不明。	50	47	32	27	19	B	円形	
SK-426	E-11		84	53	25	13	27	B	楕円形	
SK-428	E-12		33	28	20	15	25	B	楕円形	
SK-429	E-12		40	34	8	8	23	B	楕円形	
SK-433	E-12	SK-432より新。SK-434より古。	[59]	43	[52]	24	12	B	不整形	
SK-434	E-12	SK-433より新。	[95]	77	30	28	30	B	不整形	
SK-435	E-12		65	63	45	40	34	B	円形	
SK-437	E-11		74	53	60	42	10	B	楕円形	P1　47×21×12
SK-438	F-11		36	36	27	19	22	B	円形	
SK-447a	E-12	SK-447b・448は不明。	49	46	15	14	32	B	不整円形	
SK-447b	E-12	SK-447a・448は不明。	52	48	25	19	32	B	不整円形	
SK-448	E-12	SK-447a・447bは不明。	56	[44]	35	[33]	24	B	円形	
SK-450	F-13	SK-452は不明。	61	[41]	50	[34]	13	B	不明	
SK-451	F-13		47	38	15	15	23	B	楕円形	
SK-452	F-13	SK-449より新。SK-453より古。SK-450は不明。	[160]	108	[160]	100	34	B	不明	
SK-453	F-13	SK-452・454より新。	[156]	152	111	47	48	B	(円形)	
SK-465	F-12		(52)	45	(37)	30	19	B	不整形	P1　25×24×1
SK-467	F-13	SB-1は不明。	150	92	135	85	17	B	隅丸方形	
SK-471	D-11		(55)	46	(47)	35	18	B	楕円形	P1(20)×20×7 P2　24×17×17
SK-472	D-11		54	52	34	30	42	B	円形	P1　10×9×10
SK-473	D-11		46	42	24	20	15	B	円形	
SK-474	D-11		40	40	20	20	46	B	円形	
SK-475	D-11		42	35	26	20	37	B	楕円形	
SK-476	D-11		33	28	15	15	26	B	楕円形	
SK-477	D-11		49	40	39	32	44	B	楕円形	
SK-485	C-11		31	28	20	20	37	B	円形	
SK-490	D-10		63	47	36	27	15	B	楕円形	
SK-491	D-10		44	35	12	10	53	B	楕円形	
SK-495	D-10		39	32	15	15	35	B	楕円形	
SK-501	C-15		55	37	44	25	22	B	楕円形	
SK-502	C-15		38	36	31	29	34	B	円形	
SK-503	C-15		37	30	31	21	15	B	不整形	
SK-504	C-15		35	30	20	14	65	B	楕円形	
SK-505	C-15		32	31	24	23	59	B	円形	
SK-506	C-15		33	29	21	19	50	B	円形	
SK-507	C-15		23	16	19	9	11	B	楕円形	
SK-508	C-15		33	31	20	15	41	B	隅丸三角形	
SK-509	C-15		28	27	15	11	43	B	円形	
SK-510	C-15		32	25	16	13	55	B	楕円形	
SK-511	C-14		32	30	11	11	50	B	円形	
SK-512	C-14		28	28	10	9	46	B	円形	
SK-513	C-15		37	27	19	17	41	B	円形	
SK-514	D-15		36	31	21	11	31	B	楕円形	
SK-515	C-15		57	56	38	34	24	B	円形	
SK-516	C-11		234	108	197	92	31	B	不整楕円形	P1　31×26×12 P2　30×28×8
SK-521b	E-11		75	48	50	21	23	B	不整楕円形	
SK-523	E-11		68	52	55	39	22	B	楕円形	
SK-528	D-10	SK-500は不明。	223	80	213	65	6	B	隅丸長方形	
SK-530	F-10		45	44	31	30	10	B	不整円形	P1　23×20×8
SK-531	F-10		39	32	24	24	24	B	不整円形	
SK-532	F-10		45	45	32	30	18	B	円形	
SK-533	F-10		47	42	33	28	16	B	楕円形	
SK-534	F-10		45	41	29	22	28	B	楕円形	
SK-535	F-10		42	40	20	20	36	B	円形	
SK-536	F-10		45	40	40	36	20	B	円形	
SK-537	F-10		55	50	18	16	36	B	円形	
SK-538	F-10		93	78	75	62	32	B	楕円形	
SK-540	E-10	SK-547は不明。	[50]	50	30	21	9	B	不整形	

SK-542	E-10		66	59	25	20	34	B	円形	
SK-543	E-10		(110)	(68)	(98)	(52)	14	B	不整形	
SK-546	E-10		85	61	23	20	35	B	不整楕円形	
SK-548	F-10		128	72	115	62	11	B	不整形	P1　23×18×15
SK-549	E-10		56	52	24	20	42	B	円形	
SK-551a	E-10		53	(50)	45	(43)	15	B	(不整円形)	
SK-551b	E-10		(57)	(44)	14	14	26	B	(楕円形)	
SK-558	E-9		47	45	33	(32)	26	B	円形	P1　38×30×10 P2　39×20×5
SK-564	E-9		65	58	42	35	32	B	不整円形	P1　11×10×15
SK-565	E-9		51	47	19	14	48	B	円形	
SK-569	C-14		33	32	15	15	50	B	円形	
SK-570	C-14		46	37	31	18	32	B	不整楕円形	
SK-571	C-14		45	40	23	16	23	B	不整円形	
SK-572	C-14		47	36	31	18	16	B	楕円形	
SK-573	C-14	SK-574は不明。	27	26	17	16	22	B	円形	
SK-574	C-14	SK-573は不明。	29	26	17	13	17	B	円形	
SK-575	C-14		30	30	18	17	14	B	円形	
SK-576	C-14		47	44	32	29	10	B	円形	
SK-577	C-14		25	23	17	15	30	B	円形	
SK-578	C-14		42	40	24	24	17	B	円形	
SK-579a	C-14		31	29	15	13	17	B	円形	
SK-580b	C-13		26	25	16	15	20	B	円形	
SK-598	E-9		57	55	44	43	8	B	円形	
SK-599	E-8		32	29	18	17	33	B	円形	
SK-600	E-8		65	60	23	15	28	B	隅丸方形	
SK-605	F-7		68	65	55	50	16	B	円形	P1　50×25×10
SK-614	F-7		42	42	25	22	28	B	円形	
SK-619	E-8	SK-593は不明。	63	60	42	41	70	B	円形	
SK-625	E-7	SK-624より新。	50	37	37	22	27	B	不整楕円形	
SK-626	E-8		60	44	22	15	98	B	楕円形	
SK-630	E-8		46	45	27	25	35	B	不整円形	
SK-631	E-8		62	53	30	25	26	B	不整円形	
SK-632	E-8		38	34	21	21	30	B	円形	
SK-636	E-8		50	45	35	35	17	B	円形	P1　15×13×7
SK-642	F-9		68	63	27	22	26	B	楕円形	
SK-661	E-7		56	55	26	17	38	B	円形	
SK-662	E-7		48	40	34	29	29	B	楕円形	
SK-663	E-7		44	41	26	25	23	B	円形	
SK-664	E-7		37	37	28	22	20	B	円形	
SK-665	E-7		46	32	42	22	20	B	楕円形	
SK-666	E-7		48	46	38	25	21	B	不整円形	
SK-667	E-7		40	40	29	27	24	B	円形	
SK-668	E-7		39	37	25	20	31	B	円形	
SK-669	E-7		40	39	28	22	41	B	円形	
SK-670	E-8	SK-650は不明。	44	35	21	18	31	B	楕円形	
SK-671	E-8		65	42	30	25	29	B	不整楕円形	
SK-672	E-8		50	48	26	24	29	B	円形	
SK-673	E-8		50	42	25	20	27	B	円形	
SK-674	E-8		58	47	40	25	26	B	楕円形	
SK-675	E-7		35	34	15	13	38	B	円形	
SK-676	E-7		54	46	35	29	21	B	楕円形	
SK-677	E-7		55	32	39	20	25	B	不整楕円形	
SK-678	E-7		62	29	42	18	44	B	楕円形	
SK-679	E-7		46	42	35	32	15	B	円形	P1　25×22×15
SK-680	E-7		43	36	25	25	26	B	円形	
SK-681	E-7		57	50	42	41	15	B	楕円形	
SK-682	E-7		42	20	30	13	23	B	楕円形	
SK-683	E-7		77	56	(31)	24	29	B	楕円形	P1　35×25×10
SK-686	D-9		64	52	50	40	15	B	隅丸方形	P1　49×36×34
SK-688	D-9		57	46	37	31	56	B	楕円形	P1　36×31×24
SK-689	D-9		46	33	25	14	16	B	楕円形	P1　30×25×6
SK-690	D-9		27	26	20	16	20	B	楕円形	P1　14×13×9
SK-698	E-7		39	34	20	14	27	B	不整円形	
SK-699	E-7		46	46	35	21	27	B	不整形	
SK-700	E-7		37	30	17	17	34	B	楕円形	
SK-701	D-10		40	26	21	14	31	B	不整楕円形	
SK-704	D-7	SK-705は不明。	(68)	61	(46)	34	18	B	不整形	
SK-707	D-7		31	30	17	15	19	B	不整円形	
SK-708	D-7		55	47	32	28	19	B	不整円形	
SK-710	D-7		300	87	250	60	41	B	隅丸長方形	
SK-712	D-7		71	65	60	50	12	B	不整形	
SK-716	D-9	SK-717より新。SK-719は不明。	217	82	184	65	49	B	隅丸長方形	P1　76×30×3
SK-719	D-9	SI-13、SK-717より新。SK-716は不明。	[175]	105	[150]	75	22	B	不整形	P1　62×25×3
SK-722	D-13		32	28	21	16	27	B	楕円形	
SK-723	D-13		(97)	46	(80)	31	30	B	不整形	P1　44×40×9
SK-724	D-13		64	(57)	47	(42)	31	B	(円形)	P1　50×42×4
SK-725	D-13		52	43	33	30	25	B	不整形	
SK-726	D-13		41	37	29	27	16	B	楕円形	
SK-727	D-13		50	47	34	30	41	B	円形	
SK-728	D-13		48	35	35	22	23	B	楕円形	
SK-729	D-13		77	56	63	33	38	B	不整楕円形	

SK-730	D-13	SK-377は不明。	(36)	34	25	25	17	B	(円形)	
SK-731	D-13		57	54	37	32	24	B	円形	
SK-732	D-13		37	37	22	16	28	B	円形	
SK-733	D-13		50	39	39	28	23	B	不整楕円形	
SK-734	D-13		50	50	31	26	31	B	円形	
SK-735	D-12	SK-376a・378は不明。	50	45	29	28	36	B	不整円形	
SK-736	D-13	SK-376aは不明。	34	33	21	21	22	B	円形	
SK-737	D-13		52	42	30	28	24	B	楕円形	
SK-738	D-13		55	52	39	38	6	B	円形	
SK-739	D-13		42	33	30	25	17	B	楕円形	
SK-740	D-13		65	55	32	26	26	B	不整楕円形	
SK-741	D-13		56	45	32	30	38	B	楕円形	
SK-742	D-13	SK-743は不明。	(37)	31	(26)	16	8	B	(楕円形)	
SK-743	D-13	SK-742・744は不明。	75	(68)	59	50	9	B	不整円形	
SK-744	D-13	SK-743は不明。	60	50	26	21	19	B	楕円形	
SK-745	D-13	SK-1386は不明。	64	(60)	(48)	47	15	B	(円形)	
SK-746	D-13		39	39	27	26	19	B	円形	
SK-747	D-13		40	40	32	29	28	B	円形	
SK-748	D-13		58	57	42	40	15	B	不整形	
SK-749	C-13		45	35	36	28	22	B	楕円形	
SK-750	C-13		48	41	36	27	16	B	不整円形	
SK-751	C-13		50	45	38	34	23	B	円形	
SK-752	C-13		61	59	50	48	14	B	円形	
SK-753	C-13		49	49	39	37	17	B	円形	
SK-754	C-12		58	50	47	29	30	B	不整形	
SK-755	C-12		45	44	22	21	26	B	円形	
SK-756	C-12		50	47	33	32	26	B	円形	
SK-757	C-12		39	32	22	21	27	B	不整楕円形	
SK-758	C-12		55	45	45	32	17	B	不整楕円形	
SK-759	E-13		62	57	33	28	32	B	楕円形	
SK-760	E-13		65	57	50	48	26	B	楕円形	P1　33×32×17
SK-761	E-13		44	41	15	15	45	B	楕円形	
SK-762	E-13		50	46	31	28	26	B	楕円形	
SK-763	E-13		42	42	26	23	31	B	円形	
SK-764	C-13		34	28	22	18	17	B	楕円形	
SK-765	E-12		51	40	41	37	9	B	楕円形	
SK-766	E-12		60	50	32	30	36	B	楕円形	
SK-767	E-12		35	33	24	16	27	B	楕円形	
SK-768	E-12		44	39	35	25	30	B	楕円形	
SK-769	E-12		78	49	60	20	22	B	不整楕円形	
SK-770	D-13		29	28	19	17	19	B	円形	
SK-771	D-13		40	34	24	23	33	B	円形	
SK-772	D-13		41	40	30	28	34	B	円形	
SK-773	C-11		86	75	70	62	34	B	不整形	
SK-774	C-11		57	37	39	13	37	B	不整楕円形	
SK-775	C-11		44	33	14	12	34	B	楕円形	
SK-777	D-8		46	45	22	13	31	B	不整円形	
SK-778	D-8		42	35	21	15	36	B	楕円形	
SK-779	D-8		40	35	25	21	9	B	楕円形	
SK-780	D-8		27	25	15	14	29	B	円形	
SK-781	D-8		25	19	11	7	21	B	楕円形	
SK-782	D-8		60	56	36	32	21	B	不整円形	
SK-783	D-8		50	48	35	34	19	B	円形	
SK-784	D-8		50	46	28	28	60	B	不整円形	
SK-785	D-8		44	37	24	13	107	B	楕円形	
SK-786	D-7		30	30	15	13	11	B	円形	
SK-787	D-7		35	31	15	14	42	B	不整円形	
SK-788	D-7		63	48	47	40	5	B	楕円形	
SK-789	D-7		33	32	19	16	40	B	円形	
SK-794	D-8		21	19	13	10	48	B	楕円形	
SK-808	D-8	SI-23、SK-809より新。	168	78	170	58	47	D	隅丸長方形	
SK-811	D-9		(56)	51	(38)	35	22	B	円形	P1　25×23×24
SK-812	D-9		40	40	30	28	10	B	円形	
SK-813	D-9		34	32	23	22	38	B	円形	
SK-814	D-9		45	34	33	26	38	B	楕円形	
SK-827	E-6		45	33	31	20	35	B	楕円形	
SK-831	F-5	SK-930は不明。	62	60	49	43	12	B	円形	
SK-841	E-5		23	22	10	10	24	B	円形	
SK-857a	D-5	SK-858・885・886より新。SK-859は不明。	339	72	320	61	37	B	隅丸長方形	
SK-857b	D-5		[104]	79	[106]	63	21	B	(隅丸長方形)	P1　64×35×8 P2　55×35×8
SK-859	D-5	SK-858・886より新。SK-857aは不明。	[258]	77	[252]	68	6	B	(隅丸長方形)	
SK-861	D-6	SK-862より新。	[195]	81	[175]	65	31	B	不整形	
SK-863	D-6	SK-867・884より新。	(396)	100	(383)	86	46	B	(隅丸長方形)	
SK-864	D-6		185	64	90	38	44	B	隅丸長方形	
SK-867	D-6	SK-884より新。SK-863より古。	(495)	64	(490)	51	42	B	(隅丸長方形)	
SK-870	D-4		243	75	236	64	37	D	隅丸長方形	
SK-871	D-4		252	83	225	55	22	B	不整形	
SK-873	E-4	SK-874より新。	175	60	152	43	6	B	隅丸長方形	P1　64×57×11
SK-875	E-3		98	57	75	32	38	B	不整楕円形	
SK-895	B-10		35	32	25	23	15	B	円形	

SK-896	B-10		63	54	53	41	12	B	楕円形	
SK-897	B-10		43	38	35	28	28	B	楕円形	
SK-898	B-10		59	56	43	43	14	B	円形	
SK-899	B-10		44	40	30	18	34	B	楕円形	
SK-902	B-10	SK-905より新。	159	80	130	61	25	B	隅丸長方形	
SK-903	C-10	SK-912・913より新。SK-904は不明。	376	69	362	60	18	B	隅丸長方形	P1　22×18×9
SK-904	C-10	SK-912・913より新。SK-903は不明。	［120］	95	［112］	81	7	B	不明	
SK-905	B-10	SK-902より古。	78	（75）	65	（63）	23	B	（円形）	
SK-906	B-10		75	65	62	50	14	B	楕円形	
SK-925	F-4	SI-36、SK-940より新。	（200）	78	115	60	30	B	（隅丸長方形）	
SK-935	D-3		223	99	205	84	50	B	隅丸長方形	
SK-937	G-5	SK-938は不明。	30	30	16	11	20	B	円形	
SK-938	G-5	SK-937は不明。	31	30	16	15	28	B	円形	
SK-945	B-10	SK-909より新。	323	70	292	57	64	B	隅丸長方形	
SK-954	B-9		182	116	（136）	96	23	B	隅丸長方形	
SK-955	B-9		172	87	156	71	16	B	不整形	
SK-964	C-9		209	69	191	58	16	B	隅丸長方形	
SK-966	B-9		153	94	134	64	24	B	隅丸長方形	P1　34×30×23
SK-971	C-8		97	47	86	36	6	B	楕円形	
SK-973	B-9		47	42	29	26	28	B	円形	
SK-974	A-9		48	47	35	35	12	B	不整円形	
SK-976	B-8	SK-978は不明。	114	80	95	64	10	B	不整楕円形	
SK-978	B-8	SK-976は不明。	［210］	57	［202］	40	12	B	（楕円形）	
SK-981	B-8		124	95	100	82	24	B	不整形	P1　77×50×10
SK-984	C-8		52	37	35	14	18	B	楕円形	
SK-986	C-8		81	80	68	64	23	B	隅丸三角形	
SK-990	C-7		155	68	141	55	18	B	隅丸長方形	
SK-992	C-7		218	80	210	67	10	B	隅丸長方形	
SK-996	C-8		190	79	170	66	12	B	不整楕円形	
SK-1005	F-5	SI-35は不明。	51	44	17	12	58	B	楕円形	
SK-1006	F-5		55	52	40	36	16	B	楕円形	
SK-1010	F-5		70	56	43	35	22	B	楕円形	
SK-1012	F-5		66	55	47	37	29	B	不整楕円形	P1　33×24×22
SK-1013	F-5		（57）	46	（40）	33	22	B	（楕円形）	P1　39×35×21
SK-1014	F-5		50	50	30	28	29	B	不整円形	
SK-1018	D-5		28	25	18	10	32	B	円形	
SK-1020	F-5		52	40	21	19	55	B	楕円形	
SK-1032	B-8		63	55	55	40	38	B	楕円形	
SK-1044	B-6		140	［76］	105	［57］	56	B	不明	
SK-1045	G-2		74	61	（41）	（40）	19	B	楕円形	P1　57×41×17
SK-1046	C-7		（70）	60	（62）	48	10	B	不整楕円形	P1　56×50×17
SK-1049	B-6	SK-1050より新。	196	65	172	53	54	B	隅丸長方形	
SK-1051	F-5		（48）	45	（41）	29	15	B	（楕円形）	P1　32×24×7
SK-1062	F-21		76	50	64	36	9	B	楕円形	
SK-1063b	F-21		45	45	24	18	30	B	隅丸方形	
SK-1069	F-21	SI-52より新。	［135］	［90］	［113］	［60］	11	B	不明	
SK-1071	F-21	SI-52、SK-1070より新。	（148）	145	（111）	105	41	B	（円形）	
SK-1080	H-15		48	44	27	21	33	B	楕円形	
SK-1081	H-15		［450］	74	［445］	65	6	B	不明	
SK-1083	H-15		［467］	59	［461］	48	8	B	不明	
SK-1084	H-15	SK-1085より新。	65	51	54	38	45	B	不整楕円形	
SK-1092	G-15	SB-7より新。SB-6は不明。	［123］	113	［120］	100	12	B	（楕円形）	
SK-1098	G-15		222	86	191	70	22	B	楕円形	
SK-1121	F-20		75	55	32	27	53	B	楕円形	
SK-1123	G-15		30	22	13	10	11	B	楕円形	
SK-1124	G-15		39	33	22	17	9	B	楕円形	
SK-1148a	H-16	SK-1148bは不明。	137	80	104	55	40	B	隅丸長方形	
SK-1148b	H-16	SK-1148aは不明。	［168］	126	［140］	85	38	B	（隅丸長方形）	
SK-1157	G-20	SK-1066より新。SK-1067は不明。	260	93	179	61	53	B	隅丸長方形	
SK-1158	G-20	SK-1075は不明。	［45］	45	［40］	30	31	B	不明	
SK-1169	G-18	SK-1168・1260b・1266b・1315・1332は不明。	（96）	67	（73）	45	28	B	（隅丸長方形）	
SK-1173	G-16	SK-1172は不明。	60	58	50	40	34	B	円形	
SK-1181	G-16		36	34	16	16	32	B	円形	
SK-1203	G-16	SB-5は不明。	49	40	31	21	27	B	楕円形	
SK-1204	G-16	SK-1205・SB-5は不明。	［47］	［26］	［37］	［17］	［21］	（B）	不明	
SK-1205	G-16	SB-5、SK-1204は不明。	［77］	55	［70］	41	20	B	（楕円形）	
SK-1207	G-16		41	30	11	11	32	B	楕円形	
SK-1213	F-16		55	45	39	35	39	B	不整楕円形	
SK-1214	F-16		50	46	36	33	26	B	円形	
SK-1215	F-16		60	52	41	35	24	B	楕円形	
SK-1216	F-16		42	40	30	29	10	B	円形	
SK-1218	G-16	SB-5は不明。	32	27	17	17	24	B	楕円形	
SK-1219	F-16		28	26	20	15	10	B	円形	
SK-1227	H-17		51	46	34	29	27	B	楕円形	
SK-1228	G-17	SK-1184は不明。	39	36	26	23	17	B	円形	
SK-1230	F-16	SB-4abは不明。	36	34	21	20	16	B	円形	
SK-1237	F-17		50	50	40	35	14	B	不整円形	
SK-1244	F-16		48	39	30	23	37	B	楕円形	
SK-1246	F-16		60	50	42	35	28	B	不整円形	
SK-1249	F-16	SB-4abは不明。	50	42	34	25	39	B	不整楕円形	
SK-1266a	G-18	SI-55、SK-1257・1258は不明。	［60］	［19］	［50］	［13］	15	（B）	不明	
SK-1266b	G-19	SK-1168・1169・1260b・1268・1332は不明。	（77）	56	（60）	33	37	（B）	不明	

SK-1267	G-19	SK-1167a・1269aより新。	［81］	［74］	［81］	［46］	17	（B）	不明	
SK-1269a	G-19	SK-1167aより新。SK-1267より古。SK-1255は不明。	100	［35］	80	［35］	25	（B）	不明	
SK-1269b	G-19	SK-1252・1256は不明。	59	46	22	17	85	B	不整楕円形	
SK-1271	F-16	SB-4abは不明。	24	23	10	10	15	B	不整円形	
SK-1281	G-18	SK-1277・1282・1296・1300より新。	（260）	77	（230）	56	46	B	（隅丸長方形）	
SK-1316	G-18	SK-1326より古。	（195）	115	（176）	96	32	B	隅丸長方形	
SK-1320	F-19		88	45	68	31	35	B	不整楕円形	
SK-1326	F-18	SK-1316より新。	（208）	85	（183）	70	14	B	隅丸長方形	
SK-1328	G-18	SK-1318a・1319・1329は不明。	（145）	103	（132）	89	9	B	不整形	
SK-1329	F-18	SK-1328は不明。	162	115	143	103	13	B	隅丸長方形	
SK-1332	G-18	SI-55、SK-1169・1170・1260b・1266b・1315は不明。	［85］	［50］	［68］	［26］	18	（B）	不明	
SK-1337	E-19	SK-155・157は不明。	55	51	33	31	20	B	円形	
SK-1338	E-19	SK-156・157は不明。	50	44	28	22	78	B	円形	
SK-1339	D-16	SK-216は不明。	80	62	45	31	43	B	不整楕円形	
SK-1340	D-16	SK-216は不明。	80	59	69	49	9	B	楕円形	P1　43×40×21
SK-1341	E-15		29	25	16	12	33	B	不整円形	
SK-1342	E-15		38	30	11	11	62	B	楕円形	
SK-1343	E-15		43	42	28	25	27	B	円形	
SK-1344	D-14	SK-314は不明。	47	（41）	28	26	26	B	（円形）	
SK-1345	D-14		27	21	12	11	20	B	楕円形	
SK-1346	D-14	SK-314は不明。	（46）	（45）	40	28	37	B	（円形）	
SK-1347	D-14		68	55	53	43	24	B	楕円形	
SK-1348	C-14	SD-1は不明。	50	47	35	33	36	B	円形	
SK-1349	C-14	SD-1は不明。	52	47	20	16	32	B	円形	
SK-1350	D-14	SI-46は不明。	40	27	28	13	33	B	楕円形	
SK-1351	E-14		31	25	20	15	12	B	楕円形	
SK-1352	E-14		35	31	19	15	26	B	円形	
SK-1353	E-14		35	34	29	18	31	B	円形	
SK-1354	E-14		36	35	19	17	22	B	円形	
SK-1355	E-14		40	33	21	15	19	B	楕円形	
SK-1356	E-14		75	52	58	57	37	B	楕円形	
SK-1357	E-14		40	32	25	18	14	B	楕円形	
SK-1358	E-14		36	35	26	25	36	B	隅丸方形	
SK-1359	E-14	SB-2・3は不明。	55	46	42	30	32	B	不整形	
SK-1360	E-14		28	25	11	10	16	B	楕円形	
SK-1361	E-14	SB-2・3は不明。	27	25	13	13	28	B	楕円形	
SK-1362	F-14	SB-2・3は不明。	110	92	90	80	7	B	隅丸方形	P1　26×24×27
SK-1364	E-14	SI-42は不明。	52	38	41	18	28	B	楕円形	
SK-1365	E-14	SB-2・3は不明。	40	40	27	27	31	B	隅丸方形	
SK-1366	C-13		27	24	19	17	16	B	円形	
SK-1367	C-13		30	27	20	16	30	B	楕円形	
SK-1368	C-13		22	22	13	12	14	B	円形	
SK-1369	C-13		30	21	15	12	21	B	楕円形	
SK-1370	C-13		29	25	23	20	37	B	円形	
SK-1371	C-13		29	27	19	19	37	B	円形	
SK-1372	C-13		33	32	18	13	25	B	円形	
SK-1373	C-13		24	23	14	13	10	B	円形	
SK-1374	C-13		35	32	20	19	24	B	円形	
SK-1375	C-13		21	20	10	10	19	B	円形	
SK-1376	C-13		35	26	16	14	20	B	楕円形	
SK-1377	C-13		72	51	58	39	14	B	不整楕円形	
SK-1378	C-13		34	33	24	23	9	B	円形	
SK-1379	C-13		40	35	29	25	17	B	楕円形	
SK-1380	D-13		49	49	25	25	29	B	円形	
SK-1381	D-13		68	56	39	25	33	B	楕円形	
SK-1382	D-13		42	38	24	21	26	B	楕円形	
SK-1383	D-13		51	41	32	28	35	B	楕円形	
SK-1384	C-13		35	31	26	20	10	B	楕円形	
SK-1385	D-13		45	42	36	35	27	B	円形	
SK-1386	D-13	SK-745は不明。	52	（45）	37	（33）	17	B	楕円形	
SK-1387	C-13		54	45	44	42	17	B	楕円形	
SK-1388	C-13		40	35	30	23	8	B	楕円形	
SK-1389	C-13		30	29	20	19	21	B	円形	
SK-1390	D-13		48	46	36	35	17	B	円形	
SK-1391	D-13		28	26	20	19	18	B	円形	
SK-1392	D-13		55	50	40	37	20	B	楕円形	
SK-1393	D-13		56	39	36	19	26	B	楕円形	
SK-1394	D-13		60	54	48	40	26	B	不整楕円形	
SK-1395	D-13	SK-368は不明。	44	38	22	20	31	B	楕円形	
SK-1397	D-13		55	40	42	27	17	B	隅丸長方形	
SK-1398	C-13		45	40	33	33	13	B	楕円形	
SK-1399	D-13		27	24	20	10	14	B	楕円形	
SK-1400	D-13	SK-360は不明。	50	40	41	30	28	B	楕円形	
SK-1401	D-13		39	38	25	25	19	B	円形	
SK-1402	D-13	SK-1403は不明。	33	30	22	22	33	B	円形	
SK-1403	D-13	SK-1402は不明。	48	44	36	33	19	B	円形	
SK-1404	D-13	SK-378は不明。	27	［25］	18	［16］	16	B	不明	
SK-1405	E-13		39	30	13	11	18	B	楕円形	
SK-1406	E-13		70	66	54	47	15	B	円形	P1　35×32×19
SK-1407	E-13		50	36	35	27	8	B	楕円形	

SK-1408	E-13		46	40	35	18	29	B	不整円形	
SK-1409	F-12		33	27	20	15	13	B	楕円形	
SK-1410	E-12		58	40	40	25	31	B	楕円形	
SK-1411	E-12	SK-1412は不明。	53	[40]	[35]	35	21	B	不明	
SK-1412	E-12	SK-1411・1413は不明。	50	40	18	8	28	B	不明	
SK-1413	E-12	SK-1412は不明。	48	43	32	31	27	B	円形	
SK-1414	E-11		26	25	15	15	34	B	円形	
SK-1415	E-12		37	35	28	15	29	B	楕円形	
SK-1416	E-12		57	38	30	26	31	B	楕円形	
SK-1417	E-12		40	37	25	21	23	B	楕円形	
SK-1418	D-12	SK-373は不明。	52	39	29	19	24	B	楕円形	
SK-1419	E-12		35	35	14	12	29	B	円形	
SK-1420	E-12		43	40	31	28	15	B	楕円形	
SK-1421	E-12	SK-402aは不明。	65	60	50	46	33	B	円形	
SK-1422	E-12		63	42	52	23	17	B	楕円形	
SK-1423	C-12		40	37	30	27	13	B	楕円形	
SK-1424	C-12		53	45	28	28	10	B	楕円形	
SK-1425	D-12		40	38	30	30	9	B	円形	
SK-1426	C-12		62	60	47	40	7	B	隅丸三角形	
SK-1427	C-12		44	38	34	25	14	B	楕円形	
SK-1428	C-12		37	30	19	16	34	B	楕円形	
SK-1429	C-12		50	47	25	23	39	B	円形	
SK-1430	C-12		47	30	34	23	31	B	楕円形	
SK-1431	C-12		45	43	33	30	19	B	隅丸三角形	
SK-1432	C-12		85	72	50	37	11	B	不整楕円形	
SK-1433	D-12		41	40	25	25	28	B	不整円形	
SK-1434	C-12		50	50	40	35	12	B	円形	
SK-1435	C-12		83	70	63	50	18	B	不整形	P1　50×31×15
SK-1436	D-12		35	31	20	19	17	B	楕円形	
SK-1437	C-12		42	42	34	33	32	B	円形	
SK-1438	C-12		17	15	8	7	33	B	円形	
SK-1439	C-12		59	45	48	33	13	B	楕円形	P1　24×20×28 P2　12×12×15
SK-1440	C-12		34	20	12	10	30	B	不整楕円形	
SK-1441	D-12		31	25	14	10	23	B	楕円形	
SK-1442	D-12		20	18	15	12	21	B	楕円形	
SK-1444	D-12	SK-375は不明。	60	40	35	20	23	B	不整楕円形	
SK-1445	D-12		75	55	61	36	20	B	不整楕円形	
SK-1446	D-12		55	45	39	30	19	B	不整楕円形	
SK-1447	C-12		29	28	21	20	24	B	円形	
SK-1448	C-12		31	26	18	9	34	B	楕円形	
SK-1449	G-1		28	26	20	16	26	B	円形	
SK-1450	G-1		28	21	17	9	14	B	楕円形	
SK-1451	G-2		43	38	23	19	27	B	不整楕円形	
SK-1452	G-2		[195]	[31]	[171]	[25]	25	(B)	不明	
SK-1453	G-2		60	[45]	35	[32]	22	B	(楕円形)	
SK-1454	G-2		31	31	13	10	36	B	円形	
SK-1455	G-2		69	52	44	13	32	B	楕円形	
SK-1456	G-2		208	102	185	82	38	B	不整形	P1　34×34×16 P2　27×22×13
SK-1457	F-2		97	91	80	76	17	B	不整円形	
SK-1458	F-2		66	63	52	46	9	B	円形	P1　50×35×9
SK-1459	F-2		80	72	33	32	45	B	楕円形	
SK-1460	E-3		37	27	40	34	38	E	楕円形	
SK-1461	E-4		46	39	16	14	86	B	楕円形	
SK-1462	F-4	SK-888・923は不明。	49	46	15	15	57	B	不整円形	
SK-1463	F-5		57	45	40	28	11	B	不整楕円形	
SK-1464	F-5		51	43	35	25	12	B	不整楕円形	
SK-1465	F-5		49	38	32	24	14	B	楕円形	
SK-1466	G-5		50	39	35	22	13	B	楕円形	
SK-1467	F-5		45	35	18	15	28	B	楕円形	
SK-1468	F-5		40	36	24	20	32	B	楕円形	
SK-1470	E-5		48	41	30	23	10	B	不整楕円形	
SK-1471	E-5		29	29	16	13	26	B	円形	
SK-1472	E-5		66	55	55	40	16	B	不整形	
SK-1473	E-5		28	20	14	10	20	B	隅丸長方形	
SK-1474	E-5		20	18	8	7	16	B	楕円形	
SK-1475	E-5		36	34	23	18	5	B	隅丸方形	
SK-1476	E-5		27	20	10	6	20	B	楕円形	
SK-1477	E-5		23	23	11	10	14	B	円形	
SK-1478	E-5		34	26	22	14	14	B	不整楕円形	
SK-1481	D-6		39	39	12	8	39	B	円形	
SK-1482	D-6		55	47	38	31	11	B	楕円形	
SK-1484	E-6		64	39	40	22	12	B	楕円形	
SK-1485	E-6		32	30	19	15	26	B	円形	
SK-1486	D-7		29	23	15	10	8	B	楕円形	
SK-1488	D-7		46	35	19	19	29	B	不整楕円形	
SK-1489	D-7		45	42	30	28	9	B	円形	
SK-1490	D-7		50	48	40	40	8	B	隅丸方形	
SK-1491	D-8		30	22	12	10	66	B	楕円形	
SK-1492	D-8		45	33	35	20	29	B	不整楕円形	

SK-1493	D-9		69	61	53	50	39	B	不整楕円形	
SK-1494	D-9		34	32	12	12	33	B	円形	
SK-1495	D-9		40	37	29	25	37	B	円形	
SK-1496	D-9		30	24	19	17	20	B	楕円形	
SK-1497	E-8		25	20	14	13	14	B	楕円形	
SK-1498	D-8		73	55	25	22	22	B	不整形	
SK-1499	D-8		29	28	15	15	22	B	円形	
SK-1500	E-8		35	30	25	21	9	B	楕円形	
SK-1501	E-8		69	55	25	21	73	B	楕円形	
SK-1502	E-8		44	43	25	25	9	B	円形	
SK-1503	C-11		36	30	17	14	28	B	楕円形	
SK-1504	C-11		63	50	(53)	(38)	11	B	楕円形	P1　58×38×24
SK-1505	C-11		50	43	44	26	8	B	楕円形	P1　32×23×14
SK-1506	C-11		(65)	54	(51)	41	13	B	不整楕円形	P1　30×19×6 P2　39×33×23
SK-1507	C-11		33	27	17	15	17	B	楕円形	
SK-1509	D-11		56	52	35	35	13	B	円形	
SK-1510	E-11		44	43	30	30	11	B	円形	
SK-1511	E-11		24	23	25	21	56	D	円形	
SK-1512	F-11	SK-430は不明。	45	40	27	21	36	B	円形	
SK-1513	F-11	SI-6は不明。	90	71	55	47	21	B	楕円形	
SK-1514	F-11	SK-423は不明。	50	[30]	36	[25]	27	B	(楕円形)	
SK-1515	B-9		25	21	10	10	29	B	楕円形	
SK-1516	D-9		32	29	15	14	23	B	楕円形	
SK-1517	C-9		29	26	16	14	9	B	円形	
SK-1518	C-9	SK-961・1016は不明。	[57]	[54]	[50]	[50]	13	(B)	不明	
SK-1519	B-9		23	22	12	11	14	B	円形	
SK-1520	B-9		25	20	14	10	20	B	楕円形	
SK-1521	B-9		24	23	12	11	10	B	円形	
SK-1522	C-8		38	34	25	23	16	B	楕円形	
SK-1523	C-8		32	32	15	15	18	B	不整円形	
SK-1524	B-8		40	33	24	21	22	B	楕円形	
SK-1525	B-8		35	31	22	21	15	B	楕円形	
SK-1526	B-8		39	33	49	34	20	B	不整楕円形	
SK-1527	A-8		44	28	15	11	31	B	楕円形	
SK-1528	A-8		34	31	25	19	9	B	楕円形	
SK-1529	C-6		29	28	21	21	3	B	円形	
SK-1530	C-5		53	45	22	22	24	B	楕円形	
SK-1531	D-5		35	30	17	15	33	B	楕円形	
SK-1532	B-9	SK-956は不明。	[34]	[32]	[25]	[10]	25	B	不明	
SK-1533	F-20		38	38	21	19	37	B	円形	
SK-1534	F-20		49	45	36	36	51	B	円形	
SK-1535	F-20		38	35	19	16	23	B	円形	
SK-1536	F-20		52	48	27	27	25	B	円形	
SK-1537	G-17		46	35	34	21	14	B	楕円形	
SK-1538	G-17		48	30	36	25	24	B	楕円形	P1　25×20×18
SK-1539	F-16	SB-4abは不明。	61	56	45	45	16	B	円形	
SK-1540	F-16		23	20	15	14	11	B	楕円形	
SK-1541	F-16	SB-4abは不明。	31	28	15	12	8	B	円形	
SK-1542	G-16		35	26	23	15	11	B	楕円形	
SK-1543	G-15		39	34	16	15	20	B	楕円形	
SK-1544	F-19	SK-1109・1110より新。	(171)	75	(147)	60	38	B	隅丸長方形	
SK-1545	G-19	SK-1256は不明。	53	[50]	33	45	42	B	(楕円形)	
SK-1546	G-19	SK-1166は不明。	71	[42]	20	13	37	B	(楕円形)	
SK-1547	G-17	SK-1295は不明。	52	41	34	25	59	B	円形	

第23表　時期不明溝一覧表

単位：㎝、(推定値)、[残存値]

遺構№	グリッド	重複関係	上場長さ	上場幅	下場長さ	下場幅	最深長	付属施設
SD-1	C-14	SK-1348・1349は不明。	[1025]	246	[955]	234	53	P1 41×30×14 P2 34×31×9 P3 31×30×19
SD-2	C-11		[1079]	145	[1073]	119	10	P1 27×25×23 P2 25×24×12
SD-3	F-12	SK-460より新。SK-459は不明。	[380]	(234)	[380]	(210)	20	P1 25×25×18 P2 56×49×18 P3 39×29×9 P4 38×27×13 P5 26×22×10
SD-4	F-7	SK-604は不明。	350	53	337	42	11	
SD-5	F-7		336	60	323	45	12	
SD-6	A-9	SK-943より新。	[779]	227	[779]	200	35	P1 55×43×34

第４章　調査の成果

第１節　縄文時代

１，遺物について

（１）縄文土器

縄文土器の所属時期については、概ね出土遺物一覧表で示したとおりで、第24表により土器型式と他の遺跡の時期に対応する。大別すれば、１期は前期から中期初頭、２～12期が中期阿玉台Ⅰｂ式から後期堀之内式期、13期は後期中葉から後葉となる。1期と13期の土器量は極めて少ない。２期～12期は集落の主体的な時期で土器量も膨大かつ継続的である。編年の軸は、２～５期が阿玉台式、６～10期が加曽利Ｅ式、11期は称名寺式、12期は堀之内式である。

１期　遺構内出土の10点（SK-17の１、SK-24の１と２、SK-78aの１、SK-85の１、SK-87の１と２、SK-129の３、SK-1130の２、SK-1200の３）と遺構外１～９がある。この内、遺構外５～９を除き全てに繊維が混入し、縄文あるいは羽状縄文が施されることから、前期前半の羽状縄文系土器と考えられる。SK-17の１は原体側面圧痕や円形刺突から花積下層式、SK-24の１、SK-85の１、遺構外１～５は関山式と考えられる。また、遺構外６と７は諸磯式、８と９は前期末から中期初頭の土器と思われる。なお、SK-17とSK-87は前期前半の遺構であろう。

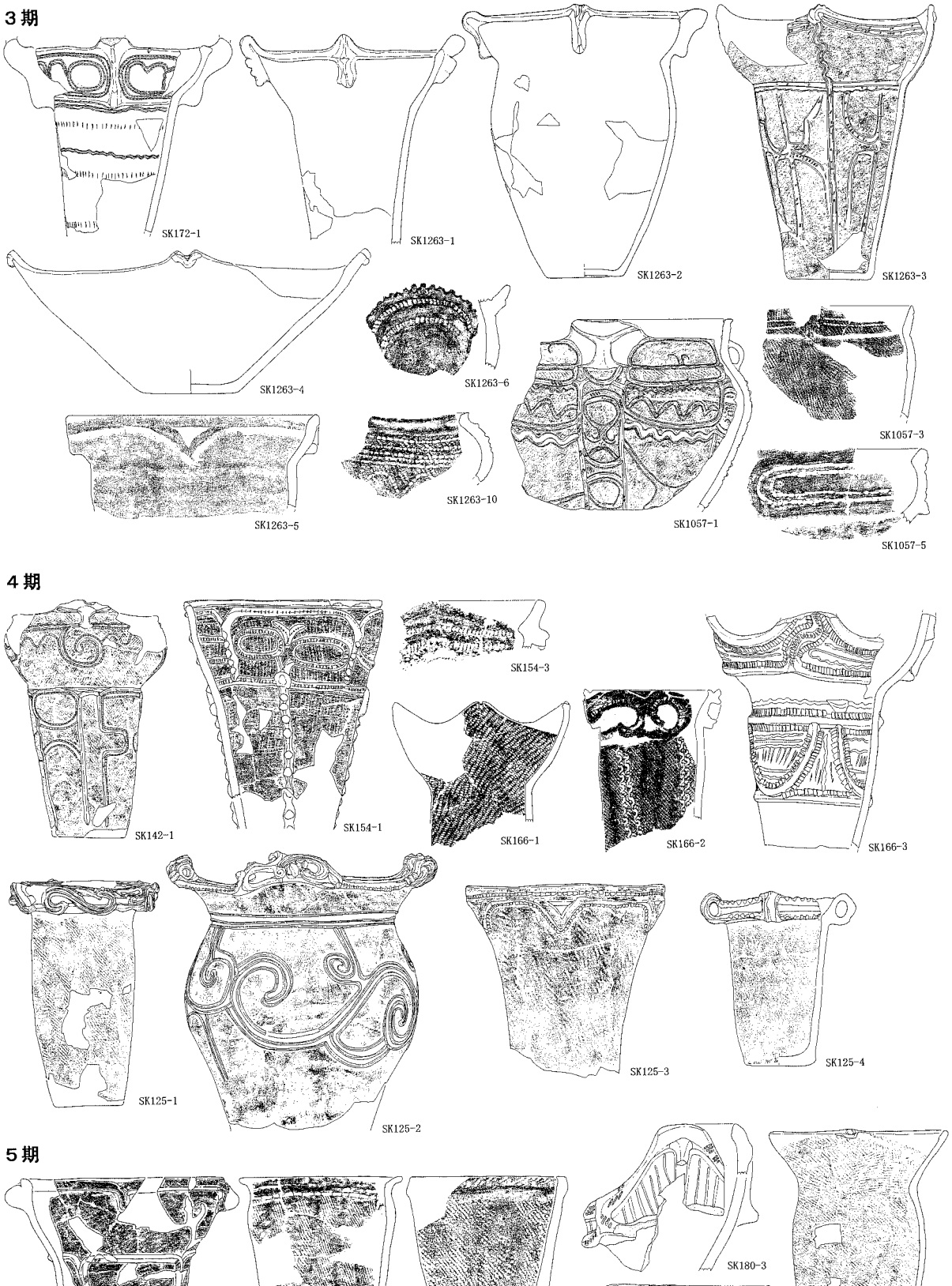
２期　阿玉台Ⅰｂ式期で大木７ｂ式が並行する。阿玉台Ⅰb式は、隆起線に付随して１列の角押文が施され、扇状把手や突起が付され、区画状・枠状の形状が整えられる段階である。SK-1264等に破片としては存在するが少ない。大木系土器は不明瞭である。

３期　阿玉台Ⅱ式期で大木７ｂ式が並行する。SK-172、SK-184、SK-191、SK-1057、SK-1263等に良好な土器が見られる。阿玉台Ⅱ式は、隆起線に付随し半截竹管や櫛歯状工具による複列の角押文や有節沈線が施される（SK-172の１、SK-1057の５、SK-1263の６～９）。また、隆起線による口縁部・胴部楕円形区画と「Ｙ」字状モチーフの垂下するもの（SK-184の６）や、口縁部に４単位の鰭状突起のみ付されるもの（SK-1263の１・２）もある。SK-1057とSK-1263には大木７ｂ式（SK-1057の３、SK-1263の３）や、縄文地文に有節沈線を施した七郎内Ⅱ群土器（SK-1057の１、SK-1263の10～12）、浅鉢（SK-1263の４）がある。SK-184の４は勝坂式系のモチーフかもしれない。

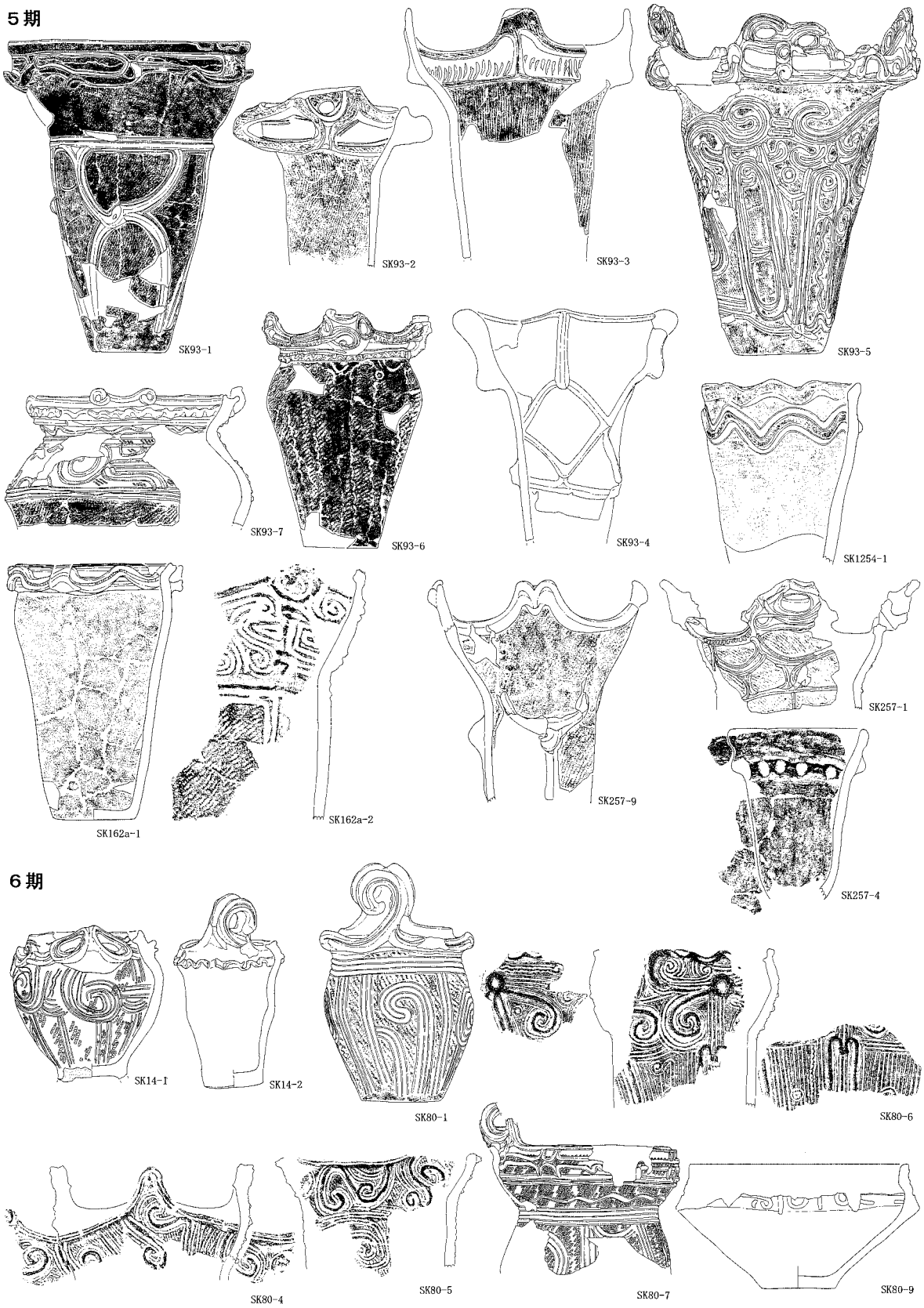
第24表　小鍋前遺跡縄文土器時期区分と編年対比

関　東	東　北	小鍋前遺跡	槻沢遺跡	三輪仲町遺跡	御城田遺跡	島田遺跡	御霊前遺跡	桧の木遺跡
阿玉台Ⅰｂ	大木７ｂ	２期	Ⅰ期	Ⅰ期	第Ⅰ期	第Ⅰ期		１期
阿玉台Ⅱ	大木７ｂ	３期		Ⅱ期	第Ⅱ期	第Ⅱ期	Ⅰ期	２期
阿玉台Ⅲ	大木８ａ（古）	４期	Ⅱ期古	Ⅲ期	第Ⅲ期	第Ⅲ期		３期
阿玉台Ⅳ	大木８ａ（中）	５期	Ⅱ期中	Ⅳ期	第Ⅳ期	第Ⅳ期	Ⅱ期	４期
加曽利ＥⅠ古	大木８ａ（新）	６期	Ⅱ期新	Ⅴ期	第Ⅴ期	第Ⅴ期	Ⅲ期	５期
加曽利ＥⅠ中	大木８ｂ（古）	７期	Ⅲ期	Ⅵ･Ⅶ期	第Ⅵ期	第Ⅵ期	Ⅳ期	６期
加曽利ＥⅠ新	大木８ｂ（新）			Ⅷ期	第Ⅶ期		Ⅴ期	７期
加曽利ＥⅡ古	（大木８ｂ新）～９古	８期	Ⅳ期	Ⅸ期	第Ⅷ期	第Ⅶ期	Ⅵ期	８期
加曽利ＥⅡ新	大木９古			Ⅹ期	第Ⅸ期	第Ⅷ期	Ⅶ期	９期
加曽利ＥⅢ	大木９新	９期	Ⅴ期	ＸⅠ期	第Ⅹ期		Ⅷ期	10期
加曽利ＥⅣ	大木10古	10期	Ⅵ期	ⅩⅡ期	第ⅩⅠ期		Ⅸ期	11期
称名寺	大木10新～綱取Ⅰ	11期	Ⅶ期	ⅩⅢ期	第ⅩⅡ期		Ⅹ期	12･13期
堀之内	綱取Ⅰ新～綱取Ⅱ	12期	Ⅷ期	ⅩⅣ期	第ⅩⅢ期		ⅩⅠ期	14･15期
江原・合田2001		本書	後藤1996	塚原1994	芹澤1987	猪瀬2006	合田2000	中村2006

※小鍋前遺跡の１期と13期はここでは除外した。

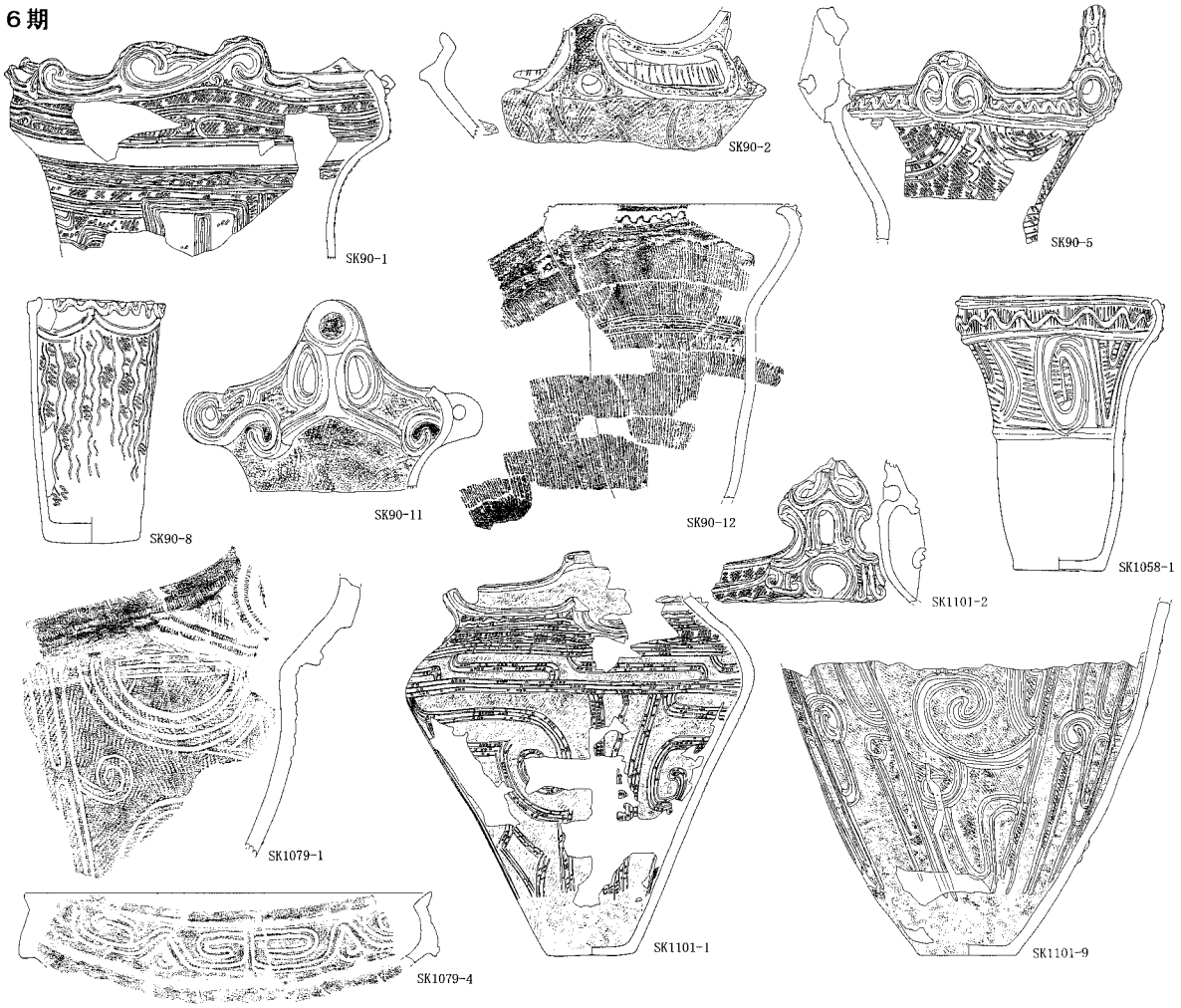


第299図　縄文土器（3～5期）

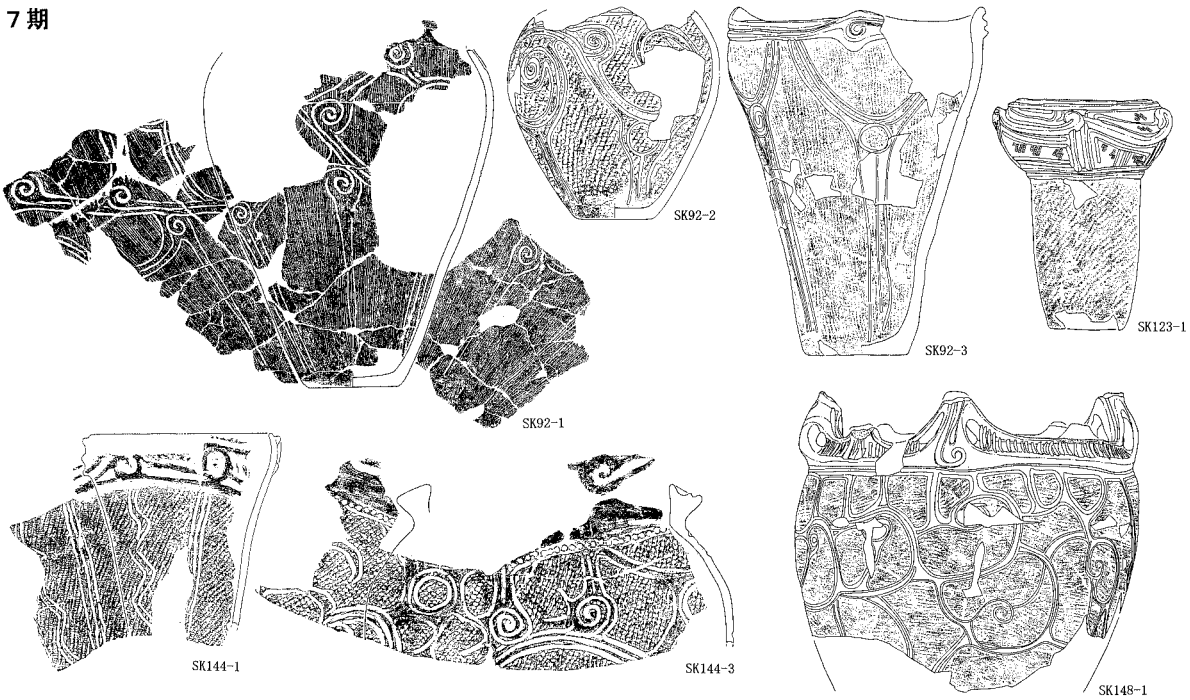


第300図　縄文土器（5・6期）

６期



７期



第301図　縄文土器（6・7期）

４期　阿玉台Ⅲ式期で大木８a式古段階が並行する。新しい要素も混じるが、SI-52、SK-125、SK-142、SK-166、SK-209等に良好な土器が見られる。阿玉台Ⅲ式は、隆起線に爪形文や幅の広い角押文が沿う。地文に縄文が用いられたり大型波状口縁が現れるなど、Ⅱ式からの変化は大きい（SK-82の１、SK-125の３、SK-166の３、SK-226の４）。大木８ａ式古段階（SK-125の１・２・４、SK-142の２、SK-152の１、SK-209の１～３）や、七郎内Ⅱ群土器（SK-142の１、SK-152の２、SK-226の５・６、SK-1167aの１）がある。SK-154の１・２は、連続したキザミを施した隆帯によるモチーフや空間の充填等、勝坂式的である。SI-52の13は口縁部交互刺突が見られる。中峠系であろうか。また、浅鉢も一定量認められる（SK-219の１、SK-1119の２・３）。３期に比べ阿玉台式より大木式土器が多く見られるようになる。

５期　阿玉台Ⅳ式期で大木８a式中段階が並行する。SK-93、SK-139、SK-180、SK-257などに良好な土器が見られる。阿玉台Ⅳ式は、隆起線に沈線が沿うものと隆起線のみのものがある。（SK-93の１～４、SK-139の１、SK-257の９、SK-1254の１）。大木８ａ式中段階を中心とする土器は多く、新旧あるいは様々な要素が入り交じる（SK-93の５～９、12～16、SK-162aの１・２、SK-257の１・３）。SK-93の10と11等は新しい要素を持つ。また、勝坂式に由来するモチーフの土器もある（SK-19の１、SK-83の３）。

６期　阿玉台式土器が消滅し、加曽利ＥⅠ式古段階で大木８ａ式新段階が並行する。SK-14、SK-80、SK-90、SK-1079、SK-1101などに良好な土器が見られる。これらの多くは大木８ａ式の範疇で考えられ、前代からの系譜上にあるものも多い。口縁部はキャリパー状に近いものが多くなり（SK-90の５・11・12）、極端に大きなものも現れる（SK-90の１、SK-1101の１・２・９）。また、把手は形状と大きさの異なるものを対面する部分に付す傾向が現れる（SK-90の５・11）。阿玉台式土器の様相を若干残すもの（SK-90の２）、加曽利ＥⅠ式の祖系的なものに勝坂式の文様モチーフが付加されたもの（SK-1058の１）、馬高系土器（SK-80の４～６）なども見られる。なお、複孤文系土器はほとんど見られない。

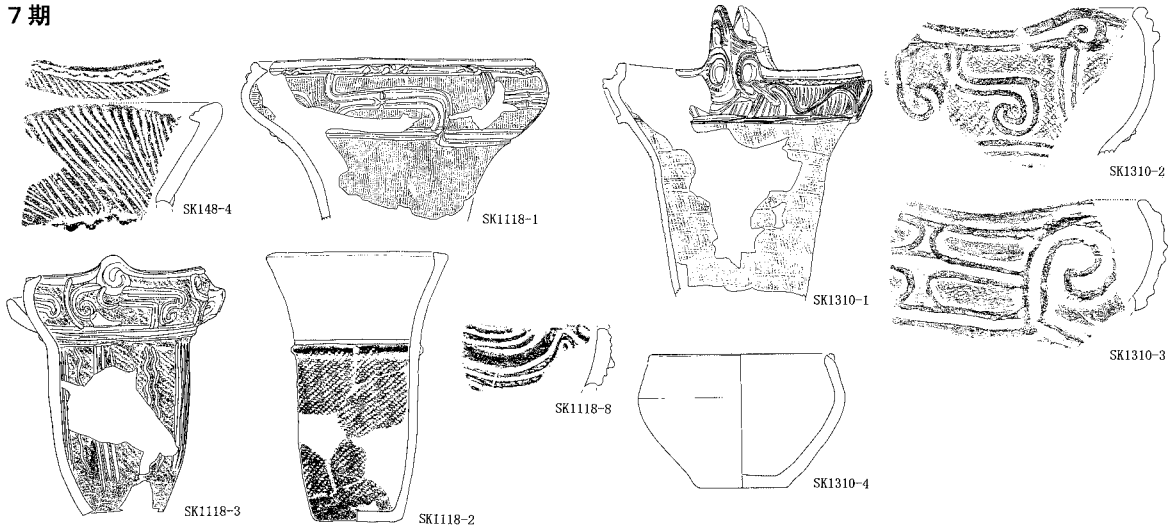
７期　加曽利ＥⅠ式中新段階で大木８ｂ式が並行する。SK-92、SK-144、SK-1118、SK-1310に良好な土器が見られる。加曽利ＥⅠ式は斉一性のあるキャリパー形深鉢が成立する（SK-123の１、SK-144の１、SK-1118の１・３）。大木８ｂ式は深鉢（SK-92の３、SK-1310の２・３）が見られるが、甕が目立つ。大（SK-92の１、SK-144の３、SK-148の１、SK-1188の７）、小（SK-92の２）あり、２、３本単位の沈線で大小の渦巻きとそれらの連結、棘状モチーフが見られる。この他、口縁部に特徴のあるSK-1118の２や、中峠式系のSK-1310の１、曽利式系のSK-148の４がある。SK-1118の８やSK-1308の６は複弧文系土器の破片である。

８期　加曽利ＥⅡ式期である。大木系土器はあまり見られない。SK-51ａ、SK-70がある。加曽利ＥⅡ式は磨消縄文の出現と定着が特徴となる（SK-51ａの３～５、SK-70の１）が、良好な資料には恵まれない。この他、曽利系土器（SK-51ａの２）や連弧文的なモチーフ（SK-51ａの３、SK-265の１、SK-1180の１）、有孔土器（SK-51ａの１）、鉢形土器（SK-70の２）、浅鉢形土器（SK-51ａの６）などがある。

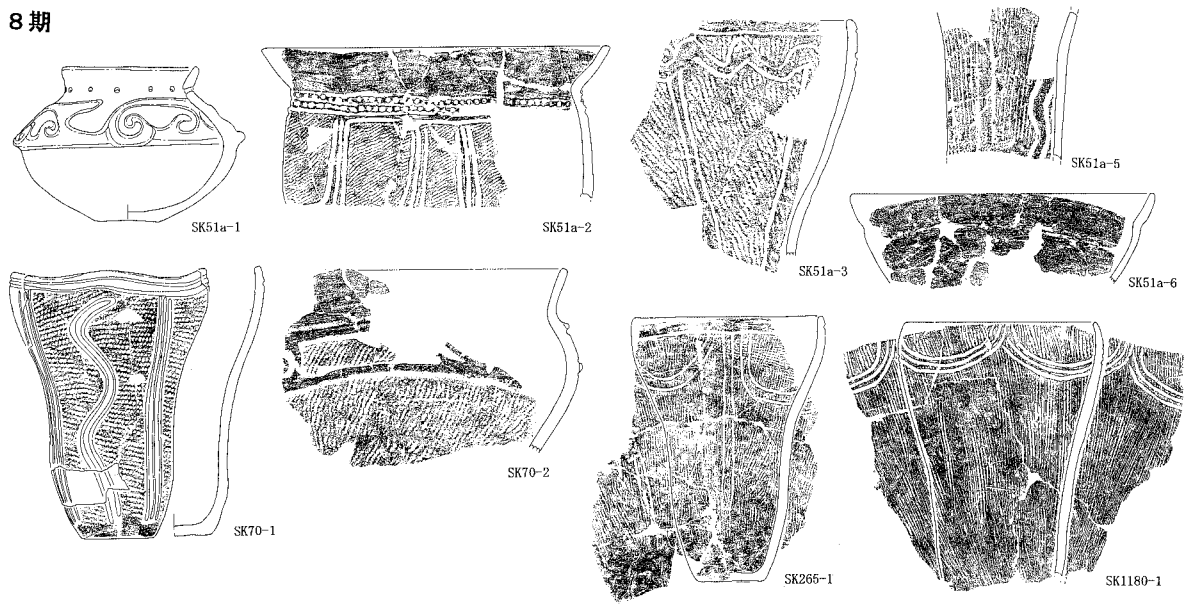
９期　加曽利ＥⅢ式期である。良好な資料は少なく、SK-492、SK-652、SK-1324に破片が入る程度である。加曽利ＥⅢ式は、Ⅱ式より口縁部の簡素化や口胴区画の不明瞭化、磨消帯幅の増大などが見られる（SK-146aの５・８、SK-492の１）。また、沈線による波状文や逆「U」字状文と磨消帯の土器（SI-57の１、SK-652の１）や胴部に隆帯で渦巻文を配する土器（SK-492の２）がある。条線を施した曽利系土器も少量伴出する（SK-1072の2・10）。

10期　加曽利ＥⅣ式期で大木10式古段階が並行する。良好な資料は少なく、SK-146ａが上げられる程度である。加曽利ＥⅣ式は、口縁部文様帯が失われ、無文化した口唇部を微隆起帯や沈線で以下と区画する。胴部は全面縄文（SK-146ａの１～３）、その他微隆帯及び磨消帯により大柄なモチーフを全面に展開させるもの

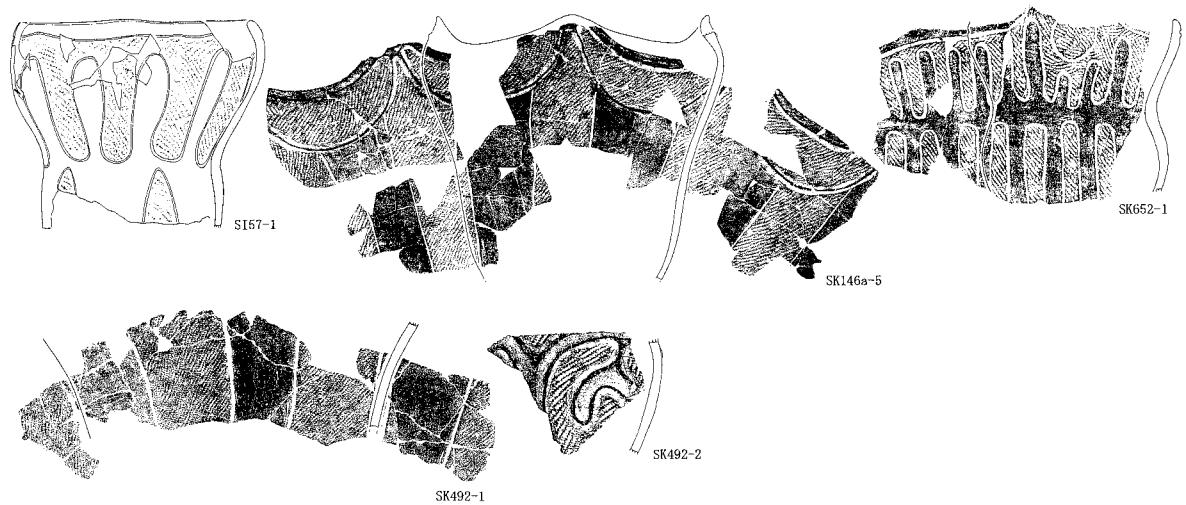
７期



８期

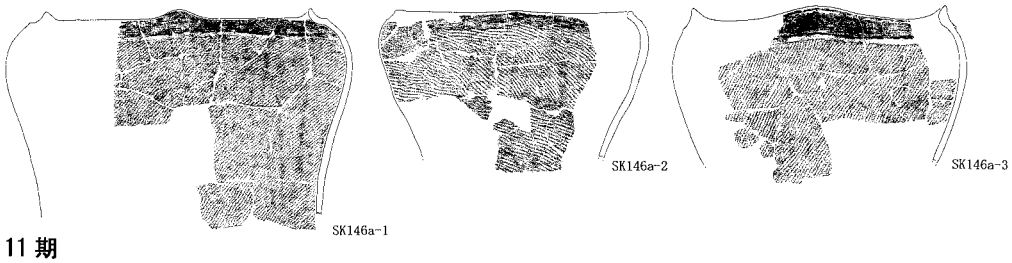


９期

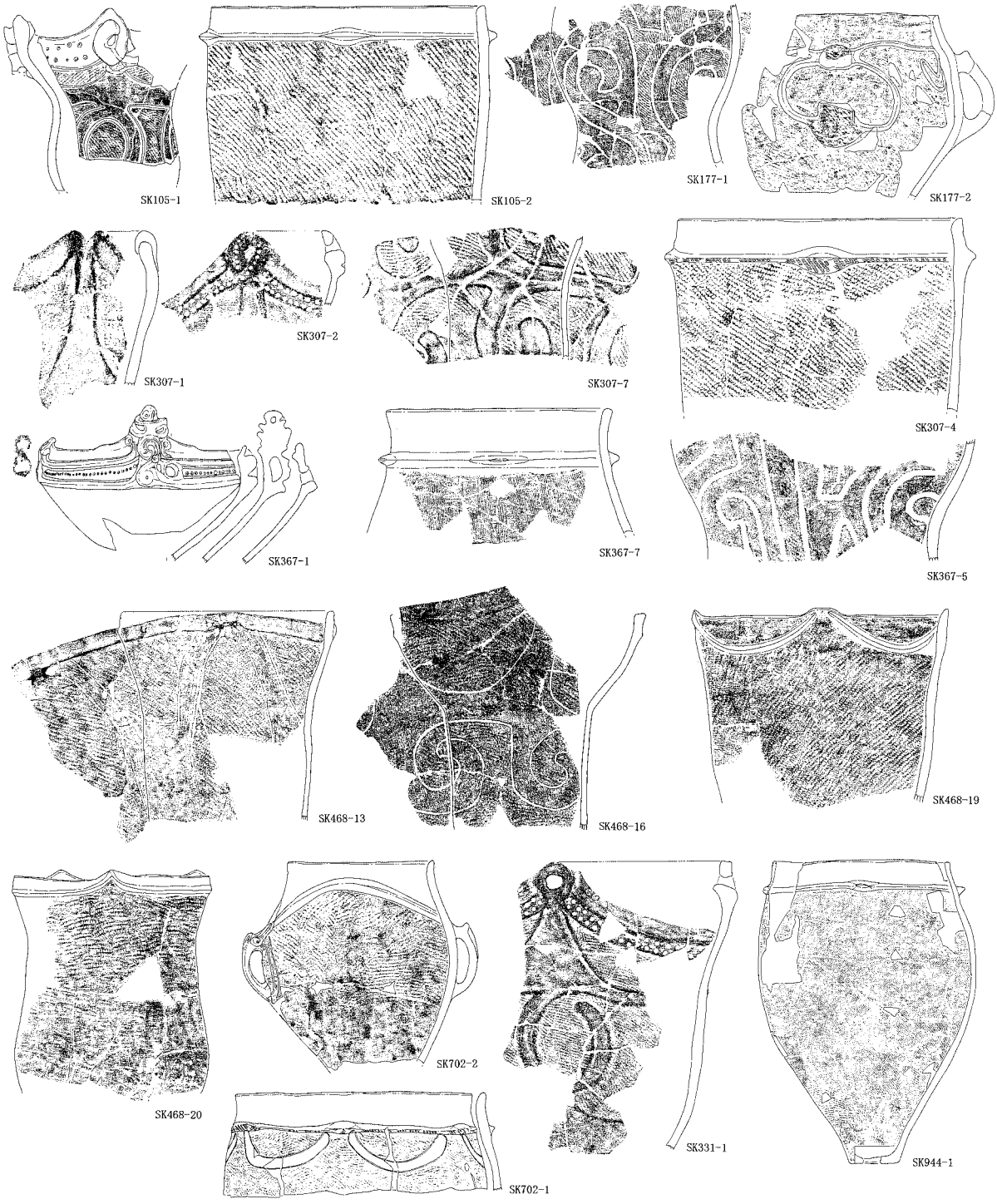


第302図　縄文土器（7～9期）

10 期

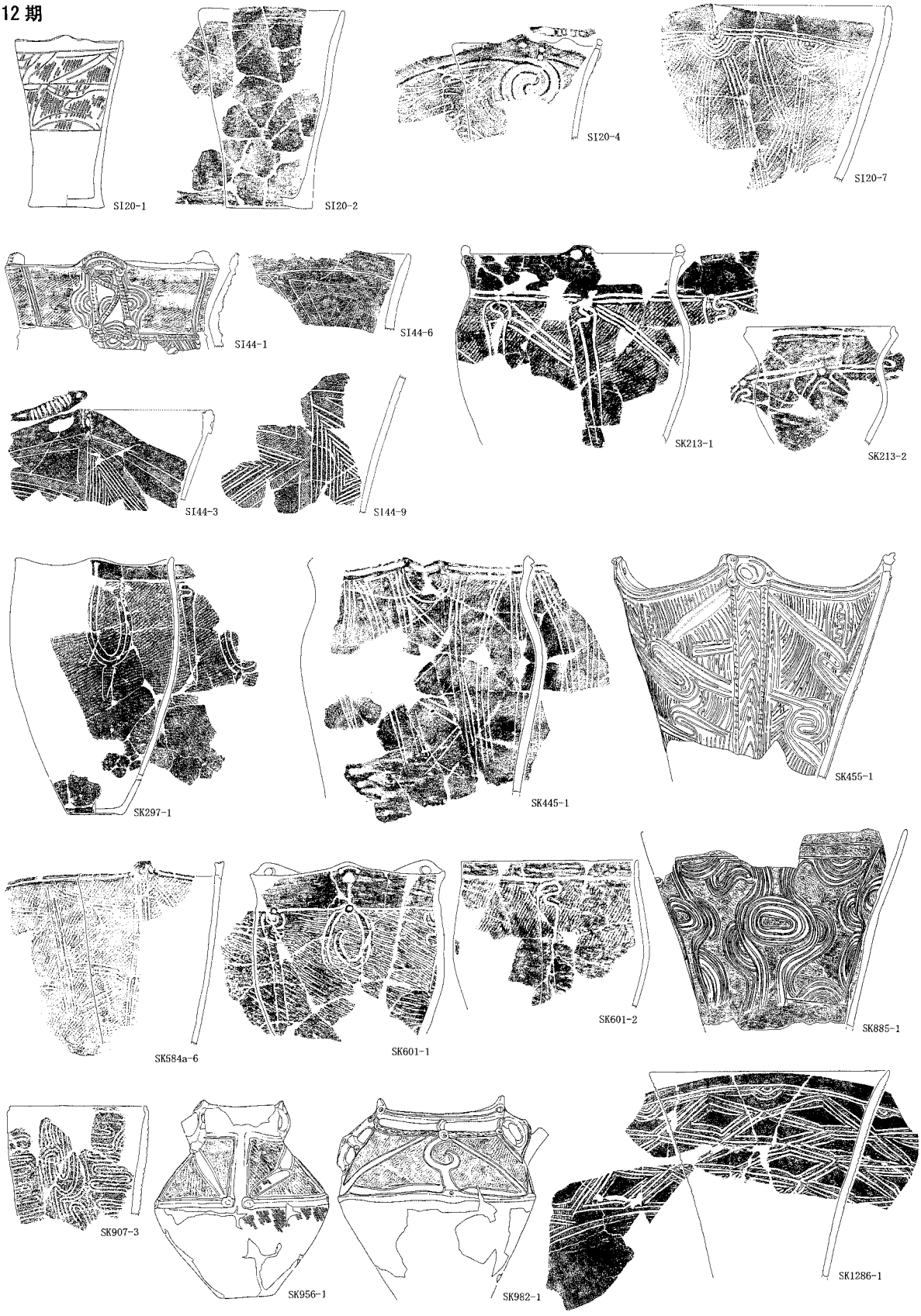


11 期



第303図　縄文土器（10・11期）

12 期



第304図　縄文土器（12期）

がある。

11期　称名寺式で大木10新から綱取Ⅰ式段階が並行する。SK-105、SK-177、SK-307、SK-367、SK-468、SK-702の他、埋甕など単独の出土もある。無文化した口唇部を微隆帯で胴部と区画する土器が前代に続いて存在する。胴部が全面縄文で微隆帯が口縁波頂部に向かい山形になるもの（SK-468の19・20）、胴部にＹ字状の磨消が施されるもの（SK-468の13）、微隆帯の基点となる口縁波頂部が双頭状になるもの（SK-307の１、SK-884の１）がある。幅広の無文口縁部に突起を付した隆帯が巡り、以下地文のみ施されたもの（SK-105の２、SK-307の４、SK-367の７、SK-427の２、SK-469の１、SK-470の１、SK-849の１、SK-944の１、SK-1336の１）は多く、SK-702の１は隆帯下に弧状の磨消部が配される。波状口縁で孔を持つ捻れた板状の突起を持つ、あるいは胴上部に弧状、中下部にＪ字・円・渦巻等のモチーフを持つものも比較的多い（SK-105の１、SK-307の２・７、SK-331の1、SK-468の16、SK-909の１）。磨消縄文による連鎖するＪ字文等により器面が帯状等に分割されるもの（SK-177の１）と、そうしたモチーフを沈線のみで描き縄文が殆ど用いられていないもの（SK-367の５）がある。所謂両耳壺があり（SK-177の２、SK-702の２）、Ｊ字モチーフを持つものもある（SK-853の１）。また、加飾された突起や口縁部を持つ注口の付いた浅鉢（SK-367の１）もある。

12期　堀之内式期で綱取Ⅰ新からⅡ式期段階が並行する。SI-20、SI-44、SK-213、SK-601の他、比較的多く良好な土器が見られる。この内、堀之内Ⅰ式段階には、沈線による蕨手、釣針、卵形状の文様が形成されるもの（SK-168の３、SK-213の１、２、SK-297の１、SK-300の１、SK-376ａの１、SK-601の１・２、SK-951の１）、先のモチーフに沈線が付加されるもの、あるいは３本程の沈線でモチーフが形成されるもの（SK-445の１、SK-584ａの６、SK-795の１、SK-1260ａの１）がある。また、モチーフが集合沈線で描かれ（SI-20の７、SK-885の１、SK-907の３）、更に鎖状隆帯あるいは連続した刻みの施された隆帯で器面を分割するもの（SI-44の１、SK-455の１）がある。この他、注口土器（SK-927の１、SK-956の１、SK-982の１）などがある。なお、口縁波頂部下に縦位・「ノ」の字・Ｃ字状隆帯及びそれから転化した縦位・「ノ」の字状沈線や胴部文様など、綱取式との共通点も多い（SK-297の１、SK-300の１、SK-601の１、SK-795の１、SK-951の１）。堀之内Ⅱ式では、Ⅰ式の口唇部沈線がなくなり充填縄文が盛行し幾何学文・渦巻文が盛行する（SI-20の１・２・４、SI-44の３・６・９、SK-1286の１）。

13期　SK-497の１と遺構外15で、前者が後期中葉加曽利Ｂ式、後者が後期後葉新地式と考えられる。なお、SK-497は後期中葉加曽利Ｂ式期の遺構であろう。

以上、今回の調査区から出土した前期から後期の土器について13期に分けて説明した。その中心は２期中期阿玉台Ⅰｂ式から12期後期堀之内式であり、資料も充実している。一方、１期前期から中期初頭や13期後期中葉から後葉も少数ながら土器や遺構が確認できた。

さて、縄文土器の器種構成と数量は、樽型や甕型に近い器形も含めた深鉢1903点（96.1%）、鉢13点（0.7%）、浅鉢30点（内、注口付き１点）（1.5%）、注口土器14点（0.7%）、ミニチュア５点（0.3%）、器台４点（0.2%）、蓋６点（0.3%）、その他４点（0.2%）、合計1979点である。実測点数なので、器種構成の実態ではないがおおよその傾向は示されていると考える。圧倒的に深鉢が多く他の器種が少量伴うこと、少量ながら鉢や浅鉢が概ねどの時期にもあること、注口土器や蓋は中期末葉ないし後期前葉にあることなどは、他の中期から後期前葉の遺跡と概ね同様である。以下、数は少ないが、特徴的な土器について触れる。

ミニチュア　SK-116の１、SK-480の７、SK-721の５、遺構外11・14の５点ある。いずれも破片で全体がわかるものはない。この内、遺構外14は、手捏ねによる整形が多い中、精緻な作りの注口土器のミニチュアである。把手が２カ所付き、片側に注口部が取り付けられたものであろう。集合沈線による幾何学的なモチー

フと縄文施文は、通常の堀之内式の注口土器と同様である。形状は体部中程に屈曲部は持つが、算盤玉状ではなく上部は筒状になる。

器台　SK-46の２（８・９期）、SK-620の４（12期）、SK-1308の８（７期）、遺構外10の４点ある。時期は中期後半から後期前葉である。完形品はなく、SK-46の２、SK-620の４、遺構外10は裾部が開く台形状と考えられる。いずれも小片だが、円孔を持つことや端部の形状と角度から器台と判断した。SK-46の２は円孔の他に、楕円形のやや大きな孔もある。文様はない。

SK-1308の８は遺存状況が比較的良好である。形状は裾部がほぼ直立する長方形と推定される。器受部と裾部の大きさがほぼ等しく直径約20㎝、高さは7.5㎝である。受部は緩やかに窪む。円孔は最大で10カ所程設けられていた可能性がある。比較的大型品といえる。

蓋　SI-20の12（12期）、SK-291の21（11期）、SK-629の５、SK-933の６（12期）、SK-987の３（10期）、SK-1279の４（12期）の６点ある。中期末から後期前葉にあるようだ。形状は円形を基本とし、下面が凹面状に湾曲する。大きさは直径６～12㎝程である。完形品がないので推測の域を出ないが、橋状の一対の把手を持つもの（SI-20の12、SK-629の５、SK-987の３）や貫通孔を持つもの（SK-933の６）などがある。SI-20の12とSK-987の３は微隆帯などにより加飾性が高く、下面の湾曲はより少なく周辺部に縁が巡るような形状である。

赤彩土器　11点ある。深鉢にはなく、鉢（SK-590の１、SK-1059の２）、浅鉢（SK-51aの６、SK-60の３、SK-90の10、SK-152の６、SK-183の１、SK-1070の６）、注口土器（SI-56の２、SK-588の２）、蓋（SI-20の12）である。いずれも文様モチーフは判然としないが、数量の少ない器種に施されたことがわかる。時期的な限定はない。

動物意匠把手　５点あるが、把手部のみで土器本体が分かるものはない。時期は10・11期、加曽利ＥⅣ式から称名寺式期と考えられる。槻沢遺跡（後藤1996）で形態分類されている。眼ないし側面の形状からは、SK-192の２とSK-468の33は眼を微隆起線で渦巻状に表現することからＣ類、SK-280の１は眼を小突起を刺突することで表現しトリの表現からかけ離れることからＤ類、遺構外12・13は眼をナデによる凹部で表現することからＢ類に類似する。

（２）土製品

土製円盤　遺構内から45点、遺構外から17点、合計62点出土した。時期は８期加曽利ＥⅡ式から11期称名寺式が多い。大きさは直径２～６㎝程で、３～５㎝程度のものが多い。遺構外出土18には中央に孔、31には表裏面中央に未貫通の凹みがある。

土錘　SX-1の14、遺構外33・34の合計３点出土した。SX-1の14は堀之内式期のものと考えられる。いずれも有溝土錘で、長軸ないし長短軸に溝があり、SX-1の14は溝の交点に孔が設けられる。重さはSX-1の14が21.9ｇ、遺構外33が14.2ｇ、遺構外34が24.0ｇで、一般的な重量である。有溝土錘は後期初頭から前葉段階で、福島県中通り阿武隈川流域から本県那珂川流域に現われ始め、北関東を介して関東全域へ後期中葉以降波及したとされる（上野1998）。SX-1の例は、那須烏山市荻ノ平遺跡（上野1982）などと共にそうした例の一端を示すものであろう。

土偶　SK-292の13とSK-521aの２、遺構外35・36の合計４点出土した。SK-292の13は腰部で集合沈線等のモチーフからハート形土偶の範疇と考えられる。土坑からの出土で土器と同様の時期である。SK-521aの２は脚部でナデによる整形が顕著である。遺構の時期は7期だが、混入した可能性も高い。遺構外35は脚部で、縦位の沈線が多用され、足首の部分が若干締まり横位沈線が巡る。後期中葉から後葉のものであろうか。遺構外

36は腰部で、括れ部の横位列点が特徴的である。後期中葉を中心とした山形土偶の範疇であろう。

その他の土製品　SK-401の７とSK-1327の１は貫通孔を有することから垂飾品の可能性がある。SK-401の７は貫通孔上部に鍔状に突帯を付け、全体に緩やかに湾曲する。出土遺構の時期は10・11期加曽利ＥⅣ・称名寺式期である。SK-1327の１は端部から斜め方向に貫通孔が設けられている。

SK-457の２は残存状況から、長さ６㎝、幅3.3㎝、厚さ4.2㎝の丸味の強いラグビーボール状の形状が推定される。おそらく上下端部には凹みが設けられ、長軸直交方向に貫通孔を持つ。垂飾品かもしれない。出土遺構は８・９期加曽利ＥⅡ・Ⅲ式期である。

SK-862の７は表面に沈線による弧状の文様がある。下部と左側縁は欠損するが上部から右側の縁は欠損していない。裏面がやや湾曲する。蓋の可能性もあるが判然としない。出土遺構は９・10期加曽利ＥⅢ・Ⅳ式期である。

SK-1187の５は環状腕輪と考えられる。直径は6.6㎝、厚さ１㎝程で、横位沈線を巡らせ加飾されている。色調は明るい茶褐色である。那須烏山市荻ノ平遺跡では土製腕輪が21点出土し、白色粘土を施した環状土製腕飾りもあり注目されている。本例に類似するものも多い。また、東北南部や関東地方にも多いようである。但し、時期は堀之内式が多いとされる。本例は、出土遺構が７期加曽利ＥⅠ式中新段階であることから、混入の可能性が高い。

（３）石器

今回の発掘調査では合計374点の石器が出土した。内訳は、石鏃８点（2.1%）、石錐２点（0.6%）、石核２点（0.6%）、掻削器20点（5.3%）、石匙３点（0.9%）、石錘３点（0.9%）、磨製石斧17点（4.5%）、打製石斧77点（20.6%）、礫器１点（0.3%）、磨石103点（27.4%）、石皿73点（19.5%）、小型石皿・器２点（0.6%）、台石56点（15.0%）、石棒５点（1.3%）、石剣１（0.3%）、石製品１点（0.3%）である。

これらを主な用途別に見てみると、動物の狩猟に関わる石鏃、河川などの内水面域での漁労、特に網漁に関わる石錘、根茎類などの掘り起こしに関わる打製石斧、堅果類や根茎類などの粉砕、磨り潰しなどの調理に関わる磨石、石皿、台石、工具または調理具と考えられる石錐、掻削器、石匙、呪術的な役割や精神的な役割が考えられる石棒、石剣などと分けることができる。無論、これらが当時の道具の全てではない。また、複数の用途に用いられたと考えられる石器も多い。更に、今回は集落に残された石器を集計したもので、集落内で使用されたものとそうでないものの違いが現れる場合もある。しかし、石器の組成比により、間接的にではあるが当時の生業の比重を考えることは可能である。

本遺跡の場合、石鏃：石錘：打製石斧：磨石・石皿・台石は、２：１：24：73となる。縄文中後期の小鍋前遺跡では、磨石、石皿、台石が圧倒的に多く、次いで打製石斧、石鏃や石錘は極めて少ない。このことは自ら獲得する食料は、堅果類、次いで根茎類が多く、動物や魚などの比重は低かった事を示している。こうした状況は、宇都宮市上欠遺跡（岩淵1985）や那須塩原市槻沢遺跡（後藤1996）をはじめ多くの報告で触れられている。

基本的に小鍋前遺跡は、磨石や石皿が圧倒的に多い東北南部や東関東と共通する那須地方の槻沢遺跡や那珂川町三輪仲町遺跡と同様と考えられる。一方、打製石斧の比重が大きく、関東西部に近い傾向が窺える宇都宮市御城田遺跡や上欠遺跡がある。また、石鏃が多い日光市仲内遺跡や茂木町桧の木遺跡、あるいは石錘・浮子が多い宇都宮市古宿遺跡もあり、本遺跡の状況とは異なる。

もう少し細かく見てみると、槻沢遺跡や三輪仲町遺跡に比べ本遺跡は打製石斧が多く、第25表の石器の1/5

第25表　遺跡別石器組成

	石　鏃	%	石錘･浮子	%	打製石斧	%	磨石･石皿	%	時　期
日光市仲内遺跡（片根2006）	98	54	0	0	1	1	81	45	早期から後期中葉、中期中心。
那須塩原市槻沢遺跡（海老原他1980、後藤1996）	88	10	6	1	39	5	708	84	中期前半から後期前葉。
那珂川町浄法寺遺跡（塚本1997）	4	1	8	2	95	20	378	80	中期前半から後期前葉。
那珂川町三輪仲町遺跡（塚原1994、大川・新井1997）	107	11	29	3	58	6	782	80	前期から晩期、中期前半から後期前半遺構内対象。
宇都宮市古宿遺跡（岩上･上野他1986､芹澤他1994）	63	6	298	30	244	24	404	40	前期・中期後半から後期前葉、後期初頭中心。
宇都宮市御城田遺跡（芹澤1987）	20	3	31	4	396	48	370	45	中期前半から後期前半。
宇都宮市上欠遺跡（岩淵1985）	127	11	0	0	769	70	208	19	中期後半から後期初頭。
上三川町島田遺跡（深谷・江原2005）	66	7	1	1	69	7	835	85	中期前半から後半。
那須烏山市小鍋前遺跡（本書）	8	2	3	1	77	24	239	73	中期から後期前葉中心。
那須烏山市荻ノ平遺跡（津野仁2003）	88	6	9	1	402	26	1021	67	前期から晩期、中期から後期前葉中心。
芳賀町上り戸遺跡（江原・安藤2005）	8	1	14	2	112	19	447	78	中期後半から後期、後期前葉中心。
茂木町桧の木遺跡（中村2006）	531	37	31	2	134	9	731	52	中期前半から後期中葉。（後期前半までが中心）
佐野市馬門南遺跡（仲山1995）	0	0	26	14	30	16	134	70	中期後半から後期前葉。

～1/4を占める。このように打製石斧が一定量有り、磨石・石皿が主体を占める石器組成は、那珂川町浄法寺遺跡、那須烏山市荻ノ平遺跡、芳賀町上り戸遺跡がある。遺跡所在地からすると、那須地方と宇都宮方面との中間的な在り方と解釈できるかもしれない。いずれにしても、遺跡の存在する地域、その地域の微地形や環境、主体とする時期などにより、石器組成、ひいては食料獲得方法に差異が見られるようである。

石鏃　遺構内３点、遺構外５点、合計８点ある。基部の形状に着目した分類に従えば全て凹基無茎石鏃である。側縁の形状は直線的なもの（遺構外５など）が２点、湾曲するもの（SK-328の16など）が６点ある。製作上の特徴として、表裏面とも細かな剥離が全体に及ぶもの（SK-328の16、遺構外１～３・５）、片面に主要剥離面が残るもの（SK-328の15）、両面に主要剥離面が残るもの（SK-308の２、遺構外４）がある。石材は、SK-328の15・16が黒曜石、他はチャートを主体とする。

石錐　２点である。SI-20の13、遺構外６ともに基部に摘みが設けられ、刃部はあまり長くないが尖頭状となる。SI-20の13はチャート、遺構外６は頁岩である。

石核　SK-158の３と遺構外16の２点で、黒曜石である。SK-158の３は3.2㎝×4.6㎝×2.9㎝、47.0ｇ、上面形は不整な方形、側面形は台形状で、全体としては不整な角錐台状である。自然面はなく全面にやや細かい剥離が行われている。縁辺あるいは長辺方向からの剥離の傾向は伺うことができるが、それ程明確でない。出土遺構は４期である。遺構外16は3.6㎝×4.0㎝×2.6㎝、34.4ｇ、上面形は不整な円形、側面形は台形状で、全体としては不整な円錐台状である。自然面はなく全面にやや細かい剥離が行われている。縁辺方向からの剥離の傾向は伺うことができるが、それ程明確でない。

石核の出土例は多くないが、茂木町桧の木遺跡や芳賀町上り戸遺跡で報告されている。桧の木遺跡では６点、形は塊状などがあり自然面のあるものもある。石質は、玉髄、メノウ、安山岩、チャートである。上り

戸遺跡では、石核、石核／原石として26点ある。剥片との区別が難しかったり、自然面を多く残すものもある。石質はチャート、珪質頁岩、フォルンフェルスである。本遺跡例はこれらと違い、一考を要する。

掻削器　遺構内11点、遺構外９点、合計20点ある。これらについては、不定形な剥片に剥離が一部でも見られるもの、あるいは小型剥片石器の内、他の器種としがたいものについてまとめた。

SK-146ａの10、SK-285の３、SK-1059の９、遺構外７～10、13には、比較的細かい剥離が縁辺に見られる。SK-146ａの10は表面両側縁に細かい剥離がある。珪質頁岩である。SK-285の３は主要剥離面を裏側に残し、表面片側の側縁下部に細かい剥離を施す。チャートである。SK-1059の９は一部欠損しているので判然としないが、表裏面に大きな剥離を残し、側縁ほぼ全面に細かな剥離が行われる。流紋岩である。遺構外７～10は長さ２㎝前後と小さい。遺構外７は不定形で小型だが表裏面全体、遺構外８～10は側縁の一部に細かい剥離が見られる。７・９がチャート、８・10が黒曜石である。遺構外13も表面下部両側縁に細かい剥離が見られる。チャートである。掻削器の石材は、チャート、黒曜石、頁岩類が目立つ。

石匙　SK-172の５、遺構外17・18の３点である。SK-172の５は黒曜石で縦型の石匙と考えられる。つまみ部は欠損する。表裏面とも細かい剥離が施される。遺構外17はつまみ部の括れが弱く、一部残る下端部に細かな剥離が見られないことから、石匙としたが不明確である。流紋岩である。遺構外18は横型の石匙で、刃部が欠損する。表裏面とも中央に大きな剥離面を残すが、刃部や縁辺の剥離は丁寧である。頁岩である。

石錘　SK-1263の19と遺構外19・20の３点である。いずれも紐かけ部を磨り切りにより長軸両端部に設けた切目石錘である。SK-1263の19は表面には溝状の極めて浅い凹みがある。使用時の紐の摩擦によって浅い溝状の凹みができた可能性はないだろうか。SK-1263の19と遺構外20は安山岩、遺構外19は頁岩である。

磨製石斧　遺構内15点、遺構外２点、合計17点ある。断面形は側縁が直線的で表裏面が凸レンズ状に緩く膨らむ定角式磨製石斧が多い。一方、断面形が楕円形のものは、SK-118の５とSK-160の５の２点である。また、基部や刃部など欠損部のあるものがほとんどで、完存するものはSK-1038の３など一部である。大きさは、例えばSK-1038の３が長さ6.3㎝、22.1ｇ、SK-160の５が長さ15.3㎝、411.1ｇと差が大きい。前者は通常のものより小さく、SK-49の２、SK-66abの３、SK-478の６、SK-939の４も同様と考えられる。未製品と考えられるSK-118の５は、裏面に形を整えるための剥離の痕跡を多く残す。SK-160の５はほぼ全面に敲打痕が残り、刃部は剥離を加えたままである。

石材は小型のものは全て頁岩、通常の大きさのものは玄武岩がやや多く、頁岩、火山礫凝灰岩、緑色片岩、砂岩、ドレライト、閃緑斑岩がある。

打製石斧　遺構内43点、遺構外34、合計77点ある。形態は70点以上が分銅型で、撥型はSK-210の４、SK-226の８、SK-525の１の３点、短冊形はない。SK-226の９とSK-1166の７は、礫に一部剥離を加えたのみの未製品の可能性がある。欠損品は30点程で、その割合は比較的低い。また、若干の差だが、遺構内の方が欠損品の割合が低いようである。自然面の有無については、有さないもの６点、一部でも自然面を有するもの71点と、圧倒的に自然面を有するものが多い。

石材は緻密質安山岩35点を筆頭に、安山岩類が63点と圧倒的に多い。その他、ホルンヘルス類７点、ガラス質流紋岩、玄武岩、流紋岩質凝灰岩、砂岩、頁岩、チャートが１、２点づつである。

磨石　遺構内74点、遺構外29点、合計103点ある。この内完形品は81点、欠損品は22点で、欠損率はかなり低い。完形品の重量は、100ｇ毎に100ｇ以下・100ｇ台各１点、200ｇ台５点、300ｇ台から700ｇ台各10点前後で600ｇ台が14点で最大、800ｇ台から1300ｇ台が２、３点、最も重いものが1600ｇ台である。

ここで磨石としたものには、凹部があるもの、磨面があるもの、敲打痕があるものがあり、本来器種を分

けるべきかもしれない。しかし、３者の痕跡を併せ持つものも多いことから、ここでは一括して磨石として扱った。凹部があるものは29点（内、片面19点、両面10点）、ないものは74点である。凹部の浅いものの一部は敲いた痕跡との区別が難しい場合がある。凹部のあるものは全体の1/3程度で、片面のみのものが両面にあるものの２倍程度ある。磨面があるものは66点（内、長側縁50点、上下端部30点、表裏面38点）、ないものは37点である。全体の2/3に磨面があり、その多くは長側縁にある。また、その半数程は上下端部や表裏面に磨面を持つ。石材にもよるが、磨面は極めて滑らかで擦痕が認められるものと、他面とはある程度強い稜で区切られた平滑面とがある。使用状況に差異があると考えられる。自然面、平滑面に比べ乱れがあるものを敲打痕として拾い上げてみた。あるものは97点、（内、長側縁66点、上下端部81点、表裏面50点）、ないものは６点である。なお、SK-1163の８は磨製石斧の刃部欠損品を転用したものであろう。下部に敲打痕が見られる。

石材は輝石安山岩が67点と極めて多く、その他の安山岩類と合わせると磨石のほとんどを占める。

石皿　遺構内57点、遺構外16点、合計73点（内、不明品１を含む）ある。完形品は、SI-56の10、SK-84の15、SK-1166の８、SK-1234の２の４点のみで、大多数は欠損品である。また、形状については、円、楕円形を基本形状とすることが確実に推定されるものは10点強で、不定形な形も多い。

凹部は数量に差があるもののその有無で分けると、ないもの13点、表面のみに見られるもの13点、裏面のみに見られるもの14点、表裏両面に見られるもの31点である。石皿は凹部を持つ台石の機能を併せ持つ確率が高いと考えられる。

やや特殊なものとして、SK-133の10には、縁に凹線による弧状のモチーフが見られる。また、SK-1146の13は上面が平坦だが荒れている。磨面とはできないが、全体の形状から平坦な磨面が荒れてしまったか、これから石皿とする石の可能性はないだろうか。SK-1223の８は磨面に赤色の付着物がある。遺構外99は有脚石皿だが、配置から３脚であった可能性が高い。

石材は砂質凝灰岩が41点と圧倒的に多く、多孔質安山岩13点、砂岩10点、凝灰質砂岩６点などである。通常は安山岩類が多く、那須烏山市荻ノ平遺跡で96％、宇都宮市古宿遺跡で約８割、宇都宮市御城田遺跡で約９割を占める。砂質凝灰岩は現状では脆いものも多く、他の遺跡との相違点である。このことは形状にも差異をもたらしたようだ。砂質凝灰岩のSI-56の10のように、基本的な形態が円や楕円形ではなく、磨面の凹面状の凹みも浅いか平坦なものが多い。多孔質安山岩の遺構外92などを見ればその違いは明瞭である。

小型石皿・器　SI-2の８は凝灰岩で、口径10.0㎝、器高4.9㎝と推定される。石質が軟質で外面は整形の痕跡が残る。内面は深い凹面状に滑らかに窪む。SK-497の５は凝灰岩で、口径9.2㎝、器高6.8㎝と推定される。石質はやや軟質で内外面とも滑らかである。内面は特に滑らかで急角度で落ちる。類似するのものとして、宇都宮市古宿遺跡などに石製器が少数あるが、形状・法量・石材など異なる。やや細かく少量のものの粉砕や攪拌などに用いられた可能性はあるが、機能については判然としない。

台石　遺構内42点、遺構外14点、合計56点ある。置いて使用したと推定される凹部や使用痕のあるものである。ほとんどが蜂の巣石や雨垂石だが、一部には磨り面が平坦な石皿と区別の難しいものもある。完形品は少数で、大多数は欠損品である。形状は円・楕円形を基本とするものもあるが、傾向を示すことはできない。なお、SK-853の５は表面中央に凹部ではなく敲打痕などが見られる。石材は砂質凝灰岩が43点と圧倒的に多く、安山岩類は５点である。石皿と同様の傾向で、脆いものも多い。

石棒　SK-140の８（デイサイト質凝灰岩）、SK-592の７（角閃岩）、SK-1273の12（砂質凝灰岩）、SX-1の18（緑色片岩）、遺構外116（緑色片岩）の５点ある。全て欠損品で比較的大型の石棒と考えられる。SK-140の８

には敲打痕、SK-1273の12と遺構外116は凹部が見られる。また、遺構外116は火を受けたと考えられる部分がある。SX-1の18は12期の配石遺構からの出土である。

石材　全容については附章第２節の表２に示されている。石材は剥片まで含めると全部で379点、36種類である。これらは点数の多い順に、輝石安山岩90点、砂質凝灰岩85点、緻密安山岩37点、多孔質安山岩24点、砂岩17点、チャート15点、頁岩14点、黒曜石12点、他は全て10点以下である。因みに、安山岩類９種を合計すると177点である。こうした石材点数の偏りは、これまで記したように石器の器種別出土点数と器種による石材の選択による。輝石安山岩は器種別出土点数最多の磨石で最も好まれ、打製石斧でも２番目に多い石材である。砂質凝灰岩は石皿や台石で最も好まれる。緻密質安山岩は打製石斧で最も好まれる。多孔質安山岩は石皿や磨石で、砂岩は石皿で、チャート、頁岩、黒曜石は石鏃、石錐、石核、掻削器、石匙、磨製石斧に多い。

分析結果によれば石材産地は、打製石斧、磨石、一部石皿に主に使われた安山岩類は荒川水系、石皿や台石に多い砂質凝灰岩、凝灰質砂岩、砂岩は遺跡周辺及び荒川河床に見られ、そこからの採取が考えられる。一方、SK-592の７の石棒は角閃岩、SX-1の18、遺構外116の石棒とSK-160の５の磨製石斧は緑色片岩で、日立地域産と考えられている。また、遺構外68・72の磨石はスコリア質安山岩、SK-1223の７の磨石はスコリア、SK-199の11、SK-226の８、SK-1094の６、遺構外32～34の打製石斧は菫青石ホルンフェルス、SK-702の３の打製石斧はホルンフェルスで、鬼怒川水系の地質に含まれる。黒曜石についても高原山産以外のものが含まれている可能性が指摘されている。

２，遺構について

（１）竪穴住居

８軒発見された。SI-52が４期とやや古く、他は９期から12期と全体から見れば集落の後半期に所属する。また、同一時期に所属するのは12期のSI-20・44・56の３軒のみで、他は各時期１軒ずつばらける。この時期のいわゆる拠点的な集落と比較すると、竪穴住居の軒数は少ない。分布域は、４期SI-52が調査区東端部、９期以降は調査区中央の窪地を挟んで、時期順にSI-49・24・57・20・44が西部、SI-２・56が東部である。ここではいくつかの特徴について説明する。

SI-52は４期で、時期的には他に比べ古く位置も遺跡東端部にあたる。周辺、特に西側には同時期の袋状土坑等の土坑群が展開し、その外縁にあたる場所にある。長軸4.42mの楕円形と考えられ、炉や主柱穴は判然としなかった。県内同時期の類例からすると、楕円形プランや炉がないことは一般的である。また、柱穴は住居プランの長軸に沿った長方形４～６本主柱が多い。本住居はＰ１～６が平面的には企画性を欠き深さも一定しない。なお、北壁の段は本来の形状を保っている可能性もある。やや古いが高根沢町大野遺跡SI06は、短辺側の一方にテラス状の段を有する。

９期以降各時期に住居がある。９期のSI-49は不整方形プランの中央に石囲炉がある。プランが判然としないが、円、楕円形プランに比べ、隅丸なものを含めより方形に近いプランのものは少ない。

SI-24は９～10期の竪穴住居で、一度建て替えが行われている。東西に長軸を持つ隅丸長方形で周溝が全周し、主柱穴が４本である。炉は隅丸方形の石囲炉で、位置は主柱穴４本配置の内側だが東に寄り、長軸線が平行する。炉石の用い方もそのことが意識され、奥が大型の台石を転用した一石、南北辺がやや大きい川原石、手前がやや小振りの川原石で傾きがやや大きい。また、東に向かって南北辺が若干扇形に開く。建て替え前についても、Ｐ10が炉掘方であった場合ほぼ同様である。柱穴配置と炉の関係から本住居は「赤坂道上

北型」（江原2005）の類例と考えられる。

SI-57は炉のみ確認した。炉体土器と重複遺構の関係から９～10期とした。炉は複式炉の範疇だが、遺存状態が悪い。小型で隅丸長方形プランだったと考えられる。なお、周囲にあるSK-611・640・790・821abが柱穴となり、住居平面規模が６×５ｍ程であった可能性もある。

SI-２は11期で、円形プランと考えられるが詳細は不明である。

12期は３軒ある。SI-44・56は円、楕円形プランで、円形に近い小型の石囲炉を持つものである。この時期には一般的だが、遺存状況は良好でなく柱穴配置なども明確でない。

（２）土坑

調査区全体で確認され、総数857基ある。この内、縄文土器の時期区分によって時期を確定できた土坑は392基、ある程度時期を絞り込めたが時期不確定の土坑は234基、縄文時代と類推できたが時期不明の土坑は231基ある。各土坑は一覧表で示した。ここでは、時期が確定できた土坑を中心に様相をまとめる。

時期毎の土坑数は時期が新しくなるほど多くなる傾向がある。１・２期は少なく、３期から８期は10～30基程、９期から12期は約40基から約90基と増加し、13期は極端に減少する。こうした傾向は時期を絞り込めなかった土坑を併せても同様である。竪穴住居の有り様ともある程度連動するようだ。

平面形は、円形、楕円形、隅丸三角形、隅丸方形と分け、形の整っていないものに「不整」を付した。円形ないし不整円形が６割強、楕円形ないし不整楕円形が３割弱である。この内、楕円形は長軸と短軸の長さの差が20㎝前後のものも多く、円形に近い場合がかなり含まれる。従って、中期から後期前半の土坑平面形は円形を基調とすることが分かる。

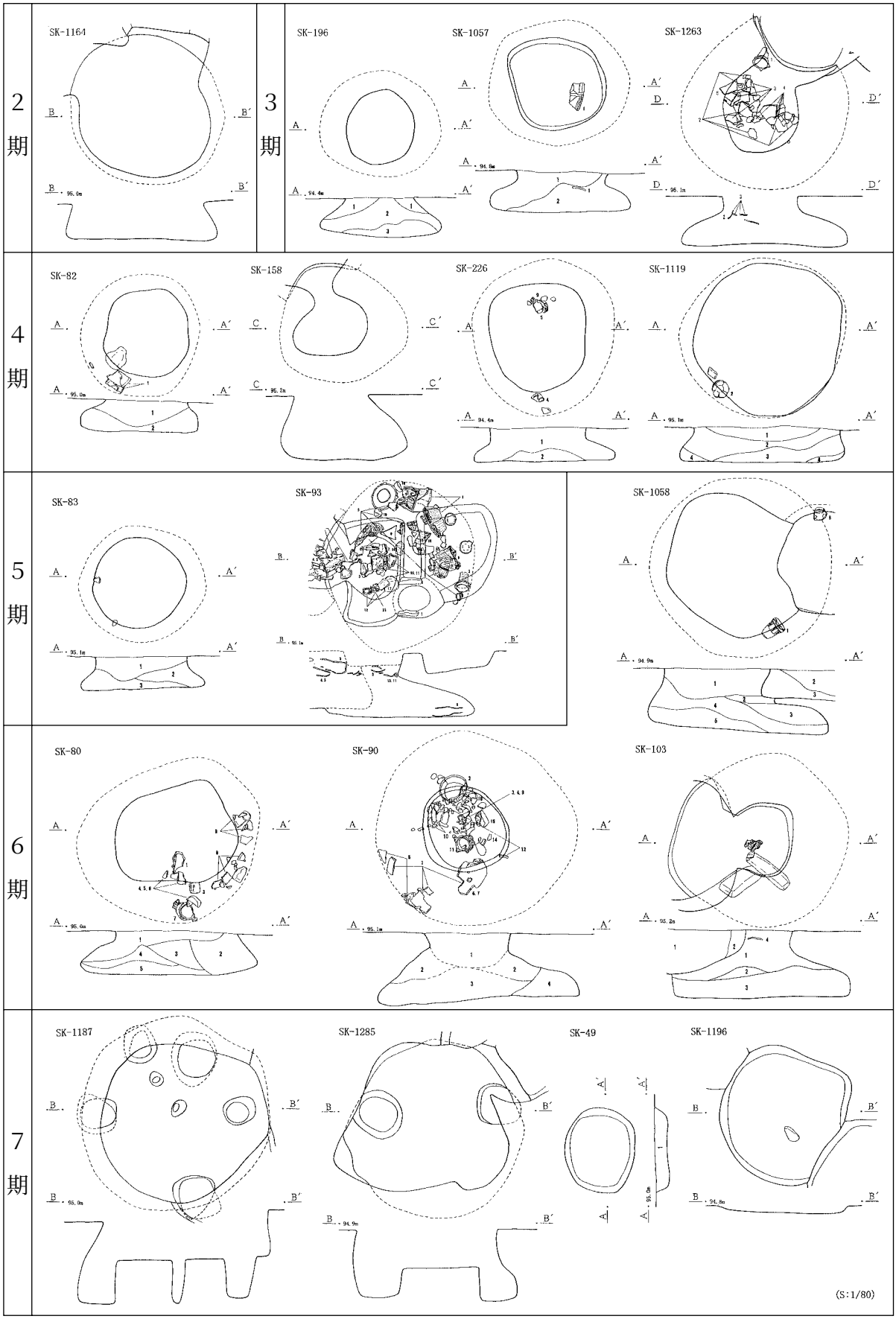
断面形は、壁の形状によりＡ～Ｆの６種類に分けた。更に、Ａ・ＢとＣ～Ｆに大きく分かれる。但し、調査区東部のグリッド16ライン以東を中心に遺構の重複が多く、そのことにより本来の形状と規模が大きく変わってしまっている場合が多々ある。このことは、断面Ａ・Ｂにも本来断面Ｃ～Ｆであったものが含まれることを示し、峻別が出来ない場合がある。よって、ここでは、平面形が円形を基調とすることと合わせて、断面Ａ・Ｂを円筒形土坑、断面Ｃ～Ｆを袋状土坑とし、大きくその様相を把握することとする。

１期　本期に所属するSK-17・87は前期前半である。土坑形態に顕著な特徴はないが、円筒形の範疇とした。その位置は調査区東端部である。また、本期に所属する土器の出土位置は、その多くが調査区東部である。こうしたことから、縄文時代は調査区東部より遺跡利用が始まったことが推定される。

２期　継続的に土坑が設けられた最初の時期である。SK-1164・1264が所属する。SK-1164は袋状土坑である。底面長径2.28m、深さ0.56m、断面Ｅである。SK-1264は円筒形土坑で開口部長径2.09m、深さ0.38mである。分布は調査区東部グリッド17ライン以東に限られる。

３期　土坑は14基ある。袋状土坑はSK-196・1057・1263など11基、円筒形土坑はSK-108・334・1139の３基で、袋状土坑が多い。袋状土坑は断面Ｃ～Ｆがあるが、頸部を持つ断面Ｆが５基と多い。規模は底面長径約1.5～2.7m、深さ約0.3～0.7mである。円筒形土坑は規模がばらつき、最大のSK-334が開口部長径2.28m、深さ0.60mで、他はこの1/2から1/3程度の規模である。分布は調査区東部グリッド17ライン以東に限られる。

４期　土坑は26基ある。袋状土坑はSK-82・158・226・1119など16基、円筒形土坑はSK-12・209・252など10基で、袋状土坑が多い。袋状土坑は断面Ｃ～Ｆがあるが、頸部を持たない断面Ｅと持つ断面Ｆが各６基と多い。規模は底面長径約1.4～2.5m、深さ約0.25～0.9mである。円筒形土坑の規模は、開口部長径約0.8～2.7m、深さ約0.1～0.6mである。分布は、調査区東部グリッド16ライン以東にほぼ限られる。



第305図　縄文時代土坑変遷図（１）

５期　土坑は13基ある。袋状土坑はSK-83・93など７基、円筒形土坑はSK-19・214など６基で、袋状土坑がやや多い。袋状土坑は断面Ｃ～Ｆがあるが、頸部を持つ断面Ｆが３基ある。規模は底面長径約1.7～3.0m、深さ約0.4～0.9mである。付属するピットは、SK-257の底面中央部に長径41㎝、深さ24㎝のものがある。袋状土坑に伴うピットとしては本調査区で初出である。円筒形土坑の規模は、開口部長径約1.0～2.4m、深さ約0.2～0.6mである。分布は、調査区東部グリッド16ライン以東にほぼ限られる。

６期　土坑は11基ある。袋状土坑はSK-80・90・103・1058など８基、円筒形土坑はSK-14・145・256の３基で、袋状土坑が多い。袋状土坑は断面Ｃ・Ｅ・Ｆがあるが、頸部を持つ断面Ｆが４基ある。規模は、底面長径約1.8～2.8m、深さ約0.5～1.0mである。付属するピットはSK-1101の壁際にあり、規模は長径45㎝、深さ38㎝である。この段階までの袋状土坑は、開口部に頸部を持ち、開口部径が底径の1/3程度と狭く、深さが比較的深いものが基調になっていると考えられる。３期SK-1263、４期SK-158、５期SK-93、６期SK-90・103などがそれにあたる。円筒形土坑の規模は、開口部長径約1.7～2.5m、深さ約0.1～0.3mである。分布は、調査区東部グリッド16ライン以東にほぼ限られる。

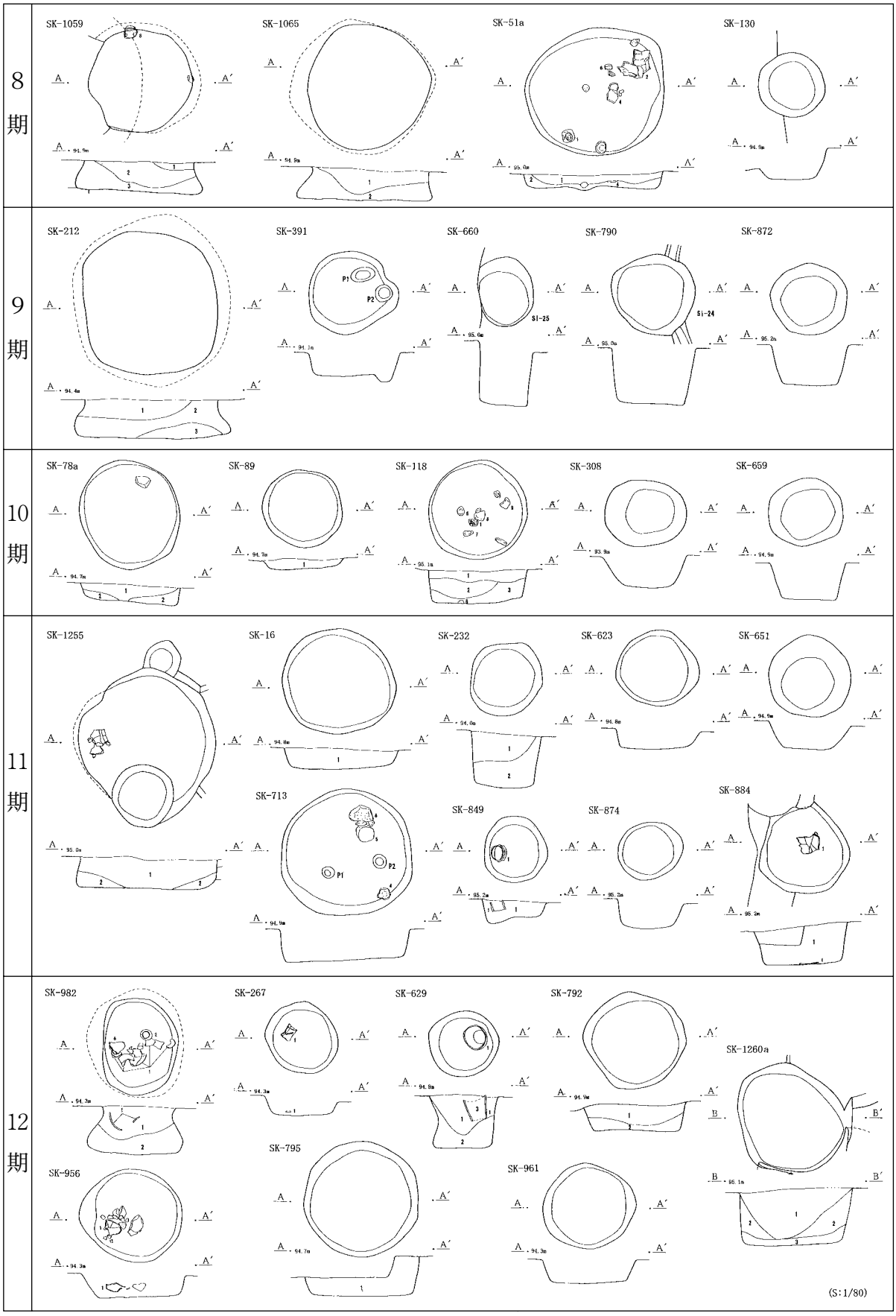
７期　土坑は36基ある。袋状土坑はSK-1187・1285など14基、円筒形土坑はSK-49・1196など22基で、円筒形土坑が多くなる。円筒形土坑とした中に本来袋状土坑であったものが含まれる可能性を考えても、円筒形土坑が増加していることに変わりはない。袋状土坑は断面Ｃ～Ｆがあり断面Ｆが多いが、断面Ｃ・Ｄも多く、６期及びそれ以前で指摘した開口部の狭さは窺えなくなる。全体としては壁のオーバーハングの度合いが低くなってきたと言える。しかし、規模は底面長径1.6～3.0m程、深さ0.4～1.0m程で、６期と比べても遜色ない。付属するピットはその半数近くにあり、SK-140に２基、SK-144に１基、SK-148に２基、SK-1187に５基、SK-1285に２基、SK-1325に１基ある。これらは底面壁際にある。規模は長径40～70㎝程、深さ20～60㎝程で、SK-1187のように壁がオーバーハングするものもある。また、SK-1187には底面中央にピットが２基ある。規模は長径20～25㎝程、深さは中央のものが深く60㎝程ある。こうした壁際のピットや底面中央のピットは本期及びその前後に見られる。

円筒形土坑の規模は開口部長径0.6～2.8m、深さ0.1～0.6mである。大きさや深さに顕著な纏まりは見られない。しかし、袋状土坑に比べ平面的な大きさは小さく、深さもより浅いものが円筒形土坑の半数近くを占める。こうした形態は７期以前にも少数見ることが出来た。なお、SK-1086は１基、SK-1160は４基、SK-1223は３基、袋状土坑の付属ピットと同様のピットがある。これらは、円筒形土坑と言うより袋状土坑の底面と捉えるべきかもしれない。

分布については、袋状土坑は調査区東部グリッド15ライン以東にほぼ限られる。しかし、円筒形土坑はSK-466などが調査区中央部窪地周辺、SK-481やSK-1037などは窪地以西にも設けられ、西へ分布域の拡大が始まる。

８期　土坑は24基ある。袋状土坑はSK-1059・1065など５基、円筒形土坑はSK-51a・130など19基で、明らかに円筒形土坑が多くなる。袋状土坑は断面D～Fがあり、断面Ｅが多い。壁のオーバーハングの度合いはかなり少なくなる。規模は底面長径1.7～2.2m程、深さ0.4～0.5m程である。これまでの時期、特に６・７期に比べ、底面長径で１m弱、深さで0.5m程減じたことになり、規模は縮小する。付属施設はない。但し、円筒形土坑としたSK-265は袋状土坑であった可能性が高く、壁際のピットは存在するとしてよいだろう。規模はＰ１が直径30㎝程、深さ40㎝、Ｐ２が直径50～60㎝、深さ35㎝である。

円筒形土坑の規模は開口部長径0.7～2.3m、深さ0.1～0.6mで、開口部長径0.9～1.1m、深さ0.1～0.2mにある程度纏まっている。こうした土坑が10基程ある。袋状土坑に比べ規模の小さいものが多いことは、前時期同



第306図　縄文時代土坑変遷図（２）

様である。

分布は、全体としては調査区東部がその中心である。やや細かく見れば、調査区東部グリッド16ライン以東に袋状土坑は限られる。円筒形土坑は調査区全体に見ることができる。

９期　土坑は41基ある。明らかな袋状土坑はSK-212の１基のみで、円筒形土坑はSK-391・660・790・872など40基で、ほとんどが円筒形土坑である。袋状土坑は断面Ｆだが、壁のオーバーハングは小さい。規模は底面長径2.40m、深さ0.56mで、８期のものとさほど変わらない。円筒形土坑の規模は開口部長径0.4～2.7m、深さ0.1～0.9mで、開口部長径1.0～1.4m、深さ0.1～0.4mにある程度纏まっている。こうした土坑は20基程ある。また、SK-660・790のように、開口部長径は同様で、深さ0.8～0.9mと深い円筒形土坑も存在する。なお、SK-1168・1324等は袋状土坑であったかもしれないが、明確ではない。分布は調査区全体に及ぶ。

10期　土坑は63基ある。明らかな袋状土坑はなく、SK-78ａ・89など全て円筒形土坑である。規模は開口部長径0.5～2.6m、深さ0.1～0.9mで、開口部長径0.9～1.5m、深さ0.1～0.4mに纏まっている。こうした土坑は40基強ある。また、深いものとしてSK-842がある。なお、SK-211ａは袋状土坑の可能性はあるが判然としない。分布は調査区全体に及ぶが、調査区西部の方がやや密集する。

11期　土坑は69基ある。袋状土坑はSK-1255の１基のみで、SK-16・232など他は円筒形土坑である。袋状土坑SK-1255は断面Ｄで、壁の一部が若干オーバーハングする。規模は開口部長径2.22m、底面長径1.85m、深さ0.44mである。SK-1266ｃは付属施設の可能性もある。８・９期の袋状土坑に比べて小型である。

円筒形土坑の規模は開口部長径0.5～2.6m、深さ0.1～0.9mで、開口部長径1.0～1.6m、深さ0.1～0.4mにある程度纏まっている。こうした土坑は、40基弱ある。また、SK-232など開口部長径が同様で、深さ0.8m程の深い土坑もある。分布は調査区全域にわたり西部により密集する。

12期　土坑は89基ある。袋状土坑はSK-982の１基のみで、SK-267・629など他は円筒形土坑である。袋状土坑のSK-982は断面Ｆだが、あまりオーバーハングしない。規模は開口部長径1.37m、底面長径1.55m、深さ0.69mである。規模は11期より小型化する。円筒形土坑の規模は開口部長径0.6～2.4m、深さ0.1～0.9mで、開口部長径0.8～1.7m、深さ0.1～0.4mにある程度纏まっている。こうした土坑は、60基強ある。また、SK-629・1260ａなど開口部長径が同様で、深さ0.7～0.8m程の深い土坑もある。

分布は、調査区全域にわたるが、西部により密集する。また、唯一の袋状土坑であるSK-982は調査区南西部に位置し、それまでの調査区東部中心の袋状土坑の分布とは異なる。

13期　本期に所属するSK-497は後期中葉加曽利Ｂ式期と考えられる。これは調査区中央部窪地の西側に位置する。遺構外出土15の後期後葉の土器もその近辺から出土したものである。

以上が時期毎の様相である。まとめると、土坑総数は次第に増加するが、６期までは停滞気味で７期以降急激に増加し12期でピークとなる。土坑は形態的に袋状土坑と円筒形土坑に分けることができる。平面規模と深さで両者を比較すると、袋状土坑の方が大きい。

さて、袋状土坑は６・７期までは土坑の主流で、７期を中心に付属施設としてピットを持つ。８期以降は数が減り、形態は円筒形土坑に近づき、規模も縮小する。分布は調査区中央の窪地以東、50m×50m程の範囲に限られる。円筒形土坑は、７期以降数において袋状土坑を上回り、９期以降はほぼ全体を占めるようになる。遺構数も全体では円筒形土坑の方が遙かに多い。分布は調査区全体に及ぶ。

こうした両者の状況は、土坑全体としては、６期までは調査区東部にほぼ限定した分布、７・８期は中央窪地を越えて調査区全体へ円筒形土坑が広がりはじめ、９・10期、更に11・12期と調査区全体に円筒形土坑が分布するようになり、その中心は中央窪地以西となるにいたる。



（１～６期）

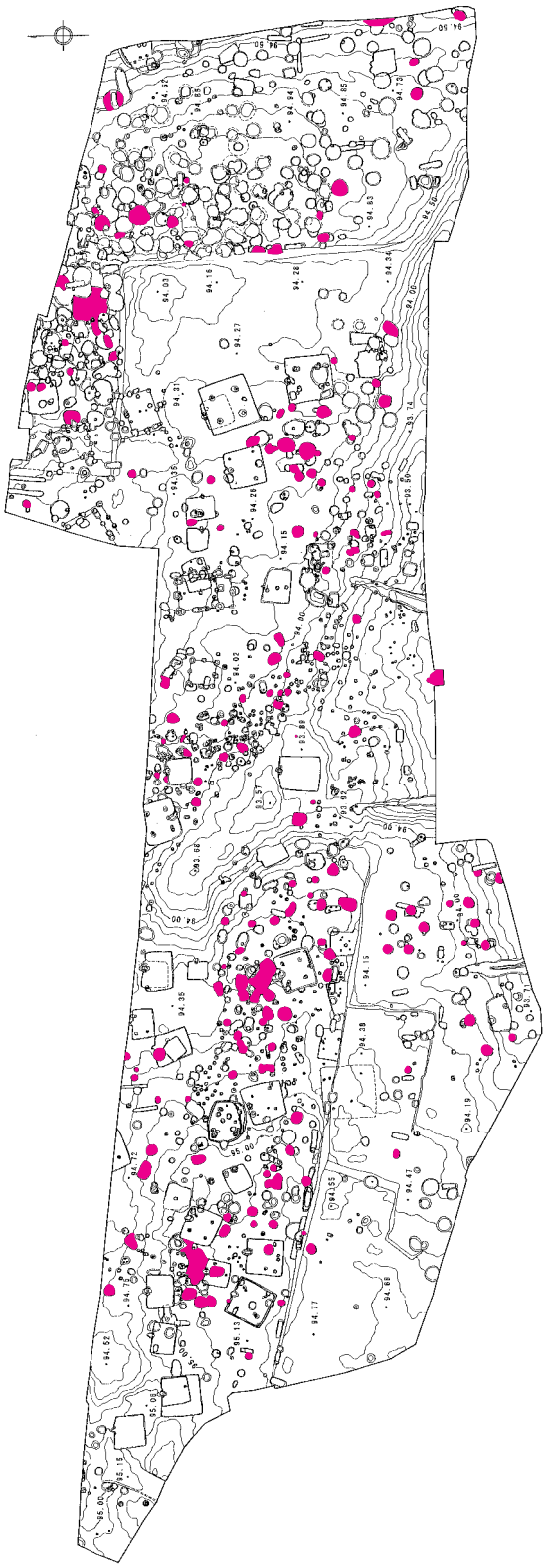


（７・８期）

第307図　縄文時代遺構分布図（１）



（９・10期）



（11～13期）

第308図　縄文時代遺構分布図（２）

第26表　縄文時代時期別遺構一覧表

	時期確定						時期不確定
時期	竪穴住居	土坑		埋甕	集石・配石	陥穴	
		袋状土坑	円筒形土坑				
1			17・87				
2		1164	1264				116・190・478・1070・1111・1114・1115・1224b・1273・1318a・1318b
3		5・40・41・133・172・184・195・196・1057・1146・1263	108・334・1139				109・116・188・190・191・374・398・1063a・1070・1104・1111・1114・1115・1163・1165・1166・1224b・1313・1318a・1318b
4	52	29・45・82・88・125・142・152・153・154・158・166・219・226・1119・1151・1167a	12・13・53・67b・85・112・209・216・234・252				47・98・106・109・113・116・122・159・179・188・190・191・211c・274・324(陥穴)・335・398・444・553・706・791・802・967・1054・1063a・1064・1073・1104・1110・1111・1114・1163・1165・1277・1302・1313・1318a・1318b
5		83・93・162a・170・180・257・1254	19・110・139・214・244・1155				47・66a・66b・98・106・109・113・116・122・143・159・176・179・190・211c・274・324・335・374・444・553・706・802・967・1054・1064・1073・1110・1111・1113・1114・1166・1277
6		80・90・103・146b・160・1058・1079・1101	14・145・256				8・66a・66b・98・109・113・122・143・159・176・183・190・211c・274・301・324・335・374・384・444・553・706・802・967・1026・1054・1061・1073・1103・1110・1114・1258・1277・1280・1283
7		60・92・123・129・140・144・148・1118・1187・1188・1285・1308・1310・1325	28・49・58・59・163b・431a・431b・466・481・521a・1037・1086・1130・1141・1149・1160・1196・1200・1223・1232・1284・1319				8・43・66a・66b・102・104・122・141・155・171・183・190・211c・301・374・415・439・478・695・720・802・1026・1061・1073・1078a・1078b・1094・1103・1109・1113・1143・1167b・1170・1193・1235・1258・1259a・1259b・1273・1280・1283・1290・1297・1302
8		70・1059・1065・1180・1314	15・51a・130・131・175・265・380・383・479・545・639・640・832・998・1001・1033・1108・1162・1252				30・43・46・48・66b・84・102・104・109・121・141・151・155・171・198・270・293・370・374・384・415・422・439・457・461・478・487・524・556・562・608・627・695・703・720・837・839a・839b・839c・851・1003・1078a・1078b・1094・1113・1117・1143・1147・1167b・1170・1193・1220・1235・1259a・1259b・1283・1290・1293
9	49	212	4・91・100・120・135・156・167・174・391・399・480・539・582・590・593・609・616・624・633・638・643・644・652・654・660・684・685・697・790・820・872・881・977・1072・1154・1168・1184・1185・1209・1307	492・934			SI-24・SI-57・24・30・43・46・48・66b・84・109・113・121・151・198・206・270・293・328(陥穴)・358・360・370・374・419・422・439・443・457・461・478・487・524・550・556・562・608・627・645・650・703・720・721・804・829・837・839a・839b・839c・843・845・851・860a・860b・862・889・890・894・913・923・936・988・1061・1073・1078a・1078b・1109・1113・1117・1143・1147・1165・1170・1194・1208・1220・1235・1283・1293・1324
10			2・9・27・32・74・78a・89・94・118・136・146a・157・161a・182・186・211a・222・285・308・326・364・368・372・381・386・405・406・408・421・423・432・494・496・544・604・641・653・655・659・691・803・823・825・836・842・855・858・865・892・893・910・958・987・999・1008・1035・1038・1042・1136・1179・1191・1292・1306	38	819		SI-24・SI-57・24・84・113・126・127・173・198・206・235・268・269・282・286・293・328・335・358・360・370・374・384・401・419・422・478・550・556・562・627・635・645・650・703・721・804・807・829・839a・839b・839c・843・845・851・860a・860b・862・890・894・900・913・923・936・975・988・1028・1052・1061・1073・1094・1109・1114・1117・1167b・1190・1208・1297・1298
11	2	1255	16・105・162b・177・192・199・232・233・251・263・277・280・291・307・331・359・367・371・377・378・425・427・440・458・464・468・518・552・585・588・595・596・602・607・615・623・634・651・696・702・713・715・821a・821b・830・838・847・848・849・853・856・869・874・884・888・909・931・939・950・959・983・1009・1022・1023・1066・1085・1256・1336	469・470・944			84・113・126・127・173・202・235・239・268・269・275・282・328・358・370・401・402a・402b・439・486・556・627・635・645・650・791・802・807・839a・839b・839c・843・845・860a・860b・890・900・923・957・965・975・988・1004・1028・1073・1078a・1078b・1117・1153・1190・1259a・1259b
12	20・44・56	982	1・31・63・128・168・210・213・217・243・249・253・258・267・271・272・273・289・292・300・333・365・366・376a・397・410・417・420・445・449・455・459・489・498a・498b・500・519・526・547・554・580a・584a・587・591・592・601・603・620・621・629・658・687・693・711・717・792・793・795・816・818・833・834・844・877・907・911・912・927・928・933・951・956・961・968・1017・1116・1132・1142・1144・1182b・1192・1231・1260a・1279・1282・1286・1289・1291・1311	297・885	SX-1	260	113・202・235・239・275・282・286・293・324・328・335・358・402a・402b・439・443・486・556・557・627・650・802・807・839a・839b・839c・845・889・923・957・965・1003・1004・1028・1052・1054・1153・1194・1259a・1259b・1273・1293・1298・1324
13			497				557
時期不明	3・6・7・25・26・39・50・52・54・61・62・67a・77・79・95・101・111・119・138・165・181・185・193・194・201・204・215・218・225・227・228・230・236・237・238・241・242・245・247・248・255・259・262・287・290・294・298・299・319・320・321・330・339・343・344・355・357・361・375・379・382・403・404・409・411・412・413・418・430・441・442・446・454・456・460・462・463・482・483・493・499・517・525・527・541・555・559・560・566・579b・581・583・584b・589・594・597・610・611・612・613・622・628・637・646・649・656・657・692・694・705・718・796・797・798・800・805・809・817・822・824・826a・826b・828・835・840・846・850・852(埋甕)・854・868・878・879・882a・882b・883・886・891・901・908・921・922・926・929・930・932・940・943・947・948・949・952・953・960・962・963・969・970・972・980・985・989・991・993・994・995・1000・1007・1016・1021・1024・1025・1027・1030・1031・1036・1039・1040・1041・1043・1047・1048・1050・1055・1060・1075・1076・1077・1082・1088a・1088b・1093・1095・1106・1107・1112・1120・1129・1131・1133・1134・1137・1140・1152・1156・1161・1172・1175・1186・1189・1195・1197・1198・1199・1201・1202・1210・1233・1234・1236・1251・1260b・1265・1266c・1268・1274・1275・1276・1278・1287・1294・1295・1296・1299・1300・1309・1315・1321・1322・1323・1327・1330・1334・1396・1483・1487・1508				

※遺構略号は、まぎらわしい場合を除き省略した。報文中では竪穴住居はSI、土坑から陥穴・時期不確定・時期不明遺構の多くはSKがつく。
※時期不確定遺構は、複数の時期に重複して記述されている。

（３）その他の遺構

埋甕　時期は９期加曽利EⅢ式期から12期堀之内式期にかけてあり、全部で９基ある。分布域にそれ程偏りは見られない。形態は様々である。口縁部から胴部が正立状態で設置されたSK-885、口縁部から胴部が倒立状態で設置された11期SK-469、SK-470、胴部のみ正立状態で設置された９期SK-492、SK-934、10期SK-38、横位完形で設置された12期SK-297、底部が穿孔され完形の埋甕ではあったが、大型破片が入れ子状で纏まって出土したSK-944、底部２個体分を重ねて埋甕とした時期不明のSK-852がある。

集石遺構・配石遺構　集石は10期加曽利ＥⅣ式期SK-819でF-6グリッド、配石は12期堀之内式期SX-1でF-5グリッドにある。いずれも調査区西部に存在する。

陥穴　12期堀之内式期SK-260はD-16グリッド、４～６・12期阿玉台Ⅲ～加曽利E式古段階・堀之内式期SK-324はE-15グリッド、９～12期加曽利ＥⅢ式から堀之内式期SK-328はD-14グリッドにある。平面形は楕円形で共通するが、規模や底面ピットの有無に統一感はない。配置は相互に15～25mの間隔があるが、規則性は感じられない。時期も12期堀之内式期で纏まる可能性はあるが判然としない。

第２節　古墳時代から平安時代

１，遺物について

古墳時代から平安時代の土器の様相と年代について概観し、遺構の年代についても触れる。基本的には土師器・須恵器の坏類を中心とした様相変化を軸として、竪穴住居などの遺構一括資料を序列化した。様相の把握や年代観については、滝田本郷遺跡（安永ほか1997）、田熊・梁木編年（田熊・梁木1989）、益子窯跡群・南那須窯跡群の研究成果（津野ほか1997）、ならびに茨城県における編年（浅井1991・1992）などに基づいた。

１期　内外面の丁寧なヘラミガキや赤彩が施されたSI-25の６、土師器短頸壺がある。混入したものである。古墳時代中期と考えられる。

２期　SI-25、SI-30、SI-32、SI-51がある。土師器坏類で、須恵器坏身を模倣した丸底で体部外面に稜を有し、口縁部が内傾するもの（SI-25の２、SI-51の１など）と、丸底で体部外面に稜を有し口縁部が外反するもの（SI-25の４、SI-30の１～３、SI-32の１など）がある。前者は古墳時代後期に一般的で、法量や内面のヘラミガキなどこの時期の特徴を示している。後者は東北地方の古墳時代後期の土器に類例が求められる。この他、短脚の高坏（SI-25の５）、大小の甕（SI-25の10と８）、球胴と長胴の甕（SI-25の13と14）、単孔の甑（SI-51の３）等がある。SI-13、SK-279、SK-1019、SK-1317も同様の時期であろう。６世紀後葉を中心とした時期と考えられる。

３期　SI-26、SI-29がある。土師器坏の内、丸底で体部外面に稜を有し、口縁部が内傾するもの（SI-26の１、SI-29の２）や、丸底で体部外面に稜を有し口縁部が外反するもの（SI-29の１）がある。これらは、前代より小型化やヘラミガキの省略傾向が窺える。この他、大小あるいは長胴・球胴の甕（SI-26の３、SI-29の３・６）や甑（SI-29の７）がある。７世紀前葉を中心とした時期と考えられる。

４期　SI-36がある。須恵器模倣坏が廃れ、丸底半球形状で内面全面ヘラミガキが施された坏が成立する（SI-36の１）。甕は球胴のものは目立たなくなり、長胴のものは口縁部に最大径を持つようになる（SI-36の４・５）。SI-10も同様の時期と考えられる。７世紀中葉を中心とした時期と考えられる。

５期　SI-48（SI-18の１～３含む）がある。７世紀後葉から８世紀前葉が欠落することから、この時期より

供善形態に須恵器が見られ、その割合は４～５割程度である。須恵器蓋には扁平なつまみがつき、口縁部端部はほぼ垂直である（SI-18の２）。須恵器坏は平坦な底部で、体部に２次底部面を持つ（SI-18の３）。底部は回転ヘラケズリされる。土師器坏は平底化した底部から体部が丸味を持って開くもので、SI-36の１からの変遷が考えられる（SI-48の１）。８世紀中葉を中心とした時期と考えられる。

６期　SI-6、SI-7、SI-8、SI-14がある。須恵器坏が土師器坏より多くなる時期である。須恵器坏は前代より底径が若干小型化し体部が直線化しはじめる。底部はヘラキリ放し後、ケズリが加えられないものが多い（SI-6の１、SI-8の２）。須恵器高台付坏は高台部が高くなり、底部と体部の堺は明確である（SI-6の２）。他に須恵器短頸壺がある（SI-8の４）。土師器坏は良好な状態ではない。土師器甕はいわゆる武蔵型（SI-6の５・６、SI-14の７）と器壁がやや厚く口縁部がくの字または外反する鶴田中原タイプ（池田2000）（SI-50の２）などがある。また、小型のもの（SI-8の６）もある。その他、土師器鉢もある（SI-6の３、SI-14の６）。SI-5b、SI-50、SB-2、SB-3、SB-4a、SK-284、SK-323もこの時期の可能性がある。８世紀後葉から９世紀初頭を中心とした時期が考えられる。

７期　SI-34、SI-35、SI-39などがある。引き続き須恵器坏が多い。須恵器坏は前代より底部が小さく直径7.5㎝前後、器高は増し４㎝を超える（SI-34の４、SI-35の２、SI-39の１・２）。土師器坏はロクロ成形で内面ヘラミガキ・黒色処理される（SI-35の３・４）。土師器甕は、口縁部がコの字に近くなった武蔵型（SI-39の４）、鶴田中原タイプ（SI-39の６）に加え、口縁端部が摘み上げられる下野型（SI-35の８）もある。なお、SI-34の８の土師器坏とSI-34の９、SI-35の５の土師器高台付坏はより新しい要素で、この時期には伴わない。９世紀前葉を中心とした時期が考えられる。

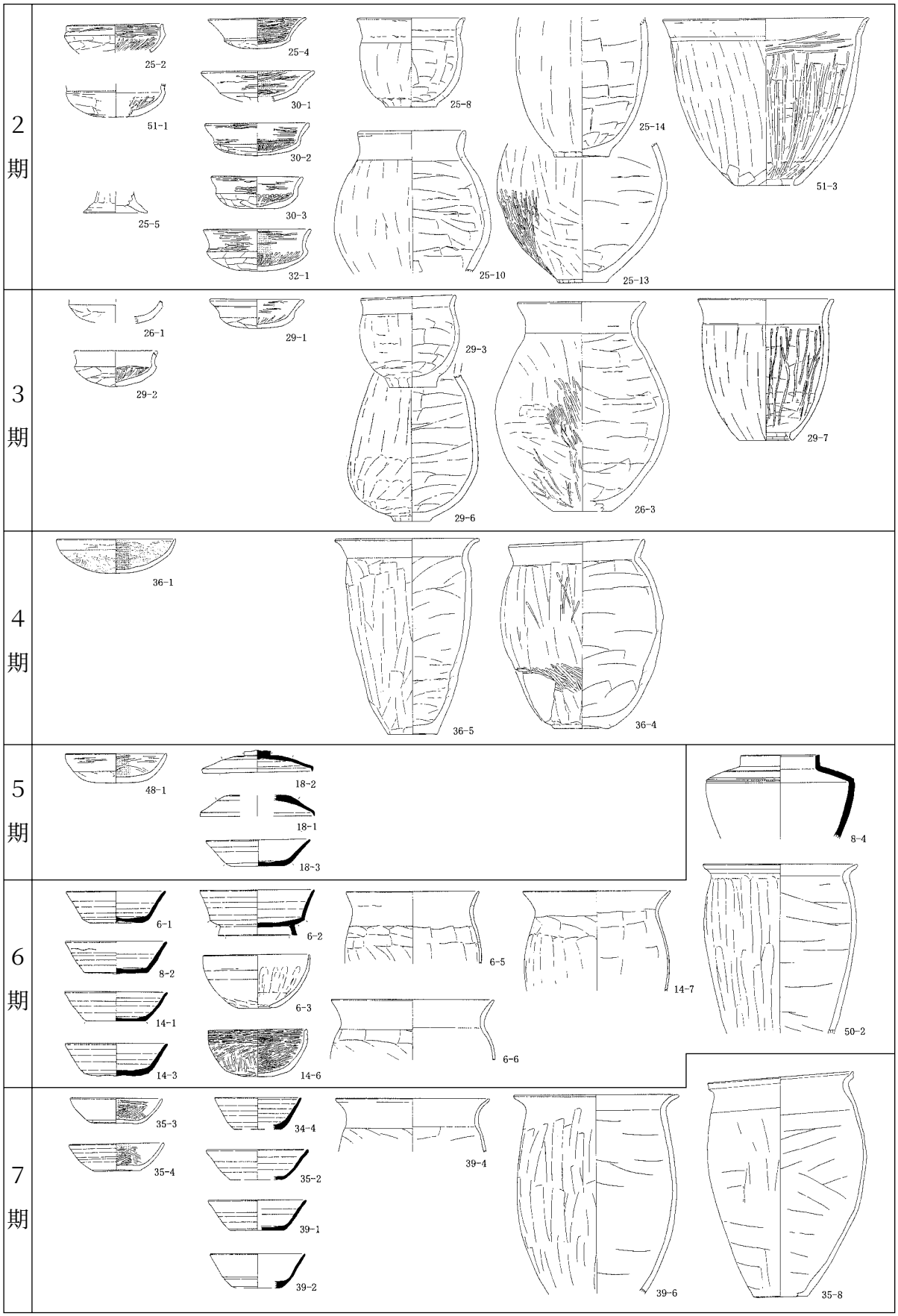
８期　SI-5a、SI-16、SI-45、SK-876がある。SI-5aとSI-5b、SI-16とSI-19は重複し、遺物を区別することはできなかった。しかし、概ねSI-5a、SI-16の様相と考えられるのでここで述べる。SI-5bとSI-19はこの時期より古いと考えられる。

須恵器坏と土師器坏が同程度見られる時期である。須恵器坏は口径13～14㎝、底径6.5～７㎝、器高3.5～4.5㎝程で、底径が口径の1/2程度となる（SI-5abの４～８、SI-16・19の１・２、SI-45の１）。須恵器高台付坏は高台が高くなる（SI-16・19の３）。須恵器蓋は小ぶりだが器高が高いものがあり、つまみは小さいが高さが増す（SI-5abの１、SK-876の１）。土師器坏は、前代から続くものである（SI-16・19の５など）。土師器甕は鶴田中原タイプ（SI-5abの18～20、SI-16・19の11）と下野型（SI-5abの22・23、SI-16・19の13～16）がある。土師器鉢が少ないが存在する（SI-16・19の８）。９世紀中葉を中心とした時期が考えられる。

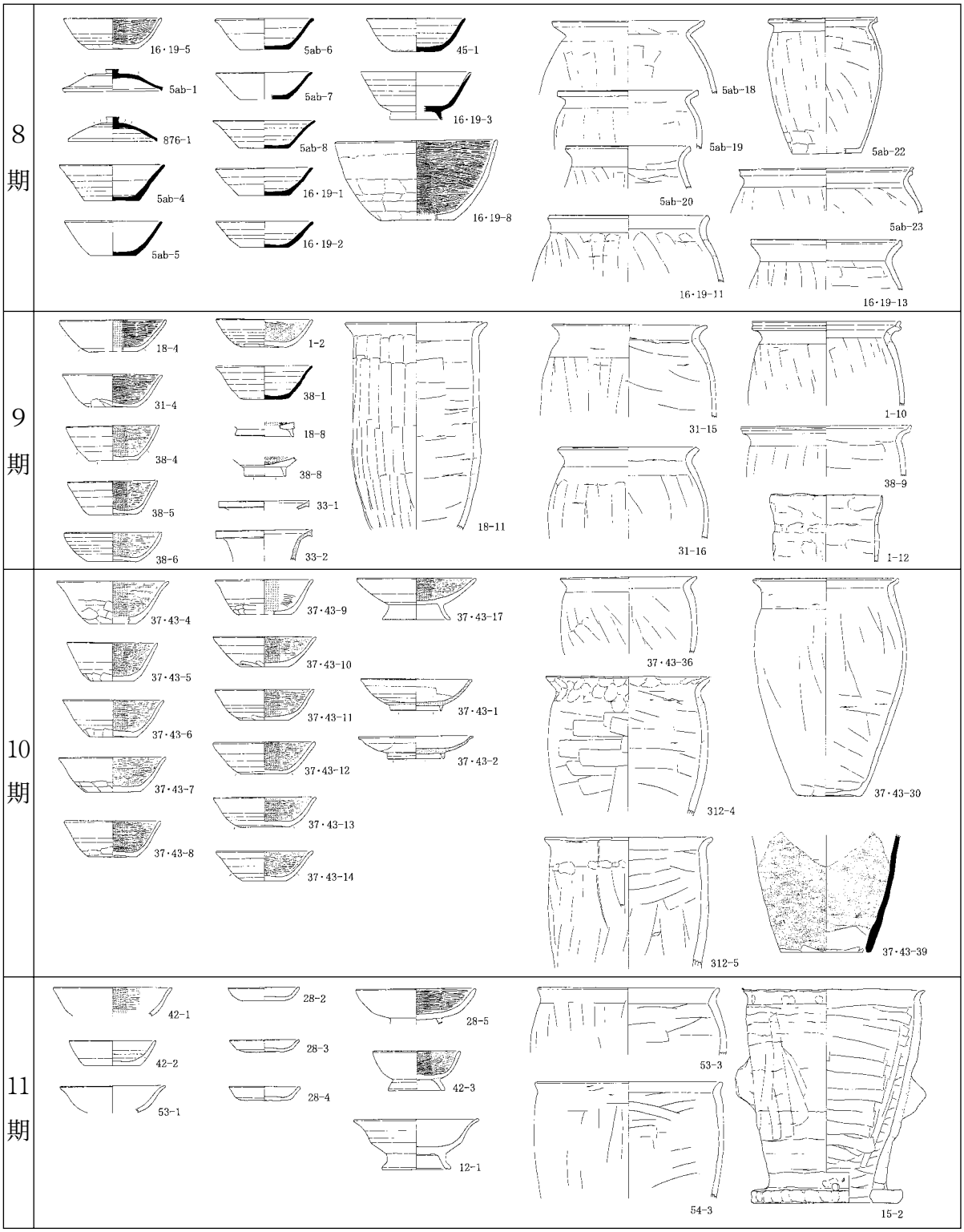
９期　SI-1、SI-18（１～３除く）、SI-31、SI-33、SI-38がある。前代より土師器坏が増加し、高台付坏（SI-18の８、SI-38の８）が現れる。須恵器坏は少なくなる（SI-38の１）。土師器坏は前代から続くものが多い（SI-18の４、SI-31の４、SI-38の４～６）。また、内面黒色処理されないものもある（SI-1の２）。土師器甕は鶴田中原タイプ（SI-18の11、SI-31の15・16）と下野型（SI-１の10、SI-38の９など）がある。灰釉陶器も見られる（SI-33の１・２）。SI-1の12は製塩土器である。SI-3、SB-7、SK-36もこの時期の可能性がある。９世紀後葉を中心とした時期が考えられる。

なお、SI-21、SI-22、SI-46、SK-220は９世紀代の可能性がある。

10期　SI-4、SI-11、SI-23、SI-37、SK-37がある。SI-37とSI-43は重複しているが、出土状況からほぼSI-37の出土遺物と考えられる。SI-43はこの時期より古い。須恵器坏がなくなり、土師器坏が主体を占める。土師器坏は前代から続くものが多い（SI-37・43の４～14など）。器高が増し、体下端部が手持ちヘラケズリされたものもある。坏部内面をヘラミガキし黒色処理を施した高台付坏も一定量認められる（SI-37・43の17）。灰釉陶



第309図　古墳時代から平安時代の土器変遷図（１）



第310図　古墳時代から平安時代の土器変遷図（２）

器埦がある。漬け掛けにより施釉されている（SI-37・43の１・２）（齋藤ほか1995）。土師器甕は鶴田中原タイプ（SI-37・43の36、SK-312の４・５）と下野型（SI-37・43の30）がある。鶴田中原タイプは、口縁部が短く鋭く屈曲するようになる。須恵器甕（SI-37・43の23～29）や甑（SI-37・43の39）もある。SK-261とSK-312もこの時期かもしれない。10世紀前半を中心とした時期が考えられる。

11期　SI-12、SI-15、SI-28、SI-40、SI-41、SI-42、SI-53、SI-54、SI-55がある。また、SK-34、SK-205、SK-246、SK-310、SK-311・313、SK-325、SK-332、SK-799、SK-880はこの時期の可能性がある。須恵器は殆ど見られない。土師器坏は内面ヘラミガキ・黒色処理されたもの（SI-42の１）が急激に減少し、ロクロ成形されるが内面ヘラミガキ・黒色処理されないものが主体を占める。口縁部が直線的に開くもの（SI-42の２など）と口縁端部が外反するもの（SI-53の１）がある。この時期から土師器皿が見られる（SI-28の２～４）。皿は前段階にも存在する可能性があるが、口径９～11㎝、底径６㎝以下と小振りで、体部から口縁部が直線的に開く傾向があることから本時期に属すると考えた。高台付坏は、前代から続く坏部内面がヘラミガキ・黒色処理された大（SI-28の５）・小（SI-42の３）に、坏部が大きく開き内面ヘラミガキ・黒色処理されないもの（SI-12の１）が加わる。甕は下野型が見られず、口縁が更に短く屈曲した鶴田中原タイプ（SI-41の４、SI-53の３など）のみとなる。甑は底部に鍔が巡り胴部に把手を持つものがある（SI-15の２、SI-28の６）。なお、内面黒色処理の坏や高坏がまだ存在すること、皿以外の小型土器群が見られないこと、口径が更に小さい皿が見られないことなどから、概ね10世紀後半を中心とする土器群と考えた。

さて、以下においては、特徴的な土器や土器以外の遺物について簡単にまとめる。

製塩土器　SI-1の12は製塩土器と考えられる。時期は９期９世紀後葉であろう。器形は口径14.6㎝の筒形と推定され、胎土に金雲母や白色針状物質を含む。外面は粘土帯接合痕や指頭痕が残るが、内面は丁寧にヨコナデされる。色調は赤褐色で、外面の黒色は煤と考えられる。器面剥離や内面の付着物はあまりない。製塩土器は県内では、芳賀町免の内台遺跡や上三川町多功南原遺跡など10遺跡程で確認されている（津野2006）。これらとの類似点は多い。

墨書　竪穴住居より10点、土坑より１点、計11点出土した。多少時期は前後するが、８・９期、９世紀中葉から後葉の時期が多い。完形品はなく、残存率の高いものでも1/2程度で、小破片も多い。器種は土師器坏が多く、たいてい口縁部から体部外面に墨書される。SI-5abの10の土師器坏底部外面、SI-18の８の土師器高台付坏の底部外面、SK-876の１の須恵器蓋内面の墨書は例外的である。小破片も多く判然としないが、文字数は１～３文字が認められる。この内、SI-1の７は「藤」と「井ヵ」、SI-3の１は「丈□」、SI-5abの10は「□家」、SI-23の２は「土盛ヵ　□」、SI-31の12は「万ヵ」、SK-876の１は「入」と考えられる。

ヘラ記号　竪穴住居より10点、掘立柱建物より１点、土坑より４点、計15点出土した。６～11期、８世紀後葉から10世紀後半にある。完形品はなく、残存率の高いものでも2/3程度で、小片も多い。器種は須恵器坏が殆どで、底部外面に施される。SI-18の６の土師器坏口縁部外面、SB-2・3の１の須恵器高台付坏の底部外面、SK-876の１の須恵器蓋内面は例外的である。破片が多く刻まれた全体がわからないものもあるが、「×」、「艹」、「卅」と考えられるものと直線状の刻みがある。ちなみに、「×」と考えられるものはSI-14の３とSI-38の１で、SI-38の３とSI-45の１もその可能性がある。「艹」と考えられるものはSI-18の６、SI-28の１、SB-２・3の１で、SK-284の１もその可能性がある。「卅」と考えられるものはSI-34の６である。直線状のものはSI-18の２、SK-246の２、SK-295の１、浅い直線状はSI-5abの８、SI-37・43の３、SK-876の１である。直線状のものは一端が欠けている場合が多く判然としない。

鉄製品　釘２点、刀子５点、鎌２点、手鎌１点、計10点出土した。ほとんどが竪穴住居からの出土である。

完形品はなく、いずれも遺存状態は悪い。また、統計はとっていないが、遺構数の割には鉄製品の出土点数が相対的に少ないように思われる。なお、鉄滓などは確認できなかった。

土錘　竪穴住居６軒などより合わせて37点の土錘が出土した。時期は７期から10期、９世紀前葉から10世紀前半である。この内、SI-33では29点と多く出土したが、使用時の状態は推定できなかった。さて、奈良・平安時代になると漁網錘が増加することは指摘されており、県内でも土錘が出土する遺跡がこの時期多くなる。例えば、那珂川町温泉神社北遺跡では調査した７軒全ての竪穴住居より土錘が出土し、この内第４号住居跡では最多の44点が出土した（中村1997）。本遺跡の有り様も活発な漁労活動の一端を示すものと理解される。

石製品　紡錘車１点、砥石２点、支脚２点が、いずれも竪穴住居より出土した。これらの遺物についても、遺構数の割には出土点数が少ないように思われる。

第27表　古墳時代から平安時代の時期別遺物一覧表

時期	年　代	製塩土器	墨　書	ヘラ記号等	釘	刀子	鎌	土錘	石製品
1	古墳中期								
2	６C後葉								
3	７C前葉								SI－29の８ （支脚）
4	７C中葉								
5	８C中葉								
6	８C後葉から ９C初頭		（SI－5abの10）	SI－14の３ SB－2・3の１ SK－284の１		SI－７の12			SI－６の７ （紡錘車）
7	９C前葉			SI－34の６		SI－35の10		SI－34の13 SI－35の９	
8	９C中葉		（SI－5abの10） SK－876の１	SI－5abの８ SI－45の１ SK－876の１		（SI－16・19の19）		（SI－16・19の17・18）	
9	９C後葉	SI－１の12	SI－１の７ SI－３の１ SI－18の８ SI－31の５・10～13	SI－18の２・６ SI－38の１・３	SI－18の14	SI－18の15	SI－1の13 （手鎌） SI－18の13 SI－38の15	SI－33の８～36 SI－38の13・14	SI－31の23 （砥石）
10	10C前半		SI－23の２	（SI－37・43の３）		（SI－37・43の42）		SI－37・43の41	SI－37･43の40 （支脚）
11	10C後半			SI－28の１ SK－246の２					SI－28の７ （砥石）
不明				（SI－37・43の３） SK－295の１	遺構外１	（SI－16・19の19） （SI－37・43の42）		（SI－16・19の17・18） 遺構外２	

※土器は製塩土器、墨書、ヘラ記号などについて示した。
※（　）は所属遺構が判然としないものである。

２，遺構について

ここでは、竪穴住居を中心とした遺構の形態と分布の変遷を見る。竪穴住居は、７世紀後葉から８世紀前葉に存在しないものの、２期６世紀後葉から11期10世紀後半に存在し、時期が明らかなものが41軒ある。これらは、規模や付属施設など様々だが、大きさで大型（一辺６m以上）、中型（一辺４～６m）、小型（一辺４m以下）と分けられる。

大型は、柱穴、カマド、貯蔵穴などの付属施設がほぼ完備される。カマドは全て北カマドである。これらの竪穴住居は、２・３・６・７期にある。軒数は少なく、各時期一軒である。

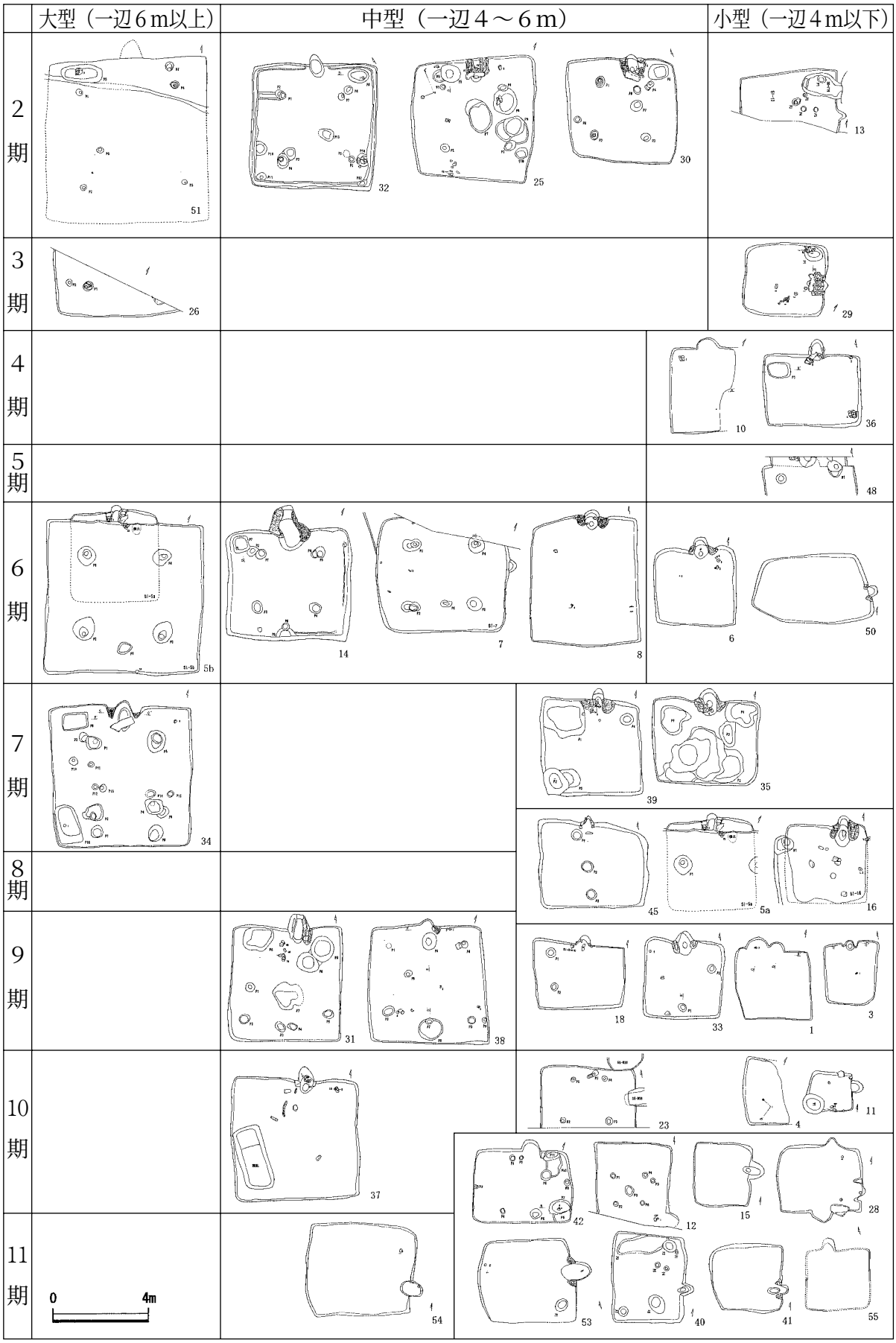
中型は、柱穴、カマド、貯蔵穴がつくが、設けられない場合もあり、時期が新しくなる程その傾向が見られる。カマドは最も新しい11期のSI-54のみが唯一東カマドで、他は全て北カマドである。これらの竪穴住居は、２・６・９～11期にある。軒数は時期が新しくなると徐々に減少する。

小型は、カマドが付けられるものの、柱穴や貯蔵穴は殆ど見られない。一方、SI-50のやや不整な長方形の平面形やSI-28の南北辺の突出部に代表されるように、形状の企画がやや崩れる。また、東カマドが目立ち、特に最も新しい11期は殆どが東カマドとなる。これらの竪穴住居は各時期にあり、軒数は最も多い。また、新しくなる程軒数は増加し、10・11期は竪穴住居の大半が小型である。

竪穴住居を中心とする遺構の分布について見る。２期から４期は調査区中央部の窪地以西に限られる。５期以降11期までは、中央部窪地を含め調査区全体に遺構が展開する。掘立柱建物は最大でも３間×２間の側柱式で、中央部窪地東側で６期のSB-２・３・4aの３棟と９期のSB-７の１棟がある。井戸は中央部窪地の西側にSK-618・946の２本があるが、時期が明確でない。

第28表　古墳時代から平安時代の時期別遺構一覧表

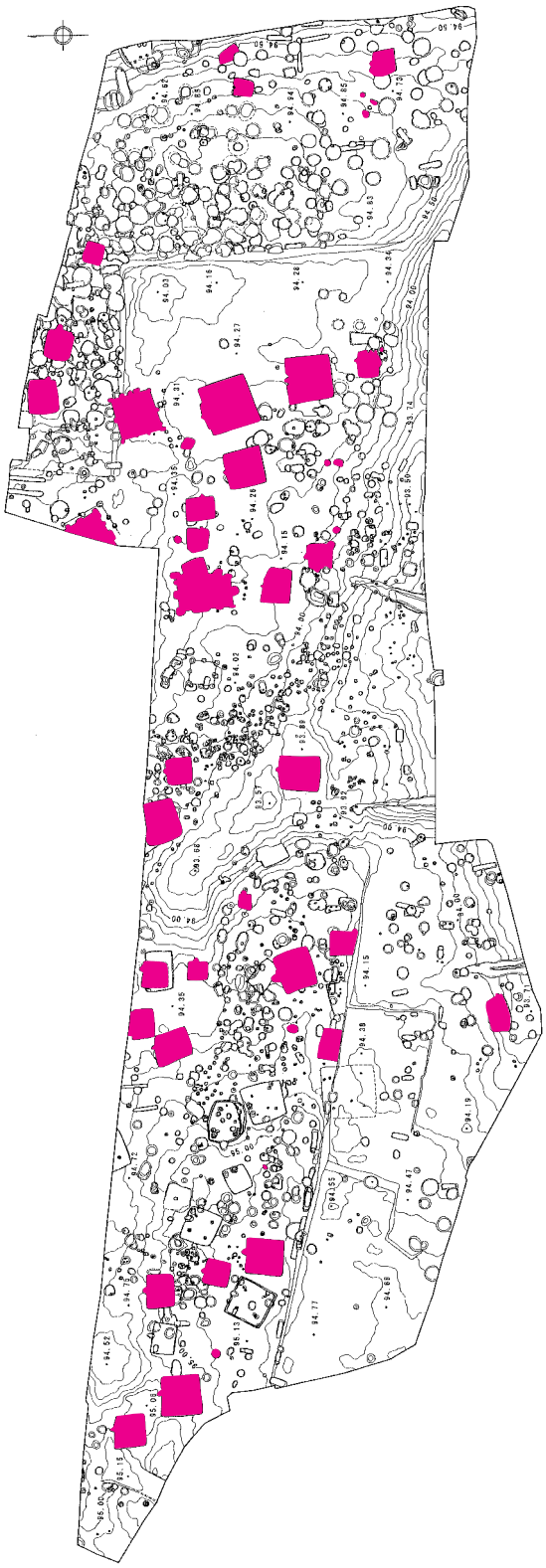
時　期	年　　代	遺　　構
１期	古墳時代中期	－
２期	６C後葉	SI-13、SI-25、SI-30、SI-32、SI-51、SK-279、SK-1019、SK-1317
３期	７C前葉	SI-26、SI-29
４期	７C中葉	SI-10、SI-36
５期	８C中葉	SI-48
６期	８C後葉から９C初頭	SI-5b、SI-６、SI-７、SI-８、SI-14、SI-50、SB-2、SB-3、SB-4a、SK-284、SK-323
７期	９C前葉	SI-34、SI-35、SI-39
８期	９C中葉	SI-5ａ、SI-16、SI-45、SK-876
９期	９C後葉	SI-１、SI-３、SI-18、SI-31、SI-33、SI-38、SB-7、SK-36
	９C代	SI-21、SI-22、SI-46、SK-220
10期	10C前半	SI-４、SI-11、SI-23、SI-37、SK-37、SK-261、SK-312
11期	10C後半	SI-12、SI-15、SI-28、SI-40、SI-41、SI-42、SI-53、SI-54、SI-55、SK-34、SK-205、SK-246、SK-310、SK-311、SK-313、SK-325、SK-332、SK-799、SK-880
時期不明		SI-９、SI-19、SI-43、SB-１、SB-４b、SB-５、SB-６、SK-72、SK-73、SK-81、SK-99、SK-200、SK-240、SK-266、SK-276、SK-283、SK-295、SK-296、SK-314、SK-318、SK-340、SK-606、SK-618、SK-709、SK-815、SK-946、SK-997、SK-1029、SK-1067、SK-1068、SK-1096、SK-1105、SK-1135、SK-1211、SK-1257、SK-1261、SK-1288



第311図　古墳時代から平安時代の竪穴住居跡変遷図



（２～４期）



（５～11期）

第312図　古墳時代から平安時代の遺構分布図

第３節　まとめ

小鍋前遺跡は、那珂川の支流である荒川右岸の丘陵裾部、台地下位面に所在する縄文時代と古墳時代から平安時代の集落遺跡である。遺跡推定範囲は30,300㎡に及び、今回の調査はその南部の10,000㎡、全体の1/3程の調査である。調査の成果をまとめる。

縄文時代については、前期から後期後葉の遺構や遺物が発見された。この内、継続的に遺構が確認されたのは中期阿玉台式期から後期堀之内式期である。縄文土器は概ね各時期の様相が把握できたが、量的には後期前葉の土器が多い。この内、中期では阿玉台式や大木８a・８ｂ式、後期では前葉の称名寺式、堀之内式段階が目立つ。また、中峠式・勝坂式・曽利式・連弧文的なモチーフ等も垣間見られる。一方、複弧文系や加曽利Ｅ式後半期は良好な資料があまりない。土製品は土製円盤の他、土錘・土偶などがある。石器は、磨石・石皿、次いで打製石斧が多く、生業を類推する材料となった。

遺構は土坑が857基あり多い。これらは、調査区東部50×50m程の範囲に纏まる中期中葉から後葉の袋状土坑から、調査区全体に分布する中期後葉から後期前葉の円筒形土坑へと推移する。袋状土坑と円筒形土坑の数は概ね１：５で、数量的には圧倒的に中期後葉から後期前葉の円筒形土坑が多い。竪穴住居や埋甕、集石・配石遺構は、主に後者の時期に属し散見される。即ち、中期中葉から後葉については、調査区中央部窪地と遺跡東端斜面に規制された調査区東部は、主に貯蔵施設を中心とした利用がなされた範囲と考えられる。この時期、調査区中央部から西部に遺構は殆どなく、竪穴住居も調査区とは別地点であった可能性がある。一方、中期後葉から後期前葉は、多数の円筒形土坑と、少数ながら竪穴住居、埋甕、あるいは集石・配石遺構がある。前時期とは違って幾種類かの施設が比較的近くにまとまった形の集落であったとも考えられる。また、窪地を含めた調査区中央部から西部も遺構分布範囲となったことや遺構数の増加は、集落規模の拡大とも捉えられる。いずれにしても、中期後半、加曽利ＥⅡ・Ⅲ式期を境に、集落の在り方が変化したようである。なお、以前、晩期の遺物が本遺跡から発見されていたが、今回の調査では確認することができなかった。

古墳時代から平安時代については、古墳時代中期から平安時代前半期の遺構や遺物が発見された。遺物は、土師器、須恵器を中心に灰釉陶器を少量伴う。これらは概ねその変遷を把握することができた。土師器や須恵器には墨書やヘラ記号が施されたものもある。この他、刀子などの鉄製品、土錘などの土製品、紡錘車などの石製品もある。

遺構は47軒の竪穴住居を中心に比較的多い。これらは、大きく２つの時期に分かれる。古墳時代後期を中心とする６世紀後葉から７世紀中葉は、規模を違えた竪穴住居が調査区中央部窪地以西に展開する。これは、荒川流域における本格的な古墳群や集落の形成と関連したものと考えられる。奈良・平安時代の８世紀中葉から10世紀後半は、調査区全体に前時期同様の竪穴住居がより多く展開する。これは、奈良・平安時代の荒川流域の遺跡数の急増と連動したものと考えられる。一方、８世紀後葉から９世紀初頭と９世紀後葉には掘立柱建物が伴うこと、時期が新しくなるにつれ竪穴住居の規模が小型化・非企画化する等の変化も見られる。なお、７世紀後葉から８世紀前葉は、調査した範囲では遺構や遺物が見られない時期である。遺跡全体としては、この時期、規模が縮小していたか、集落範囲が変化していた可能性もある。

（縄文時代主要参考文献）

・安孫子昭二　1988　「勝坂式土器様式」『縄文土器大観　第２巻中期Ⅰ』　小学館
・石坂茂　1990　「群馬県内の称名寺式土器」『縄文後期の諸問題』　縄文セミナーの会
・市川考古博物館　1982　『シンポジウム堀之内式土器資料集』
・市川考古博物館　1983　『シンポジウム堀之内式土器の記録』
・猪瀬美奈子　2006　「島田遺跡の研究－栃木県縄紋時代中期における竪穴住居跡の諸様相－」『栃木県考古学会誌』第27集　栃木県考古学会
・岩上照朗・上野修一他　1986　『古宿遺跡』　上河内村教育委員会
・岩淵一夫　1985　『上欠遺跡』栃木県住宅供給公社・栃木県教育委員会・(財)栃木県文化振興事業団
・上野修一　1992　「栃木の土偶」『国立歴史民俗博物館研究報告　土偶とその情報』第37集
・上野修一　1982　「栃木県における縄文時代の網漁について」『栃木県考古学会誌』第７集　栃木県考古学会
・上野修一　1998　「縄文時代の北関東・東北地方南部における有溝土錘について－栃木県藤岡町後藤遺跡出土資料の評価をめぐって－」『列島の考古学』　渡辺誠先生還暦記念論集刊行会
・上野修一　1999　「栃木県藤岡町後藤遺跡出土の漁網錘」『研究紀要』第16号　栃木県立博物館
・江原英・合田恵美子　2001　「栃木県における縄紋時代中期後半～後期前葉の土器」『第23回栃木福島埋蔵文化財研究協議会』
・江原英・安藤美保　2005　『上り戸遺跡』　栃木県教育委員会・(財)とちぎ生涯学習文化財団
・江原英　2005　「縄紋中期後半における住居諸形態の観察－栃木県内の加曽利ＥⅢ式期を中心として－」『研究紀要』第13号　(財)とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター
・江原英　2007　「東関東の様相」『中期終末から後期初頭の再検討』　縄文セミナーの会
・海老原郁雄他　1980　『槻沢遺跡』　栃木県教育委員会
・海老原郁雄　1988　「北関東加曽利Ｅ式土器様式」『縄文土器大観　第３巻中期Ⅱ』　小学館
・海老原郁雄　1999　「関東地方　中期（浄法寺タイプ）」『縄文時代』10　縄文文化研究会
・大川清・新井潔　1997　『栃木県小川町三輪仲町遺跡』　小川町教育委員会
・片根義幸　2006　『仲内遺跡』　栃木県教育委員会・(財)とちぎ生涯学習文化財団
・木下実　1999　『曲畑遺跡（写真図版編）』　南那須町教育委員会
・合田恵美子　2007　「5.中期末葉～後期前葉　第４章　縄文時代」『研究紀要』第15号　(財)とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター
・後藤信祐　1996　『槻沢遺跡Ⅲ』栃木県教育委員会・(財)栃木県文化振興事業団
・後藤信祐・江原英　2001　「栃木県における縄文時代集落の諸様相」『列島における縄文時代集落の諸様相』　縄文時代文化研究会
・後藤信祐　2007「２．土製品・石製品 第３節 遺物研究　第４章　縄文時代」『研究紀要』第15号　(財)とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター
・進藤敏雄・合田恵美子・後藤信祐　2000　『御霊前遺跡』　栃木県教育委員会・(財)栃木県文化振興事業団
・鈴木徳雄　1990　「称名寺・堀之内１式研究の諸問題」『縄文後期の諸問題』　縄文セミナーの会
・鈴木保彦・山本暉久　1988　「加曽利Ｅ式土器様式」『縄文土器大観　第２巻中期Ⅰ』　小学館
・芹澤清八　1987　『御城田遺跡（本文編）』　栃木県教育委員会・(財)栃木県文化振興事業団
・芹澤清八他　1994　『古宿遺跡』　栃木県教育委員会・(財)栃木県文化振興事業団
・谷井彪ほか　1982　「縄文中期土器群の再編」『研究紀要』　(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
・谷井彪　1988　「阿玉台式土器様式」『縄文土器大観　第２巻中期Ⅰ』　小学館
・谷藤保彦　1990　「後期前葉の土器群」『縄文後期の諸問題』　縄文セミナーの会
・玉橋さやか　2007　「１．石器　第３節　遺物研究　第４章　縄文時代」『研究紀要』第15号　(財)とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター
・塚原孝一　1994　『三輪仲町遺跡』栃木県教育委員会・(財)栃木県文化振興事業団
・塚原孝一　2007　「4.中期初頭から後葉　第４章　縄文時代」『研究紀要』第15号　(財)とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター
・塚本師也　1989　「北関東における阿玉台式土器の様相」『縄文中期の諸問題』　縄文セミナーの会
・塚本師也　1997　『浄法寺遺跡』　栃木県教育委員会・(財)栃木県文化振興事業団
・塚本師也　2004　「栃木県域における火炎土器研究の到達点と課題」『火炎土器の研究』　同成社
・塚本師也　2005　「田木谷遺跡出土の縄文時代中期中葉の土器について」『玉里村立史料館報』11　玉里村立史料館
・塚本師也　2006　「田木谷遺跡出土の縄文時代中期中葉の土器について（２）」『玉里村立史料館報』12　玉里村立史料館
・塚本師也　2007　「第４節　遺構研究　１．建物跡」『研究紀要』第15号　(財)とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター
・津野仁　2002　『大野遺跡・大用地Ｂ遺跡』　栃木県教育委員会・(財)とちぎ生涯学習文化財団
・津野仁他　2003　『荻ノ平遺跡』　栃木県教育委員会・(財)とちぎ生涯学習文化財団
・中村紀男・中村信博　2006　『桧の木遺跡Ⅰ・Ⅱ』　本田技研工業株式会社・桧の木遺跡調査団
・仲山英樹　1995　『馬門南遺跡』栃木県教育委員会・(財)栃木県文化振興事業団
・西村正衛　1984　『石器時代における利根川下流域の研究』　早稲田大学出版部
・丹羽茂　1989　「中期大木式土器様式」『縄文土器大観　第１巻草創期早期前期』　小学館
・パリノ・サーヴェイ株式会社　2007　『小鍋前遺跡の理化学分析（出土石材の分析調査）』
・深谷昇・江原美奈子　2004～06　『島田遺跡』Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ　上三川町教育委員会
・吹野富美夫　2000　「縄文時代の土製腕輪」『常総台地』15　常総台地研究会
・本間宏　1990　「東北地方南部における縄文後期前葉土器群の変遷過程」『縄文後期の諸問題』　縄文セミナーの会
・松本茂ほか　1991　『法正尻遺跡』　(財)福島県文化センター
・森幸彦　1998　「福島県内の大木８ａ式土器について」『中期中葉から後葉の諸様相』　縄文セミナーの会

（古墳時代から平安時代主要参考文献）

・浅井哲也　1991　「茨城県内における奈良・平安時代の土器（Ⅰ）」『研究ノート』創刊号　(財)茨城県教育財団
・浅井哲也　1992　「茨城県内における奈良・平安時代の土器（Ⅱ）」『研究ノート』２号　(財)茨城県教育財団
・池田敏宏　2000　「土師器甕について」『小丸山北・山苗代Ａ遺跡』　栃木県教育委員会・(財)栃木県文化振興事業団
・齋藤孝正ほか　1995　『須恵器集成図録　第３巻　東日本編Ⅰ』　雄山閣出版株式会社
・津野仁ほか　1997　「栃木県」『東国の須恵器－関東地方における歴史時代須恵器の系譜－』　古代生産史研究会
・津野仁　2006　「栃木県出土の古代製塩土器について」『研究紀要』第14号　(財)とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター
・津野仁ほか　2007　『東谷・中島地区遺跡群８　砂田遺跡』　栃木県教育委員会・(財)とちぎ生涯学習文化財団
・中村享史　1997　『温泉神社北遺跡』　栃木県教育委員会・(財)栃木県文化振興事業団
・中山晋・平久保直希　2005　『彦七新田遺跡』　栃木県教育委員会・(財)とちぎ生涯学習文化財団
・安永真一　1997　「第４章第１節　滝田本郷遺跡出土土器の変遷」『滝田本郷遺跡』　栃木県教育委員会・(財)栃木県文化振興事業団
・梁木誠・田熊清彦　1989　「古代下野の土器様相（Ⅰ）」『栃木県考古学会誌』第11集　栃木県考古学会

附章　理化学分析

第１節　火山灰分析、植物珪酸体分析

栃木県南那須町小鍋前遺跡における自然科学分析

株式会社　古環境研究所

Ⅰ．小鍋前遺跡における火山灰分析

１．はじめに

栃木県県域に分布する後期更新世以降に形成された地層の中には、男体山をはじめとする日光火山群、赤城、榛名、浅間、那須など北関東地方とその周辺の火山、中部地方や中国地方さらには九州地方などの火山に由来するテフラ（火山砕屑物，いわゆる火山灰）が多く認められる。テフラの中には、噴出年代が明らかにされている指標テフラがあり、これらとの層位関係を遺跡で求めることで、遺構の構築年代や遺物包含層の堆積年代を知ることができるようになっている。

そこで、層位や年代が不明な土層が検出された南那須町小鍋前遺跡においても、地質調査を行い土層層序を記載するとともに、火山ガラス比分析、テフラ検出分析さらに屈折率測定を行って指標テフラの層位を把握し、土層の年代に関する資料を収集することになった。調査分析の対象となった地点は、E-8グリッド、E-20グリッド、F-8グリッド、F-1グリッドの４地点である。

２．土層層序

（１）E-8グリッド

E-8グリッドでは、褐色砂礫層（層厚15cm以上，礫の最大径78mm）の上位に、下位より礫混じり灰白色粘土（層厚17cm，礫の最大径38mm）、黄色土（層厚６cm）、灰色粘質土（層厚25cm）、黄色土（層厚６cm）、砂混じり黄灰色土（層厚10cm）、灰色岩片を多く含む黄白色風化スコリア層（層厚８cm，岩片の最大径２mm）、褐色スコリア混じり灰色土（層厚15cm，スコリアの最大径３mm）、褐色スコリア混じり黄色土（層厚９cm）、黄桃色土（層厚４cm）、桃灰色砂質細粒火山灰層（層厚７cm）、橙褐色スコリア混じり橙褐色土（層厚８cm，スコリアの最大径５mm）が認められる（図１）。

これらのうち、灰色岩片を多く含む黄白色風化スコリア層は、層相から男体小川スコリア（Nt-Og，関東ローム研究グループ，1965，町田・新井，1992）に同定される。

（２）E-20グリッド

E-20グリッドでは、褐色砂礫層（層厚30cm以上，礫の最大径83mm）の上位に、下位より砂混じり褐色土（層厚12cm）、若干色調が暗い褐色土（層厚31cm）、黄褐色土（層厚11cm）、灰色岩片を含む褐色土（層厚３cm，岩片の最大径３mm）、灰褐色スコリア層（層厚５cm，スコリアの最大径３mm）、灰色岩片を含む褐色土（層厚11cm，岩片の最大径３mm）、若干黄色がかった褐色土（層厚21cm）が認められる（図２）。これらのうち、灰褐色スコリア層については、層相からNt-Ogに同定されると思われる。

（３）F-8グリッド

F-8グリッドでは、灰褐色砂礫層（層厚15cm以上，礫の最大径43mm）の上位に、下位より灰白色粘土（層厚43cm)、灰色岩片を多く含む黄褐色土（層厚11cm，岩片の最大径３mm)、黄白色土（層厚17cm)、赤褐色スコリア混じり灰褐色土（層厚14cm，スコリアの最大径６mm)、赤褐色スコリア混じり黒褐色土（層厚17cm，スコリアの最大径５mm)、砂混じり黒褐色土（層厚60cm)、炭化物混じり黒灰色表土（層厚28cm）が認められる（図３)。これらのうち、黄褐色土中に多く含まれる灰色岩片については、岩相からNt-Ogに由来すると考えられる。また灰褐色土や黒褐色土に含まれる赤褐色スコリアについては、岩相から約1.2～1.3万年前[*1]（暦年較正年代：約1.4～1.5万年前）に男体火山から噴出した男体今市・七本桜テフラ（Nt-I・S，原田，1943，阿久津，1955，関東ローム研究グループ，1965，須藤・山崎，1980，町田・新井，1992，2003など）のうち、Nt-Iに由来すると考えられる。

（４）F-1グリッド

F-1グリッドでは、下位より赤褐色スコリアを含む灰褐色土（層厚12cm，スコリアの最大径７mm)、黒色土（層厚28cm)、黒灰褐色土（層厚28cm)、黒灰色表土（層厚21cm）が認められる。このうち、黒灰褐色土からは縄文時代中～後期の遺物が検出されている（図４)。なおこれらの土層の下位には、成層したテフラ層（層厚23cm）が認められる。このテフラ層は、下位より赤橙褐色スコリア層（層厚６cm，スコリアの最大径７mm，岩片の最大径３mm)、黄色軽石層（層厚８cm，軽石の最大径16mm，石質岩片の最大径５mm)、黄色軽石混じり灰色粗粒火山灰層（層厚９cm，軽石の最大径７mm，石質岩片の最大径３mm）からなる。この成層したテフラ層については、その層相からNt-I・Sに同定される。

３．火山ガラス比分析

（１）分析試料と分析方法

E-8グリッドおよびE-20グリッドにおいて、テフラ層ごとあるいは基本的に厚さ５cmごとに設定採取された試料のうち、19点を対象として火山ガラス比分析を行った。分析の手順は次の通りである。

１）試料12gを秤量。

２）超音波洗浄により泥分を除去。

３）80°Cで恒温乾燥。

４）分析篩により1/4-1/8mmの粒子を篩別。

５）偏光顕微鏡下で250粒子を観察し、火山ガラスの色調・形態別比率を求める。

（２）分析結果

E-8グリッドおよびE-20グリッドにおける火山ガラス比分析の結果を、ダイヤグラムにして図５と図６に、その内訳を表１に示す。E-8グリッドでは、いずれの試料からも火山ガラスが検出された。火山ガラスは、とくに試料３に多く含まれている。この試料に含まれる火山ガラスは、量が多い順に、分厚い中間型（19.2%)、繊維束状に発泡した軽石型（10.8%)、スポンジ状に発泡した軽石型（6.0%）である。

E-20グリッドでは、いずれの試料からも火山ガラスが少量（４%前後）ずつ検出された。火山ガラスは、褐色や淡褐色さらに無色透明のバブル型が多い。

４．テフラ検出分析

（１）分析試料と分析方法

F-8グリッドおよびF-1グリッドにおいて、基本的に厚さ５cmごとに設定採取された試料のうち、19点を対象としてテフラ検出分析を行った。分析の手順は次の通りである。

１）試料12gを秤量。

２）超音波洗浄により泥分を除去。

３）80°Cで恒温乾燥。

４）実体偏光顕微鏡下でテフラ粒子の量や色調を観察。

（２）分析結果

F-8グリッドでは、試料22に無色透明の軽石型ガラスが少量含まれている。試料14から試料４にかけては、いずれの試料でも軽石型ガラスが認められ、試料14には無色透明、試料12から試料４にかけては白色の軽石型ガラスが認められる。F-1グリッドでは、試料８～４を除くいずれの試料からも火山ガラスが検出された。試料16や試料14に含まれる火山ガラスは、無色透明の軽石型ガラスである。試料12に含まれるものは、白色の軽石型ガラスである。試料10には淡褐色のバブル型ガラスが少量含まれている。試料２には無色透明の軽石型ガラスが少量認められる。

５．屈折率測定

（１）測定試料と測定方法

E-8グリッドの試料13と試料３、F-8グリッドの試料10に含まれる火山ガラスについて、屈折率の測定を行った。屈折率の測定には、温度変化型屈折率測定装置（MAIOT）を利用した。

（２）測定結果

屈折率の測定結果を表３に示す。E-8グリッドの試料13に含まれる火山ガラスの屈折率（n）はbimodalで、1.498-1.500と1.503-1.505のものが認められる。E-8グリッドの試料３に含まれる火山ガラスの屈折率（n）は、1.502-1.505である。F-8グリッドの試料10に含まれる火山ガラスの屈折率（n）はbimodalで、1.496-1.498と1.500-1.503のものが認められる。

６．考察

屈折率の測定対象となった試料のうち、E-8グリッドの試料13に含まれる屈折率（n）が1.498-1.500のものについては、その屈折率から約2.4～2.5万年前[*1]（暦年較正年代：約2.6～2.9万年前）に南九州地方の姶良カルデラから噴出した姶良Tn火山灰（AT，町田・新井，1976，1992，松本ほか，1987，村山，1993，池田ほか，1995）に由来すると考えられる。もう一方の、火山ガラスの起源については現在のところ不明である。有色の火山ガラスがこれに相当する。

またE-8グリッドの試料３が採取されたテフラ層については、層位や火山ガラスの形態さらに屈折率などから、約1.3～1.4万年前[*1]（暦年較正年代：約1.5～1.65万年前）に浅間火山から噴出した浅間板鼻黄色軽石（As-YP，新井，1962，町田・新井，1992）に同定される。

F-8グリッドの試料10に含まれる火山ガラスのうち、屈折率が1.500-1.503のものについては、その値や白色

の軽石型ガラスが含まれていることから、６世紀初頭に榛名火山から噴出した榛名二ツ岳渋川テフラ（Hr-FA，新井，1979，坂口，1986，早田，1989，町田・新井，1992）または６世紀中葉に榛名火山から噴出した榛名二ツ岳伊香保テフラ（Hr-FP，新井，1962，坂口，1986，早田，1989，町田・新井，1992）に由来する可能性がある。

なお、F-1グリッドの試料10に含まれる淡褐色のバブル型火山ガラスについては、その特徴から約6,300年前[*1]（暦年較正年代：約7,300年前）に南九州地方の鬼界カルデラから噴出した鬼界アカホヤ火山灰（K-Ah，町田・新井，1978，2003）の可能性も考えられるが、下位の土層中に有色のバブル型ガラスが含まれていることからその詳細については不明である。

７．まとめ

南那須町小鍋前遺跡において、地質調査、火山ガラス比分析、テフラ検出分析、屈折率測定を行った。その結果、下位より姶良Tn火山灰（AT，約2.4～2.5万年前[*1]）、男体小川スコリア（Nt-Og）、浅間板鼻黄色軽石（As-YP，約1.3～1.4万年前[*1]）、男体今市・七本桜テフラ（Nt-I・S，約1.2～1.3万年前）、榛名二ツ岳渋川テフラ（Hr-FA，６世紀初頭）あるいは榛名二ツ岳伊香保テフラ（Hr-FP，６世紀中葉）などに由来する可能性が高いテフラ粒子などを検出することができた。

＊１　放射性炭素（^{14}C）年代.

文献

阿久津　純（1955）宇都宮付近の関東ローム層．地球科学，33，p.1-11.

新井房夫（1962）関東盆地北西部地域の第四紀編年．群馬大学紀要自然科学編，10，p.1-79.

新井房夫（1979）関東地方北西部の縄文時代以降の示標テフラ層．考古学ジャーナル，no.157，p.41-52.

荒牧重雄（1968）浅間火山の地質．地団研専報，no.45，65p.

原田正夫（1943）関東ロームの生成に就いて．東大土肥教室報告, 3, p.1-140.

池田晃子・奥野　充・中村俊夫・小林哲夫（1995）南九州，姶良カルデラ起源の大隅降下軽石と入戸火砕流中の炭化樹木の加速器^{14}C年代．第四紀研究，34，p.377-379.

関東ローム研究グループ（1965）関東ローム－その起源と性状．築地書館，378p.

町田　洋・新井房夫（1976）広域に分布する火山灰－姶良Tn火山灰の発見とその意義－．科学，46，p.339-347.

町田　洋・新井房夫（1978）南九州鬼界カルデラから噴出した広域テフラ－アカホヤ火山灰．第四紀研究，17，p.143-163.

町田　洋・新井房夫（1992）火山灰アトラス．東京大学出版会，276p.

町田　洋・新井房夫（2003）新編火山灰アトラス．東京大学出版会，336p.

松本英二・前田保夫・竹村恵二・西田史朗（1987）姶良Tn火山灰（AT）の^{14}C年代．第四紀研究，26，p.79-83.

村山雅史・松本英二・中村俊夫・岡村　真・安田尚登・平　朝彦（1993）四国沖ピストンコア試料を用いたAT火山灰噴出年代の再検討－タンデトロン加速器質量分析計による浮遊性有孔虫の^{14}C年代．地質雑，99，p.787-798.

坂口　一（1986）榛名二ツ岳起源FA・FP層下の土師器と須恵器．群馬県教育委員会編「荒砥北原遺跡・今井神社古墳群・荒砥青柳遺跡」，p.103-119.

早田　勉（1989）６世紀における榛名火山の２回の噴火とその災害．第四紀研究，27，p.297-312.

早田　勉（1996）関東地方～東北地方南部の示標テフラの諸特徴－とくに御岳第１テフラより上位のテフラについて－．名古屋大学加速器質量分析計業績報告書，７，p.256-267.

須藤　茂・山崎正男（1980）男体火山活動末期における斜め噴火と異種マグマの連続噴出．火山，25，p.75-87.

表１　火山ガラス比分析結果

地点	試料	bw(cl)	bw(pb)	bw(br)	md	pm(sp)	pm(fb)	その他	合計
E-8グリッド	1	0	0	0	9	4	3	234	250
	3	1	0	0	48	15	27	159	250
	4	3	1	0	28	4	19	195	250
	5	3	1	1	5	3	4	233	250
	7	1	0	1	2	2	3	243	250
	9	3	0	2	3	0	2	242	250
	13	6	4	4	0	0	2	234	250
	14	4	1	3	3	0	2	240	250
	15	2	1	3	2	1	0	241	250
	17	2	2	2	1	0	0	243	250
	19	3	3	1	1	1	2	239	250
	20	3	1	1	0	0	0	245	250
	21	2	2	5	1	0	1	239	250
	23	1	1	4	1	0	1	242	250
E-20グリッド	10	4	4	2	0	0	0	240	250
	12	1	3	4	0	2	1	239	250
	14	1	2	3	1	0	1	242	250
	16	1	3	4	2	0	1	239	250
	18	2	2	4	0	0	3	239	250

数字は粒子数．bw：バブル型，md：中間型，pm：軽石型，cl：透明，pb：淡褐色，br：褐色，sp：スポンジ状，fb：繊維束状．

表２　テフラ検出分析結果

地点	試料	軽石・スコリア			火山ガラス		
		量	色調	最大径	量	形態	色調
F-8グリッド	2	－	－	－	－	－	－
	4	－	－	－	＋	pm	白
	6	－	－	－	＋	pm	白
	8	－	－	－	＋	pm	白
	10	－	－	－	＋	pm	白
	12	－	－	－	＋	pm	白
	14	－	－	－	＋	pm	透明
	16	－	－	－	－	－	－
	18	－	－	－	－	－	－
	20	－	－	－	－	－	－
	22	－	－	－	＋	pm	透明
F-1グリッド	2	－	－	－	＋	pm	透明
	4	－	－	－	－	－	－
	6	－	－	－	－	－	－
	8	－	－	－	－	－	－
	10	－	－	－	＋	bw	淡褐
	12	－	－	－	＋	pm	白
	14	－	－	－	＋	pm	透明
	16	－	－	－	＋	pm	透明

++++：とくに多い，+++：多い，++：中程度，＋：少ない，－：認められない．
最大径の単位は，mm．

表３　屈折率測定結果

地点	試料	火山ガラス（n）
E-8グリッド	3	1.502-1.505
E-8グリッド	13	1.498-1.500，1.503-1.505
F-8グリッド	10	1.496-1.498，1.500-1.503

屈折率の測定は，温度変化型屈折率測定装置（MAIOT）による．

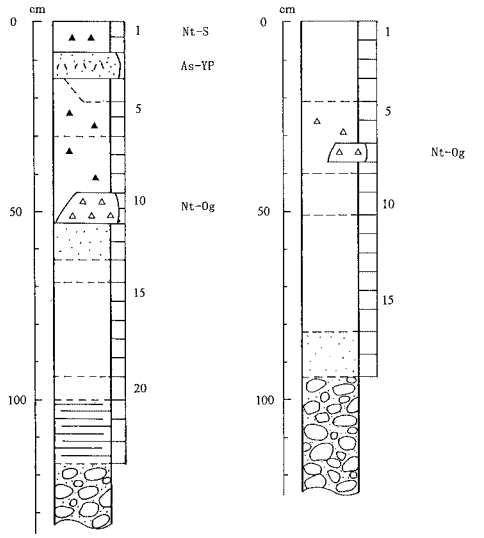


図1　E-8グリッドの土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号.

図2　E-20グリッドの土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号.

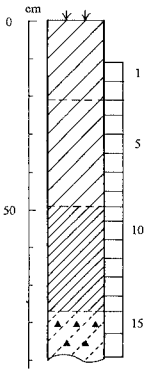


図3　F-1グリッドの土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号.

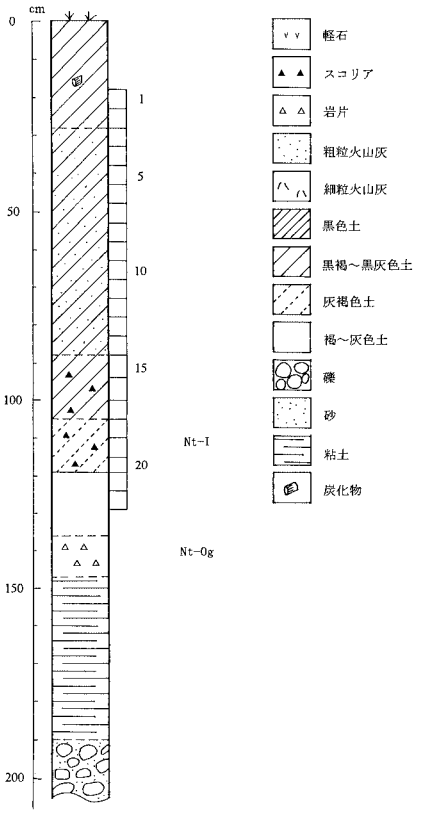


図4　F-8グリッドの土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号.

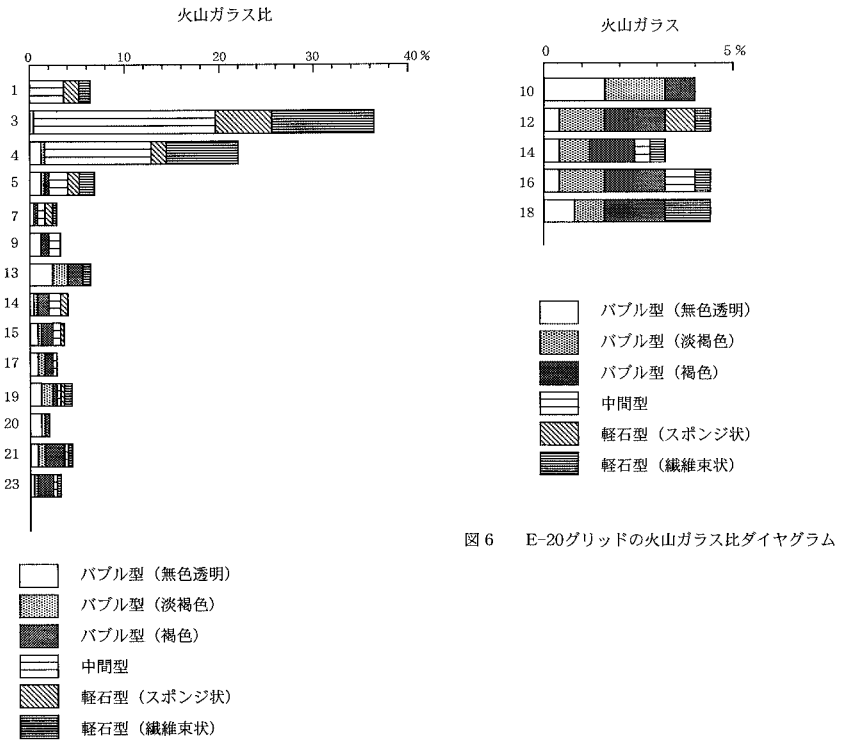


図6　E-20グリッドの火山ガラス比ダイヤグラム

図5　E-8グリッドの火山ガラス比ダイヤグラム

Ⅱ．小鍋前遺跡における植物珪酸体分析

１．はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内に珪酸（SiO_2）が蓄積したものであり、植物が枯れたあともガラス質の微化石（プラント・オパール）となって土壌中に半永久的に残っている。植物珪酸体分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている（杉山，2000）。

２．試料

分析試料は、縄文時代後期後葉の貯蔵穴とみられる土坑（SK-830、SK-888、SK-927、SK-956、SK-982、SK-1038）、時期不明の貯蔵穴とみられる土坑（SK-1027）、用途不明のSX-1、およびE-8グリッドから採取された計11点である。

３．分析法

植物珪酸体の抽出と定量は、ガラスビーズ法（藤原，1976）を用いて、次の手順で行った。

１）試料を105℃で24時間乾燥（絶乾）
２）試料約１gに対し直径約40μmのガラスビーズを約0.02g添加（電子分析天秤により0.1mgの精度で秤量）
３）電気炉灰化法（550℃・６時間）による脱有機物処理
４）超音波水中照射（300W・42KHz・10分間）による分散
５）沈底法による20μm以下の微粒子除去
６）封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成
７）検鏡・計数

同定は、400倍の偏光顕微鏡下で、おもにイネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体を対象として行った。計数は、ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート１枚分の精査に相当する。試料１gあたりのガラスビーズ個数に、計数された植物珪酸体とガラスビーズ個数の比率をかけて、試料１g中の植物珪酸体個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重（1.0と仮定）と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体１個あたりの植物体乾重、単位：10^{-5}g）をかけて、単位面積で層厚１cmあたりの植物体生産量を算出した。これにより、各植物の繁茂状況や植物間の占有割合などを具体的にとらえることができる。ヨシ属（ヨシ）の換算係数は6.31、ススキ属（ススキ）は1.24、メダケ節は1.16、ネザサ節は0.48、チマキザサ節・チシマザサ節は0.75、ミヤコザサ節は0.30である（杉山，2000）。タケ亜科については、植物体生産量の推定値から各分類群の比率を求めた。

４．分析結果

（１）分類群

分析試料から検出された植物珪酸体の分類群は以下のとおりである。これらの分類群について定量を行い、その結果を表１および図１、図２に示した。主要な分類群について顕微鏡写真（図版149）を示す。

〔イネ科〕

キビ族型、ヨシ属、ススキ属型（おもにススキ属）、ウシクサ族Ａ（チガヤ属など）、ウシクサ族Ｂ（大型）

〔イネ科－タケ亜科〕

メダケ節型（メダケ属メダケ節・リュウキュウチク節、ヤダケ属）、ネザサ節型（おもにメダケ属ネザサ節）、チマキザサ節型（ササ属チマキザサ節・チシマザサ節など）、ミヤコザサ節型（ササ属ミヤコザサ節など）、マダケ属型（マダケ属、ホウライチク属）、未分類等

〔イネ科－その他〕

表皮毛起源、棒状珪酸体（おもに結合組織細胞由来）、茎部起源、未分類等

〔樹木〕

モクレン属型、その他

（２）植物珪酸体の検出状況

１）土坑などの遺構（図１）

縄文時代中期中葉から後期前葉の貯蔵穴とみられる土坑（SK-830、SK-888、SK-927、SK-956、SK-982、SK-1038）から採取された試料では、ネザサ節型が多く検出され、ウシクサ族Ａ、メダケ節型、ミヤコザサ節型なども検出された。また、部分的にキビ族型、ヨシ属、ススキ属型、および海綿骨針なども検出された。用途不明の土坑（SX-1）でも、おおむね同様の結果である。時期不明の貯蔵穴とみられるSK-1027では、ウシクサ族Ａ、ネザサ節型、ミヤコザサ節型などが検出されたが、いずれも少量である。なお、イネ科栽培植物（イネ、ムギ類、ヒエ、アワ、キビなど）に由来する植物珪酸体は、いずれの試料からも検出されなかった。おもな分類群の推定生産量によると、SK-1027を除く各試料ではおおむねネザサ節型が優勢であり、とくにSK-888やSX-1で多くなっている。また、SK-982ではヨシ属も多くなっている。

２）E-8グリッド（図２）

礫層直上の礫混じり灰白色粘土（試料２）およびその上位の灰色粘質土（試料１）について分析を行った。その結果、礫混じり灰白色粘土（試料２）では、ネザサ節型、チマキザサ節型、ミヤコザサ節型などが検出されたが、いずれも少量である。灰色粘質土（試料１）では、ミヤコザサ節型がやや増加しており、メダケ節型も検出された。

５．考察

（１）土坑などの遺構

縄文時代中期中葉から後期前葉の貯蔵穴とみられる土坑（SK-830、SK-888、SK-927、SK-956、SK-982、SK-1038）および用途不明の土坑（SX-1）から採取された試料の堆積当時は、メダケ属（おもにネザサ節）などの竹笹類を主体として、ススキ属やチガヤ属なども見られるイネ科植生であったと考えられ、部分的にヨシ属などが生育する湿地的なところも分布していたと推定される。ネザサ節やススキ属、チガヤ属は日当りの悪い林床では生育が困難であることから、当時の遺跡周辺は日当りの良い比較的開かれた環境であったと考えられる。

これらの遺構では何らかの栽培植物の検出も期待されたが、イネ科栽培植物（イネ、ムギ類、ヒエ、アワ、キビなど）に由来する植物珪酸体は認められなかった。なお、多くの試料から海綿動物に由来する海綿骨針（宇津川ほか，1979）が検出された。海綿骨針については堆積環境との関係に未解明な点が多いが、何らかの

表１　栃木県、小鍋前遺跡における植物珪酸体分析結果
検出密度（単位：×100個/g）

	地点・試料	土坑（貯蔵穴）								不明土坑	E8グリッド	
分類群	学名	SK-830	SK-888	SK-927	SK-956-1	SK-956-2	SK-982	SK-1027	SK-1038	SX-1	1	2
イネ科	Gramineae (Grasses)											
キビ族型	Paniceae type	7	7			7			7			
ヨシ属	*Phragmites*	7	14	28		14	45			14		
ススキ属型	*Miscanthus* type	22	21		7	28	37			14		
ウシクサ族A	Andropogoneae A type	73	107	70	57	119	119	15	41	86		
ウシクサ族B	Andropogoneae B type				7				7			
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)											
メダケ節型	*Pleioblastus* sect. Nipponocalamus	29	43	35	36	7	7		7	43	7	
ネザサ節型	*Pleioblastus* sect. Nezasa	323	544	366	136	161	238	15	159	409	29	44
チマキザサ節型	*Sasa* sect. Sasa etc.		29			7	7		21		14	15
ミヤコザサ節型	*Sasa* sect. Crassinodi	81	129	49	43	63	82	38	131	57	79	44
マダケ属型	*Phyllostachys*			7								
未分類等	Others	125	150	190	72	112	89	23	76	122	29	7
その他のイネ科	Others											
表皮毛起源	Husk hair origin	29	14	21	29		15		28	29	14	
棒状珪酸体	Rod-shaped	316	666	479	301	301	260	45	193	344	14	7
茎部起源	Stem origin	15	21		7	7	7					
未分類等	Others	470	537	451	308	392	342	188	324	387	193	167
樹木起源	Arboreal											
モクレン属型	*Magnolia* type			7								
その他	Others			7					7			
（海綿骨針）	Sponge	7		14	14	7			14	7	72	36
植物珪酸体総数	Total	1498	2285	1711	1003	1219	1249	323	1001	1505	379	283
おもな分類群の推定生産量（単位：kg/m²･cm）：試料の仮比重を1.0と仮定して算出												
ヨシ属	*Phragmites*	0.46	0.90	1.78		0.88	2.82			0.90		
ススキ属型	*Miscanthus* type	0.27	0.27		0.09	0.35	0.46			0.18		
メダケ節型	*Pleioblastus* sect. Nipponocalamus	0.34	0.50	0.41	0.42	0.08	0.09		0.08	0.50	0.08	
ネザサ節型	*Pleioblastus* sect. Nezasa	1.55	2.61	1.76	0.65	0.77	1.14	0.07	0.76	1.96	0.14	0.21
チマキザサ節型	*Sasa* sect. Sasa etc.		0.21			0.05	0.06		0.16		0.11	0.11
ミヤコザサ節型	*Sasa* sect. Crassinodi	0.24	0.39	0.15	0.13	0.19	0.25	0.11	0.39	0.17	0.24	0.13
タケ亜科の比率（%）												
メダケ節型	*Pleioblastus* sect. Nipponocalamus	16	13	18	35	7	6		6	19	15	
ネザサ節型	*Pleioblastus* sect. Nezasa	73	70	76	55	71	75	39	55	75	24	47
チマキザサ節型	*Sasa* sect. Sasa etc.		6			5	4		11		19	24
ミヤコザサ節型	*Sasa* sect. Crassinodi	11	10	6	11	17	16	61	28	7	42	29

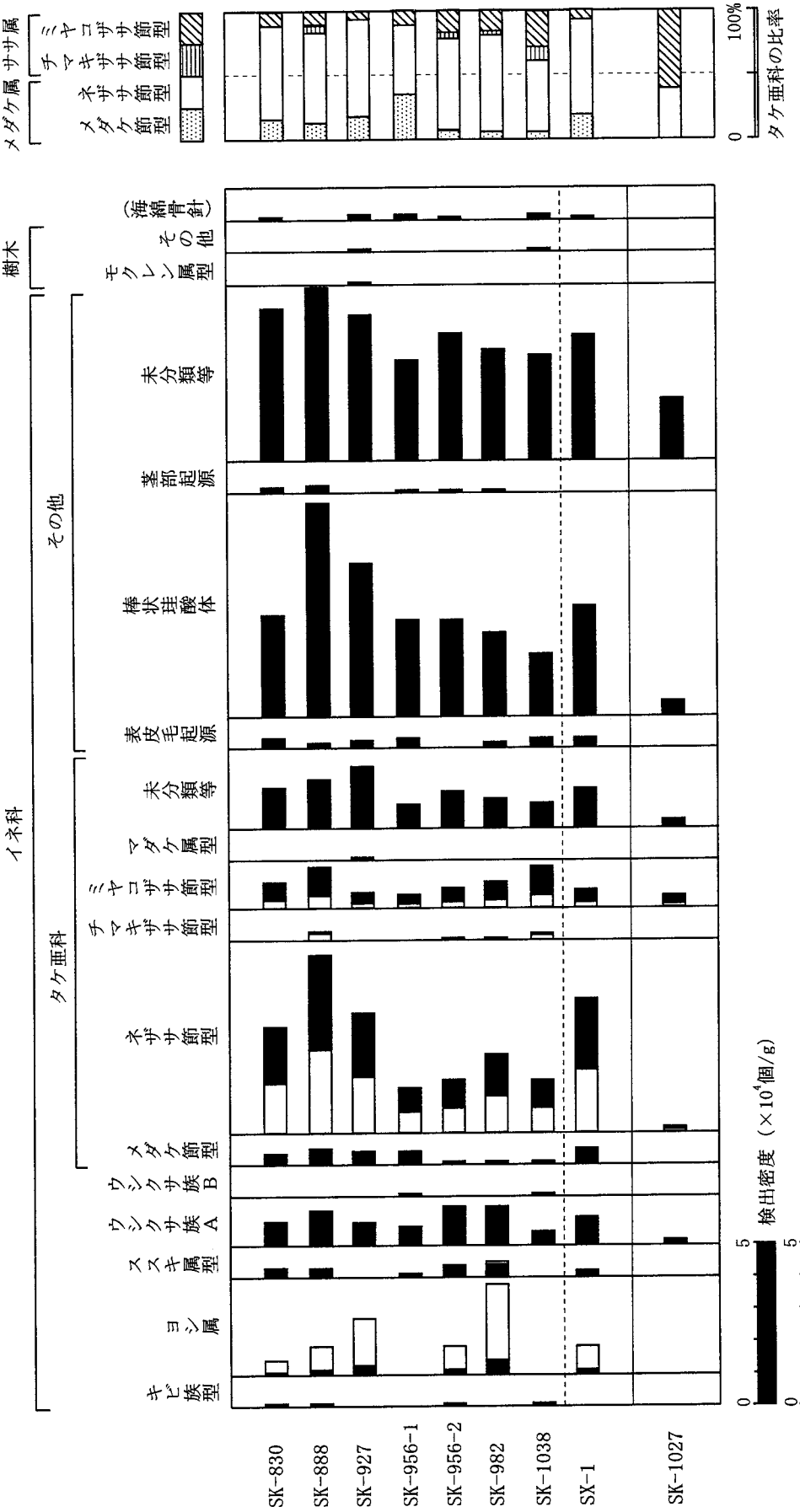


図１　栃木県、小鍋前遺跡における植物珪酸体分析結果

形で海綿（スポンジ）が利用されていた可能性も考えられる。

（２）E-8グリッド

礫層直上の礫混じり灰白色粘土およびその上位の灰色粘質土の堆積当時は、メダケ属（メダケ節やネザサ節）やササ属（チマキザサ節やミヤコザサ節など）などの竹笹類が生育するイネ科植生であったと考えられ、何らかの原因でそれ以外のイネ科植物の生育にはあまり適さない環境であったと推定される。

タケ亜科のうち、メダケ属は温暖、ササ属は寒冷の指標とされており、メダケ率（両者の推定生産量の比率）の変遷は、地球規模の氷期－間氷期サイクルの変動と一致することが知られている（杉山，2001）。ここではメダケ率が39～47%と比較的高いことから、当時はやや温暖な気候であったと考えられる。これらの層準は姶良Tn火山灰（ＡＴ，約2.6～2.9万年前：暦年代）よりも下位と考えられることから、この温暖期は最終氷期の亜間氷期（酸素同位体ステージ３）に対比されると考えられる。

文献

杉山真二（1987）タケ亜科植物の機動細胞珪酸体．富士竹類植物園報告，第31号，p.70-83.

杉山真二（2000）植物珪酸体（プラント・オパール）．考古学と植物学．同成社，p.189-213.

杉山真二（2001）テフラと植物珪酸体分析．月刊地球，23：645-650.

藤原宏志（1976）プラント・オパール分析法の基礎的研究（1）－数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法－．考古学と自然科学，9，p.15-29.

宇津川徹・細野衛・杉原重夫（1979）テフラ中の動物珪酸体 "Opal Sponge Spicules" について．ペドロジスト，第23巻 第２号，p.134-144.

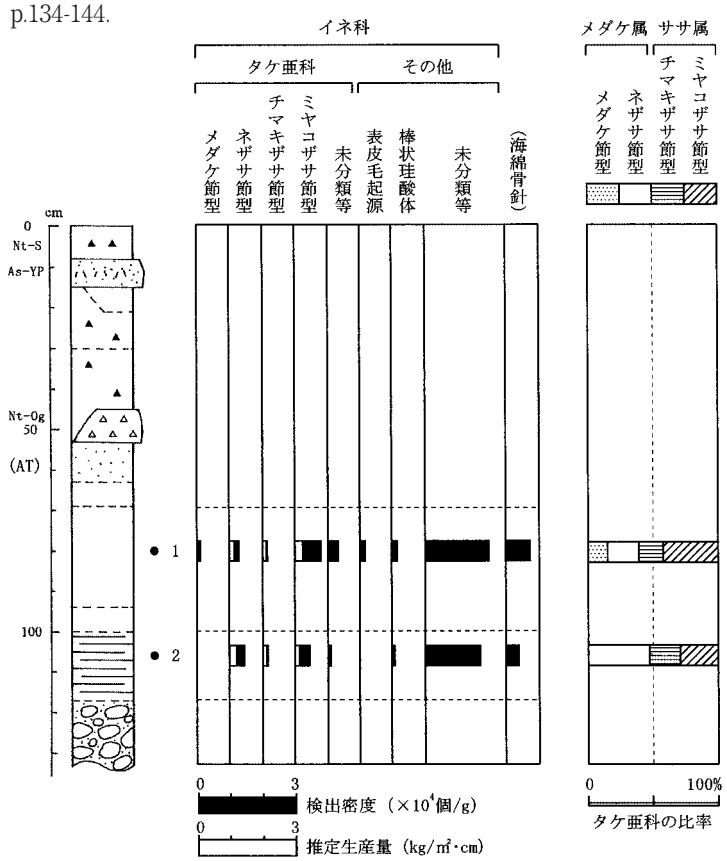


図２　小鍋前遺跡、E8グリッドにおける植物珪酸体分析結果

第２節　出土石材の分析調査

小鍋前遺跡の理化学分析（出土石材の分析調査）

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

小鍋前遺跡からは、縄文時代前期～後期および古墳時代後期～奈良・平安時代の遺構や遺物が多数検出されている。石器類としては、縄文時代の石器類を中心として石鏃、掻削器、打製石斧、磨製石斧、磨石などが出土している。

本報告では、これらの石器類について肉眼観察による石材鑑定を行い、周辺地質や、遺跡近傍を流れる荒川水系の地質と照らし合わせ、その原産地について検討する。

1.試料

肉眼鑑定を行った石材試料は、縄文時代の石器類379点、および、古代の石製品類5点の計384点である。縄文時代の石器類は遺構内出土257点および遺構外出土122点から構成され、器種別には石鏃8点、石錐2点、石匙3点、石核2点、掻削器20点、石剣1点、打製石斧77点、剥片5点、石棒5点、磨製石斧17点、磨石103点、石製品1点、石錘3点、石碗2点、石皿73点、台石56点および礫器1点となっている。古墳～奈良・平安時代の石製品類は、支脚2点、砥石2点および紡錘車1点である。時代、遺構№、器種等の詳細は、結果とともに表1に示す。

2.分析方法

野外用のルーペを用いて構成鉱物や組織の特徴を観察し、肉眼で鑑定できる範囲の岩石名を付す。個々の石材のより正確な岩石名は、薄片作製観察、X線回折試験、全岩化学組成分析等を併用することにより調べることができるが、今回は肉眼鑑定のみに留めるため、鑑定された岩石名は概査的な岩石名として捉えておく必要がある。

3.結果

肉眼鑑定により明らかとなった各石器・石製品の岩石名を表1に、縄文時代の石器類について器種ごとに集計した結果を表2に示す。

縄文時代の石器に使用されている石材は、深成岩類として黒雲母花崗岩1点、半深成岩類として閃緑斑岩1点およびドレライト3点、火山岩類として黒曜石12点、ガラス質流紋岩1点、流紋岩3点、デイサイト2点、安山岩5点、多孔質安山岩24点、多孔質輝石安山岩4点、緻密質安山岩38点、石英含有輝石安山岩6点、かんらん石輝石安山岩4点、輝石安山岩90点、角閃石安山岩5点、スコリア質安山岩2点および玄武岩6点、火山砕屑岩類として火山礫凝灰岩2点、軽石凝灰岩1点、流紋岩質凝灰岩（石英斑岩様）4点、デイサイト質凝灰岩1点、スコリア1点、凝灰岩7点および砂質凝灰岩85点、堆積岩類として凝灰質砂岩7点、砂岩17点、頁岩14点、珪質頁岩3点およびチャート15点、変成岩類として角閃岩1点、緑色片岩3点、菫青石ホルンフェルス6点、ホルンフェルス1点および粘板岩3点、および、鉱物として脈石英1点および碧玉1点が認められた。縄文時代の石器類については、磨石および打製石斧に使用されている安山岩類、台石および石皿に使用されている砂質凝灰岩などが多く認められる。

古墳～奈良・平安時代の石製品に使用されている石材としては、流紋岩1点、流紋岩質凝灰岩3点および砂

表２．縄文時代の石器類の器種別石材組成

	石鏃	石錐	石匙	石核	掻削器	石剣	打製石斧	剥片	石棒	磨製石斧	磨石	石製品	石錘	小型石皿・器	石皿	台石	礫器	合計
深成岩類																		
黒雲母花崗岩											1							1
半深成岩類																		
閃緑斑岩										1								1
ドレライト										1	2							3
火山岩類																		
黒曜石	2		1	2	4			3										12
ガラス質流紋岩							1											1
流紋岩			1		1						1							3
デイサイト											1				1			2
安山岩							2				1		2					5
多孔質安山岩							2				8				13	1		24
多孔質輝石安山岩											4							4
緻密質安山岩					1		35				1							37
石英含有輝石安山岩							4				2							6
かんらん石輝石安山岩							3				1							4
輝石安山岩							17				67				1	4	1	90
角閃石安山岩											5							5
スコリア質安山岩											2							2
玄武岩							1			4	1							6
火山砕屑岩類																		
火山礫凝灰岩										2								2
軽石凝灰岩																1		1
流紋岩質凝灰岩(石英斑岩様)							1				2					1		4
デイサイト質凝灰岩									1									1
スコリア											1							1
凝灰岩											1			2	1	3		7
砂質凝灰岩									1						41	43		85
堆積岩類																		
凝灰質砂岩															6	1		7
砂岩							2			1	2				10	2		17
頁岩		1	1		2		1	1		7			1					14
珪質頁岩	1				2													3
チャート	5	1			8		1											15
変成岩類																		
角閃岩									1									1
緑色片岩									2	1								3
菫青石ホルンフェルス							6											6
ホルンフェルス							1											1
粘板岩					1	1						1						3
鉱物																		
脈石英								1										1
碧玉					1													1
合計	8	2	3	2	20	1	77	5	5	17	103	1	3	2	73	56	1	379

岩1点が認められた。

4.考察

(1) 地質の概要

石器石材に関係する固結岩を中心に、遺跡近くの荒川の水系における地質の概略について以下に述べる。なお、地質に関する記述は、日本の地質「関東地方」編集委員会（1986）および山元ほか（2000）に基づいている。

荒川は那珂川の支流にあたり、高原山や、塩谷山地を源流としている。水系には、後期白亜紀～第四紀の火山砕屑岩や火山岩などが広く分布している。

最も古い地質としては、東古屋湖周辺に分布する後期白亜紀～前期古第三紀の流紋岩～デイサイト質の凝灰角礫岩、火山礫凝灰岩などがあり、中禅寺湖周辺に分布する奥日光流紋岩類と同種の火成岩とされている。

新第三系は、塩谷山地や、遺跡周辺の荒川下流域に分布する。塩谷山地周辺に分布する新第三系は、下部～中部中新統の流紋岩、凝灰角礫岩、凝灰岩、砂岩などから構成されている。荒川下流域の新第三系は、火山砕屑岩を主とする下部中新統の中川層群と、その上位の海成堆積物からなる中～上部中新統の荒川層群からなる。中川層群は、凝灰岩、凝灰質砂岩、礫岩、泥岩、凝灰角礫岩、デイサイト、玄武岩などから構成され、茂木町周辺に広く分布する。荒川層群は、砂岩、泥岩、凝灰岩などから構成され、那須烏山市烏山から那須郡那珂川町馬頭にかけてほぼ南北方向に広く分布する。遺跡の周辺には、荒川層群大金層が分布し、主に泥岩および砂質泥岩からなり、軽石凝灰岩や、凝灰質砂岩を伴う。

更新統は、荒川北岸域の喜連川丘陵を構成する川崎層群から主に構成される。川崎層群は、境林礫層と、館ノ川凝灰岩に分けられている。境林礫層は、安山岩、凝灰岩、流紋岩などの礫からなり、館ノ川凝灰岩は灰白色塊状の軽石質凝灰岩からなる。

第四紀火山としては、高原火山があり、荒川最上流部に分布する。火山の活動史は4期が識別されており、構成岩石は、かんらん石玄武岩、輝石安山岩、輝石デイサイト、輝石角閃石デイサイトなどからなる。考古学の分野では、黒曜石の産地としても有名である。

(2) 石材産地

上述の地質の概略に基づき、出土した石器・石製品に使用されている石材の産地について検討する。以下に岩石のタイプ別に述べる。

1) 火山岩類

火山岩類に属する石材としては、黒曜石、ガラス質流紋岩、流紋岩、デイサイト、安山岩、多孔質安山岩、多孔質輝石安山岩、緻密質安山岩、石英含有輝石安山岩、かんらん石輝石安山岩、輝石安山岩、角閃石安山岩、スコリア質安山岩および玄武岩が使用されている。

黒曜石は、石鏃、石核、掻削器などに使用されている。最も近い産地として高原山が知られているが、観察した黒曜石の中には、透明度の高い特徴を有し、長野県和田峠や、東京都神津島産の可能性があるものも含まれている。化学組成分析を併用した産地の特定が望まれる。

ガラス質流紋岩は打製石斧に、流紋岩は石匙、掻削器および砥石に使用されている。流紋岩類の分布としては、西荒川ダム周辺の西荒川流域に分布する流紋岩が知られている。流紋岩は、鬼怒川水系にも広く分布する石材であるほか、更新統の境林礫層中の礫としても含まれる。石匙、掻削器、砥石などの用途として適当な岩質を有する石材があるかどうかについては、荒川の河床礫や境林礫層の礫の調査などが必要である。

デイサイトは磨石、石皿として使用されている。デイサイト類は、高原火山などにも認められる石材であ

るが、脱ガラス化の程度などから、岩相からは新第三系の石材と判断され、中川層群に伴うもの、あるいは、鬼怒川水系の地質に由来するものなどの起源が考えられる。

安山岩、多孔質安山岩、多孔質輝石安山岩、緻密質安山岩、石英含有輝石安山岩、かんらん石輝石安山岩、輝石安山岩、角閃石安山岩、スコリア質安山岩などの安山岩類は、主に打製石斧および磨石に使用されている。大部分は、高原火山に由来する石材と判断されるが、その他の安山岩の産地としては、茂木町周辺に分布する中川層群茂木層や、鬼怒川の河床礫、更新統の境林礫層中の礫などが考えられる。多孔質安山岩やスコリア質安山岩などは、鬼怒川水系の男体山火山に特有な石材であり、この方面からの搬入の可能性を視野に入れる必要がある。

玄武岩は、磨製石斧、打製石斧および磨石に使用されている。打製石斧および磨石に使用されているものは、高原火山または荒川と那珂川の合流点より下流域に分布する中川層群山内層などの地質に由来すると考えられる。磨製石斧に使用されている玄武岩は、緻密質でややドレライトに近い岩相を示す。やや緑色の色調を示して変質した岩相であり、新第三系中新統や中古生層にしばしば見られる特徴を示す。中川層群山内層が最寄の地質となるが、鏡下観察も含めて検討する必要がある。

2）火山砕屑岩類

火山砕屑岩類に属する石材としては、火山礫凝灰岩、軽石凝灰岩、流紋岩質凝灰岩、流紋岩質凝灰岩（石英斑岩様）、デイサイト質凝灰岩、スコリア、凝灰岩および砂質凝灰岩が使用されている。

火山礫凝灰岩は磨製石斧として、流紋岩質凝灰岩は紡錘車、支脚として、デイサイト質凝灰岩は石棒として、凝灰岩は石碗、台石などとして、砂質凝灰岩は石皿、台石などとして使用されている。これらは、軟質な特徴を有する新第三系の石材と判断され、塩谷山地や、中川層群などの地質に由来していると考えられる。塩谷山地のものは、荒川の河床礫より採取できる。その他、塩原地域にも新第三系中新統の火山砕屑岩類の分布が知られていることから、那珂川経由で河床礫から採取することも可能である。ただし、石皿および台石として多量に使用されている砂質凝灰岩は、遺跡周辺に分布する荒川層群大金層に由来する在地性の石材と考えられる。鏡下において砂粒の構成粒子を原産地試料と比較する必要がある。

スコリアは、多孔質黒灰色を呈する石材であり、未変質で新鮮な岩相を示すことから、鬼怒川流域の男体火山に由来する可能性が考えられる。

流紋岩質凝灰岩（石英斑岩様）は、打製石斧、磨石および台石に使用されている。流紋岩質凝灰岩（石英斑岩様）は上記の火山砕屑岩類とは異なり、堅硬緻密質で半深成岩類に分類される石英斑岩様の岩相を示す。これらは、東古屋湖周辺に分布する後期白亜紀～前期古第三紀の火山砕屑岩類に由来する石材とみられ、荒川の河床礫として入手が可能である。その他には、鬼怒川水系の中禅寺湖周辺にも同様な石材が分布する。

3）堆積岩類

堆積岩類に属する石材としては、凝灰質砂岩、砂岩、頁岩、珪質頁岩およびチャートが使用されている。

凝灰質砂岩は石皿および台石に、砂岩は石皿、打製石斧、磨石、台石、砥石などに使用されている。凝灰質砂岩は、前述の砂質凝灰岩と類似した岩相を示す石材であり、同様に遺跡周辺の大金層に由来すると考えられる。砂岩は、軟質岩と硬質岩の2種が存在する。軟質岩は小塙周辺に分布する荒川層群小塙層に由来する石材が大部分を占めていると考えられる。硬質岩は、打製石斧、磨製石斧、砥石に使用されており、八溝山地を構成するジュラ紀堆積岩コンプレックスの八溝層群に由来する石材と考えられる。最寄の産地としては、鷲子山塊から連続する荒川最下流域がある。石鏃、掻削器などへの使用が認められるチャートについても同様にこの八溝層群に由来すると考えられる。

頁岩は磨製石斧、掻削器などに、珪質頁岩は掻削器などに使用されている。頁岩および珪質頁岩は、チャ

ート質な岩質を示すものが多いことから、八溝層群に由来するものが大部分を占めていると考えられる。一部、石匙に使用され、化石片を含有する新第三紀の頁岩とみられるものもある。大金層にも頁岩類は含まれるが、同様な岩相を含むかについては不明であり、岩質の比較を行う必要がある。

4）変成岩類

変成岩類に属する石材としては、角閃岩、緑色片岩、菫青石ホルンフェルス、ホルンフェルスおよび粘板岩が使用されている。

角閃岩は石棒として、緑色片岩は石棒および磨製石斧として使用されている。これらの石材は、周辺地質には、明らかに存在しない石材であり、搬入石材と判断される。最も近い産地としては、石炭紀～二畳紀の日立古生層が分布する茨城県常陸太田市～日立市がある。

菫青石ホルンフェルスおよびホルンフェルスは打製石斧として使用されている。これらは、ジュラ紀堆積岩コンプレックスの足尾帯にしばしば含まれる石材である。足尾帯は、鬼怒川流域の足尾山地や、鬼怒川最上流部などに分布する。したがって、鬼怒川の河床礫として採取されたと考えるのが妥当である。

粘板岩は掻削器、石剣および石製品として使用されている。粘板岩の産地となる地質としては、八溝層群が有力である。

5）鉱物

鉱物としては、脈石英および碧玉が使用されている。脈石英は剥片として、碧玉は掻削器として使用されている。脈石英は各種の岩石に、細脈として小規模に産することが多いため、産地の特定は困難である。碧玉は、塊状緻密な玉髄であり、不純物を含むことにより緑色を呈する。これも脈石英と同様に小規模に産出することが多く、産地については不明である。玉髄および瑪瑙については、茨城県久慈郡大子町～常陸大宮市の北富田地域などの産地が知られている。

5.まとめ

小鍋前遺跡より出土した石器類は、大部分が荒川水系の地質と調和的な石材が使用されている。高原火山由来とみられる安山岩類がその代表であり、打製石斧や磨石に多用されている。また、ごく近傍の中新統より採取されたとみられる石皿や台石に使われている砂質凝灰岩、凝灰質砂岩および砂岩などの石材も認めることができる。

一方、荒川水系や遺跡周辺地域の地質とは性質を異にする石材の使用も認められる。代表的なものは、日立地域産とみられる角閃岩、緑色片岩などであり、石棒、磨製石斧などに使用されている。その他、打製石斧のホルンフェルス類、打製石斧や磨石に使われているスコリア質安山岩、スコリアなどは、鬼怒川水系の地質に含まれる石材であり、これらも搬入の可能性がある石材といえる。このような搬入石材の存在は、当時の流通や交流を考える上で重要であるが、特に今回の日立地域産とみられる石材については、日立地域周辺の遺跡から出土した石器類との比較や、出土時期等の比較などから、日立地域産の石棒、磨製石斧の流通状況について言及していけるものと期待される。

引用文献

日本の地質「関東地方」編集委員会, 1986, 日本の地質3「関東地方」. 共立出版, p.335.

山元孝広・滝沢文教・高橋　浩・久保和也・駒沢正夫・広島俊男・須藤定久, 2000, 20万分の1地質図幅「日光」, 地質調査所.

※「表１」については、第３章の石器一覧表に岩石名を記し、ここでは割愛した。

写　真　図　版

図版一　航空写真



遺跡遠景（南東上空より）



遺跡及び調査区（北東上空より）



ＳＫ－93出土土器



ＳＩ－37（・43）出土土器



ＳＩ－２、ＳＫ－45（南西より）



ＳＩ－20（北西より）



ＳＩ－24（東より）



ＳＩ－24（北より）



ＳＩ－24炉（東より）



ＳＩ－24Ｐ７遺物（９）出土状態（南より）



ＳＩ－44（南西より）



ＳＩ－44炉（南西より）

図版四　縄文時代（遺構）



ＳＩ－44遺物（１）出土状態（南西より）



ＳＩ－49（東より）



ＳＩ－49炉（北より）



ＳＩ－52（南西より）



ＳＩ－56（南東より）



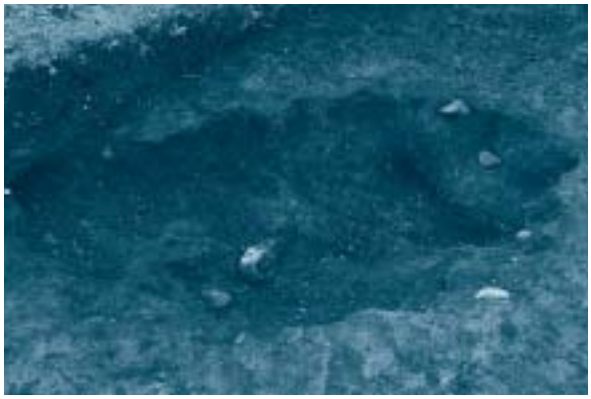
ＳＩ－56炉（南東より）



ＳＩ－57炉（東より）



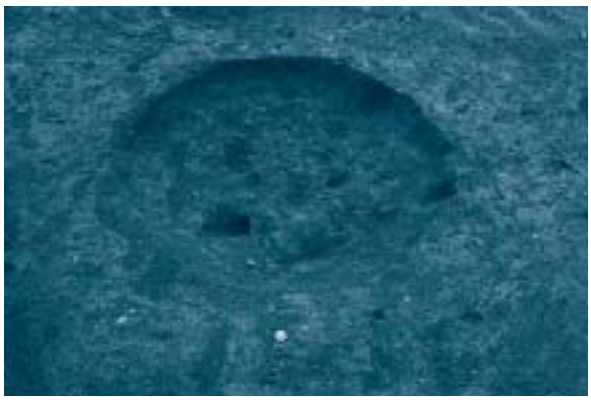
調査区中央から東部（北西より）



ＳＫ－１・９（西より）



ＳＫ－２（東より）



ＳＫ－３（東より）



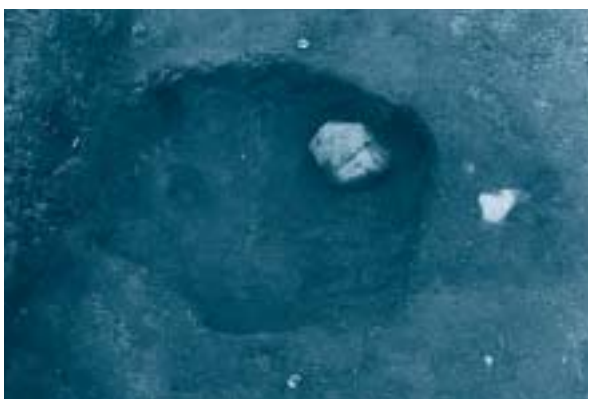
ＳＫ－４（北より）



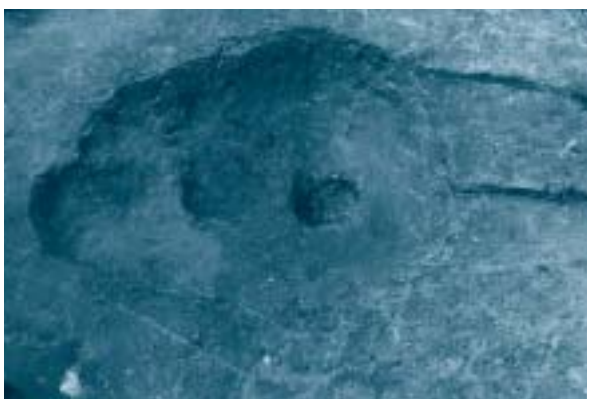
ＳＫ－５セクションＡ－Ａ’（南より）



ＳＫ－５調査状況（南より）



ＳＫ－６（東より）



ＳＫ－７（南より）

図版六　縄文時代（遺構）



ＳＫ－８（西より）



ＳＫ－12・13（南西より）



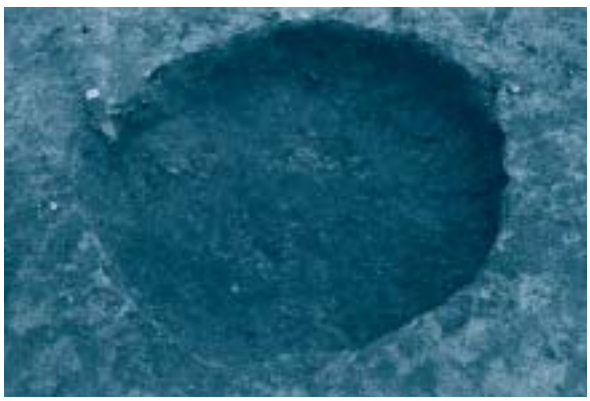
ＳＫ－14・15（南より）



ＳＫ－14遺物（１）出土状態（南より）



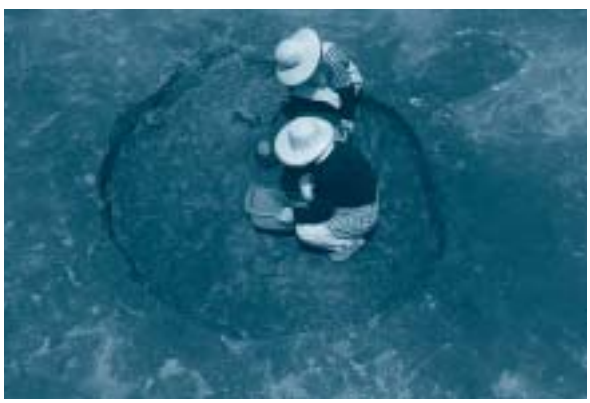
ＳＫ－14遺物（２）出土状態（西より）



ＳＫ－16（北より）



ＳＫ－17（北東より）



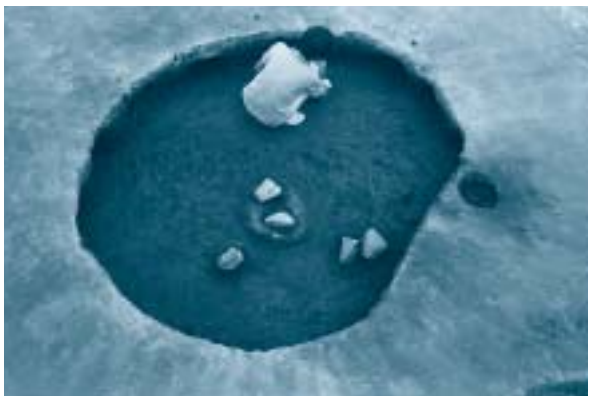
ＳＫ－19調査状況（南東より）



ＳＫ－19（南東より）



ＳＫ－19遺物（１）出土状態（南東より）



ＳＫ－24調査状況（南より）



ＳＫ－25調査状況（南東より）



ＳＫ－25（南東より）



ＳＫ－26～28（南より）



ＳＫ－29・30（南より）



ＳＫ－29・30調査状況（東より）

図版八　縄文時代（遺構）



ＳＫ－31（南より）



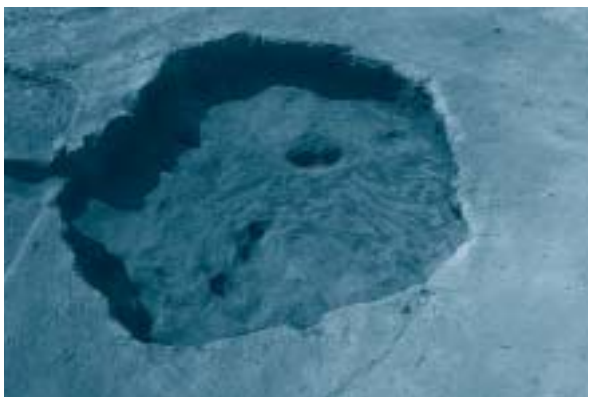
ＳＫ－32（東より）



ＳＫ－38（南より）



ＳＫ－39（南より）



ＳＫ－40（南より）



ＳＫ－41（南より）



ＳＫ－43・53（北東より）



ＳＫ－46（南より）



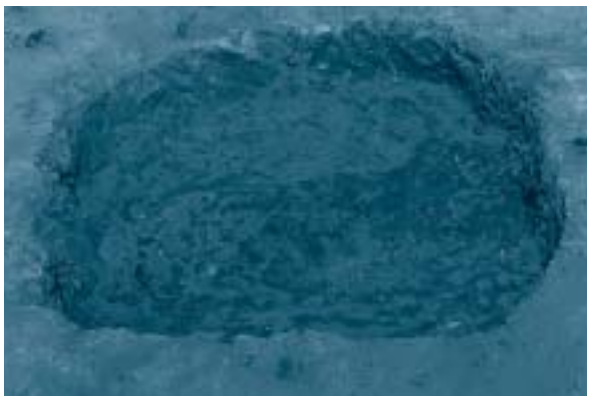
Ｇ－20グリッド周辺調査状況（北より）



ＳＫ－47（西より）



ＳＫ－48（東より）



ＳＫ－49（東より）



ＳＫ－50（南より）



ＳＫ－51ａ（北より）



ＳＫ－51ａ遺物（１）出土状態（北より）



ＳＫ－51ａ遺物（２・４・６）出土状態（北より）



ＳＫ－52・58・59（北東より）



ＳＫ－60（東より）



ＳＫ－61（東より）



ＳＫ－62（北より）



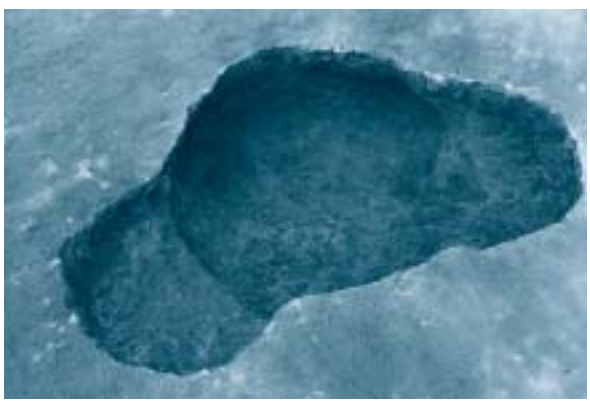
ＳＫ－63（南より）



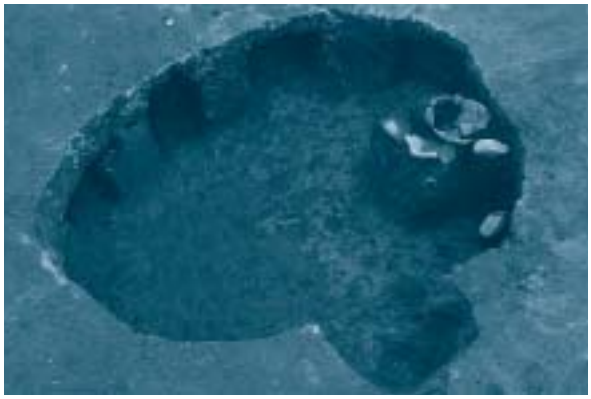
ＳＫ－66ａ（北東より）



ＳＫ－67ａ（南より）



ＳＫ－66ｂ・67ｂ・88（北より）



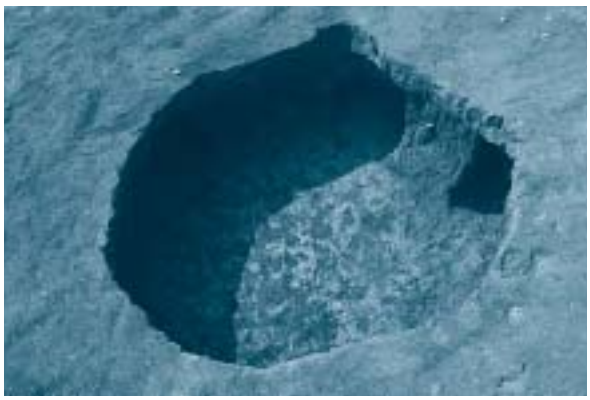
ＳＫ－70（南より）



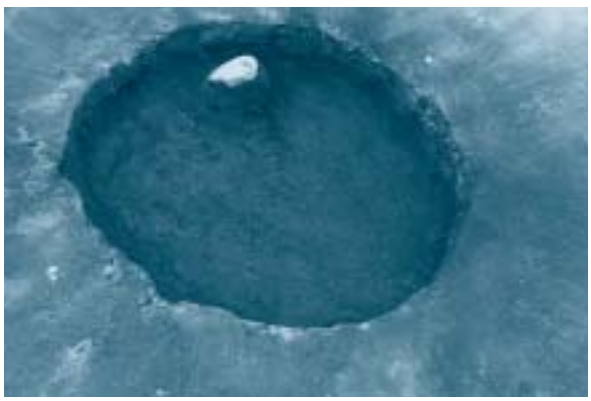
ＳＫ－70遺物（１・２）出土状態（北より）



ＳＫ－74（南より）



ＳＫ－77（南東より）



ＳＫ－78ａ（南より）



Ｃ－21グリッド周辺調査状況（南西より）



ＳＫ－79（南より）



ＳＫ－80（北西より）



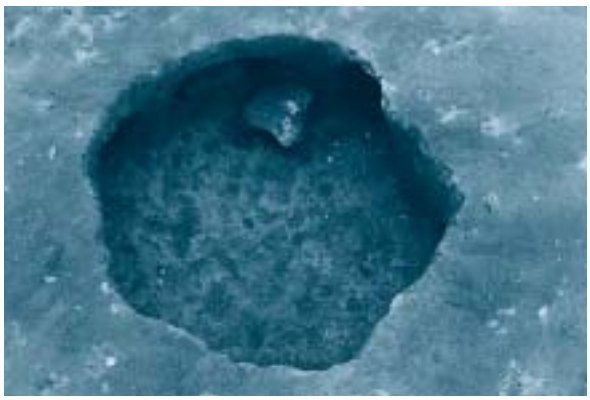
ＳＫ－80調査状況（東より）



ＳＫ－80セクションＡ－Ａ’（南より）



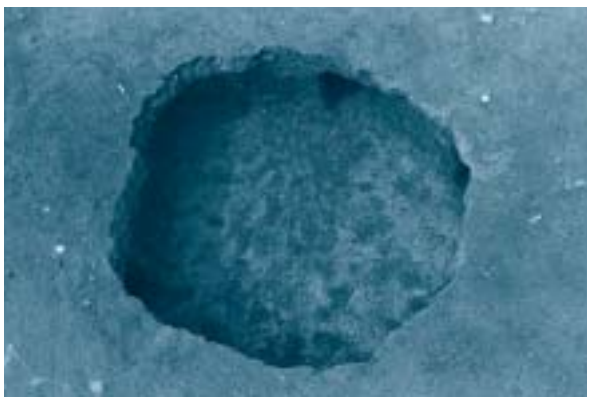
ＳＫ－80（北西より）



ＳＫ－82（北東より）



ＳＫ－82遺物（１）出土状態（北東より）



ＳＫ－83（南より）



ＳＫ－83セクションＡ－Ａ’（南より）



ＳＫ－83調査状況（東より）



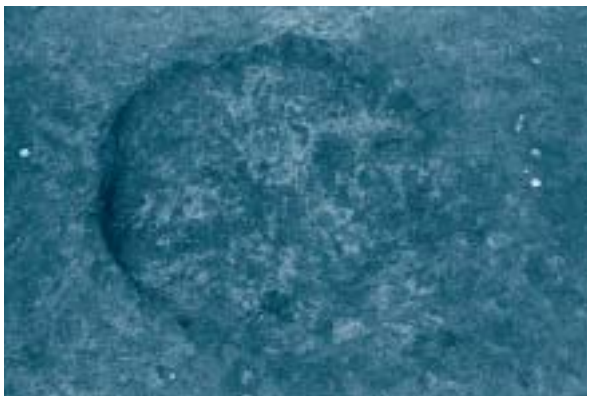
ＳＫ－84（南東より）



ＳＫ－85・98（南より）



ＳＫ－87（南より）



ＳＫ－89（東より）



ＳＫ－90遺物（11）出土状態（東より）



ＳＫ－90（南東より）



ＳＫ－90遺物（１・５）出土状態（南東より）



ＳＫ－90調査状況（南より）



ＳＫ－92～94・138（東より）



ＳＫ－92～94調査状況（南より）



ＳＫ－92・93（南より）



ＳＫ－93（南東より）



ＳＫ－93（北東より）



ＳＫ－93遺物（１・２・６・16）出土状態（南より）



ＳＫ－93遺物（１・２・５・６・12）出土状態（西より）



ＳＫ－93調査状況（南より）



ＳＫ－100（南西より）



ＳＫ－101（南より）



ＳＫ－102・103セクションＡ－Ａ’（南東より）



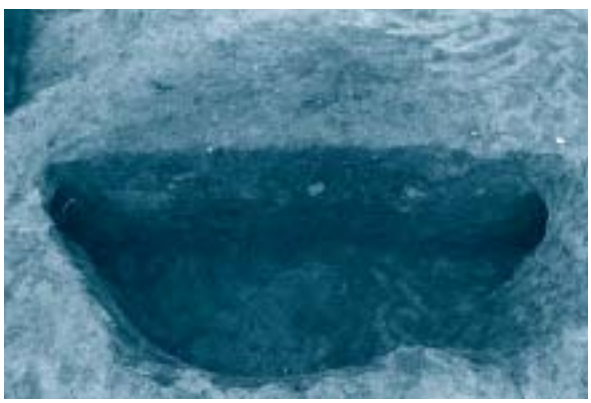
ＳＫ－102・103（南西より）



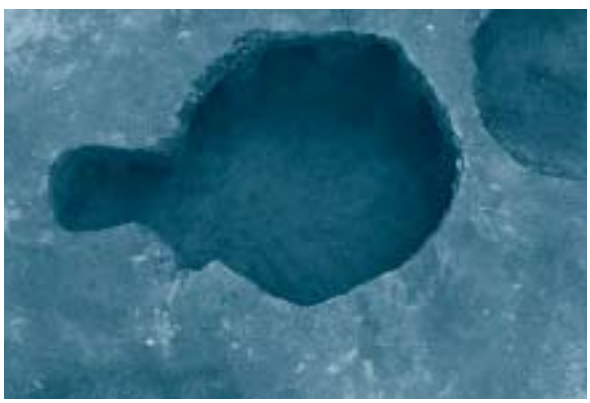
ＳＫ－102・103調査状況（南より）



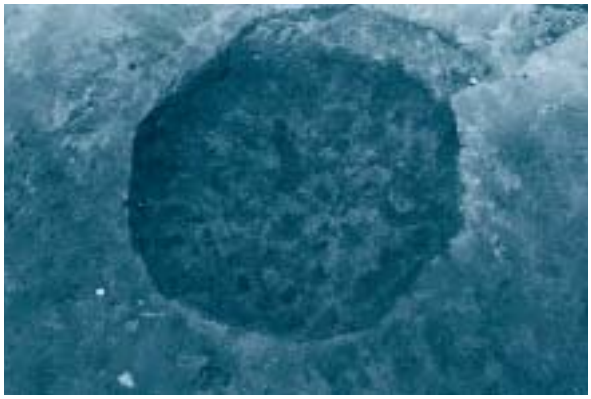
ＳＫ－105（南より）



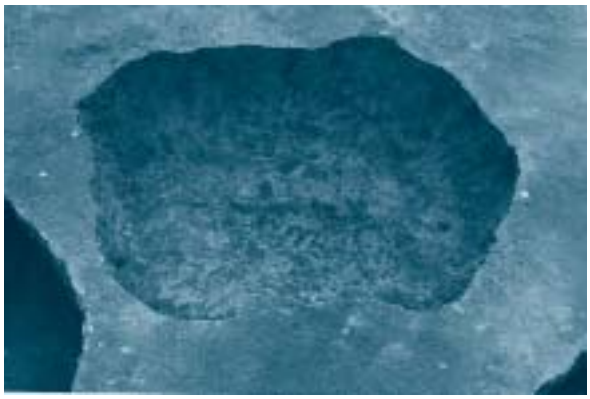
ＳＫ－106セクションＡ－Ａ’（南より）



ＳＫ－106（北東より）



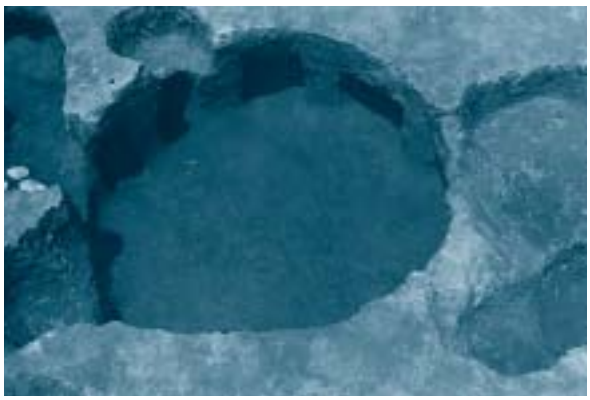
ＳＫ－108（北より）



ＳＫ－110（東より）



ＳＫ－112・113・119（北東より）



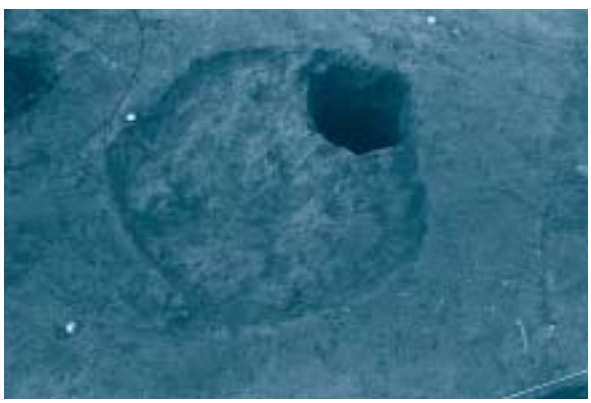
ＳＫ－116（南東より）



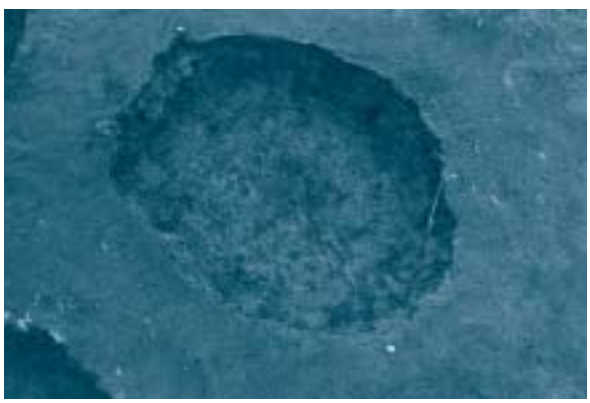
ＳＫ－118（南より）



ＳＫ－120（北より）



ＳＫ－121（南より）



ＳＫ－122（北東より）



ＳＫ－123・135・136（南より）



ＳＫ－123遺物（１）出土状態（北より）



ＳＫ－125（南西より）



ＳＫ－125遺物（１～５）出土状態（北より）



ＳＫ－126・127・128（南より）



ＳＫ－129（東より）



ＳＫ－130（西より）



ＳＫ－133（北より）


ＳＫ－138（南より）

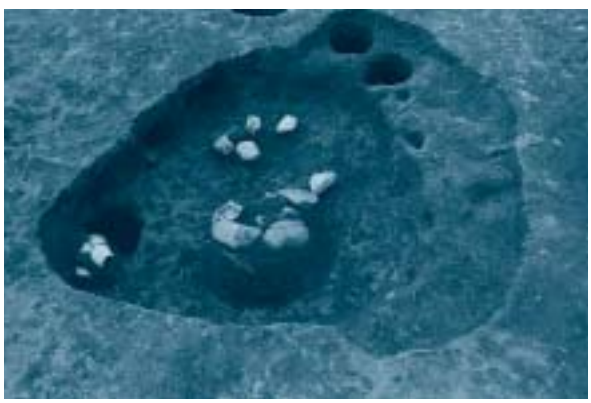

ＳＫ－139（南より）


ＳＫ－140（西より）


ＳＫ－142（南東より）


Ｅ－19グリッド東部調査状況（南より）


ＳＫ－143（東より）

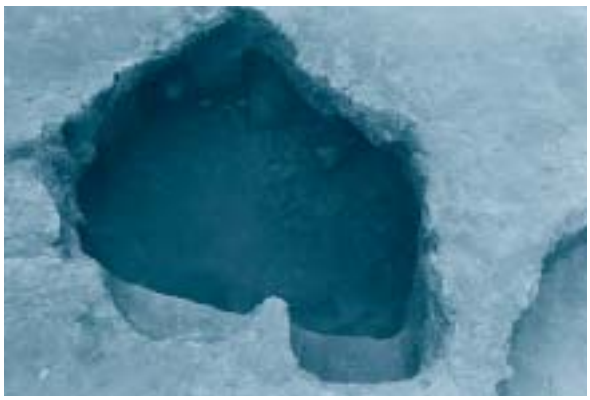

ＳＫ－144・145（北西より）

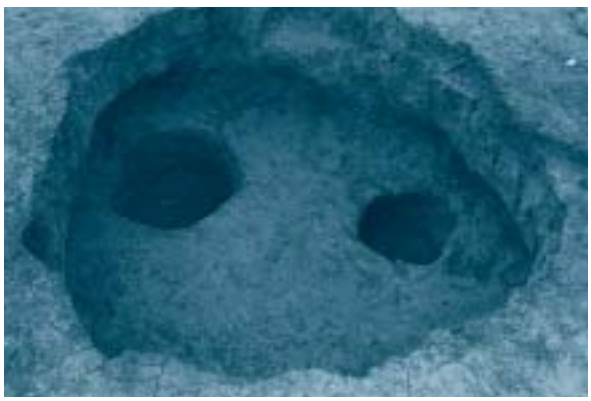

ＳＫ－144遺物（１）出土状態（南より）


ＳＫ－144遺物（１～４・８）出土状態（西より）


ＳＫ－146ａｂ（南より）


ＳＫ－146ａ遺物（１～９）出土状態（南より）


ＳＫ－148（西より）


ＳＫ－148（北東より）


ＳＫ－148遺物（１）出土状態（西より）


ＳＫ－151・152（北西より）


ＳＫ－153（南東より）

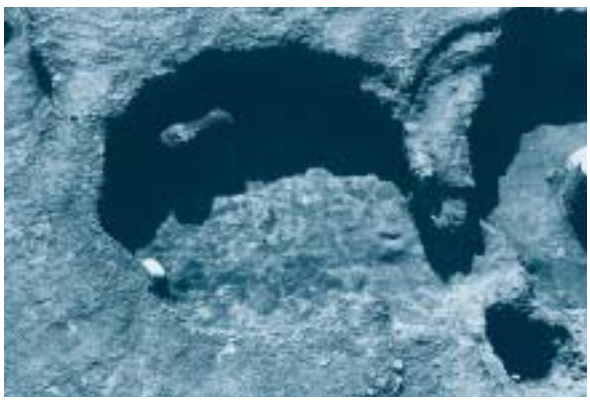

ＳＫ－154（南より）


ＳＫ－155（南より）


ＳＫ－156（南より）


ＳＫ－157（南より）


ＳＫ－158（南より）


ＳＫ－159（東より）


ＳＫ－160（東より）


ＳＫ－160（南東より）



ＳＫ－161ａ・162ａ（南東より）



ＳＫ－162ａ遺物（１）出土状態（南東より）



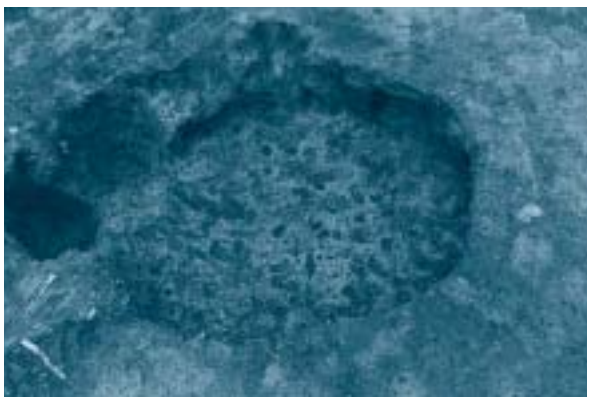
ＳＫ－162ｂ・163ｂ（西より）



ＳＫ－166（南東より）



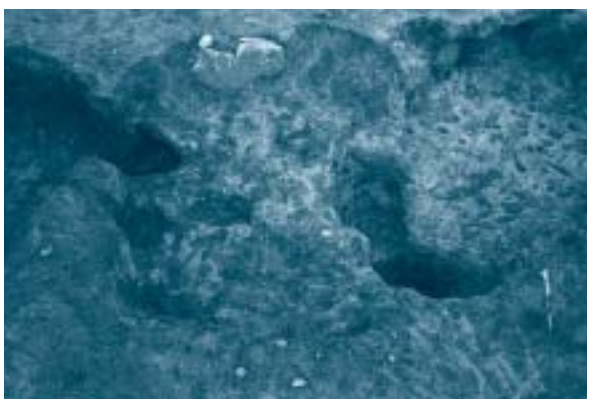
ＳＫ－167（南より）



ＳＫ－170（南東より）



Ｅ－19グリッド周辺調査状況（北東より）



ＳＫ－171（南より）



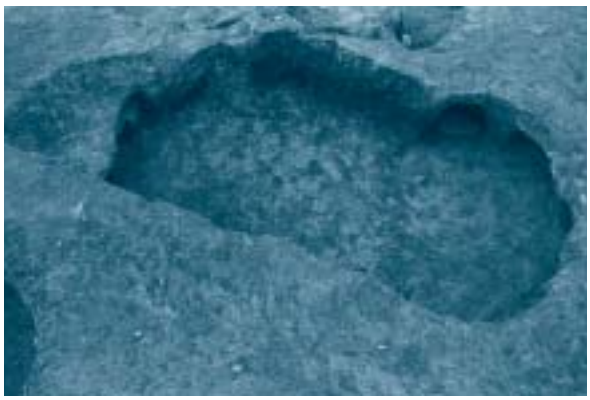
ＳＫ－172・176（南東より）



ＳＫ－175（南より）



ＳＫ－177（南より）



ＳＫ－179～181（東より）



ＳＫ－180遺物（１・８）出土状態（北東より）



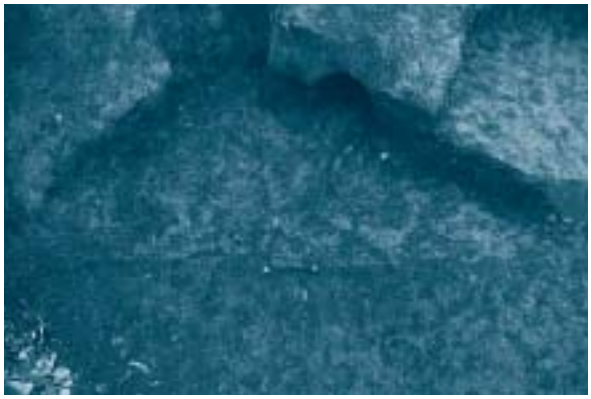
ＳＫ－182～185（西より）



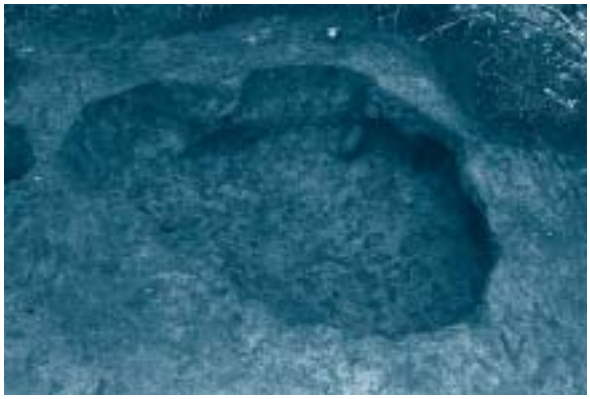
ＳＫ－184遺物（６・７）出土状態（南より）



ＳＫ－186・188（西より）



ＳＫ－190（西より）



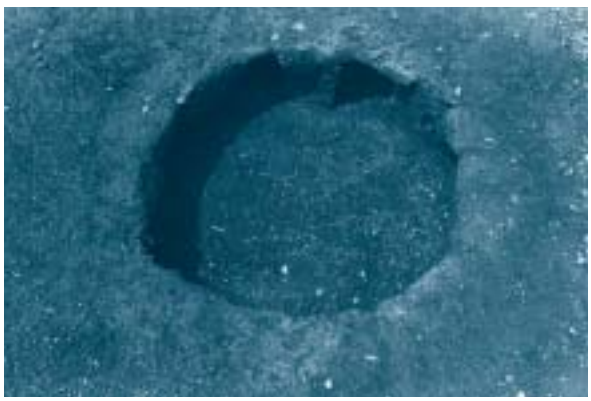
ＳＫ－191・192（南より）



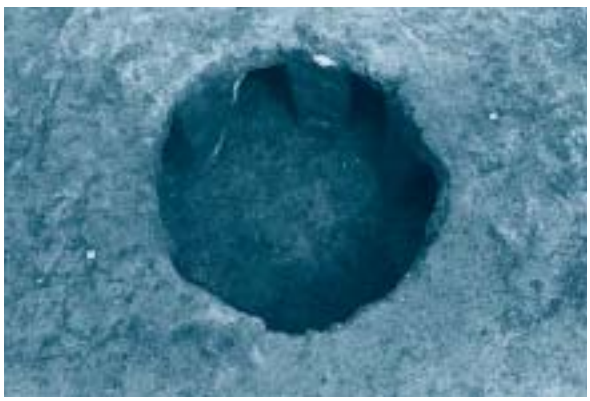
調査区東部（西より）



ＳＫ－194（南より）



ＳＫ－195（東より）



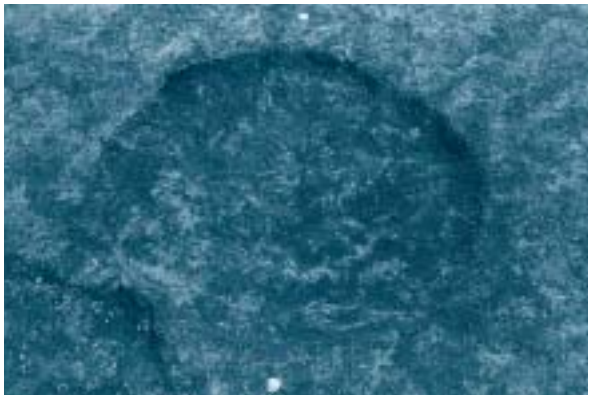
ＳＫ－196（南より）



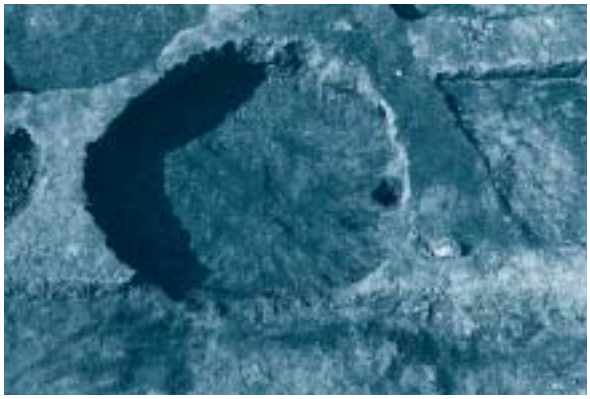
ＳＫ－198（南より）



ＳＫ－199（南より）



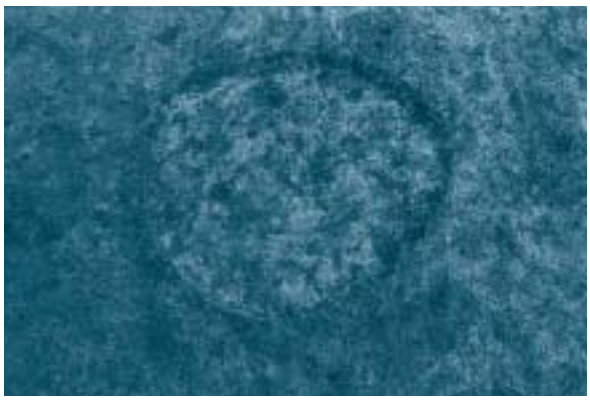
ＳＫ－201（西より）



ＳＫ－202（南より）



ＳＫ－204（南東より）



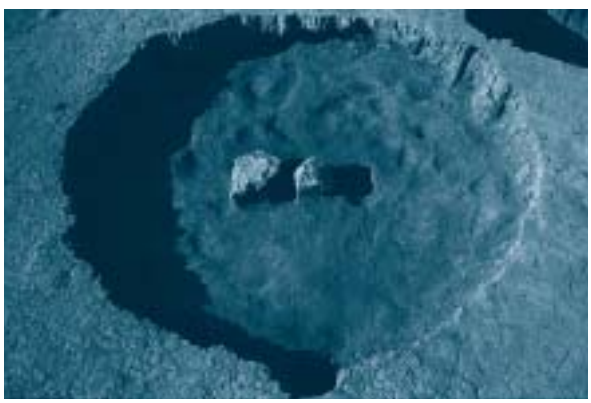
ＳＫ－206（西より）



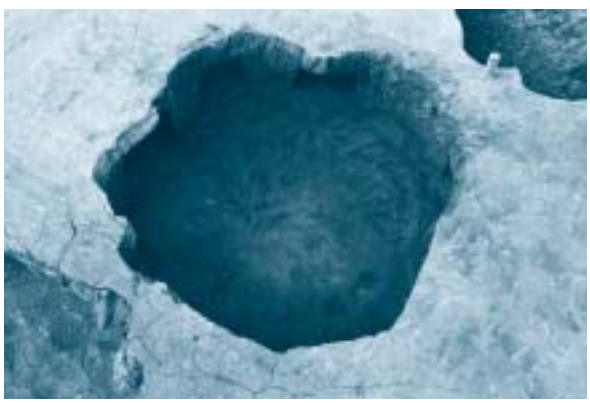
ＳＫ－209（南より）



ＳＫ－210・211ｃ（南より）



ＳＫ－211ａ（南より）



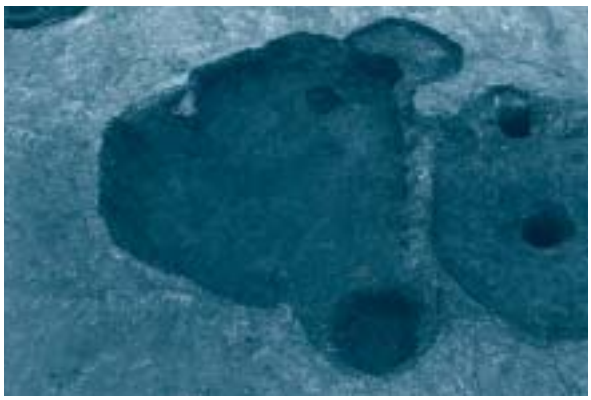
ＳＫ－212（南より）



Ｄ－16グリッド周辺（北西より）



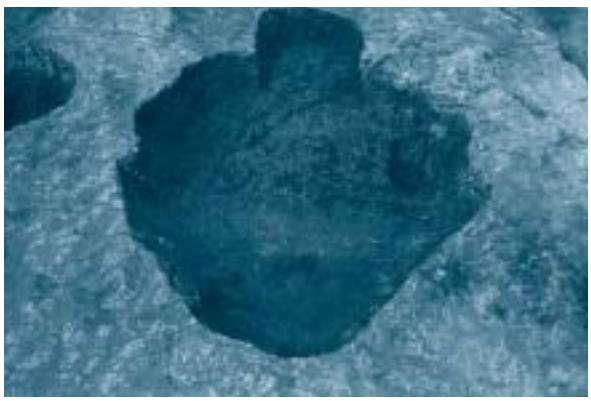
ＳＫ－213～215・241（南東より）



ＳＫ－216（東より）



ＳＫ－216遺物（１）出土状態（北東より）



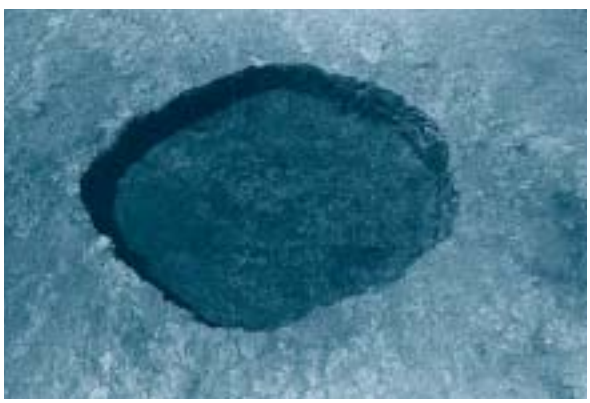
ＳＫ－217・238（南より）



ＳＫ－218（西より）



ＳＫ－219（南より）



ＳＫ－222（東より）



ＳＫ－226（南より）



ＳＫ－226遺物（５・９）出土状態（東より）



ＳＫ－227（南西より）



ＳＫ－228（南より）



ＳＫ－230（南より）



ＳＫ－232（東より）



ＳＫ－233（南より）



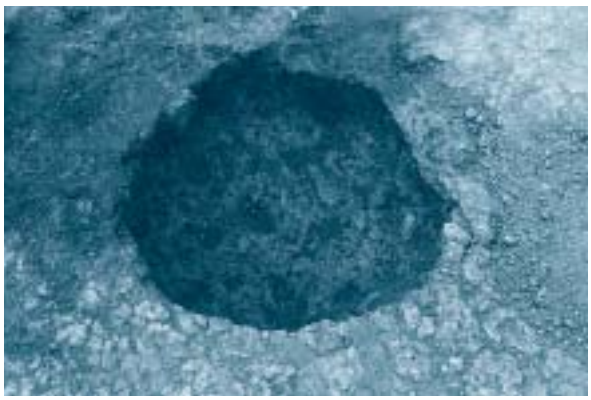
ＳＫ－234（南東より）



ＳＫ－235（南より）



ＳＫ－236（東より）



ＳＫ－237（東より）



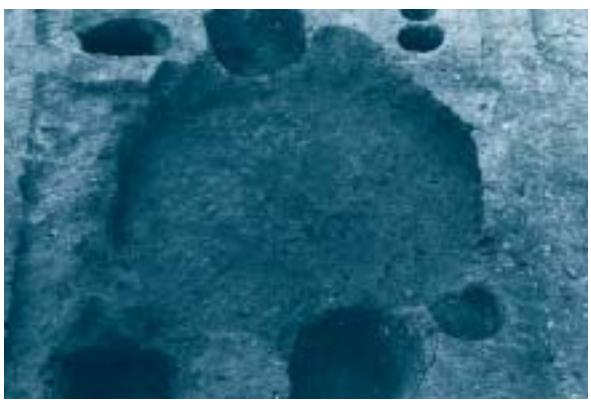
ＳＫ－239（東より）



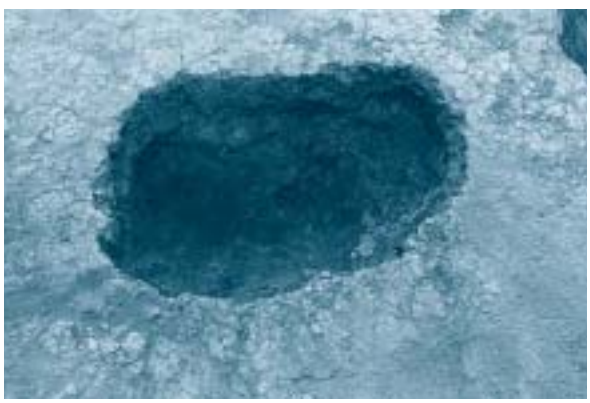
ＳＫ－242（東より）



ＳＫ－243（南より）

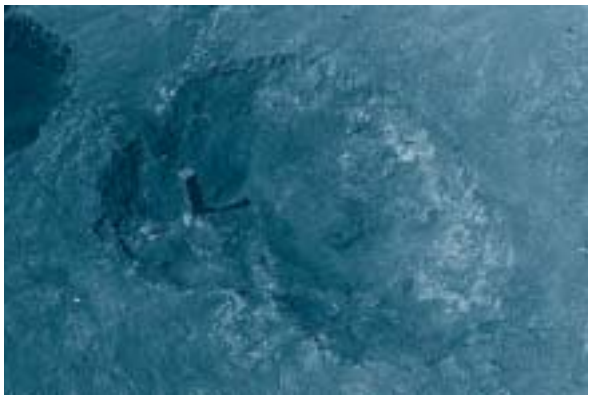


ＳＫ－244（東より）

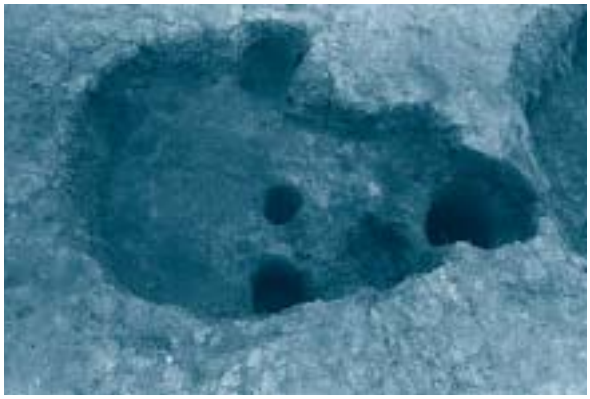


ＳＫ－245（東より）

図版二八　縄文時代（遺構）



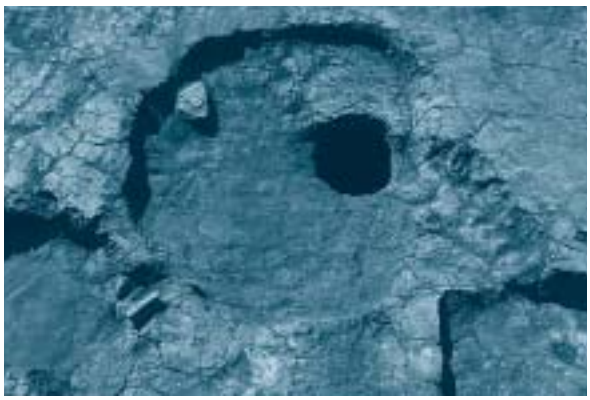
ＳＫ－248（南より）



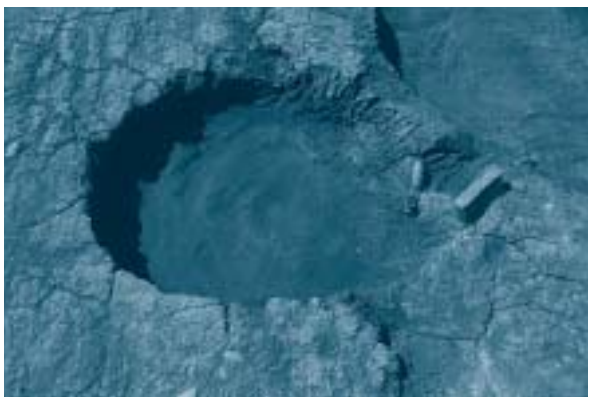
ＳＫ－249（西より）



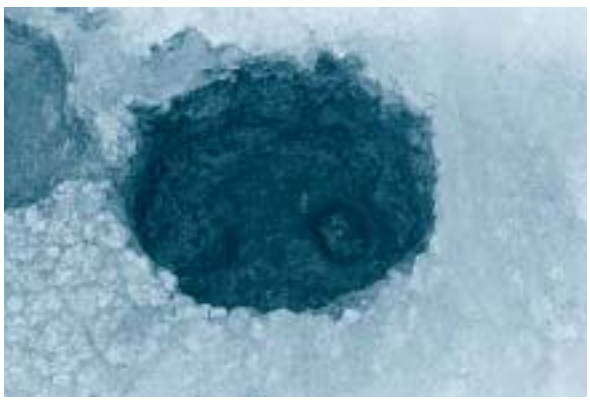
ＳＫ－251（東より）



ＳＫ－252（東より）



ＳＫ－253（東より）



ＳＫ－255（東より）



ＳＫ－256（南東より）



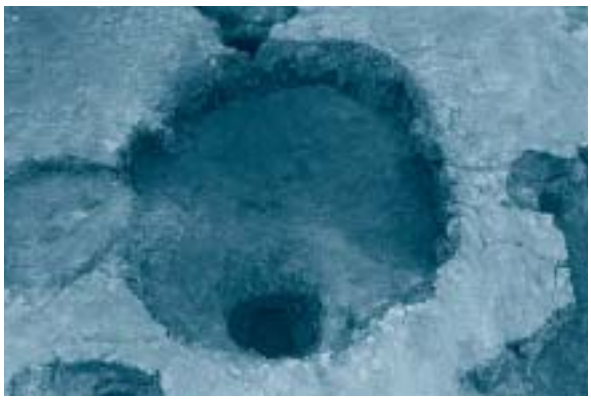
ＳＫ－257・274（西より）



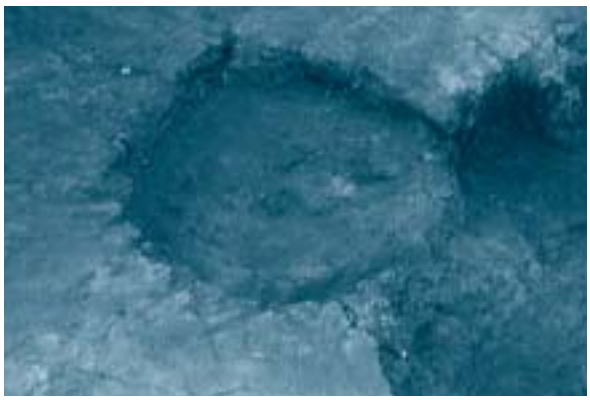
ＳＫ－257遺物（１・７）出土状態（西より）



ＳＫ－257遺物（９）出土状態（西より）



ＳＫ－258（南より）



ＳＫ－259（南より）



ＳＫ－260（南より）



ＳＫ－260調査状況（東より）



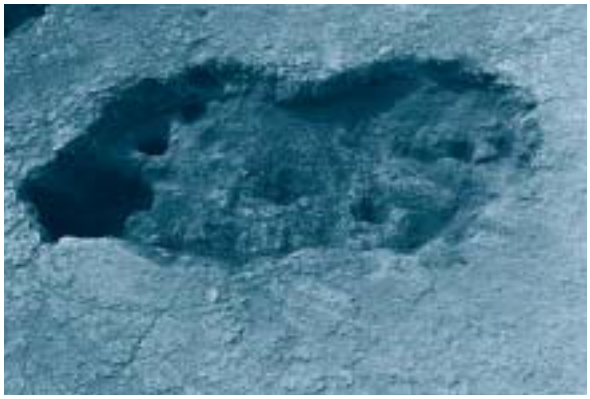
ＳＫ－262・263（南より）



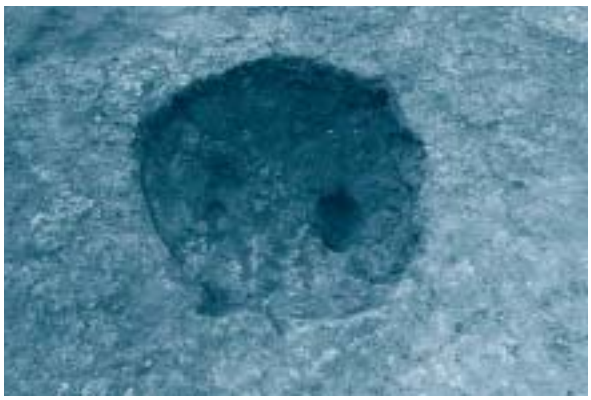
ＳＫ－265（東より）



ＳＫ－267（南より）



ＳＫ－268・269（東より）



ＳＫ－270（南より）



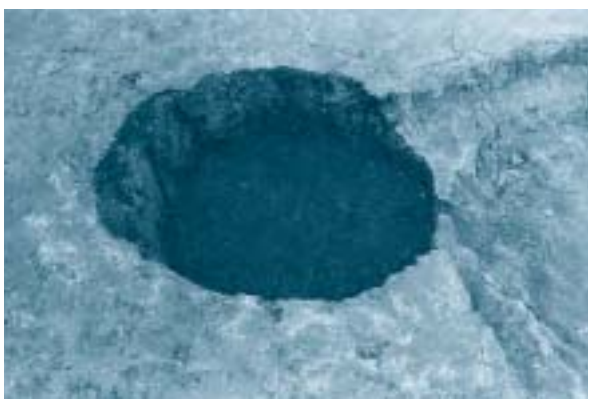
ＳＫ－271（南より）



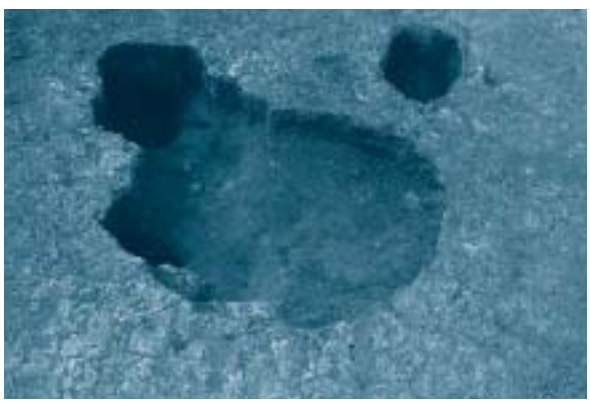
ＳＫ－272（西より）



ＳＫ－273・287・290（西より）



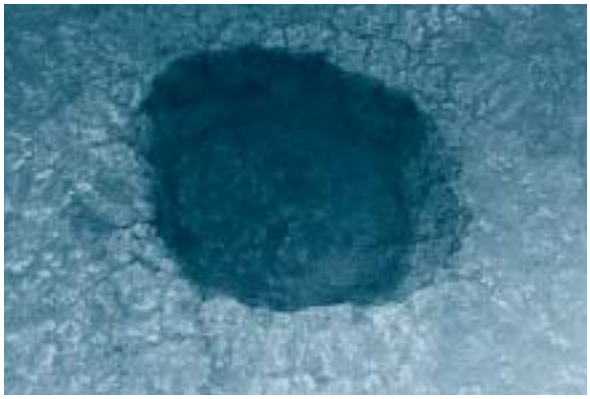
ＳＫ－275（南より）



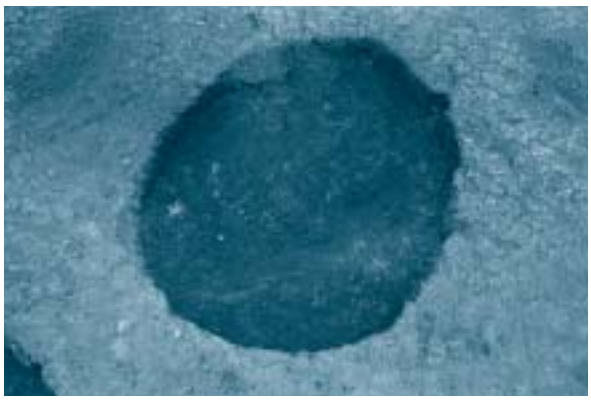
ＳＫ－280（東より）



ＳＫ－282（南より）



ＳＫ－285（東より）



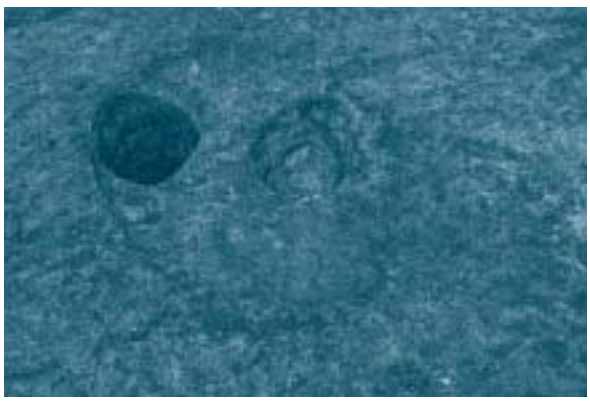
ＳＫ－286（南より）



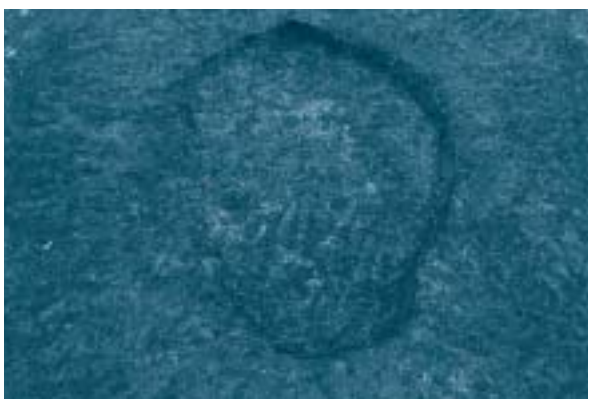
ＳＫ－291（南より）



ＳＫ－292（東より）



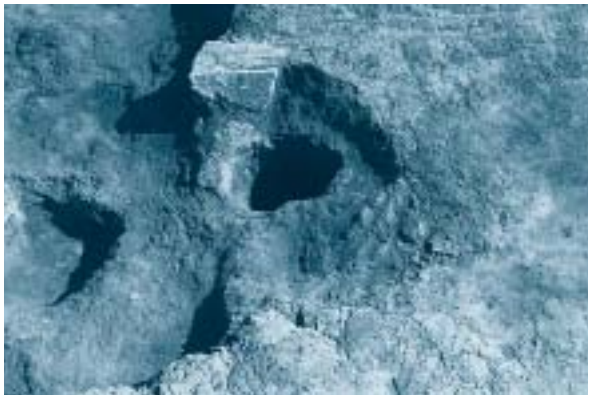
ＳＫ－293（南東より）

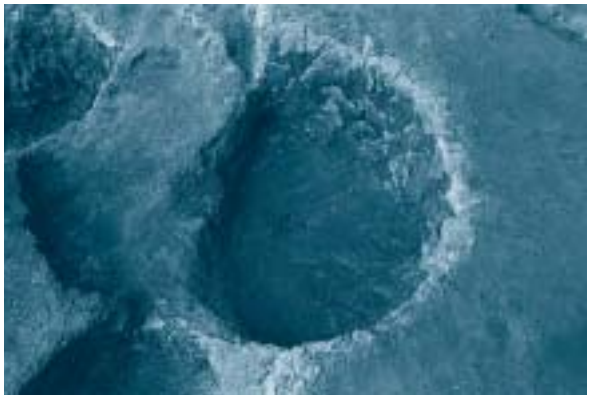


ＳＫ－294（南より）



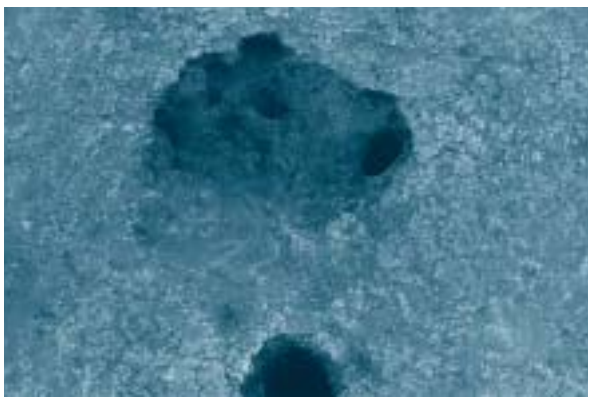
ＳＫ－297（西より）


ＳＫ－298（西より）

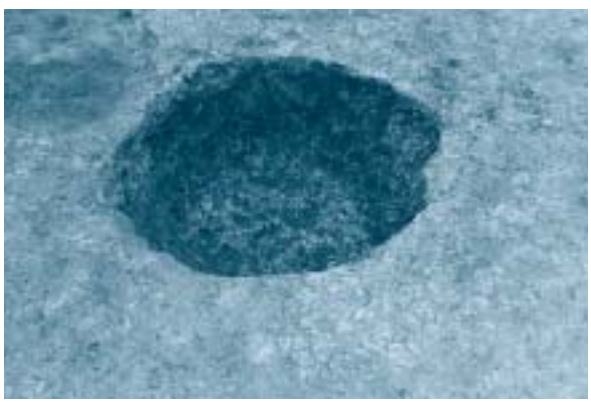

ＳＫ－299（東より）


ＳＫ－300（東より）

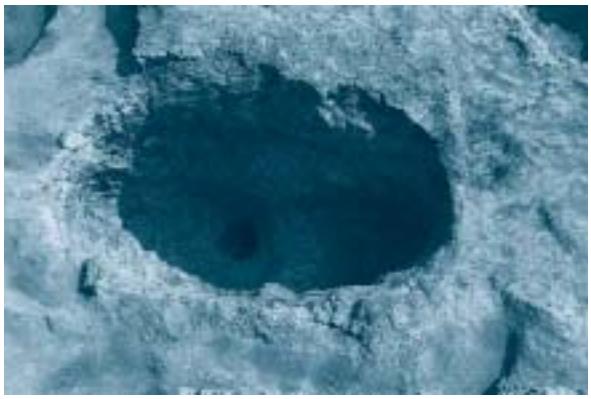

調査区中央部調査状況（北西より）


ＳＫ－301（南より）


ＳＫ－307・319（南西より）


ＳＫ－308（南より）


ＳＫ－320・326（南東より）



ＳＫ－324（西より）



ＳＫ－324調査状況（南西より）



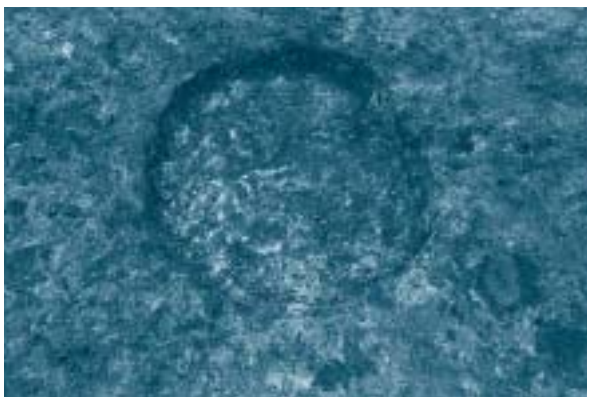
ＳＫ－328（南より）



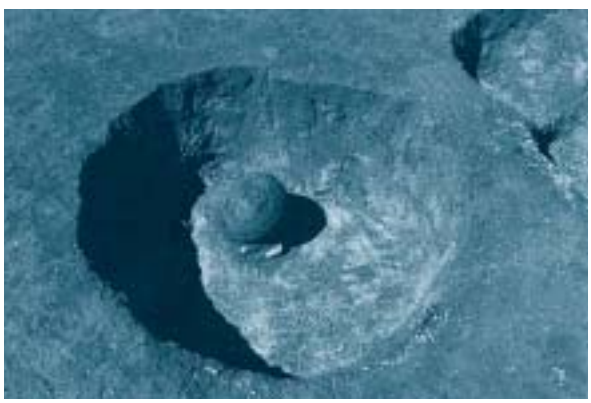
ＳＫ－328調査状況（南より）



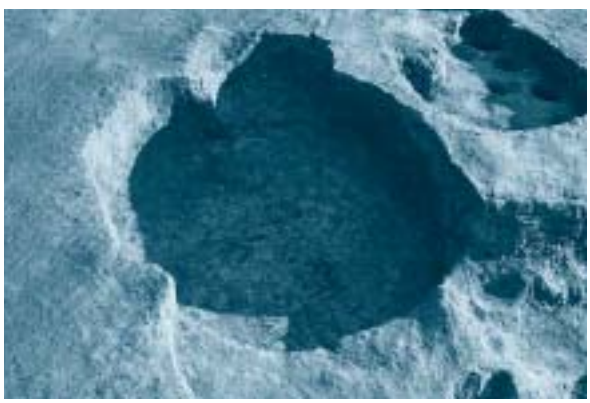
ＳＫ－330（南東より）



ＳＫ－331（東より）



ＳＫ－333（南東より）



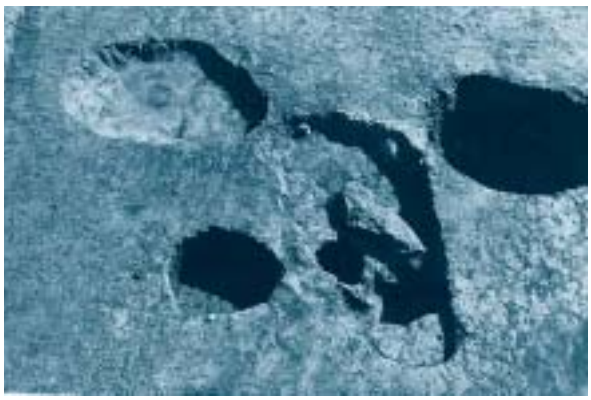
ＳＫ－334・335（北より）



ＳＫ－334・335調査状況（北より）



ＳＫ－339（北より）



ＳＫ－343・344・355（西より）



ＳＫ－357（東より）



ＳＫ－358・368（南より）



ＳＫ－359（東より）



ＳＫ－360（東より）



ＳＫ－364（西より）



ＳＫ－365（東より）



ＳＫ－366（南西より）



ＳＫ－367（南西より）



ＳＫ－370～372（東より）



ＳＫ－377（南より）



ＳＫ－378（東より）

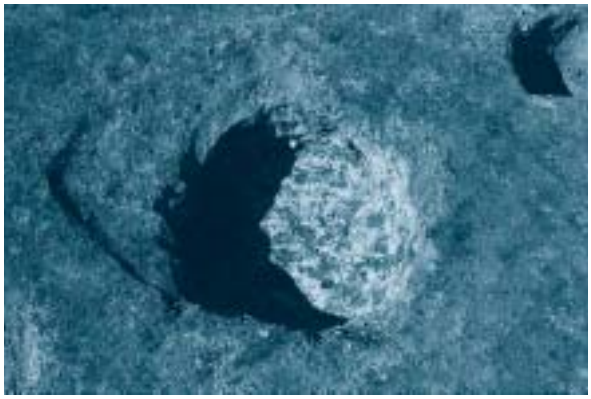


ＳＫ－379（東より）

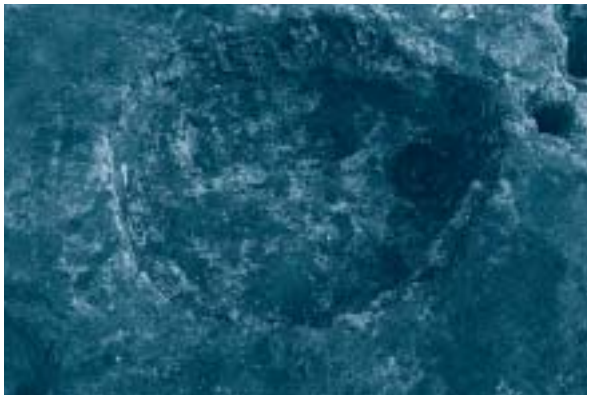


ＳＫ－380～382（南東より）

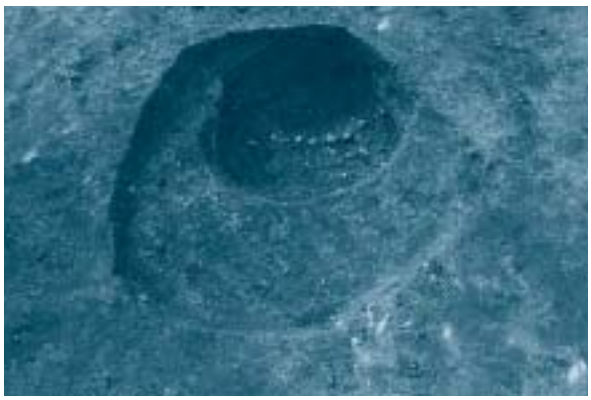
図版三六　縄文時代（遺構）



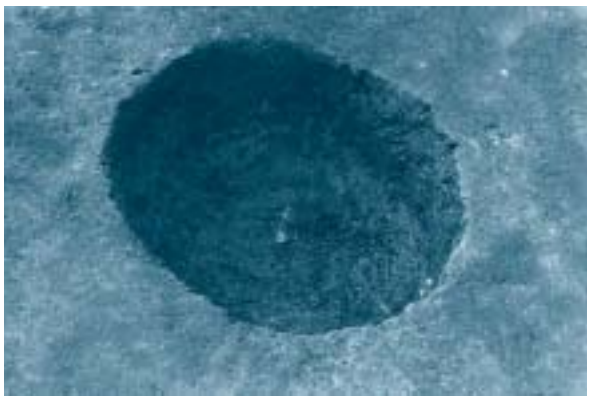
ＳＫ－384（東より）



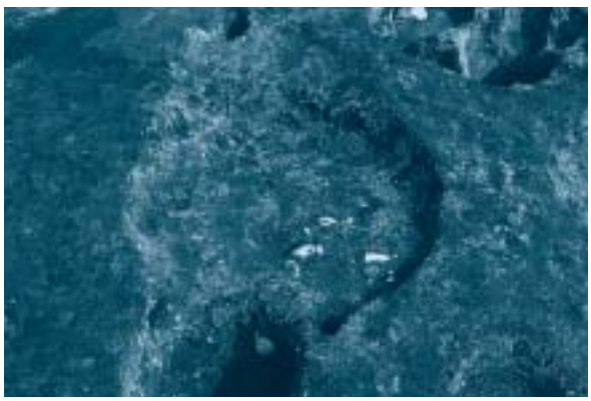
ＳＫ－391（南より）



ＳＫ－399（東より）



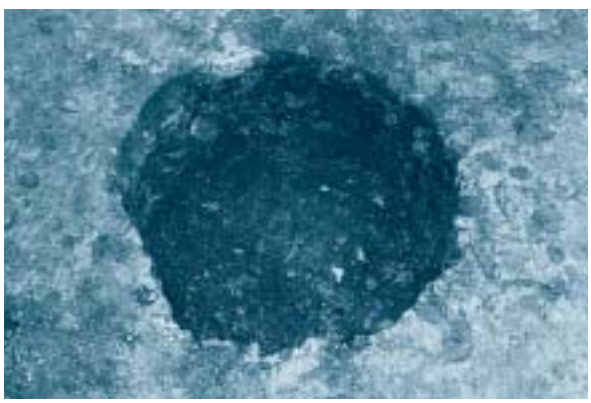
ＳＫ－401（東より）



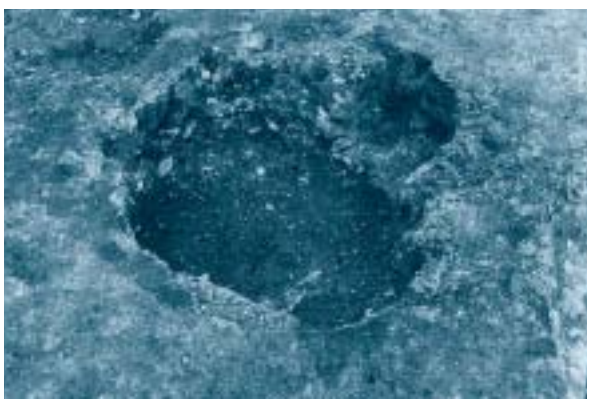
ＳＫ－402ａｂ（南東より）



ＳＫ－412（南より）



ＳＫ－422（南より）



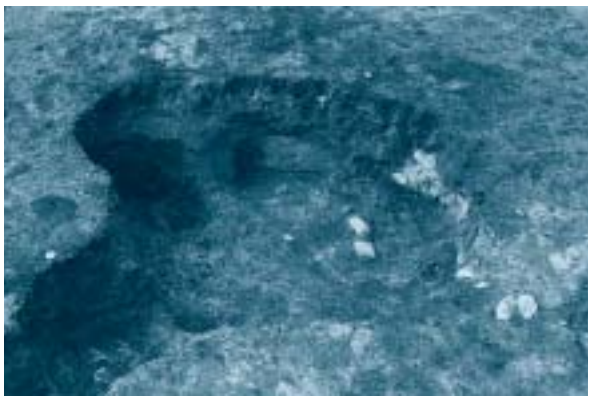
ＳＫ－423（南より）



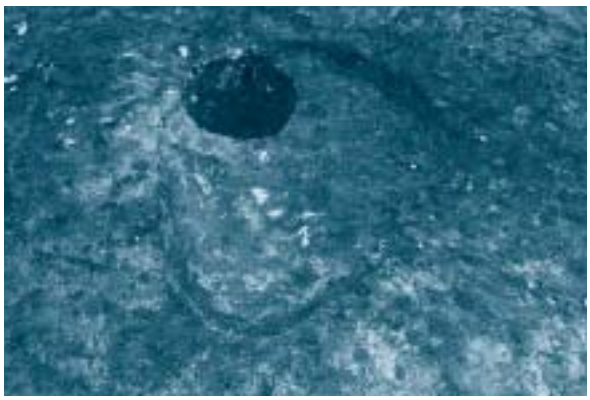
ＳＫ－425（西より）



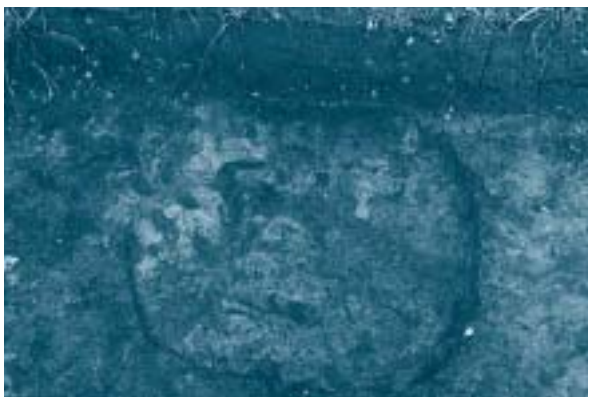
ＳＫ－427（西より）



ＳＫ－443（東より）



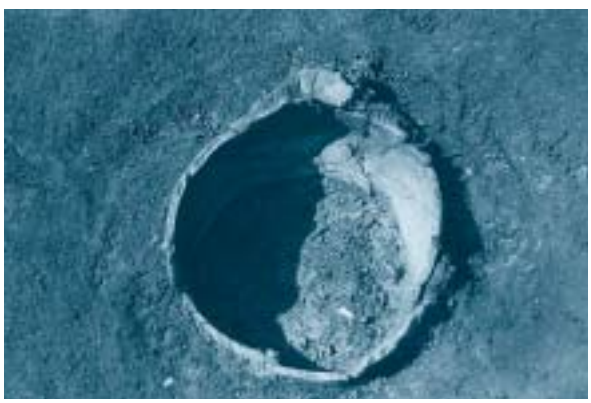
ＳＫ－445（南より）



ＳＫ－446（南より）



ＳＫ－468（北東より）



ＳＫ－469（東より）



ＳＫ－470（東より）

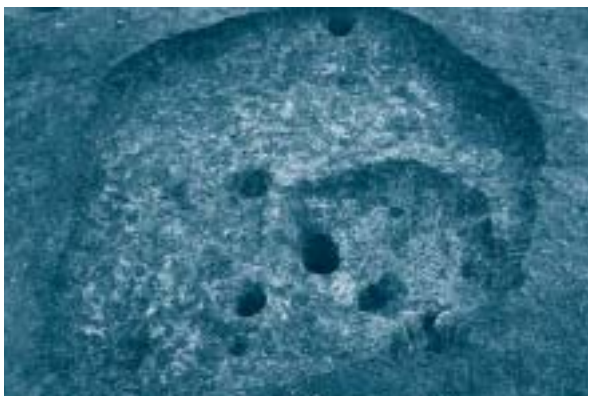
図版三八　縄文時代（遺構）



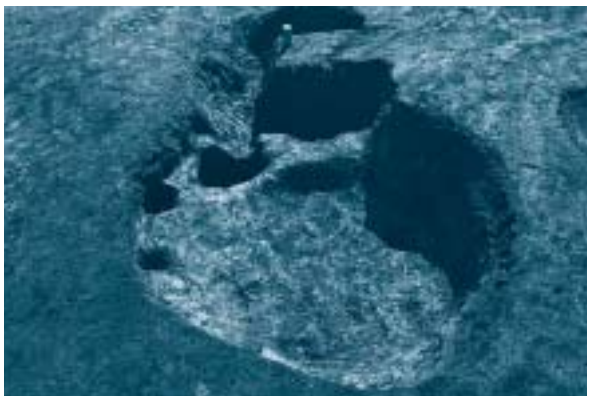
調査区東部調査状況（西より）



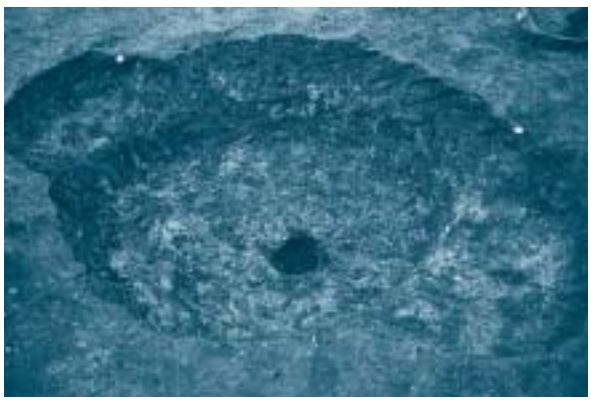
調査区中央部窪地（北西より）



ＳＫ－478（北より）



ＳＫ－479・480（北より）



ＳＫ－481・487（南東より）



ＳＫ－492（東より）



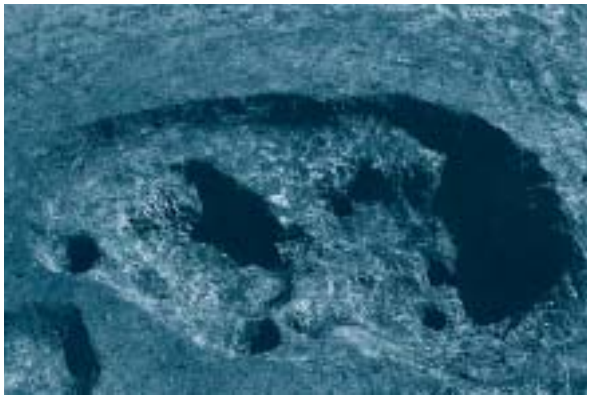
ＳＫ－497（東より）



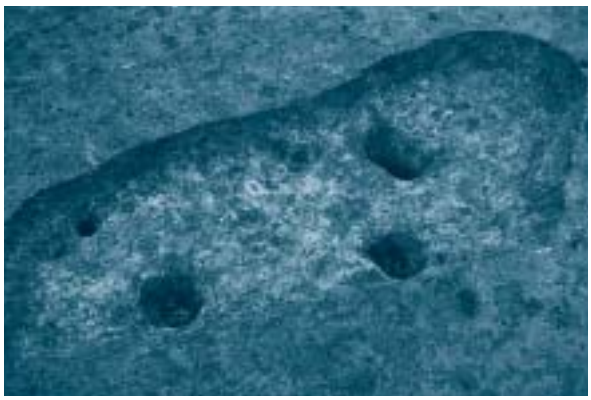
ＳＫ－500（北東より）



調査区中央部窪地（南東より）



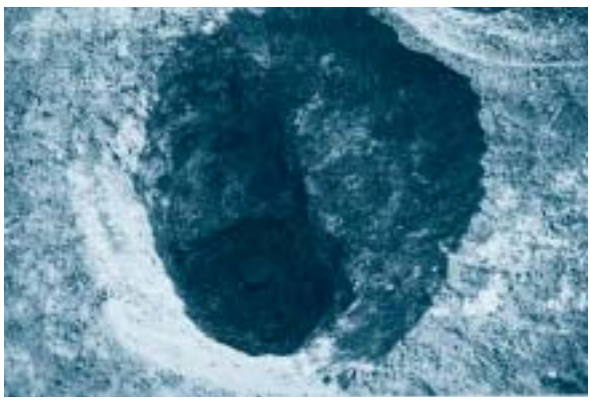
ＳＫ－518・519（西より）



ＳＫ－525（東より）



ＳＫ－526・527（東より）



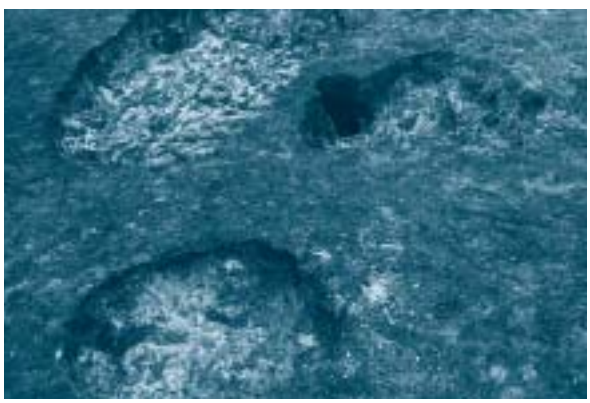
ＳＫ－541（北西より）



ＳＫ－550（南より）



ＳＫ－582・583（北東より）



ＳＫ－584ｂ・585・597（南西より）



ＳＫ－584ａ・587～589・595（西より）



ＳＫ－590～592（北より）



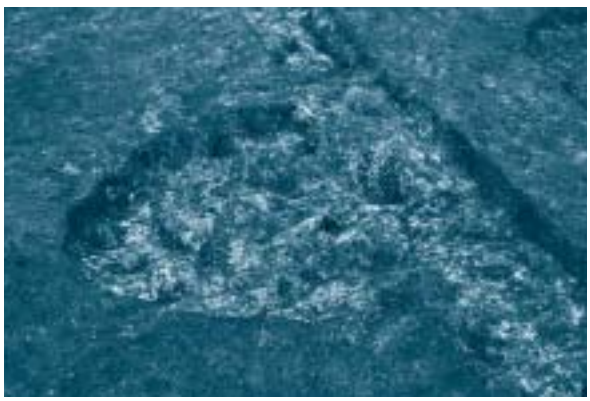
調査区中央から西部（北東より）



ＳＫ－601（南より）



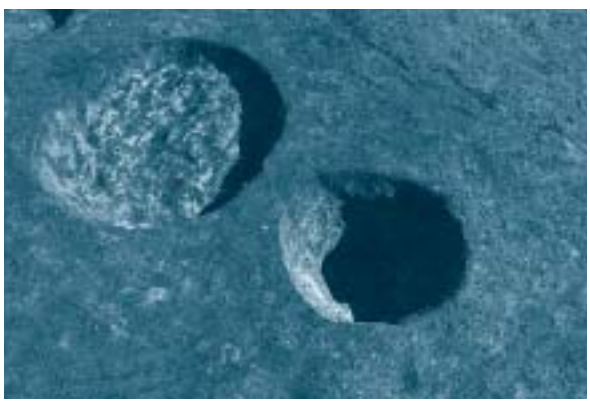
ＳＫ－602・603（南より）



ＳＫ－604（南より）



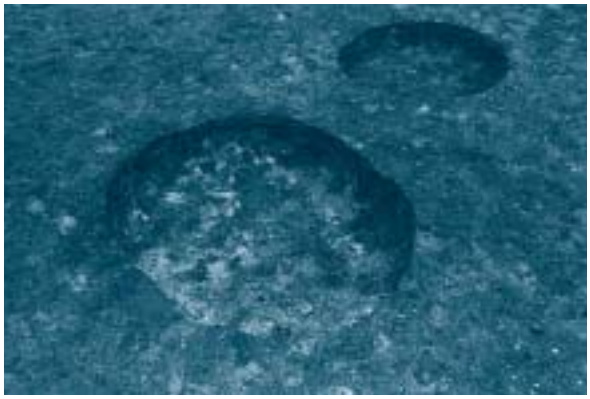
ＳＫ－607（南より）



ＳＫ－608・609（南西より）



ＳＫ－610・615・616・624（南西より）



ＳＫ－611・613（南西より）



ＳＫ－612・721（東より）



ＳＫ－620～622・649（北より）



ＳＫ－620遺物（１）出土状態（北より）



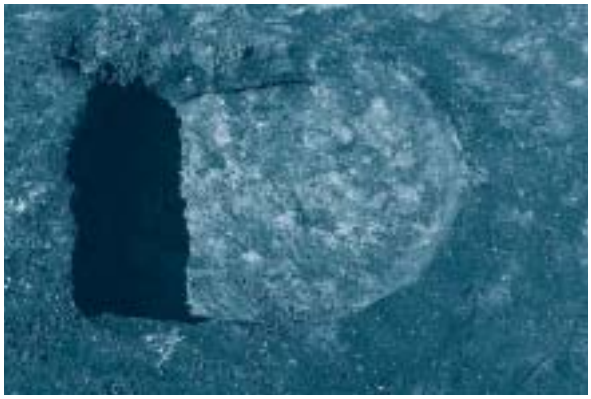
ＳＫ－620・621・649・653～655（北東より）



ＳＫ－623・637～639（東より）



ＳＫ－627（南より）


ＳＫ－628（東より）


ＳＫ－629（南東より）


ＳＫ－634（東より）


ＳＫ－637～639（南西より）


ＳＫ－640（南より）


調査区西部（東より）


ＳＫ－641・685（北より）

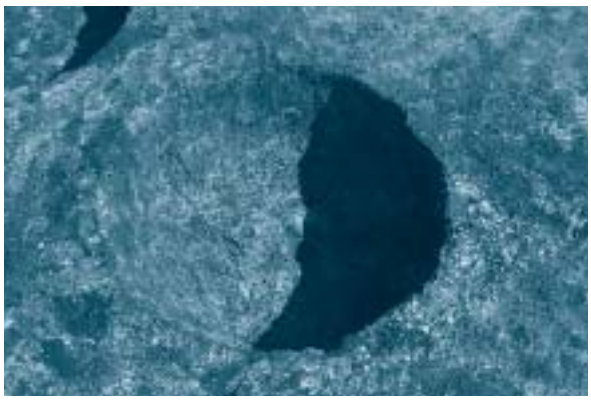

ＳＫ－643～645（北西より）



ＳＫ－646（南より）



ＳＫ－650（南東より）



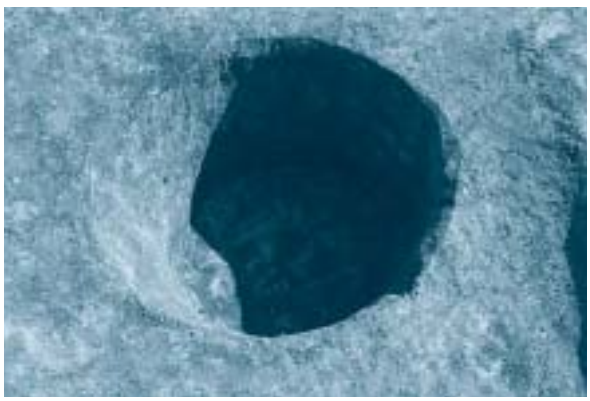
ＳＫ－651（西より）



ＳＫ－684・706・855・856・865（北より）



ＳＫ－656～658（南西より）



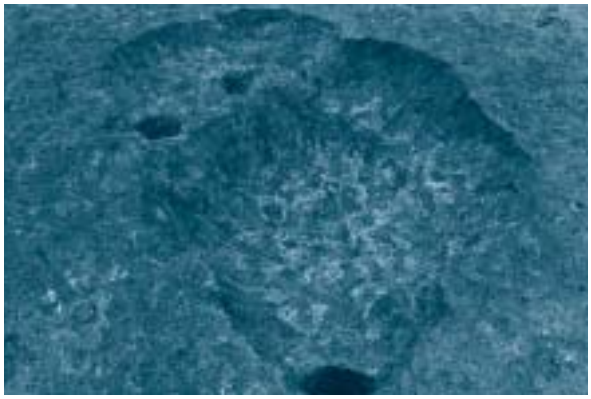
ＳＫ－659（北西より）



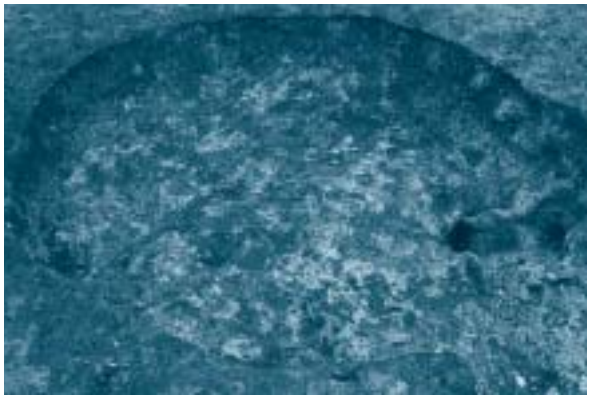
ＳＫ－684（西より）



ＳＫ－687（西より）



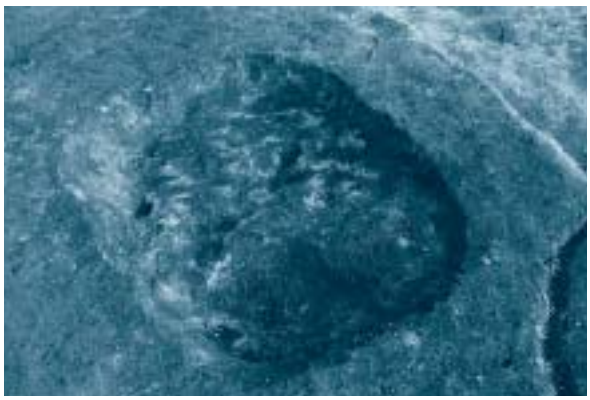
ＳＫ－691・692（南より）



ＳＫ－693（南より）



ＳＫ－694（北東より）



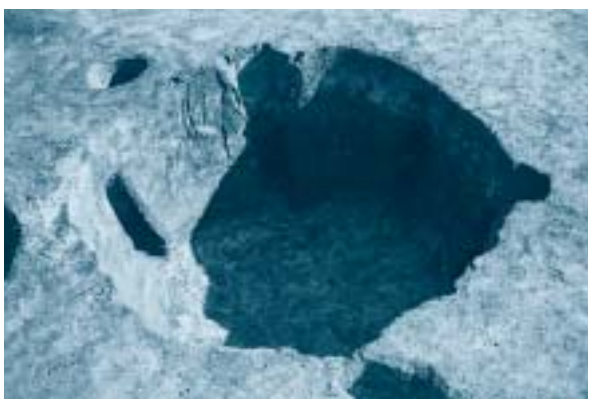
ＳＫ－695・696（南東より）



ＳＫ－702・703（北より）



ＳＫ－702（東より）



ＳＫ－706（北西より）



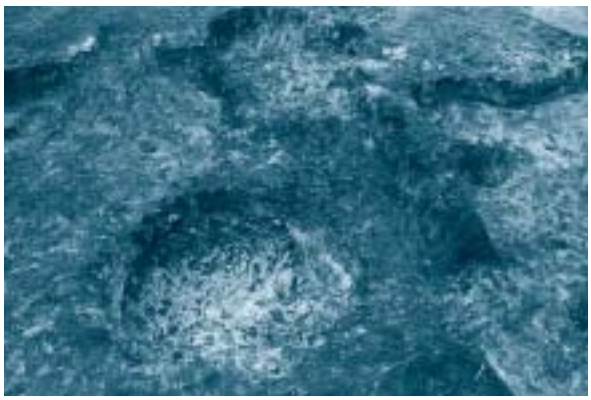
ＳＫ－713（南西より）



ＳＫ－717（北西より）



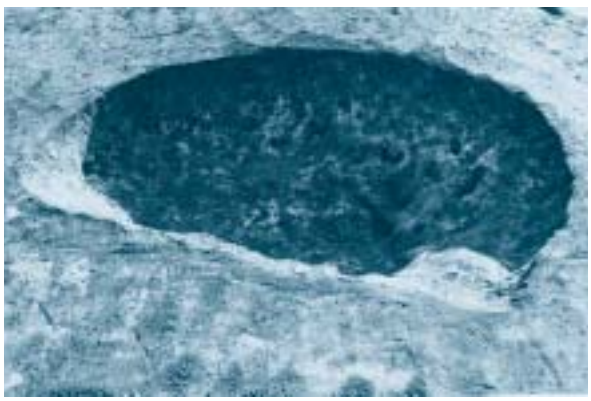
ＳＫ－791（北より）



ＳＫ－802・940・1028（南より）



ＳＫ－816（北より）



ＳＫ－818（北より）



ＳＫ－819（南より）



ＳＫ－820・823（南より）



ＳＫ－819調査状況（北東より）

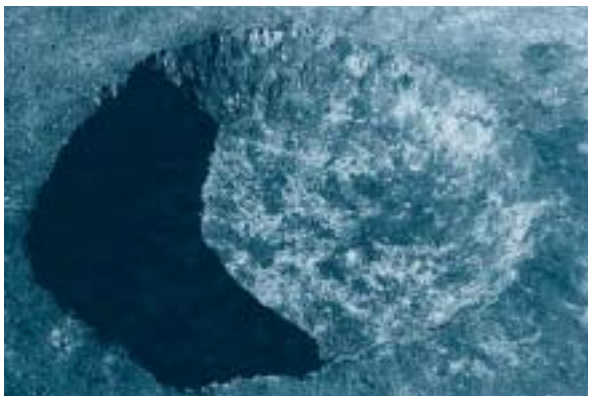
図版四六　縄文時代（遺構）



ＳＫ－825・826ｂ・928・933（北東より）



ＳＫ－830（南より）



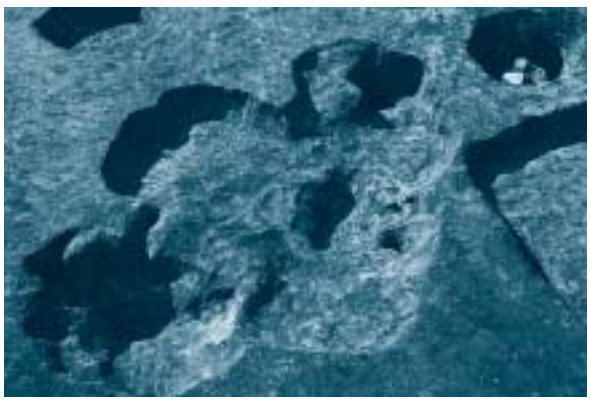
ＳＫ－834（東より）



ＳＫ－835・844・854（北より）



ＳＫ－836・845・846（北より）



ＳＫ－837・838・839ａｂｃ・840（北東より）



ＳＫ－842・843（南東より）



ＳＫ－847～849（北より）

図版四七　縄文時代（遺構）



ＳＫ－849（東より）



ＳＫ－850・853・862（北より）



ＳＫ－852（北西より）



ＳＫ－853（南より）



ＳＫ－868・869（北より）



ＳＫ－872（南西より）



ＳＫ－877・888・890・921・927・931・1001
（南西より）

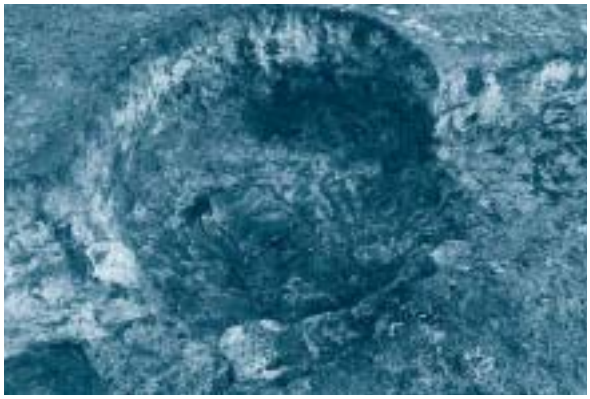


ＳＫ－881（南より）

図版四八　縄文時代（遺構）



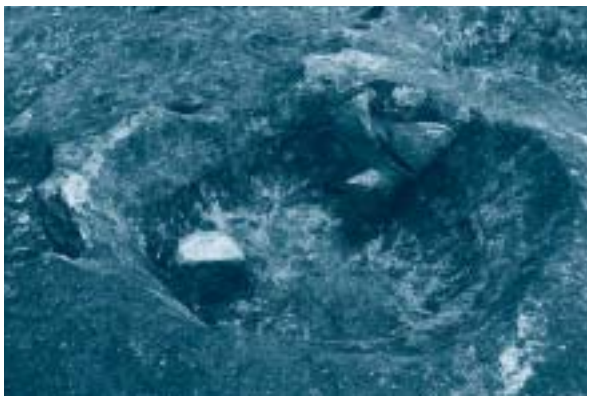
ＳＫ－883（西より）



ＳＫ－884（南西より）



ＳＫ－885（東より）



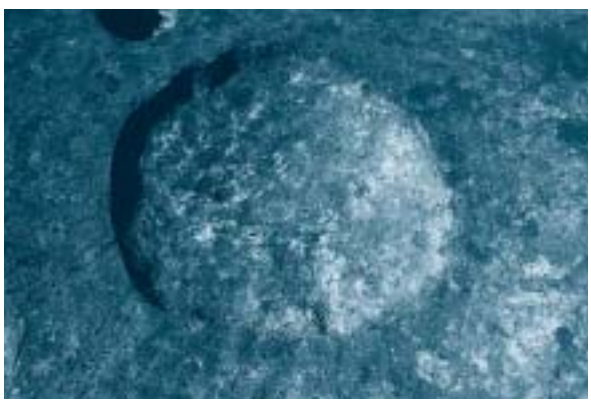
ＳＫ－888（南西より）



ＳＫ－891・893（北東より）



ＳＫ－892（東より）



ＳＫ－894（東より）



ＳＫ－900（東より）

図版四九　縄文時代（遺構）



ＳＫ－901（北東より）



ＳＫ－907（北より）



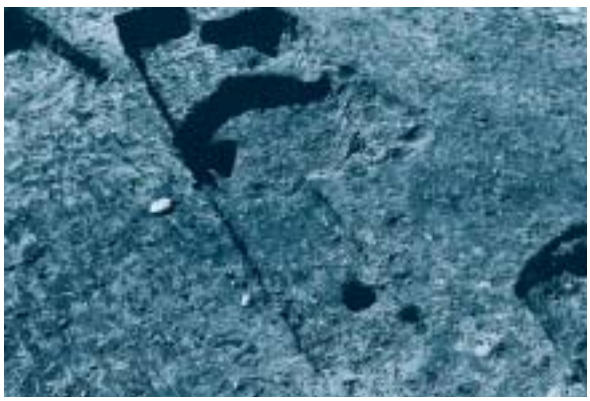
ＳＫ－908・909（北より）



ＳＫ－909（南より）



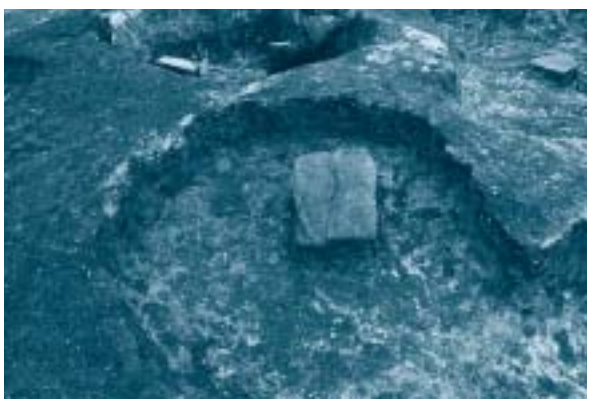
ＳＫ－910・911・950・967（北東より）



ＳＫ－912・913（北東より）



ＳＫ－888・923・926・1001・1003（西より）



ＳＫ－927（西より）



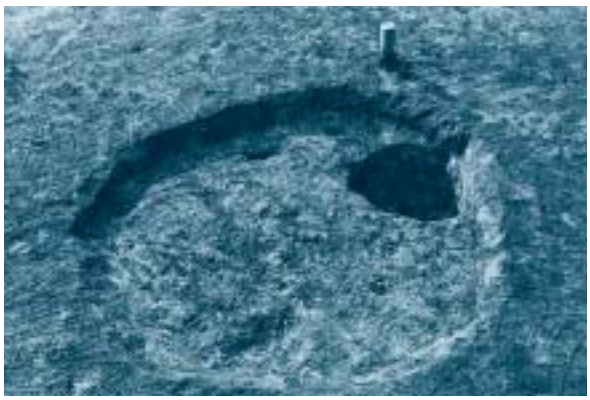
ＳＫ－928・933（北東より）



ＳＫ－932（東より）



ＳＫ－934（南より）



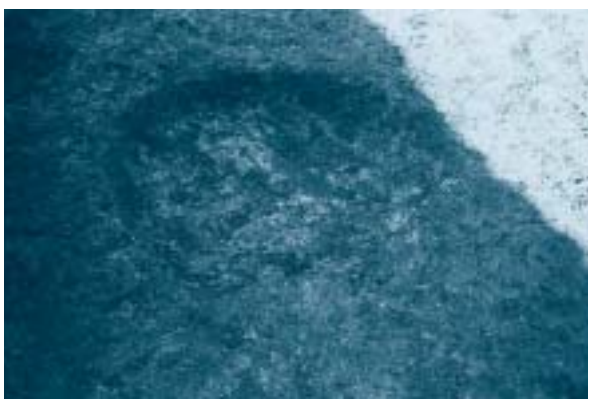
ＳＫ－939（北より）



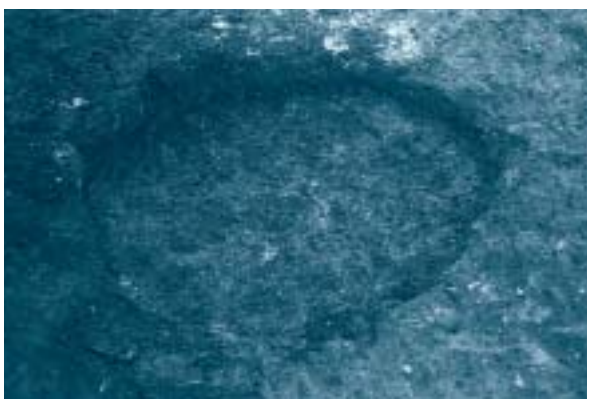
ＳＫ－943・991（南東より）



ＳＫ－944（南西より）



ＳＫ－948（東より）



ＳＫ－949（東より）



ＳＫ－951～953・969（北東より）



ＳＫ－956（東より）



ＳＫ－956遺物（１）出土状態（北より）



ＳＫ－957（東より）



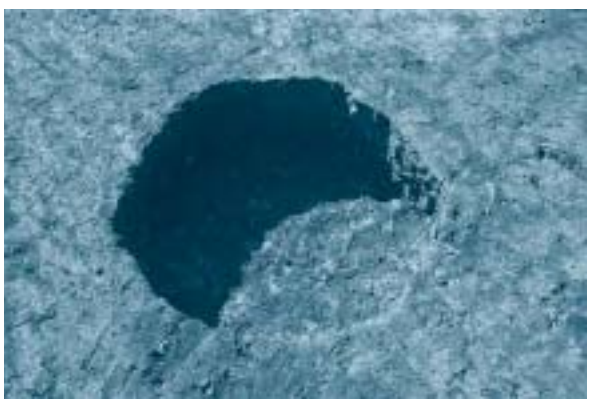
ＳＫ－958（北東より）



ＳＫ－959（北東より）



ＳＫ－960（北東より）



ＳＫ－961（北東より）



ＳＫ－962（東より）



ＳＫ－963（東より）



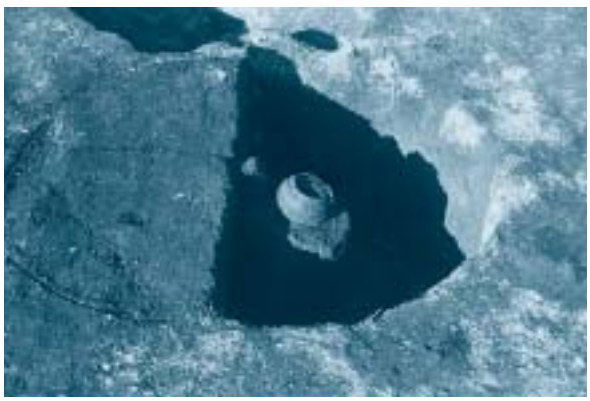
ＳＫ－965（東より）



ＳＫ－968（東より）



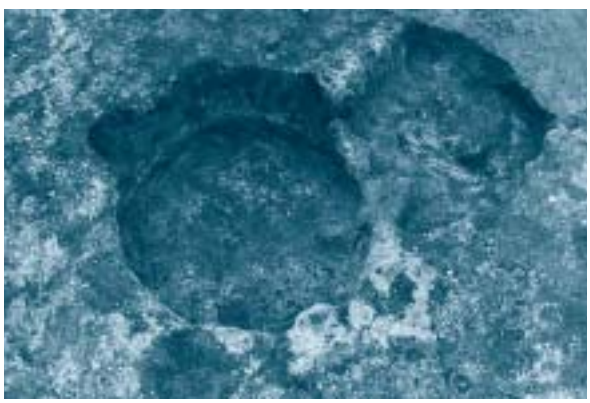
ＳＫ－982調査状況（南東より）



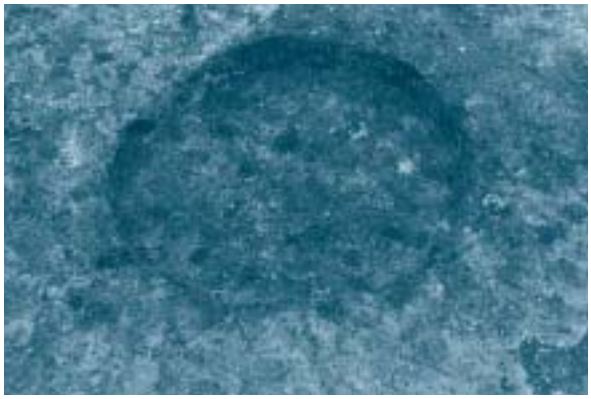
ＳＫ－982遺物（２）出土状態（南より）



ＳＫ－982遺物（１・６）出土状態（東より）



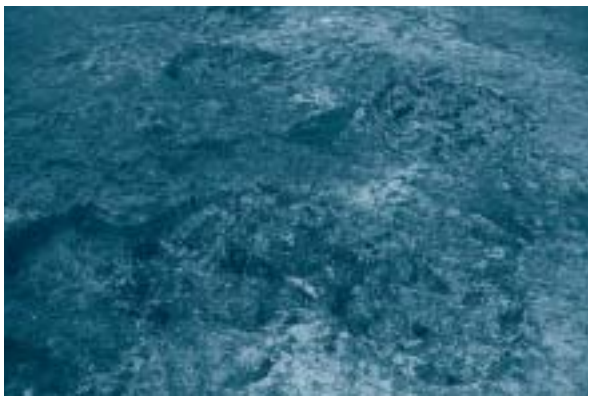
ＳＫ－982（南東より）



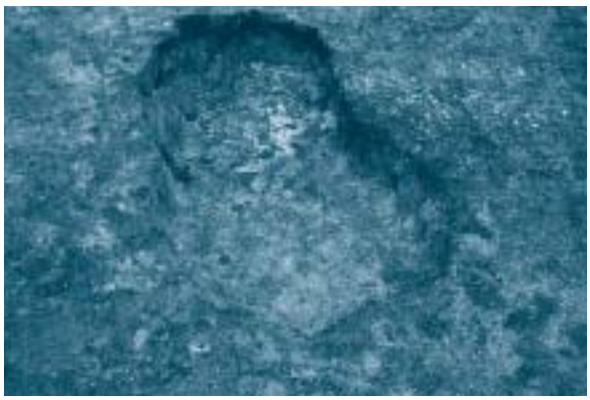
ＳＫ－983（北東より）



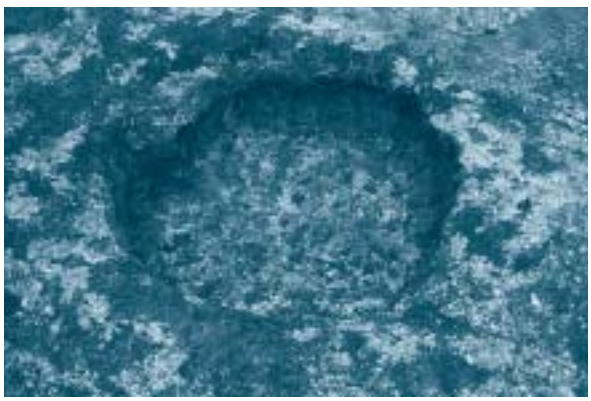
ＳＫ－987・988・1000（南より）



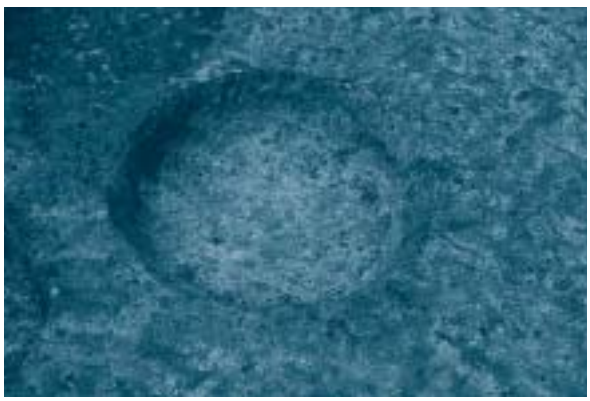
ＳＫ－993～995（東より）



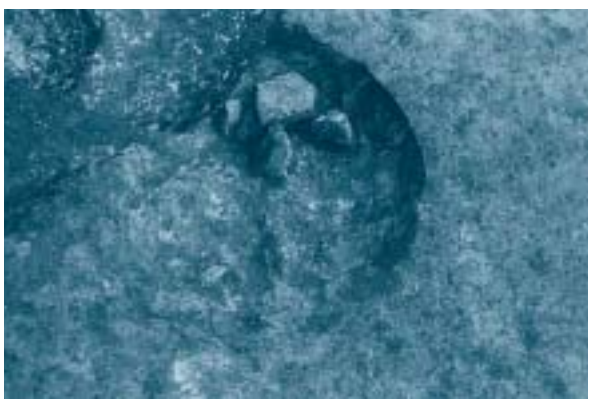
ＳＫ－998・999（南より）



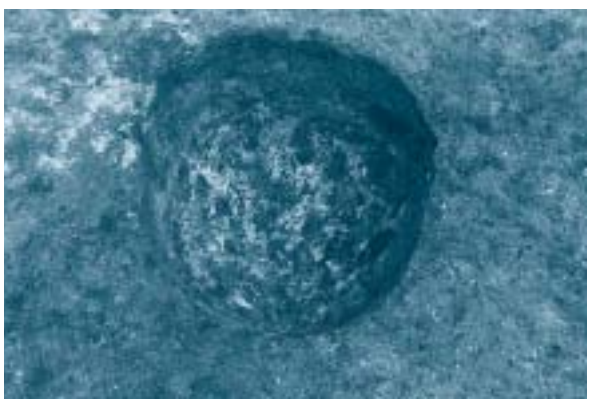
ＳＫ－1004（南より）



ＳＫ－1016（東より）



ＳＫ－1021（南西より）

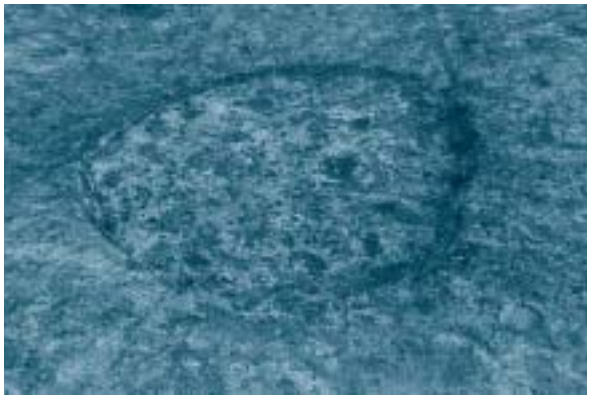


ＳＫ－1022（西より）

図版五四　縄文時代（遺構）



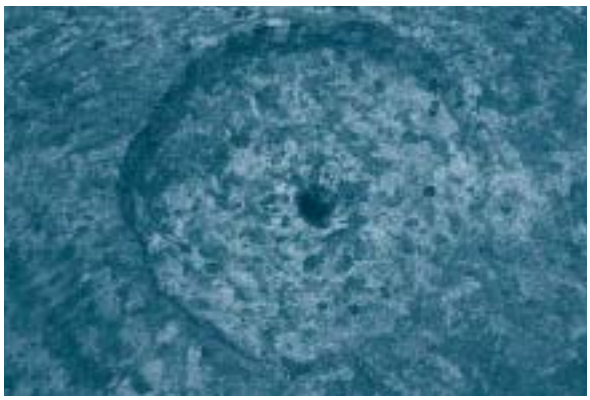
ＳＫ－1023（西より）



ＳＫ－1024（西より）



ＳＫ－1025（東より）



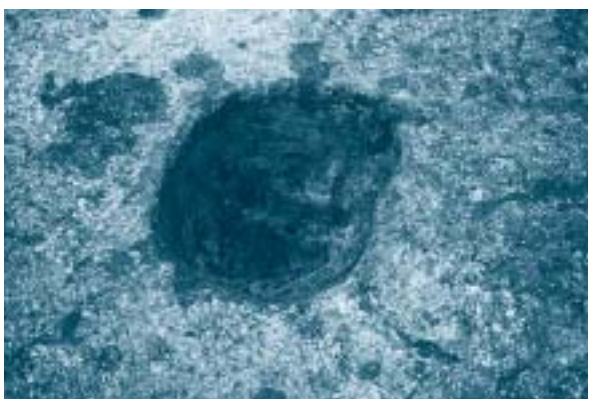
ＳＫ－1026（南より）



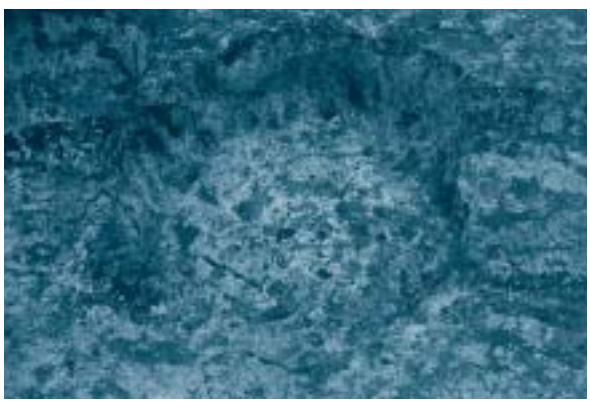
ＳＫ－1027セクションＡ－Ａ’（南東より）



ＳＫ－1031（北より）



ＳＫ－1033（北東より）



ＳＫ－1035（南より）



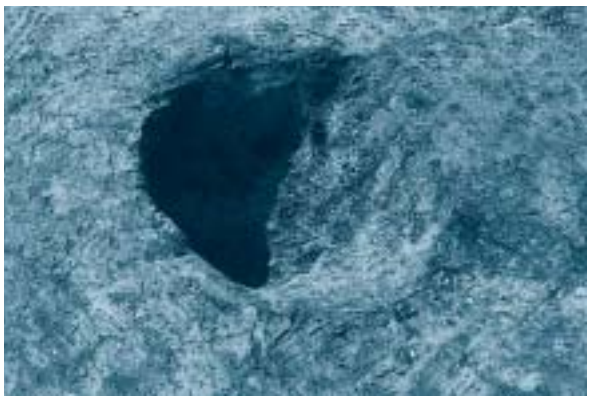
ＳＫ－1037（北より）



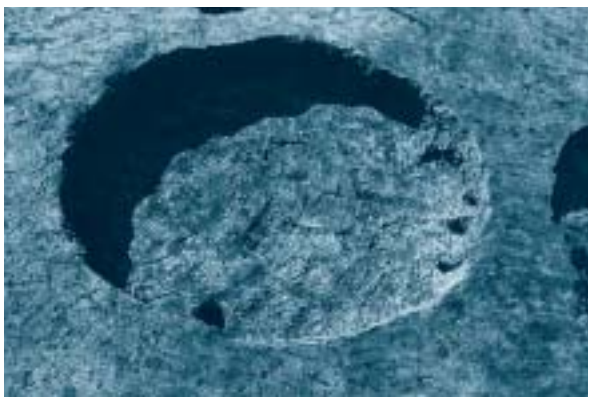
ＳＫ－1038・1054（北より）



ＳＫ－1039（北より）



ＳＫ－1047（北より）



ＳＫ－1048（北より）



ＳＫ－1050（北西より）



ＳＫ－1055（東より）

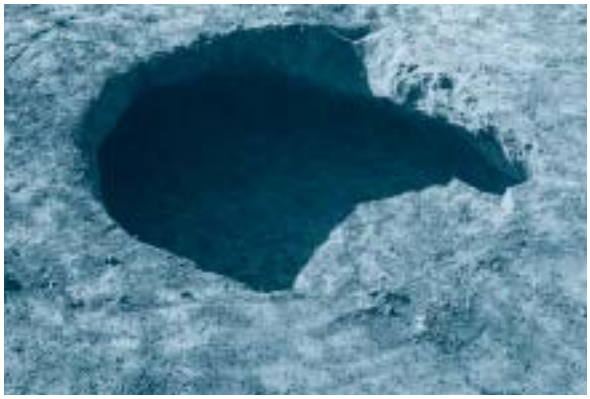


ＳＫ－1057調査状況（東より）

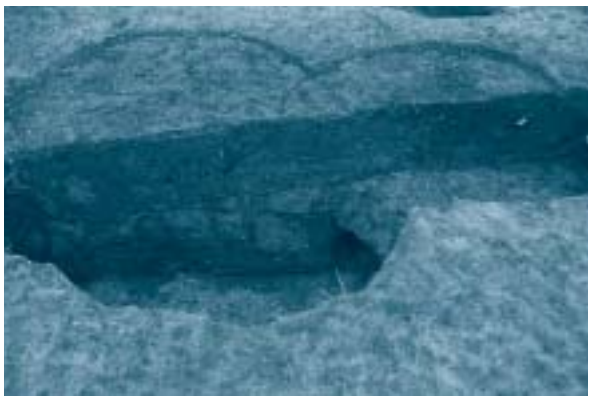
図版五六　縄文時代（遺構）



ＳＫ－1057遺物（１）出土状態（南より）



ＳＫ－1057（東より）



ＳＫ－1058・1059セクションＡ－Ａ’（南東より）



ＳＫ－1058・1059調査状況（南より）



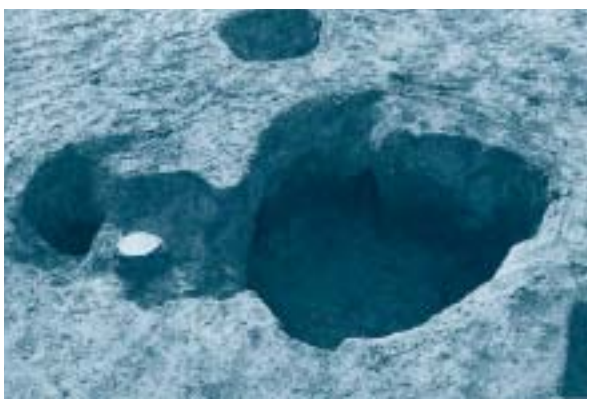
ＳＫ－1058遺物（１）出土状態（西より）



ＳＫ－1059遺物（８）出土状態（東より）



ＳＫ－1064調査状況（南西より）



ＳＫ－1064・1078ｂ（北東より）



ＳＫ－1065（北東より）



ＳＫ－1072・1073（西より）



ＳＫ－1078ａ・1079・1101（東より）



ＳＫ－1079遺物（１～３・５・９）出土状態（北東より）



ＳＫ－1085（北より）



ＳＫ－1086・1093（東より）



ＳＫ－1094・1140（西より）



ＳＫ－1101（北西より）

図版五八　縄文時代（遺構）



ＳＫ－1101遺物（１～３・６～９）出土状態（北東より）



ＳＫ－1103・1104（西より）



ＳＫ－1104調査状況（南より）



ＳＫ－1104（南東より）



ＳＫ－1111（東より）



ＳＫ－1112・1151～1153・1156（北より）



ＳＫ－1116・1117（南西より）



ＳＫ－1118調査状況（西より）



ＳＫ－1118調査状況（南西より）



ＳＫ－1118遺物（１～３）出土状態（南西より）



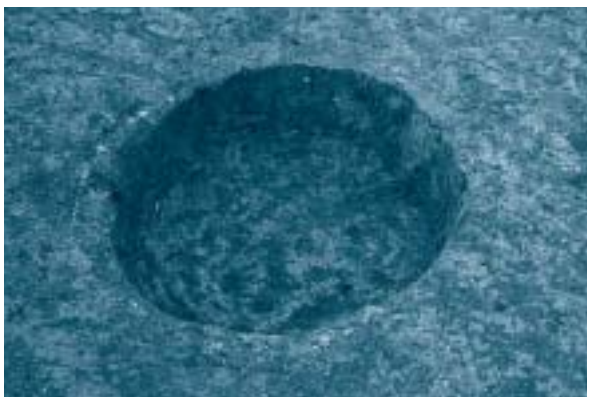
ＳＫ－1119調査状況（北より）



ＳＫ－1119（北より）



ＳＫ－1119遺物（２）出土状態（北より）



ＳＫ－1130（南より）

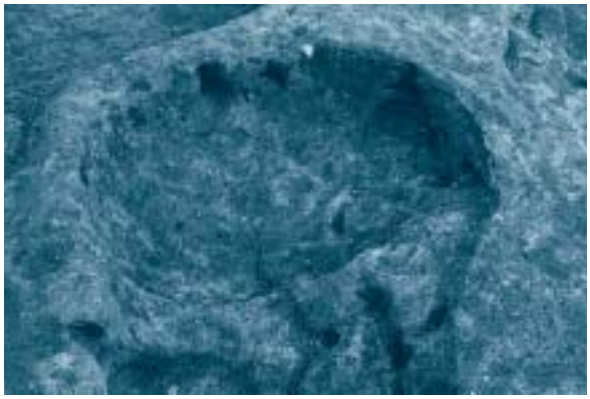


ＳＫ－1133（南東より）

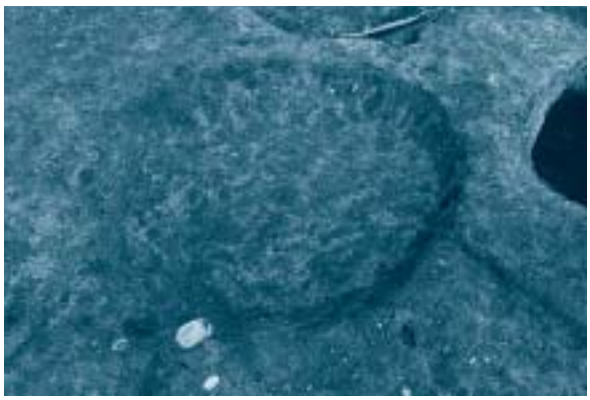


ＳＫ－1142・1143（東より）


ＳＫ－1142・1143調査状況（南より）


ＳＫ－1144（西より）

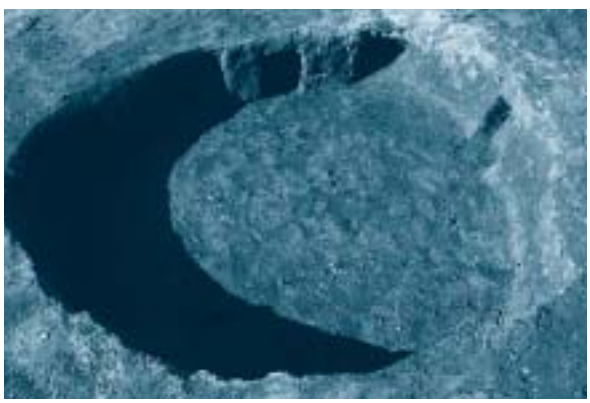

ＳＫ－1146（南より）


ＳＫ－1147（西より）


ＳＫ－1149（西より）


ＳＫ－1160（南より）


ＳＫ－1161・1162（南より）


ＳＫ－1163（南東より）



Ｆ－19グリッド周辺調査状況（南より）



ＳＫ－1164・1165（北東より）



ＳＫ－1164・1265・1318ｂ（南東より）



SK―1165･1166･1251･1252･1254･1255･1266ｃ（南西より）



Ｇ－19グリッド周辺（北より）



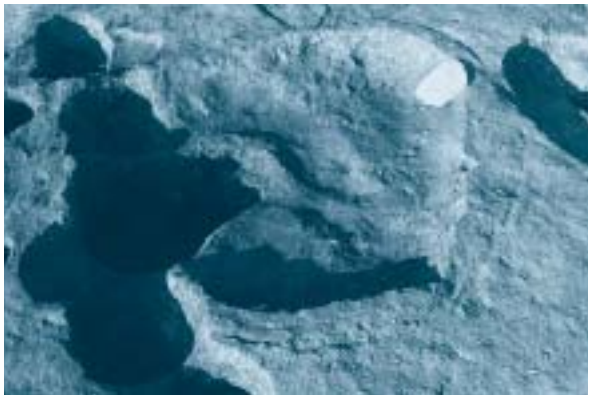
ＳＫ－1167ａ・1168・1170・1302・1307・1315（南より）



ＳＫ－1175（西より）



ＳＫ－1179・1180（南より）


ＳＫ－1182ｂ（南より）


ＳＫ－1184（南東より）


ＳＫ－1185（南東より）


Ｇ－17グリッド周辺調査状況（北西より）


ＳＫ－1187調査状況（東より）


ＳＫ－1187（西より）


ＳＫ－1188遺物（７）出土状態（北より）

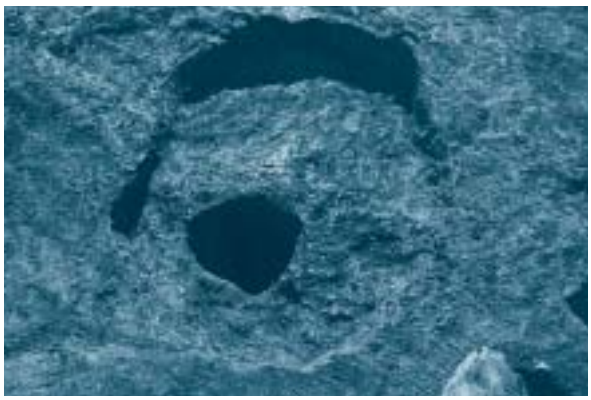

ＳＫ－1189（南より）



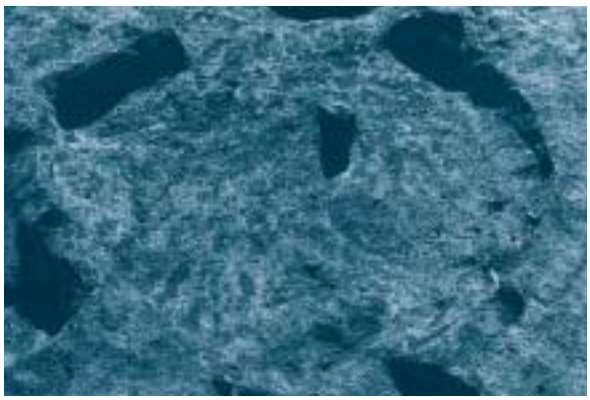
ＳＫ－1190（東より）



ＳＫ－1192・1193（北西より）



ＳＫ－1194（北西より）



ＳＫ－1196（南西より）



ＳＫ－1199・1200（北東より）



ＳＫ－1201（北より）

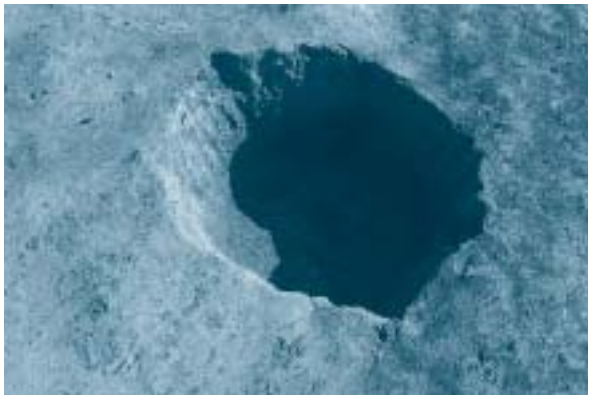


ＳＫ－1208（西より）



ＳＫ－1209（西より）

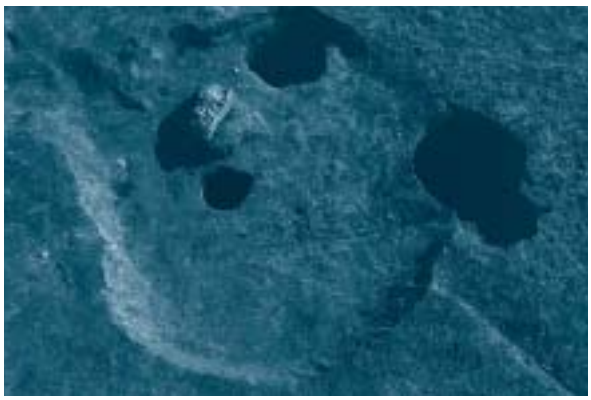
図版六四　縄文時代（遺構）



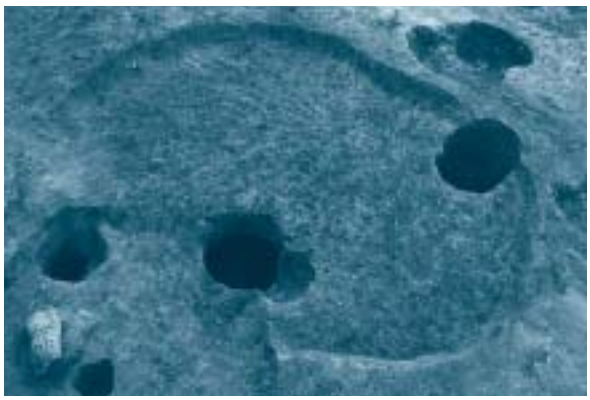
ＳＫ－1210（西より）



ＳＫ－1220（北西より）



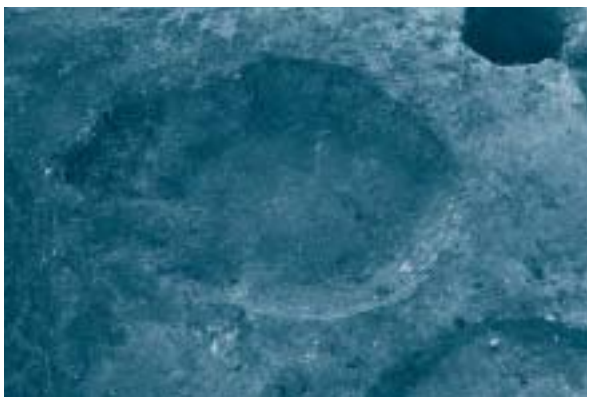
ＳＫ－1223（西より）



ＳＫ－1224ｂ（北西より）



ＳＫ－1234・1235（北西より）



ＳＫ－1236（北より）



ＳＫ－1258・1330（南西より）



ＳＫ－1259ｂ（南より）



ＳＫ－1260ａ・1263・1264（北より）



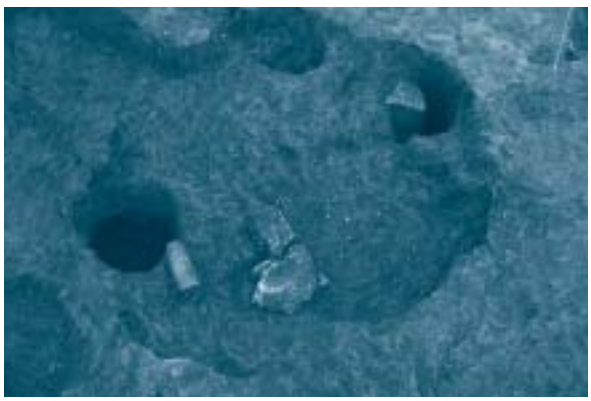
ＳＫ－1263（北東より）



ＳＫ－1260ａ・1263（北より）



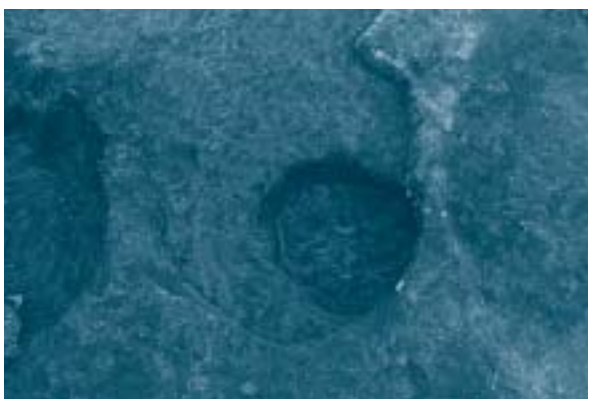
ＳＫ－1263調査状況（北より）



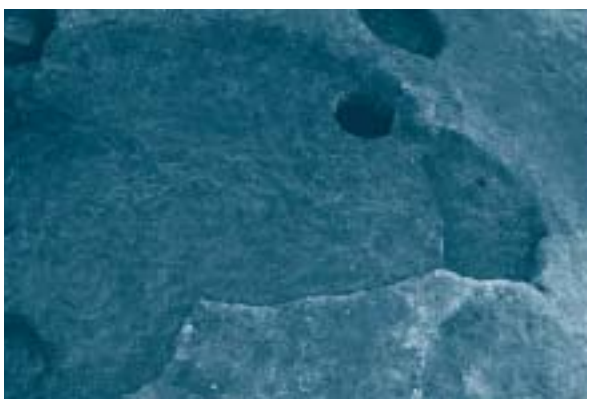
ＳＫ－1273（西より）



ＳＫ－1273遺物（９・10）出土状態（西より）



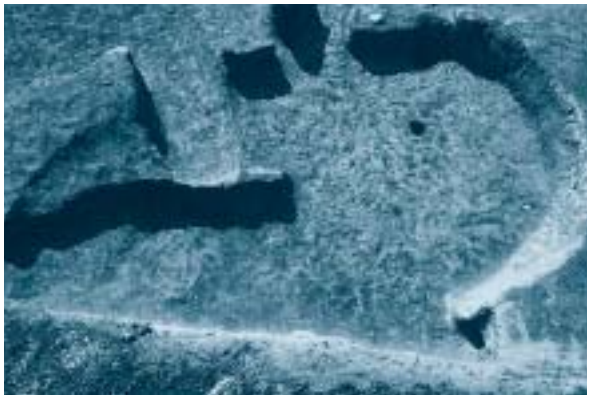
ＳＫ－1274（北より）



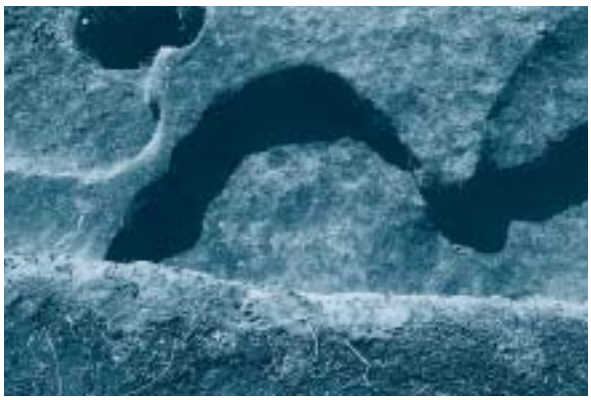
ＳＫ－1275・1276（西より）



ＳＫ－1277～1280・1282・1283・1296・1300（南より）



ＳＫ－1279・1280・1282・1283・1296（北より）



ＳＫ－1278（北より）



ＳＫ－1284（北西より）



ＳＫ－1285（北西より）



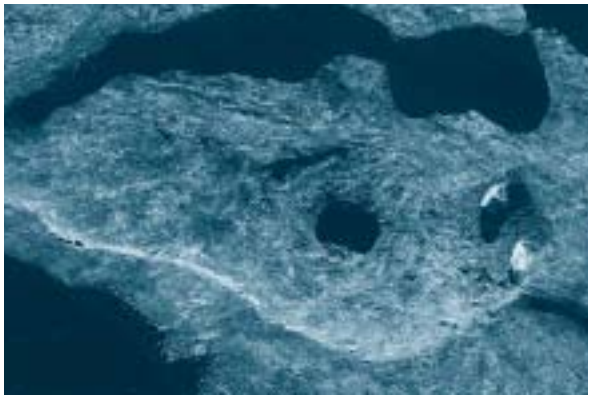
ＳＫ－1287（西より）



ＳＫ－1291（西より）



ＳＫ－1289・1295・1299（南西より）



ＳＫ－1290・1292（北西より）



ＳＫ－1297・1298（西より）



ＳＫ－1302・1307（東より）



ＳＫ－1308・1318ａ・1319（東より）



ＳＫ－1308（東より）



ＳＫ－1308調査状況（西より）



ＳＫ－1310（北西より）



ＳＫ－1310遺物（１・２・６）出土状態（北西より）

図版六八　縄文時代（遺構）



ＳＫ－1311・1313・1314（南東より）



ＳＫ－1322・1323（南東より）



ＳＫ－1324・1327（南東より）



ＳＫ－1325（南より）



ＳＸ－１遺物（９・11・18・19）出土状態（西より）



南那須町大里自治会・大里子供育成会見学



南那須町教職員研修会視察



南那須町教育委員会現地見学会

図版六九　縄文時代（遺物）



ＳＩ－20
1



ＳＩ－20
7



ＳＩ－44
1



ＳＩ－56
1



ＳＩ－56
2



ＳＩ－57
1

縄文土器

図版七〇　縄文時代（遺物）



SK－14
1



SK－14
2



SK－14
3



SK－51a
1



SK－51a
2



SK－51a
3

縄文土器


ＳＫ－70
1


ＳＫ－80
1


ＳＫ－80
4


ＳＫ－80
5


ＳＫ－80
6

縄文土器

図版七二　縄文時代（遺物）


SK－80
7

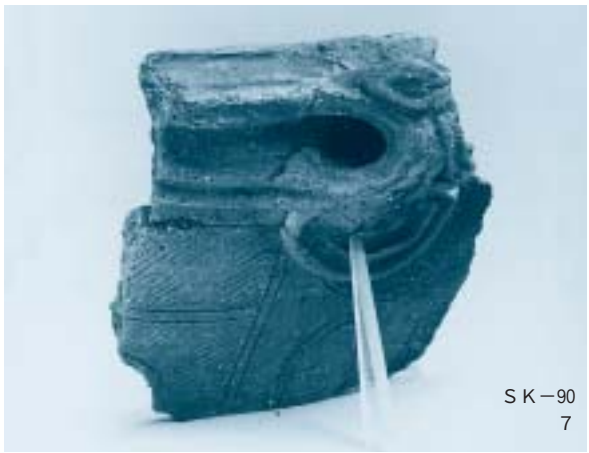

SK－87
1


SK－90
2


SK－90
6


SK－80
8


SK－82
1


SK－90
7

縄文土器

図版七三　縄文時代（遺物）



ＳＫ－90
1



ＳＫ－90
5



ＳＫ－90
8



ＳＫ－90
11



ＳＫ－92
2

縄文土器

図版七四　縄文時代（遺物）


SK－92
3


SK－93
1


SK－93
2


SK－93
3


SK－93
4

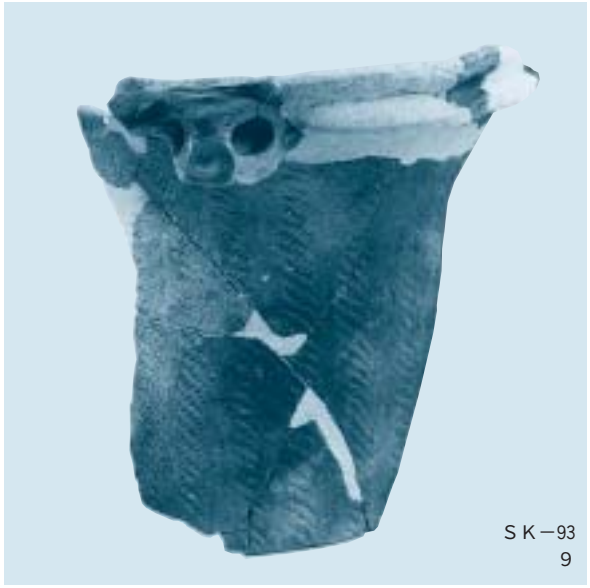

SK－93
6

縄文土器

図版七五　縄文時代（遺物）



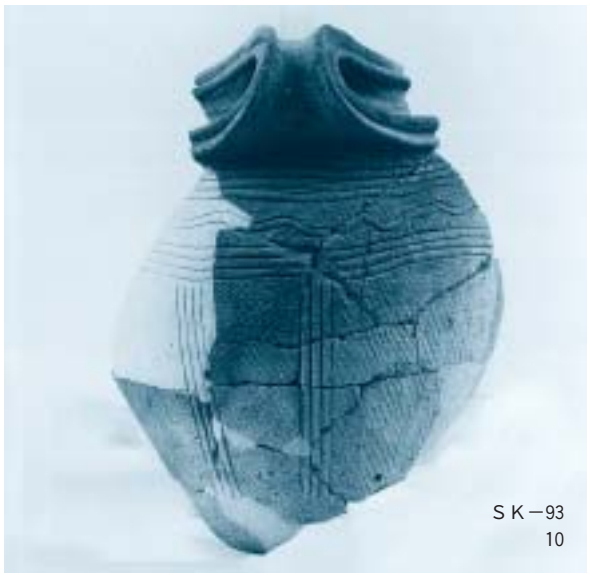
SK－93
5



SK－93
9



SK－93－7



SK－93
10



SK－93
11



SK－93
16

縄文土器

図版七六　縄文時代（遺物）



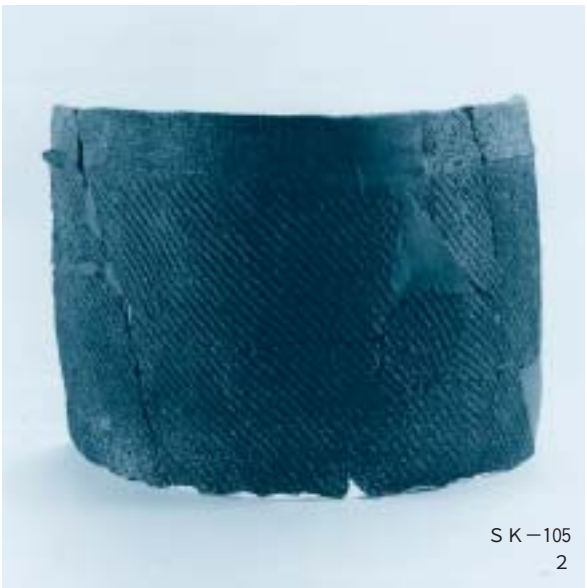
ＳＫ－93
19



ＳＫ－103
1



ＳＫ－105
1



ＳＫ－105
2



ＳＫ－123
1



ＳＫ－125
1

縄文土器

図版七七　縄文時代（遺物）


SK－125
2


SK－125
3


SK－125
4


SK－139
1


SK－139
2


SK－139
3

縄文土器

図版七八　縄文時代（遺物）



SK－140
1



SK－142
1



SK－144
1



SK－144
3



SK－146b
1



SK－148
1

縄文土器

図版七九　縄文時代（遺物）



SK－152
1



SK－152
2



SK－154
1



SK－162a
1



SK－162a
3



SK－166
1

縄文土器

図版八〇　縄文時代（遺物）



SK－166
2



SK－166
3



SK－168
3



SK－172
1



SK－177
1



SK－177
2

縄文土器


ＳＫ－179
1


ＳＫ－180
1


ＳＫ－180
7


ＳＫ－180
8


ＳＫ－184
6


ＳＫ－209
1

縄文土器

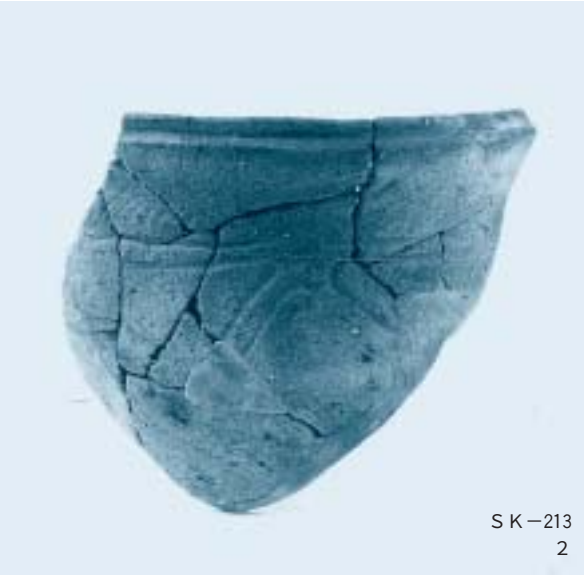
図版八二　縄文時代（遺物）



SK－209
2



SK－213
1



SK－213
2



SK－216
1



SK－226
4



SK－257
4

縄文土器

図版八三　縄文時代（遺物）



SK－257
9



SK－258
1



SK－265
1



SK－297
1



SK－300
1



SK－307
4

縄文土器

図版八四　縄文時代（遺物）



SK－307
7



SK－331
1



SK－367
1



SK－367
5



SK－367
7



SK－376a
1

縄文土器

図版八五　縄文時代（遺物）


SK－427
1


SK－445
1


SK－455
1


SK－468
13


SK－468
16


SK－468
19

縄文土器

図版八六　縄文時代（遺物）


SK－468
20


SK－469－1


SK－470
1


SK－492
1


SK－601
2


SK－497
1


SK－601
1


SK－620
1

縄文土器

図版八七　縄文時代（遺物）



SK－629
1



SK－652
1



SK－702
1



SK－702
2



SK－795
1



SK－834
1

縄文土器

図版八八　縄文時代（遺物）


SK－849
1


SK－884
1


SK－885
1


SK－907
3


SK－909
1


SK－911
1

縄文土器

図版八九　縄文時代（遺物）



SK－927
1



SK－934
1



SK－951
1



SK－944
1



SK－956
1



SK－982
1

縄文土器

図版九〇　縄文時代（遺物



SK－982
2



SK－1057
1



SK－1058
1



SK－1079
1



SK－1064
1



SK－1079
2

縄文土器

図版九一　縄文時代（遺物）



SK－1079
4



SK－1101
1



SK－1103
1



SK－1101
2



SK－1101
9



SK－1111
5

縄文土器

図版九二　縄文時代（遺物）



SK－1118
1



SK－1118
2



SK－1118
3



SK－1119
1



SK－1119
2



SK－1167 a
1

縄文土器

図版九三　縄文時代（遺物）



S K－1180
1



S K－1188
7



S K－1254
1



S K－1263
1



S K－1263
2



S K－1263
3

縄文土器

図版九四　縄文時代（遺物）



SK－1286
1



SK－1310
1



SK－1336
1



SK－1308
3



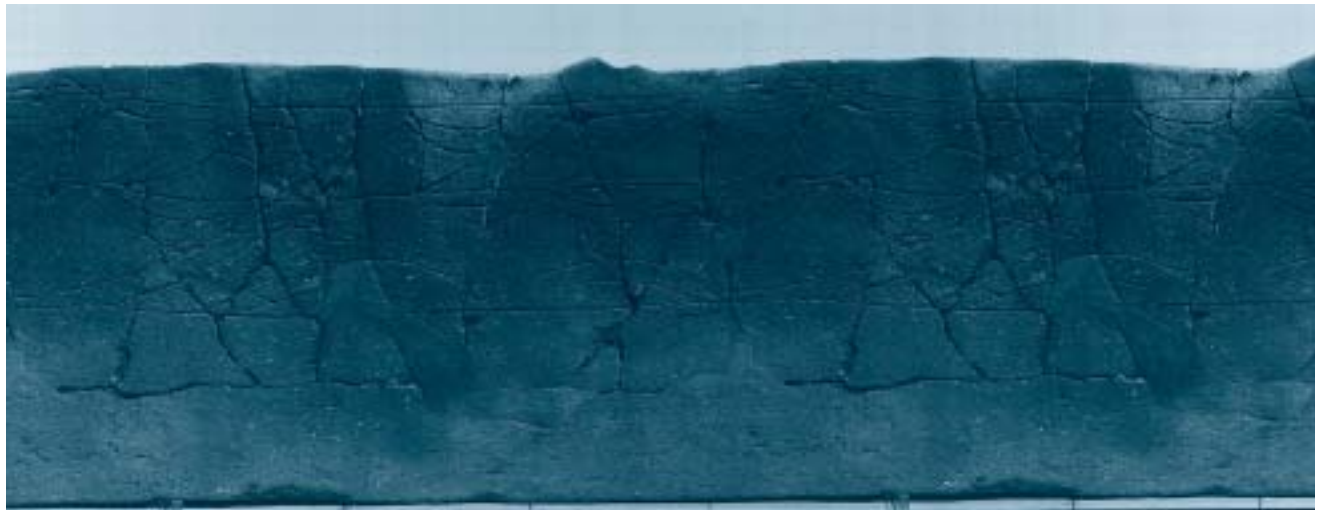
SK－1310
4



外14

縄文土器





ＳＩ－20
1





ＳＩ－44
1

縄文土器展開写真





SK－14
1

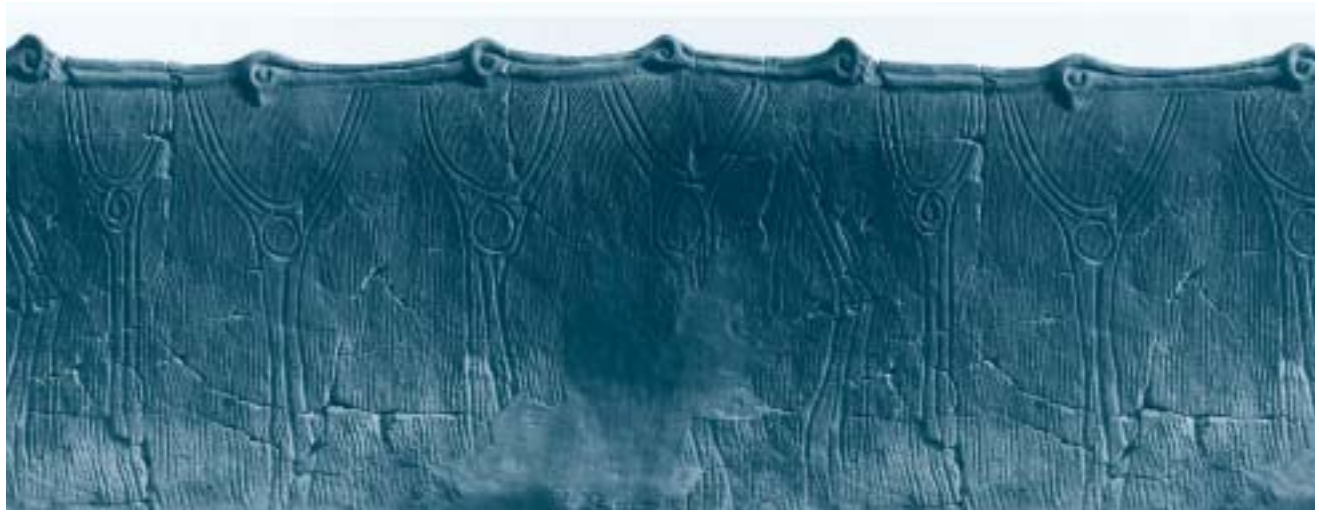




SK－90
8

縄文土器展開写真





SK－92
3





SK－93
1

縄文土器展開写真





SK－93
5





SK－93
6

縄文土器展開写真





SK－123
1





SK－125
2

縄文土器展開写真





SK－142
1





SK－148
1

縄文土器展開写真





SK－154
1

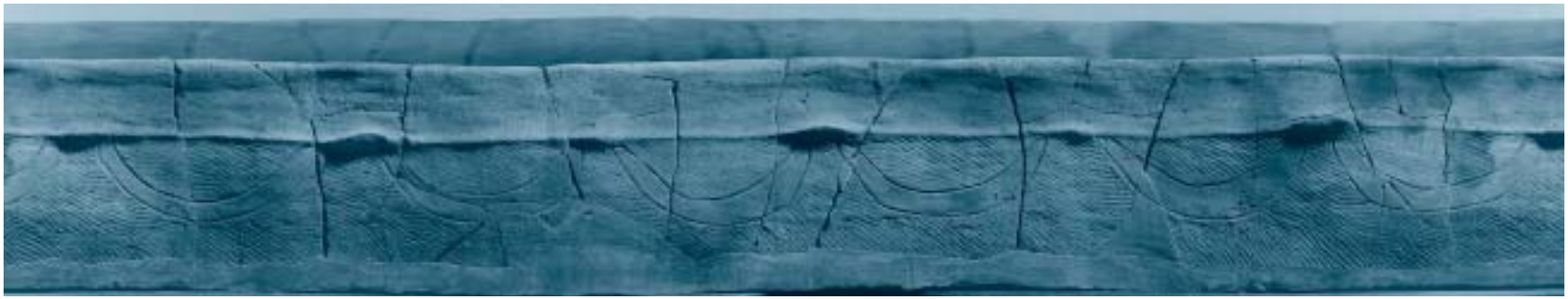




SK－455
1

縄文土器展開写真





SK－702
1





SK－885
1

縄文土器展開写真





SK－1058
1





SK－1101
9

縄文土器展開写真





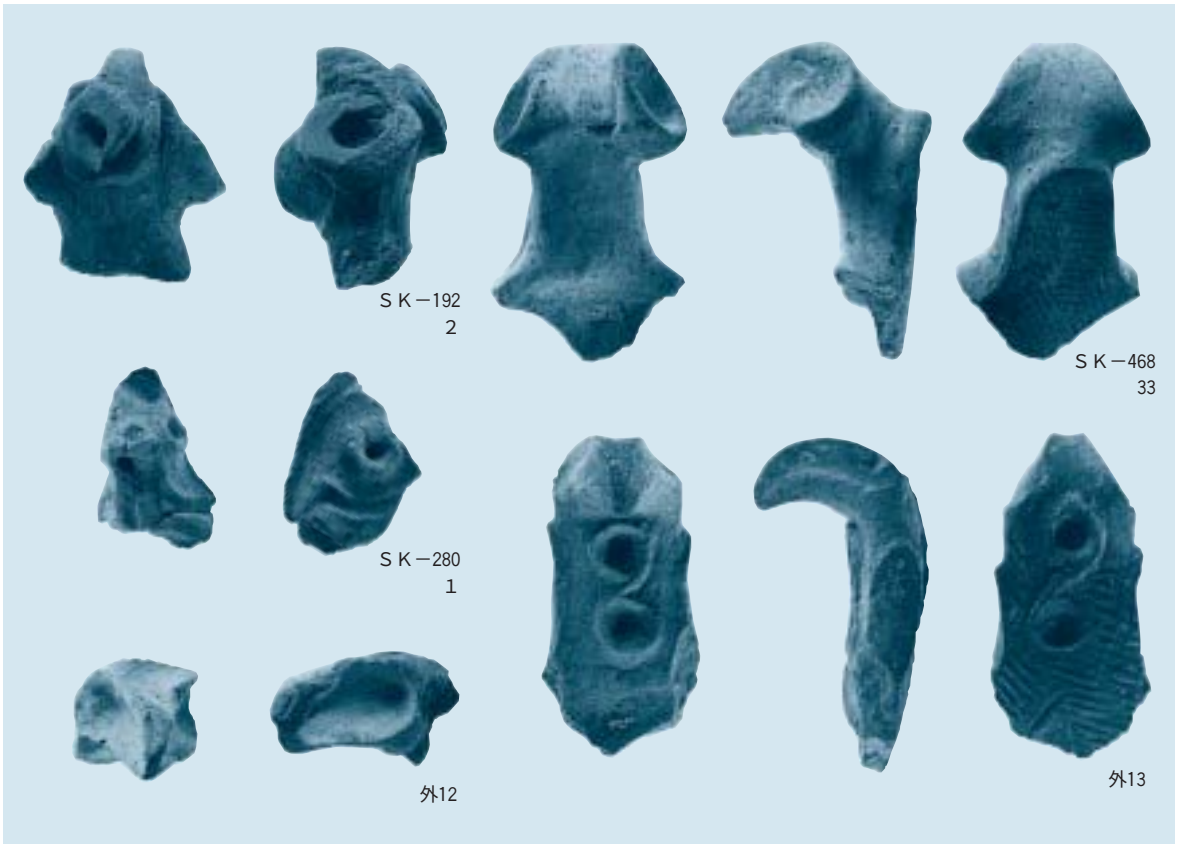
SK－1263
3



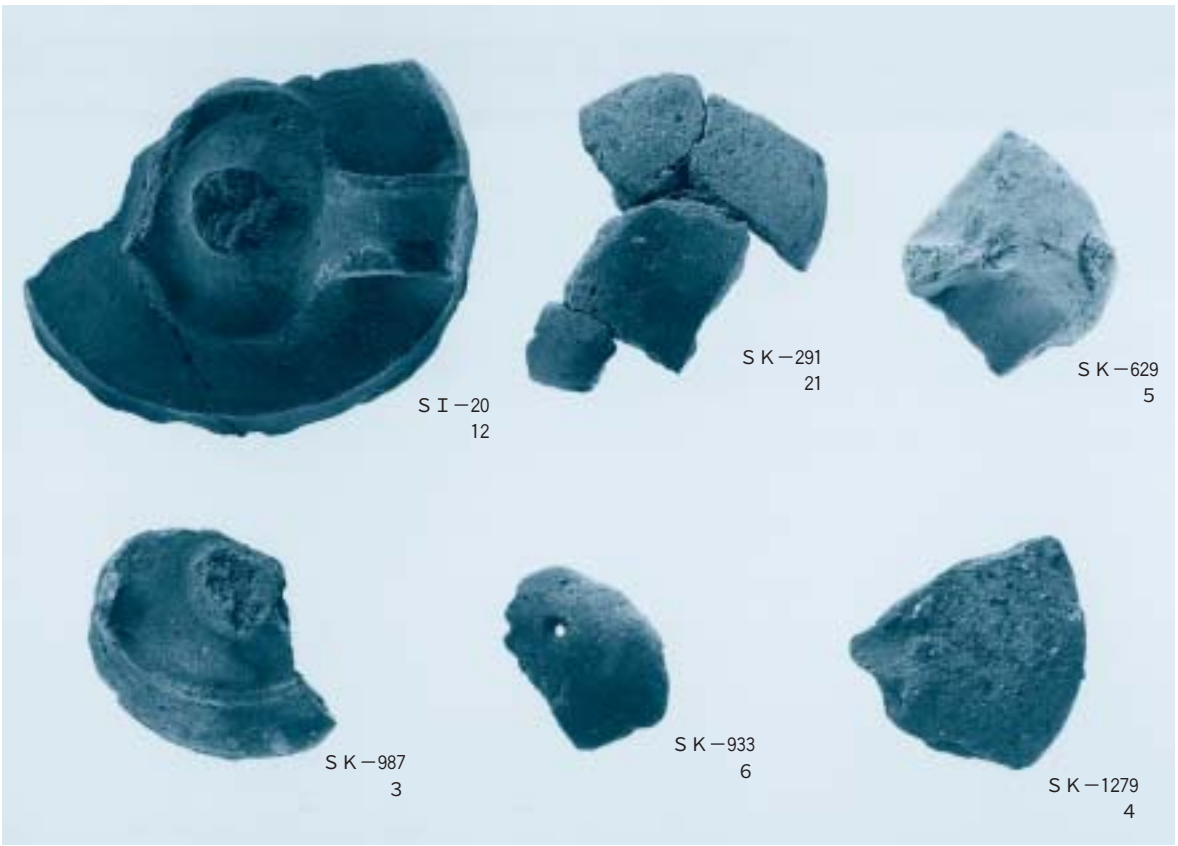


SK－1310
1

縄文土器展開写真

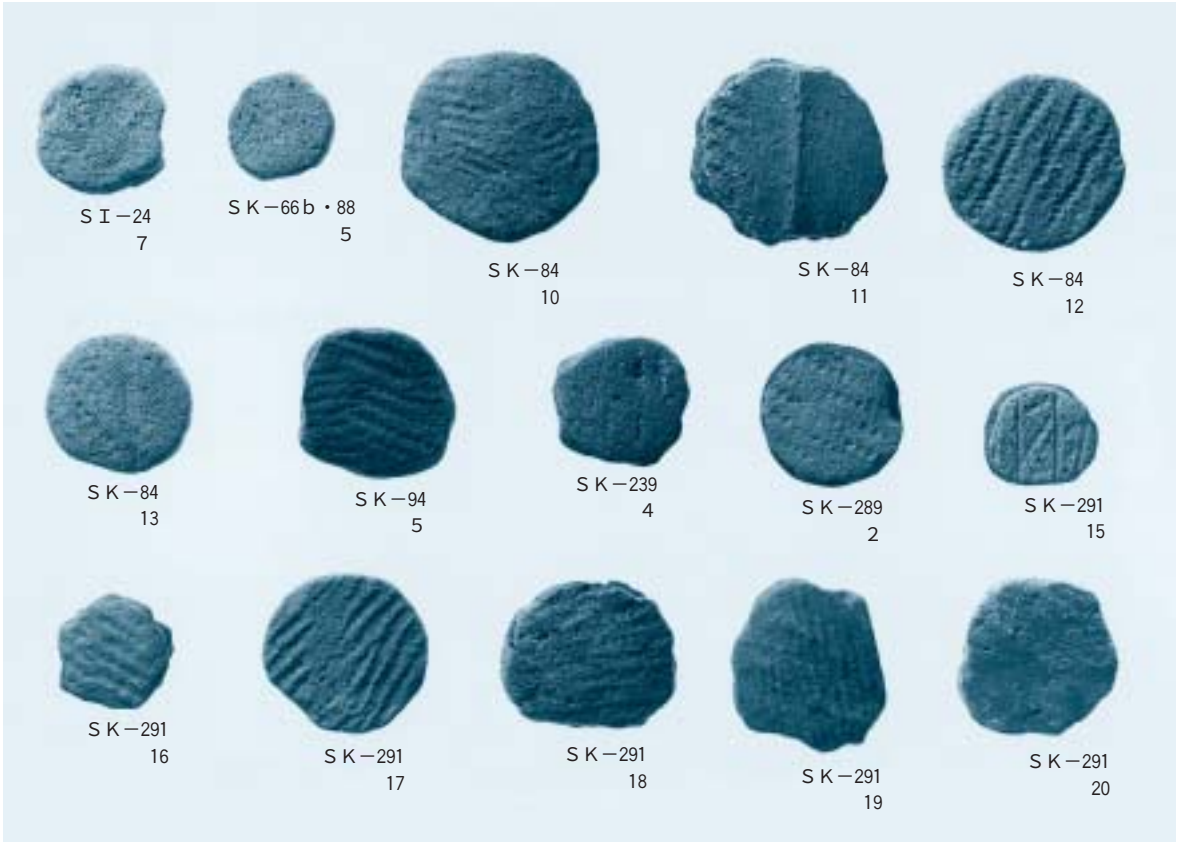

ＳＫ－192
2
ＳＫ－468
33
ＳＫ－280
1
外12
外13

動物意匠把手

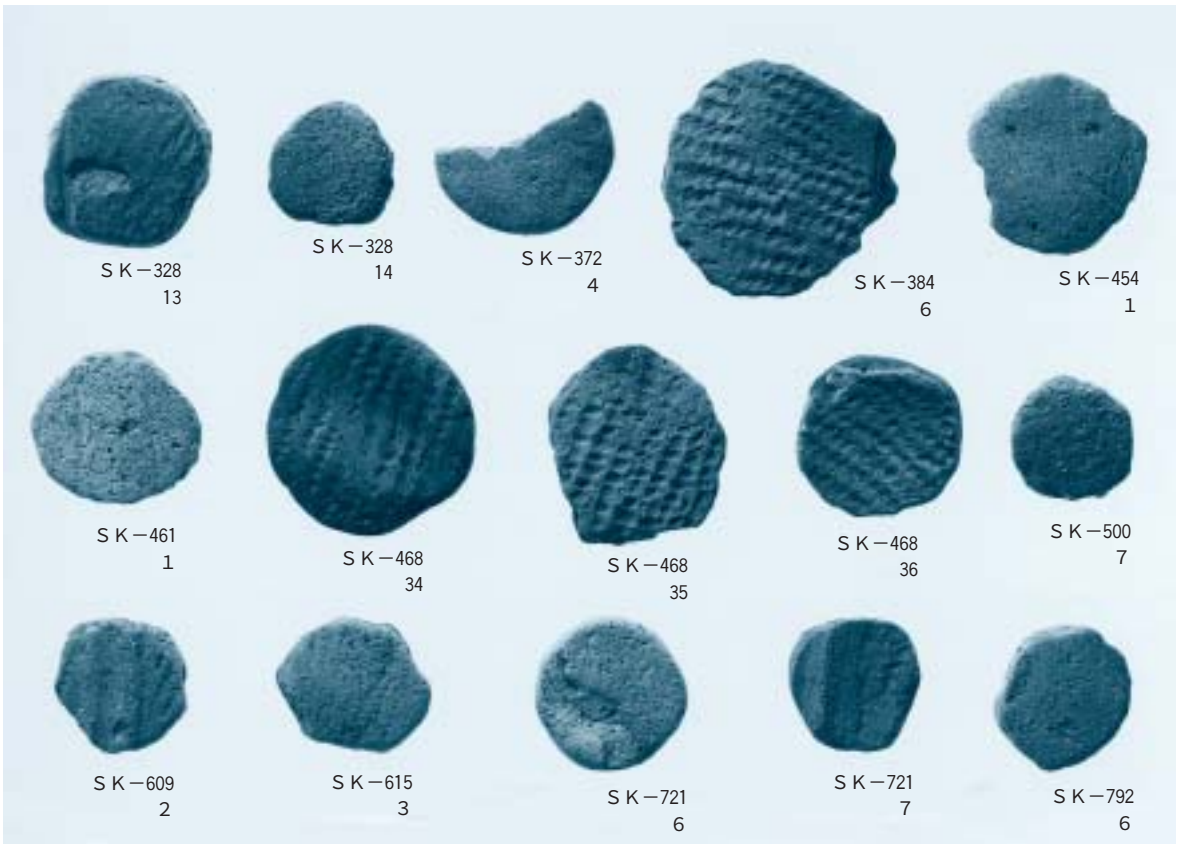

ＳＩ－20
12
ＳＫ－291
21
ＳＫ－629
5
ＳＫ－987
3
ＳＫ－933
6
ＳＫ－1279
4

蓋

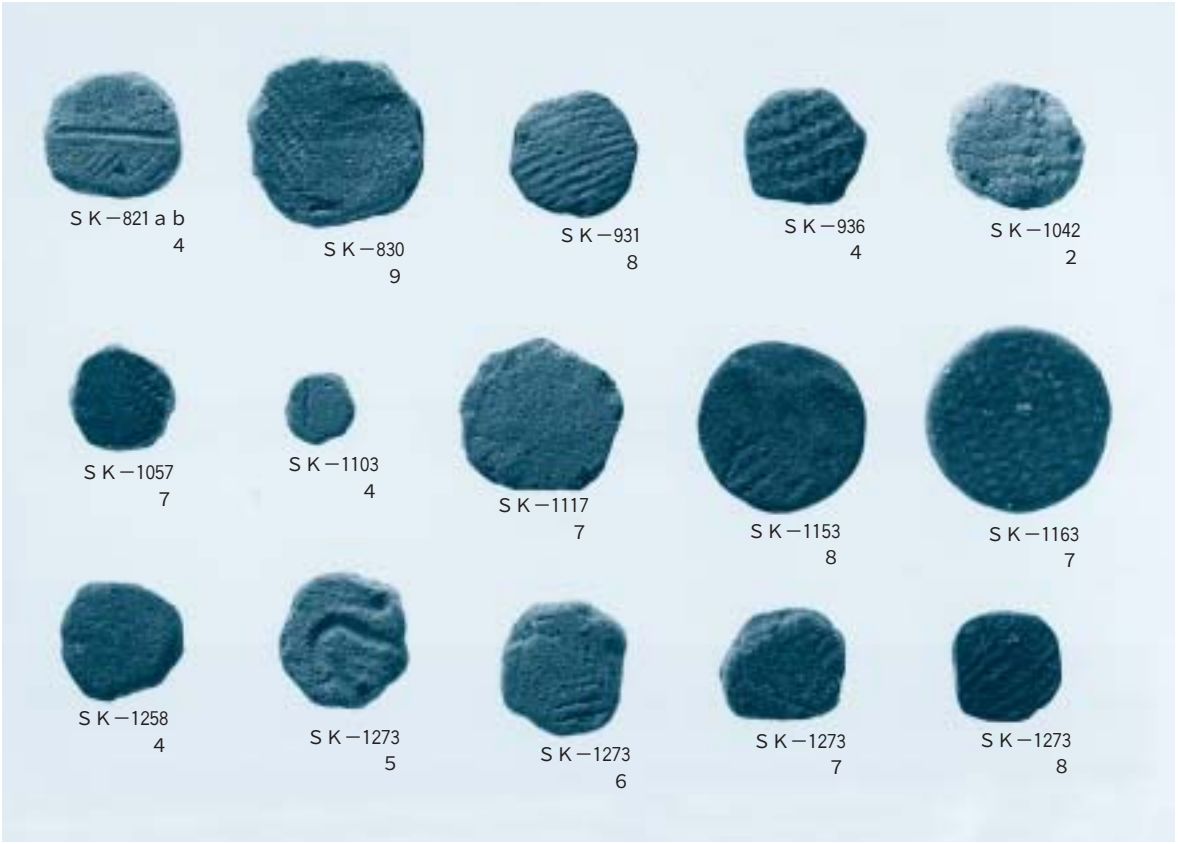
図版一〇六　縄文時代（遺物）



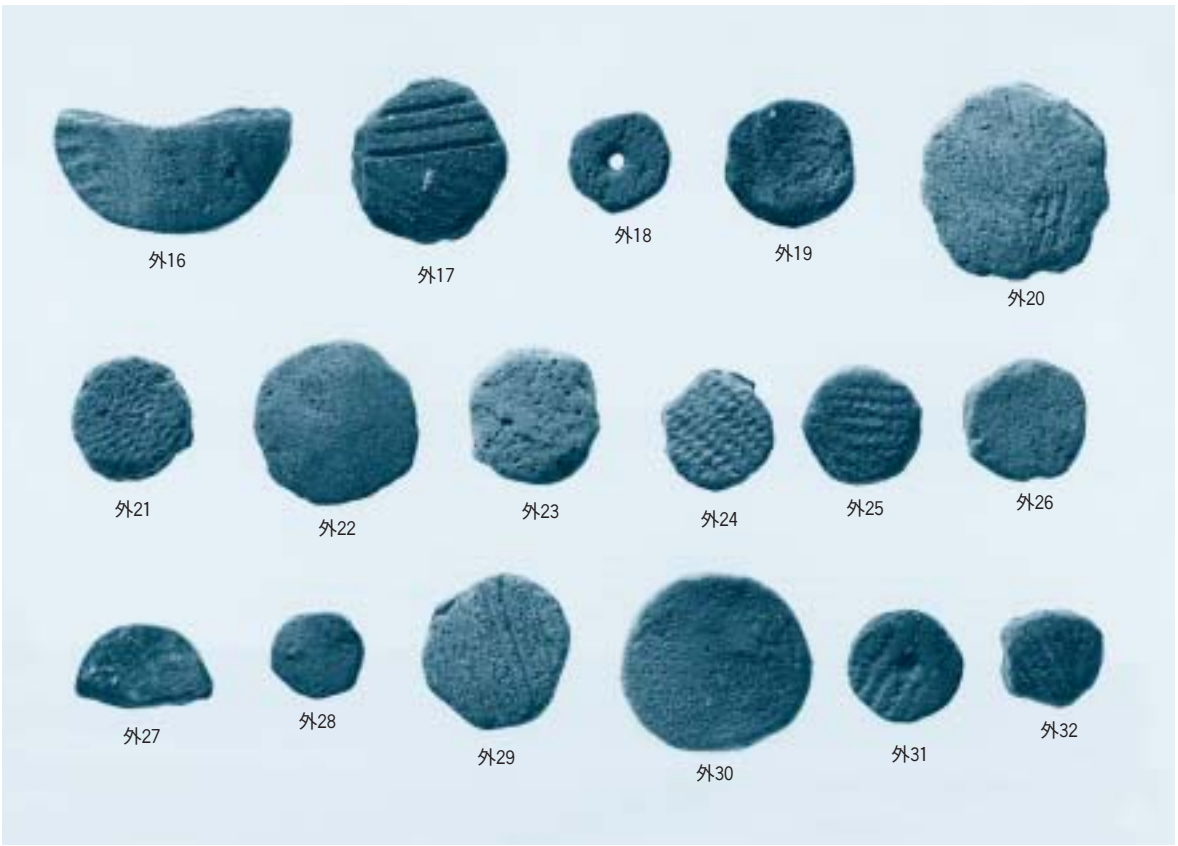
土製円盤



土製円盤

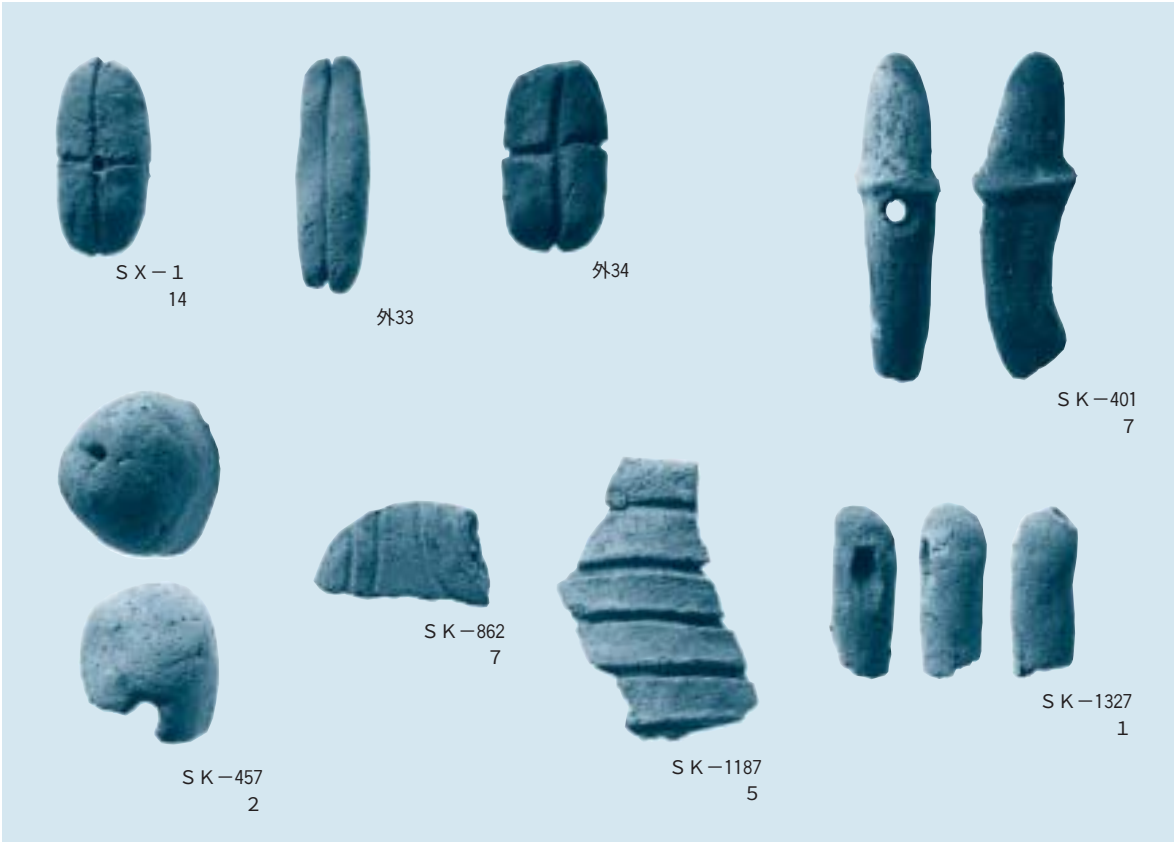

ＳＫ－821ａｂ
4
ＳＫ－830
9
ＳＫ－931
8
ＳＫ－936
4
ＳＫ－1042
2
ＳＫ－1057
7
ＳＫ－1103
4
ＳＫ－1117
7
ＳＫ－1153
8
ＳＫ－1163
7
ＳＫ－1258
4
ＳＫ－1273
5
ＳＫ－1273
6
ＳＫ－1273
7
ＳＫ－1273
8

土製円盤

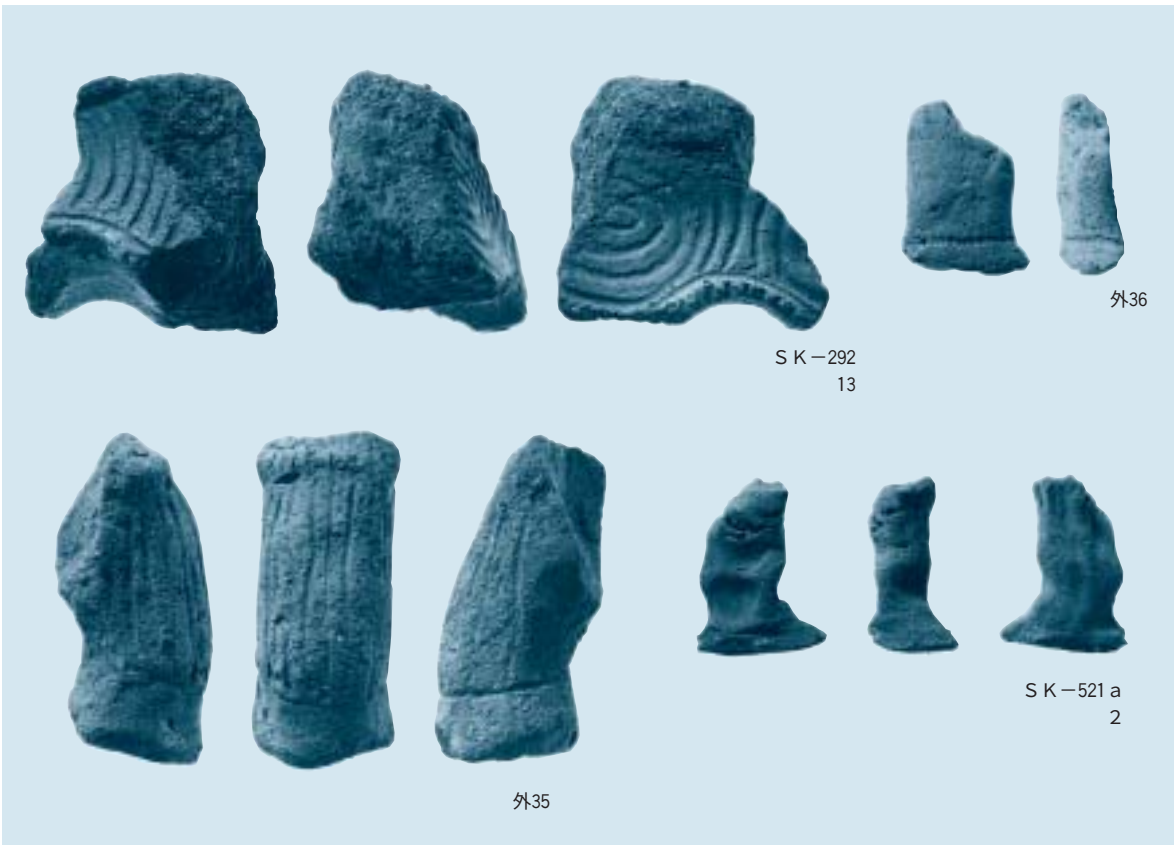

外16
外17
外18
外19
外20
外21
外22
外23
外24
外25
外26
外27
外28
外29
外30
外31
外32

土製円盤

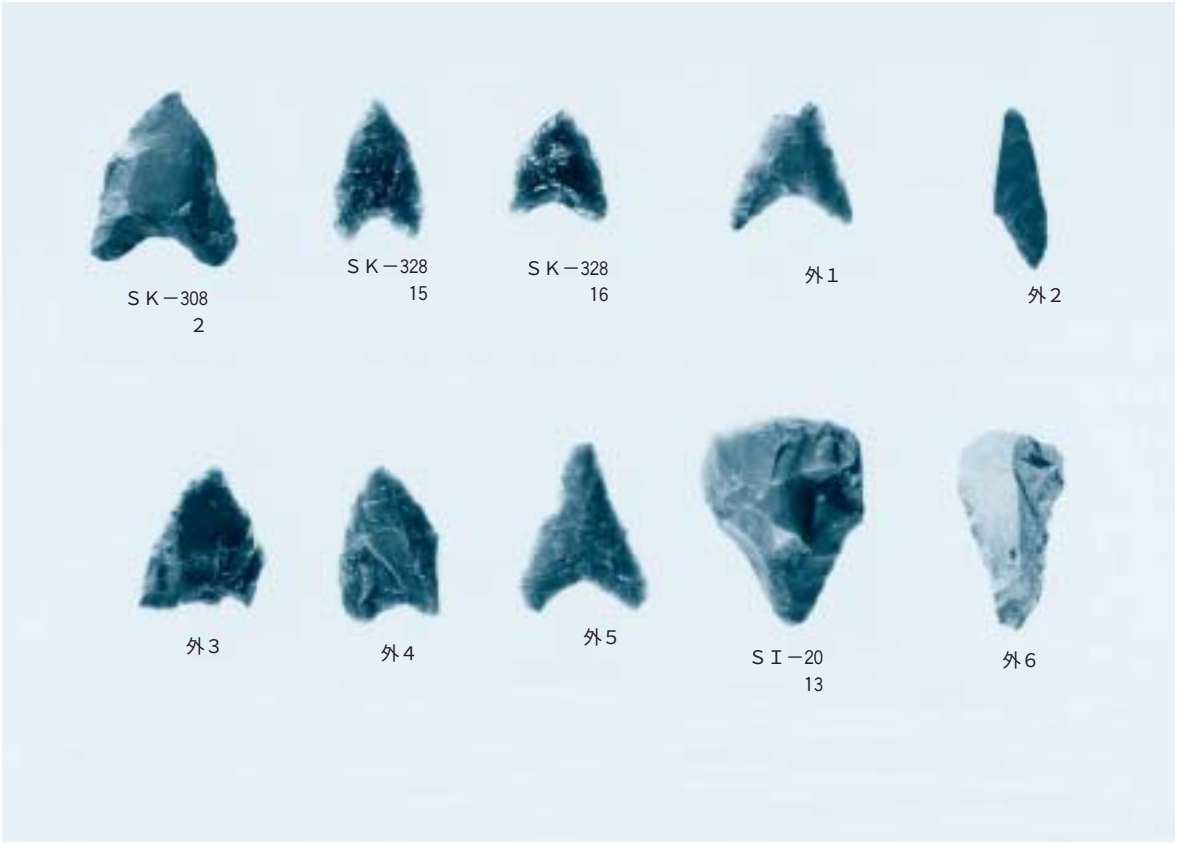
図版一〇八　縄文時代（遺物）



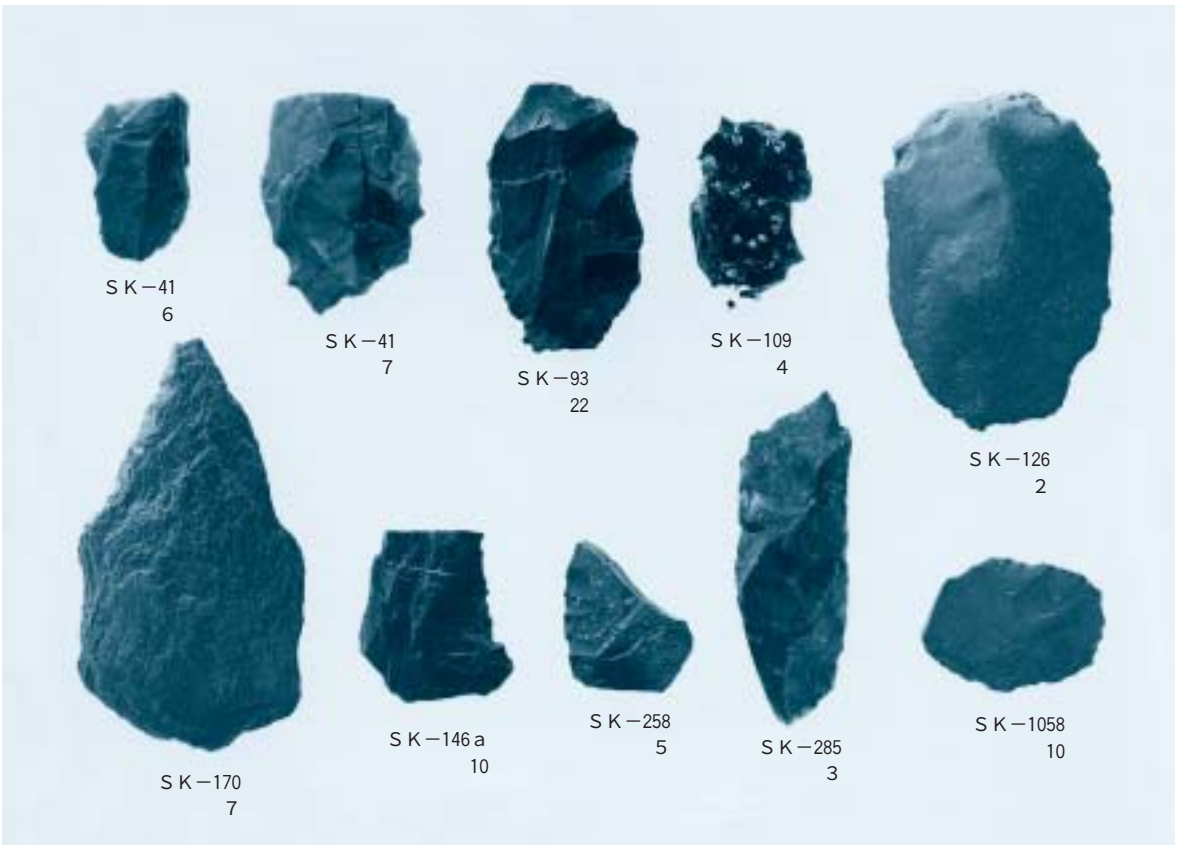
土錘・土製品



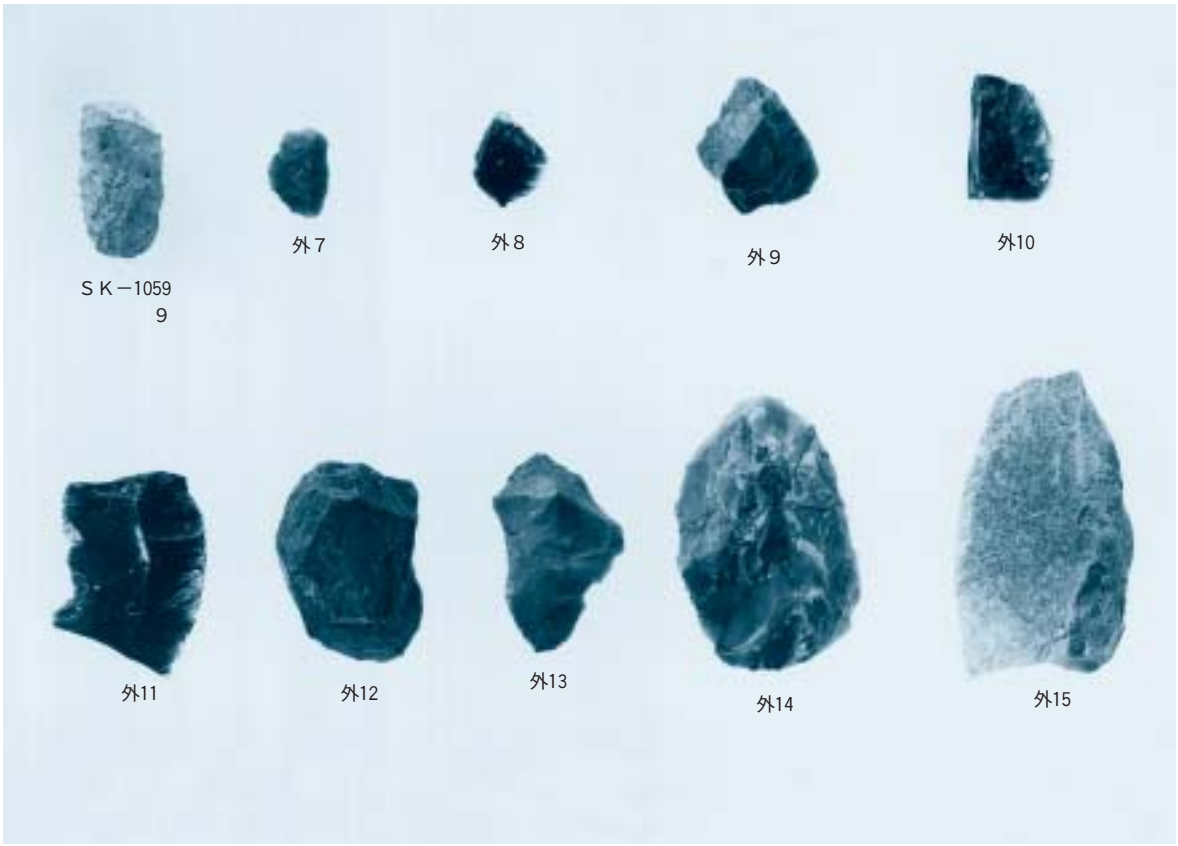
土偶


ＳＫ－308
2
ＳＫ－328
15
ＳＫ－328
16
外１
外２
外３
外４
外５
ＳＩ－20
13
外６

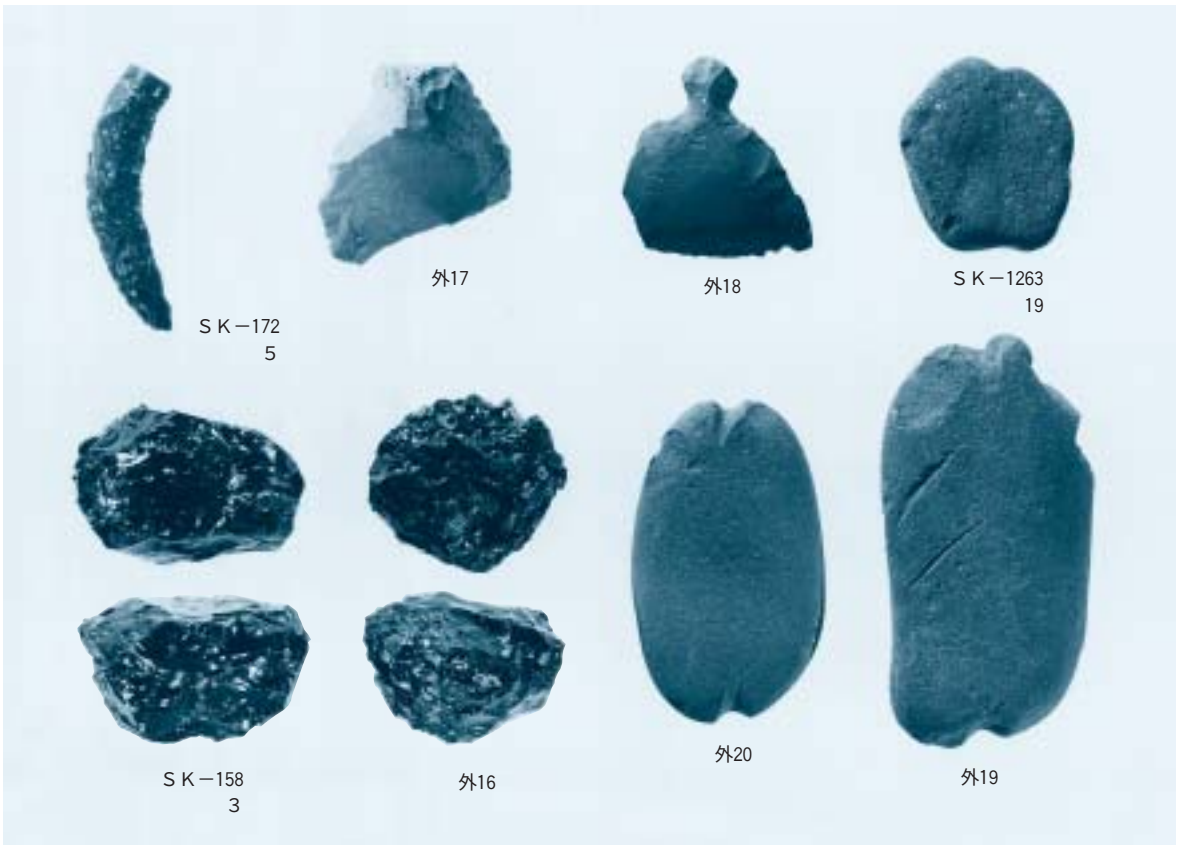
石鏃・石錐


ＳＫ－41
6
ＳＫ－41
7
ＳＫ－93
22
ＳＫ－109
4
ＳＫ－126
2
ＳＫ－170
7
ＳＫ－146ａ
10
ＳＫ－258
5
ＳＫ－285
3
ＳＫ－1058
10

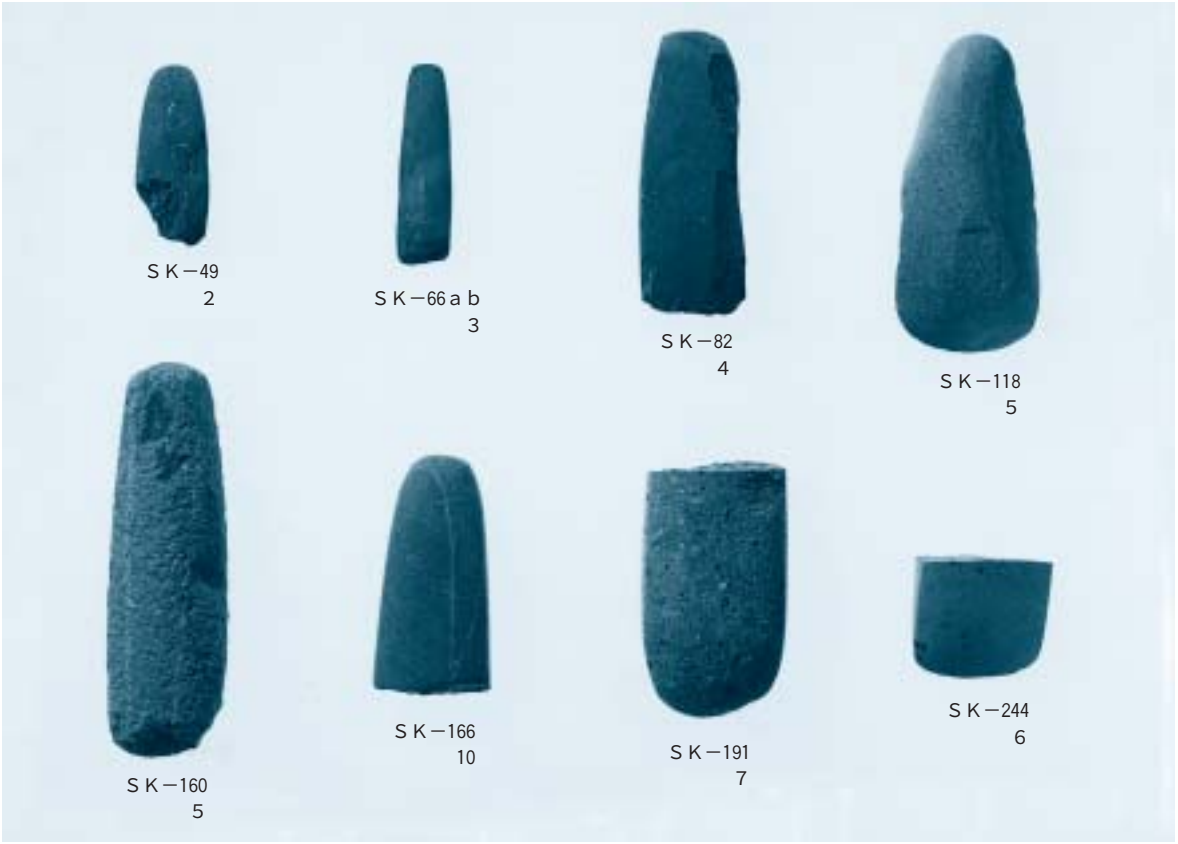
掻削器


ＳＫ－1059
9
外７
外８
外９
外10
外11
外12
外13
外14
外15

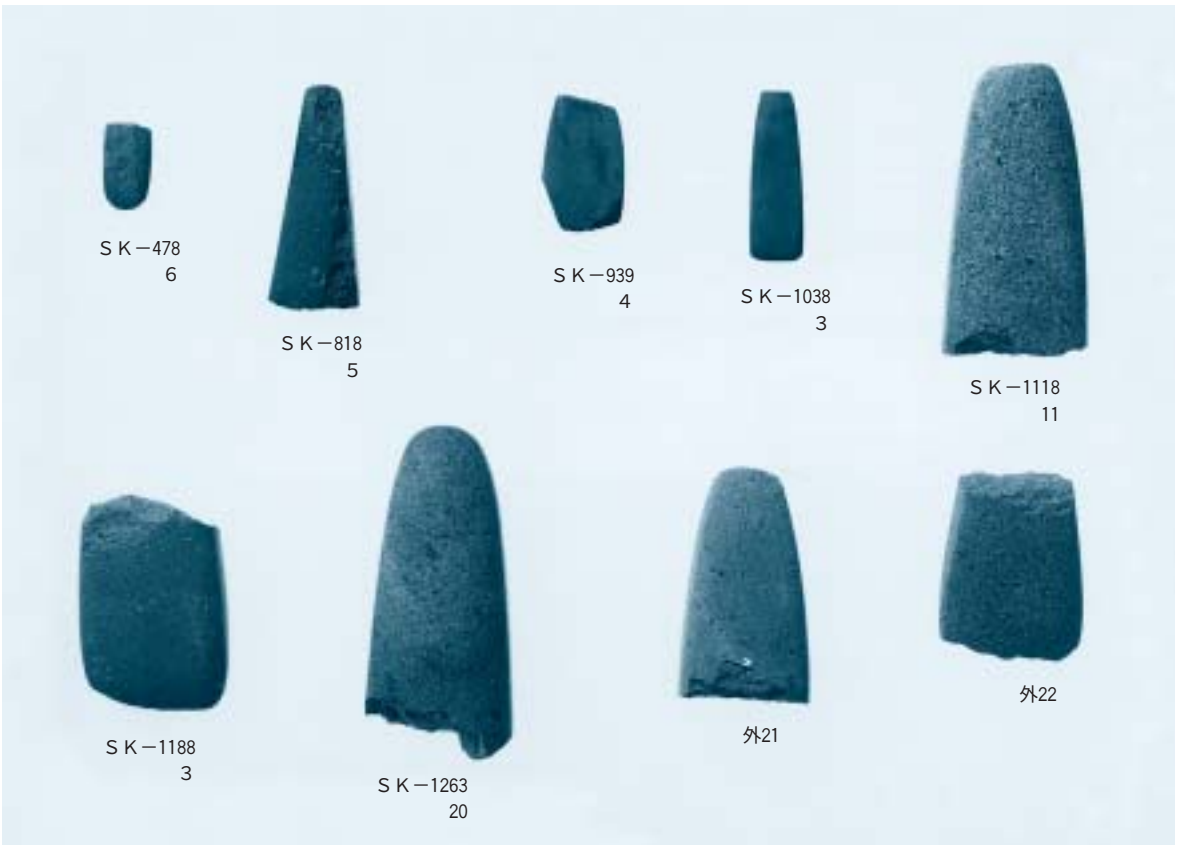
掻削器


ＳＫ－172
5
外17
外18
ＳＫ－1263
19
ＳＫ－158
3
外16
外20
外19

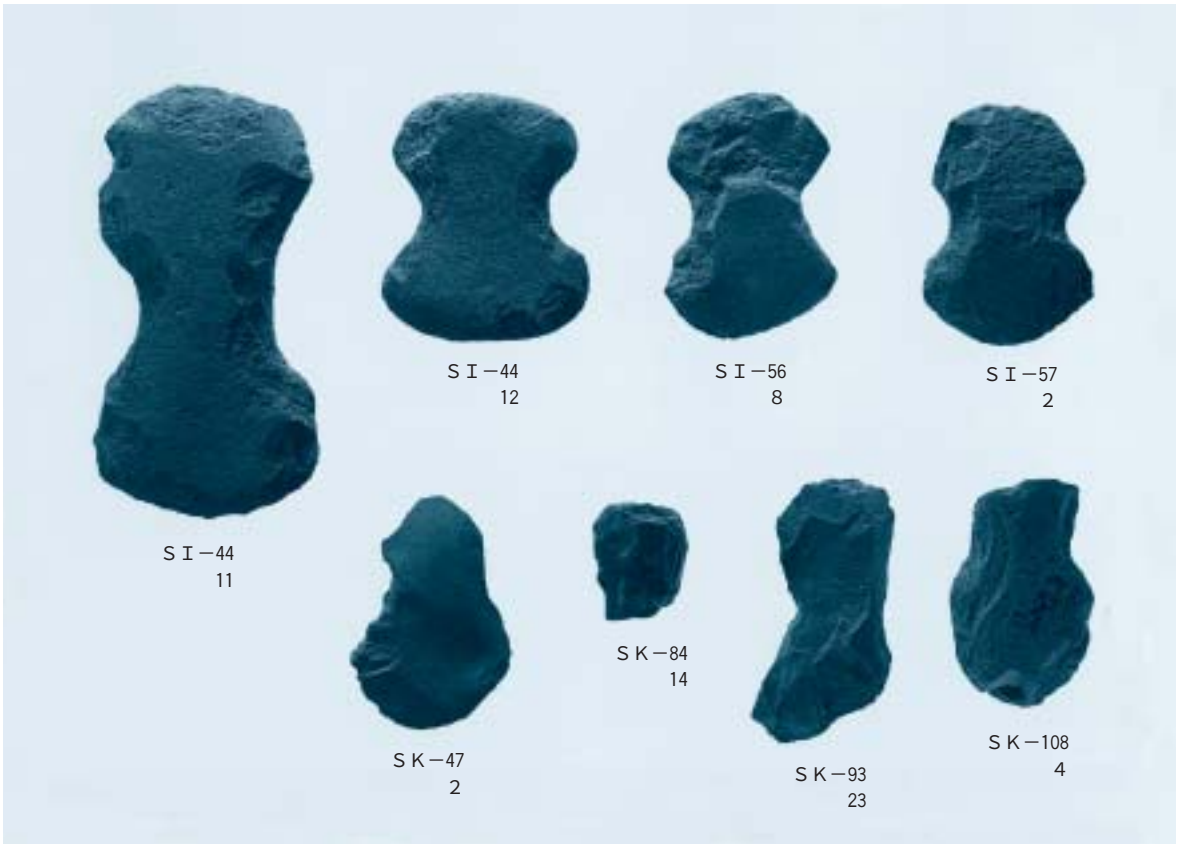
石匙・石錘・石核


SK－49
2
SK－66ab
3
SK－82
4
SK－118
5
SK－160
5
SK－166
10
SK－191
7
SK－244
6

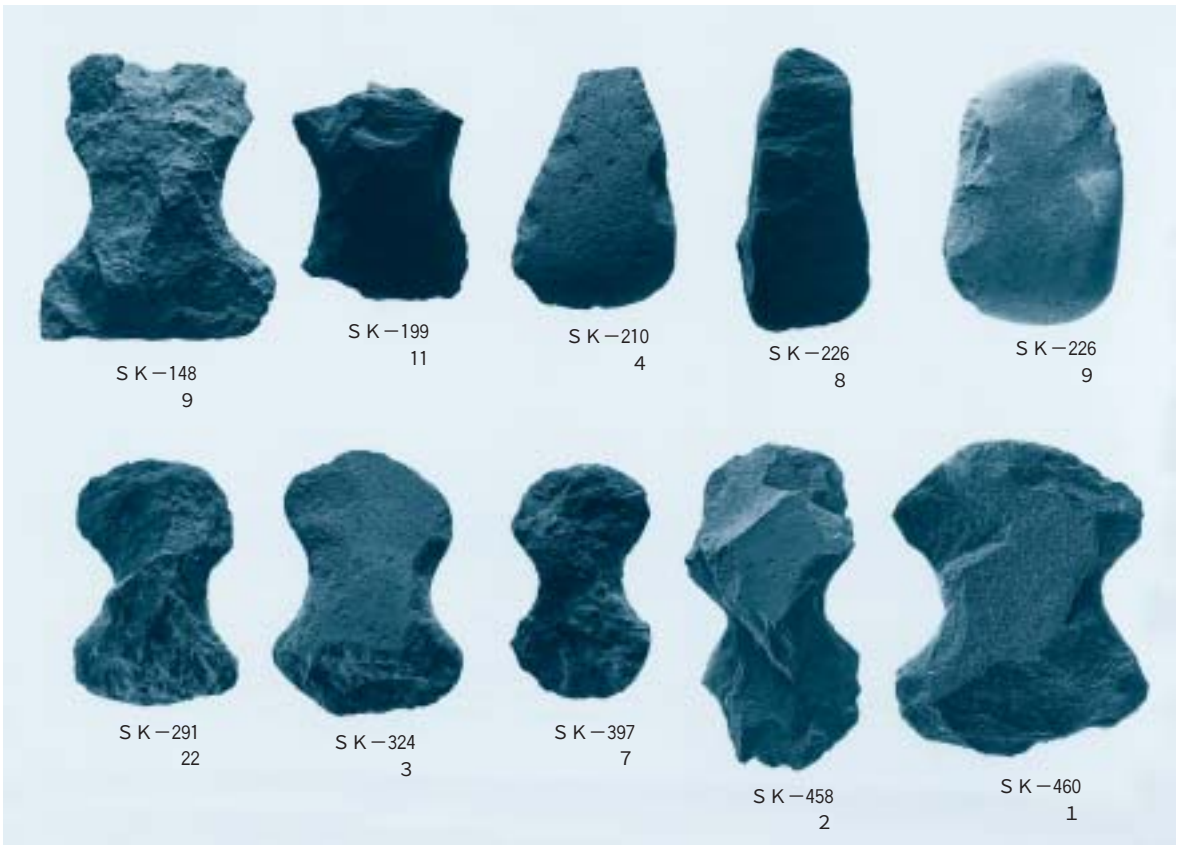
磨製石斧


SK－478
6
SK－818
5
SK－939
4
SK－1038
3
SK－1118
11
SK－1188
3
SK－1263
20
外21
外22

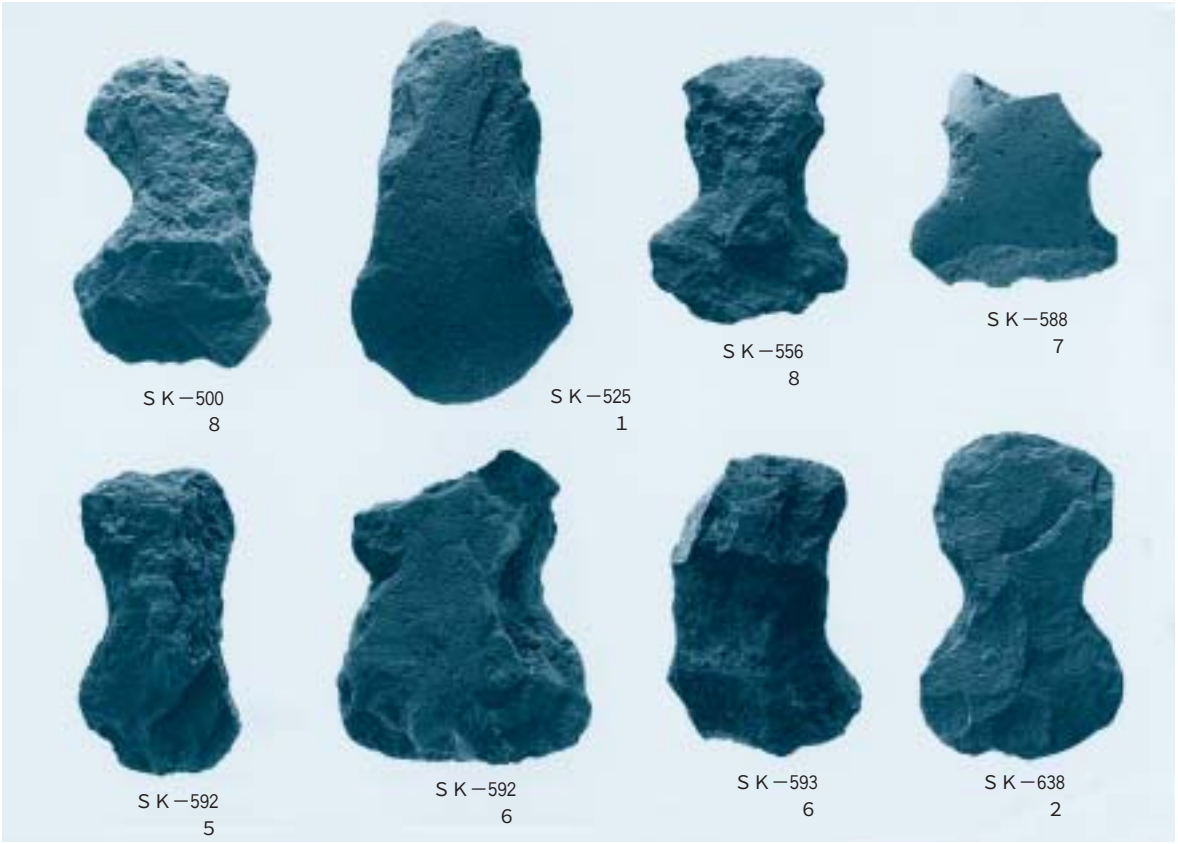
磨製石斧


ＳＩ－44
11
ＳＩ－44
12
ＳＩ－56
8
ＳＩ－57
2
ＳＫ－47
2
ＳＫ－84
14
ＳＫ－93
23
ＳＫ－108
4

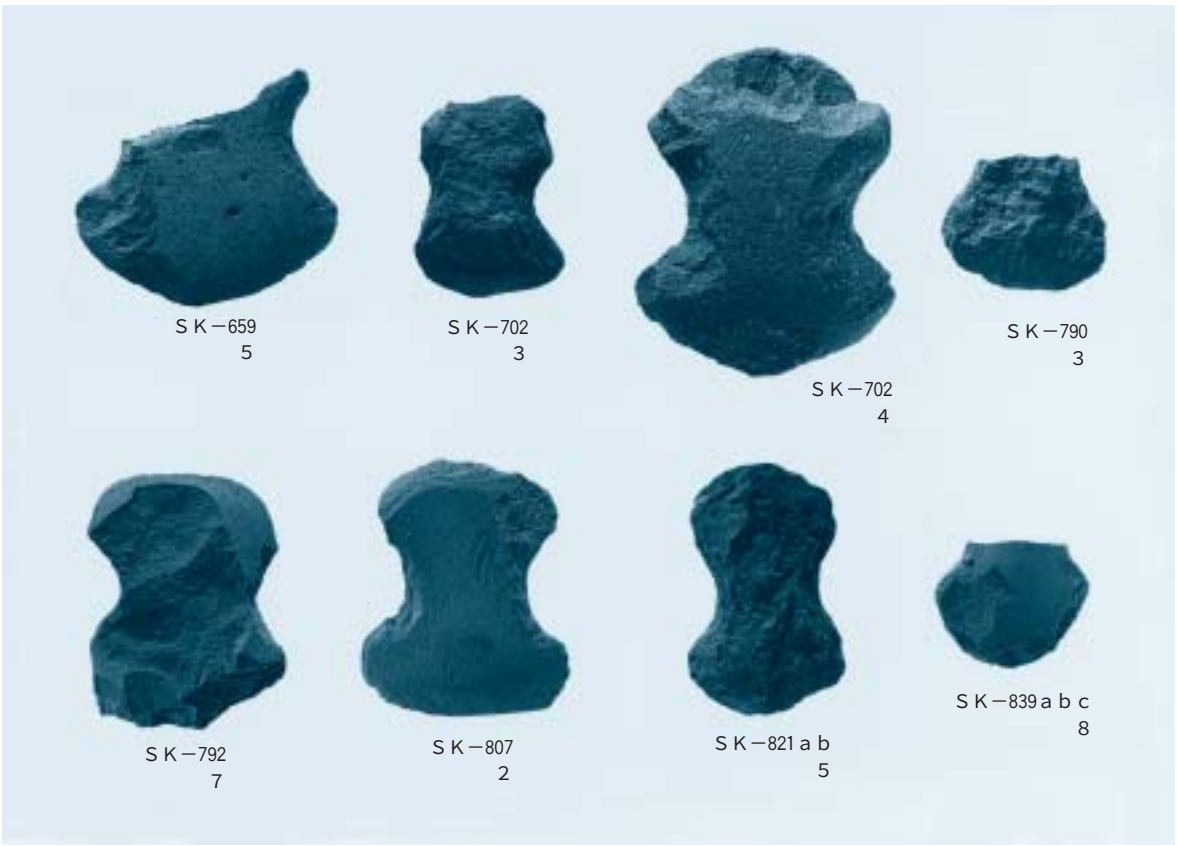
打製石斧


ＳＫ－148
9
ＳＫ－199
11
ＳＫ－210
4
ＳＫ－226
8
ＳＫ－226
9
ＳＫ－291
22
ＳＫ－324
3
ＳＫ－397
7
ＳＫ－458
2
ＳＫ－460
1

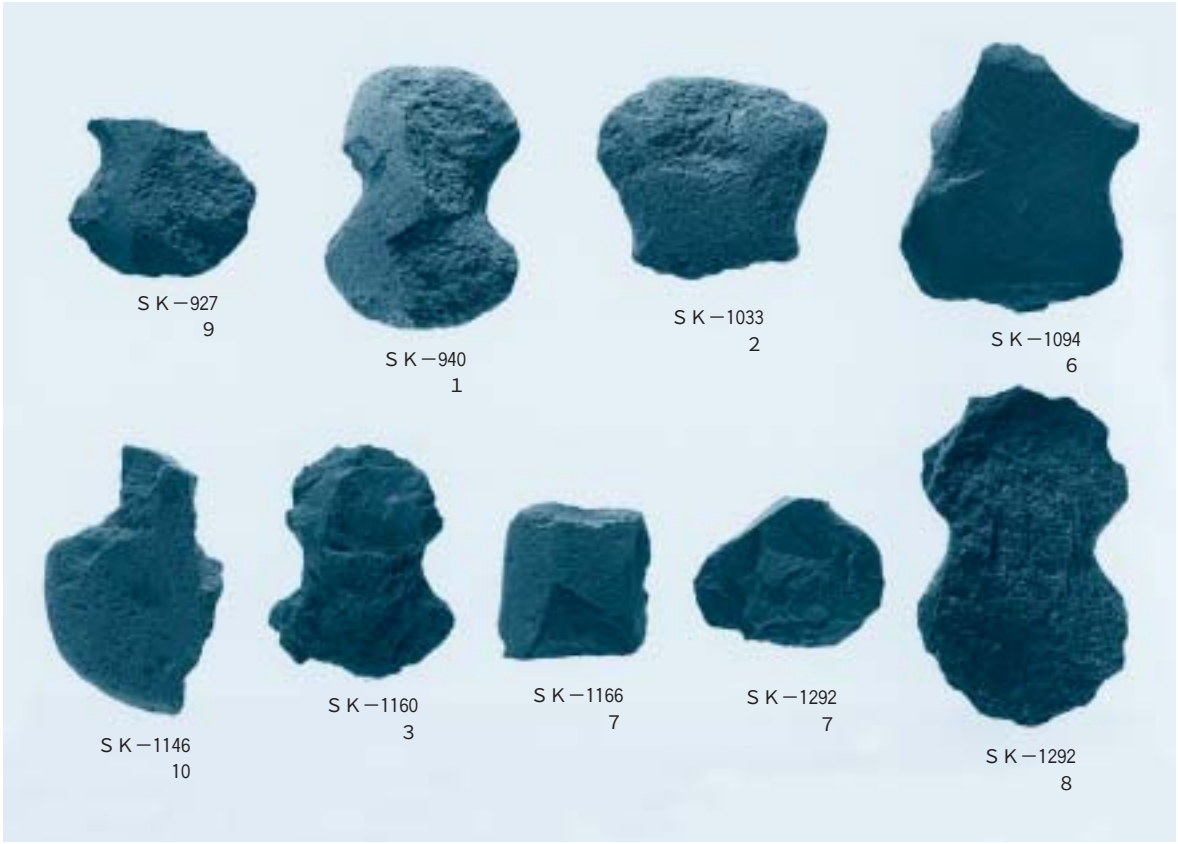
打製石斧


SK－500 8
SK－525 1
SK－556 8
SK－588 7
SK－592 5
SK－592 6
SK－593 6
SK－638 2

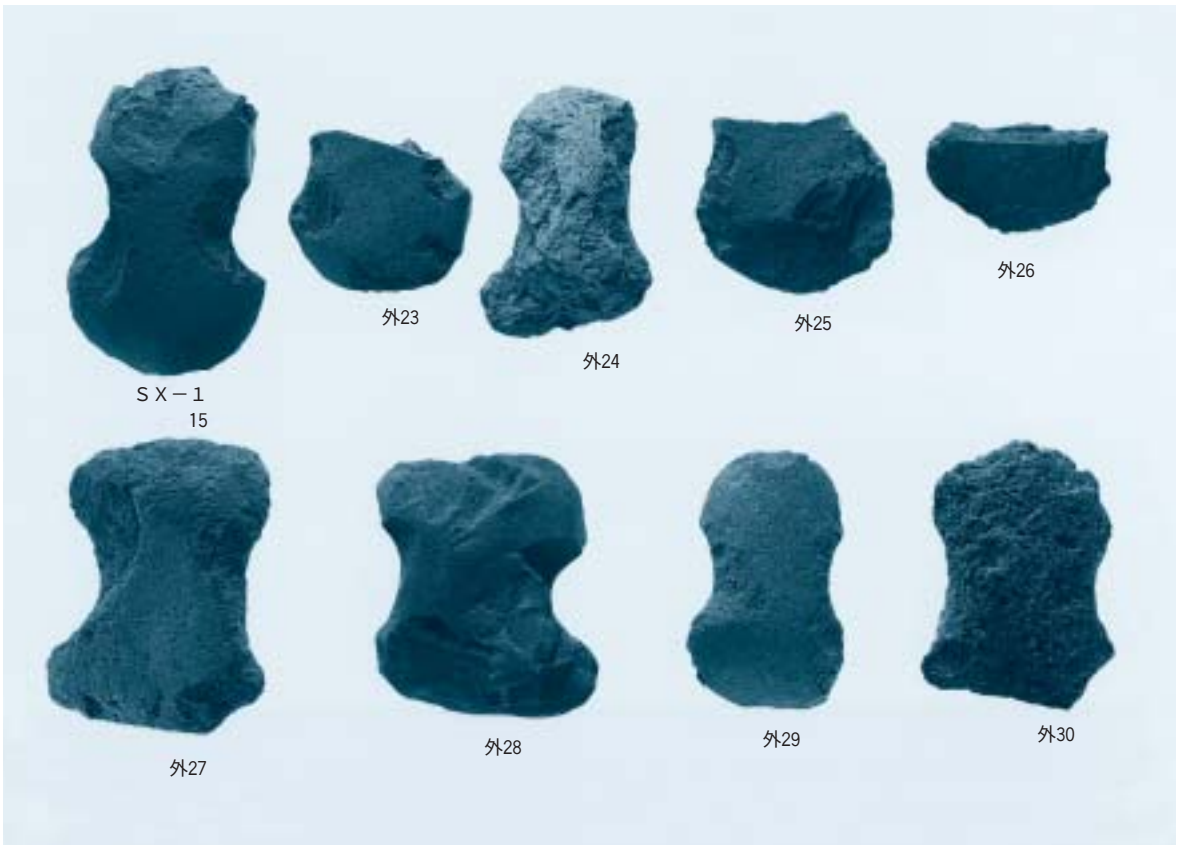
打製石斧


SK－659 5
SK－702 3
SK－702 4
SK－790 3
SK－792 7
SK－807 2
SK－821 a b 5
SK－839 a b c 8

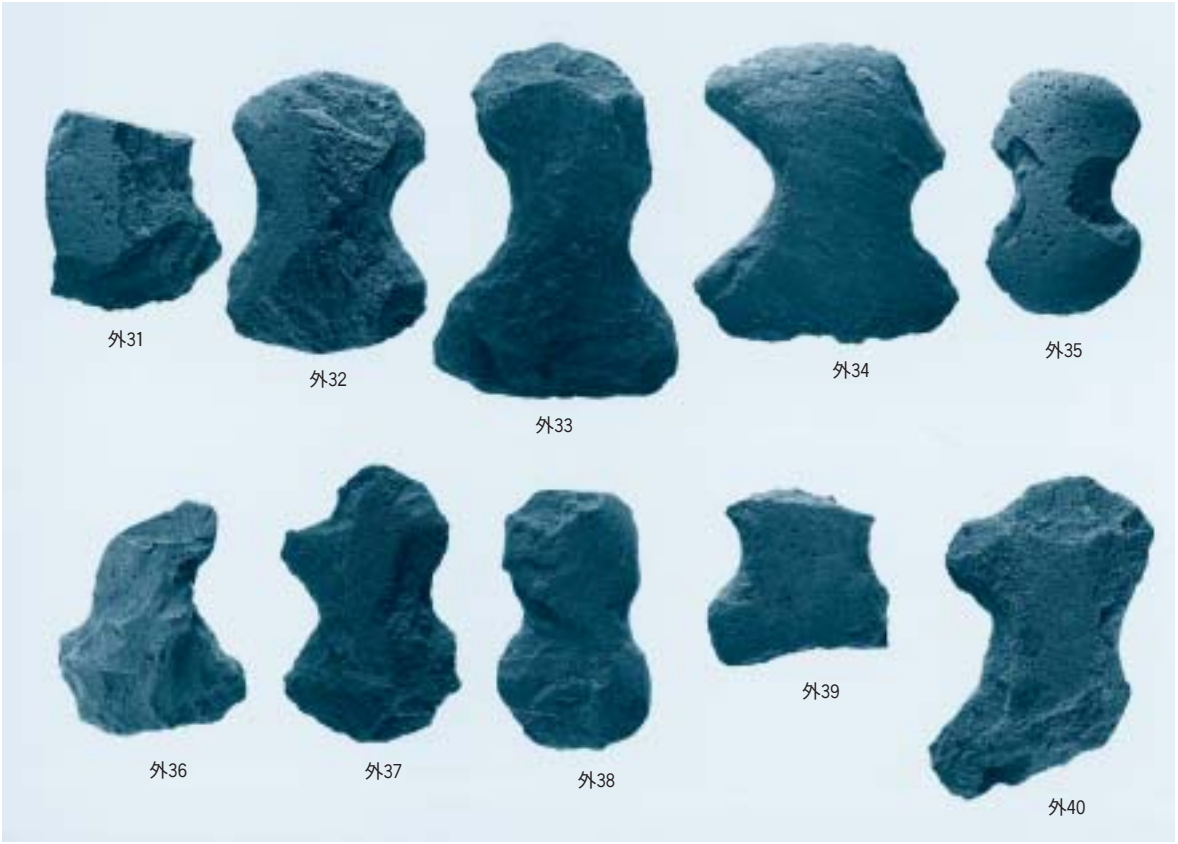
打製石斧


ＳＫ－927
9
ＳＫ－940
1
ＳＫ－1033
2
ＳＫ－1094
6
ＳＫ－1146
10
ＳＫ－1160
3
ＳＫ－1166
7
ＳＫ－1292
7
ＳＫ－1292
8

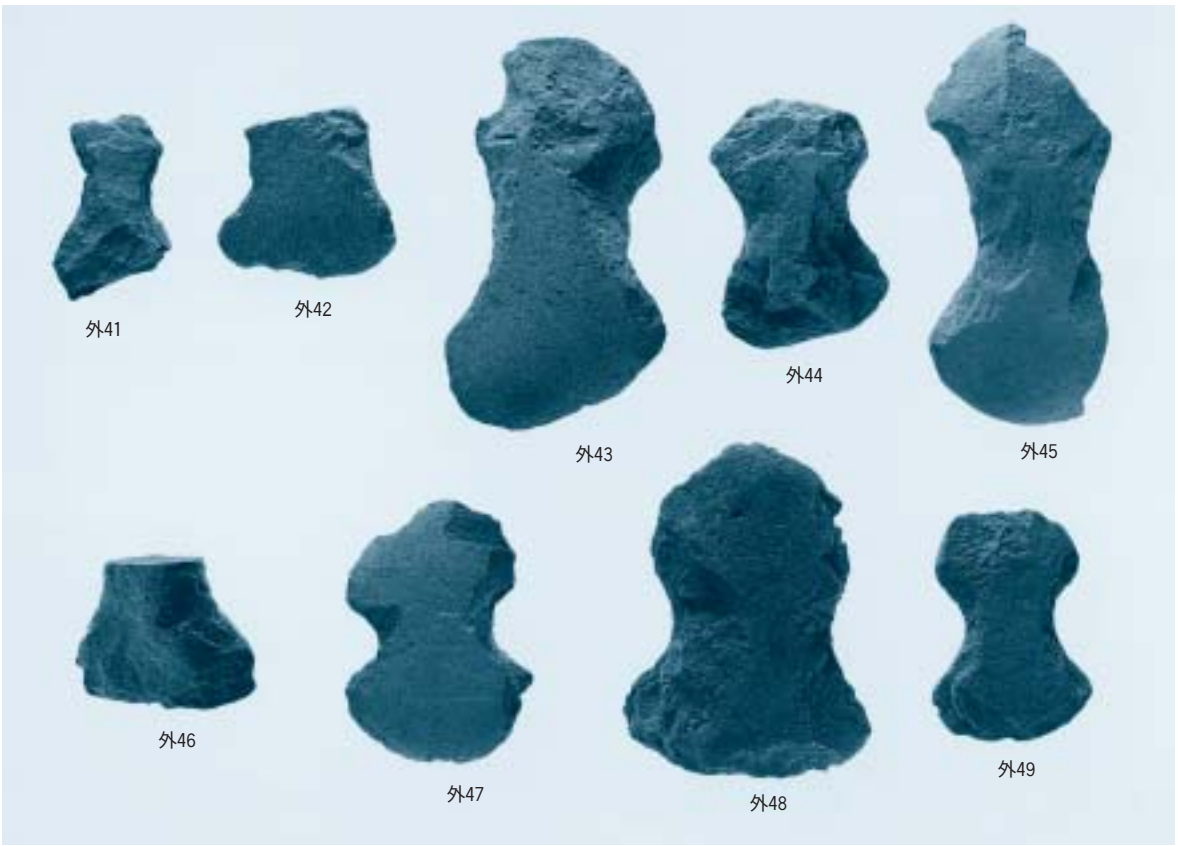
打製石斧


ＳＸ－１
15
外23
外24
外25
外26
外27
外28
外29
外30

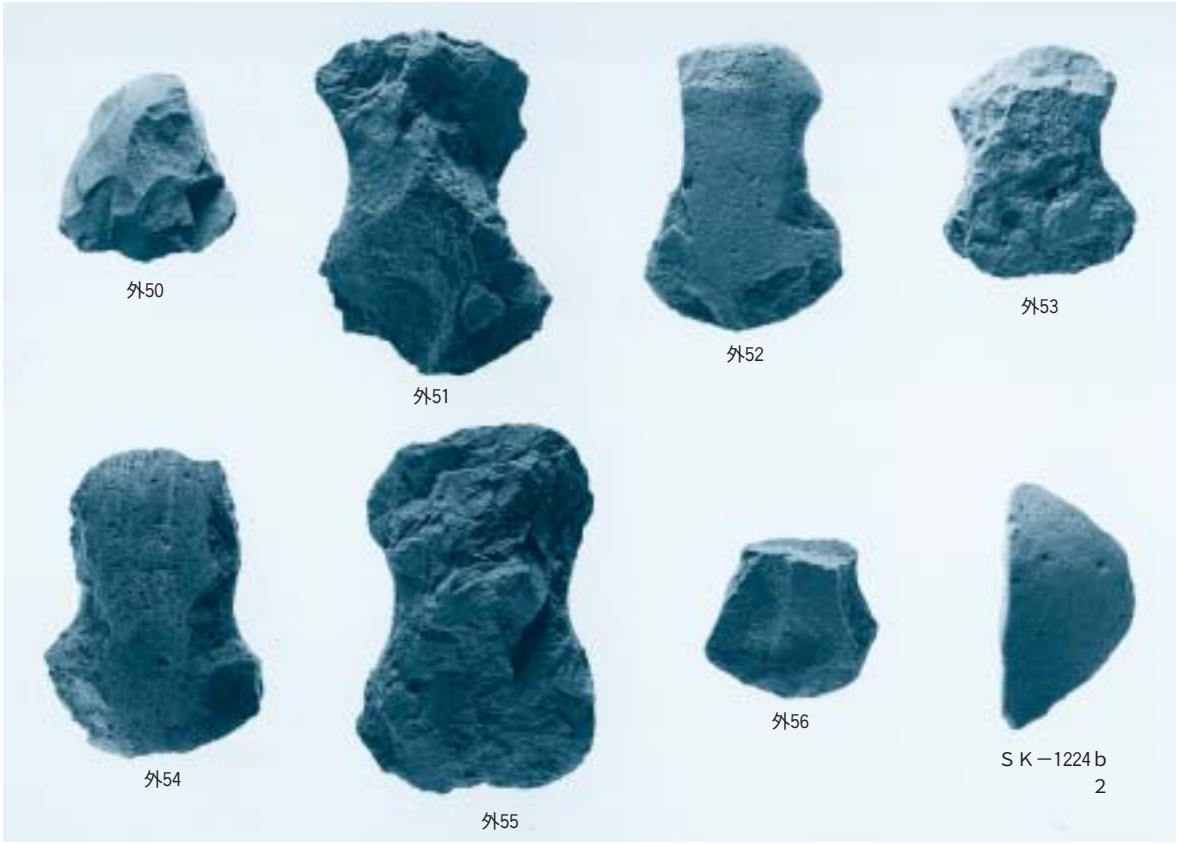
打製石斧


外31
外32
外33
外34
外35
外36
外37
外38
外39
外40

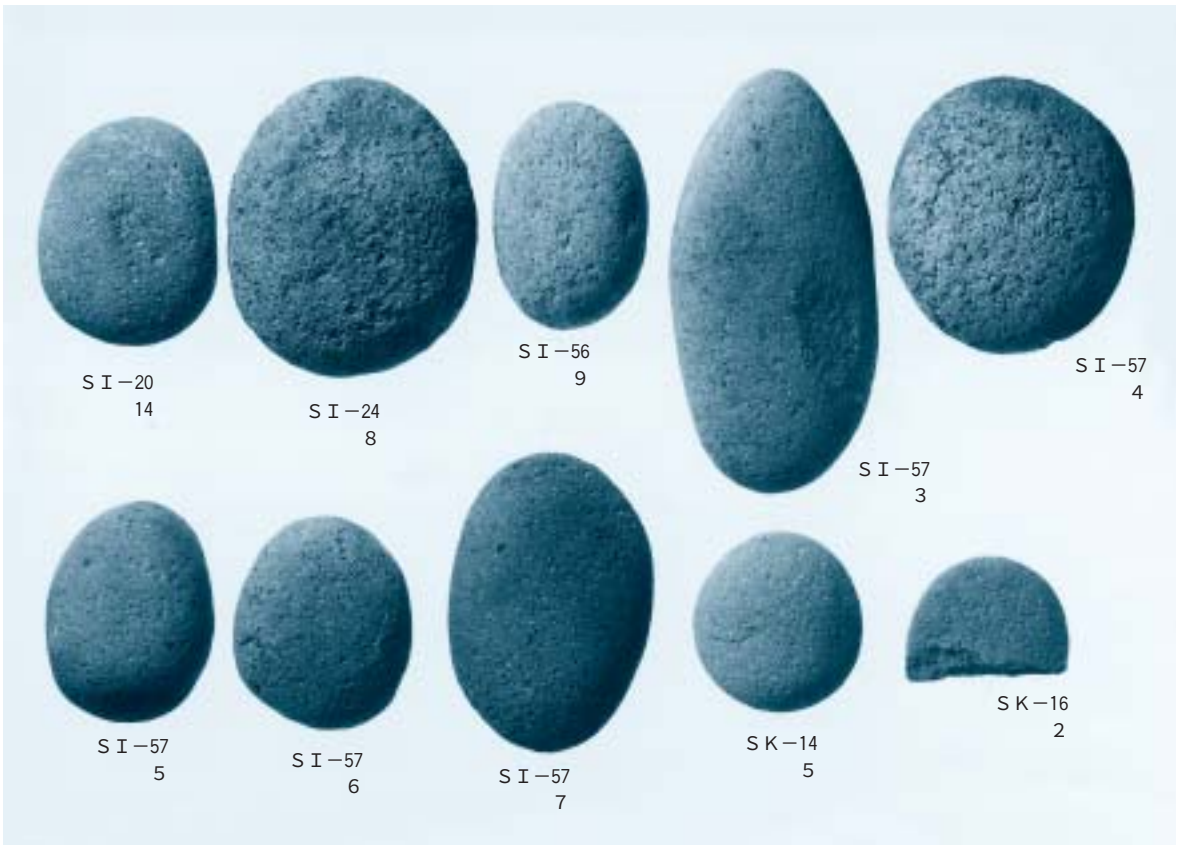
打製石斧


外41
外42
外43
外44
外45
外46
外47
外48
外49

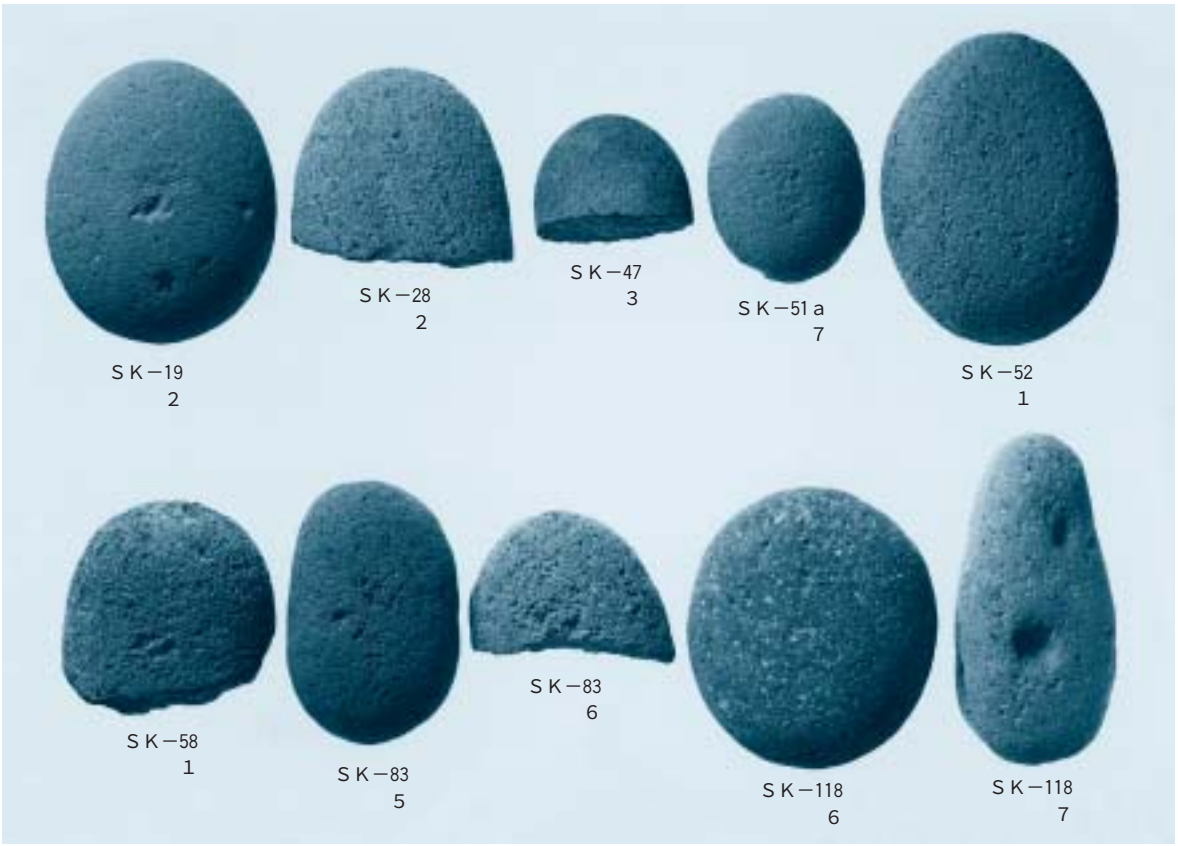
打製石斧


外50
外51
外52
外53
外54
外55
外56
ＳＫ－1224ｂ
2

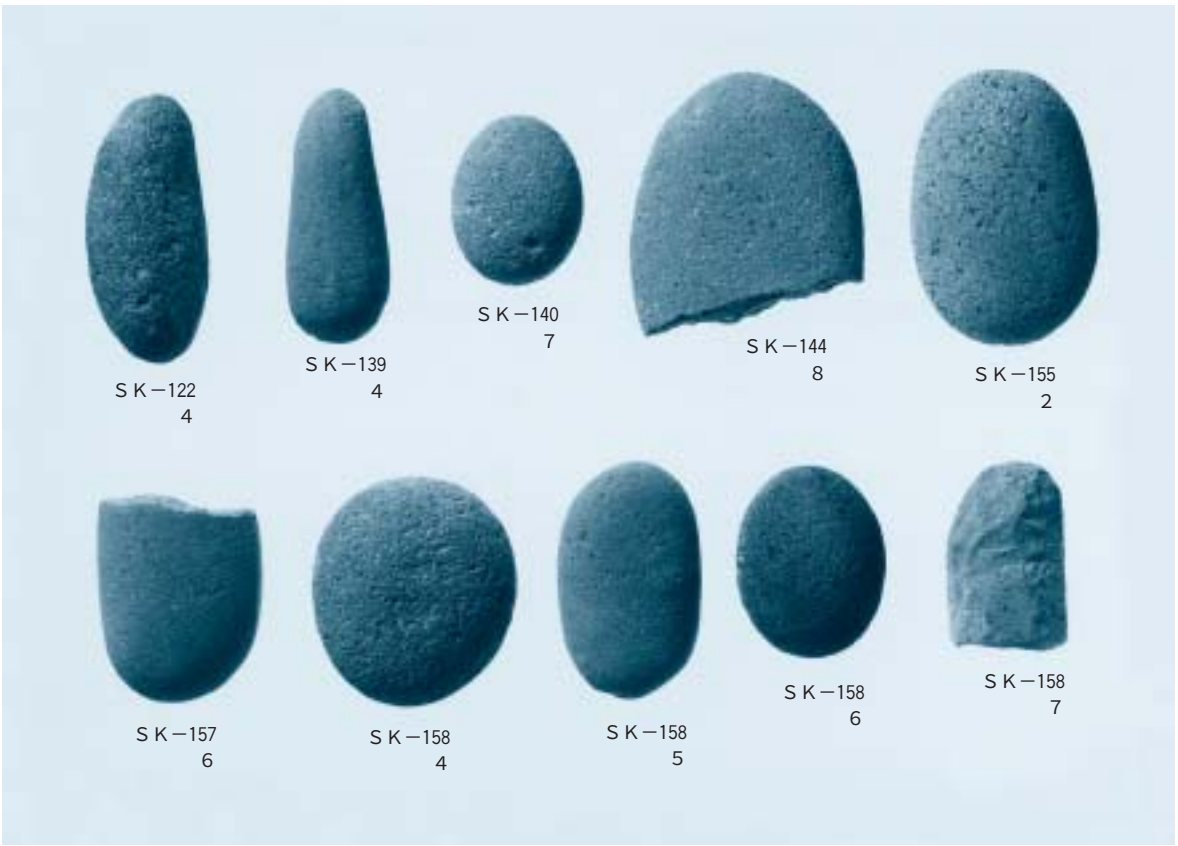
打製石斧・礫器


ＳＩ－20
14
ＳＩ－24
8
ＳＩ－56
9
ＳＩ－57
3
ＳＩ－57
4
ＳＩ－57
5
ＳＩ－57
6
ＳＩ－57
7
ＳＫ－14
5
ＳＫ－16
2

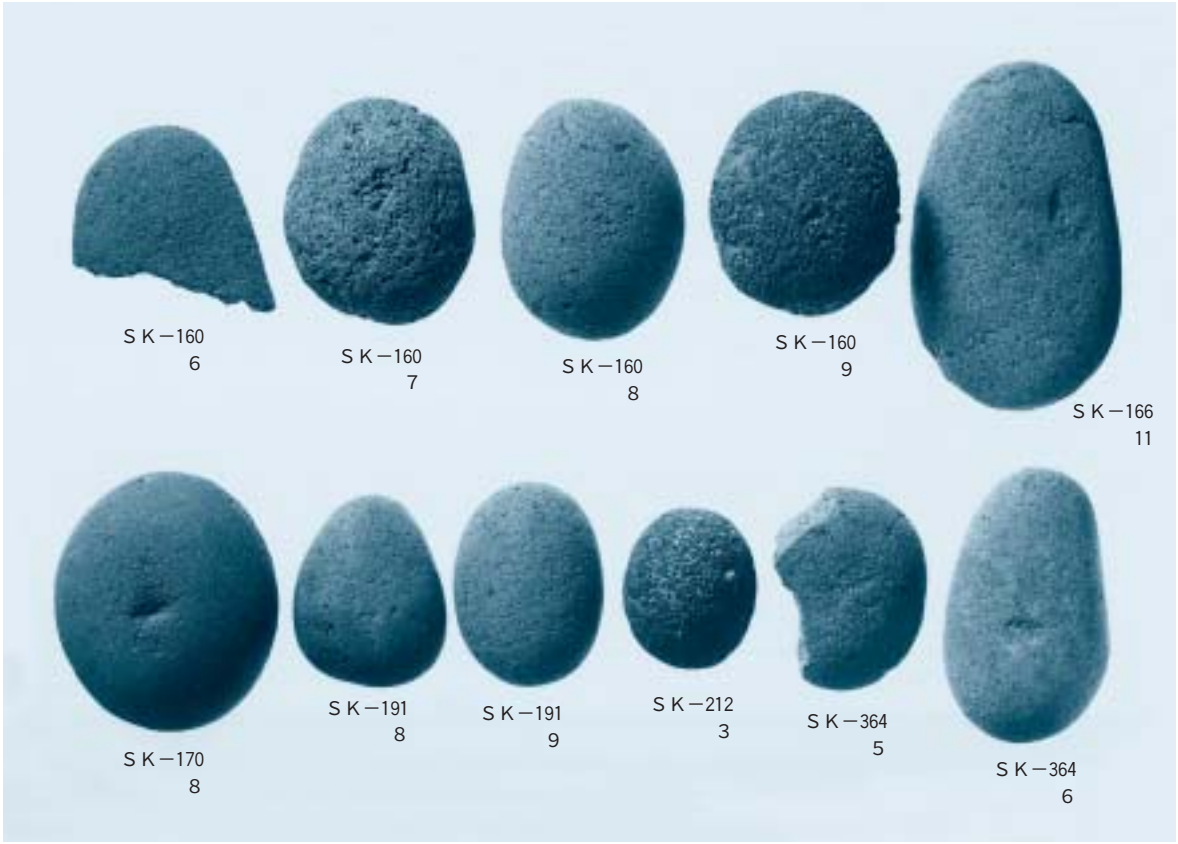
磨石


SK－19
2
SK－28
2
SK－47
3
SK－51a
7
SK－52
1
SK－58
1
SK－83
5
SK－83
6
SK－118
6
SK－118
7

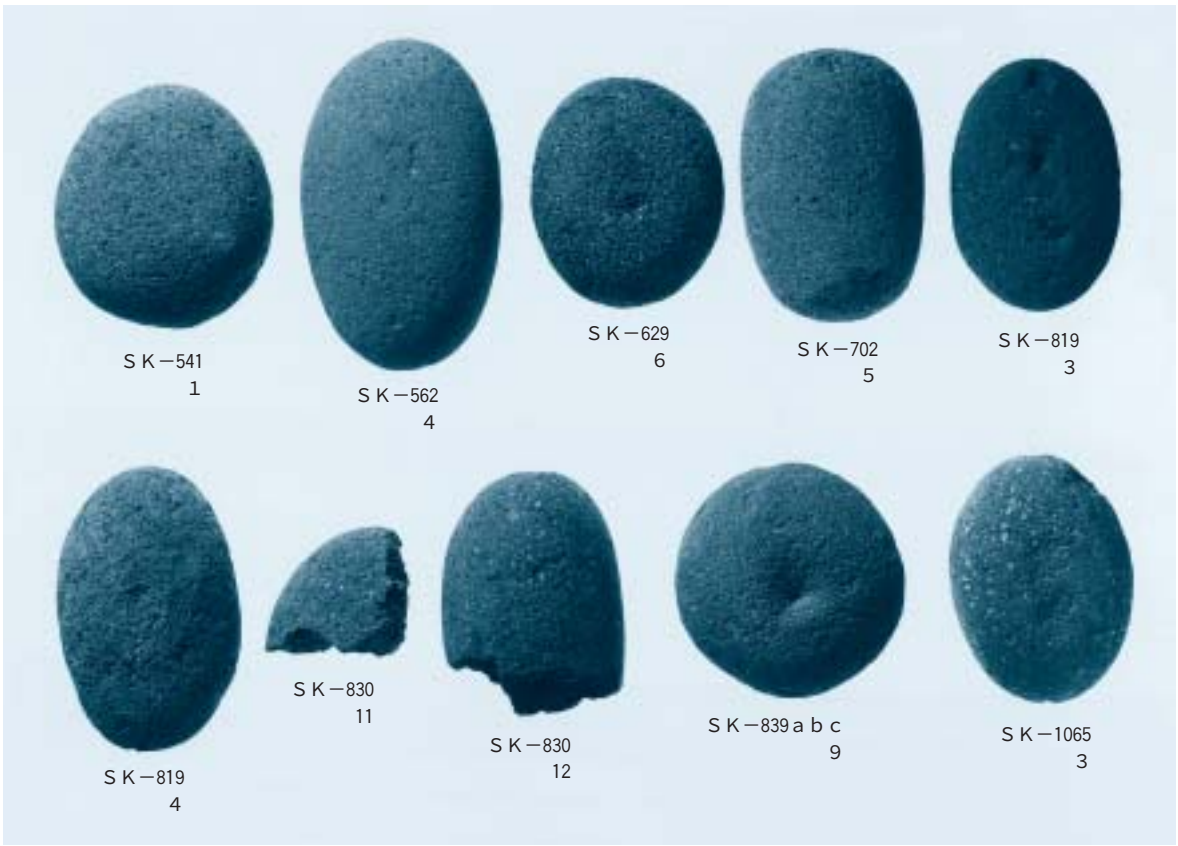
磨石


SK－122
4
SK－139
4
SK－140
7
SK－144
8
SK－155
2
SK－157
6
SK－158
4
SK－158
5
SK－158
6
SK－158
7

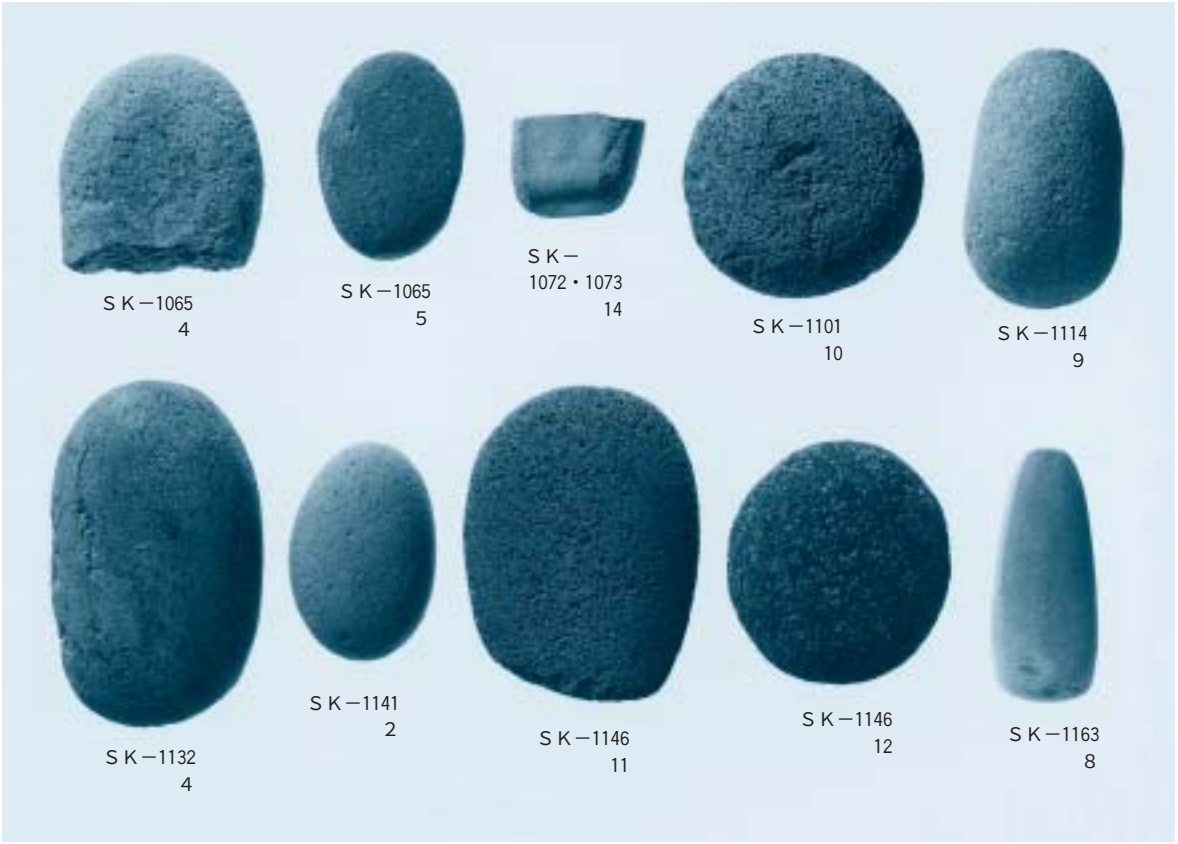
磨石


SK－1606
SK－1607
SK－1608
SK－1609
SK－16611
SK－1708
SK－1918
SK－1919
SK－2123
SK－3645
SK－3646

磨石


SK－5411
SK－5624
SK－6296
SK－7025
SK－8193
SK－8194
SK－83011
SK－83012
SK－839abc9
SK－10653

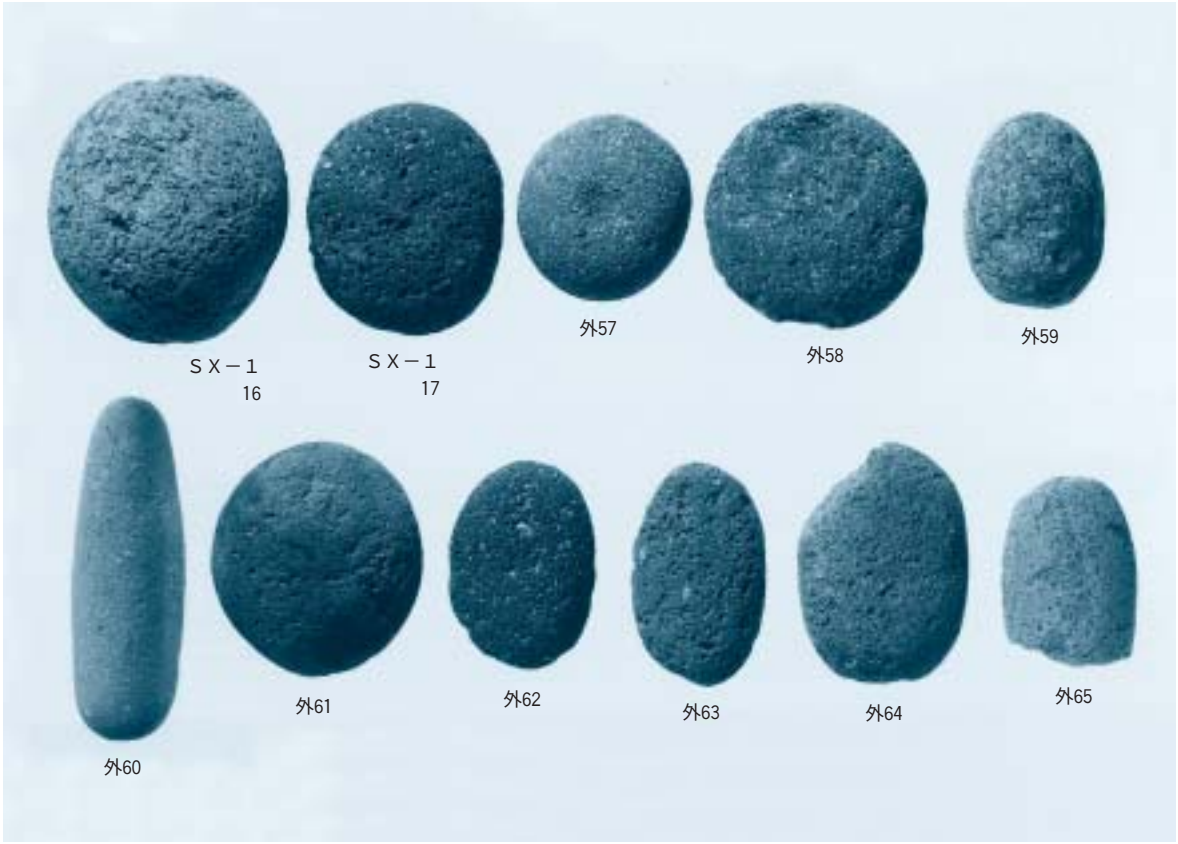
磨石


SK－1065 4
SK－1065 5
SK－1072・1073 14
SK－1101 10
SK－1114 9
SK－1132 4
SK－1141 2
SK－1146 11
SK－1146 12
SK－1163 8

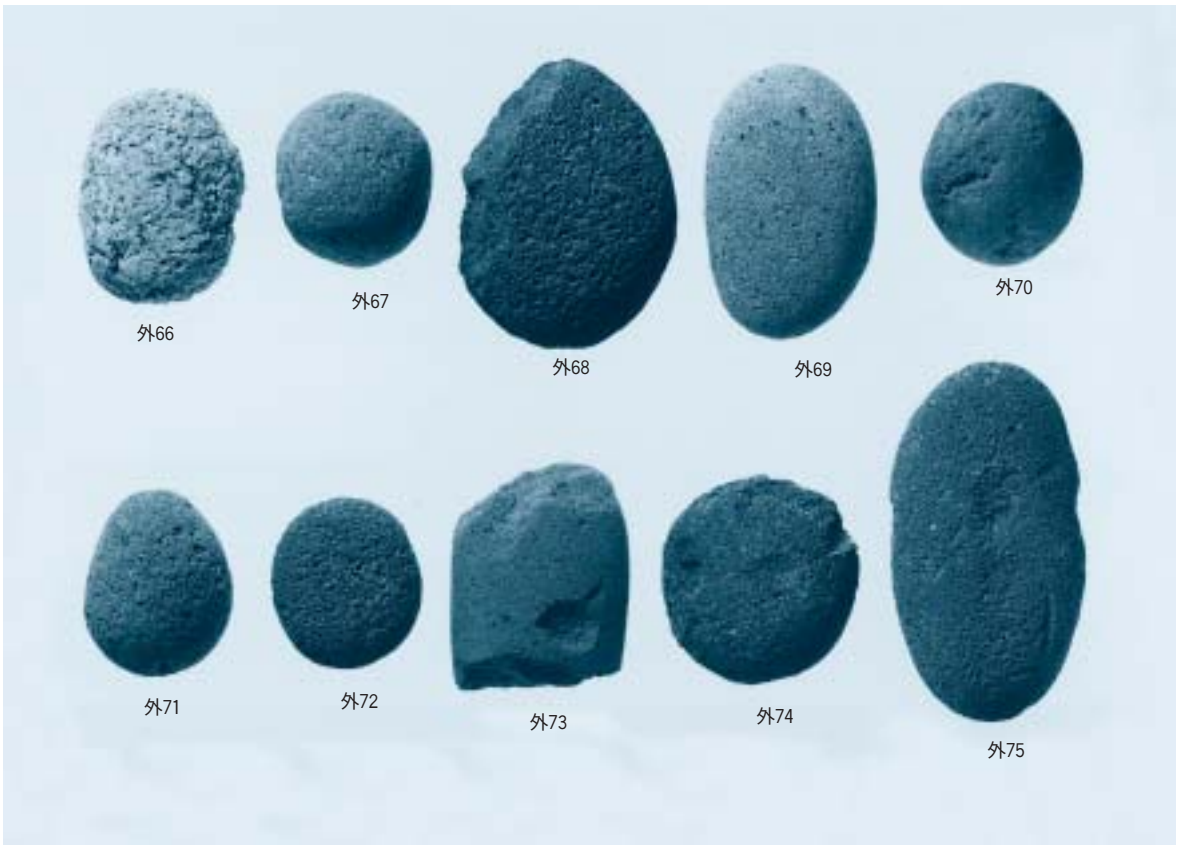
磨石


SK－1163 9
SK－1180 4
SK－1188 4
SK－1194 4
SK－1200 4
SK－1223 6
SK－1223 7
SK－1286 6
SK－1300 1
SK－1318ab 2
SK－1324 5

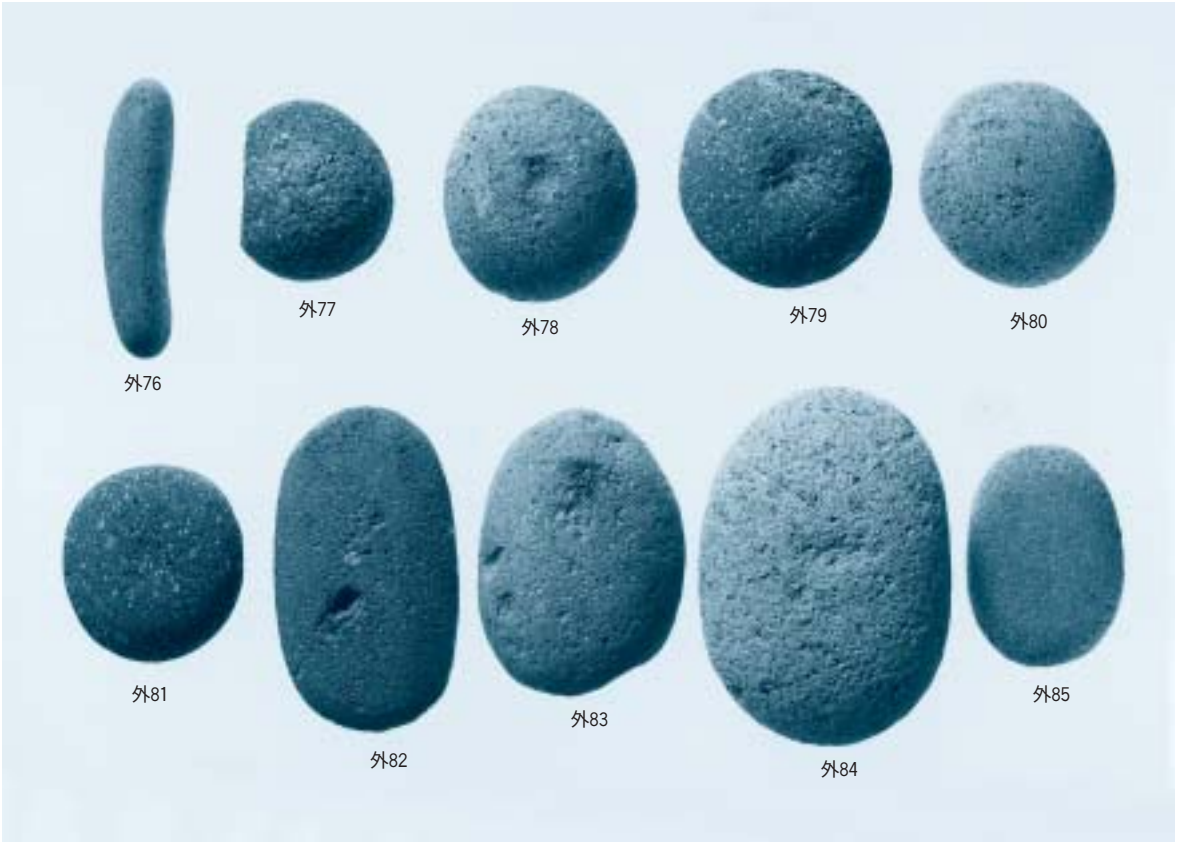
磨石


ＳＸ－１
16
ＳＸ－１
17
外57
外58
外59
外60
外61
外62
外63
外64
外65

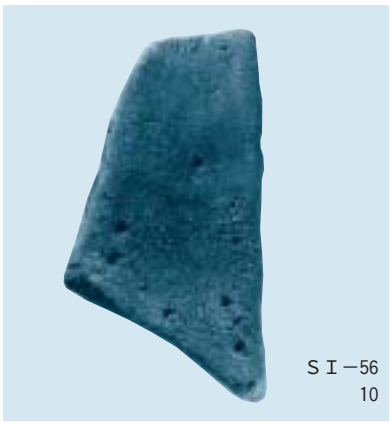
磨石


外66
外67
外68
外69
外70
外71
外72
外73
外74
外75

磨石


外76
外77
外78
外79
外80
外81
外82
外83
外84
外85

磨石


ＳＩ－56
10


ＳＫ－62
1


ＳＫ－84
15


ＳＫ－111
1


ＳＫ－116
4


ＳＫ－133
10

石皿

図版一二二　縄文時代（遺物）


SK－142
6


SK－160
10


SK－160
11


SK－160
12


SK－166
12


SK－171
6

石皿


SK－184
8


SK－211ac
6


SK－713
5

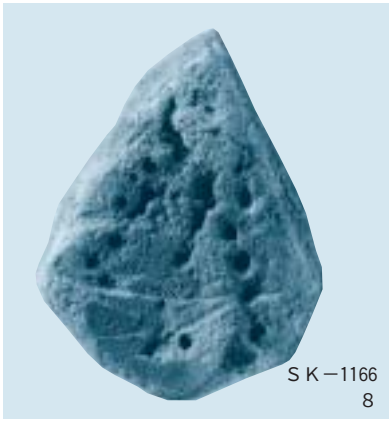

SK－713
6


SK－890
4


SK－1058
11

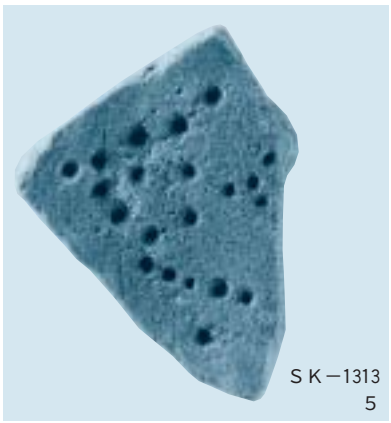
石皿


ＳＫ－1146
13


ＳＫ－1166
8


ＳＫ－1223
8


ＳＫ－1273
9


ＳＫ－1313
5


ＳＫ－1324
6

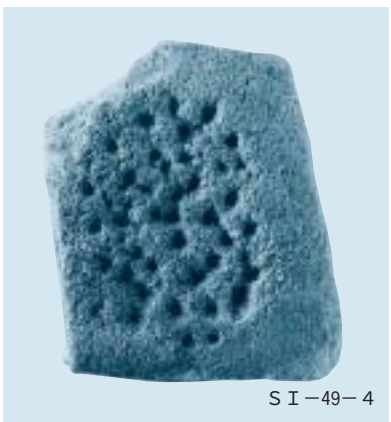
石皿


外89


外92


外94


ＳＩ－24
10

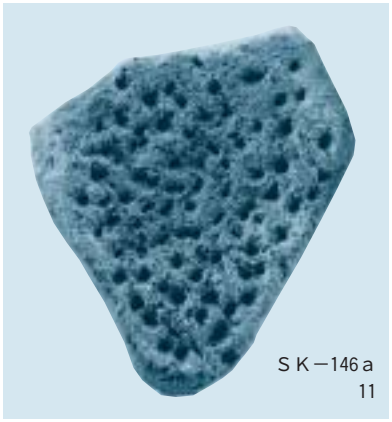

ＳＩ－49－４


ＳＫ－90
19

石皿・台石

図版一二四　縄文時代（遺物）

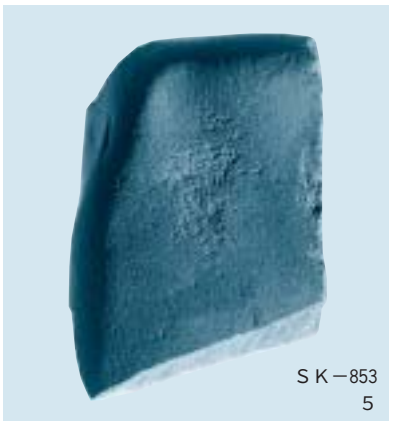

SK－128
1


SK－146a
11

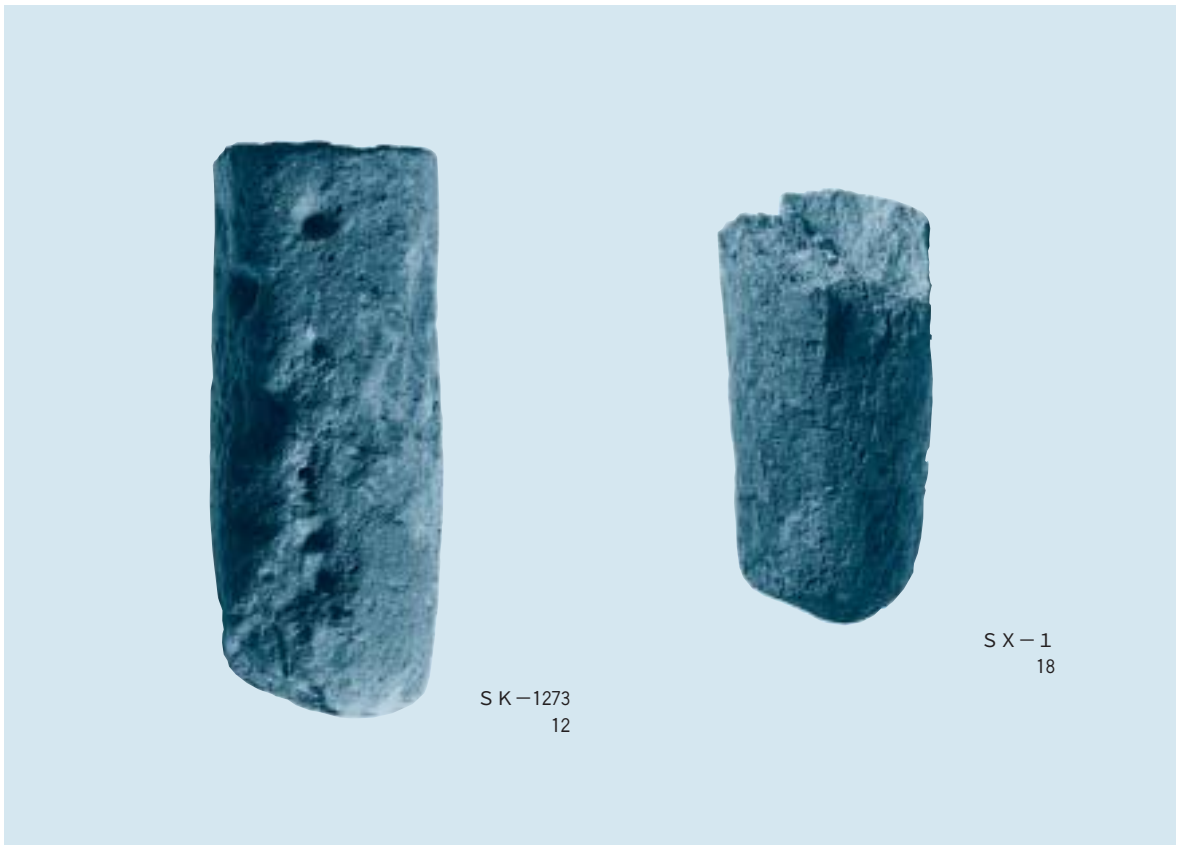

SK－1220
4


SK－1325
4


外113


SK－853
5

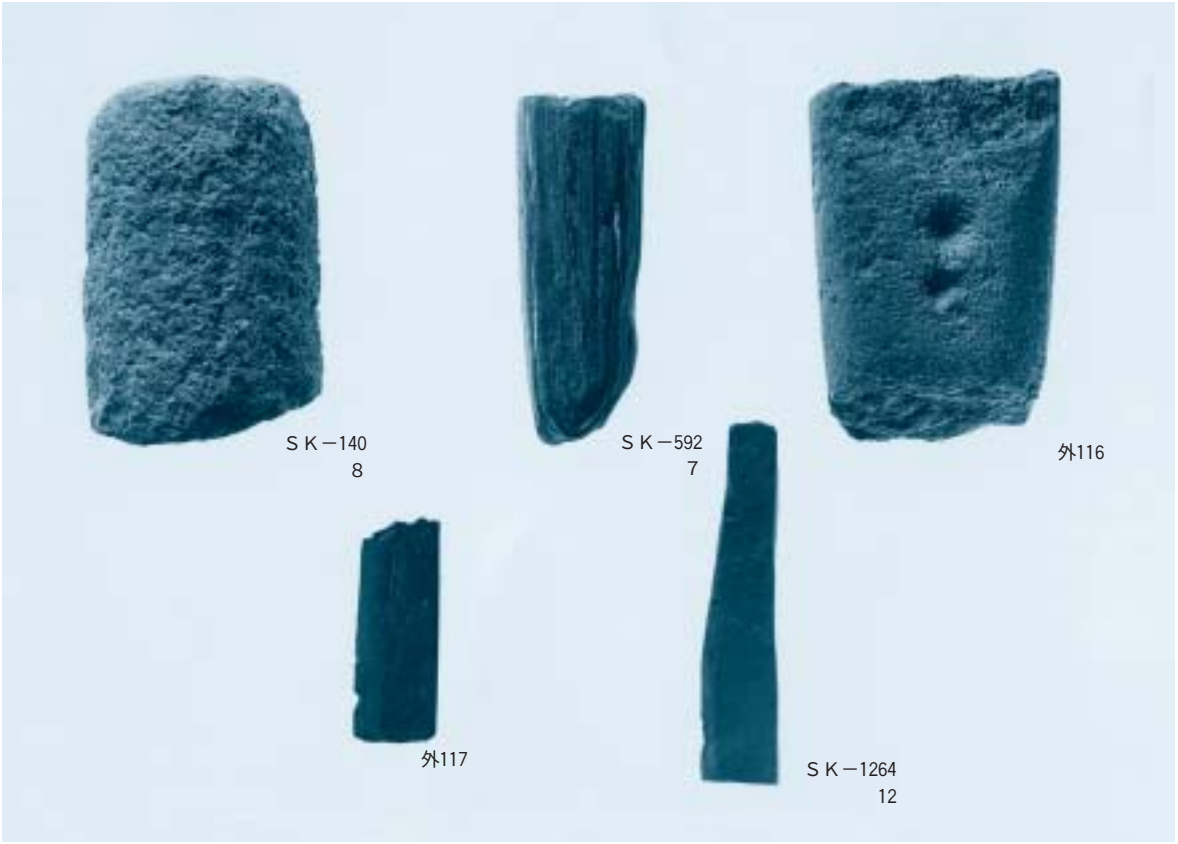
台石


SK－1273
12

SX－1
18

石棒

図版一二五　縄文時代（遺物）・圃場整備事業前後の状況



石棒・石剣・石製品



圃場整備事業前の状況（東より）



圃場整備事業前の状況（南西より）



圃場整備事業後の状況（東より）



圃場整備事業後の状況（南より）



ＳＩ－１（南より）



ＳＩ－１カマド（南より）



ＳＩ－１掘り方（南西より）



ＳＩ－１調査状況（北西より）



ＳＩ－３（南より）



ＳＩ－３カマド（南より）



ＳＩ－３掘り方（南より）



ＳＩ－４（南東より）



調査区中央から東部（北西より）



ＳＩ－５ａｂ（南より）



ＳＩ－５ａカマド（南より）



ＳＩ－５ｂ遺物（24）出土状態（北より）



ＳＩ－５ａｂ調査状況（南西より）



ＳＩ－６（南より）



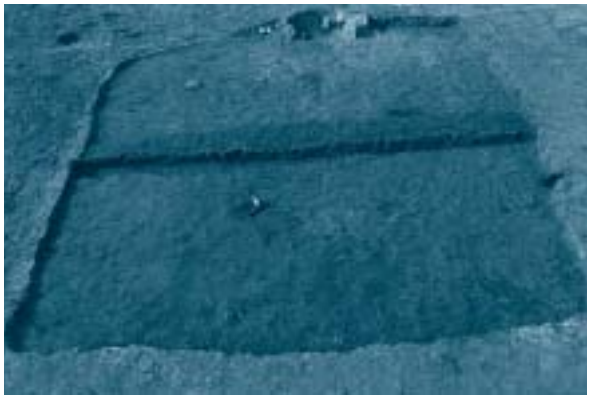
ＳＩ－６カマド（南より）



ＳＩ－６遺物（２・３・６）出土状態（南西より）



ＳＩ－７・９（南より）



ＳＩ－８（南より）



ＳＩ－８カマド（南より）



ＳＩ－10（北東より）



ＳＩ－11（北より）



ＳＩ－12（南より）



ＳＩ－12遺物（１）出土状態（南西より）



ＳＩ－13（南より）



ＳＩ－14（南より）



ＳＩ－14床下（南東より）



ＳＩ－15（南より）



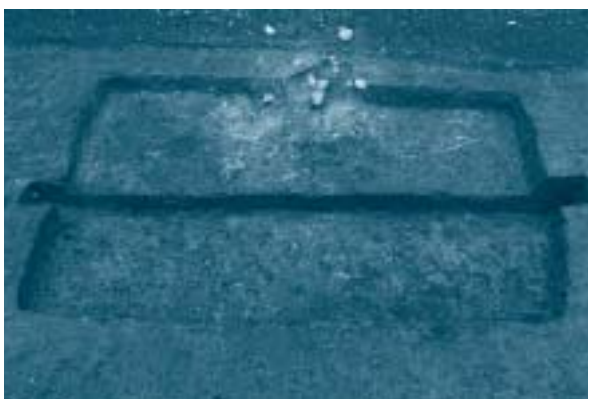
Ｄ－９グリッド周辺調査状況（東より）



ＳＩ－16・19（南より）



ＳＩ－16・19カマド（南より）



ＳＩ－18（南より）



ＳＩ－18カマド（南より）



ＳＩ－23（南より）



ＳＩ－25（南より）



ＳＩ－25カマド（南より）



ＳＩ－25掘り方（南東より）



ＳＩ－26（南より）



ＳＩ－28（南より）



ＳＩ－28カマド（西より）



ＳＩ－28遺物（４）出土状態（南西より）



ＳＩ－29（南西より）



ＳＩ－29カマド遺物（１・２・６）出土状態（南西より）



ＳＩ－29Ｐ１遺物（５・７）出土状態（南より）



ＳＩ－29Ｐ１調査状況（西より）



ＳＩ－29遺物（３・４）出土状態（北西より）



ＳＩ－30（南西より）



ＳＩ－30カマド（南西より）



ＳＩ－31（南より）



ＳＩ－31カマド（南より）



ＳＩ－31遺物（16・20）出土状態（東より）



ＳＩ－31掘り方（南東より）



ＳＩ－31・32調査状況（東より）



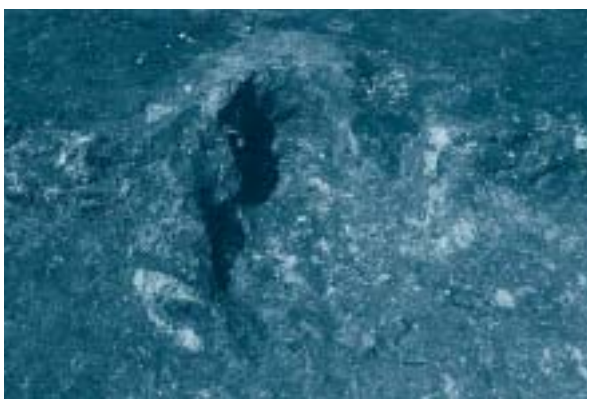
ＳＩ－32（北西より）



ＳＩ－32掘り方（南より）



ＳＩ－33（南より）



ＳＩ－33カマド（南より）



ＳＩ－33床下（南東より）



ＳＩ－34（南より）



ＳＩ－34カマド（南より）



ＳＩ－34Ｐ１・２・９（南より）



ＳＩ－35（南より）



ＳＩ－35　カマド（南より）



ＳＩ－35掘り方（南東より）



ＳＩ－36（南より）



ＳＩ－36カマド（南より）



ＳＩ－36遺物（４）出土状態（北西より）



ＳＩ－37・（43）（南より）



ＳＩ－37カマド（南より）



ＳＩ－37・43掘り方（南東より）



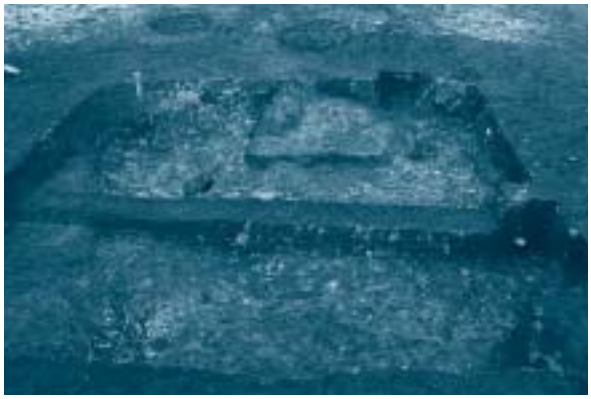
ＳＩ－38（南西より）



ＳＩ－38カマド（南より）



ＳＩ－38遺物（４）出土状態（南東より）



ＳＩ－39（南より）



ＳＩ－39カマド（南西より）



ＳＩ－40（北西より）



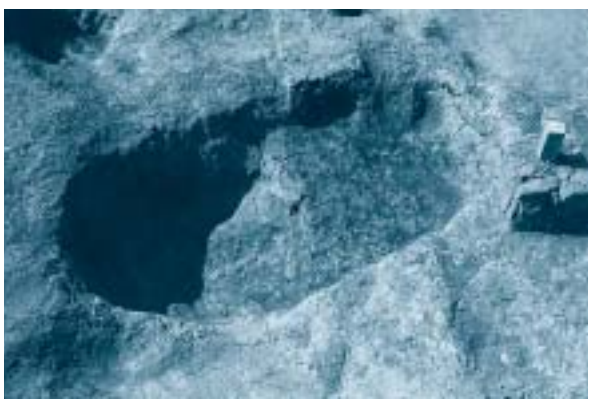
ＳＩ－40カマド（西より）



ＳＩ－41（西より）



ＳＩ－41カマド（西より）



ＳＩ－41Ｐ３（東より）



ＳＩ－42（南より）



ＳＩ－42カマド（南より）



ＳＩ－42Ｐ７（南より）



ＳＩ－45調査状況（北より）



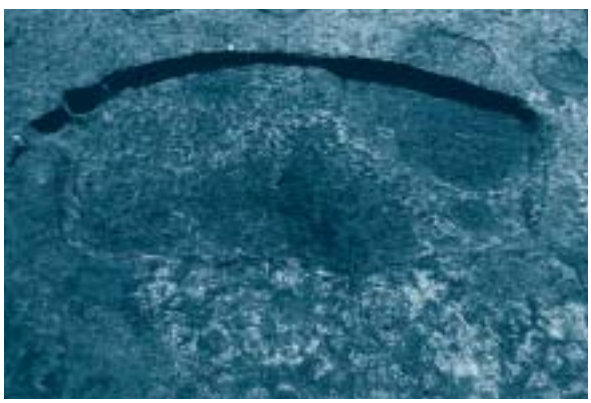
ＳＩ－45（南西より）



ＳＩ－46、ＳＫ－311～313・318・325（南西より）



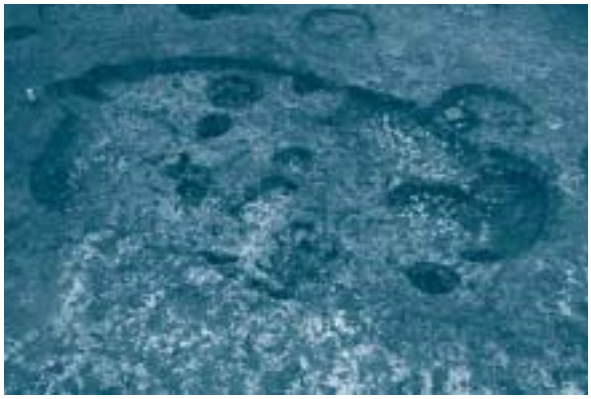
ＳＩ－48セクションＡ－Ａ’（南より）



ＳＩ－50（北より）



ＳＩ－50カマド（西より）



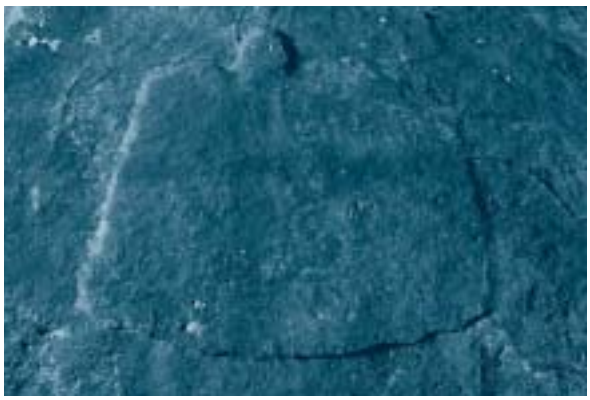
ＳＩ－50掘り方（北西より）



ＳＩ－51（南西より）



ＳＩ－51Ｐ５（南西より）



ＳＩ－53（西より）



ＳＩ－53カマド（西より）



ＳＩ－54（西より）



ＳＩ－54カマド（西より）



ＳＢ－１（南東より）



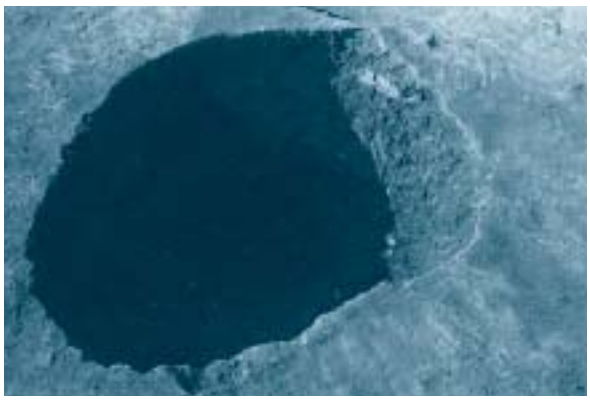
ＳＢ－２・３（南西より）



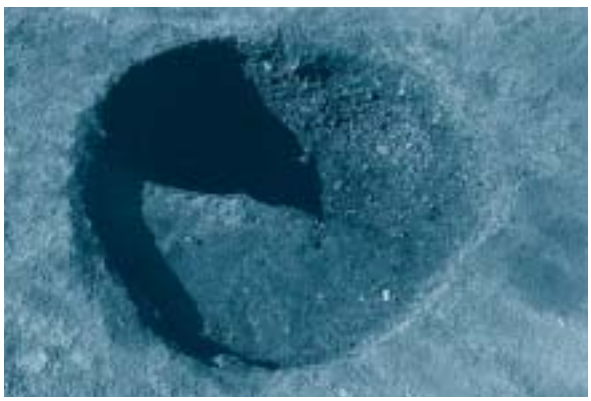
ＳＢ－２（南西より）



ＳＢ－３（南西より）



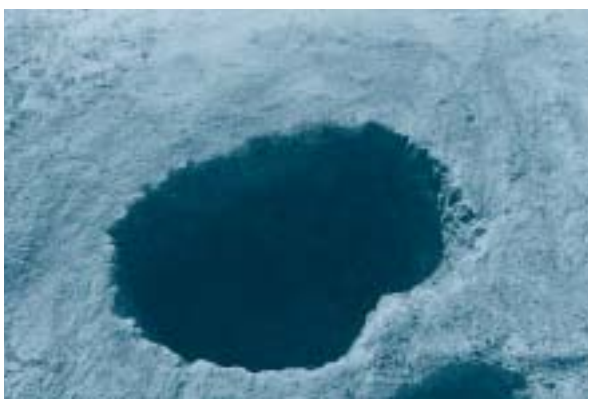
ＳＢ－２・３Ｐ１（南より）



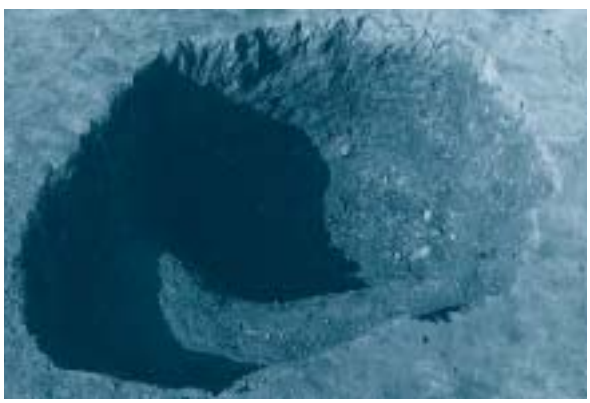
ＳＢ－２Ｐ６（南より）



ＳＢ－２Ｐ７・８、ＳＢ－３Ｐ13（南より）



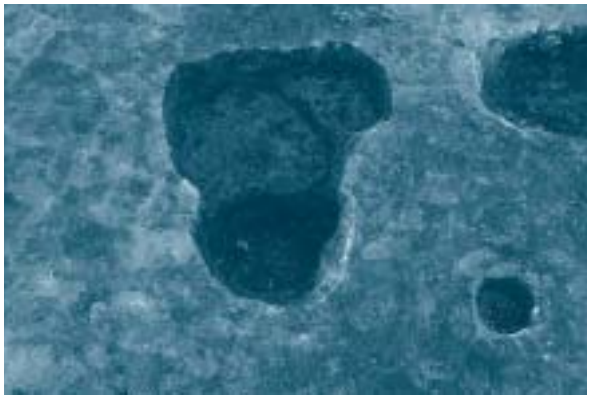
ＳＢ－２Ｐ10（東より）



ＳＢ－２・３Ｐ11（南より）



ＳＢ－４ａｂ（北西より）



ＳＢ－４ａＰ３、ＳＢ－４ｂＰ12（西より）



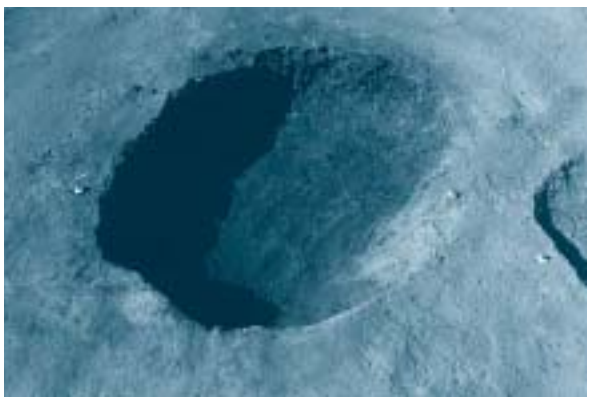
ＳＢ－７Ｐ１（西より）



ＳＢ－７Ｐ４（西より）



ＳＫ－34（南より）



ＳＫ－36（南より）



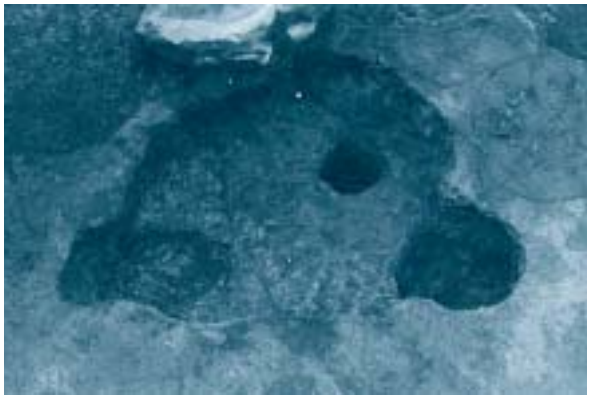
ＳＫ－37（南より）



ＳＫ－81（南より）



ＳＫ－99（北東より）



ＳＫ－200（南より）



ＳＫ－205（南より）



ＳＫ－220（南より）



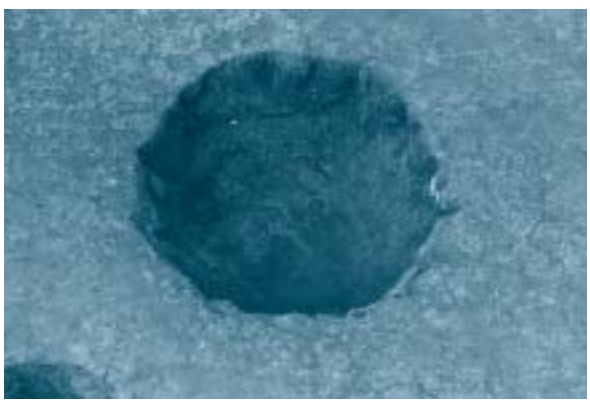
ＳＫ－240（南より）



ＳＫ－246（南より）



ＳＫ－261（東より）



ＳＫ－276（南より）



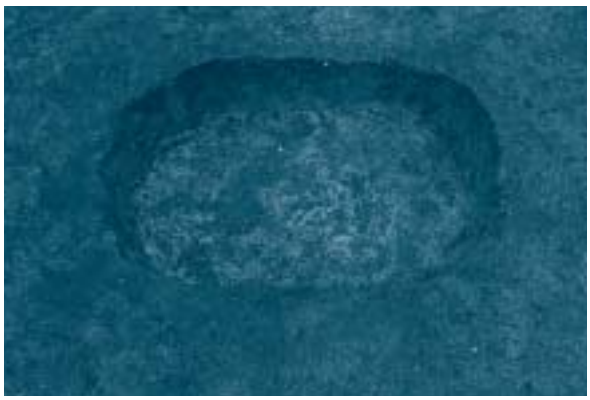
ＳＫ－279（南より）



ＳＫ－283（南より）



ＳＫ－284（南東より）



ＳＫ－295（南西より）



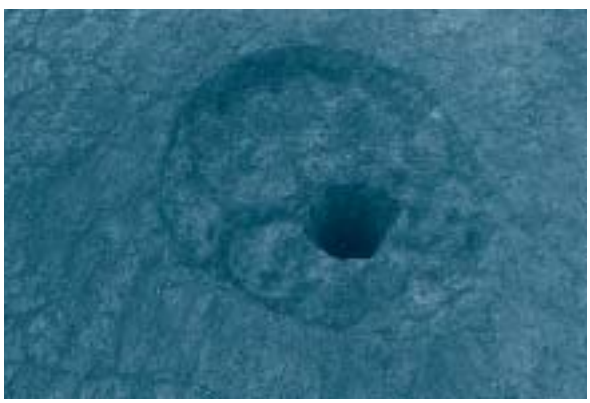
ＳＫ－296（東より）



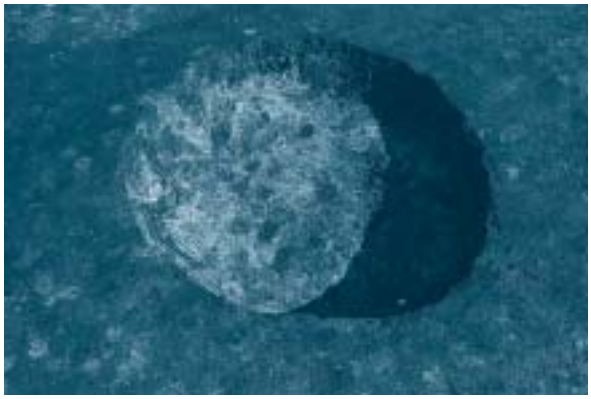
ＳＫ－310（南東より）



ＳＫ－314（南東より）



ＳＫ－323（東より）



ＳＫ－606（南より）



ＳＫ－618（北より）



ＳＫ－799（東より）



ＳＫ－946・997（東より）



ＳＫ－1067・1068（南東より）



ＳＫ－1135（北東より）



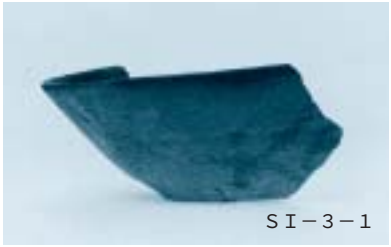
ＳＫ－1317遺物（１）出土状態（東より）



発掘作業員一同

図版一四三　古墳時代から平安時代（遺物）


SI－1－13


SI－3－1


SI－4－1


SI－5ab－5


SI－5ab－6


SI－5ab－22


SI－6－1


SI－6－2


SI－6－3


SI－6－7


SI－7－1


SI－7－12


SI－8－2


SI－8－4


SI－10－1


SI－11－1


SI－12－1


SI－14－1


SI－14－2

図版一四四　古墳時代から平安時代（遺物）


ＳＩ－14－３


ＳＩ－14－５


ＳＩ－14－６


ＳＩ－15－２


ＳＩ－16・19－１


ＳＩ－16・19－２


ＳＩ－16・19－５


ＳＩ－16・19－８


ＳＩ－16・19－17・18


ＳＩ－16・19－19


ＳＩ－18－２


ＳＩ－18－11


ＳＩ－18－５


ＳＩ－18－13


ＳＩ－18－14


ＳＩ－18－15


ＳＩ－25－４


ＳＩ－25－６


ＳＩ－25－７

図版一四五　古墳時代から平安時代（遺物）


ＳＩ－25－８


ＳＩ－25－９


ＳＩ－26－３


ＳＩ－28－２


ＳＩ－28－３


ＳＩ－28－４


ＳＩ－28－７


ＳＩ－29－１


ＳＩ－29－３


ＳＩ－29－４


ＳＩ－29－５


ＳＩ－29－７


ＳＩ－29－８


ＳＩ－30－２

図版一四六　古墳時代から平安時代（遺物）


ＳＩ－31－４


ＳＩ－31－14


ＳＩ－31－23

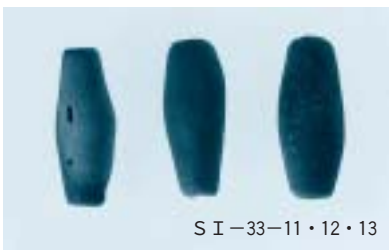

ＳＩ－31－20


ＳＩ－31－16

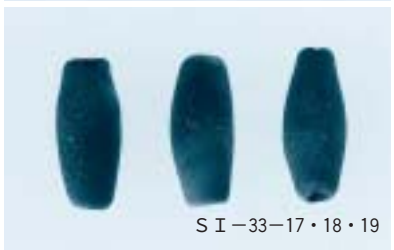

ＳＩ－32－1

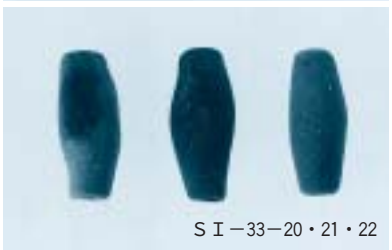

ＳＩ－33－５

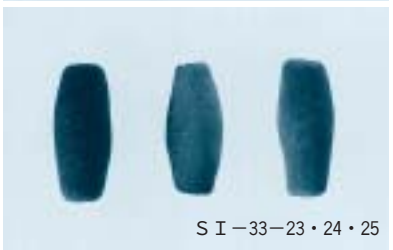

ＳＩ－33－８・９・10


ＳＩ－33－11・12・13

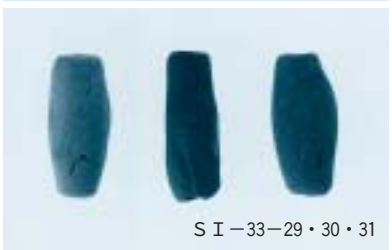

ＳＩ－33－14・15・16

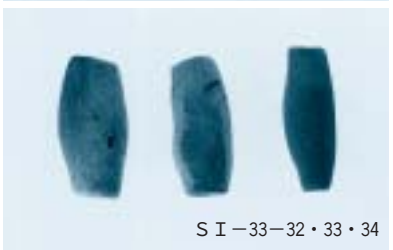

ＳＩ－33－17・18・19


ＳＩ－33－20・21・22


ＳＩ－33－23・24・25


ＳＩ－33－26・27・28


ＳＩ－33－29・30・31


ＳＩ－33－32・33・34


ＳＩ－33－35・36


ＳＩ－34－１


ＳＩ－34－３

図版一四七　古墳時代から平安時代（遺物）


ＳＩ－34－８


ＳＩ－34－13


ＳＩ－35－８


ＳＩ－35－９


ＳＩ－35－10


ＳＩ－36－１


ＳＩ－37・43－１


ＳＩ－36－４


ＳＩ－36－５


ＳＩ－37・43－２


ＳＩ－37・43－５


ＳＩ－37・43－６


ＳＩ－37・43－７


ＳＩ－37・43－８


ＳＩ－37・43－９


ＳＩ－37・43－10


ＳＩ－37・43－11


ＳＩ－37・43－12

図版一四八　古墳時代から平安時代（遺物）

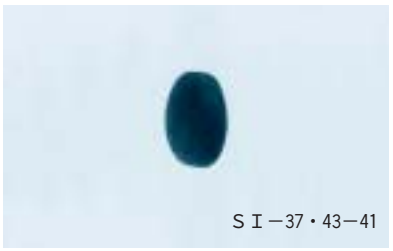

ＳＩ－37・43－13

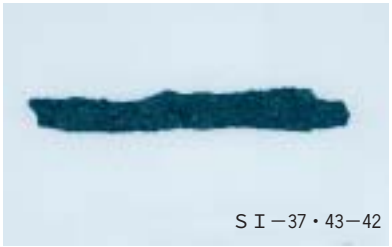

ＳＩ－37・43－14


ＳＩ－37・43－17


ＳＩ－37・43－30


ＳＩ－37・43－40


ＳＩ－37・43－41

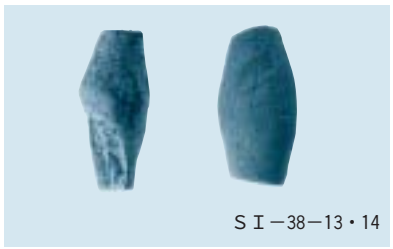

ＳＩ－37・43－42


ＳＩ－38－１


ＳＩ－38－４


ＳＩ－38－５


ＳＩ－38－６


ＳＩ－38－13・14


ＳＩ－39－６


ＳＩ－42－３


ＳＩ－38－15


ＳＩ－50－２


ＳＩ－48－１


ＳＩ－48－２

図版一四九　古墳時代から平安時代（遺物）・理化学分析（植物珪酸体の顕微鏡写真）

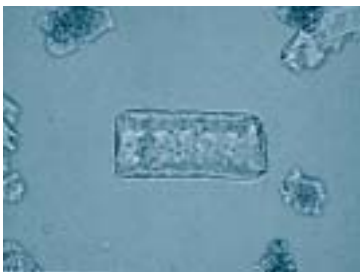

ＳＩ－51－３

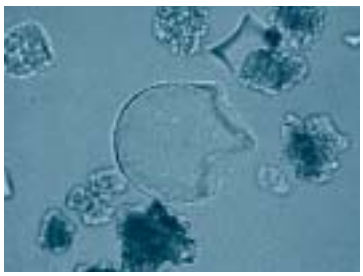

ＳＫ－1317－１

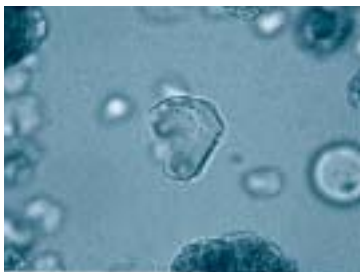

ＳＫ－876－１


外１　外２

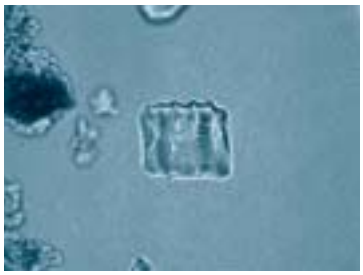
古墳時代から平安時代（遺物）

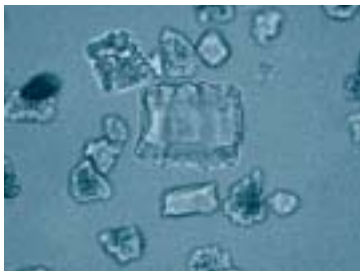

キビ族型
ＳＫ－1038

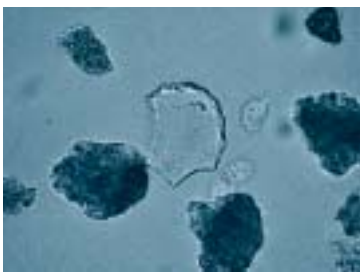

ヨシ属型
ＳＫ－888

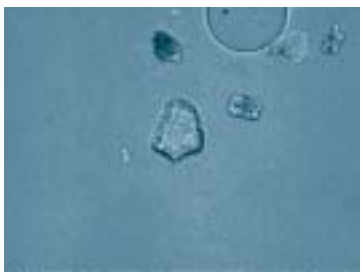

ススキ属型
ＳＸ－１

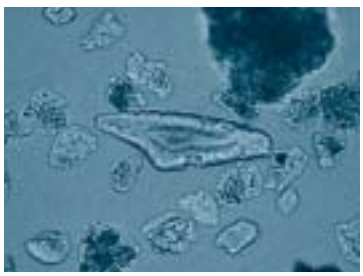

メダケ節型
ＳＫ－956－２

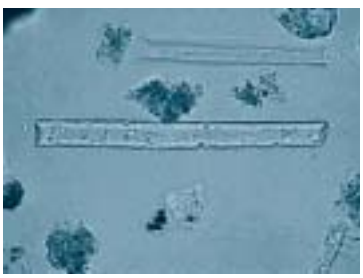

ネザサ節型
ＳＫ－927

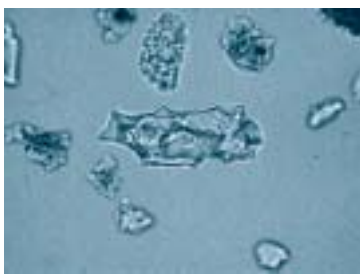

ネザサ節型
ＳＫ－1038


チマキザサ節型
ＳＫ－956－２


ミヤコザサ節型
ＳＫ－956－１


表皮毛起源
ＳＫ－1038


棒状珪酸体
ＳＫ－927


モクレン属型
ＳＫ－927


海綿骨針
ＳＫ－1038

植物珪酸体（プラント・オパール）の顕微鏡写真

50μm

報　告　書　抄　録

ふ　り　が　な	おなべまえいせき
書　　名	小鍋前遺跡
副　書　名	経営体育成基盤整備事業荒川南部地区における埋蔵文化財発掘調査
巻　　次	
シ　リ　ー　ズ　名	栃木県埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第313集
編　著　者　名	塚原孝一
編　集　機　関	財団法人とちぎ生涯学習文化財団　埋蔵文化財センター
所　在　地	〒329－0418　栃木県下野市紫474番地　TEL0285－44－8441
発　行　機　関	栃木県教育委員会　財団法人とちぎ生涯学習文化財団
発　行　年　月　日	西暦　2008年３月24日　（平成20年３月24日）

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
おなべまえいせき 小鍋前遺跡	なすからすやまし 那須烏山市 おおさと 大里	09215	198	36°38′46″	140°6′41″	20040413 ～ 20050330	10,000	経営体育成 基盤整備事業

所収遺跡名	種　別	主な時代	主　な　遺　構	主　な　遺　物	特記事項
小鍋前遺跡	集落	縄文時代	竪穴住居跡８軒 土坑857基 埋甕９基 陥穴３基 配石遺構１基 集石遺構１基	縄文土器、石器、土製品	縄文時代中期中葉から後期前葉を中心とする集落跡。
		古墳～ 平安時代	竪穴住居跡47軒 掘立柱建物跡８棟 土坑49基 井戸２基	土師器、須恵器、灰釉陶器、石製品、土製品、鉄製品	古墳時代後期、奈良時代から平安時代前半を中心とする集落跡。
		時期不明	土坑597基 溝跡６条		

要　　約	荒川右岸、南那須丘陵の台地下位面に立地する。縄文時代中期中葉から後期前葉の集落跡は規模が大きい。857基の土坑を中心に広範囲に広がる。中期中葉から後葉は袋状土坑を主体とし、以降後期前葉までは円筒形土坑が増加する。形状の変化と共に分布も変化し、調査区東部に纏まっていたものが、全体に広がるようになる。竪穴住居跡は８軒で中期後葉から後期前葉のものである。埋甕、配石遺構、集石遺構もこの時期に見られる。縄文土器は土坑を中心に多数出土し、良好な資料が多い。石器は、磨石・石皿の類、次いで打製石斧が多い。 古墳時代から平安時代は、47軒の竪穴住居跡を中心に集落が展開する。但し、古墳時代終末から奈良時代の初めにかけて遺構が見られなくなる時期がある。竪穴住居跡の形状変化と分布域の変遷も確認できた。掘立柱建物跡は奈良時代後半の可能性がある。

付図１　小鍋前遺跡　縄文時代全体図



付図２　小鍋前遺跡　古墳時代から平安時代全体図



中央開発株式会社作業
作成図を加筆・修正し作成

付図３　小鍋前遺跡　時期不明遺構全体図



中北測量株式会社作業
作成図面を加筆・修正し作成

栃木県埋蔵文化財調査報告第313集
小　鍋　前　遺　跡
－経営体育成基盤整備事業荒川南部地区における埋蔵文化財発掘調査－
発行　栃　木　県　教　育　委　員　会
宇都宮市塙田１－１－20
ＴＥＬ　028（623）3425
財団法人とちぎ生涯学習文化財団
宇都宮市本町１－８
ＴＥＬ　028（643）1011
平成20年３月24日発行
編集　財団法人とちぎ生涯学習文化財団
埋蔵文化財センター
下野市紫474番地
ＴＥＬ　0285（44）8441
印刷　株式会社　松井ピ・テ・オ・印刷